

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2024年6月26日

【事業年度】 自 2023年1月1日 至 2023年12月31日

【会社名】 スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト  
(Svenska Handelsbanken AB (publ))

【代表者の役職氏名】  
ヘンリク・アダムソン  
(Henrik Adamsson)  
ヘッド・オブ・リーガル兼  
ヘッド・オブ・トランザクション・マネジメント  
(Head of Legal and Transaction Management)  
  
リーゼロッテ・エルフストランド  
(Liselotte Elfstrand)  
ヴァイス・プレジデント  
(Vice President)

【本店の所在の場所】 スウェーデン王国 SE-106 70 ストックホルム クングストラッド  
ゴードシュガータン 2  
(Kungsträdgårdsgatan 2, SE-106 70 Stockholm, Sweden)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 多賀 大輔

【代理人の住所又は所在地】 東京都千代田区大手町一丁目1番1号  
大手町パークビルディング  
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業

【電話番号】 03-6775-1029

【事務連絡者氏名】  
弁護士 森 真幸人  
弁護士 瀬田 裕貴  
弁護士 安達 結希  
弁護士 高野 聖也

【連絡場所】 東京都千代田区大手町一丁目1番1号  
大手町パークビルディング  
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業

【電話番号】  
03-6775-1679  
03-6775-1747  
03-6775-1811  
03-6775-1945

【縦覧に供する場所】

該当事項なし。

## 注記：

(注1) 本書において、別段の記載がある場合を除いて、下記の用語は下記の意味を有するものとする。

「当行」とは、	スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトをいう。
「当行グループ」とは、	スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト及びその連結子会社をいう。
「北欧諸国」又は「北欧」とは、	スウェーデン、デンマーク、フィンランド及びノルウェーをいう。
「スウェーデン」とは、	スウェーデン王国をいう。

(注2) 別段の記載がある場合を除き、「スウェーデン・クローネ」はスウェーデン・クローネを、「米ドル」はアメリカ合衆国ドルを、「円」は日本円を、「英ポンド」は英貨ポンドを、「デンマーク・クローネ」はデンマーク・クローネを、「ノルウェー・クローネ」はノルウェー・クローネを、「ユーロ」は欧州連合の機能に関する条約(その後の改正を含む。)に基づき単一通貨を採用する又は採用した欧州連合の加盟国の通貨を指す。2024年5月31日現在(日本時間)、株式会社三菱UFJ銀行が提示した対顧客電信売買相場の仲値は、1スウェーデン・クローネ=14.79円であった。本書におけるスウェーデン・クローネから日本円への換算額は、読者の便宜のためにのみ記載するものであり、スウェーデン・クローネ額が上記レートで日本円に換算されることを示すものと解してはならない。

(注3) 本書中の表における数値が四捨五入されている場合、合計欄の数値は必ずしも関連する各数値の合計と一致しない。

(注4) 本書には、将来の事象、財務及び経営成績並びに将来の市場の状況についての経営陣の現在の予測を反映した、将来の見通しに関する記述が含まれている。「確信している」、「期待している」、「予想している」、「目指す」、「見積もっている」、「意図している」、「見通しである」、「目標としている」、「と思われる」、「可能性がある」、「想定する」、「場合がある」、「予定である」及び「はずである」等の語句又はその他の変化形若しくは類似の用語は、将来の見通しに関する記述であることを明確にすることを意図している。将来の見通しに関する記述は本書中、複数箇所に登場する(「第一部 - 第3 - 3 事業等のリスク」並びに「第一部 - 第3 - 4 - (3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を含むが、これらに限られない。)

将来の見通しに関する記述は、将来起こることも起こらないこともある事象に関連し、またかかる状況に依拠するものであるため、本来的にリスク及び不確実性を伴う。当行グループ及び当行は誠実に、かつ合理的と信じる想定に基づいて、上述の将来の見通しに関する記述を記載したが、かかる将来の見通しに関する記述のいずれも、将来の実績を確約又は保証するものではない。当行グループ及び当行の実際の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー並びに当行グループ及び当行が事業を行っている市場の動向は、本書に含まれる将来の見通しに関する記述において明示又は示唆された内容とは大幅に異なる可能性がある。「第一部 - 第3 - 3 事業等のリスク」並びに「第一部 - 第3 - 4 - (3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」におけるすべての将来の見通しに関する記述は、本有価証券報告書提出日現在で見積もられたものである。

将来の見通しに関する記述に依拠する場合、読者は、前述の要素、その他の不確定要素及び事象、特に当行グループ及び当行が事業を行う環境における政治的、経済的、社会的及び法律的な要因について慎重に検討すべきである。かかる将来の見通しに関する記述は、それらの記述がなされた日現在における記述に過ぎない。したがって、当行グループ又は当行のいずれも、それらの記述について、新たな情報、将来の事象又はその他の要因にかかわらず、更新又は修正する義務を負わない。当行グループ及び当行は、かかる将来の見通しに関する記述により期待される結果が達成されると表明し、保証し又は予想するものではなく、また、将来の見通しに関する記述は、いずれの場合も、多くの想定されるシナリオのうちの一つを示しているに過ぎず、もっとも可能性の高いシナリオ又は標準的なシナリオと考えられるべきではない。

(注5) 当行は、いかなる場合においても、本書において税制上、法律上又は規制上の助言を行うものではない。

(注6) 当行グループ及び当行の事業年度は暦年である。

## 第一部【企業情報】

### 第1【本国における法制等の概要】

#### 日本において得られた判決の効力

外国の裁判所が民事及び商事事件について下した判決のスウェーデンにおける執行可能性は、当該判決の執行可能性がスウェーデンの法律に明示的に定められていること又は判決の相互承認及び執行を定める条約を条件とする。日本とスウェーデンは、民事及び商事事件の判決の相互承認及び執行を定める条約を締結していない。したがって、民事責任に基づいて日本の裁判所が下した判決は、スウェーデンにおいて直接執行できない。

有利な最終判決を得た者が管轄権のあるスウェーデンの裁判所に新規に提訴する場合、その者は日本の裁判所によるかかる最終判決をスウェーデンの裁判所に提出することができる。かかる最終判決は、スウェーデンの裁判所においては、かかる判決が関係する紛争の結果に関する証拠としてしか扱われず、スウェーデンの裁判所は、新規にかかる紛争について審理することができる。

#### 1【会社制度等の概要】

##### (1)【提出会社の属する国・州等における会社制度】

##### ( )概要

##### 関係法令及び自主規制

当行のようなスウェーデンで設立された公開有限責任会社である銀行(publikt bankaktiebolag)は、主として、すべての有限責任会社に適用されるスウェーデン会社法(aktiebolagslagen (2005:551))(以下「会社法」という。)、スウェーデンにおける銀行・金融業を規制するスウェーデン銀行・金融業法(lag (2004:297) om bank- och finanseringsrörelse)(以下「銀行法」という。)及び証券業を規制するスウェーデン証券市場法(lag (2007:528) om värdepappersmarknaden)(以下「証券市場法」という。)により規制される。有限責任会社である銀行の年次会計は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(lag (1995:1559) om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag)により規制される。当行はナスダック ストックホルムに上場しているため、ナスダックの上場規則(発行会社のための規則集)及び自主規制の基礎であり、「遵守するか、そうでない場合は説明をする(comply or explain)」の原則に基づくスウェーデンコーポレート・ガバナンス・コード(以下「コーポレート・ガバナンス・コード」という。)も遵守しなければならない。

当行は、スウェーデン金融監督庁(Finansinspektionen)(以下「SFSA」という。)から、銀行法に基づく銀行業を営む免許及びとりわけ証券市場法に基づく証券業を営む免許を取得している。そのため、当行は、SFSAの規則及びSFSAが発表する一般指針の適用を受ける。さらに、当行の子会社の多くは金融機関及び保険会社を規制するスウェーデン及び外国の法律により規制されており、またSFSA又は他の法域における類似機関の監督に服している。当行は、当行が事業を営むすべての市場において、消費者保護をはじめとする広範な規制に服している。

銀行法の規定のうち特筆すべきは、当行の株式を取得しようとする株主の持分が一定の基準(当行の資本又は議決権の10、20、30若しくは50%又は結果的に当行が取得者の子会社となるような数)に達するか若しくはそれを超えることとなる場合、又は株主がその他の方法により当行の経営に重要な影響力を持つこととなる場合には、SFSAの事前の承認が必要であるとする規定をはじめとする、所有及び経営評価に関する規則である。さらに、当行の取締役会の構成員及びその代理並びに経営責任者及び経営責任者代理の任命については、経営評価に関するスウェーデンの規則に基づき、SFSAの承認を得なければならない。



## 設立

当行は、公開有限責任会社である銀行(publikt bankaktiebolag)である。

有限責任会社の設立には、発起人が特に会社の定款(bolagsordning)を含む設立証書(stiftelseurkund)を作成することを要する。定款は、とりわけ、会社の商号及び事業活動に関する情報を含むことを要する。

設立証書には、会社の株式を引き受ける発起人の名前及び各発起人の引受株式数が記載される。引受株式の支払いは、現金又は現物(apportegendom)によりなすことができる。会社は、会社登記番号を交付するスウェーデン会社登記所(Bolagsverket)(以下「SCRO」という。)に登録することにより設立される。登記の申請は、設立証書の作成後6ヶ月以内にSCROに対してなされなければならない。

非公開有限責任会社の資本金は50,000スウェーデン・クローネ以上、公開有限責任会社の資本金は500,000スウェーデン・クローネ以上であることを要する。一般に、銀行法に従い、銀行はその事業開始にあたり、SFSAからの免許取得時に5百万ユーロ以上の当初資本金を有していなければならない。

## 定款

定款は、すべての有限責任会社の基本的な統治書類である。定款には、とりわけ、会社の事業内容、資本金及び株主の株主総会出席権が記載される。定款は公的記録上に保存され、SCROにおいて入手可能である。

## 資本金及び株式

### 資本金

会社法に従い、公開有限責任会社の資本金は500,000スウェーデン・クローネ以上であることを要する。銀行法には、銀行の資本規模は銀行の事業の範囲及び性質に基づき決定されなければならない旨を定める追加の規定がある。有限責任会社の定款には、資本金の最低額及び最高額を定めなければならない。有限責任会社の現在の登録資本金は公的記録事項であり、SCROにおいて入手可能である。

### 議決権

有限責任会社の定款に別段の定めのない限り、1株は1議決権を有する。定款には、他の株式の10倍超の議決権を有する種類株式について定めることはできない。当行の定款の下では、A種株式及びB種株式の2種類の株式を発行することができ、A種株式には1株につき1議決権が、B種株式には1株につき10分の1の議決権が付される。

### 配当

スウェーデン法に基づき、配当は株主総会での承認を得なければならない。配当は、分配可能額の範囲内であることに加えて、事業の性質、範囲及びリスク並びに会社の財務体質、流動性及び財政状態を強化する必要性から課される株主資本の大きさに関する要請に照らして、妥当な範囲内である場合に限られる。さらに、株主は、一般のルールとして、取締役会で提案又は承認された額を上回る額の配当の決定をすることはできない。

スウェーデン法においては、当行の発行済株式総数の10分の1以上を保有する株主には、当行の利益から配当金の支払いを要求する権利がある。かかる要求がなされたら、年次株主総会では、( )非制限準備金を超える繰越損失の超過額、( )法律又は定款により、制限資本に繰入れなければならない額、及び( )定款上、株主への配当以外の目的に使用すべきとされている額を控除の上、承認された貸借対照表に従い当期の残存利益の2分の1相当額の配当を決議する。年次株主総会は、当行の株主資本の5%を超える配当を決議する必要はない。さらに、株主総会では、分配可能額を上回る配当又は上述の妥当な範囲を超えた配当を行うことはできない。

株主総会は、有限責任会社における上位機関であり、株主への配当の分配を決定する権利を有する唯一の機関である。

配当は、通常、ユーロクリアを通じて1株毎に現金で支払われるが、現物により支払われることもある(現物配当)。株主総会において決定された基準日において、ユーロクリアが保管する株主名簿に株式所有者として登録されている者が、配当を受領する権利を有する。ユーロクリアを通じて株主と連絡を取ることができない場合も、当該株主は配当金額に係る当行への請求権を保持し、かかる権利は時効によってのみ制限される。請求権が時効になった場合、配当金額は当行が没収する。

#### 当行株式の取引

当行の株式は、ナスダック スtockホルムでの取引が認められている。

ナスダック スtockホルム等の取引所における取引を認められた株式の譲渡は、ユーロクリアのシステムを通じて清算及び決済される。

#### ライツ・イシュー

既存株主は、スウェーデン法の主要規則として、株式、ワラント及び転換可能証券の新規発行の場合と同様に、その保有株式数に応じて新株式の優先的引受権を有する。但し、株主総会は株主の優先的引受権を制限する決議をすることができる。かかる決議は、投票総数及び総会出席者の保有株式数の各々3分の2以上を保有する株主の賛成がある場合にのみ有効である。さらに、発行される有価証券の対価が現金以外で払い込まれる場合、株主は優先的引受権を有しない。会社又はその子会社が保有する株式には、優先的引受権は付されない。

### 株主総会、取締役会及び経営責任者

#### 株主及び株主総会

株主は、有限責任会社における最上位の意思決定機関である有限責任会社の株主総会(bolagsstämma)においてその権利を行使する。年次株主総会(årsstämma)に加えて、臨時株主総会(extra bolagsstämma)が招集される場合もある。株主総会は、特に、定款又は資本金の変更及び利益配分を決議し、取締役会の構成員を任命し、取締役会の構成員及び経営責任者の免責を決議し、取締役会の報酬を決議し、経営責任者及び上級経営陣の報酬原則を承認する。

#### 株主総会出席権

当行のような会社の株主名簿はユーロクリアが保管しているが、株主総会の6銀行取引日前の日において株主名簿に登録されており、かつ遅くとも株主総会の4銀行取引日前までに当該名簿に直接登録されている株主であって、株主総会招集通知に記載の日において当行に出席の意思を通知した株主は、株主総会に出席する権利を有する。株主は、本人又は代理人により株主総会に出席することができる。株主は、2名以下の同伴者を同行させることができる。株主は通常、複数の異なる方法により株主総会のための登録をなすことができる。株主総会招集通知には、株主総会への出席権を得るために株主が登録を行い当行への通知をなすべき方法及びその期限が記載されている。

#### 取締役会

銀行法及び会社法に基づき、取締役会は、当行のような会社の組織及び経営につき最終的な責任を負う。年次株主総会は、会長を含む取締役会の構成員を選任し、監査人の選任が予定された場合は、監査人を選任する。コーポレート・ガバナンス・コードに従い、会長を含む取締役会の構成員及び監査人の指名は、指名委員会が行うものとする。指名委員会の任命原則は、株主総会において決議される。

SCROが例外を認める場合を除き、スウェーデン法の下では、経営責任者及び半数以上の取締役が欧州経済領域に属する国の居住者であることを要する。有限責任会社の定款は、通常、株主総会で選任された取締役会の構成員の任期を次回の年次株主総会の時までとする旨定めている。株主により選任された取締役会の構成員は、株主総会により随時解任することが可能であり、取締役会の欠員は株主総会の決議によってのみ補充される。スウェーデン法の下では、公開有限責任会社の経営責任者は、取締役会会長を務めることができない。さらに、公開有限責任会社である銀行においては、取締役会のすべての構成員につきSFSAの承認を得なければならない。

### 経営責任者

公開有限責任会社である銀行においては、取締役会は経営責任者を任命しなければならない。会社法に従い、経営責任者は、取締役会が出した指針及び指図に従って会社の日常的な経営につき責任を負う。さらに、経営責任者は、法に従って会社の計算を管理し、健全な資金運営が行われるよう必要な措置を講じなければならない。経営責任者は、SCROに登録される。さらに、公開有限責任会社である銀行においては、経営責任者につきSFSAの承認を得なければならない。

### 損害賠償責任

会社法に従い、自らの職務の遂行にあたり故意又は過失により会社に損害を及ぼした発起人、取締役会の構成員又は経営責任者は、かかる損害を賠償しなければならない。会社法、適用ある年次報告関係法令又は会社の定款に違反した結果、株主又はその他の者に損害を及ぼした場合も同様である。さらに、有限責任会社である銀行については、銀行法、スウェーデンの金融機関及び投資機関の特別監督に関する法律(lag (2014:968) om särskild tillsyn över kreditinstitut och värdepappersbolag)、資本バッファに関する法律(lag (2014:966) om kapitalbuffertar)並びにEUの所要自己資本規制(EU)575/2013(以下「CRR」という。)に違反した場合も上記と同様である。

損害は、作為又は不作為の性質、損害の程度及び一般的な状況を考慮の上、合理的に調整されることがある(jämkas)。同一の損害につき複数の者が責任を負う場合、それらの者のいずれかの責任が上記に従い調整されない限り、かかる者は連帯して責任を負う。これらの者のいずれかが損害を賠償した場合、かかる者は他の当事者に対して状況に応じて合理的に求償権を行使することができる。

会社への損害に関する訴訟は、株主総会において、過半数又は会社の全株式の10分の1以上を保有する少数株主が、損害に関する訴訟の提起の決議に賛成した場合又は取締役会の構成員若しくは経営責任者の免責の決議に反対した場合にのみ提起することができる。

### 法定監査人

銀行法に従い、有限責任会社である銀行は、1名以上の監査人を置かなければならず、選任される監査人の1名以上は、認可公認会計士(auktoriserad revisor)であることを要する。

### 年次計算書類

スウェーデンの会計関連法令は、会計に関する強制法により構成され、そのうち最も重要なものが年次報告法(årsredovisningslagen)及び簿記法(bokföringslagen)である。年次報告法及び簿記法は、会計の一般的な枠組であり、いずれも「一般に公正妥当と認められた会計原則」を定めるものである。信用機関は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法の適用を受ける。

規制市場(ナスダック スtockホルム等)における取引を認められた株式の発行会社は、IFRSに従って連結年次計算書類を作成しなければならない。

年次株主総会においては、損益計算書及び貸借対照表の承認決議がなされ、グループ全体の財務書類を作成しなければならない親会社の年次株主総会においては、連結損益計算書及び連結貸借対照表の承認決議がなされる。前事業年度の年次報告書は、当該年次報告書に対応すべき年次株主総会よりも前に監査人に提出されなければならない。

会社は、すべての事業年度につきSCR0に年次報告書を提出しなければならない。その結果、年次報告書は一般に閲覧可能なものとなる。

## ( )規制環境及び資本基盤

### 規制環境

#### スウェーデン金融監督庁

1世紀以上の間、スウェーデンにおける銀行業は政府の厳密な検査及び管理に服してきた。SFSAは、スウェーデンの金融機関の監督当局である。SFSAの監督責任は、銀行及びその他の金融機関から、保険会社、証券業者、ファンドの運用会社及びナスダック スtockホルムにまで及んでいる。かかる監督責任は、スウェーデンの銀行の国外支店にも及ぶ。SFSAの総合的な目的は、金融システムの安定化及び効率性に貢献するとともに消費者保護を促進することである。

SFSAの監督は、とりわけ、自己資本比率、大口エクスポージャー及び財務書類に関する報告書の分析、並びに各銀行の業務がスウェーデンの銀行法規を遵守することを確実にするための実地検査を通して行われる。

SFSAは法律により授けられた規制権限を有しており、これには、会計規制を発令し、銀行に対し月次財務書類及び様々なリスク報告書の提出を求め、各銀行の業務が銀行業務を規制する法律及び各銀行の定款を遵守することを確実にするための定期的な検査を実施する権限が含まれる。SFSAは、各銀行の年次株主総会において株主により選任される監査人とともに当該銀行の財務書類及び業務運営を調査する1名以上の監査人を任命する権限を有する。SFSAは、2008年度から2023年度の会計年度については当行の監査人を任命しなかった。

監督機能に加えて、SFSAは、スウェーデンの金融市場で事業を営む会社に対する義務的規制及び一般指針の両方を公表している。SFSAは、CRD (以下で定義する。)に基づく資本バッファを決定し、適用する主な責任を負い、マクロ・プルーデンス監督において中心的役割を果たす。

銀行法は、すべての銀行に対し、SFSAの与える免許に基づいて営業するよう求めている。かかる免許は無期限であるが、SFSAによる制限付取消権に服する。

当行の存続期間は無期限である。

### リクスバンク

リクスバンクは、スウェーデンの中央銀行であり、スウェーデン議会(リクスダーグ)の機関である。リクスバンクは、金融政策を決定し、スウェーデンの為替政策の実施に責任を負い、スウェーデンの通貨準備を管理し、一定の場合における銀行への最後の貸手として待機し、また金融の安定を守るためその他の措置を講じる可能性がある。また、リクスバンクは、銀行間の決済手続を行う。

### スウェーデン国債局

スウェーデン国債局(Riksgäldskontoret)(Swedish National Debt Office、以下「SND0」という。)は、銀行サービスを中央政府に対して提供し、借入を行い、中央政府の債務を管理し、政府保証及び貸付を提供する。当局はまた、預金保険制度及び投資家保護制度の責任を負い、スウェーデンの破綻処理機関でもある。

## 所要自己資本

スウェーデンの自己資本比率の枠組は、CRR(その後の改正を含む。)及び指令2013/36/EU(以下「CRD」又は「CRD指令」といい、その後の改正を含む。)に基づいており、2010年度にバーゼル委員会が公表した信用機関の資本基準の強化及び最低流動性基準の設定を目的とする、資本及び流動性の要件の枠組(いわゆる「バーゼル」枠組)をEEAにおいて実施している。また2011年1月13日に、バーゼル委員会は、破綻時の損失吸収能力を確保するための自己資本規制に関する最低要件を発表した。

CRDは規則及び規制の一群であり、国内法化のために一連の要件を課しており、その多くは数年をかけて段階的に導入される予定である。しかしながら、CRRは各加盟国に直接適用されるものの、多くの重要な解釈上の問題は、拘束力のある技術的基準を通じて、又は関連規制当局の裁量に委ねて、解決される必要がある。

2014年1月1日以降、スウェーデンの自己資本比率の枠組はCRR及びCRDに基づいている。2014年1月1日から、CRRはスウェーデンの法律となり、CRDはスウェーデンの法律及びSFSA規則の改正により、2014年度にスウェーデンにおいて施行された。CRR及びCRDは、EBAが発展させ、欧州委員会が採択した一連の技術基準によって補完されている。

## 規則改正

それぞれ、2019年4月16日に欧州議会が、2019年5月14日にEU理事会が、CRD V指令及びCRRを採択した。CRRは、レバレッジ比率、正味安定調達比率、自己資本及び適格債務の基準、カウンターパーティー・信用リスク、市場リスク、中央清算機関へのエクスポージャー、集団投資事業へのエクスポージャー、大口エクスポージャー、報告及び開示の要件に関してCRRを改正し、CRD V指令は、適用除外の企業、金融持株会社、混合金融持株会社、報酬、監督措置及び監督権限並びに資本保全措置に関してCRD指令を改正する。CRR及びCRD指令の改正版は、2019年6月27日に効力が発生した。新たな各規則の適用日は、効力発生日から、及び効力発生後12ヶ月から4年の間と、それぞれ異なる。

これらの自己資本の追加基準の改正は、以前関連規制当局が適用したアプローチとは異なり、スウェーデンの銀行の全体的な所要自己資本の水準及び構成の変更に通じる可能性がある。当該改正は、第二の柱に基づく資本要件(以下「P2R」という。)と第二の柱の指針(以下「P2G」という。)を明確に区別した。P2Rは追加の最低要件となり、第一の柱の最低要件より上位に、また結合バッファ要件より下位に配置され、第一の柱によりカバーされない又は十分にカバーされないリスクに対応する。結果として、当該結合バッファ要件にリンクする、配当に対する自動的な規制が、関連規制当局により現在導入されている第二の柱のアプローチの前に発動される可能性がある。金融システム上のリスク及びマクロ・プルーデンスのリスクに対する資本アドオンの適用は、明確にP2Rから除外されている。一方、P2Gは金融機関に対し、将来的な又は遠隔的な状況に対処するために、第一の柱に基づく資本要件、P2R及び結合バッファ要件を超えた資本を保有することを要求するための所轄官庁の能力について言及している。当該改正によると、この指針は資本ターゲットを構成し、当該結合バッファ要件の上位に配置されている。

CRD指令の改正は、EU加盟国の国内法において施行される必要があったが、3%の拘束力のあるレバレッジ比率の要件を含むCRRの改正は、すべてのEU加盟国で直接適用された。CRDの改正を施行するスウェーデンの法令変更は、2020年12月29日にスウェーデンにおいて効力が発生したが、ほとんどの変更が同日から適用された一方で、施行された変更の一部は次の期日から適用される(また、CRRに関連するスウェーデンの法令変更は2021年6月28日から適用された。)。さらに、2021年10月27日に、欧州委員会はCRR及びCRDの見直しを採択した。ESGリスクに関する新たな要件を含むこの提案は、2025年度に効力が発生する予定であり、最終的な承認を条件としている。以上のことから、CRDの枠組や要件が当行に対しどのように適用されるかは、依然として一定の不確実さを残している。

## 自己資本比率

自己資本比率の枠組に従って、当行グループは、信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクに関するリスク加重エクスポージャー額合計の4.5%以上の普通株式等Tier 1資本、6%以上のTier 1資本及び8%以上の自己資本合計を保有しなければならない。

当行グループは、最低所要自己資本を満たす資本を維持することに加え、スウェーデンにおいては2.5%の資本維持バッファー、2.5%までのカウンターシクリカル・バッファー、「その他の金融システム上重要な機関(0-SII)」として指定されたことに起因する1%のバッファー及び3%のシステムミック・リスク・バッファーの合計により構成される結合バッファー要件に従うための普通株式等Tier 1資本も維持しなければならない。ノルウェーにおけるエクスポージャーは、4.5%のシステムミック・リスク・バッファーの対象である。例えば配当に対する規制を回避するためには、定められた結合バッファー要件を満たさなければならない。

2017年3月19日以降、最大2.5%のカウンターシクリカル・バッファーがスウェーデンにおいて適用されている。スウェーデン国外のエクスポージャーに対するカウンターシクリカル・バッファー要件に関して、SFSAは、その他の国の所轄当局がその国のエクスポージャーに関して決定する2.5%までのバッファー水準を認めることとなる。2023年6月22日現在、スウェーデンにおいては2%のカウンターシクリカル・バッファーが適用されている。現在、英国においては2023年7月5日から2%、ノルウェーにおいては2023年3月31日から2.5%のカウンターシクリカル・バッファーが適用されている。

上記の第一の柱の要件と称される要件に加えて、当行グループは、P2Rに基づく要件のための資本を保有していなければならない。これらの要件は、各金融機関に特有のものであり、監督機関により決定される。集中リスク、年金リスク、非トレーディング勘定における金利リスク等の様々な要因が第二の柱において評価される。SFSAはまた、不動産会社へのエクスポージャーに第二の柱におけるリスク加重のフロアを導入した。スウェーデンにおける商業用不動産を担保とする不動産会社へのエクスポージャーのフロアは35%、またスウェーデンにおける住宅用不動産を担保とする不動産会社へのエクスポージャーのフロアは25%である。2023年3月29日、SFSAは上記のフロアを現在の水準で第二の柱から第一の柱に移行する案を公表し、その後、かかる改正が決定され、2023年9月30日から施行された。その結果、リスク加重資産(第一の柱)が増加し、P2Rについてのアドオンが引き下げられたため、所要自己資本の総額は横ばいであった。SFSAはまた、P2Gに基づく資本バッファーを保有する必要性を算定している。かかる指針が資本維持バッファーを上回らないと推定される限り、資本計画バッファーにより当行グループに対し資本費用がこれ以上発生することはない。P2Gは、監督審査及び評価プロセスの一環として、SFSAにより決定される。

2018年12月31日より、スウェーデンの住宅ローンは、CRRの第458条に基づき、第一の柱におけるリスク加重のフロアに服している。かかるフロアはリスク加重エクスポージャー額に直接影響を与え、したがって当行グループの最低所要自己資本に反映されている。2018年8月22日、SFSAは、IRB手法によってカバーされるスウェーデンの住宅ローンのエクスポージャーに対して、25%の金融機関特有の第一の柱におけるリスク加重フロアを課すことを決定した。この決定は、当初は2018年12月31日から2021年12月30日まで適用されたが、その後二度延長され、現在は2025年12月30日までとなっている。

2021年9月30日から、ノルウェーの住宅ローンもまた、すべての住宅用及び商業用不動産へのエクスポージャーの第一の柱における平均リスク加重に対し課される、それぞれ20%及び35%の一時的なフロアの対象になる。当該フロアは、延長されない場合、2024年12月31日まで適用される。

当行グループは、規制上の最低資本及びバッファー要件に加えて、自己資本比率の内部評価を実施しなければならない。かかる内部評価においては、すべてのリスク及び所要自己資本を公平な方法で評価する。2007年のバーゼル の導入以降、自己資本比率の内部評価の過程において、当行グループは、第一の柱に基づき正式に求められているよりもかなり多くの資本を保有している。これは、資本の内部評価が経済資本(以下「EC」という。)及び保守的なストレステストの計算に基づくことに起因しており、通常の景気のサイクルにおける資本

供給が、ストレス条件下で発生する可能性のある潜在的な損失及び所要自己資本の変動を埋め合わせるのに十分なものでなければならないことを示している。第二の柱の枠組におけるすべての資本費用は、包括的な資本評価、すなわち当行の所要自己資本へのSFSAの個別評価において行われる。これは第一の柱において設定された最低所要自己資本に追加されたもので、P2Rの費用は、例えば配当に対する自動的な規制が効力を生じる水準に直接影響を及ぼすが、一方でP2Gの費用は影響を及ぼさない。

2023年に採用された当行グループの最新の資本方針は、自己資本比率の内部評価に関するガイドラインを規定している。普通株式等Tier 1比率に関して、当行は、通常の状況下においてSFSAから当行に対して伝達された普通株式等Tier 1資本要件を1%から3%上回ることを目標にしている。

2023年12月31日現在、普通株式等Tier 1比率は18.8%であった。当行の評価では、同日のSFSAの当行グループに対する普通株式等Tier 1資本要件は14.8% (P2Gの0.5%を含む。)であった。したがって、当行グループの普通株式等Tier 1比率は目標範囲を大幅に上回った。

2021年6月28日以降、当行グループは3%の拘束力のあるレバレッジ比率の要件の対象となっている。自己資本比率は、標準的アプローチにおいて定義された信用換算係数を用いて再計算された貸借対照表に記載しない特定の項目を含む資産合計及び自己資本の規制上の調整に関するTier 1資本として定義される。最低要件は、0.5%のP2Gにより補完されている。2017年12月に提示したように、当行のバーゼル委員会が提案した所要自己資本規制への変更(また、CRD を含む。)に対する包括的な評価は、当行グループの資本が、かかる法案が求めるであろう所要自己資本に合致するというものである。当該バーゼル改正の適用は、しかしながら未だEU内で協議中である。

2023年12月31日現在の当行グループの自己資本についての詳細情報については、下記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記G53」を参照のこと。

### 「バイルイン」を含む金融機関及び投資会社の再生及び破綻処理

2014年5月6日、欧州理事会は、金融機関及び投資会社の再生及び破綻処理に関するEU全体にわたる枠組の設定を定める指令(以下「BRRD」という。)を採択した。BRRDは、金融の安定を守り、納税者の損失エクスポージャーを最小限に抑えるために、当局に対して金融危機に先制的に対応するための一連の手段及び権限を与えることを目的としている。BRRDは、スウェーデン破産処理法(lag (2015:1016) om resolution)を通じて、2016年2月1日にスウェーデンにおいて施行された。

この指令に基づき当局に与えられた権限は、予防権限、早期介入権限及び破綻処理権限に分類される。SFSA及びSND0は、スウェーデンにおいてBRRDを実施する国内法に基づき権限が与えられる。破綻処理権限を行使する主な責任は、破綻処理機関であるSND0が負う。最終的に、当局は、例えば民間の買主又は民間部門の取り決めまでの間、公的管理事業体(いわゆる「ブリッジ金融機関」)に銀行を譲渡することができる。この指令は、また、損失を銀行の株主及び債権者に対し負担させることを確実にするために、株式資本の削減並びに未払債務(資本基盤に加算される債務及びその他の債務の両方を含む。)の削減及び/又は銀行の資本への転換を行う広範な権限を含んでいる。このメカニズムを、一般的に「バイルイン」という。破綻している銀行のかかる債務のほとんどが、バイルインの対象となる(付保預金及び担保付負債等の一定の例外を除く。)。BRRDの実施の一つの側面として、2018年1月1日から、自己資本及び適格債務の最低基準(MREL)(以下で定義する。)が導入された(下記「自己資本及び適格債務の最低基準(MREL)」を参照のこと。)。

バイルイン・ツールは、破綻しているか又は破綻寸前である機関の資本再構築のために用いられ、当局が、破綻処理プロセスを通じて当該機関を再建し、その組織改編及び再編後の持続性を回復させることを可能にする。その結果、バイルイン・ツールは、債務(日本で発行された未償還の社債を含む。)の保有者に損失を負担させるために利用することができる。これにより債務(日本で発行された未償還の社債を含む。)の保有者は、その投資額の一部又は全部を失う結果になる可能性がある。さらに、当局はバイルイン・ツールを用いて、と

りわけ、債務証券にかかる債務者としての発行体を置換え又は代替し、債務証券の条件を変更(満期の変更及び/若しくは支払われるべき利息の金額の変更並びに/又は支払の一時停止の強制を含む。)する可能性がある。したがって、かかる権限の行使又は行使の提案若しくは予測は、発行済みの社債(日本で発行された未償還の社債を含む。)の価値に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

2019年度初め、欧州連合の共同立法機関(閣僚理事会及び欧州議会)は、現行規則の一定の明確化、改正及び追加(以下、合わせて「BRRDの改正」という。)に関して合意した。新たに合意された当該規則は、自己資本規制及び破綻処理規制から構成される。その目的は、金融の安定性を高め、欧州連合内の銀行の融資能力を向上させ、銀行が欧州連合内の資本市場の深化及び流動化に貢献することをより容易にすることである。さらに、この改正は、TLACに関する国際的に合意された原則がEUの規則に確実に反映されることを目指している。金融機関及び投資会社の損失吸収能力及び資本再構築能力に関するBRRDの改正は、指令2014/59/EUを改正する2019年5月20日付の欧州議会及び理事会の指令(EU)2019/879の方式により、2019年6月7日に欧州連合官報において公表された。BRRDの改正版は、2019年6月27日に効力が発生した。BRRDの改正を施行するスウェーデンの法令変更は、2021年7月1日に効力が発生した。

BRRDに基づき、スウェーデンの破綻処理法は、当局による将来的な破綻処理措置に資金を供給することを目的とした破綻処理基金の積立てに各機関が貢献するよう規定している。各機関の破綻処理基金への出資金は、破綻処理のための資金調達における事前積立てに関連する欧州委員会委任規則(EU)2015/63に規定された手法を用いて計算される。これは実際には、ある機関の出資金が、とりわけそのリスク・エクスポージャー、資金源の多様性、及び金融システム又は経済の安定性における当該機関の重要性を考慮した当該機関のリスク・プロファイルに基づいて決定されることを意味する。かかる委任規則は、出資金の計算方法を決定するが、その金額については定めていない。BRRDの最低要件に基づき、出資額は各EU加盟国により決定される。

2020年1月1日以降、スウェーデンの破綻処理基金への出資金は、0.05%の年間手数料から成る。スウェーデンの破綻処理基金の準備金が、対象となるすべての預金(すなわち、スウェーデンの預金保護スキームの対象となる預金)に対し3%を超える場合、各機関は年間手数料という形での出資金は支払わない。

### 自己資本及び適格債務の最低基準(MREL)

BRRDの実施に伴い、欧州の銀行は自己資本及び適格債務の最低基準(以下「MREL」という。)を満たすため、バイルインの実施が可能となるリソースを保有することが求められている。MRELは、SND0により、スウェーデンの法律並びに関連するEUの規則及び規制において定められた枠組において決定される。MRELは、損失吸収額及び資本再構築額の合計により構成され、どちらもリスクベース及びノン・リスクベースのエクスポージャー指標として計算される。当該基準の一部は、通常の上位債務に劣後する債務及び自己資本によって満たされなければならない。

2021年10月13日、SND0は、銀行のためのMRELの新たな枠組を発表した。MRELの計算のためのモデルにより、各銀行が保有すべき自己資本及び適格債務の量、債務の割合、並びに基準を満たすために使用される債務の種類が決定された。

当該枠組によれば、システム上重要な銀行に対するリスクベースの所要基準の合計は、1)CRRに基づく第一の柱及び第二の柱の最低基準の合計に相当する損失吸収額、並びに2)CRRに基づく第一の柱及び第二の柱の最低基準の合計に相当する資本再構築額並びに市場の信頼区間のバッファの合計をリスク・エクスポージャー額合計で除して算出される。対応するリスクベースの劣後要件は、所要基準の合計と同様に算出されるが、市場の信頼区間のバッファは含まない。

ノン・リスクベースの所要基準の合計は、百分率で表され、1)CRRに基づく第一の柱及び第二の柱のレバレッジ比率の最低基準の合計に相当する損失吸収額、並びに2)同額に相当する資本再構築額の合計をレバレッジ比



率のエクスポージャー指標で除して算出される。ノン・リスクベースの劣後要件は、所要基準の合計に等しい。

劣後要件は経過措置の対象となり、銀行は2024年度までに基準を満たすため、劣後債務の金額を徐々に増加させなければならない。

最低基準は、SND0及び関連規制当局により策定され、2023年12月20日に発表された当行グループの破綻処理計画に定められている。

当行グループの2023年度のMRELの基準は、連結勘定のリスク加重エクスポージャー額の合計の23.8%、レバレッジ比率5.5%に相当する。かかる基準は、損失吸収額及び資本再構築額により構成される。MRELの基準のうち、上位債務に劣後する債務及び自己資本によって満たされる必要のある部分は、リスク加重エクスポージャー額の合計の16.8%、レバレッジ比率の5.5%に相当する。

## 大口エクスポージャー

信用機関及び投資会社の健全性要件に関する2013年6月26日付欧州議会・欧州理事会規制CRR並びに修正規制(EU)648/2012に基づき、顧客又は関連するグループ顧客に対する金融機関のエクスポージャーが当該金融機関のTier 1資本の10%を超えると、かかるエクスポージャーは「大口」とみなされる。かかるエクスポージャーは、所轄官庁に報告されなければならない。金融機関はまた、自身の大口エクスポージャーが「Tier 1資本の10%を超えるエクスポージャー」という定義による大口エクスポージャーには当てはまらない場合でも、大口エクスポージャーの上位20件を報告するよう求められる場合がある。金融機関はまた、他の金融機関に対する大口エクスポージャー上位10件及び規制の枠組の外で銀行業務を行うシャドーバンキングに対する大口エクスポージャー上位10件を報告しなければならない。

これらの規制の下では、1人の顧客又は関連顧客グループに対するエクスポージャーが金融機関のTier 1資本の25%を超えることは認められない。一定の場合には、これを下回る上限が適用される。金融機関が規則を遵守しない場合、所轄官庁は、当該金融機関に是正を命じることができる。かかる命令は、罰金を伴うことがある。

## スウェーデン国内預金保証

EU指令を受け、スウェーデンは、預金保証法(lag (1995:1571) om insättningsgaranti)の可決により1996年に預金保護スキームを確立した。スキームの対象となる各金融機関は、かかるスキームに基づいて行われる可能性のある支払いの原資となる基金を維持するために、関連する保証機関(SND0)に年間手数料を支払わなければならない。その後、欧州及びスウェーデンのそれぞれのレベルにおいて預金保護スキームについて一定の改正があり、スウェーデン国内預金保証に基づく保証の上限額は、現在、1,050,000スウェーデン・クローネである。しかしながら、保証の額は、預金保証法に記載のとおり、住宅用不動産の売却又はその他の「ライフ・イベント」に関連した預金については一時的に引き上げられ、5百万スウェーデン・クローネとなっている。かかる保証は、その他の銀行、証券会社、保険会社、年金ファンド及び公的機関を除くすべての分野の預金顧客に適用される。保証には一定の制限があり、保険契約、有価証券による貯蓄又は個人年金貯蓄制度等はその対象ではない。

## スウェーデンの金融制度安定化計画

2008年、スウェーデンは、スウェーデンの金融制度の安定性を高め、世界金融危機がスウェーデン経済に及ぼす悪影響に対処するため、スウェーデン政府金融機関支援法(lag (2008:814) om statligt stöd till kreditinstitut)の可決により安定化基金を設立した。金融機関は、安定化基金に年間手数料を支払ってきた。BRRDのスウェーデンにおける施行に関連して、スウェーデン政府金融機関支援法は廃止され、スウェーデン破

産処理法((lag (2015:1016) om resolution)(危機管理条項を含む。))及びスウェーデン予防的状態支援法(lag (2015:1017) om förebyggande statligt stöd till kreditinstitut)(安定した金融機関への支援に関する条項を含む。))に置き換えられた。この破産処理法に基づき、危機的状況にある銀行への対処の財源は、第一に、ペイルイン等を通じて株主及び債権者が負担する資本再構成のための損失及び費用によってまかなわれる。しかしながら、特別な状況下においては国家的な支援が認められる。破産処理準備金がこの目的のために設定され、2016年から安定化手数料は、破産処理準備金手数料に置き換えられた。したがって金融機関からの手数料は、今後、安定化基金の代わりに破産処理準備金に寄与することとなる。現行の安定化基金の一部は、破産処理準備金に移された。残りの安定化基金は、予防的状態支援法に基づく予防的状態への支援に使用されることとなる。

## マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与

スウェーデンを本拠地とするすべての銀行及び金融市場機関は、マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与を防ぐことを目的としたスウェーデンの国内法に服している。新たなスウェーデン・マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与対策法(lag (2017:630) om åtgärder mot penningtvätt och finansiering av terrorism)は2017年8月2日に効力が発生し、同じ名称の旧法(lag (2009:62) om åtgärder mot penningtvätt och finansiering av terrorism)に取って代わった。旧法同様、当該法律は銀行及び金融機関がマネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与に関与することを禁止し、当該法律に違反していると疑われる取引をスウェーデン国家警察局に通報することをこれらの機関に求めている。

## ( 2 ) 【提出会社の定款等に規定する制度】

以下は、2024年3月20日の年次株主総会において採択された当行の定款の抜粋である。

## 資本金及び株式数

当行の資本金は、2,325,000,000スウェーデン・クローネ以上、9,300,000,000スウェーデン・クローネ以下とする。

株式数は、1,500,000,000株以上、6,000,000,000株以下とする。

A種株式及びB種株式の2種類の株式を発行することができる。A種株式の発行可能株式総数は6,000,000,000株であり、B種株式の発行可能株式総数は150,000,000株である。

A種株式は1株につき1議決権が付され、B種株式は1株につき10分の1の議決権が付される。

## 増資に際する株主の権利

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、新たにA種株式及びB種株式を発行することを決定した場合、A種株式及びB種株式の保有者は、従前の保有株式数の割合に応じて同種の新株を引き受ける優先権(第一優先権)を有する。第一優先権により引き受けられなかった株式は、すべての株主に対し引受けの募集が行われる(第二優先権)。かかる募集株式数が第二優先権による引受けに不足した場合、株式は引受人の保有株式数の割合に応じて分配されるか、また、これが不可能な場合は抽選により分配される。

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、A種株式又はB種株式のいずれか一方のみを発行することを決定した場合、すべての株主はその保有株式がA種株式であるかB種株式であるかにかかわらず、従前の保有株式数の割合に応じて新株を引き受ける優先権を有する。

当行が、現金による払込み又は債務の相殺により、ワラント又は転換可能証券を発行することを決定した場合、株主は、ワラントの行使によりその新たな引受けの対象となる株式にかかる発行が適用される場合と同様

にワラントを引き受ける優先権を有し、又は転換可能証券の転換により発行される株式にかかる発行が適用される場合と同様に転換可能証券を引き受ける優先権を有する。

上記は、当行が株主の優先権を排除して現金による払込み又は債務の相殺による株式発行を決定する機会を制限することを示唆するものではない。

## 取締役

法律に基づき株主総会以外の者により任命される取締役に加え、取締役会は8名以上15名以下の取締役に構成されるものとする。

## 監査人

法律に基づき株主総会以外の者により任命される監査人に加え、当行は1名若しくは2名の監査人及びこれに応じた数の代理監査人、又は1社若しくは2社の登録監査法人を置くものとする。

## 株主の株主総会出席に関する権利

会社法に従った議決権登録が株主総会の4銀行取引日前に行われることを考慮し、株主総会に参加を希望する株主は、総会の6銀行取引日前の状況を示した株主名簿全体の写しに記載されていなくてはならず、また、総会の招集通知に指定された日にちまでに当行本店に通知を行わなくてはならない。日曜日、その他の祝日、土曜日、夏至祭前日、クリスマスイブ又は大晦日を当該日として設定してはならず、また、総会から5営業日より前に設定してはならない。

株主は最大2名のアドバイザーを帯同することができるが、前段落に記載の要領でアドバイザーの人数を通知していた場合に限る。

## 株主総会の議長

株主総会は、取締役会会長又は当該目的のために取締役会が任命した者により開会される。

株主総会の議長は出席株主により選任される。

## 郵便投票

取締役会は、会社法に記載された手順に従い株主が総会に先立ち郵送により議決権を行使する権限を有することを、かかる総会に先立ち決定することができる。

## 年次株主総会

以下の項目が、年次株主総会の議題となる。

1. 総会の議長の選任
2. 議決権行使者リストの作成及び承認
3. 議題の承認
4. 2名の議事録署名者の選任
5. 総会招集の適法性の判断
6. 年次計算書類及び監査報告書並びに連結年次計算書類及び連結計算書類に対する監査報告書の提示
7. 決議事項
  - a) 損益計算書及び貸借対照表並びに連結損益計算書及び連結貸借対照表の承認

- b) 承認済み貸借対照表に基づく当行の利益又は損失の処分
  - c) 取締役及び最高経営責任者の責任免除
- 8. 取締役並びに、適用ある場合、監査人及び代理監査人の員数の決定
  - 9. 取締役及び、適用ある場合、監査人の報酬の決定
  - 10. 取締役並びに、適用ある場合、監査人及び代理監査人又は登録監査法人の選任

総会の管轄に服するその他の事項は、会社法又は定款に従うものとする。

## 2【外国為替管理制度】

1989年以降、スウェーデンにおいて有効な外国為替管理制度は存在しない。スウェーデン政府は、スウェーデン為替・クレジット規制法(lag (1992:1602) om valuta - och kreditreglering)により、スウェーデンが戦争中の場合又は戦争、戦争の脅威、深刻な事故若しくは特に大規模な短期資本移動による例外的な状況が存在する場合は、リクスバンクと協議の上で、外国為替管理を実施する権限を与えられている。また、スウェーデン政府は、外国為替管理が導入された場合、リクスバンクの要請により信用管理を実施する権限を与えられている。かかる管理の実施に関する一切の決議は、承認のために、決議から1ヶ月以内にスウェーデン議会に提出されなければならない。定められた期間内にかかる提出がなされない場合、当該決議はその効力を失う。

## 3【課税上の取扱い】

### (1)スウェーデンにおける課税上の取扱い

#### スウェーデンの租税

以下の概要は、スウェーデンの税法上スウェーデンの居住者とはみなされない当行によって日本で発行された社債(以下「本社債」という。)の所持人に関する一定のスウェーデンの課税上の影響について要約したものである。当該概要は、本有価証券報告書の日付現在有効なスウェーデンの法律に基づいており、一般的な情報提供のみを目的としている。当該概要は、本社債が貯蓄投資勘定(investeringssparkonto)又は養老保険(kapitalförsäkring)において保有される場合、本社債の削減若しくは転換の課税上の影響、かかる削減若しくは転換を行う関連規制当局の能力の存在、又は利息の支払人等の報告義務に関する規則についてはとりわけ対応していない。さらに、当該概要は、外国税の控除にも対応していない。投資家は、各々の個別の状況に応じて、スウェーデンの租税並びに本社債の取得、保有及び処分に係るその他の課税上の影響(二重課税回避のための租税条約の適用可否及び影響を含む。)について、専門の税務アドバイザーに相談すべきである。

#### スウェーデンの税法上居住者でない本社債の所持人

本社債の所持人に対する元本金額又はスウェーデンの税法上利息とみなされる金額の支払いについては、スウェーデンの所得税は課税されない。但し、かかる所持人が( )スウェーデンの税法上居住者でなく、かつ、( )本社債が有効に関連性を有する恒久的施設をスウェーデン国内に有しない場合に限る。

スウェーデンの税法上居住者でない本社債の所持人に対する元本又はスウェーデンの税法上利息とみなされる金額の支払いについては、スウェーデンの源泉徴収税又はスウェーデンの課税控除は適用されない。

#### スウェーデンの税法上居住者であった本社債の所持人

本社債が株式として課税される有価証券とみなされる場合、処分若しくは償還が行われた暦年中又は処分若しくは償還が行われた年に先立つ10暦年間のいずれかの時点においてスウェーデンにおける永住又は継続した居住により、税法上スウェーデンの居住者であった個人については、当該本社債の処分又は償還に際し、ス

ウェーデンのキャピタルゲイン税が課される。しかしながら多くの場合、当該規則の適用は、適用ある二重課税回避のための租税条約により全面的又は部分的に制限されている。

## (2)日本における課税上の取扱い

- ( )日本の居住者が支払いを受ける本社債の利息は、日本の租税に関する現行法令(以下「日本の税法」という。)上20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の源泉所得税を課される。さらに、日本の居住者は、申告不要制度又は申告分離課税を選択することができ、申告分離課税を選択した場合、20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の税率が適用される。日本の内国法人が支払いを受ける本社債の利息は、日本の税法上15.315%(所得税及び復興特別所得税の合計)の源泉所得税を課される。当該利息は当該法人の課税所得に含められ、日本の所得に関する租税の課税対象となる。但し、当該法人は当該源泉所得税額を、一定の制限の下で、日本の所得に関する租税から控除することができる。
- ( )本社債の譲渡又は償還による損益のうち、日本の居住者に帰属する譲渡益又は償還差益は、20.315%(所得税、復興特別所得税及び地方税の合計)の税率による申告分離課税の対象となる。但し、特定口座のうち当該口座内で生じる所得に対する源泉徴収を日本の居住者が選択したもの(源泉徴収選択口座)における本社債の譲渡又は償還による所得は、確定申告を不要とすることができ、その場合の源泉徴収税率は、申告分離課税における税率と同じである。日本の内国法人に帰属する譲渡損益又は償還差損益は当該法人のその事業年度の日本の租税の課税対象となる所得の金額を構成する。
- ( )日本の居住者は、本社債の利息、譲渡損益及び償還差損益について、一定の条件で、他の債券や上場株式等の譲渡所得、利子所得及び配当所得と損益通算及び繰越控除を行うことができる。
- (iv)本社債に係る利息及び償還差益並びに本社債の譲渡により生ずる所得で、日本に恒久的施設を持たない日本の非居住者及び外国法人に帰属するものは、日本の所得に関する租税は課されない。

## 4【法律意見】

当行の法律顧問であるクリスティーナ・ノルデンヘーク氏より、大要、以下の趣旨の法律意見書が出されている。

- (イ)当行は、スウェーデン法に基づく公開有限責任会社である銀行として適法に設立され、かつ有効に存続しており、本書に記載された事業を営み、その財産を所有及び運用するすべての権限及び権能を与えられている。
- (ロ)本書中のスウェーデンの法令に関するすべての記述は、すべての重要な点において真実かつ正確である。

## 第2【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

## 連結 - 当行グループの5年間の概要

連結損益計算書<sup>1, 3</sup>

(単位：百万スウェーデン・クローネ)	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
純利息収益	47,578	36,614	30,321	29,963	32,135
純手数料及びコミッション収益	11,139	10,981	11,458	9,670	10,697
金融取引による純損益	2,661	1,540	1,699	1,217	1,299
保険リスク			179	194	145
保険事業による純損益	493	-11			
その他配当金収益	3	17	2	53	113
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益	51	-13	63	18	32
その他収益	325	1,246	555	137	143
<b>収益合計</b>	<b>62,249</b>	<b>50,375</b>	<b>44,277</b>	<b>41,252</b>	<b>44,564</b>
人件費	-13,642	-13,040	-12,452	-13,907	-13,549
その他費用	-7,796	-6,526	-5,577	-5,245	-6,524
不動産及び器具備品並びに無形資産の 減価償却費、償却費及び減損費用	-1,743	-1,646	-1,814	-1,775	-1,670
<b>費用合計</b>	<b>-23,182</b>	<b>-21,212</b>	<b>-19,843</b>	<b>-20,927</b>	<b>-21,743</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料 控除前利益</b>	<b>39,067</b>	<b>29,163</b>	<b>24,434</b>	<b>20,325</b>	<b>22,821</b>
正味信用損失	-141	-47	-43	-649	-1,045
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	20	24	14	5	20
リスク税及び破綻処理手数料 <sup>2</sup>	-2,624	-2,311	-930	-884	
<b>営業利益</b>	<b>36,322</b>	<b>26,829</b>	<b>23,475</b>	<b>18,797</b>	<b>21,796</b>
法人税等	-8,417	-5,431	-4,627	-4,240	-4,871
<b>継続事業からの当期利益</b>	<b>27,905</b>	<b>21,398</b>	<b>18,848</b>	<b>14,557</b>	<b>16,925</b>
非継続事業からの当期利益(税引後)	1,209	280	695	1,031	
<b>当期利益</b>	<b>29,114</b>	<b>21,678</b>	<b>19,543</b>	<b>15,588</b>	<b>16,925</b>
<b>帰属先：</b>					
当行の株主	29,107	21,676	19,527	15,585	16,922
うち、継続事業	27,898	21,395	18,834	14,556	
うち、非継続事業	1,209	281	693	1,029	
非支配株主持分	8	1	16	3	3

## 事業合計からの一株当たり利益

(単位：スウェーデン・クローネ)	14.70	10.95	9.86	7.87	8.65
------------------	-------	-------	------	------	------

- 希薄化後	14.70	10.95	9.86	7.87	8.58
--------	-------	-------	------	------	------

## 継続事業からの一株当たり利益

(単位：スウェーデン・クローネ)	14.09	10.81	9.51	7.35
------------------	-------	-------	------	------

- 希薄化後	14.09	10.81	9.51	7.35
--------	-------	-------	------	------

## 非継続事業からの一株当たり利益

(単位：スウェーデン・クローネ)	0.61	0.14	0.35	0.52
------------------	------	------	------	------

- 希薄化後	0.61	0.14	0.35	0.52
--------	------	------	------	------

<sup>1</sup> 当行がフィンランド及びデンマークでの事業停止を決定した結果、2021年12月31日現在及び2022年12月31日現在において、これらは非継続事業として計上されている。デンマークにおける事業の売却は2022年度に完了したため、2023年12月31日現在、フィンランドにおける事業のみが非継続事業として計上されている。比較可能性の観点から、2020年12月31日に終了した年度の損益計算書は修正再表示されている。2019年度の損益計算書は、非継続事業に関して修正再表示されていない。

<sup>2</sup> リスク税及び破綻処理手数料は、2022年第1四半期をもって、純利息収益内ではなく、営業利益内の独立項目として計上されるようになった。そのため、表に示された2020年度から2021年度の収益の比較数値は修正再表示されている。しかしながら、2019年度の比較数値は修正再表示されていない。

<sup>3</sup> 当行グループは、2023年度からIFRS第17号「保険契約」を適用している。関連する比較数値(損益計算書、貸借対照表及び主要指標)は、これらの規制が2022年度中にも適用されたものとして修正再表示されている。2019年度から2021年度の数値はIFRS第17号への移行に関して修正再表示されていない。その他の開示事項は、下記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記G1 重要性がある会計方針」及び「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記G52 IFRS第17号への移行」に記載されている。

**連結包括利益計算書**

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
当期利益	29,114	21,678	19,543	15,588	16,925

**その他包括利益****損益計算書に組み替えられない項目**

確定給付年金制度	-2,226	3,049	6,820	1,523	4,262
その他包括利益を通じて公正価値で測定される資 本性金融商品	63	41	62	-583	372
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	439	-642	-1,401	-256	-931
うち、確定給付年金制度	450	-622	-1,398	-267	-910
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定 される資本性金融商品	-11	-19	-3	11	-21
<b>損益計算書に組み替えられない項目合計</b>	<b>-1,724</b>	<b>2,448</b>	<b>5,481</b>	<b>684</b>	<b>3,703</b>

**その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目**

キャッシュフロー・ヘッジ	614	-2,640	-1,970	-1,124	3,741
その他包括利益を通じて公正価値で測定される負 債性金融商品	25	-60	6	7	7
保険契約	-396	793			
当期為替換算差額	-1,078	2,312	3,201	-4,269	1,072
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	31	-297	-910	848	-1,509
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある 項目に係る税金	113	-15	595	93	-480
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	-127	544	406	274	-801
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定 される負債性金融商品	-5	6	-1	-1	-2
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	-6	61	190	-180	323
うち、為替換算差額に係る税金	251	-626			

**その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計**

	-722	390	1,832	-5,293	4,340
--	------	-----	-------	--------	-------

<b>その他包括利益合計</b>	<b>-2,447</b>	<b>2,838</b>	<b>7,313</b>	<b>-4,609</b>	<b>8,043</b>
------------------	---------------	--------------	--------------	---------------	--------------

**当期包括利益合計**

<b>当期包括利益合計</b>	<b>26,667</b>	<b>24,516</b>	<b>26,856</b>	<b>10,979</b>	<b>24,968</b>
帰属先：					
当行の株主	26,662	24,516	26,840	10,976	24,965
非支配株主持分	5	1	16	3	3



**連結貸借対照表<sup>1, 2</sup>**

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
<b>資産</b>					
現金及び中央銀行 <sup>3</sup>	482,453	480,472	292,839	418,968	347,505
その他金融機関への貸出金	19,294	9,411	21,745	21,920	17,939
一般顧客への貸出金 <sup>4</sup>	2,282,151	2,299,202	2,161,235	2,269,637	2,292,628
利付証券	249,215	165,475	133,855	143,699	146,027
売却目的で保有する資産	178,590	191,916	421,417	1,657	1
その他資産	326,087	307,242	315,673	279,407	265,567
<b>資産合計</b>	<b>3,537,792</b>	<b>3,453,718</b>	<b>3,346,764</b>	<b>3,135,288</b>	<b>3,069,667</b>
<b>負債及び資本</b>					
金融機関からの預り金	90,143	81,693	83,034	124,723	147,989
一般顧客からの預金及び借入金	1,298,480	1,318,925	1,286,637	1,229,763	1,117,825
発行済証券	1,523,481	1,474,801	1,353,768	1,310,737	1,384,961
売却目的で保有する負債	63,721	68,938	133,922		
劣後負債	43,117	42,404	32,257	41,082	35,546
その他負債	313,762	272,932	275,415	257,510	223,514
資本	205,085	194,024	181,731	171,473	159,832
<b>負債及び資本合計</b>	<b>3,537,792</b>	<b>3,453,718</b>	<b>3,346,764</b>	<b>3,135,288</b>	<b>3,069,667</b>

<sup>1</sup> 2021年12月31日現在、デンマーク及びフィンランドにおける事業は、貸借対照表上では、売却目的で保有する資産及び売却目的で保有する負債に再分類されている。その結果、2021年12月31日現在から2023年12月31日現在の一定の項目について、2019年12月31日現在から2020年12月31日現在までのそれらの項目と直接比較することはできない。

<sup>2</sup> 当行グループは、2023年度からIFRS第17号「保険契約」を適用している。関連する比較数値(損益計算書、貸借対照表及び主要指標)は、これらの規制が2022年度中にも適用されたものとして修正再表示されている。2019年度から2021年度の数値はIFRS第17号への移行に関して修正再表示されていない。その他の開示事項は、下記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記G1 重要性がある会計方針」及び「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記G52 IFRS第17号への移行」に記載されている。

<sup>3</sup> この項目は、「現金及び中央銀行預け金」並びに「中央銀行へのその他の貸出金」の合計を示している。

<sup>4</sup> この項目は、「ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ対象の価値変動」を含む。

**当行グループの主要指標<sup>1</sup>**

	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
継続事業からの信用損失、リスク税及び破綻処理 手数料控除前利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	39,067	29,163	24,434	20,326	22,821
継続事業からの正味信用損失 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	-141	-47	-43	-649	-1,045
継続事業からの営業利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	36,322	26,829	23,475	18,797	21,796
事業合計からの当期利益 (単位：百万スウェーデン・クローネ)	29,114	21,678	19,543	15,588	16,925

## 継続事業からの当期利益

(単位：百万スウェーデン・クローネ)	27,905	21,398	18,848	14,557
--------------------	--------	--------	--------	--------

## 非継続事業からの当期利益

(単位：百万スウェーデン・クローネ)	1,209	280	695	1,031
--------------------	-------	-----	-----	-------

資産合計(単位：百万スウェーデン・クローネ)

3,537,792	3,453,718	3,346,764	3,135,288	3,069,667
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

資本(単位：百万スウェーデン・クローネ)

205,085	194,024	181,731	171,473	159,832
---------	---------	---------	---------	---------

事業合計からの株主資本利益率(単位：％)

15.9	12.8	11.8	10.0	11.9
------	------	------	------	------

継続事業からの株主資本利益率(単位：％)

15.3	12.6	11.4	9.3	11.9
------	------	------	-----	------

総資産利益率(単位：％)

0.81	0.61	0.58	0.47	0.55
------	------	------	------	------

## 継続事業からの収益に対する費用の比率

(以下「C/I比率」という。)(単位：％)	37.2	42.1	44.8	50.7	48.8
-----------------------	------	------	------	------	------

事業合計からの信用損失率(単位：％)

0.00	0.00	0.00	0.03	0.04
------	------	------	------	------

継続事業からの信用損失率(単位：％)

0.01	0.00	0.00	0.02	0.04
------	------	------	------	------

## 事業合計からの一株当たり利益

(単位：スウェーデン・クローネ)	14.70	10.95	9.86	7.87	8.65
------------------	-------	-------	------	------	------

- 希薄化後	14.70	10.95	9.86	7.87	8.58
--------	-------	-------	------	------	------

## 継続事業からの一株当たり利益

(単位：スウェーデン・クローネ)	14.09	10.81	9.51	7.35
------------------	-------	-------	------	------

- 希薄化後	14.09	10.81	9.51	7.35
--------	-------	-------	------	------

## 非継続事業からの一株当たり利益

(単位：スウェーデン・クローネ)	0.61	0.14	0.35	0.52
------------------	------	------	------	------

- 希薄化後	0.61	0.14	0.35	0.52
--------	------	------	------	------

## 一株当たり普通配当金

(単位：スウェーデン・クローネ)	6.50	5.50	5.00	4.10	-
------------------	------	------	------	------	---

## 一株当たり配当金合計

(単位：スウェーデン・クローネ)	13.00	8.00	5.00	8.42	-
------------------	-------	------	------	------	---

## 一株当たり調整後資本

(単位：スウェーデン・クローネ)	103.48	98.14	90.87	84.90	78.60
------------------	--------	-------	-------	-------	-------

12月31日現在の株式数(単位：百万株)

1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,980.0
---------	---------	---------	---------	---------

うち、発行済株式数	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,980.0
-----------	---------	---------	---------	---------	---------

発行済株式の平均株式数(単位：百万株)

1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,956.8
---------	---------	---------	---------	---------

- 希薄化後	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,980.0	1,976.9
--------	---------	---------	---------	---------	---------

CRRによる普通株式等Tier 1比率(単位：％)

18.8	19.6	19.4	20.3	18.5
------	------	------	------	------

CRRによるTier 1比率(単位：％)

20.6	21.5	21.1	21.9	20.7
------	------	------	------	------

CRRによる総自己資本比率(単位：％)

23.9	23.8	23.3	24.3	23.2
------	------	------	------	------

事業合計からの平均従業員数	12,216	12,030	12,240	12,563	12,548
うち、継続事業	11,683	10,954	11,039	11,354	

<sup>1</sup> 当行グループは、2023年度からIFRS第17号「保険契約」を適用している。関連する比較数値(損益計算書、貸借対照表及び主要指標)は、これらの規制が2022年度中にも適用されたものとして修正再表示されている。2019年度から2021年度の数値はIFRS第17号への移行に関して修正再表示されていない。その他の開示事項は、下記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記G1 重要性がある会計方針」及び「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記G52 IFRS第17号への移行」に記載されている。

## 非連結 - 当行の5年間の概要

### 非連結損益計算書

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
純利息収益	25,946	18,230	13,502	13,456	13,039
受取配当金	15,957	16,953	17,611	15,937	17,338
純手数料及びコミッション収益	4,573	5,167	5,230	5,692	6,011
金融取引による純損益	1,745	820	1,808	1,869	618
その他営業収益	4,230	4,841	3,576	2,790	2,638
<b>営業収益合計</b>	<b>52,452</b>	<b>46,011</b>	<b>41,727</b>	<b>39,744</b>	<b>39,644</b>
一般管理費用					
人件費	-11,456	-11,990	-10,242	-11,689	-10,148
その他管理費用	-7,453	-7,415	-6,002	-5,684	-5,808
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-2,334	-2,459	-2,803	-2,672	-2,156
<b>信用損失控除前費用合計</b>	<b>-21,243</b>	<b>-21,864</b>	<b>-19,047</b>	<b>-20,045</b>	<b>-18,112</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前利益</b>	<b>31,208</b>	<b>24,148</b>	<b>22,680</b>	<b>19,699</b>	<b>21,532</b>
正味信用損失	58	-41	-55	-477	-1,059
金融固定資産の減損損失	-1,524	-2,305	-1,180	-79	-148
リスク税及び破綻処理手数料 <sup>1</sup>	-1,633	-1,331	-366	-385	
<b>営業利益</b>	<b>28,110</b>	<b>20,471</b>	<b>21,079</b>	<b>18,758</b>	<b>20,325</b>
繰入		-160	227	743	-380
<b>税引前利益</b>	<b>28,110</b>	<b>20,311</b>	<b>21,306</b>	<b>19,501</b>	<b>19,945</b>
法人税等	-5,747	-4,856	-4,618	-4,275	-4,297
<b>当期利益</b>	<b>22,363</b>	<b>15,455</b>	<b>16,688</b>	<b>15,226</b>	<b>15,648</b>
当期配当金	25,740	15,840	9,900	16,666	-

<sup>1</sup> 破綻処理手数料は、2022年第1四半期をもって、純利息収益内ではなく、営業利益内の独立項目として計上されるようになった。また、リスク税も同項目の一部として計上されている。そのため、表に示された2020年度及び2021年度の収益の比較数値は再計算されている。しかしながら、2019年度の比較数値は再計算されていない。

**包括利益計算書**

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
当期利益	22,363	15,455	16,688	15,226	15,648

**その他包括利益****損益計算書に組み替えられない項目**

その他包括利益を通じて公正価値で測定される資

本性金融商品	63	41	62	-583	372
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-11	-19	-3	11	-21
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	-11	-19	-3	11	-21
<b>損益計算書に組み替えられない項目合計</b>	<b>52</b>	<b>22</b>	<b>59</b>	<b>-572</b>	<b>351</b>

**その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目**

キャッシュフロー・ヘッジ	-1,571	3,411	246	-1,677	1,751
その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	25	-61	6	7	7
当期為替換算差額	-1,289	1,326	1,034	-2,184	-259
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	5	-83	-63	-256	-826
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目に係る税金	522	-1,251	-39	420	-200
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	324	-703	-51	365	-375
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	-5	6	-1	-1	-2
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	-1	17	13	56	177
うち、為替換算差額	204	-572			

**その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計**

	<b>-2,313</b>	<b>3,425</b>	<b>1,247</b>	<b>-3,434</b>	<b>1,299</b>
<b>その他包括利益合計</b>	<b>-2,262</b>	<b>3,447</b>	<b>1,306</b>	<b>-4,006</b>	<b>1,650</b>
<b>当期包括利益合計</b>	<b>20,100</b>	<b>18,902</b>	<b>17,994</b>	<b>11,220</b>	<b>17,298</b>

**非連結貸借対照表**

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
<b>資産</b>					
一般顧客への貸出金 <sup>1</sup>	591,340	621,110	609,948	566,158	620,175
金融機関への貸出金	1,007,992	1,025,664	986,897	953,650	890,557
利付証券	249,919	166,117	134,861	145,648	156,466
その他資産	511,092	549,998	498,428	459,407	412,307
<b>資産合計</b>	<b>2,360,344</b>	<b>2,362,889</b>	<b>2,230,134</b>	<b>2,124,863</b>	<b>2,079,505</b>
<b>負債及び資本</b>					
一般顧客からの預金及び借入金	1,109,471	1,137,272	1,173,172	1,021,130	918,146
金融機関からの預り金	176,143	169,617	153,490	193,054	208,697
発行済証券	806,167	806,013	679,808	657,520	724,640
劣後負債	43,117	42,404	32,257	41,082	35,546
その他負債	66,147	52,829	46,481	68,305	59,863
非課税剰余金	867	867	706	933	1,678
資本	158,431	153,887	144,220	142,839	130,935
<b>負債及び資本合計</b>	<b>2,360,344</b>	<b>2,362,889</b>	<b>2,230,134</b>	<b>2,124,863</b>	<b>2,079,505</b>

<sup>1</sup> この項目は、「ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ対象の価値変動」を含む。

**当行の主要指標**

(単位：%)

	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
CRRによる普通株式等Tier 1比率	29.8	29.4	30.2	31.7	20.2
CRRによるTier 1比率	33.4	32.9	33.4	34.6	23.0
CRRによる総自己資本比率	39.9	37.2	37.4	38.8	26.2
総資産利益率	0.90	0.63	0.72	0.65	0.74

## 2【沿革】

当行は、ストックホルムズ・ハンデルズバンクとして、1871年にストックホルムにおいて当初設立された。ストックホルムズ・ハンデルズバンクは1873年に株式をストックホルム証券取引所に上場させ、1919年にスヴェンスカ・ハンデルスバンケンに名称を変更した。

当行は当初、地元のストックホルム市場に重点を置き、かかる市場において確固たる地位を築いた。20世紀の初めの10年間に於いて、当行は、最初にスウェーデンの北部、次いで南部における複数の地方銀行を買収することによって成長した。

第二次世界大戦後の期間において、当行は統合が進んだスウェーデンの銀行市場において拡大を続けた。1955年に当行は、モーゲージ会社であるSIGAB(後にハンデルスバンケン・フィポテックに名称を変更。)を買収した。1963年に当行は、スウェーデンの最初の金融会社であるスヴェンスカ・フィナンス(後のハンデルスバンケン・フィナンス)と合併した。1971年に当行は、一定のミューチュアル・ファンドを販売する総代理店を買収し、同社は当行のファンド管理会社であるハンデルスバンケン・フォンデル・エイ・ビー(以下「ハンデルスバンケン・フォンデル」という。)となった。長期にわたった地方銀行の買収は、1990年のスカンスカ・バンケンの買収により完了した。モーゲージ会社であるスタッドフィポテック・エイ・ビー(以下「スタッドフィポテック」という。)は、1997年に買収された。

1969年に当行は分権化し、当行の支店は当行グループの地域銀行の傘下に再編成された。各地域銀行は高度な自治権を与えられ、営業を行っている。当行グループは、規模よりも利益率、またその他のスウェーデンの上場銀行の平均を上回る株主資本利益率を達成することに焦点を移した。この期間中、当行の主要株主の一つとなった従業員利益分配基金のオクトゴネン・ファウンデーションが設立された。

1990年代に当行は、小規模の買収及び内部成長の組合せを通じて、その他の北欧諸国における活動を増やし始めた。今日、当行は、北欧諸国、英国及びオランダを当行の本拠地市場であると考えている。英国については、とりわけ21世紀の最初の10年間に於ける成長を目標としていた。

1992年に当行は、生命保険相互会社であるRKA(後のハンデルスバンケン・リヴ)を買収することにより、保険業界に進出した。2001年に当行は、生命保険会社であるSPPを買収し、これにより当行はスウェーデンにおける生命保険会社最大手の1社となった。SPPは、2007年12月21日にストアブランド・エイ・エス・エイに売却された。

2019年度の戦略的な見直し後、地域銀行制度に代わり、スウェーデンにおける支店業務の責任者に直属する県単位の組織を設置し、スウェーデンにおける支店業務を再編成することを決定した。2020年度には、英国における支店業務についても同様の決定がなされた。しかし、1960年代後半に確立された分権的な構造及び戦略的目標は今も継続している。2021年度中、当行は、デンマーク及びフィンランドにおける事業を停止し、収益性の高い成長及び強力な市場地位のための最適な条件が揃うスウェーデン、ノルウェー及び英国にプレゼンスを集中させることを決定した。デンマークにおける事業は2022年11月に売却されたが、フィンランドにおける事業売却の手続きは進行中である。下記「第6 - 3 - (2) 後発事象」を参照のこと。

## 3【事業の内容】

当行グループは、スウェーデンの主力銀行グループであり、主に当行グループの本拠地市場で、個人顧客及び法人顧客に対し、幅広い従来の銀行サービスに加え様々な投資サービス及びその他の金融サービスを提供している。かかるサービスには、住宅ローン、法人を対象とした相対貸出及び資本市場を通じた資金調達などのファイナンス、資産管理、年金及び保険などの貯蓄分野におけるサービス、プライベート・バンキング並びに様々な支払ソリューションだけでなく様々な補償ソリューションが含まれる。当行グループは、スウェーデン、ノルウェー、英国及びオランダを本拠地市場であると考え、当該地域において行われる業務は国内業務であると考えている。デンマークにおける事業は2022年度中に売却され、またフィンランドにおける事業を売却

するための手続は進行中であり、2024年度下半期に事業の一部を売却することについて合意に達している。当該手続が完了するまで、フィンランドにおける事業は、非継続事業として財務報告される。当行は、各地域における高水準の意思決定権を備えた分権的な事業モデルを採用している。当該事業は、各本拠地市場における支店網及びその他の会議施設を通じて行われている。また当行グループは、ルクセンブルグ及びニューヨークでも事業を展開している。下記「第3 事業の状況」を参照のこと。2023年12月31日に終了した事業年度において、当行グループの継続事業における平均従業員数は11,683名であった。

当行グループは本書提出日現在、以下の5つの事業セグメントから成る。

・ハンデルスバンケン・スウェーデン

スウェーデンにおける支店業務により構成されており、また県単位の組織により編成され、かかる県の統括は最高経営責任者に直属する。当該セグメントは、スウェーデンにおける貯蓄及び年金部門を含み、また当行が完全所有する住宅金融専門機関であるスタッドフィポテックのスウェーデンにおける業務に加えて、様々なパートナーを通じて消費者向けの融資商品を提供するエクスターも含まれる。しかしながら、エクスターは解散手続中である。

・ハンデルスバンケン英国

14の地域で構成される英国における支店業務及び子会社のハンデルスバンケン・ウェルス&アセットマネジメントから成るハンデルスバンケン・ピー・エル・シーにより構成される。各地域の統括はハンデルスバンケン英国の代表に直属する。

・ハンデルスバンケン・ノルウェー

ノルウェーにおける支店業務に加え、ノルウェーにおけるスタッドフィポテックの業務により構成されており、また地域の貯蓄及び年金部門を含む。

・ハンデルスバンケン・ネザーランド

オランダにおける支店業務に加え、オブティミクス・ベルモーゲンズベヒールにおける資産運用事業により構成されている。

・ハンデルスバンケン・マーケット

次の2つの事業分野により構成される。市場部門及びハンデルスバンケン・グローバル・バンキング。市場部門は、リスク管理、有価証券、デリバティブ、リサーチ、デット・キャピタル・マーケット、コーポレート・ファイナンス及び取引銀行(現金管理、トレード・ファイナンス及びエクスポート・ファイナンス)に関連する商品及びサービスを提供している。ハンデルスバンケン・グローバル・バンキングは、ルクセンブルグ及びニューヨークにおいて展開される国際業務並びに金融インフラにより構成される。

上記の事業セグメントに加え、「その他の部門」には、グループIT部、本社スタッフ業務及びオクトゴーネン利益分配制度への引当金を含む、事業セグメントに計上されていない部門に帰属する収益及び費用の項目も含まれている。

当行グループの事業は分権的であり、各支店が個別に、中央組織の専門家の協力体制の下、必要に応じて顧客へのサービスを調整する責任を有している。このため、当行グループでは、中央の業務部門よりは支店が、各個別顧客向けに当行グループの商品及びサービスのマーケティングを行う責任を有している。但し、かかる分権体制は一元化されたリスク管理により支えられている。

当行は、スウェーデンの銀行法に基づき設立された公開有限責任会社であり、ストックホルム県において登記されている。当行の登録事務所の所在地は、スウェーデン王国 SE-106 70 スtockホルム クングストラッドゴードシュガータン2である。

## 4【関係会社の状況】

2023年12月31日現在、当行は、15の直接所有子会社及び連結会計において持分法に基づく6つの直接所有関連会社を有している。

当行グループの主要な子会社は、以下のとおりである。

ハンデルスバンケン・フォンデルは、当行グループのミューチュアル・ファンドの運用及び管理並びに顧客のために資金の一任的な運用及び管理を行っている。ハンデルスバンケン・フォンデルは、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド及びルクセンブルグにおいて、該当する場合には適用される届出手続に従い、自社のミューチュアル・ファンドを販売している。

当行の完全所有子会社であるハンデルスバンケン・リヴは、定期生命保険、終身生命保険及び顧客が保険に関するスウェーデンの一定の税制の恩恵を受けることができる貯蓄型保険を含む、幅広い生命保険商品を提供しており、スウェーデンの生命保険市場における主要な参加企業の1つである。本書提出日現在、ハンデルスバンケン・リヴは、スウェーデン及びフィンランドにおいて事業を展開しており、その商品は、これらの国々で当行の支店網を通じて市場に提供され、販売されている。しかし、フィンランドにおける事業の廃止が決定され、フィンランドにおけるハンデルスバンケン・リヴの事業はフェンニア生命保険会社に売却される。かかる取引は2024年度下半期に完了する予定である。

スタッドフィポテックは、一世帯用住宅、セカンドハウス、住宅共同組合のアパート、農業／林業用地、集合住宅、商業施設及びオフィスビルのための住宅ローンを提供している。スタッドフィポテックの活動は、スウェーデンに集中しているが、ノルウェー及びフィンランド各国においても支店がある。スタッドフィポテックの業務は、かかる国々における当行の支店業務に完全に統合されている。フィンランドにおける事業売却の手続きは進行中であり、2024年度下半期中に完了する予定である。

ハンデルスバンケン・ピー・エル・シーは、英国における事業活動を担う当行の英国における完全所有子会社である。英国支店の事業活動は、2018年12月1日付でかかる子会社に移管された。ハンデルスバンケン・ピー・エル・シーは、英国全域に支店のネットワークを有し、当行グループのその他の地域と同じ原則に従って、個人顧客及び法人顧客に対し銀行サービスを提供している。

当行には、親会社はない。

以下の表は、当行の重要な子会社を示している。持分法適用関連会社に関する特定の情報については、下記「第6 - 1 - (2) 個別財務書類 - 注記P17」を参照のこと。

会社名	住所	株式資本	保有比率
		(単位：百万スウェーデン・クローネ)	
子会社			
ハンデルスバンケン・ピー・エル・シー <sup>1, 2</sup>	ロンドン	59	100%
スタッドフィポテック・エイ・ビー <sup>1, 2</sup>	ストックホルム	4,050	100%
ハンデルスバンケン・フォンデル・エイ・ビー	ストックホルム	1.5	100%
ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビー	ストックホルム	100	100%

<sup>1</sup> 金融機関

<sup>2</sup> 2023年12月31日現在の当行グループの連結財務書類に記載の収益合計に対するスタッドフィポテック・エイ・ビー及びハンデルスバンケン・ピー・エル・シーの非連結基準の営業収益合計の割合は、10%を超過する。



2023年12月31日現在及び同日に終了した事業年度におけるスタッドフィポテック・エイ・ビーの非連結基準の損益等に係る主な情報は、以下のとおりである。

- ( ) 営業収益合計： 12,876百万スウェーデン・クローネ
- ( ) 当期利益： 7,435百万スウェーデン・クローネ
- ( ) 資産合計： 1,604,467百万スウェーデン・クローネ
- ( ) 資本合計： 62,308百万スウェーデン・クローネ

2023年12月31日現在及び同日に終了した事業年度におけるハンデルスバンケン・ピー・エル・シーの非連結基準の損益等に係る主な情報は、以下のとおりである。

- ( ) 営業収益合計： 13,259百万スウェーデン・クローネ
- ( ) 当期利益： 7,573百万スウェーデン・クローネ
- ( ) 資産合計： 436,026百万スウェーデン・クローネ
- ( ) 資本合計： 38,927百万スウェーデン・クローネ

## 5【従業員の状況】

2023年12月31日に終了した事業年度において、継続事業においては平均11,683名の従業員を有していた。

2023年12月31日に終了した事業年度における当行グループの継続事業における各事業セグメント毎の従業員数は、以下のとおりである。

	平均従業員数
スウェーデンにおける支店業務	4,099
英国における支店業務	2,707
ノルウェーにおける支店業務	828
オランダにおける支店業務	388
ハンデルスバンケン・マーケット	605
その他の部門	3,056
<b>継続事業合計</b>	<b>11,683</b>

\* 上表の数値には、当行グループのデンマーク及びフィンランドにおける事業の従業員数は含まれていない。

## 第3【事業の状況】

### 1【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

#### (1)経営方針及び対処すべき課題等

当行グループの総合的な目的は、本拠地市場における同業銀行の平均を上回る水準の収益性を達成し、その結果として、景気循環にわたり一株当たり利益の増加を伴う、長期的な価値の高成長を株主にもたらすことである。かかる目的を実現するため、当行グループは、支店網を通じた顧客への高品質なサービスの提供、質の高い貸出金ポートフォリオの維持及びコスト効率の確保に力を注いでいる。当行は、有機的な成長を目指す戦略に基づいて活動している。

当行グループは、主にその本拠地市場であるスウェーデン、ノルウェー、英国及びオランダにおいて、個人顧客及び法人顧客に対し、幅広い従来の銀行サービスに加え様々な投資サービス及びその他の金融サービスを提供している。かかるサービスには、住宅ローン、法人を対象とした相対貸出及び資本市場を通じた資金調達などのファイナンス、資産管理、年金及び保険などの貯蓄分野におけるサービス、プライベート・バンキング並びに様々な支払ソリューションだけでなく様々な補償ソリューションが含まれる。当該事業は、各本拠地市場における支店網及びその他の会議施設を通じて行われ、近年では、顧客が、当行と取引を行う様々なチャネル間を円滑に移動できるようにすることを目的として、個人顧客の分野を対象とした新たなデジタル・サービスの開発に向けて追加の資源が注がれている。

2019年度の戦略的な見直し後、当行は、地域銀行制度に代わり、スウェーデンにおける支店業務の責任者に直属する県単位の組織を設置し、スウェーデンにおける支店業務を再編成することを決定した。2020年度には、英国における支店業務についても同様の決定がなされた。2021年度中、当行は、デンマーク及びフィンランドにおける事業を売却することを決定した。デンマークにおける事業は2022年11月に売却され、フィンランドにおける事業売却の手続きは進行中である。2023年5月に当行は、フィンランドにおける当行の事業の一部を譲渡することに関して合意に達した。かかる取引は2024年度下半期中に完了する予定である。フィンランドにおける事業の売却に関する追加情報については、下記「第6-1-(1) 連結財務書類 - 注記G14」を参照のこと。

当行グループは、そのサステナビリティ活動に関して、2つの包括的な目標を設定した。それは、同業他社の中で最も持続可能な銀行となり、かつ最も持続可能な銀行であると認識されること、及び温室効果ガスの排出量を可能な限り早く(遅くとも2040年度までに)実質ゼロにすることである。これは、貸付、リース及び投資並びに当行自身の事業運営を含む。当行グループの事業活動は、それが融資、貯蓄及び投資又はアドバイザー・サービスに関連するものであるかにかかわらず、長期的な責任感により特徴づけられる。

#### (2)経営環境

当行グループの資産及び顧客の多数は、スウェーデン、ノルウェー及び英国に所在し又は関連する事業を有している。その結果、当行グループは、これらの国々のマクロ経済状況の影響を大きく受ける。

ウクライナにおける戦争の勃発以降、インフレが進行し、GDP成長率は鈍化している。スウェーデン統計局(Sw. Statistiska Centralbyrån)によると、2021年度及び2022年度におけるスウェーデンのGDP成長率はそれぞれ4.8%及び2.6%であったが、2023年度には0.2%下降した。当行は、2024年度中にGDPが0.4%成長し、2025年度中も2.8%の着実な成長が続くと予測している。スウェーデン以外の本拠地市場においても、2023年度中はマイナス成長又は低成長となり、当行の最新の見積りでは、2024年度中、英国及びノルウェーにおける実質GDPはそれぞれ0.6%及び0.8%増加すると予想されている。インフレ率は2023年度を通じて高いままであったが、低下傾向にある。当行の最新の予測では、スウェーデンにおける2024年度の年間のCPIF(固定金利における消費者物価指数)のインフレ率は、2.2%に達すると見込まれており、2.0%のインフレ目標は2024年度末又は2025年度の初めに達成されると予想されている。

2022年度及び2023年度の高インフレにより、リクスバンクは政策金利を引き上げた。2022年度中、政策金利は数回にわたり0%から2.50%へ引き上げられ、2023年度中、リクスバンクは政策金利を4.0%まで継続的に引き上げた。2024年5月8日、リクスバンクは8年ぶりに金利の引き下げを発表し、政策金利を0.25パーセント・ポイント引き下げて、3.75%とした。加えて、インフレの見通しが維持された場合、2024年度下半期に政策金利をさらに2回引き下げる可能性があるとしてリクスバンクは予想している。

住宅不足及び低金利を含むいくつかの要因により、スウェーデンにおける特に個人へのモーゲージ貸付高が増加した。スウェーデン統計局(Sw. Statistiska Centralbyrån)によると、2010年度から2022年度にかけて住宅価格は年率約6%上昇した。同期間に、可処分所得に占める家計負債の割合は19%増加し、スウェーデンの世帯における負債比率(可処分所得に対するローン)は、平均で、2010年度の150%と比較して、2022年度には178%となった。その結果、スウェーデンの個人の負債の水準は記録的に高い水準となっている。したがって、個人は金利の上昇、収益の損失及び住宅価格の下落の影響をより受け易くなる。個人の負債の増加に関連するリスクを低減する手段として、2016年6月に住宅ローンに関連する償却要件が導入され、それ以降、さらなる償却要件が導入されている。さらに、最近の高インフレ及び2022年度中及び2023年度中の住宅ローンの利率上昇により、取引の減少及び価格の下落が生じ、住宅市場の状況は変化した。2022年度中、年間で住宅の価格は10%、アパートの価格は9%下落したが、2023年度中は価格が安定し、わずかに上昇した。

当行グループはスウェーデンにおいて市場リーダーであり、スウェーデンにおいて営業する4つの主要な銀行の1つであって、その他3つの銀行はノルディア・バンク・エイ・ビー・ピー・フィリアル・アイ・スヴェリエ(Nordea Bank Abp filial i Sverige)、スカンジナビスカ・エンスキルダ・バンケン・エイ・ビー(Skandinaviska Enskilda Banken AB)及びスウェドバンク・エイ・ビー(Swedbank AB)である。当行グループは、スウェーデン及び海外の両方において当行グループが事業展開する市場内で厳しい競争にさらされている。商業銀行に加えて、当行は金融会社及び住宅金融専門機関とも競合している。

銀行部門を含む社会のデジタル化の速度及び範囲は近年加速しており、その結果、顧客はますますデジタル・チャンネルを通じて銀行取引を行っている。当行は引き続き、当行のサービスをデジタル化し、顧客の希望やニーズに合わせているが、これらのデジタル・サービスは支店の現地拠点と連携している。

経営環境に関する追加情報については、下記「第3 - 3 事業等のリスク - 気候変動、大惨事、テロ攻撃、戦争行為及び自然災害などの世界の経済状況及び地政学的展開は、当行グループの事業、利益及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性がある。」及び「第3 - 3 事業等のリスク - 当行グループが事業を行っている英国を含むその他の市場のマクロ経済情勢は、当行グループの業績に悪影響を及ぼす可能性がある。」を参照のこと。

## 2【サステナビリティに関する考え方及び取組】

### ガバナンス及びリスク管理

#### ガバナンス

##### サステナビリティ・リスク

サステナビリティ・リスクとは、当行の全般的なサステナビリティ活動の基盤となる方針、ガイドライン、コミットメント及び目標に従って、当行が環境、気候、社会情勢及びコーポレート・ガバナンスに関連するリスクを特定・管理できない場合に発生する可能性がある財務上の損失のリスクである。また、当行が、既存の方針及びガイドラインの枠組から外れた事業活動において、サステナビリティ・リスクを見落としてしまうリスクも含まれる。またかかるリスクは、当行グループの評判を損なう可能性がある。サステナビリティ・リスクは、環境及び気候、人権、労働条件、金融犯罪、情報及びITセキュリティ並びにコーポレート・ガバナンスの問題など多くの分野にまたがる。サステナビリティ・リスクは、信用リスク、財務リスク及びコンプライアンス・リスクなどの当行の既存のリスクの分類に統合されている。サステナビリティ・リスクは、当行自身の事業運営において、並びに与信及び投資などの当行の事業を通じて発生する可能性がある。サステナビ

ティ・リスクの特定、管理及び防止は、地域社会のステークホルダーとしての当行の活動と同様に財務的観点及び法的観点の両方において重要である。これらはまた、一般顧客に浸透した信頼並びに顧客、従業員、所有者及び投資家との関係性においても重要な役割を果たす。したがって当行は、長期的な価値を創造するために責任ある行動が不可欠であると考えている。サステナビリティ・リスクを管理するための活動は、その分散型モデルに基づいているほか、当行の通常の低いリスク許容度に沿っている。当行の事業活動は、サステナビリティ・リスクを特定し管理する責任を負っている。これは、リスク管理に関して確立されたプロセスの枠組内で行われる。

## リスク管理

### リスクへの取組

財務上の強靱さ及び安定性は、当行グループが社会の負担となることを回避するのに役立つ。当行グループはリスクの許容度を低く設定しており、これは当行の信用損失を低水準に維持するのに役立っている。代わりに、当行は責任ある納税者として、あらゆる経済状況下で金融の安定性に寄与することにより、積極的に社会に貢献することができる。当行グループは、そのサステナビリティ活動の一環として直接的及び間接的なリスクの防止を検討している。当行は、社会問題及び環境問題が与信リスク、投資リスク及び風評リスクを著しく増大させる可能性があることを十分に認識している。したがって、サステナビリティ・リスクは通常のプロセス及び手続に統合されている。

## 戦略、指標及び目標

### 戦略

#### 持続可能な事業モデル

当行グループにおけるサステナビリティ業務は、当行の事業活動、商品及びサービスを通じて持続可能な発展に貢献することを目指している。当行グループの銀行業務の方針は、個人に対する信頼及び敬意に基づいている。顧客とのつながりがその中心であり、当行は顧客のニーズ及び希望に基づいて事業を展開し、すべてのライフステージを通して顧客を支援することを目指している。当行グループのサステナビリティ戦略は、当行の業務のその他多くの側面と同様に、当行の顧客に対する長期的なコミットメントを持ちながら、低リスクに焦点を当てることを特徴とする分散型の業務の手続を通じて適用されている。当行は、経済及び金融に影響する商品及びサービスだけではなく、持続可能な社会への移行を支援する商品及びサービスへの需要の高まりも認識してきた。その結果、事業活動は、融資及び貯蓄から投資及びアドバイザリー・サービスに至るまで、長期的な責任を伴う点により特徴づけられる。この点において、当行グループの「責任」という概念は、長期的に人々、社会及び地球に利益をもたらす解決策を意味する。

### 指標及び目標

#### 当行のサステナビリティ目標

当行の事業モデルは、責任ある事業運営を促進する。当行の中核事業である融資、貯蓄及び投資並びにアドバイザリー・サービス内において持続可能な商品を開発し、提供することで、当行はプラスの影響の最大化及びマイナスの影響の最小化に取り組むことができ、またそれにより、持続可能な社会を促進することができる。サステナビリティ目標は、当行グループ全体に適用される。しかしながら、各事業分野及び子会社は、異なる方法で目標の達成に取り組む可能性があるため、各事業分野及び子会社の事業内における達成度は異なる可能性がある。

当行の経営陣は、2021年度に、当行の持続可能性に関する2つの包括的な目標を設定した。

- ・ 同業他社の中で最も持続可能な銀行となり、かつ最も持続可能な銀行であると認識されること。

- ・温室効果ガスの排出量を可能な限り早く、かつ遅くとも2040年度までに、実質ゼロにすること。これは、貸付、リース及び投資並びにエネルギー消費及び出張などの当行自身の事業運営を含む。

これらに加えて、2021年度に、融資、投資及びアドバイザリー・サービスにおける3つの戦略的な事業目標が採択され、2023年度にはアドバイザリー・サービスの目標が更新された。

- ・融資 - 2025年度までに当行の融資額の20%をグリーン融資、ソーシャルファイナンス又は貸付先による測定可能で持続可能な移行に寄与する融資で構成する。
- ・投資 - 投資ポートフォリオは、パリ協定の目標及び移行経路に沿うものとし、遅くとも2040年度までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを達成し、2030年度アジェンダへのミューチュアル・ファンドの貢献を拡大する。
- ・アドバイザリー・サービス - 当行グループは、女性の経済状態を改善するための条件を整えることにより、男女平等な経済を促進する。当行グループの顧客のうち、自らが高度な金融リテラシーを有すると考える女性の割合を2023年度の62%から、2026年度までに75%にまで引き上げる。かかる目標は、教育及びアドバイザリー・サービスの提供を通じて達成される。

アドバイザリー・サービスの定量的目標は、主にスウェーデン市場を対象としている。その他の本拠地市場については、それぞれの市場環境に適した同等の目標を作成する予定である。

## 人的資本に関する戦略、指標及び目標

### 雇用主としての銀行

魅力的で責任ある雇用主としての当行グループの役割は、人々が正しい意思決定を下す意欲及び能力を有するという基本的な信念に基づいている。リーダー及び従業員は、互いの違いに機会を見出し、お互いを尊重し合う責任を共有している。したがって、男女平等、多様性及び包摂的な企業文化は、当行グループの中核的価値観である。

### 持続可能な職業生活

当行グループでは、全従業員の持続可能な職業生活を実現するために、従業員の健康及び職場環境に関する問題に常に焦点を当てている。健康及び職場環境に関する全体的な目標は、すべての人が心地よく、成長し、最上の能力を発揮することである。

良好で包摂的な職場環境は、従業員の健康及び幸福を促進するものであり、これは当行グループの長期的な収益性の前提条件である。全従業員が尊重され、安心する職場であるために、いかなる形の被害、差別及びセクシャルハラスメントなどのハラスメントも認められない。

組織的な職場環境への取組みは、当行グループ全体の職場環境ガイドラインに従い、当行の文化及び価値観を出発点として、多くの健康要因に基づいて年次プロセスから開始される。かかる取組みは、全従業員を対象としており、当行が事業を展開する各国の職場環境に関する現地の法令及び規制に基づいて実施される。

各マネージャーは、各自のチーム及び労働組合の代表者又は従業員の代表者と協力して、当行の健康要因に基づいて定期的な職場環境調査を実施する責任を負っている。

2023年度に実施した当行グループ全体の職場環境調査は、93%の従業員が職場環境に関する質問に肯定的な回答をしたことを示した。

職場環境計画は、職場環境調査及びリスク評価の結果に関する共同での議論を起点として、策定される。良好で包摂的な職場環境の維持及び発展並びに疾病リスクへの対処のために特定された活動は、定期的にフォローアップされる。

いずれの国も、雇用主及び従業員の代表者で構成される合同安全衛生フォーラムにて、組織的な職場環境の取組みを定期的に監視している。フォローアップされるトピックの例としては、集計レベルでの職場環境調査の結果、病気欠勤、報告された業務に関連する負傷及び職場における事故が挙げられる。特定されたリスクは、個別に調整された改善策を通じて管理される。

当行は、全従業員を対象とした、健康不良、疾病、危機的状況及びその他の職場環境における事故を管理するための手続及びガイドラインを有している。全従業員は、現地の会社のヘルスケア・プログラム又はそれに相当するものに参加している。特定分野において専門家の知識が必要とされる場合、当行は外部の専門的なプロバイダーとパートナーシップ契約を締結している。

マネージャー及びそのチームの間で継続的な対話を行うことにより、健康不良の兆候を早期に発見し、長期的に持続可能な職場環境を確保することが可能となる。

### 3【事業等のリスク】

本項に含まれる将来の見通しに関する記述は、本書の提出日現在の当行の意見、見通し、目標、期待及び見積りに基づくものである。

当行は、以下のリスク要因が当行の本社債に基づく債務を履行する能力に影響を及ぼす可能性があると考えている。これらの要因はすべて、発生するかどうか分からない偶発事象であり、当行はかかる偶発事象が発生する可能性の程度につき見解を表明する立場にない。

当行は、現在入手可能な情報に基づき当行が重要でないと考え他の理由又は現在予測不能なその他の理由によっても、利息、元本又はその他本社債に関する金額を支払うことができない可能性がある。本社債への投資を予定する投資家は、本書の他の部分に記載する詳細情報も精読し、投資の判断を行う前に投資家自身の見解を確定すべきである。

以下のリスクの記載順は、当該リスクの発生可能性又はその潜在的な影響の重大性を示すものではない。

#### 本社債に基づく当行の債務の履行能力に影響を及ぼす要因

##### 信用リスク

信用リスクとは、当行のカウンターパーティが契約上の債務を履行できないことにより生じる当行が経済的損失に直面するリスクである。当行は、貸付、保証の発行並びに外国為替市場及び証券市場におけるカウンターパーティとの取引を実行する結果、信用リスクにさらされる。信用エクスポージャーは、取締役会が定める与信方針に従って管理される。

当行の全体的なリスク・プロファイルは、信用リスクを含むリスクを低水準に維持することを目的とする。当行は、顧客について選択的であり、貸付先の信用の質が高くなるようにする。当行の信用エクスポージャーにつき責任を負うのは、その支店である。与信の責任は、当該顧客との関係を管理する支店に存する。支店長及び大部分の支店のスタッフについては、担当する顧客への与信限度額を決定できる個別の決定上限額が定められている。与信限度額を上回る決定については、中央レベルだけでなく、県及び国レベルの意思決定機関がある。より上位のそれぞれの意思決定レベルにおいては、与信に関する専門的見解が加えられ、それぞれの意思決定レベルは、自らの意思決定レベルに関して、また、より上位のレベルで決定される与信に関しても、与信を拒否する権限を有している。最大与信限度額は、ハンデルスバンケン・クレジットで審査され、取締役会で決定されるか、又は取締役会によって設立される与信委員会で決定される。但し、その与信の責任を負う支店長の推薦がなければ、当行において与信申請が処理されることはないが、自動モデリングを通してなされた与信決定はその例外である。当行はリレーションシップ・バンクであり、かかる与信の手続は、地域に密着した分権化された組織が与信決定を高い質にするという信念に基づいている。

## オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクとは、不十分な若しくは誤った内部手続、人為的ミス、システムの誤り又は外的要因により生じる損失のリスクをいう。かかる定義には、法的リスク並びにITリスク及び情報セキュリティ・リスク(ICTリスク)が含まれる。

オペレーショナル・リスクは、当行グループのあらゆる業務において生じる。オペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理の責任は、当行グループ内のあらゆるレベルにおける経営上の責任の不可欠な部分である。当行グループの業務の分権的な手法及びコスト意識は、オペレーショナル・リスクの良好な管理を推進し、日常的な手続及び事由における潜在的な損失のリスクに注意を払うことにつながる。

取締役会は、当行グループのオペレーショナル・リスクの許容度を設定している。当行グループのオペレーショナル・リスクに対する許容度は低いものの、オペレーショナル・リスクは当行のすべての業務において避けることのできない要素である。事故が発生した場合に、当行グループ、当行グループの顧客又は金融システムに深刻な悪影響を及ぼす可能性のあるオペレーショナル・リスクは、より低いリスクレベルへ低減させる必要があり、リスクを受容可能な程度にするために、リスクを軽減する手法を講じなければならない。

オペレーショナル・リスクは事業活動内で管理され、グループ・リスク・コントロール部によってかかる管理が統制されている。特別に任命されたオペレーショナル・リスクの地域コーディネーターは、マネージャーによるオペレーショナル・リスクの管理を補助するために配置される。これらのコーディネーターは、オペレーショナル・リスクの既存の管理方法及び管理手続が事業活動において使用されることを確実にし、報告された事故に関連する必要な行動を管理し、事業活動のサポートを行い、オペレーショナル・リスクに関し取り決められたあらゆる措置をフォローアップするように責任を負う。

グループ・リスク・コントロール部は、オペレーショナル・リスクの管理に用いられる方法及び手続について、並びにかかる方法及び手続並びに業務におけるそれらの運用に対する定期的な評価を行うことについて、包括的な責任を負う。また、グループ・リスク・コントロール部は、新規の若しくは重大な変更があった商品、サービス、市場、手続若しくはITシステムに関する決定が行われる前に、又はグループの事業若しくは組織構造に重要な変更がなされた場合に、リスクの評価が行われるようにする責任を負う。

また、グループ・リスク・コントロール部は、当行グループのレベルにおいてすべての重要なオペレーショナル・リスクを特定、測定及び分析し、上級経営陣及び取締役会に対しそれらの進展について報告する責任を負う。

持続的なオペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理を支援するため、当行は事故の報告及び事例管理制度、オペレーショナル・リスクの自己評価のための手法及び手続並びにリスク指標を有している。

## ICTリスク

当行の事業は、ITサービスの利用可能性及びセキュリティに依存している。銀行サービスの技術開発及びデジタル化は、かかる分野の重要性が増していることを意味している。最高経営責任者は、当行グループのIT事業の全体的な目標及び戦略に関するガイドラインを策定する。かかる分野のオペレーショナル・リスクは、当該分野における特定の種類のリスクを管理するための追加の特別な手続と併せて、当行の他の部分で使用されている手続と同じ手続に基づき管理される。かかる手続には、以下が含まれる。

- ・稼働中のITシステムの監視
- ・ITインシデントの管理
- ・新規のITシステム又は変更されたITシステムの管理
- ・サイバー・リスクの管理
- ・セキュリティ・テストの実施
- ・ITシステムのリスク分析の実施

- ・ IT及びセキュリティの観点からの業務委託契約及びその他のサプライヤーとの取決めの見直し
- ・ ITシステムの継続的な管理

最高経営責任者は、当行グループのセキュリティ及びデータ保護のガイドラインを策定する。当行は、潜在的な脅威及びリスクを回避するための体系的なデータ保護及びセキュリティ業務に従事しており、マイナスの影響を及ぼす可能性のあるIT環境における変化を管理する手続が存在する。当行の情報セキュリティ及びITセキュリティは、顧客の情報及び取引並びに当行のIT環境の保護を含む。情報セキュリティ及びITセキュリティは、規則及び指針等の管理ソリューション並びに技術的なセキュリティ・ソリューションを含む。情報セキュリティ業務は、国際規格のISO 27001に従って実施される。当行グループの情報セキュリティ管理システム (ISMS)、情報セキュリティのための組織、グループITリスク管理部及びITの稼働における手続は、ISO 27001の認証を受けており、毎年、審査される。

グループ・リスク・コントロール部は、オペレーショナル・リスク(ICTリスクを含む。)及び発生した主要な事故について、最高経営責任者、取締役会のリスク委員会及び取締役会に四半期ごとに報告する。

### 流動性リスク

流動性リスクとは、許容できない費用又は損失なくして当行グループが期日の到来した支払債務を履行することができないリスクである。当行グループの流動性リスクに対する許容度は低く、当行グループは、全体レベル及び各通貨毎の双方にかかるリスクを最小限に抑えるために積極的に取り組んでいる。当行は、流動性への良好なアクセスが可能であり、業績の変動を低水準に抑え、顧客ニーズを満たすような資金調達能力の提供を目指している。これは、当行にとって重要な通貨のすべてにおいて、キャッシュ・フローの流入及び流出を適切にマッチングさせるとともに良質な十分な流動性準備金を維持することによって達成される。

グループ財務部は、当行グループの流動性に一時的又は長期的に影響を与え得る金融市場の混乱の可能性に対してより良く備えるために、当行グループの流動性リスクの管理のための最新の緊急時対応計画を維持することに責任を負う。かかる計画の下では、当行グループの流動性について、ギャップ分析における変化並びに資金調達のボラティリティ及び資金調達費用のベンチマークを含む定期的な分析を行っている。当行グループはまた、預金高の大幅な減少及び与信供与枠の利用の増加など特定の状態における流動性への影響を測るストレステストを実施している。グループ財務部は、当行グループの流動性及び資金調達に包括的な責任を負う。

日常的な流動性管理に加えて、当行グループは金融市場の混乱の可能性に備えるための戦略の一部として、緊急時対応準備金を維持している。流動性準備金は、複数の異なる部分より構成されている。現金、預金残高及びその他の中央銀行への貸出は、当行に緊急の流動性を提供可能な部分である。当該準備金はまた、国債、カバード・ボンド及びその他の信用の質が高い有価証券をはじめとする流動性の高い有価証券により構成され、これらは流動性が高く、中央銀行への担保として適格なものである。これらはまた、当行に緊急の流動性を提供可能なものである。流動性準備金の残りの部分は、カバード・ボンドの未発行額及びその他の流動性創出対策により構成される。

欧州委員会が委任規則(EU)2015/61を導入後、流動性カバレッジ比率(以下「LCR」という。)は、EUにおける銀行に対する拘束力のある要件となっている。かかる数値は、当行の流動性バッファ及び30日間の大きなストレス・シナリオにおける当行の正味キャッシュ・フローとの比率を規定する。かかる要件は総計レベルで適用され、比率は少なくとも100%でなければならない。さらにSFSAIは、第二の柱における監督審査及び評価プロセスの枠組において、各通貨のLCRを規定している。当年度末において、欧州委員会の定義に基づき計算した当行グループの総計のLCRは210%であった。このことは、当行グループが資金調達市場における短期の混乱に対して著しく耐性があることを示している。構造的流動性指標の最低要件である、安定調達比率(以下「NSFR」という。)は、利用可能な安定調達と必要とされる安定調達の比率であり、それによって当行は1年後の見通



しの観点から通常時及びストレス下の両方の状況において資金需要を満たすのに十分な安定調達を確保することが必要となった。最低要件は総計レベルで適用され、比率は少なくとも100%でなければならない。2023年度末時点で、NSFRはグループレベルで120%であった。

当行グループは、通貨、市場及び資金調達金融商品に関して、十分に多様な資金源を維持するよう努めている。当行グループは、海外及びスウェーデンの資本市場から即時に資金を調達できるよう、様々なプログラムを維持している。短期資金は、スウェーデン、アメリカ合衆国及び欧州におけるコマーシャル・ペーパー・プログラムを通じて調達される。長期資金は、主にスウェーデン・クローネ建てのカバード・ボンドの発行及び当行グループのその他の資金調達プログラムの利用を通じて調達される。グループ財務部は、資産と負債の満期の適切な均衡を維持する責任を負う。

## 市場リスク

市場リスクは、金融市場における価格及びボラティリティの変動により発生する。当行グループは、市場リスクを、金利リスク、為替リスク、株価リスク及びコモディティ価格リスクに分類している。市場リスクは、当行グループの顧客が当行に柔軟な資金調達のサービスを求める場合に発生する。当行グループはまた、既に貸付を行っている市場以外の市場で資金調達を行うことにより、資金調達源を多様化することができる。かかる資金調達は、資金調達の対象となる資産と固定金利の期間が異なるものでも良い。市場リスクはまた、当行が事業を行っている市場で混乱が起きた際にショート・ノーティスで流動資産に転換できるグループ財務部の流動性ポートフォリオでも発生することがある。当該ポートフォリオにより、日々清算業務における当行グループの支払いが確実になるとともに当行の流動性準備金の一部を形成している。市場リスクはまた、固定利付債券、外国為替、株式又はコモディティ市場に対するエクスポージャーを伴う金融商品の顧客需要を満たすために発生する。このため、当行は一定のポジションを保有しておかなければならない。例えば、当行が、金融商品の市場価格を形成するマーケット・メーカーとしての役割を果たす場合にこのような状況になる。当行の業務における市場リスクは、主にグループ財務部及びハンデルスバンケン・マーケットツにおいて生じており、それぞれ管理されているが、ハンデルスバンケン・リヴにも存在する。

## 金利リスク

金利リスクは、主として、ハンデルスバンケン・マーケットツ、グループ財務部及び当行グループの貸出事業において発生する。貸出事業における金利リスクは、その資金と部分的に異なる固定金利の期間を有する顧客及び他行への貸出しを行うことにより発生する。当行グループは、金利スワップ契約の締結により、かかるリスクの相当な部分を排除しようとしている。一般に、金利リスクへのエクスポージャーは、流動性の高さを特徴とする市場において生じる。

当行は、一般的な金利リスク、特定の金利リスク及び非線形金利リスクを捉える方法により、金利リスクを測定及び制限している。

## 株価リスク

株価リスクとは、市場価格の変動による株式関連ポジションの市場価値の変化に起因する損失のリスク及び市場価格のボラティリティに起因する損失のリスクである。当行グループの株価リスクへのエクスポージャーは、主としてハンデルスバンケン・マーケットツでの顧客との取引及び当行の保有株式において生じる。当行グループは、株価リスクを測定し妥当な上限を設定するために、原株式価格及びボラティリティの大幅な変動を想定して事前に設定したストレス・シナリオを用いている。

## 為替リスク

当行グループは、スウェーデン以外を拠点とする市場を有しており、他の複数の国においても事業を行っている。したがって、当行グループの勘定がスウェーデン・クローネで表示されていることにより、構造上、為替エクスポージャーが生じる。かかる構造上のリスクは、自己資本比率又は資本のそれぞれに対する為替変動の影響間のトレード・オフを考慮することによって管理される。

当行の直接的な為替エクスポージャーは、ハンデルスバンケン・マーケットにおいて行われる国際為替市場における顧客主導の日中取引の結果として生じる。顧客の支払フローの管理の一環としての通常の銀行業務及びグループ財務部の資金調達業務においても、ある程度のが為替エクスポージャーが生じる。当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者は、これらのリスクに対して、ポジション限度額を設定している。

## コモディティ価格リスク

コモディティの取引は、ハンデルスバンケン・マーケットにおいて独占的に行われ、コモディティ関連商品のエクスポージャーは、国際コモディティ市場における顧客主導の取引の結果としてのみ発生し、取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者が決定した限度によって制限されている。

当行は、線形リスク及び非線形リスクの双方を効果的に捉える方法により、コモディティ価格リスクを制限及び測定しており、またかかるリスクは、当行がさらされているあらゆるコモディティのリスクの絶対合計として測定される。

## 保険リスク

保険リスクとは、保険方針の結果に関連するリスクであり、主に生命保険リスク及び障害保険リスクによって構成される。ハンデルスバンケン・リヴにおける保険リスクは、以下の分野に関連している。

- ・ **死亡リスク** - 死亡率の変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。死亡リスクは、主に死亡保険において発生する。死亡率の増加は保険契約の価値の上昇につながる。
- ・ **余命リスク** - 死亡率の変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。余命リスクは、契約者が生涯にわたって保証された給付を受ける従来型の生命保険契約において発生する。死亡率の減少は保険契約の価値の上昇につながる。
- ・ **障害回復リスク** - 回復率の変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。障害回復リスクは、主に健康保険において発生する。障害回復率の低下は保険契約の価値の上昇につながる。
- ・ **無効リスク** - 譲渡及び解約の頻度の変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。無効リスクは、主に従来型の生命保険契約において発生する。譲渡権はポートフォリオ全体に存在する。
- ・ **管理費用リスク** - 保険契約の管理に関連する費用の変動の結果による保険契約の価値についての損失又は悪影響のリスク。

各保険契約は、これらのリスクの複数へのエクスポージャーを含む可能性がある。当行グループの保険会社であるハンデルスバンケン・リヴは、利益分配を行う保険会社であるため、これらのリスクをはらんでいる。したがって、保険の購入予定者に対しては、医学的リスクの評価が行われる。

## 報酬リスク

報酬リスクとは、報酬制度の結果として生じる損失又はその他の損害のリスクである。報酬リスクに対する当行グループの許容性は低く、当行グループはかかるリスクを低い水準に維持するよう努めている。変動報酬

は注意して適用され、当行のリスク・プロファイルへ重大な影響を与える職務活動を行っている従業員には提供されない。

当行グループにおいて、従業員が新たな役職に就く際及び現地の給与の見直しの際、報酬は個別に設定される。当行グループに対し拘束力のある労働協約又は対応する現地の標準化された契約若しくは合意を考慮に入れて、報酬は当行の給与の設定モデル及び給与の決定要素に基づいて決定される。給与の決定要素とはすなわち、業務内容及び難易度、能力及びスキル、業務実績及び成果、指導力、市場並びに当行の企業カルチャーの代表者であるかである。これらの原則は何年もの間、適用されている。これらは、あらゆる階層のマネージャーが定期的に給与の見直しに参加し、当行の給与方針の実行及び各自の部門の人件費に責任を持つことを意味している。

## コンプライアンス・リスク

コンプライアンスとは、当行の認可業務に適用される内外の規則及び規制、並びに一般的な市場慣行及び関連基準を順守することを指す。コンプライアンス・リスクとは、当行グループがこの枠組を遵守しないこと、及びその結果、当行が被る可能性のある制裁、重大な財務上の損失又は評判の失墜という形での影響に関連するリスクをいう。当行グループは、コンプライアンス・リスクに対する許容度を低く設定しており、これらのリスクを可能な限り防止し、特定されたリスクに迅速に対処するために実施すべき作業を優先しなければならない。

統制機能は、当行の認可業務に関連するコンプライアンス・リスクの特定、監視、統制及び報告を担当する管理機能である。組織上、この機能はグループ・コンプライアンス部及び特定の子会社の地域部門に分かれている。また、グループ・コンプライアンス部には、適用されるマネーロンダリング及びテロリストへの資金供与に関する規制に基づく管理・報告義務に係る任命責任者、並びに適用されるデータ保護及び個人データ処理に関する規制に基づくデータ保護責任者(以下「DPO」という。)等、具体的に定められた役割も含まれる。

最高コンプライアンス責任者は、当行のグループ最高経営責任者、リスク委員会及び取締役会に、当行グループにおける現在のリスク状況を四半期ごとに報告する。これには、任命責任者及びDPOからの報告も含まれる。

## サステナビリティ・リスク

サステナビリティ・リスクとは、環境及び気候、人権及び労働、金融犯罪並びにITセキュリティ及び情報セキュリティに関連する要因による、財務上の損失又は評判の失墜のリスクをいう。サステナビリティ・リスクは、当行グループの全般的なサステナビリティ活動の基盤となる方針、ガイドライン、コミットメント及び目標に従って、当行グループが環境、気候、社会情勢及びコーポレート・ガバナンスに関連するリスクを特定・管理できない場合に発生する可能性がある。また、当行グループが、既存の方針及びガイドラインの枠組から外れた事業活動において、サステナビリティ・リスクを見落としてしまうリスクも含まれる。このようなリスクは、最終的に当行グループに財務上の悪影響を及ぼす可能性があるだけでなく、当行グループの評判を損なう可能性がある。

サステナビリティ・リスクは、環境、気候、人権、労働条件、金融犯罪、情報及びITセキュリティ並びにコーポレート・ガバナンスの問題など多くの分野にまたがる。サステナビリティ・リスクは、信用リスク、財務リスク及びコンプライアンス・リスクなどの当行グループの既存のリスクの分類に統合されている。

サステナビリティ・リスクを管理するための当行グループの活動は、分散型モデルに基づいているほか、当行グループの通常の低いリスク許容度に沿っている。当行グループの事業活動は、サステナビリティ・リスクを識別し管理する責任を負っている。これは、リスク管理に関して確立されたプロセスの枠組内で行われる。

**気候変動、大惨事、テロ攻撃、戦争行為及び自然災害などの世界の経済状況及び地政学的展開は、当行グループの事業、利益及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性がある。**

当行グループの各事業部門は、市況の影響を受け、これにより年間及び長期の業績が変動する可能性がある。かかる市況には、市場価格の不安定な動向を含む金融市場のサイクル及び銀行業界のサイクル等の経済サイクル並びにCOVID-19の大流行及び世界的な蔓延により生じた混乱のような、地域経済及び世界経済又は商品及びサービスの自由な流れにおける混乱をもたらす地政学的展開が含まれる。当行グループの業績は、金利及び為替、金融方針及び財政政策、消費者支出及び事業支出、人口動態並びに競争上の要因及びその他の要因の変動によっても影響を受ける。

2022年2月のロシアによるウクライナへの侵攻を受けて、とりわけ米国、EU、カナダ、日本及びオーストラリアは、ロシアの高官、個人、地域、企業及び産業に対して広範な経済制裁を課した。加えて、多くの大企業及び事業が、特定のロシアでの事業における権益売却若しくは取引縮小の計画、及び／又はロシアでの事業閉鎖の計画を発表した。2022年2月27日に、スウェーデンは紛争中の国に武器を送らないという原則を破り、ウクライナに軍装備品を送ると発表した。2022年5月17日に、スウェーデンは北大西洋条約機構(以下「NATO」という。)への正式な加盟申請を行い、2024年3月7日に、スウェーデンはNATOの正式な加盟国となった。これは、約70年続いた軍事的非同盟に終止符を打った、2023年4月4日のフィンランドのNATO加盟に続くものであった。これに対し、ロシアは西部及び北西部の軍事力強化を含む対抗措置を講じると威嚇した。

より一般的には、気候変動、大惨事、テロ攻撃、戦争行為、感染症の蔓延、自然災害並びにこれらの事象及び行為に対する反応・反響などの地政学的展開は、経済及び政治の不安定性を生み出す可能性があり、当行グループが事業を行う地域又は全世界における経済状況にマイナスの影響を与える恐れがある。より具体的には、当行グループの事業を妨げる恐れがあり、重大な損失に繋がる可能性がある。このような事象／行為及びそれらから生じる損失は、予測が難しく、不動産、金融資産、ポジション売買又は重要な従業員に關係する可能性がある。

これらの事項の結果として当行グループが直面するリスク及び不確実性の正確な本質を予測することは不可能であり、これらのリスクの多くは、当行グループの統制が及ばないものである。しかしながら、市場の混乱及びボラティリティが当行グループの事業、経営成績及び財政状態並びに社債(本社債を含む。)に基づく当行の債務の履行能力に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

**当行グループが事業を行っている英国を含むその他の市場のマクロ経済情勢は、当行グループの業績に悪影響を及ぼす可能性がある。**

当行グループの事業の大部分はスウェーデン国外で行われており、スウェーデン国外の本拠地市場は当行グループの収益合計の31.6%を占めている。スウェーデンと同様に、当行グループが事業を行っているその他の市場は、現在進行中のウクライナにおける戦争並びに英国及びユーロ圏におけるインフレ圧力の増大など、人口動態及び政治動向に関する課題を含む多くの課題に直面している。例えば、2022年度及び2023年度には、インフレが持続的かつ顕著に進行したことを受け、イングランド銀行及び欧州中央銀行は、政策金利を大幅に引き上げ、本書提出日現在、それぞれ5.25%及び4.25%に達している。インフレの進行は、英国及びユーロ圏全体において実質賃金の相応な下落を引き起こし、消費者信頼感は急激に低下し、場合によっては過去最低を記録した。

さらに、2020年1月31日、英国は正式にEUから離脱した(かかる離脱を、以下「英国のEU離脱」という。)。英国のEU離脱後、直ちに移行期間に入り、2020年12月31日に終了した(以下「移行期間」という。)。2020年12月24日、EU及び英国は貿易及び協力に関する協定に合意した。これは、移行期間の終了後のEUと英国間の關係に関する指針を定めており、2021年5月1日に施行された。

EUと英国の間で金融サービスに関する同等の決定又は貿易協定が締結されるかは依然として不確実である。概して、そのようないずれの貿易協定、同等の決定又は金融市場に関するその他の協力メカニズムによる影響、英国及びEU加盟国の間で求められ得る法的及び規制の合致並びに規制的協力の程度、並びにEU及び英国の市場に渡る金融サービス会社に付与され得るアクセスのレベルもまた不確実である。英国のEU離脱による市場分断を通じた金融市場への影響が広範囲にわたるほど、ファイナンス及び資金調達に対するアクセスは低下し、特定の金融市場インフラに対するアクセスの欠如は、当行グループの業務、財政状態及び財政予測並びに顧客の財政状態及び財政予測に影響を与える可能性がある。英国健全性規制機構の認可に基づいて運営されている子会社である当行グループの英国支店の事業を含め、当行グループの事業への正確な影響を予測することは困難である。

### **税法の不利な改正により、当行グループの事業は悪影響を受ける可能性がある。**

当行グループが業務を行う管轄地域において、当行グループの活動は様々な税率で課税され、当該税率は現地の法律及び実務に基づき計算されている。スウェーデン政府が提案する銀行に対する税の引き上げ等の税法の改正又はかかる法律の解釈の改正により、当行グループの財政状態は悪影響を受ける可能性がある。将来の規則の改正又は財政若しくはその他の政策の変更は予測不可能かつ当行グループの管理の及ぶ範囲を超えており、当行グループの事業、財政状態及び業績に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。例えば、租税回避防止指令(EU)2016/1164(以下「ATAD」という。)及び指令(EU)2016/1164を改正する指令(EU)2017/952(以下「ATAD」という。)により、EU加盟国は税法又は課税実務の改正、とりわけ出国税制、利息費用を控除する権利の制限及び外国子会社合算税制並びにハイブリッド・ミスマッチに関する規則の導入を求められている。スウェーデンでは、ATAD及びATADに基づいた規則を施行し、税法を改正した。例えば、利息控除の制限に関するスウェーデンの規則が改正され、新たに税務上のEBITDAの30%に制限する規則が導入された。ATAD及びATADを受けて、ハイブリッド・ミスマッチ規則が相次いで導入され、改正された。リバース・ハイブリッド・ミスマッチを補完するさらなる改正は、2021年7月1日に施行された。さらに、2022年1月1日に特定の信用機関に対する「リスク税」に関する新しい規則が施行された。リスク税は2021年12月31日より後に開始する事業年度から適用され、リスク税の対象となる機関には、国内の活動における総負債が184十億スウェーデン・クローネ(2024事業年度)を超える信用機関を含む。リスク税率は、特定の規則に従って計算された信用機関の債務の0.06%である。

さらに、税務目的でのシェル・エンティティの悪用を防止するための規則を定め、指令2011/16/EUを改正する指令(以下「ATAD」という。)に関する法律案は、EU加盟国に対し、一定の関連する受動的所得の流れを報告することを目的として、EU内を拠点とする企業に対し報告義務を導入するよう求めることができる。報告会社が同指令に基づき最低限の実体を有していないとみなされる場合、加盟国は、報告会社に対し、所得及び該当する場合は資本の二重課税の免除を規定する租税条約又は指令を適用しない義務を負う可能性がある。EU内でのATADの実施に関する合意は未だなされていないが、2024年度末又はそれ以降の年に合意に達する見込みである。

また、2022年12月15日、EU理事会は、EU内の多国籍企業グループ及び国内の大規模グループに対する国際的な課税の最低水準の確保を目的とした指令(以下「OECDの第二の柱」又は「グローバル・ミニマム課税指令」という。)を全会一致で採択した。この指令は、2023年度に実施され(2023年12月31日より後に開始する事業年度から適用される。)、特にEU加盟国に対し、特定の管轄地域における多国籍企業グループの実効税率を少なくとも15%にするための「トップアップ税」を2023年12月31日までに導入することを求めている。2023年12月13日、スウェーデン議会は、トップアップ税法を可決し、OECDの第二の柱の規則を国内法に導入することを採決した。トップアップ税法は、2024年1月1日に施行された。

ATAD の実施及びOECDの第二の柱の影響、並びに税法に関するさらなる改正により、当行グループの税負担が増加し、当行グループの事業、業績、財政状態又は当行の社債(本社債を含む。)に基づく義務を履行する能力に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

**重大な悪影響を及ぼす規制上の進展により、当行グループは悪影響を受ける可能性がある。**

当行グループの事業は、スウェーデン、英国及び当行グループが事業を行うその他の国々の法律、規制、方針及び／又はそれらの各解釈の変化の影響を含む、現行の規制及び関連する規制上のリスクに服している。法律及び規制並びに法律及び規制の施行又は解釈の方法は、ともに予測不可能であり、当行グループの制御の及ぶものではなく、当行グループの事業、経営成績若しくは財政状態又は社債(本社債を含む。)に基づく当行の債務の履行能力に重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

当行は、SFSAによる監督並びにとりわけ自己資本比率及び流動性の規則などに関するスウェーデンの規制の適用を受けている。当行グループの業務の多くは、現地の監督当局による監督に服している。当行グループはまた、直接適用されるEU規則及び現地の法律を通して施行されるEU指令に服している。当行グループは、欧州連合、英国又はSFSAによる規制上の取組みの結果として、将来どのような規制上の変更が課されるか予測することができない。

当行グループが効果的に規制上のリスクを管理できない場合、当行グループの事業、経営成績若しくは財政状態又は社債(本社債を含む。)に基づく当行の債務の履行能力に重大な悪影響が及ぶ可能性がある。

**当行は、マネーロンダリング活動に関連するリスクにさらされており、マネーロンダリング防止及びテロ資金供与と防止に関する規制の順守には、重大なコスト及び努力を要する。**

当行は、マネーロンダリング防止、腐敗防止及びテロ資金供与防止に関する規則及び規制に服している。一般的に、銀行が、マネーロンダリングに関して負う又はそれらに利用されるリスクは、近年世界的に増大している。マネーロンダリング防止及びテロ資金供与防止に関する規制の順守には、重大なコスト及び努力を要する。これらの規則に対する違反は、当行及び当行グループにとって法的及び風評に関わる悪影響(クライアント、パートナー及びその他第三者との関係におけるものも含む。)を含め、深刻な影響を及ぼす可能性がある。当行は、当行における現行のマネーロンダリング防止及びテロ資金供与防止に係る方針及び手続並びに行動基準(腐敗防止を含む。)は、適用規則を順守するのに基本的に適切であると判断しているが、当行は過去において又は今後において、常にすべての適用規則を順守してきた又は順守すると保証することはできず、また、当行グループ全体に拡大適用されるマネーロンダリング、テロ資金供与及び腐敗を防止するための当行の方針及び規則が、その従業員によって常に順守されていると保証することはできない。かかる規則、方針及び規制を遵守しない場合、当行の事業、経営成績及び財政状態に重大な悪影響を及ぼす可能性があり、したがって当行の社債(本社債を含む。)に基づく義務を履行する能力に影響を及ぼす可能性がある。

**当行及びその顧客は、サイバー犯罪及び詐欺に関連するリスク及び潜在的損失の危険にさらされている。**

その他の金融機関同様、金融サービスにおけるテクノロジーの活用を受けて、当行及びその顧客は、当行のシステムに過負荷を掛けるように意図された攻撃を含め、犯罪目的又は悪意を持ったグループによる実際のサイバー攻撃又はその企てのリスクにさらされている。これらのリスクは、当行がその商品、サービス、主要な機能及び流通経路のデジタル化を進めるにつれて、また、サイバー攻撃がより複雑化し、より蔓延するにつれて増大する。当行は、サイバー攻撃によりその従業員及び／又は顧客に対する当行のシステムの運用上の可用性が一時的に失われるリスクにさらされており、結果として、当行の事業、経営状況、業績及び将来的な展望に対する重大な悪影響につながる可能性がある。

当行が、サイバー犯罪や詐欺等の新たな脅威に対する情報セキュリティ管理に十分な投資を継続できないリスクがあり、また、当行が、既知の脅威に対する管理を頑強であるようにすることを継続できないリスクがある。さらに、サイバー犯罪グループによる益々複雑化する攻撃や、顧客口座に対する詐欺行為等による当行のシステムに対するセキュリティ侵害は、業務の中断、機密情報の漏えい、重大な財務リスク及び／又は法的リスクの発生並びに当行の評価及び／又はブランド価値の棄損につながる恐れがある。加えて、当行及びその顧客は、カード、口座、個人情報、内部及びその他の詐欺に関連するより一層のリスクにさらされており、中にはより複雑で、組織化され、テクノロジーに誘発されるものも含まれる。

これらの活動はいずれも防止したり検知したりすることが難しく、これらのリスクを軽減するための当行の内部方針が不適切又は非効果的である可能性がある。当行は、これらの活動又は事象により生じた損失を回復することができない可能性があると同時に、これらの結果として風評被害を被る恐れがあり、そのいずれもが当行の事業、経営状況、業績及び将来的な展望に重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

## 4【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

## (1)業績等の概要

下記「(3)財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

## (2)生産、受注及び販売の状況

該当事項なし。

## (3)財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

本セクションに含まれる将来の見通しに関する記述は、本書提出日現在の当行の意見、見通し、目標、期待及び見積りに基づいている。

## 2023年12月31日終了事業年度

## 業績報告

営業利益は、35%増加して36,322百万スウェーデン・クローネ(前年度は26,829百万スウェーデン・クローネ)となった。比較可能性に影響する項目を調整後、営業利益は37%増加した。

収益合計は、24%すなわち11,874百万スウェーデン・クローネ増加して62,249百万スウェーデン・クローネ(前年度は50,375百万スウェーデン・クローネ)となった。また、比較可能性に影響する項目を調整後、収益合計の増加は24%であった。かかる増加の主な要因は、2023年度中の金利の利鞘の回復であった。

費用合計は、9%すなわち1,970百万スウェーデン・クローネ増加して-23,182百万スウェーデン・クローネ(前年度は-21,212百万スウェーデン・クローネ)となった。比較可能性に影響する項目を調整後、費用合計の増加は8%であった。かかる費用合計の増加は、当行のサービスを強化するための投資の増加及び当行の本拠地市場における全般的なインフレによるものであった。

継続事業からのC/I比率は、37.2%(前年度は42.1%)に改善した。

継続事業からの信用損失率は、0.01%(前年度は0.00%)であった。

当期利益は、34%増加して29,114百万スウェーデン・クローネ(前年度は21,678百万スウェーデン・クローネ)となった。

事業合計における一株当たり利益は、34%増加して14.70スウェーデン・クローネ(前年度は10.95スウェーデン・クローネ)となった。

事業合計における株主資本利益率は、15.9%(前年度は12.8%)に増加した。

配当金を控除後の普通株式等Tier 1比率は、18.8%(前年度は19.6%)であった。

## 収益

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年度(通年)	2022年度(通年)	変動
純利息収益	47,578	36,614	30%
うち、フィンランドの非継続事業に関連する資金 調達費用		-206	
純手数料及びコミッション収益	11,139	10,981	1%
金融取引による純損益	2,661	1,540	73%
その他の収益	871	1,240	-30%
収益合計	62,249	50,375	24%



フィンランドにおける事業売却は、2021年秋に決定された。2023年度現在、非継続事業には、顧客主導の純利息収益のほか、フィンランドにおける売却対象グループのためのグループ財務部を通じた市場からの資金調達の部分にかかる費用も含まれている。これらの後者の費用は、前年度中は継続事業における純利息収益に計上されており、比較可能性に影響する項目の表に含まれている。

純利息収益は、30%増加して47,578百万スウェーデン・クローネ(前年度は36,614百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる増加は、10,964百万スウェーデン・クローネであった。前述のフィンランドにおける売却対象グループに関連する総額-206百万スウェーデン・クローネの前年度における影響及び409百万スウェーデン・クローネの為替の影響を調整後、純利息収益は28%増加した。かかる増加の主な要因は、金利の利鞘の回復及び市場金利の上昇による当行の株主資本利益率の上昇であった。全体として、利鞘及び資金調達費用の正味の影響により、10,592百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。取引額の増加は392百万スウェーデン・クローネ寄与した。流動性ポートフォリオは-721百万スウェーデン・クローネ寄与した。預金保証スキームの費用の減少により、86百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。

純手数料及びコミッション収益は、1%すなわち158百万スウェーデン・クローネ増加して11,139百万スウェーデン・クローネ(前年度は10,981百万スウェーデン・クローネ)となった。ファンド運用手数料、カस्टディ手数料及びその他の資産運用手数料は、2%増加して6,531百万スウェーデン・クローネ(前年度は6,380百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる増加には、1%増加して5,534百万スウェーデン・クローネ(前年度は5,469百万スウェーデン・クローネ)となったミューチュアル・ファンド手数料が含まれていた。仲介収益は、8%減少して420百万スウェーデン・クローネ(前年度は455百万スウェーデン・クローネ)となった。純コミッションは、3%増加して1,758百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,711百万スウェーデン・クローネ)となり、クレジットカード事業からの純手数料は合計1,053百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,022百万スウェーデン・クローネ)であった。貸出手数料及び預金手数料は、1%増加して1,156百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,146百万スウェーデン・クローネ)となった。保険手数料は、ほぼ横ばいの673百万スウェーデン・クローネ(前年度は672百万スウェーデン・クローネ)であった。アドバイザリー手数料は、236百万スウェーデン・クローネ(前年度は196百万スウェーデン・クローネ)に増加した。その他の純手数料及びコミッション収益は、総額365百万スウェーデン・クローネ(前年度は421百万スウェーデン・クローネ)であった。

金融取引による純損益は、73%すなわち1,121百万スウェーデン・クローネ増加して2,661百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,540百万スウェーデン・クローネ)となった。当行の流動性ポートフォリオは前年度において767百万スウェーデン・クローネのプラスの影響をもたらし、総額195百万スウェーデン・クローネ(前年度は-572百万スウェーデン・クローネ)となった。ハンデルスバンケン・マーケットにおける顧客主導型事業からの寄与は、87百万スウェーデン・クローネ減少して1,044百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,131百万スウェーデン・クローネ)となった。その他の影響は、441百万スウェーデン・クローネ増加して1,422百万スウェーデン・クローネ(前年度は981百万スウェーデン・クローネ)となった。この純変動額は主に、社債の買戻し及び当行のヘッジ関係の非有効性に関するプラスの影響、並びにカウンターパーティ・リスク(信用評価調整)によるマイナスの影響によるものである。

保険事業による純損益は、504百万スウェーデン・クローネ増加して493百万スウェーデン・クローネ(前年度は-11百万スウェーデン・クローネ)となった。保険契約者に代わって保有する資産からの収益は627百万スウェーデン・クローネ改善し、総額336百万スウェーデン・クローネ(前年度は-291百万スウェーデン・クローネ)となった。保険事業による損益は44%減少して157百万スウェーデン・クローネ(前年度は280百万スウェーデン・クローネ)となり、そのうち保険サービスからの利益は24%減少して211百万スウェーデン・クローネ(前年度は279百万スウェーデン・クローネ)となった。

収益の残りの項目は、合計379百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,250百万スウェーデン・クローネ)であった。2023年第2四半期中に、クレジットカード・アクワイアラー事業の売却に伴い支払われた、総額158百万スウェーデン・クローネの付加価値税の戻入額が計上され、そのうち141百万スウェーデン・クローネはその他の収益として計上され、残りの17百万スウェーデン・クローネは支払手数料として計上された。前年度中に、不動産保有子会社の売却により、1,059百万スウェーデン・クローネの非経常収益が認識された。

## 費用

人件費は、5%すなわち602百万スウェーデン・クローネ増加して-13,642百万スウェーデン・クローネ(前年度は-13,040百万スウェーデン・クローネ)となった。オクトゴーネン利益分配制度に対する2023会計年度の予備引当金は2023年第4四半期に計上され、人件費に-83百万スウェーデン・クローネの影響を与えた。一方、2022会計年度の予備引当金は2022年第1四半期に計上され、-202百万スウェーデン・クローネの影響を与えた。オクトゴーネン利益分配制度、為替の影響及び前年度における比較可能性に影響する項目を調整後、人件費は4%すなわち534百万スウェーデン・クローネ増加した。継続事業における平均従業員数は、7%増加して11,683名(前年度は10,954名)となったが、これは主に当行のIT部並びに金融犯罪及びサイバー・リスクへの対策業務に関わる部門内の従業員数の増加によるものであった。

その他費用は、19%すなわち1,270百万スウェーデン・クローネ増加して-7,796百万スウェーデン・クローネ(前年度は-6,526百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響を調整後、かかる増加は、18%すなわち1,147百万スウェーデン・クローネであった。かかる増加は、テクノロジー、データ及びイノベーションに対する投資の増加並びに当行の本拠地市場における全般的なインフレによるものであった。

不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用は、6%増加して-1,743百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,646百万スウェーデン・クローネ)となった。

## 信用損失

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年度(通年)	2022年度(通年)	変動
正味信用損失	-141	-47	-94
一般顧客への貸出金に対する信用損失率の割合 (単位：%)	0.01	0.00	

正味信用損失は、-141百万スウェーデン・クローネ(前年度は-47百万スウェーデン・クローネ)であり、一般顧客への貸出金に対する信用損失率は、0.01%(前年度は0.00%)であった。当年度の実際の信用損失は-260百万スウェーデン・クローネ(前年度は-738百万スウェーデン・クローネ)であり、過去に計上された185百万スウェーデン・クローネ(前年度は636百万スウェーデン・クローネ)の準備金により相殺された。過去に確認された損失の回収額は149百万スウェーデン・クローネ(前年度は245百万スウェーデン・クローネ)であった。ステージ3の予想信用損失は合計-111百万スウェーデン・クローネ(前年度は52百万スウェーデン・クローネ)であった。ステージ1及びステージ2の引当金は-104百万スウェーデン・クローネ(前年度は-242百万スウェーデン・クローネ)であり、そのうち格付の移行が-483百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1百万スウェーデン・クローネ)、更新されたマクロ経済の想定が206百万スウェーデン・クローネ(前年度は-104百万スウェーデン・クローネ)、その他の影響が173百万スウェーデン・クローネ(前年度は-137百万スウェーデン・クローネ)であった。

## リスク税及び破綻処理手数料

リスク税及び破綻処理手数料は、合計-2,624百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,311百万スウェーデン・クローネ)であった。リスク税は、合計-1,644百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,316百万スウェーデン・クローネ)であった。2023年税年度において、リスク税は評価基準の0.06%(前年度は0.05%)を占めた。破綻処理手数料は、合計-980百万スウェーデン・クローネ(前年度は-995百万スウェーデン・クローネ)であった。

## 税金等

継続事業における実効税率は23.2%(前年度は20.2%)であった。かかる税率とスウェーデンにおける20.6%の法人税率との差異は、主に英国の事業における税率の引上げ及び控除できない劣後債務の費用によるものであった。

事業合計における実行税率(非継続事業を含む。)は22.8%(前年度は23.3%)であった。

## 非継続事業

非継続事業からの損益は、売却過程にあるフィンランドの事業における外部収益及び外部費用並びにスウェーデンにおいて非継続事業から引き継いだ追加の費用により構成される。前年度においては、売却済みのデンマークにおける事業も含まれている。

税引後の非継続事業からの利益は、総額1,209百万スウェーデン・クローネ(前年度は280百万スウェーデン・クローネ)であった。

非継続事業からの収益合計は、2,829百万スウェーデン・クローネ(前年度は4,600百万スウェーデン・クローネ)であり、そのうち2,829百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,186百万スウェーデン・クローネ)は、フィンランドにおける非継続事業に起因する。フィンランドにおける純利息収益は、38%増加して2,368百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,722百万スウェーデン・クローネ)となった。かかる増加は、金利の利鞘が回復したことによる。

非継続事業からの費用合計は、-1,379百万スウェーデン・クローネ(前年度は-3,253百万スウェーデン・クローネ)に減少した。そのうち、-1,306百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,423百万スウェーデン・クローネ)は、フィンランドにおける非継続事業に係る現地費用により構成される。

非継続事業からの正味信用損失は、正味回収額で構成され、総額41百万スウェーデン・クローネ(前年度は29百万スウェーデン・クローネ)であった。

## 営業利益のうち非経常項目及び特別項目

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年度(通年)	2022年度(通年)
フィンランドにおける非継続事業に関連する資金調達費用		-206
不動産の売却によるキャピタルゲイン(その他の収益)		1,059
オクトゴーネン:前年度の割当の調整(人件費)	-202	-53
オクトゴーネン:当年度の引当金(人件費)	-83	-196
年金費用の償還が未請求であることに起因する年金に係る給与税(人件費)		-152
クレジットカード・アクワイアラー事業の売却時に支払った付加価値税の還付(収益)	158	
<b>合計</b>	<b>-127</b>	<b>452</b>

## 為替の影響

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

前年度と比較した為替の影響	2023年度(通年)
純利息収益	409
純手数料及びコミッション収益	57
金融取引による純損益	11
その他の収益	156
<b>収益合計</b>	<b>632</b>
人件費	-184
その他費用	-123
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損	-17
<b>費用合計</b>	<b>-324</b>
正味貸倒損失	7
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	0
リスク税及び破綻処理手数料	4
<b>営業利益</b>	<b>319</b>

## 事業の展開

本拠地市場における一般顧客への貸出金の平均額は、3%増加して合計2,277十億スウェーデン・クローネ(前年度は2,218十億スウェーデン・クローネ)となった。かかる増加は、59十億スウェーデン・クローネであった。当年度末において、本拠地市場における貸出金は、1%減少して総額2,242十億スウェーデン・クローネ(前年度は2,275十億スウェーデン・クローネ)となった。

本拠地市場における一般顧客からの預金及び借入金の平均額は、法人からの預金の額の減少により-10十億スウェーデン・クローネ変動して1,257十億スウェーデン・クローネ(前年度は1,267十億スウェーデン・クローネ)となった。

当行グループにおける運用資産合計は、2023年度中に12%増加し、当年度末に、総額1,023十億スウェーデン・クローネ(前年度は915十億スウェーデン・クローネ)となった。運用資産のうち、949十億スウェーデン・クローネ(前年度は845十億スウェーデン・クローネ)は、当行グループの投資信託に投資された。当年度中の本拠地市場におけるミューチュアル・ファンドへの正味の新規資金流入額は、総額17.3十億スウェーデン・クローネ(前年度は5.2十億スウェーデン・クローネ)であった。2023年度におけるスウェーデンのミューチュアル・ファンド市場への新規資金流入額のうち、純額の合計の18%が当行グループの投資信託に投資された。2023年度末におけるスウェーデンのミューチュアル・ファンド市場に占める当行グループのシェアは12.1%であった。

## 資金調達及び流動性

当行グループは、数十年にわたり、資金調達において、リスク特性の低い、慎重なアプローチを採用してきた。当該資金調達戦略は、複数の安定した資金調達源の多様でバランスの取れた活用に基づいている。かかる資金調達源は、個人及び中小企業からの預金、非金融機関からの預金並びに複数の通貨建ての様々な種類の負債性金融商品に分散した市場における資金調達により構成される。

非流動資産は、安定的な市場での資金調達並びに長期安定的な一般顧客からの預金及び借入金のもので、安定的な固定負債により資金が調達されている。流動負債は、一般顧客からのその他の預金及び借入金並びに短期的な市場での資金調達の形で存在し、763十億スウェーデン・クローネ(2022年度末は676十億スウェーデン・クローネ)の流動資産及び流動性準備金に対応している。かかる準備金のうち91%は、中央銀行への預金及び国債の保有に充てられている。残りの大部分は、流動性の高いカバード・ボンドの保有に投資されている。保有債券の金利リスクは、デリバティブ商品を用いてヘッジされており、保有債券全体は継続的に時価で測定されている。

当行の資産に対する担保比率が低いことは、流動性リスクに対するさらなる保護として機能している。これは、主にカバード・ボンドの形の、700十億スウェーデン・クローネをわずかに上回る未使用発行額を伴っている。また、低い担保比率は当行のシニア債の社債権者に対する保護機能としても働く。当年度末における担保に供されていない資産の額は、2,408十億スウェーデン・クローネ(2022年度末は2,459十億スウェーデン・クローネ)であった。前述の流動性準備金の増加は、長期シニア債の発行を含む無担保資金調達によるものであった。無担保資金調達額は、2%増加して923十億スウェーデン・クローネ(2022年度末は903十億スウェーデン・クローネ)となった。このように、流動性ポートフォリオが強化され、流動性リスクが減少したことにより、無担保資金調達額に対する担保に供されていない資産の割合は261%(2022年度末は272%)に減少した。

2023年度末における欧州委員会による委任規制に基づき計算された当行グループのLCRは、210%(2023年第3四半期末は181%)であった。2023年度末におけるCRRに基づくNSFRは、120%(2023年第3四半期末は117%)であった。

2023年度中、当行は、時折非常に不安定な市場環境に置かれることもあったにもかかわらず、当行のすべての資金調達市場にアクセスし、社債を発行した。

当行は2023年度中に、ユーロ建て及びスウェーデン・クローネ建ての両方で、それぞれ総額1十億ユーロ及び9十億スウェーデン・クローネの最初のグリーン・カバード・ボンドを発行した。

2023年度中の社債発行は、総額239十億スウェーデン・クローネ(前年度は199十億スウェーデン・クローネ)であり、そのうち163十億スウェーデン・クローネ(前年度は131十億スウェーデン・クローネ)はカバード・ボンド、67十億スウェーデン・クローネ(前年度は57十億スウェーデン・クローネ)はシニア債であり、そのうち11十億スウェーデン・クローネ(前年度は13十億スウェーデン・クローネ)は適格債務であった。2023年度中、9十億スウェーデン・クローネ(前年度は11十億スウェーデン・クローネ)の期限付劣後債が発行された。

## 資本

2023年度末の普通株式等Tier 1比率は、配当金の控除後、18.8%であった。当行の評価では、同日の第二の柱の指針を含む普通株式等Tier 1資本要件は、14.8%すなわち124十億スウェーデン・クローネであった。第二の柱における普通株式等Tier 1資本要件は、15十億スウェーデン・クローネに相当する1.8パーセント・ポイント(うち0.5パーセント・ポイントは第二の柱の指針、1.3パーセント・ポイントは第二の柱の要件から成る。)であった。カウンターシクリカル資本バッファは1.9%であった。

2023年第4四半期末の総自己資本比率は23.9%であった。当行の評価では、同日の第二の柱の指針を含む所要自己資本合計は19.0%(159十億スウェーデン・クローネ)であった。このうち21十億スウェーデン・クローネに相当する2.5パーセント・ポイントは、第二の柱における所要自己資本合計から成る。

当行の資本目標は、通常の下況において、当行の普通株式等Tier 1比率が第二の柱の指針を含む普通株式等Tier 1資本要件を1から3パーセント・ポイント上回ることである。したがって、当行の資本は、目標範囲を超えるものであった。

## 資本連結状況

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年12月31日現在	2022年12月31日現在	変動
普通株式等Tier 1比率、CRR	18.8%	19.6%	-0.8
総自己資本比率、CRR	23.9%	23.8%	0.1
リスク加重エクスポージャー額合計、CRR	836,790	810,144	3%
普通株式等Tier 1資本	157,576	158,551	-1%
自己資本合計	200,081	193,186	4%
資本合計	205,085	194,024	6%

自己資本合計は200十億スウェーデン・クローネ(前年度は193十億スウェーデン・クローネ)であり、総自己資本比率は23.9%(前年度は23.8%)であった。普通株式等Tier 1資本は158十億スウェーデン・クローネ(前年度は159十億スウェーデン・クローネ)であり、普通株式等Tier 1比率は18.8%(前年度は19.6%)であった。

普通株式等Tier 1比率は、当期利益により3.4パーセント・ポイント増加した。配当金により、-3.2パーセント・ポイントの影響が生じた。取引額の変動により0.3パーセント・ポイント、格付の移行により-0.9パーセント・ポイントの寄与が生じ、流入及び流出の信用の質の違いによる正味の影響により、0.2パーセント・ポイントの寄与が生じた。為替レートの変動の影響はほとんどなかった。スウェーデンの商業用不動産を担保とする貸出金のリスク加重のフロアが第二の柱から第一の柱に変更されたことにより、-0.4パーセント・ポイントの寄与が生じた。2023年度中、SFSAは、構造的な為替ポジションのリスク加重エクスポージャー額を算出するための当行の最新のモデルを承認し、これにより0.3パーセント・ポイントの影響が生じた。2023年第1四半期における個人顧客のエクスポージャーに係るデフォルト確率モデルの改訂により、リスク加重のフロアを考慮後、普通株式等Tier 1比率は0.1パーセント・ポイント減少した。その他の影響により、-0.4パーセント・ポイントの影響が生じた。

## 経済資本及び利用可能な財源

当行の自己資本の必要性に関する内部評価は、当行の所要自己資本、ストレステスト及び当行のECに係るモデルに基づいている。これは当行の利用可能な財源(以下「AFR」という。)に関連して測定される。取締役会は、当行グループのAFR/EC比率は120%を上回らなければならない旨を定めている。2023年第4四半期末、当行

グループのECは合計で65.5十億スウェーデン・クローネ(前年度は66.7十億スウェーデン・クローネ)となり、またAFRは239.6十億スウェーデン・クローネ(前年度は257.7十億スウェーデン・クローネ)となった。したがって、AFR/EC比率は366%(前年度は387%)となった。連結では、ECは合計で38.4十億スウェーデン・クローネ(前年度は38.6十億スウェーデン・クローネ)となり、AFRは232.6十億スウェーデン・クローネ(前年度は251.1十億スウェーデン・クローネ)となった。

## サステナビリティ

2023年第4四半期中、当行は、ネットゼロ2040に向けた当行グループの移行計画を発表した。かかる移行計画には、気候及び環境に関する当行グループの取組みが記載されている。サステナビリティ活動に関連する取引額は、拡大を続けてきた。グリーン・ローンの総額は、前年同期と比較して、36%増加して87.2十億スウェーデン・クローネ(前年度は63.7十億スウェーデン・クローネ)となり、かかる総額のうち、グリーン住宅ローンは10%増加して35.0十億スウェーデン・クローネ(前年度は31.8十億スウェーデン・クローネ)となった。さらに、サステナビリティ・リンク・ローン・ファシリティは、総額105.4十億スウェーデン・クローネ(前年度は59.0十億スウェーデン・クローネ)となった。

EUのサステナブル・ファイナンス開示規則(SFDR)は、資産運用会社が、自社のミューチュアル・ファンドがSFDRにおいてどのように分類されるかに関して透明性を確保しなければならないことを規定している。当年度末において、当行グループのファンドのうち運用資産の19%に相当する14ファンドが、最も高い分類(第9条)、すなわち持続可能な投資を目的とするファンドとして報告された。また、運用資産額の76%に相当する合計100ファンドが、2番目に高い分類(第8条)、すなわち環境的特性又は社会的特性を促進するファンドとして報告された。

## セグメント報告

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

2023年度 における セグメント報告	スウェー デン	英国	ノルウェー	オランダ	キャピ タル・ マーケット	その他	調整及び 消去	合計
収益合計	40,711	12,121	5,366	2,157	2,175	-280		62,249
費用合計	-11,644	-5,780	-2,401	-1,009	-2,000	-727	379	-23,182
信用損失、リスク税及び破 綻処理手数料控除前利益	29,067	6,340	2,965	1,148	175	-1,007	379	39,067
営業利益	27,020	6,289	2,615	1,048	144	-1,172	379	36,322
利益配分後の営業利益	27,425	6,340	2,662	1,048	-383	-1,149	379	36,322

セグメント報告に適用される原則並びに「その他」並びに「調整及び消去」の列の項目の説明は、下記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記G46」で詳述される。

上表の「その他」の列には、一般顧客への貸出金、一般顧客からの預金及び借入金並びにフィンランドにおける売却対象グループに帰属する割当資本が含まれている。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

2022年度 における セグメント報告	スウェー デン	英国	ノルウェー	オランダ	キャピ タル・ マーケット	その他	調整及び 消去	合計
収益合計	32,008	8,649	5,097	1,523	2,212	885		50,375
費用合計	-10,522	-4,872	-2,082	-832	-1,959	-944	-1	-21,212
信用損失、リスク税及び破 綻処理手数料控除前利益	21,486	3,778	3,016	691	253	-60	-1	29,163
営業利益	19,972	3,733	2,510	610	206	-203	-1	26,829
利益配分後の営業利益	20,346	3,781	2,579	610	-324	-164	-1	26,829

セグメント報告に適用される原則並びに「その他」並びに「調整及び消去」の列の項目の説明は、下記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類 - 注記G46」で詳述される。

上表の「その他」の列には、一般顧客への貸出金、一般顧客からの預金及び借入金並びにフィンランドにおける売却対象グループに帰属する割当資本が含まれている。

当行グループは、2023年度からIFRS第17号「保険契約」を適用している。これらの規則が2022年度にも適用されたものとして、関連する比較数値(損益計算書、貸借対照表及び主要指標)は修正再表示されている。



## ハンデルスバンケン・スウェーデン

2023年12月31日に終了した事業年度におけるセグメント報告において、ハンデルスバンケン・スウェーデンは、スウェーデンにおける支店業務により構成され、また県単位の組織により編成され、かかる県の統括はスウェーデンにおける支店業務の責任者に直属する。また当該セグメントには、当行が完全所有する住宅金融専門機関であるスタッドフィポテックのスウェーデンにおける業務、貯蓄及び年金部門に加えて、支払ソリューション会社であるエクスターが含まれる。本有価証券報告書の日付現在、エクスターは解散の手段中である。本書提出日現在のセグメント報告に関する情報については、上記「第2 - 3 事業の内容」を参照のこと。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年度合計	2022年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	30,420	23,082	32
純手数料及びコミッション収益	8,420	8,356	1
金融取引による純損益	1,180	508	132
保険事業による純損益	494	-41	
その他の収益	197	103	91
<b>収益合計</b>	<b>40,711</b>	<b>32,008</b>	<b>27</b>
人件費	-4,157	-3,978	4
その他費用	-1,525	-1,497	2
内部購入及び売却されたサービス	-5,535	-4,630	20
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損	-427	-417	2
<b>費用合計</b>	<b>-11,644</b>	<b>-10,522</b>	<b>11</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料 控除前利益</b>	<b>29,067</b>	<b>21,486</b>	<b>35</b>
正味信用損失	-142	135	
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	14	10	40
リスク税及び破綻処理手数料	-1,919	-1,659	16
<b>営業利益</b>	<b>27,020</b>	<b>19,972</b>	<b>35</b>
利益配分	405	374	8
<b>利益配分後の営業利益</b>	<b>27,425</b>	<b>20,346</b>	<b>35</b>
内部収益	5,867	1,727	240
C/I比率(単位：%)	28.3	32.5	
信用損失率(単位：%)	0.01	-0.01	
一般顧客への貸出金	1,600,861	1,621,692	-1

一般顧客からの預金及び借入金	856,258	876,230	-2
割当済資本	123,951	106,101	17
割当済資本に係る利益率(単位：％)	18.2	15.9	
平均従業員数	4,099	3,907	5

(単位：十億スウェーデン・クローネ)

取引額、スウェーデン国内の平均額	2023年度	2022年度	変動 (単位：％)
一般顧客への貸出金 <sup>1</sup>	1,625	1,577	3
うち個人	981	976	1
うち住宅ローン	948	936	1
うち法人	644	602	7
うち住宅ローン	439	399	10
一般顧客からの預金及び借入金	850	871	-2
うち個人	483	478	1
うち法人	367	393	-7

<sup>1</sup> 国債局に対する貸出金を除く。

## 業績

営業利益は、35％増加して27,020百万スウェーデン・クローネ(前年度は19,972百万スウェーデン・クローネ)となった。割当済資本に係る利益率は、18.2％(前年度は15.9％)に増加した。C/I比率は、28.3％(前年度は32.5％)に改善した。

収益合計は、27％増加して40,711百万スウェーデン・クローネ(前年度は32,008百万スウェーデン・クローネ)となった。

費用合計は、11％増加して-11,644百万スウェーデン・クローネ(前年度は-10,522百万スウェーデン・クローネ)となった。

純利息収益は、32％すなわち7,338百万スウェーデン・クローネ改善して30,420百万スウェーデン・クローネ(前年度は23,082百万スウェーデン・クローネ)となった。取引額の増加により、純利息収益に319百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。利鞘の変動及び資金調達費用の純額により、合計6,696百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。スウェーデンの預金保証制度の費用は、79百万スウェーデン・クローネ減少して-219百万スウェーデン・クローネ(前年度は-298百万スウェーデン・クローネ)となった。その他の影響は、純利息収益に244百万スウェーデン・クローネ寄与した。

純手数料及びコミッション収益は、1％増加して8,420百万スウェーデン・クローネ(前年度は8,356百万スウェーデン・クローネ)となった。ミューチュアル・ファンド手数料は、32百万スウェーデン・クローネ増加して4,747百万スウェーデン・クローネ(前年度は4,715百万スウェーデン・クローネ)となった。カストディ及びその他の資産管理手数料は、11％増加して725百万スウェーデン・クローネ(前年度は654百万スウェーデン・クローネ)となった。仲介業務及びその他の証券業務の手数料は、14％減少した。貸出金及び預金並びに保証からのコミッション収益は、5％減少した。純コミッションは3％増加して1,300百万スウェーデン・クローネ(前年

度は1,257百万スウェーデン・クローネ)となり、そのうちクレジットカード事業からの純コミッションは、4%増加して916百万スウェーデン・クローネ(前年度は884百万スウェーデン・クローネ)となった。

金融取引による純損益は、1,180百万スウェーデン・クローネ(前年度は508百万スウェーデン・クローネ)に改善した。

保険事業による純損益は、494百万スウェーデン・クローネ(前年度は-41百万スウェーデン・クローネ)であり、かかる変動は、前年度と比較して保険契約者に代わって保有する資産からの収益が改善したことにより説明される。

その他の収益は、総額197百万スウェーデン・クローネ(前年度は103百万スウェーデン・クローネ)であった。

人件費は、年間給与の調整及び従業員数の増加により、4%増加して-4,157百万スウェーデン・クローネ(前年度は-3,978百万スウェーデン・クローネ)となった。平均従業員数は、5%増加して4,099名(前年度は3,907名)となった。

その他の費用の項目は、14%増加して-7,487百万スウェーデン・クローネ(前年度は-6,544百万スウェーデン・クローネ)となった。これは主に、IT投資の増加及び事業の進展による。

正味信用損失は、-142百万スウェーデン・クローネ(前年度は135百万スウェーデン・クローネ)であり、信用損失率は、0.01%(前年度は-0.01%)であった。

リスク税は、総額-1,199百万スウェーデン・クローネ(前年度は-918百万スウェーデン・クローネ)であり、破綻処理手数料は、総額-719百万スウェーデン・クローネ(前年度は-740百万スウェーデン・クローネ)であった。

## 事業の展開

貸出金の平均額の合計は、3%増加して1,625十億スウェーデン・クローネ(前年度は1,577十億スウェーデン・クローネ)となった。個人への貸出金は、1%増加して981十億スウェーデン・クローネ(前年度は976十億スウェーデン・クローネ)となり、法人への貸出金も、7%増加して644十億スウェーデン・クローネ(前年度は602十億スウェーデン・クローネ)となった。

一般顧客からの預金及び借入金の平均額の合計は、2%減少して850十億スウェーデン・クローネ(前年度は871十億スウェーデン・クローネ)となった。個人からの預金及び借入金は、1%増加して483十億スウェーデン・クローネ(前年度は478十億スウェーデン・クローネ)となったが、法人からの預金及び借入金は7%減少して367十億スウェーデン・クローネ(前年度は393十億スウェーデン・クローネ)となった。

運用資産合計は、837十億スウェーデン・クローネ(前年度は741十億スウェーデン・クローネ)であった。当行のミューチュアル・ファンドへの純流入は、合計17.4十億スウェーデン・クローネ(前年度は10.0十億スウェーデン・クローネ)であり、これは市場シェアの18%に相当する。

## ハンデルスバンケン英国

2023年12月31日に終了した事業年度におけるセグメント報告において、ハンデルスバンケン英国は、14の地域で構成される英国における支店業務及び子会社のハンデルスバンケン・ウェルス&アセットマネジメントから成るハンデルスバンケン・ピー・エル・シーにより構成される。各地域の統括はハンデルスバンケン英国の代表に直属する。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年度合計	2022年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	11,010	7,580	45
純手数料及びコミッション収益	845	807	5
金融取引による純損益	253	248	2
その他の収益	13	14	-7
<b>収益合計</b>	<b>12,121</b>	<b>8,649</b>	<b>40</b>
人件費	-3,149	-2,693	17
その他費用	-907	-789	15
内部購入及び売却されたサービス	-1,414	-1,076	31
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損	-310	-313	-1
<b>費用合計</b>	<b>-5,780</b>	<b>-4,872</b>	<b>19</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料 控除前利益</b>	<b>6,340</b>	<b>3,778</b>	<b>68</b>
正味信用損失	-51	-55	-7
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	-1	10	
<b>営業利益</b>	<b>6,289</b>	<b>3,733</b>	<b>68</b>
利益配分	52	49	6
<b>利益配分後の営業利益</b>	<b>6,340</b>	<b>3,781</b>	<b>68</b>
内部収益	2,999	52	
C/I比率(単位：%)	47.5	56.0	
信用損失率(単位：%)	0.03	0.01	
一般顧客への貸出金	230,692	239,207	-4
一般顧客からの預金及び借入金	260,595	257,534	1
割当済資本	25,846	20,436	26
割当済資本に係る利益率(単位：%)	21.3	15.1	

平均従業員数	2,707	2,481	9
--------	-------	-------	---

(単位：百万英ポンド)

取引額、英国の平均額	2023年度	2022年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	18,621	19,896	-6
うち個人	5,520	6,076	-9
うち法人	13,101	13,820	-5
一般顧客からの預金及び借入金	20,365	20,080	1
うち個人	5,441	5,770	-6
うち法人	14,924	14,310	4

## 業績

営業利益は、68%すなわち2,556百万スウェーデン・クローネ増加して6,289百万スウェーデン・クローネ(前年度は3,733百万スウェーデン・クローネ)となった。営業利益への為替変動の影響は、210百万スウェーデン・クローネであった。現地通貨では、営業利益は59%増加した。割当済資本に係る利益率は、21.3%(前年度は15.1%)に改善した。C/I比率は、47.5%(前年度は56.0%)に改善した。

収益合計は、40%増加して12,121百万スウェーデン・クローネ(前年度は8,649百万スウェーデン・クローネ)となった。収益合計への為替の影響は、492百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、収益合計は32%増加した。

費用合計は、19%増加して-5,780百万スウェーデン・クローネ(前年度は-4,872百万スウェーデン・クローネ)となった。-279百万スウェーデン・クローネの為替の影響を調整後、現地通貨では、費用合計は12%増加した。

純利息収益は、45%すなわち3,430百万スウェーデン・クローネ増加して11,010百万スウェーデン・クローネ(前年度は7,580百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響により、純利息収益に429百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。現地通貨では、純利息収益は37%増加した。純利息収益は、利鞘の変動及び資金調達費用の純額により3,230百万スウェーデン・クローネ増加した。取引額の減少により、-85百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。その他の影響により、-144百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。

純手数料及びコミッション収益は、5%増加して845百万スウェーデン・クローネ(前年度は807百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、48百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、純手数料及びコミッション収益は1%減少した。仲介業務及びアドバイザリー・サービスを含むファンド運用事業、カस्टディ口座運用事業及び資産運用事業によるコミッション収益は、3%増加して433百万スウェーデン・クローネ(前年度は420百万スウェーデン・クローネ)となった。支払いにかかる純手数料及びコミッション収益は、6%増加して281百万スウェーデン・クローネ(前年度は266百万スウェーデン・クローネ)となった。

人件費は、17%増加して-3,149百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,693百万スウェーデン・クローネ)となった。人件費への為替の影響は、-162百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、人件費は10%増加した。かかる増加は、年間給与の調整及び従業員数の増加によるものであった。平均従業員数は、9%増加して2,707名(前年度は2,481名)となった。かかる従業員数の増加は、主にIT部における採用の増加及び事業開発並びに金融犯罪防止業務によるものであった。

その他の費用の項目は、21%増加して-2,631百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,178百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、その他の費用の項目は14%増加した。かかる増加は、主にIT開発の増加及び事業開発によるものであった。

正味信用損失は、合計-51百万スウェーデン・クローネ(前年度は-55百万スウェーデン・クローネ)であった。信用損失率は、0.03%(前年度は0.01%)であった。

#### 事業の展開

貸出金の平均額の合計は、6%減少して18.6十億英ポンド(前年度は19.9十億英ポンド)となった。個人への貸出金は9%減少して5.5十億英ポンド(前年度は6.1十億英ポンド)となり、法人への貸出金も5%減少して13.1十億英ポンド(前年度は13.8十億英ポンド)となった。

一般顧客からの預金及び借入金の平均額の合計は、1%増加して20.4十億英ポンド(前年度は20.1十億英ポンド)となった。個人からの預金及び借入金は、6%減少して5.4十億英ポンド(前年度は5.8十億英ポンド)となり、法人からの預金及び借入金は4%増加して14.9十億英ポンド(前年度は14.3十億英ポンド)となった。

当年度末において、ハンデルスバンケン・ウェルス&アセットマネジメントにおける運用資産の額は、合計4.3十億英ポンド(前年度は4.1十億英ポンド)であった。当年度中、新規資金流入額は合計60百万英ポンド(前年度は-23百万英ポンド)であった。

## ハンデルスバンケン・ノルウェー

2023年12月31日に終了した事業年度におけるセグメント報告において、ハンデルスバンケン・ノルウェーは、ノルウェーの支店業務に加え、ノルウェーにおけるスタッドフィポテックの業務並びに地域貯蓄及び年金部門により構成されている。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年度合計	2022年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	4,624	4,264	8
純手数料及びコミッション収益	659	688	-4
金融取引による純損益	79	90	-12
保険事業による純損益	0	30	-100
その他の収益	5	25	-80
<b>収益合計</b>	<b>5,366</b>	<b>5,097</b>	<b>5</b>
人件費	-1,103	-1,028	7
その他費用	-493	-295	67
内部購入及び売却されたサービス	-708	-667	6
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損	-97	-92	5
<b>費用合計</b>	<b>-2,401</b>	<b>-2,082</b>	<b>15</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料 控除前利益</b>	<b>2,965</b>	<b>3,016</b>	<b>-2</b>
正味信用損失	37	-152	
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	6	6	0
リスク税及び破綻処理手数料	-393	-359	9
<b>営業利益</b>	<b>2,615</b>	<b>2,510</b>	<b>4</b>
利益配分	47	69	-32
<b>利益配分後の営業利益</b>	<b>2,662</b>	<b>2,579</b>	<b>3</b>
内部収益	-8,567	-3,838	-123
C/I比率(単位：%)	44.4	40.3	
信用損失率(単位：%)	-0.01	0.04	
一般顧客への貸出金	313,267	318,243	-2
一般顧客からの預金及び借入金	90,206	101,184	-11
割当済資本	23,292	20,074	16
割当済資本に係る利益率(単位：%)	9.5	10.5	

平均従業員数	828	763	9
--------	-----	-----	---

(単位：十億ノルウェー・クローネ)

取引額、ノルウェーの平均額	2023年度	2022年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	306.3	290.4	5
うち個人	114.3	111.5	3
うち法人	192.0	178.9	7
一般顧客からの預金及び借入金	97.0	98.6	-2
うち個人	32.4	31.0	5
うち法人	64.6	67.7	-5

## 業績

営業利益は、4%増加して2,615百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,510百万スウェーデン・クローネ)となった。営業利益への為替の影響は、-102百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、営業利益は9%増加した。割当済資本に係る利益率は、9.5%(前年度は10.5%)に減少した。C/I比率は、44.4%(前年度は40.3%)であった。

収益合計は、5%増加して5,366百万スウェーデン・クローネ(前年度は5,097百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は-204百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、収益合計は10%増加した。

費用合計は、15%増加して-2,401百万スウェーデン・クローネ(前年度は-2,082百万スウェーデン・クローネ)となった。費用合計への為替の影響は、87百万スウェーデン・クローネであった。現地通貨では、費用合計は21%増加した。かかる増加は、プライベート・マーケットにおけるサービスの強化及び拡大への投資によるものであった。

純利息収益は、8%増加して4,624百万スウェーデン・クローネ(前年度は4,264百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、-174百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、純利息収益は13%増加した。取引額の増加により、115百万スウェーデン・クローネのプラスの寄与が生じた。利鞘の変動及び資金調達費用の純額により、純利息収益は369百万スウェーデン・クローネ増加した。預金保証制度にかかる手数料の減少により、6百万スウェーデン・クローネの寄与が生じた。純利息収益へのその他の影響は、44百万スウェーデン・クローネであった。

純手数料及びコミッション収益は、4%減少して659百万スウェーデン・クローネ(前年度は688百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は-23百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、純手数料及びコミッション収益はほぼ横ばいであった。仲介業務及びアドバイザー・サービスを含むファンド運用事業、カスタディ口座運用事業及び資産運用事業によるコミッション収益は、6%減少して353百万スウェーデン・クローネ(前年度は377百万スウェーデン・クローネ)となった。純コミッションは、6%減少して187百万スウェーデン・クローネ(前年度は198百万スウェーデン・クローネ)となった。

金融取引による純損益は、合計79百万スウェーデン・クローネ(前年度は90百万スウェーデン・クローネ)であった。

保険事業による純損益は、0百万スウェーデン・クローネ(前年度は30百万スウェーデン・クローネ)であり、その他の収益は、5百万スウェーデン・クローネ(前年度は25百万スウェーデン・クローネ)であった。



人件費は、7%増加して-1,103百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,028百万スウェーデン・クローネ)となった。人件費への為替の影響は、46百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、増加は12%であった。かかる増加は、主にIT開発及び事業開発にかかる年間給与の調整及び従業員数の増加によるものであった。平均従業員数は、9%増加して828名(前年度は763名)となった。

その他の費用の項目は、23%増加して-1,298百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,054百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、増加は29%であった。かかる増加は、前述した、新規及び既存の個人顧客向けのデジタル・サービスの提供及びその利用可能性の強化への継続的な投資によるものである。

正味信用損失は、37百万スウェーデン・クローネ(前年度は-152百万スウェーデン・クローネ)の正味回収額により構成された。信用損失率は、-0.01%(前年度は0.04%)であった。

リスク税は、-230百万スウェーデン・クローネ(前年度は-174百万スウェーデン・クローネ)であり、破綻処理手数料は-163百万スウェーデン・クローネ(前年度は-185百万スウェーデン・クローネ)であった。

## 事業の展開

貸出金の平均額の合計は、5%増加して306.3十億ノルウェー・クローネ(前年度は290.4十億ノルウェー・クローネ)となった。個人への貸出金は、3%増加して114.3十億ノルウェー・クローネ(前年度は111.5十億ノルウェー・クローネ)となり、法人への貸出金も、7%増加して192.0十億ノルウェー・クローネ(前年度は178.9十億ノルウェー・クローネ)となった。

一般顧客からの預金及び借入金の平均額の合計は、2%減少して97.0十億ノルウェー・クローネ(前年度は98.6十億ノルウェー・クローネ)となった。個人からの預金及び借入金は、5%増加して32.4十億ノルウェー・クローネ(前年度は31.0十億ノルウェー・クローネ)となり、法人からの預金及び借入金は、5%減少して64.6十億ノルウェー・クローネ(前年度は67.7十億ノルウェー・クローネ)となった。

当年度において、ノルウェーにおける当行のミューチュアル・ファンドへの純流入は、合計1.4十億スウェーデン・クローネ(前年度は-3.1十億スウェーデン・クローネ)であった。運用資産合計は、40十億スウェーデン・クローネ(前年度は35十億スウェーデン・クローネ)であった。

## ハンデルスバンケン・ネザーランド

2023年12月31日に終了した事業年度におけるセグメント報告において、ハンデルスバンケン・ネザーランドは、オランダの支店業務に加え、オプティミクス・ベルモーゲンスベヒールにおける資産運用事業により構成されている。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年度合計	2022年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	1,941	1,354	43
純手数料及びコミッション収益	198	147	35
金融取引による純損益	17	21	-19
その他の収益	1	1	0
<b>収益合計</b>	<b>2,157</b>	<b>1,523</b>	<b>42</b>
人件費	-537	-442	21
その他費用	-136	-94	45
内部購入及び売却されたサービス	-277	-241	15
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損	-59	-54	9
<b>費用合計</b>	<b>-1,009</b>	<b>-832</b>	<b>21</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料 控除前利益</b>	<b>1,148</b>	<b>691</b>	<b>66</b>
正味信用損失	13	0	
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益			
リスク税及び破綻処理手数料	-113	-81	40
<b>営業利益</b>	<b>1,048</b>	<b>610</b>	<b>72</b>
利益配分	0	0	0
<b>利益配分後の営業利益</b>	<b>1,048</b>	<b>610</b>	<b>72</b>
内部収益	-98	-453	78
C/I比率(単位：%)	46.8	54.6	
信用損失率(単位：%)	-0.01	0.00	
一般顧客への貸出金	97,110	96,208	1
一般顧客からの預金及び借入金	35,945	31,317	15
割当済資本	5,175	3,582	44
割当済資本に係る利益率(単位：%)	16.9	14.7	

平均従業員数	388	357	9
--------	-----	-----	---

(単位：百万ユーロ)

取引額、オランダの平均額	2023年度	2022年度	変動 (単位：%)
一般顧客への貸出金	8,664	8,177	6
うち個人	4,891	4,723	4
うち法人	3,773	3,453	9
一般顧客からの預金及び借入金	3,537	3,982	-11
うち個人	679	673	1
うち法人	2,858	3,308	-14

## 業績

営業利益は、72%改善して1,048百万スウェーデン・クローネ(前年度は610百万スウェーデン・クローネ)となった。営業利益への為替の影響は、50百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、営業利益は59%増加した。割当済資本に係る利益率は16.9%(前年度は14.7%)であり、C/I比率は46.8%(前年度は54.6%)に改善した。

収益合計は、42%増加して2,157百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,523百万スウェーデン・クローネ)となった。収益合計への為替の影響は、120百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、収益合計は31%増加した。

費用合計は、21%増加して-1,009百万スウェーデン・クローネ(前年度は-832百万スウェーデン・クローネ)となった。費用合計への為替の影響は、-65百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、費用合計は12%増加したが、これは主にIT開発の増加及び事業の成長によるものであった。

純利息収益は、43%増加して1,941百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,354百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、106百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、純利息収益は33%増加した。取引額の増加により、純利息収益に43百万スウェーデン・クローネのプラスの影響が生じた。利鞘の変動及び資金調達費用の純額により、純利息収益は432百万スウェーデン・クローネ増加した。その他の影響により、純利息収益は6百万スウェーデン・クローネ増加した。

純手数料及びコミッション収益は、35%増加して198百万スウェーデン・クローネ(前年度は147百万スウェーデン・クローネ)となった。為替の影響は、12百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では、純手数料及びコミッション収益は25%増加した。仲介業務を含むファンド運用事業、カストディ口座運用事業及び資産運用事業によるコミッション収益は、32%増加して198百万スウェーデン・クローネ(前年度は150百万スウェーデン・クローネ)となり、オプティミクスの運用報酬は31百万スウェーデン・クローネ(前年度は4百万スウェーデン・クローネ)寄与した。

人件費は、21%増加して-537百万スウェーデン・クローネ(前年度は-442百万スウェーデン・クローネ)となった。人件費への為替の影響は、-36百万スウェーデン・クローネであり、現地通貨では人件費は13%増加した。かかる増加は、主に年間給与の調整及び従業員数の増加によるものであった。平均従業員数は、9%増加して388名(前年度は357名)となった。

その他の費用の項目は、21%増加して合計-472百万スウェーデン・クローネ(前年度は-389百万スウェーデン・クローネ)となった。現地通貨では、12%の増加に相当した。かかる増加は、IT開発及び事業開発への継続的な投資によるものであった。

正味信用損失は、13百万スウェーデン・クローネ(前年度は0百万スウェーデン・クローネ)の正味回収額により構成された。信用損失率は、-0.01%(前年度は0.00%)であった。

リスク税は、-70百万スウェーデン・クローネ(前年度は-46百万スウェーデン・クローネ)であり、破綻処理手数料は-43百万スウェーデン・クローネ(前年度は-35百万スウェーデン・クローネ)であった。

## 事業の展開

貸出金の平均額の合計は、6%増加して8.7十億ユーロ(前年度は8.2十億ユーロ)となった。個人への貸出金は、4%増加して4.9十億ユーロ(前年度は4.7十億ユーロ)となり、法人への貸出金も、9%増加して3.8十億ユーロ(前年度は3.5十億ユーロ)となった。

一般顧客からの預金及び借入金の平均額の合計は、11%減少して3.5十億ユーロ(前年度は4.0十億ユーロ)となった。個人からの預金及び借入金は、1%増加して0.7十億ユーロ(前年度も0.7十億ユーロ)となり、法人からの預金及び借入金は、14%減少して2.9十億ユーロ(前年度は3.3十億ユーロ)となった。

オプティミクスにおける運用資産は、当年度末現在、自社のミューチュアル・ファンドを含め、合計で2.0十億ユーロ(前年度は1.9十億ユーロ)であった。

## ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット

2023年12月31日に終了した事業年度におけるセグメント報告において、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットは、市場部門及び国際銀行の事業分野で構成されている。市場部門は、リスク管理、有価証券、デリバティブ、研究、デット・キャピタル・マーケット、コーポレート・ファイナンス及び取引銀行に関連する商品及びサービスを提供する。国際銀行は、ニューヨーク及びルクセンブルクより行われる国際業務並びに金融インフラから構成されている。本書提出日現在のセグメント報告に関する情報については、上記「第2 - 3 事業の内容」を参照のこと。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年度合計	2022年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	384	301	28
純手数料及びコミッション収益	740	771	-4
金融取引による純損益	1,044	1,131	-8
その他の収益	7	9	-22
<b>収益合計</b>	<b>2,175</b>	<b>2,212</b>	<b>-2</b>
人件費	-1,200	-1,143	5
その他費用	-409	-326	25
内部購入及び売却されたサービス	-247	-344	-28
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損	-144	-147	-2
<b>費用合計</b>	<b>-2,000</b>	<b>-1,959</b>	<b>2</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料</b>			
<b>控除前利益</b>	<b>175</b>	<b>253</b>	<b>-31</b>
正味信用損失	11	-13	
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	0	0	
リスク税及び破綻処理手数料	-43	-33	30
<b>営業利益</b>	<b>144</b>	<b>206</b>	<b>-30</b>
利益配分	-527	-531	-1
<b>利益配分後の営業利益</b>	<b>-383</b>	<b>-324</b>	<b>18</b>
内部収益	1,891	615	207
C/I比率(単位：%)	121.4	116.5	
信用損失率(単位：%)	-0.09	0.06	
一般顧客への貸出金	21,504	18,341	17
一般顧客からの預金及び借入金	39,887	35,809	11

割当済資本	2,539	2,072	23
割当済資本に係る利益率(単位：％)	-12.3	-11.5	
平均従業員数	605	585	3

## 業績

営業利益は、30%減少して144百万スウェーデン・クローネ(前年度は206百万スウェーデン・クローネ)となった。

収益合計は、2%減少して2,175百万スウェーデン・クローネ(前年度は2,212百万スウェーデン・クローネ)となった。

純手数料及びコミッション収益は、4%減少して740百万スウェーデン・クローネ(前年度は771百万スウェーデン・クローネ)となった。仲介収益並びに預金手数料及び貸出手数料は増加したが、コミッション及び保証手数料はほぼ横ばいであり、その他の手数料は減少した。

金融取引による純損益は、8%減少して1,044百万スウェーデン・クローネ(前年度は1,131百万スウェーデン・クローネ)となった。

費用合計は、2%増加して-2,000百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,959百万スウェーデン・クローネ)となった。

人件費は、5%増加して-1,200百万スウェーデン・クローネ(前年度は-1,143百万スウェーデン・クローネ)となった。平均従業員数は、3%増加して605名(前年度は585名)となった。

その他の費用の項目は、2%減少して-800百万スウェーデン・クローネ(前年度は-817百万スウェーデン・クローネ)となった。

リスク税及び破綻処理手数料は、合計-43百万スウェーデン・クローネ(前年度は-33百万スウェーデン・クローネ)であった。

正味信用損失は11百万スウェーデン・クローネ(前年度は-13百万スウェーデン・クローネ)の正味回収額により構成され、信用損失率は、-0.09%(前年度は0.06%)であった。

## 事業セグメントに含まれないその他の部門

以下は、グループIT部及び本社スタッフ業務を含む、事業セグメントに計上されていない部門に帰属する収益及び費用項目である。

(単位：百万スウェーデン・クローネ)

	2023年度合計	2022年度合計	変動 (単位：%)
純利息収益	-801	32	
純手数料及びコミッション収益	276	213	30
金融取引による純損益	88	-457	
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益	51	-13	
その他の収益	105	1,111	-91
<b>収益合計</b>	<b>-280</b>	<b>885</b>	
人件費	-3,900	-3,778	3
その他費用	-4,325	-3,525	23
内部購入及び売却されたサービス	8,180	6,959	18
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、 償却費及び減損	-682	-601	13
<b>費用合計</b>	<b>-727</b>	<b>-944</b>	<b>-23</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料 控除前利益</b>	<b>-1,007</b>	<b>-60</b>	
正味信用損失	-8	38	
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	0	-2	
リスク税及び破綻処理手数料	-157	-180	-13
<b>営業利益</b>	<b>-1,172</b>	<b>-203</b>	<b>477</b>
利益配分	23	39	-41
<b>利益配分後の営業利益</b>	<b>-1,149</b>	<b>-164</b>	
内部収益	-2,092	1,897	
一般顧客への貸出金	29,517	23,264	27
一般顧客からの預金及び借入金	17,583	18,630	-6
フィンランドにおける割当済資本	6,903	14,414	-52
平均従業員数	3,056	2,861	7

## 業績

営業利益は、-1,172百万スウェーデン・クローネ(前年度は-203百万スウェーデン・クローネ)であった。

収益合計は、-280百万スウェーデン・クローネ(前年度は885百万スウェーデン・クローネ)であった。前年度の収益合計には、不動産売却による1,059百万スウェーデン・クローネの収益及びフィンランドにおける売却対象グループの事業に関連する-206百万スウェーデン・クローネの資金調達費用が含まれる。

費用合計は、-727百万スウェーデン・クローネ(前年度は-944百万スウェーデン・クローネ)に減少した。

人件費は、3%増加して-3,900百万スウェーデン・クローネ(前年度は-3,778百万スウェーデン・クローネ)となった。2022会計年度の予備引当金-202百万スウェーデン・クローネが2023年第1四半期に計上された一方で、オクトゴーネン利益分配制度に対する2023会計年度の予備引当金-83百万スウェーデン・クローネは、2023年第4四半期に計上された。オクトゴーネン利益分配制度の影響を調整後、人件費は2%増加した。これには、年間給与の調整、年金費用の減少及び従業員数の増加の影響が含まれる。平均従業員数は、7%増加して3,056名(前年度は2,861名)となり、当行のIT部の従業員数は、合計2,042名(前年度は1,877名)となった。

不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損は、-682百万スウェーデン・クローネ(前年度は-601百万スウェーデン・クローネ)であった。



## 5【経営上の重要な契約等】

該当事項なし。

## 6【研究開発活動】

該当事項なし。

## 第4【設備の状況】

### 1【設備投資等の概要】

該当事項なし。

### 2【主要な設備の状況】

スウェーデン法の下で、銀行は一般に銀行の建物及び銀行の社員に居住設備を提供するためのもの以外の不動産を期間の制限なく所有することが認められていない。2023年12月31日現在、当行グループはスウェーデンに10の不動産を有していた。これらは、一部に支店業務も含まれていたものの、主として本店オフィス、情報テクノロジー及び記録保管の目的で使用されていた。

### 3【設備の新設、除却等の計画】

該当事項なし。

## 第5【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

## (1)【株式の総数等】

## 【株式の総数】

## A種株式

(2024年6月19日現在)

授権株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
6,000,000,000	1,944,777,165	4,055,222,835

## B種株式

(2024年6月19日現在)

授権株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
150,000,000	35,251,329	114,748,671

## 【発行済株式】

(2024年6月19日現在)

記名・無記名の別及び 額面・無額面の別	種類	発行数(株)	上場金融商品 取引所名又は 登録認可金融商品 取引業協会名	内容
無記名式 割当価額 <sup>1</sup>	A種株式	1,944,777,165	ナスダック ストック ホルム	A種株式1株につき、 1個の議決権が 付与される。
無記名式 割当価額 <sup>1</sup>	B種株式	35,251,329	ナスダック ストック ホルム	B種株式1株につき、 10分の1個の議決権 が付与される。
計	-	1,980,028,494	-	-

<sup>1</sup> 割当価額は、以下の算式に基づき計算される。

(株式資本残高 / 発行済株式数)

## (2)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

## ( 3 ) 【発行済株式総数及び資本金の推移】

## ( ) A種株式

(2024年6月19日現在)

年月日	発行済株式 総数増減数(株)	発行済株式 総数残高(株)	株式資本増減額 (スウェーデン・ クローネ)	株式資本残高 (スウェーデン・ クローネ)	摘要
2019年12月20日	25,032	1,944,777,165	38,799.60	3,014,404,605.75	転換権の 行使
2019年12月10日	556,847	1,944,752,133	863,112.85	3,014,365,806.15	転換権の 行使
2019年11月25日	3,636	1,944,195,286	5,635.80	3,013,502,693.30	転換権の 行使
2019年11月25日	319,593	1,944,191,650	495,369.15	3,013,497,057.50	転換権の 行使
2019年11月8日	1,876,440	1,943,872,057	2,908,482.00	3,013,001,688.35	転換権の 行使
2019年10月22日	383,465	1,941,995,617	594,370.75	3,010,093,206.35	転換権の 行使
2019年10月9日	2,931,954	1,941,612,152	4,544,528.70	3,009,498,835.60	転換権の 行使
2019年9月20日	18,410,601	1,938,680,198	28,536,431.55	3,004,954,306.90	転換権の 行使
2019年9月10日	235,479	1,920,269,597	364,992.45	2,976,417,875.35	転換権の 行使
2019年8月23日	128,067	1,920,034,118	198,503.85	2,976,052,882.90	転換権の 行使
2019年8月8日	139,572	1,919,906,051	216,336.60	2,975,854,379.05	転換権の 行使
2019年7月23日	3,782,502	1,919,766,479	5,862,878.10	2,975,638,042.45	転換権の 行使
2019年7月9日	119,398	1,915,983,977	185,066.90	2,969,775,164.35	転換権の 行使
2019年6月25日	2,413	1,915,864,579	3,740.15	2,969,590,097.45	転換権の 行使

2019年6月25日	238,572	1,915,862,166	369,786.60	2,969,586,357.30	転換権の行使
2019年6月10日	994,419	1,915,623,594	1,541,349.45	2,969,216,570.70	転換権の行使
2019年5月24日	5,705,344	1,914,629,175	8,843,283.20	2,967,675,221.25	転換権の行使

## ( )B種株式

(2024年6月19日現在)

年月日	発行済株式 総数増減数(株)	発行済株式 総数残高(株)	株式資本増減額 (スウェーデン ・クローネ)	株式資本残高 (スウェーデン ・クローネ)	摘要
2015年5月19日	23,500,886	35,251,329	0	54,639,559.95	1株につき3株 の割合による 株式分割

## ( 4 ) 【所有者別状況】

当行の株主数は、過去4年間で、120,000名をわずかに上回る程度から200,000名超に増加した。同期間に、当行の外国人持株比率は48%から38%に低下した。所有者の約4分の3は、1,001株未満の所有者であった。株主の1.5%がそれぞれ20,001株超の株式を所有しており、かかる株主は合計で株式資本の90%を所有していた。

以下の表は、当行の株式の所有株式数別の内訳を示している。

(2023年12月31日現在)

株主毎の所有株式		所有株式			
株式数	株主数	A種株式数	B種株式数	株式資本割合(%)	議決権割合(%)
1-500株	121,996	13,491,696	4,405,578	0.9	0.7
501-1,000株	25,878	16,533,981	3,650,853	1.0	0.9
1,001-5,000株	37,858	78,506,649	10,124,609	4.5	4.1
5,001-20,000株	11,432	99,665,344	8,121,836	5.4	5.2
20,001株以上	2,924	1,736,579,495	8,948,453	88.2	89.1
<b>合計</b>	<b>200,088</b>	<b>1,944,777,165</b>	<b>35,251,329</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>

## ( 5 ) 【大株主の状況】

以下の表において、保管銀行は通常は実際の株主ではなく、株主が複数の保管銀行を通じて所有している可能性がある。

(2023年12月31日現在)

名称	住所	A種株式数	資本合計に 対する割合 (%)	議決権合計に 対する割合 (%)
インドゥストリーヴァルデン・インベスト・ エイ・ビー・プブリクト	スウェーデン	228,200,000	11.5	11.7
ステート・ストリート・バンク・アンド・ トラスト・コー、W9*	米国	190,183,785	9.6	9.8
スティフテルセン・オクトゴーネン	スウェーデン	159,225,141	8.0	8.2
JPモルガン・チェース・バンク・ エヌ・エイ、W9*	米国	130,497,030	6.6	6.7
ノーザン・トラスト・カンパニー、 ロンドン支店*	英国	60,044,737	3.0	3.1
LEランドバークフォレターゲン・ アクティエボラッグ	スウェーデン	60,000,000	3.0	3.1
バンク・オブ・ニューヨーク・メロン、W9*	米国	50,645,133	2.6	2.6
バンク・オブ・ニューヨーク・メロン SA/NV、W8IMY*	ベルギー	34,719,346	1.8	1.8
J.P.モルガン・エス・イー、 ルクセンブルク支店、W8IMY/NQI*	ルクセンブルク	23,697,580	1.2	1.2
ブラウン・ブラザーズ・ハリマン&コー、W9*	米国	23,491,670	1.2	1.2
A種株式合計		1,944,777,165	98.2	99.8

\*を付した主体は、一又は複数の株主が当該主体を通じて当行の株式を所有しているものと想定される主体である。

名称	住所	B種株式数	資本合計に 対する割合 (%)	議決権合計に 対する割合 (%)
アヴァンザ・ペンション保険会社	スウェーデン	1,066,941	0.05	0.005
ステート・ストリート・バンク・アンド・ トラスト・コー、W9 <sup>*</sup>	米国	315,307	0.02	0.002
スティフト・エディット及びエリック・ フェーンストレームスの寄付金	スウェーデン	278,590	0.01	0.001
バンク・オブ・ニューヨーク・メロン SA/NV、W8IMY <sup>*</sup>	ベルギー	258,751	0.01	0.001
ノルドネット・ペンションフォルシェクリン・エ イ・ビー	スウェーデン	214,406	0.01	0.001
スカンディア保険会社 (プブリクト)	スウェーデン	176,988	0.01	0.001
スウェドバンク・フォルシェクリン・エイ・ビー	スウェーデン	175,937	0.01	0.001
JPモルガン・チェース・バンク・ エヌ・エイ、W9 <sup>*</sup>	米国	156,783	0.01	0.001
バンク・オブ・ニューヨーク・メロン、W9 <sup>*</sup>	米国	99,522	0.01	0.001
HSBCバンク・ピー・エル・シー A/C IB メイン A/C、W-8BEN <sup>*</sup>	英国	93,807	0.00	0.000
B種株式合計		35,251,329	1.8	0.2

\*を付した主体は、一又は複数の株主が当該主体を通じて当行の株式を所有しているものと想定される主体である。

## 2【配当政策】

### 配当政策

配当に関して当行の方針は、資本比率がSFSAにより伝達された資本要件を1パーセント・ポイント上回る水準より低くなるような配当水準にしてはならない、というものである。スウェーデンにおける慣例として、当行は、年に1回株主に対して配当を支払う。一株当たりの配当額は、当行の取締役会により提案され、当行の年次株主総会で承認される。

### 配当

2023年3月22日開催の年次株主総会において、株主により一株当たり5.50スウェーデン・クローネの普通配当及び一株当たり2.50スウェーデン・クローネの特別配当の支払いが決定された。配当総額は、15,840百万スウェーデン・クローネとなった。

2024年3月20日開催の年次株主総会において、株主により一株当たり6.50スウェーデン・クローネの普通配当及び一株当たり6.50スウェーデン・クローネの特別配当の支払いが決定された。配当総額は、25,740百万スウェーデン・クローネとなった。

### 3【コーポレート・ガバナンスの状況等】

#### (1)【コーポレート・ガバナンスの概要】

##### 当行のコーポレート・ガバナンス

当行グループのコーポレート・ガバナンスは、明確で目的に適った組織構造を構築することを目指している。かかる組織構造は、健全かつ効果的な方法で、発生するリスクの効率的な監視及び管理を促進する外部及び内部の規則に則り業務が遂行されることを確保する。明確な責任の分担は、内部統制、リスク管理及びコンプライアンスに関する当行のニーズを満たすとともに、事業の面においては、可能な限り最善の方法で業務が遂行されることを可能にするための鍵となる。優れたガバナンスはすべての業務に通じるものでなければならず、したがって、それは当行グループの全従業員に影響を及ぼす。

ガバナンスの中心は、取締役会及び最高経営責任者が発する目標及び運営文書である。当行の企業文化、運営方式及び報酬制度も、事業を行う上で生じるあらゆるリスクを管理する能力と同様に、効果的なコーポレート・ガバナンスを確保するために重要である。リスク管理の詳細については下記「第6-1-(1) 連結財務書類-注記G2」を参照のこと。

##### コーポレート・ガバナンス・コードの適用

当行はコーポレート・ガバナンス・コードに逸脱することなく準拠している。

##### 規則

スウェーデンの銀行業務は法律により規制されており、銀行業務はSFSAからの許認可がある場合にのみ実施することができる。当行の業務の規制は広範囲に及ぶ。

かかる規制の中で最も主要なものには、以下が含まれる。

- ・会社法
- ・銀行法
- ・証券市場法
- ・信用機関及び投資会社の健全性要件に関する欧州議会・欧州理事会規制(EU)575/2013(CRR)
- ・市場阻害行為に関する欧州議会・欧州理事会規制(EU)596/2014
- ・スウェーデンの金融機関及び投資機関の特別監督に関する法律(2014:968)
- ・スウェーデン・マネーロンダリング及びテロリズムへの資金供与対策法(lag(2017:630))
- ・ミューチュアル・ファンド及び保険事業に関する広範囲に及ぶ規制

SFSAの規制には、信用機関における統治、リスク管理及びリスク統制に関する規制及び一般的な指針並びに証券業及び保険業に関する規則が含まれる。

当行グループの主な方針において、スウェーデン国外における業務は、受入国の規則がスウェーデン国内の規則よりも厳格であるか又はスウェーデンの規則からの逸脱が必要となる場合には、スウェーデン国内の規則と受入国の規則の両方に服する。

また当行グループは、内規も適用している。取締役会及び最高経営責任者が発行する運営文書には、最も重要かつ基本的な原則が記載されており、また事業活動に関する内部統制を確保するための要件を含む当行グループの事業活動の枠組が定められている。これらの運営文書は、事業活動の運営方法についてより詳細な指図及び指針を規定するその他の内部規定によって補完されている。

取締役会の方針には、以下が含まれる。

- ・ガバナンス及び運営文書に関する方針
- ・与信方針
- ・リスク管理に関する方針



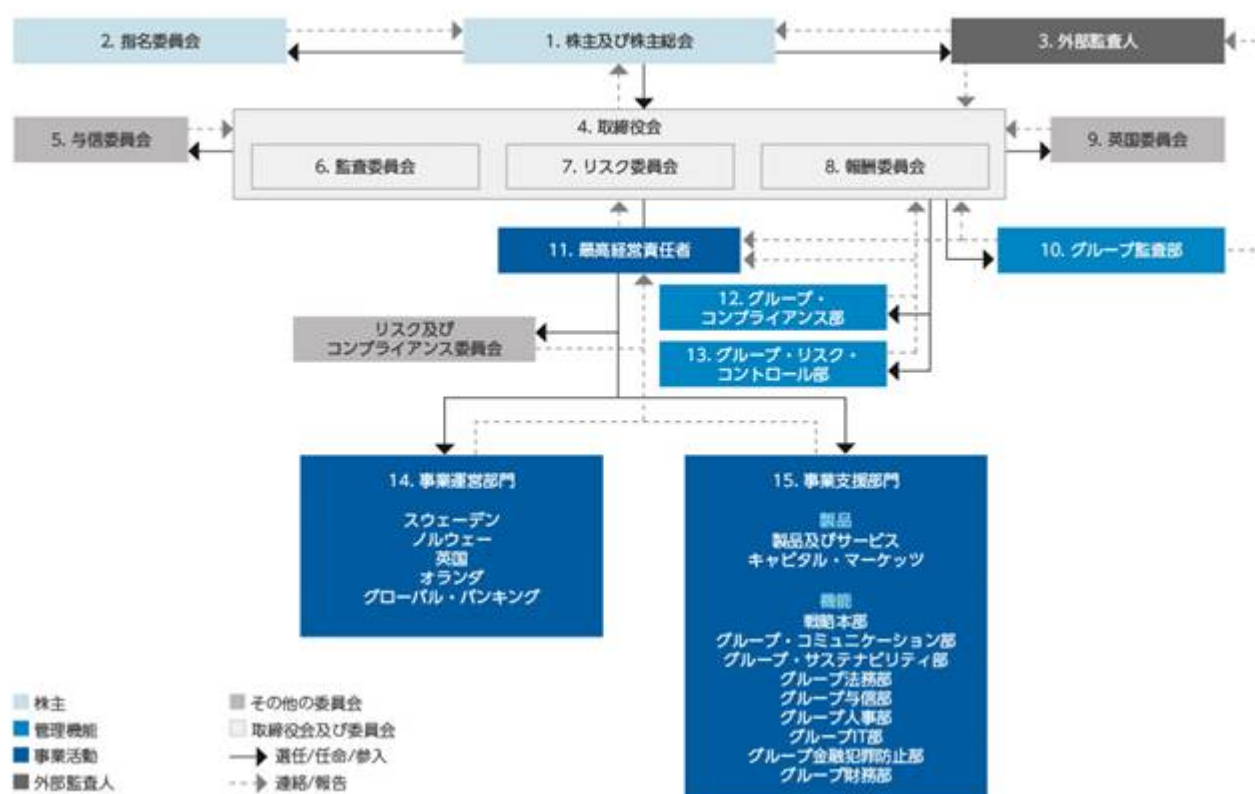
- ・オペレーショナル・リスクに関する方針
- ・資本方針
- ・財務方針
- ・コミュニケーション方針
- ・サステナビリティに関する方針
- ・倫理基準に関する方針
- ・利益相反の取扱いに関する方針
- ・不正行為に対する方針
- ・報酬に関する方針
- ・適合性評価に関する方針
- ・グループ監査部に関する方針
- ・非常に重要な事象の管理及び報告に関する方針
- ・外部監査人の活用に関する方針
- ・コンプライアンスに関する方針
- ・苦情処理に関する方針
- ・従業員による金融商品の取引に関する方針
- ・会計方針
- ・商品及びサービスに関する方針
- ・金融犯罪の防止対策に関する方針

SFSAは、スウェーデン及び当行が支店を置く(言い換えれば、国外業務がスウェーデンの法人である当行の業務の一環として行われている)その他の国々における当行の業務を幅広く監督している。規制当局の業務は、SFSAの主導により、当行の監督部門に組み込まれている。他の国々におけるSFSAに相当する規制当局は、支店の業務に対しては限定的な監督を行っている。しかし、各国内の子会社に対しては網羅的な監督を行っている。

SFSAは、当行の組織、意思決定構造及び内部統制等の様々な事項に関する報告を要求する。SFSAの業務には、当行の様々な部門を現地で体系的に視察することも含まれる。この業務の目的は、与えられた許認可及びその他の細則の条件を当行が実際に遵守しているかを調査することである。

## コーポレート・ガバナンスの体制

### 当行のコーポレート・ガバナンス概要



### 当行のコーポレート・ガバナンス - 概要

上記の表は、当行のコーポレート・ガバナンスの概略を示している。

#### 1. 株主及び株主総会

株主は、当行の最高意思決定機関である株主総会において当行に関連する事項を決定する権限を行使する。年次株主総会は、毎年開催され、そこでは主に取締役会、取締役会会長及び監査人の任命が行われる。年次株主総会において、当行の株主は、当行の統治に特に重要な事項についての様々な決定を行う。株主の決定には、以下の事項が含まれる。

- ・ 損益計算書及び貸借対照表の承認
- ・ 利益処分
- ・ 過去の事業年度に対する取締役会及び最高経営責任者の責任の免除
- ・ 当行の取締役及び監査人の人数並びに取締役及び監査人の任命
- ・ 取締役及び監査人への報酬額の決定
- ・ 執行役員(下記「(2) 役員の状況 - 報酬の方針の概要」で定義する。)への報酬についての指針

#### 2. 指名委員会

指名委員会の役割は、取締役会会長及びその他の取締役会の構成員の指名、並びに取締役会会長及びその他の取締役会の構成員の報酬に関する提案を準備し、年次株主総会に提出することである。スウェーデンコーポレート・ガバナンス・コードに規定されているように、指名委員会は監査人の指名及び監査人の報酬についての提案も行う。年次株主総会は、指名委員会がどのように任命されるかについて決定する。

指名委員会は、取締役会の多様性方針を考慮して業務を行っている。当該方針では、独立した意見及び批判的な質問を促進するため、取締役会は、例えば、年齢、性別、出身地域並びに教育的及び専門的背景などの観点から、適切な多様性によって特徴づけられることが望ましいと規定されている。指名委員会は、年次株主総会への提案を作成する際に、取締役及び最高経営責任者の適性評価に関する取締役会の方針のうち関連する部分について検討する。また指名委員会は、提案をまとめるにあたり、取締役会会長により行われた取締役会の評価も検討する。

### ３．取締役会

取締役会は当行の組織に対して責任を有し、株主に代わって当行の業務処理を行う。取締役会は、継続的に当行の財政状態を査定し、会計記録、資金管理及び当行の財政状態のその他の側面が十分に統制されるように、当行が組織化されていることを確保しなければならない。取締役会は、これをどのように実施すべきかについての方針及び指針を設定し、取締役会のための手続規則を定め、また最高経営責任者のための指針も定める。

これらの中央運営文書には、取締役会全体、委員会、取締役会会長及び最高経営責任者間において、責任及び権限がどのように割り当てられているかについて記載している。取締役会は、最高経営責任者、エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント、最高リスク管理責任者、最高コンプライアンス責任者及び最高監査責任者を任命し、また取締役会はこれらの者の雇用条件も決定する。取締役会会長は取締役会の業務査定に責任を負い、査定結果を指名委員会に報告する。

### ４．与信委員会

取締役会は、取締役会がその他の部門に委任した決定限度額を超える与信案件について決定を行う与信委員会を設立する。しかしながら、特別な重要案件並びに取締役及び経営陣の与信は取締役会全体によって決定が行われる。

### ５．リスク委員会

取締役会のリスク委員会は、当行グループのリスク統制及びリスク管理の有効性を監視する。当委員会は、当行のリスク戦略及びリスク許容度等に関する決定を準備し、グループ・コンプライアンス部及びグループ・リスク・コントロール部からの報告書を審査する。また当委員会は、IRB手法に関連する当行のリスク評価及び推定プロセスの重要な部分に関する決定を含む意思決定を独立して行っている。

### ６．報酬委員会

取締役会の報酬委員会は、当行の執行役員の雇用条件を、現行の市場相場と照らして審査する。また当委員会の役割には、執行役員の報酬に関するガイドラインについての年次株主総会への取締役会の提案を準備すること、これらのガイドラインの適用に関して監視及び評価を行うこと、並びに執行役員及び最高監査責任者の報酬及びその他の雇用条件に対する取締役会の決定を準備することも含まれる。執行役員の報酬に関する指針は、下記「(2) 役員の状況 - 報酬の方針の概要」に記載されている。また当委員会は、当行の報酬方針及び報酬制度について、評価を行っている。

2023年度中、報酬委員会は11回会合を開催し、報酬委員会のすべての構成員がすべての会合に出席した。

## 7. 英国委員会

取締役会の英国委員会は、ハンデルスバンケン・ピー・エル・シーにおける業務の体系的かつ継続的なフォローアップを促進している。取締役会の委員及び業務執行経営陣から選出された構成員は、かかる委員会に参加する。

## 8. 最高経営責任者

最高経営責任者は、当行グループの日常的な運営指揮をとるために取締役会により任命される。取締役会からの指示に加え、最高経営責任者は会社法並びに特に当行の会計、資金管理及び運営管理に関するその他多数の法律の規定を遵守することが義務付けられている。

## 9. グループ・コンプライアンス部

グループ・コンプライアンス部は、コンプライアンスの監視及び管理、コンプライアンスを確保するために事業上講じられるべき措置に関する助言及び支援の提供、並びに重大な欠陥及びリスクの報告を行う責任を負っている。最高コンプライアンス責任者は、最高経営責任者に直属し、グループ・コンプライアンス部長を務める。

## 10. グループ・リスク・コントロール部

グループ・リスク・コントロール部は、当行グループ内のすべての重要なリスクが関連部門により特定され、管理されていることを検証する責任及び、これらのリスクを分析し報告する責任を負っている。最高リスク管理責任者は、最高経営責任者に直属し、グループ・リスク・コントロール部長を務める。

## 11. 事業運営部門

当行グループは、複数の国で事業を展開している。各国にはカンントリー・ゼネラル・マネージャーがおり、当該国における当行の事業活動の全体的な責任を負う。この責任には、製品及びサービスの流通責任並びに顧客責任も含まれる。

## 12. 事業支援部門

当行には、当行グループ全体について責任を負う事業支援部門が複数存在する。

## 製品

プロダクト・マネージャーは、特定の製品分野に対する事業支援の中心を担っている。製品責任には、当行グループ全体の承認プロセスに従った、製品及びサービスの開発、管理及び段階的廃止、並びに製品及びサービスの流通の調整及び支援が含まれる。

## 機能

ファンクション・マネージャーは、特定の分野に対し、当行グループ全体について責任を負う。機能責任には、当該分野の業務が十分に機能し、内部及び外部の規則及び規制に従って業務が行われることの確保が含まれる。この責任には、当該分野に係る指針及び支援を提供することにも含まれる。

## 保険契約の概要

業務の遂行に関連して、2種類の保険契約が設定されている。まず、専門業務賠償責任保険は、顧客に提供した当行グループの専門的なサービスに対して、顧客が当行グループ又は従業員に補償を請求した場合の損害を填補する。これらの請求は通常、スタッフ個人に対して直接ではなく、当行グループに対して行われるものであるため、免責水準が設定されている。

かかる保険契約を補完するため、当行グループは役員等賠償責任保険契約を締結しており、当行グループがかかる保険料の全額を負担している。被保険者は、当行グループのすべての取締役、監査役、執行役員及びエグゼクティブフェローに加え、当行グループを代理して行動した場合に個人的責任を負う可能性のあるその他の者である。当該契約は、これらの地位において行われた行為に起因する損失の補填及び紛争の費用を補償範囲に含む。当該契約は補償範囲が広く、現地の法律に基づき支払いが合法である場合には支払いが認められる。また当該契約は、犯罪捜査に伴う費用も補償範囲に含むが、従業員が有罪となった場合、保険会社は支払った補償金の返還を要求する権利を有する。補償の範囲が広いとはいえ、適用範囲にはいくつかの制約がある。

## (2) 【役員の状況】

当行の運営に関する全体的な責任は、取締役会に委任されている。銀行法により、銀行は3名以上の構成員から成る取締役会を設置しなければならない。当行の定款の規定に従い、株主は年次株主総会において8名以上15名以下の取締役会の構成員全員を選出することができる。一定の規模のスウェーデン企業に影響のある特別立法に基づき、当行の従業員は、2名の取締役会の構成員を追加で任命する権利を有し、2名の常任構成員及び2名の代理人を取締役会の従業員代表に任命することによりこの権利を行使した。

取締役会は、現在11名の取締役で構成されている。9名は年次株主総会により選出され、2名の常任メンバーは従業員団体により選出された。取締役会は、通常暦年中に少なくとも9回会合を開催し、その他必要がある場合、主要な政策及び展開、多額の貸付提案並びにその他の関連事業を検討するため会合する。2023年度中、取締役会は、延長された2回の戦略会議を含む15回の会合を開催した。各取締役の出席状況は下表に示される。

当行のグループ最高経営責任者としての頭取は、取締役会の政策実行、当行グループの事業の主導に責任を負う。

取締役会の構成員等は、以下のとおりである。

男性の数：5名、女性の数：6名(女性の比率55%)

氏名 (生年)	当行における 役職 (取締役会への 選出年)	地位及び主要な活動	2023年度の報酬 <sup>1</sup>
パール・ボーマン (1961年)	会長 (2006年)	スウェンスカ・セルローサ・エイ・ビーSCA及びエシティ・エイ・ビーの会長。エイ・ビー・インドゥストリーヴァルデンの副会長。スカンスカ・エイ・ビーの取締役。	5,810,000 スウェーデン ・クローネ
フレデリック・ランドバーク (1951年)	副会長 (2002年)	LEランドバークフォレターゲン・エイ・ビーの社長兼最高経営責任者。ホルメン・エイ・ビー、ホフレッドストーダン・エイ・ビー及びエイ・ビー・インドゥストリーヴァルデンの会長。LEランドバークフォレターゲン・エイ・ビー及びスカンスカ・エイ・ビーの取締役。	1,520,000 スウェーデン ・クローネ

ジョン・フレデリック・バクサース (1954年)	取締役 (2003年)	DNVの会長。テレフォナクティーボラーゲLMエリクソン及びスケール・リープ・キャピタル・エイ・エスの取締役。	1,805,000 スウェーデン・クローネ
ヘリアン・パルネコウ (1964年)	取締役 (2022年)	ミンドラー・エイ・ビーの会長。GNストア・ノード及びヴォヤドの取締役。	765,000 スウェーデン・クローネ
スティナ・バーグフォース (1972年)	取締役 (2021年)	エイチ・アンド・エム ヘネス・アンド・マウリッツ及びテレ2の取締役。	1,215,000 スウェーデン・クローネ
ハンス・ベオーク (1951年)	取締役 (2018年)	スカンスカ・エイ・ビーの会長。	2,255,000 スウェーデン・クローネ
シャスティン・ヘシウス (1958年)	取締役 (2016年)	ヘムソ・ファスティゲット・エイ・ビーの会長。ルメラ・エイ・ビー及びモンテッロ・ファンド・マネジメント・エイ・ビーの取締役。	1,775,000 スウェーデン・クローネ
ルイス・リンド (1979年)	取締役 (2024年)	J2Lホールディング・エイ・ビー及びファスティゲット・エイ・ビー・LEランドバーグの会長。LEランドバーグフォレターゲン・エイ・ビー、ホフレッドストーダン・エイ・ビー及びホルメン・エイ・ビーの取締役。	0 スウェーデン・クローネ
ウルフ・リーズ (1959年)	取締役 (2020年)	-	2,675,000 スウェーデン・クローネ
アンナ・イェンベリ (1969年)	従業員代表 (2020年)	金融部門ユニオンのハンデルスバンケン・ユニオン・クラブの会長。	0 スウェーデン・クローネ
レナ・レンストロム (1965年)	従業員代表 (2020年)	金融部門ユニオンのハンデルスバンケン・SE - ユニオン・クラブの会長。	0 スウェーデン・クローネ

<sup>1</sup> 報酬は年次株主総会で決定された。2023年の取締役への報酬の合計は、19,485,000スウェーデン・クローネであった。

氏名	経歴	取締役会への出席状況	2023年12月31日現在の本人及びその近親者の所有株式数
パール・ボーマン	2006-2015年：当行の頭取兼最高経営責任者。	会長 15/15	147,482株、そのうちA種株式115,000株を直接所有し、32,482株を間接所有 <sup>1</sup> 。
フレデリック・ランドバーグ	1981年-：LEランドバーグフォレターゲン・エイ・ビーの頭取。1977年-：ランドバーグズに在職。	15/15	A種株式82,275,000株

ジョン・フレデリック・バク サース	2008-2016年：GSM協会の構成員(2013-2016年は会長)。2002-2015年：テレノール・グループの頭取兼最高経営責任者。1989-2002年：テレノール・グループの財務部、ファイナンス・コントロール部及び管理部において様々な役職を歴任。1988-1989年：エイカー・エイ・エス。1985-1988年：ストルト・ニールセン・シーウェイ・エイ・エスに在職。1979-1985年：ノルウェー及び日本におけるデット・ノルスク・ヴェリタスに在職。	14/15	A種株式3,800株
ヘリアン・バルネコウ	2018-2022年：マイクロソフト・スウェーデンの最高経営責任者。2014-2018年：テリア・スウェーデンの最高経営責任者及び様々な管理職を歴任。2009-2014年：EMCコーポレーション(英国及び米国)の様々なマーケット・リーダー職を歴任。2001-2009年：ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ(米国、英国及びスウェーデン)の様々なマーケット・リーダー職等を歴任。1999-2001年：ノボノルディスク(デンマーク)のマーケット・リーダー。1995-1999年：エリクソンの様々な管理職を歴任。1993-1995年：マイクロソフト(マルタ)のマーケット・リーダー。1991-1993年：DLFスウェーデンのプロジェクト・マネージャー/コンサルタント。	13/15	A種株式1,000株
スティナ・バーグフォース	2013-2018年：ユナイテッド・スクリーンの共同設立者、最高経営責任者及びその他の役職。2008-2013年：グーグル及びユーチューブの地域ディレクター。2004-2007年：カラットの最高経営責任者及びその他の役職。2000-2004年：OMDワールドワイドのディレクター及びその他の役職。1999-1999年：TV3 スウェーデン及びモダン・タイムズ・グループの経理マネージャー。	14/15	0株
ハンス・ベオーク	2001-2011年：スカンスカのエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント及び最高財務責任者。1998-2001年：オートリブの最高財務責任者。1997-1998年：自営業。1977-1997年：エセルテにおいて様々な役職を歴任。	14/15	B種株式5,000株
シャスティン・ヘシウス	2004-2022年：AP3第3スウェーデン国民年金基金の最高経営責任者。2001-2004年：ストックホルム証券取引所の最高経営責任者。1999-2000年：スウェーデン国立銀行の中央銀行総裁代理。1998年：ダンスク銀行のアセット・マネジメントの最高経営責任者。1990-1997年：エイ・ビー・エヌ・アムロ銀行、アルフレッド・ベルグに在職。1989-1990年：フィナンスティグニニャンに在職。1986-1989年：SND0に在職。1985-1986年：スウェーデン国立銀行(スウェーデン中央銀行)に在職。1984-1985年：スウェーデン総務局に在職。	15/15	A種株式47,213株

ルイス・リンド	2017-2024年：ファスティゲット・エイ・ビー・LEランドバークの社長兼最高経営責任者。2005-2017年：ファスティゲット・エイ・ビー・LEランドバークにおいて最高経営責任者補佐、エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント及び地域マネージャーなど様々な役職を歴任。2003-2005年：KPMGの監査人補佐。	-	A種株式2,706,000株
ウルフ・リーズ	当行において様々な役職を歴任。2016-2018年：シニア・アドバイザー。2007-2016年：当行の最高財務責任者。2004-2007年：ハンデルスバンケン・アセット・マネジメント部長。2004年：当行のエグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント。1983年-：当行により雇用。経済学／経営学専攻卒業。	15/15	A種株式180,000株
アンナ・イェンベリ	ハンデルスバンケン・リヴの保険責任者及び当行グループのユニオンの役職を歴任。	15/15	27,753株、そのうち27,753株を間接所有 <sup>1</sup> 。
レナ・レンストロム	当行の支店業務においてアドバイザー・サービスを担当。	15/15	34,165株、そのうち34,165株を間接所有 <sup>1</sup> 。

<sup>1</sup> オクトゴーネン利益分配制度を通じた当行の株式の間接所有を指す。

取締役会の従業員代表代理等は、以下のとおりである。

氏名 (生年)	当行における 役職 (取締役会への 選出年)	地位及び主要な活動	2023年度の報酬 <sup>1</sup>
ステファン・ヘンリクソン (1970年)	従業員代表代理 (2020年)	金融部門ユニオンのハンデルスバンケン・SE - ユニオン・クラブの取締役。	0 スウェーデン ・クローネ
ミーケル・アーンビエット (1969年)	従業員代表代理 (2023年)	当行のアカデミカーフォレニング(学位を取得した専門家の協会)の会長。	0 スウェーデン ・クローネ

<sup>1</sup> 報酬は年次株主総会で決定された。2023年の取締役への報酬の合計は、19,485,000スウェーデン・クローネであった。

氏名	経歴	取締役会への 出席状況	2023年12月31日現在の 本人及びその近親者の 所有株式数
ステファン・ヘンリクソン	当行の支店及び地域の本部において管理業務及びアドバイザー・サービスを担当。	13/15	35,306株、そのうち35,306株を間接所有 <sup>1</sup> 。
ミーケル・アーンビエット	マネーロンダリング防止部門、国際業務部門及び取引部門内の専門家、システム所有者並びにビジネス及びオペレーション開発の担当者。	10/15	26,879株、そのうち26,879株を間接所有 <sup>1</sup> 。

<sup>1</sup> オクトゴーネン利益分配制度を通じた当行の株式の間接所有を指す。



当行グループの経営陣の構成員は、以下のとおりである。

## 経営陣

ミーケル・グリーン	頭取兼グループ最高経営責任者
ペール・ベックマン	最高与信責任者
カタリーナ・ベルフラグ・サールストランド	最高サステナビリティ責任者兼最高コミュニケーション責任者
カール・セダーシオルド	最高財務責任者(CFO)
マティアス・フォースバーグ	最高情報責任者
マリア・ヘディン	最高リスク責任者
ダン・リンドウォール	子会社及び当行グループ全体の業務の責任者
セシリア・ルンディン	最高人事責任者

## 報酬の方針の概要

取締役会は、当行及び当行グループの報酬の方針において、当行の報酬制度は、健全で持続可能な業務に立脚した当行の企業目標及び企業文化に合致したものであるべきと定めている。また報酬の方針において、健全で持続可能な業務には固定報酬が適すると規定しており、したがって、原則として固定報酬が適用されている。変動報酬の適用には十分な注意が求められる。上記の方針を考慮すると、従業員に対する報酬総額は、男女平等を遵守し、当行及び当行グループが熟練したスタッフを惹きつけ、保持、育成することを可能とし、かつ、良好な経営継承が確保された、市場条件に基づくものでなければならない。執行役員への報酬のガイドラインの基礎として、当行の報酬の方針及び上記の従業員への報酬の原則が考慮されている。

当該ガイドラインは、最高経営責任者、エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント及び経営陣のその他の構成員(以下「執行役員」という。)への報酬に適用される。また当該ガイドラインは、当行の取締役への就任の報酬に加えて、取締役へ支払われるすべての報酬に適用される。

- 報酬総額の合計は、市場条件に基づくものとする。
- 報酬は、固定額の現金給与、年金給付及び慣習的な給付の形で支払われる。
- 当行の従業員でない取締役を除く当行の執行役員は、当行の全従業員と同じ条件でオクトゴーネン利益分配制度の対象に含まれる。
- 年金給付は確定拠出制度であり、年間の固定額の現金給与の最大35%に相当し、団体協約に基づく年金制度に追加して支払われる場合がある。その他の給与手当は、1年当たり合計で年間の固定給の最大35%に相当する。
- 雇用契約は、追って通知があるまで、又は一定期間適用される。執行役員側の予告期間は6ヶ月、当行側の予告期間は最長で12ヶ月である。当行の執行役員に就任して5年超が経過し、当行が雇用契約を終了する場合、予告期間は最長で24ヶ月である。その他の退職手当は支払われない。団体協約又は労働法制により、異なる予告期間が適用される場合がある。

### ( 3 ) 【監査の状況】

#### ( ) 内部監査

##### 監査委員会

取締役会の監査委員会は、重要な会計問題及びその他財務報告の質的内容に影響する可能性のある要因を検討しながら当行の財務報告を監視する。当委員会はまた、当行及び当行グループの内部統制、内部監査及び財務報告に関するリスク管理の有効性を監視するとともに外部監査人の公平性及び独立性を監視する。また、当委員会は監査業務を査定し、監査人の指名に関して指名委員会へ提言を提出する。監査委員会はまた、当行の内部監査人及び外部監査人による報告書を受け取る。

2023年度中、監査委員会は7回会合を開催した。

##### グループ監査部

グループ監査部(内部監査部)は、当行グループの事業及び財務報告の独立した公平な監査を行う。グループ監査部の重要な業務はリスク管理、内部統制及びコーポレート・ガバナンスの手続を評価、検証することである。最高監査責任者は取締役会により任命される。かかる業務は、取締役会により定められた方針に基づき、内部監査人協会(IIA)により発表された国際的に認められる基準に従った、リスクベースの手法に基づいて実施される。計画された監査業務は毎年、取締役会が策定する監査計画に文書化される。グループ監査部の結論、取るべき措置及びその状況は、定期的に監査委員会に報告され、毎年、取締役会全体に報告される。最高監査責任者はまた、当行グループの独立した内部告発システムを通じて報告を受ける。グループ監査部は、定期的に独立した外部の適正評価を受けている。また当行の外部監査人は毎年、グループ監査部の業務の適正評価を実施している。

#### ( ) 会計監査

監査人は、年次株主総会から翌年次株主総会終了時までの任期で任命される。監査人は、株主に対して説明責任を有する。監査人は、監査を行い、コーポレート・ガバナンス・レポートを含む年次報告書並びに取締役会及び最高経営責任者の運営等の事項に関する監査報告書を提出する。さらに、監査人は、口頭及び書面において、取締役会の監査委員会に対し、その監査業務がいかに遂行されたかを報告する。監査人はまた、取締役会全体に対し、その監査の概略報告書も提出する。

##### ( ) 監査法人の名称

アーンスト・アンド・ヤング・エイ・ビー(以下「EY」という。)は、2022年3月23日付株主総会により当行及び当行グループの監査法人に任命され、1998年4月28日から2023年3月22日に開催された株主総会の終了時まで、会社の監査法人であった。

プライスウォーターハウスクーパース・エイ・ビー(以下「PwC」という。)は、2024年3月20日付株主総会により当行及び当行グループの監査法人に任命され、2017年3月29日以降、会社の監査法人である。

デロイト・エイ・ビー(以下「デロイト」という。)は、2024年3月20日付株主総会により当行及び当行グループの監査法人に任命され、2023年3月22日以降、会社の監査法人である。

##### ( ) 2023年12月31日に終了した事業年度の監査業務に係る担当公認会計士の氏名及び役職

ヨハン・リップペは、1999年から公認会計士である。同氏は、当行及び当行グループにおいてPwCの担当監査人であり、監査チームの委員長である。マーリン・ルーニングは、2008年から公認会計士であり、当行及び当行グループにおいてデロイトの担当監査人である。

## ( ) 監査業務に係る補助者の構成

公認会計士：13名

補助者：62名

## ( ) 当該監査法人の選任理由

当行は、PwC及びデロイトをその独立性、専門性、品質管理の構造及び監査報酬等を考慮し、監査法人として採用している。当行は、監査法人が監査のための有能な組織を有しており、当行を適切に監査することができていると認識する。

## ( ) 最近2年間の事業年度における外国監査法人の推移

EYは、1998年から当行の監査人であった。EUの規制は監査人の10年間の任期後の交代を義務付けているが、経過規定によりEYは2023年まで再任されることが認められていた。しかし監査委員会は、入札手続をとるべきであると判断した。その後、監査委員会はPwC及びデロイトを指名することを提案し、指名委員会は2023年1月1日に開始した事業年度の当行の監査人にPwC及びデロイトを任命することを年次株主総会に提案した。2023年の3月22日の年次株主総会はかかる提案のとおり決議した。EYは、監査報告書等の記載内容に関し、監査人の異動の決定又は異動に至った理由及び経緯について特段の意見はなかった。

## ( ) 評価内容

当行の監査委員会は、PwC及びデロイトが、公平性及び独立性の観点から監査法人として適切であると評価し、また、これらの法人に関連してスウェーデン監査検査局により実施された監督業務の情報を取得し続けている。

2022年度及び2023年度の監査人及び監査法人に対する報酬は、以下のとおりである。

監査人及び監査法人に対する報酬 (当行グループ)	プライスウォーターハウス クーパース・エイ・ビー		デロイト・エイ・ビー	
	2023年	2022年	2023年	2022年
(単位：百万スウェーデン・クローネ)				
監査業務	-39	-35	-8	
当該監査業務以外の監査上の業務	-6	-6	-2	
税務アドバイス				
その他サービス		0		

監査人及び監査法人に対する報酬 (親会社)	プライスウォーターハウス クーパース・エイ・ビー		デロイト・エイ・ビー	
	2023年	2022年	2023年	2022年
(単位：百万スウェーデン・クローネ)				
監査業務	-10	-10	-7	
当該監査業務以外の監査上の業務	-2	-2	-2	
税務アドバイス				
その他サービス		0		

## ( 4 ) 【役員の報酬等】

上記「(2) 役員の状況」を参照のこと。

## ( 5 ) 【株式の保有状況】

該当事項なし。

## 第6【経理の状況】

- a. 本書記載の当行グループの邦文の連結財務書類及び当行グループの親会社の邦文の財務書類は、2023年12月31日に終了した事業年度の原文の財務書類を翻訳したものである。本書記載の原文の連結財務書類及び財務書類は、当行グループの監査済連結財務書類及び親会社の監査済個別財務書類で構成されている。当行グループの連結財務書類は、EUにより採択された国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(1995年、第1559号)に準拠して作成されている。親会社の個別財務書類は、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に準拠して作成されている。また、当行グループ及び親会社の財務書類の日本における開示については、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)第328条第1項の規定が適用されている。

なお、IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法と日本の会計原則及び手続並びに表示方法の相違点については、下記「第6 - 4 IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違」を参照のこと。

- b. 当行グループと親会社の原文の連結財務書類及び財務書類は、スウェーデンにおける独立監査人であるプライスウォーターハウスクーパース・エイ・ビー(PricewaterhouseCoopers AB)及びデロイト・エイ・ビー(Deloitte AB)の監査を受けており、独立監査人の2024年2月22日付の監査報告書の原文及び日本語訳は本書に掲載されている。

なお、原文の財務書類は、上記のとおりプライスウォーターハウスクーパース・エイ・ビー及びデロイト・エイ・ビーの監査を受けており、これによって「財務諸表等の監査証明に関する内閣府令」(昭和32年大蔵省令第12号)第1条の2の規定に基づく監査証明に相当する証明を受けたとみなされるため、金融商品取引法第193条の2第1項第1号の規定に基づく日本の公認会計士又は監査法人による監査は受けていない。

- c. 日本円への換算及び下記「第6 - 2 主な資産・負債及び収支の内容」から「第6 - 4 IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違」までの事項は原文の財務書類には記載されておらず、当該事項における原文の財務書類への参照事項を除き、上記b.の監査の対象になっていない。

- d. 邦文の財務書類では、主要な数値についてのみ日本円換算が行われている。日本円への換算には、2024年5月31日(日本時間)現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値である1スウェーデン・クローネ = 14.79円のスウェーデン・クローネの対円為替レートが使用されている。日本円に換算された金額は、四捨五入のため合計欄の数値が総額と一致しない場合がある。また、本項において記載されているスウェーデン・クローネの日本円への換算額は読者の便宜のために表示されているものであり、スウェーデン・クローネの金額が上記のレートで日本円に換算されることを意味するものではない。

- e. なお、財務書類中の括弧内の数値は比較数値を示している。

- f. 本「第6 経理の状況」において、「親会社」はスウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトを意味する。

- g. 本「第6 経理の状況」において、「クローネ」及び「スウェーデン・クローネ」はスウェーデン・クローネを意味する。

## 1 【財務書類】

## (1) 連結財務書類

## 損益計算書(当行グループ)

		2023年		2022年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
利息収益	注記G3	159,805	2,363,516	67,407	996,950
うち、実効金利法による利息収益及びヘッジ会計デリバティブに係る利息		133,602	1,975,974	59,702	882,993
利息費用	注記G3	-112,227	-1,659,837	-30,793	-455,428
<b>純利息収益</b>		<b>47,578</b>	<b>703,679</b>	<b>36,614</b>	<b>541,521</b>
手数料及びコミッション収益	注記G4	12,559	185,748	12,277	181,577
手数料及びコミッション費用	注記G4	-1,421	-21,017	-1,296	-19,168
<b>純手数料及びコミッション収益</b>		<b>11,139</b>	<b>164,746</b>	<b>10,981</b>	<b>162,409</b>
金融取引による純損益	注記G5	2,661	39,356	1,540	22,777
保険事業による損益		157	2,322	280	4,141
保険契約者に代わって保有する資産からの収益		336	4,969	-291	-4,304
<b>保険事業による純損益</b>	注記G6	<b>493</b>	<b>7,291</b>	<b>-11</b>	<b>-163</b>
その他配当金収益		3	44	17	251
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益	注記G20	51	754	-13	-192
その他収益	注記G7	325	4,807	1,246	18,428
<b>収益合計</b>		<b>62,249</b>	<b>920,663</b>	<b>50,375</b>	<b>745,046</b>
人件費	注記G8	-13,642	-201,765	-13,040	-192,862
その他費用	注記G9	-7,796	-115,303	-6,526	-96,520
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	注記G25、G26	-1,743	-25,779	-1,646	-24,344
<b>費用合計</b>		<b>-23,182</b>	<b>-342,862</b>	<b>-21,212</b>	<b>-313,725</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前利益</b>		<b>39,067</b>	<b>577,801</b>	<b>29,163</b>	<b>431,321</b>
正味信用損失	注記G10	-141	-2,085	-47	-695
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	注記G11	20	296	24	355
リスク税及び破綻処理手数料	注記G12	-2,624	-38,809	-2,311	-34,180
<b>営業利益</b>		<b>36,322</b>	<b>537,202</b>	<b>26,829</b>	<b>396,801</b>
法人税等	注記G35	-8,417	-124,487	-5,431	-80,324
<b>継続事業からの当期利益</b>		<b>27,905</b>	<b>412,715</b>	<b>21,398</b>	<b>316,476</b>
非継続事業からの当期利益(税引後)	注記G14	1,209	17,881	280	4,141
<b>当期利益</b>		<b>29,114</b>	<b>430,596</b>	<b>21,678</b>	<b>320,618</b>

帰属先：

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主		29,107	430,493	21,676	320,588
うち、継続事業		27,898	412,611	21,395	316,432
うち、非継続事業		1,209	17,881	281	4,156
非支配株主持分		8	118	1	15
事業合計からの一株当たり利益、					
スウェーデン・クローネ/円	注記G13	14.70	217.41	10.95	161.95
希薄化後	注記G13	14.70	217.41	10.95	161.95
継続事業からの一株当たり利益、					
スウェーデン・クローネ/円	注記G13	14.09	208.39	10.81	159.88
希薄化後	注記G13	14.09	208.39	10.81	159.88
非継続事業からの一株当たり利益、					
スウェーデン・クローネ/円	注記G13	0.61	9.02	0.14	2.07
希薄化後	注記G13	0.61	9.02	0.14	2.07

## 包括利益計算書（当行グループ）

	2023年		2022年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
当期利益	29,114	430,596	21,678	320,618
<b>その他包括利益</b>				
<b>損益計算書に組み替えられない項目</b>				
確定給付年金制度	-2,226	-32,923	3,049	45,095
その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	63	932	41	606
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	439	6,493	-642	-9,495
うち、確定給付年金制度	450	6,656	-622	-9,199
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	-11	-163	-19	-281
<b>損益計算書に組み替えられない項目合計</b>	<b>-1,724</b>	<b>-25,498</b>	<b>2,448</b>	<b>36,206</b>
<b>その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目</b>				
キャッシュフロー・ヘッジ	614	9,081	-2,640	-39,046
その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	25	370	-60	-887
保険契約	-396	-5,857	793	11,728
当期為替換算差額	-1,078	-15,944	2,312	34,194
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	31	458	-297	-4,393
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目に係る税金	113	1,671	-15	-222
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	-127	-1,878	544	8,046
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	-5	-74	6	89
うち、在外営業活動体における純投資のヘッジ	-6	-89	61	902
うち、為替換算差額	251	3,712	-626	-9,259
<b>その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計</b>	<b>-722</b>	<b>-10,678</b>	<b>390</b>	<b>5,768</b>
<b>その他包括利益合計</b>	<b>-2,447</b>	<b>-36,191</b>	<b>2,838</b>	<b>41,974</b>
<b>当期包括利益合計</b>	<b>26,667</b>	<b>394,405</b>	<b>24,516</b>	<b>362,592</b>
<b>帰属先：</b>				
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主	26,662	394,331	24,516	362,592
非支配株主持分	5	74	1	15

当期の損益計算書における分類変更は持分変動計算書に示されている。



## 貸借対照表(当行グループ)

		2023年		2022年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
<b>資産</b>					
現金及び中央銀行預け金		476,171	7,042,569	475,868	7,038,088
中央銀行へのその他の貸出金	注記G15	6,282	92,911	4,604	68,093
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記G18	199,128	2,945,103	132,778	1,963,787
その他金融機関への貸出金	注記G16	19,294	285,358	9,411	139,189
一般顧客への貸出金	注記G17	2,291,808	33,895,840	2,315,818	34,250,948
ポートフォリオ・ヘッジにおける金利ヘッジ対象の価値変動		-9,657	-142,827	-16,616	-245,751
債券及びその他の利付証券	注記G18	50,087	740,787	32,697	483,589
株式	注記G19	12,216	180,675	12,813	189,504
関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資	注記G20	657	9,717	561	8,297
顧客が価値変動リスクを負う資産	注記G21	244,893	3,621,967	212,966	3,149,767
デリバティブ商品	注記G22	30,110	445,327	36,261	536,300
無形資産	注記G25	8,567	126,706	8,402	124,266
不動産及び器具備品	注記G26	4,777	70,652	4,914	72,678
当期税金資産		203	3,002	160	2,366
繰延税金資産	注記G35	358	5,295	1,590	23,516
年金資産	注記G8	11,699	173,028	12,875	190,421
売却目的で保有する資産	注記G14	178,590	2,641,346	191,916	2,838,438
その他資産	注記G27	10,276	151,982	14,721	217,724
前払費用及び未収金	注記G28	2,331	34,475	1,979	29,269
<b>資産合計</b>	注記G41	<b>3,537,792</b>	<b>52,323,944</b>	<b>3,453,718</b>	<b>51,080,489</b>
<b>負債及び資本</b>					
金融機関からの預り金	注記G29	90,143	1,333,215	81,693	1,208,239
一般顧客からの預金及び借入金	注記G30	1,298,480	19,204,519	1,318,925	19,506,901
顧客が価値変動リスクを負う負債	注記G31	245,100	3,625,029	212,966	3,149,767
発行済証券	注記G32	1,523,481	22,532,284	1,474,801	21,812,307
デリバティブ商品	注記G22	34,238	506,380	29,040	429,502
ショートポジション	注記G33	2,364	34,964	1,939	28,678
保険負債	注記G34	8,407	124,340	8,546	126,395
当期税金負債		1,211	17,911	217	3,209
繰延税金負債	注記G35	3,969	58,702	5,614	83,031
引当金	注記G36	601	8,889	591	8,741
売却目的で保有する負債	注記G14	63,721	942,434	68,938	1,019,593
その他負債	注記G37	14,882	220,105	10,454	154,615
未払費用及び繰延収益	注記G38	2,990	44,222	3,565	52,726
劣後負債	注記G39	43,117	637,700	42,404	627,155
<b>負債合計</b>	注記G41	<b>3,332,706</b>	<b>49,290,722</b>	<b>3,259,694</b>	<b>48,210,874</b>
非支配株主持分		8	118	3	44
株式資本		3,069	45,391	3,069	45,391
資本剰余金		8,758	129,531	8,758	129,531

準備金	注記G40	16,239	240,175	18,684	276,336
利益剰余金		147,905	2,187,515	141,834	2,097,725
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主に帰属する当期利益		29,107	430,493	21,676	320,588
<b>資本合計</b>		<b>205,085</b>	<b>3,033,207</b>	<b>194,024</b>	<b>2,869,615</b>
<b>負債及び資本合計</b>		<b>3,537,792</b>	<b>52,323,944</b>	<b>3,453,718</b>	<b>51,080,489</b>

## 持分変動計算書（当行グループ）

2023年 当行グループ (百万スウェーデン・クローネ)	株式資本	資本剰余金	確定給付年金 制度	ヘッジ準備金	公正価値評価 差額準備金
2023年期首資本	3,069	8,758	13,739	-307	126
当期利益					
その他包括利益			-1,776	488	71
うち、資本の中での分類変更			49		
当期包括利益合計			-1,776	488	71
利益剰余金への振替					
配当金					
ハンデルスバンケンplcの従業員に 対する株式報酬 <sup>1</sup>					
自己株式の買戻し <sup>1</sup>					
非支配株主持分の変動					
2023年期末資本	3,069	8,758	11,963	181	197

2023年 当行グループ (百万スウェーデン・クローネ)	保険契約	為替換算 調整準備金	当期利益を含む 利益剰余金	非支配株主持分	合計
2023年期首資本	793	4,332	163,510	3	194,024
当期利益			29,107	8	29,114
その他包括利益	-396	-831		-3	-2,447
うち、資本の中での分類変更		-284			-235
当期包括利益合計	-396	-831	29,107	5	26,667
利益剰余金への振替			235		235
配当金			-15,840		-15,840
ハンデルスバンケンplcの従業員に 対する株式報酬 <sup>1</sup>			79		79
自己株式の買戻し <sup>1</sup>			-79		-79
非支配株主持分の変動					
2023年期末資本	396	3,502	177,011	8	205,085

## 持分変動計算書（当行グループ）（続き）

2022年 当行グループ (百万スウェーデン・クローネ)	株式資本	資本剰余金	確定給付年金 制度	ヘッジ準備金	公正価値評価 差額準備金
2021年期末資本	3,069	8,758	11,313	1,789	158
IFRS第17号への移行による影響					
IFRS第17号への移行に係る税効果					
2022年期首資本	3,069	8,758	11,313	1,789	158
当期利益					
その他包括利益			2,427	-2,096	-32
うち、資本の中での分類変更					-91
当期包括利益合計			2,427	-2,096	-32
利益剰余金への振替					
配当金					
ハンデルスバンケンplcの従業員に 対する株式報酬 <sup>1</sup>					
自己株式の買戻し <sup>1</sup>					
非支配株主持分の変動					
2022年期末資本	3,069	8,758	13,739	-307	126
2022年 当行グループ (百万スウェーデン・クローネ)	保険契約	為替換算 調整準備金	当期利益を含む 利益剰余金	非支配株主持分	合計
2021年期末資本		2,585	154,034	25	181,731
IFRS第17号への移行による影響			-3,010		-3,010
IFRS第17号への移行に係る税効果			3		3
2022年期首資本		2,585	151,027	25	178,724
当期利益			21,676	1	21,678
その他包括利益	793	1,747		0	2,838
うち、資本の中での分類変更		-615			-706
当期包括利益合計	793	1,747	21,676	1	24,516
利益剰余金への振替			706		706
配当金			-9,900		-9,900
ハンデルスバンケンplcの従業員に 対する株式報酬 <sup>1</sup>			25		25
自己株式の買戻し <sup>1</sup>			-25		-25
非支配株主持分の変動				-23	-23
2022年期末資本	793	4,332	163,510	3	194,024

1 2020年度以降、ハンデルスバンケン・ピーエルシーの全従業員は株式報酬プログラム（以下、「SIP」という。）の対象となっている。

## 持分変動計算書（当行グループ）（続き）

2023年 当行グループ (百万円)	株式資本	資本剰余金	確定給付年金 制度	ヘッジ準備金	公正価値評価 差額準備金
2023年期首資本	45,391	129,531	203,200	-4,541	1,864
当期利益					
その他包括利益			-26,267	7,218	1,050
うち、資本の中での分類変更			725		
当期包括利益合計			-26,267	7,218	1,050

利益剰余金への振替

配当金

ハンデルスバンケンplcの従業員に

対する株式報酬<sup>1</sup>自己株式の買戻し<sup>1</sup>

非支配株主持分の変動

2023年期末資本	45,391	129,531	176,933	2,677	2,914
-----------	--------	---------	---------	-------	-------

2023年 当行グループ (百万円)	保険契約	為替換算 調整準備金	当期利益を含む 利益剰余金	非支配株主持分	合計
2023年期首資本	11,728	64,070	2,418,313	44	2,869,615
当期利益			430,493	118	430,596
その他包括利益	-5,857	-12,290		-44	-36,191
うち、資本の中での分類変更		-4,200			-3,476
当期包括利益合計	-5,857	-12,290	430,493	74	394,405

利益剰余金への振替

配当金

ハンデルスバンケンplcの従業員に

対する株式報酬<sup>1</sup>自己株式の買戻し<sup>1</sup>

非支配株主持分の変動

2023年期末資本	5,857	51,795	2,617,993	118	3,033,207
-----------	-------	--------	-----------	-----	-----------

## 持分変動計算書（当行グループ）（続き）

2022年 当行グループ (百万円)	株式資本	資本剰余金	確定給付年金 制度	ヘッジ準備金	公正価値評価 差額準備金
2021年期末資本	45,391	129,531	167,319	26,459	2,337
IFRS第17号への移行による影響					
IFRS第17号への移行に係る税効果					
2022年期首資本	45,391	129,531	167,319	26,459	2,337
当期利益					
その他包括利益			35,895	-31,000	-473
うち、資本の中での分類変更					-1,346
当期包括利益合計			35,895	-31,000	-473

利益剰余金への振替

配当金

ハンデルスバンケンplcの従業員に

対する株式報酬<sup>1</sup>自己株式の買戻し<sup>1</sup>

非支配株主持分の変動

2022年期末資本	45,391	129,531	203,200	-4,541	1,864
-----------	--------	---------	---------	--------	-------

2022年 当行グループ (百万円)	保険契約	為替換算 調整準備金	当期利益を含む 利益剰余金	非支配株主持分	合計
2021年度期末資本		38,232	2,278,163	370	2,687,801
IFRS第17号への移行による影響			-44,518		-44,518
IFRS第17号への移行に係る税効果			44		44
2022年期首資本		38,232	2,233,689	370	2,643,328
当期利益			320,588	15	320,618
その他包括利益	11,728	25,838		0	41,974
うち、資本の中での分類変更		-9,096			-10,442
当期包括利益合計	11,728	25,838	320,588	15	362,592

利益剰余金への振替

配当金

ハンデルスバンケンplcの従業員に

対する株式報酬<sup>1</sup>自己株式の買戻し<sup>1</sup>

非支配株主持分の変動

2022年期末資本	11,728	64,070	2,418,313	44	2,869,615
-----------	--------	--------	-----------	----	-----------

1 2020年度以降、ハンデルスバンケン・ピーエルシーの全従業員は株式報酬プログラム（以下、「SIP」という。）の対象となっている。

## キャッシュ・フロー計算書（当行グループ）

	2023年		2022年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
<b>営業活動</b>				
営業利益	36,322	537,202	26,829	396,801
非継続事業からの税引前利益	1,394	20,617	1,453	21,490
うち、受取利息	162,813	2,408,004	67,586	999,597
うち、支払利息	-112,316	-1,661,154	-28,169	-416,620
うち、受取配当金	47	695	62	917
営業利益から投資活動への調整			-333	-4,925
うち、事業及び子会社の売却			-751	-11,107
うち、株式の売却			418	6,182
営業利益及び非継続事業からの当期利益に含まれる非現金項目の調整				
信用損失	254	3,757	284	4,200
未実現評価差額	-1,095	-16,195	-2,244	-33,189
償却費及び減損	1,748	25,853	4,301	63,612
法人税の支払	-7,681	-113,602	-6,419	-94,937
営業活動による資産及び負債の変動				
中央銀行へのその他の貸出金	475	7,025	-31,157	-460,812
その他金融機関への貸出金	-9,882	-146,155	11,377	168,266
一般顧客への貸出金	27,892	412,523	-137,712	-2,036,760
利付証券及び株式	-80,826	-1,195,417	-27,912	-412,818
金融機関からの預り金	8,752	129,442	-863	-12,764
一般顧客からの預金及び借入金	-26,249	-388,223	27,572	407,790
発行済証券	48,680	719,977	121,034	1,790,093
デリバティブ商品の正味ポジション	11,559	170,958	7,453	110,230
ショートポジション	209	3,091	-2,010	-29,728
投資銀行業務の決済における債権及び債務	7,396	109,387	-7,975	-117,950
その他	4,178	61,793	-21,976	-325,025
<b>営業活動からのキャッシュ・フロー</b>	<b>23,125</b>	<b>342,019</b>	<b>-38,298</b>	<b>-566,427</b>
<b>投資活動</b>				
事業及び子会社の売却			49,238	728,230
関連会社及びジョイント・ベンチャーに係る取得及び拠出	-53	-784	-194	-2,869
株式の売却			183	2,707
不動産及び器具備品の取得	-832	-12,305	-786	-11,625
不動産及び器具備品の処分	326	4,822	482	7,129
無形資産の取得	-957	-14,154	-711	-10,516
<b>投資活動からのキャッシュ・フロー</b>	<b>-1,517</b>	<b>-22,436</b>	<b>48,212</b>	<b>713,055</b>
<b>財務活動</b>				
劣後負債の返済	-8,351	-123,511	-3,000	-44,370
劣後負債の発行	8,635	127,712	11,845	175,188
配当金の支払	-15,840	-234,274	-9,900	-146,421

財務活動からのキャッシュ・フロー	-15,556	-230,073	-1,055	-15,603
当期キャッシュ・フロー	6,052	89,509	8,859	131,025
期首現金及び現金同等物	475,882	7,038,295	439,964	6,507,068
営業活動からのキャッシュ・フロー	23,125	342,019	-38,298	-566,427
投資活動からのキャッシュ・フロー	-1,517	-22,436	48,212	713,055
財務活動からのキャッシュ・フロー	-15,556	-230,073	-1,055	-15,603
現金及び現金同等物の為替換算差額	-5,753	-85,087	27,059	400,203
期末現金及び現金同等物	476,181	7,042,717	475,882	7,038,295

キャッシュ・フロー計算書は間接法で作成されており、減価償却費/償却費や信用損失等、現金の受払いを伴わない取引について非継続事業からの営業利益及び当期利益が調整されていることを意味している。

上記のキャッシュ・フロー計算書にはフィンランドの非継続事業が含まれている（注記G14を参照のこと。）また、2022年度の数値にはデンマークの非継続事業が含まれている。

#### 金融取引における負債の変動

	2023年		2022年	
	(百万スウェーデン・ クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・ クローネ)	(百万円)
期首残高	42,404	627,155	32,257	477,081
キャッシュ・フロー	284	4,200	8,845	130,818
現金以外の変動（外国為替変動）	-770	-11,388	3,371	49,857
現金以外の変動（外国為替ヘッジ）	1,153	17,053	-2,378	-35,171
現金以外の変動（未払利息）	46	680	309	4,570
金融取引における負債の変動	43,117	637,700	42,404	627,155

#### 事業及び子会社の売却

	2022年	
	(百万スウェーデン・ クローネ)	(百万円)
<b>取得価額</b>		
取得価額総額	51,782	765,856
控除：譲渡時に含まれていた現金及び現金同等物	-743	-10,989
取得者の債権	-1,802	-26,652
<b>現金受領額</b>	<b>49,238</b>	<b>728,230</b>
<b>売却した資産及び負債</b>		
その他金融機関への貸出金	1,036	15,322
一般顧客への貸出金	99,598	1,473,054
顧客が価値変動リスクを負う資産	5,480	81,049
その他資産	608	8,992
<b>資産合計</b>	<b>106,722</b>	<b>1,578,418</b>
金融機関からの預り金	374	5,531
一般顧客からの預金及び借入金	52,043	769,716
顧客が価値変動リスクを負う負債	5,480	81,049
その他負債	338	4,999
<b>負債合計</b>	<b>58,235</b>	<b>861,296</b>
営業活動からのキャッシュ・フロー	751	11,107



購入代金は全額現金及び現金同等物で受領している。

[次へ](#)

**注記G1 重要性がある会計方針****目次**

1. 準拠表明
2. 会計方針の変更
3. 未適用のIFRSの変更
4. 金融商品
5. 金融資産及び金融負債の公正価値測定の原則
6. 信用損失
7. ヘッジ会計
8. 金利指標改革
9. 保険事業
10. 売却目的で保有する資産及び非継続事業の会計処理
11. 資本
12. 収益
13. 従業員給付
14. 見積り及び重要な評価

**1. 準拠表明****会計の基礎**

連結財務諸表は、EUにより採択された国際財務報告基準（以下、「IFRS」という。）及び同基準の解釈に準拠して作成されている。さらに、会計方針は、信用機関及び証券会社に係る年次報告法（1995年第1559号）、スウェーデン金融監督庁が制定した規定並びに信用機関及び証券会社における年次報告に関する一般指針（FFFS 2008年第25号）にも準拠している。企業グループの報告を規定するRFR第1号補足会計規則及びスウェーデン財務報告審議会による意見書も連結財務諸表に適用されている。表示通貨はスウェーデン・クローネ(SEK)であり、別途記載がある場合を除き、すべての数値は百万スウェーデン・クローネ単位に四捨五入されている。

親会社の会計方針は注記P1に示されている。

**年次報告書の発行及び採択並びに会社情報**

2023年1月1日から2023年12月31日までの期間のスウェンスカ・ハンデルスバンケン・アクチエボラーグの年次報告書及び連結財務諸表は、2024年2月19日に取締役会及び最高経営責任者により発行が承認され、2024年3月20日の年次株主総会（AGM）で提示され採択される予定である。

親会社であるハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの事務所所在地は、スウェーデン王国 SE-106 70ストックホルム クングストラッドゴードシュガータン 2である。ハンデルスバンケンは、スウェーデン、英国、ノルウェー及びオランダを拠点市場とし、金融サービス及び金融商品を提供している金融機関である。業務については業務報告書に詳述している。

**2. 会計方針の変更****IFRS第17号「保険契約」**

IFRS第4号「保険契約」に置き換わるIFRS第17号「保険契約」は、EUにおいて2023年1月1日から適用されている。本基準は、2023年度よりハンデルスバンケンの連結財務諸表に適用され、移行日は2022年1月1日である。IFRS第17号には、保険契約の分類、測定、表示方法の変更に加え、開示要件の変更も含まれている。

IFRS第17号の分類ルールにより、従来型生命保険はすべて保険契約に分類されることとなった。IFRS第4号の分離ルールに従い、これらの契約の貯蓄性保険要素はIFRS第9号に従って計上されている。IFRS第17号により導入された新たな測定方法は、新たな原則、見積り及び判断を含んでおり、その結果、「保険負債」が増加している。IFRS第17号は貸借対照表上の表示には影響しないものの、保険契約に起因する収益及び費用の表示が変更されている。IFRS第17号への移行による定量的な影響は税引後で約-30億スウェーデン・クローネであり、比較年度である2022年度の貸借対照表の「保険負債」の期首残高が増加し、当行グループの資本の「利益剰余金」の期首残高が減少している。この影響は主に、従来型生命保険の貯蓄性保険要素に関する会計方針の変更によるものである。当行の保険事業は連結ベースに含まれていないことから、当行の自己資本比率にも大口エクスポージャーにも新基準による影響はない。ハンデルスバンケンは、2022年度の比較数値を修正再表示し、IFRS第17号への移行を表に示している。注記G52を参照のこと。

### IAS第1号「財務諸表の表示 - 会計方針の開示」の改訂

IAS第1号の改訂により、「重要な(significant)」会計方針を開示することを求める従来の要求事項が、「重要性がある(material)」会計方針を開示することを求める要求事項に置き換えられている。本改訂はEUによって承認されており、2023年度から適用され、早期適用も認められている。ハンデルスバンケンは、本改訂を2023年度から適用している。本改訂は、企業が重要性のある会計方針に関する情報を開示することを目的としている。企業の財務諸表に含まれている他の情報と合わせて考えた場合に、一般目的財務諸表の主要な利用者が当該財務諸表に基づいて行う意思決定に影響を与えると合理的に想定される場合に、会計方針に関する情報には重要性がある。取引又は他の事象が金額的に重要性のある場合でも、情報自体がその特定の取引又は事象に関する企業の報告を理解する上で重要性がない場合には、会計方針に関する情報を省略できる。また、IAS第1号の改訂では、企業に固有の会計方針に関する情報は、財務諸表の利用者にとってより有用な情報を提供すると規定している。当行は、重要性のある会計方針に関して注記G1で開示している。

### 会計規則のその他の変更

2023年1月1日から適用される会計規則のその他の変更による、当行グループ及び親会社の財務諸表への影響はない。また、他に関して当年度に当行グループが適用した会計方針及び計算方法は、2022年度の年次報告書及びサステナビリティ・レポートで適用されたものと一致している。

## 3. 未適用のIFRSの変更

### IAS第12号

グローバル・ミニマム課税(第2の柱)に関する規則がEUで適用されている。すべての加盟国は、年間総収益が750百万ユーロ以上の多国籍グループに対し、第2の柱の規則に基づいて課税することを義務付ける国内法の法制化を行うことになっている。当行グループが本社を置くスウェーデンでは、「大規模企業グループに対するトップアップ税」と題する政府法案が議会で可決され、2024年から適用される予定である。本規則の目的は、多国籍企業による低課税率国への利益移転を防ぐことにある。本規則は、当行が業務を展開するすべての国で15%のグローバル・ミニマム課税の法人税率が適用されることを意味する。またハンデルスバンケンは、2023年度より繰延税金をトップアップ税として認識するIAS第12号の例外規定を適用することを決定している。ハンデルスバンケンは、本規則がハンデルスバンケンの財務諸表、自己資本比率及び大口エクスポージャーのいずれにも重大な影響を及ぼすことはないとは評価している。

## 会計規則に関するその他の将来の変更

適用される会計規則に関するその他の将来の変更は、適用される運用規則に従い、ハンデルスバンケンの財務諸表、自己資本比率、大口エクスポージャー及びその他の状況のいずれにも重大な影響を及ぼすとはみなされていない。

## 4. 金融商品

(IFRS第9号「金融商品」及びIAS第32号「金融商品：表示」)

### 認識及び認識中止

資本性金融商品並びに短期金融市場商品及び資本市場商品のスポット市場での取得及び売却は、取引日に認識される。同様のことがデリバティブにも適用される。その他の金融資産及び金融負債は通常、決済日に認識される。

金融資産は、その資産からのキャッシュ・フローに対する契約上の権利が失効する、又はその資産に関するすべてのリスク及び経済的便益が他の当事者に移転した際に貸借対照表から認識中止される。金融負債は、義務が履行される、終了する、又は取消された際に貸借対照表から認識中止される。

### 測定区分

金融資産は以下のいずれかの測定区分に分類される。

1. 償却原価
2. その他包括利益を通じて公正価値で測定
3. 純損益を通じて公正価値で測定
  - a. 強制
  - b. 公正価値オプション

金融資産を個々の測定区分に分類するにあたっては、当該資産の管理に関する企業の事業モデル及び当該資産の契約条件から始める。

金融負債は以下のいずれかの測定区分に分類される。

1. 償却原価
2. 純損益を通じて公正価値で測定
  - a. 強制
  - b. 公正価値オプション

原則として、金融負債は償却原価で計上される。例外は、デリバティブなどの、純損益を通じて公正価値で測定することが求められている金融負債、及び当初認識時に公正価値で測定するものとして取消不能で特定されている負債（公正価値オプション）である。

貸借対照表の同一科目で認識される金融資産及び負債は、異なる測定区分に分類されることがある。これについては注記G41を参照のこと。

当初認識時には、すべての金融資産及び金融負債が公正価値で認識される。純損益を通じて公正価値で測定される金融商品の取引費用は、取得日に損益計算書に認識される。その他の金融商品については、取引費用は取得原価に含まれる。

## 金融資産の事業モデルの評価

金融資産の管理に関する事業モデルの評価により、測定区分の分類が決められる。事業モデルを決定するにあたり、ハンデルスバンケンは当行の経営者による管理、報告、評価の方法に基づいて金融資産をポートフォリオに分類している。各ポートフォリオの事業モデルを決定する際には、確立した指針やポートフォリオの目的、それらの実務への適用方法、ポートフォリオのパフォーマンスに影響を及ぼすリスク、リスクの管理手法に加え、ポートフォリオの金融資産の売却に関する頻度、規模、理由及び時期などの要因を考慮している。

### 金融資産の契約条件の評価

契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみから構成されるか否かの評価は、測定区分の分類にあたって重要である。この評価における「元本」とは、当初認識時の金融資産の公正価値であると定義される。「利息」とは貨幣の時間価値、信用リスク、その他の基本的な貸出リスク（流動性リスク等）、費用（管理費用等）、利益に対する対価であると定義される。金融資産に、契約上のキャッシュ・フローの時期や金額を変更し、貨幣の時間価値を修正し、レバレッジを発生させ、又は期限前償還及び期限延長の追加費用を発生させ得る契約上の条件が存在する場合、当該キャッシュ・フローは元本及び利息の支払のみではないものと評価される。

### 償却原価

以下の両方の条件を満たす場合、金融資産は償却原価で測定される。

- ・事業モデルの目的が契約上のキャッシュ・フローを回収することである
- ・契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみである

この区分で認識される金融資産は、貸出金及び利付証券から構成される。これらの資産は減損テストの対象となる。この測定区分で認識される金融負債は、主に金融機関からの預り金、一般顧客からの預金並びに借入金、及び既発行証券などの負債である。

償却原価は、その商品に関する将来のキャッシュ・フロー全額を取得時における実効金利で割引いた現在価値である。利息及び信用減損は、損益計算書の「純利息収益」及び「信用損失」の項目にそれぞれ計上される。期限前償還される貸出金の早期償還手数料、当行が発行した証券の買戻しによって生じたキャピタルゲイン/ロス及び外貨換算影響額は、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。

### その他包括利益を通じて公正価値で測定

次に示すいずれの条件も満たす場合、金融資産はその他包括利益を通じて公正価値で測定される。

- ・事業モデルの目的が契約上のキャッシュ・フローの回収と資産の売却の両方である。
- ・契約上のキャッシュ・フローが元本及び利息の支払のみである。

上記の条件を満たす当行の流動性ポートフォリオにおける利付証券は、この測定区分に認識される。これらの資産は減損テストの対象となる。利息収益は「純利息収益」に計上される。外貨換算影響額及び信用損失は「金融取引による純損益」に計上される。未実現価値変動はその他包括利益で認識され、売却に伴い損益計算書の「金融取引による純損益」の項目に振り替えられる。

トレーディング目的保有ではない資本性金融商品は、当初認識時にその他包括利益を通じて公正価値で測定されるものへ、取消不能の分類を行うことも可能である。この評価原則は、当行に対する支援業務を行う企業の特定の株式保有に適用される。例えば、これらは清算機関に対する参加持分の場合もあれば、当行の国内市場におけるインフラ関連の協業に対する参加持分の場合もある。当初認識時後に発生する為替差損益等を含む

実現及び未実現価値変動は、その他包括利益に計上される。実現価値変動は損益計算書ではなく、資本内で利益剰余金に振り替えられる。これらの保有から生じる配当収益のみが損益計算書に計上される。

### 純損益を通じて公正価値で測定（強制）

金融資産が償却原価で測定する条件もその他包括利益を通じて公正価値で測定される条件も満たしていない場合、強制的に純損益を通じて公正価値で測定される。

トレーディング目的保有の金融資産及び金融負債は、公正価値で管理され評価される金融資産と同様に、常に純損益を通じて公正価値で測定するものに区分される。

この測定区分は、主に上場株式、ミューチュアル・ファンド・ユニット、利付証券及びデリバティブで構成される。利息、配当、外貨換算影響額、並びに実現及び未実現評価差額は、「金融取引による純損益」に計上される。ヘッジ会計を通じたデリバティブの認識については、セクション7を参照のこと。

### 純損益を通じて公正価値で測定、公正価値オプション

指定を行わない場合に資産の測定から生じる測定又は認識の不整合（以下、「会計上のミスマッチ」という。）を解消又は大幅に低減する場合には、当初認識時に、金融資産を純損益を通じて公正価値で測定するものとして取消不能の指定をすることができる。

同様に、以下のいずれかの条件を満たす場合に、当初認識時に、金融負債を純損益を通じて公正価値で測定するものとして取消不能の指定をすることができる。

- ・指定を行わない場合に負債の測定から生じる測定又は認識の不整合（会計上のミスマッチ）を除去又は大幅に低減する場合
- ・金融負債のグループ又は金融資産と金融負債のグループが、文書化されたリスク管理戦略又は投資戦略に従って、公正価値ベースで管理され業績評価されており、当該商品に関する情報が、当行経営者に対して社内的に同じベースで提供されている場合

この評価原則は、経済的ヘッジによりヘッジされるユニットリンク保険契約による負債や流動性ポートフォリオの一部持分等の、互いに反対ポジションとなりポートフォリオベースで管理される資産と負債を測定する際の不整合を回避するために適用されている。

未実現及び実現価値変動は、「金融取引による純損益」に計上される。利息は「純利息収益」に計上される。

### 金融商品の分類変更

原則として、金融資産が当初認識後に分類変更されることはない。分類変更は、当行が金融資産のポートフォリオを管理するための事業モデルを変更する稀な場合に認められる。当初認識後の金融負債の分類変更は認められない。

### 金融保証及び貸出コミットメント

発行された金融保証は、信用保証等、契約条件に従った所定の支払を債務者が行わなかった場合に、負債性金融商品（貸出金又は利付証券）の所有者に生じた損失を払い戻す義務である。保証の公正価値は、発行時に受領したプレミアムと同額である。当初認識時に、この保証に対して受領したプレミアムは貸借対照表の「未払費用及び繰延収益」の項目に負債として計上される。その後この保証は、償却後プレミアム又は予想損失引当金のいずれか高い方で測定される。発行された金融保証に関するプレミアムは保証の有効期間にわたり、

「純手数料及びコミッション収益」の項目で償却される。さらに、発行した保証に関連する保証金額の合計は、偶発債務としてオフバランス処理される（詳細については注記G44を参照のこと）。

貸出コミットメントはその貸出の実行までオフバランス項目として計上される（詳細については注記G44を参照のこと）。貸出コミットメントに対して受領した手数料は、そのコミットメントの期間にわたり純手数料及びコミッション収益として計上される。但し、そのコミットメントが実行される可能性が高い場合、受領した手数料はその貸出金の実効金利に含まれる。金融保証及び取消不能の貸出コミットメントは減損テストの対象となる。

## 複合金融商品

複合金融商品は、デリバティブの構成要素である組込デリバティブとデリバティブでない主契約から構成されている。

複合金融商品の主契約が金融負債である場合、組込デリバティブは、以下すべての条件に該当するときに、主契約から分離しデリバティブとして計上しなければならない。

- ・組込デリバティブの経済的特徴及びリスクが、主契約の経済的特徴及びリスクに密接に関連していないこと
  - ・組込デリバティブと同一条件の独立の金融商品ならば、デリバティブの定義に該当すること
  - ・複合金融商品が純損益を通じて公正価値で測定されるものではないこと
- そのため、純損益を通じて公正価値で測定される金融負債に組み込まれているデリバティブは個別に認識されない。

主契約から分離する会計処理は、エクイティ・リンク債及びその他の仕組商品の発行の際等に組込デリバティブに適用される。

金融資産の組込デリバティブは個別に認識されない。契約上のキャッシュ・フローが元本と利息の支払のみであるかどうかを判定する際には、組込デリバティブを含む金融資産が全体とみなされる。

発行済み転換可能負債性金融商品の転換オプション部分に固有の価値は、区分して資本に計上される。資本部分の価値は、転換可能負債性金融商品全体の公正価値から負債部分の公正価値を差し引いたものとして発行時に決定される。資本部分の帳簿価額は、転換可能負債性金融商品の満期までの間に修正されることはない。負債部分は発行時に貸借対照表上公正価値で測定され、当初認識後、当初の実効金利による償却原価で計上される。

## 買戻取引

買戻契約又はレボ取引は、当事者が特定の証券を売却すること及びその証券を事前に決められた価格で買い戻すことを同時に合意する契約である。当行グループが契約期間中、当該証券の評価額の変動リスクにさらされていることから、レボ取引（買戻契約）で売却された証券は、取引期間にわたり貸借対照表に計上される。また、売却された金融商品は、オフバランスシート項目の担保資産として計上されている。受領した代金は、取引相手によって「金融機関からの預り金」又は「一般顧客からの預金及び借入金」として計上される。レボ取引で買入れた証券（売戻契約）は、これと対称的な方法で会計処理される。すなわち、これらは当該取引の契約期間にわたり貸借対照表に計上されない。支払った代金は、取引相手によって「中央銀行へのその他の貸出金」、「その他の金融機関への貸出金」又は「一般顧客への貸出金」として計上される。買戻契約に基づき売却された受入担保は、オフバランスシート項目のコミットメントとして計上される。

## 証券貸付

当行グループが引き続き証券の評価額の変動リスクにさらされているため、貸付証券は引き続き貸借対照表に計上され、同時にオフバランスシート項目の担保資産として計上される。借入証券は、売却される場合（空売りという）を除き、貸借対照表に計上されない。売却された場合、売却された商品の公正価値に相当する価値が負債に計上される。第三者に貸与されている借入証券は、オフバランスシート項目のコミットメントとして計上されている。

## デリバティブ商品

デリバティブはすべて貸借対照表に公正価値で測定される。プラスの公正価値を有するデリバティブは、デリバティブ商品として資産計上される。マイナスの公正価値を有するデリバティブは、デリバティブ商品として負債計上される。デリバティブに係る実現及び未実現損益は、「金融取引による純損益」として損益計算書に計上される。ヘッジ会計によるデリバティブの認識についてはセクション7を参照のこと。

## 金融資産と金融負債の相殺

金融資産と金融負債は、当行が、営業活動や破産の状況下において、相殺できる契約上の権利を有しており、純額で決済を行うか、同時に資産を処分し負債を決済する意図がある場合に、貸借対照表上で相殺され純額で計上される。金融資産と金融負債の相殺に関する詳細については注記G24を参照のこと。

## 5. 金融資産及び金融負債の公正価値測定の原則

### (IFRS第13号「公正価値測定」)

公正価値とは、独立の市場参加者間の秩序ある取引において、資産を売却することで受け取るであろう価格又は負債を移転することで支払うであろう価格と定義される。

活発な市場で取引されている金融商品の公正価値は、市場相場価格と同一である。活発な市場とは、相場価格を規制市場、決済機関、信頼性のある情報サービス又は同等のものから容易にかつ定期的に入手可能であり、価格情報が継続的な取引の発生により検証可能な市場である。最新の市場価格は、買呼値と売呼値の範囲内で、その状況において公正価値を最もよく表す価格である。当行がその市場リスクを正味エクスポージャーに基づき管理している金融商品グループの最新の市場価格は、その正味エクスポージャーが処分される場合に受け取るであろう価格又は支払うであろう価格と同一であると仮定されている。

金融商品の市場価格に関して信頼できる情報がない場合には、公正価値は評価モデルを使用して算定されている。使用する評価モデルは、基本的に市場金利や株価等の市場において観察可能な変数を用いて検証可能なインプット・データを基礎としている。必要な場合には、市場関係者が価格設定の際に考慮に入れることが見込まれるその他の変数の調整も行われている。評価に使用される仮定は、市場慣行に基づいており、継続的にリスク管理部門によって見直され、カウンターパーティによる評価と比較される。

## 利付証券

政府が発行する利付証券及びスウェーデンの抵当証券は最新の市場価格を使用して評価される。社債の評価には評価技法を使用し、同じ満期の市場利回りを信用リスク及び流動性リスクで調整したものに基いて評価される。評価は最新の市場価格が反映されていることを確認するために定期的に検証される。検証は主に、複数の独立した価格提供機関から価格を入手し、同一又は類似商品における最近の取引との調整により実施される。

## 株式



活発な市場に上場している株式は市場価格で評価される。非上場株式や参加持分を評価する際には、その個々の商品に適切とみなされるモデルを選択する。非上場株式の保有は、主に当行への支援業務を行う企業の株式である。非上場株式はすべての重要な点からみて、その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものとして分類される。このようなポートフォリオは、一般的にその事業の純資産価値に対する当行の持分によって評価されている。契約により株式の売却価格が定められている非上場株式については、事前に決定された売却価格で評価される。

## デリバティブ

活発な市場で取引されているデリバティブは、市場価格で評価される。当行グループの金利スワップや多くの種類の定型的な通貨デリバティブを含むデリバティブ契約の大部分は、市場金利及びその他の市場価格を基礎とする評価モデルを使用して評価される。活発に取引されていない非定型的なデリバティブ契約の評価もまた、ボラティリティ等の市場に基づくインプット・データに関する合理的な仮定を基礎としている。

デリバティブをモデルで評価する際には、場合によっては取引価格と当初認識時に評価モデルで測定した価値との間に差額が存在することもある。両者の差額は使用した評価モデルにおいて、デリバティブの価値に影響する要素のすべてが完全に織り込まれていない場合に発生する。取引価格と評価モデルによって測定された価値との正の差額（取引日利得/損失）は、当行の利益率と、例えば資本コストや管理費を補填する報酬により構成される。取引日のプラスの未実現利益は、当初認識時には損益に認識されず、デリバティブの契約期間にわたって償却される。

## 顧客が価値変動リスクを負う資産及び負債

顧客が価値変動リスクを負う資産は、主にユニットリンク保険契約のミューチュアル・ファンド・ユニットである。これらのミューチュアル・ファンド・ユニットはファンドの最新の市場価値（NAV）を使用して評価される。各資産は顧客が価値変動リスクを負う負債に対応している。これら負債の評価は資産の評価を反映している。保険契約者/ユニットの保有者は資産に対する優先権を有しているため、その評価について信用リスク調整を行う必要はない。顧客が価値変動リスクを負う資産及び負債は基本的に、純損益を通じて公正価値で測定されるものに分類されている。

## 6. 信用損失

### (IFRS第9号「金融商品」)

#### 予想信用損失

IFRS第9号で規定される減損規則は、償却原価で測定される金融資産、その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産、並びに金融保証及び取消不能の貸出コミットメントに適用され、予想信用損失の認識モデルに基づいている。このモデルは、引当金が、報告日において過大なコストや労力を掛けずに利用可能な合理的で裏付け可能な情報を考慮し、一定範囲の生じ得る結果を評価することにより算定される、偏りのない確率加重金額を反映したものでなければならないと規定している。この評価は、過去、現在及び将来の要因を考慮したものである。

減損テストが行われる資産は、信用の毀損程度によって3つのステージに区分される。

- ・ ステージ1には、信用リスクが当初認識後著しく増大していない金融資産が含まれる。
- ・ ステージ2には、信用リスクが当初認識後著しく増大している資産であるが、報告時点で当該債権が信用減損しているという客観的な証拠がない金融資産が含まれる。

- ・ ステージ3には、当該債権が信用減損していることを示す客観的な状況が識別された金融資産が含まれる。

ステージ1では、デフォルトの結果12カ月以内に発生すると予想される損失に対応した引当金が認識される。ステージ2及び3では、デフォルトの結果、当該資産の残存期間全体のある時点で発生すると予想される損失に対応した引当金が認識される。

ステージ1及びステージ2の債権には、モデルベースの算定法を用いた、当行グループ全体の集中管理型のプロセスが実施される。このプロセスでは、すべての債権について、当初認識時（契約開始日）から信用リスクが著しく増大したか否かの評価が最初に行われる。信用リスクの著しい増大の内容の詳細については注記G2の「信用リスク」のセクションを参照のこと。各減損ステージの引当金は個別に算定される。ステージ3でモデル算定による引当金を積んだ同種の債権からなる少額のポートフォリオ以外のステージ3債権には、マニュアルの算定が行われる。各報告日ごとに、モデルベースの算定対象になるか、又はマニュアルの算定対象になるかについて、債権ごとに評価が行われる。

予想信用損失の算定は、主にリスク・パラメーターであるデフォルト確率（以下、「PD」という。）、デフォルト時エクスポージャー（以下、「EAD」という。）及びデフォルト時損失率（以下、「LGD」という。）の影響を受ける。予想信用損失は、債権の予想最終返済日までのPD、EAD及びLGDを算定することにより決定される。この3つのリスク・パラメーターは、残存確率又は信用エクスポージャーがデフォルトしていない、もしくはは期限前返済されている確率を乗じて調整される。次に、予想信用損失推計額は、当初の実効金利を用いて報告日までの期間を割引され、合計して算定される。ステージ1の信用損失合計は、今後12カ月のデフォルト確率を用いて算定される。ステージ2とステージ3の信用損失は、資産の満期までの残存期間のデフォルト確立を用いて算定される。

### モデルベースの算定

予想信用損失の算定には、各国別の失業率、主要行又は中央銀行の金利、国内総生産（GDP）、インフレ率、不動産価格といった関連するマクロ経済上のリスク要因を勘案した、少なくとも3つのマクロ経済シナリオ（基本（中心）シナリオ、上昇シナリオ、下降シナリオ）を用いている。さまざまなシナリオがリスク・パラメーターの調整に用いられる。すべてのマクロ経済シナリオに確率が当てはめられ、各シナリオの予想信用損失の確率加重平均として予想信用損失が算定される。

ステージ1、ステージ2債権の予想信用損失の算定に用いるモデルに関する追加情報のほか、PD、EAD、LGD、予想満期、信用リスクの著しい増大及びマクロ経済情報に関する概念の説明については注記G2の「信用リスク」セクションを参照のこと。予想信用損失の感応度分析については注記G10を参照のこと。

### マニュアルの算定

ステージ3資産に対しては、個別にマニュアルの算定を用いた減損テストが行われる。この減損テストは、業務責任を有する各地の支店（顧客及び与信の所管部署）により定期的実施されるほか、各報告日にも実施され、各地域及び本部の与信部門により判定される。

減損テストはデフォルトの定義に従い、カウンターパーティが契約上の義務を履行できなくなる可能性を示す客観的な状況が存在する際に実施される。このような客観的な状況には、支払遅延、不払又は支払いの可能性が低いことを示す兆候等がある。

減損テストは将来キャッシュ・フロー及び担保価値（保証を含む）の見積りを伴う。カウンターパーティの返済能力と担保価値の双方に基づき、通常、最低でも二つの予想キャッシュ・フローの将来予測的なシナリオを考慮する。これらのシナリオの結果は確率加重され、貸出の当初の実効金利で割り引かれる。個々のカウ

ターパーティの返済能力及び担保価値に影響を及ぼすとみられる内容により、用いられるシナリオではマクロ経済上の要因及び債権特有の要因を考慮する可能性がある。この評価では個々のカウンターパーティの特性を考慮に入れている。見積回収可能価額が帳簿価額を下回る場合に減損損失が認識される。

### エキスパートベースの算定

モデルで考慮されなかったと考えられる要因の影響（ステージ1とステージ2債権の場合）又はマニュアルの算定で考慮されていない要因の影響（ステージ3債権の場合）を織り込むために、エキスパートベースの算定が信用損失に対して行われる。モデルベースの算定は、引当必要額全体に対する個別の要因の影響をできるだけ正確に見積もるという意向に基づくものである。しかし、個々の債権に係るすべての特性を一般的なモデルに織り込むことは極めて難しい。この理由から、全体の引当必要額への影響が大きい債権について、マニュアルによる分析が行われる。このマニュアルによる分析は、モデルベース又はマニュアルの算定をエキスパートベースの算定に置き換える必要があるか評価する際に、個々の与信に関するエキスパートの知識を生かすことを意図している。エキスパートベースの算定により、引当必要額が当初の算定を上回るか下回るかを判定する。

また、サブ・ポートフォリオ又は類似のポートフォリオに対するモデルベースの算定を調整するため、エキスパートベースの算定がより集約したレベルで実施される場合もある。これらの調整は関連債権に対し、按分して行われる。エキスパートベースの算定により、引当必要額が当初の算定を上回るか下回るかを判定する。

### 信用損失の認識と表示

- ・償却原価で測定される金融資産は、予想信用損失控除後の純額で貸借対照表に計上される。
- ・オフバランスシート項目（金融保証及び取消不能の貸出コミットメント）は額面金額で認識される。これらの金融商品に対する予想信用損失引当金は貸借対照表上、引当金として計上される。
- ・その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産は、貸借対照表上公正価値で測定される。これらの金融商品に対する予想信用損失引当金は資本の公正価値評価差額準備金で認識されるため、当該商品の帳簿価額は減額されない。
- ・償却原価で測定される金融資産及びオフバランスシート項目に関する当期の信用損失（予想及び実績）は、損益計算書の「信用損失」の項目に計上される。「信用損失」の項目は前期の予想信用損失引当金戻入額控除後の当期の予想信用損失引当金繰入額、並びに当期の償却額及び回収額で構成されている。
- ・その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産に関する当期の信用損失（予想及び実績）は、損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。
- ・償却額は、実際の信用損失からステージ3（債権）に係る前期の予想信用損失引当金戻入額を控除したもので、金融資産全体又は一部にかかることがある。実質的に返済可能性がなくなった場合に償却が計上される。通常、償却後も借手及び保証人に対する債権は存続し、その後は原則として強制執行の対象となる。破産管財人により破産に関連した資産整理に関する最終報告書が提出された場合、債務整理計画が承認された場合又は債権全体が放棄された場合などの特定の状況においては、強制執行は行われない。金融資産のリストラクチャリング（再編）に関してコンセッション（譲歩）が認められた債権は、常に実際の信用損失として計上される。
- ・償却された金融資産に関する当行への支払は、「（償却債権）取立益」として収益計上される。

信用損失に関する詳細情報は注記G10に記載されている。

### デフォルト又は信用減損した資産

当行のデフォルトの定義は、自己資本規制 (CRR) で用いられる定義と同一であり、カウンターパーティが90日間超支払を遅延している、又はカウンターパーティが契約上の支払義務を履行できないという評価を下された、のいずれかである。かかる評価は、借手が返済を行えなくなる可能性のほうが高いとみなされていることを示している。この評価では、借手の返済能力に関するすべての利用可能な情報を根拠としている。不十分な流動性、支払の遅延や取消、不払の記録、又は返済能力の毀損に係る他の兆候などの支払不能の指標を考慮に入れている。他の前兆には、借手の破産、又は借手に対する当行の債権額の減少を伴う大幅なフォーベアランス (条件緩和) 措置が認められることなどが考え得る。

デフォルト確率は各報告日前に算定され、ステージ1及びステージ2の金融資産の予想信用損失の算定とともに、当初認識後に信用リスクの著しい増大があったかどうかについての評価に組み込まれる。

信用減損した金融資産はステージ3のエクスポージャーであり、デフォルトしたエクスポージャーと定義されている。これは、会計上の評価が当行グループの信用リスク管理に用いられる評価と一致していることを意味している。

## 利息

ステージ1及びステージ2債権については、貸借対照表の項目に起因する利息収益の認識は総額ベースによる。これは、利息収益の全額が「純利息収益」として認識されることを意味する。

ステージ3債権について、利息収益は減損を考慮した純額で認識される。予想される支払までの期間が短くなることで割引効果が減少する金利効果により、過去に引き当てられた金額の戻入れが発生するが、このような金利効果は、実効金利法により利息収益に計上される。

## 債権の保全のために担保権が実行された不動産及び器具備品の評価

担保権が実行された不動産及び器具備品は当初認識時に公正価値で貸借対照表に計上される。担保権が実行された不動産及び器具備品のうち、近い将来に処分が予想されるもの (担保権が実行されたリース資産を含む) は、帳簿価額又は公正価値 (売却費用控除後) のいずれか低い方で評価される。債権の保全のために譲り受けた非上場株式は、通常は純損益を通じて公正価値で計上される。

## 条件変更された金融資産

フォーベアランス (条件緩和措置) 又は商業上の再交渉の結果、キャッシュ・フローを決定する条件及び規定が当初の契約から変更されている場合、貸出が条件変更されたとみなされる。フォーベアランス (条件緩和措置) は、リストラクチャリングや他の財務上の救済措置に伴う、貸出条件を変更することをいう。この変更は、財政難にある債務者からの返済の全額保全又は貸出残高の返済を最大化する目的で実施される。商業上の再交渉は、返済又は金利に関する市況の変化に伴う貸出のキャッシュ・フローの変更など、債務者の財政難とは関連のない貸出条件の変更をいう。

償却原価で測定するものに分類された金融資産によるキャッシュ・フローが条件変更されたものの、キャッシュ・フローが著しく変動していない場合、通常は、条件変更により当該金融資産が貸借対照表から認識中止されることはない。この場合、当該金融資産の変更後のキャッシュ・フローを基に帳簿価額総額が再計算され、調整額が損益計算書に計上される。

条件変更の実施にはさまざまな理由はあることから、条件変更と信用リスク評価との間に必ず関連性があるといったことはない。金融資産がフォーベアランス (条件緩和措置) の対象となり、引き続き貸借対照表に計上される場合、フォーベアランス (条件緩和措置) が認められた際の評価結果に基づき、当該金融資産はステージ2又はステージ3に分類される。この評価には、信用損失に対して引当金を積む必要があるか、又は (債権が) ステージ3に分類されることになるような他の状況があるかどうかの確認が含まれる。

キャッシュ・フローが著しく変化する方法で金融資産が条件変更される場合、条件変更された金融資産は貸借対照表から認識中止され、新たな債権に置き換えられる。このような場合、条件変更日は新債権の当初認識日となり、予想信用損失の計算及び当初認識時から信用リスクが著しく増大したかを評価する場合にはこの条件変更日が用いられる。

金利指標改革により実施された条件変更に関する会計処理の詳細については、セクション8の金利指標改革を参照のこと。

## 7. ヘッジ会計

### (IAS第39号「金融商品：認識及び測定」)

ハンデルスバンケンは、IFRS第9号の移行規定に従い、IAS第39号に規定されているヘッジ会計規則を継続適用することを選択した。当行グループは、ヘッジ会計についてヘッジ目的に応じた異なる方法を採用している。デリバティブ（主に金利スワップ及びクロスカレンシー金利スワップ）がヘッジ手段として用いられている。在外営業活動体への純投資に関する為替リスクをヘッジする場合には、対象となる在外営業活動体の機能通貨による負債がヘッジ手段として用いられている。当行グループのヘッジ戦略の一つとして、ヘッジ手段の価値変動が、往々にして個別の構成要素に分割され複数のヘッジ関係に含まれている。したがって、単一の同じヘッジ手段が異なるリスクをヘッジすることができる。ヘッジ手段の分割は、ヘッジされるリスクを明確に特定することが可能なこと、その効果を信頼性をもって測定することが可能なこと、及びヘッジ手段の価値変動合計がいずれかのヘッジ関係に含まれている場合に限り行われる。

公正価値ヘッジは、市場価格が変動することにより、損益に生ずる望ましくない影響から当行グループを保護するために使用される。公正価値ヘッジは個々の資産・負債にも金融商品ポートフォリオにも適用されている。公正価値ヘッジのヘッジ関係にあるヘッジ対象リスクは、固定金利による貸出金及び借入金にかかる金利リスクである。これらのヘッジ関係におけるヘッジ手段は金利スワップである。公正価値ヘッジの場合、ヘッジ手段及びヘッジ対象リスクの両方が公正価値で認識され、価値変動は損益計算書の「金融取引による純損益」に直接計上される。ポートフォリオ・ヘッジが適用される場合、ヘッジ対象の価値は、「一般顧客への貸出金」に関連する別項目で貸借対照表に計上される。公正価値ヘッジが途中で中止された場合、ヘッジ対象に生じた価値変動計上額は満期までの期間にわたり「金融取引による純損益」で償却される。公正価値ヘッジが途中で中止され、ヘッジ対象が存在しなくなった場合、生じた価値変動は「金融取引による純損益」に直接戻し入れられる。

キャッシュフロー・ヘッジは変動金利による貸出金及び借入金の金利変動によるキャッシュ・フローの変動に対するエクスポージャーを管理するために採用される。このタイプの貸出金及び借入金の予想満期は、非常に短期である金利調整期間よりも、通常は長期となる。キャッシュフロー・ヘッジは、貸出金及び借入金の将来キャッシュ・フローにおける為替リスクのヘッジにも用いられる。グループ内の貨幣性項目から生じる為替リスクも、連結の際に全額相殺消去されない為替エクスポージャーをもたらず場合には、キャッシュフロー・ヘッジの対象となる。キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段であるデリバティブは公正価値で測定される。そのデリバティブの価値変動が効果的に、すなわちヘッジ対象の将来キャッシュ・フローと連動する場合、そのデリバティブの価値変動はその他包括利益の構成要素、及び資本のヘッジ準備金に計上される。そのデリバティブの価値変動のうち非有効部分は、「金融取引による純損益」として損益計算書に計上される。キャッシュフロー・ヘッジが途中で終了する場合、過去にその他包括利益に認識されていたヘッジ手段に係る累積利益又は損失はヘッジされたキャッシュ・フローの発生が見込まれる期間にわたって「金融取引による純損益」で償却される。キャッシュフロー・ヘッジが途中で終了し、ヘッジされたキャッシュ・フローの発生が今後見込まれなくなった場合には、累積された価値変動はヘッジ準備金から「金融取引による純損益」へ振り替えられる。

在外営業活動体に対する純投資ヘッジは、海外事業の為替レートの変動から当行グループを保護するために採用されている。外貨建借入金ヘッジ手段として用いられている。これらのヘッジにおけるヘッジ対象は在外営業活動体の純資産の当初部分の帳簿価額に起因する外貨建エクスポージャーで構成されている。在外営業活動体に対する純投資をヘッジするために実施された外貨建借入金は、貸借対照表日の為替レートで当行グループ貸借対照表に計上される。このような借入金の為替差額の有効部分は「その他包括利益」の構成要素として計上され、かつ、資本の為替換算調整準備金に計上される。在外営業活動体に対する純投資ヘッジの非有効部分は損益計算書の「金融取引による純損益」に計上される。

詳細については、注記G23の「ヘッジ会計」を参照のこと。

## 8. 金利指標改革

### (IAS第39号「金融商品：認識及び測定」及びIFRS第9号「金融商品」)

金利指標改革に直接影響を受けるすべてのヘッジ関係について、特定のヘッジ会計要件の適用を免除する一時的な救済措置が設けられている。一時的な救済措置の目的は、金利指標改革から生じる不確実性のみを理由として有効なヘッジ関係が中止されることを防ぐことにある。ヘッジ関係への直接的な影響は、ヘッジ対象のリスク及び/又はヘッジ対象又はヘッジ商品の指標金利に基づくキャッシュ・フローの時期や金額に不確実性が生じる場合にのみ、存在する。指標金利に関する不確実性は、どの金利を代替金利とするか、個別の契約への影響の特定を含め、本改革が実施されるかどうかやその実施時期が決定されるまでの期間にわたって継続する。金利指標改革の直接の結果として金融資産及び金融負債の条件変更が行われる場合、この条件変更は実効金利の変動として認識される。従って、条件変更により生じる損益は一切認識されない。例外を適用するためには、条件変更が金利指標改革の直接的な結果であり、キャッシュ・フローを決定する新たな基礎が従前の基礎と経済的に同等でなければならない。さらに、金利指標改革のためだけにヘッジ関係を中止する必要がなくなるように、ヘッジ関係にある既存の指標金利を代替指標金利に置き換える場合には、ヘッジ会計の要件を一部免除することが認められている。

## 9. 保険事業

### 分類

ハンデルスバンケンの保険契約には、リスク保険要素、貯蓄性保険要素又はその双方が含まれている場合がある。保険契約又は投資契約への分類は、経済的意義が異なることから、保険契約に含まれる個々の保険要素（貯蓄性保険要素/リスク保険要素）に基づいて決定される。従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素、リスク保険契約、並びに複合従来型生命保険契約及びユニットリンク保険契約から分離されたリスク保険要素は、重大な保険リスクを移転することから保険契約として分類され、測定され、認識される。ユニットリンク保険契約及びポートフォリオ・ボンド保険契約の貯蓄性保険要素は投資契約に分類され、IFRS第9号に従い認識される。

IFRS第17号では、同基準の基礎として、重大な保険リスクを移転するものとみなされる場合に、法的な保険契約となる。当行の評価では、リスク保険要素のみが重大な保険リスクを移転するため、貯蓄性保険とリスク保険要素を分離することにより最も正確な計上が可能となる。仮に、すべての複合型ユニットリンク保険契約がIFRS第17号に従って計上された場合、契約期間が短期であるため、当行の財政状態又は収益への影響は限定的であると当行は評価することになる。同契約は長期性貯蓄であるが、継続的に価格調整が可能であることから、契約期間は短期（最長1年）であると会計上は判断される。

### 保険契約の集約レベル

ハンデルスバンケンは、当行が被る保険リスクに基づいて保険契約ポートフォリオを特定している。従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素については、すべての契約に収益性があるとみなされている。さらに、契約締

結からかなりの時間が経過しており、この商品の新規契約は受け付けられていないことから、単一のポートフォリオとグループのみを特定している。リスク保険契約及びリスク保険要素については、各保険商品が個別にポートフォリオを構成している。すべての契約に収益性があるとみなされているため、ポートフォリオごとに単一のグループのみを特定している。これらのグループは、発行の時点が1年超離れた契約は同じグループに含めるべきでないとして、さらに分割されている。

## 保険契約の測定

ハンデルスバンケンは、従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素に対する残存保険カバーに係る負債を測定する際に一般測定モデルを適用している。一般測定モデルを適用する理由は、これらの契約期間が1年よりもはるかに長期であることに加え、給付額が多額であることから、原資産のリターンに応じて変動する無条件の追加支出が発生しても、それが支払総額に占める割合は大きくないと予想されることによる。一般測定モデルでは、残存カバーに係る負債は、将来キャッシュ・フローの予想現在価値、リスク調整及び契約上のサービス・マージンの合計で測定される。ハンデルスバンケンは不利な契約を特定していない。

発生保険金に係る負債は、将来キャッシュ・フローの予想現在価値とリスク調整の合計で測定される。ただし、決済予定日までの期間が12カ月以内の保険金は割り引かれない。将来キャッシュ・フローの予想現在価値、リスク調整及び契約上のサービス・マージンに関する詳細については、注記G34を参照のこと。

ハンデルスバンケンは、リスク保険契約のほか、複合従来型生命保険契約及びユニットリンク保険契約から分離されたリスク保険要素における残存カバーに係る負債及び再保険契約の残存カバーに係る負債を測定する際に、保険料配分アプローチを適用している。保険料配分アプローチを適用する理由は、これらの契約期間が最長1年であることによる。残存カバーに係る負債に対しては割引を行わず、未稼得の受取保険料で測定する。受取保険料は、保険カバーが提供されるにつれて、収益として定額法で認識される。ハンデルスバンケンは不利な契約を特定していない。

## 保有保険契約及び再保険契約の認識

残存カバーに係る負債及び発生保険金に係る負債は、貸借対照表項目の「保険負債」に計上される。保有再保険契約に関連する資産及び負債は、それぞれ貸借対照表項目の「その他資産」及び「その他負債」に計上される。保険契約から生じる純損益は、純損益の「保険事業による純損益」という項目に合計額で表示される。「保険事業による純損益」には、「保険事業による損益」と「保険契約者に代わって保有する資産からの収益」が含まれる。「保険事業による損益」の項目には、保険契約に起因する収益及び費用並びに営業費用が含まれる。「保険契約者に代わって保有する資産からの収益」の項目はIFRS第9号に従って認識されるが、当該利益は保険契約に起因する収益を含むことから保険事業による純損益に含まれる。従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素の測定に使用される割引率の変更による影響額は資本の「保険契約」の項目に累積され、「その他包括利益」に計上される。IFRS第17号への移行に伴い「その他包括利益」の金額はゼロとなる。

## 投資契約の認識及び測定

ユニットリンク保険契約及びポートフォリオ・ボンド保険契約の貯蓄性保険要素は投資契約で構成される。これらの契約及び関連投資資産は純損益を通じて公正価値で測定される。これらの項目は、顧客が価値変動リスクを負う場合、貸借対照表の「資産」及び「負債」にそれぞれ計上される。投資契約の保険料、資産関連手数料及びその他管理費用は、「手数料及びコミッション収益」として損益計算書に計上される。取得費用も損益計算書に直接計上される。資産及び負債の価値変動は「金融取引による純損益」に計上される。

## IFRS第17号への移行に適用した方法

ハンデルスバンケンは、リスク保険及びリスク保険要素に完全遡及アプローチを適用している。従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素に対しては公正価値アプローチを適用している。従来型生命保険契約のポートフォリオに相場価格がないことから、公正価値は、可能な限り公正価値を算出するための観察可能なパラメーターを利用する測定技法を用いて決定されている。市場関係者が適用するであろう価格を決定するにあたり、市場の保険会社が新規の従来型生命保険契約に対して提示する、ハンデルスバンケンが観察した保証料率の平均を使用している。また、利益やリスク・マージンに関する市場の前提が市場の保証料率に默示的に考慮されているため、この方法では市場の前提も考慮される。公正価値と、将来キャッシュ・フローの予想現在価値とリスク調整の合計との差額が、IFRS第17号への移行時の契約上のサービス・マージンとなる。

## 10. 売却目的で保有する資産及び非継続事業の会計処理(IFRS第5号)

### 売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業

非流動資産又は直接関連する負債を含めた資産グループ（処分グループ）は、帳簿価額が主に売却により回収され、その売却の可能性が高い場合に売却目的保有に分類される。資産が売却目的保有に分類された場合、特別な評価原則が適用される。それによると、主に売却目的で保有する資産及び処分グループは、金融資産及び負債項目を除き（前述の4.を参照のこと）、帳簿価額と売却費用控除後の公正価値のいずれか低い方で測定される。したがって、売却目的で保有する有形固定資産の減価償却も、無形固定資産の償却も行われない。減損損失及びその後の再評価は損益計算書に直接計上される。ただし、従前に計上された減損累計額を超過する利益は認識されない。売却目的で保有する資産及び負債は、売却されるまで当行グループの貸借対照表に別建てで計上される。当行グループの他の事業から明確に分離された重要性のある独立事業であって、上記の方針により売却された又は売却目的保有に分類されている事業は、非継続事業として認識される。非継続事業として認識するにあたり、その事業からの収益は損益計算書において他の損益項目とは別建てで計上される。非継続事業からの損益は、非継続事業からの損益（税引後）、非継続事業に含まれる売却目的で保有する資産/処分グループ資産の売却費用控除後の公正価値評価から生じる損益（税引後）、及び非継続事業の処分からの実現損益で構成されている。売却目的で保有する資産及び負債並びに非継続事業に関する開示については、注記G14を参照のこと。

## 11. 資本

資本には、下記の構成要素が含まれている。

### 資本剰余金

資本剰余金には、発行済転換可能負債性金融商品のオプション部分並びに株式の発行及び転換可能負債性金融商品の転換において発行済株式の割当価額を超過する金額が含まれている。

### 確定給付年金制度

確定給付年金制度の項目は、年金債務の数理計算上の差異に加え、割引率を適用して算定された収益を上回る又は下回る制度資産に係る運用収益より構成されている。

### ヘッジ準備金

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段で構成されるデリバティブ商品の未実現価値変動は、ヘッジが有効な範囲、つまり、ヘッジ対象に帰属する将来キャッシュ・フローに対応する範囲でヘッジ準備金に計上されている。



## 公正価値評価差額準備金

その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された金融資産の未実現価値変動は、公正価値評価差額準備金に計上される。さらに、公正価値評価差額準備金は、その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された負債性金融商品の予想信用損失引当金を含む。これらの負債性金融商品の実現価値変動は、公正価値評価差額準備金から損益計算書に振り替えられる。その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された資本性金融商品の実現価値変動は、公正価値評価差額準備金から利益剰余金に振り替えられる。

## 保険契約

従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素を測定するにあたり、割引率の変動による影響は「保険契約」の項目に計上される。

## 為替換算調整準備金

為替換算調整準備金は海外ユニットの業績を連結財務諸表の表示通貨に換算することによって生じた未実現の外貨換算による影響で構成される。さらに、在外営業活動体への純投資に関するヘッジの有効部分及び「その他包括利益を通じて公正価値で評価するもの」に分類されている非貨幣性項目から生じる換算差額が為替換算調整準備金に計上される。

## 当期利益を含む利益剰余金

利益剰余金には当期及び過年度の利益が含まれている。配当及び自己株式の再取得は「利益剰余金」の控除として計上される。

その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された資本性金融商品に起因する実現損益は、公正価値評価差額準備金から利益剰余金に振り替えられる。

## 非支配株主持分

非支配株主持分は、当行グループの純資産のうち、親会社の普通株式保有者に直接又は間接的に所有されていない部分で構成される。非支配株主持分は、資本における個別の構成要素として計上される。

## 12. 収益

### 純利息収益

利息収益及び利息費用は、損益計算書の「純利息収益」に計上される。但し、トレーディング勘定の取引活動全般が認識される「金融取引による純損益」に認識されるような、純損益を通じて公正価値で測定することが強制される金融商品から生じる利息を除く。

償却原価で測定される金融商品に係る利息収益及び利息費用は、実効金利法又は適切であると認められた場合は、実効金利法に基づく計算の合理的な見積りとなる方法を用いて算定され計上される。実効金利は、金融商品の実効金利に不可欠な部分とみなされる手数料（一般的に、リスクの対価として受領する手数料）を含む。実効金利は、契約上の将来キャッシュ・フローを金融資産又は金融負債の帳簿価額まで割り引く際に用いられる利率に相当する。

純利息収益にはまた、ヘッジ対象の金利が「純利息収益」に計上される、ヘッジ会計を通じて認識されるデリバティブ商品からの利息及び経済ヘッジのデリバティブからの利息も含まれる。

利息収益及び利息費用に加えて、純利息収益には預金保険料が含まれる。

### 純手数料及びコミッション収益

手数料及びコミッション収益は、サービスに対する支配が顧客に移転された時点となる、履行義務が充足される一時点で認識される。収益合計は各サービス間で配分され、収益内での認識はサービスが特定の時点で履行されたか、特定期間にわたって履行されたかで異なる。例えば、資産運用における管理報酬のような手数料及びコミッション収益は、通常、サービスが履行される割合で認識される。仲介手数料、カード手数料又は支払コミッションのような手数料及びコミッション収益は、通常、サービスが履行された時点、すなわち特定の時点で認識される。収益が払戻、ボーナス又は業績連動型の要素などの可変的な対価を含む場合、収益は金額の支払が行われない可能性がほとんどない場合に限り認識される。実効金利に含まれない貸出手数料は、手数料及びコミッション収益として認識される。「手数料及びコミッション費用」は取引ベースであり、収益が「手数料及びコミッション収益」として計上される取引に直接関連する。

## 金融取引による純損益

金融取引による純損益には、金融資産及び金融負債を純損益を通じて公正価値で測定する際や金融資産及び金融負債が処分又は決済された際（その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品を除く）に発生する、損益に影響するすべての項目が含まれる。

- ・ 償却原価で計上される金融商品に係る損益は、期限前償還される貸出金の早期償還手数料や当行が発行した証券の買戻しによって生じたキャピタルゲイン/ロスなど、償却原価で測定されるものとして分類される金融資産及び負債に係る実現損益から構成される。
- ・ その他包括利益を通じて公正価値で測定される金融商品に係る損益は、その他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類された利付証券の実現損益から構成される。実現損益は、処分/売却に伴いその他包括利益から「金融取引による純損益」の項目に振り替えられる。この項目には、これらの資産に関する信用損失（予想損失及び実損失）も含まれる。
- ・ 公正価値オプションの利用を選択した純損益を通じて公正価値で測定される金融商品に係る損益は、当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定されるものとして分類された金融資産及び負債の実現及び未実現価値変動から構成される。
- ・ 純損益を通じて公正価値で測定されることが強制される金融商品に係る損益は、トレーディング目的保有、又は公正価値で管理・評価される金融資産及び金融負債に係る実現及び未実現価値変動、配当収益及び利息（ヘッジ対象の金利が「純利息収益」で計上されるデリバティブから生じた利息を除く）から構成される。
- ・ 公正価値ヘッジは、ヘッジ手段及び、公正価値ヘッジのヘッジ対象となる金融資産・負債のヘッジ対象リスク要素の実現・未実現の価値変動から構成される。キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分は、ヘッジ対象に起因する将来キャッシュ・フローとは対応しないヘッジ手段の価値変動部分から成る。
- ・ 外貨建（機能通貨以外の）貨幣性項目及び公正価値で測定される外貨建非貨幣性項目の、貸借対照表日の実勢終値での換算から生じる損益は、損益計算書で認識される。よって、償却原価で測定される外貨建金融資産及び負債に係る、貸借対照表日の実勢終値での換算から生じる損益は「金融取引による純損益」に計上される。
- ・ 「保険契約者に代わって保有する資産の投資収益」は、「保険事業による純損益」に含まれるため「金融取引による純損益」から差し引かれる。

## 配当金

その他包括利益を通じて公正価値で測定される株式の配当金は、「その他配当金収益」として損益計算書に計上される。純損益を通じて公正価値で測定される株式の配当金は、損益計算書の「金融取引による純損益」

に計上される。関連会社及びジョイント・ベンチャーからの配当金は、関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資の帳簿価額から差し引かれる。

### 13. 従業員給付

(IAS第19号「従業員給付」)

#### 人件費

人件費には給与、年金費用及び社会保障費、年金費用にかかる特別給与税を含むその他の形式の直接人件費、並びに給与関連のその他の形式の間接費が含まれている。解雇に関連する給付は、合意に達した時に負債として認識され、残存雇用期間にわたって償却される。

#### 退職給付会計

当行の退職後給付は、確定拠出制度又は確定給付制度のいずれかに分類される年金債務で構成されている。確定拠出制度の場合、当行が別の事業体に固定額の保険料を支払い、従業員は積立金が支払われるまでの間の価値変動リスクを負う。本制度では、当行は保険料が支払われた後はそれ以上の義務を負わない。確定拠出制度に支払われる保険料は、従業員が当行に役務を提供することにより発生するに伴い人件費として損益計算書に計上される。

その他の年金債務は、確定給付制度に分類される。確定給付制度の未払給付金は給与及び雇用期間に基づいており、当行が年金債務の履行に係るすべての重要なリスクを負担することを意味する。年金債務及び関連費用の算出には予測単位積増方式が適用され、年金債務の現在価値が年金債務として認識されている。確定給付制度の大部分について、当行グループは支払債務に充当する目的で年金基金及び年金ファンド等に個別に制度資産を積み立てている。年金債務から制度資産の公正価値を控除した金額が、貸借対照表上に正味年金として計上されている。確定給付制度の年金費用は、損益計算書の「人件費」に計上され、当年度に発生した年金権利費用、年金債務に係る利息費用及び制度資産に係る利息収益により構成されている。当年度に発生した未払年金権利の計算は、見積最終給与に基づき、年金数理計算上の仮定の対象となっており、算定された年金額の最終合計のうちの当年度部分を指す。当年度の利息費用及び利息収益の算定には、年金債務の支払までの残存期間に相当する満期を有する社債の最新の金利（年度当初の金利）に使用されるものと同じ金利が適用される。その他包括利益には、実際の結果と仮定との差から生じた年金債務に係る数理計算上の損益のほか、制度資産の実際の収益と期待収益との差が計上されている

当行グループの確定給付制度の費用及び債務の算定は、計上額に重要な影響を及ぼす可能性のあるいくつかの評価及び仮定に左右される。これらの仮定及び評価の詳細な記述はセクション14及び注記G8に示されている。

### 14. 見積り及び重要な評価

一部のケースにおいては、計上額に重要な影響を及ぼす当行グループの会計方針の適用について評価を必要とされる。計上値はまた、多くのケースにおいて将来に関する見積り及び仮定の影響を受ける。このような仮定には、資産及び負債の帳簿価額が調整されるリスクが常に含まれている。適用される評価及び仮定は常に経営陣の最善かつ最良の評価を反映し、継続的に検査及び検証の対象となる。

財務諸表に重要な影響を及ぼした評価及び仮定については下記に記載されている。

以下の領域に関する見積り及び重要な評価は、関連する注記にも記載されている。

- ・公正価値で測定される金融商品については注記G42「金融商品の公正価値測定」を参照のこと。
- ・のれんの減損テストについては注記G25「無形資産」を参照のこと。
- ・保険負債の算定については注記G34「保険負債」を参照のこと。

## 確定給付制度の年金数理計算

当行グループの確定給付年金に係る債務と費用との算定は、帳簿価額に重要な影響を及ぼすいくつかの数理的、統計的及び財務的な仮定に基づいている。注記G8には当期の債務の計算に使用された仮定のリストが含まれている。スウェーデンの従業員の年金債務の計算は、市場で一般的に認められた死亡率の仮定であるDUS23に基づいている。DUS21はスウェーデン保険連盟により作成された統計に基づく仮定である。将来の昇給率及びインフレーションの仮定は長期予測トレンドに基づいている。

割引率は、満期が異なる多数の優良社債に基づいている。年金債務の見積平均残存期間（現在は金利に関係なく20年）に相当する満期を有する社債について、割引率は市場金利に基づいて決定される。年金債務の見積平均残存期間に相当する満期を有する優良社債が稀であることから、当行は補完的に割引率を決定する方法として満期がより短い優良社債を用いている。ここではイールド・カーブに基づく割引率が設定されている。イールド・カーブは、スウェーデン・クローネのスワップ・カーブに対するスプレッドとして構築されている。自社発行のものを除く社債に基づいた当該スプレッドは、スワップ・カーブに反映される。このようにして、イールド・カーブはモデル化されており、20年の利回りはこのモデルから導き出すことができる。

注記G8では、当行グループの年金債務のすべての主要な数理計算上の仮定に対する感応度分析を提供している。この分析は、これらの仮定に合理的に実現可能な変化によって年金債務がどのような影響を受けるかを示している。

## 信用損失

予想信用損失の算定は、多くの仮定と評価を伴う。予想信用損失の評価には、本質的にある程度不確実性が伴っている。高度な仮定と評価を伴う領域は、以下の個々の項目で記述している。

### マクロ経済シナリオにおける将来予測的な情報

当行は特に自国市場に重点を置いたマクロ経済上の動向を継続的にモニターしている。こうしたモニタリングにより、当行はモデルベースの予想信用損失の算定に用いる将来予測的な情報の基礎となる、マクロ経済シナリオを策定している。契約上の支払を履行する当行顧客の能力は、マクロ経済上の動向に合わせて変動する。それゆえ、将来のマクロ経済上の動向は、当行が予想信用損失をカバーする上で必要な引当金の見通しに影響を及ぼす。予想信用損失の引当必要額の算定は、当行のマクロ経済調査部門による基本（中立）シナリオに基づいている。損失は将来の経済動向の好転よりも悪化から受ける可能性がある影響のほうが大きい。このため、当行は少なくとも二つの代替的なシナリオを用いて、予想信用損失の非線形的な側面を考慮している。これらの代替的なシナリオは、一つは基本（中立）シナリオを大幅に下回るシナリオ、もう一つは大幅に上回るシナリオによる、二つの考え得る動向を表したものである。最も重要なマクロ経済上のリスク要因は、経験に基づく評価を加味した過去10年間にわたる当行の損失実績に基づいて選択されている。その後これらのマクロ経済上のリスク要因が、遷移、デフォルト、損失率及びエクスポージャーを予測する当行の定量的な統計モデルのマクロ経済上のリスク要因として用いられる。マクロ経済上のリスク要因には、失業率、主要行又は中央銀行金利、国内総生産（GDP）、インフレ率及び不動産価格が含まれる。返済能力が高い顧客向けに信用供与するという当行の事業モデルは、マクロ経済上の動向と引当必要額との関連性が必ずしも特に強いわけではないことを意味している。マクロ経済情報の詳細な内容については注記G2の「信用リスク」のセクションを、感応度分析については注記G10を参照のこと。

## 信用リスクの著しい増大

当行は当初認識後に、信用リスクの著しい増大があったかどうかについて、各報告期間末に債権単位での評価を行っている。信用リスクの著しい増大に関する詳細については注記G2の「信用リスク」のセクションを参照のこと。

### モデルベースの算定

ステージ1及びステージ2のエクスポージャーの予想信用損失の算定の基礎となる定量モデルは、いくつかの仮定と評価を用いている。過去データのマクロ経済上のリスク要因とリスク・パラメーターの間の計量可能な関係が、将来の事象を表していることが一つの重要な前提である。用いられる定量モデルは、約10年間の過去データに基づいているが、過去の結果の入手可能性に一貫性がないことにより、この過去データの内容も商品や地域によりさまざまである。観測値はリスク要因によって独立して条件付けられるという仮定を適用し、定量モデルは経済モデルを利用して構築されている。これは、歪曲されずにリスク・パラメーターの予測が可能であることを意味している。さらに、マクロ経済上のリスク要因は個々のリスク・パラメーターに関する説明力に基づき、最も重要なマクロ経済上のリスク要因が選択されている。マクロ経済上のリスク要因の選択とモデルの仕様は、簡潔さ、実証能力及び安定性の間でバランスを取り決定される。

### マニュアル及びエキスパートベースの算定

原則として、ステージ3のエクスポージャーにはマニュアルの算定が用いられる。マニュアルで評価されるステージ3のエクスポージャーと同様に、モデルで考慮されなかったと考えられる要因の影響を織り込むため、ステージ1及びステージ2のエクスポージャーに対するモデル評価結果にもエキスパートベースの算定が行われる。マニュアル及びエキスパートベースの算定に関する詳細な説明は、上記セクション6の「マニュアルの算定」及び「エキスパートベースの算定」を参照のこと。

[次へ](#)

## 注記G2 リスク及び資本管理

ハンデルスバンケンのリスク許容度が低いことは、当行が事業を行ううえでの中心的な要素である。このリスク許容度が低いことは、分散化された事業モデル、安定した財務、アカウンタビリティに加え、ハンデルスバンケンが顧客との長期的な関係を築くための基礎となっている。本注記の情報には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更され、非継続事業となった処分グループであるフィンランドが含まれている。注記G14を参照のこと。

### 強固なリスク管理

ハンデルスバンケンの資本及び流動性計画の目的は、通常の状況においてもストレス下においても、確実に継続企業として存在し続けることである。これにより、当行の資本及び流動性は良好であり、当行の短期及び長期の資金調達プログラムを通じて、継続して金融市場からの資金調達を可能にしている。また当行は高品質な流動性準備金を潤沢に有しており、金融市場が混乱する可能性に対して高水準の予防策が設けられている。当行の流動性準備金の一部であるグループ・トレジャリー部の流動性ポートフォリオは低リスクであり、主として中央銀行預け金、国債及びカバード・ボンドより構成されている。さらに、スタッドフィポテックにはカバード・ボンドが発行できる未使用枠が十分にあり、当行のすべての主要通貨について流動性準備金が維持されている。当行の流動性準備金の総額は、ストレス・シナリオにおいても3年超にわたり、当行に必要な流動性をカバーできる水準である。また、外国為替市場が閉鎖するような極端な状況においても、相当の期間にわたり業務を維持できる。

当行の資本は引き続き堅固である。当年度の収益が安定し、信用損失が少ないことによるものである。

ハンデルスバンケンの低いリスク許容度、良好な自己資本及び流動性の高さは、当行が十分な体制を整えていることを示している。リスク管理において、当行は気候変動の影響を含む特別なストレス・テストを実施し、流動性や資本が悪化した場合にも早期に対応できるよう、様々な指標を注視し、市場の最新情報を入手している。地政学的リスク、インフレ、金利上昇、住宅市場の冷え込みやビジネス環境の悪化が組み合わさった現在のマクロ経済環境はストレス・テストに含まれており、当行の視点で分析されている。

国際政治上の安全保障環境により、社会の重要インフラに対する様々な攻撃のリスクが高まっている。当行のセキュリティ部門はその動向を注視し、様々なシナリオにおけるリスク評価を継続的に行っている。

### リスク許容度

総じてハンデルスバンケンは、リスクを回避又は最小化し、経済情勢や市況にかかわらず顧客の安定したビジネス・パートナーとなるという全体的な戦略に基づいて、リスク許容度を低く設定している。リスク許容度の低さは、当行が適用するリスク管理の枠組みの基礎となっている。この枠組みは、当行グループにおける様々なレベルのガバナンス文書に制定された戦略、プロセス、手続、限度額、管理及び報告手続から構成されている。当行の事業モデルでは、信用供与に伴い、支店業務における信用リスクを受け入れ管理することを中心とし、返済能力が高く財政状態が健全な顧客と長期的な関係を築くことに注力している。与信供与高の増加、料金の引上げ又は市場シェアの拡大を優先させて、質的要件を疎かにすることがあってはならない。

過去数十年間にわたり、ハンデルスバンケンの信用損失水準は、他の北欧銀行の平均を大幅に下回っている。当行は、どの与信も損失を生まないようにすることを常に目標としている。このアプローチは、支店における与信管理の軸となっている。市場リスク及び流動性リスクに対する当行のエクスポージャーをリスク許容度が低い範囲内に抑えるため、これらのリスクの発生は、当行の資金調達及び流動性管理並びにマーケット・メーカーとしての役割に関連して、顧客業務の一環として生じる場合に限られる。これらのリスクは、異なる

通貨における金利期間の満期とキャッシュ・フローの一致、オープン・ポジションのヘッジ、及び高品質な流動性準備金の十分な維持により限定される。

市場リスクに関する当行の許容度が低いことにより、当行の収益のうち、金融取引から生じる正味損益の割合は比較的低くなっている。

オペレーショナル・リスク及びコンプライアンス・リスクについても当行の許容度は低く、これらリスクの回避に努めている。

サステナビリティ・リスクに対する許容度も低いため、リスク管理は、当行ですでに区分けされているリスク区分（与信リスク、流動性リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスク、コンプライアンス・リスク）の下で行われている。サステナビリティ・リスクの詳細については、当行のサステナビリティ・レポートの Sustainability at Handelsbanken 中の Sustainability risks のセクション（訳注：ハンデルスバンケンの2023年の年次報告書原文の中の項目名であり、本書には含まれていない。）及び第三の柱に関する報告書の ESG Prudential disclosures（訳注：ハンデルスバンケンの2023年の年次報告書原文の中の項目名であり、本書には含まれていない。）の箇所を参照のこと。

## リスク戦略

当行の業務は様々なリスクを伴うが、グループ全体で組織的にリスクの特定、測定、管理及び報告が行われている。ハンデルスバンケンのリスク制限アプローチによって、たとえ予想される取引時の経済価値が高額であったとしても、当行は高リスクの取引を慎重に回避する。

リスク戦略は、厳格なリスクカルチャーを通じて策定されているが、それは、長期的に持続可能であり、かつ当行グループのすべての分野に適用されている。そのリスクカルチャーは、当行業務のあらゆる側面で不可欠な部分であり、当行の全従業員に深く根付いているものである。当行は、事業活動において各部門がそれぞれの事業及びリスク管理の全責任を負うという明確な責任分担を特徴としている。結果として、高いリスク認識及び慎重な業務姿勢を促す強いインセンティブが働いている。但し、分散化された事業モデルは強力な中央管理と併用される。低いリスク許容度はまた、報酬の観点にも反映されている。報酬は基本的に固定とすることを原則としており、これはハンデルスバンケンの事業モデルの主な特徴である長期的な視点に貢献している。当行のリスク・プロファイルに重大な影響を及ぼす業務を担当する従業員に対しては、業績連動型変動報酬は支払われない。

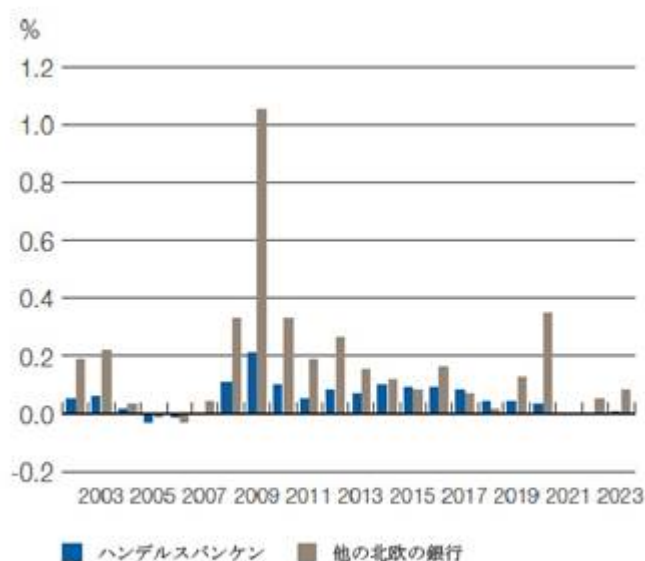
貸付業務は地域密着型であり、緊密な顧客関係や地域に関する知識を活用して信用リスクを低水準に抑えることができおり、ローカルで積極的な関与を行っている。さらに、当行グループは、金融市場において資金調達が不可能となるような財務上のストレス下における状況を含めた事業リスクに対して十分な資本を準備し、支払期限到来時の支払義務の履行が可能となるように流動資産を保有しておく必要がある。このように、ハンデルスバンケンは景気動向の影響を受けない事業モデルを目指している。

当行は、サステナビリティに関する高い目標を設定している（Sustainability information 中の Handelsbanken's sustainability goals（訳注：ハンデルスバンケンの2023年の年次報告書原文の中の項目名であり、本書には含まれていない。）を参照のこと。）。これらの目標を達成するためには、当行は商品やポジション、プライシングを変更する必要がある可能性がある。短期的には、これらの変更により、当行は財務的にプラスとマイナス双方の影響を受ける可能性がある。しかしながら、長期的には、持続可能な事業運営は収益性の高いビジネスモデルに欠かせないものであると考えている。

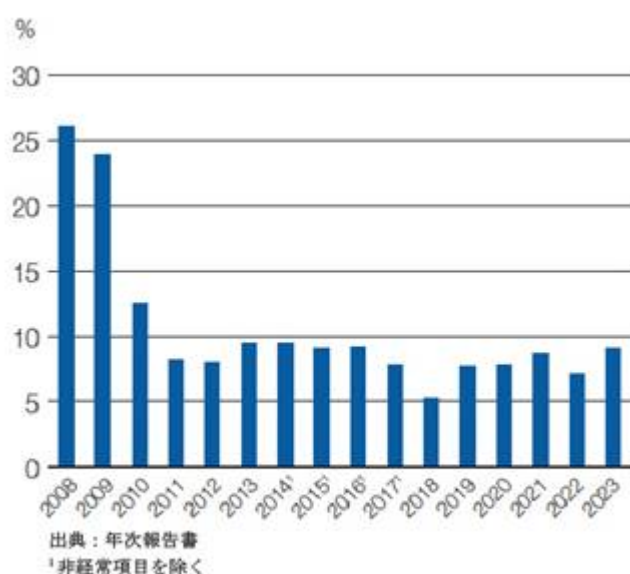
このリスク制限アプローチにより、当行は、景気動向及び市況にかかわらず、顧客にとって安定的かつ長期的なビジネス・パートナーになることができる。このアプローチによって、リスク管理が盤石なものになると同時に、事業や当行が事業を行っている市場が逼迫した場合でも、高水準のサービスを維持することができる。当行のリスクに対するアプローチと同じ原則が、当行が事業を行っているすべての国に適用されている。

当行によるさまざまなリスク区分、資本及び流動性の管理方法に関する詳細については、注記中の該当箇所を参照のこと。

#### 貸付における信用損失の割合 2002 - 2023年



#### 金融取引による純損益の利益に対する割合 2008年 - 2023年



#### ハンデルスバンケンの リスク

##### 信用リスク

##### 説明

信用リスクとは、当行のカウンターパーティが契約上の義務を履行できなくなることにより当行が経済的損失に直面するリスクである。

信用リスクには、通貨、債券、コモディティ及び株式市場における取引に関連するカウンターパーティ・リスク（カウンターパーティが債務トを履行できないリスク）も含まれる。

##### 市場リスク

市場リスクは、金融市場の価格及びボラティリティの変動によって生じる。市場リスクは、金利リスク、株価リスク、為替リスク及びコモディティ価格リスクに分類される。



流動性リスク	流動性リスクとは、支払期限が到来した際に、法外な費用又は損失を被らなければ、当行が支払い義務を履行することができないリスクである。
オペレーショナル・リスク	オペレーショナル・リスクとは、不適切な若しくは欠陥のある内部プロセス、人為的ミス、システムエラー、又は外部事象による損失リスクである。オペレーショナル・リスクの定義には、ITリスク及び情報セキュリティ・リスク（ICTリスク）が含まれている。
コンプライアンス・リスク	コンプライアンス・リスクとは、当行に認可された業務に適用される内外の規則及び規制、一般に認められた市場慣行並びに関連基準を遵守しなかった結果、当行が被る可能性のある制裁、重大な財務上の損失、又は評判の失墜のリスクである。
報酬リスク	報酬リスクとは、報酬制度によって生じる損失又はその他の損害によるリスクである。
保険リスク	保険リスクとは、被保険者の余命又は健康状態によって変動する保険の結果のリスクである。
サステナビリティ・リスク	サステナビリティ・リスクとは、当行が環境、気候、人権、労働、金融犯罪、IT、情報セキュリティに関連する要因による、財務上の損失や評判の失墜のリスクである。サステナビリティ・リスクは、上述の当行の既存のリスクと不可分なものであるほか、融資や投資など当行の事業を通じて発生する可能性がある。

## リスク体制

ハンデルスバンケンは、当行のリスクの管理、フォローアップ、及びコントロールに対して3つの防衛線の原則を適用している。事業活動と事業活動をサポートする部署は第一の防衛線を構築し、内外の規則に従って、事業が直面するリスクを管理し抑制する責任を有する。コントロール部署であるグループ・リスク・コントロール部及びグループ・コンプライアンス部は、第二の防衛線を構築し、当行グループのリスク、事業活動の遂行、及び適用される内外の規則や規制の遵守状況を監視・統制している。第三の防衛線はグループ監査部であり、リスク管理、コントロール部署の業務及びコーポレート・ガバナンスを含む、当行のすべての業務を点検している。当行におけるリスク管理の3つの防衛線の詳細は、ハンデルスバンケンのコーポレート・ガバナンス報告書の66-81ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2023年の年次報告書原文の項目名であり、本書には含まれていない。）を参照のこと。

ハンデルスバンケンの取締役会は当行のリスク管理に対する全般的な責任を有し、これに関する内部規則を策定している。取締役会は方針を定め、最高経営責任者はさまざまなリスクの管理及び報告手法を明記したガイドラインを策定している。取締役会は、与信委員会(最高経営責任者及びチーフ・クレジット・オフィサー（最高与信責任者）のほか取締役会メンバー数名から構成される)を設置し特定の与信案件の決裁を行うほか、英国委員会(取締役会会長、最高経営責任者のほか、最高与信責任者及び他の取締役会メンバーから構成される)を設置し、英国の業務に関するフォローアップを円滑に進めている。

また取締役会は、リスク委員会、監査委員会及び報酬委員会を設立し、これらの委員会が取締役会が決定する事項の準備を担っている。リスク委員会は、IRB手法に紐づけられた当行のリスク分類と推計プロセスの重要な部分に関する決定なども行っている。リスク委員会、監査委員会及び報酬委員会のメンバーは全員が取締役である。また、最高経営責任者はリスク・コンプライアンス委員会を設置し、複数の分野のリスク管理をフォローアップするとともに、リスク委員会や取締役会での議論に先立ち、当行の全体的なリスクについて掘り下げた議論を行っている。これらの委員会及び下部委員会の業務についての詳細は、ハンデルスバンケンのコーポレート・ガバナンス報告書の66ページから81ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2023年の年次報告書原文

の項目名であり、本書には含まれていない。)を参照のこと。さらに、当行には、最高リスク責任者のリスク・フォーラム、最高財務責任者の資産負債委員会(以下、「ALCO」という。)、その傘下に流動性委員会、資本委員会及び評価委員会の各下部委員会が設置されている。

## ハンデルスバンケンのリスク管理とリスク・コントロール



## リスクと資本の状況に関する報告と監視

2023年度には、最高リスク責任者は当行グループの(コンプライアンス・リスクを除いた)リスクに関し、最高経営責任者、取締役会のリスク委員会及び取締役会に少なくとも四半期ごとに報告を行っている。この報告は最高経営責任者のリスク・コンプライアンス委員会に対しても行われている。当行グループのリスク報告書には、当行のリスク許容度に関するフォローアップや、当行グループの重要なリスクに関する最高リスク責任者による評価と、報告と対応が必要な事業活動上の重大な不備の有無に関する評価が含まれている。同報告書には適宜、従前に報告されたリスクと不備に関する行動計画案とフォローアップも含まれる。また、当行グループのリスク報告書は将来予測的なリスク評価を含んでいるほか、ハンデルスバンケンが取締役会の決定したリスク戦略やリスク許容度を実行しているかについての評価ができるようにしなければならない。当行グループのリスク報告書は取締役会が決定したリスク管理方針に沿って作成されている。上述の当行グループのリスク報告に加え、グループ・リスク・コントロール部及びグループ与信部は、カウンターパーティ・リスクを含む当行の信用リスクの状況及びIRB手法について、当行の経営幹部、最高経営責任者のリスク・コンプライアンス委員会、リスク委員会、取締役会及び関連子会社の取締役会に対し、継続的かつ年次の双方で報告を実施している。これらの報告は、残高の推移、高リスクの与信を含んでいる。また、報告には内部リスク格付プロセス及び当行のIRBモデルに関する評価並びにこれらのIRBモデルの検証結果も含む。

最高リスク責任者が議長を務めるリスク・フォーラムは、2023年に10回開催された。リスク・フォーラムでは、当行グループの信用リスク、財務リスク及びオペレーショナル・リスクに関する現在のリスク状況、潜在的なリスク及び対応策について徹底的なフォローアップが行われるほか、必要に応じて他の種類のリスクについてもコメントされる。再建計画における指標は都度報告され、必要に応じて対応策の協議が行われる。さらに、財務リスクの限度額に対するエクスポージャーは、グループ全体でフォローアップの対象となっている。

市場リスク及び流動性リスクの上限額に対するエクスポージャーは、グループ・リスク・コントロール部が日次で取りまとめ、確認している。上限額を超過した場合には直ちに上限額に関する決定者に報告される。流動性リスクについてはグループ・リスク・コントロール部が取りまとめ、最高財務責任者及び最高経営席には日次で、取締役会には定例取締役会で報告が行われる。グループ・トレジャリー部長が議長を務める流動性委員会は、定例取締役会開催前、又は必要に応じて開催される。流動性委員会の会議では現在の流動性の状況やストレス・テストの結果、シナリオ分析のほか、当行グループの流動性の状況の評価に関連する他の情報に関して報告が行われる。

当行の資本の状況は、週次で最高財務責任者及び最高経営責任者に、四半期に一度は取締役会に報告される。基準値を超過した際、又はグループ・キャピタル・マネジメント部長若しくは最高財務責任者が他の理由から適切であると考える場合、適切な対応案が最高経営責任者に提示される。中長期的な資本の状況は資本委

員会が四半期ごとに取りまとめている。グループ・キャピタル・マネジメント部は四半期ごと、又は当行に重大な変化が生じた際に、資本予測を全面的に更新している。

資本状況、市場リスク限度額に対するエクスポージャーや流動性の状況については、少なくとも四半期ごとに取締役会に報告が行われる。

オペレーショナル・リスクと発生したインシデントは、当行グループ全体の支店及びユニットからグループ・リスク・コントロール部が継続的に報告を行い、グループ・リスク・コントロール部が監視を行う。次にグループ・リスク・コントロール部がオペレーショナル・リスクと発生したインシデントを、最高経営責任者、取締役会のリスク委員会及び取締役会に報告する。報酬制度のリスクは毎年評価され、取締役会の報酬委員会とリスク委員会に報告される。オペレーショナル・リスクの報告には、重大な事象、主要な損失、重要な未然防止策及び当行グループ・レベルで集計したリスク評価が含まれる。さらに、グループ・リスク・コントロール部は、決定された対応策の実施状況についても監視を行う。

2023年度に、チーフ・コンプライアンス・オフィサーから最高経営責任者、取締役会のリスク委員会及び取締役会に対して、少なくとも四半期ごとにコンプライアンス・リスクに関する報告が行われた。これらの報告には金融犯罪に関連するコンプライアンス・リスクやデータ保護リスクが含まれている。報告書は最高経営責任者のリスク・コンプライアンス委員会にも提出されている。

## 取締役会による、リスクに関する宣言及びリスクステートメント

取締役会は以下のリスクに関する宣言及びリスクステートメントを決定した。

### リスクに関する宣言:

ハンデルスバンケンは、当行の業務並びにリスク・プロファイル全般に関し、取締役会が決定した当行の事業目標、リスク許容度及びリスク戦略の点から、目的にかなった十分なリスク管理上の取決めを行っている。

### リスクステートメント:

ハンデルスバンケンの事業目標は、拠点市場の競合行の平均を上回る収益性を上げることにある。この目標は、主に他行よりも顧客の満足度を高め、コストを引き下げることによって達成される。ハンデルスバンケンは地域における強固なつながりと、分散化された業務形態を有する銀行である。

当行が概して言うところの低いリスク許容度とは、当行の全体的なリスク・プロファイルを低くすることである。また当行グループは、短・長期的な財務上のストレス下を含め支払義務を履行できるよう、リスクに対し十分な資本を常に維持し、当局が課す要件を充足し、流動資産を保有しておく必要がある。このリスク許容度とリスク戦略が、景気変動に左右されない事業モデルを持つというハンデルスバンケンの目標を裏打ちしている。

当行は現在も将来においても信用リスクを低水準に抑える意向である。当行の信用リスクに対する許容度は、深刻な景気後退局面においても、政府の支援なしに当行が与信供与力を十分に発揮できるであろうという期待に反映されている。

これは、地域における強固なつながりと緊密な顧客との関係を維持することにより達成される。与信残高又は利鞘の拡大を優先するあまり、信用の質を蔑ろにしてはならない。当行は、借手の返済能力が高いという要件を基準に顧客を選別している。その結果、当行の信用ポートフォリオは明らかに、損失発生確率が低いリスク・クラスに集中している。当行のこのような一貫したアプローチは、過去の当行の信用損失率が低いことに反映されている。2023年の一般顧客への貸出金に係る信用損失率は0.01%(0.00%)であった。

当行がリスクに対して十分な資本を有し、良好な流動性を維持するよう確実にするため、取締役会は当行の資本及び流動性に対するリスク許容度を規定している。資本のリスク許容度を決定するにあたり、資本の尺度は法定要件と、単一の測定基準により当行グループのすべてのリスクを捉えた当行の経済資本(以下、「EC」という。)モデルに基づいてハンデルスバンケンが評価した所要自己資本により定められる。当行の流動性リスクに関するリスク許容度は、当行がストレス状況下でも一定期間事業を継続できるように、流動資産及び担保差入れ可能な資産を加えた流動性創出策により十分かつ多額の流動性準備金を持たなければならないという要件と、異なる期間内のキャッシュフロー純流入及び流出累計額に関する要件により決定される。

取締役会は、通常の状況下の普通株式等Tier1資本比率は、スウェーデン金融監督庁が当行に通知した普通株式等Tier1比率を1から3パーセンテージ・ポイント上回るものと定めている。レバレッジ比率に関しては、スウェーデン金融監督庁が当行に通知したレバレッジ比率を最低でも0.6パーセンテージ・ポイント上回らなければならない。

当行の評価による2023年度末現在のスウェーデン金融監督庁の普通株式等Tier1資本比率は、第二の柱に基づくスウェーデン金融監督庁の指針である0.5%を含め、14.8%(14.5%)であった。同様に、当行の評価によるレバレッジ比率は、第二の柱に基づくスウェーデン金融監督庁の指針である0.5%を含め、3.5%であった。取締役会は、利用可能な財源(以下、「AFR」という。)とECとの比率は120%を上回らなければならない旨も定めている。

2023年度末現在の普通株式等Tier1資本比率は18.8%(19.6%)であり、AFR/EC比率は366%(413%)であった。取締役会は流動性準備金を考慮し、家計及び企業からの定期預金以外の預金の一部が最初の1ヶ月以内に解約される

ことを仮定したうえで、当行が少なくとも1年間にわたりプラスの正味キャッシュ・フローを積み増さなければならないという目標を定めている。ハンデルスバンケンの流動性創出策を含む流動性準備金の総額は、こうしたストレス状況下でも3年を超える期間にわたり、流動性要件をカバーできる水準にある。当行のリスク・プロファイルは取締役会が策定したリスク許容度及びリスク戦略に準拠している。

## 信用リスク

信用リスクは、当行のカウンターパーティが契約上の義務を履行することができなくなることにより当行が経済的損失に直面するリスクである。

## 信用リスク戦略

ハンデルスバンケンの与信プロセスは、グループ全体に共通する一元化されたものであるが、個別の業務判断は分散して行われている。このような当行の与信プロセスは、現地に根ざした分権型の組織が高度な与信決定を確実に行うという理念に基づいている。当行は、支店が通常の顧客窓口となる形式の取引銀行であり、そうした顧客との取引を通じて、支店は各顧客に関する知識を深めるとともに、顧客の財政状態の実態を継続的に把握している。

ハンデルスバンケンは、マスマーケットを対象とした銀行ではなく、顧客の選別に注意を払っている。すなわち、当行は信用度の高い顧客を選別している。与信取引高の増加又は収益性の向上を優先して、質的要件を蔑ろにすることがあってはならない。当行はまた、複雑な顧客群又は複雑で不明瞭な取引の場合、若しくはESGリスクが高い場合には、融資に参画しない。

ハンデルスバンケンが特定顧客の信用リスクを評価する際は、借手の返済能力から評価しなければならない。この評価には、顧客の財政状態、顧客がさらされているリスク、顧客の財政状態の安定性に長期的に影響を及ぼす可能性のあるリスクの分析が含まれる。リスク分析には、気候関連リスクを含むESGリスク（物理的リスクと移行リスクの両方）が顧客に及ぼす影響に関する当行の評価が含まれる。返済能力の分析における最初の段階では、顧客がどのセクターに属するかを判断する。各顧客の分析に先立ち、当該セクター特有の課題やリスクを理解する必要がある。当行に良質な担保が差し入れられたからといって、返済能力の低さが受け入れられるものではない。但し、借手が返済義務を履行できない場合、当行の損失は担保によって大幅に削減される可能性がある。したがって、通常、与信は適切に担保されていないなければならない。

また、支店現地のつながりや顧客との緊密な関係により、支店は即座に問題を識別し、その問題に対する措置を講じることが可能になる。このことは、多くの場合、当行がより中央集約化された不良債権管理を行うよりも迅速な措置を講じることが可能であることを意味している。支店はまた、与信決定に関する財務上の全責任を負っている。このため、返済困難に陥った顧客に発生する問題に対処し、信用損失は支店が負うことになる。現地の支店は、必要に応じてローカルの与信部門及び中央部門からの支援を受ける。当行の手法は、信用リスクに関連する取引を行うすべての従業員が、この種のリスクに対する堅実かつ系統立ったアプローチを取ることを確認している。当該アプローチは、当行の企業カルチャーの重要な一部を形成している。ここで説明している対処方法及びアプローチは、当行の信用損失の計上額が長期にわたって非常に低いことを示す重要な根拠となっている。

## 与信組織

ハンデルスバンケンの分散型の組織においては、顧客を担当する現地の支店が、全面的な与信責任を負っている。顧客及び与信責任は、支店長又は支店長が同業務を委任した支店の従業員にある。

ハンデルスバンケンの分散化された組織においては、与信の最終判断が支店、県域又は国レベル、取締役会の与信委員会、あるいは取締役会であっても、与信判断の根拠となる文書は与信を担当する支店が必ず作成す

る。与信判断の文書化には、借手に関する一般情報及び財務情報、返済能力の評価、貸出金及び与信条件の評価並びに担保の評価が含まれる。

各国の取締役会、当行取締役会の与信委員会及び当行の取締役会では、与信決定額とは無担保の与信の許容額を合わせた与信限度額の合計をいう。貸付総額が5百万スウェーデン・クローネを超える借手については、与信限度枠の形で与信判断が行われる。個人への住宅用不動産担保付貸出金の場合、12百万スウェーデン・クローネを超える金額について限度額の要件が適用される。住宅用不動産の担保付きの住宅協同組合に対する貸出については、12百万スウェーデン・クローネを超える金額について限度額の要件が適用される。

承認された与信限度額は、通常は1年間にわたって有効である。ただし、特定の状況では、住宅協同組合に対する与信限度額は最長3年間適用可能となる。与信の継続は、新規貸出と同じ要件で手続きが行われる。

支店長及び支店のほとんどの行員には、担当顧客に対する与信判断のために個別に決裁限度額が設定されている。

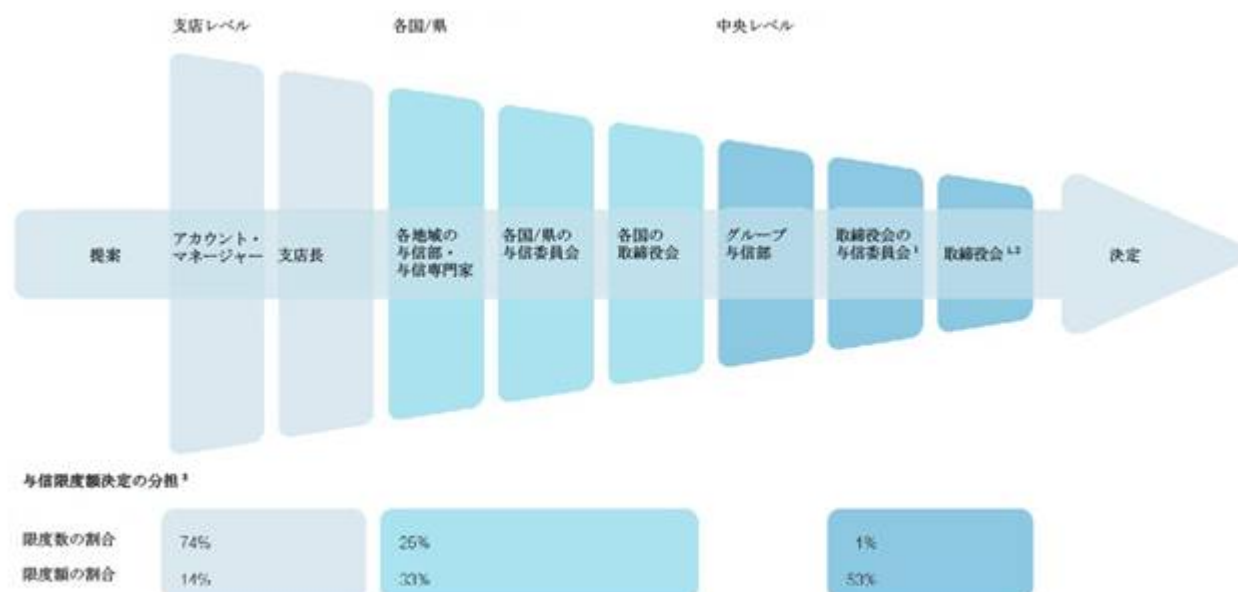
それらの与信限度額を上回る判断については、県域単位及び国単位並びに中央単位的意思決定機関に委ねられる。そうしたニーズに関する判断には、それぞれ与信に関する専門的知識が必要となる。それぞれの意思決定権者は、自らが意思決定権を有する水準に関して、また、自らに意思決定権がない場合にはより上位者の意思決定に委ねられる与信水準に関しても、与信限度額を拒否する権限を有している。与信の責任を負う意思決定プロセスに関与するすべての者は、意思決定権の水準にかかわらず、肯定的な与信限度額の決定を行うには意見を一致させなければならない。これらの者から僅かであっても疑念が提起された場合には、与信申請は却下される。大口与信案件はグループ与信部でレビューされ、取締役会又は取締役会の与信委員会で決定される。ただし、自動与信モデルにより行われた与信判断を除き、当該与信に責任を負う支店長の推薦がなければ、当行において与信申請が処理されることはない。こうした決定に用いられる自動与信モデルには、最高経営責任者の承認が必要となる。

与信及び与信限度額の決定手続は下図「ハンデルスバンケンにおける与信プロセスと決定水準」に示している。この図はまた、与信限度額の判断割合及び様々な決定階層における金額の割合を示している。

ハンデルスバンケンの分散化された組織においては、与信及び与信限度額の大部分の決定が個々の支店において行われているため、高度な与信判断を確実に行うためには適切なレビュープロセスがきわめて重要となる。支店長は、行員が下した判断が適切であるか調査し、ローカルの与信部門は、支店長が下した決定の妥当性について調査する。

このような品質レビューの目的は、当行の与信方針及び内部インストラクションの遵守を確認すること、またこれにより信用の質が維持され、与信及び与信限度額の決定には正しい与信判断及び健全なビジネス・アプローチがあることを示すことにある。同様の品質レビューは、当行のより高いレベルで行われた与信限度額決定に対しても行われている。県域単位又は国単位の与信委員会及び各国の取締役会が付与した与信限度額については、グループ与信部によって調査が行われる。グループ与信部ではまた、当行の取締役会又は取締役会が設けた与信委員会が決定した与信限度額についても調査を行う。また、グループ与信部は、信用評価がグループ全体で一貫し、取締役会が決定した与信方針に則って貸付が行われるよう確実にしている。

## ハンデルスバンケンの与信プロセスと決定水準



1) 当行子会社であるハンデルスバンケン plc については、ハンデルスバンケン plc の取締役会及び取締役会の与信委員会が決議を行う。

2) 特別目的の案件か一般目的の案件かどうかを判定したうえで、取締役及び一部の執行役員向けの与信を決定する。

3) 本部レベルで決定されたサブリン及び銀行の限度額を除く。

## Ecster

当行子会社であるEcster ABは、スウェーデン全土に拠点を置く特定ベンダーに決済システムを提供している。当行は2023年に、Ecsterの秩序ある清算を開始することを決定した。清算プロセスの一環として、2023年春に全販売会社とのパートナーシップを終了した結果、新規取引及び与信申込は急減し、2024年3月31日までにはゼロとなる見込みである。こうした種類の貸付には、年間を通じて常に、迅速かつ正確な与信決定が行われることが必要であり、与信の決定の大半が自動与信モデルを通じて行われている。これらの自動与信モデルで対応できない与信決定については、担当従業員が個別に与えられた与信限度に従い、手作業による決定が行われる。与信限度額の大きな案件はEcsterの与信委員会又は取締役会により決定される。顧客がハンデルスバンケンの既存顧客の場合、与信額の引き上げについての決定は、当該顧客の担当支店又は当行の関連部署により行われる。

## 表：信用エクスポージャー、地域別内訳

信用エクスポージャー、  
地域別内訳、2023年

百万スウェーデン・  
クローネ

		スウェーデン	英国	ノルウェー	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
<b>貸借対照表項目</b>								
現金及び中央銀行預け金		67,895	113,645	4,776	10	128,696	161,159	476,181
中央銀行へのその他								
貸出金	注記G15	3,464	1,131	1,687	25,863			32,145
その他金融機関への								
貸出金	注記G16	17,467	766	208	3	335	519	19,297
一般顧客への貸出金	注記G17	1,639,614	230,671	313,265	144,563	97,110	8,993	2,434,217
中央銀行への担保として								
適格な利付証券	注記G18	199,128						199,128
債券及びその他利付証券	注記G18	50,087						50,087
デリバティブ商品	注記G22	29,961					149	30,110

合計		2,007,615	346,214	319,937	170,438	226,141	170,820	3,241,165
<b>オフバランスシート項目</b>								
偶発債務	注記G44	321,298	47,077	61,722	23,911	3,094	28,883	485,985
うち、保証等		28,601	6,439	3,807	3,907	100	15,266	58,120
うち、コミットメント		292,697	40,638	57,915	20,004	2,995	13,616	427,865
合計		321,298	47,077	61,722	23,911	3,094	28,883	485,985
<b>貸借対照表項目及びオフ</b>								
バランスシート項目		2,328,914	393,291	381,658	194,349	229,235	199,703	3,727,150

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更されたフィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

**信用エクスポージャー、  
地域別内訳、2022年**

百万スウェーデン・

クローネ

		スウェーデン	英国	ノルウェー	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
<b>貸借対照表項目</b>								
現金及び中央銀行預け金		100,413	99,872	8,962	14	136,749	129,873	475,882
中央銀行へのその他								
貸出金	注記G15	3,348	1,256		28,015			32,620
その他金融機関への								
貸出金	注記G16	7,550	810	81	5	295	675	9,415
一般顧客への貸出金	注記G17	1,649,321	239,208	318,242	155,981	96,208	10,364	2,469,324
中央銀行への担保として								
適格な利付証券	注記G18	132,778						132,778
債券及びその他利付証券	注記G18	32,697					0	32,697
デリバティブ商品	注記G22	36,112				50	99	36,261
合計		1,962,219	341,145	327,285	184,015	233,302	141,011	3,188,977
<b>オフバランスシート項目</b>								
偶発債務	注記G44	338,750	48,511	66,178	34,619	2,694	29,337	520,089
うち、保証等		29,091	6,104	4,727	4,780	97	16,176	60,975
うち、コミットメント		309,659	42,407	61,451	29,839	2,596	13,160	459,114
合計		338,750	48,511	66,178	34,619	2,694	29,337	520,089
<b>貸借対照表項目及びオフ</b>								
バランスシート項目		2,300,969	389,656	393,463	218,634	235,996	170,348	3,709,066

地理的分布はエクスポージャーが計上されている国を指す。

減損テスト対象の一般顧客への 貸出金、地域別内訳、2023年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
スウェーデン	1,549,709	88,182	2,862	-143	-458	-538	1,639,614
英国	209,855	19,130	2,084	-162	-196	-40	230,671



ノルウェー	300,653	12,348	527	-73	-96	-94	313,265
フィンランド	131,957	11,636	1,522	-44	-66	-442	144,563
オランダ	91,603	5,505	9	-3	-1	-3	97,110
その他諸国	8,922	47	58	-1	0	-33	8,993
<b>合計</b>	<b>2,292,700</b>	<b>136,848</b>	<b>7,064</b>	<b>-426</b>	<b>-819</b>	<b>-1,150</b>	<b>2,434,217</b>

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更されたフィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

減損テスト対象の一般顧客への 貸出金、地域別内訳、2022年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
スウェーデン	1,592,592	55,507	2,341	-212	-362	-545	1,649,321
英国	222,246	16,063	1,210	-117	-144	-50	239,208
ノルウェー	306,286	11,715	587	-71	-125	-150	318,242
フィンランド	147,996	7,093	1,502	-62	-77	-471	155,981
オランダ	95,390	825	12	-11	-4	-4	96,208
その他諸国	10,203	146	64	-2	-10	-37	10,364
<b>合計</b>	<b>2,374,713</b>	<b>91,349</b>	<b>5,716</b>	<b>-475</b>	<b>-722</b>	<b>-1,257</b>	<b>2,469,324</b>

## 信用ポートフォリオ

当行の信用ポートフォリオは、貸借対照表項目のカテゴリーに基づいて、本セクションに表示されている。信用リスクに係る所要自己資本のセクションでは、自己資本比率規制(CRR)に基づく信用ポートフォリオについて説明している。

連結貸借対照表では、与信は一般顧客への貸出金又は金融機関への貸出金に分類され、オフバランスシート項目は商品種類別に分類される。「エクスポージャー」は、オンバランスシート及びオフバランスシート上の項目の合計を意味しており、一般顧客への貸出金が大宗を占めている。

ハンデルスバンケンは、長年他行と比べて低水準な信用損失を維持してきており、これが当行の収益目標の達成に貢献し、健全な財政状態が保たれている。減損の必要性を特定し限定するため、ハンデルスバンケンは定期的に信用ポートフォリオの質を評価している。信用供与にあたり、当行は既定の件数や特定セクターでの市場シェアといった目標の達成に努めるのではなく、顧客を選択する際に、与信顧客は優良でなければならないと考え、顧客を厳選している。与信残高の増大を達成しようとするあまり、品質に対する要求を蔑ろにしてはならない。これは取締役会で毎年承認される与信方針に明記されている。

高インフレや需要の低迷、中でも利息費用の高騰といった当年度中のマクロ経済情勢の悪化を受け、信用ポートフォリオへの影響について期中に詳細な分析を行った。これらの分析によれば、直ちに信用リスクが著しく増大することはないものの、全般的な不確実性の高まりを示しており、これはステージ1及びステージ2に分類されたエクスポージャーに対するモデルベースの引当金に反映されている。

当行は、様々な気候シナリオに基づき、信用ポートフォリオのスウェーデンの不動産エクスポージャーにおける物理的な気候関連リスクを分析した。この分析により、影響は極めて限定的であることが判明した。また、エネルギー効率要件の導入が、当行の信用ポートフォリオに含まれるスウェーデンの不動産会社にどのような影響を与えるかについて、初期評価を行った。物件価値に変動がないと想定した場合、各不動産会社の借

入総額に係る平均「借入金比率」(以下、「LTV」という。)は今後も数パーセンテージ・ポイント上昇するものの、良好な水準を維持すると見込まれる。

減損テスト対象の一般顧客への 貸出金、セクター/業界別、 2023年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
個人	1,158,428	28,771	4,159	-143	-132	-589	1,190,494
うち、住宅抵当ローン	991,247	21,664	1,592	-38	-43	-44	1,014,378
うち、その他の貸出金(不動産抵当付)	139,030	5,631	1,310	-44	-40	-93	145,794
うち、その他の貸出金(個人)	28,151	1,476	1,257	-61	-49	-452	30,322
住宅共同組合	283,134	11,367	13	-4	-20	-9	294,481
うち、住宅抵当ローン	265,549	5,291	12	-1	-1	-8	270,842
不動産管理	648,688	81,834	1,984	-130	-249	-159	731,968
製造	19,210	4,150	72	-24	-105	-46	23,257
リテール	30,214	671	108	-13	-9	-62	30,909
ホテル及びレストラン	4,333	1,803	101	-4	-9	-6	6,218
海運	1,289	1	0	0	0		1,290
その他運輸及び通信	11,985	178	18	-5	-2	-15	12,159
建設	14,238	4,429	281	-56	-264	-93	18,535
電気、ガス及び水道	15,941	33	7	-2	0	-3	15,976
農業、狩猟及び林業	20,390	1,507	81	-7	-8	-3	21,960
その他サービス	20,965	818	143	-11	-9	-85	21,821
持株会社、投資会社、保険会社、 ミューチャルファンド等	23,154	878	12	-6	-5	-3	24,030
ソブリン及び地方自治体	12,278	64		0	0		12,342
うち、スウェーデン国債局	6,748						6,748
その他の法人向け貸付	28,453	344	85	-21	-7	-77	28,777
合計	2,292,700	136,848	7,064	-426	-819	-1,150	2,434,217

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更されたフィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

減損テスト対象の一般顧客への 貸出金、セクター/業界別、 2022年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
個人	1,163,864	42,542	3,078	-161	-133	-568	1,208,622
うち、住宅抵当ローン	983,183	33,865	1,162	-35	-32	-38	1,018,105
うち、その他の貸出金(不動産抵当付)	144,073	6,931	912	-38	-44	-90	151,744
うち、その他の貸出金(個人)	36,608	1,746	1,004	-88	-57	-440	38,773
住宅共同組合	287,299	1,933	38	-9	-2	-8	289,251
うち、住宅抵当ローン	262,117	955	11	-5	0	-6	263,072
不動産管理	705,567	27,035	1,434	-109	-105	-124	733,698
製造	34,186	2,807	49	-30	-116	-26	36,870

リテール	39,858	649	104	-13	-10	-56	40,532
ホテル及びレストラン	4,296	1,978	19	-5	-30	-7	6,251
海運	2,581	11	221	-2	-2	-77	2,732
その他運輸及び通信	8,599	1,088	36	-17	-36	-33	9,637
建設	17,219	3,549	119	-65	-175	-72	20,575
電気、ガス及び水道	15,331	968	4	-5	-2	-3	16,293
農業、狩猟及び林業	19,997	2,223	40	-25	-75	-14	22,146
その他サービス	21,030	577	180	-14	-7	-139	21,627
持株会社、投資会社、保険会社、 社、ミューチャルファンド等	32,820	5,748	34	-9	-14	-24	38,555
ソブリン及び地方自治体	4,520	84		0	-1		4,603
うち、スウェーデン国債局	1,566						1,566
その他の法人向け貸付	17,546	157	360	-11	-14	-106	17,932
<b>合計</b>	<b>2,374,713</b>	<b>91,349</b>	<b>5,716</b>	<b>-475</b>	<b>-722</b>	<b>-1,257</b>	<b>2,469,324</b>

減損テスト対象の一般顧客への貸  
出金の地域別、セクター別内訳、  
2023年

百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
個人	928,455	67,678	119,527	39,633	29,800	5,401	1,190,494
うち、住宅抵当ローン	905,229		92,266	16,883			1,014,378
うち、その他の貸出金(不動産 抵当付)	3,548	64,882	25,603	17,145	29,555	5,061	145,794
うち、その他の貸出金(個人)	19,678	2,796	1,658	5,605	245	340	30,322
住宅協同組合	220,222		28,339	45,920			294,481
うち、住宅抵当ローン	211,610		27,672	31,560			270,842
不動産管理	330,257	144,438	139,703	50,114	66,462	994	731,968
製造	16,511	1,457	2,634	1,036	1	1,618	23,257
リテール	23,205	2,213	4,397	335	2	757	30,909
ホテル及びレストラン	2,310	3,482	349	17	60		6,218
海運	1,162	13	4	111			1,290
その他運輸及び通信	9,497	428	1,215	557	461	1	12,159
建設	7,226	1,812	9,054	431	7	5	18,535
電気、ガス及び水道	9,946	303	3,619	1,997	111		15,976
農業、狩猟業及び林業	20,049	1,511	240	156		4	21,960
その他サービス	14,229	4,231	2,527	807	22	5	21,821
持株会社、投資会社、保険会社、 ミューチュアルファンド等	19,857	2,946	506	623	96	2	24,030
ソブリン及び地方自治体	10,238		222	1,882			12,342
うち、スウェーデン国債局	6,748						6,748
その他の法人向け貸付	26,451	159	929	944	88	206	28,777
<b>一般顧客への貸出金純額</b>	<b>1,639,614</b>	<b>230,671</b>	<b>313,265</b>	<b>144,563</b>	<b>97,110</b>	<b>8,993</b>	<b>2,434,217</b>
うち、予想信用損失引当金合 計(ステージ1-3)	-1,139	-399	-264	-552	-7	-35	-2,395
<b>一般顧客への貸出金合計</b>	<b>1,640,753</b>	<b>231,070</b>	<b>313,529</b>	<b>145,115</b>	<b>97,117</b>	<b>9,028</b>	<b>2,436,612</b>

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更されたフィンランの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

## 減損テスト対象の一般顧客への貸

## 出金の地域別、セクター別内訳、

2022年

百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
個人	937,527	72,598	119,177	44,116	28,567	6,637	1,208,622
うち、住宅抵当ローン	906,953		92,486	18,666			1,018,105
うち、その他の貸出金(不動産 抵当付)	4,955	68,733	24,711	18,885	28,224	6,236	151,744
うち、その他の貸出金(個人)	25,619	3,865	1,980	6,565	343	401	38,773
住宅協同組合	213,411		28,818	47,022			289,251
うち、住宅抵当ローン	204,791		27,855	30,426			263,072
不動産管理	323,824	147,982	142,876	51,322	66,665	1,029	733,698
製造	27,147	1,560	2,896	3,219	3	2,045	36,870
リテール	32,960	2,730	4,033	427	8	374	40,532
ホテル及びレストラン	2,331	3,566	320	29	5		6,251
海運	2,305	7	152	268			2,732
その他運輸及び通信	6,035	439	1,941	672	549	1	9,637
建設	8,346	1,955	9,588	650	31	5	20,575
電気、ガス及び水道	9,407	310	2,945	3,520	111		16,293
農業、狩猟業及び林業	20,303	1,394	274	158		17	22,146
その他サービス	13,737	4,193	2,795	795	64	43	21,627
持株会社、投資会社、保険会社、 ミューチュアルファンド等	34,799	2,350	605	644	153	4	38,555
ソブリン及び地方自治体	1,249		295	3,010		49	4,603
うち、スウェーデン国債局	1,566						1,566
その他の法人向け貸付	15,940	124	1,527	129	52	160	17,932
<b>一般顧客への貸出金純額</b>	<b>1,649,321</b>	<b>239,208</b>	<b>318,242</b>	<b>155,981</b>	<b>96,208</b>	<b>10,364</b>	<b>2,469,324</b>
うち、予想信用損失引当金合 計(ステージ1-3)	-1,119	-311	-347	-609	-19	-49	-2,454
<b>一般顧客への貸出金合計</b>	<b>1,650,440</b>	<b>239,519</b>	<b>318,589</b>	<b>156,590</b>	<b>96,227</b>	<b>10,413</b>	<b>2,471,778</b>

## 担保

与信には通常、十分な担保を確保することが当行の与信方針に定められている。当行に良質な担保が差し入れられたことが理由で、返済能力の低さが受け入れられるわけではない。但し、借手が返済義務を履行できない場合、当行の損失は担保によって大幅に削減される可能性がある。

信用リスクを限定するための当行の対策には、顧客からの差入担保が含まれる。当行が信用リスクを低減するための主な手段は、住宅用不動産や他の不動産などの不動産担保、資産に係る浮動担保（フローティングチャージ）、保証（保証者によるコミットメントを含む）の受入れやネットティング契約の利用である（詳細はカウンターパーティ・リスクのセクションを参照のこと）。

不動産ファイナンスに関しては、与信は不動産の形式により担保でカバーするという基本方針が適用されている。不動産を担保としたエクスポージャーについては、信用エクスポージャーを担保の市場価値で除すことにより借入金比率(LTV)が算定される。当行は不動産担保貸出の最大額に上限を設ける内部の進言及び外部規制に従っている。市場価値の見積額に基づいて、担保価値は毎年見直されている。市場価値が低下した結果担保価値が減少したとみなされる場合には、より頻繁に見直しが行われる。通常、借手が深刻な返済困難に直面しない限り担保は利用されないため、担保価値の評価は、支払不能となったことによる、不利な状況での売却における予想担保価値に基づいて行われる。

企業に対する無担保の長期信用コミットメントにおいて、当行は、多くの場合、業績不振の際に当行が貸付の再交渉又は契約解除が可能となる特別な与信条件で顧客と契約を締結する。

特別な状況において、当行は債権の信用リスクをヘッジするためクレジット・デリバティブ又は金融保証を購入する場合があるが、これは当行の通常の貸出プロセスの一部ではない。

金融機関に対する貸出の少数部分は、リバース・レポにより構成されている。リバース・レポは、当行がリバース・レポに基づいて利付証券又は株式を特別な契約(証券が特定の日に特定の価格で売り手に再売却される契約)で購入する買戻取引である。ハンデルスバンケンは、リバース・レポを担保付貸出とみなしている。

信用リスクに対する所要自己資本の算定に用いられる担保のみが以下の表に記載されている。

信用エクスポージャー 担保別、2023年 百万スウェーデン・ クローネ			ソプリ ン、地方 自治体及 び県域自 治体 <sup>2</sup>	自己の債 務の担保 として差 し入れた 保証 <sup>3</sup>			金融 担保	資産 担保	その他の 担保	無担保	合計
	住宅用 不動産 <sup>1</sup>	その他の 不動産									
<b>貸借対照表項目</b>											
現金及び中央銀行預け金			476,181								476,181
中央銀行へのその他の貸 出金	注記G15		32,145								32,145
その他金融機関への 貸出金	注記G16									19,297	19,297
一般顧客への貸出金	注記G17	1,802,548	381,314	83,954	12,275	13,072	18,300	7,181	115,573	2,434,217	
中央銀行への担保として 適格な利付証券	注記G18			197,348	543				1,237	199,128	
債券及びその他利付証券	注記G18			3,838	239				46,010	50,087	
デリバティブ商品	注記G22			442		43			29,625	30,110	
<b>合計</b>	<b>1,802,548</b>	<b>381,314</b>	<b>793,908</b>	<b>13,057</b>	<b>13,115</b>	<b>18,300</b>	<b>7,181</b>	<b>211,742</b>	<b>3,241,165</b>		
<b>オフバランスシート項目</b>											
偶発債務	注記G44	71,689	57,200	27,281	3,325	12,720	376	7,504	305,890	485,985	
うち、保証等		525	1,061	2,239	228	918		795	52,354	58,120	
うち、コミットメント		71,164	56,139	25,042	3,097	11,802	376	6,709	253,536	427,865	
<b>合計</b>		<b>71,689</b>	<b>57,200</b>	<b>27,281</b>	<b>3,325</b>	<b>12,720</b>	<b>376</b>	<b>7,504</b>	<b>305,890</b>	<b>485,985</b>	

貸借対照表項目及びオフ  
バランスシート項目合

計	1,874,237	438,514	821,189	16,382	25,835	18,676	14,685	517,632	3,727,150
---	-----------	---------	---------	--------	--------	--------	--------	---------	-----------

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更されたフィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

信用エクスポージャー 担保別、2022年 百万スウェーデン・ クローネ	住宅用 不動産 <sup>1</sup>	その他の 不動産	ソプリ ン、地方 自治体及 び県域自 治体 <sup>2</sup>	自己の債 務の担保 として差 し入れた 保証 <sup>3</sup>	金融 担保	資産 担保	その他の 担保	無担保	合計	
貸借対照表項目										
現金及び中央銀行預け金			475,882						475,882	
中央銀行へのその他の貸 出金	注記G15		32,620						32,620	
その他金融機関への 貸出金	注記G16							9,415	9,415	
一般顧客への貸出金	注記G17	1,811,762	381,614	48,207	12,536	14,056	21,446	9,787	169,916	2,469,324
中央銀行への担保として 適格な利付証券	注記G18		130,416					2,362	132,778	
債券及びその他利付証券	注記G18		6,461	815				30,032	32,697	
デリバティブ商品	注記G22	189	354	3,361	223	86		32,048	36,261	
合計		1,811,951	381,968	696,947	13,574	14,142	21,446	9,787	243,773	3,188,977
オフバランスシート項目										
偶発債務	注記G44	77,835	55,377	28,756	4,998	11,805	733	8,464	332,121	520,089
うち、保証等		743	1,223	2,148	1,357	935		866	53,703	60,975
うち、コミットメント		77,092	54,154	26,608	3,641	10,870	733	7,598	278,418	459,114
合計		77,835	55,377	28,756	4,998	11,805	733	8,464	332,121	520,089

貸借対照表項目及びオフ  
バランスシート項目合

計	1,889,786	437,345	725,703	18,572	25,947	22,179	18,251	575,894	3,709,066
---	-----------	---------	---------	--------	--------	--------	--------	---------	-----------

- 1) 住宅協同組合のアパートを含む。
- 2) 直接のソプリン・エクスポージャー及び政府保証をいう。
- 3) 政府保証を含まない。

減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバ  
ランスシート項目、担保別、2023年  
百万スウェーデン・クローネ

貸借対照表項目							
現金及び中央銀行預け金		476,162					
ソプリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>1</sup>		476,162					
中央銀行へのその他の貸出金	注記G15	32,145					
ソプリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>1</sup>		32,145					
その他金融機関への貸出金	注記G16	19,289	11		-1	-1	
ソプリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>1</sup>							
自己の債務の担保として差し入れた保証 <sup>2</sup>							
無担保		19,289	11		-1	-1	
一般顧客への貸出金	注記G17	2,292,700	136,848	7,064	-426	-819	-1,150
住宅用不動産 <sup>3</sup>		1,711,455	87,744	4,001	-155	-313	-184
その他の不動産		349,131	31,606	994	-109	-174	-134
ソプリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>1</sup>		78,564	5,040	365	-2	-13	0
自己の債務の担保として差し入れた保証 <sup>2</sup>		8,979	3,330	2	-5	-31	0

金融担保	12,252	829	2	-6	-5	0
資産担保	17,165	1,158	64	-27	-43	-17
その他担保	6,322	868	302	-15	-65	-231
無担保	108,832	6,273	1,334	-107	-175	-584
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記G18					
債券及びその他利付証券	注記G18	12,709		-2		
合計		2,833,004	136,859	7,064	-429	-820
						-1,150

## オフバランスシート項目

偶発債務	注記G44	284,693	11,262	164	-94	-203	-42
うち、保証等		56,464	1,596	60	-11	-40	-22
住宅用不動産 <sup>3</sup>		439	78	8	0	-3	-4
その他の不動産		998	62	1	0	-1	0
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>1</sup>		2,168	70	1	0	-1	0
自己の債務の担保として差し入れた保証 <sup>2</sup>		147	80		0	-1	
金融担保		802	113	3	0	-1	0
資産担保							
その他担保		699	88	7	0	-3	0
無担保		51,211	1,105	40	-11	-30	-18
うち、コミットメント		228,229	9,666	104	-83	-163	-20
住宅用不動産 <sup>3</sup>		69,911	1,207	46	-11	-6	-18
その他の不動産		54,519	1,613	8	-7	-12	0
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>1</sup>		24,955	86		0	0	
自己の債務の担保として差し入れた保証		2,296	800		-1	-6	
金融担保		11,612	186	3	0	-1	0
資産担保		353	21	2	0	-1	0
その他担保		5,860	841	8	-8	-49	-1
無担保		58,723	4,912	37	-56	-88	-1
合計		284,693	11,262	164	-94	-203	-42
貸借対照表項目及びオフバランスシート項目合計		3,117,697	148,121	7,228	-523	-1,023	-1,192

1) 直接のソブリン・エクスポーチャー及び政府保証をいう。

2) 政府保証を含まない。

3) 住宅協同組合のアパートを含む。

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフ バランスシート項目、担保別、2022年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
貸借対照表項目						
現金及び中央銀行預け金	475,853			0		
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>1</sup>	475,853			0		
中央銀行へのその他の貸出金	注記G15	32,620		0		
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>1</sup>		32,620		0		
その他金融機関への貸出金	注記G16	9,418	1	-2	-1	
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>1</sup>						
自己の債務の担保として差し入れた保証 <sup>2</sup>						
無担保	9,418	1		-2	-1	
一般顧客への貸出金	注記G17	2,374,713	91,349	-475	-722	-1,257
住宅用不動産 <sup>3</sup>	1,754,173	55,422	2,708	-153	-188	-200
その他の不動産	360,572	20,728	769	-113	-208	-134
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>1</sup>	45,921	1,936	360	-4	-6	
自己の債務の担保として差し入れた保証 <sup>2</sup>	12,311	243	1	-3	-16	
金融担保	13,804	258	1	-4	-3	
資産担保	19,719	1,836	45	-45	-94	-15
その他担保	8,937	875	310	-22	-82	-231
無担保	159,276	10,051	1,522	-131	-125	-677
中央銀行への担保として適格な利付証券	注記G18	200		0		

債券及びその他利付証券	注記G18	9,882			-2		
合計		2,902,686	91,350	5,716	-480	-723	-1,257
オフバランスシート項目							
偶発債務	注記G44	314,586	12,533	274	-103	-169	-82
うち、保証等		58,973	1,935	67	-6	-11	-19
住宅用不動産 <sup>3</sup>		695	43	5	0	0	-1
その他の不動産		970	252		0	-3	
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>1</sup>		2,096	47	5	0	0	0
自己の債務の担保として差し入れた保証 <sup>2</sup>		1,030	326		0	-1	
金融担保		840	91	3	0	-1	0
資産担保							
その他担保		711	139	17	-1	-2	-5
無担保		52,631	1,037	37	-5	-4	-13
うち、コミットメント		255,613	10,598	207	-97	-158	-63
住宅用不動産 <sup>3</sup>		74,461	2,597	34	-21	-12	-20
その他の不動産		53,086	1,064	4	-10	-18	0
ソブリン、地方自治体及び県域自治体 <sup>1</sup>		26,591	16		0	-1	
自己の債務の担保として差し入れた保証		3,538	103		-1	-4	
金融担保		10,842	28		0	0	
資産担保		710	22		-2	-3	
その他担保		6,719	863	16	-10	-48	-2
無担保		79,666	5,905	153	-53	-72	-41
合計		314,586	12,533	274	-103	-169	-82
貸借対照表項目及びオフバランスシート項目合計		3,217,272	103,883	5,990	-583	-892	-1,339

1) 直接のソブリン・エクスポーチャー及び政府保証をいう。

2) 政府保証を含まない。

3) 住宅協同組合のアパートを含む。



## 信用リスクの集中

ハンデルスバンケンの支店は、健全な信用力を有する優良顧客と長期的な関係を築くことに大きな重点を置いている。支店は優良顧客を見出した場合、その顧客が属するセクターに対する当行全体のエクスポージャーの大きさに拘わらず、この顧客と取引を行うことができる。その結果、当行の取引は相対的に特定のセクターに集中する傾向がある。しかしながら、当行は信用ポートフォリオのパフォーマンスと質を監視し、様々な事業セクターや地域に対する集中を算定している。当行はまた、主要な個々のカウンターパーティに対するエクスポージャーを測定し監視している。当行はまた、信用リスク評価を補完するために、個々のカウンターパーティに対する最大信用エクスポージャーを制限する特別な限度額も適用している。リスクの増加が想定される特定のセクターやカウンターパーティに信用ポートフォリオが集中している場合には、この集中が監視される。集中リスクは、当行の信用リスクに対する経済資本の算定や自己資本充実度の内部評価で実施されるストレステストに加え、当行のリスク許容度に関するフォローアップの一環として特定される。信用ポートフォリオにおけるリスクの集中に関し、第二の柱に基づき、スウェーデン金融監督庁も別途、所要自己資本を計算している。これにより、ハンデルスバンケンは、リスクの集中も考慮した十分な資本を有していることを確認している。リスクの集中が過剰であると判断される場合には、当行は様々なリスク軽減策を用いる機会及び能力がある。

住宅ローン及び住宅協同組合への貸付に加え、ハンデルスバンケンは不動産管理部門に関してかなりの貸付業務を行っており、その金額は 732 (734)十億スウェーデン・クローネである。ここでの「不動産管理部門」とは、リスク評価上「不動産会社」として分類されているすべての会社を指す。他の業界で事業を行っている企業グループの不動産管理子会社が、当該企業グループの事業不動産を管理することは一般的に行われているが、そうした不動産会社もここでは不動産管理部門に属しているとみなされる。但し、カウンターパーティの返済能力は不動産管理以外の事業活動によって決定されるため、そうした場合に存在する信用リスクは、不動産関連のリスクのみではない。さらに、相当な不動産を保有している個人について、リスク評価では不動産会社として分類される。

### 減損テスト対象の一般顧客への貸

#### 出金、不動産管理、2023年

百万スウェーデン・クローネ

#### スウェーデンにおける貸出金

	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
国有不動産会社	11,306			0			11,306
地方自治体が所有する不動産会社	7,311	515		0	0		7,826
住宅用不動産会社	129,563	30,200	64	-7	-68	-13	159,739
うち、住宅抵当ローン	121,606	28,574	56	-6	-64	-7	150,159
その他の不動産管理	131,093	20,222	164	-11	-30	-52	151,386
うち、住宅抵当ローン	72,794	10,836	63	-3	-17	-21	83,652
合計	279,273	50,937	228	-18	-98	-65	330,257

#### スウェーデン国外における貸出金

英国	129,672	13,876	1,132	-87	-129	-26	144,438
ノルウェー	133,310	6,364	91	-22	-12	-28	139,703
フィンランド	44,389	5,249	522	-2	-9	-35	50,114
オランダ	61,056	5,408		-1	-1		66,462
その他諸国	988		11	0		-5	994
合計	369,415	30,897	1,756	-112	-151	-94	401,711

#### 一般顧客への貸出金に占める不動

産管理合計	648,688	81,834	1,984	-130	-249	-159	731,968
-------	---------	--------	-------	------	------	------	---------

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、フィンランド所在の処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

減損テスト対象の一般顧客への貸 出金、不動産管理、2022年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金			純額
	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
スウェーデンにおける貸出金							
国有不動産会社	11,198			0			11,198
地方自治体が所有する不動産会社	8,212			0			8,212
住宅用不動産会社	148,992	3,851	22	-6	-5	-8	152,846
うち、住宅抵当ローン	137,576	3,661	18	-5	-5	-4	141,241
その他の不動産管理	145,098	6,376	171	-15	-15	-47	151,568
うち、住宅抵当ローン	77,194	1,656	32	-3	-4	0	78,875
合計	313,500	10,227	193	-21	-20	-55	323,824
スウェーデン国外における貸出金							
英国	138,506	8,972	647	-51	-60	-32	147,982
ノルウェー	138,171	4,684	62	-22	-10	-9	142,876
フィンランド	48,458	2,383	521	-5	-12	-23	51,322
オランダ	65,913	765		-10	-3		66,665
その他諸国	1,019	4	11	0	0	-5	1,029
合計	392,067	16,808	1,241	-88	-85	-69	409,874
一般顧客への貸出金に占める不動 産管理合計							
	705,567	27,035	1,434	-109	-105	-124	733,698

不動産貸出の大半は、借入金比率(LTV)低い不動産抵当貸付で構成されており、当行の信用損失リスクを軽減する。さらに、不動産貸出の大部分は、借手のキャッシュ・フローが堅調であり、信用力が非常に高い、国有の不動産会社、地方自治体所有の住宅会社及びその他の住宅関連会社向けである。したがって、不動産セクターへの貸出の大部分は、返済困難に陥る確率が非常に低い会社に対する貸出である。当行の不動産セクターに対するエクスポージャーは、下表に明記されている。

当行においてリスク区分が5(正常リスク)よりも低い格付の不動産関連のカウンターパーティ(不動産管理会社及び住宅協同組合)に対するエクスポージャーは非常に低いものになっている。スウェーデンにおける不動産貸出全体の93.8(98.2)%は、リスク区分が5以上の水準となっている。同様に、不動産貸出に占めるリスク区分が5以上のエクスポージャーは、ノルウェーでは97.9(99.6)%でありフィンランドでは97.3(97.8)%となっている。英国及びオランダに関する所要自己資本は、所定のリスク加重を用いる標準的手法を用いて計算されており、リスク区分は所要自己資本の算定とは関連していない。リスク区分が正常よりも低い水準にあるカウンターパーティのうち、大半がリスク区分6及び7に属しており、ごく一部がより高いリスク区分である8及び9に属している。ハンデルスバンケンのリスク区分に関する情報については、注記G2「信用リスクに関する所要自己資本の算定」セクションを参照のこと。

ハンデルスバンケンの不動産会社向け貸出は過去1年間で減少した。現地通貨ベースでは、スウェーデンで堅調に推移し、英国、ノルウェー、フィンランド及びオランダのポートフォリオは減少した。ハンデルスバンケンは、返済能力、LTV及び担保の質に関して、すべての市場で同一の厳格な要件を適用している。

一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、担保 の種類及び国別（総額） 百万スウェーデン・ クローネ	2023年					2022年				
	貸出金	国及び地方自治体 <sup>1</sup>	住宅用不動産	商業用不動産及びその他の担保		貸出金	国及び地方自治体 <sup>1</sup>	住宅用不動産	商業用不動産及びその他の担保	
				無担保	無担保				無担保	無担保
スウェーデン	330,438	19,667	182,787	118,746	9,238	323,920	20,052	175,283	116,708	11,877
英国	144,680	6	80,478	63,178	1,018	148,125	9	84,065	63,567	484
ノルウェー	139,765	24	19,345	111,245	9,151	142,917	25	26,365	107,793	8,734
フィンランド	50,160	30,360	7,598	11,683	519	51,362	30,041	7,225	13,830	266
オランダ	66,464		47,829	18,594	41	66,678		44,914	21,544	220
その他諸国	999		431	557	11	1,034		562	459	13
合計	732,506	50,057	338,468	324,003	19,978	734,036	50,127	338,414	323,901	21,594

1) 政府及び地方自治体、又は政府及び地方自治体が保証する不動産融資

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更されたフィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

#### 一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分及び国別、2023年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	スウェーデン	英国	ノルウェー	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計	%
1	10,967		637	11,895			23,499	3.21
2	71,060		16,990	5,590			93,640	12.78
3	108,232		71,103	14,488			193,823	26.46
4	78,149		39,482	11,985			129,616	17.69
5	41,524		8,554	4,760			54,838	7.49
6	16,619		2,571	510			19,700	2.69
7	3,137		299	176			3,612	0.49
8	129		2	145			276	0.04
9	390		9	20			419	0.06
デフォルト	228		91	522			841	0.11
標準的手法 <sup>1</sup>	3	144,680	27	69	66,464	999	212,242	28.97
合計	330,438	144,680	139,765	50,160	66,464	999	732,506	100

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

#### 一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分及び国別、2022年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	スウェーデン	英国	ノルウェー	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計	%
1	17,831		807	13,062			31,700	4.32
2	94,409		35,509	5,837			135,755	18.49
3	136,834		62,647	18,846			218,327	29.74
4	47,862		31,834	8,151			87,847	11.97
5	20,273		11,503	4,245			36,021	4.91
6	4,972		216	465			5,653	0.77
7	315		279	113			707	0.10

8	131		41			172	0.02
9	73	32	6			111	0.02
デフォルト	194	62	521			777	0.11
標準的手法 <sup>1</sup>	1,026	148,125	28	75	66,678	1,034	216,966 29.56
<b>合計</b>	<b>323,920</b>	<b>148,125</b>	<b>142,917</b>	<b>51,362</b>	<b>66,678</b>	<b>1,034</b>	<b>734,036 100</b>

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

## 一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分、担保の種類及び無担保別、2023年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	貸出金	担保				
		住宅用不動産	商業用不動産	政府及び地方自治体からの保証 <sup>1</sup>	その他の担保	無担保
1	23,499	6,349	4,293	11,704	369	784
2	93,640	43,522	29,089	18,782	140	2,107
3	193,823	68,451	107,695	8,984	464	8,229
4	129,616	49,143	67,137	7,120	811	5,405
5	54,838	27,943	21,952	2,577	662	1,704
6	19,700	11,414	7,424	376	13	473
7	3,612	2,230	1,257	54	8	63
8	276	87	68	118		3
9	419	350	51		5	13
デフォルト	841	228	240	336	3	34
標準的手法 <sup>1</sup>	212,242	128,751	81,861	6	461	1,163
合計	732,506	338,468	321,067	50,057	2,936	19,978

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

## 一般顧客への貸出金の内訳 - 不動産管理、リスク区分、担保の種類及び無担保別、2022年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分	貸出金	担保				
		住宅用不動産	商業用不動産	政府及び地方自治体からの保証 <sup>1</sup>	その他の担保	無担保
1	31,700	8,322	4,811	16,698	1,094	775
2	135,755	62,315	51,154	15,876	658	5,752
3	218,327	89,223	109,973	9,855	560	8,716
4	87,847	39,326	40,008	5,334	268	2,911
5	36,021	8,908	22,977	1,628	705	1,803
6	5,653	284	4,855	378	18	118
7	707	244	408	7	35	13
8	172	70	101			1
9	111	37	56		7	11
デフォルト	777	145	247	342	13	30
標準的手法 <sup>1</sup>	216,966	129,540	85,129	9	824	1,464
合計	734,036	338,414	319,719	50,127	4,182	21,594

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

## 信用リスクに関する所要自己資本の算定

### リスク格付制度

信用リスクに対する所要自己資本は、欧州委員会委任規則575/2013 (CRR) に従い標準的手法及びIRB手法に基づいて算定される。標準的手法では、信用リスクの所要自己資本の算定に用いるリスク加重が同規則に定められている。これに対し、IRB手法では金融機関が所要自己資本の算定に際して自行のIRBモデル(内部リスク格付制度)を使用することでリスク・パラメーターを見積もる。IRB手法を適用するには、基礎的手法と先進的手法という二つの異なる手法がある。基礎的IRB手法では、デフォルト確率(以下、「PD」という。)は当行独自のIRBモデルを用いて算出され、デフォルト時損失率(以下「LGD」という)及び掛目(以下、「CCF」という。)の数値は規則で定められている。CCFはオフ・バランスシート・コミットメントのエクスポージャー額の計算に用いられる。先進的IRB手法では、PD、LGD、CCFはそれぞれ、当行独自のIRBモデルを用いて計算される。ハンデルスバンケンの内部リスク格付制度(IRB手法)は、当行の信用リスクの分類及び定量化に対応するためのいくつかの異なるシステム、手法、プロセス及び手順より構成されている。

顧客の信用評価を行う際、顧客には格付が割り当てられる。この格付と他のリスク格付基準とを併せ、エクスポージャーのIRB手法のリスク区分への割り当て方法を決定している。

格付には、財務逼迫リスク(A)と、こうした逼迫に対するカウンターパーティの経済的耐久力(B)という二つの側面があり、極めて低いリスクからきわめて高いリスクまでを5段階で評価している。

IRB手法の適用にあたって、この格付は各国政府、中央銀行、政府系機関及び地方自治体に対するエクスポージャー(ソブリン・エクスポージャー)同様、法人及び機関に対するエクスポージャーに関しても、内部リスク区分に変換されている(A+B-1)。

リテール・エクスポージャーの格付は1から5までの5段階で構成され、法人エクスポージャーのようにリスク区分に直接転換されるわけではない。代わりに、異なるエクスポージャーが特定の要因に基づいて、いくつかのより小規模なグループに分類される。こうした要因には、与信の種類、カウンターパーティの返済履歴のほか、複数の借手の有無などが含まれる。平均的なデフォルト確率は各小規模なグループについて算定され、これに基づき、グループごとに10段階のリスク区分のいずれかに分類される。個人向けエクスポージャーと中小企業向けエクスポージャーには異なるモデルが使用されている(どちらもリテール・エクスポージャーのカテゴリーに分類されている)が、原則は同じである。

IRB手法に用いられるリスク区分は、このように1から10までの段階に分類される。

当行のエクスポージャーの大半はリスク区分1 - 4に属し、これは、信用ポートフォリオの平均的なリスク水準が正常リスクとして評価されるレベルよりも著しく低いことを意味している。リスク区分5は正常リスクに相当し、リスク区分10はカウンターパーティがデフォルトに陥っている状態である。

### エクスポージャー区分

エクスポージャー区分は信用リスク算定に用いる手法により異なる。標準的手法で算定されるエクスポージャーは、17の異なるエクスポージャー区分に分類される。一方、IRB手法では7つのエクスポージャー区分が用いられる。

IRB手法による全体のエクスポージャー区分は、ソブリン・エクスポージャー、機関エクスポージャー、法人エクスポージャー、リテール・エクスポージャー、株式エクスポージャー及び証券化ポジションのエクスポージャーからなる。さらに、有形固定資産などのカウンターパーティによる行為が一切必要とされない非信用債務資産がある。

政府、中央銀行、政府系機関及び地方自治体に対するエクスポージャーはソブリン・エクスポージャーに分類される。機関エクスポージャーは、銀行及びその他の金融機関並びに特定の投資会社に分類されるカウンターパーティに対するエクスポージャーをいう。

リテール・エクスポージャーには、個人及び中小企業の両方に対するエクスポージャーが含まれ、この場合の当行グループのエクスポージャー合計は5百万スウェーデン・クローネを超えないものとする（住宅抵当貸付を除く）。リテール・エクスポージャーは、不動産貸付エクスポージャーとその他のリテール・エクスポージャーの二つの小区分に分類される。

法人エクスポージャーは、当行グループのエクスポージャー合計が5百万スウェーデン・クローネ超の法人、売上が50百万スウェーデン・クローネ超の企業、当行グループのエクスポージャー合計が5百万スウェーデン・クローネ超の中小企業などの金融機関以外に対するエクスポージャーをいう。一般的な金融機関以外の企業とは別に、このエクスポージャー区分には保険会社、住宅共同組合のエクスポージャー及び「スペシャライズド・レンディング」形式によるエクスポージャーが含まれる。

株式エクスポージャーは、トレーディング勘定に含まれない当行の株式保有をいう。

標準的手法を用いる場合には、当行の資産は、国際開発銀行エクスポージャー、国際機関エクスポージャー、機関エクスポージャー、法人エクスポージャー、リテール・エクスポージャー、不動産担保付エクスポージャー、デフォルトエクスポージャー、その他及び株式エクスポージャーのエクスポージャー区分に分類される。

リスク区分別信用エク スポージャー、2023年 百万スウェーデン・ク ローネ	貸借対照表項目						オフバランスシート項目		
	一般顧客への 貸出金	その他金融 機関への貸 出金	現金及び中央 銀行預け金	中央銀行へ のその他の 貸出金	デリバティブ 商品	利付証券	偶発債務	債務	合計
リスク区分									
1	541,178	97	362,536	31,014	5,988	193,697	5,333	54,492	1,194,335
2	555,325	17,131			13,612	54,399	20,548	105,764	766,779
3	548,122	1,803			5,160	1,119	20,053	110,167	686,424
4	268,250	1			1,830		8,440	51,496	330,017
5	80,479	3			257		1,612	21,136	103,487
6	35,688	2			61		161	6,463	42,375
7	36,405				120		690	5,928	43,143
8	1,490						43	3,368	4,901
9	8,656						13	2,422	11,091
デフォルト	3,398						28	127	3,553
標準的手法 <sup>1</sup>	355,226	260	113,645	1,131	3,082		1,199	66,502	541,045
合計	2,434,217	19,297	476,181	32,145	30,110	249,215	58,120	427,865	3,727,150

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

リスク区分別信用エク スポージャー、2022年 百万スウェーデン・ク ローネ	貸借対照表項目						オフバランスシート項目		
	一般顧客への 貸出金	その他金融 機関への貸 出金	現金及び中央 銀行預け金	中央銀行へ のその他の 貸出金	デリバティブ 商品	利付証券	偶発債務	債務	合計
リスク区分									
1	550,626	127	378,321	29,020	11,812	133,759	5,010	52,509	1,161,184
2	621,664	4,470			14,179	26,544	23,626	134,449	824,932
3	582,787	3,852	34		6,252	1,616	20,677	131,146	746,364
4	226,188	4			1,397	42	7,861	41,005	276,497

## スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト ( S v e n s k a   H a n d e l s b a n k e n   A B   ( p u b l ) ) (E27561)

## 有価証券報告書

5	71,383	7			186	50	1,680	22,947	96,253
6	17,271	1			30		304	4,327	21,933
7	24,420				9		158	5,291	29,878
8	768				1		43	2,856	3,668
9	7,117						13	2,083	9,213
デフォルト	2,930						39	185	3,154
標準的手法 <sup>1</sup>	364,170	954	97,527	3,600	2,395	3,464	1,564	62,316	535,990
<b>合計</b>	<b>2,469,324</b>	<b>9,415</b>	<b>475,882</b>	<b>32,620</b>	<b>36,261</b>	<b>165,475</b>	<b>60,975</b>	<b>459,114</b>	<b>3,709,066</b>

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。



## リスク分類方法

当行は、信用リスクを定量化するために、デフォルト確率（PD）、デフォルト時エクスポージャー（以下、「EAD」という。）、デフォルト時損失率（LGD）を算定している。借手が重要な支払を90日超延滞している場合、又は借手が当行に対する債務を履行する可能性が低いと当行がみなす場合に、デフォルト（債務不履行）が発生したと考えられる。PD値はパーセントで表され、例えば、PD値が0.5%である場合は、PD値が同一である200人のうちの1人の借手が、1年以内にデフォルトに陥ると予想されることを意味する。

カウンターパーティに対して用いられる事業評価テンプレートに基づき、法人エクスポージャーは4つのカウンターパーティ区分に、ソブリン・エクスポージャーは2つのカウンターパーティ区分に分類される。PDは、リスク区分及びカウンターパーティの分類別にそれぞれ算定される。基礎的IRB手法に従って所要自己資本を算定する必要があるエクスポージャーについては、LGDに規定値を適用する。ここで使用される可能性のある規定値は、各エクスポージャーに対して差し入れられた担保によって決定されている。

リテール・エクスポージャーにも同様に、リスク区分ごとに平均デフォルト率が算定されている。個人向けエクスポージャーと中小規模企業向けエクスポージャーには異なるモデルが使用されている（どちらもリテール・エクスポージャーのカテゴリーに分類されている）が、原則は同じである。

リテール・エクスポージャー並びに中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合に対する法人エクスポージャーについては、自行の損失実績を用いてLGDを算定する。先進的IRB手法を使用して自己資本比率を算定する必要がある大企業に対するエクスポージャーについては、過去の損失及び外部の観察可能な指標に基づいてLGDが算定される。スウェーデンの不動産担保が付されているリテール・エクスポージャー並びに中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合（法人）に対する不動産エクスポージャーについては、当該担保価値に対する借入金比率に応じて、異なるLGD値が適用される。その他のエクスポージャーについては、LGD値は担保の有無、担保価値、商品の種類及び類似する要因に基づいて決定される。

エクスポージャーの各区分に関しては、債務不履行に陥っていないカウンターパーティ又は契約のリスク区分ごとにそれぞれPDが算定されている。PDは、異なる種類のエクスポージャー別に過去のデフォルト確率に基づいて算定される。その後、平均デフォルト確率は、様々な保守的に加えるマージンを使用して調整される。

LGDを算定する際のリスク尺度は、経済的に不利な状況における損失率（「景気後退期を勘案したLGD」として知られている）を反映しなければならない。自行推計のLGDとCCFを用いるIRB手法で算定する法人エクスポージャーに関しては、LGDが景気後退を勘案して調整されるため、1991年から1996年にかけての景気後退期における当行の損失が考慮に入れられている。LGDは、多くの場合、当該不動産に係る借入金比率に基づき見積もられる。不動産価値及びその影響により借入金比率も通常景気循環とともに変動するため、所要自己資本もある程度の景気循環との相関関係を持つことになる。リテール・エクスポージャーに係るその他の担保については、観察されたLGDはPD及び商品の種類ごとの要因に応じて景気後退を勘案して調整される。

### 減損テスト対象の貸借対照表項目、リスク区分別、2023年

百万スウェーデン・クローネ

リスク区分

	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
1	885,295	1,982		-5	-3	
2	604,664	4,633		-19	-6	
3	546,591	8,169		-42	-14	
4	246,184	23,991		-78	-16	
5	61,640	32,578		-35	-151	
6	17,908	17,968		-23	-101	
7	24,235	12,481		-7	-184	

8	220	1,306	-1	-35	
9	303	8,428	-1	-73	
デフォルト			4,240		-839
標準的手法 <sup>1</sup>	445,964	25,323	2,824	-218	-237
合計	2,833,004	136,859	7,064	-429	-820
					-1,150

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

減損テスト対象の貸借対照表項目、リスク区分別、2022年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	908,545	9,099		-6	-4	
2	653,136	10,055		-27	-8	
3	581,934	9,743		-65	-19	
4	213,053	14,719		-103	-36	
5	60,120	12,758		-64	-196	
6	10,569	6,839		-18	-88	
7	18,482	6,060		-11	-102	
8	304	504		-1	-38	
9	2,711	4,474		-9	-59	
デフォルト			3,991			-1,061
標準的手法 <sup>1</sup>	453,832	17,099	1,725	-176	-173	-196
合計	2,902,686	91,350	5,716	-480	-723	-1,257

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

減損テスト対象の一般顧客への貸出金、リスク区分別、2023年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	539,204	1,982		-5	-3	
2	550,714	4,633		-16	-6	
3	540,009	8,169		-42	-14	
4	244,353	23,991		-78	-16	
5	48,097	32,567		-35	-150	
6	17,844	17,968		-23	-101	
7	24,115	12,481		-7	-184	
8	220	1,306		-1	-35	
9	302	8,428		-1	-73	
デフォルト			4,237			-839
標準的手法 <sup>1</sup>	327,842	25,323	2,827	-218	-237	-311
合計	2,292,700	136,848	7,064	-426	-819	-1,150

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

減損テスト対象の一般顧客への貸出 金、リスク区分別、2022年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	541,537	9,099		-6	-4	
2	611,641	10,055		-24	-8	
3	573,128	9,743		-65	-19	
4	211,608	14,719		-103	-36	
5	58,884	12,757		-63	-195	
6	10,538	6,839		-18	-88	
7	18,473	6,060		-11	-102	
8	303	504		-1	-38	
9	2,711	4,474		-9	-59	
デフォルト			3,991			-1,061
標準的手法 <sup>1</sup>	345,890	17,099	1,725	-175	-173	-196
合計	2,374,713	91,349	5,716	-475	-722	-1,257

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

減損テスト対象のオフバランスシート項 目 リスク区分別、2023年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	31,681	76		0	0	
2	64,466	152		-10	0	
3	66,056	468		-16	-1	
4	31,261	989		-23	-2	
5	8,668	5,754		-8	-73	
6	6,015	528		-3	-17	
7	5,199	1,379		-3	-58	
8	3,034	295		-1	-16	
9	2,149	199		-2	-12	
デフォルト			96			-41
標準的手法 <sup>1</sup>	66,164	1,422	68	-28	-24	-1
合計	284,693	11,262	164	-94	-203	-42

上表には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

減損テスト対象のオフバランスシート項 目 リスク区分別、2022年 百万スウェーデン・クローネ	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
リスク区分						
1	32,621	878		0	0	
2	85,928	891		-5	-1	
3	82,742	987		-12	-1	
4	27,190	1,690		-29	-7	
5	12,760	2,533		-13	-51	

6	3,883	747	-3	-25		
7	3,821	1,627	-4	-33		
8	2,741	157	-2	-9		
9	1,950	145	-2	-8		
デフォルト			223		-82	
標準的手法 <sup>1</sup>	60,950	2,878	51	-33	-34	0
合計	314,586	12,533	274	-103	-169	-82

1) 標準的手法は所定のリスク加重を用いているため、リスク区分には分類されていない。

デフォルト時エクスポージャー (EAD) が算定される場合、帳簿価額に対して一定の調整が行われる。例えば、顧客が将来において一定金額まで借入れを行うことを当行が顧客との間で合意しているリボルビング・クレジットである。このようなコミットメントは、十分な資本によってカバーされなければならない信用リスクに含まれる。一般的にこれは、付与された与信枠のうちの報告時点で未使用の部分が一定の掛目 (CCF) を用いて調整されることを意味する。法人エクスポージャー及び機関エクスポージャーに関する特定の商品カテゴリーについて、掛目 (CCF) は規制によって決定されるが、リテール・エクスポージャー並びに大企業、中規模企業、不動産会社及び住宅協同組合の特定の商品区分に関しては、当行は独自に算定した掛目 (CCF) を用いている。どの掛目 (CCF) を使用するかは、主に参照される商品によって決まるが、利用水準も関連する可能性がある。IRB手法における株式エクスポージャーの所要自己資本は、簡便なリスク加重手法に従い算出されている。

リスク・パラメーター (PD、EAD、LGD) は、自己資本比率の計算だけでなく、個々の取引の資本コスト及び経済資本 (EC) の算定にも用いられる。

過去データを用いてリスクの推計値を算出する当行のIRBモデルに関し、現時点では、当行はサステナビリティ・リスクをリスクドライバーとして取り入れるための十分な過去データを有していない。ただし、PDリスク区分の基礎を成す内部格付を設定する際にはサステナビリティ・リスクも考慮されており、十分な過去データが入手可能になった時点で将来のIRBモデルにサステナビリティ・リスクをリスクドライバーとして含めることを目指し現在も作業を進めている。

## 外部格付との比較

当行のリスク区分は外部信用格付機関が採用する格付とは直接比較することができない。外部格付機関の格付は、当行の格付モデルが実施しているような、カウンターパーティの債務不履行に陥る可能性を直接分類したものとは一致していない。また、債務不履行がもたらす損失の深刻さを織り込む程度は外部格付機関によりさまざまである。当行が信用度を評価する対象期間は、信用格付機関が用いる対象期間と同一であるとは限らない。当行のリスク区分は一貫したスケールによるわけではなく、特定のリスク区分は特定のデフォルト確率と常に一致している。また異なるPDのスケールが信用ポートフォリオの異なる部分に適用されるほか、PD値は経年変化する。

総じて、内部リスク区分を明確かつ一貫性を持って外部格付に変換することは不可能である。

## 信用リスクモデルの品質管理

当行はリスク格付システムを毎年レビューしている。このレビューでは、当行のリスク格付の根拠となる内部格付が、一貫して正確にかつ目的に適合した方法で用いられ (評価)、また使用されたモデルが満足の行く方法でリスクを測定している (検証) ことを確認する。

## 予想信用損失の算定

IFRS第9号で示された減損に関する規則は、償却原価で計上される金融資産、その他包括利益を通じて公正価値で計上される金融資産、並びに金融保証及び取消不能のコミットメントに適用されている。本セクションでは、ハンデルスバンケンの予想信用損失（ECL）引当金に関するモデルベースの算定に用いるプロセスと手法を説明している。

予想信用損失の推計は債権レベルで行われ、債権とカウンターパーティの特性が引当必要額の分類と定量化に決定的な影響を与える。推計はモデルベース、マニュアルによる算定のいずれかにより行われ、手法の選択は主に、債権が信用減損しているとみなされているか否かにより決定する。

予想信用損失の認識と測定に関する情報と定義については、注記G1及びセクション6「信用損失」を参照のこと。

## ステージ1及びステージ2債権に対するモデルベースの算定

モデルベースの予想信用損失の算定において、ハンデルスバンケンのグループ規模で本部が統括するプロセスは、ステージ1及びステージ2債権の引当必要額の定量化に対応する、多くの異なるプロセスと手法を組み込んでいる。

このモデルベースの算定は、過去と現在に加え将来予測的なデータを織り込んでいる。過去データは用いられるモデル構築とパラメーター設定の基礎となり、現在データは報告日現在の公表済の残高データ（算定要件に含まれる通り）、将来予測的なデータは将来のリスク・パラメーター及びエクスポージャーの算定に用いられるマクロ経済シナリオである。

このモデルはIRBモデルと同じ過去のリスクデータを用いており、これは引当金の会計処理と自己資本比率の算定が同一の基礎的な損失実績に基づくことを示している。リスク格付制度が自己資本比率の算定に与える影響と同様に、（リスク格付が導出される）内部格付は予想信用損失算定モデルの重要な一部分である。予想信用損失の算定は、主にデフォルト確率(PD)、デフォルト時エクスポージャー（EAD）及び、デフォルト時損失率（LGD）というリスク・パラメーターの影響を受ける。将来の予想信用損失は、EADの現在価値にPD及びLGDを乗じて算定される。リスク・パラメーターであるPD、EAD、LGDを用いる自己資本比率規制における信用損失の算定とは異なり、IFRS第9号に基づく予想信用損失の推計は現在の将来予測的な評価に基づいている。規制の目的はそれぞれ異なるため、算定モデルもリスク・パラメーターの設定手法や構築手法の点で異なっている。

IFRS第9号及びIRB手法の主な相違点については、表「IFRS第9号とIRB手法の相違点」を参照のこと。

## マクロ経済関連情報

信用リスクの著しい増大と予想信用損失のモデルベースの評価は、モデルに個々のリスク・パラメーター（PD、EAD及びLGD）を適用して算定される。この算定が非線型的な側面を考慮するよう確実にするため、英国外のエクスポージャーについては、モデルには3つの将来予測なマクロ経済シナリオ（基本（中立）シナリオ、下降シナリオ、上昇シナリオ各1つ）が用いられる。英国のエクスポージャーについては、4つのシナリオ（基本シナリオ1つ、下降シナリオ2つ、上昇シナリオ1つ）が用いられている。各シナリオには各国別の失業率、国内総生産（GDP）、不動産価格、主要行又は中央銀行の基準金利、インフレ率をはじめとする重要なマクロ経済上のリスク要因が含まれる。重要なマクロ経済上のリスク要因は当行の過去データを評価して特定され、リスク・パラメーターとの関連性は同じ過去データを用いて見積もられる。適用されるリスク・パラメーターの調整にはさまざまなシナリオが用いられる。それぞれのマクロ経済シナリオには当行が決定する（発生）確率が当てられている。これらの確率は現在、基本シナリオが70%（60%）、上昇シナリオが15%（20%）及び下降シナリオが15%（20%）となっている。英国のエクスポージャーに関する加重は基本シナリオを60%（60%）、上昇

シナリオを5%(5%)、下降シナリオを20%(20%)、深刻な下降シナリオを15%(15%)としている。予想信用損失は各シナリオの予想信用損失の確率加重平均として認識される。

マクロ経済シナリオは全て当行の経済調査部署により作成され、同部署が行内外の使用を問わず、ハンデルスバンケンが公表するすべての経済分析の責任を負う。これらのマクロ経済シナリオは、世界経済の予測に加え、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、英国、ユーロ圏諸国、米国の各地域固有の30年予測から構成される。マクロ経済シナリオの変更や用いられる確率加重の変更は、信用リスクの著しい増大の評価や予想信用損失の推計に大きな影響を与える。各シナリオは当行の経済調査部署により四半期ごとに更新され、ECL算定に用いる前に関連意思決定者に提出され承認を得る。

## ポートフォリオの分類

モデルベースの評価には統計モデルが用いられる。これらの統計モデルはポートフォリオの異なる分類のために開発されたもので、各分類は類似したリスク・エクスポージャーから構成され、共通したリスク要因の組合せを基にリスク・パラメーターが見積もられる。リテール・エクスポージャーのポートフォリオは商品の種類に基づいて分類され、他のエクスポージャーはカウンターパーティの種類に基づいて分類される。この分類は統計分析と専門家による評価を基に行われている。リテール・エクスポージャーについては、ポートフォリオは以下の9つの区分、すなわち住宅不動産担保個人向けエクスポージャー、個人向け及び中小企業向けのクレジットカード・エクスポージャーを含むリボルビング・クレジット、個人向け及び中小企業向けのその他のエクスポージャー、個人向け及び中小企業向けのクレジットカード金融、個人向け及び中小企業向けの割賦販売金融に分類される。その他のエクスポージャーは、不動産会社、住宅協同組合、他の大手非金融会社、他の非金融会社、政府及び金融会社・銀行の6つの区分に分類されている。

個々のポートフォリオの区分内で、内部格付、返済履歴、国との関連、担保の種類、借入金比率などのリスク要因に基づき、債権は異なる状況に応じてさらに細分化される。これらの状態は過去の結果に係る統計分析に基づいて決定されている。デフォルト率(PD)、デフォルト時損失率(LGD)、デフォルト時エクスポージャー(EAD)などのリスク・パラメーターの将来予測的な確率を算定するため、すべての状態について、統計モデルが状態間の遷移に用いられる。これらの状態に関する重要なリスク要因の一つにカウンターパーティの内部格付がある。これは与信の決定時に与えられ、最低でも毎年、カウンターパーティの返済能力に変化の兆候がある場合はいつでも更新される。気候関連リスク及び特定の他の環境リスクは与信プロセスで評価され、カウンターパーティ単位の内部格付に影響を及ぼす。これらの状態には、「非デフォルト」エクスポージャー、「デフォルト」エクスポージャー、及び「早期償還」エクスポージャーがある。リテール・エクスポージャーは9つの異なる状態に、他のエクスポージャーは12の状態に分類される。

## 信用リスクの著しい増大

信用リスクの著しい増大は、デフォルトリスクを反映したもので、当初認識時以降の債権の信用リスクの相対的变化により測定される。信用リスクの著しい増大を算定するために、ハンデルスバンケンでは予想信用損失の算定に用いるのと同じ、過去、現在及び将来予測的な情報を考慮に入れた原モデルを用いている。この評価では担保は考慮されない。各報告日において、グループ規模で本部が統括するモデルベースのプロセスでは、全ての債権に対し、当初認識時(契約開始日)以降、信用リスクが著しく増大したか否かの評価が最初に行われる。この評価によって、予想信用損失を報告日以降12ヶ月の期間(ステージ1)で認識するか、当該債権の残存期間(ステージ2)にわたって認識するかが決定される。したがって、どのような要因と閾値がステージ1からステージ2への振替のトリガーとして定められているかが、信用損失引当金の規模に影響を与える重要なポイントになる。ステージ2への振替を決定付ける信用リスクの著しい増大に関する当行の定義は、定性的及び定量的双方の要因に基づいて決められている。

主に信用リスクの変化を評価するために用いられる定量的指標は、当該商品の当初認識時と直近の報告日まででの当該債権の残存期間におけるデフォルト確率（PD）の相対的変動である。金融商品の当初認識にあたりPDを確定するために非合理的な費用又は労力が必要とされた場合、当初認識以降のカウンターパーティ又は債権の内部格付若しくはリスク格付の変化が、信用リスクの著しい変化を評価するために用いられる。2018年1月1日以降に当初認識された債権について、デフォルトリスクに関する予測は3つのシナリオに基づく。2018年1月1日より前に認識された債権については、同じ分類が適用されるが、当初認識時に公表された当行の最新の経済分析に基づいたシナリオが用いられる。

債権に信用リスクの著しい増大が生じたとみられた結果、ステージ2へと振り替えるかを評価する際の最も重要な基準は、ハンデルスバンケンの定義では、報告日現在の残存デフォルト確率(PD)の推計値が、当初認識時に算定したデフォルト確率を2.5倍上回るかどうかである。この2.5倍という閾値は当行の過去データの統計分析に基づくもので、カウンターパーティが債務不履行となる残存リスクの増大を、当該債権の当初認識時に見積もられたリスクと比較したものである。また、債権の返済が30日超延滞している、又はカウンターパーティの信用格付が悪化した結果、コンセッション（譲歩）が与えられているなど信用リスクの著しい増大を引き起こしていると当行が評価する他の定性的な要因がある。

当初認識時以降に信用リスクの著しい増大が生じた場合、残存期間全体の予想信用損失に相当する引当金が計上され、当該債権はステージ2に振り替えられる。このモデルは対称的であり、すなわち、当該金融商品の信用リスクが減少し、その結果当初認識以降信用リスクの著しい増大が認められなくなった場合、当該金融資産はステージ1に戻されることを意味している。

### リスク・パラメーターのモデルと予想期間

リスク・パラメーターであるPD、LGD及びEADは、統計モデルに基づき、債権ごとに将来のある時点で算定される。これらのモデルは、可能な限り、当行の損失実績データで識別可能な重要なリスク要因と関連リスクの結果との関係に基づいて策定されている。定量化されているリスク・パラメーターの大半は、約10年間にわたる内部データに基づいている。当行が、デフォルトがほとんど生じないことなどにより、十分な情報を入手できない場合には、このデータは外部情報で補完される。過去の結果は、商品の種類、内部格付、顧客との取引期間、担保の種類、借入金比率、失業率、金利水準、GDP成長率などの債権特有、カウンターパーティ特有及び地域特有のリスク要因の共変動について分析が行われている。特定のリスク・パラメーターにとって重要であるとされるリスク要因は、モデルに含まれ、過去の相関関係が定量化されている。

### デフォルト確率 (PD)

デフォルト確率（PD）は資産の残存期間のある時点で、顧客又は債権が債務不履行に陥る確率をいう。12ヶ月PDは、今後12ヶ月の間に債務不履行が生じる確率であり、全期間PDは当該資産の残存期間（最長30年まで）における債務不履行の発生確率である。将来PDは将来予測的なマクロ経済シナリオ並びに現在の債権及びカウンターパーティの情報を用いた、報告日における予測である。デフォルトリスクの予測は、シナリオの策定と時間の経過に伴う異なる状況間の遷移確率を考慮に入れている。このモデルは毎年の遷移及び債務不履行の確率を算定するもので、これにより遷移モデルでは、当該債権が債務不履行リスクにより、将来的に特定の状況に属する確率を表す。特定年度における債権の予想PDは、全ての考え得る状況とシナリオを包含した確率加重PDとして算定される。残存期間の予想PDは、毎年のデフォルト予想と当該債権の期限前返済が行われる確率に基づく。各シナリオのマクロ経済上のリスク要因予想に基づく景気予測の悪化、又は景気後退シナリオの実現可能性の増大により、通常、PDは上昇する。

## デフォルト時エクスポージャー(EAD)

EADはデフォルト時の予想信用エクスポージャーをいう。報告日において、将来のデフォルト時エクスポージャーは、現在の返済計画や期限前返済の可能性に加え、クレジット・ファシリティ、金融保証やローン・コミットメントの引出可能性などに基づく予想である。EADは年次で予想され、将来のデフォルトに関連した損失額及び回収額から構成される。

## IFRS第9号とIRB手法の相違点

リスク・パラメーター	IRB	IFRS第9号
デフォルト確率 (PD)	一つの景気循環における12ヶ月内の平均デフォルトリスク。統計上の安全余裕率と規制による下限を含む。 自己資本規制上のデフォルト(債務不履行)の定義が、リテール・エクスポージャーでは債権レベル、他のエクスポージャーではカウンターパーティ・レベルで用いられる。	景気循環を踏まえ調整した(「PIT」)12ヶ月内のデフォルトリスク。 全期間PDは当該債権の予想残存期間におけるデフォルトリスクをいう。 自己資本規制上のデフォルト(債務不履行)の定義が、リテール・エクスポージャーでは債権レベル、他のエクスポージャーではカウンターパーティ・レベルで用いられる。
デフォルト時損失率 (LGD)	長期間及び景気後退期における、12ヶ月内のデフォルト時エクスポージャーに関する予想最大損失率。統計上の安全余裕率と規制による下限を含む。 法人エクスポージャーの損失の定量化は、12ヶ月内の回収額及び残存準備金(リテール・エクスポージャーについては24ヶ月)に基づいている。	景気循環を踏まえ調整したデフォルト時エクスポージャーの予想損失率。 LGDは将来予測的なマクロ経済シナリオを基に調整される。
デフォルト時エクスポージャー (EAD)	長期間及び景気後退期における、12ヶ月内のデフォルト時エクスポージャーの予想最大値。統計上の安全余裕率と規制による下限を含む。	景気循環を踏まえ調整した、12ヶ月内のデフォルト時エクスポージャーの予想額。 EADは契約条件及び将来予測的なマクロ経済シナリオに基づいて調整され、その後は12ヶ月ごとに更新される。
全期間	顧客による継続の選択肢を考慮に入れた、当該債権の契約上の満期。	予想される全期間。早期償還の可能性を考慮に入れた、当該債権の契約上の期限。
予想期間	12ヶ月	12ヶ月以内(ステージ1の債権)又は残存期間(ステージ2 - 3の債権)。
割引	予想損失額は報告日まで割り引かれない。回収率を算定する際、実際の回収額は平均資本コストを用いてデフォルト日まで割り引かれる。	予想損失額は、当該債権に係る報告日時点の契約上の金利を用いて割り引かれる。

## 予想残存期間

金融商品の予想残存期間は、予想残存期間に債務不履行に陥る可能性(PD)を考慮した信用リスクの著しい増大の評価と、当該資産の予想残存期間における予想信用損失の測定のための二つの評価に関連している。予想残存期間のPDを算出する際には、当該債権の契約期間における予想年間PD値を当該債権がデフォルト前に早期償還されない確率で加重することにより、予想残存期間が考慮されている。

債権の早期償還確率は、統計分析と過去約10年間にわたる当行の内部実績データに基づき、EADモデルの構成要素に含まれている。債権、カウンターパーティ及びマクロ経済上のリスク要因による潜在的なリスク要因が統計分析で評価されている。重要と判断されるリスク要因は当該モデルに含まれている。

クレジットカードなどの満期のないリボルビング債権については、報告日から30年間を満期としている。また、固定金利期間が最長3ヶ月の住宅抵当ローンについても、報告日から30年間を満期としている。これらの満期については上記と同様の早期償還確率が適用されている。



## デフォルト時損失率 (LGD)

デフォルト時損失率 (LGD) は、デフォルトに際して当行が被ると予想される財務上の損失を表す。LGDを算出する際に最も重要なリスク要因は、担保価値とその種類及びカウンターパーティの特性である。将来予測的なマクロ経済上のリスク要因は、担保価値及び借入金比率に与える影響を通じてLGDの算出に反映される。損失を定量化する場合、カウンターパーティが当行に財務上の損失を一切与えず立ち直る確率と、カウンターパーティが立ち直らない場合の回収率の二つに分別される。借入金比率が高ければ回収率は低下するという意味で、回収率は借入金比率の影響を受けている。不動産の担保価値、そして借入金比率及び回収率は不動産価格の動向の影響を受けることから、不動産価値の下落が見込まれる場合は借入金比率とデフォルト時損失率も高まる可能性がある。

## IFRS第9号とIRB手法の相違点

ハンデルスバンケンのIFRS第9号のモデルは当行のIRBモデルと同じ過去データ、及び同じ全体的なモデルベースの手法に基づき、PD、LGD及びEADというリスク・パラメーターを用いるものである。規則の目的はそれぞれ異なっていることから、リスク・パラメーターの設定方法や構築方法に関しては算定モデルによって異なる。このため場合によっては、IFRS第9号の要件を満たす別のモデルが導入されている。IFRS第9号とIRB手法の主な相違点は上表に示されている。

## IFRS第9号モデルとモデルベースの算定の検証

これらに用いられるモデルとリスク・パラメーターは毎年検証され、モデルベースの算定が正確な予測を行っていること及び、予測と最新の結果の間の予想外の乖離が特定されていることを確認している。検証はいくつかの集計レベルで行うほか、全ての重要なリスク・パラメーターと同時に、個別及び集計レベルの加重予想信用損失を対象とする。この検証はチーフ・クレジット・オフィサー（最高与信責任者）、最高リスク責任者、及び最高財務責任者に報告される。

モデルの評価と検証に関する原則はグループ・リスク・コントロール部が決定し、モデル開発プロセスとは関係ない立場の人物が検証の実施やレビューを行う。検証の結果、当行の引当金に重大な影響を及ぼす重大な乖離は確認されなかった。

## ステージ3債権に関するマニュアルによる算定

ステージ3資産に対しては、個別にマニュアルによる算定を用いた減損テストが行われる（ステージ3に分類され、モデル算定による引当金を積んだ同種の債権からなる少額のポートフォリオを除く）。この減損テストは、業務責任を有するローカルの支店（顧客及び与信の所管部署）により定期的に実施されるほか、各報告日にも実施され、各県域又は国レベルの与信委員会又はグループ与信部により判定される。

減損テストはデフォルトの定義に従い、カウンターパーティが契約上の義務を履行できなくなる可能性を示す客観的な状況が存在する際に実施される。このような客観的な状況には、支払遅延又は不払、若しくは支払の可能性が低いことの兆候等がある。

減損テストは将来キャッシュ・フロー及び担保価値（保証を含む）の見積りを伴う。顧客の返済能力と担保価値の双方に基づき、通常、二つ以上の予想キャッシュ・フローの将来予測的なシナリオを考慮する。これらのシナリオの結果は確率加重され、貸出の当初の実効金利で割り引かれる。個々のカウンターパーティの返済能力及び担保価値に影響を及ぼすとみられる内容により、用いられるシナリオではマクロ経済上の要因及び債権特有の要因を考慮する可能性がある。この評価では個々のカウンターパーティの特性を考慮に入れている。見積回収可能価額が帳簿価額を下回る場合に減損損失が認識される。

## ガバナンスと内部統制

ステージ1及びステージ2債権の予想信用損失を算定する際に、ハンデルスバンケンでは内製した統計モデルを用いた、グループ規模で本部が総括するプロセスを用いる（モデルベースの算定）。ステージ3債権についてはマニュアルによる算定が行われる。以下は主にモデル算定による予想信用損失の引当金について述べたものである。このプロセスは多くの内部統制がカバーしており、それについても後述されている。また、このプロセスの様々な段階では異なる承認や採択が行われ、ガバナンス体制を構築しており、これについても後述されている。

## 報告における入力データの検証

各報告日において、予想信用損失の算定根拠となる情報の正確性及び網羅性がチェックされている。これは、配信元から取り込まれたデータの自動照合により行われている。さらに、システム上の残高を従前の報告日現在の計上残高と比較することにより、妥当性評価が行われている。最終的に用いられる残高が、次に総勘定元帳に計上された金額と照合される。

## モデル

新しい定量的モデルがモデルシステム全体に含められる前に、バリデーション（妥当性検証）を行い、チーフ・クレジット・オフィサー（最高与信責任者）による使用承認を得なければならない。報告日にはこのモデルシステムしか算定に用いることはできず、これはつまり、承認を受けたモデルのみが使用可能であることを意味している。

予想信用損失の算定根拠となる定量的モデルには複数の仮定と評価が関わっている。マクロ経済上のリスク要因とリスク・パラメーターの過去データから測定できる関係が将来の事象を表しているという仮定や、債権の予想残存期間は過去の行動関連データに基づき得るという仮定などがその例である。これらの過去の関係や将来の事象が、気候関連リスクによる影響を受けるかどうかは、モデル化のプロセスにおいて評価されている。報告日現在、特にこのような気候関連要因はモデルに含まれていないが、この問題は継続的に評価対象となっている。さらに、個々のリスク・パラメーターに関するマクロ経済上のリスク要因の説明力に基づいて、最も重要なマクロ経済上のリスク要因が選択されている。マクロ経済リスク要因の選択とモデルの仕様は、簡潔さ、実証性、安定性をバランスよく実現するよう決定される。全ての仮定と裁量判断は最高与信責任者に報告され、承認を受ける。

モデルを用いたステージ1債権、ステージ2債権に対してエキスパート評価により引当金を変更する場合には、適用の前に最高与信責任者の承認が必要となる。

## マクロ経済シナリオ

マクロ経済シナリオは、最高与信責任者の指示に基づき当行の経済調査部署により作成されている。この指示には、望ましいマクロ経済上のリスク要因、対象地域、シナリオ数とシナリオ別の確率加重値が含まれる。

各報告日の前に、最新のマクロ経済シナリオが最高与信責任者及び最高財務責任者に提出され、財務報告プロセスに用いるシナリオを承認する。承認されたマクロ経済シナリオは、財務報告のフローに自動的に読み込まれる。

## 引当金の規模

ステージ1及びステージ2債権の引当金見積額合計には、最高与信責任者及び最高財務責任者の承認が必要とされる。ステージ3債権の引当金見積額は業務責任を有する当行支店（顧客と与信の所管部署）により提出され、引当金の規模により地域又は国レベルの与信委員会又は本部の部署による承認を受ける。地域（ローカ

ル)レベルで承認されたステージ3債権に係る引当金のうち、一部はその後、グループ与信部によるレビュー又は品質管理の対象となる。さらに、グループ・リスク・コントロール部は各報告日現在で、本部の承認を受けた信用引当金の一部について独立したレビューを提出している。

### コントロール部署の役割

グループ・リスク・コントロール部は検証の原則を決定し、モデルが確実に検証されるようにしている。本部が承認したステージ3債権に対する引当金の一部について、報告日ごとに独立したレビューが実施される。グループ・リスク・コントロール部については69ページ及び74ページ(原文)に詳細が記載されている。グループ監査部は、内部のガバナンスと統制に関する独立した調査を行い、当行グループの財務報告の信頼性を評価するという業務の一環として、予想信用損失の推計の検証を行っている。グループ監査部については69ページ及び74ページ(原文)に詳細を示している。

### カウンターパーティ・リスク

カウンターパーティ・リスクは、当行がカウンターパーティとの間でデリバティブ契約や有価証券の貸付契約を締結する場合に発生する。よってデリバティブに加え、自己資本比率規制は買戻取引及びエクイティ・ローンの双方をカウンターパーティ・リスクとして取り扱う。

自己資本比率及びECの双方を算定するに当たり、自己資本比率規制に明記されているエクスポージャー金額に基づいて、カウンターパーティ・エクスポージャーが考慮される。ハンデルスバンケンは、自己資本充実度の計算目的でデリバティブ契約に関するエクスポージャー金額を計算する際には、カウンターパーティ・リスクに対する標準的手法(以下、「SA-CCR」という。)を適用している。カウンターパーティ・リスクは、その契約の市場価値によってエクスポージャーの規模が決まる場合には信用リスクとみなされる。その契約の価値が正の値である場合、カウンターパーティのデフォルトは当行の潜在的損失を意味する。

### カウンターパーティ・リスクの軽減

カウンターパーティ・リスクは、取引日から受渡しまでの間に発生し、カウンターパーティがその義務を履行できない場合、当行は解約手数料を請求される可能性がある。このリスクはすべてのデリバティブ取引、及び当行が事前に支払を確保していない有価証券取引に存在する。

カウンターパーティ・エクスポージャーの規模は、通常の与信プロセスにおいて与信限度額を設定することによって制限されている。当該エクスポージャーの規模は、原資産の価格変動により著しく変動する可能性がある。エクスポージャーの増加リスクに備えるため、与信限度額を設定する際に該当するエクスポージャーの価値に対して補完が行われる。当該エクスポージャーは日次で計算され、フォローアップされている。

デリバティブのカウンターパーティ・リスクは、クローズアウト・ネットティング契約を通じて軽減される。クローズアウト・ネットティング契約では、同一のカウンターパーティとのすべてのデリバティブ取引において、正の値と負の値が相殺される。ネットティング契約は、正味エクスポージャーに対して担保の取決めを設定する契約(クレジット・サポート・アネックス契約(CSA))で補完されており、信用リスクはさらに軽減されている。これらの取引に対する担保は主に現金であるが、国債も使用される。現金の割合が大きいため、担保におけるリスクの集中は限定的である。

ハンデルスバンケンの契約の大部分には、クローズアウト・ネットティングが含まれ、金融機関向けの大口エクスポージャーの契約にはCSAも含まれている。

中央清算機関を通じて清算されるデリバティブについても、所要自己資本が生じる。中央清算機関とは、種々の取引において買手と売手の双方のカウンターパーティとしての役割を果たし、双方の義務を履行する責任を負っている清算機関である。中央清算機関を利用するすべての当事者は、すべての取引に対して担保を差

し入れなければならない。中央清算機関で清算されるデリバティブに対するリスク加重は、多くの場合、他の種類のデリバティブよりも大幅に低い水準である。

カウンターパーティ・リスクの内訳 - IRB手法によるエクスポート区分、エクスポート額及びリスク加重エクスポート額 百万スウェーデン・クローネ	2023年		2022年	
	エクスポート額	リスク加重エクスポート額	エクスポート額	リスク加重エクスポート額
<b>エクスポート区分、IRB手法</b>				
機関エクスポート	9,842	5,071	10,799	4,930
法人エクスポート	10,773	3,866	12,177	3,724
ソブリン・エクスポート	5,117	137	5,607	139
<b>IRB手法合計</b>	<b>25,732</b>	<b>9,073</b>	<b>28,583</b>	<b>8,793</b>

カウンターパーティ・リスクの内訳 - 標準的手法によるエクスポート区分、エクスポート額及びリスク加重エクスポート額 百万スウェーデン・クローネ	2023年		2022年	
	エクスポート額	リスク加重エクスポート額	エクスポート額	リスク加重エクスポート額
<b>エクスポート区分、標準的手法</b>				
機関エクスポート	3,035	67	2,342	90
うち、中央清算機関を通じて清算されるもの	3,001	60	2,105	42
その他エクスポート	44	16	46	18
<b>標準的手法合計</b>	<b>3,078</b>	<b>83</b>	<b>2,388</b>	<b>107</b>
<b>IRB及び標準的手法合計</b>	<b>28,810</b>	<b>9,156</b>	<b>31,004</b>	<b>8,933</b>

1) エクスポート額はデリバティブ、レボ、エクイティ・ローンからなる。

デリバティブ契約のエクスポート 百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
デリバティブ契約に関する正の市場価値総額	82,331	117,373
ネットティングによる利益	-53,253	-91,094
相殺後のカレントエクスポート	29,078	26,279
担保 <sup>1</sup>	-25,629	-23,021
デリバティブに関する正味信用エクスポート	3,449	3,258

1) 貸借対照表において時価で相殺される担保を含む。

デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・リスク 2023年 百万スウェーデン・クローネ	相殺後のカレントエクスポート	エクスポート額	リスク加重エクスポート額	所要自己資本
ソブリン・エクスポート	737	3,131	136	11
機関エクスポート	16,773	8,616	4,706	376
法人エクスポート	11,564	13,128	3,769	302
その他	4	21	12	1
<b>合計</b>	<b>29,078</b>	<b>24,897</b>	<b>8,623</b>	<b>690</b>
うち、トレーディング勘定における取引	22,358	16,641	5,229	418

デリバティブ契約におけるカウンターパーティ・リスク 2022年 百万スウェーデン・クローネ	相殺後のカレントエクスポート	エクスポート額	リスク加重エクスポート額	所要自己資本

ソブリン・エクスポージャー	1,599	3,596	139	11
機関エクスポージャー	20,537	9,990	4,723	378
法人エクスポージャー	4,134	13,311	3,538	283
その他	9	29	15	1
<b>合計</b>	<b>26,279</b>	<b>26,926</b>	<b>8,414</b>	<b>673</b>
うち、トレーディング勘定における取引	20,284	19,789	5,712	457

## 市場リスク

市場リスクは、金融市場における価格及びボラティリティの変動によって生じる。市場リスクは、金利リスク、株価リスク、為替リスク及びコモディティ価格リスクに分類される。

国際政治情勢により、市場の不確実性は続いている。年初の金利上昇の結果、米国では複数の規模が小さなニッチ銀行のデフォルトが発生し、一時的であるが市場に著しい変動を招いた。一方、期中に燃料価格やインフレ水準が下がったことにより、状況がある程度までは安定してきたといえる。当年度の当行のリスク利用は、リスク許容度に合わせて比較的強く抑えられており、事業への影響も限定的であった。

ハンデルスバンケンの業務では、柔軟な資金調達が必要なサービスを当行の顧客が求める場合に市場リスクが発生する。当行はまた、既に貸付を行っている市場以外の市場で資金調達を行うことにより、資金調達先を多様化し、資金調達対象の資産とは金利期間が異なる資金を調達することもできる。さらに、市場リスクは、当行が事業を行っている市場で混乱が起きた際にすぐに流動資産に転換可能な、グループ・トレジャリー部の流動性ポートフォリオでも発生することがある。当該ポートフォリオは、日次清算業務における当行グループの支払を確実にすると同時に、当行の流動性準備金の一部である。

市場リスクはまた、債券、為替、株式又はコモディティ市場に対するエクスポージャーを伴う金融商品の顧客需要を満たすためにキャピタル・マーケット部門において発生する。この需要を満たすために、当行は一定のポジションを保有しておかなければならない。例えば、当行がマーケット・メーカーとしての役割を果たし金融商品の市場価格を形成する場合にこのような状況になる。

当行の業務における市場リスクが生じると同時にその管理も担っているのは、主にグループ・トレジャリー部及びハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットである。加えて、市場リスクはハンデルスバンケン・リヴの事業の一部としても発生する。ハンデルスバンケン・リヴにおける市場リスクは、別のセクションに記載されている。そのため、本セクションに記載されている市場リスクに関する情報は、ハンデルスバンケン・リヴを除くリスクについて言及している。

## 市場リスク戦略

ハンデルスバンケンは、市場リスクを厳しく制限している。基本的に、銀行業務における市場リスクは顧客の投資ニーズ及びリスク管理ニーズに限定している。市場リスクは、キャッシュ・フローと金利期間を一致させ、オープン・ポジションをヘッジし、リスクを制限するその他の措置を講じることにより制限する必要がある。

このように、ハンデルスバンケンの市場リスクはきわめて小さい。当行の市場リスク戦略により、当行の利益のうち金融取引による損益の占める割合が非常に少なくなっている。

## 組織構造

ハンデルスバンケンの取締役会は当行の市場リスク管理に対する全般的な責任を有し、これに関する方針文書を策定している。この方針は、最高経営責任者によるガイドライン及び最高財務責任者による指示によって

具体化されている。この枠組み内で、それぞれの事業活動及び全てのリスク管理において各部門が責任を負っている。しかし、資金調達及び流動性管理に関連して発生するリスクは、CF0のもとグループ・トレジャリー部に集約されており、キャピタル・マーケットはトレーディング勘定のリスクの大半を管理している。コントロール部署は、事業活動が当行のリスク許容範囲内で行われていることを監視し、取締役会及び経営幹部にリスクについて報告している。

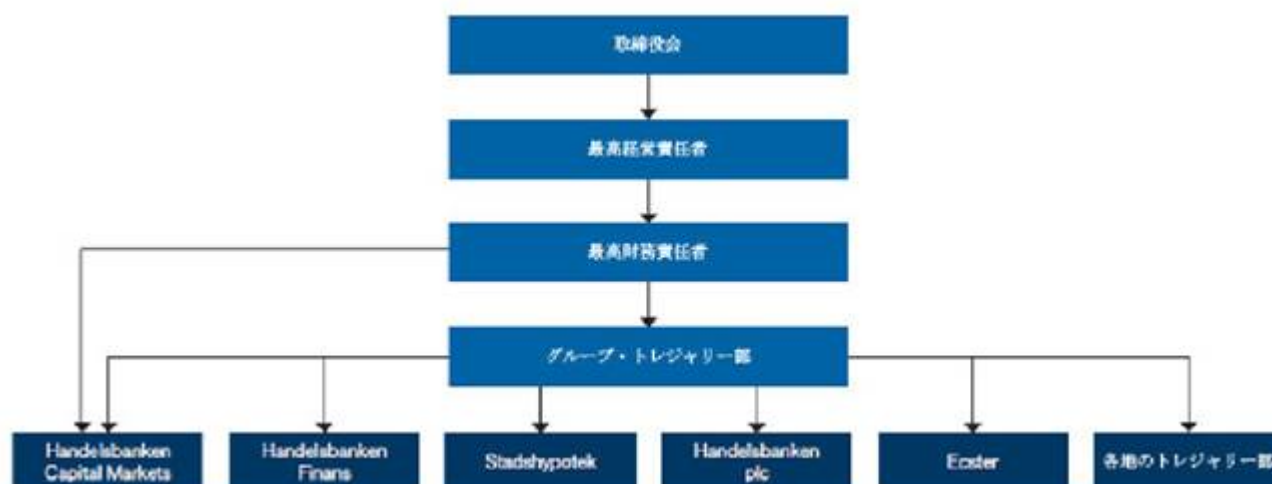
当行の限度額制度により、市場リスクに対するエクスポージャーの規模を制限している。市場リスクの測定方法及び限度額は、取締役会が決定している。最高財務責任者は、流動性及び資金調達の組織上の責任を負い、最高財務責任者の直属であるグループ・トレジャリー部長は当行グループの流動性及び資金調達の責任を負う。この責任には当行グループの銀行業務における流動性リスク、為替リスク及び金利リスクの管理が含まれる。金利リスク、為替リスク及び流動性リスクに対する限度額は、当行の最高経営責任者及び最高財務責任者からグループ・トレジャリー部長に割り振られる。その後、グループ・トレジャリー部長は、これらを各業務ユニットへ割り振る。株価リスクとコモディティ・リスクの限度額は、最高財務責任者によって直接キャピタル・マーケットに割り振られる。

当行の最高経営責任者及び最高財務責任者はまた、補完的リスク尺度、日中限度額を設定し、詳細にわたるガイドラインの策定を行う。補完的リスク尺度の限度額は、主に金融市場におけるボラティリティの変動に対する当行の感応度を低減し、特定のポートフォリオに対するリスク及び通貨ごとの流動性リスクの制限を目的としている。これらの手段はまた、満期の観点から生じるリスクを制限している。当行の最高財務責任者、最高経営責任者及び取締役会は、定期的に市場リスク及び限度額の活用状況に関する報告書を受領している。

## ハンデルスバンケンにおける市場リスク

市場リスクは、複数の異なる手法を利用して測定されている。用いられている感応度の測定は、あらかじめ定義された価格及びボラティリティの変動によって、どのような価値の変動が起きるかを示している。ポジションに関連したリスク尺度及び確率に基づくバリュー・アット・リスク・モデル（以下、「VaR」という。）も用いられている。

## 市場リスク及び流動性リスクの決定水準



トレーディング勘定、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部のVaR<sup>1</sup>

	合計		株式		債券		通貨		コモディティ	
百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年
平均	14	11	1	1	14	11	2	2	0	0
最高	22	23	5	6	23	23	7	7	0	2
最低	8	5	0	0	8	5	1	1	0	0
当年度末	12	11	0	4	13	11	1	2	0	0

1) トレーディング勘定に分類されているポートフォリオは特別なインストラクション及びガイドラインの対象となる。

## トレーディング勘定のストレス・テストにおける最悪の結果 - ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年 <sup>1</sup>
平均	51	58
最高	139	188
最低	15	18
当年度末	52	18

1) 2022年度の実績値は、計算上の誤差により前回発表値と異なるため、2022年の数値は修正再表示されている。

## VaR

ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部においてトレーディング勘定として分類されているポートフォリオについて、バリュー・アット・リスク（以下、「VaR」という。）が算定されている。VaRは確率に基づいた尺度で、対象市場における一定の保有期間にわたる変動から一定の信頼度でリスク・ポジションに生じる可能性のある損失をスウェーデン・クローネ建てで示すものである。VaRは過去のシミュレーションを用いて算定され、個別のリスク要因、リスク区分及びポートフォリオに関し保有期間を1日とした99%の信頼度にて決定される。これは、当行が取引日100日ごとに1日、VaRの結果を上回る損失が発生すると予想していることを意味する。このモデルは、様々なリスク区分を1つの方法で取り扱うことができるため、それぞれを比較することが可能になると同時に、市場リスクの合計を算定することができる。トレーディング勘定として分類されているポートフォリオの全体的なリスクは、年度末現在において12(11)百万スウェーデン・クローネであった。VaRは、定期的に当行の最高財務責任者、最高経営責任者及び取締役会に報告される。VaRモデルはこれまでに観測された結果を用いるものであることから、例えば極端で急激な市場変動の場合など、すべての潜在的な結果を捕捉しているわけではない。したがって、このリスク計算はストレス・テストで補完され、テストは、ポートフォリオに対して1994年以降の金融市場において発生した事象に基づくシナリオにより行われる。これらのストレス・テストの結果もまた、当行の最高財務責任者、最高経営責任者、及び取締役会に報告される。

## 金利リスク

金利リスクは、主としてハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット、グループ・トレジャリー部及び貸出業務において生じる。当行における金利リスクは、複数の方法で測定されている。一般的な金利リスクは日々測定され、すべての金利について、瞬時の1パーセンテージ・ポイントの上昇又は下落という平行移動が生じた場合の通貨別の公正価値の有利な変動の最小値の合計として限度額が設定されている。年度末現在の当行

の一般的な金利リスクの合計は、1,069(626)百万スウェーデン・クローネであった。契約上の満期のない預金の金利期間は内部手法を用いて設定される。このような預金の出発点は予想金利期間であり、過去の観察に基づき、安定的で金利変動に対する感応度が低いとみなされる部分により長期の金利期間が適用される。このリスク測定には、市場価値で測定される利付商品も市場価値で測定されない商品も含まれている。したがって、貸借対照表及び損益計算書に与える影響を評価する際にこのリスク測定を用いることは適切ではない。その代わりに、個々の業種に応じた補完的な措置や限度額が設けられている。

特定の金利リスクは、クレジットスプレッド（すなわち、現在のポートフォリオの金利と満期が同一である国債の利回りとの差額）の変動に対する感応度を用いて測定され、限度額が設定されている。このリスクは、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケット及びグループ・トレジャリー部の流動性ポートフォリオにおいて生じる。

このリスクは、異なる格付区分別に測定及び限度額が設定され、クレジットスプレッドが1ベシス・ポイント上下に移動した場合における市場価値の有利な変動の最小値として計算される。この計算はカウンターパーティ別に実施され、その計算結果は絶対値の合計として集計される。当年度末における特定の金利リスク総額は、6(6)百万スウェーデン・クローネであった。

イールド・カーブのツイストリスクやベシス・リスクのような、異なる金利カーブが仮想的に変化した場合のリスクの推移については、定期的に測定と見直しが行われている。

### トレーディング勘定における金利リスク

ハンデルスバンケンのトレーディング勘定は、トレーディング勘定に分類されているキャピタル・マーケットのポートフォリオ及びグループ・トレジャリー部の1つのポートフォリオから構成されている。当年度末現在のトレーディング勘定の一般的な金利リスクは46(61)百万スウェーデン・クローネであり、特定の金利リスクは2(1)百万スウェーデン・クローネであった。例えば、金利オプションのリスクの一部である非線形金利リスクは、マトリックスであらかじめ定義されたストレス・シナリオを用いて測定され、限度額が設定されている。すなわち、このリスクは、基礎となる市場金利及びボラティリティの変動として測定されている。トレーディング勘定には、様々なストレス・シナリオによって補完されているVaR及びその他のリスク指標も用いられている。

### 非トレーディング勘定における金利リスク

金利リスクは、資金調達期間と金利期間の一部が異なることにより生じる。金利リスクは、主に金利スワップ契約によって管理されている。金利リスクはグループ・トレジャリー部の流動性ポートフォリオにも生じており、債券先物や金利スワップを通じて管理されている。通常、当行の金利リスクは、基本的に流動性が高い市場で取られている。当年度末現在の非トレーディング勘定における一般的な金利リスクは1,061(570)百万スウェーデン・クローネであり、特定の金利リスクは4(5)百万スウェーデン・クローネであった。

金利の変動による損益計算書への影響を見積るために、純利息収益の影響も測定されている。金利が変動した場合の純利息収益の影響は、一般市場金利が1パーセンテージ・ポイント上昇した場合の12ヶ月間にわたる純利息収益の変動として測定されている。この影響は、貸借対照表の規模が一定であることを前提とした場合の金利期間の差異、並びにトレーディング勘定に含まれない資産、負債及びデリバティブの残高構成の差異を反映している。この計算においては、契約上の満期のない預金の金利期間は、内部手法を用いて設定される。同モデルは過去の観察に基づいており、安定的で金利変動に対する感応度が低い部分に限定して調整が行われる。年度末現在の純利息収益の影響は、3,117(1,634)百万スウェーデン・クローネであった。



非トレーディング勘定における一般的な金利リスク（すべての金利が1パーセンテージ・ポイント平行移動した場合の最悪の結果としての公正価値の変動）

	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ		
スウェーデン・クローネ	392	3
デンマーク・クローネ	9	20
ユーロ	285	3
ノルウェー・クローネ	12	74
米ドル	290	366
英ポンド	68	101
その他通貨	4	3
合計	1,061	570

本表は、2023年12月31日現在の金利関連資産及び負債の金利期間を示したものである。

資産及び負債に関する金利期間、2023年

百万スウェーデン・クローネ	3ヶ月以内	3 - 6ヶ月	6 - 12ヶ月	1 - 5年	5年超	合計
現金及び中央銀行預け金	508,326					508,326
債券及びその他の利付証券	182,277	1,011	1,609	58,374	5,944	249,215
金融機関への貸出金	19,297					19,297
一般顧客への貸出金	1,623,097	110,023	165,208	474,768	61,121	2,434,217
その他資産	326,737					326,737
資産合計	2,659,735	111,034	166,817	533,141	67,064	3,537,792
金融機関からの預り金	83,062	3,416	3,125	326	1,195	91,124
一般顧客からの預金及び借入金	1,072,730	65,816	38,907	172,535	49	1,350,037
発行済証券	439,292	182,444	224,314	615,376	105,173	1,566,599
その他負債	530,033					530,033
負債合計	2,125,116	251,676	266,346	788,237	106,416	3,537,792

オフバランスシート項目	-347,183	17,665	48,978	260,653	54,713	34,827
-------------	----------	--------	--------	---------	--------	--------

上表の資産及び負債には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

資産及び負債に関する金利期間、2022年

百万スウェーデン・クローネ	3ヶ月以内	3 - 6ヶ月	6 - 12ヶ月	1 - 5年	5年超	合計
現金及び中央銀行預け金	508,502					508,502
債券及びその他の利付証券	115,584	1,104	1,306	45,556	1,925	165,475
金融機関への貸出金	8,747	668				9,415
一般顧客への貸出金	1,485,136	184,172	176,910	552,158	70,949	2,469,324
その他資産	301,000					301,000
資産合計	2,418,969	185,944	178,216	597,714	72,874	3,453,716

金融機関からの預り金	77,442	805	2,497	314	1,314	82,372
一般顧客からの預金及び借入金	1,130,136	32,516	44,975	174,750	44	1,382,422
発行済証券	581,174	120,555	105,575	573,537	136,364	1,517,206
その他負債	471,716					471,716
<b>負債合計</b>	<b>2,260,469</b>	<b>153,876</b>	<b>153,047</b>	<b>748,601</b>	<b>137,722</b>	<b>3,453,716</b>

オフバランスシート項目	-172,317	-1,601	-49,408	194,102	55,181	25,957
-------------	----------	--------	---------	---------	--------	--------

## 株価リスク

当行の株価リスクは、主にハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットでの顧客との取引及び当行の株式ポートフォリオにおいて生じている。

株価リスクの表では、株価が瞬時に+/-10%、ボラティリティが瞬時に+/-25%変動した場合の当行の株式ポジション合計における市場価値の変動を示している。当年度末現在、このリスクについて当行における最悪のケースは40(38)百万スウェーデン・クローネであった。株式の最大エクスポージャーは英国市場にて発生している。

## トレーディング勘定に内在する株価リスク

ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットの株価リスクは、顧客主導の取引において生じる。ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットは仕組商品のマーケット・メーカーであり、線形及び非線形の双方の株価リスクが発生する。非線形株価リスクは、仕組商品に含まれているオプションを通じて生じる。

当行は、マトリクスを用いてハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットの株価リスクを制限及び測定している。この手法の利点は、非線形リスクを含む株価リスクを効果的に特定することである。他のリスク測定手法及びストレス・シナリオとあわせて、VaRが株価リスク測定の補完として使用される。当年度末現在、トレーディング勘定に内在する株価リスクに関する当行のVaRは、0(4)百万スウェーデン・クローネであった。

## トレーディング勘定外の株価リスク

トレーディング勘定以外で当行グループが保有する株式は、主に当行の中核事業に関連する種々の当行全体の事業で構成されているレベル3株式を含む。これらの保有株式は、貸借対照表上「その他包括利益を通じて公正価値で測定するもの」に分類され、公正価値で測定されている。このような保有株式は、一般的にその事業の純資産価値に対する当行の持分、又は代替的に最新の取引における決済価格によって評価されており、株価リスクは低い。

株価リスク 百万スウェーデン・クローネ	ボラティリティの変動					
	2023年			2022年		
	-25%	0%	25%	-25%	0%	25%
株価の変動						
10%	55	58	60	45	46	48
-10%	-40	-37	-35	-38	-37	-35

## トレーディング勘定以外の株式エクスポージャー

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
---------------	-------	-------

その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものに分類される株式持分	601	544
うち、レベル1及び2	445	392
うち、レベル3	156	152
その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものに分類される株式持分	601	544
うち、事業関連	256	252
うち、その他の持分	345	292
期首現在における公正価値評価差額準備金	221	199
新規購入分と期末保有分に関して当年度中に生じた未実現の市場価値の変動	52	54
当年度中の売却及び決済による実現額	0	-32
期末現在における公正価値評価差額準備金	273	221
Tier2資本に含まれるもの	0	0

## 為替リスク

当行は複数の外貨種による貸出を行っており、当行グループの勘定がスウェーデン・クローネで表示されているため、構造上の為替エクスポージャーが生じる。この構造上のリスクは、為替変動が自己資本比率と資本のどちらに影響を与えるかについてのトレードオフを考慮し、管理されている。取締役会は、構造上の為替ポジションが普通株式等Tier1資本比率のヘッジとなることが認められる、資本に与える最大影響額を設定している。当行の資本に影響を与える他の為替リスクの変動については、86ページ（訳注：原文のページ番号である）の持分変動計算書（当行グループ）に記載されている。

当行の直接的な為替エクスポージャーは、国際為替市場における顧客主導の日中取引の結果として生じる。この取引は、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットで行われる。当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者は、この為替リスクに関してVaR限度額を設定している。

顧客の支払フローの一環として通常の銀行業務においても、グループ・トレジャリー部の資金調達業務においても、ある程度のが為替エクスポージャーが生じている。当行の取締役会、最高経営責任者及び最高財務責任者は、これらのエクスポージャーに対して、ポジション限度額を割り当てている。当年度末現在、構造上の為替ポジションを含まない正味ポジション総額は、337(199)百万スウェーデン・クローネであった。この為替リスクは、個別通貨又は通貨グループの傾向に応じて変動するわけではない。これは、ポジションが非常に短期であり、顧客主導のフロー管理において生じているためである。トレーディング勘定及び非トレーディング勘定における為替リスク総額は、10(3)百万スウェーデン・クローネであるが、これはスウェーデン・クローネが瞬時に5%変動した場合に当行の損益に及ぼす影響として測定されたものである。

## 為替感応度(各通貨に対してスウェーデン・クローネが+/-5%変動した場合の最悪の結果)

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
ユーロ	15	1
ノルウェー・クローネ	2	5
米ドル	0	4
英ポンド	1	1
その他通貨	5	4

## コモディティ価格リスク

コモディティ取引は、ハンデルスバンケン・キャピタル・マーケットのみで行われている。コモディティ関連商品のエクスポージャーは、国際コモディティ市場における顧客取引の結果からのみ発生する。線形及び非線形コモディティ価格リスクは双方とも、すべてのコモディティについて当行がさらされているリスク合計の絶対値として測定されている。当年度末現在、コモディティ価格リスクは、0(1)百万スウェーデン・クローネで、対象コモディティの価格変動の上限を20%及びボラティリティの上限を35%とした場合の価格変動に係る最大損失として測定されている。当年度末現在、当行のコモディティ価格リスクのVaRは、0(0)百万スウェーデン・クローネであった。

## その他の市場リスク

市場リスクは当行の年金制度においても発生する（年金リスク）。このリスクは割引率の変動とともに、当行の年金債務に対応するための年金資産の価値が変動するリスクにより構成される。

## 公正価値測定

業務部門は金融商品の適正な評価に関する責任を負い、その評価の妥当性はグループ・リスク・コントロール部によって検証される。この妥当性確認の責任には、評価の基準となる市場データを確認する責任や、その確認がリスクを引き受ける当事者からは独立して行われたものであることを確認する責任が含まれる。

市場データの情報源は事業活動とは切り離されたものである。市場データを事業活動から取得する場合、外部の情報源に対し文書化された統制が行われ、データの合理性が評価される。モデルに用いられる市場価格及び市場データは、少なくとも一ヶ月に一度は検証が行われるものとされるが、基本的には日次で検証が行われる。評価モデルは、モデルの開発部門とは別のリスク管理部門において検証が行われる。評価委員会は、ハンデルスバンケン・グループの評価事項を取り纏めることを目的とし、各評価が正確であり、現行の市場慣行に準拠していることを確かめる重要な役割を果たしている。

公正価値で測定される金融商品の評価は、IFRS第13号に従って行われる。公正価値で測定される資産及び負債に関する詳細並びに当行の評価技法に関する情報については、注記G42を参照のこと。

## 慎重な評価

CRRの評価規則に従い、ハンデルスバンケンは四半期ごとに、公正価値測定されるポジション評価の不確実性に関連した自己資本の調整を行っている。この調整の目的は、ポジションの売却又は手仕舞いが行われた場合の、当行の自己資本の最低価値を90%の精度で評価することであり、慎重な評価と最も可能性の高い値である帳簿価額との差として計算される。調整額は、市場データの不確実性、ポジションの集中、モデルリスクに対する評価等、様々な要因に基づいている。

## 資金調達及び流動性リスク

流動性リスクとは、支払期限が到来した際に、法外な費用又は損失を被らなければ、当行が支払義務を履行することができないリスクである。

## 資金調達戦略

ハンデルスバンケンの総計レベル及び個別通貨の双方における流動性リスクに対する許容度は低い。こうした活動により、ハンデルスバンケンは困難な状況においても、流動性への良好なアクセスが可能であり、業績の変動を低水準に抑え、顧客ニーズを満たすような資金調達能力の提供を目指している。これは、当行にとっ

て重要な通貨のすべてにおいて、キャッシュ・フローの流入及び流出をうまくマッチングさせると共に質量において十分な流動性準備金を維持することによって達成される。したがって、当行は資金調達における経済的リスクを最小限に抑え、業務ユニットの安定した長期の資金調達を維持することができる。

当行は、預金と市場からの資金調達をバランスよく活用するよう努めている。また、当行は、資金調達プログラムとその利用に幅をもたせることを目指している。こうすることによって、当行は、金融市場における混乱が長引いたとしても、中核事業において、長期にわたる損失が生じないようにしている。

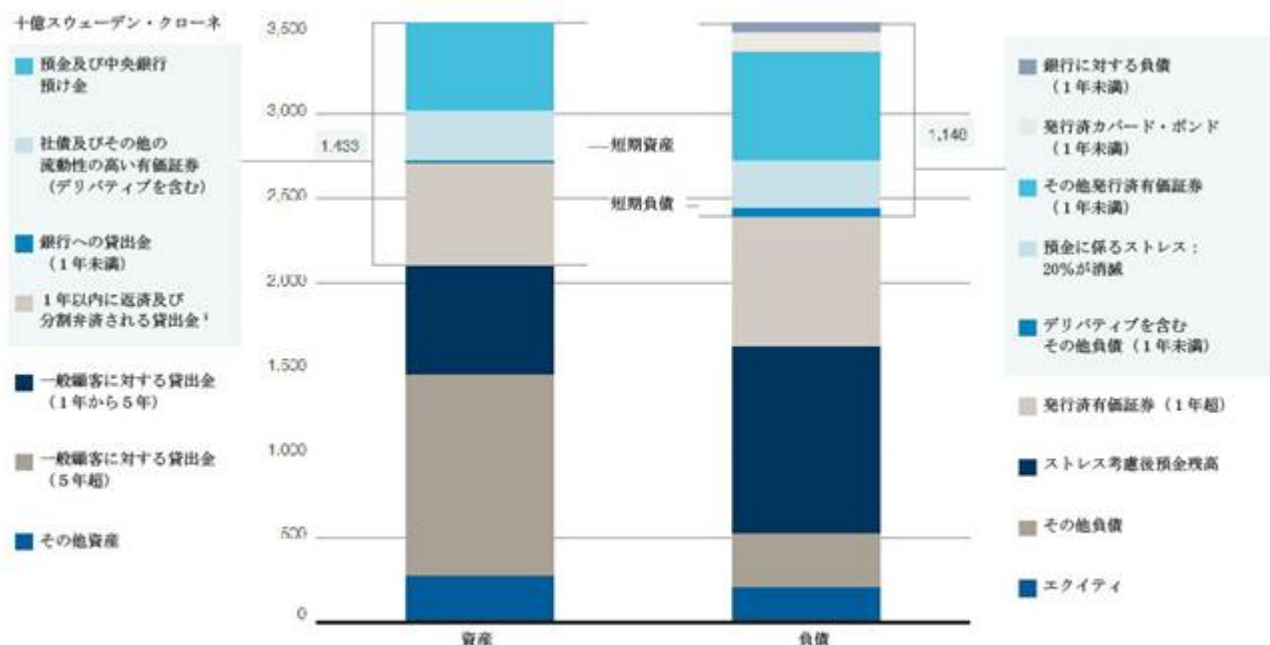
この作業の結果、安定資金を用いて調達された流動がない資産により、十分に調和のとれた貸借対照表が作成される。この流動性がない資産は、個人及び法人に対する与信より構成され、これらの与信業務は当行の中核事業を構成している。これら資産に関する長期安定資金には、スタッドフィポテックが発行したカバード・ボンド、ハンデルスバンケンが発行したシニア債、個人からの預金、法人からの一定額の預金、劣後債及び株式より構成されている。

貸借対照表は、資産及び負債の一時点の記録である。当行が顧客及び投資家に対する債務を確実に履行するためには、資金調達及び流動性リスク管理に将来予測的な視点を取り入れることが重要である。したがって、金融市場において長期的なストレスにさらされている状況にあっても、企業及び家計という形態の実体経済の参加者及び彼らの与信ニーズに対する支援が可能な方法で財務基盤が構築されている。これは、短期資産が十分なマージンで短期負債をカバーしていることによって確実になっている。「満期分類別の貸借対照表の構成」の図では、預金の20%が1年以内に消滅し、市場で新規の資金調達を行う手段が一切なくなるというストレス・シナリオにおける貸借対照表を掲載している。このようなストレス下にもかかわらず、当年度末現在の短期資産は短期負債を大幅に上回ることが見込まれる。長期的な危機においては、中核事業は維持しつつも、財務基盤は縮小する可能性があり、短期資産残高は徐々に満期を迎える短期負債の償還に用いられる。より深刻な危機の状況下においても、当行グループの事業活動をさらに支援するための流動性を高める手段が用意されている。

市場はハンデルスバンケンに多大な信頼を寄せており、ハンデルスバンケンの信用リスクは低いと評価されている。これを示す例の一つに、当行の信用リスクに対する保険コスト（CDSスプレッドとして知られる）が引き続き欧州の銀行の中で最も低い銀行の一つとなっていることと、ハンデルスバンケンの資金調達コストが競合行と比較して低いことが挙げられる。ハンデルスバンケン外部格付機関により継続して高格付を付与されており、すべての同業行の中でも世界で最も格付が高い銀行の一つである。S&P グローバル・レーティングとフィッチによる当行の格付け見通しは「安定的」であるものの、当行の不動産セクターのエクスポージャーが大きく、ストレス時のシステム全体のシナリオにおける問題が想定されることから、ムーディーズの格付け見通しは「ネガティブ」になっている。

資金調達戦略における重要な要素は、様々な市場、通貨及び資金調達手段により異なる資金調達先から多様な資金調達を行うことである。これにより、個々の市場や資金調達先の重要性が低下する。当行は長期的かつ国際的な資金調達を行っており、特に米ドル、ユーロ、スイス・フラン及び豪ドルにより、多くの債券を発行している。最も重要な資金調達先は、個人及び法人からの預金並びにカバード・ボンド及びシニア債である。短期資金調達は、主に、金融関連会社及び機関からの預り金並びにコマーシャル・ペーパー及び譲渡性預金の発行による。グループ・トレジャリー部は、自らの裁量による市場からの資金調達に関して様々な資金調達プログラムを有している。債券、譲渡性預金及びコマーシャル・ペーパーは、これらのプログラムに基づき、当行のみならず、スタッドフィポテックやハンデルスバンケン・ピーエルシーの名義でも発行されている。当該資金調達プログラムにより、様々な通貨、投資家数、負債形態及び地域分布といった面で十分に多様化された資金調達手段が確保されている。

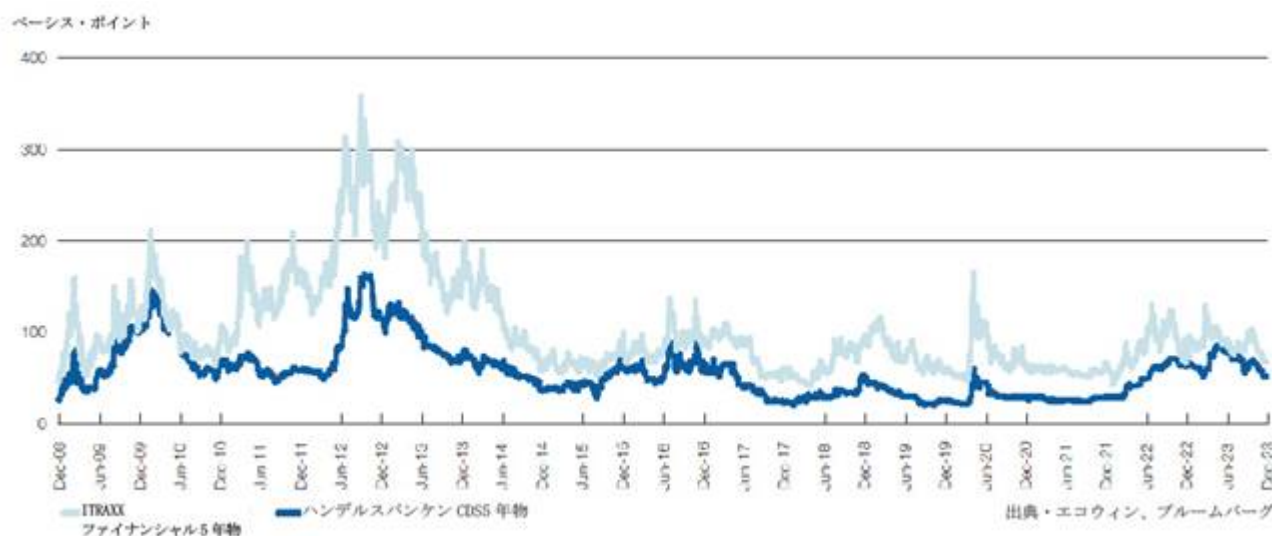
## 満期分類別の貸借対照表の構成



1) 予定分割償還、契約上の満期及びローンの追加返済額推計

## ITRAXXファイナンシャルズと比較したハンデルスバンケンの5年物CDSの спреッド

ITRAXXファイナンシャルズは、欧州の銀行・保険部門の大手債券発行体25社のCDSスプレッドの指標であり、企業の信用リスクを受け入れるために投資家が必要とする平均的なプレミアムを表している。2023年からは30社に拡大された。



## 組織体制

ハンデルスバンケンは分権型の事業モデルを採用しており、その一環として、当行の流動性モニタリングは事業の現場近くで行っているが、当行グループの資金調達及び流動性リスク管理業務はすべてグループ・トレジャリー部に集約されている。資金調達及び流動性管理業務は、取締役会が策定した方針によって管理されている。取締役会はまた、リスク限度額も決定している。この方針は、最高経営責任者によるガイドライン及び最高財務責任者による指示によって具体化されている。この指示は、リスク限度額等のパラメーター、資金調達構成及び資金調達市場の混乱時におけるベンチマークを規定している。さらにすべての流動性リスク限度額は、グループ・トレジャリー部を通じて、各事業部へと伝達されている。

グループ・トレジャリー部はまた、異なる支払システムや決済システムでの保有が求められる担保資産を含む、当行の流動性準備金に対する責任を持ち、日中の流動性を監視し、当行が支払債務を履行するための十分な担保を支払システムに随時有していることを確認する。

決済システムにおける担保の規模は、通常の状態及びストレス状況下で当行が債務履行に必要と考える水準に基づいて決定される。こうした状況が変化した場合には担保の規模及び流動性が調整され、危機の際には担保の再分配が行われ、流動性準備金も活用される。また各事業部は、デリバティブ・エクスポージャーに関して、中央清算機関及び相対取引のカウンターパーティから必要証拠金を確保している。当行は、予想される支払い及び決済の実行に備えて、積極的な流動性計画及びすべての通貨のモニタリングを通じて中央銀行及びノストロ勘定の流動性を確保している。

## 市場からの資金調達 - 構成

2023年のマクロ経済環境は、極めて不確実性が高いものであった。インフレ、金利上昇、景況感の悪化及び地政学的リスクによる不確実性は、金融市場に影響を及ぼし、クレジットスプレッドや一般金利のボラティリティを高める結果につながった。しかし、ハンデルスバンケンは年間を通じて市場からの資金調達には不自由しなかったため、当年度を通して流動性は安定していた。当年度に実体経済及び金融市場に影響をもたらした不確実性により、準備金の強化が決定され、それにより市場からの資金調達は2023年の計画をやや上回った。

当年度において、ハンデルスバンケンでは当行における最も重要な資金調達通貨において、市場から合計227(192)十億スウェーデン・クローネの長期資金を調達した。市場からの長期的な資金調達の重要な構成要素は、カバード・ボンドの発行である。通貨別のカバード・ボンド発行残高の内訳は「通貨別カバード・ボンドによる市場からの資金調達」の図に示している。短期資金調達は、主に欧州及び米国において、譲渡性預金及びコマーシャル・ペーパーの発行によって行われている。この資金調達は、金融及び非金融大手企業による定期預金によって補完されている。資金調達業務に関連して、当行は引き続き以前と同様の投資家との面会、資金調達プログラムの更新、及び他の点においても世界中のすべての関連資金調達市場における債券発行条件を維持していた。これにより、年度を通じて資金調達業務を通常通り行うことが可能となった。

## 長期資金調達の満期プロファイル

2023年12月31日現在、当初満期が長期<sup>1)</sup>の発行済証券

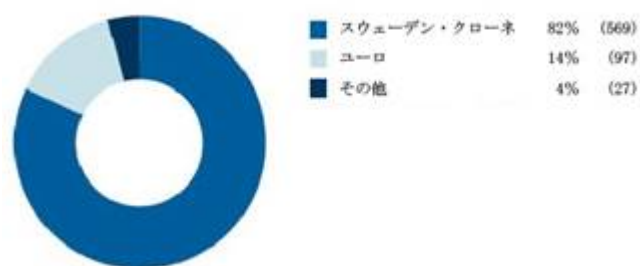


1) 長期の満期とは、満期が1年1ヶ月以上のものをいう。

## 2023年の通貨別カバード・ボンドによる市場からの資金調達

2023年12月31日現在の通貨別発行済カバード・ボンドの内訳

括弧内の金額の単位は十億スウェーデン・クローネ

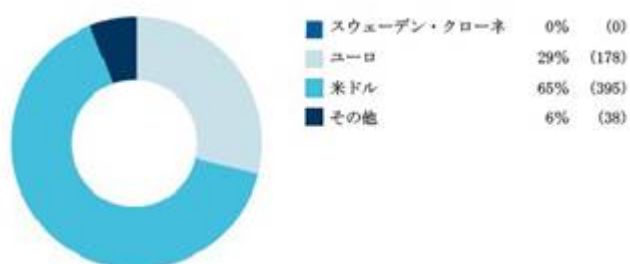




## 2023年の通貨別短期資金調達

2023年12月31日現在の当初満期が短期<sup>2</sup>の発行済証券に関する通貨別の内訳

括弧内の金額の単位は十億スウェーデン・クローネ

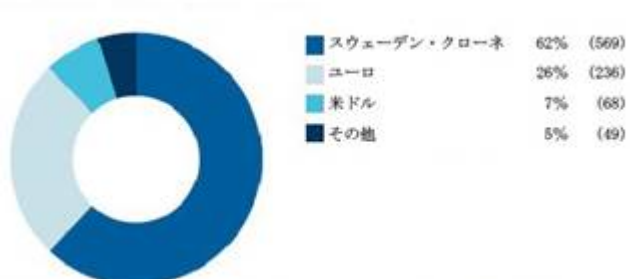


2) 短期の満期とは、満期が1年1ヶ月未満のものをいう。

## 2023年の通貨別長期資金調達

2023年12月31日現在の当初満期が長期<sup>3</sup>の発行済証券に関する通貨別の内訳

括弧内の金額の単位は十億スウェーデン・クローネ

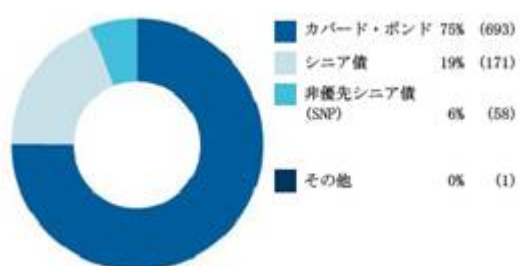


3) 長期の満期とは、満期が1年1ヶ月以上のものをいう。

## 2023年の金融商品別長期資金調達

2023年12月31日現在の当初満期が長期<sup>4</sup>の発行済証券に関する金融商品別の内訳

括弧内の金額の単位は十億スウェーデン・クローネ



4) 長期の満期とは、満期が1年1ヶ月以上のものをいう。

## 担保資産及びカバー・プール

また、ハンデルスバンケンの流動性管理上、金融市場の混乱時に利用可能な担保を十分に確保することも重要である。追加担保の設定を可能にするために必要な条件の1つは、当行が当初から処分可能な担保を確保していることである。したがって、当行は、信用格付の非常に高いカバード・ボンド及び流動証券を発行する際に、担保として利用可能な抵当に入っていない十分な額の資産を確保している。

当行は、CSA契約のような、一定の要件によりカウンターパーティに担保を差し入れることを当行が強制される契約を締結することを制限しており、通常、かかる契約は信用機関との間においてのみ締結される。デリバティブ残高に関するCSA契約に基づき差し入れた現金担保は合計18,705 (6,670)百万スウェーデン・クローネであった。当行の担保資産に関する詳細については、ハンデルスバンケンのファクトブックの担保資産の表を参照のこと。さらに、当行の流動性の確保に加え、このリスク制限アプローチにより、当行のシニアレンダーがカバード・ボンドに投資している貸手よりも優先順位が低くなる（いわゆる、地位劣後の問題）範囲を制限することができる。

無担保資金調達への投資家と担保付資金調達への投資家との間の劣後関係を評価する上では、担保負担がない資産の量及び信用の質が関連する評価要素となる。ハンデルスバンケンのリスク負担に関する厳格なアプローチにより、担保負担のない資産の質が高いことを意味している。ハンデルスバンケンはカバード・ボンドとシニア債をバランスよく利用したいと考えているため、担保負担のない住宅抵当ローンがかなりの額で存在している。

「担保負担がない資産/担保に供されていない資産」の表は、ハンデルスバンケンの担保負担のない資産の金額が、無担保資金調達残高の261(272)%に相当することを示している。

担保負担のある資産の大部分はスタッドフィポテックのカバー・プールであり、それらは発行済カバード・ボンドの担保として供された住宅抵当ローンより構成されている。当行はまた、当該プールに8%の任意のOC（超過担保、すなわち発行済債券をカバーするために必要な担保に加えた追加資産、法定要件の2%に追加した部分）を加えている。この追加資産は、住宅抵当ローンの価値が追加資産を要する水準まで下落した場合に、発行済債券の金額と見合うようにするために存在する。

追加資産が必要となるリスクを評価する場合、基本的にカバー・プールにおける住宅抵当ローンの借入金比率（LTV）がきわめて重要になる。不動産市場における価格が下落している場合、LTVが低ければ低いほど、当該プールにより多くの住宅抵当ローンが必要になるリスクは低減される。ハンデルスバンケンの出来高加重平均LTV（最大LTV）は、スウェーデンのカバー・プールでは54.0(51.0)%であり、ノルウェーのカバー・プールでは58.4(55.8)%であった。これはすなわち、当行は、住宅抵当ローンを当該プールに追加するまでもなく、該当する不動産価格の大幅な下落に対応することができることを示している。

当行がカバー・プール外で保有することを選択した資産は「担保負担がない資産/担保に供されていない資産」の表に示されており、当該資産は必要に応じてカバード・ボンドの発行に使用することができる。

担保負担がない資産/担保に供されていない資産	2023年		2022年	
	無担保資金 調達に対する 累積カバー率、% <sup>2</sup>		無担保資金 調達に対する 累積カバー率、% <sup>2</sup>	
	NEA <sup>1</sup>		NEA <sup>1</sup>	
十億スウェーデン・クローネ				
現金及び中央銀行預け金	505	55	505	56
流動性ポートフォリオにおける流動性のある債券 <sup>3</sup>	258	83	171	75
個人向け貸出金(デリバティブを含む)	466		524	
うち、住宅抵当ローン	325	118	369	116

うち、不動産を担保とした貸出金	2	118	3	116
うち、その他個人向け貸付	139	133	152	133
<b>法人向け貸出金（デリバティブを含む）</b>	<b>1,168</b>		<b>1,200</b>	
うち、住宅抵当ローン	455	182	433	181
うち、住宅協同組合への貸出金（住宅抵当ローンを除く）	83	191	84	190
うち、不動産会社への貸出金（住宅ローンを除く）				
- リスク・クラス1～3	250	219	311	225
- リスク・クラス4～5	192	239	152	241
- うち、リスク・クラス5超	16	241	8	242
うち、その他の法人向け貸出金				
- リスク・クラス1～3	100	252	136	257
- リスク・クラス4～5	61	259	70	265
- リスク・クラス5超	11	260	6	266
<b>金融機関への貸出金（デリバティブを含む）</b>	<b>5</b>		<b>4</b>	
- リスク・クラス1～3	4	260	4	266
- リスク・クラス3超	1	260	0	266
<b>その他の貸出金</b>	<b>5</b>	<b>261</b>	<b>55</b>	<b>272</b>
<b>その他資産</b>	<b>0</b>	<b>261</b>	<b>0</b>	<b>272</b>
<b>合計</b>	<b>2,407</b>	<b>261</b>	<b>2,459</b>	<b>272</b>
<b>裏付けとなる負債を伴わない担保権が設定されている資産<sup>4</sup></b>	<b>70</b>		<b>75</b>	
裏付けとなる負債を伴う担保権が設定されている資産	1,062		920	
<b>資産合計、当行グループ</b>	<b>3,538</b>		<b>3,454</b>	

1) NEA：担保負担のない資産

2) 無担保による発行済短期及び長期資金調達並びに金融機関に対する債務

3) 中央銀行への担保として適格なもの

4) カバー・プールにおける超過担保額(OC)及び英国の破綻処理時の業務継続要件に対応する資産（2021年現在）

カバー・プール・データ	スウェーデン		ノルウェー	
	2023年	2022年	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ				
スタッドフィボテック貸付総額(一般顧客)	1,394,877	1,376,478	125,975	127,264
カバー・プールに関して利用可能な資産	1,281,717	1,264,436	117,137	121,596
カバー・プールで使用した資産	692,099	651,915	73,414	76,747
代替資産(制限勘定の現金)	300	100	120	0
最大LTV加重平均、ASCBの定義による <sup>1</sup>	54.02	51.03	58.43	55.85

## LTVの内訳

0-10%	22.6	24.2	21.5	22.6
10-20%	19.9	20.9	19.4	20.3
20-30%	17.2	17.7	16.9	17.5
30-40%	14.4	14.4	14.3	14.5
40-50%	11.2	10.6	11.6	11.3
50-60%	7.9	6.9	8.7	7.8

60-70%	5.1	4.1	5.7	4.6
70-75%	1.7	1.3	1.9	1.4

貸出金額、加重平均、スウェーデン・クローネ	820,600	780,900	2,822,572	2,883,595
貸出期間、加重平均、月数 <sup>2</sup>	76.0	73.0	29.0	28.0

#### 金利期間、内訳

変動金利、%	51.2	44.4	95.0	95.8
固定金利、%	48.8	55.6	5.0	4.2

1) スウェーデン・カバード・ボンド発行者協会 (Association of Swedish Covered Bond issuers)

2) 貸出金の実行日から計算されている。

## 流動性リスク

当行は業務の一環として、日次で大量のキャッシュ・フローの流入及び流出を取り扱っている。流動性管理におけるリスクを抑えるために、当行は流動性リスクの限度額と定性的目標を含む、堅固なリスク許容度の枠組みを有している。グループ・リスク・コントロール部はリスクを計測し、リスクの利用状況について、日次で最高財務責任者と最高経営責任者に、定期的に取り締役に報告する責任がある。

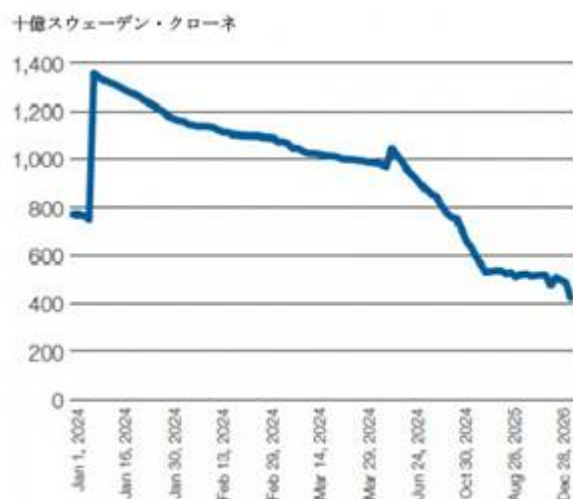
流動性計画は、個別の通貨に対するキャッシュ・フローの分析に基づいている。一般的に、流動性の高い通貨の方が、流動性の低い通貨よりもより大きなエクスポージャーが許容される。流動性がない資産は安定した長期資金で手当てし、ストレス状況下においても正の流動性ポジション（キャッシュ・フロー及び流動資産）が維持されなければならないというのが資金調達戦略である。

したがって、当行の流動性管理はストレス・テストに基づいており、ストレス・テストは全体レベルで実行され、当行にとって重要な通貨に対しては個別レベルでも行われる。ストレス・テストでは、様々なストレス・シナリオを想定し、様々な流動性創出策を講じることで、短期・長期ともに当行が十分な流動性を確保できるよう確実にしている。ストレス・テストは市場全体のストレスと特異なストレスの双方を、定期的及び個別に適用して実施される。これらは住宅価格の大幅な下落を考慮したシナリオ分析によっても補完される。これらのストレス・テストでは、当行が金融市場での資金調達ができないと同時に、個人及び法人の預金の一部が1ヶ月以内に徐々に解約されることを仮定している。さらに、当行は個人及び法人への貸出金を満期時に継続することによりコア事業を継続し、顧客がコミットメント及び与信枠の一部を使用すると仮定する。

ストレス・テストでは、流動性準備金の現金資産が使用されること、有価証券を担保に市場での資金調達ができること、また最終手段として中央銀行から緊急の流動性供給を受けることができると仮定している。

さらに、当行はカバード・ボンドの未使用発行分の利用や、流動性を徐々に提供する他の流動性創出策の実施により、流動性の創出が可能である。未使用の担保の残高及び質は、危機的時に当行が必要とする流動性を提供できるものでなければならない。このような状況により、当行の流動性は3年を超えて高水準に保たれ、当行は深刻な長期のストレスに対しても十分に持ちこたえられることになる。

## 流動性創出策を含む流動性ストレス・テスト - 流動性ポジション累計額



「金融資産及び負債の満期分析」の表は、契約上の支払債務(利息キャッシュ・フローを含む)の割引前キャッシュ・フローを支払期限別に示している。本表は、保有している債券及びその他の利付証券を、それらが担保として供される又は売却される場合に流動性が確保される期間別に示したものである。また、資産・負債・利息のフローが約定満期日までの期間別に示されている。金融保証、ローン・コミットメント及び未使用の当座借越契約はすべて30日以内の期間に計上されている。これらの契約残高総額は、必ずしも将来における資金調達が必要なことを表しているわけではない。デリバティブ商品に関して、金利スワップのキャッシュ・フローは純額で計上され、為替スワップ等でキャッシュ・フロー総額が受け払いされる商品のキャッシュ・フローは総額で計上される。

欧州委員会が委任規則を導入後、EUの銀行には流動性カバレッジ比率（以下「LCR」という。）という拘束力のある要件が設けられた。この尺度は、当行の流動性バッファと30日間の厳しいストレス下における正味キャッシュ・フローとの比率を示しており、この要件は総計レベルのLCRに適用され、比率は100%を超えなければならない。また、スウェーデン金融監督庁は、第二の柱における監督審査及び評価プロセスの枠組みにおいて、各通貨のLCRを規定している。年度末現在、当行グループの総計レベルのLCRは210(163)%であり、これは、当行が資金調達市場の短期的な混乱に十分に持ちこたえられることを示している。

構造的流動性尺度である安定調達比率（NSFR）(利用可能な安定調達資金と安定調達需要の比率)の最低要件では、通常時及びストレス時の双方において、1年間にわたり当行の資金調達ニーズをカバーできる十分で安定した資金調達能力を有することが要求されている。この最低要件は総計レベルに適用され、比率は100%を超えなければならない。2023年度末時点で、当行グループ・レベルのNSFRは120（114%）であった。

## 流動性リスクのプライシング

流動性リスク管理の重要な要素は、発生可能性のある流動性リスクを考慮した預金及び貸付の内部価格設定である。当行が長期の貸出を行う場合、追加的な長期資金調達が必要になる（通常は短期の資金調達より調達コストがより高くなる）。これは、当行の長期債券を購入した投資家は通常、満期までの期間に対してより高額な対価を要求するためである。このことは、当行の内部価格設定において考慮されており、当行の内部ユニットが、グループ・トレジャリー部からの資金調達に対して支払うという形をとっている。内部価格設定は、適切なインセンティブを創出し、不健全なリスク負担を回避するために重要である。当行は、長い間、満期に基づく内部金利設定を行ってきた。契約によって生じた調達費用及び流動性リスクを考慮に入れ、契約単位で価格設定するシステムが確立されている。

**流動性カバレッジ比率(LCR) - 内訳**

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
<b>高品質な流動資産</b>	<b>758,587</b>	<b>673,796</b>
<b>現金流出</b>	<b>424,831</b>	<b>490,448</b>
一般顧客及び小企業からの預金	55,996	65,380
資本市場からの無担保資金調達	255,923	293,008
資本市場からの有担保資金調達	4,266	7,351
他の現金流出	108,646	124,709
<b>現金流入</b>	<b>63,449</b>	<b>77,502</b>
正常なエクスポージャーからの流入	40,108	27,209
他の現金流入	23,341	50,293
<b>流動性カバレッジ比率(LCR)、%</b>	<b>210</b>	<b>163</b>

内訳はEU委員会委任立法(EU)2015/61で定義されているものと同じである。

**安定調達比率(NSFR) - 内訳**

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
<b>利用可能な安定調達資金</b>	<b>2,101,503</b>	<b>2,036,932</b>
資本項目及び資本調達手段	208,436	214,134
一般顧客からの預金	709,447	724,112
資本市場からの調達資金	1,179,688	1,092,732
その他負債	3,931	5,954
<b>所要安定調達額</b>	<b>1,758,065</b>	<b>1,793,937</b>
高品質な流動資産合計	6,063	4,918
担保グループ内の満期までの残存期間が一年以上の、処分制約がある資産	487,444	483,554
正常貸出金及び証券	1,178,603	1,232,720
その他資産	63,915	48,935
オフバランスシート項目	22,040	23,811
<b>安定調達比率(NSFR)、%</b>	<b>120</b>	<b>114</b>

「満期の指定なし」の欄の預金は要求払預金を意味する。この表には利息キャッシュ・フローが含まれているため、この表の貸借対照表項目の金額は当行グループの貸借対照表上の金額と一致していない。利息を除く外貨建てキャッシュ・フローを含めた満期表は、ファクトブック ( handelsbanken.com/ir ) に記載されている。

金融資産及び負債の満期分析、 2023年	30日以内	31日から 6ヶ月 以内	6ヶ月 から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	満期の 指定なし	合計
百万スウェーデン・クローネ								
現金及び中央銀行預け金	508,710							508,710
中央銀行への担保として適格な利付 証券 <sup>1</sup>	199,274							199,274
債券及びその他の利付証券 <sup>2</sup>	50,435							50,435
金融機関への貸出金	17,401	521	788	1,304	3,129	2,306		25,448
うち、リバース・レボ	9,623							9,623
一般顧客への貸出金	92,630	327,172	258,418	279,380	465,330	1,227,112		2,650,042
うち、リバース・レボ	17,404							17,404
その他	17,847						308,890	326,737
うち、株式及び参加持分	12,218							12,218
うち、投資銀行の決済業務に係る 債権	5,629							5,629
<b>資産合計</b>	<b>886,297</b>	<b>327,693</b>	<b>259,207</b>	<b>280,683</b>	<b>468,458</b>	<b>1,229,417</b>	<b>308,890</b>	<b>3,760,646</b>
金融機関からの預り金	39,546	35,766	1,783	703	381	1,001	13,115	92,295
うち、レボ								
うち、中央銀行からの預り金	11,741	20,288						32,029
一般顧客からの預金及び借入金	72,616	188,060	33,509	4,994	1,623	157	1,049,740	1,350,699
うち、レボ								
発行済証券 <sup>3</sup>	73,317	437,143	271,904	145,936	569,336	94,931		1,592,568
うち、カバード・ボンド	336	54,466	76,896	104,626	390,687	55,744		682,756
うち、当初満期が1年未満の譲渡性 預金(CD)	28,975	127,206	46,503					202,684
うち、当初満期が1年未満のコマー シャル・ペーパー(CP)	47,841	225,686	136,389					409,916
うち、当初満期が1年超の譲渡性預 金(CD)及びコマーシャル・ペ ーパー(CP)	99	19,024	14,117					33,240
うち、非優先シニア債		557	414	970	37,871	25,674		65,486
うち、当初満期が1年超のシニア債 及びその他の証券	109	27,489	2,886	35,008	121,494	11,500		198,487
劣後負債		14,022	565	1,353	20,192	14,367		50,499
その他	7,750	220	377	654	1,383	638	519,013	530,035
うち、ショートポジション	2,366							2,366
うち、投資銀行の決済業務に係る 債務	5,210							5,210
<b>負債合計</b>	<b>193,229</b>	<b>675,212</b>	<b>308,139</b>	<b>153,640</b>	<b>592,916</b>	<b>111,093</b>	<b>1,581,867</b>	<b>3,616,096</b>

#### オフバランスシート項目

金融保証及び未使用のローン・コ  
ミットメント

427,865

デリバティブ、2023年		31日から 6ヶ月 以内	6ヶ月 から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超		合計
百万スウェーデン・クローネ	30日以内							
デリバティブに係る現金流入合計	130,988	462,290	124,514	93,751	265,217	89,804		1,166,564
デリバティブに係る現金流出合計	131,898	468,845	127,404	92,031	252,501	81,931		1,154,610
純額	-910	-6,555	-2,890	1,720	12,716	7,873		11,954

上表の資産及び負債には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

金融資産及び負債の満期分析、 2022年		31日から 6ヶ月 以内	6ヶ月 から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	満期の 指定なし	合計
百万スウェーデン・クローネ	30日以内							
現金及び中央銀行預け金	508,723							508,723
中央銀行への担保として適格な利付 証券 <sup>1</sup>	132,989							132,989
債券及びその他の利付証券 <sup>2</sup>	32,846							32,846
金融機関への貸出金	6,346	180	328	584	1,872	2,382		11,691
うち、リバース・レボ								
一般顧客への貸出金	65,944	301,126	242,443	280,925	510,950	1,245,526		2,646,914
うち、リバース・レボ	12,912							12,912
その他	23,717						277,283	301,000
うち、株式及び参加持分	12,815							12,815
うち、投資銀行の決済業務に係る 債権	10,902							10,902
資産合計	770,564	301,306	242,771	281,510	512,822	1,247,908	277,283	3,634,163
金融機関からの預り金	38,283	27,232	3,622	1,010	477	1,551	10,809	82,983
うち、レボ								
うち、中央銀行からの預り金	14,212	20,009	2,652	114			3	36,989
一般顧客からの預金及び借入金	27,400	75,911	36,517	10,017	2,085	5,849	1,224,903	1,382,682
うち、レボ	4							4
発行済証券 <sup>3</sup>	92,544	510,171	185,168	187,428	423,003	127,585		1,525,899
うち、カバード・ボンド	7,914	76,552	11,011	157,739	323,167	75,500		651,884
うち、当初満期が1年未満の譲渡性 預金(CD)	35,096	195,836	58,078					289,009
うち、当初満期が1年未満のコマー シャル・ペーパー(CP)	49,419	207,869	73,242					330,530
うち、当初満期が1年超の譲渡性預 金(CD)及びコマーシャル・ペー パー(CP)	9	6,549	8,973	553				16,084
うち、非優先シニア債		283	140	423	25,585	25,027		51,458
うち、当初満期が1年超のシニア債 及びその他の証券	105	23,082	33,724	28,713	74,251	27,058		186,933
劣後負債		9,614	145	14,496	13,511	11,476		49,240
その他	5,047	375	378	716	1,456	653	463,099	471,724
うち、ショートポジション	1,947							1,947



うち、投資銀行の決済業務に係る

債務	3,087							3,087
<b>負債合計</b>	<b>163,273</b>	<b>623,302</b>	<b>225,830</b>	<b>213,666</b>	<b>440,533</b>	<b>147,114</b>	<b>1,698,810</b>	<b>3,512,529</b>

**オフバランスシート項目**

金融保証及び未使用のローン・コ

ミットメント 459,114

デリバティブ、2022年		31日から 6ヶ月 以内	6ヶ月 から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超		合計
百万スウェーデン・クローネ	30日以内							
デリバティブに係る現金流入合計	182,101	590,120	150,293	121,954	213,073	117,024		1,374,565
デリバティブに係る現金流出合計	180,101	589,221	149,097	120,987	211,934	111,955		1,363,295
<b>純額</b>	<b>2,000</b>	<b>899</b>	<b>1,196</b>	<b>967</b>	<b>1,139</b>	<b>5,069</b>		<b>11,270</b>

1) この金額（利息を除く）のうち、169,372(106,107)百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。

2) この金額（利息を除く）のうち、3,334(2,511)百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。

3) この金額（利息を除く）のうち、758,321(767,033)百万スウェーデン・クローネは残存期間が1年未満である。

## 流動性準備金

ストレス状況下における中核事業を支援するための十分な流動性を確保するため、当行は取り扱っているすべての通貨で多額の流動性準備金を保有している。当該流動性準備金は、資金調達市場や外国為替市場とは関係なく、随時、当行に流動性を提供するものである。

当該流動性準備金は、複数の異なる部分より構成されている。現金、預金残高及びその他の中央銀行への貸出は、当行に緊急の流動性を提供可能な部分である。当該準備金はまた、国債、カバード・ボンド及びその他の信用の質が高い有価証券をはじめとする流動性の高い有価証券より構成され、これらは流動性が高く、中央銀行への担保として適格なものである。これはまた、当行に緊急の流動性を提供可能なものである。流動性準備金の残りの部分は、カバード・ボンドの未発行額及びその他の流動性創出策より構成される。

中央銀行に対する残高及び流動性準備金における有価証券残高(市場価値)、2023年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・クローネ	ユーロ	米ドル	その他	合計
<b>レベル1資産</b>	<b>282,713</b>	<b>162,484</b>	<b>165,828</b>	<b>151,125</b>	<b>762,150</b>
現金及び中央銀行預け金	66,978	157,868	160,806	119,288	504,940
ソブリン、中央銀行、国際開発金融機関及び国際機関が発行又は保証する証券	181,594	4,556	5,022	1,758	192,930
地方債及びその他公的機関発行債	209				209
きわめて高品質なカバード・ボンド	33,932	60		30,079	64,071
<b>レベル2資産</b>	<b>207</b>	<b>280</b>	<b>502</b>	<b>120</b>	<b>1,109</b>
<i>レベル2A資産</i>	<i>207</i>	<i>221</i>	<i>502</i>	<i>120</i>	<i>1,050</i>
ソブリン、中央銀行、地方自治体及びその他公的機関が発行又は保証する証券				36	36
高品質なカバード・ボンド	207	221	502	84	1,014
社債（格付がAA-以上）					
<i>レベル2B資産</i>		<i>60</i>			<i>60</i>
資産担保証券					
高品質なカバード・ボンド					
社債（格付がA+からBBB-）		60			60
株式（主要株式指数）					
<b>流動資産合計</b>	<b>282,920</b>	<b>162,764</b>	<b>166,330</b>	<b>151,245</b>	<b>763,259</b>

中央銀行に対する残高及び流動性準備金における有価証券残高(市場価値)、2022年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・クローネ	ユーロ	米ドル	その他	合計
<b>レベル1資産</b>	<b>237,836</b>	<b>175,150</b>	<b>138,355</b>	<b>123,897</b>	<b>675,238</b>
現金及び中央銀行預け金	99,540	168,032	129,603	108,164	505,339
ソブリン、中央銀行、国際開発金融機関及び国際機関が発行又は保証する証券	117,817	7,019	8,752	1,903	135,491
地方債及びその他公的機関発行債	447				447
きわめて高品質なカバード・ボンド	20,032	99		13,831	33,962
<b>レベル2資産</b>	<b>230</b>	<b>307</b>	<b>512</b>	<b>90</b>	<b>1,139</b>
<i>レベル2A資産</i>	<i>230</i>	<i>215</i>	<i>512</i>	<i>90</i>	<i>1,047</i>
ソブリン、中央銀行、地方自治体及びその他公的機関が発行又は保証する証券				36	36

高品質なカバード・ボンド	230	215	512	54	1,011
社債（格付がAA-以上）					
レベル2B資産		91			91
資産担保証券					
高品質なカバード・ボンド					
社債（格付がA+からBBB-）		91			91
株式（主要株式指数）					
<b>流動資産合計</b>	<b>238,066</b>	<b>175,457</b>	<b>138,867</b>	<b>123,987</b>	<b>676,377</b>

## オペレーショナル・リスク

オペレーショナル・リスクは、不適切な若しくは欠陥のある内部プロセス、人為的ミス、誤ったシステム、又は外部事象による損失リスクである。オペレーショナル・リスクの定義には、法的リスクに加え、ITリスク及び情報セキュリティ・リスク（以下、「ICTリスク」という。）も含まれている。

取締役会は、オペレーショナル・リスクに対するハンデルスバンケン・グループのリスク許容度を策定している。オペレーショナル・リスクはあらゆる業務において避けることのできない要素ではあるが、ハンデルスバンケンのオペレーショナル・リスクに対するリスク許容度は低い。可能な限り、ハンデルスバンケンはいこれらのリスクを防ぐよう努める必要がある。オペレーショナル・リスクによる損失は少なくあるべきである。インシデントが発生した際、当行、当行の顧客又は金融システムに重大な悪影響を及ぼす可能性のあるオペレーショナル・リスクは、低水準まで軽減されなければならない。リスクが許容可能となるよう、リスク軽減策が取られなければならない。オペレーショナル・リスク事象からの損失は保険又は他の手段で対応され得る。事象発生の影響と蓋然性を1から5までの5段階で評価することによってリスク評価が行われている。事象発生の影響の蓋然性の評価に加え、影響を評価することにより、必要なリスク軽減策の対象範囲が決定される。アクションプランが策定されていない場合、又は作業に時間がかかりすぎる、又は計画通りに進捗していないとリスク・コントロール部が判断した場合、当該リスクは当行のリスク許容度を超過していると考えられる。

2023年度の、25,000スウェーデン・クローネを超える、オペレーションによる潜在的及び実際の損失は、回収分を含め、合計115(58)百万スウェーデン・クローネであった。オペレーションからの損失の水準が、回収により時間の経過とともに調整される、あるいは過去に報告されたインシデントに関連した他の損失が加わることは珍しいことではなく、これにより、過去に計上された損失の比較数値が影響を受ける可能性がある。

## 組織体制

オペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理に関する責任は、ハンデルスバンケン・グループのすべての階層の管理者に課される責任に欠くことができないものである。当行の業務の分権型の手法とコスト意識によりオペレーショナル・リスクの良好な管理が推進され、日々の手続や事象における潜在的な損失のリスクに注意を払うことにつながっている。

オペレーショナル・リスクの管理は業務活動において実施され、その取り組みはリスク・コントロール部によって管理される。特別に任命されたローカルのオペレーショナル・リスク・コーディネーター（以下、「ローカル・オペリスク・コーディネーター」という。）は、オペレーショナル・リスクを管理する上で管理者を支援するために設置されている。彼らの責任は、業務活動において既存のオペレーショナル・リスクの管理手法及び手続が使用されていることを確認し、報告されたインシデントに関して必要な対策を講じ、業務活動を支援し、オペレーショナル・リスクに関して決定した活動のフォローアップを行うことである。

グループ・リスク・コントロール部は、オペレーショナル・リスクの管理に適用する方法及び手続に対して全般的な責任を負っている。これにはオペレーショナル・リスクの定期的な評価方法及び手続、並びに業務へ

の適用も含まれる。グループ・リスク・コントロール部は、業務部門がオペレーショナル・リスクを特定、評価、報告及び管理し、決定された活動が実施されるようフォローアップを行っていることを確認しなければならない。またグループ・リスク・コントロール部は、新規又は大きく変更のある商品、サービス、市場、プロセス、ITシステムや、当行グループの業務又は組織体制の重要な変更に関する意思決定が行われる前にリスクが評価されていることを確かめる責任を負っている。さらにグループ・リスク・コントロール部は、グループ・レベルですべての重要なオペレーショナル・リスク及びその状況を特定、評価、分析し、経営陣及び取締役会に報告する責任を負っている。経営陣及び取締役会に提出されるリスク報告には、重大なインシデント及びリスク軽減策に関する情報も含まれる。

## オペレーショナル・リスクの特定、評価及び管理の方法

業務部門は、部門内で関連するリスクの事実を収集することにより、日常的な業務活動に伴うリスクに当事者意識を持って主体的に取り組み、管理する責任を負っている。当行は以下の区分に従い、オペレーショナル・リスクの動向を監視している。

- ・ 執行・受渡・プロセス管理
- ・ 事業活動の中断・システム障害
- ・ 顧客・商品及び取引慣行
- ・ 外部犯罪
- ・ 有形資産に対する損傷
- ・ 労務慣行・職場の安全
- ・ 内部不正

オペレーショナル・リスクを特定、評価及び管理するためのグループ共通の手法には、インシデントの報告、リスク指標及びオペレーショナル・リスクの自己点検がある。

## インシデントの報告

25,000スウェーデン・クローネを超える直接的な金銭的損失をもたらしたオペレーショナル・リスクのインシデントに関する報告は必須である。オペレーショナル・リスクを表す他のインシデントも報告義務があり、リスクの事実が収集されなければならない。

## リスク指標

リスク指標はオペレーショナル・リスクの増加を警告するために監視されている。リスク指標の閾値を超えた場合、講じるべきリスク管理手法を評価する際の根拠とするためリスク評価を実施する必要がある。特定のリスク指標については、最高経営責任者が閾値を決定している。

## OPRAリスク分析による自己点検

OPRAリスク分析とは、オペレーショナル・リスクを評価し、文書化し報告するための手法と自己点検手続であり、すべてのユニットにおいて定期的実施される。OPRAリスク分析はイベントドリブン型とすることも可能であり、重大なインシデントや閾値違反、又は重大な外部事象が発生した場合に手続を実施する。

### 3つの防衛線



#### ORX

当行はORX（オペレーショナル・リスクデータ・エクスチェンジ・アソシエーション）のメンバーである。ORXの主要目的は、参加行がオペレーションからの損失につながるインシデントに関する匿名データの交換を行うことである。ORXはまた、オペレーショナル・リスクに関するデータの品質の標準化及び確保においても重要な機能を果たしている。オペレーショナル・リスクに関する手法については幅広い調査が行われており、ORXは重要な情報交換の場となっている。

#### ハンデルスバンケン・グループにおけるIT業務

当行の業務は、ITサービスが利用可能であること、及びそのセキュリティが確保されていることに依拠している。テクノロジーの発展と銀行サービスのデジタル化は、この領域の重要性が高まっていることを示している。ハンデルスバンケン・グループにおけるIT業務の全体的な目標及び戦略に関するガイドラインが最高経営責任者によって策定される。この領域のオペレーショナル・リスクは、当行の他の手続きと同様のものに加えて、対象となる領域における特定の種類のリスクを管理するための特別な手続に従って管理されている。特別な手続には、例えば以下のものが含まれる。

- ・本番稼働中のITシステムの監視
- ・ITシステム障害の管理
- ・新規又は変更後のITシステムの管理
- ・サイバー・リスクの管理
- ・セキュリティ・テストの実施
- ・ITシステムのリスク分析の実施
- ・IT及びセキュリティに関する外部委託契約等の外部業者との契約の評価
- ・ITシステムの継続性確保のための管理

#### セキュリティ及びデータ保護

ハンデルスバンケンのセキュリティ業務は、従業員と顧客の生命、健康及び誠実さを守るほか、顧客及び当行の資産、当行グループの名声及び評判を守ることを目的としている。業務において、当行は顧客や顧客との関係に係る機密情報を継続的に処理している。ハンデルスバンケンの情報セキュリティ及びデータ保護の取り組みの全体的な目的は、可用性、正確性、機密性、追跡可能性を基盤とする情報の保護である。情報システム及び業務システムは業務要件に応じて利用可能な状態でなければならない。ハンデルスバンケンのセキュリティ及びデータ保護に関するガイドラインは当行グループの最高経営責任者によって策定されている。当行の全従業員が情報保護に関する規則の遵守義務を負っており、すべての管理者は各担当分野におけるセキュリティ及びデータ保護規則の遵守義務を負っている。当行は要件を満たす体系的なデータ保護及びセキュリティ業務の実践により、起こり得る脅威やリスクを阻止しており、IT環境や負の影響を及ぼし得る物理的環境における変更管理手続を策定している。管理体制に不備があった場合や誤って情報が流出した場合、当行の信用低下や財務上の損失等、被害は深刻なものとなり得る。組織的な取り組みの一環として、セキュリティの脅威やリ

スクに関する従業員及び顧客の意識向上を図るため、当行においてプレゼンテーション、研修プログラムや情報に関するイニシアティブなどを通じた体系的な取組みが行われている。

セキュリティ及びデータ保護には、規則やインストラクションといった事務的な対応、技術的なセキュリティ対応、物理的保護、及び機密性の高い活動や機密情報の保護も含まれる。

セキュリティ及びデータ保護に関する取組みは、ISO 27001のような国際規格に則った情報セキュリティ管理システムに基づいて行われている。ハンデルスバンケンの情報セキュリティ業務はISO 27001の認証を取得している。また、当行の情報セキュリティ管理システムは、ISO 27001に加え、世界の大企業の多数が会員となっている組織である情報セキュリティ推進団体 (ISF) が策定したグッドプラクティス標準に基づいている。セキュリティ及びデータ保護に関する取組みは組織的に行われ、当行ではこれにプロセスの観点から取り組んでおり、中でもリスク分析が主体となっている。リスク分析ではISFの情報リスク分析手法 (IRAM2) 及びプライバシー影響評価 (PIA) が用いられている。

ハンデルスバンケン・グループの物理的安全対策には、防火対策に加え、従業員への脅威、従業員の保護、出張時の安全、周辺保護に関するプロセスと手続、当行の賠償責任及び損害保険に対する保険カバー、並びに外部環境の監視と指示が含まれる。

物理的な安全性に関するグループ内での指示により、特に、セキュリティのレビューが少なくとも毎年行われ、その後年次の就業環境調査を通じてフォローアップが行われる。

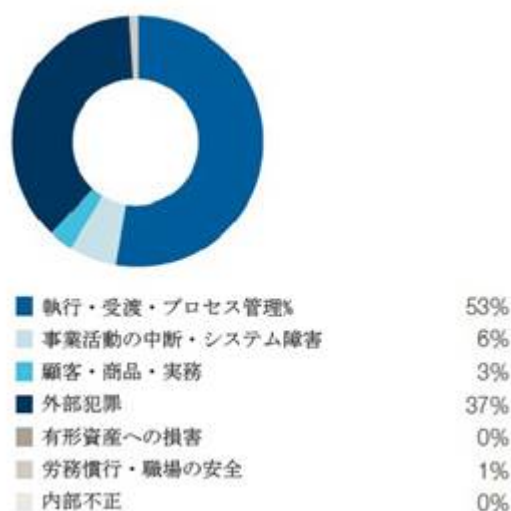
## 金融犯罪

当行は、自らの顧客や商品、サービスが金融犯罪に悪用されるリスクを最小限に抑えるよう努めている。金融犯罪には、マネーロンダリング、テロ資金供与、脱税、贈収賄、詐欺及び国際的制裁に対する違反が含まれる。この業務は、グループ全体の金融犯罪防止への取組みに関して責任を負う、当行の特命役員が率いる中央部門が管理している。金融犯罪を防ぐこれらの取組みの重要な第一歩となるのが、当行のリスク許容度の低さと、当行が事業を展開する各国の金融犯罪に対応する外部規制機関である。当行には当行グループ全体の責任を担う金融犯罪対策の専門部署があり、金融犯罪を監視するとともに、金融犯罪を防ぐ当行の取組みに対するアドバイザーの役割を果たしている。同部署のトップは、当行の本部部門の責任者が務めている。当行の金融犯罪防止のための取組みの詳細については、ハンデルスバンケンのコーポレート・ガバナンス・レポートの66 - 81ページを参照のこと。

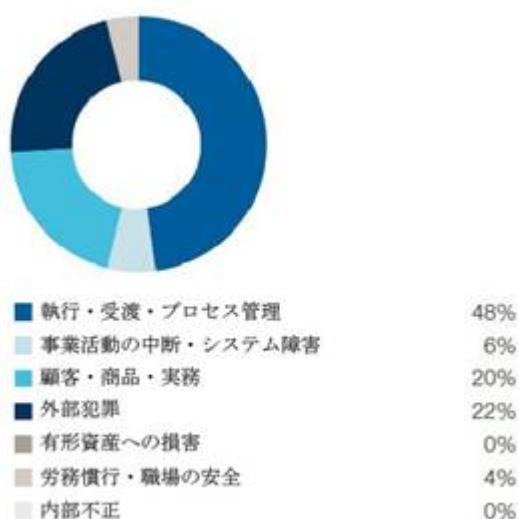
## 変更管理

変更管理は新規又は大幅に変更された商品、サービス、市場、プロセス、ITシステム、若しくは当行グループの業務又は組織体制の重要な変更が行われる際に用いられる。プロセスの活動と主体は当行のインストラクションに定められ、変更管理の承認プロセスには、コントロール部署がいつ、どのように関与すべきかが記載されている。承認プロセスには、リスク分析が実施される要件も含まれ、これらは、例えば金融犯罪、サステナビリティ、情報セキュリティ、データ品質などの領域を考慮したものとなっている。また、変更管理に関する意思決定は文書化されなければならない。

## 25,000スウェーデン・クローネを超える損失の内訳（件数）、2019年 - 2023年



## 25,000スウェーデン・クローネを超える損失の内訳（金額）、2019年 - 2023年



## 重要なプロセス

重要なプロセスとは、当行の重要な業務に対応する上できわめて重要なプロセスを言う。当行の重要プロセスは目的適合性について年次で、また重要な変更について見直され、リスク評価の対象とされるほか、必要に応じて改定される。

重要なプロセスの特定は、当行の事業継続計画の対象範囲、すなわち、混乱や業務停止といった事象が起きた場合に業務のどの部分を優先させるかを決定する際に欠かせないものである。

## 事業継続計画及び危機管理

当行の事業継続計画及び危機管理の目的は、予測不可能な状況が発生した場合、事業継続のために当行が万全な準備をしておくようにすることである。これは、事業の深刻な混乱の影響を低減するため、混乱の期間においても、許容できる水準で事業を継続できるような予備手段を講じておかなければならないことを意味している。最高経営責任者による事業継続及び危機管理の指針並びに追加的な指示では、どの業務とITシステムが重要で事業継続を必要とするかを確認する上で、毎年結果分析を行わなければならないと規定している。

事業継続計画は、混乱時及び通常業務への回復期における事業維持に関する計画を含む。重要なプロセスに関しては、事業継続計画の中に認められる最長の事業停止期間を含める必要がある。当行グループには本部危機管理チーム (Central Crisis Team) が存在し、さらに、最高経営責任者は、特定のユニットが指定された危

機管理機能を担う必要があると規定している。危機管理機能における手続は、特別な危機マニュアルに従って実施しなければならない。

事業継続計画及び危機マニュアルについては少なくとも毎年見直しを行わなければならない。事業継続計画は最低でも毎年テストを実施し、危機管理機能を持つことを求められる各ユニットは、危機管理訓練を実施しなければならない。この手続は毎年評価が行われ、本部の取締役会に報告される。当行の事業継続管理戦略も本部の取締役会に報告される。

ハンデルスバンケンは金融セクターの混乱と業務停止への対応力の強化を目的とした、スウェーデンの金融セクターの官民連携によるパートナーシップ組織(FSPOS)にも任意参加している。2023年度に当行は、FSPOSが企画した訓練の代わりに、金融安定理事会による年次危機訓練に、2民間組織のうちの一つとして参加することを決定した。

## サプライヤー契約

当行は、当行グループ内での業務委託契約を含む、サプライヤー契約を管理するための指定されたプロセスを有している。出発点として、当行はサプライヤー契約やその管理を決定する前の評価において、当行の低いリスク許容度を考慮した、リスクベースの業務手法を適用している。最高経営責任者は、重要性の高い業務を外部委託契約する際の条件及び要件を定めた業務委託契約のガイドラインを公表している。本ガイドラインはハンデルスバンケン・グループ全体及び当行グループの子会社にも適用される。

## 風評リスク、コンダクトリスク及び研修

風評リスクとは当行の信頼低下によってもたらされる損失リスクを指す。風評リスクは倫理基準の欠陥、不適切な行動、情報の不足や新商品や改訂商品の設計ミス等が原因で発生する。ハンデルスバンケンは積極的なビジネス・インテリジェンスを通じ、必要に応じて関連する是正措置を実施し、高い倫理基準で業務を遂行することにより、業務の中の風評リスクを管理し、これを最小限に抑えている。2023年には当行グループの全従業員に対し、金融犯罪、一般データ保護規則 (GDPR)、セキュリティ研修 - サイバー・セキュリティの3つの研修が義務付けられている。

ハンデルスバンケンのリスク許容度の低さは従業員給付の面にも反映されている。当行では固定報酬が健全な業務に寄与していると考えており、それを基本原則としている。

## コンプライアンス・リスク

コンプライアンス・リスクは、コンプライアンス違反に関連するリスクをいう。

コンプライアンスとは、当行に認可された業務に一括して適用される内外の規則及び規制、市場慣行並びに関連基準の遵守及び準拠をいう。コンプライアンス・リスクとは、当行がこれらの枠組みに従わなかった結果、当行が被る可能性のある制裁、重大な財務上の損失、評判の失墜のリスクである。ハンデルスバンケンのコンプライアンス・リスクに対する許容度は低い。業務において、これらのリスクを可能な限り防ぎ、特定されたリスクに迅速に対処するために必要な作業を優先しなければならない。コンプライアンス部署がそのリスク水準を重大又は重要であると評価し、適切なアクションプランがない、又は既存のアクションプランから著しく乖離していると判断した場合、リスクが許容度をを超えているとみなされる。

## 組織体制

業務におけるコンプライアンスへの責任は、当行グループの全階層における管理責任の不可欠な部分として、各ユニット又は各部門が担っている。ファンクションマネージャー及びプロダクトマネージャーには、各



担当分野における業務が、行内外の規則や規制に従って行われるよう確実にするための特別な責任がある。その中には、各担当分野が発出した当行グループ全体への指示遵守をフォローアップする責任を含む。ファンクションの所管部署のうち、グループ法務部には、業務部門に対する法的支援を行い、他の部署に代わって規制に関する最終的な解釈を含む必要な法的評価を行う責任がある。また、本部及び地域レベルでの法的支援や法的評価を含む業務を調整する責任も担っている。ハンデルスバンケン・グループにおいて、管理職と従業員は、規制違反に伴うコンプライアンス・リスクに加え、内外の規則を通じて課された要件を正しく認識し、理解する必要があるほか、法的評価が必要な場合にはグループ法務部又は地域の法務部署から適宜支援を受けなければならない。

コンプライアンス部署は、当行に認可された業務に関連するコンプライアンス・リスクの特定、監視、統制及び報告に責任を負うコントロール部署である。組織的には、グループ・コンプライアンス部と一部の子会社にあるローカルのコンプライアンス部門の2つに分けられる。グループ・コンプライアンス部には、適用されるマネーロンダリング・テロ資金供与対策に関する規制に基づく管理・報告義務任命責任者、適用されるデータ保護及び個人データ処理に関する規制に基づくデータ保護責任者(以下、「DPO」という。)など、具体的に定められた役割も含まれている。

### リスクベースの業務

コンプライアンス部署は、業務にリスクベースの手法を適用している。実際には、これは、同部署が当行の業務及びコンプライアンスに関する総合的なリスク評価を年次で実施し、コンプライアンス違反リスクが最も高い領域を優先してコンプライアンス活動を実施している。不備は、「小」、「中」、「大」及び「重大」という4段階の評価尺度を用いて、また局所的なリスクであるか、又はグループ全体に重大な影響が及ぶリスクであるかという観点からも評価され、報告される。最高コンプライアンス責任者(CCO)は、当行グループ内の現在のリスク状況を四半期毎に最高経営責任者、リスク委員会及び取締役会に報告する。これには、任命責任者からの報告や、DPOからの報告も含まれる。

### 報酬制度におけるリスク

報酬リスクは、報酬制度によって生じる損失又はその他の損害のリスクである。

### 報酬制度

ハンデルスバンケンでは、従業員が新たな職階に就いた際、報酬は個別に現地水準で設定される。報酬はハンデルスバンケンに対する拘束力を持つ労働協約のほか、類似した現地の標準的な契約や協定を考慮に入れ、当行の給与決定モデル及び給与の決定要素に基づいて決定される。給与の決定要素とは、業務内容及び難易度、能力及びスキル、実績及び成果、指導力、市場の需給関係、並びに当行の企業カルチャーの代表者としての役割である。

これらの原則は何年もの間、適用されている。ここでは、あらゆる階層のマネージャーが定期的に給与プロセスに参加し、当行の給与方針に対する責任を持ち、各自の部門のスタッフ費用の増加に責任を持つことを意味している。

ハンデルスバンケンが適切に設計された報酬制度を確実に維持するため、報酬制度のリスクは、他の種類のリスクと同様の責任分担によるリスク管理を行う、個別のリスク区分として管理されている。ハンデルスバンクンの報酬リスクについての許容度は低く、報酬リスクを低水準に抑えるために積極的に活動している。実績型変動報酬は細心の注意を払った上で利用されなければならない、当行のリスク・プロファイルに重大な影響を及ぼす業務を担当する従業員には支給されない。

2023年には、業績連動型変動報酬に対して49(52)百万スウェーデン・クローネの引当金が計上された。

## 組織体制及び責任

当行の報酬制度の原則は、取締役会で決定される報酬方針に規定されている。より詳細にわたる指針及び導入指令は、最高経営責任者が決定している。グループ・コンプライアンス部はこの領域に適用される規則を確実に遵守するため、これらのガバナンス文書をレビューしている。報酬リスクの特定及び管理責任は、その業務の責任者である各マネージャーにある。グループ・リスク・コントロール部はリスクの観点から、報酬制度及びその適用状況が毎年評価されていることを確認している。また、この評価は、当報酬制度が当行のリスク、資本及び流動性の状況に与える影響の分析も含まなければならないとしている。

## 報酬制度におけるリスク

ハンデルスバンケンの報酬方針及び報酬制度におけるリスクは低く、当行の低いリスク許容度に沿ったもので、当行の長期的な利益を支えるものとみなされている。当該報酬制度による、当行の財務リスク、資本及び流動性の状況への影響は少ない。ハンデルスバンケン・グループの従業員に対する業績連動型変動報酬として引き当てられる合計額は、所与の年度の当行の普通株式等Tier1資本の0.4%を超えてはならない。変動報酬の計算データは、現在及び将来のリスク評価に基づいてリスク調整されたものである。業績連動型変動報酬の支払延期や割り当てられた繰延変動報酬の全額又は一部の減額に関する規則が存在する。

当行の報酬制度に関する詳細情報及び統計に関しては、コーポレート・ガバナンス・レポート及び年次報告書の注記G8を参照のこと。

業績連動型変動報酬	2023年	2022年
業績連動型変動報酬稼得額 <sup>1</sup> 、百万スウェーデン・クローネ	49	52
給与及び報酬、百万スウェーデン・クローネ	10,168	9,800
業績連動型変動報酬を稼得し得る人数 <sup>2</sup>	132	124
平均従業員数	12,216	12,030
給与及び報酬合計に占める業績連動型変動報酬稼得額の割合、%	0.5	0.5
普通株式等Tier1資本に占める業績連動型変動報酬引当金の割合、%	0.03	0.03
平均従業員数に占める業績連動型変動報酬を稼得できる人数の割合、%	1.1	1.0

1) これらの金額は社会保障費を除いたものである。これらの金額は年次報告書の公表後に決定される。

2) 業績連動型変動報酬を割り当てられる人数は年次報告書の公表後に決定される。2022年に業績連動型変動報酬を稼得し得る124人のうち、111人が割当を受けた。

## 保険事業におけるリスク

保険事業におけるリスクは、主として、市場リスク及び保険リスクより構成されている。

ハンデルスバンケンは、子会社のハンデルスバンケン・リヴを通じて生命保険事業を行っている。ハンデルスバンケン・リヴが扱う保険契約は、ユニットリンク保険契約、ポートフォリオ・ボンド保険契約、リスク保険契約（主に健康保険、保険料払込免除特約及び死亡保険）、そして従来型生命保険契約である。ハンデルスバンケン・リヴのリスク許容度は低く、当行のリスク管理原則に従っている。保険事業における主要リスクは市場リスクと保険リスクである。当行のリスク管理原則、リスク管理体制及びリスクの報告と監視については、注記中の該当箇所を参照のこと。

ハンデルスバンケン・リヴのリスク管理方針では、当行がさらされているリスクを示し、これらのリスクに関する取締役会の許容範囲を明確化し、リスク管理の原則及び社内規則を定めている。また、リスクの特定、計測、対応及び報告の原則についても制定している。ハンデルスバンケン・リヴの投資方針は、財務リスクへのエクスポージャーを制限し、保険契約者に対する義務及び法令上の要件に基づき、資産運用に関する全般的な指示を定めている。また、投資ガバナンス及び統制の実施方法、並びに資産の全体的なリスク水準の管理方法についても指示している。資産はリスクの識別、計測、分析及び報告ができるよう慎重に投資を行うものとする。保険事業のリスクは、ハンデルスバンケン・リヴの取締役会及び最高経営責任者、当行の取締役会及び最高経営責任者、並びにグループ・リスク・コントロール部及び最高リスク責任者のリスク・フォーラムに報告されている。

## 市場リスク

市場リスクとは、金利、株価、為替レートの変動などの、金融市場のリスク要因の変動が企業の運用資産や債務の価値の変動をもたらす複合的なリスクである。市場リスクは主に従来型の保険契約において発生するが、保険契約者が価値変動リスクを負っているものの、コミッションやフィーといった当行の報酬が、商品に含まれている運用資産に左右されるユニットリンク保険契約やポートフォリオ・ボンド保険契約からも間接的に発生する。

IFRS第17号に準拠して計上されている従来型生命保険契約及びリスク保険契約から生じる重要な市場リスクについては、注記G34を参照のこと。

## 信用リスク

信用リスクは、主に従来型生命保険契約で生じる。IFRS第17号に準拠して計上されている従来型生命保険契約から生じる信用リスクについては、注記G34を参照のこと。

## 流動性リスク

流動性リスクは、主に従来型の生命保険契約において生じる。IFRS第17号に準拠して計上されている従来型生命保険契約から生じる流動性リスクについては、注記G34を参照のこと。

## 保険リスク

保険リスクとは、金融リスク以外であって、保険契約者からハンデルスバンケン・リヴに移転されるリスクをいう。保険リスクは、主に従来型生命保険契約及びリスク保険契約において生じる。IFRS第17号に準拠して計上されている従来型生命保険契約及びリスク保険契約で発生する重要な保険リスクについては、注記G34を参照のこと。

## 外部による自己資本比率規制

ハンデルスバンケン・リヴは、不測の事態が発生した場合でも保険会社が保険契約者に対する義務を履行するための十分な資本を確保するため、リスクベースの枠組みであるソルベンシー規制を適用し、自己資本及び所要自己資本を設定している。ハンデルスバンケン・リヴは、保険ポートフォリオ全体に対して規制で定められた標準的な計算式を適用している。自己資本と所要自己資本の比率は常に十分な余裕をもって1を上回らなければならない。

2023年12月31日現在のソルベンシー規制上の所要自己資本額は11,559(10,756)百万スウェーデン・クローネ、自己資本は26,174(24,901)百万スウェーデン・クローネであり、ソルベンシー・マージン比率は2.26

(2.32)であった。2023年12月31日現在の最低所要自己資本額は2,890(2,689)百万スウェーデン・クローネである。

ハンデルスバンケン・リヴは、リスクとソルベンシーの自己評価(ORSA)を少なくとも年1回実施し、所定のシナリオ及びストレステストに基づいて将来の所要自己資本を予測している。

## 経済資本

ハンデルスバンクンの経済資本(EC)算定モデルは、当行グループ全体のリスクに対する1つの尺度を提供しているほか、当該モデルは、高い可能性で予想外の損失又は価値の下落をカバーできる資本を示している。

グループ・リスク・コントロール部は、当行グループの様々なリスクについて総合的に監視する責任を有している。当行の経済資本(EC)モデルはこの監視における手段であり、四半期ごとに取締役会に報告される当行の所要自己資本評価の一部でもある。この評価の目的は、当行グループが、当行グループのすべてのリスクに関連して、十分な資本を常に保有しておくことを確実にすることである。当行グループの見解では、経済資本は、保険事業におけるリスク及び当行の年金債務におけるリスクも含んでいる。

経済資本は、1年間の対象期間にわたって、容認可能なリスク水準及び望ましい格付を反映した信頼水準で計算される。取締役会は、経済資本の算定を当行にとって極端に不利な事象を取り込み、99.97%の信頼水準で行われなければならないと決定している。ECは平均的な年(収益があり当行の資産価値が増加する年)における結果と99.97%の信頼水準での結果との差額である。

異なるリスク区分間への分散効果は、ECを算定する際に考慮されている。リスクの一部が相互に独立しているため、リスク全体に対する所要自己資本は、個別リスクに対する経済資本の合計を下回る。

負の結果を吸収できるバッファを形成している資本及びその他の財源は、利用可能な財源(以下、「AFR」という。)と呼ばれる。AFRは、オンバランスシート及びオフバランスシートのその他の財務的価値の他に、1年間の対象期間にわたって損失をカバーするために利用可能なハンデルスバンクンの資本である。

当行グループは、リスク及び資本の状況について株主の視点からも検討している。経済資本モデルは当行グループの全体的な見解を示すものであり、これにより株主から見たリスク及び資本の状態を最適化することができる。計算結果は新規取引又は構造上の変更が検討される場合に重要な役割を果たしている。

信用リスクは、当行グループのすべてのカウンターパーティ及びエクスポージャーに対する債務不履行のシミュレーション結果を用いて算定される。

市場リスクは、トレーディング勘定に分類されている資産のリスク、非トレーディング勘定における金利リスク、保険事業における市場リスク及び非トレーディング勘定の所有株式におけるリスクより構成されている。

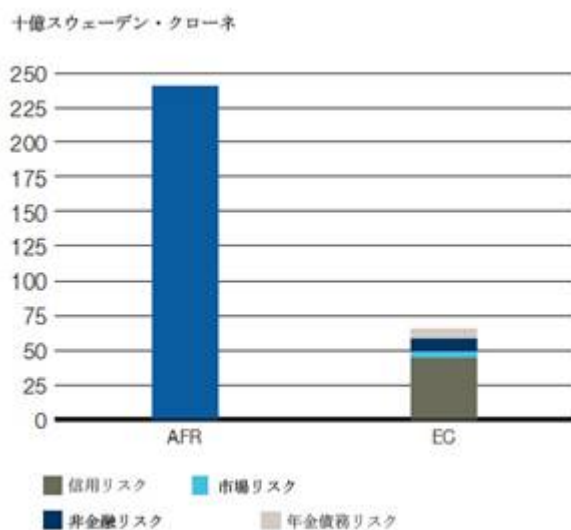
年金債務におけるリスクは、主として、当行の確定給付年金を引き受けるために存在する資産価値の減少リスク、及びこれらの年金債務の価値が金利の影響を受けるという事実により構成されている。年金債務のほとんどはスウェーデンにおけるものであり、年金基金及び職業年金組合により保険がかけられている。

他のリスクは、オペレーショナル・リスク、事業リスク、不動産リスク及び保険リスクである。事業リスクは、各事業分野における財務成績の予想外の変動に関連している。例えば、事業リスクは、需要又は競争環境が予想外に変化し、結果として取引高の低下及び利鞘の縮小につながったことにより生じる可能性がある。不動産リスクは、当行が所有している不動産価値の下落のリスクである。

当年度末において、ECは65.5(54.6)十億スウェーデン・クローネであり、このうち信用リスクが全リスクの重要な部分を占めていた。取締役会は、AFR/EC比率は120%以上とすると規定している。当年度末における比率は、366(413)%であり、当行がリスク全般に関して十分な資本を準備していることを示している。スウェーデン金融監督庁は、当行の資本評価全般について、同じ結論に至っている。

報告されたリスク及び資本状態は、リスクの算定に景気変動に対する保守主義的な余裕率が含まれているとはいえ、あくまでも断片的なものである。当行グループの自己資本比率の最終評価を実施するに当たっては、当行の資本計画の一環として実行されたストレス及びシナリオ分析も考慮されなければならない。

## 2023年におけるAFR及びECの総額と内訳



## 資本計画

ハンデルスバンケンの資本計画は、当行グループの適切な額の財源を常に利用可能な状態にすることを目的としている。

所要自己資本は、当行グループのリスク、予想される進展、規制、目標比率、ハンデルスバンケンの経済資本（EC）モデル及びストレス・テストの関数である。当行の所要自己資本は週次で最高財務責任者及び最高経営責任者に報告され、少なくとも四半期ごとに取締役会に報告される。

当行には、積極的な資本計画の一環として、当行が資本状況を改善する必要がある場合に講じることができる具体的な対策を盛り込んだ危機管理計画及び行動計画がある。危機管理計画及び行動計画の目的は、早い段階で潜在的な脅威を特定し、当行グループが必要に応じて迅速に行動する準備をするための警告システムを確保することにある。

長期資本計画は、少なくとも毎年策定され、当行グループの現在の資本状況、予想される資本効率及び様々なシナリオにおける結果についての包括的な概要を提示することを目的に策定されている。これらのシナリオは、予想される事象とは大きく異なるように作成されているため、当行グループの厳格なリスク許容度と調和している。資本計画にはまた、規制上の見解及び株主の見解の双方を考慮し、極端に不利な事業環境において十分な資本水準を維持する方法についての提案も含まれている。

資本計画は、短期及び中長期的な予測に分けられている。資本計画の一部は最大2年後までの短期予測より構成されており、主に現状の業績と所要自己資本の分析に重点を置いている。当該予測は、自己資本の規模及び構成を継続的に調整可能にするために必要である。

資本計画は、取引高、リスク及び業績の変動についての継続的な分析を通じて、また所要自己資本及び資本金額に影響を及ぼす可能性のある事象を監視することによって実行される。短期予測の対象には、当行グループの自己資本を構成するすべてのサブ・コンポーネントが含まれており、また、資本要件には、規制上の最低資本要件及びバッファに加え、第二の柱の要件、レバレッジ比率の要件及び自己資本・適格債務に関する最低要件（MREL）が含まれている。当該予測作業にはまた、短期的な視点から自己資本比率及び自己資本において予想される変動についての様々な感応度分析を行うことも含まれている。したがって、当行は、例えば市場操作を通じて、必要に応じて自己資本の規模及び構成を変更する準備を整えることができる。

短期分析の結果は、実施される資本運営の基礎となるものであり、週次で最高財務責任者及び最高経営責任者に報告されるほか、必要に応じて取締役会にも報告されている。この分析は、保守的な基本シナリオに基づき、現在の収益力が、様々な数量の変動や、資本運営に影響を及ぼすと見込まれる他の影響にどのように対応できるかについて、短期的な目線での判断ポイントを示している。週次の報告には、基本予測に影響を与えられる様々な市場要因に基づく感応度分析も含まれている。

中長期的な予測より構成される資本計画の部分では、法定自己資本比率要件を確実に遵守することを目的としており、当行グループの利用可能な財源（AFR）が、ECモデルに従って算出されたすべてのリスクに関する適切な余裕率を常にカバーすることを目的としている。

また、長期的な予測にはその期間にわたる当行の全体的な資本の推移、最低資本要件、連結資本バッファ要件、第二の柱の要件、レバレッジ比率の要件及びMRELの要件の評価が含まれる。その目的は業績を予測することであり、様々なシナリオにおける当行の耐性が十分な水準にあるか否か判断することである。計画期間は最低5年間で、当行グループの事業の業績傾向全般を考慮に入れている。

基本シナリオは、長期的な資本予測の基礎を形成している。当該シナリオは利益、取引高の増加、信用損失等財政上の仮定並びに株式市場、不動産市場及び債券市場に関する今後5年間の予想される業績より取得されている。基本シナリオは、その後、いくつかの景気循環及び危機シナリオにおける結果と比較される。ストレス・シナリオは、異なるマクロ経済変数が金融市場に与えた影響の関連性を過去に遡って分析することにより策定され、ハンデルスバンケンに最も不利な影響をもたらすと予想されるシナリオを用いて選定される。地政学的リスク、インフレ、金利上昇及び事業環境の低迷などが合わさったマクロ経済情勢について、当行の視点で分析している。

2023年度末現在の普通株式等Tier1比率は18.8%(19.6)%であった。同日現在のAFR/EC比率は、366(413)%であった。したがって、AFRは、内部所要自己資本（EC）評価額を上回る程の非常に十分な余裕をもって計上されている。

さらに、当行の強さは、ハンデルスバンケンの長期的な資本状況が財政上及び規制上の観点から非常に安定していることを示している、将来予測的な様々なストレス・シナリオの結果からも明らかである。

また資本計画では、規制動向の進展をモニタリングするとともに、新規要件による影響及び所要額を評価している。

## 規制資本に関する当行グループの目標

取締役会は、継続的に当行の資本構成に関する目標を設定している。規制資本の状況に関する所要自己資本評価の基礎は、当行の状況（長期及び短期の両方を含む）に関するストレス及びシナリオ分析である。使用するシナリオは、主に当行の内部的なリスク許容度並びに規制及びその他の公的機関による規定に由来する直接的な要件に基づいている。所要自己資本に関する内部評価に加えて、スウェーデン金融監督庁は、銀行による内部の算定数値にかかわらず、スウェーデンの銀行の目標数値が当局の算出した所要自己資本合計を下回ってはならないことを通知した。当行は、規制資本に関する目標数値を設定する際には、このことを考慮している。

取締役会の決定では、現行の規制の枠組みに基づく当行のガバナンスに最も適した測定数値である普通株式等Tier 1比率は、通常の下では、スウェーデン金融監督庁が当行に通知した普通株式等Tier1比率よりも1から3パーセンテージ・ポイント上回っていなければならない。その他の自己資本の階層（Tier 1自己資本比率及び総資本比率）は、それぞれの自己資本の階層について同監督庁が当行に通知した比率よりも少なくとも1パーセンテージ・ポイント上回っていなければならない。レバレッジ比率は、スウェーデン金融監督庁が当行に通知したレバレッジ比率を最低でも0.6パーセンテージ・ポイント上回っていなければならない。さらに、当行は公的機関が課す他の資本要件をすべて満たす必要がある。さらに、取締役会は、「配当水準により、自己

資本比率はスウェーデン金融監督庁が通知した要件よりも1パーセンテージ・ポイント高い水準を下回ってはならない」と決定している。

当行の評価では、スウェーデン金融監督庁の規定する第4四半期末現在における普通株式等Tier1資本比率は14.8%であった。

[次へ](#)

**注記G3 純利息収益**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
<b>利息収益</b>		
金融機関及び中央銀行への貸出金	29,262	8,873
一般顧客への貸出金	91,518	48,567
中央銀行への担保として適格な利付証券	8,110	1,289
債券及びその他の利付証券	2,076	876
デリバティブ商品	32,227	7,452
その他利息収益	853	1,164
<b>合計</b>	<b>164,046</b>	<b>68,221</b>
金融取引による純損益に計上された利息収益の控除	-4,242	-814
<b>利息収益合計</b>	<b>159,805</b>	<b>67,407</b>
うち、実効金利法による利息収益及びヘッジ会計デリバティブに係る利息収益	133,602	59,702
<b>利息費用</b>		
金融機関及び中央銀行からの預り金	-3,768	-1,567
一般顧客からの預金及び借入金	-35,195	-8,032
発行済証券	-45,983	-16,595
デリバティブ商品	-28,562	-3,454
劣後負債	-1,615	-1,368
預金保証料	-246	-332
その他利息費用	-513	-375
<b>合計</b>	<b>-115,881</b>	<b>-31,723</b>
金融取引による純損益に計上された利息費用の控除	3,654	930
<b>利息費用合計</b>	<b>-112,227</b>	<b>-30,793</b>
うち、実効金利法による利息費用及びヘッジ会計デリバティブに係る利息費用	-100,238	-28,272
<b>純利息収益</b>	<b>47,578</b>	<b>36,614</b>

デリバティブ商品の行には、ヘッジ対象の資産及び負債に関連した純利息収益が含まれている。これは利息収益及び利息費用に正負双方の影響を及ぼす可能性がある。

**注記G4 純手数料及びコミッション収益**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
仲介及びその他証券コミッション	420	455
ミューチュアル・ファンド	5,534	5,469



カストディ及びその他資産管理手数料	997	911
アドバイザリーサービス	236	196
保険	673	672
決済	2,811	2,680
貸出金及び預金	1,156	1,146
保証	196	202
その他	536	546
<b>手数料及びコミッション収益合計</b>	<b>12,559</b>	<b>12,277</b>
証券	-243	-218
決済	-1,053	-969
その他	-124	-108
<b>手数料及びコミッション費用合計</b>	<b>-1,421</b>	<b>-1,296</b>
<b>純手数料及びコミッション収益</b>	<b>11,139</b>	<b>10,981</b>

## セグメント別手数料及びコミッション収益

2023年

百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ	キャピタル・マーケット	その他	調整及び消去	合計
仲介及びその他証券コミッション	154	5	11	11	250	8	-19	420
ミューチュアル・ファンド	4,747	336	231	92	7	187	-65	5,534
カストディ及びその他の資産管理手数料	725	42	110	95	31	1	-8	997
アドバイザリーサービス	0	50	1		186		-1	236
保険	670	0	3			2	-2	673
決済	2,209	326	270	1	15	-10	0	2,811
貸出金及び預金	719	143	114	9	42	130	-1	1,156
保証	100	13	40	1	41	0	-1	196
その他	521	4	4	1	294	0	-287	536
<b>手数料及びコミッション収益合計</b>	<b>9,845</b>	<b>919</b>	<b>784</b>	<b>209</b>	<b>866</b>	<b>318</b>	<b>-382</b>	<b>12,559</b>

## セグメント別手数料及びコミッション収益

2022年

百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ	キャピタル・マーケット	その他	調整及び消去	合計
仲介及びその他証券コミッション	179	3	17	10	242	16	-12	455
ミューチュアル・ファンド	4,715	338	244	61	10	191	-90	5,469
カストディ及びその他の資産管理手数料	654	31	115	79	41	1	-11	911
アドバイザリーサービス	0	48	1		194	-38	-8	196
保険	662	0	10			1	-1	672
決済	2,089	310	275	1	14	-10	0	2,680
貸出金及び預金	764	123	96	10	34	119	-1	1,146
保証	102	15	46	1	40	1	-3	202
その他	525	6	5	1	323	5	-319	546

手数料及びコミッション収益合計	9,691	874	808	163	898	287	-444	12,277
-----------------	-------	-----	-----	-----	-----	-----	------	--------

手数料及びコミッション収益は顧客との契約から生じる収益である。仲介及びその他証券コミッション、アドバイザリーサービス、決済、貸出金及び預金から生じる収益は通常、サービスの提供時となる特定の時点で認識される。ミューチュアル・ファンド、カストディ及びその他の資産管理手数料、保険並びに保証から生じる収益は通常、サービスの提供時となるサービス提供期間にわたり定額法で認識される。

## 運用資産

十億スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
ミューチュアル・ファンド（PPM及びユニットリンク保険を除く）	668	602
PPM	79	67
ユニットリンク保険	204	178
除外：外部ファンド	-2	-2
<b>ミューチュアル・ファンド合計</b>	<b>949</b>	<b>845</b>
仕組商品	3	2
ポートフォリオ・ボンド保険	52	45
除外：ハンデルスバンケンのミューチュアル・ファンド及び仕組商品	-27	-24
従来型保険	6	6
除外：ハンデルスバンケンのミューチュアル・ファンド及び仕組商品	-6	-6
裁量権を有する機関投資家向け資産（保険を除く）	344	317
除外：ハンデルスバンケンのミューチュアル・ファンド及び仕組商品	-298	-270
<b>運用資産合計（保護預り証券勘定を除く）</b>	<b>1,023</b>	<b>915</b>
保護預り証券勘定（ミューチュアル・ファンドを除く）	712	614
保護預り証券勘定（ハンデルスバンケンに関連する基金向けのミューチュアル・ファンドを除く）	38	37

## 注記G5 金融取引による純損益

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
償却原価で計上	668	65
うち、貸出金	95	35
うち、利付証券	0	
うち、発行済証券	573	30
その他包括利益を通じて公正価値で計上	-1	-1
うち、利付証券 - 予想信用損失	0	-1
うち、利付証券 - その他包括利益からの分類変更	-1	
純損益を通じて公正価値で計上、公正価値オプション	670	-4,710
うち、利付証券	670	-4,710
純損益を通じて公正価値で計上(強制)(外貨換算影響額を含む)	1,494	5,975

うち、保険契約者に代わって保有する資産	336	-291
ヘッジ会計	166	-80
うち、公正価値ヘッジに係る純損益	82	-29
うち、キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分	83	-51
<b>合計</b>	<b>2,997</b>	<b>1,249</b>
控除：保険契約者に代わって保有する資産からの収益	-336	291
<b>金融取引による純損益</b>	<b>2,661</b>	<b>1,540</b>

「純損益を通じて公正価値で測定、公正価値オプション」として計上された金融資産の、当初認識時からの信用リスクの変動による価値変動累計額は113(-158)百万スウェーデン・クローネであった。

**注記G6 保険事業による純損益**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
保険収益	1,169	1,208
保険サービス費用 <sup>1</sup>	-958	-929
<b>保険サービスによる損益</b>	<b>211</b>	<b>279</b>
再保険契約からの損益	-10	-18
保険金融収益及び費用	-44	19
<b>保険事業による損益</b>	<b>157</b>	<b>280</b>
保険契約者に代わって保有する資産からの収益	336	-291
<b>保険事業による純損益</b>	<b>493</b>	<b>-11</b>

1) -13(-9)百万スウェーデン・クローネの新契約費は損益計算書に直接計上される。

**注記G7 その他収益**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
賃料収入	14	19
その他営業収益 <sup>1</sup>	311	1,227
<b>合計</b>	<b>325</b>	<b>1,246</b>

1) 2023年度第2四半期に、アクワイアリング事業の売却に起因する付加価値税の還付が収益として認識されたことにより、その他営業収益に対し141百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。2022年度第1四半期にスウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーは不動産保有子会社を売却した。この売却により、その他営業収益に対し1,059百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。

**注記G8 人件費**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
給与及び報酬	-9,532	-8,527
社会保障費	-2,343	-2,240
年金費用 <sup>1</sup>	-1,112	-1,698
利益分配制度に対する準備金	-83	-196
その他人件費	-572	-379
<b>合計</b>	<b>-13,642</b>	<b>-13,040</b>

1) 年金費用の構成要素は、年金費用の表に示されている。

**給与及び報酬**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
執行役員 <sup>1</sup>	-158	-152
その他	-9,374	-8,375
<b>合計</b>	<b>-9,532</b>	<b>-8,527</b>

1) 親会社の執行役員及び取締役並びに子会社の最高経営責任者、副最高経営責任者及び取締役（平均で55名）。

フィンランドの非継続事業に係る人件費は、注記G14に表示されている。

## 男女別分布

%	2023年		2022年	
	男性	女性	男性	女性
執行役員（取締役を除く）	62	38	66	34
うち親会社	53	47	60	40
うち子会社	68	32	70	30
取締役	59	41	60	40
うち親会社	46	54	46	54
うち子会社	62	38	62	38

平均従業員数	2023年	男性	女性	2022年	男性	女性
スウェーデン	7,285	3,530	3,755	6,911	3,350	3,561
英国	2,923	1,632	1,291	2,658	1,490	1,168
ノルウェー	888	460	428	819	424	395
オランダ	415	265	150	382	243	139
米国	53	30	23	53	31	22
ルクセンブルグ	51	27	24	50	24	26
シンガポール				1	1	
ドイツ				2	1	1
ポーランド	16	4	12	15	4	11
その他諸国	52	23	29	63	27	36
合計	11,683	5,971	5,712	10,954	5,595	5,359

フィンランドの非継続事業に係る平均従業員数は、注記G14に表示されている。

## 百万ユーロを超える報酬<sup>1</sup>

人数	2023年	2022年
1.0-1.5百万ユーロ	1	1
1.5-2.0百万ユーロ	1	1
合計	2	2

1) 年金及びその他の給与手当を含む。

## 特定職員<sup>2</sup> に対する報酬<sup>1</sup>、事業セグメント

百万スウェーデン・クローネ	2023年		2022年	
	報酬	人数	報酬	人数
スウェーデンにおける支店業務	440	295	443	306
英国における支店業務	391	192	283	179
ノルウェーにおける支店業務	111	55	128	56
オランダにおける支店業務	87	46	74	46
キャピタル・マーケット	104	24	124	30

非継続事業 <sup>3</sup>	101	37	250	105
その他	306	119	384	139
<b>合計</b>	<b>1,540</b>	<b>768</b>	<b>1,686</b>	<b>861</b>

1) 稼得された報酬は、年金及びその他給付を含め、全額費用として認識されている。

2) 当行のリスク・プロファイルに大きな影響を及ぼす職務を担う従業員（委員会委任規則(EU)923/2021）。報酬方針が他のEU規則又はスウェーデン金融監督庁が発表した他の規則の対象となる、変動報酬を受ける特定職員又は他の特別指定従業員が子会社にいる可能性がある。

3) フィンランドの非継続事業。

## 特定職員<sup>2</sup> に対する報酬<sup>1</sup>

	2023年		2022年	
	経営幹部 <sup>3</sup>	その他の 特定職員	経営幹部 <sup>3</sup>	その他の 特定職員
固定報酬稼得額（百万スウェーデン・クローネ）	122	1,393	118	1,484
業績連動型変動報酬稼得額 （百万スウェーデン・クローネ）				
その他の変動報酬稼得額 （百万スウェーデン・クローネ）	0	25	0	84
<b>合計</b>	<b>122</b>	<b>1,418</b>	<b>118</b>	<b>1,568</b>
固定報酬のみの人数	1	23		20
固定報酬及び業績連動型報酬の双方の受給が可能な 人数				
固定報酬及び変動報酬の双方の受給が可能な人数	15	729	16	825
<b>合計人数</b>	<b>16</b>	<b>752</b>	<b>16</b>	<b>845</b>

新規雇用に関連する費用として認識される変動報酬  
保証額（百万スウェーデン・クローネ）

新規雇用に関連する費用として認識される契約上の  
変動報酬保証額（百万スウェーデン・クローネ）

1) 稼得された報酬は、年金及びその他給付を含め、全額費用として認識されている。業績連動型変動報酬は、当行の変動報酬に関する方針に従って、稼得が決まった後の事業年度に個人単位で割り当てられ、支払われ、又は繰延べられる。職務内容から特定職員と認定された中で、2023年度において業績連動型変動報酬を稼得した従業員はいなかった。上記に加えて、2023年度において、報酬水準から特定職員と識別された従業員は1名であり、報酬額は4.5百万スウェーデン・クローネであった。2023年度に稼得された業績連動型変動報酬の支払いは、2024年春に行われる予定である。2022年度において報酬水準から特定職員と識別された従業員は2名であり、うち1名に合計1百万スウェーデン・クローネの業績連動型変動報酬が付与され、そのうち0.5百万スウェーデン・クローネが2023年度に支払われている。すべての業績連動型変動報酬は現金又は金融商品で支払われ、当該金額から社会保障費は除かれている。繰延報酬の処分権は支払時に従業員に移転する。その他の変動報酬は、オクトゴネン利益分配制度からの支給と解雇給付である。オクトゴネン利益分配制度からの報酬の支給は21(8)百万スウェーデン・クローネであり、当該金額から社会保障費は除かれている。当年度の契約における解雇給付の総額は4(76)百万スウェーデン・クローネであり、個人に支払われた最高額は1.4(7.2)百万スウェーデン・クローネであった。当年度中に、特定職員6(12)名に対する解雇給付11(17)百万スウェーデン・クローネが支払われた。変動報酬保証額の支給はなかった。

2) 当行のリスク・プロファイルに大きな影響を及ぼす職務を担う従業員（委員会委任規則(EU)923/2021）。報酬方針が他のEU規則又はスウェーデン金融監督庁が発表した他の規則の対象となる、変動報酬を受ける特定職員又は他の特別指定従業員が子会社にいる可能性がある。

3) スウェーデン金融監督庁の規則（FFFS 2011年第1号）に基づく。

## 従業員給付

ハンデルスバンケン・グループのすべての従業員への報酬に関する方針についての詳細な情報は、コーポレート・ガバナンス・レポートの74ページから75ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2023年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）に記載されている。

スウェーデン金融監督庁規則FFFS 2011年第1号並びに欧州委員会委任規則575/2013及び923/2021に従い、銀行は、そのリスク・プロファイルに大きな影響を与える専門的な職務を行う従業員を特定する必要がある。ハンデルスバンケンはこのような職務を行う従業員769(861)名を特定し、「特定職員」に指定している。上述の規定の開示要件に準拠したハンデルスバンケン・グループのこれらの特定職員に対する報酬が、上表に記載されている。2023年に、ハンデルスバンケン・グループには、当行のリスク・プロファイルに大きな影響を及ぼす職務を負っている従業員のうち、業績連動型変動報酬を受給した従業員はいなかった。

2023年度には、ハンデルスバンケンがオクトゴーネン利益分配制度に83(212)百万スウェーデン・クローネを引き当てた。

## オクトゴーネン利益分配制度

オクトゴーネン利益分配制度は、ハンデルスバンケン・グループの全従業員を対象としており、本制度は変動報酬に分類され、ハンデルスバンケンの企業目標の達成に連動する収益性指標と、当行の業績に関する取締役会の総合評価に基づいて決定される。支給は主として従業員に対する現金で行われるか、又は年金制度、貯蓄制度若しくはその両者の組み合わせで行われる。

## 株式報酬

ハンデルスバンケン・ピーエルシーの全従業員は、適用される英国法に基づき、株式報酬プログラム（「SIP」）の対象となっている。本制度の報酬は、親会社であるハンデルスバンケン・エイ・ビーの株式という形式で決済される。SIPでは、英国を拠点とする信託が会社の代わりに株式報酬プログラムを管理することが要求されているため、信託が設立されSIP受託人が管理している。信託は株式を取得し、従業員に割り当て、その後は従業員に代わって割り当てられた株式を保有している。従業員に割り当てられた株式は、従業員への課税を回避するため、SIPで年間以上にわたって権利確定するものとし、権利確定期間中に受け取る配当金は、従業員に発生する。

SIPへの割当条件と収益条件はオクトゴーネン利益分配制度と同じであることから、対象期間は前年度である。「ハンデルスバンケンにおける報酬原則」の項を参照のこと。ハンデルスバンケン・ピーエルシーの取締役会は、株式報酬プログラムへの最終的な配分を決定する。

2023年度には、78.6(25.0)百万スウェーデン・クローネの株式報酬が2022年度に係る費用として計上され、資本の増加として認識されている。当行の株式報酬費用は、その後変更することはできない。この支払は、信託がハンデルスバンケン・エイ・ビーの株式891,271(282,108)株を1株当たり平均市場価格91.8(88.8)スウェーデン・クローネで市場から買い入れることで決済され、株式は従業員に割り当てられた。当行グループにとっては、ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株式の取得は自己株式の買戻しに相当し、資本が減少した。持分変動計算書を参照のこと。

## 執行役員に対する報酬

ハンデルスバンケンの執行役員は、取締役、最高経営責任者、副最高経営責任者、最高リスク責任者、最高コンプライアンス責任者及びその他の経営幹部である。コーポレート・ガバナンス報告書の78ページから81ページも参照のこと（訳注：ハンデルスバンケンの2023年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）。親会社の執行役員に対する報酬は、2022年年次株主総会で策定された報酬に関するガイドラインに従っている。75ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2023年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）も参照のこと。

ハンデルスバンケンの執行役員に対する報酬、年金債務、与信及び預り金は、これらのページに記載されている。また、子会社の最高経営責任者、副最高経営責任者及び取締役もこれに含まれる。

ハンデルスバンケン・グループの執行役員に対する報酬は固定給及び年金給付の形式のみで支給されるが、社用車等の慣習的な給付もある。取締役会の特別決議に基づき、当行は報酬の一部として住宅を提供することができる。当執行役員は、当行の全従業員と同じ条件でオクトゴーネン利益分配制度の対象となっている。業績連動型変動報酬の支給は行われず、当行の従業員である執行役員は、すべての従業員と同じ条件で給与を年金に転換する権利も有している。

当行の従業員でもなく当行の子会社の従業員でもない取締役は、年次株主総会の決議に従った報酬のみを受け取る。

当行又は当行の子会社の従業員である取締役は、雇用の事由により報酬及び年金給付を受け取る。取締役を務めることによって追加的に報酬も年金給付も支給されることはない。親会社の取締役に対する報酬については、コーポレート・ガバナンス報告書の78ページから81ページ（訳注：ハンデルスバンケンの2023年の年次報告書原文の項目名であり、当該項目は本書には含まれていない。）に記載されている。

執行役員に関する以下の報酬情報において当行が記載した年金費用は、IAS第19号に準拠した確定給付年金に関する勤務費用、確定拠出年金に関して合意された保険料、及び給与から転換された年金保険料で構成される。

当行を代表して他の会社の取締役を務めたことによる外部報酬は、当行に支払われている。



## 最高経営責任者、副最高経営責任者、経営幹部及び統制部門長に対する報酬

(百万スウェーデン・クローネ)	固定報酬				変動報酬		年金費用、確定給付制度及び確定拠出制度		年金費用を含む固定報酬及び変動報酬		報酬合計に占める固定報酬の割合	
	基本給		手当		2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年
	2023年	2022年	2023年	2022年								
最高経営責任者												
カリナ・オーケストレーム <sup>1</sup>	14.5	14.0	0.6	0.6	0.0	0.0	5.1	4.9	20.2	19.5	100%	100%
副最高経営責任者												
カール・セダーシオルド <sup>2</sup>	7.8	7.3	0.2	0.2	0.0	0.0	2.0	2.1	10.0	9.6	100%	100%
ペール・ベックマン <sup>3</sup>	7.5	6.3	0.3	0.3	0.0	0.0	2.3	3.6	10.1	10.2	100%	100%
経営幹部及び統制部門の他のメンバー <sup>4</sup>	61.4	53.9	4.9	4.0	0.3	0.1	14.1	12.5	80.7	70.5	100%	100%
平均人数：												
最高経営責任者、副最高経営責任者、経営幹部及び統制部門	15	15										
12月現在の人数：												
最高経営責任者、副最高経営責任者及び統制部門	15	15										

年金費用とは、IAS第19号に準拠し、確定給付年金制度に基づいて積み立てた年金、又は確定拠出年金制度に備えて支払った保険料をいう。積み立てられた確定給付年金は権利確定され、当行の年金基金又は当行の年金基金で確保される。退職年齢より前に退職する場合には、積み立てられた確定給付年金に係る払込済保険及び/又は稼得済みの確定拠出年金を受け取る。オクトゴーネン利益分配制度の形式による変動報酬の支給が2023年度に実施された。地方税及び社会保障費控除前の金額は、従業員一人当たり34,194 (10,965)スウェーデン・クローネであった。

- 1) 最高経営責任者に就任以降は給与の35%を確定拠出年金として受給する。定年は62歳である。従前に受給した確定給付年金は払込済保険契約として受け取る。
- 2) 労働協約に基づく確定給付年金と、確定拠出年金（所得基準額が30を上回る部分については給与の30%を上限とする）を受給している。定年は65歳であり、確定給付年金は定年時に全額受給する。
- 3) 2023年10月18日より給与の35%、それより前は給与の30%を確定拠出年金として受給する。従前に受給した確定給付年金は全額権利が確定しており、払込済保険契約として受け取る。
- 4) 当行の他の執行役員は、労働協約に基づき確定給付年金又は確定拠出年金と、確定拠出年金（労働協約の所得上限を超える給与の35%を上限とする）を受給している。ただし、給与総額の35%を年金額の上限とする執行役員1名と、年金を受給しない執行役員1名を除く。定年は65歳（執行役員1名は67歳）であり、確定給付年金は定年時に全額受給する。基本給及び年金額は給与控除前の金額である。他の経営幹部及び統制部門長のうち、1名が1.6百万スウェーデン・クローネの給与を年金に切り替えている。

## 子会社の執行役員に対する報酬

子会社の取締役のうち当行の従業員でも当行の子会社の従業員でもない者20(19)名に対する報酬は、17.9(11.1)百万スウェーデン・クローネであった。

2023年に、子会社の最高経営責任者<sup>1</sup>及び副最高経営責任者である15(17)名は、年金への切り替え後で48.3(57.9)百万スウェーデン・クローネの固定給を受領した。その他給付は6.2(3.9)百万スウェーデン・クローネで、当行の年金費用は6.0(6.2)百万スウェーデン・クローネであった。年金への切り替え前の年金費用は4.6(4.9)百万スウェーデン・クローネであり、給与の9.2(8.3)%に相当した。オクトゴーネン利益分配制度の形式による変動報酬は0.4(0.1)百万スウェーデン・クローネであった。

子会社の最高経営責任者及び副最高経営責任者のうち、主要業務がハンデルスバンケンにおける他の役割である者には、報酬は支給されていない。

1) ハンデルスバンケン・ピーエルシーの最高経営責任者も経営幹部の一員である。

## 執行役員に対する年金債務

2023年12月31日現在、最高経営責任者であるカリナ・オーケストレーム氏に対する年金債務<sup>2</sup>は、最高経営責任者に就任前に稼得し、払込済となっている84.5(76.5)百万スウェーデン・クローネであった。2023年12月31日現在、副最高経営責任者であるパー・ベックマン氏に対する年金債務は、105.7(89.0)百万スウェーデン・クローネであり、副最高経営責任者であるカール・セダーシオルド氏に対する年金債務は、10.0(7.5)百万スウェーデン・クローネであった。その他の親会社の執行役員12(13)名に対する年金債務は、121.2(107.4)百万スウェーデン・クローネであった。

2023年12月31日現在、ハンデルスバンケン・グループの現在及び過去の執行役員に対する年金債務合計は、2,649(2,485)百万スウェーデン・クローネであった。そのうち2023年12月31日現在、親会社の現在及び過去の執行役員に対する年金債務合計は、2,458(2,332)百万スウェーデン・クローネであった。当行グループのこれらの債務の対象となる人数は87(91)名であり、そのうち65(68)名は年金受給者である。これに該当する親会社の人数は71(76)名であり、そのうち56(61)名は年金受給者である。

2) 年金債務とは、IAS第19号に従って、当行が将来の確定給付年金の支払いに備えて引き当てている金額である。その債務の規模は財務上及び人口統計上の仮定の変動に応じて毎年変わる可能性がある。

## 執行役員への与信及び執行役員からの預金

2023年12月31日現在、執行役員への与信額は、親会社で16.3(16.8)百万スウェーデン・クローネ、子会社で123.5(136.5)百万スウェーデン・クローネであった。親会社のこれらの人員からの預金額は、合計で474.2(664.7)百万スウェーデン・クローネであった。2023年のこれらの人員に対する与信に係る当行の利息収益は、親会社で合計0.1(0.0)百万スウェーデン・クローネ、子会社で合計3.3(1.8)百万スウェーデン・クローネであった。親会社のこれらの人員からの預金に対して支払った利息は、18.9(3.7)百万スウェーデン・クローネであった。

2023年12月31日現在、ハンデルスバンケン・グループの子会社の執行役員に対する与信額は、112.7(149.4)百万スウェーデン・クローネであった。

ハンデルスバンケン・グループに雇用されている執行役員への与信及び執行役員からの預金の契約条件は、ハンデルスバンケン・グループの他の全従業員と同じ方針に従ったものである。すべての与信は、与信評価の対象となる。

## 年金

### 正味年金債務

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
年金債務	31,097	26,419
制度資産の公正価値	42,796	39,294
正味年金	11,699	12,875

上表の年金債務及び制度資産に加えて、1989年から2004年までの期間においては、スヴェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse（年金基金）の特例付加年金(SKP)に対する引当金が計上された。この

引当金には、市場価値が7,355(7,847)百万スウェーデン・クローネである制度資産が含まれている。この特例付加年金によって、当行はその制度資産と同額の債務を負担することになっている。

この債務のうち、5,651(5,871)百万スウェーデン・クローネは条件付債務である。

#### 年金費用

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
勤務費用	-398	-708
過去勤務費用	1	
年金債務に係る利息	-1,111	-721
制度資産に係る利息	1,678	913
社会保障負担額、確定給付年金制度 <sup>1</sup>		-152
<b>年金費用、確定給付年金制度</b>	<b>170</b>	<b>-668</b>
年金費用、確定拠出年金制度 <sup>2</sup>	-957	-747
社会保障費、確定拠出年金制度 <sup>2</sup>	-325	-283
<b>年金費用合計</b>	<b>-1,112</b>	<b>-1,698</b>

1) 2022年度に当行が年金基金に対し年金費用の払戻を請求しないと決定したことにより、確定給付年金制度に対する特別給与税として

152百万スウェーデン・クローネの費用が発生した。注記P40を参照のこと。

2) フィンランドの非継続事業に係る年金費用は、注記G14に表示されている。

#### 年金債務

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
期首残高	26,419	34,841
勤務費用	433	776
過去勤務費用	-1	
年金債務に係る利息	1,111	721
給付金支払額	-1,248	-1,051
数理計算上の利益(-)/損失(+)	4,355	-8,950
外貨換算影響額	28	82
<b>期末残高<sup>1</sup></b>	<b>31,097</b>	<b>26,419</b>

1) 2023年12月31日現在の期末残高には、2024年度に関する6.48(10.84)%のヘッジがスウェーデンの年金債務の計算に含まれている。決定されたヘッジを含めた影響により、2023年12月31日現在の年金債務は938(2,335)百万スウェーデン・クローネ増加した。

#### 制度資産

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
期首残高	39,294	43,607
制度資産に係る利息	1,678	913
雇用主の拠出による積立金	924	974
雇用主に対する報酬	-786	-57
従業員に直接支払われる積立金	-399	-343

数理計算上の利益(+)/損失(-)	2,129	-5,901
外貨換算影響額	-44	101
<b>期末残高</b>	<b>42,796</b>	<b>39,294</b>

**制度資産に係る収益**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
制度資産に係る利息	1,678	913
数理計算上の利益(+)/損失(-)	2,129	-5,901
<b>実際の収益</b>	<b>3,807</b>	<b>-4,988</b>

**制度資産の配分**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
活発な市場における株式及びミューチュアル・ファンド・ユニット <sup>1</sup>	32,860	28,690
活発な市場に上場していない株式	2,179	2,163
活発な市場に上場している利付証券	6,991	6,518
その他制度資産	766	1,923
<b>合計</b>	<b>42,796</b>	<b>39,294</b>

1) ミューチュアル・ファンド・ユニットは24,568(21,649)百万スウェーデン・クローネであり、そのうち債券ファンドは18,797(17,093)百万スウェーデン・クローネである。

各年度の貸借対照表日現在、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトが発行した株式及び債券のいずれも制度資産には含まれていない。2023年12月31日現在、その他制度資産には現金及び現金同等物と年金基金からの未払報酬に関する負債の両方が含まれている一方で、2022年12月31日現在は現金及び現金同等物のみ含まれている。

**数理計算上の利益(-)/損失(+)、年金債務**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
人口統計上の仮定の変更	6	-459
財務上の仮定の変更	2,842	-11,006
実績に基づく調整	1,507	2,515
<b>合計</b>	<b>4,355</b>	<b>-8,950</b>

**将来キャッシュ・フロー**

百万スウェーデン・クローネ	2023年実績	2024年予測
給付金支払額	-1,248	-1,229
雇用主の拠出による積立金	924	1,133

確定給付年金は、主としてスウェーデンの従業員に対して支払われる。正味年金債務の合計のうち、スウェーデンの制度は29,053(24,488)百万スウェーデン・クローネ、英国の制度（新規の積立を終了）は1,986(1,864)百万スウェーデン・クローネである。また、ノルウェーにも小規模の確定給付年金制度があるが、規模の面から重要性はないとみなされるため、詳細な開示は行っていない。

制度資産総額のうち、スウェーデンの制度資産は40,721(37,339)百万スウェーデン・クローネであり、2,075(1,955)百万スウェーデン・クローネが英国で廃止された年金制度によるものである。

スウェーデンでは、スウェーデン銀行雇用主協会（以下、「BA0」という。）とスウェーデン金融セクター組合/スウェーデン専門職連盟（以下、「Saco」という。）との年金契約に従って、65歳から退職年金が支給される。年金額は、所得基準額が7.5までは年収の10%、所得基準額が7.5から20の給与部分については65%、所得基準額が20から30の給与部分については32.5%である。所得基準額が30を上回る給与部分については、退職年金は支給されない。2020年3月1日以降、すべての新入社員及びその時点で25歳未満の従業員は確定拠出年金制度の対象であるが、2020年3月1日より前に雇用された従業員はこの影響を受けず、引き続き確定給付年金制度の対象となっている。

年金制度は、外部で積立てが行われている。すなわち、制度資産は年金基金、信託会社又は類似の法人が保有している。信託会社（又は同等の機関）の活動は、当行グループと制度資産を運用している信託会社（又は同等の機関）との間の関係に適用される国内法及び実務慣行、並びに制度資産の投資方法に関する枠組みによって規制されている。スウェーデンでは、年金債務法及び企業年金制度に関する法律が主な国内法及び慣行として適用される。英国では年金及び課税に関する国内法令が適用される。

#### 重要な仮定

	スウェーデン		英国	
	2023年	2022年	2023年	2022年
割引率（%）	3.5	4.2	4.5	4.9
予想昇給率（%）	3.5	3.5		
年金指標（%）	2.0	2.0	3.0	3.0
所得基準額（%）	3.0	3.0		
インフレ率（%）	2.0	2.0	3.0	3.2
離職率（%）	5.0	5.0		
退職時の年齢を基準にした平均余命（年）	22.8	23.1	24.0	24.0
平均デュレーション（マコーリー）（年）	14.8	14.1	14.0	15.0

将来の昇給率やインフレ率等の仮定は長期予測トレンドに基づいている。当行のスウェーデンの年金債務のデュレーションは約15年であり、仮定においてこれを考慮している。長期的な経済見通しを反映し、内部的に整合がとれたものとなっている。

#### 年金債務への影響（百万スウェーデン・クローネ）

#### 感応度分析

感応度分析	仮定の変化	年金債務の増加		年金債務の減少	
		2023年	2022年	2023年	2022年
割引率（%）	0.5	2,480	2,021	-2,202	-1,801
予想昇給率（%）	1.0	954	433	-791	-1,080
年金指標（%）	0.5	1,552	1,273	-1,444	-1,187
退職時の年齢を基準にした平均余命（年）	1.0	985	793	-988	-800

上表の感応度分析は、1つの仮定が変化し、それ以外の仮定がすべて一定であることを前提としている。実務上このような場合が起こる可能性は低く、一部の仮定の変化には相関関係がある可能性がある。年金債務の重要な数理計算上の仮定に対する感応度を計算する際には、貸借対照表に認識される年金債務を計算する際と同様の手法を適用している。その手法は、当行の会計方針（注記G1のセクション13を参照）に記載されている。2022年度の年次報告書と比較して、感応度分析を作成する際に用いた手法は変更されていない。

当行は、確定給付年金制度において、いくつかのリスクにさらされている。そのうち、最も重要なリスクは以下のとおりである。

**資産のボラティリティ：**年金債務は、社債利回りを参照して設定される割引率を用いて計算されている。制度資産の運用実績がこの利回りを下回る場合、制度資産には余剰価値があることから、債務超過に陥るリスクは低い。制度資産には、短期的にはボラティリティ及びリスクを伴うが、長期的には社債利回りを上回る程の実績が見込める株式及びエクイティ・ファンドが含まれている。年金債務は長期的な性質を有していることから、当行は、株式投資の比率を高くすることが当行の長期にわたる年金制度の効率的運用のために戦略上適切であると考えている。

**社債利回りの変動：**社債利回りが減少すると、その減少の一部は年金制度で保有する社債の価値の増加によって相殺されるものの、年金債務が増加することになる。

**インフレ・リスク：**年金債務はインフレ率と連動しており、インフレ率が上昇すると年金債務は増加することになる。制度資産の評価額はインフレ率による直接の重大な影響を受けることはない。すなわち、インフレ率が上昇すると、制度資産の赤字幅もおそらく拡大することになる。

**平均余命：**年金制度は、加入者の生涯にわたって給付を提供するためのものである。したがって、平均余命が延びると、年金債務は増加することになる。

**資産負債マッチング (ALM)：**制度資産の構成は、年金債務の構成及び予想される推移と整合している。ALMの全般的な目標は、中長期にわたって、少なくとも年金債務の推移に対応できる程の運用収益を生み出すことである。制度資産の一部を株式へ投資しているが、固定利付商品や現金及び現金同等物への投資も行われている。株式をかなりの割合で保有することが、年金制度の効果的な運用のために適切であると考えている。

**拠出額に関する取決め：**最低拠出額に関する規定は制度によって異なるが、この規定が団体契約又は内部方針に基づく場合、現地の規定に従って測定される年金債務は原則として全額カバーされる。拠出額の水準は、定期的に監視されている。当行は、現行の拠出率は妥当であると考えている。

[次へ](#)

## 注記G9 その他費用

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
不動産及び建物設備	-686	-599
IT関連費用	-3,379	-2,963
通信費	-284	-255
旅費及びマーケティング費用	-299	-236
購入したサービス	-2,355	-1,836
備品費	-188	-170
その他費用	-605	-467
合計	-7,796	-6,526

監査人及び監査法人に対する報酬 <sup>1</sup>	プライスウォーターハウス クーパーズ・エイ・ビー		デロイト・エイ・ビー		アーンスト・アンド・ ヤング・エイ・ビー	
	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ						
監査業務	-39	-35	-8			-7
当該監査業務以外の監査上の業務	-6	-6	-2			-1
税務アドバイス						
その他サービス		0				

1) 上表の金額には付加価値税は含まれていない。



## 注記G10 信用損失

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
<b>貸借対照表項目に係る予想信用損失</b>		
ステージ3に分類された貸出金に対する当年度の引当金	-328	-182
ステージ3に分類された貸出金に対する引当金の、 過年度に他のステージに分類された貸出金に対する引当金の戻入	209	223
<b>ステージ3に分類された貸出金に対する予想信用損失合計</b>	<b>-119</b>	<b>41</b>
ステージ2に分類された貸出金に対する当年度の引当金純額	-112	-99
ステージ1に分類された貸出金に対する当年度の引当金純額	39	-109
<b>ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対する 当年度の予想信用損失合計</b>	<b>-72</b>	<b>-207</b>
<b>貸借対照表項目に係る予想信用損失合計</b>	<b>-192</b>	<b>-166</b>
<b>オフバランスシート項目に係る予想信用損失</b>		
ステージ3に分類されたオフバランスシート項目に対する 当年度の引当金純額	8	11
ステージ2に分類されたオフバランスシート項目に対する 当年度の引当金純額	-39	-31
ステージ1に分類されたオフバランスシート項目に対する 当年度の引当金純額	8	-4
<b>オフバランスシート項目に係る予想信用損失合計</b>	<b>-23</b>	<b>-25</b>
<b>償却</b>		
当年度の実際の信用損失 <sup>1</sup>	-260	-738
ステージ3に分類された貸出金に対する従前の引当金の取崩	185	636
<b>償却合計</b>	<b>-75</b>	<b>-102</b>
回収	149	245
<b>正味信用損失</b>	<b>-141</b>	<b>-47</b>
うち、一般顧客への貸出金	-120	-26
1) 当年度の実際の信用損失のうち、99(216)百万スウェーデン・クローネが強制執行の対象となる。		
百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
1) ステージ3に分類された貸借対照表項目及びオフバランスシート項目に 係る予想信用損失	-111	52
<b>ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するモデルベースの 引当金の変動額</b>		
マクロ経済シナリオ及びリスク要因の更新	206	-104

影響を受けた業種のエクスポージャーのステージ1からステージ2への振替 <sup>1</sup>	2	10
ポートフォリオのデフォルトリスクの変動(格付の正味変動)	-483	-1
エクスポージャーの変動の影響(既存/新規/終了したエクスポージャー)	49	40
ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対する その他の予想信用損失	112	-69
除外：非継続事業	-7	4
<b>ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対するモデルベースの 信用損失</b>	<b>-121</b>	<b>-120</b>
<b>エキスパートベースの引当金</b>		
エキスパートベースの引当金	-617	-646
除外：非継続事業	13	25
継続事業におけるエキスパートベースの引当金	-604	-621
<b>ステージ1及びステージ2に分類された貸出金に対する エキスパートベースの信用損失(前年度と比較した引当金の変動)</b>	<b>17</b>	<b>-122</b>
<b>2) ステージ1及びステージ2に分類された貸借対照表項目及び オフバランスシート項目に係る予想信用損失</b>	<b>-104</b>	<b>-242</b>
<b>3) 償却</b>	<b>-75</b>	<b>-102</b>
<b>4) 回収</b>	<b>149</b>	<b>245</b>
<b>正味信用損失(1+2+3+4)</b>	<b>-141</b>	<b>-47</b>

#### 1) 信用リスクの著しい増大に関するエキスパートベースの評価

2023年において引当必要額が増加したのは、主に顧客株式の格付がネガティブに推移していることによる。ただし、将来のインフレ率と金利の予測が、前年度末の予測と比較してより有利な見通しとなり、将来予測的なマクロ経済リスク要因に関する数値が更新された影響によって一部相殺されている。また、その他多数の要因が重なり、当年度には引当金所要額の増加が抑えられている。

当年度において、当行は、自行のリスクモデルでは十分に考慮されていないと考えられる不確実性要因に関連する信用リスクの上昇を踏まえて、エキスパートベースの引当金を適用した。これらの不確実性要因は主に、マクロ経済情勢及び需要状況が大きく変化する可能性に関連している。年度末時点で、上述の不確実性が信用リスクに与える影響を個々の企業レベルで見積もることが難しいことから、当行はリスク感応度が高いセクターにエキスパートベースのストレスを適用した。このストレスは、モデルベースの算定に加えて適用され、追加の引当必要額は継続事業では604(621)百万スウェーデン・クローネ、非継続事業を含めると617(646)百万スウェーデン・クローネに達した。

ステージ3に分類された契約の減損テストプロセスは変更されておらず、個別評価の手続は従来通りに行われている。

#### 減損テストの対象となる貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、2023年

	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3 <sup>1</sup>	ステージ1	ステージ2	ステージ3
百万スウェーデン・クローネ						
<b>貸借対照表項目</b>						
現金及び中央銀行預け金	476,162					
中央銀行へのその他貸出金	32,145					
中央銀行への担保として適格な利付証券						
その他金融機関への貸出金	19,289	11		-1	-1	
一般顧客への貸出金	2,292,700	136,848	7,064	-426	-819	-1,150
債券及びその他の利付証券	12,709			-2		
<b>合計</b>	<b>2,833,004</b>	<b>136,859</b>	<b>7,064</b>	<b>-430</b>	<b>-820</b>	<b>-1,150</b>
<b>オフバランスシート項目</b>						
偶発債務	284,693	11,262	164	-94	-203	-42
うち、保証等	56,464	1,596	60	-11	-40	-22
うち、コミットメント	228,229	9,666	104	-83	-163	-20
<b>合計</b>	<b>284,693</b>	<b>11,262</b>	<b>164</b>	<b>-94</b>	<b>-203</b>	<b>-42</b>

本注記の情報には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更され、非継続事業となったフィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

#### 減損テストの対象となる貸借対照表項目及びオフバランスシート項目、2022年

	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3 <sup>1</sup>	ステージ1	ステージ2	ステージ3
百万スウェーデン・クローネ						
<b>貸借対照表項目</b>						
現金及び中央銀行預け金	475,853			0		
中央銀行へのその他貸出金	32,620			0		
中央銀行への担保として適格な利付証券	200			0		
その他金融機関への貸出金	9,418	1		-2	-1	
一般顧客への貸出金	2,374,713	91,349	5,716	-475	-722	-1,257
債券及びその他の利付証券	9,882			-2		
<b>合計</b>	<b>2,902,686</b>	<b>91,350</b>	<b>5,716</b>	<b>-480</b>	<b>-723</b>	<b>-1,257</b>
<b>オフバランスシート項目</b>						
偶発債務	314,586	12,533	274	-103	-169	-82
うち、保証等	58,973	1,935	67	-6	-11	-19
うち、コミットメント	255,613	10,598	207	-97	-158	-63
<b>合計</b>	<b>314,586</b>	<b>12,533</b>	<b>274</b>	<b>-103</b>	<b>-169</b>	<b>-82</b>

1) 受け入れた担保により、引当金を計上しなかったステージ3貸出金の総額は4,781(3,270)百万スウェーデン・クローネであった。

## 主要な数値、信用損失、%

## 一般顧客への貸出金

	2023年	2022年
信用損失率、ACC	0.01	0.00
信用損失引当率合計	0.10	0.10
ステージ1に分類された貸出金に対する信用損失引当率	0.02	0.02
ステージ2に分類された貸出金に対する信用損失引当率	0.60	0.79
ステージ3に分類された貸出金に対する信用損失引当率	16.28	21.99
ステージ3に分類された貸出金の割合	0.24	0.18

## 変動分析

## 減損テスト対象の貸借対照表項目に対する予想信用損失引当金の変動

## 2023年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-480	-723	-1,257	-2,459
認識中止した資産	37	89	211	337
償却	0	1	213	214
信用リスクの変動による再測定	-219	140	-96	-175
推計手法の更新による変動	-32	-16		-48
外貨換算影響額等	2	2	1	5
購入又は組成した資産	-34	-33	-8	-75
ステージ1への振替	-40	56	1	17
ステージ2への振替	169	-503	6	-328
ステージ3への振替	167	166	-221	111
期末現在引当金	-430	-820	-1,150	-2,400

## 減損テスト対象の貸借対照表項目に対する予想信用損失引当金の変動

## 2022年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-399	-693	-2,093	-3,185
認識中止した資産	71	165	301	536
償却	0	1	671	672
信用リスクの変動による再測定	-228	201	-21	-47
推計手法の更新による変動				
外貨換算影響額等	-11	-8	-24	-43
購入又は組成した資産	-53	-52	-9	-114
ステージ1への振替	-38	44	8	14
ステージ2への振替	70	-470	16	-384
ステージ3への振替	108	89	-106	92
期末現在引当金	-480	-723	-1,257	-2,459

## 減損テスト対象の一般顧客への貸出金に対する予想信用損失引当金の変動

2023年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-475	-722	-1,257	-2,454
認識中止した資産	36	89	211	337
償却	0	1	213	214
信用リスクの変動による再測定	-219	140	-96	-176
推計手法の更新による変動	-32	-16		-48
外貨換算影響額等	2	2	1	5
購入又は組成した資産	-34	-33	-8	-75
ステージ1への振替	-40	56	1	17
ステージ2への振替	169	-502	6	-326
ステージ3への振替	167	166	-221	111
期末現在引当金	-426	-819	-1,150	-2,395

## 減損テスト対象の一般顧客への貸出金に対する予想信用損失引当金の変動

2022年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-395	-690	-2,093	-3,178
認識中止した資産	70	165	301	535
償却	0	1	671	672
信用リスクの変動による再測定	-227	199	-21	-49
推計手法の更新による変動				
外貨換算影響額等	-11	-8	-24	-43
購入又は組成した資産	-52	-52	-9	-113
ステージ1への振替	-38	44	8	14
ステージ2への振替	70	-470	16	-384
ステージ3への振替	108	89	-106	92
期末現在引当金	-475	-722	-1,257	-2,454

上表の予想信用損失引当金には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。

## 減損テスト対象のオフバランスシート項目に対する予想信用損失引当金の変動

2023年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-103	-169	-82	-353
認識中止した資産	17	28		44
償却				
信用リスクの変動による再測定	8	19	39	65
推計手法の更新による変動	-6	-6		-13
外貨換算影響額等	1	1		2
購入又は組成した資産	-13	-7		-20
ステージ1への振替	-8	9		2
ステージ2への振替	8	-82		-74
ステージ3への振替	3	4		7
期末現在引当金	-94	-203	-42	-340

## 減損テスト対象のオフバランスシート項目に対する予想信用損失引当金の変動

2022年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在引当金	-109	-144	-91	-344
認識中止した資産	30	24		54
償却	0	0	1	1
信用リスクの変動による再測定	-11	43	9	41
推計手法の更新による変動				
外貨換算影響額等	3	22		24
購入又は組成した資産	-21	-16		-37
ステージ1への振替	-5	8		3
ステージ2への振替	8	-107		-99
ステージ3への振替	3	2		4
期末現在引当金	-103	-169	-82	-353

この変動分析は、当該期間の各説明項目について、ステージ別の引当金に与える正味影響額を示したものである。認識中止及び償却の影響は期首残高に対して算定される。推計手法の変更及び外貨換算影響額等による再評価の影響は、ステージ間の振替前の純額ベースで算定される。購入又は生成された資産及びステージ間で振替られた金額は、他の説明項目の影響を加味して認識される。振替の各行は各ステージの引当金に与える影響を表している。

## 減損テスト対象の貸借対照表項目総額の変動

2023年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,902,686	91,350	5,716	2,999,751
認識中止した資産	-502,323	-11,577	-1,035	-514,935
償却	-15	-4	-275	-294
信用リスクの変動による再測定	-6,008	-8,429	-558	-14,995
外貨換算影響額等	-13,018	-453	4	-13,467
購入又は組成した資産	513,644	7,138	84	520,866
ステージ1への振替	80,202	-80,136	-66	
ステージ2への振替	-140,432	140,793	-361	
ステージ3への振替	-1,731	-1,823	3,554	
期末現在の総額	2,833,004	136,859	7,064	2,976,927

## 減損テスト対象の貸借対照表項目総額の変動

2022年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,817,860	64,400	7,421	2,889,681
認識中止した資産	-301,842	-16,004	-1,592	-319,437
償却	-12	-5	-764	-781
信用リスクの変動による再測定	123,331	-26,219	-943	96,167
外貨換算影響額等	92,095	1,410	70	93,575
購入又は組成した資産	232,540	7,905	101	240,546
ステージ1への振替	43,672	-43,579	-94	
ステージ2への振替	-104,054	104,466	-412	
ステージ3への振替	-904	-1,025	1,929	
期末現在の総額	2,902,686	91,350	5,716	2,999,751

## 減損テスト対象の一般顧客への貸出金総額の変動

2023年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,374,713	91,349	5,716	2,471,778
認識中止した資産	-149,007	-11,317	-1,035	-161,359
償却	-15	-4	-275	-294
信用リスクの変動による再測定	-12,871	-9,463	-558	-22,892
外貨換算影響額等	-14,823	-394	4	-15,213
購入又は組成した資産	157,370	7,138	84	164,592
ステージ1への振替	79,336	-79,270	-66	
ステージ2への振替	-140,272	140,632	-361	
ステージ3への振替	-1,731	-1,823	3,554	
期末現在の総額	2,292,700	136,848	7,064	2,436,612

## 減損テスト対象の一般顧客への貸出金総額の変動

2022年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,345,196	64,390	7,421	2,417,007
認識中止した資産	-254,118	-15,887	-1,592	-271,598
償却	-12	-5	-764	-781
信用リスクの変動による再測定	93,471	-26,036	-943	66,492
外貨換算影響額等	28,790	1,383	70	30,243
購入又は組成した資産	222,409	7,905	101	230,415
ステージ1への振替	43,672	-43,579	-94	
ステージ2への振替	-103,791	104,203	-412	
ステージ3への振替	-904	-1,025	1,929	
期末現在の総額	2,374,713	91,349	5,716	2,471,778

上表の貸借対照表項目には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」に分類変更されたフィンランドの処分グループが含まれている。



## 減損テスト対象のオフバランスシート項目総額の変動

2023年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	314,586	12,533	274	327,393
認識中止した資産	-48,128	-3,188	-138	-51,453
償却				
信用リスクの変動による再測定	-24,479	2,095	-45	-22,428
外貨換算影響額等	-3,010	-59	-1	-3,070
購入又は組成した資産	43,406	2,270	2	45,678
ステージ1への振替	10,321	-10,319	-2	
ステージ2への振替	-7,962	7,971	-9	
ステージ3への振替	-41	-42	83	
期末現在の総額	284,693	11,262	164	296,119

## 減損テスト対象のオフバランスシート項目総額の変動

2022年

百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	406,024	9,477	336	415,837
認識中止した資産	-93,239	-4,000	-59	-97,298
償却	-1	0	0	-1
信用リスクの変動による再測定	-16,580	-2,390	-41	-19,011
外貨換算影響額等	-31,411	-5,328	6	-36,733
購入又は組成した資産	63,343	1,249	8	64,600
ステージ1への振替	6,103	-6,092	-12	
ステージ2への振替	-19,619	19,631	-11	
ステージ3への振替	-33	-15	48	
期末現在の総額	314,586	12,533	274	327,393

引当金の分析同様、総額の変動分析は当該ステージの総額に対する各説明項目の影響を示している。ステージ間の振替及び「購入又は組成した資産」の項目は、期末現在における各ステージでの金額を表しており、他の項目は期首時点で用いられる各ステージでの影響を表している。

## 感応度分析

## ECL算定におけるマクロ経済予測及び感応度分析

予想信用損失の算定には、マクロ経済シナリオによる将来予測的な情報を用いる。予想信用損失は3つのシナリオの予想見積りの確率加重平均値である。基本(中立)シナリオの予想確率加重は70(60)%としており、一方で景気の上昇シナリオの予想確率加重は15(20)%、下降シナリオの予想確率加重は15(20)%としている。4つ目の英国のエクスポージャーに対しては、2022年以降、より深刻な下降シナリオを適用している。英国の深刻な下降シナリオ/下降シナリオ/基本(中立)シナリオ/上昇シナリオの確率加重はそれぞれ15%/20%/60%/5% (15%/20%/60%/5%)である。これらは、2023年12月31日現在のステージ1及びステージ2に分類されたエクスポージャーの予想信用損失の算定根拠となっている。

マクロ経済上の リスク要因	下降シナリオ			基本（中立）シナリオ			上昇シナリオ		
	2024年	2025年	2026年	2024年	2025年	2026年	2024年	2025年	2026年
<b>GDP成長率</b>									
スウェーデン	-3.73	0.90	2.95	-0.13	2.30	2.30	2.87	3.30	2.00
英国	-2.20	0.44	2.95	0.80	1.84	2.30	3.80	2.84	2.00
英国、深刻な 下降シナリオ	-4.20	-2.16	3.30						
ノルウェー	-3.53	0.06	2.35	0.07	1.46	1.70	3.07	2.46	1.40
フィンランド	-3.41	0.40	2.28	0.19	1.80	1.63	3.19	2.80	1.33
EU諸国	-3.12	0.11	1.95	0.48	1.51	1.30	3.48	2.51	1.00
米国	-2.40	0.44	2.65	1.20	1.84	2.00	4.20	2.84	1.70
<b>失業率</b>									
スウェーデン	10.10	10.41	10.10	8.40	8.31	7.90	7.70	7.31	7.20
英国	6.40	6.70	6.40	5.00	5.00	4.50	4.30	4.00	3.80
英国、深刻な 下降シナリオ	8.00	9.50	9.00						
ノルウェー	4.05	4.58	4.70	2.35	2.48	2.50	1.65	1.47	1.80
フィンランド	9.30	9.20	8.70	7.60	7.10	6.50	6.90	6.10	5.80
EU諸国	8.58	8.83	8.90	6.88	6.73	6.70	6.18	5.73	6.00
米国	5.96	6.57	6.50	4.26	4.47	4.30	3.56	3.47	3.60
<b>政策金利</b>									
スウェーデン	5.25	4.25	3.25	3.75	2.75	2.25	3.00	1.75	1.25
英国	6.25	4.50	3.50	4.75	3.00	2.50	4.00	2.00	1.50
英国、深刻な 下降シナリオ	1.00	0.25	0.25						
ノルウェー	5.50	4.75	3.25	4.00	3.25	2.25	3.25	2.25	1.25
フィンランド	4.75	4.00	2.75	3.25	2.50	1.75	2.50	1.50	0.75
EU諸国	4.75	4.00	2.75	3.25	2.50	1.75	2.50	1.50	0.75
米国	5.88	4.63	3.63	4.38	3.13	2.63	3.63	2.13	1.63
<b>商業不動産価格の 上昇率</b>									
スウェーデン	-5.91	1.84	2.83	3.51	8.10	3.57	5.99	13.00	5.56
英国	-8.35	-4.01	3.56	-0.15	1.63	2.01	3.43	7.49	4.23
英国、深刻な 下降シナリオ	-16.20	-10.78	2.88						
ノルウェー	-4.81	-4.47	-0.35	2.50	2.10	1.40	5.24	6.16	2.31
フィンランド	-7.41	-0.16	3.56	1.46	5.86	6.18	3.35	9.03	7.00
EU諸国	-7.69	-3.44	1.80	0.83	4.44	4.85	3.61	8.49	6.05
<b>住宅価格の上昇率</b>									
スウェーデン	-5.04	-0.32	2.69	1.10	2.57	2.61	6.46	5.00	3.29
英国	-7.77	-7.27	-2.44	-5.97	-0.89	3.27	-3.03	4.90	8.22
英国、深刻な 下降シナリオ	-13.44	-6.44	-0.03						
ノルウェー	-0.58	-1.34	4.19	0.94	2.77	3.10	2.54	3.48	2.75

## スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト ( S v e n s k a   H a n d e l s b a n k e n   A B   ( p u b l ) ) (E27561)

## 有価証券報告書

フィンランド	2.96	5.29	2.78	0.50	3.83	2.96	-0.37	3.75	3.17
EU諸国	2.35	2.00	2.11	2.00	2.00	2.00	1.70	2.03	2.07

## 感応度分析、マクロ経済シナリオ

下表は、2023年12月31日現在のステージ1及びステージ2に分類されるエクスポージャーに対する予想信用損失引当金の増減をパーセンテージで示したもので、この増減は下降及び上昇シナリオにそれぞれ100%の確率が適用される場合のものである。英国の深刻な下降シナリオに100%の確率を適用した場合の影響は合計に含まれていない。

	2023年		2022年	
	下降シナリオにおける 引当金の増加(%)	上昇シナリオにおける 引当金の減少(%)	下降シナリオにおける 引当金の増加(%)	上昇シナリオにおける 引当金の減少(%)
スウェーデン	27.45	-15.70	10.95	-7.72
英国	21.13	-29.56	7.49	-7.19
英国、深刻な下降シ ナリオ	29.99		25.30	
ノルウェー	33.68	-18.20	7.54	-6.10
フィンランド	8.52	-5.06	-0.13	0.20
オランダ	36.85	-22.53	3.52	-2.56
米国	57.50	-36.86	27.06	-20.37
その他諸国	23.51	-12.04	3.64	-2.07
合計	23.58	-18.51	7.43	-5.60

## 感応度分析、信用リスクの著しい増大

下表は、報告日と当初認識時に算定された残余信用リスクの比率に用いられる閾値が、2.5の閾値よりも0.5パーセンテージ・ポイント高く又は低く設定される場合、12月31日現在でステージ1及びステージ2のエクスポージャーに対する引当金が、それぞれどのような影響を受けるかを示したものである。閾値が0.5低下した場合にはステージ1からステージ2へ振り替えられる貸出金の件数が増加し、予想信用損失引当金も増加する。閾値が0.5上昇した場合にはこれと反対の影響が生じる。当行は信用リスクの著しい増大を評価するために定量的・定性的双方の指標を用いている。詳細な情報は注記G2の「信用リスク」の項目を参照のこと。

## ステージ1及びステージ2に分類されたエクスポージャーに対する 引当金総額の変動、%

閾値	2023年	2022年
2	3.50	3.78
2.5	0.00	0.00
3	-1.93	-2.16

## PDの範囲別減損テスト対象の信用エクスポージャー

## PDの範囲別貸借対照表項目

2023年

PD値 <sup>1</sup>	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	2,427,046	33,598	
0.15～0.25未満	60,030	6,941	
0.25～0.50未満	262,839	20,169	
0.50～0.75未満	26,082	13,431	
0.75～2.50未満	47,566	20,675	
2.50～10.00未満	8,842	35,625	
10.00～100未満	599	6,421	
100(デフォルト)			7,064
合計	2,833,004	136,859	7,064

## PDの範囲別貸借対照表項目

2022年

PD値 <sup>1</sup>	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	2,565,832	33,734	
0.15～0.25未満	83,251	7,159	
0.25～0.50未満	186,429	10,793	
0.50～0.75未満	26,834	5,512	
0.75～2.50未満	32,219	16,582	
2.50～10.00未満	7,234	13,902	
10.00～100未満	887	3,667	
100(デフォルト)			5,716
合計	2,902,686	91,350	5,716

## PDの範囲別一般顧客への貸出金

2023年

PD値 <sup>1</sup>	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	1,964,166	33,595	
0.15～0.25未満	48,581	6,940	
0.25～0.50未満	212,711	20,167	
0.50～0.75未満	21,108	13,430	
0.75～2.50未満	38,494	20,673	
2.50～10.00未満	7,156	35,622	
10.00～100未満	485	6,420	
100(デフォルト)			7,064
合計	2,292,700	136,848	7,064

## PDの範囲別一般顧客への貸出金

2022年

PD値 <sup>1</sup>	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	2,099,130	33,734	
0.15～0.25未満	68,108	7,159	
0.25～0.50未満	152,519	10,793	
0.50～0.75未満	21,953	5,512	
0.75～2.50未満	26,358	16,582	
2.50～10.00未満	5,918	13,902	
10.00～100未満	726	3,667	
100(デフォルト)			5,716
合計	2,374,713	91,349	5,716

## PD値の範囲別オフバランスシート項目

2023年

PD値 <sup>1</sup>	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	209,059	1,674	
0.15～0.25未満	15,570	166	
0.25～0.50未満	40,923	1,157	
0.50～0.75未満	7,365	3,623	
0.75～2.50未満	10,234	2,186	
2.50～10.00未満	1,437	1,933	
10.00～100未満	105	522	
100(デフォルト)			164
合計	284,693	11,262	164

## PD値の範囲別オフバランスシート項目

2022年

PD値 <sup>1</sup>	総額、百万スウェーデン・クローネ		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3
0.00～0.15未満	262,559	4,799	
0.15～0.25未満	22,592	1,082	
0.25～0.50未満	15,241	633	
0.50～0.75未満	5,386	716	
0.75～2.50未満	7,529	3,451	
2.50～10.00未満	1,119	1,657	
10.00～100未満	160	195	
100(デフォルト)			274
合計	314,586	12,533	274

1) 報告日現在の12ヶ月PD値を指す。

#### 担保権が実行された資産

百万スウェーデン・クローネ

動産

株式

帳簿価額

2023年	2022年
2	0
	0
2	0

動産は主として担保権が実行されたリース資産より構成されている。債権保全を目的として担保権が実行された資産及び負債の評価原則については注記G11に記載されている。

#### 注記G11 不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益

百万スウェーデン・クローネ

器具備品

合計

2023年	2022年
20	24
20	24

**注記G12 リスク税及び破綻処理手数料**

	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ		
リスク税	-1,644	-1,316
破綻処理手数料	-980	-995
<b>合計</b>	<b>-2,624</b>	<b>-2,311</b>

**注記G13 一株当たり利益**

	2023年	2022年
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主に帰属する当期利益、百万スウェーデン・クローネ	29,107	21,676
期中に転換された株式の平均株式数(百万株)		
トレーディング勘定における自己株式の平均保有数(百万株)		
発行済株式の平均株式数(百万株)	1,980.0	1,980.0
希薄化効果のある株式の平均株式数(百万株)		
希薄化後発行済株式の平均株式数(百万株)	1,980.0	1,980.0
<b>一株当たり利益(事業合計)、スウェーデン・クローネ</b>	<b>14.70</b>	<b>10.95</b>
希薄化後	14.70	10.95
<b>一株当たり利益(継続事業)、スウェーデン・クローネ</b>	<b>14.09</b>	<b>10.81</b>
希薄化後	14.09	10.81
<b>一株当たり利益(非継続事業)、スウェーデン・クローネ</b>	<b>0.61</b>	<b>0.14</b>
希薄化後	0.61	0.14

希薄化後一株当たり利益は、発行済転換可能負債性金融商品の転換による影響を考慮に入れて測定される。これは、発行済株式の平均株式数に潜在的な転換可能普通株式数が加算され、当期利益が転換可能負債性金融商品(税引後)に係る当期利息費用に関して調整されることを示唆している。



**注記G14 売却目的で保有する資産及び負債並びに非継続事業**

当行のフィンランドの事業に係る資産及び負債はIFRS第5号に従い「売却目的で保有する資産及び負債」を構成し、2つの異なる処分グループに帰属している。2023年度第2四半期に、資産運用及び投資サービスを含む個人顧客向け業務、中小企業向け業務及び生命保険事業など、フィンランドにおける事業の一部を譲渡する契約が締結された。かかる取引は2024年度下半期に完了する予定である。

フィンランドの以下のユニットは、処分グループ及び非継続事業に含まれる。

- ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトのフィンランド支店
- ・Handelsbanken Asuntoluottopankki(スタッドフィポテックABプブリクトのフィンランド支店)
- ・フィンランドのハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビー
- ・ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビーのフィンランド支店

**売却目的で保有する資産及び負債、2023年**

(百万スウェーデン・クローネ)

	フィンランド
<b>資産</b>	
現金及び中央銀行預け金	10
中央銀行へのその他貸出金	25,863
中央銀行への担保として適格な利付証券	
その他金融機関への貸出金	3
一般顧客への貸出金	142,409
うち、個人	39,561
うち、法人	102,847
債券及びその他の利付証券	
株式	2
顧客が価値変動リスクを負う資産	9,586
無形資産	123
不動産及び器具備品	467
その他	128
<b>合計</b>	<b>178,590</b>
<b>負債</b>	
金融機関からの預り金	980
一般顧客からの預金及び借入金	51,556
うち、個人	17,434
うち、法人	34,122
保険負債	3
顧客が価値変動リスクを負う負債	9,586
引当金	195
その他	1,401
<b>合計</b>	<b>63,721</b>

## 売却目的で保有する資産及び負債、2022年

(百万スウェーデン・クローネ)

	フィンランド	売却目的で保有する その他資産	合計
<b>資産</b>			
現金及び中央銀行預け金	14		14
中央銀行へのその他貸出金	28,015		28,015
中央銀行への担保として適格な利付証券			
その他金融機関への貸出金	5		5
一般顧客への貸出金	153,506	310	153,816
うち、個人	43,922		43,922
うち、法人	109,584	310	109,894
債券及びその他の利付証券			
株式	3		3
顧客が価値変動リスクを負う資産	9,145		9,145
無形資産	123		123
不動産及び器具備品	407		407
その他	388		388
<b>合計</b>	<b>191,606</b>	<b>310</b>	<b>191,916</b>
<b>負債</b>			
金融機関からの預り金	679		679
一般顧客からの預金及び借入金	57,361		57,361
うち、個人	20,297		20,297
うち、法人	37,064		37,064
保険負債	3		3
顧客が価値変動リスクを負う負債	9,145		9,145
引当金	210		210
その他	1,540		1,540
<b>合計</b>	<b>68,938</b>		<b>68,938</b>

為替換算調整準備金には、フィンランドの売却目的で保有する資産及び負債の換算に起因する累計1,022 (1,064)百万スウェーデン・クローネが含まれている。持分変動計算書(当行グループ)を参照のこと。

フィンランドの事業の売却手続きは進行中である。フィンランドは、以前は独自の事業セグメントであった。

売却費用控除後の公正価値と帳簿価額のいずれか低い方の額で各処分グループを測定した結果、減損損失は一切生じていなかった。

## 非継続事業からの収益、費用及び利益

## デンマーク及びフィンランド

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
純利息収益	2,368	3,434
純手数料及びコミッション収益	406	1,096
金融取引による純損益	29	-12
保険事業による純損益	17	13
その他収益	9	68
<b>収益合計</b>	<b>2,829</b>	<b>4,600</b>

人件費	-841	-1,681
その他費用	-464	-1,543
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	0	-2
<b>費用合計</b>	<b>-1,306</b>	<b>-3,226</b>

正味信用損失	41	29
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	-1	2
リスク税及び破綻処理手数料	-97	-160
<b>デンマーク及びフィンランドの税引前当期利益</b>	<b>1,467</b>	<b>1,245</b>
法人税等	-200	-617
<b>追加費用を含む非継続事業からの税引後当期利益</b>	<b>1,267</b>	<b>629</b>

非継続事業に帰属するその他費用 <sup>1</sup>	-73	-27
法人税等	15	6
<b>追加費用を含む非継続事業からの税引後当期利益</b>	<b>1,209</b>	<b>608</b>

## 非継続事業を構成する処分グループの売却によるキャピタルゲイン

キャピタルゲイン（税引前）		235
法人税等 <sup>2</sup>		-561
キャピタルゲイン（税引後）		-326
<b>非継続事業からの税引後当期利益</b>	<b>1,209</b>	<b>280</b>

上記の損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引<sup>3</sup>

収益	100	-287
費用	-101	-202

## デンマーク

百万スウェーデン・クローネ

	2022年
純利息収益	1,712
純手数料及びコミッション収益	701

金融取引による純損益	-49
保険事業による純損益	1
その他収益	49
<b>収益合計</b>	<b>2,413</b>

人件費	-1,035
その他費用	-768
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	
<b>費用合計</b>	<b>-1,803</b>
正味信用損失	38
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	2
リスク税及び破綻処理手数料	-58
<b>デンマークの税引前当期利益</b>	<b>593</b>
法人税等	-57
<b>デンマークの税引後当期利益</b>	<b>536</b>

#### 非継続事業を構成する処分グループの売却によるキャピタルゲイン（税引前）

キャピタルゲイン（税引前）	235
法人税等 <sup>2</sup>	-561
キャピタルゲイン（税引後）	-326
<b>非継続事業からの税引後当期利益</b>	<b>210</b>

#### 上記の損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引<sup>3</sup>

収益	-176
費用	-89

- 1) スウェーデンにおいて、非継続事業の売却にともない、事業の廃止に関連する要件に基づき一定の費用が発生している。これには、コンサルタント料や弁護士費用などが含まれる。
- 2) 2022年度の税金費用は、キャピタルゲイン/ロスに計上されている、損金不算入ののれんの戻入れによりマイナスの影響を受けている。
- 3) 継続事業及び非継続事業双方からの当期利益には、外部収益及び費用のみが含まれている。非継続事業は継続事業との重要な内部取引を有していることから、会計上除外されている。例えば、資金調達及び流動性管理業務はすべてスウェーデンのグループ・トレジャリー部で集中管理されている。このため、デンマーク及びフィンランドにおける一般顧客への貸出金は、グループ・トレジャリー部からの内部貸出を通じて資金調達され、内部借入から生じる利息費用は会計上除外されており、上記の純利息収益には含まれていない。2023年1月1日から、当行はフィンランドの非継続事業とグループ・トレジャリー部との間の純利息収益に関連する内部取引の消去に新しい方法を適用しているため、内部利息収益及び内部利息費用を、継続事業及び非継続事業に表示している。比較数値は修正再表示されていない。

#### フィンランド

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
純利息収益	2,368	1,722
純手数料及びコミッション収益	406	396
金融取引による純損益	29	37
保険事業による純損益	17	12
その他収益	9	19

収益合計	2,829	2,186
人件費	-841	-647
その他費用	-464	-775
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用		-2
費用合計	-1,306	-1,423
正味信用損失	41	-10
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	-1	0
リスク税及び破綻処理手数料	-97	-102
非継続事業からの税引前当期利益	1,467	652
法人税等	-200	-560
非継続事業からの税引後当期利益	1,267	91

上記の損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引<sup>1)</sup>:

収益	100	-111
費用	-101	-113

- 1) 継続事業及び非継続事業双方からの当期利益には、外部収益及び費用のみが含まれている。非継続事業は継続事業との重要な内部取引を有していることから、会計上除外されている。例えば、資金調達及び流動性管理業務はすべてスウェーデンのグループ・トレジャリー部で集中管理されている。このため、フィンランドにおける一般顧客への貸出金は、グループ・トレジャリー部からの内部貸出を通じて資金調達され、内部借入から生じる利息費用は会計上除外されており、上記の純利息収益には含まれていない。2023年1月1日から、当行はフィンランドの非継続事業とグループ・トレジャリー部との間の純利息収益に関連する内部取引の消去に新しい方法を適用しているため、内部利息収益及び内部利息費用を継続事業及び非継続事業に表示している。比較数値は修正再表示されていない。

## 非継続事業からの商品別手数料及びコミッション収益

セグメント別手数料及びコミッション収益 <sup>2</sup>	2023年	2022年	
	フィンランド	デンマーク	フィンランド
百万スウェーデン・クローネ			
仲介及びその他証券コミッション	9	41	8
ミューチュアル・ファンド	7	147	8
カストディ及びその他資産管理手数料	41	148	44
アドバイザリーサービス		22	
保険	77	22	74
決済	213	205	203
貸出金及び預金	85	55	79
保証	19	65	20
その他	11	64	13
手数料及びコミッション収益合計	463	768	448

## 非継続事業の人件費

デンマーク及びフィンランド <sup>2</sup>	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ		
給与及び報酬 <sup>3</sup>	-636	-1,273
社会保障費	-22	-132
年金費用	-104	-135
利益分配制度に対する準備金		-16
その他人件費	-79	-125
合計	-841	-1,681

平均従業員数 <sup>2</sup>	2023年			2022年		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性
デンマーク				546	277	269
フィンランド	533	249	284	530	242	288
合計	533	249	284	1,076	519	557

2) 2022年度第4四半期にデンマークの事業が売却されたため、当年度の数値は、フィンランドのみに関するものである。

3) このうち、執行役員(子会社の頭取兼最高経営責任者及び取締役)に対する給与及び報酬は5.5(6.0)百万スウェーデン・クローネであった。

## 非継続事業からのキャッシュ・フロー

フィンランド		2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ			
営業活動からのキャッシュ・フロー		4,611	-123,159
投資活動からのキャッシュ・フロー		-8	-11
財務活動からのキャッシュ・フロー			
非継続事業からの当期キャッシュ・フロー		4,604	-123,171

**注記G15 中央銀行へのその他貸出金**

	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ		
中央銀行へのその他貸出金（スウェーデン・クローネ建て）		
中央銀行へのその他貸出金（外貨建て）	6,282	4,604
<b>合計</b>	<b>6,282</b>	<b>4,604</b>
予想信用損失引当金		
<b>中央銀行へのその他貸出金合計</b>	<b>6,282</b>	<b>4,604</b>

**平均取引高**

	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ		
中央銀行へのその他貸出金（スウェーデン・クローネ建て）		
中央銀行へのその他貸出金（外貨建て）	6,196	5,579
<b>合計</b>	<b>6,196</b>	<b>5,579</b>

**注記G16 その他金融機関への貸出金**

	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ		
<b>貸出金（スウェーデン・クローネ建て）</b>		
銀行	263	379
その他金融機関	-1	103
<b>合計</b>	<b>261</b>	<b>482</b>

**貸出金（外貨建て）**

銀行	16,910	6,002
その他金融機関	2,126	2,929
<b>合計</b>	<b>19,035</b>	<b>8,931</b>

予想信用損失引当金	-2	-2
<b>その他金融機関への貸出金合計</b>	<b>19,294</b>	<b>9,411</b>
うち、リバース・レボ	9,623	

**平均取引高**

	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ		
その他金融機関への貸出金（スウェーデン・クローネ建て）	1,212	2,317
その他金融機関への貸出金（外貨建て）	42,394	36,637
<b>合計</b>	<b>43,607</b>	<b>38,954</b>
うち、リバース・レボ	16,812	14,433

## 注記G17 一般顧客への貸出金

百万スウェーデン・クローネ

## 貸出金(スウェーデン・クローネ建て)

	2023年	2022年
個人	974,473	984,397
法人	599,233	601,605
国債局	6,748	1,566
合計	1,580,454	1,587,568

## 貸出金(外貨建て)

個人	250,008	257,706
法人	463,345	472,559
合計	713,353	730,265

予想信用損失引当金

## 一般顧客への貸出金合計

うち、リバース・レボ	17,404	12,917
------------	--------	--------

## 平均取引高(国債局を除く)

百万スウェーデン・クローネ

一般顧客への貸出金(スウェーデン・クローネ建て)

一般顧客への貸出金(外貨建て)

	2023年	2022年
一般顧客への貸出金(スウェーデン・クローネ建て)	1,597,310	1,555,159
一般顧客への貸出金(外貨建て)	738,482	708,177
合計	2,335,792	2,263,336
うち、リバース・レボ	23,110	21,300



## 注記G18 利付証券

	2023年			2022年		
	帳簿価額	公正価値	額面価額	帳簿価額	公正価値	額面価額
百万スウェーデン・クローネ						
中央銀行への担保として適格な利付証券	199,128	199,128	197,474	132,778	132,778	133,726
債券及びその他の利付証券	50,087	50,087	36,442	32,697	32,697	30,898
合計	249,215	249,215	233,916	165,475	165,475	164,624

発行者別利付証券	2023年			2022年		
	帳簿価額	公正価値	額面価額	帳簿価額	公正価値	額面価額
百万スウェーデン・クローネ						
政府	199,128	199,128	197,474	132,778	132,778	133,726
金融機関	9,733	9,733	7,856	8,864	8,864	7,655
住宅金融専門機関	34,378	34,378	24,446	17,464	17,464	18,041
その他	5,975	5,975	4,141	6,369	6,369	5,202
合計	249,215	249,215	233,916	165,475	165,474	164,624

## 減損テスト対象の利付証券

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
その他包括利益を通じて公正価値で測定		
中央銀行への担保として適格な利付証券		200
債券及びその他の利付証券	12,709	9,882
合計	12,709	10,082
資本の公正価値評価差額準備金で認識される予想信用損失引当金	-2	-2

## 平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
中央銀行への担保として適格な利付証券	258,785	137,114
債券及びその他の利付証券	55,713	45,820
合計	314,497	182,934

**注記G19 株式**

	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ		
純損益を通じて公正価値で測定、強制	11,615	12,269
その他包括利益を通じて公正価値で測定	601	544
<b>株式合計</b>	<b>12,216</b>	<b>12,813</b>

**その他包括利益を通じて公正価値で測定される保有株式**

	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ		
Visa Inc	330	274
VIPPS A/S	60	57
その他の保有	211	213
<b>合計</b>	<b>601</b>	<b>544</b>

ハンデスルバンケンは、上記の株式保有について、トレーディング目的保有ではないことによりその他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類している。これらの株式に対する配当は合計で3(17)百万スウェーデン・クローネであり、その他の配当収益として損益計算書に計上されている。当年度中に当行は、住宅共同組合の保有株式を総額0(32)百万スウェーデン・クローネで処分した。この処分は支店閉鎖を理由として行われた。

その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品に係る実現及び未実現損益に関しては、当行グループの持分変動計算書を参照のこと。

**注記G20 関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資**

ハンデルスバンケンには、個別に重要な関連会社やジョイント・ベンチャーに対する投資はないが、決済サービス等の提供を通じ、当行グループの銀行業務にとって戦略的に重要と考えられるいくつかの企業がある。すべての投資は非上場である。

**関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資**

	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ		
期首現在帳簿価額	561	478
当年度持分利益	89	-13
法人税	-37	-13
株主の拠出	53	123
配当金	-8	-14
<b>期末現在帳簿価額</b>	<b>657</b>	<b>561</b>

**関連会社及びジョイント・ベンチャーからの収益**

	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ		
当年度利益	51	-13
その他包括利益		

## 当年度包括利益合計

51

-13

関連会社	企業識別番号	所在地	株式数	議決権 %	帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
					2023年	2022年
Bankomat AB	556817-9716	ストック	150	20.00	96	95
		ホルム				
BGC Holding AB	556607-0933	ストック	25,542	25.54	428	327
		ホルム				
Dyson Group plc	00163096	シェフィー	74,333,672	24.01	8	17
		ルド				
Finansiell ID-teknik BID AB	556630-4928	ストック	12,735	28.30	25	21
		ホルム				
Getswish AB	556913-7382	ストック	10,000	20.00	23	21
		ホルム				
USE Intressenter AB	559161-9464	ストック	2,448	24.48	0	0
		ホルム				
合計					581	481

ジョイント・ベンチャー	企業識別番号	所在地	株式数	議決権 %	帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
					2023年	2022年
P27 Nordic Payment Platform AB	559198-9610	ストック	10,000	16.67	71	55
		ホルム				
Invidem AB	559210-0779	ストック	10,000	16.67		23
		ホルム				
Tibern AB	559384-3542	ストック	4,000	14.29	5	3
		ホルム				
合計					76	80

## 注記G21 顧客が価値変動リスクを負う資産

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
ユニットリンク保険資産	230,905	201,119
株式	13,067	10,766
その他の資産	921	1,081
合計	244,893	212,966

## 注記G22 デリバティブ商品

	想定元本/満期			想定元本		正の市場価値		負の市場価値	
百万スウェーデン・クローネ	1年以内	1年超 5年以内	5年超	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年
<b>トレーディング目的で 保有するデリバティブ</b>									
金利関連契約									
オプション	3,278	25,721	6,187	35,186	24,799	262	403	393	351
FRA/先物	377,929	20,062		397,991	681,455	255	928	237	1,181
スワップ	440,212	1,038,358	245,746	1,724,316	2,210,708	35,286	62,139	34,844	61,594
通貨関連契約									
オプション	24,061	1,615	17	25,693	35,136	158	292	237	249
先物	56,603	5,712	55	62,370	94,033	1,196	1,418	1,146	1,112
スワップ	487,289	41,221	797	529,307	701,630	8,006	9,146	17,177	12,780
株式関連契約									
オプション	4,470	380	32	4,882	2,053	194	182	114	95
先物	215			215	184	5	6	2	5
スワップ	4,754	1,208		5,962	8,262	101	185	306	663
コモディティ関連契約									
オプション			17	17	25	6	2	23	27
先物	180			180	367	6	32	18	52
信用関連契約									
スワップ	463	2,606		3,069	3,908	193	68	82	90
<b>合計</b>	<b>1,399,454</b>	<b>1,136,883</b>	<b>252,851</b>	<b>2,789,188</b>	<b>3,762,560</b>	<b>45,668</b>	<b>74,801</b>	<b>54,579</b>	<b>78,199</b>
<b>公正価値ヘッジのデリバ ティブ</b>									
金利関連契約									
オプション	41			41	364	1	7		
スワップ	120,789	450,446	124,396	695,631	576,034	17,227	16,888	16,007	27,349
通貨関連契約									
スワップ		983		983	1,636	25	77		
<b>合計</b>	<b>120,830</b>	<b>451,429</b>	<b>124,396</b>	<b>696,655</b>	<b>578,034</b>	<b>17,253</b>	<b>16,972</b>	<b>16,007</b>	<b>27,349</b>
<b>キャッシュフロー・ヘッ ジのデリバティブ</b>									
金利関連契約									
スワップ	66,828	70,621	9,758	147,207	248,157	3,029	4,499	2,228	4,865
通貨関連契約									
スワップ	99,027	176,613	45,950	321,590	314,842	16,381	21,101	6,649	1,185
<b>合計</b>	<b>165,855</b>	<b>247,234</b>	<b>55,708</b>	<b>468,797</b>	<b>562,999</b>	<b>19,410</b>	<b>25,600</b>	<b>8,877</b>	<b>6,050</b>
<b>デリバティブ商品合計</b>	<b>1,686,139</b>	<b>1,835,546</b>	<b>432,955</b>	<b>3,954,640</b>	<b>4,903,593</b>	<b>82,331</b>	<b>117,373</b>	<b>79,463</b>	<b>111,598</b>
うち、取引所上場 デリバティブ				70,400	201,815	148	260	419	274
うち、CCPで決済され るOTCデリバティブ				2,661,973	3,315,242	52,627	82,375	45,845	83,957

うち、CCPで決済され ないOTCデリバティ ブ	1,222,267	1,386,536	29,556	34,738	33,199	27,367
相殺された金額	-2,310,691	-2,826,362	-52,221	-81,112	-45,225	-82,558
<b>純額</b>	<b>1,643,949</b>	<b>2,077,231</b>	<b>30,110</b>	<b>36,261</b>	<b>34,238</b>	<b>29,040</b>
<b>市場価値の通貨別内訳</b>						
スウェーデン・クローネ			39,951	-231,111	371,486	74,796
米ドル			-25,673	187,752	-350,125	-244,777
ユーロ			163,098	282,564	-13,839	211,143
その他			-95,045	-121,832	71,941	70,436
<b>合計</b>			<b>82,331</b>	<b>117,373</b>	<b>79,463</b>	<b>111,598</b>

この注記では、デリバティブ契約は総額で表示されている。相殺額は、当行が契約上のキャッシュ・フローを純額で決済する法的権利及び意思を有している契約(中央清算される契約を含む)の市場価値及び関連する想定元本の相殺で構成されている。これらの契約は、貸借対照表において、カウンターパーティ及び通貨別に純額で表示されている。

当行は、当初認識時に評価モデルを用いて測定された価値と、取引価格との正の差額(取引日利得/損失)をデリバティブの期間にわたり償却している。年度末において、これらの未認識の取引日利得は、472(447)百万スウェーデン・クローネであった。

## 注記G23 ヘッジ会計

当行グループのリスク管理及びヘッジ会計の一般的な目的は、金利及び為替レートの変動から乗じる貸出及び借入に帰属する将来キャッシュ・フロー及び公正価値の変動リスクから自らを守るためである。この目的を達成するために当行はデリバティブを使用している。当行グループのリスク管理戦略を財務報告に確実に反映するため、ヘッジ会計が用いられている。当行グループの市場リスク管理に関する情報は、注記G2を参照のこと。当行グループが用いるヘッジ戦略及び様々な種類のヘッジ会計については、リスク区分別に以下に述べられている。ヘッジ会計の会計方針の詳細については注記G1を参照のこと。

### キャッシュフロー・ヘッジ

#### 変動金利貸出・借入における金利リスク

このヘッジ戦略の目的は、変動金利の変動から生じる利息の受取・支払に係る不確実性を最小限にし、代わりにヘッジを締結した際に明らかになる固定金利による金額を受け取り、支払うことである。ヘッジ対象は、変動金利による一般顧客への貸出金及び発行済変動利付債券に関連する、将来流入及び流出する可能性の高い支払いから構成されている。ヘッジ対象のリスクは、各通貨の変動参照金利であり、金利の観察可能な要素である。このヘッジ手段は金利スワップである。ここでは固定金利を受け取り変動金利を支払うか、固定金利を支払い変動金利を受け取る。

#### 借入における為替リスク

このヘッジ戦略は、為替レートの変動から生じる将来の利払に関連する不確実性を最小限にし、代わりにヘッジを締結した際に明らかになる為替レートで機能通貨による利払を行うことを意図するものである。ヘッジ対象は機能通貨以外の通貨で発行された証券に起因する、可能性の高い将来の利払及び額面価額の返済である。ヘッジ対象リスクは借入通貨及び機能通貨間の為替レートの変動により発生するこれらの将来の支払いの変動リスクである。このヘッジ手段は通貨関連デリバティブである。

## 在外営業活動体への、又は在外営業活動体からの内部貸出における為替リスク

このヘッジ戦略の目的は、在外営業活動体への、又は在外営業活動体からの内部貸出における為替レートの変動に関連するボラティリティ・リスクを最小限にすることである。このヘッジ対象は当行グループのトレジャリー部と在外営業活動体の間で在外営業活動体の機能通貨で発行された内部貸出の額面価額から構成される。ヘッジ対象リスクは、内部貸出の通貨と親会社の機能通貨であるスウェーデン・クローネとの為替換算レートの差から生じる、利払いと元本返済に係るキャッシュ・フローが変動するリスクである。このヘッジ手段は為替デリバティブである。

## 有効性の測定

ヘッジ関係の有効性は、ヘッジ関係の開始時及びその後四半期毎にテストされる。ヘッジの有効性は、有効性は、漸進的及び遡及的双方の観点、つまり漸進的にはイールド・カーブとディスカウント・カーブのシフトにより、遡及的にはヘッジ対象リスク及びヘッジ手段の条件が十分に整合していない場合に、回帰分析によりテストされる。この文脈で「十分に整合している」とは、キャッシュ・フロー及び割引となる要因が常に同一であることである。有効性が測定される際、ヘッジ対象リスクは完全に有効な仮想デリバティブ(PEH)により表され、これはヘッジ対象の重要な条件と一致する。仮想デリバティブ(PEH)の公正価値はヘッジ関係の開始時にはゼロである。有効性の測定には、仮想デリバティブ(PEH)の公正価値の変動を実際のデリバティブの公正価値変動と比較することにより行われる。

## 有効性の測定の適用基準

ヘッジ会計に適格となるためには、仮想デリバティブ(PEH)で表されるヘッジ対象のヘッジ対象リスクの公正価値変動と、実際のデリバティブの比率が80-125パーセントの範囲内でなければならない。これが回帰分析を通じて調査される場合、有効なヘッジ関係を確立するためには以下の基準を満たす必要がある。

- ・カーブの勾配が  $0.8 < b < 1.25$
- ・  $R^2$  が  $> 0.96$

## 非有効性

ヘッジの非有効性は、仮想デリバティブ(PEH)で表されるヘッジ対象のヘッジ対象リスクの公正価値変動を実際のデリバティブの公正価値変動と比較することで測定される。デリバティブの公正価値変動が仮想デリバティブ(PEH)の価値変動を絶対的に上回る場合、当該ヘッジは非有効と判定される。

これらのヘッジ関係の非有効性は、主としてヘッジ関係の開始日とデリバティブの取引日間の市場金利と為替レートの差によるものである。また非有効性は、ヘッジ対象リスクに含まれない、デリバティブの特定の金利の構成要素に起因する公正価値の変動からも生じる。

## キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段

百万スウェーデン・クローネ

## 金利リスク

金利スワップ(固定金利支払・変動金利受取)

	2023年		
	1年未満	1年以上5年以内	5年超
想定元本	13,568	17,253	8,645
平均固定金利(%)	0.38	0.64	0.67

金利スワップ(変動金利支払・固定金利受取)

想定元本	53,260	53,368	1,113
平均固定金利(%)	1.89	1.73	1.54
<b>為替リスク</b>			
為替デリバティブ、ユーロ/スウェーデン・クローネ			
想定元本	16,075	42,777	12,048
平均為替レート、ユーロ/スウェーデン・クローネ	0.0971	0.0926	0.0928
為替デリバティブ、ユーロ/ノルウェー・クローネ			
想定元本	5,146	57,144	29,127
平均為替レート、ユーロ/ノルウェー・クローネ	0.1049	0.0962	0.0834
為替デリバティブ、英ポンド/スウェーデン・クローネ			
想定元本			
平均為替レート、英ポンド/スウェーデン・クローネ			
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド			
想定元本		989	
平均為替レート、米ドル/英ポンド		1.3157	
為替デリバティブ、米ドル/ノルウェー・クローネ			
想定元本	2,066	40,077	
平均為替レート、米ドル/ノルウェー・クローネ	0.0509	0.0958	
為替デリバティブ、米ドル/スウェーデン・クローネ			
想定元本	75,356	14,514	4,775
平均為替レート、米ドル/スウェーデン・クローネ	0.0880	0.0782	0.1105
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル			
想定元本			
平均為替レート、豪ドル/米ドル			
為替デリバティブ、豪ドル/ユーロ			
想定元本		13,016	
平均為替レート、豪ドル/ユーロ		1.5415	
為替デリバティブ、他の通貨ペア			
想定元本	384	8,096	
<b>合計</b>	<b>165,855</b>	<b>247,234</b>	<b>55,708</b>

**キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段**

2022年

百万スウェーデン・クローネ

1年未満

1年以上5年以内

5年超

**金利リスク**

金利スワップ(固定金利支払・変動金利受取)

想定元本	32,599	27,759	11,499
平均固定金利(%)	0.49	0.47	0.76

金利スワップ(変動金利支払・固定金利受取)

想定元本	78,405	84,438	13,458
平均固定金利(%)	1.53	1.52	2.12

**為替リスク****為替デリバティブ、ユーロ/スウェーデン・クローネ**

想定元本	12,891	40,323	12,052
平均為替レート、ユーロ/スウェーデン・クローネ	0.1054	0.0964	0.0928

**為替デリバティブ、ユーロ/ノルウェー・クローネ**

想定元本	21,271	33,098	45,105
平均為替レート、ユーロ/ノルウェー・クローネ	0.1045	0.1021	0.0975

**為替デリバティブ、英ポンド/スウェーデン・クローネ**

想定元本	7,669		
平均為替レート、英ポンド/スウェーデン・クローネ	0.0907		

**為替デリバティブ、米ドル/英ポンド**

想定元本	7,560		1,000
平均為替レート、米ドル/英ポンド	1.2930		1.3157

**為替デリバティブ、米ドル/ノルウェー・クローネ**

想定元本	14,163	26,897	
平均為替レート、米ドル/ノルウェー・クローネ	0.1083	0.1114	

**為替デリバティブ、米ドル/スウェーデン・クローネ**

想定元本	60,393	8,421	4,872
平均為替レート、米ドル/スウェーデン・クローネ	0.1000	0.1068	0.1105

**為替デリバティブ、豪ドル/米ドル**

想定元本	6,602		
平均為替レート、豪ドル/米ドル	1.3770		

**為替デリバティブ、豪ドル/ユーロ**

想定元本			
平均為替レート、豪ドル/ユーロ			

**為替デリバティブ、他の通貨ペア**

想定元本		12,524	
<b>合計</b>	<b>241,553</b>	<b>233,460</b>	<b>87,986</b>

**キャッシュフロー・ヘッジにおける****ヘッジ手段と非有効性**

2023年

ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の 算定に 用いられた 公正価値 変動	その他包括 利益で認識 されたヘッ ジ手段の 価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性	ヘッジ準備 金から損益 計算書への 振替
	資産	負債				

百万スウェーデン・クローネ

**金利リスク**

金利スワップ(固定金利支払・変動金利 受取)	39,466	2,600	1	-1,928	-2,014	86
金利スワップ(変動金利支払・固定金利 受取)	107,741	429	2,227	3,499	3,499	226

**為替リスク<sup>1</sup>**

為替デリバティブ、 ユーロ/スウェーデン・クローネ	70,900	3,011	310	-158	-157	-1
為替デリバティブ、 ユーロ/ノルウェー・クローネ	91,417	8,286	608	-370	-372	2



為替デリバティブ、 英ポンド/スウェーデン・クローネ				2	2		
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド	989	30		7	7		
為替デリバティブ、 米ドル/ノルウェー・クローネ	42,143	3,133	1,048	-22	-19	-3	
為替デリバティブ、 米ドル/スウェーデン・クローネ	94,645	1,322	3,951	-103	-103	0	
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル				7	7		-1
為替デリバティブ、他の通貨ペア	21,496	599	732	15	16	-1	27
<b>合計</b>	<b>468,797</b>	<b>19,410</b>	<b>8,877</b>	<b>949</b>	<b>866</b>	<b>83</b>	<b>252</b>

キャッシュフロー・ヘッジにおける ヘッジ手段と非有効性 2022年	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の 算定に 用いられた 公正価値 変動	その他包括 利益で認識 されたヘッ ジ手段の 価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性	ヘッジ準備 金から損益 計算書への 振替
	ヘッジ手段の 想定元本	資産	負債			
百万スウェーデン・クローネ						
<b>金利リスク</b>						
金利スワップ(固定金利支払・変動金利 受取)	71,857	4,428	11	4,921	4,975	-54
金利スワップ(変動金利支払・固定金利 受取)	176,300	71	4,854	-8,646	-8,643	-3
<b>為替リスク<sup>1</sup></b>						
為替デリバティブ、 ユーロ/スウェーデン・クローネ	65,266	5,161		307	307	
為替デリバティブ、 ユーロ/デンマーク・クローネ				-3	-3	
為替デリバティブ、ユーロ/英ポンド				20	20	
為替デリバティブ、 ユーロ/ノルウェー・クローネ	99,475	5,744	246	347	347	0
為替デリバティブ、 英ポンド/スウェーデン・クローネ	7,669	1,027		18	18	
為替デリバティブ、 米ドル/デンマーク・クローネ				70	70	0
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド	8,560	633		19	19	
為替デリバティブ、 米ドル/ノルウェー・クローネ	41,060	3,432		16	12	4
為替デリバティブ、 米ドル/スウェーデン・クローネ	73,686	4,728	281	366	364	2
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル	6,602		442	-56	-56	2
為替デリバティブ、他の通貨ペア	12,524	376	216	90	90	0
<b>合計</b>	<b>562,999</b>	<b>25,600</b>	<b>6,050</b>	<b>-2,531</b>	<b>-2,480</b>	<b>-51</b>

1) ヘッジ会計目的で分析を行う場合、親会社の機能通貨であるスウェーデン・クローネへの換算にあたって、ヘッジ関係におけるデリバティブのレグの想定金額のインピュテーション(補充)が考慮される。このデリバティブのレグのインピュテーション(補充)は上記の想定元本額には含まれていない。

ヘッジ手段の帳簿価額は貸借対照表の「デリバティブ商品」に含まれている。

損益計算書で認識された非有効性は「金融取引による純損益」に含まれている。

損益計算書への振替は「金融取引による純損益」に含まれ、期限前に終了したキャッシュフロー・ヘッジである。

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ対象

2023年

	非有効性の算定に 用いられた価値変動	ヘッジ準備金	ヘッジ会計が適用され なくなったヘッジ関係 からのヘッジ準備金残 余額
百万スウェーデン・クローネ			
<b>金利リスク</b>			
発行済変動利付証券	2,014	2,351	
変動金利による一般顧客への貸出金	-3,499	-2,043	771
<b>為替リスク</b>			
ユーロ建て発行済証券並びに英ポンド及びノル ウェー・クローネ建て内部貸出	529	-432	
米ドル建て発行済証券並びにユーロ、英ポンド及 びノルウェー・クローネ建て内部貸出	115	317	68
他通貨建て発行済証券及び内部貸出	-25	35	-2
<b>合計</b>	<b>-866</b>	<b>228</b>	<b>837</b>

## キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ対象

2022年

	非有効性の算定に 用いられた価値変動	ヘッジ準備金	ヘッジ会計が適用され なくなったヘッジ関係 からのヘッジ準備金残 余額
百万スウェーデン・クローネ			
<b>金利リスク</b>			
発行済変動利付証券	-4,975	4,370	
変動金利による一般顧客への貸出金	8,643	-5,323	1,000
<b>為替リスク</b>			
ユーロ建て発行済証券並びに英ポンド及びノル ウェー・クローネ建て内部貸出	-671	-31	
米ドル建て発行済証券並びにユーロ、英ポンド及 びノルウェー・クローネ建て内部貸出	-464	455	89
他通貨建て発行済証券及び内部貸出	-53	142	3
<b>合計</b>	<b>2,480</b>	<b>-387</b>	<b>1,092</b>

## 公正価値ヘッジ

## 固定金利貸出・借入における金利リスク

このヘッジ戦略の目的は、市場金利の変動から生じる固定金利貸出金と借入金の公正価値変動リスクを最小限に抑えることである。ヘッジ対象リスクは、観察可能な金利の構成要素となる各通貨の参照金利である。ヘッジ対象は、固定金利による一般顧客への貸出金と発行済固定利付証券である。ヘッジ手段は、固定金利を支払い変動金利を受け取る又は、固定金利を受け取り変動金利を支払う金利スワップである。

## 有効性の測定

ヘッジの有効性は、貸出金と借入金のヘッジ対象リスクの公正価値変動を、金利スワップの公正価値変動と比較することにより測定される。有効性は、漸進的及び遡及的双方の観点、つまり漸進的にはイールド・カーブとディスカウント・カーブのシフトにより、遡及的には回帰分析を実施することにより測定さ

れる。ヘッジ関係の有効性テストは、ヘッジ関係の開始時とそれ以降の四半期毎に行われる。ヘッジ会計の適格性を満たす要件は、上記のキャッシュフロー・ヘッジのセクションに記載している要件と同じである。

## 非有効性

非有効性は、ヘッジ関係の開始日から報告期間末日までの期間の、金利スワップの公正価値変動を、貸出金・借入金のヘッジ対象リスクの公正価値変動と比較することにより測定される。

これらのヘッジ関係の非有効性は主として金利スワップの変動金利より生じる公正価値変動が貸出金・借入金のヘッジ対象リスクの価値変動と一致しないことによる。

## 金利リスクに関する公正価値のポートフォリオ・ヘッジ

### 固定金利貸出金ポートフォリオの金利リスク

このヘッジ戦略の目的は、市場金利の変動から生じる固定金利貸出金ポートフォリオの公正価値変動リスクを最小限に抑えることである。ヘッジ対象リスクは、各通貨の参照金利の変動に関する固定金利貸出金ポートフォリオの一部の公正価値変動である。ヘッジ対象は、固定金利貸出金ポートフォリオに基づき決定された通貨建の金額である。貸出金ポートフォリオは金利固定期間に分けられる。ヘッジ額は、選択された金利固定期間において当行がヘッジを望む金利リスクに基づいて設定されている。ヘッジ手段は、金利スワップ(変動金利受取、固定金利支払)により構成されており、各金利固定期間に1以上のヘッジ手段が設定されている。

有効性及び非有効性の測定の詳細については、上記の公正価値ヘッジの項に記載されている。

### 公正価値ヘッジにおけるヘッジ手

段	2023年			2022年		
	1年以内	1年から5年	5年超	1年未満	1年から5年	5年超
百万スウェーデン・クローネ						
<b>金利リスク</b>						
金利スワップ(変動金利支払・固定金利受取)						
想定元本	56,277	374,593	93,942	23,501	225,252	93,086
平均固定金利(%)	2.00	2.53	2.47	1.34	1.82	1.37
クロスカレンシー金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)						
想定元本		983		633		1,003
平均固定金利%		3.69		3.26		3.69
<b>合計</b>	<b>56,277</b>	<b>375,576</b>	<b>93,942</b>	<b>24,134</b>	<b>225,252</b>	<b>94,089</b>

### 公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段及び非有効性

2023年	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の算定 に用いられた 公正価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性
		資産	負債		
百万スウェーデン・クローネ					
<b>金利リスク</b>					
金利スワップ(変動金利支払・固定金利受取)	524,812	7,127	15,971	17,711	155

クロスカレンシー金利スワップ(変動金利支払・  
固定金利受取)

	983	25		54	7
<b>合計</b>	<b>525,795</b>	<b>7,152</b>	<b>15,971</b>	<b>17,765</b>	<b>162</b>

## ポートフォリオの公正価値ヘッジ

### 金利リスク

金利スワップ(固定金利支払・変動金利受取)	170,819	10,100	36	-7,034	-80
金利オプション(キャップ)	41	1		-5	0
<b>合計</b>	<b>170,860</b>	<b>10,101</b>	<b>36</b>	<b>-7,039</b>	<b>-80</b>

## 公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段及び非有効性

2022年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の算定 に用いられた 公正価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性
		資産	負債		
<b>金利リスク</b>					
金利スワップ(変動金利支払・固定金利受取)	341,839	79	27,337	-26,463	-80
クロスカレンシー金利スワップ(変動金利支払・ 固定金利受取)	1,636	77		-171	-4
<b>合計</b>	<b>343,475</b>	<b>156</b>	<b>27,337</b>	<b>-26,634</b>	<b>-84</b>

## ポートフォリオの公正価値ヘッジ

### 金利リスク

金利スワップ(固定金利支払・変動金利受取)	234,195	16,809	12	14,762	55
金利オプション(キャップ)	364	7		9	
<b>合計</b>	<b>234,559</b>	<b>16,816</b>	<b>12</b>	<b>14,771</b>	<b>55</b>

ヘッジ手段の帳簿価額は貸借対照表の「デリバティブ商品」に含まれている。

損益計算書で認識された非有効性は「金融取引による純損益」に含まれている。

## 公正価値ヘッジにおけるヘッジ対

2023年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ対象の帳簿価額		ヘッジ対象の帳簿価額に 含まれる 公正価値調整累計額		非有効性の 算定に 用いられた 公正価値変動
	資産	負債	資産	負債	
<b>金利リスク</b>					
発行済固定利付証券及び劣後負債		508,810		-11,412	-17,603
<b>合計</b>		<b>508,810</b>		<b>-11,412</b>	<b>-17,603</b>

## ポートフォリオ公正価値ヘッジ<sup>1</sup>

### 金利リスク

一般顧客への固定金利貸出金	-9,657		-9,657		6,954
変動金利貸出金に係る金利 キャップ	-1		-1		5

合計	-9,658	-9,658	6,959
----	--------	--------	-------

## 公正価値ヘッジにおけるヘッジ対

2022年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ対象の帳簿価額		ヘッジ対象の帳簿価額に 含まれる 公正価値調整累計額		非有効性の 算定に 用いられた 価値変動
	資産	負債	資産	負債	
金利リスク					
発行済固定利付証券及び劣後負債		314,575		-29,127	26,550
合計		314,575		-29,127	26,550

ポートフォリオ公正価値ヘッジ<sup>1)</sup>

金利リスク					
一般顧客への固定金利貸出金	-16,610		-16,610		-14,707
変動金利貸出金に係る金利 キャップ	-6		-6		-9
合計	-16,616		-16,616		-14,716

1) 2023年12月31日現在の原貸出金ポートフォリオの総額は、170,867(234,547)百万スウェーデン・クローネであった。

当年度も昨年度も、公正価値変動に対する調整が行われなくなったヘッジ対象に係る公正価値ヘッジ調整累計額は貸借対照表に計上されていない。

## 注記G24 金融商品の相殺

2023年

百万スウェーデン・クローネ

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び  
類似した契約の対象となる金融資産

	デリバティブ	買戻契約及び 証券貸付	合計
総額	82,331	32,141	114,472
相殺される金額	-52,221	-4,628	-56,849
貸借対照表計上額	30,110	27,513	57,623

## 貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-7,781		-7,781
担保として受け入れた金融資産	-18,880	-27,513	-46,393
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-26,661	-27,513	-54,174

純額	3,449		3,449
----	-------	--	-------

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び  
類似した契約の対象となる金融負債

総額	79,463	4,631	84,094
相殺される金額	-45,225	-4,628	-49,853
貸借対照表計上額	34,238	3	34,241

## 貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-7,781		-7,781
担保として差し入れた金融資産	-17,305	-3	-17,308
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-25,086	-3	-25,089

純額	9,152		9,152
----	-------	--	-------

2022年

百万スウェーデン・クローネ

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び  
類似した契約の対象となる金融資産

	デリバティブ	買戻契約及び 証券貸付	合計
総額	117,373	21,903	139,276
相殺される金額	-81,112	-8,320	-89,432
貸借対照表計上額	36,261	13,583	49,844

## 貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-11,031		-11,031
担保として受け入れた金融資産	-21,972	-13,568	-35,540
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-33,003	-13,568	-46,571

純額	3,258	15	3,273
----	-------	----	-------

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び  
類似した契約の対象となる金融負債

総額	111,598	8,325	119,923
相殺される金額	-82,558	-8,320	-90,878

貸借対照表計上額	29,040	5	29,045
貸借対照表上で相殺されない関連金額			
金融商品、ネットティング契約	-11,031		-11,031
担保として差し入れた金融資産	-5,897	-5	-5,902
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-16,928	-5	-16,933
純額	12,112		12,112

デリバティブ商品は、2つ以上の契約の決済における当行の予測キャッシュ・フローを反映している場合に、貸借対照表上で相殺される。中央清算機関との買戻契約及び売戻契約は、2つ以上の契約の決済における当行の予測キャッシュ・フローを反映している場合に、貸借対照表上で相殺される。この相殺は、当行が合意したキャッシュ・フローを純額で決済する契約上の権利及び意図の両方を有している場合に行われる。デリバティブ資産について相殺された金額には、貸借対照表項目の一般顧客からの預金及び借入金による現金担保11,268(11,346)百万スウェーデン・クローネの相殺が含まれている。デリバティブ負債について相殺された金額には、貸借対照表項目の一般顧客への貸出金による現金担保4,272(12,791)百万スウェーデン・クローネの相殺が含まれている。

デリバティブの残存カウンターパーティ・リスクは、ネットティング契約を通じて(すなわち、倒産時に同一のカウンターパーティとのすべてのデリバティブ取引における正の価値と負の価値を相殺することによって)軽減されている。ハンデルスバンケンは、カウンターパーティとなるすべての銀行との間でネットティング契約を締結することを方針としている。ネットティング契約は、正味エクスポージャーに対する担保を設定することで補完されている。使用される担保は主に現金であるが、国債も使用される。買戻契約並びに有価証券借入及び貸付契約に関する担保には、通常、現金又は他の有価証券が利用される。



## 注記G25 無形資産

2023年	商標及び		内部開発		合計	
百万スウェーデン・クローネ	のれん	その他の権利	顧客契約	ソフトウェア	その他	2023年
期首現在取得原価	4,397	3	714	6,000	164	11,278
無形資産の取得原価の増加				958	3	961
処分及び除却				-496		-496
外貨換算影響額	-41		4	-9		-46
<b>期末現在取得原価</b>	<b>4,356</b>	<b>3</b>	<b>718</b>	<b>6,453</b>	<b>168</b>	<b>11,697</b>
期首現在償却累計額及び						
減損額	0	0	-271	-2,507	-99	-2,877
処分及び除却				496		496
当年度の償却			-37	-681	-33	-751
当年度の減損				-1		-1
外貨換算影響額			-1	2		1
<b>期末現在償却累計額及び</b>						
<b>減損額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-309</b>	<b>-2,691</b>	<b>-131</b>	<b>-3,132</b>

帳簿価額 4,356 3 409 3,762 37 8,567

2023年度には、3,238(2,723)百万スウェーデン・クローネの開発費が費用として計上された。

2022年	商標及び		内部開発		合計	
百万スウェーデン・クローネ	のれん	その他の権利	顧客契約	ソフトウェア	その他	2022年
期首現在取得原価	4,375	196	671	5,605	164	11,011
無形資産の取得原価の増加				703		703
処分及び除却	-18	-206		-325		-549
外貨換算影響額	40	13	43	17		113
<b>期末現在取得原価</b>	<b>4,397</b>	<b>3</b>	<b>714</b>	<b>6,000</b>	<b>164</b>	<b>11,278</b>
期首現在償却累計額及び						
減損額	-18	-193	-223	-2,209	-66	-2,709
処分及び除却	18	206		325		549
当年度の償却			-34	-594	-33	-661
当年度の減損				-21		-21
外貨換算影響額		-13	-14	-8		-35
<b>期末現在償却累計額及び</b>						
<b>減損額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-271</b>	<b>-2,507</b>	<b>-99</b>	<b>-2,877</b>
帳簿価額	4,397	3	442	3,493	66	8,402

## 耐用年数を確定できない

	のれん		無形資産	
	2023年	2022年	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ				
ハンデルスバンケン・スウェーデン	3,331	3,331		
ハンデルスバンケン・英国	183	180		
ハンデルスバンケン・ノルウェー	655	699		
ハンデルスバンケン・オランダ	177	177		
ハンデルスバンケン・キャピタル・ マーケット	10	10	3	3
合計	4,356	4,397	3	3

## のれん及び耐用年数を確定できない無形資産に関する減損テスト

のれん及びその他の耐用年数を確定できない無形資産は、減損損失控除後の取得原価で計上される。これらの資産は年次報告書作成時に年次で、又は資産に減損の兆候がある場合にはその都度、減損テストが実施される。減損テストは、その資産の回収可能価額（すなわち、使用価値と売却費用控除後の公正価値のいずれか高い方）を算定することにより実施される。回収可能価額が帳簿価額を超過する限り減損損失を認識する必要はない。減損損失は損益計算書に直接計上される。

のれんから発生するキャッシュ・フローと、その他の資産から発生するキャッシュ・フローを区別することが不可能なため、のれんの減損テストは資金生成単位レベルで行われる。資金生成単位とは、他の資産又は資産グループからのキャッシュ・インフローとはおおむね独立したキャッシュ・インフローを生成させる資産グループの最小単位である。のれんについては、事業セグメント単位で把握されている。過去に認識されたのれんの減損は戻入れない。

認識済みののれんは、主にハンデルスバンケンの拠点市場における従来の銀行業務に由来している。のれん及び耐用年数を確定できない無形資産は、毎年、年次決算にあたり減損テストが実施される。減損テストを実施する際に、のれんが割り当てられている単位の使用価値は、見積将来キャッシュ・フロー及び最終価値を割り引くことによって算定されている。上表ののれんは、事業セグメント間で配分されている。

最初の5年間の見積将来キャッシュ・フローは、リスク加重取引高、収益、費用及び信用損失についての予測に基づいている。この予測は主として、将来の収益及び費用の推移、経済情勢、予想される金利及び予想される将来の規制の影響についての内部評価に基づくものである。最初の5年間経過後、長期成長率の仮定に基づいて予測が行われる。見積キャッシュ・フローは、過去のGDP成長実績及びスウェーデン中央銀行の長期インフレ目標に基づいている。当年度の減損テストは、2(2)％の長期成長率の仮定に基づいている。合計予想期間は20年間であり、これは、当行が拠点市場で長期的に事業を展開するという意図から正当化されている。使用される最終価値は、テスト対象単位の純資産価額の予測である。見積キャッシュ・フローは、リスク・フリー金利及び市場の平均収益要件を加味したリスク調整に基づく金利により割り引かれている。年次減損テストでは、税引後の割引率は8.2(7.6)％であった。税引前の割引率は11.9(10.5)％であった。すべての事業セグメントに対して同一の割引率を使用している。

のれんの年次減損テストにおける回収可能額と帳簿価額との差額は、満足できるものとみなされている。算定されたのれんの使用価値は、予想キャッシュ・フロー及び割引率に対して重要ないくつかの異なる変数からの影響を受けやすい。計算において最も重要な変数は、金利、景気循環、将来マージン及び費用削減に関する仮定である。重要な仮定に合理的に起こり得る変化が生じて、のれんの帳簿価額に影響はない。

**耐用年数を確定可能な無形資産**

見積耐用年数の設定が可能な無形資産は償却され、その資産の耐用年数にわたって定額法で償却される。すなわち、現行では、顧客契約は20年間にわたって償却されており、内部開発ソフトウェアは通常5年間にわたって償却されている。特定のインフラ整備プロジェクトでは、その耐用年数は5年超と評価される。こうした種類の投資の償却期間は最長で15年である。償却の対象となる商標は、5年間にわたって償却されている。償却期間は新規取得時において個別に検証されるが、耐用年数が変化した可能性があることを示す兆候がある場合にも継続的に検証が行われる。耐用年数が確定可能な無形資産は、資産の減損が示唆される場合に減損について検証が行われる。減損テストは耐用年数を確定できない無形資産と同様の原則、すなわち資産の回収可能価額を算定することにより実施される。

## 注記G26 不動産及び器具備品

## 不動産及び器具備品

百万スウェーデン・クローネ

不動産

器具備品

債権の保全のために担保権が実行された不動産

合計

2023年

2022年

3,960

4,154

815

760

2

4,777

4,914

## 不動産

百万スウェーデン・クローネ

期首現在取得原価

新規建設及び改築

処分及び除却

外貨換算影響額

期末現在取得原価

2023年

2022年

1,753

1,775

91

145

-203

0

36

1,844

1,753

期首現在減価償却累計額及び減損額

-551

-518

当年度の予定減価償却

-37

-32

処分及び除却

2

外貨換算影響額

0

-3

期末現在減価償却累計額及び減損額

-588

-551

帳簿価額

1,256

1,202

帳簿価額、使用権資産

2,704

2,952

帳簿価額合計

3,960

4,154

## 器具備品

百万スウェーデン・クローネ

期首現在取得原価

当年度の取得原価の増加

処分及び除却

外貨換算影響額

期末現在取得原価

2023年

2022年

1,996

1,954

425

366

-326

-401

3

77

2,098

1,996

期首現在減価償却累計額及び減損額

-1,300

-1,287

当年度の予定減価償却

-324

-311

処分及び除却

315

355

外貨換算影響額

-4

-57

期末現在減価償却累計額及び減損額	-1,313	-1,300
帳簿価額	785	696
帳簿価額、使用権資産	30	64
帳簿価額	815	760

当行グループの有形固定資産は、不動産(自社利用不動産)及び器具備品並びに使用権資産で構成される。これらの資産は減価償却累計額及び減損損失控除後の取得原価で計上される。減価償却は、資産の見積耐用年数に基づき定額法で行われている。見積耐用年数は毎年見直されている。2023年度において耐用年数に重大な変更はなかった。器具備品の耐用年数は2年から10年と見積もられている。不動産については、サブコンポーネントごとに個別に減価償却が行われている。建造物の耐用年数は100年、残りのサブコンポーネントの耐用年数は10年から35年である。主に賃貸物件である使用権資産の耐用年数は、リース期間と同一である。対応するリース負債に関する情報は、注記 G45「リース」に表示されている。不動産及び器具備品の減損テストは、資産の価値に下落の兆候がある場合に実施される。貸借対照表日現在、不動産及び器具備品に減損の兆候はなかった。

#### 注記G27 その他資産

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
投資銀行業務の決済に係る債権	5,610	10,825
再保険資産	27	19
その他	4,640	3,877
合計	10,276	14,721

#### 注記G28 前払費用及び未収収益

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
未収収益	1,218	1,187
前払費用	1,114	792
合計	2,331	1,979

**注記G29 金融機関からの預り金**

百万スウェーデン・クローネ

**預り金（スウェーデン・クローネ建て）**

	2023年	2022年
銀行	7,222	9,080
その他金融機関	8,444	8,681
<b>合計</b>	<b>15,666</b>	<b>17,761</b>

**預り金（外貨建て）**

銀行	73,389	63,777
その他金融機関	1,088	155
<b>合計</b>	<b>74,477</b>	<b>63,932</b>

<b>金融機関からの預り金合計</b>	<b>90,143</b>	<b>81,693</b>
うち、レボ	0	

**平均取引高**

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
金融機関からの預り金（スウェーデン・クローネ建て）	22,050	24,643
金融機関からの預り金（外貨建て）	143,309	145,739
<b>合計</b>	<b>165,359</b>	<b>170,382</b>
うち、レボ	177	125

## 注記G30 一般顧客からの預金及び借入金

## 一般顧客からの預金

百万スウェーデン・クローネ

## 預金(スウェーデン・クローネ建て)

	2023年	2022年
個人	361,462	430,128
法人	275,307	336,594
国債局	1	1
合計	636,769	766,723

## 預金(外貨建て)

個人	100,321	117,317
法人	279,549	294,915
合計	379,871	412,232

## 一般顧客からの預金合計

1,016,640 1,178,955

## 一般顧客からの借入金

百万スウェーデン・クローネ

## 借入金(スウェーデン・クローネ建て)

	2023年	2022年
借入金(スウェーデン・クローネ建て)	176,875	81,292
借入金(外貨建て)	104,966	58,679
一般顧客からの借入金合計	281,841	139,970

## 一般顧客からの預金及び借入金合計

1,298,480 1,318,925

うち、レボ

2

5

うち、保険事業

115

117

## 平均取引高

百万スウェーデン・クローネ

## 一般顧客からの預金

	2023年	2022年
一般顧客からの預金(スウェーデン・クローネ建て)	676,110	804,420
一般顧客からの預金(外貨建て)	411,677	446,694
合計	1,087,787	1,251,114

## 一般顧客からの借入金

一般顧客からの借入金(スウェーデン・クローネ建て)	175,907	70,508
一般顧客からの借入金(スウェーデン・クローネ建て)、保険事業	116	118
一般顧客からの借入金(外貨建て)	222,857	210,655
合計	398,880	281,281
うち、レボ	8,978	16,971

## 注記G31 顧客が価値変動リスクを負う負債

	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ		
ユニットリンク保険負債	192,952	167,240
ポートフォリオ・ボンド保険負債	51,989	45,123
その他のファンド負債	159	603
<b>合計</b>	<b>245,100</b>	<b>212,966</b>

## 注記G32 発行済証券

	2023年		2022年	
	帳簿価額	額面価格	帳簿価額	額面価格
百万スウェーデン・クローネ				
<b>コマーシャル・ペーパー</b>				
コマーシャル・ペーパー (スウェーデン・クローネ建て)	1,099	1,055	908	861
うち、純損益を通じて公正価値で計上 (強制)	1,099	1,055	908	861
コマーシャル・ペーパー(外貨建て)	606,147	418,067	623,429	624,435
うち、償却原価で計上	605,740	417,676	622,702	623,745
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	15,500	15,745	6,507	6,681
うち、純損益を通じて公正価値で計上 (強制)	407	391	727	690
<b>合計</b>	<b>607,246</b>	<b>419,122</b>	<b>624,336</b>	<b>625,296</b>
<b>債券</b>				
債券(スウェーデン・クローネ建て)	568,496	572,069	510,343	518,021
うち、償却原価で計上	568,496	572,069	510,343	518,021
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	216,156	218,968	95,126	102,300
債券(外貨建て)	347,739	353,432	340,122	353,420
うち、償却原価で計上	347,739	353,432	340,122	353,420
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	243,902	253,894	190,268	210,421
<b>合計</b>	<b>916,235</b>	<b>925,501</b>	<b>850,465</b>	<b>871,441</b>
<b>発行済証券合計</b>	<b>1,523,481</b>	<b>1,344,623</b>	<b>1,474,801</b>	<b>1,496,737</b>

	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ		
期首現在発行済証券	1,474,801	1,353,768
発行済	1,251,086	1,064,019
買戻	-72,561	-57,759
満期が到来したもの	-1,124,075	-926,079
外貨換算影響額等	-5,771	40,852
<b>期末現在発行済証券</b>	<b>1,523,481</b>	<b>1,474,801</b>



**平均残高**

百万スウェーデン・クローネ

発行済証券(スウェーデン・クローネ建て)

発行済証券(外貨建て)

**合計****2023年****2022年**

528,045

514,455

1,013,598

950,189

**1,541,643****1,464,645****注記G33 ショートポジション**

百万スウェーデン・クローネ

**公正価値で計上されるショートポジション**

株式

利付証券

**合計****2023年****2022年**

520

362

1,844

1,577

**2,364****1,939****平均残高**

百万スウェーデン・クローネ

ショートポジション(スウェーデン・クローネ建て)

ショートポジション(外貨建て)

**合計****2023年****2022年**

15,301

16,865

209

142

**15,510****17,007****注記G34 保険負債****保険負債、2023年**百万スウェーデン・  
クローネ**発生保険金****に係る負債****- 将来****キャッ****シュ・フ****ローの現在****価値****(PAA)****発生保険金****に係る負債****リスク調整****(PAA)****合計****残余力パー  
に係る負債  
(GMM)****発生保険金  
に係る負債  
(GMM)****残余力パー  
に係る負債  
(PAA)****期首残高**

8,269

0

9

259

8

**8,546**

保険収益 -

公正価値アプローチ

-588

-588

うち、

予想保険サービス費用

-530

-530

うち、契約上のサービ

ス・マージンの償却

-39

-39

うち、リスク調整の償却

-20

-20

保険収益 -

完全遡及アプローチ

1

-581

-580

保険サービス費用

528

418

1

947

**保険サービスによる損益****-588****528****-581****418****1****-221**

純損益を通じて計上した金 融収益及び金融費用	37			6	0	43
その他包括利益を通じて計 上した金融収益及び金融 費用	396					396
キャッシュ・フロー - 支払保険料	15		580			595
キャッシュ・フロー - 支払		-528		-423		-951
外貨換算影響額				-1		-1
<b>期末残高</b>	<b>8,129</b>	<b>0</b>	<b>8</b>	<b>260</b>	<b>9</b>	<b>8,407</b>

## 保険負債、2022年

百万スウェーデン・  
クローネ発生保険金  
に係る負債  
- 将来キャッ  
シュ・フ  
ローの現在  
価値  
(PAA)発生保険金  
に係る負債  
リスク調整  
(PAA)

合計

	残存カバ ーに係る負債 (GMM)	発生保険金 に係る負債 (GMM)	残存カバ ーに係る負債 (PAA)			
<b>期首残高</b>	<b>9,657</b>	<b>0</b>	<b>10</b>	<b>311</b>	<b>11</b>	<b>9,989</b>
保険収益 - 公正価値アプローチ	-612					-612
うち、 予想保険サービス費用	-545					-545
うち、契約上のサービ ス・マージンの償却	-40					-40
うち、リスク調整の償却	-26					-26
保険収益 - 完全遡及アプローチ			-596			-596
保険サービス費用		545		372	-1	916
<b>保険サービスによる損益</b>	<b>-612</b>	<b>545</b>	<b>-596</b>	<b>372</b>	<b>-1</b>	<b>-292</b>

純損益を通じて計上した金 融収益及び金融費用	-1			-17	-1	-20
その他包括利益を通じて計 上した金融収益及び金融 費用	-793					-793
キャッシュ・フロー - 支払保険料	17		595			612
キャッシュ・フロー - 支払		-545		-408		-953
外貨換算影響額				1		1
<b>期末残高</b>	<b>8,269</b>	<b>0</b>	<b>9</b>	<b>259</b>	<b>8</b>	<b>8,546</b>

保険負債(GMM) - 構成要素別、2023年  
百万スウェーデン・クローネ

	将来キャッ シュ・フローの 現在価値	リスク調整	契約上の サービス・ マージン	合計
期首残高	7,192	385	693	8,269
将来のサービスに関する変動	43	-27	-16	0
当期のサービスに関する変動	-1	-20	-39	-60
過去のサービスに関する変動				
保険サービスによる損益	42	-47	-55	-60
純損益及びその他包括利益を通じて計上し た金融収益及び金融費用	417	13	3	433
キャッシュ・フロー	-513			-513
期末残高	7,138	351	641	8,129

保険負債(GMM) - 構成要素別、2022年  
百万スウェーデン・クローネ

	将来キャッ シュ・フローの 現在価値	リスク調整	契約上の サービス・ マージン	合計
期首残高	8,623	423	612	9,657
将来のサービスに関する変動	-116	-6	121	0
当期のサービスに関する変動	0	-26	-40	-67
過去のサービスに関する変動				
保険サービスによる損益	-116	-32	81	-67
純損益及びその他包括利益を通じて計上し た金融収益及び金融費用	-787	-7	0	-794
キャッシュ・フロー	-528			-528
期末残高	7,192	385	693	8,269

割引に用いられるイールド・カーブ

	ロックインされた イールド・カーブ(%)		現在のイールド・カーブ(%)	
期間	2023年	2022年	2023年	2022年
1年	0.75	0.42	3.02	3.47
2年	0.82	0.58	2.78	3.41
5年	0.88	0.79	2.25	3.16
10年	1.37	1.13	2.24	3.00
20年	2.43	2.27	2.76	3.17

死亡率

	65歳以降の平均余命(年)	
コホート	女性	男性

1940年	23.9	22.2
1950年	24.6	21.8
1960年	25.3	23.3
1970年	25.8	24.0
1980年	26.2	24.4

年	契約上のサービス・マージンの予想残存率 (%)	
	2023年	2022年
2022年		100
2023年	100	94
2025年	88	83
2030年	63	59
2040年	27	26
2050年	9	9

当行の保険事業は、ハンデルスバンケン・リヴが行っている。貸借対照表項目の「保険負債」は、保険契約者からハンデルスバンケン・リヴに重大な保険リスクを移転する保険契約で構成され、従来型生命保険契約とスウェーデンの小規模企業や個人が締結する健康保険、保険料払込免除特約及び死亡保険の形態のリスク保険で構成されている。ほとんどの契約がスウェーデンで締結されているという点を除いて、リスクの集中は確認されていない。デンマークの保険事業は2022年に、ノルウェーの保険事業は2023年に売却されている。フィンランドの保険事業の売却に関する契約は2023年に締結された。フィンランドに帰属する保険負債は上記に含まれておらず、貸借対照表上「売却目的で保有する負債」に分類変更されている。注記G14を参照のこと。

保険負債は、残存カバーに係る負債と発生保険金に係る負債の合計である。保険料配分アプローチ(PAA)に従って認識されるリスク保険及びリスク保険要素の場合、残存カバーに係る負債は未稼得受取保険料で測定される。一般測定モデル(GMM)に従って認識される従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素の場合、残存カバーに係る負債には、将来のサービス義務に係るキャッシュ・フローと、契約上のサービス・マージンのうちまだ収益として認識されていない部分が含まれる。発生保険金に係る負債には、過去のサービス義務に係るキャッシュ・フローが含まれる。義務に係るキャッシュ・フローは、将来キャッシュ・フローの期待現在価値とリスク調整で構成される。以下のセクションでは、負債の構成要素、すなわち将来キャッシュ・フローの期待現在価値、リスク調整及び契約上のサービス・マージンについて説明している。保険契約の分類及び測定の詳細については、注記 G1のセクション9を参照のこと。

### 将来キャッシュ・フローの期待現在価値

締結した保険契約に起因する将来キャッシュ・フローの期待現在価値は、様々な結果及び割引の可能性を考慮して算定される。将来キャッシュ・フローには、保険契約の履行に起因する保険料、保険金、保険金請求処理及び管理費が含まれる。算定は、各保険契約に関する仮定及び情報を用いて、キャッシュ・フローを予測して行われる。

### 将来キャッシュ・フローの期待現在価値を算出する際の仮定

将来キャッシュ・フローの期待現在価値を算出する際に仮定が適用されるが、その算出には不確実性が伴っている。関連する場合、残存カバーに係る負債及び未稼得受取保険料にも同一の仮定が適用される。適用される仮定は、内部過去データ、業界統計及び市況に基づいている。ハンデルスバンケン・リヴは、さまざまな仮定の変更に対する保険負債の感応度と、想定結果と比較した実際の結果との違いを継続的に分析している。仮定は、確立されたプロセスに基づいて作成されており、ハンデルスバンケン・リヴの保険数理部門(第一の防衛線)が継続的に、また必要に応じて、仮定の変更に関する分析を行い、変更を提案する責任を負う。保険数理部門(第二の防衛線)は、その提案を確認して意見を付す。仮定の変更に関する決定はハンデルスバンケン・リヴの最高経営責任者が行い、当行の評価委員会に報告される。最も重要な2つの仮定は、将来の死亡率及び将来キャッシュ・フローの割引に使用されるイールド・カーブである。その他の重要な仮定には、将来の管理費に関する仮定及び譲渡や返戻などの解約・失効に係る仮定が含まれる。

### 死亡率に関する仮定

将来の死亡率に関する仮定は、業界統計及び内部過去データに基づいている。この仮定は、年齢別及びコホート別の1年間の死亡率で表されていることから表形式で表示するには膨大であり、代わりに65歳以上の予想平均余命という形で死亡率の仮定を示している。

### イールド・カーブに関する仮定

将来キャッシュ・フローを割り引くために使用される現在のイールド・カーブは、信用リスク調整後の、最長10年物の金利スワップレートの観察可能な市場価格に基づいている。10年超の満期のイールド・カーブは、スミス・ウィルソン法を用いて長期のフォワード・レートに収斂させて決定される。現在の長期のフォワード・レートは3.45(3.45)%と見積もられている。収斂までの期間は10(10)年と想定されている。金融市場シナリオは、市場整合的で裁定取引がないという仮定に基づいており、割引に使用される関連するリスク・フリー金利と整合的である。保険負債の割引に使用された現在のイールド・カーブ及びロックインされたイールド・カーブ(移行日に決定されたイールド・カーブ)は表で示されている。

### **リスク調整**

リスク調整は、非金融リスクに対して、締結した保険契約から生じる将来キャッシュ・フローの不確実性を引き受けるために当行が要求する報酬に相当する。ハンデルスバンケン・リヴの高いソルベンシーを確保するために、この報酬は、ハンデルスバンケン・リヴがソルベンシー2規制に基づき維持することが求められるリスク・マージンとして決定されている。したがって、リスク調整は、資本コスト率の6(6)%を使用して将来の資本コストを予測し、現在価値に割り引く資本コスト・アプローチを用いて計算される。2023年度のリスク調整は361(393)百万スウェーデン・クローネであった。将来キャッシュ・フローの期待現在価値が正規分布に従うと仮定すると、これは、現在のイールド・カーブを使用して評価した1年間の信頼水準約99.90(99.96)%に相当する。損益計算書では、リスク調整は、保険サービスによる損益と金融収益/費用に分けられて計上される。

### **契約上のサービス・マージン**

契約上のサービス・マージンとは、将来に保険カバーが提供される際に当行が認識する前受利益である。IFRS第17号への移行に際して、従来型生命保険契約の貯蓄性保険要素には、公正価値と将来キャッシュ・フローの期待現在価値及びリスク調整の合計との差額である、契約上のサービス・マージンが生じている。従来型生命保険契約を新たに締結することはできないため、IFRS第17号への移行後は新規契約に

係る契約上のサービス・マージンは発生しない。ハンデルスバンケンは、リターン関連サービスと保険カバーの提供に関連するサービスの両方が時間の経過とともに直線的に行われると評価している。したがって、保険カバー要素は、契約上のサービス・マージンが時間の経過とともに比例して償却されるパターンに従うように選択されている。表は、契約上のサービス・マージンの予想償却率を示している。

## 当年度の重要な変更及び事象

当年度に現在のイールド・カーブが変化したことにより、保険負債総額が312百万スウェーデン・クローネ増加した。さらに、仮定に関する年次の見直しにより、管理費、譲渡及び解約に関する仮定が変更されているが、保険負債の価値への影響は軽微である。

感応度分析、2023年 百万スウェーデン・クローネ		保険事業による純						保険契約者に代			
		損益に対する 影響額		その他包括利益に 対する影響額		資本に対する影響 額合計		保険負債に対する 影響額		わって保有する資 産に対する影響額	
リスク変数	シナリオ	仮定の 増加	仮定の 減少	仮定の 増加	仮定の 減少	仮定の 増加	仮定の 減少	仮定の 増加	仮定の 減少	仮定の 増加	仮定の 減少
死亡リスク <sup>1</sup>	予想死亡率の +/-10%の変動	7	-8	-1	-1	6	-9	-6	9		
障害・疾病 リスク	障害・疾病率の +/-10%の変動	10	-12			10	-12	-10	12		
解約・失効 リスク	解約・失効率の +/-1パーセン テージ・ポイン トの変動	3	-3	-5	6	-3	2	3	-2		
管理費用 リスク	管理費用の+/- 10%の変動	-2	2	1	-1	-1	1	1	-1		
一般的な金利 リスク	関連金利の+/- 1パーセンテー ジ・ポイントの パラレル・ シフト	-103	101	521	-687	419	-585	-530	697	-112	112
特定金利リスク (スプレッド・リ スクを有する保 ド・リスク)	スプレッド・リ スクを有する保 有資産の価値の +/-1%の変動	35	-35	-3	3	32	-32	3	-3	35	-35
株価リスク	株価の+/-10%の 変動	82	-83	-2	2	81	-81	3	-3	84	-84
為替リスク	対スウェーデ ン・クローネの その他の通貨の +/-10%の変動	48	-48	-2	2	46	-46	3	-3	49	-49

1) この感応度分析には、PAAを適用して測定された保険契約の残存カバーに係る負債（未稼得の受取保険料で測定される）を除く保険負債全体が含まれている。その結果、将来保険料が不十分であると判断された場合に保険料が増額される以外には、リスク変数の変動がこの負債に直ちに影響を与えることはない。

従来型生命保険及びリスク保険のポートフォリオにおけるリスクと感応度が、合理的に可能性の高い重要なリスク変数の変動が保険事業による純損益、その他包括利益、資本、保険負債及び保険契約者に代

わって保有する保険資産に及ぼす影響して、上表で定量化されている。感応度分析は、1つのリスク変数が変動し、その他のリスク変数是不変であるという前提に基づいている。実際には、一部のリスク変数の変動は相関している可能性があるため、1つのリスク変数しか変動しないという可能性は低い。重要なリスク変数に対する感応度を計測する際には、計上される保険負債に使用されるものと同一の方法が適用されている。感応度分析は、両年度において同一の方法を適用して作成されている。

感応度分析、2022年 百万スウェーデン・クローネ		保険事業による純						保険契約者に代			
		損益に対する 影響額		その他包括利益に 対する影響額		資本に対する影響 額合計		保険負債に対する 影響額		わって保有する資 産に対する影響額	
リスク変数	シナリオ	仮定の 増加	仮定の 減少	仮定の 増加	仮定の 減少	仮定の 増加	仮定の 減少	仮定の 増加	仮定の 減少	仮定の 増加	仮定の 減少
死亡リスク <sup>1</sup>	予想死亡率の +/-10%の変動	7	-8	-7	4	0	-4	0	4		
障害・疾病 リスク	障害・疾病率の +/-10%の変動	9	-10			9	-10	-9	10		
解約・失効 リスク	解約・失効率の +/-1パーセン テージ・ポイン トの変動	3	-4	-18	19	-15	15	15	-15		
管理費用リスク	管理費用の+/- 10%の変動	-2	2	4	-4	2	-2	-2	2		
一般的な金利 リスク	関連金利の+/- 1パーセンテー ジ・ポイントの パラレル・ シフト	-119	118	491	-702	372	-584	-499	711	-127	127
特定の金利リス ク(スプレッ ド・リスク)	スプレッド・リ スクを有する保 有資産の価値の +/-1%の変動	41	-41	-6	4	35	-37	6	-4	41	-41
株価リスク	株価の+/-10%の 変動	24	-24	-1	1	23	-23	2	-1	25	-25
為替リスク	対スウェーデ ン・クローネの 他の通貨の+/- 10%の変動	31	-31	-3	2	28	-29	3	-3	31	-31

#### 保険契約者に代わって保有する従来型生命保険の資産

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
株式ファンド <sup>1</sup>	532	137
債券ファンド <sup>1</sup>	5,326	5,378
プライベート・エクイティ <sup>1</sup>	18	21
現金及び現金同等物	36	192
合計	5,912	5,728

1) 「株式」として認識されている。注記G19を参照のこと。

## デュレーション

百万スウェーデン・クローネ

	債券ファンド		従来型生命保険 将来キャッシュ・フローの現在価値	
	2023年	2022年	2023年	2022年
0 - 1年	2,754	2,403	565	525
1 - 5年	2,171	2,502	1,929	1,878
5 - 10年	281	383	1,805	1,763
10年超	120	90	2,840	3,025
合計	5,326	5,378	7,138	7,192

## 保険契約におけるリスク

当行は、保険契約を通じて主に市場リスク、信用リスク、流動性リスク及び保険リスクにさらされており、最も重要なリスクは以下の通りである。

### 市場リスク

市場リスクとは、金利、株価、為替レートなどの金融市場のリスク要因の変動が運用資産や債務の価値の変動をもたらす複合的なリスクである。

### 金利リスク

一般的な金利リスクは、投資資産と保険負債のデュレーションが異なることにより、従来型生命保険で生じる。負債のデュレーションは長期であるため、割引率の変動に対する金利感応度は大きい。運用資産のデュレーションは短期であるため、市場金利の変動に対する金利感応度は限定的である。ハンデルスバンケン・リヴは、従来型生命保険の構造をふまえて、運用資産のデュレーションを短くしている。

特定の金利リスク(スプレッド・リスク)は、債券ファンドの保有における従来型生命保険運用において、信用スプレッドの変動、すなわち、現在の保有資産の利回りと同じ満期の国債の利回りが異なることにより生じる。

運用資産は、(強制的に)純損益を通じて公正価値で認識され測定される。注記G5及び注記G6を参照のこと。従来型生命保険の損益勘定におけるボラティリティを回避するため、割引率の変動による影響額はロックインされたイールド・カーブで割り引かれた負債と現在のイールド・カーブで割り引かれた負債の差額として、「その他包括利益」で認識される。

### 株価リスク

株価リスクは、主に株式ファンドへの投資により、従来型生命保険の運用で生じる。従来型生命保険契約では、実際のリターンが保証されたリターンの水準を上回った場合に、保険契約者に対し、保証給付額に加え追加の給付額を受領する機会を設けている。これは、ハンデルスバンケンが主に株価リスクの下振れリスクにさらされていることを意味する。年度末現在の従来型生命保険の運用ポートフォリオにおける株価リスク・エクスポージャーは、550(158)百万スウェーデン・クローネであった。

### 為替リスク

為替リスクは、主にユーロ建て及び米ドル建ての原資産を有するミューチュアル・ファンドへの投資の結果として、主に従来型生命保険の運用で生じる。このエクスポージャーは、必要に応じて為替デリバ



タイプを用いることで限定される。年度末現在、ユーロ建ての正味エクスポージャーは301(52)百万スウェーデン・クローネであり、米ドル建ての正味エクスポージャーは173(52)百万スウェーデン・クローネである。

## 信用リスク

信用リスクは、債券ファンドの保有に対する従来型生命保険の運用において生じる。ミューチュアル・ファンドの原資産は、格付けはBBB- (投資適格)又は同等以上の格付けのものしか認められていないことから、このリスクは限定的である。

## 流動性リスク

流動性リスクは、主に従来型生命保険では、保険契約者に保険資本を他の保険会社に移転する機会が与えられていることにより生じる。このリスクは、将来の支払に関する日常的なモニタリングによって管理され、運用資産の大半が、非常に流動性の高いUCITSファンドに投資されていることで制限されている。

## 保険リスク

保険リスクとは、金融リスク以外であって、保険契約者からハンデルスバンケン・リヴに移転されるリスクをいう。最も重要な保険リスクは以下の通りである。

### 死亡リスク

死亡リスクとは、死亡率の変動により保険契約価値の損失や低下が生じるリスクである。死亡リスクは主に死亡保険で生じ、死亡率が上昇すると保険契約債務が増加する。

### 長寿リスク

長寿リスクとは、死亡率の変動により保険契約価値の損失や低下が生じるリスクである。長寿リスクは保険契約者が終身保証の給付を受ける従来型生命保険契約で生じ、死亡率が低下すると保険契約債務が増加する。

### 障害・疾病リスク

障害・疾病リスクとは、罹患及び回復の水準の変動により保険契約価値の損失や低下が生じるリスクである。障害・疾病リスクは主に医療保険で生じ、障害・疾病率が低下すると保険契約債務が増加する。

### 解約・失効リスク

解約・失効リスクとは、譲渡及び解約の頻度の変化により保険契約価値の損失や低下が生じるリスクである。解約・失効リスクは主に、ポートフォリオ全体に譲渡権が存在する従来型生命保険契約で生じる。

### 管理費リスク

管理費リスクとは、保険契約管理費の変動により保険契約価値の損失や低下が生じるリスクである。管理費リスクは、主に従来型生命保険契約において生じ、管理費が増加すると保険契約債務が増加する。

## リスクの管理と制限

ハンデルスバンケン・リヴのリスク許容度は低く、当行のリスク管理原則に従っている。リスクは主に、予期せぬ不利な事象が発生した場合でもハンデルスバンケン・リヴが保険契約者への義務を果たせる

ように、十分な資本水準を維持することで管理されている。詳細については、注記 G2 の「保険事業におけるリスク」に関するセクションを参照のこと。

ハンデルスバンケン・リヴの投資方針では、金融リスク・エクスポージャーを制限し、保険契約者に対する義務と法定要件を考慮した、資産運用に関する全体的な指示を定めている。また、投資のガバナンスや統制の方法や資産の総リスク水準の管理方法についても指示を定めている。リスクを特定し、測定し、分析し報告することが可能となるよう、資産の慎重な投資が行われている。

ハンデルスバンケンは、さまざまな方法で保険リスク・エクスポージャーを制限している。必要に応じて、死亡保険や医療保険への加入前に、被保険者の健康状態に基づく医療リスク評価を実施している。保険料は、適切かつ慎重なマージンを含め、保険事故が発生した場合に想定される費用に関する仮定に基づいて設定され、定期的な見直しを行い、想定費用を賄うために十分であることを確認している。損益計算書のボラティリティを避けるため、最大の死亡保険契約及び医療保険契約は、設定された保有限度額に従って再保険されている。再保険資産については注記G27、再保険負債については注記G37を参照のこと。

## 注記G35 税金

## 損益計算書に計上された税金費用

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
当期税金費用	-8,452	-5,754
繰延税金	118	-50
過年度に関する税金の調整	-83	375
<b>税金費用合計(継続事業)</b>	<b>-8,417</b>	<b>-5,429</b>
<b>税金費用合計(非継続事業)</b>	<b>-185</b>	<b>-1,173</b>

## 当行グループの税金費用及びスウェーデンの税率に基づく税金費用との差額

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
税引前利益	36,322	26,619
スウェーデンの税率に基づく税引前利益に対する税金	-7,482	-5,484
当行グループが認識する税金	-8,417	-5,429
<b>差額</b>	<b>-935</b>	<b>55</b>
差異の詳細項目		
非課税収益/損金不算入費用	-16	-89
劣後負債に係る損金不算入費用	-583	-282
保険事業に対する税率との相違	297	118
非課税のキャピタルゲイン及び受取配当	9	230
他国の税率との相違	-565	-282
過年度の税金	-83	375
その他	6	-15
<b>合計</b>	<b>-935</b>	<b>55</b>

## 繰延税金資産、2023年

百万スウェーデン・

クローネ	期首残高	損益計算書 に計上	その他包括 利益に計上	外貨換算 影響額	相殺	期末残高
ヘッジ手段	996		-450			546
不動産及び器具備品	19	-19				0
年金	370	-40				330
その他	204	189		8		401
相殺					-936	-936
<b>合計</b>	<b>1,589</b>	<b>130</b>	<b>-450</b>	<b>8</b>	<b>-936</b>	<b>358</b>

## 繰延税金負債、2023年

百万スウェーデン・

クローネ	期首残高	損益計算書 に計上	その他包括 利益に計上	外貨換算 影響額	相殺	期末残高
一般顧客への貸出金 <sup>1</sup>	2,207	-329				1,878
ヘッジ手段	764		-316			448

無形資産	78	-13				65
不動産及び器具備品	95	-4				91
年金	2,466	231	-449	-36		2,212
その他	4	207				211
相殺					-936	-936
<b>合計</b>	<b>5,614</b>	<b>92</b>	<b>-765</b>	<b>-36</b>	<b>-936</b>	<b>3,969</b>

1) うち、リース資産は1,845(2,207)百万スウェーデン・クローネである。

繰延税金資産、2022年 百万スウェーデン・クローネ	期首残高	損益計算書 に計上	その他包括 利益に計上	外貨換算 影響額	期末残高
ヘッジ手段			996		996
不動産及び器具備品	18	1			19
年金	295	75			370
その他	532	-328			204
<b>合計</b>	<b>845</b>	<b>-252</b>	<b>996</b>	<b>0</b>	<b>1,589</b>

繰延税金負債、2022年 百万スウェーデン・クローネ	期首残高	損益計算書 に計上	その他包括 利益に計上	外貨換算 影響額	期末残高
一般顧客への貸出金 <sup>1</sup>	2,759	-552			2,207
ヘッジ手段	369		395		764
無形資産	74	4			78
不動産及び器具備品	93			2	95
年金	1,754	90	622		2,466
その他	227	-16	-193	-14	4
<b>合計</b>	<b>5,276</b>	<b>-474</b>	<b>824</b>	<b>-12</b>	<b>5,614</b>

1) うち、リース資産は2,207(2,759)百万スウェーデン・クローネである。

## 第二の柱に関する開示

第二の柱のルールが当行に与える影響については、初期評価が実施され、今後も継続的に見直しが行われる予定である。当行は、暫定的なCbCRセーフハーバー・ルール（一時的な救済措置）が適用可能であると判断し、適用する意向である。またハンデルスバンケンはIAS第12号の免除規定を適用していることから、当行グループは、第二の柱による法人税関連の繰延税金資産と繰延税金負債について認識も開示もしていない。

米国を除くハンデルスバンケンが事業を展開しているすべての国では、EUの第二の柱指令が採択され、各国で国内法制化された又はその予定である。ハンデルスバンケンは低税率国では事業を行っておらず、事業を行っているすべての国の課税率は20%を超えている。採択済みの法令や今後の法令案等により、トップアップ税は各国で納付する必要があるが、米国についてはスウェーデンの親会社が納付することとなる。ハンデルスバンケンは、本規制がハンデルスバンケンの財務諸表に重要な影響を与えることはないとはないと評価している。

**未認識の繰延税金資産及び欠損金**

繰越欠損金及びその他の将来損金算入可能な一時差異に係る繰延税金資産は、予見可能な将来に利用できる可能性が高い場合に限り認識される。未認識の繰延税金資産113(30)百万スウェーデン・クローネは、スタッドフィボテック・エイ・ビーが各地で利用可能である。

[次へ](#)

## 注記G36 引当金

## 引当金、2023年

百万スウェーデン・クローネ	オフバランス シート項目に 係る予想信用 損失引当金 <sup>1</sup>	リストラクチャ リングに係る引 当金 <sup>2</sup>	その他引当金 <sup>3</sup>	合計
期首現在引当金	280	87	225	591
当期の引当金繰入			121	121
取崩		-44	-8	-52
戻入			-80	-80
予想信用損失の変動（純額）	20			20
期末現在引当金	299	43	258	601

## 引当金、2022年

百万スウェーデン・クローネ	オフバランス シート項目に 係る予想信用 損失引当金 <sup>1</sup>	リストラクチャ リングに係る引 当金 <sup>2</sup>	その他引当金 <sup>3</sup>	合計
期首現在引当金	250	617	159	1,026
当期の引当金繰入			129	129
取崩		-531	0	-520
戻入			-62	-62
予想信用損失の変動（純額）	29			29
期末現在引当金	280	87	225	591

1) 詳細は注記G10及びG44を参照のこと。

2) リストラクチャリングに係る引当金は当行のリストラクチャリングに関連する費用である。引当額の大半は2021年度から2023年度に決済されており、残りに関しては2024年末までに決済されると見込まれている。

3) 当行に対する債権の決済に将来必要になることが予想される金額は、その他引当金として表示されている。

## 注記G37 その他負債

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
投資銀行業務の決済に係る負債	5,192	3,010
リース負債	2,857	3,018
再保険負債	126	107
その他	6,708	4,319
合計	14,882	10,454

## 注記G38 未払費用及び繰延収益

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
未払費用	1,902	2,446
繰延収益	1,087	1,120
合計	2,990	3,565

## 注記G39 劣後負債

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
劣後負債(スウェーデン・クローネ建て)		
劣後負債(外貨建て)	43,117	42,404
<b>合計</b>	<b>43,117</b>	<b>42,404</b>

## 劣後負債の変動

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
期首現在劣後負債	42,404	32,257
発行済	8,753	11,445
買戻		
満期が到来したもの	-8,326	-2,994
外貨換算影響額等	286	1,696
<b>期末現在劣後負債</b>	<b>43,117</b>	<b>42,404</b>

劣後負債、内訳 発行年	満期	当初満期 日	最初の償 還可能日	通貨	各通貨別 の当初額 面金額	転換/ 非転換	金利、%	残高
		2029年	2024年					
2018年	期限付 1	3月5日	3月5日	ユーロ	750	非転換	1.625	8,456
2019年	永久 2,3		2024年 3月1日	米ドル	500	転換 4	6.250	5,258
2020年	永久 2,3		2027年 3月1日	米ドル	500	転換 4	4.375	4,648
2020年	永久 2,3		2031年 3月1日	米ドル	500	転換 4	4.750	4,213
2022年	期限付 1	2033年 6月1日	2028年 6月1日	ユーロ	500	非転換	3.250	5,519
2022年	期限付 1	2032年 8月23日	2027年 8月23日	英ポンド	500	非転換	4.625	6,258
2023年	期限付 1	2034年 8月16日	2029年 8月16日	ユーロ	750	非転換	5.000	8,766
<b>劣後負債合計</b>								<b>43,117</b>

1) すべての上位債務に劣後する。

2) 普通株式を除くすべての金融商品に劣後し、次に上位にあるのが期限付劣後債務である。

3) 最初の償還日以降、金利決定日毎に償還することができる。

4) スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの普通株式等Tier1比率が5.125%を下回った場合、又は連結ベースの普通株式等Tier1比率が8.0%を下回った場合には、当該債務はスヴェンスカ・ハンデルスバンケンの普通株式に転換される。

## 平均残高

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
劣後負債(スウェーデン・クローネ建て)		945
劣後負債(外貨建て)	42,200	37,131

合計

42,200

38,076



## 注記G40 持分変動の内訳

## ヘッジ準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
期首ヘッジ準備金	-307	1,789

## キャッシュフロー・ヘッジ

公正価値変動の有効部分

金利リスク	1,486	-3,668
為替リスク	-619	1,189
未実現評価差額		
損益計算書への振替額 <sup>1</sup>	-252	-160
法人税	-127	544
期末ヘッジ準備金	181	-307

## 公正価値評価差額準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
期首公正価値評価差額準備金	126	158
未実現評価差額 - 資本性金融商品	51	22
実現評価差額 - 資本性金融商品	0	91
未実現評価差額 - 負債性金融商品	19	-54
予想信用損失引当金の変動 - 負債性金融商品	0	0
利益剰余金への振替額 - 資本性金融商品 <sup>2</sup>	0	-91
損益計算書への振替額 - 負債性金融商品 <sup>3</sup>	0	
期末公正価値評価差額準備金	197	126

## 為替換算調整準備金の変動

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
期首為替換算調整準備金	4,332	2,585
支店における為替換算差額の変動	-855	1,166
子会社における為替換算差額の変動	297	1,697
損益計算書への振替額 <sup>4</sup>	9	-501
利益剰余金への振替額 <sup>5</sup>	-284	-615
期末為替換算調整準備金	3,502	4,332

1) 本項目に係る税金52(33)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

2) 本項目に係る税金 0(-)百万スウェーデン・クローネは、利益剰余金に振り替えられている。

3) 本項目に係る税金 0(-)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

4) 本項目に係る税金-2(18)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

5) 本項目に係る税金19(38)百万スウェーデン・クローネは、利益剰余金に振り替えられている。

## 注記G41 金融資産及び負債の分類

2023年

純損益を通じて公正価値で計上

	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として特定 されたデリ バティブ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定	償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
百万スウェーデン・クローネ							
<b>資産</b>							
現金及び中央銀行預け金					476,181	476,181	476,181
中央銀行へのその他の貸出金					32,145	32,145	32,145
中央銀行への担保として適格な利付証券	3,534	195,594				199,128	199,128
その他金融機関への貸出金					19,298	19,298	19,272
一般顧客への貸出金					2,434,217	2,434,217	2,415,484
ポートフォリオ・ヘッジにおける 金利ヘッジ対象の価値変動					-9,657	-9,657	
債券及びその他の利付証券	13,550	23,827		12,709		50,087	50,087
株式	11,617			601		12,218	12,218
顧客が価値変動リスクを負う資産	254,401				78	254,479	254,479
デリバティブ商品	13,618		16,492			30,110	30,110
その他資産	27				10,282	10,309	10,309
<b>合計</b>	<b>296,747</b>	<b>219,421</b>	<b>16,492</b>	<b>13,310</b>	<b>2,962,544</b>	<b>3,508,514</b>	<b>3,499,412</b>
関連会社及びジョイント・ベンチャー に対する投資						657	
非金融資産						28,620	
<b>資産合計</b>						<b>3,537,792</b>	
<b>負債</b>							
金融機関からの預り金					91,124	91,124	91,287
一般顧客からの預金及び借入金					1,350,036	1,350,036	1,349,338
顧客が価値変動リスクを負う負債		254,609			78	254,687	254,687
発行済証券	1,506				1,521,975	1,523,481	1,497,333
デリバティブ商品	27,399		6,840			34,238	34,238
ショートポジション	2,364					2,364	2,364
その他負債	27				15,712	15,739	15,739
劣後負債					43,117	43,117	43,227
<b>合計</b>	<b>31,296</b>	<b>254,609</b>	<b>6,840</b>		<b>3,022,042</b>	<b>3,314,787</b>	<b>3,288,213</b>
非金融負債						17,919	
<b>負債合計</b>						<b>3,332,706</b>	

上表の資産及び負債には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

2022年

純損益を通じて公正価値で計上

	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として特定 されたデリ バティブ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定	償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
百万スウェーデン・クローネ							
<b>資産</b>							
現金及び中央銀行預け金					475,882	475,882	475,882
中央銀行へのその他の貸出金					32,620	32,620	32,620
中央銀行への担保として適格な利付証券	1,465	131,113		200		132,778	132,778

その他金融機関への貸出金				9,415	9,415	9,410
一般顧客への貸出金				2,469,324	2,469,324	2,422,795
ポートフォリオ・ヘッジにおける 金利ヘッジ対象の価値変動				-16,616	-16,616	
債券及びその他の利付証券	5,328	17,487		9,882	32,697	32,697
株式	12,272			544	12,815	12,815
顧客が価値変動リスクを負う資産	222,038			73	222,111	222,111
デリバティブ商品	14,912	21,349			36,261	36,261
その他資産	14			14,797	14,811	14,811
<b>合計</b>	<b>256,028</b>	<b>148,600</b>	<b>21,349</b>	<b>10,626</b>	<b>2,985,494</b>	<b>3,422,097</b>
関連会社及びジョイント・ベンチャー に対する投資					561	
非金融資産					31,058	
<b>資産合計</b>					<b>3,453,716</b>	
<b>負債</b>						
金融機関からの預り金				82,372	82,372	82,395
一般顧客からの預金及び借入金				1,376,286	1,376,286	1,375,504
顧客が価値変動リスクを負う負債		222,038		73	222,111	222,111
発行済証券	1,635			1,473,167	1,474,801	1,431,925
デリバティブ商品	16,648	12,392			29,040	29,040
ショートポジション	1,939				1,939	1,939
その他負債	11			11,227	11,238	11,238
劣後負債				42,404	42,404	42,430
<b>合計</b>	<b>20,233</b>	<b>222,038</b>	<b>12,392</b>	<b>2,985,529</b>	<b>3,240,192</b>	<b>3,196,582</b>
非金融負債					19,502	
<b>負債合計</b>					<b>3,259,694</b>	

## 注記G42 金融商品の公正価値測定

## 公正価値で計上される金融商品、2023年

百万スウェーデン・クローネ

## 資産

中央銀行への担保として適格な利付証券

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	3,498	36		3,534

純損益を通じて公正価値で測定 （公正価値オプション）	195,594			195,594
-------------------------------	---------	--	--	---------

その他包括利益を通じて公正価値で測定				
--------------------	--	--	--	--

債券及びその他の利付証券

純損益を通じて公正価値で測定（強制）	13,245	305		13,550
--------------------	--------	-----	--	--------

純損益を通じて公正価値で測定 （公正価値オプション）	23,827			23,827
-------------------------------	--------	--	--	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定	11,158	1,551		12,709
--------------------	--------	-------	--	--------

株式

純損益を通じて公正価値で測定（強制）	11,096	503	18	11,617
--------------------	--------	-----	----	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定	310	135	156	601
--------------------	-----	-----	-----	-----

顧客が価値変動リスクを負う資産	251,504	2,820	77	254,401
-----------------	---------	-------	----	---------

デリバティブ商品	92	30,016	2	30,110
----------	----	--------	---	--------

合計	510,325	35,366	253	545,944
----	---------	--------	-----	---------

## 負債

顧客が価値変動リスクを負う負債	251,712	2,820	77	254,609
-----------------	---------	-------	----	---------

発行済証券		1,506		1,506
-------	--	-------	--	-------

デリバティブ商品	47	34,189	2	34,238
----------	----	--------	---	--------

ショートポジション	2,364			2,364
-----------	-------	--	--	-------

合計	254,123	38,515	79	292,717
----	---------	--------	----	---------

上表の金融商品には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

## 公正価値で計上される金融商品、2022年

百万スウェーデン・クローネ

## 資産

中央銀行への担保として適格な利付証券

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	1,465			1,465

純損益を通じて公正価値で測定 （公正価値オプション）	131,113			131,113
-------------------------------	---------	--	--	---------

その他包括利益を通じて公正価値で測定	200			200
--------------------	-----	--	--	-----

債券及びその他の利付証券

純損益を通じて公正価値で測定（強制）	5,328			5,328
--------------------	-------	--	--	-------

純損益を通じて公正価値で測定 (公正価値オプション)	17,487			17,487
その他包括利益を通じて公正価値で測定	9,124	758		9,882
株式				
純損益を通じて公正価値で測定(強制)	11,866	384	21	12,271
その他包括利益を通じて公正価値で測定	274	117	152	543
顧客が価値変動リスクを負う資産	220,766	747	525	222,038
デリバティブ商品	49	36,173	39	36,261
<b>合計</b>	<b>397,673</b>	<b>38,179</b>	<b>737</b>	<b>436,589</b>
<b>負債</b>				
顧客が価値変動リスクを負う負債	220,766	747	525	222,038
発行済証券		1,635		1,635
デリバティブ商品	54	28,947	39	29,040
ショートポジション	1,858	81		1,939
<b>合計</b>	<b>222,678</b>	<b>31,410</b>	<b>564</b>	<b>254,652</b>

## 評価ヒエラルキー

上表の公正価値で計上される金融商品は、適用された評価方法及び評価時に使用した市場データの透明性の程度に応じて区分されている。その区分は、上表においてレベル1から3で示されている。直接的かつ流動性が高い市場価格で評価される金融商品は、レベル1に区分されている。これらの金融商品は、主に活発に取引されている国債及びその他の利付証券、上場株式及び資産に対応する短期ポジションで構成されている。レベル1にはまた、ミューチュアル・ファンドにおける大部分の株式、ユニットリンク保険契約及び類似契約に関連するその他の資産並びにその資産に対応する負債が含まれている。実質的に市場データを基礎とする評価モデルを使用して評価される金融商品は、レベル2に区分されている。レベル2には、主に利付証券、金利及び外国為替デリバティブが含まれている。外部の市場情報を用いて検証することのできないインプット・データが、その価値に重要な影響を及ぼす金融商品は、レベル3に区分される。レベル3には、非上場の株式、プライベート・エクイティ・ファンドに対する特定の保有及び特定のデリバティブが含まれる。

その区分は、貸借対照表日現在で適用された評価方法に基づいて行われている。特定の金融商品の区分が過年度の貸借対照表日(2022年12月31日)以降に変更された場合には、当該金融商品は上表のレベル間で振り替えられている。当年度中に、0.5十億スウェーデン・クローネ相当の債券及びその他の利付証券の残高がレベル2からレベル1へ、1.6十億スウェーデン・クローネ相当の債券及びその他の利付証券の残高がレベル1からレベル2へ振り替えられた。1.8十億スウェーデン・クローネ相当の、顧客が価値変動リスクを負う資産を含むミューチュアル・ファンド・ユニットの持分がレベル1からレベル2へ振り替えられた。それに連動して、1.8十億スウェーデン・クローネ相当の、顧客が価値変動リスクを負う負債もまたレベル1からレベル2へ振り替えられた。レベル間の振替は、市場活動を改めて評価した上で実施している。当年度のレベル3の保有の変動は、下表に別途表示されている。

レベル3の保有商品は主に非上場株式で構成されている。当行グループが保有している非上場株式は、主に当行に対して業務支援を行っている会社に対する当行の参加持分で構成されている。例えば、これらは清算機関に対する参加持分の場合もあれば、ハンデルスバンケンの拠点市場におけるインフラ関連の協業に対する参加持分の場合もある。それらの持分は、一般に当該会社における純資産価値に占める当行の持

分、あるいは当該会社に関する最終取引価格で評価される。非上場株式はすべての重要な点から見て、その他包括利益を通じて公正価値で測定されるものに分類されている。したがって、これらのポートフォリオの価値変動は、その他包括利益に計上されている。

プライベート・エクイティ・ファンドに対する特定の保有はレベル3に分類されている。これらは主に、同一業種の比較可能な上場企業の相対的評価を基礎とする評価モデルを使用して評価されている。比較に使用される業績の測定は、当該投資との比較のために利用される会社との比較を歪める要因について調整された後、収益乗数（例：株価収益率及びEV/EBITA）に基づいて評価される。これらのポートフォリオの大部分は、当行グループの保険事業における投資資産に関するものである。

当行が発行した仕組債の一部におけるデリバティブ部分及び関連するヘッジ目的デリバティブもまた、レベル3に分類されている。これらのデリバティブでは、社内の見積りが公正価値の算定に大きな影響を与える。レベル3のヘッジ目的デリバティブは、当行のカウンターパーティとの間で市場価値が日次で検証され確認されるクレジット・サポート・アネックス契約（CSA）に基づいて取引される。

損益計算書に計上された当年度のレベル3における金融商品の実現評価差額は、1(2)百万スウェーデン・クローネである。

### 取引価格と評価モデルを用いて算出された価値との差額

注記G1の会計方針に記載されているとおり、デリバティブ評価にモデルを適用する場合、当初認識時の評価と取引価格との間の重要な正の差額（取引日利得/損失）がデリバティブの契約期間にわたって償却されている。取引価格と評価モデルによって測定された価値との正の差額から生じた未実現額（取引日利得/損失）は、当行の利鞘のほか、資本コストや管理費用などの対価から構成されている。この原則を適用した結果、当年度において113(158)百万スウェーデン・クローネが金融取引による純損益に認識された。当年度末現在、未認識の取引日利得、472(447)百万スウェーデン・クローネであった。

#### レベル3の保有金融商品の変動、

2023年		デリバティブ 資産	デリバティブ 負債	顧客が価値変 動リスクを負 う資産	顧客が価値変 動リスクを負 う負債
百万スウェーデン・クローネ	株式				
期首現在帳簿価額	173	39	-39	525	-525
取得					
買戻/売却	-1				
満期を迎えたもの					
未実現評価差額(損益計算書に計上)	2	0	0	-448	448
未実現評価差額(その他包括利益に計上)					
レベル1又は2からの振替		-37	37		
レベル1又は2への振替					
期末現在帳簿価額	174	2	-2	77	-77

上表の金融商品には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

観察不能なインプットの変動により、レベル3の保有金融商品の測定値が大幅に上昇することも低下することもないとみなされることから、感応度分析は表示されていない。

## レベル3の保有金融商品の変動、

2022年

	株式	デリバティブ 資産	デリバティブ 負債	顧客が価値変 動リスクを負 う資産	顧客が価値変 動リスクを負 う負債
百万スウェーデン・クローネ					
期首現在帳簿価額	639	43	-43	484	-484
取得	-	34	-39		
買戻/売却	-472	-43	41		
満期を迎えたもの					
未実現評価差額(損益計算書に計上)	6	-32	39	41	-41
未実現評価差額(その他包括利益に計上)					
レベル1又は2からの振替		29	-29		
レベル1又は2への振替		8	-8		
期末現在帳簿価額	173	39	-39	525	-525

## 償却原価で計上される金融商品の公正価値に関する情報についての原則

償却原価で計上される金融商品の公正価値に関する情報は、注記G41及び下表に記載されている。これらの金融商品は、基本的に貸出金、預金及び借入金で構成されている。決済手段及び短期の債権債務の帳簿価額は、これらの項目の公正価値の妥当な推定値とみなされている。満期日又は次回の金利更改日が30日以内に到来する債権債務は、短期項目と定義されている。

固定金利の貸出金の評価は、市場で想定される信用リスク及び流動性リスクに関するプレミアムを調整した最新の市場金利を基礎としている。このプレミアムは、測定時における新規貸出の平均マージンに等しいと仮定されている。利付証券は、入手可能な最新の市場価格で評価されている。市場価格に関する情報が入手不能な資金調達及び利付証券は、類似金融商品の価格又は金利等の市場データを基礎とする評価モデルを使用して評価されている。

下表における償却原価で計上される金融商品の公正価値情報で使用された評価は、上述の評価ヒエラルキーで区分されている。決済手段及び預金は現金同等物とみなされており、レベル1に区分されている。レベル1には、最新の市場価格がある利付証券（資産及び負債）も含まれている。信用及び流動性プレミアムに関する仮定が公正価値情報に重大な影響を及ぼす貸出金は、レベル3に区分されている。その他の金融商品はレベル2に区分されている。

## 償却原価で計上される金融商品の公正価値、

2023年

百万スウェーデン・クローネ	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産				
現金及び中央銀行預け金	476,181			476,181
中央銀行へのその他の貸出金	32,145			32,145
その他金融機関への貸出金	5,876	13,038	358	19,272
一般顧客への貸出金	41,120	828	2,373,537	2,415,485
顧客が価値変動リスクを負う資産	78			78
合計	555,400	13,866	2,373,895	2,943,161

**負債**

金融機関からの預り金	31,858	59,430	91,287
一般顧客からの預金及び借入金	1,341,888	7,449	1,349,338
顧客が価値変動リスクを負う負債	78		78
発行済証券	857,720	638,107	1,495,827
劣後負債		43,227	43,227
<b>合計</b>	<b>2,231,544</b>	<b>748,213</b>	<b>2,979,757</b>

上表の金融商品には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更された、フィンランドの処分グループが含まれている。注記G14を参照のこと。

**償却原価で計上される金融商品の公正価値、****2022年**

百万スウェーデン・クローネ	レベル1	レベル2	レベル3	合計
<b>資産</b>				
現金及び中央銀行預け金	475,882			475,882
中央銀行へのその他の貸出金	32,620			32,620
その他金融機関への貸出金	4,924	4,083	403	9,410
一般顧客への貸出金	22,499	9,604	2,390,693	2,422,795
顧客が価値変動リスクを負う資産	73			73
<b>合計</b>	<b>535,998</b>	<b>13,687</b>	<b>2,391,096</b>	<b>2,940,780</b>

**負債**

金融機関からの預り金	22,593	59,802	82,395
一般顧客からの預金及び借入金	1,355,990	25,650	1,381,640
顧客が価値変動リスクを負う負債	73		73
発行済証券	869,926	560,365	1,430,291
劣後負債		42,430	42,430
<b>合計</b>	<b>2,248,582</b>	<b>688,247</b>	<b>2,936,829</b>

**注記G43 担保として差し入れた資産、受け入れた担保及び譲渡金融資産****自己の債務の担保として差し入れた資産**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
現金	27,456	14,754
国債及び債券	5,691	3,767
一般顧客への貸出金	765,513	728,662
株式	5,869	5,752
顧客が価値変動リスクを負う資産	256,168	224,009
その他	1,820	2,434
<b>合計</b>	<b>1,062,518</b>	<b>979,378</b>



うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保として差し入れた資産 18 22

### その他の担保として差し入れた資産

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
現金	1,370	1,432
国債及び債券	63,619	10,692
株式	4,411	3,726
合計	69,399	15,850

うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保として差し入れた資産 52,061 2,196

その他の担保として差し入れた資産は、貸借対照表に計上されていない債務に対して差し入れた担保のことである。

貸借対照表上に計上されている譲渡金融資産 百万スウェーデン・クローネ	2023年		2022年	
	帳簿価額	関連する負債の 帳簿価額	帳簿価額	関連する負債の 帳簿価額
株式、証券貸付	4,237	112 1	4,039	208 1
国債及び債券、買戻契約	4,464	2	3,350	2
国債及び債券、その他			43	
顧客が価値変動リスクを負う資産	159	159	603	603
合計	8,860	273	8,036	813

1) 現金で受領した担保

### 担保として差し入れた資産

担保として差し入れた資産は貸借対照表上、資産として計上される。担保として差し入れた利付証券は、主に支払制度、トレーディング及び決済のための担保として中央銀行及びその他金融機関へ差し入れられた有価証券、並びに拘束力のある買戻契約（レポ）に基づいて売却された有価証券で構成されている。担保として差し入れた株式は、主に貸付有価証券及び保険事業における株式より構成される。

担保として差し入れた一般顧客への貸出金は、主にスタッドフィポテックが発行したカバード・ボンド保有者のために登記された担保より構成されている。当該担保は、主に一世帯向け住宅、セカンド・ハウス、多世帯住居又は住宅共同組合アパートメントの住宅ローンで融資された貸出金より構成されており、不動産価値に対する融資比率は、市場価値の75%以内となっている。会社が破綻した際には、カバード・ボンド法及び優先権法に従ってカバード・ボンドの所有者が担保として差し入れた資産の優先権をもつ。破産決定時に担保として差し入れたすべての資産が当該優先権法の条件を満たす場合、これらは、破産財団のその他資産及び負債とは別個に保持される。その後、当該ボンドの保有者は、引き続きボンドの契約条件に基づいた支払を満期まで受け取ることになる。

顧客が価値変動リスクを負う資産は、主にハンデルスバンケン・リヴの保険契約者が優先権を有するユニットリンク保険契約のユニットより構成される。

### 受け入れた担保

受け入れた担保は貸借対照表に計上されない。売戻契約及びエクイティ・ローンに関して、担保は、第三者に売却又は再担保として差し入れ可能な有価証券の形態で受け入れている。売戻契約及びエクイティ・ローン契約に基づいて受け入れた担保の公正価値は、事業年度末現在43,196(35,395)百万スウェーデン・クローネであり、第三者に売却又は再担保として差し入れられた担保の価値は12,528 (16,970)百万スウェーデン・クローネであった。貸出金に関して受け入れた担保及びその他の受け入れた担保に関する情報については、注記G2に示されている。

### 貸借対照表上に計上されている譲渡金融資産

譲渡金融資産は貸借対照表上資産として認識されているものの、将来キャッシュ・フローに関する権利が直接又は間接的に外部のカウンターパーティに譲渡されている。貸借対照表上に認識されている譲渡金融資産の大部分は、利付証券より構成されており、拘束力のある買戻契約に基づいて売却したもの又は貸付有価証券である。通常、拘束力のある買戻契約又はエクイティ・ローンの条件は、当行と各カウンターパーティとの間の基本契約において規定されている。

拘束力のある買戻契約は、将来の予め設定した時期に固定価格で有価証券を買い戻すことを前提として有価証券を売却することを意味している。したがって、有価証券の売り手は、契約期間中、価値変動リスクにさらされることとなる。買戻契約に基づいて売却された有価証券は、契約期間を通じて、貸借対照表上に市場価格で計上される。受領した代価は、カウンターパーティに対する負債として計上される。買戻契約の標準的な条件に従って、売却された有価証券の所有権はすべて売り手から買い手に譲渡される。これは、買い手が購入した有価証券の売却、再担保又は処分の権利を有していることを意味している。

エクイティ・ローンの標準的な契約に従って、貸付有価証券の価値変動に対するエクスポージャーは、貸手にある。したがって、貸付有価証券は、貸付期間を通じて貸借対照表に計上される。貸付有価証券の担保は、通常、現金又はその他の有価証券の形態をとっている。受け入れた現金担保は、貸借対照表上に負債として計上される。買戻契約と同様に、エクイティ・ローンで用いられる標準契約により、借り手は貸付期間中に借り入れた有価証券を売却、再担保又は処分する権利を有することになる。

有価証券トレーディング、決済等の目的で担保として差し入れた国債、債券及び株式は、その権利がカウンターパーティに譲渡される場合、その他譲渡金融資産として計上されている。譲渡金融資産にはまた、顧客が価値変動リスクを負う特定の資産も含まれている。これらの資産は、当行が正式な所有権を有しているものの、資産に関連するリスクも将来キャッシュ・フローに関する権利も第三者に譲渡された金融商品ポートフォリオから構成されている。これらの資産の評価は、対応する負債項目の評価を反映している。

### 注記G44 偶発債務

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
<b>保証等</b>		
保証、貸出金	8,184	6,709
保証、その他	47,557	52,052
取消不能信用状	203	313
その他	2,177	1,901
<b>合計</b>	<b>58,120</b>	<b>60,975</b>
うち、減損テスト対象となるもの	58,120	60,975

**コミットメント**

ローン・コミットメント	317,926	336,974
当座貸越枠の未使用部分	96,359	108,456
その他	13,580	13,684
<b>合計</b>	<b>427,865</b>	<b>459,114</b>
うち、減損テスト対象となるもの	237,999	266,418
<b>偶発債務合計</b>	<b>485,985</b>	<b>519,866</b>

引当金として計上される予想信用損失引当金（注記G36参照）	340	353
-------------------------------	-----	-----

**保証等**

保証等は、主に様々な種類の保証で構成されている。信用保証は、他の信用機関及び年金機関の債務を保証するために顧客に提供される。その他の保証は、主として入札保証金、前払金に関する保証、保証期間中の保証及び輸出関連の保証等の商業保証である。保証等には、未使用の取消不能輸入信用状及び確認輸出信用状も含まれる。これらの取引は当行のサービスに含まれるもので、当行の顧客を支援するために提供されている。この表には保証額が示されている。

**請求**

当行グループ内の会社は、多くの民事裁判において一般法による請求を受けている。これらの裁判は、基本的に当行に有利に解決されると見込まれている。係争金額は当行グループの財政状態にも損益にも大きな影響を及ぼさないと評価されている。

**注記G45 リース****貸手としてのハンデルスバンケン****ファイナンス・リース**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
投資純額からの金融収益	593	300
変動リース料	519	213

**満期別及び投資純額別、割引前リース債権の内訳**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
1年以内	2,725	2,212
1年から2年	3,480	4,133
2年から3年	2,805	3,107
3年から4年	1,861	1,262
4年から5年	2,076	1,572
5年超	3,303	4,444
<b>割引前リース債権合計</b>	<b>16,250</b>	<b>16,730</b>
前受金融収益	-1,292	-900
<b>投資純額</b>	<b>14,958</b>	<b>15,830</b>

当行グループが貸手であるすべてのリースは、ファイナンス・リースとして定義されている。この種類のリース契約は、貸借対照表上、当初は投資純額に相当する額が貸出金として計上される。前年度からの変動は、リース・ポートフォリオの売却によるリース残高の減少であるが、市場金利の上昇により相殺されている。リース資産は主に車両及び機械から構成される。すべてのリースは残存価値が保証されている。当年度末において、当行グループのリース・エクスポージャーのうち、個別の帳簿価額が10億スウェーデン・クローネを超えるものは3件であった。

#### 借手としてのハンデルスバンケン

##### 損益計算書項目

百万スウェーデン・クローネ

リース負債の利息費用

合計<sup>1</sup>

2023年

2022年

-67

-53

-67

-53

##### 使用権資産の減価償却費及び減損損失

不動産

-628

-624

器具備品

-14

-22

合計<sup>2</sup>

-642

-646

短期リース費用

-38

-33

低額リース費用

-41

-17

リース負債の算定に含まれていない変動リース料

-167

-125

合計<sup>3</sup>

-246

-175

リース費用合計

-955

-874

##### 貸借対照表項目

百万スウェーデン・クローネ

##### 使用権資産<sup>4</sup>

不動産

2,704

2,952

器具備品

30

64

合計

2,734

3,016

新規使用権資産<sup>5</sup>

350

323

リース負債<sup>6</sup>

2,857

3,018

リースのキャッシュ・アウトフロー総額

-980

-854

1) 損益計算書項目の利息費用に含まれている。

2) 損益計算書項目の不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損損失に含まれており、うち39 (11) 百万スウェーデン・クローネが減損損失である。

3) 損益計算書項目のその他費用に含まれている。

- 4) 使用权資産は貸借対照表項目の不動産及び器具備品に含まれている。
- 5) 当年度の新規リース契約は使用权資産に含まれている。
- 6) リース負債は貸借対照表項目のその他負債に含まれている。

#### リース負債に係る満期までの期間

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
6カ月以内	369	364
6カ月から1年	353	355
1年から2年	610	672
2年から5年	1,265	1,342
5年超	500	512
合計	3,097	3,245

当行のリース契約は主に建物設備の賃借契約によるものである。このような契約を除き、その他のリース契約は主に多機能プリンター、PC及びその他の事務所設備である。

建物設備の賃借契約期間の大半は3年から10年である。当行の建物設備の賃借契約の中には契約期間延長に関するオプションが含まれているものがあり、特定の時点までに契約が解消されない限り、当該契約は特定期間延長される。また、当行が契約期間満了前に契約を解消できるオプションを含む建物設備の賃借契約もある。リース期間を決定するにあたり、契約期間の延長又は契約期間満了前の契約解消のオプションは、これらのオプションが行使される可能性が高い場合に限りリース期間に含められる。

当行は期間が12カ月以内のリース契約及び原資産が低額なリース契約を締結している。これらのリース契約はIFRS第16号「リース」の免除規定に従い費用として認識されるため、リース負債にも使用权資産にも含まれない。

## 注記G46 セグメント報告

セグメント報告、2023年	キャピタル・							
百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ	マーケット	その他	調整及び消去	合計
純利息収益	30,420	11,010	4,624	1,941	384	-801		47,578
純手数料及びコミッション収益	8,420	845	659	198	740	276		11,139
金融取引による純損益	1,180	253	79	17	1,044	88		2,661
保険事業による純損益	494		0					493
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益						51		51
その他の収益	197	13	5	1	7	105		328
<b>収益合計</b>	<b>40,711</b>	<b>12,121</b>	<b>5,366</b>	<b>2,157</b>	<b>2,175</b>	<b>-280</b>		<b>62,249</b>
人件費	-4,157	-3,149	-1,103	-537	-1,200	-3,900	403	-13,642
その他費用	-1,525	-907	-493	-136	-409	-4,325		-7,796
内部購入及び売却されたサービス	-5,535	-1,414	-708	-277	-247	8,180		
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損	-427	-310	-97	-59	-144	-682	-24	-1,743
<b>費用合計</b>	<b>-11,644</b>	<b>-5,780</b>	<b>-2,401</b>	<b>-1,009</b>	<b>-2,000</b>	<b>-727</b>	<b>379</b>	<b>-23,182</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前利益</b>	<b>29,067</b>	<b>6,340</b>	<b>2,965</b>	<b>1,148</b>	<b>175</b>	<b>-1,007</b>	<b>379</b>	<b>39,067</b>
正味信用損失	-142	-51	37	13	11	-8		-141
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	14	-1	6		0	0		20
リスク税及び破綻処理手数料	-1,919		-393	-113	-43	-157		-2,624
<b>営業利益</b>	<b>27,020</b>	<b>6,289</b>	<b>2,615</b>	<b>1,048</b>	<b>144</b>	<b>-1,172</b>	<b>379</b>	<b>36,322</b>
利益配分	405	52	47	0	-527	23		
<b>利益配分後の営業利益</b>	<b>27,425</b>	<b>6,340</b>	<b>2,662</b>	<b>1,048</b>	<b>-383</b>	<b>-1,149</b>	<b>379</b>	<b>36,322</b>
内部収益 <sup>1</sup>	5,867	2,999	-8,567	-98	1,891	-2,092		
C/I比率、%	28.3	47.5	44.4	46.8	121.4			37.2
信用損失実績率、%	0.01	0.03	-0.01	-0.01	-0.09			0.01
一般顧客への貸出金	1,600,861	230,692	313,267	97,110	21,504	29,517	-1,142	2,291,808
一般顧客からの預金及び借入金	856,258	260,595	90,206	35,945	39,887	17,583	-1,993	1,298,480
割当済資本	123,951	25,846	23,292	5,175	2,539	6,903	17,379	205,085
割当済資本に係る利益率、%	18.2	21.3	9.5	16.9	-12.3			15.3
平均従業員数	4,099	2,707	828	388	605	3,056		11,683

- 1) 収益総額に含まれている内部収益は、他の事業セグメント及び「その他」との取引によって生じた収益より構成されている。利息収益及び利息費用は、収益として純額で計上されていることから、内部収益には、セグメント及び「その他」との間の内部資金調達費用が純額で含まれることを意味する。

上表の「その他」には、一般顧客に対する貸付金、一般顧客からの預金及び借入金、フィンランドの処分グループに帰属する割当済資本を含む。

事業セグメントは、IFRS第8号「事業セグメント」に準拠して認識されている。これは、セグメント情報がコーポレート・ガバナンスの一環として内部的に採用される方法と類似した方法で表示されていることを意味する。ハンデルスバンケンの事業は、スウェーデン、英国、ノルウェー、オランダ及びキャピタル・マーケットのセグメントに区分して表示されている。ハンデルスバンケンの支店業務は、融資、決済、ファイナンシャル・アドバイザリーサービス、預金及び年金に特化したサービスを提供している。キャピタル・マーケットを除いたセグメントには、支店業務並びに資産運用及び保険事業が含まれる。各国では独立した収益部門として業務が行われ、各国の支店長が業務を統括する。スウェーデン及び英国では、各国の支店長が統括する支店業務は、県域自治体及び地域別にそれぞれ編成されている。キャピタル・マーケット・セグメントは、有価証券売買及び投資アドバイザリーサービスを含む、ハンデルスバンケンの投資銀行である。その事業にはまた、拠点市場以外の当行の国際事業も含まれる。

セグメントに関する利益／損失は、内部利益の配分前と配分後の両方について報告されている。内部利益の配分において、当行と顧客との取引によって生じた利益は、取引の実施セグメントにかかわらず、すべてその顧客を担当するユニットに配分される。ただし、内部サービスに関する収益及び費用は、別個の項目である「内部購入及び売却されたサービス」に純額で報告される。セグメント間取引は、主として原価基準で報告される。その他並びに調整及び消去の欄は、特定のセグメントに属さない項目又は当行グループ・レベルで消去されている項目を示している。その他には、専らトレジャリー及び中央部門が含まれ、同時にオクトゴーネン利益分配制度への引当に起因する取引も含まれている。調整及び消去の欄には、人件費に対する調整が含まれている。人件費に対する調整は、IAS第19号「従業員給付」に従って計算される当行グループの年金費用と現地で算定された年金費用を含んでいる。

内部収益は、主に内部利息及びコミッションより構成されている。セグメントの損益計算書には、内部サービスの提供に対する支払といった内部項目も含まれている。内部付替えは、主に原価法に従っている。

支店業務においては、資産は主に一般顧客への貸出金より構成され、負債は一般顧客からの預金並びに内部借入より構成されている。「その他」の欄に含まれている資産は、主に様々なセグメントへの内部貸付であるが、「その他」の欄に含まれている負債は、主に外部借入である。各セグメントに関する割当済資本は、内部の財務管理モデルによる資本割当と同様のものである。

セグメント報告、2022年					キャピタル・			
百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン	英国	ノルウェー	オランダ	マーケット	その他	調整及び消去	合計
純利息収益	23,082	7,580	4,264	1,354	301	32		36,614
純手数料及びコミッション収益	8,356	807	688	147	771	213		10,981
金融取引による純損益	508	248	90	21	1,131	-457		1,540
保険事業による純損益	-41		30					-11
関連会社及びジョイント・ベンチャーの持分利益								
						-13		-13
その他の収益	103	14	25	1	9	1,111		1,263
収益合計	32,008	8,649	5,097	1,523	2,212	885		50,375
人件費	-3,978	-2,693	-1,028	-442	-1,143	-3,778	22	-13,040
その他費用	-1,497	-789	-295	-94	-326	-3,525		-6,526
内部購入及び売却されたサービス	-4,630	-1,076	-667	-241	-344	6,959		
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損								
	-417	-313	-92	-54	-147	-601	-23	-1,646
費用合計	-10,522	-4,872	-2,082	-832	-1,959	-944	-1	-21,212

## 信用損失、リスク税及び破綻処理手

数料控除前利益	21,486	3,778	3,016	691	253	-60	-1	29,163
正味信用損失	135	-55	-152	0	-13	38		-47
不動産及び器具備品並びに無形資産 の処分損益	10	10	6		0	-2		24
リスク税及び破綻処理手数料	-1,659		-359	-81	-33	-180		-2,311
営業利益	19,972	3,733	2,510	610	206	-203	-1	26,829
利益配分	374	49	69	0	-531	39		
利益配分後の営業利益	20,346	3,781	2,579	610	-324	-164	-1	26,829
内部収益 <sup>1</sup>	1,727	52	-3,838	-453	615	1,897		
C/I比率、%	32.5	56.0	40.3	54.6	116.5			42.1
信用損失実績率、%	-0.01	0.01	0.04	0.00	0.06			0.00
一般顧客への貸出金	1,621,692	239,207	318,243	96,208	18,341	23,264	-1,136	2,315,818
一般顧客からの預金及び借入金	876,230	257,534	101,184	31,317	35,809	18,630	-1,778	1,318,925
割当済資本	106,101	20,436	20,074	3,582	2,072	14,414	27,345	194,024
割当済資本に係る利益率、%	15.9	15.1	10.5	14.7	-11.5			12.6
平均従業員数	3,907	2,481	763	357	585	2,861		10,954

- 1) 収益総額に含まれている内部収益は、他の事業セグメント及び「その他」との取引によって生じた収益より構成されている。利息収益及び利息費用は、収益として純額で計上されていることから、内部収益には、セグメント及び「その他」との間の内部資金調達費用が純額で含まれることを意味する。

上表の「その他」には、一般顧客に対する貸付金、一般顧客からの預金及び借入金、フィンランドの処分グループに帰属する割当済資本を含む。

## 商品分野別の収益

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
個人からの預金及び個人への貸出金	21,554	17,378
法人からの預金及び法人への貸出金	27,956	20,168
決済事業、純額	1,758	1,711
資産運用	6,531	6,380
年金及び保険	830	952
投資銀行	1,907	6,430
その他の事業	1,714	-2,644
合計	62,249	50,375



## 注記G47 地域別情報

## 地域別情報、2023年

百万スウェーデン・

クローネ

## 非継続事業

からの

当期利益

(税引後)

資産

非流動資産

	収益	営業利益	法人税等	非継続事業 からの 当期利益 (税引後)	資産	非流動資産
スウェーデン	39,928	24,034	-5,256		3,127,776	6,226
英国	13,260	7,577	-2,085		414,494	1,561
ノルウェー	5,360	2,898	-685		362,139	910
オランダ	2,368	1,321	-341		230,677	256
米国	673	540	-80		374,811	85
ルクセンブルク	320	179	-38		14,930	10
フランス	2	-5	2			
ポーランド	-75	-172			315	1
デンマーク	9	-4	78		857	
フィンランド				1,209	181,766	409
のれん及びその他の 剰余金					4,477	4,477
内部消去	405	-47	-12		-1,174,452	-590
合計	62,249	36,322	-8,417	1,209	3,537,792	13,344

## 地域別情報、2022年

百万スウェーデン・

クローネ

## 非継続事業

からの

当期利益

(税引後)

資産

非流動資産

	収益	営業利益	法人税等	非継続事業 からの 当期利益 (税引後)	資産	非流動資産
スウェーデン	32,227	17,521	-3,500		3,025,964	6,286
英国	9,126	4,318	-1,164		412,066	1,525
ノルウェー	4,872	2,550	-643		353,325	646
オランダ	1,483	604	-170		234,747	220
米国	518	393	-9		422,255	102
ルクセンブルク	226	103	-25		18,129	20
中国	0	1				
ドイツ	0	26				
フランス	13	-9	0		2	
ポーランド	-20	-73	0		386	3
デンマーク				189	2,711	0
フィンランド				91	195,804	499
のれん及びその他の 剰余金					4,545	4,545
内部消去	1,930	1,395	80		-1,216,217	-530
合計	50,375	26,829	-5,431	280	3,453,718	13,316

地域別情報に表示されている収益、営業利益及び非継続事業からの当期利益（税引後）並びに資産は、各国における内部・外部収益、費用及び資産より構成されている。地域別収益及び費用配分は取引実施国に基づいているため、報告されたセグメント情報と比較することはできない。法人税等には当期税金及び繰延税金が含まれる。子会社及び関連会社の本拠地については注記P17に、国別平均従業員数については注記G8に、追加の地域別情報が記載されている。

## 注記G48 通貨別資産及び負債

2023年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・クローネ	ユーロ	ノルウェー・クローネ	デンマーク・クローネ	英ポンド	米ドル	その他の通貨	合計
<b>資産</b>								
現金及び中央銀行預け金	67,895	128,820	4,776	0	113,645	160,935	109	476,181
中央銀行へのその他の貸出金		29,326	1,687		1,131			32,145
その他金融機関への貸出金	259	5,772	9,671	1	873	2,299	422	19,297
一般顧客への貸出金	1,579,316	287,783	319,815	1,464	234,892	9,330	1,617	2,434,217
うち、法人	598,485	185,869	201,140	1,443	167,456	9,171	573	1,164,137
うち、個人	974,083	101,914	118,675	21	67,436	159	1,044	1,263,332
中央銀行への担保として適格な利付証券	181,752	7,561	36	1		9,778		199,128
債券及びその他の利付証券	36,868	486	12,223			509		50,087
その他項目(通貨別内訳なし)	326,737							326,737
<b>資産合計</b>	<b>2,192,827</b>	<b>459,749</b>	<b>348,209</b>	<b>1,465</b>	<b>350,541</b>	<b>182,852</b>	<b>2,148</b>	<b>3,537,792</b>
<b>負債</b>								
金融機関からの預り金	15,666	50,097	18,093	64	346	6,835	22	91,124
一般顧客からの預金及び借入金	814,008	140,586	110,296	1,171	257,177	24,238	2,561	1,350,037
うち、法人	335,161	110,747	75,871	1,034	190,553	20,797	1,767	735,931
うち、個人	478,848	29,839	34,424	138	66,624	3,441	793	614,106
発行済証券	569,595	407,148	27,016		37,930	459,581	22,211	1,523,481
劣後負債	0	22,740			6,258	14,120		43,117
その他項目(通貨別内訳なし、資本含む)	530,033							530,033
<b>負債及び資本合計</b>	<b>1,929,302</b>	<b>620,570</b>	<b>155,404</b>	<b>1,236</b>	<b>301,711</b>	<b>504,774</b>	<b>24,794</b>	<b>3,537,792</b>
通貨別その他資産及び負債、正味		160,527	-192,764	-223	-48,850	321,918	22,716	
正味外貨ポジション		-294	41	7	-20	-4	70	-200

注記G2に、為替リスクに関する当行の見解が記載されている。

上表の資産及び負債には、貸借対照表上「売却目的で保有する資産」及び「売却目的で保有する負債」にそれぞれ分類変更されたフィンランドの処分グループが含まれている。G14を参照のこと。

2022年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・クローネ	ユーロ	ノルウェー・クローネ	デンマーク・クローネ	英ポンド	米ドル	その他の通貨	合計
<b>資産</b>								
現金及び中央銀行預け金	100,413	136,928	8,962	0	99,872	129,674	34	475,882
中央銀行へのその他の貸出金		31,364			1,256			32,620
その他金融機関への貸出金	480	3,709	2	1	903	3,894	424	9,415
一般顧客への貸出金	1,586,449	292,228	324,563	9,901	242,246	11,704	2,233	2,469,324
うち、法人	602,504	183,963	206,027	9,884	169,380	11,517	847	1,184,121
うち、個人	983,946	108,265	118,537	17	72,867	187	1,385	1,285,204
中央銀行への担保として適格な利付証券	117,546	5,483	36	1		9,712		132,778
債券及びその他の利付証券	22,353	1,472	8,352			519		32,697
その他項目(通貨別内訳なし)	301,002							301,002
<b>資産合計</b>	<b>2,128,244</b>	<b>471,184</b>	<b>341,916</b>	<b>9,902</b>	<b>344,277</b>	<b>155,503</b>	<b>2,691</b>	<b>3,453,718</b>

**負債**

金融機関からの預り金	17,760	50,548	29	1,906	115	11,990	23	82,372
一般顧客からの預金及び借入金	848,467	136,375	91,473	1,201	252,592	43,167	3,011	1,376,286
うち、法人	366,562	103,155	58,072	1,110	179,920	39,354	2,184	750,356
うち、個人	481,905	33,220	33,401	91	72,672	3,814	828	625,930
発行済証券	511,251	342,123	25,828		39,407	536,118	20,076	1,474,801
劣後負債	0	22,266			5,930	14,208		42,404
その他項目(通貨別内訳なし、資本含む)	477,854							477,854
<b>負債及び資本合計</b>	<b>1,855,331</b>	<b>551,311</b>	<b>117,330</b>	<b>3,107</b>	<b>298,044</b>	<b>605,483</b>	<b>23,110</b>	<b>3,453,718</b>
通貨別その他資産及び負債、正味		80,111	-224,481	-6,818	-46,235	449,902	20,487	
正味外貨ポジション		-16	105	-24	-2	-78	68	53

## 注記G49 非連結の組成された事業体における持分

百万スウェーデン・クローネ	保有ファンド	
	2023年	2022年
<b>資産<sup>1</sup></b>		
持分	5,928	5,572
顧客が価値変動リスクを負う資産	240,092	209,633
<b>非連結の組成された事業体における持分合計</b>	<b>246,020</b>	<b>215,205</b>

1) うち、9,586(9,145)百万スウェーデン・クローネはフィンランドの処分グループに含まれており、「売却目的で保有する資産」に分類変更されている。  
G14を参照のこと。

組成された事業体とは、議決権が管理業務にしか関連せず関連活動が契約上の取決めによって制限される場合など、議決権又は同様の権利が、その事業体を支配している企業を判定する上で決め手となる要因にはならないように組織化されている事業体である。非連結の組成された事業体におけるハンデルスバンケンの持分は限定されており、ファンドの持分で構成されている。ファンドは、ハンデルスバンケン・リヴにおける主にユニットリンク保険契約、及び他国における類似の契約を通じて所有されている。ユニットリンク保険契約を通じたファンド・ユニットへの投資は連結されることはないことから、非連結の組成された事業体に該当する。ハンデルスバンケンはまた、マーケット・メーカーの立場で複数のファンド・ユニットを所有している。こうした所有が連結されない場合は、非連結事業体に対する持分となる。非連結の組成された事業体におけるすべての持分の損失に対する最大エクスポージャーは、その持分の現在の帳簿価額である。これらの事業体の資産合計は、関連リスクを理解する上では重要とみなされないため、表示されていない。

[次へ](#)

## 注記G50 関連当事者に関する開示

関連当事者に対する債権及び債務	関連会社及び ジョイント・ベンチャー		その他関連当事者	
	2023年	2022年	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ				
一般顧客への貸出金	334	1,289		
その他資産	30	28	13	16
<b>合計</b>	<b>364</b>	<b>1,317</b>	<b>13</b>	<b>16</b>
一般顧客からの預金及び借入金	311	127	1,159	1,528
<b>合計</b>	<b>311</b>	<b>127</b>	<b>1,159</b>	<b>1,528</b>

関連当事者 - 収益及び費用	関連会社及び ジョイント・ベンチャー		その他関連当事者	
	2023年	2022年	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ				
利息収益	22	8		
利息費用	-3		-149	-6
手数料及びコミッション収益	1			
手数料及びコミッション費用	-223	-229		
その他収益			18	19
その他費用	-177	-102	-182	-178
<b>合計</b>	<b>-380</b>	<b>-323</b>	<b>-313</b>	<b>-165</b>

上記の数値は全事業を対象としている。

注記G20には、関連会社及びジョイント・ベンチャーのリスト及び関連会社に対する資本拠出に関する情報が記載されている。関連会社及びジョイント・ベンチャーの業務は、当行の業務に関連する様々なサービスより構成される。スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelse（年金基金）、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPersonalstiftelse（従業員基金）及びPensionskassan SHB Tjänstepensionsförening（年金ファンド）の各社は、その他関連当事者グループを構成している。これらの会社は通常の銀行業務及び会計業務に関して、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーを利用している。

親会社のスウェーデン子会社は、年金ファンドに対し、確定給付年金に関連する年金保険料81(85)百万スウェーデン・クローネを支払った。子会社従業員に対する年金ファンドの債務は親会社によって保証されているため、年金ファンドが債務を支払えない場合には、親会社がその債務を引き受けて支払義務を負う。この年金ファンドの債務は、7,000(6,136)百万スウェーデン・クローネであった。スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーは、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseに対し、年金費用の720(-)百万スウェーデン・クローネを請求し、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPersonalstiftelseからは、従業員のための給付費用として44(47)百万スウェーデン・クローネが請求された。

執行役員への貸出金及び条件並びに執行役員に対するその他の報酬に関する情報については、注記G8に記載されている。

## 注記G51 重要な後発事象

貸借対照表日後に重要な後発事象はなかった。

## 注記G52 IFRS第17号への移行

下表は、IFRS第17号への移行に伴う2022年度の比較数値及び2022年1月1日時点の資本に係る当初の影響を修正再表示するものである。

損益計算書(当行グループ) 百万スウェーデン・クローネ	2022年度 (公表済)	IFRS第17号 への調整	2022年度 (修正再表示)
純利息収益 <sup>1</sup>	36,610	4	36,614
純手数料及びコミッション収益 <sup>1</sup>	11,103	-122	10,981
金融取引による純損益 <sup>1</sup>	1,111	429	1,540
保険リスク <sup>2</sup>	176	-176	0
保険事業による損益 <sup>3</sup>		280	280
保険契約者に代わって保有する資産からの収益 <sup>4</sup>		-291	-291
保険事業による純損益 <sup>5</sup>		-11	-11
その他	1,250		1,250
<b>収益合計</b>	<b>50,249</b>	<b>126</b>	<b>50,375</b>
人件費 <sup>6</sup>	-13,103	63	-13,040
その他費用 <sup>6</sup>	-6,543	17	-6,526
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び 減損費用 <sup>6</sup>	-1,650	4	-1,646
<b>費用合計</b>	<b>-21,296</b>	<b>84</b>	<b>-21,212</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前利益</b>	<b>28,953</b>	<b>210</b>	<b>29,163</b>
その他	-2,334	0	-2,334
<b>営業利益</b>	<b>26,619</b>	<b>210</b>	<b>26,829</b>
法人税等	-5,429	-2	-5,431
<b>継続事業からの当期利益</b>	<b>21,190</b>	<b>209</b>	<b>21,398</b>
非継続事業からの当期純利益（税引後）	280	0	280
<b>当期利益</b>	<b>21,470</b>	<b>208</b>	<b>21,678</b>
帰属先：			
スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主	21,468	208	21,676
非支配株主持分	1		1

## 主要な数値

自己資本利益率、事業合計	12.5	12.8
C/I比率、継続事業	42.4	42.1
事業合計からの一株当たり利益、スウェーデン・クローネ	10.84	10.95
継続事業からの一株当たり利益、スウェーデン・クローネ	10.70	10.81
非継続事業からの一株当たり利益、スウェーデン・クローネ	0.14	0.14

1) 従来型生命保険契約の貯蓄型保険要素に係る会計基準がIFRS第9号からIFRS第17号に変更されたことによる、保険契約に起因する収益及び費用の「保険事業による損益」への分類変更

2) 「保険リスク」は計上されなくなり、保険契約に起因するすべての収益及び費用は「保険事業による損益」の項目に認識されている。

- 3) 「保険事業による損益」には、保険契約に起因するすべての収益及び費用に加えて営業費用が含まれる。
- 4) 「保険契約者に代わって保有する資産からの収益」はIFRS第9号に準拠して計上されるが、収益が保険契約に起因することから保険事業による純損益に含まれる。
- 5) 「保険事業による純損益」には、「保険事業による損益」及び「保険契約者に代わって保有する資産からの収益」が含まれている。
- 6) 保険契約に起因する営業費用の「保険事業による損益」への分類変更

## 包括利益計算書(当行グループ)

百万スウェーデン・クローネ

## 当期利益

2022年度  
(公表済)IFRS第17号への  
調整2022年度  
(修正再表示)

21,470

208

21,678

## その他包括利益

保険契約

792

793

その他

2,046

0

2,046

## 当期その他包括利益合計

2,046

793

2,838

## 当期包括利益合計

23,516

1,000

24,516

帰属先:

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの株主

23,515

1,000

24,515

非支配株主持分

1

0

1

## 貸借対照表(当行グループ)

百万スウェーデン・クローネ

2021年

12月31日  
(公表済)IFRS第17号への調整  
2022年1月1日  
(修正再表示)

2022年

12月31日  
(公表済)2022年  
IFRS第17号への調整  
12月31日  
(修正再表示)繰延税金資産<sup>1</sup>

845

3

848

1,589

1

1,590

その他資産<sup>2</sup>

5,785

1

5,786

14,720

1

14,721

その他

3,340,134

3,340,134

3,437,407

3,437,407

## 資産合計

3,346,764

4

3,346,768

3,453,716

2

3,453,718

一般顧客からの預金及び借

入金<sup>3</sup>

1,286,637

-6,490

1,280,147

1,325,061

-6,136

1,318,925

保険負債<sup>4</sup>

532

9,457

9,989

405

8,141

8,546

その他負債<sup>5</sup>

11,304

44

11,348

10,451

3

10,454

その他

1,866,560

1,866,560

1,921,768

1,921,768

## 負債合計

3,165,033

3,011

3,168,044

3,257,686

2,008

3,259,693

保険契約

793

793

利益剰余金<sup>6</sup>

134,507

-3,007

131,500

144,841

-3,007

141,834

当期利益

19,527

19,527

21,468

208

21,676

その他

27,697

27,697

29,721

29,721

## 資本合計

181,731

-3,007

178,724

196,030

-2,006

194,024

## 負債及び資本合計

3,346,764

4

3,346,768

3,453,716

2

3,453,718



- 1) IFRS第17号への移行に係る税効果
- 2) 発生保険金に係る再保険者負担分の評価に関連したリスク調整の導入による再保険資産の再評価
- 3) 従来型生命保険契約の貯蓄型保険要素に係る会計基準のIFRS第9号からIFRS第17号への変更による「保険負債」への分類変更
- 4) 会計方針の変更による「一般顧客からの預金及び借入金」からの分類変更及び従来型生命保険の貯蓄型保険要素の再評価保険負債は9,989百万スウェーデン・クローネである。このうち、9,657百万スウェーデン・クローネは、移行時に公正価値アプローチが適用され、現在は一般アプローチが適用される契約によるものである。移行時に完全遡及アプローチが適用され、現在は保険料配分アプローチが適用される契約は332百万スウェーデン・クローネである。
- 5) IFRS第17号に従って計上されない預金の「保険負債」から「その他負債」への分類変更
- 6) IFRS第17号への移行による定量的な影響は、3,007百万スウェーデン・クローネの利益剰余金の減少及び「保険負債」の増加である。このうち、2,996百万スウェーデン・クローネは、従来型生命保険契約の貯蓄型保険要素によるものである。また、発生保険金に係る負債の評価にリスク調整を導入したことにより、11百万スウェーデン・クローネの影響が生じている。

## 注記G53 自己資本比率

### 資本方針

当行は、当行グループの業務に伴うリスクに対応し、法律で定められた最低要件を上回る堅実な資本水準を維持することを目的としている。健全な資本水準は、金融逼迫状態並びに買収及び取引高の大幅な増加等その他の事象に対処するために必要となる。

### 自己資本規制

自己資本比率規制である規制(EU)575/2013(以下、「CRR」という。 )及び指令2013/36/EU(以下、「CRD」という。 )に従って、当行は、少なくとも信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクに関するリスク加重エクスポージャー合計金額の個別要件に対応した普通株式等Tier 1資本、Tier 1資本及び自己資本合計を保有しなければならない。当行は、最低要件に従って資本を保有することに加え、スウェーデンにおいて、資本保全バッファ、カウンターシクリカル・バッファ、システミック・リスク・バッファ及びその他の金融システム上重要な金融機関バッファの合計より構成される結合バッファ要件に準拠する普通株式等Tier 1資本も保有しなければならない。また、当行は、第二の柱に基づく最低所要自己資本を定めている。この第二の柱の要件は、スウェーデン金融監督庁が決定した個別の要件であり、過小評価されているリスク、または規制上の最低要件及び結合バッファ要件の対象とならないリスクのカバーを目的としたものである。スウェーデン金融監督庁が決定した第二の柱には、これらの要件に関するガイダンスもあり、所与の所要自己資本に加え、当行の最低バッファ要件に関する当局の見解が示されている。また、同行は自己資本比率の内部評価を行わなければならない。ハンデルスバンケンの資本方針では、自己資本比率の内部評価に関するガイドラインを規定している。当行はまた、金融コングロマリット(特別監督)法(2006年:第531号)に従って、金融コングロマリットレベルでの所要自己資本にも準拠しなければならない。2016年2月1日以降、破綻整理機構(スウェーデンでは、国債局)により、当行に対し、自己資本及び適格債務の最低要件(MREL)が設定されている。2023年において当行は、当行の規制上の最低水準及びバッファ水準のすべてを十分な余裕をもって満たしていた。当行の自己資本及び所要自己資本に関するより詳細な情報については、注記G2「リスク及び資本管理」並びに当行の「リスク及び資本 - 第三の柱に関する情報」から入手可能である([handelsbanken.com/ir](http://handelsbanken.com/ir)を参照のこと)。当出版物はハンデルスバンケンのすべての自己資本及び適格債務に適用される条件の詳細な情報も掲載している。

### 連結ベースの情報

規制上の連結(以下、「連結ベース」という。 )は、親会社並びに当該連結財務諸表の表EU L13「連結ベースに含まれる会社 - 連結範囲の相違の概要(企業別)」に示されている子会社及び関連会社より構成されている。連結財務諸表に含まれているものの連結ベースから除外されている会社についても、表EU L13「連結ベースに含まれる会社 - 連結範囲の相違の概要(企業別)」に示されている。連結財務諸表と同様、規制上の連結ベースにおいて関連会社は持分法を用いて連結されている。規制対象のすべての子会社は連結ベースに含まれている。ハンデルスバンケンにおいて、実際の自己資本が所定の自己資本を満たしていない子会社は存在しない。

### 連結ベースの自己資本に関する情報

自己資本は、Tier 1資本及びTier 2資本により構成される。Tier 1資本は、普通株式等Tier 1資本及びその他Tier 1資本で構成されている。普通株式等Tier 1資本は、主に、連結に含まれる企業の株式資本、利益剰余金及びその他準備金により構成されている。その他Tier 1資本はその他Tier 1資本調達手段により構成されている。Tier 2資本は、主に劣後ローンにより構成されている。その後、自己資本からの一定の控除が行われ

る。当該控除は、普通株式等Tier 1資本から行われる。当行のリスク管理においては、リスクの観点から当行グループ及び規制上の連結の双方が一つの単位とみなされることが重要である。当行グループにおいて効果的なリスク管理を行うために、当行グループの様々な会社間で資本の再配分が必要になる可能性がある。通常、ハンデルスバンケンは、法律で許容されている範囲（例えば、自己資本比率規制及び会社法における制限等）で当行グループ会社間において資本の再配分を行うことができる。当行は、自己資本からの資金の迅速な振替又は親会社と子会社の間の債務の返済に関して、他の重要な障害も法的な障害もないとみている。

## Tier 1資本

Tier 1資本は、主に普通株式等Tier 1資本及びその他Tier 1資本で構成されている。

### 普通株式等Tier 1(CET1)資本

普通株式等Tier 1資本は、主に、規制上の連結に含まれる企業の株式資本、利益剰余金及びその他準備金で構成されている。当行グループの保険会社は連結されないため（表EU LI3を参照のこと。）、保険会社の利益剰余金は普通株式等Tier 1資本に含まれていない。普通株式等Tier 1資本から除外される項目は、主として、のれん及びその他無形資産、並びに普通株式等Tier 1資本の10%を超える当行グループの保険会社への資本拠出又は繰延税金資産である。資本拠出及び繰延税金資産の合計額は普通株式等Tier 1資本の15%を超えてはならない。当行グループの保険会社への資本拠出及び繰延税金資産は閾値を超えていないため、これらの資本拠出及び繰延税金資産は、普通株式等Tier 1資本から減額されない。キャッシュフロー・ヘッジの資本への影響に関しては、中立的調整が行われる。また、価格調整の計算が義務付けられるが、公正価値で計上される金融商品についても必要に応じて慎重に評価される。内部格付に基づくモデルの使用を許可されている金融機関は、IRB手法に基づく予想信用損失が、計上された信用損失引当金を超えた場合、その差額を控除しなければならない。また、年金資産について純額で認識した余剰価値についても控除しなければならない。但し、当該控除は、ハンデルスバンケンの年金基金から年金費用を補填する当行の権利に相当する金額を減額することができる。さらに、マーケットメーカーとして許可された自社株の保有についても、控除しなければならない。当該控除は許可される範囲で最も高い市場価格に相当するものでなければならない。最後に、証券化に対する投資額についても控除が行われ、デリバティブ商品における自己の信用リスクの変動による影響についても調整が行われる。

### その他Tier 1資本

その他Tier 1資本は、その他Tier 1資本に関する要件を満たす資本調達手段で構成されている。この資本は永久債であり、最低でも5年後に、監督当局の許可を得た場合のみ償還可能なものに限られる。また、普通株式等Tier 1資本が所定の水準に達した場合に、普通株式等Tier 1資本を創出するために額面価値を減額するか、株式に転換すること、また無条件に利払いを停止することが可能でなければならない。

当行のその他Tier 1資本調達手段の合計額は、15.0十億スウェーデン・クローネである。このうち、2020年に10.0十億スウェーデン・クローネのその他Tier 1資本が、2019年に5.0十億スウェーデン・クローネのその他Tier 1資本が発行され、これらはCRR要件を満たしている。分配可能な資金がない場合は、その他Tier 1資本調達手段のクーポンの支払は一時停止されなければならない。

## Tier 2資本

Tier 2資本は、償還期限まで5年以上の期間を有する劣後ローンにより構成されている。当行グループの保険会社に対する劣後ローンの拠出に関して控除が行われている。

## 所要自己資本

### 信用リスク

信用リスクに関する所要自己資本は、CRRに従い、標準的手法及びIRB手法に基づいて計算される。IRB手法には、自行推計のPDは用いるが自行推計によるLGD及び掛目（以下、「CCF」という。）を用いないIRB手法(基礎的手法)と、自行推計のPD、LGD及びCCFを用いるIRB手法(先進的手法)の二つの異なる手法がある。

ハンデルスバンケンは、金融機関向けエクスポージャー、特定の商品及び担保の種類に対する法人エクスポージャーに加え、子会社であるスタッドフィポテックAB及びHandelsbanken Finans ABの特定のエクスポージャーに対し、基礎的IRB手法を使用している。

先進的IRB手法は、大企業、中規模企業、不動産企業及び住宅共同組合に対する大部分のエクスポージャーに加え、スタッドフィポテックAB及びHandelsbanken Finans ABのエクスポージャーの大部分に対して適用されている。また、スウェーデン、ノルウェー及びフィンランドのリテール・エクスポージャーのほか、子会社であるスタッドフィポテックAB及びHandelsbanken Finans ABのリテール・エクスポージャーにも同様に適用されている。IRB手法による株式エクスポージャーの所要自己資本は、簡便なリスク加重手法に基づいて算出されている。

ハンデルスバンケンの子会社であるハンデルスバンケン・ピーエルシーのすべてのエクスポージャーに関する信用リスクは、標準的手法を用いて単体及び連結レベルで算定されている。

当年度末現在、IRB手法は信用リスクに対するリスク加重エクスポージャー額合計の75(74)%に適用された。残りの信用リスク・エクスポージャーの所要自己資本は標準的手法を用いて算定されている。

当年度において、IRB手法の使用が認められたエクスポージャーの平均リスク加重は上昇して 11.9(9.7)%となった。第一の柱に基づくスウェーデンとノルウェーの住宅ローンに係るリスク加重フロアを含む、平均リスク加重は19.1(17.7)%となっている。

信用の質は良好である。ハンデルスバンケンの法人エクスポージャーのうち、96.9(99.1)%は返済能力が正常又は正常より良い(すなわち、当行の10段階のリスク格付けで1から5の間の格付け)と査定された顧客向けである。

### 市場リスク

市場リスクに関する所要自己資本は、連結ベースで計算される。但し、金利リスク及び株価リスクに関する所要自己資本は、トレーディング勘定ポジションについてのみ計算されている。市場リスクに関する所要自己資本の計算では、標準的手法が用いられる。

### オペレーショナル・リスク

ハンデルスバンケンは、オペレーショナル・リスクに係る所要自己資本の計算に標準的手法を使用している。所要自己資本は、標準的手法に従って、規則で定められた係数を直近3事業年度の平均営業収益に乗じて計算される。異なる事業セグメントにおいては、異なる係数が適用される。

2023年度末現在、連結ベースのオペレーショナル・リスクに係る所要自己資本合計は6,017(5,732)百万スウェーデン・クローネであった。

### 金融コングロマリットに関する自己資本比率

金融コングロマリットの一部である金融機関及び保険会社は、金融コングロマリットの所要自己資本に関して適切な自己資本を有していなければならない。金融コングロマリットの自己資本及び所要自己資本は、引合算法（指令2002/87/EC、付属文書1、手法2）に従って算出されている。金融コングロマリットの自己資本合計は、金融コングロマリットの所要自己資本を上回っている。

## 適格債務の最低要件 (MREL)

銀行再建・破綻処理指令(BRRD)(2014/59/EU)が、破綻処理法(2015:1016)としてスウェーデンで国内法制化された。これらの規制には銀行危機への対応措置が定められており、当局は、既定の枠組み内に基づき銀行の全体又は一部を、清算又は破綻させずに再編・売却することが可能となる。この対応措置に加え、本規制では危機に直面した銀行の資本増強を図るために、一部の負債性金融商品の評価減を認めている。

本規制により、減損が可能な債務に関する最低要件(MREL)が2018年1月1日から導入された。この最低要件は、スウェーデン国家債務局及びスウェーデン金融監督庁により策定された当行の破綻処理計画に定められている。本要件は、損失吸収額及び資本増強額から構成される。

2021年に、新しいEU指令(銀行パッケージ)に合わせた規制の改訂が行われ、MRELは、リスク加重エクスポージャーに対する比率とエクスポージャー総額である非リスク加重エクスポージャー(レバレッジ比率)に対する比率の2つの比率で表される。結合バッファ要件は普通株式等Tier 1資本(MRELに使用される普通株式等Tier 1資本を含まない)で満たさなければならず、強制劣後要件も導入される。劣後要件に対応する形で、2018年12月に新しいクラスの負債性金融商品がスウェーデンの法律に追加された。このクラスは、既存のシニア負債性金融商品に劣後するが、破綻処理手続の一部として自己資本に優先する。ハンデルスバンケンはこのクラスの劣後負債性金融商品を2019年から発行している。新しい要件は2024年1月1日までに充足する必要があるものの、2022年1月1日からは経過措置が適用されている。

2024年のハンデルスバンケンのMREL最低要件は、連結レベルでリスク加重エクスポージャーに対する比率は27.1%、非リスク加重エクスポージャーに対する比率は6.0%であり、劣後要件に関してはそれぞれ20.0%と6.0%である。ハンデルスバンケンMREL最低要件をすべて満たしている。

[次へ](#)

## EU LI3 連結範囲の相違の概要（企業別）

下表は、期末現在の連結対象企業の連結範囲の概要を示している。

## EU LI3 - 連結範囲の相違の概要（企業別）

2023年

	企業識別番号	所有持分 (%)	会計上の 連結方法	規制上の連結方法					業態
				全部連結	比例連結	持分法	連結も除外も されていない	除外	
<b>スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト</b>	<b>502007-7862</b>	<b>該当なし</b>	<b>親会社</b>	<b>該当なし</b>					<b>金融機関</b>
Handelsbanken Finans AB (publ)	556053-0841	100	全部連結	x					金融機関
スタッドフィボテック・エイ・ビー・プブリクト	556459-6715	100	全部連結	x					金融機関
Svenska Intecknings Garanti AB Sigab (休眠会社)	556432-7285	100	全部連結	x					非金融会社
Handelsbanken Fonder AB	556418-8851	100	全部連結	x					その他金融会社
AB Handel och Industri	556013-5336	100	全部連結	x					非金融会社
Ecster AB (publ)	556993-2311	100	全部連結	x					金融機関
Handelsbanken plc	11305395	100	全部連結	x					金融機関
Handelsbanken Wealth & Asset Management	04132340	100	全部連結	x					その他金融会社
Handelsbanken Nominees Limited (休眠会社)	2299877	100	全部連結	x					非金融会社
Handelsbanken Second Nominees Limited (休眠会社)	3193458	100	全部連結	x					非金融会社
Handelsbanken ACD Limited	4332528	100	全部連結	x					非金融会社
Svenska Property Nominees Limited (休眠会社)	2308524	100	全部連結	x					非金融会社
Optimix Vermogensbeheer N.V.	33194359	100	全部連結	x					その他金融会社
Add Value Fund Management B.V.	19196768	80	全部連結	x					その他金融会社
Optimix Beheer en Belegging B.V. (休眠会社)	33186584	100	全部連結	x					非金融会社
Handelsbanken Markets Securities, Inc.	11-3257438	100	全部連結	x					その他金融会社
Handelsbanken Rahoitus Oy	0112308-8	100	全部連結	x					その他金融会社
Handelsbanken Fastigheter AB	556873-0021	100	全部連結	x					非金融会社
Rådstuplass 4 AS	910508423	100	全部連結	x					非金融会社
Handelsbanken Ventures AB	556993-9357	100	全部連結	x					非金融会社

Bidtruster AB	556993-9084	100	全部連結	x		非金融会社
Gröna stugan i Stockholm AB	559311-4712	100	全部連結	x		非金融会社
Röda Stugan 1 i Stockholm AB (休眠会社)	559314-1400	100	全部連結	x		非金融会社
Vita Stugan 2 i Stockholm AB (休眠会社)	559314-1418	100	全部連結	x		非金融会社
Vita Stugan 3 i Stockholm AB (休眠会社)	559314-1426	100	全部連結	x		非金融会社
Vita Stugan 4 i Stockholm AB (休眠会社)	559314-1434	100	全部連結	x		非金融会社
Bankomat AB	556817-9716	20	持分法		x	非金融会社
BGC Holding AB	556607-0933	25.54	持分法		x	非金融会社
Torig AB	556564-5404	100	持分法		x	非金融会社
Finansiell ID-teknik BID AB	556630-4928	28.3	持分法		x	非金融会社
USE Intressenter AB	559161-9464	24.48	持分法		x	非金融会社
Getswish AB	556913-7382	20	持分法		x	非金融会社
P27 Nordic Payments Platform AB	559198-9610	16.7	持分法		x	非金融会社
Invidem AB	559210-0779	16.7	持分法		x	非金融会社
Tibern AB	559384-3542	14.3	持分法		x	非金融会社
ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・						
エイ・ビー(Handelsbanken Fastigheter ABを除く						
当行グループ)						
	516401-8284	100	全部連結		x	保険会社
Svenska Re S.A.	RCS Lux B-32053	100	全部連結		x	保険会社
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	516401-6767	100	全部連結		x	保険会社
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	2478149-7	100	全部連結		x	保険会社
Svenska RKA International Insurance Services AB(休眠会社)	556324-2964	100	全部連結		x	保険会社
Dyson Group plc	00163096	27	持分法		x	非金融会社
Dyson Industries Ltd	1187031	100			x	非金融会社
Beepart Ltd	177682	100			x	非金融会社
Pickford Holland & Company Ltd	128414	100			x	非金融会社

Millennium Materials Inc	-	100	x	非金融会社
EFN Ekonomikanalen AB	556930-1608	100	x	非金融会社

注：以下の企業は連結されていない。ハンデルスバンケン・リヴ・フォルセクリングス・エイ・ビー、SHB Liv Försäkringsaktiebolag、Svenska RKA International Insurance Services AB、Handelsbanken Skadeförsäkrings AB、EFN Ekonomikanalen AB、Svenska Re S.A.、Dyson Group plc、Dyson Industries Ltd、Beepart Ltd、Pickford Holland & Company Ltd及びMillennium Materials Inc.

[次へ](#)



## EU LI2 規制上のエクスポージャー額と財務諸表上の簿価との主な差額の内訳

下表は、規制上の連結範囲に含まれる帳簿価額と規制上考慮されるエクスポージャーとの差額を示したものである。

規制上のエクスポージャー額と財務諸表上の簿価との主な差額の内訳		対象項目				
2023年 百万スウェーデン・クローネ		合計	信用リスクの 枠組み	証券化の 枠組み	CCRの枠組み	市場リスクの 枠組み
1	規制上の連結による資産の帳簿価額（表EU LI1）	3,267,494	3,153,310	90,592	334	23,258
2	規制上の連結による負債の帳簿価額（表EU LI1）	11,179				11,179
3	規制上の連結範囲による純額合計	3,256,315	3,153,310	90,592	334	12,079
4	オフバランスシートの金額	468,832	468,832			
5	バリュエーションによる差額					
6	ネットイングルールの相違による差額(2行目に含まれているものを除く)	12,199		-7,781		19,980
7	引当金の考慮による差額	1,922	1,922			
8	信用リスク削減手法(CRM)による差額	-30,518	15,875	-46,393		
9	掛目による差額	-286,614	-286,614			
10	リスク移転を伴う証券化による差額					
11	その他の差額	-7,604		-7,604		
12	規制上考慮されるエクスポージャー額	3,414,532	3,353,325	28,814	334	32,059

## EU INS2 金融コングロマリットの自己資本及び自己資本比率に関する情報

## 金融コングロマリットの自己資本及び自己資本比率

百万スウェーデン・クローネ

		2023年	2022年
1	金融コングロマリットの補完的自己資本（金額）	11,559	10,759
2	金融コングロマリットの自己資本比率(%)	128.7	130.0

## EU KM1 - 主要指標

## 主要指標、2023年

		2023年	2022年
<b>利用可能な自己資本（金額）</b>			
1	普通株式等Tier 1(CET1)資本	157,576	158,551
2	Tier 1資本	172,603	174,134
3	資本合計	200,081	193,186
<b>リスク加重エクスポージャー額</b>			
4	リスク加重エクスポージャー合計額	836,790	810,144
<b>自己資本比率(リスク加重エクスポージャー額に対する割合)</b>			
5	普通株式等Tier 1資本比率(%)	18.8	19.6
6	Tier 1資本比率(%)	20.6	21.5
7	総自己資本比率(%)	23.9	23.8
<b>過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本 (リスク加重エクスポージャー額に対する割合)</b>			
EU7a	過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本(%)	2.0	2.1
EU7b	うち、CET 1 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)	1.3	1.3
EU7c	うち、Tier 1資本の割合(パーセンテージ・ポイント)	1.5	1.6
EU7d	SREPに基づく総所要自己資本比率(%)	10.0	10.1
<b>結合バッファ要件(リスク加重エクスポージャー額に対する割合)</b>			
8	資本保全バッファ(%)	2.5	2.5
EU8a	加盟国単位で特定されたマクロ・ブルーデンスのリスク又は システムミック・リスクに対する保全バッファ(%)		
9	金融機関固有のカウンターシクリカル資本バッファ(%)	1.9	1.0
EU9a	システムミック・リスク・バッファ(%)	3.2	3.2
10	グローバルにシステム上重要な金融機関バッファ(%)		
EU10a	その他の金融システム上重要な金融機関バッファ(%)	1.0	1.0

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト ( S v e n s k a   H a n d e l s b a n k e n   A B   ( p u b l ) ) (E27561)  
有価証券報告書

11	結合バッファー要件(%)	8.6	7.7
EU11a	総所要自己資本比率(%)	18.6	17.8
12	SREPに基づく総所要自己資本充足後の利用可能なCET 1 (%)	13.1	13.7
<b>レバレッジ比率</b>			
13	総エクスポージャーの額	3,390,498	3,341,332
14	レバレッジ比率(%)	5.1	5.2
<b>過大レバレッジに対処するための追加所要自己資本 (エクスポージャー合計額に対する割合)</b>			
EU14a	過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本(%)		
EU14b	うち、CET 1 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)		
EU14c	SREPに基づくレバレッジ比率要件合計(%)	3.0	3.0
EU14d	レバレッジ比率バッファー要件(%)		
EU14e	レバレッジ比率要件合計(%)	3.0	3.0
<b>流動性カバレッジ比率</b>			
15	高品質な流動資産(HQLA)合計(加重平均)	895,982	885,096
EU16a	資金流出額(加重後合計)	617,192	645,218
EU16b	資金流入額(加重後合計)	88,942	83,191
16	純資金流出額合計(調整額)	528,250	562,026
17	流動性カバレッジ比率(%)	172	159
<b>安定調達比率</b>			
18	利用可能な安定調達資金合計	2,101,503	2,036,932
19	所要安定調達額合計	1,758,065	1,793,937
20	NSFR(%)	120	114

## EU 0V1 - リスク加重エクスポージャー合計額の概要

下表は、2023年度末及び前年度末における信用リスク、カウンターパーティリスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクのリスク加重エクスポージャー額（RWA）を表したものである。信用リスクは、標準的手法、基礎的IRB手法、先進的IRB手法により算出される。市場リスク及びオペレーショナル・リスクは標準的手法により算出される。

## EU 0V1 - リスク加重エクスポージャー合計額の概要

百万スウェーデン・クローネ		リスク加重エクスポージャー合計額（TREA）		最低所要自己資本合計
		2023年	2022年	2023年
1	信用リスク（カウンターパーティ信用リスク(CCR)を除く）	726,276	692,006	58,102
2	うち、標準的手法	183,549	182,775	14,684
3	うち、基礎的IRB手法(F-IRB)	53,702	51,700	4,296
4	うち、スロットティング方式			
EU4a	うち、簡便なリスク加重手法に基づく株式	2,240	2,108	179
5	うち、先進的IRB手法(A-IRB)	278,625	221,403	22,290
5a	うち、リスク加重フロア	208,160	234,020	16,653
6	カウンターパーティ信用リスク	11,827	11,833	946
7	うち、標準的手法	8,507	8,255	681
8	うち、内部モデル方式(IMM)			
EU8a	うち、CCPIに対するエクスポージャー	268	174	21
EU8b	うち、信用評価調整 - CVA	2,463	2,802	197
9	うち、他のCCR	589	602	47
10	該当なし			
11	該当なし			
12	該当なし			
13	該当なし			
14	該当なし			
15	決済リスク			
16	非トレーディング勘定の証券化エクスポージャー（上限適用後）			
17	うち、SEC-IRBA手法			
18	うち、SEC-ERBA手法(IAAを含む)			
19	うち、SEC-SA手法			
EU19a	うち、1,250%/控除			
20	ポジション、外国為替、コモディティ・リスク（市場リスク）	23,471	34,654	1,878
21	うち、標準的手法	23,471	34,654	1,878
22	うち、IMA			
23	オペレーショナル・リスク	75,216	71,651	6,017
EU23a	うち、基礎的指標手法			
EU23b	うち、標準的手法	75,216	71,651	6,017
EU23c	うち、先進的計測手法			
24	控除の基準値未満の額（リスクウェイトは250％）			
25	該当なし			
26	該当なし			
27	該当なし			
28	該当なし			
29	合計	836,790	810,144	66,943

標準的手法に基づいた市場リスク

下表は、2023年度末現在の標準的手法に基づいた市場リスクに係る所要自己資本を示したものである。

標準的手法に基づいた市場リスク 百万スウェーデン・クローネ	所要自己資本	
	2023年	2022年
アウトライト商品		
金利リスク（一般的なリスク及び特定のリスク）	243	176
株価リスク（一般的なリスク及び特定のリスク）	3	1
為替リスク	1,615	2,576
コモディティ・リスク	0	0
オプション		
簡易法		
デルタプラス法		
シナリオ・アプローチ	16	19
証券化（特定のリスク）		
市場リスクに係る所要自己資本合計	1,878	2,772

適格債務の最低要件（MREL）

MRELは、リスク加重エクスポージャー額と非リスク加重エクスポージャー額に対する、自己資本及び適格債務の割合としてそれぞれ表される（SFS2015:1016）。当行の基準は、スウェーデン国債局により毎年決定され、最終的な基準は、2022年1月1日から2024年1月1日までの経過期間中に直線的に段階的に導入された。

適格債務の最低要件（MREL）％	2023年	2022年
リスク加重エクスポージャーに対するMRELの最低要件	23.8	19.9
利用可能自己資本及び適格債務	39.6	36.5
非リスク加重エクスポージャーに対するMRELの最低要件	5.5	5.0
利用可能自己資本及び適格債務	11.9	10.7
適格債務の最低要件（MREL）％		
リスク加重エクスポージャーに対する劣後部分の最低要件	16.8	13.5
利用可能自己資本及び劣後適格債務	22.0	21.9
非リスク加重エクスポージャーに対する劣後部分の最低要件	5.5	5.0
利用可能自己資本及び劣後適格債務	7.6	7.2

[次へ](#)

## ( 2 ) 個別財務書類

## 損益計算書(親会社)

		2023年		2022年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
利息収益	注記P3	121,993	1,804,276	41,488	613,608
リース収益	注記P3	1,739	25,720	1,826	27,007
利息費用	注記P3	-97,786	-1,446,255	-25,084	-370,992
受取配当金	注記P4	15,957	236,004	16,953	250,735
手数料及びコミッション収益	注記P5	5,955	88,074	6,515	96,357
手数料及びコミッション費用	注記P5	-1,382	-20,440	-1,348	-19,937
金融取引による純損益	注記P6	1,745	25,809	820	12,128
その他営業収益	注記P7	4,230	62,562	4,841	71,598
<b>営業収益合計</b>		<b>52,452</b>	<b>775,765</b>	<b>46,011</b>	<b>680,503</b>
一般管理費用					
人件費	注記P8	-11,456	-169,434	-11,990	-177,332
その他管理費用	注記P9	-7,453	-110,230	-7,415	-109,668
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	注記P21、P22	-2,334	-34,520	-2,459	-36,369
<b>信用損失控除前費用合計</b>		<b>-21,243</b>	<b>-314,184</b>	<b>-21,864</b>	<b>-323,369</b>
<b>信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前利益</b>		<b>31,208</b>	<b>461,566</b>	<b>24,148</b>	<b>357,149</b>
正味信用損失	注記P10	58	858	-41	-606
非流動金融資産の減損損失		-1,524	-22,540	-2,305	-34,091
リスク税及び破綻処理手数料	注記P11	-1,633	-24,152	-1,331	-19,685
<b>営業利益</b>		<b>28,110</b>	<b>415,747</b>	<b>20,471</b>	<b>302,766</b>
繰入	注記P12			-160	-2,366
<b>税引前利益</b>		<b>28,110</b>	<b>415,747</b>	<b>20,311</b>	<b>300,400</b>
法人税等	注記P29	-5,747	-84,998	-4,856	-71,820
<b>当期利益</b>		<b>22,363</b>	<b>330,749</b>	<b>15,455</b>	<b>228,579</b>

## 包括利益計算書（親会社）

	2023年		2022年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
当期利益	22,363	330,749	15,455	228,579
<b>その他包括利益</b>				
<b>損益計算書に組み替えられない項目</b>				
その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	63	932	41	606
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-11	-163	-19	-281
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	-11	-163	-19	-281
<b>損益計算書に組み替えられない項目合計</b>	<b>52</b>	<b>769</b>	<b>22</b>	<b>325</b>
<b>その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目</b>				
キャッシュフロー・ヘッジ	-1,571	-23,235	3,411	50,449
その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	25	370	-61	-902
当期為替換算差額	-1,289	-19,064	1,326	19,612
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	5	74	-83	-1,228
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目に係る税金	522	7,720	-1,251	-18,502
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	324	4,792	-703	-10,397
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	-5	-74	6	89
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	-1	-15	17	251
うち、為替換算差額	204	3,017	-572	-8,460
<b>その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計</b>	<b>-2,313</b>	<b>-34,209</b>	<b>3,425</b>	<b>50,656</b>
<b>その他包括利益合計</b>	<b>-2,262</b>	<b>-33,455</b>	<b>3,447</b>	<b>50,981</b>
<b>当期包括利益合計</b>	<b>20,100</b>	<b>297,279</b>	<b>18,902</b>	<b>279,561</b>

当期の損益計算書における分類変更は持分変動計算書に示されている。

## 貸借対照表(親会社)

		2023年		2022年	
		(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
<b>資産</b>					
現金及び中央銀行預け金		362,536	5,361,907	376,010	5,561,188
中央銀行への担保として適格な利付証券					
券	注記P15	199,128	2,945,103	132,778	1,963,787
金融機関への貸出金	注記P13	1,007,992	14,908,202	1,025,664	15,169,571
一般顧客への貸出金	注記P14	600,997	8,888,746	637,721	9,431,894
ポートフォリオヘッジにおける金利ヘッジ対象の価値変動		-9,657	-142,827	-16,611	-245,677
債券及びその他の利付証券	注記P15	50,791	751,199	33,339	493,084
株式	注記P16	6,170	91,254	7,112	105,186
子会社株式及び関連会社並びにジョイント・ベンチャーに対する投資	注記P17	68,986	1,020,303	70,483	1,042,444
顧客が価値変動リスクを負う資産		1,948	28,811	2,387	35,304
デリバティブ商品	注記P18	39,019	577,091	52,360	774,404
無形資産	注記P21	3,211	47,491	3,144	46,500
不動産、器具備品及びリース資産	注記P22	6,673	98,694	6,530	96,579
当期税金資産				30	444
繰延税金資産	注記P29	374	5,531	617	9,125
その他資産	注記P23	20,789	307,469	30,166	446,155
前払費用及び未収金	注記P24	1,386	20,499	1,159	17,142
<b>資産合計</b>	注記P36	<b>2,360,344</b>	<b>34,909,488</b>	<b>2,362,889</b>	<b>34,947,128</b>
<b>負債及び資本</b>					
金融機関からの預り金	注記P25	176,143	2,605,155	169,617	2,508,635
一般顧客からの預金及び借入金	注記P26	1,109,471	16,409,076	1,137,272	16,820,253
顧客が価値変動リスクを負う負債		1,948	28,811	2,387	35,304
発行済証券等	注記P27	806,167	11,923,210	806,013	11,920,932
デリバティブ商品	注記P18	46,269	684,319	36,985	547,008
ショートポジション	注記P28	2,364	34,964	1,939	28,678
当期税金負債		831	12,290	0	0
繰延税金負債	注記P29	336	4,969	1,193	17,644
引当金	注記P30	624	9,229	646	9,554
その他負債	注記P31	11,374	168,221	6,779	100,261
未払費用及び繰延収益	注記P32	2,399	35,481	2,901	42,906
劣後負債	注記P33	43,117	637,700	42,404	627,155
<b>負債合計</b>	注記P36	<b>2,201,046</b>	<b>32,553,470</b>	<b>2,208,135</b>	<b>32,658,317</b>
<b>非課税剰余金</b>	注記P34	<b>867</b>	<b>12,823</b>	<b>867</b>	<b>12,823</b>



株式資本	3,069	45,391	3,069	45,391
資本剰余金	8,758	129,531	8,758	129,531
その他積立金	<i>注記P35</i> 9,063	134,042	11,196	165,589
利益剰余金	115,178	1,703,483	115,409	1,706,899
当期利益	22,363	330,749	15,455	228,579
<b>資本合計</b>	<b>158,431</b>	<b>2,343,194</b>	<b>153,887</b>	<b>2,275,989</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>2,360,344</b>	<b>34,909,488</b>	<b>2,362,889</b>	<b>34,947,128</b>

## 持分変動計算書（親会社）

(百万スウェーデン・ クローネ)	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定 準備金	内部開発 ソフトウェア 積立金	資本 剰余金	ヘッジ 準備金 <sup>1</sup>	公正価値 評価差額 準備金 <sup>1</sup>	為替換算 調整準備金 <sup>1</sup>	利益剰余金 (当期利益を 含む)	
<b>2023年期首資本</b>	<b>3,069</b>	<b>2,682</b>	<b>3,010</b>	<b>8,758</b>	<b>3,531</b>	<b>126</b>	<b>1,847</b>	<b>130,864</b>	<b>153,887</b>
当期利益								22,363	22,363
その他包括利益					-1,247	71	-1,086		-2,262
うち、資本の中での分 類変更							-284		-284
<b>当期包括利益合計</b>					<b>-1,247</b>	<b>71</b>	<b>-1,086</b>	<b>22,363</b>	<b>20,100</b>
利益剰余金への振替								284	284
配当金								-15,840	-15,840
内部開発ソフトウェア積 立金			129					-129	
<b>2023年期末資本</b>	<b>3,069</b>	<b>2,682</b>	<b>3,140</b>	<b>8,758</b>	<b>2,284</b>	<b>197</b>	<b>761</b>	<b>137,541</b>	<b>158,431</b>

(百万スウェーデン・ クローネ)	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定 準備金	内部開発 ソフトウェア 積立金	資本 剰余金	ヘッジ 準備金 <sup>1</sup>	公正価値 評価差額 準備金 <sup>1</sup>	為替換算 調整準備金 <sup>1</sup>	利益剰余金 (当期利益を 含む)	
<b>2022年期首資本</b>	<b>3,069</b>	<b>2,682</b>	<b>2,913</b>	<b>8,758</b>	<b>823</b>	<b>158</b>	<b>1,075</b>	<b>124,742</b>	<b>144,220</b>
当期利益								15,455	15,455
その他包括利益					2,708	-33	771		3,447
うち、資本の中での分 類変更						-91	-573		-664
<b>当期包括利益合計</b>					<b>2,708</b>	<b>-33</b>	<b>771</b>	<b>15,455</b>	<b>18,902</b>
利益剰余金への振替								664	664
配当金								-9,900	-9,900
内部開発ソフトウェア積 立金			98					-98	
<b>2022年期末資本</b>	<b>3,069</b>	<b>2,682</b>	<b>3,010</b>	<b>8,758</b>	<b>3,531</b>	<b>126</b>	<b>1,847</b>	<b>130,864</b>	<b>153,887</b>

1) 公正価値ファンドに含まれている。

## 持分変動計算書（親会社）（続き）

(百万円)	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定準備金	内部開発ソフトウェア積立金	資本剰余金	ヘッジ準備金 <sup>1</sup>	公正価値評価差額準備金 <sup>1</sup>	為替換算調整準備金 <sup>1</sup>	利益剰余金(当期利益を含む)	
2023年期首資本	45,391	39,667	44,518	129,531	52,223	1,864	27,317	1,935,479	2,275,989
当期利益								330,749	330,749
その他包括利益					-18,443	1,050	-16,062		-33,455
うち、資本の中での分類変更							-4,200		-4,200
当期包括利益合計					-18,443	1,050	-16,062	330,749	297,279
利益剰余金への振替								4,200	4,200
配当金								-234,274	-234,274
内部開発ソフトウェア積立金			1,908					-1,908	
2023年期末資本	45,391	39,667	46,441	129,531	33,780	2,914	11,255	2,034,231	2,343,194

(百万円)	制限資本			非制限資本					合計
	株式資本	法定準備金	内部開発ソフトウェア積立金	資本剰余金	ヘッジ準備金 <sup>1</sup>	公正価値評価差額準備金 <sup>1</sup>	為替換算調整準備金 <sup>1</sup>	利益剰余金(当期利益を含む)	
2022年期首資本	45,391	39,667	43,083	129,531	12,172	2,337	15,899	1,844,934	2,133,014
当期利益								228,579	228,579
その他包括利益					40,051	-488	11,403		50,981
うち、資本の中での分類変更						-1,346	-8,475		-9,821
当期包括利益合計					40,051	-488	11,403	228,579	279,561
利益剰余金への振替								9,821	9,821
配当金								-146,421	-146,421
内部開発ソフトウェア積立金			1,449					-1,449	
2022年期末資本	45,391	39,667	44,518	129,531	52,223	1,864	27,317	1,935,479	2,275,989

1) 公正価値ファンドに含まれている。

## キャッシュ・フロー計算書（親会社）

	2023年		2022年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
<b>営業活動</b>				
営業利益	28,110	415,747	20,471	302,766
うち、受取利息	117,862	1,743,179	37,724	557,938
うち、支払利息	-94,660	-1,400,021	-22,155	-327,672
うち、受取配当金	15,957	236,004	16,953	250,735
営業利益から投資活動への調整	-335	-4,955	-124	-1,834
うち、子会社の清算	-335	-4,955		
うち、事業及び子会社の売却			-542	-8,016
うち、株式の売却			418	6,182
営業利益における非現金項目の調整				
信用損失	-4	-59	165	2,440
未実現評価差額	-588	-8,697	-2,233	-33,026
償却費及び減損	3,856	57,030	4,764	70,460
グループ利益分配	-11,340	-167,719	-16,279	-240,766
法人税の支払	-5,188	-76,731	-4,842	-71,613
営業活動による資産及び負債の変動				
金融機関への貸出金	17,672	261,369	-39,759	-588,036
一般顧客への貸出金	29,748	439,973	-55,332	-818,360
利付証券及び株式	-80,961	-1,197,413	-28,218	-417,344
金融機関からの預り金	6,526	96,520	16,500	244,035
一般顧客からの預金及び借入金	-27,800	-411,162	16,142	238,740
発行済証券	154	2,278	126,205	1,866,572
デリバティブの正味ポジション	22,834	337,715	-5,495	-81,271
ショートポジション	209	3,091	-2,010	-29,728
投資銀行業務の決済に係る債権及び債務	7,077	104,669	-7,680	-113,587
その他	5,413	80,058	-18,906	-279,620
<b>営業活動からのキャッシュ・フロー</b>	<b>-4,615</b>	<b>-68,256</b>	<b>3,370</b>	<b>49,842</b>
<b>投資活動</b>				
事業及び子会社の売却			-3,891	-57,548
子会社の清算	336	4,969		
関連会社及びジョイント・ベンチャーに係る取得及び拠出	-53	-784	-266	-3,934
株式の売却			183	2,707
不動産及び器具備品の取得	-5,219	-77,189	-4,875	-72,101
不動産及び器具備品の処分	3,263	48,260	3,517	52,016

無形資産の取得	-682	-10,087	-575	-8,504
<b>投資活動からのキャッシュ・フロー</b>	<b>-2,355</b>	<b>-34,830</b>	<b>-5,907</b>	<b>-87,365</b>
<b>財務活動</b>				
劣後負債の返済	-8,351	-123,511	-3,000	-44,370
劣後負債の発行	8,635	127,712	11,845	175,188
配当金の支払	-15,840	-234,274	-9,900	-146,421
当行グループ会社からの受取配当金	16,249	240,323	16,685	246,771
<b>財務活動からのキャッシュ・フロー</b>	<b>692</b>	<b>10,235</b>	<b>15,630</b>	<b>231,168</b>
<b>当期キャッシュ・フロー</b>	<b>-6,278</b>	<b>-92,852</b>	<b>13,093</b>	<b>193,645</b>
期首現金及び現金同等物	376,010	5,561,188	338,768	5,010,379
営業活動からのキャッシュ・フロー	-4,615	-68,256	3,370	49,842
投資活動からのキャッシュ・フロー	-2,355	-34,830	-5,907	-87,365
財務活動からのキャッシュ・フロー	692	10,235	15,630	231,168
現金及び現金同等物の為替換算差額	-7,196	-106,429	24,149	357,164
期末現金及び現金同等物	<b>362,536</b>	<b>5,361,907</b>	<b>376,010</b>	<b>5,561,188</b>

キャッシュ・フロー計算書は間接法で作成されており、減価償却費/償却費や信用損失等、現金の受払いを伴わない取引について営業利益が調整されていることを意味している。

金融取引における負債の変動	2023年		2022年	
	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)	(百万スウェーデン・クローネ)	(百万円)
期首残高	42,404	627,155	32,257	477,081
キャッシュ・フロー	284	4,200	8,845	130,818
現金以外の変動（外国為替変動）	-770	-11,388	3,371	49,857
現金以外の変動（為替ヘッジ）	1,153	17,053	-2,378	-35,171
現金以外の変動（未払利息）	46	680	309	4,570
<b>金融取引における負債合計</b>	<b>43,117</b>	<b>637,700</b>	<b>42,404</b>	<b>627,155</b>

#### 事業及び子会社の売却

百万スウェーデン・クローネ

2022年

#### 購入価格

営業利益から投資活動への調整	-1,633
譲渡に含まれる現金及び現金同等物の控除	-743
購入者に対する債権	-1,516
<b>支払額</b>	<b>-3,891</b>

#### 売却した資産及び負債

他の金融機関に対する貸出金	993
---------------	-----

一般顧客向け貸出金	46,953
顧客が価値変動リスクを負う資産	5,480
その他資産	370
<b>資産合計</b>	<b>53,795</b>
金融機関への貸出金	374
一般顧客への貸出金	52,043
顧客が価値変動リスクを負う負債	5,480
その他負債	331
<b>負債合計</b>	<b>58,228</b>
<b>営業活動からのキャッシュ・フロー</b>	<b>542</b>

購入代金は全額現金及び現金同等物の形で受領している。

## 5年間の概要(親会社)

## 損益計算書

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年	2021年	2020年	2019年
純利息収益	25,946	18,230	13,502	13,456	13,039
受取配当金	15,957	16,953	17,611	15,937	17,338
純手数料及びコミッション収益	4,573	5,167	5,230	5,692	6,011
金融取引による純損益	1,745	820	1,808	1,869	618
その他営業収益	4,230	4,841	3,576	2,790	2,638
<b>営業収益合計</b>	<b>52,452</b>	<b>46,011</b>	<b>41,727</b>	<b>39,744</b>	<b>39,644</b>

## 一般管理費用

人件費	-11,456	-11,990	-10,242	-11,689	-10,148
その他管理費用	-7,453	-7,415	-6,002	-5,684	-5,808
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却 費、償却費及び減損費用	-2,334	-2,459	-2,803	-2,672	-2,156
<b>信用損失控除前費用合計</b>	<b>-21,243</b>	<b>-21,864</b>	<b>-19,047</b>	<b>-20,045</b>	<b>-18,112</b>

信用損失、リスク税及び破綻処理手数料控除前  
利益

	31,208	24,148	22,680	19,699	21,532
正味信用損失	58	-41	-55	-477	-1,059
金融固定資産の減損損失	-1,524	-2,305	-1,180	-79	-148
リスク税及び破綻処理手数料	-1,633	-1,331	-366	-385	
<b>営業利益</b>	<b>28,110</b>	<b>20,471</b>	<b>21,079</b>	<b>18,758</b>	<b>20,325</b>

## 繰入

		-160	227	743	-380
<b>税引前利益</b>	<b>28,110</b>	<b>20,311</b>	<b>21,306</b>	<b>19,501</b>	<b>19,945</b>

## 法人税等

	-5,747	-4,856	-4,618	-4,275	-4,297
<b>当期利益</b>	<b>22,363</b>	<b>15,455</b>	<b>16,688</b>	<b>15,226</b>	<b>15,648</b>

## 当期配当金

	25,740 <sup>1)</sup>	15,840	9,900	16,666	
--	----------------------	--------	-------	--------	--

1) 取締役会の処分案によるものである。

## 包括利益計算書

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年	2021年	2020年	2019年
当期利益	22,363	15,455	16,688	15,226	15,648

## その他包括利益

**損益計算書に組み替えられない項目**

その他包括利益を通じて公正価値で測定される

資本性金融商品	63	41	62	-583	372
損益計算書に組み替えられない項目に係る税金	-11	-19	-3	11	-21
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品	-11	-19	-3	11	-21
<b>損益計算書に組み替えられない項目合計</b>	<b>52</b>	<b>22</b>	<b>59</b>	<b>-572</b>	<b>351</b>

**その後に損益計算書に組み替えられる****可能性のある項目**

キャッシュフロー・ヘッジ	-1,571	3,411	246	-1,677	1,751
その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	25	-61	6	7	7
当期為替換算差額	-1,289	1,326	1,034	-2,184	-259
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	5	-83	-63	-256	-826
その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目に係る税金	522	-1,251	-39	420	-200
うち、キャッシュフロー・ヘッジ	324	-703	-51	365	-375
うち、その他包括利益を通じて公正価値で測定される負債性金融商品	-5	6	-1	-1	-2
うち、在外営業活動体における純資産のヘッジ	-1	17	13	56	177
うち、為替換算差額	204	-572			
<b>その後に損益計算書に組み替えられる可能性のある項目合計</b>	<b>-2,313</b>	<b>3,425</b>	<b>1,247</b>	<b>-3,434</b>	<b>1,299</b>
<b>その他包括利益合計</b>	<b>-2,262</b>	<b>3,447</b>	<b>1,306</b>	<b>-4,006</b>	<b>1,650</b>
<b>当期包括利益合計</b>	<b>20,100</b>	<b>18,902</b>	<b>17,994</b>	<b>11,220</b>	<b>17,298</b>

**貸借対照表**

(百万スウェーデン・クローネ)

**資産**

	2023年	2022年	2021年	2020年	2019年
一般顧客への貸出金	591,340	621,110	609,948	566,158	620,175
金融機関への貸出金	1,007,992	1,025,664	986,897	953,650	890,557
利付証券	249,919	166,117	134,861	145,648	156,466
その他資産	511,092	549,998	498,428	459,407	412,307
<b>資産合計</b>	<b>2,360,344</b>	<b>2,362,889</b>	<b>2,230,134</b>	<b>2,124,863</b>	<b>2,079,505</b>

**負債及び資本**

一般顧客からの預金及び借入金	1,109,471	1,137,272	1,173,172	1,021,130	918,146
----------------	-----------	-----------	-----------	-----------	---------



金融機関からの預り金	176,143	169,617	153,490	193,054	208,697
発行済証券	806,167	806,013	679,808	657,520	724,640
劣後負債	43,117	42,404	32,257	41,082	35,546
その他負債	66,147	52,829	46,481	68,305	59,863
非課税剰余金	867	867	706	933	1,678
資本	158,431	153,887	144,220	142,839	130,935
<b>負債及び資本合計</b>	<b>2,360,344</b>	<b>2,362,889</b>	<b>2,230,134</b>	<b>2,124,863</b>	<b>2,079,505</b>

主要指標 (%)	2023年	2022年	2021年	2020年	2019年
CRRによる普通株式等Tier1比率	29.8	29.4	30.2	31.7	20.2
CRRによるTier1比率	33.4	32.9	33.4	34.6	23.0
CRRによる総自己資本比率	39.9	37.2	37.4	38.8	26.2
総資産利益率	0.90	0.63	0.72	0.65	0.74

代替的な業績指標の定義については307ページ（訳注：原文のページ番号である。）を参照のこと。また、これらの指標の計算については、[handelsbanken.com/ir](https://handelsbanken.com/ir)から入手可能な「ファクト・ブック」を参照のこと。

[次へ](#)

## 注記P1 重要性がある会計方針

### 準拠表明

親会社の年次報告書はスウェーデンの信用機関及び証券会社に係る年次報告法（1995年第1559号）、スウェーデン金融監督庁が制定した規定並びに信用機関及び証券会社における年次報告に関する一般指針（FFFS 2008年第25号）に準拠して作成されている。親会社はまたスウェーデンの財務報告審議会によるRFR第2号「事業体に関する会計処理」の勧告と意見書を適用している。スウェーデン金融監督庁の一般的な指針に準拠して、親会社は法定IFRSを採用している。これはEUが採用する国際財務報告基準及びこれら基準の解釈が、国内法及び指令並びに会計と税との間の関連性の枠組みの範囲内で可能な限り適用されていることを意味する。

### 親会社及び当行グループの会計方針における関連性

親会社の会計方針は、概ね当行グループの会計方針と一致している。以下は当行グループの会計方針と異なっている親会社の会計方針に限定して報告するものである。その他については注記G1の中の会計方針を参照のこと。

### 表示

親会社は損益計算書及び貸借対照表について信用機関及び証券会社に係る年次報告法並びにスウェーデン金融監督庁の規定に準拠した表示モデルを採用している。これは当行グループの表示モデルと比較して、主に以下の相違があることを意味する。

- ・ 要求払い可能な中央銀行に対する債権は、親会社の貸借対照表において金融機関への貸出金として報告されている。これらは当行グループにおいて中央銀行へのその他の貸出金として報告されている。
- ・ 仲介及び株式取引費用は親会社においてコミッション費用として報告されている。
- ・ 受取配当金は親会社の損益計算書において個別の科目で報告されている。
- ・ 親会社における不動産、器具備品及び無形固定資産を処分する際の損益は、その他収益又は費用に報告されている。
- ・ 非課税剰余金は親会社において個別の貸借対照表項目として計上されている。これらは当行グループにおいて持分資本と税金負債に分割されている。

### 売却目的で保有する資産及び非継続事業

耐用年数が確定している非流動資産は、スウェーデン年次報告法に基づき、売却目的保有に分類されるまでの期間、その耐用年数にわたって減価償却/償却される。非継続事業からの税引後純利益は親会社の損益計算書において個別に認識されない。また売却目的で保有する資産も売却目的で保有する負債も貸借対照表上個別に表示されない。売却目的で保有する資産及び負債並びに非継続事業に関する開示については、注記P46を参照のこと。

### 子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーへの投資

子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーへの投資は取得原価で測定される。すべての保有について減損の要否を評価するため、各貸借対照表日に減損のテストが実施される。価値が下落している場合、連結された価値まで調整する様に減損が認識される。減損費用は、損益計算書上の金融資産の減損損失として分類される。子会社、関連会社及びジョイント・ベンチャーの株式に対する配当金は収益として損益計算書の受取配当金に計上される。

### ヘッジ会計

公正価値ヘッジは、在外子会社の株式に起因する為替リスクに適用される。ヘッジ対象は、各在外子会社の株式への投資額のうち、当初の額面価額である。ヘッジ手段は、投資資金を調達する親会社の借入金である。ヘッジ手段の損益は、子会社への投資のうちヘッジ対象を構成する部分の為替リスクの変動とともに、損益計算書に計上される。

## 金融保証

保証コミットメントの形式による子会社、関連会社及びジョイント・ベンチャーのための金融保証は、親会社に履行義務が存在し、当該履行義務を清算するための支払いが求められる可能性が高い場合、親会社の貸借対照表に引当金として計上される。

## 配当金

受取配当金項目は、子会社、関連会社及びジョイント・ベンチャーからの配当金並びにグループ利益分配の受領を含む、親会社が受領したすべての配当金で構成されている。

配当予想は、親会社に配当金額を決定する権利があり、財務報告の公表前に決定されている場合に限り認識される。

## 退職給付会計

親会社は確定給付制度の会計に関するIAS第19号の規定を適用していない。その代わり、親会社の年金費用は、年金債務保護法の規定及びスウェーデン金融監督庁の規定に準拠した年金数理計算を基に計算される。これは主に、割引率の設定方法及び将来債務の計算に将来の昇給が考慮されていないことに関して差異があることを意味する。正味年金費用認識額は、年金基金からの拠出控除後の年金支給額、年金保険料及び年金基金への分配額の合計として算定される。当期の正味年金費用は、親会社の損益計算書において人件費として報告される。

制度資産の価値が見積り年金債務を超過したことによる超過額は親会社の貸借対照表において資産として認識されない。不足額は負債として認識される。

## 法人税等

親会社において、非課税剰余金は貸借対照表において個別項目として認識される。非課税剰余金の一部は、繰延税金負債に計上され、残りは資本に計上されている。

## 注記P2 リスク及び資本管理

ハンデルスバンケン・グループのリスク管理については注記G2に記載されている。親会社のリスクに関する具体的な情報については以下に示されている。

## 信用エクスポージャー地域別内訳、

2023年

百万スウェーデン・クローネ		スウェーデン	ノルウェー	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
<b>貸借対照表項目</b>							
現金及び中央銀行預け金		67,895	4,776	10	128,696	161,159	362,536
金融機関への貸出金	注記P13	916,839	3,889	86,818	24	422	1,007,992
一般顧客への貸出金	注記P14	224,971	187,290	82,633	97,110	8,993	600,997
中央銀行への担保として適格な利付証券							
券	注記P15	199,128					199,128
債券及びその他の利付証券	注記P15	50,791					50,791
デリバティブ商品	注記P18	38,870				149	39,019
<b>合計</b>		<b>1,498,494</b>	<b>195,956</b>	<b>169,460</b>	<b>225,830</b>	<b>170,724</b>	<b>2,260,463</b>
<b>オフバランスシート項目</b>							
偶発債務	注記P39	600,656	65,326	25,629	3,094	28,883	723,588
うち、保証等		38,592	7,412	7,406	100	15,266	68,775
うち、コミットメント		562,065	57,915	18,223	2,995	13,616	654,813
<b>合計</b>		<b>600,656</b>	<b>65,326</b>	<b>25,629</b>	<b>3,094</b>	<b>28,883</b>	<b>723,588</b>
<b>貸借対照表項目及びオフバランスシート項目合計</b>							
		<b>2,099,150</b>	<b>261,282</b>	<b>195,089</b>	<b>228,924</b>	<b>199,606</b>	<b>2,984,051</b>

## 信用エクスポージャー地域別内訳、

2022年

百万スウェーデン・クローネ		スウェーデン	ノルウェー	フィンランド	オランダ	その他諸国	合計
<b>貸借対照表項目</b>							
現金及び中央銀行預け金		100,413	8,962	14	136,749	129,873	376,010
金融機関への貸出金	注記P13	932,268	126	92,558	129	582	1,025,664
一般顧客への貸出金	注記P14	248,738	190,979	91,433	96,208	10,364	637,721
中央銀行への担保として適格な利付証券							
券	注記P15	132,778					132,778
債券及びその他の利付証券	注記P15	33,339					33,339
デリバティブ商品	注記P18	52,210			50	99	52,360
<b>合計</b>		<b>1,499,746</b>	<b>200,067</b>	<b>184,005</b>	<b>233,136</b>	<b>140,918</b>	<b>2,257,872</b>
<b>オフバランスシート項目</b>							
偶発債務	注記P39	605,828	67,648	36,048	2,694	29,337	741,555
うち、保証等		41,319	6,197	8,243	97	16,176	72,032
うち、コミットメント		564,509	61,451	27,806	2,596	13,160	669,523
<b>合計</b>		<b>605,828</b>	<b>67,648</b>	<b>36,048</b>	<b>2,694</b>	<b>29,337</b>	<b>741,555</b>

## 貸借対照表項目及びオフバランスシ

ト項目合計	2,105,575	267,715	220,053	235,830	170,255	2,999,427
-------	-----------	---------	---------	---------	---------	-----------

地域別内訳とはエクスポージャーが計上されている国の内訳をいう。

一般顧客への貸出金セクター別内 訳、2023年	総額			引当金			純額
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
百万スウェーデン・クローネ							
個人	94,920	3,819	1,129	-11	-26	-301	99,530
住宅協同組合	17,585	6,076	2	-3	-19	-1	23,640
不動産管理	292,358	26,999	727	-33	-38	-104	319,909
製造	15,773	3,568	65	-17	-83	-50	19,256
リテール	26,721	558	77	-10	-7	-62	27,277
ホテル及びレストラン	1,647	340	13	-2	-3	-5	1,990
海運	1,264	1	0	0	0	0	1,265
その他運輸及び通信	5,435	132	17	-4	-2	-15	5,563
建設	12,966	3,508	232	-47	-203	-94	16,362
電気、ガス及び水道	12,191	20	3	-2	0	-3	12,209
農業、狩猟業及び林業	3,148	278	7	-2	-3	-3	3,425
その他サービス	13,338	280	112	-6	-4	-84	13,636
持株会社、投資会社、保険会社、 ミューチュアル・ファンド等	18,232	747	10	-5	-3	-3	18,978
ソブリン及び地方自治体	9,219	46		0	0		9,265
その他法人貸付	28,436	236	82	-1	-1	-61	28,691
<b>合計</b>	<b>553,233</b>	<b>46,608</b>	<b>2,476</b>	<b>-143</b>	<b>-392</b>	<b>-786</b>	<b>600,997</b>

一般顧客への貸出金セクター別 内訳、2022年	総額			引当金			純額
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3	
百万スウェーデン・クローネ							
個人	101,993	3,448	805	-15	-24	-305	105,902
住宅協同組合	25,182	978	27	-4	-2	-2	26,179
不動産管理	317,575	12,466	735	-65	-35	-88	330,588
製造	32,141	1,843	44	-25	-110	-32	33,861
リテール	35,824	496	70	-9	-8	-52	36,321
ホテル及びレストラン	1,508	437	14	-1	-6	-7	1,945
海運	1,916	6	221	-1	-2	-77	2,063
その他運輸及び通信	6,143	965	34	-13	-31	-32	7,066
建設	13,941	2,899	110	-52	-142	-71	16,685
電気、ガス及び水道	11,300	954	4	-4	-2	-3	12,249

スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト ( S v e n s k a   H a n d e l s b a n k e n   A B   ( p u b l ) ) (E27561)  
有価証券報告書

農業、狩猟業及び林業	3,617	309	31	-5	-22	-14	3,916
その他サービス	13,407	193	152	-7	-3	-138	13,604
持株会社、投資会社、保険会社、 ミューチュアル・ファン ド等	23,374	5,642	32	-5	-12	-24	29,007
ソブリン及び地方自治体	89	47		0	-1		135
その他法人貸付	17,923	33	334	-1	0	-89	18,200

合計	605,933	30,716	2,613	-207	-400	-934	637,721
----	---------	--------	-------	------	------	------	---------

信用エクスポージャー、担保別 内訳、2023年 百万スウェーデン・クローネ	住宅用 不動産 <sup>1</sup>	その他の 不動産	ソブリン、 地方自治体 及び県域自 治体 <sup>2</sup>	自己の債 務の担保 として差 し入れた 保証 <sup>3</sup>	金融担保	資産担保	その他の 担保	無担保 <sup>4</sup>	合計
貸借対照表項目									
現金及び中央銀行預け金			362,536						362,536
金融機関への貸出金 <small>注記 P13</small>			146,096					861,896	1,007,992
一般顧客への貸出金 <small>注記 P14</small>	174,762	218,542	68,222	9,705	12,470	4,564	7,034	105,697	600,997
中央銀行への担保として適格な利付証券 <small>注記 P15</small>			197,348	543				1,237	199,128
債券及びその他の利付証券 <small>注記 P15</small>			4,542	239				46,010	50,791
デリバティブ商品 <small>注記 P18</small>			442		43			38,534	39,019
合計	174,762	218,542	779,186	10,487	12,513	4,564	7,034	1,053,374	2,260,463

オフバランス シート項目									
偶発債務 <small>注記 P39</small>	68,295	47,250	30,099	5,659	12,705	1,529	7,510	550,541	723,588
うち、保証等	4,345	1,187	6,298	2,563	941	1,445	802	51,194	68,775
うち、コミットメント	63,950	46,063	23,801	3,096	11,764	84	6,708	499,347	654,813
合計	68,295	47,250	30,099	5,659	12,705	1,529	7,510	550,541	723,588

貸借対照表項目 及びオフバ ランスシート 項目合計	243,057	265,792	809,285	16,146	25,218	6,093	14,544	1,603,915	2,984,051
------------------------------------	---------	---------	---------	--------	--------	-------	--------	-----------	-----------

信用エクスポージャー、担保別 内訳、2022年 百万スウェーデン・クローネ	住宅用 不動産 <sup>1</sup>	その他の 不動産	ソブリン、地方 自治体及 び県域自 治体 <sup>2</sup>	自己の債 務の担保 として差 し入れた 保証 <sup>3</sup>	金融担保	資産担 保	その他の 担保	無担保 <sup>4</sup>	合計
---	-------------------------	-------------	--	---	------	----------	------------	------------------	----

貸借対照表項目									
現金及び中央銀行預け金			376,010						376,010
金融機関への貸出金 <small>注記 P13</small>			149,027					876,637	1,025,664

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト ( S v e n s k a   H a n d e l s b a n k e n   A B   ( p u b l ) ) (E27561)  
有価証券報告書

一般顧客への貸 注記										
出金	P14	187,050	224,532	29,435	10,062	10,853	5,070	9,637	161,082	637,721
中央銀行への担										
保として適格 注記										
な利付証券	P15			131,726					1,052	132,778
債券及びその他 注記										
の利付証券	P15			2,492	815				30,032	33,339
デリバティブ 注記										
商品	P18	189	354	3,361	223	86			48,147	52,360
合計		187,239	224,886	692,051	11,100	10,939	5,070	9,637	1,116,950	2,257,872
オフバランス										
シート項目										
偶発債務 注記										
	P39	70,569	45,723	32,483	7,432	11,774	745	8,466	564,363	741,555
うち、保証										
等		2,431	1,340	7,098	3,793	966	511	871	55,022	72,032
うち、コ										
ミットメ										
ント		68,138	44,383	25,385	3,639	10,808	234	7,595	509,341	669,523
合計		70,569	45,723	32,483	7,432	11,774	745	8,466	564,363	741,555
貸借対照表項目										
及びオフバラ										
ンスシート項										
目合計		257,808	270,609	724,534	18,532	22,713	5,815	18,103	1,681,313	2,999,427

- 1) 住宅協同組合のアパートを含む。  
2) 直接のソブリン・地方自治体エクスポージャー及び政府保証をいう。  
3) 政府保証は含まない。  
4) この列は親会社によるグループ子会社への内部貸出及びコミットメントを含む。貸借対照表項目では、この内部貸出は969,085(1,003,588)百万スウェーデン・クローネ、オフバランスシート項目は272,990(262,397)百万スウェーデン・クローネであった。

## 市場リスク

市場リスク		2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ			
金利リスク		1,015	563
為替リスク <sup>1</sup>		4	3
株価リスク		40	38
コモディティ価格リスク		0	1

- 1) スウェーデン・クローネが+/-5%変動した場合の最悪の結果

## 流動性リスク

金融資産及び負債の満期分析、2023年								
百万スウェーデン・クローネ	30日以内	31日から6ヶ月	6ヶ月から12ヶ月	1年から2年	2年から5年	5年超	満期の指定なし	合計
現金及び中央銀行預け金	393,647							393,647
中央銀行への担保として適格な利付証券 <sup>1</sup>	199,274							199,274
債券及びその他の利付証券 <sup>2</sup>	51,139							51,139
金融機関への貸出金	133,126	146,061	109,699	180,809	289,090	200,645		1,059,430
うち、リバース・レポ	12,814							12,814

一般顧客への貸出金	84,139	120,676	101,812	86,585	130,577	135,960		659,749
うち、リバース・レボ	17,404							17,404
その他	11,687						127,213	138,900
うち、株式	6,170							6,170
うち、投資銀行業務の 決済に係る債権	5,517							5,517
<b>資産合計</b>	<b>873,011</b>	<b>266,737</b>	<b>211,511</b>	<b>267,394</b>	<b>419,668</b>	<b>336,605</b>	<b>127,213</b>	<b>2,502,138</b>
金融機関からの預り金	61,503	61,039	15,566	18,034	1,100	845	23,169	181,256
うち、レボ								
うち、中央銀行からの 預り金	11,741	20,288					0	32,030
一般顧客からの預金及び借 入金	49,223	154,131	34,483	5,224	1,813	49	872,513	1,117,435
うち、レボ								
発行済証券 <sup>3</sup>	67,987	355,316	188,573	34,198	150,702	35,090		831,866
うち、カバード・ボン ド								
うち、当初満期が1年未 満の譲渡性預金(CDs)	22,677	97,987	43,918					164,582
うち、当初満期が1年未 満のコマーシャル・ ペーパー(CPs)	45,106	212,756	128,562					386,423
うち、当初満期が1年超 の譲渡性預金(CDs)及 びコマーシャル・ ペーパー(CPs)	99	17,960	12,857					30,916
うち、非優先シニア債		557	414	970	35,826	24,236		62,003
うち、当初満期が1年超 のシニア債及びその 他の証券	105	26,056	2,823	33,228	114,876	10,855		187,942
劣後負債		14,022	565	1,353	20,192	14,367		50,499
その他	7,456						217,991	225,447
うち、ショートポジ ション	2,366							2,366
うち、投資銀行業務の 決済に係る債務	5,090							5,090
<b>負債合計</b>	<b>186,169</b>	<b>584,507</b>	<b>239,187</b>	<b>58,809</b>	<b>173,808</b>	<b>50,352</b>	<b>1,113,673</b>	<b>2,406,504</b>
<b>オフバランスシート項目</b>								
金融保証及び未使用のロー ン・コミットメント	654,813							
<b>デリバティブ、2023年</b>								
百万スウェーデン・クロー ネ	30日以内	31日から 6ヶ月	6ヶ月から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超		合計
デリバティブに係る現金流 入合計	131,607	475,360	139,129	113,350	325,912	115,717		1,301,075
デリバティブに係る現金流 出合計	132,193	478,909	142,440	111,676	317,825	109,313		1,292,356
<b>純額</b>	<b>-586</b>	<b>-3,549</b>	<b>-3,311</b>	<b>1,674</b>	<b>8,087</b>	<b>6,404</b>		<b>8,719</b>



## 金融資産及び負債の満期分

析、2022年

百万スウェーデン・ クローネ	30日以内	31日から 6ヶ月	6ヶ月から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	満期の 指定なし	合計
現金及び中央銀行預け金	407,437							407,437
中央銀行への担保として適 格な利付証券 <sup>1</sup>	132,989							132,989
債券及びその他の利付証券 <sup>2</sup>	33,488							33,488
金融機関への貸出金	110,619	158,846	157,454	173,341	419,899	46,914		1,067,072
うち、リバース・レボ	4,916							4,916
一般顧客への貸出金	55,791	112,085	108,033	106,549	158,604	138,354		679,416
うち、リバース・レボ	12,912							12,912
その他	17,669						139,708	157,377
うち、株式	7,112							7,112
うち、投資銀行業務の決 済に係る債権	10,557							10,557
<b>資産合計</b>	<b>757,993</b>	<b>270,931</b>	<b>265,487</b>	<b>279,891</b>	<b>578,502</b>	<b>185,268</b>	<b>139,708</b>	<b>2,477,780</b>
金融機関からの預り金	63,655	49,032	17,685	15,278	7,752	991	19,324	173,716
うち、レボ								
うち、中央銀行からの預 り金	14,212	20,009	2,652	114			3	36,989
一般顧客からの預金及び借 入金	16,845	51,228	36,512	10,017	2,085	45	1,020,535	1,137,267
うち、レボ	4							4
発行済証券 <sup>3</sup>	77,185	401,948	170,177	29,058	97,628	50,907		826,904
うち、カバード・ボンド								
うち、当初満期が1年未満 の譲渡性預金(CDs)	28,791	169,614	56,754					255,159
うち、当初満期が1年未満 のコマーシャル・ペー パー(CPs)	48,282	203,070	71,539					322,890
うち、当初満期が1年超の 譲渡性預金(CDs)及びコ マーシャル・ペーパー (CPs)	9	6,405	8,765	541				15,719
うち、非優先シニア債		283	140	423	25,014	24,465		50,325
うち、当初満期が1年超の シニア債及びその他の 証券	103	22,576	32,980	28,095	72,614	26,442		182,810
劣後負債		9,614	145	14,496	13,511	11,476		49,240
その他	4,999						202,593	207,592
うち、ショート ポジション	1,947							1,947
うち、投資銀行業務の決 済に係る債務	3,052							3,052
<b>負債合計</b>	<b>162,684</b>	<b>511,821</b>	<b>224,519</b>	<b>68,849</b>	<b>120,975</b>	<b>63,418</b>	<b>1,242,452</b>	<b>2,394,718</b>

## オフバランスシート項目

金融保証及び未使用のロー ン・コミットメント	669,523
---------------------------	---------

## デリバティブ、2022年

百万スウェーデン・

クローネ

	30日以内	31日から 6ヶ月	6ヶ月から 12ヶ月	1年から 2年	2年から 5年	5年超	合計
デリバティブに係る現金流入合計	189,477	606,809	156,028	144,812	264,991	158,131	1,520,248
デリバティブに係る現金流出合計	188,395	605,555	152,820	140,760	259,985	151,649	1,499,164
<b>純額</b>	<b>1,082</b>	<b>1,254</b>	<b>3,208</b>	<b>4,052</b>	<b>5,006</b>	<b>6,482</b>	<b>21,084</b>

1) この金額（利息を除く）のうち、169,372(106,107)百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

2) この金額（利息を除く）のうち、3,334(2,511)百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

3) この金額（利息を除く）のうち、600,589(637,617)百万スウェーデン・クローネは、残存満期が1年未満である。

「満期の指定なし」の欄の預金は、要求払預金を意味する。

この表には利息キャッシュ・フローが含まれているため、この表の貸借対照表項目の金額は親会社の貸借対照表上の金額と一致していない。

## 注記P3 純利息収益

百万スウェーデン・クローネ

## 利息収益

	2023年	2022年
金融機関及び中央銀行への貸出金	53,689	15,781
一般顧客への貸出金	29,289	16,033
中央銀行への担保として適格な利付証券	8,110	1,289
債券及びその他の利付証券	2,076	876
デリバティブ商品	32,227	7,452
その他利息収益	843	871
<b>合計</b>	<b>126,235</b>	<b>42,302</b>

金融取引による純損益に計上された利息収益の控除

-4,242 -814

## 利息収益合計

121,993 41,488

うち、実効金利法による利息収益及びヘッジ会計デリバティブに係る利息

96,383 34,092

## リース収益

1,739 1,826

## 利息費用

金融機関及び中央銀行からの預り金	-7,233	-1,546
一般顧客からの預金及び借入金	-34,262	-8,040
発行済証券	-34,978	-11,212
デリバティブ商品	-22,409	-2,949
劣後負債	-1,618	-1,369
預金保証料	-256	-364
その他利息費用	-683	-534
<b>合計</b>	<b>-101,440</b>	<b>-26,014</b>

金融取引による純損益に計上された利息費用の控除

3,654 930

<b>利息費用合計</b>	<b>-97,786</b>	<b>-25,084</b>
うち、実効金利法による利息費用及びヘッジ会計デリバティブに係る 利息費用	-85,787	-22,531
<b>純利息収益</b>	<b>25,946</b>	<b>18,230</b>
ファイナンス・リースの予定減価償却費 <sup>1</sup>	-1,471	-1,631
純利息収益合計（ファイナンス・リースの予定減価償却費を含む）	24,475	16,599

1) 不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用に計上している。

デリバティブ商品の行には、ヘッジ対象の資産及び負債に関連した純利息収益が含まれている。これらは利息収益及び費用に正負双方の影響を及ぼす可能性がある。

#### 注記P4 受取配当金

	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ		
配当金	41	46
関連会社からの配当金	8	14
グループ会社からの配当金 <sup>1</sup>	4,568	614
グループ利益分配受領額	11,340	16,279
<b>合計</b>	<b>15,957</b>	<b>16,953</b>

1) うち、1,142(614)百万スウェーデン・クローネは、スタッドフィポテックが資本性金融商品に分類したTier1資本ローンに係る配当である。

#### 注記P5 純手数料及びコミッション収益

	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ		
仲介及びその他証券コミッション	421	498
ミューチュアル・ファンド	109	239
カストディ及びその他資産管理手数料	905	996
アドバイザリーサービス	180	172
決済	2,686	2,764
貸出金及び預金	846	900
保証	202	272
その他	606	674
<b>手数料及びコミッション収益合計</b>	<b>5,955</b>	<b>6,515</b>
証券	-227	-240
決済	-1,042	-1,001
その他	-113	-107
<b>手数料及びコミッション費用合計</b>	<b>-1,382</b>	<b>-1,348</b>

## 純手数料及びコミッション収益

4,573

5,167

手数料及びコミッション収益は顧客との契約から生じる収益である。仲介及びその他証券コミッション、アドバイザーサービス、決済、貸出金及び預金から生じる収益は通常、サービスの提供時となる特定の時点で認識される。決済にはクレジットカードの発行及び取得も含まれる。ミューチュアル・ファンド、カストディ及びその他の資産管理手数料、保険及び保証から生じる収益は通常、サービスの提供時となるサービス提供期間にわたり定額法で認識される。

## 注記P6 金融取引による純損益

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
償却原価で計上される金融商品	-66	-78
うち、貸出金	-66	-78
うち、利付証券	0	
その他包括利益を通じて公正価値で計上	-1	0
うち、利付証券 - 予想信用損失	0	0
うち、利付証券 - その他包括利益からの分類変更	-1	0
純損益を通じて公正価値で計上、公正価値オプション	670	-4,710
うち、利付証券	670	-4,710
純損益を通じて公正価値で計上(強制)(外貨換算影響額を含む)	1,065	5,615
ヘッジ会計	77	-7
うち、公正価値ヘッジに係る純損益	-7	42
うち、キャッシュフロー・ヘッジの非有効部分	84	-49
合計	1,745	820

## 注記P7 その他営業収益

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
賃料収入	7	11
その他営業収益 <sup>1</sup>	4,223	4,830
合計	4,230	4,841

1) 2023年度第4四半期に、Handelsbanken fondbolagsförvaltning ABが清算されたことにより、2023年度にはその他営業収益に335百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。2023年度にはまた、アクワイアリング事業の売却に伴うVATの還付により、その他営業収益に141百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。2022年度第4四半期に、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーがデンマークにおける事業を売却したことにより、その他営業収益に1,513百万スウェーデン・クローネの影響が生じた。本項目には各年度中に親会社が子会社に販売したサービスの対価が含まれる。

## 注記P8 人件費

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
給与及び報酬	-7,115	-7,145
社会保障費	-1,914	-1,941
年金費用 <sup>1</sup>	-1,824	-2,370

利益分配制度に対する準備金	-83	-124
その他人件費	-520	-409
<b>合計</b>	<b>-11,456</b>	<b>-11,990</b>

1) 年金費用に関する情報については、注記P40に示されている。

#### 給与及び報酬

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
執行役員 <sup>1)</sup> 、24(24)名	-109	-97
その他	-7,006	-7,048
<b>合計</b>	<b>-7,115</b>	<b>-7,145</b>

1) 取締役を含む執行役員

#### 男女別分布、%

	2023年		2022年	
	男性	女性	男性	女性
取締役	46	54	46	54
取締役を除く執行役員	53	47	60	40

平均従業員数	2023年			2022年		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性
スウェーデン	6,899	3,330	3,569	6,507	3,135	3,372
ノルウェー	888	460	428	812	422	390
デンマーク				542	273	269
フィンランド	525	246	279	521	238	283
オランダ	380	237	143	346	214	132
米国	50	29	21	48	28	20
中国				1	1	
ルクセンブルグ	51	27	24	50	24	26
ドイツ				2	1	1
ポーランド	16	4	12	15	4	11
その他諸国	4	1	3	5	1	4
<b>合計</b>	<b>8,813</b>	<b>4,334</b>	<b>4,479</b>	<b>8,849</b>	<b>4,341</b>	<b>4,508</b>

親会社の執行役員に対する報酬の原則に関する情報については、注記G8に示されている。

#### 注記P9 その他管理費用

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
不動産及び建物設備	-1,311	-1,252
IT関連費用	-3,383	-3,280
通信費	-215	-200

旅費及びマーケティング費用	-209	-170
購入したサービス	-1,776	-1,513
備品費	-157	-154
その他費用	-402	-846
<b>合計</b>	<b>-7,453</b>	<b>-7,415</b>

## うち、オペレーティング・リースに係る費用

リース料	-472	-496
変動リース料	-164	-119
<b>合計</b>	<b>-636</b>	<b>-615</b>

オペレーティング・リースは主として、事務所及び事務所設備の賃借に関する標準的な契約によるものである。

事務所賃借料には、通常、インフレ率と固定資産税に関連した変動リース料が含まれている。

解約不能オペレーティング・リース契約における将来のリース料、  
支払期限別

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
1年以内	-805	-669
1年から5年	-2,221	-2,224
5年超	-2,645	-2,507
<b>合計</b>	<b>-5,670</b>	<b>-5,400</b>

監査人及び監査法人に 対する報酬 <sup>1</sup>	プライスウォーター ハウスクーパーズ・ エイ・ビー		デロイト・エイ・ビー		アーンスト・アンド・ ヤング・エイ・ビー	
	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年
百万スウェーデン・ クローネ						
監査業務	-10	-10	-7			-7
当該監査業務以外の監査上 の業務	-2	-2	-2			-1
税務アドバイス						
その他サービス		0				

1) 上表の金額にVATは含まれていない。

## 注記P10 信用損失

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
<b>貸借対照表項目に係る予想信用損失</b>		
ステージ3に分類された貸出金に対する当年度の引当金	-278	-174
ステージ3に分類された貸出金に対する引当金の過年度からの戻入	237	225
<b>ステージ3に分類された貸出金に対する予想信用損失合計</b>	<b>-41</b>	<b>51</b>

ステージ2に分類された貸出金に対する当年度の引当金純額	23	-36
ステージ1に分類された貸出金に対する当年度の引当金純額	63	-85
<b>ステージ1及び2に分類された貸出金に対する予想信用損失合計</b>	<b>86</b>	<b>-121</b>
<b>貸借対照表項目に係る予想信用損失合計</b>	<b>45</b>	<b>-70</b>

#### オフバランスシート項目に係る予想信用損失

ステージ3に分類されたオフバランスシート項目に対する当年度の引当金純額	39	13
ステージ2に分類されたオフバランスシート項目に対する当年度の引当金純額	-47	-27
ステージ1に分類されたオフバランスシート項目に対する当年度の引当金純額	-4	-9
<b>オフバランスシート項目に係る予想信用損失合計</b>	<b>-13</b>	<b>-22</b>

#### 償却

当年度の実際の信用損失 <sup>1</sup>	-184	-666
ステージ3に分類された貸出金に対する従前の引当金の取崩	155	592
<b>償却合計</b>	<b>-29</b>	<b>-74</b>

回収	55	125
<b>信用損失（純額）</b>	<b>58</b>	<b>-41</b>
うち、一般顧客への貸出金	71	-21

1) 当年度の実際の信用損失のうち、44(158)百万スウェーデン・クローネが強制執行の対象となる。

#### 減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目

2023年

	総額			引当金		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3 <sup>1</sup>	ステージ1	ステージ2	ステージ3
百万スウェーデン・クローネ						
<b>貸借対照表項目</b>						
現金及び中央銀行預け金	362,516					
中央銀行への担保として適格な利付証券						
金融機関への貸出金	1,008,104	11		-1	-1	
一般顧客への貸出金	553,233	46,608	2,476	-143	-392	-786
債券及びその他の利付証券	12,709			-2		
<b>合計</b>	<b>1,936,562</b>	<b>46,619</b>	<b>2,476</b>	<b>-146</b>	<b>-393</b>	<b>-786</b>

#### オフバランスシート項目

偶発債務	547,062	10,415	122	-69	-181	-42
うち、保証等	66,910	1,794	71	-11	-41	-22
うち、コミットメント	480,152	8,621	51	-58	-140	-20
<b>合計</b>	<b>547,062</b>	<b>10,415</b>	<b>122</b>	<b>-69</b>	<b>-181</b>	<b>-42</b>

## 減損テスト対象の貸借対照表項目及びオフバランスシート項目

2022年

	総額			引当金		
			ステージ			
百万スウェーデン・クローネ	ステージ1	ステージ2	3 <sup>1</sup>	ステージ1	ステージ2	ステージ3
<b>貸借対照表項目</b>						
現金及び中央銀行預け金	375,981			0		
中央銀行への担保として適格な 利付証券	200			0		
金融機関への貸出金	1,025,814	1		-1	-1	
一般顧客への貸出金	605,933	30,716	2,613	-207	-400	-934
債券及びその他の利付証券	9,882			-2		
<b>合計</b>	<b>2,017,811</b>	<b>30,717</b>	<b>2,613</b>	<b>-211</b>	<b>-401</b>	<b>-934</b>

## オフバランスシート項目

偶発債務	561,940	10,002	245	-66	-136	-82
うち、保証等	69,973	1,982	77	-7	-12	-19
うち、コミットメント	491,967	8,020	168	-59	-124	-63
<b>合計</b>	<b>561,940</b>	<b>10,002</b>	<b>245</b>	<b>-66</b>	<b>-136</b>	<b>-82</b>

1) 受け入れた担保により、引当金を計上しなかったステージ3貸出金の総額は1,142 (1,084)百万スウェーデン・クローネであった。

## 主要指標、信用損失(%)

## 一般顧客への貸出金

	2023年	2022年
信用損失率、ACC	-0.01	0.00
総引当率	0.22	0.24
ステージ1に分類された貸出金に対する引当率	0.03	0.03
ステージ2に分類された貸出金に対する引当率	0.84	1.30
ステージ3に分類された貸出金に対する引当率	31.74	35.75
ステージ3に分類された貸出金の割合	0.28	0.26



## 変動分析

## 減損テスト対象の貸借対照表項目に対する予想信用損失引当金の変動

	2023年				2022年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
百万スウェーデン・ クローネ								
期首現在引当金	-211	-401	-934	-1,546	-172	-434	-1,665	-2,271
認識中止した資産	14	60	190	264	37	129	204	370
償却	0	0	155	155	0	0	590	590
信用リスクの変動による再 測定	7	92	-86	13	-84	163	-7	72
推計手法の更新による変動	11	16		27				
外貨換算影響額等	5	5	2	12	-4	-4	-15	-22
購入又は組成した資産	-14	-14	0	-29	-19	-39	-2	-60
ステージ1への振替	-18	14		-4	-13	18	0	5
ステージ2への振替	42	-205	5	-158	29	-269	9	-231
ステージ3への振替	18	40	-117	-59	15	35	-49	1
期末現在引当金	-146	-393	-786	-1,326	-211	-401	-934	-1,546

## 減損テスト対象の一般顧客への貸出金に対する予想信用損失引当金の変動

	2023年				2022年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
百万スウェーデン・ クローネ								
期首現在引当金	-207	-400	-934	-1,542	-169	-431	-1,665	-2,265
認識中止した資産	14	60	190	264	37	129	204	370
償却	0	0	155	155	0	0	590	590
信用リスクの変動による再 測定	6	91	-86	12	-84	161	-7	71
推計手法の更新による変動	11	16		27				
外貨換算影響額等	5	5	2	12	-4	-4	-15	-22
購入又は組成した資産	-14	-14	0	-29	-19	-39	-2	-60
ステージ1への振替	-18	14		-4	-13	18	0	5
ステージ2への振替	42	-204	5	-157	29	-269	9	-231
ステージ3への振替	18	40	-117	-59	15	35	-49	1
期末現在引当金	-143	-392	-786	-1,321	-207	-400	-934	-1,542

## 減損テスト対象のオフバランスシート項目に対する予想信用損失引当金の変動

	2023年				2022年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
百万スウェーデン・ クローネ								
期首現在引当金	-66	-136	-82	-283	-67	-118	-92	-277

認識中止した資産	9	23	32	22	21		42
償却				0	0	1	1
信用リスクの変動による再							
測定	1	8	39	48	-15	36	29
推計手法の更新による変動	-5	-7		-12			
外貨換算影響額等	1	1	3	4	22		26
購入又は組成した資産	-10	-5	-16	-14	-15		-29
ステージ1への振替	-6	6	0	-2	4		2
ステージ2への振替	6	-73	-67	6	-87		-81
ステージ3への振替	1	2	3	1	1		2
<b>期末現在引当金</b>	<b>-69</b>	<b>-181</b>	<b>-42</b>	<b>-292</b>	<b>-66</b>	<b>-136</b>	<b>-283</b>

この変動分析は、当該期間の各説明項目について、ステージ別の引当金に与える正味影響額を示したものである。認識中止及び償却の影響は期首残高で算定される。推計手法の変更及び外貨換算影響額等による再評価の影響は、ステージ間の振替前に純額ベースで算定される。購入又は組成した資産及びステージ間で振り替えられた金額は、他の説明項目の影響考慮後に認識される。振替の各行は各ステージの引当金に与える影響を表す。

#### 減損テスト対象の貸借対照表項目総額の変動

百万スウェーデン・クローネ	2023年				2022年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	2,017,811	30,717	2,613	2,051,142	1,914,031	30,400	4,407	1,948,838
認識中止した資産	-408,159	-4,927	-352	-413,437	-150,176	-10,748	-923	-161,847
償却	-2	-1	-180	-183	-3	-2	-658	-663
信用リスクの変動による再測定	-25,648	-6,079	-263	-31,990	105,633	2,725	-610	107,749
外貨換算影響額等	-11,605	-679	-6	-12,290	75,468	873	28	76,369
購入又は組成した資産	389,363	3,027	27	392,416	78,677	1,999	21	80,696
ステージ1への振替	18,644	-18,636	-8		20,962	-20,953	-10	
ステージ2への振替	-43,588	43,693	-105		-26,631	26,733	-102	
ステージ3への振替	-254	-497	751		-150	-311	461	
<b>期末現在の総額</b>	<b>1,936,562</b>	<b>46,619</b>	<b>2,476</b>	<b>1,985,658</b>	<b>2,017,811</b>	<b>30,717</b>	<b>2,613</b>	<b>2,051,142</b>

#### 減損テスト対象の一般顧客への貸出金総額の変動

百万スウェーデン・クローネ	2023年				2022年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	605,933	30,716	2,613	639,263	579,320	30,390	4,407	614,117
認識中止した資産	-55,518	-4,667	-352	-60,536	-105,161	-10,632	-923	-116,717
償却	-2	-1	-180	-183	-3	-2	-658	-663

## 信用リスクの変動による

再測定	6,937	-7,112	-263	-438	52,929	2,908	-610	55,228
外貨換算影響額等	-11,350	-620	-6	-11,977	15,067	846	28	15,941
購入又は組成した資産	33,136	3,027	27	36,190	69,336	1,999	21	71,356
ステージ1への振替	17,780	-17,773	-8		20,962	-20,953	-10	
ステージ2への振替	-43,429	43,534	-105		-26,368	26,470	-102	
ステージ3への振替	-254	-497	751		-150	-311	461	
<b>期末現在の総額</b>	<b>553,233</b>	<b>46,608</b>	<b>2,476</b>	<b>602,318</b>	<b>605,933</b>	<b>30,716</b>	<b>2,613</b>	<b>639,263</b>

## 減損テスト対象のオフバランスシート項目総額の変動

百万スウェーデン・ク ローネ	2023年				2022年			
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計	ステージ1	ステージ2	ステージ3	合計
期首現在の総額	561,940	10,002	245	572,187	573,613	7,399	297	581,309
認識中止した資産	-37,475	-2,684	-129	-40,289	-87,513	-3,908	-50	-91,472
償却	0	0	-1	-1	0	0	-3	-3
信用リスクの変動による								
再測定	-17,252	3,524	-31	-13,759	63,232	-2,077	-35	61,120
外貨換算影響額等	-3,253	-88	-1	-3,342	-32,435	-5,394	4	-37,825
購入又は組成した資産	40,638	2,163	1	42,802	57,850	1,208	0	59,058
ステージ1への振替	9,892	-9,891	0		4,623	-4,622	-1	
ステージ2への振替	-7,397	7,404	-7		-17,406	17,409	-3	
ステージ3への振替	-30	-16	46		-24	-12	36	
<b>期末現在の総額</b>	<b>547,062</b>	<b>10,415</b>	<b>122</b>	<b>557,599</b>	<b>561,940</b>	<b>10,002</b>	<b>245</b>	<b>572,187</b>

引当金の分析同様、総額の変動分析は当該ステージの総額に対する各説明項目の影響を示している。ステージ間の振替及び「購入又は組成した資産」の項目は、期末現在の各ステージの金額を表しており、他の項目は期首時点で用いられる各ステージへの影響を表している。

[次へ](#)

## 感応度分析

## ECL算定におけるマクロ経済予測及び感応度分析

予想信用損失の算定には、マクロ経済シナリオによる将来予測的な情報を用いている。予想信用損失は3つのシナリオにおける見積り予想の確率加重平均値である。基本(中立)シナリオの予想確率加重は70(60)%としており、一方で景気の上昇シナリオの予想確率加重は15(20)%、下降シナリオの予想確率加重は15(20)%としている。これらのシナリオ及び確率加重は、2023年12月31日現在のステージ1及びステージ2に分類されたエクスポージャーの予想信用損失の算定根拠となっている。

マクロ経済上のリスク要因	下降シナリオ			基本(中立)シナリオ			上昇シナリオ		
	2024年	2025年	2026年	2024年	2025年	2026年	2024年	2025年	2026年
<b>GDP成長率</b>									
スウェーデン	-3.73	0.90	2.95	-0.13	2.30	2.30	2.87	3.30	2.00
ノルウェー	-3.53	0.06	2.35	0.07	1.46	1.70	3.07	2.46	1.40
フィンランド	-3.41	0.40	2.28	0.19	1.80	1.63	3.19	2.80	1.33
EU諸国	-3.12	0.11	1.95	0.48	1.51	1.30	3.48	2.51	1.00
米国	-2.40	0.44	2.65	1.20	1.84	2.00	4.20	2.84	1.70
<b>失業率</b>									
スウェーデン	10.10	10.41	10.10	8.40	8.31	7.90	7.70	7.31	7.20
ノルウェー	4.05	4.58	4.70	2.35	2.48	2.50	1.65	1.47	1.80
フィンランド	9.30	9.20	8.70	7.60	7.10	6.50	6.90	6.10	5.80
EU諸国	8.58	8.83	8.90	6.88	6.73	6.70	6.18	5.73	6.00
米国	5.96	6.57	6.50	4.26	4.47	4.30	3.56	3.47	3.60
<b>政策金利</b>									
スウェーデン	5.25	4.25	3.25	3.75	2.75	2.25	3.00	1.75	1.25
ノルウェー	5.50	4.75	3.25	4.00	3.25	2.25	3.25	2.25	1.25
フィンランド	4.75	4.00	2.75	3.25	2.50	1.75	2.50	1.50	0.75
EU諸国	4.75	4.00	2.75	3.25	2.50	1.75	2.50	1.50	0.75
米国	5.88	4.63	3.63	4.38	3.13	2.63	3.63	2.13	1.63
<b>商業不動産価格の上昇率</b>									
スウェーデン	-5.91	1.84	2.83	3.51	8.10	3.57	5.99	13.00	5.56
ノルウェー	-4.81	-4.47	-0.35	2.50	2.10	1.40	5.24	6.16	2.31
フィンランド	-7.41	-0.16	3.56	1.46	5.86	6.18	3.35	9.03	7.00
EU諸国	-7.69	-3.44	1.80	0.83	4.44	4.85	3.61	8.49	6.05
<b>住宅価格の上昇率</b>									
スウェーデン	-5.04	-0.32	2.69	1.10	2.57	2.61	6.46	5.00	3.29
ノルウェー	-0.58	-1.34	4.19	0.94	2.77	3.10	2.54	3.48	2.75
フィンランド	2.96	5.29	2.78	0.50	3.83	2.96	-0.37	3.75	3.17
EU諸国	2.35	2.00	2.11	2.00	2.00	2.00	1.70	2.03	2.07

[次へ](#)

## 感応度分析、マクロ経済シナリオ

下表は、2023年12月31日現在のステージ1及びステージ2に分類されたエクスポージャーに対する予想信用損失引当金の増減をパーセンテージで示したもので、この増減は下降及び上昇シナリオにそれぞれ100%の確率が適用される場合のものである。

	2023年		2022年	
	下降シナリオにおける引当金の増加(%)	上昇シナリオにおける引当金の減少(%)	下降シナリオにおける引当金の増加(%)	上昇シナリオにおける引当金の減少(%)
スウェーデン	32.00	-18.85	14.21	-11.25
ノルウェー	34.77	-18.92	7.81	-6.29
フィンランド	17.11	-9.88	5.64	-4.01
オランダ	36.85	-22.53	3.52	-2.56
米国	57.50	-36.86	27.06	-20.37
その他諸国	23.51	-12.04	3.64	-2.07
合計	30.81	-17.78	10.74	-8.44

## 感応度分析、信用リスクの著しい増大

下表は、報告日と当初認識時に算定された残余信用リスクの比率に用いられる閾値が、2.5の閾値よりも0.5低く又は高く設定される場合、12月31日現在でステージ1及びステージ2のエクスポージャーに対する引当金がかかるような影響を受けるかを示したものである。閾値が0.5低下した場合にはステージ1からステージ2へ振り替えられる貸出金の件数が増加し、予想信用損失引当金も増加する。閾値が0.5上昇した場合にはこれと反対の影響が生じる。当行は信用リスクの著しい増大を評価するために定量的・定性的双方の指標を用いている。

### ステージ1及び2に分類されたエクスポージャーに対する引当金総額の変

動、%

閾値	2023年	2022年
2	1.85	2.52
2.5	0.00	0.00
3	-1.66	-2.15

## PDの範囲別減損テスト対象の信用エクスポージャー

PDの範囲別貸借対照表項目	2023年			2022年		
	総額（百万スウェーデン・クローネ）			総額（百万スウェーデン・クローネ）		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
PD値 <sup>1</sup>						
0.00～0.15未満	1,744,372	11,553		1,857,207	9,600	
0.15～0.25未満	48,221	3,315		44,316	1,648	
0.25～0.50未満	74,720	7,488		71,013	3,986	
0.50～0.75未満	25,901	6,757		14,541	1,403	
0.75～2.50未満	39,106	4,142		28,171	9,304	
2.50～10.00未満	3,928	10,047		2,020	2,898	
10.00～100未満	314	3,316		543	1,877	
100（デフォルト）			2,476			2,613
合計	1,936,562	46,619	2,476	2,017,811	30,717	2,613

PDの範囲別一般顧客への貸出金	2023年			2022年		
	総額（百万スウェーデン・クローネ）			総額（百万スウェーデン・クローネ）		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
PD値 <sup>1</sup>						
0.00～0.15未満	498,329	11,550		504,333	9,876	
0.15～0.25未満	13,776	3,315		28,036	1,692	
0.25～0.50未満	21,346	7,486		44,925	3,220	
0.50～0.75未満	7,399	6,756		9,200	1,444	
0.75～2.50未満	11,172	4,141		17,817	9,571	
2.50～10.00未満	1,122	10,045		1,278	2,981	
10.00～100未満	90	3,316		344	1,931	
100（デフォルト）			2,476			2,613
合計	553,233	46,608	2,476	605,933	30,716	2,613

PDの範囲別オフバランスシート 項目	2023年			2022年		
	総額（百万スウェーデン・クローネ）			総額（百万スウェーデン・クローネ）		
	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ1	ステージ2	ステージ3
PD値 <sup>1</sup>						
0.00～0.15未満	411,184	1,666		479,840	4,777	
0.15～0.25未満	29,689	152		37,314	748	
0.25～0.50未満	77,603	1,095		25,062	493	
0.50～0.75未満	10,839	3,526		9,158	579	
0.75～2.50未満	15,960	1,625		9,649	1,618	
2.50～10.00未満	1,726	1,852		797	1,618	
10.00～100未満	60	500		121	169	
100（デフォルト）			122			245

合計	547,062	10,415	122	561,940	10,002	245
----	---------	--------	-----	---------	--------	-----

1) 報告日現在の12カ月PD値を指す。

#### 担保権が実行された資産（百万スウェーデン・クローネ）

	2023年	2022年
動産	2	0
株式		0
帳簿価額	2	0

#### 注記P11 リスク税及び破綻処理手数料

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
リスク税	-1,257	-996
破綻処理手数料	-375	-335
合計	-1,633	-1,331

#### 注記P12 繰入

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
機械装置、器具備品及びリース資産の加速減価償却の変動		-180
純資産の取得に係るのれんの加速償却の変動		20
合計		-160

当年度中に繰入に変動は生じていない。

#### 注記P13 金融機関への貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
貸出金（スウェーデン・クローネ建て）		
銀行	238	257
その他金融機関 <sup>1</sup>	740,628	763,263
合計	740,866	763,520

#### 貸出金（外貨建て）

銀行	46,719	36,174
その他金融機関	220,409	225,972
合計	267,128	262,146

予想信用損失引当金	-2	-2
-----------	----	----

金融機関への貸出金合計	1,007,992	1,025,664
-------------	-----------	-----------

うち、リバース・レボ	12,815	4,916
------------	--------	-------

うち、劣後分	77,146	53,737
--------	--------	--------

1) うち、22,079 (17,550)百万スウェーデン・クローネは、スタッドフィポテックが資本性金融商品に分類したTier1資本ローンである。

## 注記P14 一般顧客への貸出金

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
<b>貸出金（スウェーデン・クローネ建て）</b>		
個人	19,870	24,999
法人	143,285	164,623
国債局	6,748	1,566
<b>合計</b>	<b>169,903</b>	<b>191,188</b>
<b>貸出金（外貨建て）</b>		
個人	110,270	113,576
法人	322,144	334,499
<b>合計</b>	<b>432,414</b>	<b>448,075</b>
予想信用損失引当金	-1,321	-1,542
<b>一般顧客への貸出金合計</b>	<b>600,997</b>	<b>637,721</b>
うち、リバース・レボ	17,404	12,917
うち、劣後ローン	1,142	1,136
<b>平均取引高（国債局を除く）</b>		
百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
一般顧客への貸出金（スウェーデン・クローネ建て）	193,609	202,802
一般顧客への貸出金（外貨建て）	453,155	468,651
<b>合計</b>	<b>646,764</b>	<b>671,453</b>
うち、リバース・レボ	23,110	21,300

## 注記P15 利付証券

	2023年			2022年		
百万スウェーデン・クローネ	帳簿価額	公正価値	額面価格	帳簿価額	公正価値	額面価格
中央銀行への担保として適格な利付証券	199,128	199,128	197,474	132,778	132,778	133,726
債券及びその他の利付証券	50,791	50,791	37,151	33,339	33,339	31,611
<b>合計</b>	<b>249,919</b>	<b>249,919</b>	<b>234,625</b>	<b>166,117</b>	<b>166,117</b>	<b>165,337</b>

## 発行者別利付証券

	2023年			2022年		
百万スウェーデン・クローネ	帳簿価額	公正価値	額面価格	帳簿価額	公正価値	額面価格
政府	199,128	199,128	197,474	132,778	132,778	133,726



金融機関	9,733	9,733	7,856	8,864	8,864	7,655
住宅金融専門機関	35,083	35,083	25,155	18,106	18,106	18,754
その他	5,975	5,975	4,141	6,369	6,369	5,202
<b>合計</b>	<b>249,919</b>	<b>249,919</b>	<b>234,625</b>	<b>166,117</b>	<b>166,117</b>	<b>165,337</b>

**減損テスト対象の利付証券**

百万スウェーデン・クローネ

**2023年****2022年****その他包括利益を通じて公正価値で測定**

中央銀行への担保として適格な利付証券

200

債券及びその他の利付証券

12,709

9,882

**合計****12,709****10,082**

資本の公正価値評価差額準備金で認識される予想信用損失引当金

-2

-2

**平均取引高**

百万スウェーデン・クローネ

**2023年****2022年**

中央銀行への担保として適格な利付証券

258,785

137,114

債券及びその他の利付証券

55,713

45,823

**合計****314,498****182,937****注記P16 株式**

百万スウェーデン・クローネ

**2023年****2022年**

純損益を通じて公正価値で測定、強制

5,669

6,668

その他包括利益を通じて公正価値で測定

501

444

**株式合計****6,170****7,112****その他包括利益を通じて公正価値で測定された保有株式**

百万スウェーデン・クローネ

**2023年****2022年**

Visa Inc

330

274

VIPPS A/S

60

57

その他の保有株式

111

113

**合計****501****444**

ハンデルスバンケンは、上記の保有株式について、トレーディング目的保有ではないことによりその他包括利益を通じて公正価値で測定するものに分類している。これらの株式に係る配当は合計で3(17)百万スウェーデン・クローネであり、その他の配当収益として損益計算書に計上されている。当年度中に当行は、多数の住宅協同組合の保有株式を総額0(32)百万スウェーデン・クローネで売却した。この売却は支店閉鎖を主な理由として行われた。

その他包括利益を通じて公正価値で測定される資本性金融商品に係る実現及び未実現損益に関しては、親会社の持分変動計算書を参照のこと。

## 注記P17 子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資

## 子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
当行グループ会社（非上場）	68,674	69,998
関連会社（非上場）	215	215
ジョイント・ベンチャー（非上場）	97	270
合計	68,986	70,483

当行グループ会社	企業識別番号	所在地	株式数	所有持分 (%)	帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
					2023年	2022年
Handelsbanken Finans AB <sup>1</sup>	556053-0841	ストックホルム	1,550,000	100	6,942	8,212
Stadshypotek AB <sup>1</sup>	556459-6715	ストックホルム	162,000	100	26,870	26,870
Handelsbanken Fondbolagsförvaltning AB <sup>2</sup>	556070-0683	ストックホルム	10,000	100		1
Handelsbanken Fonder AB	556418-8851	ストックホルム	15,000	100	2	2
Handelsbanken Liv Försäkrings AB	516401-8284	ストックホルム	100,000	100	6,189	6,189
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	2478149-7	ヘルシンキ		100		
Handelsbanken Fastigheter AB	556873-0021	ストックホルム		100		
Ecster AB	556993-2311	ストックホルム	50,000	100	1,750	1,750
Handelsbanken plc <sup>1</sup>	11305395	ロンドン	5,050,401	100	24,520	24,543
Handelsbanken Wealth & Asset Management Limited	04132340	ロンドン	1,319,206	100		
Optimix Vermogensbeheer N.V.	33194359	アムステルダム	10,209	100	712	713
Add Value Fund Management BV	19196768	アムステルダム		80		
その他の子会社						
EFN Ekonomikanalen AB	556930-1608	ストックホルム	100	100	0	0
AB Handel och Industri	556013-5336	ストックホルム	100,000	100	12	12
Handelsbanken Markets Securities, Inc.	11-3257438	ニューヨーク	1,000	100	39	41
Handelsbanken Rahoitus Oy	0112308-8	ヘルシンキ	37,026,871	100	1,561	1,562
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	516401-6767	ストックホルム	1,500	100	31	31
Rådstuplass 4 AS	910508423	ベルゲン	40,000	100	0	0
Svenska Re S.A.	RCS Lux B-32053	ルクセンブルグ	20,000	100	35	35
Handelsbanken Ventures AB	556993-9357	ストックホルム	50	100	11	38
合計					68,674	69,998

- 1) 金融機関
- 2) 同社は2023年に清算された。

当行グループ会社のリストには、直接所有子会社及びこれらの会社の大規模な子会社が含まれている。

関連会社	企業識別番号	所在地	株式数	所有持分 (%)	帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
					2023年	2022年
Bankomat AB	556817-9716	ストックホルム	150	20.00	67	67
BGC Holding AB	556607-0933	ストックホルム	25,542	25.54	81	81
Dyson Group plc	00163096	シェフィールド	74,733,672	27.00	22	22
Finansiell ID-teknik BID AB	556630-4928	ストックホルム	12,735	28.30	24	24
Getswish AB	556913-7382	ストックホルム	10,000	20.00	21	21
USE Intressenter AB	559161-9464	ストックホルム	2,448	24.48	0	0
<b>合計</b>					<b>215</b>	<b>215</b>

ジョイント・ベンチャー	企業識別番号	所在地	株式数	議決権(%)	帳簿価額 百万スウェーデン・ クローネ	
					2023年	2022年
P27 Nordic Payment Platform AB	559198-9610	ストックホルム	10,000	16.67	92	160
Invidem AB	559210-0779	ストックホルム	10,000	16.67		107
Tibern AB	559384-3542	ストックホルム	4,000	14.29	5	3
<b>合計</b>					<b>97</b>	<b>270</b>

## 注記P18 デリバティブ商品

	想定元本/満期			想定元本		正の市場価値		負の市場価値	
百万スウェーデン・ク ローネ	1年以内	1年超 5年以内	5年超	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年
<b>トレーディング目的で 保有するデリバ ティブ</b>									
金利関連契約									
オプション	3,359	25,721	6,187	35,267	25,526	263	410	394	358
FRA/先物	377,929	20,062		397,991	681,455	255	928	237	1,180
スワップ	516,830	1,554,660	349,873	2,421,363	2,767,333	49,415	78,155	48,983	77,612
通貨関連契約									
オプション	24,061	1,615	17	25,693	35,136	158	292	237	249
先物	56,603	5,712	55	62,370	94,033	1,196	1,418	1,146	1,112
スワップ	513,352	154,597	48,119	716,068	909,677	14,827	17,163	23,997	20,796
株式関連契約									
オプション	4,470	380	32	4,882	2,053	194	182	114	95
先物	215			215	184	5	6	2	5
スワップ	4,754	1,208		5,962	8,262	101	185	306	663
コモディティ関連契約									
オプション			17	17	25	5	2	22	27
先物	180			180	367	6	32	18	52
信用関連契約									
スワップ	463	2,606		3,069	3,908	193	68	82	90
<b>合計</b>	<b>1,502,216</b>	<b>1,766,561</b>	<b>404,300</b>	<b>3,673,076</b>	<b>4,527,959</b>	<b>66,618</b>	<b>98,841</b>	<b>75,538</b>	<b>102,239</b>
<b>公正価値ヘッジのデリ バティブ</b>									
金利関連契約									
スワップ	108,976	232,715	72,811	414,502	423,661	11,911	16,884	9,393	15,664
通貨関連契約									
スワップ		983		983	1,636	25	77		
<b>合計</b>	<b>108,976</b>	<b>233,698</b>	<b>72,811</b>	<b>415,485</b>	<b>425,297</b>	<b>11,937</b>	<b>16,961</b>	<b>9,393</b>	<b>15,664</b>
<b>キャッシュフロー・ ヘッジのデリバティ ブ</b>									
金利関連契約									
スワップ	40,333	30,835	8,645	79,813	122,218	2,961	4,353	78	689
通貨関連契約									
スワップ	85,996	119,925	22,289	228,210	210,818	9,724	13,317	6,486	951
<b>合計</b>	<b>126,329</b>	<b>150,760</b>	<b>30,934</b>	<b>308,023</b>	<b>333,036</b>	<b>12,685</b>	<b>17,670</b>	<b>6,563</b>	<b>1,640</b>
<b>デリバティブ商品合計</b>	<b>1,737,521</b>	<b>2,151,019</b>	<b>508,045</b>	<b>4,396,584</b>	<b>5,286,292</b>	<b>91,240</b>	<b>133,472</b>	<b>91,494</b>	<b>119,543</b>
うち、取引所上場 デリバティブ				70,400	201,816	148	260	419	274
うち、CCPで決済さ れるOTCデリバ ティブ				2,172,236	2,774,527	52,627	82,375	45,845	83,957

うち、CCPで決済され ないOTCデリバ ティブ	2,153,948	2,309,949	38,465	50,837	45,230	35,312
相殺された金額	-2,310,691	-2,826,362	-52,221	-81,112	-45,225	-82,558
<b>純額</b>	<b>2,085,893</b>	<b>2,459,930</b>	<b>39,019</b>	<b>52,360</b>	<b>46,269</b>	<b>36,985</b>

**市場価値の通貨別内訳**

スウェーデン・ クローネ			54,626	-224,388	333,073	12,539
米ドル			-25,673	187,752	-350,125	-244,777
ユーロ			157,332	280,424	73,140	300,494
その他			-95,045	-110,316	35,406	51,287
<b>合計</b>			<b>91,240</b>	<b>133,472</b>	<b>91,494</b>	<b>119,543</b>

この注記では、デリバティブ契約は総額で表示されている。相殺額は、当行が契約上のキャッシュ・フローを純額で決済する法的権利及び意思を有している契約（中央清算される契約を含む）の市場価値及び関連する想定元本の相殺で構成されている。これらの契約は、貸借対照表上、カウンターパーティ及び通貨別に純額で表示されている。

当行は、当初認識時に評価モデルを用いて測定された価値と、取引価格との正の差額（取引日利益/(損失)）をデリバティブの期間にわたり償却している。年度末現在、これらの未認識の取引日利益は、472(447)百万スウェーデン・クローネであった。

**注記P19 ヘッジ会計****キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ手段**

百万スウェーデン・クローネ

	2023年			2022年		
	1年以内	1年超 5年以内	5年超	1年以内	1年超 5年以内	5年超
<b>金利リスク</b>						
金利スワップ（固定金利支払・変動金利受取）						
想定元本	13,568	16,503	8,645	15,599	27,009	11,499
平均固定金利(%)	0.38	0.60	0.67	0.81	0.44	0.76
金利スワップ（変動金利支払・固定金利受取）						
想定元本	26,765	14,332		36,885	30,182	1,044
平均固定金利(%)	2.61	3.61		2.00	2.65	3.98

**為替リスク**

為替デリバティブ、ユーロ/ノルウェー・クローネ

想定元本	35,857	17,514	21,271	17,074	21,847
平均為替レート、ユーロ/ノルウェー・クローネ	0.0954	0.0728	0.1045	0.1008	0.0989

為替デリバティブ、米ドル/英ポンド

想定元本	989		7,560		1,000
平均為替レート、米ドル/英ポンド	1.3157		1.2930		1.3157

為替デリバティブ、米ドル/ノルウェー・クローネ

想定元本	2,066	40,077	14,163	26,897	
平均為替レート、米ドル/ノルウェー・クローネ	0.0509	0.0958	0.1083	0.1114	

為替デリバティブ、米ドル/スウェーデン・  
クローネ

想定元本	75,356	14,513	4,776	60,393	8,421	4,872
------	--------	--------	-------	--------	-------	-------

平均為替レート、米ドル/スウェーデン・クローネ	0.0880	0.0782	0.1105	0.1000	0.1068	0.1105
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル						
想定元本				6,602		
平均為替レート、豪ドル/米ドル				1.3770		
為替デリバティブ、豪ドル/ユーロ						
想定元本		13,016				
平均為替レート、豪ドル/ユーロ		1.5415				
為替デリバティブ、他の通貨ペア						
想定元本	8,574	15,473			20,718	
<b>合計</b>	<b>126,329</b>	<b>150,760</b>	<b>30,934</b>	<b>162,473</b>	<b>130,301</b>	<b>40,262</b>

キャッシュフロー・ヘッジにおける ヘッジ手段と非有効性、2023年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の 算定に用いら れた公正価値 変動	その他包括利 益で認識され たヘッジ手段 の価値変動	損益計算書 で認識され た非有効性	ヘッジ準備金 から損益計算 書への振替額
		資産	負債				
金利リスク							
金利スワップ ( 固定金利支払・変動金利受取 )	38,716	2,580	1	-1,831	-1,917	86	
金利スワップ ( 変動金利支払・固定金利受取 )	41,097	381	77	751	751		80
為替リスク <sup>1</sup>							
為替デリバティブ、 ユーロ/ノルウェー・クローネ	53,371	4,335	445	-194	-196	2	
為替デリバティブ、 ユーロ/スウェーデン・クローネ	15,566	305	310	-12	-12	0	
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド	989	30		8	8		
為替デリバティブ、 米ドル/ノルウェー・クローネ	42,143	3,133	1,048	-22	-20	-2	
為替デリバティブ、 米ドル/スウェーデン・クローネ	94,645	1,322	3,951	-103	-103	0	
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル				7	7		-1
為替デリバティブ、他の通貨ペア	21,496	599	732	15	17	-2	27
合計	308,023	12,685	6,563	-1,381	-1,465	84	106

キャッシュフロー・ヘッジにおける ヘッジ手段と非有効性、 2022年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の 算定に用いら れた公正価値 変動	その他包括利 益で認識され たヘッジ手段 の価値変動	損益計算書 で認識され た非有効性	ヘッジ準備金 から損益計算 書への振替額
		資産	負債				
金利リスク							
金利スワップ （固定金利支払・変動金利受取）	54,107	4,282	11	4,758	4,812	-54	
金利スワップ （変動金利支払・固定金利受取）	68,111	71	678	-2,122	-2,122	0	38
為替リスク <sup>1</sup>							
為替デリバティブ、 ユーロ/デンマーク・クローネ				-3	-3	0	
為替デリバティブ、ユーロ/英ポンド				20	20		
為替デリバティブ、 ユーロ/ノルウェー・クローネ	60,192	3,846	12	199	200	-1	
為替デリバティブ、 ユーロ/スウェーデン・クローネ	8,194	303		55	55		
為替デリバティブ、 米ドル/デンマーク・クローネ				70	70	0	
為替デリバティブ、米ドル/英ポンド	8,560	633		19	19		
為替デリバティブ、 米ドル/ノルウェー・クローネ	41,060	3,432		16	12	4	
為替デリバティブ、 米ドル/スウェーデン・クローネ	73,686	4,728	281	360	358	2	
為替デリバティブ、豪ドル/米ドル	6,602		442	-56	-56		2
為替デリバティブ、他の通貨ペア	12,524	375	216	90	90	0	4



合計	333,036	17,670	1,640	3,406	3,455	-49	44
----	---------	--------	-------	-------	-------	-----	----

- 1) ヘッジ会計目的で分析を行う場合、親会社の機能通貨であるスウェーデン・クローネへの換算にあたって、ヘッジ関係におけるデリバティブのレグの想定金額のインピュテーション(補完)が考慮される。このデリバティブのレグのインピュテーション(補完)は上記の想定元本額には含まれていない。

ヘッジ手段の帳簿価額は貸借対照表上の「デリバティブ商品」に含まれている。損益計算書で認識された非有効性は「金融取引による純損益」に含まれている。損益計算書への振替額は「金融取引による純損益」に含まれ、期限前に終了したキャッシュフロー・ヘッジである。

キャッシュフロー・ヘッジにおけるヘッジ対象	2023年			2022年		
	非有効性の算定に用いられた公正価値変動	ヘッジ準備金	ヘッジ会計が適用されなくなったヘッジ関係からのヘッジ準備金残余额	非有効性の算定に用いられた公正価値変動	ヘッジ準備金	ヘッジ会計が適用されなくなったヘッジ関係からのヘッジ準備金残余额
百万スウェーデン・クローネ						
<b>金利リスク</b>						
発行済変動利付証券	1,917	2,333		-4,812	4,255	
変動金利による一般顧客への貸出金	-751	298	366	2,122	-378	446
<b>為替リスク</b>						
ユーロ建て発行済証券及び英ポンド、ノルウェー・クローネ建て内部貸出	208	-107		-272	98	
米ドル建て発行済証券及びユーロ、英ポンド、ノルウェー・クローネ建て内部貸出	115	317	68	-459	455	89
豪ドル建て発行済証券	-7	-2	-2	56	-10	-3
他通貨建て発行済証券及び内部貸出	-17	37		-90	27	6
合計	1,465	2,876	432	-3,455	4,447	538

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段	2023年			2022年		
	1年以内	1年から5年	5年超	1年以内	1年から5年	5年超
百万スウェーデン・クローネ						
<b>金利リスク</b>						
金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)						
想定元本	44,464	156,862	42,357	23,501	116,649	49,316
平均固定金利(%)	2.21	2.84	2.61	1.34	2.00	1.76
クロス・カレンシー金利スワップ (変動金利支払・固定金利受取)						
想定元本		983		633		1,003
平均固定金利(%)		3.69		3.26		3.69
合計	44,464	157,845	42,357	24,134	116,649	50,319

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段及び 非有効性、2023年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の算定 に用いられた 公正価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性
		資産	負債		
<b>金利リスク</b>					
金利スワップ					
（変動金利支払・固定金利受取）	243,683	1,811	9,357	7,932	66
クロス・カレンシー金利スワップ					
（変動金利支払・固定金利受取）	983	25		54	7
<b>合計</b>	<b>244,666</b>	<b>1,836</b>	<b>9,357</b>	<b>7,986</b>	<b>73</b>

#### ポートフォリオ公正価値ヘッジ

##### 金利リスク

##### 金利スワップ

（固定金利支払・変動金利受取）	170,819	10,100	36	-7,034	-80
<b>合計</b>	<b>170,819</b>	<b>10,100</b>	<b>36</b>	<b>-7,034</b>	<b>-80</b>

公正価値ヘッジにおけるヘッジ手段及び 非有効性、2022年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ手段の 想定元本	ヘッジ手段の帳簿価額		非有効性の算定 に用いられた 公正価値変動	損益計算書で 認識された 非有効性
		資産	負債		
<b>金利リスク</b>					
金利スワップ					
（変動金利支払・固定金利受取）	189,466	75	15,652	-14,969	-9
クロス・カレンシー金利スワップ					
（変動金利支払・固定金利受取）	1,636	77		-171	-4
<b>合計</b>	<b>191,102</b>	<b>152</b>	<b>15,652</b>	<b>-15,140</b>	<b>-13</b>

#### ポートフォリオ公正価値ヘッジ

##### 金利リスク

##### 金利スワップ

（固定金利支払・変動金利受取）	234,195	16,809	12	14,762	55
<b>合計</b>	<b>234,195</b>	<b>16,809</b>	<b>12</b>	<b>14,762</b>	<b>55</b>

ヘッジ手段の帳簿価額は貸借対照表の「デリバティブ商品」に含まれている。損益計算書で認識された非有効性は「金融取引による純損益」に含まれている。

公正価値ヘッジにおけるヘッジ 対象、2023年 百万スウェーデン・クローネ	ヘッジ対象の帳簿価額		ヘッジ対象の帳簿価額に 含まれる公正価値調整累計額		非有効性の算定に 用いられた価値変 動
	資産	負債	資産	負債	
<b>金利リスク</b>					
発行済固定利付証券及び劣後負 債		233,072		-8,786	-7,913
<b>合計</b>		<b>233,072</b>		<b>-8,786</b>	<b>-7,913</b>

#### ポートフォリオ公正価値

##### ヘッジ<sup>1)</sup>

##### 金利リスク

一般顧客への固定金利貸出金	-9,657		-9,657		6,954
<b>合計</b>	<b>-9,657</b>		<b>-9,657</b>		<b>6,954</b>

1) 2023年12月31日現在の原貸出金ポートフォリオの総額は、170,819(234,195)百万スウェーデン・クローネであった。

当年度も前年度も、公正価値変動に対する調整が行われなくなったヘッジ対象に係る公正価値ヘッジ調整累計額は貸借対照表に計上されていない。

公正価値ヘッジにおけるヘッジ 対象、2022年	ヘッジ対象の帳簿価額		ヘッジ対象の帳簿価額に 含まれる公正価値調整累計額		非有効性の算定に 用いられた価値変 動
	資産	負債	資産	負債	
百万スウェーデン・クローネ					
<b>金利リスク</b>					
発行済固定利付証券及び劣後負 債		175,113		-16,699	15,127
<b>合計</b>		<b>175,113</b>		<b>-16,699</b>	<b>15,127</b>
<b>ポートフォリオ公正価値 ヘッジ<sup>1</sup></b>					
<b>金利リスク</b>					
一般顧客への固定金利貸出金	-16,611		-16,611		-14,707
<b>合計</b>	<b>-16,611</b>		<b>-16,611</b>		<b>-14,707</b>

## 注記P20 金融商品の相殺

2023年

百万スウェーデン・クローネ

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び  
類似した契約の対象となる金融資産

	デリバティブ	買戻契約及び 証券貸付	合計
総額	91,240	35,332	126,572
相殺金額	-52,221	-4,628	-56,849
貸借対照表計上額	39,019	30,704	69,723

## 貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-7,781		-7,781
担保として受領した金融資産	-18,880	-30,704	-49,584
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-26,661	-30,704	-57,365

純額	12,358	0	12,358
----	--------	---	--------

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び  
類似した契約の対象となる金融負債

総額	91,494	4,631	96,125
相殺金額	-45,225	-4,628	-49,853
貸借対照表計上額	46,269	3	46,272

## 貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-7,781		-7,781
担保として差し入れた金融資産	-17,305	-3	-17,308
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-25,086	-3	-25,089

純額	21,183	0	21,183
----	--------	---	--------

2022年

百万スウェーデン・クローネ

相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び  
類似した契約の対象となる金融資産

	デリバティブ	買戻契約及び 証券貸付	合計
総額	133,472	26,819	160,291
相殺金額	-81,112	-8,320	-89,432
貸借対照表計上額	52,360	18,499	70,859

## 貸借対照表上で相殺されない関連金額

金融商品、ネットティング契約	-11,031		-11,031
担保として受領した金融資産	-21,972	-18,484	-40,456
貸借対照表上で相殺されない金額合計	-33,003	-18,484	-51,487

純額	19,357	15	19,372
----	--------	----	--------

**相殺、強制力のあるマスター・ネットティング契約及び  
類似した契約の対象となる金融負債**

総額	119,543	8,325	127,868
相殺金額	-82,558	-8,320	-90,878
<b>貸借対照表計上額</b>	<b>36,985</b>	<b>5</b>	<b>36,990</b>

**貸借対照表上で相殺されない関連金額**

金融商品、ネットティング契約	-11,031		-11,031
担保として差し入れた金融資産	-5,897	-5	-5,902
<b>貸借対照表上で相殺されない金額合計</b>	<b>-16,928</b>	<b>-5</b>	<b>-16,933</b>

純額	20,057	0	20,057
----	--------	---	--------

デリバティブ商品は、2つ以上のデリバティブの決済における当行の予想キャッシュ・フローを反映している場合に、貸借対照表上で相殺される。この相殺は、当行が合意したキャッシュ・フローを純額で決済する契約上の権利及び意図の両方を有している場合に行われる。デリバティブの残存カウンターパーティ・リスクは、ネットティング契約を通じて(すなわち、倒産時に同一のカウンターパーティとのすべてのデリバティブ取引における正の価値と負の価値を相殺することによって)軽減される。ハンデルスバンケンは、カウンターパーティとなるすべての銀行との間でネットティング契約を締結することを方針としている。ネットティング契約は、正味エクスポージャーに対する担保を設定することで補完されている。使用される担保は主に現金であるが、国債も使用される。買戻契約並びに有価証券借入及び貸付契約に関する担保には、通常、現金又は他の有価証券が利用される。

デリバティブ資産の相殺額には、貸借対照表項目の「預金及び一般顧客からの借入金」から派生した 11,268 (11,346) 百万スウェーデン・クローネの現金担保の相殺が含まれる。

デリバティブ負債の相殺額には、貸借対照表項目「一般顧客への貸出金」から派生した 4,272(12,791) 百万スウェーデン・クローネの現金担保の相殺が含まれる。

## 注記P21 無形資産

2023年 百万スウェーデン・クローネ	取得資産	内部開発 ソフトウェア	その他	合計 2023年
期首現在取得原価	531	5,361	164	6,056
無形資産の取得原価の増加		684		684
処分及び除却	-531	-554		-554
外貨換算影響額		-12		-12
期末現在取得原価	0	5,478	164	6,174
期首現在償却累計額及び減損額	-531	-2,283	-99	-2,913
処分及び除却	531	554		554
当年度の予定償却		-575	-33	-608
当年度の減損				0
外貨換算影響額		3		3
期末現在償却累計額及び減損額	0	-2,300	-131	-2,964
帳簿価額	0	3,178	33	3,211

当年度には、2,883(2,401)百万スウェーデン・クローネの開発費が費用として計上された。

2022年 百万スウェーデン・クローネ	取得資産	内部開発 ソフトウェア	その他	合計 2022年
期首現在取得原価	2,390	4,975	164	7,529
無形資産の取得原価の増加		572		572
処分及び除却	-1,875	-218		-2,093
外貨換算影響額	16	32		48
期末現在取得原価	531	5,361	164	6,056
期首現在償却累計額及び減損額	-2,369	-1,965	-66	-4,400
処分及び除却	1,875	218		2,093
当年度の予定償却	-21	-507	-33	-561
当年度の減損		-6		-6
外貨換算影響額	-16	-23		-39
期末現在償却累計額及び減損額	-531	-2,283	-99	-2,913
帳簿価額	0	3,078	66	3,144

親会社において、のれん及び耐用年数が確定できないその他の無形資産の取得は、前述の「信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法」の規定に準拠して償却される。経験上、買収により取得した顧客関係は非常に長期にわたることから、買収におけるのれんの耐用年数も長期となる。償却期間は20年に設定されている。

## 注記P22 不動産、器具備品及びリース資産

## 不動産、器具備品及びリース資産

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
不動産	26	25
器具備品	544	477
リース資産	6,101	6,028
債権の保全のために担保権が実行された不動産	2	
<b>合計</b>	<b>6,673</b>	<b>6,530</b>

## 不動産

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
期首現在取得原価	54	54
新規建設及び改築	3	0
<b>期末現在取得原価</b>	<b>57</b>	<b>54</b>
期首現在減価償却累計額及び減損額	-29	-27
当年度の予定減価償却	-2	-2
<b>期末現在減価償却累計額及び減損額</b>	<b>-31</b>	<b>-29</b>

## 帳簿価額

26 25

## 器具備品

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
期首現在取得原価	1,338	1,326
当年度の取得原価の増加	332	306
処分及び除却	-277	-320
外貨換算影響額	-10	26
<b>期末現在取得原価</b>	<b>1,383</b>	<b>1,338</b>
期首現在減価償却累計額及び減損額	-861	-872
当年度の予定減価償却	-253	-260
処分及び除却	270	288
外貨換算影響額	5	-17
<b>期末現在減価償却累計額及び減損額</b>	<b>-839</b>	<b>-861</b>
<b>帳簿価額</b>	<b>544</b>	<b>477</b>

## リース資産

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
期首現在取得原価	10,548	11,365
当年度の取得原価の増加	2,669	2,291
処分及び除却	-2,986	-3,208

外貨換算影響額等	-176	100
<b>期末現在取得原価</b>	<b>10,055</b>	<b>10,548</b>
期首現在減価償却累計額及び減損額	-4,520	-4,803
当年度の予定減価償却	-1,471	-1,647
当年度中の減損	24	-18
処分及び除却	1,940	1,990
外貨換算影響額	73	-42
<b>期末現在減価償却累計額及び減損額</b>	<b>-3,954</b>	<b>-4,520</b>
<b>帳簿価額</b>	<b>6,101</b>	<b>6,028</b>

#### 期日別の将来リース料の内訳

百万スウェーデン・クローネ	1年以内	1年から5年	5年超	合計
<b>2023年</b>				
将来のリース支払額の内訳	1,696	4,158	409	<b>6,263</b>
<b>2022年</b>				
将来のリース支払額の内訳	1,447	4,217	467	<b>6,131</b>

リース資産は主に車両及び機械から構成される。リース資産はリース契約期間中にわたり年金法に従い減価償却される。当年度の収益として認識されるリース料は 268(194)百万スウェーデン・クローネであり、このうちリース収益の変動部分は 268(179)百万スウェーデン・クローネである。

親会社の有形固定資産は、不動産(自己所有)、器具備品及びリース資産で構成される。これらの資産は、取得原価から減価償却累計額及び減損額を控除した金額で計上している。減価償却は、当該資産の見積耐用年数に基づいて行われる。不動産及び器具備品については、定額法が適用されている。2023年には、耐用年数の重要な変更はなかった。見積耐用年数については、毎年見直しを行っている。器具備品の耐用年数は2-10年とされている。見積耐用年数が異なる構成要素から成る不動産は、償却方法の異なる区分に分割され、別個に償却される。建造物の耐用年数は100年、その他の部分に係る耐用年数は10年から35年とされている。親会社は、ファイナンス・リースをオペレーティング・リースとして認識している。車両及び機械装置を主な構成要素とするリース資産については、年金法に従って契約期間にわたり減価償却される。不動産及び器具備品の減損テストは、資産価値の減少の兆候がある場合に実施される。貸借対照表日において、不動産及び器具備品について減損の兆候は見られなかった。

#### 注記P23 その他資産

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
投資銀行業務の決済に係る債権	5,517	10,557
その他	15,272	19,609
<b>合計</b>	<b>20,789</b>	<b>30,166</b>

#### 注記P24 前払費用及び未収金

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
未収収益	538	444
前払費用	849	715



合計	1,386	1,159
----	-------	-------

## 注記P25 金融機関からの預り金

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
預り金（スウェーデン・クローネ建て）		
銀行	7,222	9,079
その他金融機関	19,320	20,932
合計	26,542	30,011

## 預り金（外貨建て）

銀行	73,142	63,861
その他金融機関	76,459	75,745
合計	149,601	139,606

金融機関からの預り金合計	176,143	169,617
--------------	---------	---------

うち、レボ	0	
-------	---	--

## 平均取引高

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
金融機関からの預り金（スウェーデン・クローネ建て）	27,383	28,958
金融機関からの預り金（外貨建て）	233,188	222,412
合計	260,571	251,370

うち、レボ	177	125
-------	-----	-----

[次へ](#)

## 注記P26 一般顧客からの預金及び借入金

## 一般顧客からの預金

百万スウェーデン・クローネ

## 預金（スウェーデン・クローネ建て）

	2023年	2022年
個人	361,646	430,291
法人	291,500	351,821
国債局	1	1
合計	653,146	782,113

## 預金（外貨建て）

個人	60,310	67,525
法人	155,898	165,356
合計	216,207	232,881

一般顧客からの預金合計 869,353 1,014,994

## 一般顧客からの借入金

百万スウェーデン・クローネ

## 借入金（スウェーデン・クローネ建て）

	2023年	2022年
借入金（スウェーデン・クローネ建て）	176,759	81,175
借入金（外貨建て）	63,360	41,103
一般顧客からの借入金合計	240,119	122,278

一般顧客からの預金及び借入金合計 1,109,471 1,137,272

うち、レボ 2 5

## 平均取引高

百万スウェーデン・クローネ

## 一般顧客からの預金

	2023年	2022年
一般顧客からの預金（スウェーデン・クローネ建て）	691,097	824,746
一般顧客からの預金（外貨建て）	235,155	308,478
合計	926,252	1,133,224

## 一般顧客からの借入金

一般顧客からの借入金（スウェーデン・クローネ建て）	175,907	70,508
一般顧客からの借入金（外貨建て）	191,818	206,408
合計	367,725	276,916

うち、レボ 8,978 16,971

## 注記P27 発行済証券

	2023年		2022年	
	帳簿価額	額面金額	帳簿価額	額面金額
百万スウェーデン・クローネ				
<b>コマーシャル・ペーパー</b>				
コマーシャル・ペーパー				
（スウェーデン・クローネ建て）	1,099	1,055	908	861
うち、純損益を通じて公正価値で計上	1,099	1,055	908	861
コマーシャル・ペーパー（外貨建て）	578,821	391,189	595,898	597,088
うち、償却原価で計上	578,414	390,799	595,171	596,399
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	15,500	15,745	6,507	6,681
うち、純損益を通じて公正価値で計上	407	391	727	690
<b>合計</b>	<b>579,920</b>	<b>392,244</b>	<b>596,806</b>	<b>597,950</b>
<b>債券</b>				
債券（スウェーデン・クローネ建て）	2,668	2,622	2,693	2,593
うち、償却原価で計上	2,668	2,622	2,693	2,593
債券（外貨建て）	223,578	229,835	206,513	220,158
うち、償却原価で計上	223,578	229,835	206,513	220,158
うち、公正価値ヘッジに含まれるもの	185,172	191,582	145,359	159,198
<b>合計</b>	<b>226,247</b>	<b>232,457</b>	<b>209,207</b>	<b>222,751</b>
<b>発行済証券合計</b>	<b>806,167</b>	<b>624,701</b>	<b>806,013</b>	<b>820,701</b>

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
期首現在発行済証券	806,013	679,808
発行済	1,004,310	819,660
買戻	-2,103	-1,587
満期が到来したもの	-985,938	-732,827
外貨換算影響額等	-16,115	40,959
<b>期末現在発行済証券</b>	<b>806,167</b>	<b>806,013</b>

## 平均残高

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
発行済証券（スウェーデン・クローネ建て）	-8,378	-3,640
発行済証券（外貨建て）	860,275	787,944
<b>合計</b>	<b>851,897</b>	<b>784,304</b>

**注記P28 ショートポジション**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
<b>公正価値で計上されるショートポジション</b>		
株式	520	362
利付証券	1,844	1,577
<b>合計</b>	<b>2,364</b>	<b>1,939</b>

**平均残高**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
<b>ショートポジション（スウェーデン・クローネ建て）</b>	<b>15,301</b>	<b>16,865</b>
<b>ショートポジション（外貨建て）</b>	<b>209</b>	<b>142</b>
<b>合計</b>	<b>15,510</b>	<b>17,007</b>

**注記P29 税金****損益計算書に計上された税金費用**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
当期税金費用	-6,004	-4,594
繰延税金	270	-307
過年度に関する税金の調整	-13	45
<b>合計</b>	<b>-5,747</b>	<b>-4,856</b>

**損益計算書に計上された税金費用**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
税引前利益	28,110	20,311
スウェーデンの税率に基づく税引前利益に対する税金	-5,791	-4,184
<b>税金計上額</b>	<b>-5,747</b>	<b>-4,856</b>
<b>差異</b>	<b>44</b>	<b>-672</b>
差異の詳細項目		
非課税収益/損金不算入費用	2	-39
劣後負債利息の損金不算入額	-583	-282
非課税のキャピタルゲイン及び受取配当	941	130
子会社株式の減損	-314	-475
その他	-2	-6
<b>合計</b>	<b>44</b>	<b>-672</b>

**繰延税金資産、2023年**

百万スウェーデン・クローネ	期首残高	損益計算書 に計上	その他包括 利益に計上	相殺	期末残高
年金	304	-13			291
その他	313	109			422
相殺				-339	-339
<b>合計</b>	<b>617</b>	<b>96</b>		<b>-339</b>	<b>374</b>

**繰延税金負債、2023年**

百万スウェーデン・クローネ	期首残高	損益計算書 に計上	その他包括 利益に計上	相殺	期末残高
不動産及び器具備品	11	-2			9
ヘッジ手段	915		-322		593
その他	267	-204	10		73
相殺				-339	-339
<b>合計</b>	<b>1,193</b>	<b>-206</b>	<b>-312</b>	<b>-339</b>	<b>336</b>

**繰延税金資産、2022年**

百万スウェーデン・クローネ	期首残高	損益計算書 に計上	その他包括 利益に計上	期末残高
年金	275	29		304
その他	393	-80		313
<b>合計</b>	<b>668</b>	<b>-51</b>		<b>617</b>

**繰延税金負債、2022年**

百万スウェーデン・クローネ	期首残高	損益計算書 に計上	その他包括 利益に計上	期末残高
不動産及び器具備品	11			11
ヘッジ手段	230		685	915
その他	195	256	-184	267
<b>合計</b>	<b>436</b>	<b>256</b>	<b>501</b>	<b>1,193</b>

第二の柱のルールが当行に与える影響については、初期評価が実施され、今後も継続的に見直しが行われる予定である。当行ではこの評価を踏まえ、一時的な救済措置が適用可能であると判断し、適用する意向である。

またハンデルスバンケンはIAS第12号の免除規定を適用していることから、当行グループは第二の柱による法人税関連の繰延税金資産と繰延税金負債について認識も開示もしていない。

米国を除くハンデルスバンケンが事業を展開しているすべての国では、EUの第二の柱指令が採択され、各国で国内法制化された又はその予定である。ハンデルスバンケンは低税率国では事業を行っておらず、事業を行っているすべての国の課税率は20%を超えている。採択済みの法令や今後の法令案等により、トップアップ税は各国で納付する必要があるが、米国についてはスウェーデンの親会社が納付することとなる。ハンデルスバンケンは、本規制がハンデルスバンケンの財務諸表に重大な影響を与えることはないと評価している。

**未認識の繰延税金資産及び欠損金**

繰越欠損金及びその他の将来減算一時差異に係る繰延税金資産は、予見可能な将来に利用できる可能性が高い場合に限り認識される。

**注記P30 引当金**

引当金、2023年	オフバランスシート 項目に対する			
百万スウェーデン・クローネ	予想信用損失 引当金 <sup>1</sup>	リストラクチャリ ングに係る引当金 <sup>2</sup>	その他引当金 <sup>3</sup>	合計
期首現在引当金	283	158	204	646
当期の引当金繰入			191	191
取崩		-136	-57	-193
戻入			-28	-28
予想信用損失の変動（純額）	9			9
期末現在引当金	292	22	310	624

引当金、2022年	オフバランスシート 項目に対する			
百万スウェーデン・クローネ	予想信用損失 引当金 <sup>1</sup>	リストラクチャリ ングに係る引当金 <sup>2</sup>	その他引当金 <sup>3</sup>	合計
期首現在引当金	277	641	93	1,011
当期の引当金繰入			434	434
取崩		-482	-313	-796
戻入			-9	-9
予想信用損失の変動（純額）	6			6
期末現在引当金	283	158	204	646

1) 詳細は、注記P10及びP39を参照のこと。

2) リストラクチャリングに係る引当金は当行のリストラクチャリングに関連する費用である。引当額の大半は2021年度から2023年度に決済されており、残りに関しては2024年度末までに決済されると見込まれている。

3) 当行に対する債権の決済に将来必要になることが予想される金額は、その他引当金として表示されている。

**注記P31 その他負債**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
投資銀行業務の決済に係る負債	5,090	3,052
その他	6,285	3,727
合計	11,374	6,779

**注記P32 未払費用及び繰延収益**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
未払費用	1,444	1,798
繰延収益	955	1,103

合計	2,399	2,901
----	-------	-------

### 注記P33 劣後負債

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
劣後負債（スウェーデン・クローネ建て）		
劣後負債（外貨建て）	43,117	42,404
合計	43,117	42,404

劣後負債、 内訳	満期	当初満期日	最初の償還 可能日	通貨	各通貨別の 当初額面金 額	転換/非転 換	金利、%	残高
発行年								
外貨建て								
2018年	期限付 1	2029年 3月5日	2024年 3月5日	ユーロ	750	非転換	1.625	8,456
2019年	永久 2,3		2024年 3月1日	米ドル	500	4 転換	6.250	5,258
2020年	永久 2,3		2027年 3月1日	米ドル	500	4 転換	4.375	4,648
2020年	永久 2,3		2031年 3月1日	米ドル	500	4 転換	4.750	4,213
2022年	期限付 1	2033年 6月1日	2028年 6月1日	ユーロ	500	非転換	3.250	5,519
2022年	期限付 1	2032年 8月23日	2027年 8月23日	英ポンド	500	非転換	4.625	6,258
2023年	期限付 1	2034年 8月16日	2029年 8月16日	ユーロ	750	非転換	5.000	8,766
合計								43,117

1) すべての上位債務に劣後する。

2) 普通株式を除くすべての金融商品に劣後し、次に上位にあるのが期限付劣後債務である。

3) 最初の償還日以降、金利決定日毎に償還することができる。

4) スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーの普通株式等Tier1比率が5.125%を下回った場合、又は連結ベースの普通株式等Tier1比率が8.0%を下回った場合には、当該債務はスウェンスカ・ハンデルスバンケンの普通株式に転換される。

### 劣後負債の変動

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
期首現在劣後負債	42,404	32,257
発行済	8,753	11,445
買戻		
満期が到来したもの	-8,326	-2,994
外貨換算影響額等	286	1,696
期末現在劣後負債	43,117	42,404

**平均残高**

百万スウェーデン・クローネ

劣後負債（スウェーデン・クローネ建て）

劣後負債（外貨建て）

**合計****2023年****2022年**

945

42,200

37,131

**42,200****38,076**



**注記P34 非課税剰余金**

	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ		
器具備品及びリース資産の加速減価償却累計額	867	867
<b>合計</b>	<b>867</b>	<b>867</b>

**注記P35 持分変動の内訳****ヘッジ準備金の変動**

	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ		
期首ヘッジ準備金	3,531	823

**キャッシュフロー・ヘッジ**

## 公正価値変動の有効部分

金利リスク	-1,165	2,690
為替リスク	-299	765
損益計算書への振替額 <sup>1</sup>	-106	-44
法人税	324	-703
<b>期末ヘッジ準備金</b>	<b>2,284</b>	<b>3,531</b>

**公正価値評価差額準備金の変動**

	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ		
期首公正価値評価差額準備金	126	158
未実現評価差額 - 資本性金融商品	51	22
実現評価差額 - 資本性金融商品	0	91
未実現評価差額 - 負債性金融商品	19	-54
予想信用損失引当金の変動 - 負債性金融商品	0	0
損益計算書への振替額 - 資本性金融商品 <sup>2</sup>	0	-91
損益計算書への振替額 - 負債性金融商品 <sup>3</sup>	0	
<b>期末公正価値評価差額準備金</b>	<b>197</b>	<b>126</b>

**為替換算調整準備金の変動**

	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ		
期首為替換算調整準備金	1,847	1,075
為替換算差額の変動	-811	1,396
損益計算書への振替額 <sup>4</sup>	9	-51
利益準備金への振替額 <sup>5</sup>	-284	-573
<b>期末為替換算調整準備金</b>	<b>761</b>	<b>1,847</b>

1) 本項目に係る税金22(9)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。

2) 本項目に係る税金0(-)百万スウェーデン・クローネは、利益剰余金に振り替えられている。

- 3) 本項目に係る税金0(-)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。
- 4) 本項目に係る税金-2(11)百万スウェーデン・クローネは、損益計算書に振り替えられている。
- 5) 本項目に係る税金19(38)百万スウェーデン・クローネは、利益剰余金に振り替えられている。

## 注記P36 金融資産及び負債の分類

2023年	純損益を通じて公正価値で計上						
百万スウェーデン・ク ローネ	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として 特定された デリバティブ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定	償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
<b>資産</b>							
現金及び中央銀行 預け金					362,536	362,536	362,536
中央銀行への担保とし て適格な利付証券	3,534	195,594				199,128	199,128
金融機関への貸出金	22,079				985,913	1,007,992	1,007,967
一般顧客への貸出金					600,997	600,997	600,369
ポートフォリオ・ヘッ ジにおける金利ヘッ ジ対象の価値変動					-9,657	-9,657	
債券及びその他の利付 証券	14,255	23,827		12,709		50,791	50,791
株式	5,669			501		6,170	6,170
顧客が価値変動リスク を負う資産	1,871				78	1,948	1,948
デリバティブ商品	29,183		9,836			39,019	39,019
その他資産	27				20,762	20,789	20,789
<b>合計</b>	<b>76,618</b>	<b>219,421</b>	<b>9,836</b>	<b>13,210</b>	<b>1,960,629</b>	<b>2,279,713</b>	<b>2,288,717</b>
子会社株式並びに関連 会社及びジョイン ト・ベンチャーに対 する投資						68,986	
非金融資産						11,645	
<b>資産合計</b>						<b>2,360,344</b>	
<b>負債</b>							
金融機関からの預り金					176,143	176,143	176,307
一般顧客からの預金及 び借入金					1,109,471	1,109,471	1,109,002
顧客が価値変動リスク を負う負債		1,871			78	1,948	1,948
発行済証券	1,506				804,661	806,167	806,692
デリバティブ商品	39,781		6,489			46,269	46,269
ショートポジション	2,364					2,364	2,364
その他負債	27				11,347	11,374	11,374
劣後負債					43,117	43,117	43,227
<b>合計</b>	<b>43,678</b>	<b>1,871</b>	<b>6,489</b>		<b>2,144,817</b>	<b>2,196,853</b>	<b>2,197,183</b>
非金融負債						4,193	
<b>負債合計</b>						<b>2,201,046</b>	

2022年 純損益を通じて公正価値で計上

百万スウェーデン・ク ローネ	強制	公正価値 オプション	ヘッジ手段 として 特定された デリバティブ	その他包括 利益を通じ て公正価値 で測定	償却原価	帳簿価額 合計	公正価値
<b>資産</b>							
現金及び中央銀行 預け金					376,010	376,010	376,010
中央銀行への担保とし て適格な利付証券	1,465	131,113		200		132,778	132,778
金融機関への貸出金	17,551				1,008,113	1,025,664	1,025,658
一般顧客への貸出金					637,721	637,721	632,048
ポートフォリオ・ヘッ ジにおける金利ヘッ ジ対象の価値変動					-16,611	-16,611	
債券及びその他の利付 証券	5,970	17,487		9,882		33,339	33,339
株式	6,668			444		7,112	7,112
顧客が価値変動リスク を負う資産	2,314				73	2,387	2,387
デリバティブ商品	38,809		13,551			52,360	52,360
その他資産	14				30,152	30,166	30,166
<b>合計</b>	<b>72,791</b>	<b>148,600</b>	<b>13,551</b>	<b>10,526</b>	<b>2,035,458</b>	<b>2,280,926</b>	<b>2,291,858</b>
子会社株式並びに関連 会社及びジョイン ト・ベンチャーに対 する投資						70,483	
非金融資産						11,480	
<b>資産合計</b>						<b>2,362,889</b>	
<b>負債</b>							
金融機関からの預り金					169,617	169,617	169,640
一般顧客からの預金及 び借入金					1,137,272	1,137,272	1,136,746
顧客が価値変動リスク を負う負債		2,314			73	2,387	2,387
発行済証券	1,635				804,378	806,013	805,412
デリバティブ商品	32,427		4,558			36,985	36,985
ショートポジション	1,939					1,939	1,939
その他負債	11				6,768	6,779	6,779
劣後負債					42,404	42,404	42,430
<b>合計</b>	<b>36,012</b>	<b>2,314</b>	<b>4,558</b>		<b>2,160,512</b>	<b>2,203,396</b>	<b>2,202,318</b>
非金融負債						4,740	
<b>負債合計</b>						<b>2,208,135</b>	

## 注記P37 金融商品の公正価値測定

## 公正価値で計上される金融商品、2023年

百万スウェーデン・クローネ

## 資産

中央銀行への担保として適格な利付証券

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	3,498	36		3,534

純損益を通じて公正価値で測定（公正価値オプション）	195,594			195,594
---------------------------	---------	--	--	---------

その他包括利益を通じて公正価値で測定				
--------------------	--	--	--	--

金融機関への貸出金		22,079		22,079
-----------	--	--------	--	--------

債券及びその他の利付証券

純損益を通じて公正価値で測定（強制）	13,950	305		14,255
--------------------	--------	-----	--	--------

純損益を通じて公正価値で測定（公正価値オプション）	23,827			23,827
---------------------------	--------	--	--	--------

その他包括利益を通じて公正価値で測定	11,158	1,551		12,709
--------------------	--------	-------	--	--------

株式

純損益を通じて公正価値で測定（強制）	5,166	503		5,669
--------------------	-------	-----	--	-------

その他包括利益を通じて公正価値で測定	210	135	156	501
--------------------	-----	-----	-----	-----

顧客が価値変動リスクを負う資産	1,794		77	1,871
-----------------	-------	--	----	-------

デリバティブ商品	92	38,925	2	39,019
----------	----	--------	---	--------

合計	255,289	63,534	235	319,058
----	---------	--------	-----	---------

## 負債

顧客が価値変動リスクを負う負債	1,794		77	1,871
-----------------	-------	--	----	-------

発行済証券		1,506		1,506
-------	--	-------	--	-------

デリバティブ商品	47	46,221	2	46,269
----------	----	--------	---	--------

ショートポジション	2,364			2,364
-----------	-------	--	--	-------

合計	4,205	47,727	79	52,010
----	-------	--------	----	--------

## 公正価値で計上される金融商品、2022年

百万スウェーデン・クローネ

## 資産

中央銀行への担保として適格な利付証券

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	1,465			1,465

純損益を通じて公正価値で測定（公正価値オプション）	131,113			131,113
---------------------------	---------	--	--	---------

その他包括利益を通じて公正価値で測定	200			200
--------------------	-----	--	--	-----

金融機関への貸出金		17,551		17,551
-----------	--	--------	--	--------

債券及びその他の利付証券

純損益を通じて公正価値で測定（強制）	5,971			5,971
--------------------	-------	--	--	-------

純損益を通じて公正価値で測定（公正価値オプション）	17,487			17,487
その他包括利益を通じて公正価値で測定	9,124	758		9,882
株式				
純損益を通じて公正価値で測定（強制）	6,284	384		6,668
その他包括利益を通じて公正価値で測定	174	117	152	443
顧客が価値変動リスクを負う資産	1,788		525	2,313
デリバティブ商品	49	52,271	39	52,360
<b>合計</b>	<b>173,655</b>	<b>71,081</b>	<b>716</b>	<b>245,453</b>

**負債**

顧客が価値変動リスクを負う負債	1,788		525	2,313
発行済証券		1,635		1,635
デリバティブ商品	54	36,892	39	36,985
ショートポジション	1,858	81		1,939
<b>合計</b>	<b>3,700</b>	<b>38,608</b>	<b>564</b>	<b>42,872</b>

適用される原則は注記G42に記載されている。

**レベル3の保有金融商品の変動**

2023年 百万スウェーデン・クローネ	株式	デリバティブ 資産	デリバティブ 負債	顧客が価値 変動リスクを 負う資産	顧客が価値 変動リスクを 負う負債
<b>期首現在帳簿価額</b>	<b>152</b>	<b>39</b>	<b>-39</b>	<b>525</b>	<b>-525</b>
取得					
買戻/売却					
満期が到来したもの					
未実現評価差額（損益計算書に計上）	4	0	0	-448	448
未実現評価差額（その他包括利益に計上）					
レベル1又は2からの振替					
レベル1又は2への振替		-37	37		
<b>期末現在帳簿価額</b>	<b>156</b>	<b>2</b>	<b>-2</b>	<b>77</b>	<b>-77</b>

観察不能なインプットの変動により、レベル3の保有金融商品の測定値が大幅に上昇することも低下することもないとみなされることから、感応度分析は表示されていない。

**レベル3の保有金融商品の変動**

2022年 百万スウェーデン・クローネ	株式	デリバティブ 資産	デリバティブ 負債	顧客が価値 変動リスクを 負う資産	顧客が価値 変動リスクを 負う負債
<b>期首現在帳簿価額</b>	<b>608</b>	<b>43</b>	<b>-43</b>	<b>484</b>	<b>-484</b>
取得		34	-39		
買戻/売却	-470	-43	41		

満期が到来したもの

未実現評価差額（損益計算書に計  
上）

14

-32

39

41

-41

未実現評価差額

（その他包括利益に計上）

レベル1又は2からの振替

29

-29

レベル1又は2への振替

8

-8

期末現在帳簿価額

152

39

-39

525

-525

## 償却原価で計上される金融商品の公正価値、

2023年

百万スウェーデン・クローネ

## 資産

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金及び中央銀行預け金	362,536			362,536
金融機関への貸出金	36,854	948,676	358	985,888
一般顧客への貸出金	42,262	828	557,279	600,369
顧客が価値変動リスクを負う資産	78			78
合計	441,730	949,504	557,637	1,948,871

## 負債

金融機関からの預り金	31,857	144,449		176,307
一般顧客からの預金及び借入金	1,101,553	7,449		1,109,002
顧客が価値変動リスクを負う負債	78			78
発行済証券	194,404	610,782		805,186
劣後負債		43,227		43,227
合計	1,327,892	805,907		2,133,800

## 償却原価で計上される金融商品の公正価値、

2022年

百万スウェーデン・クローネ

## 資産

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
現金及び中央銀行預け金	376,010			376,010
金融機関への貸出金	36,180	971,524	403	1,008,107
一般顧客への貸出金	23,635	9,604	598,808	632,048
顧客が価値変動リスクを負う資産	73			73
合計	435,898	981,128	599,211	2,016,238

## 負債

金融機関からの預り金	22,592	147,047		169,640
一般顧客からの預金及び借入金	1,111,096	25,650		1,136,746
顧客が価値変動リスクを負う負債	73			73
発行済証券	270,942	532,835		803,777
劣後負債		42,430		42,430
合計	1,404,703	747,962		2,152,666



## 注記P38 担保として差し入れた資産、受け入れた担保及び譲渡金融資産

## 自己の負債の担保として差し入れた資産

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
現金	20,707	9,112
国債及び債券	5,691	3,767
株式	143	315
その他	737	804
<b>合計</b>	<b>27,278</b>	<b>13,998</b>

うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保資産 18 22

## その他担保資産

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
現金	239	176
国債及び債券	63,619	10,692
株式	4,411	3,726
その他	399	383
<b>合計</b>	<b>68,667</b>	<b>14,977</b>

うち、当行の裁量で取り下げ可能な担保資産 52,056 2,191

その他担保資産は、貸借対照表に計上されていない債務に対して差し入れた担保のことである。

## 受け入れた担保

売戻契約及び証券貸付に関して、当行グループは、第三者に売却又は再担保として差し入れ可能な資産を受け入れている。この種類の受け入れた資産の公正価値は、当年度末現在において、46,389 (35,395)百万スウェーデン・クローネで、第三者に売却又は再担保として差し入れられた資産の価値は、15,721 (16,970)百万スウェーデン・クローネであった。

## 貸借対照表に計上されている譲渡金融資産

	2023年		2022年	
	帳簿価額	関連する負債の帳簿価額	帳簿価額	関連する負債の帳簿価額
百万スウェーデン・クローネ				
株式、証券貸付	4,237	112 1)	4,039	208 1)
国債及び債券、買戻契約	4,464	2	3,350	2
国債及び債券、その他			43	
顧客が価値変動リスクを負う資産	159	159	603	603
<b>合計</b>	<b>8,860</b>	<b>273</b>	<b>8,036</b>	<b>813</b>

1) 現金で受領した担保

## 注記P39 偶発債務

百万スウェーデン・クローネ

2023年

2022年

**保証等**

保証、貸出金	15,688	15,177
保証、その他	52,885	56,544
取消不能信用状	203	312
<b>合計</b>	<b>68,775</b>	<b>72,032</b>
うち、減損テスト対象となるもの	68,775	72,032

**コミットメント**

ローン・コミットメント	284,120	301,812
当座貸越枠の未使用部分	96,781	105,414
その他 <sup>1</sup>	273,912	262,296
<b>合計</b>	<b>654,813</b>	<b>669,523</b>
うち、減損テストの対象となるもの	488,824	500,155

**偶発債務合計**

<b>723,588</b>	<b>741,555</b>
----------------	----------------

引当金として計上される予想信用損失引当金（注記P30参照）	292	283
-------------------------------	-----	-----

1) 「その他」には、子会社に対する流動性の内部保証260,581(249,197)百万スウェーデン・クローネが含まれている。

**保証等**

保証等は、主に様々な種類の保証で構成されている。信用保証は、他の信用機関及び年金機関の債務を保証するために顧客に提供される。その他の保証は、主として入札保証金、前払金に関する保証、保証期間中の保証及び輸出関連の保証等の商業保証である。保証等には、未使用の取消不能輸入信用状及び確認輸出信用状も含まれる。これらの取引は当行のサービスに含まれるもので、当行の顧客を支援するために提供されている。この表には保証額が示されている。

**請求**

ハンデルスバンケンは、多くの民事裁判において一般法による請求を受けている。これらの裁判は、基本的に当行に有利に解決されると見込まれている。係争金額は当行の財政状態にも損益にも大きな影響を及ぼさないと評価されている。

**注記P40 年金債務**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
制度資産の公正価値	33,580	31,667
年金債務	29,377	31,616
<b>正味年金<sup>1</sup></b>	<b>4,203</b>	<b>51</b>

制度資産は、スウェンスカ・ハンデルスバンケンPensionsstiftelseのほか、国外の年金債務に関する制度資産は類似する法人が保有している。年金債務は、スウェーデン金融監督庁の規定に従って算定されている。スウェーデンの年金債務は年金債務保護法に従って算定され、国外の年金債務は現地の規則に従って算定される。

スウェンスカ・ハンデルスバンケン Pensionsstiftelseの制度資産の公正価値のうち、7,355(7,847)百万スウェーデン・クローネは、1989年から2004年にかけて特例付加年金（以下、「SKP」という。）に対して計上された引当金である。当該債務には、制度資産の公正価値と同額のSKPに関する債務が含まれている。この債務のうち、5,650(5,872)百万スウェーデン・クローネは条件付債務である。

- 1) 正味年金がマイナスの場合にPensionskassan SHB Tjänstepensionsföreningの剰余金を親会社の年金債務の補填に使用可能であること、及び債務の一部が条件付債務であることから、赤字分は貸借対照表に負債として計上されていない。当行の年金基金（Pensionskassan SHB,Tjänstepensionsförening）における年金債務は、7,000(6,136)百万スウェーデン・クローネであり、年金資産の市場価値は16,323(15,221)百万スウェーデン・クローネである。したがってPensionskassan SHB, Tjänstepensionsföreningにおける剰余金は、9,324(9,085)百万スウェーデン・クローネである。

**年金費用**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
年金支払額	-1,600	-1,328
年金保険料	-667	-561
社会保障費	-276	-387
年金信託からの報酬	720	
年金信託への支払額		-94
<b>年金費用合計<sup>1</sup></b>	<b>-1,823</b>	<b>-2,370</b>

- 1) 年金費用は2022年度に増加したが、これは主に年金基金の積立比率を高めるため、当行が年金基金への年金費用の請求を控えると決定したことによる。

確定給付年金制度の翌年度の支払予定額は、1,133百万スウェーデン・クローネである。年金保険料費用には、BTPK制度（確定拠出年金制度）への保険料147(90)百万スウェーデン・クローネが含まれている。

**制度資産**

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
期首残高	31,667	35,174
運用収益	2,633	-3,601
年金基金への拠出		94
年金基金からの補償	-720	
<b>期末残高</b>	<b>33,580</b>	<b>31,667</b>

制度資産の収益率 8% -10%

## 年金債務

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
期首残高	31,616	35,142
管理手数料	792	1,013
利息	367	111
指数化 <sup>1</sup>	2,361	639
早期退職	230	269
年金支払額	-1,633	-1,438
仮定の変更 <sup>2</sup>	-4,671	-4,008
条件付債務の価値変動	622	-27
制度変更による影響		
元本価値のその他の変動	-307	-85
<b>期末残高</b>	<b>29,377</b>	<b>31,616</b>

1) 2023年度中に指数が2.51%から10.84%に引き上げられたことにより、払込済保険契約及び支給中の年金ともに年金のヘッジが増加している。

2) この増加は、主に割引率の上昇によるものである。

## 制度資産の配分

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
株式及びミューチュアル・ファンド・ユニット <sup>1</sup>	31,919	29,016
利付証券	1,499	1,515
その他制度資産 <sup>2</sup>	162	1,136
<b>合計</b>	<b>33,580</b>	<b>31,667</b>

1) ミューチュアル・ファンド・ユニットは主に債券ファンドに投資されており、金額は20,270(19,388)百万スウェーデン・クローネに上る。

2) 2023年12月31日現在、その他制度資産には現金及び現金同等物と年金基金からの未払報酬に関する負債が含まれている。2022年12月31日現在、この金額には現金及び現金同等物が含まれている。

2020年3月1日以降、すべての新入社員及び25歳未満の従業員は確定拠出年金制度の対象である。

2020年3月1日より前に雇用された従業員はこの影響を受けず、引き続きスウェーデン銀行雇用主協会（以下、「BA0」という。）とスウェーデン金融セクター組合/スウェーデン専門職連盟（以下、「Saco」という。）との年金契約に含まれる確定給付年金制度の対象となっている。65歳から支給される退職年金の額は、所得基準額7.5までは年収の10%、所得基準額が7.5から20の給与部分については65%、所得基準額が20から30の給与部分については32.5%である。所得基準額が30を上回る給与部分については、退職年金は支給されない。

スウェーデンの年金債務の価値は、年金債務保護法の規定に準拠した年金数理計算に基づいて、貸借対照表日現在で計算される。スウェーデンにおいて最も重要な算定上の仮定は死亡率及び割引率である。割引率は、税金及び一般管理費用控除後で1.8(0.6)%である。

国外の年金債務は現地の会計処理上の規定に則って算定されている。

## 注記P41 通貨別資産及び負債

2023年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・ クローネ	ユーロ	ノル ウェー・ クローネ	デンマー ク・ クローネ	英ポンド	米ドル	その他の 通貨	合計
<b>資産</b>								
現金及び中央銀行預け金	67,895	128,820	4,776	0	0	160,935	109	362,536
金融機関への貸出金	740,864	98,670	77,867	1	87,385	2,859	346	1,007,992
一般顧客への貸出金	169,249	222,221	192,392	1,464	5,383	8,753	1,535	600,997
うち、法人	142,718	139,758	166,117	1,443	5,331	8,594	503	464,463
うち、個人	19,783	82,463	26,275	21	52	159	1,032	129,785
中央銀行への担保として適格な利 付証券	181,752	7,561	36	1		9,778		199,128
債券及びその他の利付証券	37,572	486	12,223			509		50,791
その他項目（通貨別内訳なし）	138,900							138,900
<b>資産合計</b>	<b>1,336,232</b>	<b>457,758</b>	<b>287,294</b>	<b>1,465</b>	<b>92,768</b>	<b>182,835</b>	<b>1,991</b>	<b>2,360,344</b>
<b>負債</b>								
金融機関からの預り金	26,542	54,242	25,438	474	58,238	11,103	106	176,143
一般顧客からの預金及び借入金	829,905	140,722	110,182	1,121	5,153	20,062	2,327	1,109,471
うち、法人	351,212	112,056	75,816	1,029	4,535	17,668	1,649	563,964
うち、個人	478,693	28,666	34,366	92	618	2,394	679	545,508
発行済証券	3,767	310,003	0		10,604	459,581	22,211	806,167
劣後負債	0	22,740			6,258	14,120		43,117
その他項目（通貨別内訳なし、資 本含む）	225,445							225,445
<b>負債及び資本合計</b>	<b>1,085,659</b>	<b>527,707</b>	<b>135,619</b>	<b>1,595</b>	<b>80,253</b>	<b>504,865</b>	<b>24,645</b>	<b>2,360,344</b>
通貨別その他資産及び負債、純額		69,794	-151,632	136	-12,536	322,019	22,720	
正味外貨ポジション		-155	43	7	-21	-11	65	-72

注記G2に、為替リスクに関する当行の見解が記載されている。

2022年 百万スウェーデン・クローネ	スウェーデン・ クローネ	ユーロ	ノル ウェー・ クローネ	デンマー ク・ クローネ	英ポンド	米ドル	その他の 通貨	合計
<b>資産</b>								
現金及び中央銀行預け金	100,413	136,928	8,962	0	0	129,674	34	376,011
金融機関への貸出金	763,519	102,367	64,532	1	90,662	4,220	362	1,025,663
一般顧客への貸出金	190,462	224,337	195,710	9,901	3,956	11,150	2,205	637,721
うち、法人	165,606	137,684	170,686	9,884	3,916	10,963	833	499,572
うち、個人	24,856	86,653	25,024	17	40	187	1,372	138,149
中央銀行への担保として適格な利 付証券	117,546	5,483	36	1		9,712		132,778
債券及びその他の利付証券	22,996	1,472	8,352			519		33,339
その他項目（通貨別内訳なし）	157,377							157,377
<b>資産合計</b>	<b>1,352,313</b>	<b>470,587</b>	<b>277,592</b>	<b>9,902</b>	<b>94,619</b>	<b>155,275</b>	<b>2,600</b>	<b>2,362,889</b>
<b>負債</b>								
金融機関からの預り金	30,011	55,820	4,800	2,401	60,938	15,553	93	169,616

一般顧客からの預金及び借入金	863,287	135,710	91,507	1,150	3,274	39,485	2,859	1,137,272
うち、法人	381,556	104,049	58,151	1,103	2,403	36,537	2,061	585,861
うち、個人	481,731	31,660	33,355	47	871	2,948	798	551,410
発行済証券	3,601	242,352	216		3,650	536,118	20,076	806,013
劣後負債		22,266			5,930	14,208		42,404
その他項目（通貨別内訳なし、資本含む）	207,584							207,584
<b>負債及び資本合計</b>	<b>1,104,484</b>	<b>456,147</b>	<b>96,523</b>	<b>3,552</b>	<b>73,793</b>	<b>605,364</b>	<b>23,027</b>	<b>2,362,889</b>
通貨別その他資産及び負債、純額		-14,448	-180,963	-6,374	-20,813	449,992	20,493	
正味外貨ポジション		-8	107	-24	13	-96	66	58

## 注記P42 関連当事者に関する開示

関連当事者に対する債権及び債務	子会社		関連会社及び ジョイント・ベンチャー		その他関連当事者	
	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ						
金融機関への貸出金	959,034	986,353				
一般顧客への貸出金	1,142	1,136	334	1,289		
デリバティブ	8,909	16,098				
その他資産	13,361	16,352	30	28	13	16
<b>合計</b>	<b>982,446</b>	<b>1,019,939</b>	<b>364</b>	<b>1,317</b>	<b>13</b>	<b>16</b>
金融機関からの預り金	85,791	88,299				
一般顧客からの預金及び借入金	20,145	18,637	311	127	1,159	1,528
デリバティブ	12,060	7,941				
その他負債	83	116				
<b>合計</b>	<b>118,079</b>	<b>114,993</b>	<b>311</b>	<b>127</b>	<b>1,159</b>	<b>1,528</b>
偶発債務	272,990	262,397			7,000	6,136
デリバティブ、想定元本	438,479	293,957				

関連当事者 - 収益及び費用	子会社		関連会社及び ジョイント・ベンチャー		その他関連当事者	
	2023年	2022年	2023年	2022年	2023年	2022年
百万スウェーデン・クローネ						
利息収益	28,525	8,596	22	8		
利息費用	-5,129	-1,488	-3		-149	-6
手数料及びコミッション収益			1			
手数料及びコミッション費用			-223	-220		
公正価値で評価される金融項目からの 純損益				0		
その他収益	3,566	3,059			18	19
その他費用	-452	-421	-177	-102		

合計	26,510	9,746	-380	-314	-131	13
----	--------	-------	------	------	------	----

注記P17には、子会社及び関連会社に関する情報が記載されている。関連会社及びジョイント・ベンチャーの業務は、金融市場関連の様々なサービスより構成される。スウェンスカ・ハンデルスバンケン Pensionsstiftelse（年金基金）、スウェンスカ・ハンデルスバンケン Personalstiftelse（従業員基金）及び Pensionskassan SHB, Tjänstepensionsförening（年金ファンド）の各社は、その他関連当事者グループを構成している。これらの会社は通常の銀行業務及び会計業務に関して、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーを利用している。当行グループ及び関連会社に対する株主の拠出に関する情報は、注記P17に開示されている。

子会社従業員に対する年金ファンドの債務は親会社によって保証されているため、年金ファンドが債務を支払えない場合には、親会社がその債務を引き受けて支払義務を負う。この年金ファンドの債務は、7,000 (6,136) 百万スウェーデン・クローネであった。スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビーは、スウェンスカ・ハンデルスバンケン Pensionsstiftelse に対し、年金費用の720(-) 百万スウェーデン・クローネを請求し、スウェンスカ・ハンデルスバンケン Personalstiftelse からは、従業員のための給付費用として44(47) 百万スウェーデン・クローネが請求された。

執行役員への貸出金及び条件並びに執行役員に対するその他の報酬に関する情報については、注記G8に記載されている。

#### 注記P43 利益処分案

取締役会は、一株当たり13.00スウェーデン・クローネ、うち普通株式に対しては6.50スウェーデン・クローネ(2022年度は一株当たり8.00スウェーデン・クローネ、うち普通株式に対しては5.50スウェーデン・クローネ)の配当金を提案している。取締役会の利益処分案は、202ページ（訳注：原文のページ番号である。）に記載されている。

#### 注記P44 株式情報

2023年12月31日	資本の割合		議決権の割合		1株当たりの
株式のクラス	株式数	%	%	株式資本	価値
クラスA	1,944,777,165	98.22	99.82	3,014,404,606	1.55
クラスB	35,251,329	1.78	0.18	54,639,560	1.55
	1,980,028,494	100.00	100.00	3,069,044,166	

#### 注記P45 重要な後発事象

貸借対照表日後に重要な後発事象はなかった。

**注記P46 売却目的で保有する資産及び負債**

ハンデルスバンケン・エイ・ビー、フィンランド支店の当行事業に係る資産及び負債は、IFRS第5号の売却目的で保有する資産及び負債に該当し、2つの処分グループに帰属する。親会社のフィンランドにおける事業のうち、中小企業を含む個人顧客を対象とした資産運用・投資サービス事業を売却する契約が2023年度第2四半期に締結された。売却契約には子会社の一部である生命保険事業も含まれる。本取引は2024年度下半期に完了予定である。

また、フィンランドにおける事業は非継続事業に該当する。デンマークにおけるハンデルスバンケンの事業は2022年度第4四半期に売却された。

**売却目的で保有する資産及び負債、2023年**

百万スウェーデン・クロネ

**フィンランド****資産**

現金及び中央銀行預け金	10
中央銀行へのその他貸出金	25,863
中央銀行への担保として適格な利付証券	
その他金融機関への貸出金	3
一般顧客への貸出金	82,633
うち、個人	22,325
うち、法人	60,307
債券及びその他の利付証券	
株式	
子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資	
顧客が価値変動リスクを負う資産	
無形資産	66
不動産及び器具備品	18
その他	135
<b>合計</b>	<b>108,727</b>

**負債**

金融機関からの預り金	980
一般顧客からの預金及び借入金	51,556
うち、個人	17,434
うち、法人	34,122
顧客が価値変動リスクを負う負債	
引当金	187
その他	968
<b>合計</b>	<b>53,692</b>

**売却目的で保有する資産及び負債、2022年**

百万スウェーデン・クロネ

**フィンランド****資産**

現金及び中央銀行預け金	14
中央銀行へのその他貸出金	28,015
中央銀行への担保として適格な利付証券	



その他金融機関への貸出金	5
一般顧客への貸出金	91,433
うち、個人	24,845
うち、法人	66,587
債券及びその他の利付証券	
株式	
子会社株式並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する投資	
顧客が価値変動リスクを負う資産	
無形資産	92
不動産及び器具備品	18
その他	365
<b>合計</b>	<b>119,942</b>

**負債**

金融機関からの預り金	679
一般顧客からの預金及び借入金	57,361
うち、個人	20,297
うち、法人	37,064
顧客が価値変動リスクを負う負債	
引当金	202
その他	1,054
<b>合計</b>	<b>59,296</b>

為替換算調整準備金には、フィンランドで売却目的で保有する資産及び負債の為替換算に係る累計額832(860)百万スウェーデン・クローネが含まれる。「持分変動計算書（親会社）」を参照のこと。

売却費用控除後の公正価値と帳簿価額のうち低い金額で測定した結果、各処分グループに減損は生じていなかった。

**非継続事業****非継続事業からの収益、費用及び利益****デンマーク及びフィンランド**

百万スウェーデン・クローネ

	2023年	2022年
純利息収益	3,504	2,203
純手数料及びコミッション収益	324	989
金融取引による純損益	29	-9
保険事業による純損益		
その他収益	9	64
<b>収益合計</b>	<b>3,866</b>	<b>3,248</b>
人件費	-830	-1,645
その他費用	-510	-1,612
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-35	-66
<b>費用合計</b>	<b>-1,375</b>	<b>-3,323</b>
正味信用損失	44	47
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	-1	
リスク税及び破綻処理手数料	-70	-104
<b>営業利益</b>	<b>2,464</b>	<b>-132</b>
処分		20
<b>非継続事業からの税引前当期利益</b>	<b>2,464</b>	<b>-112</b>
法人税等	-81	-289
<b>非継続事業からの税引後当期利益</b>	<b>2,384</b>	<b>-401</b>
非継続事業に起因するその他費用 <sup>1</sup>	-73	-27
法人税等	15	6
<b>キャピタルゲイン/ロス前の非継続事業からの税引後当期利益</b>	<b>2,326</b>	<b>-422</b>
<b>非継続事業を構成する処分グループの売却に係るキャピタルゲイン（税引前）</b>		<b>1,513</b>
法人税等		-319
<b>非継続事業を構成する処分グループの売却に係るキャピタルゲイン（税引後）</b>		<b>1,194</b>
<b>非継続事業からの税引後当期利益合計</b>	<b>2,326</b>	<b>772</b>

上記の損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引<sup>2</sup>

収益	0	-313
費用	-115	-197

- 1) スウェーデンにおいて、非継続事業の売却にともない、事業の廃止に関連する要件に基づく一定の費用が生じている。これには、コンサルタント料や弁護士費用などが含まれる。
- 2) 継続事業及び非継続事業双方からの当期純利益には、外部収益及び費用のみが含まれている。非継続事業は継続事業との重要な内部取引を有していることから、会計上除外されている。例えば、資金調達及び流動性管理業務はすべてスウェーデンのグループ・トレジャリー部で一括管理されている。このため、デンマーク及びフィンランドにおける一般顧客への貸出金は、グループ・トレジャリー

部からの内部借入を通じて賄われる。内部借入から生じる利息費用は会計上除外されており、上記の純利息収益の数値には含まれていない。2023年1月1日より、フィンランドの非継続事業とグループ・トレジャリー部間の純利息収益に関連する内部取引を消去する新しい方法を適用したことから、内部利息収益及び内部利息費用は継続事業及び非継続事業に含められて表示されている。比較数値は修正再表示されていない。

## デンマーク

百万スウェーデン・クローネ	2022年	
純利息収益		1,137
純手数料及びコミッション収益		674
金融取引による純損益		-45
保険事業による純損益		
その他収益		45
<b>収益合計</b>		<b>1,811</b>
人件費		-1,017
その他費用		-795
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用		-30
<b>費用合計</b>		<b>-1,842</b>
正味信用損失		52
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益		
リスク税及び破綻処理手数料		-33
<b>営業利益</b>		<b>-12</b>
処分		20
<b>非継続事業からの税引前当期利益</b>		<b>8</b>
法人税等		41
<b>非継続事業からの税引後当期利益</b>		<b>49</b>
<b>非継続事業を構成する処分グループの売却に係るキャピタルゲイン（税引前）</b>		<b>1,513</b>
法人税等		-319
<b>非継続事業を構成する処分グループの売却に係るキャピタルゲイン（税引後）</b>		<b>1,194</b>
<b>非継続事業からの税引後当期利益合計</b>		<b>1,243</b>

上記損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引<sup>1</sup>

収益	-107
費用	-72

## フィンランド

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
純利息収益	3,504	1,066
純手数料及びコミッション収益	324	315
金融取引による純損益	29	36
保険事業による純損益		

その他収益	9	19
<b>収益合計</b>	<b>3,866</b>	<b>1,437</b>
人件費	-830	-628
その他費用	-510	-817
不動産及び器具備品並びに無形資産の減価償却費、償却費及び減損費用	-35	-36
<b>費用合計</b>	<b>-1,375</b>	<b>-1,481</b>
正味信用損失	44	-5
不動産及び器具備品並びに無形資産の処分損益	-1	
リスク税及び破綻処理手数料	-70	-71
<b>営業利益</b>	<b>2,464</b>	<b>-120</b>
<b>処分</b>		
<b>非継続事業からの税引前当期利益</b>	<b>2,464</b>	<b>-120</b>
法人税等	-81	-330
<b>非継続事業からの税引後当期利益</b>	<b>2,384</b>	<b>-450</b>

上記損益計算書上消去されている、継続事業との間の重要な内部取引<sup>1)</sup>

収益	0	-206
費用	-115	-125

- 1) 本年度の継続事業及び非継続事業双方からの利益には、外部収益及び費用のみが含まれている。非継続事業は継続事業との重要な内部取引を有していることから、会計上除外されている。例えば、資金調達及び流動性管理業務はすべてスウェーデンのグループ・トレジャリー部で集中管理されている。このため、デンマーク及びフィンランドにおける一般顧客への貸出金は、グループ・トレジャリー部からの内部借入を通じて賄われる。内部借入から生じる利息費用は会計上除外されており、上記の純利息収益の数値には含まれていない。2023年1月1日より、フィンランドの非継続事業とグループ・トレジャリー部間の純利息収益に関連する内部取引を消去する新しい方法を適用したことから、内部利息収益及び内部利息費用は継続事業及び非継続事業に含められて表示されている。比較数値は修正再表示されていない。

## 非継続事業からのキャッシュ・フロー

### フィンランド

百万スウェーデン・クローネ	2023年	2022年
営業活動からのキャッシュ・フロー	3	-124,478
投資活動からのキャッシュ・フロー	-8	-11
財務活動からのキャッシュ・フロー		
<b>非継続事業からの当期キャッシュ・フロー</b>	<b>-4</b>	<b>-124,490</b>

## 注記P47 自己資本比率

## EU KM1 - 主要指標

## 主要指標

		2023年	2022年
<b>利用可能な自己資本（金額）</b>			
1	普通株式等Tier 1 資本	125,618	130,069
2	Tier 1 資本	140,644	145,652
3	資本合計	168,123	164,704
<b>リスク加重エクスポージャー額</b>			
4	リスク加重エクスポージャー合計額	421,681	442,406
<b>自己資本比率(リスク加重エクスポージャー額に対する割合)</b>			
5	普通株式等Tier 1 資本比率(%)	29.8	29.4
6	Tier 1 資本比率(%)	33.4	32.9
7	総自己資本比率(%)	39.9	37.2
<b>過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本 (リスク加重エクスポージャー額に対する割合)</b>			
EU7a	過大レバレッジリスク以外のリスクに対処するための追加所要自己資本(%)	1.2	1.7
EU7b	うち、CET 1 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)	0.7	1.0
EU7c	うち、Tier 1 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)	0.9	1.3
EU7d	SREPに基づく所要自己資本合計(%)	9.2	9.7
<b>結合バッファー要件(リスク加重エクスポージャー額に対する割合)</b>			
8	資本保全バッファー(%)	2.5	2.5
EU8a	加盟国単位で特定されたマクロ・ブルーデンスのリスク又はシステムミック・リスクに 対する保全バッファー(%)		
9	金融機関固有のカウンターシクリカル資本バッファー(%)	1.9	1.0
EU9a	システムミック・リスク・バッファー(%)		
10	グローバルにシステム上重要な金融機関バッファー(%)		
EU10a	その他の金融システム上重要な金融機関バッファー(%)		
11	結合バッファー要件(%)	4.4	3.5
EU11a	所要自己資本合計(%)	13.6	13.2
12	SREPに基づく所要自己資本合計充足後の利用可能なCET 1 (%)	24.6	23.9
<b>レバレッジ比率</b>			
13	総エクスポージャーの額	1,609,855	1,575,111
14	レバレッジ比率(%)	8.7	9.2
<b>過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本（エクスポージャー合計額 に対する割合）</b>			
EU14a	過大レバレッジリスクに対処するための追加所要自己資本(%)		
EU14b	うち、CET 1 資本の割合(パーセンテージ・ポイント)		
EU14c	SREPに基づくレバレッジ比率要件(%)	3.0	3.0
EU14d	レバレッジ比率バッファー要件(%)		
EU14e	レバレッジ比率要件合計(%)		
<b>流動性カバレッジ比率</b>			
15	高品質な流動資産(HQLA)合計(加重平均)	790,916	785,155
EU16a	資金流出額(加重平均)	595,524	628,587
EU16b	資金流入額(加重平均)	174,788	156,413
16	純資金流出額(調整額)	420,736	472,174

17	流動性カバレッジ比率(%)	192	170
	<b>安定調達比率</b>		
18	利用可能な安定調達資金	1,320,193	1,306,873
19	所要安定調達額	1,211,510	1,236,689
20	NSFR(%)	109	106

## EU 0V1 - リスク加重エクスポージャー合計額の概要

下表は、2023年度末及び前年度末における信用リスク、カウンターパーティ・リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクのリスク加重エクスポージャー額（RWA）を表したものである。信用リスクは、標準的手法、基礎的IRB手法、先進的IRB手法により算出される。市場リスク及びオペレーショナル・リスクは標準的手法により算出される。

EU 0V1 - リスク加重エクスポージャー合計額の概要		リスク加重エクスポージャー合計額 (TREA) 2023年	リスク加重エクスポージャー合計額 (TREA) 2022年	最低所要自己資本 合計 2023年
百万スウェーデン・クローネ				
1	信用リスク（カウンターパーティ信用リスク(CCR)を除く）	359,282	358,567	28,743
2	うち、標準的手法	148,672	147,329	11,894
3	うち、基礎的IRB手法(F-IRB)	47,163	46,651	3,773
4	うち、スロットティング方式			
EU4a	うち、簡便なリスク加重手法に基づく株式	2,182	1,968	175
5	うち、先進的IRB手法(A-IRB)	139,864	132,266	11,189
5a	うち、リスク加重フロア	21,401	30,353	1,712
6	カウンターパーティ信用リスク(CCR)	11,827	11,819	946
7	うち、標準的手法	8,507	8,241	681
8	うち、内部モデル方式(IMM)			
EU8a	うち、CCPに対するエクスポージャー	268	174	21
EU8b	うち、信用評価調整 - CVA	2,463	2,802	197
9	うち、他のCCR	589	602	47
10	該当なし			
11	該当なし			
12	該当なし			
13	該当なし			
14	該当なし			
15	決済リスク			
16	非トレーディング勘定の証券化エクスポージャー（上限適用後）			
17	うち、SEC-IRBA手法			
18	うち、SEC-ERBA手法（IAAを含む）			
19	うち、SEC-SA手法			
EU19a	うち、1,250%/控除			
20	ポジション、外国為替及びコモディティ・リスク（市場リスク）	11,003	34,928	880
21	うち、標準的手法	11,003	34,928	880
22	うち、IMA			
23	オペレーショナル・リスク	39,569	37,092	3,166
EU23a	うち、基礎的指標手法			
EU23b	うち、標準的手法	39,569	37,092	3,166
EU23c	うち、先進的計測手法			
24	控除の基準値未満の額（リスクウェイトは250%）			
25	該当なし			
26	該当なし			

27	該当なし			
28	該当なし			
29	合計	421,681	442,406	33,734



## 標準的手法に基づいた市場リスク

下表は、2023年度末現在の標準的手法に基づいた市場リスクに係る所要自己資本を示したものである。

## 標準的手法に基づいた市場リスク

百万スウェーデン・クロネ

## アウトライト商品

金利リスク（一般的なリスク及び特定のリスク）

## 所要自己資本

2023年

2022年

株価リスク（一般的なリスク及び特定のリスク）

為替リスク

コモディティ・リスク

243

176

3

1

618

2,598

0

0

## オプション

簡便法

デルタプラス法

シナリオ・アプローチ

証券化（特定のリスク）

16

19

市場リスクに係る所要自己資本合計

880

2,794

**取締役会及び最高経営責任者の署名**

我々は、本連結財務諸表が、EUにより採択された国際財務報告基準「IFRS」に準拠して作成されていること、親会社の年次財務諸表が信用機関における年次報告法、スウェーデン金融監督庁が制定した規定及び一般指針（FFFS 2008年第25号）、並びに RFR第2号「事業体に関する会計処理」に準拠して作成されていること、年次財務諸表及び連結財務諸表が当行グループ及び当行の財政状態及び業績を公正に表示していること、法定経営報告書が当行及び当行グループの事業、財政状態及び業績を公正に表示していること、並びに当行及び当行グループの企業がさらされている重要なリスク及び不確実性について記載していることをここに宣言する。

ストックホルム、2024年2月19日

パール・ボーマン

取締役会長

フレデリック・ランドバーク

副会長

ジョン・フレデリック・バクサース

取締役

エレヌ・バルネコウ

取締役

スティナ・バークフォース

取締役

ハンス・ベオーク

取締役

シャスティン・ヘシウス

取締役

アンナ・イェンベリ

取締役

レナ・レンストロム

取締役

ウルフ・リーズ

取締役

アルヤ・ターベニク

取締役

マイケル・グリーン

最高経営責任者

[次へ](#)

## RESULTATRÄKNING | KONCERNEN

## Resultaträkning Koncernen

Koncernen mkr		2023	2022
Ränteintäkter	Not K3	159 805	67 407
varav ränteintäkter enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat / säkringsredovisning		139 602	59 702
Räntekostnader	Not K3	-112 227	-30 793
Räntenetto		47 578	36 614
Provisionsintäkter	Not K4	12 559	12 277
Provisionskostnader	Not K4	-1 421	-1 296
Provisionsnetto		11 139	10 981
Nettoresultat av finansiella transaktioner	Not K5	2 661	1 540
Försäkringsresultat		157	280
Avkastning på tillgångar som innehas för försäkringstagarnas räkning		336	-291
Föreläggingsnetto	Not K6	403	-11
Övriga utdelningsintäkter		3	17
Andelar i intresseföretags och jointventures resultat	Not K20	51	-13
Övriga intäkter	Not K7	325	1 246
Summa intäkter		62 249	60 375
Personalkostnader	Not K8	-13 642	-13 040
Övriga kostnader	Not K9	-7 796	-6 526
Av- och nadskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	Not K25, K26	-1 743	-1 646
Summa kostnader		-23 182	-21 212
Resultat före kreditförluster, riskskatt och resolutionsavgift		39 067	29 163
Kreditförluster, netto	Not K10	-141	-47
Vinstförlustar vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	Not K11	20	24
Riskskatt och resolutionsavgift	Not K12	-2 624	-2 311
Röreliseresultat		36 322	26 829
Skatter	Not K35	-8 417	-5 431
Årets resultat från kvarvarande verksamhet		27 905	21 398
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet, efter skatt	Not K14	1 209	280
Årets resultat		29 114	21 678
varav tillhör			
Aktieägare i Svenska Handelsbanken AB		29 107	21 676
varav hänförligt till kvarvarande verksamhet		27 898	21 395
varav hänförligt till avvecklad verksamhet		1 209	281
Innehav utan bestämmande inflytande		8	1
Resultat per aktie, total verksamhet, kr	Not K13	14,70	10,95
efter utspädning	Not K13	14,70	10,95
Resultat per aktie, kvarvarande verksamhet, kr	Not K13	14,09	10,81
efter utspädning	Not K13	14,09	10,81
Resultat per aktie, avvecklad verksamhet, kr	Not K13	0,61	0,14
efter utspädning	Not K13	0,61	0,14

TOTALRESULTAT | KONCERNEN

# Totalresultat Koncernen

Koncernen mkr	2023	2022
Årets resultat	29 114	21 678
Övrigt totalresultat		
Poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen		
Förmånsbestämda pensionplaner	-2 226	3 049
Eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	63	41
Skatt på poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	439	-642
varav förmånsbestämda pensioner	450	-622
varav eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-11	-19
Summa poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	-1 724	2 448
Poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen		
Kassafödersäkringar	614	-2 640
Skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	25	-60
Försäkringsavtal	-306	793
Årets omräkningsdifferens	-1 078	2 312
varav säkring av nettoinvestering i utländsk verksamhet	37	-297
Skatt på poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	113	-15
varav kassafödersäkringar	-127	544
varav skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-5	6
varav säkring av nettoinvestering i utländsk verksamhet	-6	67
varav omräkningsdifferens	257	-626
Summa poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	-722	300
Summa övrigt totalresultat	-2 447	2 838
Årets totalresultat	26 667	24 516
varav tillhör		
Aktieägare i Svenska Handelsbanken AB	26 662	24 516
Innehav utan bestämmande inflytande	5	1
Årets omklassificeringar till resultaträkningen framgår av Förändring i eget kapital.		

BALANSRÄKNING | KONCERNEN

# Balansräkning Koncernen

Koncernen mkr		2023	2022
<b>TILLGÅNGAR</b>			
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		476 171	475 868
Övrig utlåning till centralbanker	Not K7.5	6 282	4 604
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.	Not K7.8	100 128	132 778
Utlåning till övriga kreditinstitut	Not K7.6	19 294	9 411
Utlåning till allmänheten	Not K7.7	2 291 808	2 315 818
Värdeförändring på räntebärande post i portföljsäkring		-9 657	-16 616
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Not K7.9	50 087	32 697
Aktier och andelar	Not K7.9	12 216	12 813
Andelar i intresseföretag och joint ventures	Not K20	657	561
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	Not K21	244 893	212 966
Derivatinstrument	Not K22	30 110	36 261
Immateriella tillgångar	Not K25	8 567	8 402
Fastigheter och inventarier	Not K26	4 777	4 914
Aktuella skattefordringar		203	160
Uppskjutna skattefordringar	Not K35	358	1 590
Pensionsstillgångar	Not K8	11 699	12 875
Tillgångar som innehas för försäljning	Not K7.4	178 590	191 916
Övriga tillgångar	Not K27	10 276	14 721
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	Not K28	2 331	1 979
<b>Summa tillgångar</b>	<b>Not K41</b>	<b>3 637 702</b>	<b>3 463 718</b>
<b>SKULDER OCH EGET KAPITAL</b>			
Skulder till kreditinstitut	Not K29	90 143	81 693
In- och upplåning från allmänheten	Not K30	1 298 480	1 318 925
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	Not K31	245 100	212 966
Emitterade värdepapper	Not K32	1 523 481	1 474 801
Derivatinstrument	Not K22	34 238	29 040
Korta positioner	Not K33	2 364	1 939
Försäkringskulder	Not K34	8 407	8 546
Aktuella skatteskulder		1 211	217
Uppskjutna skatteskulder	Not K35	3 969	5 614
Avsättningar	Not K36	601	591
Skulder som innehas för försäljning	Not K7.4	63 721	68 938
Övriga skulder	Not K37	14 882	10 454
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	Not K38	2 990	3 565
Etablerade skulder	Not K39	43 117	42 404
<b>Summa skulder</b>	<b>Not K41</b>	<b>3 332 706</b>	<b>3 259 604</b>
Innehav utan bestämmande inflytande		8	3
Aktiekapital		3 069	3 069
Överkursfond		8 758	8 758
Reserver	Not K40	16 239	18 684
Balanserad vinst		147 905	141 834
Årets resultat, tillhörande aktieägare i Svenska Handelsbanken AB		29 107	21 676
<b>Summa eget kapital</b>		<b>206 085</b>	<b>194 024</b>
<b>Summa skulder och eget kapital</b>		<b>3 637 702</b>	<b>3 463 718</b>

FÖRÄNDRING I EGET KAPITAL | KONCERNEN

## Förändring i eget kapital Koncernen

Koncernen 2023	Aktie- kapital	Överkurs- fond	Föräls- bestämda pensions- planer	Säkrings- reserv	Verkligt värde- reserv	Försäkrings- avtal	Omräknings- reserv	Balanserade vinstmedel inkl årets resultat	Innehav utan bestämmande inflytande	Totalt
Ingående eget kapital 2023	3 060	8 768	13 730	-307	128	763	4 332	163 510	3	194 024
Årets resultat								29 107	8	29 114
Övrigt totalresultat			-1 776	488	71	-306	-831		-3	-2 447
varav omklassificering inom eget kapital			49				-284			-235
Årets totalresultat			-1 776	488	71	-306	-831	29 107	5	26 667
Omräkningsresultat till balanserat resultat								235		235
Utdelning								-15 840		-15 840
Aktierelaterad ersättning till anställda i Handelsbanken plc <sup>1</sup>								79		79
Återköp egna aktier <sup>2</sup>								-79		-79
Förändring i innehav utan bestämmande inflytande										
Utgående eget kapital 2023	3 060	8 768	11 953	181	197	306	3 502	177 011	8	205 085

Koncernen 2022	Aktie- kapital	Överkurs- fond	Föräls- bestämda pensions- planer	Säkrings- reserv	Verkligt värde- reserv	Försäkrings- avtal	Omräknings- reserv	Balanserade vinstmedel inkl årets resultat	Innehav utan bestämmande inflytande	Totalt
Utgående eget kapital 2021	3 060	8 768	11 313	1 780	188		2 685	164 094	25	181 731
Effekt av övergången till IFRS 17								-3 010		-3 010
Skatteeffekt vid övergång till IFRS 17								3		3
Ingående eget kapital 2022	3 060	8 768	11 313	1 780	188		2 685	161 027	25	178 724
Årets resultat								21 676	1	21 678
Övrigt totalresultat			2 427	-2 096	-32	763	1 747		0	2 638
varav omklassificering inom eget kapital					-91		-675			-706
Årets totalresultat			2 427	-2 096	-32	763	1 747	21 676	1	24 516
Omräkningsresultat till balanserat resultat								706		706
Utdelning								-9 900		-9 900
Aktierelaterad ersättning till anställda i Handelsbanken plc <sup>1</sup>								25		25
Återköp egna aktier <sup>2</sup>								-25		-25
Förändring i innehav utan bestämmande inflytande									-23	-23
Utgående eget kapital 2022	3 060	8 768	13 730	-307	128	763	4 332	163 510	3	194 024

<sup>1</sup> Från och med inflytandesåret 2020 omfattas samtliga anställda i Handelsbanken plc av ett program för aktierelaterad ersättning (Share Incentive Plan ("SIP")).

KASSAFLÖDESANALYS | KONCERNEN

# Kassaflödesanalys Koncernen

Koncernen mkr	2023	2022
<b>LÖPANDE VERKSAMHET</b>		
Rörelseresultat	36 322	26 829
Resultat hänförligt till avvecklad verksamhet, före skatt	1 394	1 453
varav inbetalda räntor	162 813	67 586
varav utbetalda räntor	-112 316	-28 169
varav inbetalda utdelningar	47	62
Justering från rörelseresultat till investeringsverksamhet		-333
varav till: Avyttring av verksamhet och dotterbolag		-751
varav till: Försäljning av aktier och andelar		418
Justering för ej kassaflödespåverkande poster i rörelseresultat och resultat hänförligt till avvecklad verksamhet		
Kreditförluster	254	284
Orealiserade värdeförändringar	-1 095	-2 244
Av- och nedskrivningar	1 748	4 301
Betalda inkomstskatter	-7 681	-6 419
Förändring i den löpande verksamhetens tillgångar och skulder		
Övrig utlåning till centralbanker	475	-31 157
Utlåning till övriga kreditinstitut	-9 882	11 377
Utlåning till allmänheten	27 892	-137 712
Räntebärande värdepapper och aktier	-80 826	-27 912
Skulder till kreditinstitut	8 752	-863
In- och upplåning från allmänheten	-26 249	27 572
Emitterade värdepapper	48 680	121 034
Derivatinstrument, nettopositioner	11 559	7 453
Korta positioner	209	-2 010
Fondlikvidfördringar och fondlikvidskulder	7 396	-7 975
Övrigt	4 178	-21 976
Kassaflöde från löpande verksamhet	23 125	-38 208
<b>INVESTERINGSVERKSAMHET</b>		
Avyttring av verksamhet och dotterbolag		40 238
Förvärf av och tillskott till intressatföretag och joint ventures	-53	-194
Försäljning av aktier och andelar		183
Förvärf av materiella anläggningstillgångar	-832	-786
Avyttring av materiella anläggningstillgångar	326	482
Förvärf av immateriella anläggningstillgångar	-957	-711
Kassaflöde från investeringsverksamhet	-1 617	48 212
<b>FINANSIERINGSVERKSAMHET</b>		
Amortering efterställda skulder	-8 351	-3 000
Emission efterställda skulder	8 635	11 845
Utbetald utdelning	-15 840	-9 900
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	-15 556	-1 055
<b>Årets kassaflöde</b>	<b>6 062</b>	<b>8 859</b>
Likvida medel vid årets början	475 882	439 964
Kassaflöde från löpande verksamhet	23 125	-38 208
Kassaflöde från investeringsverksamhet	-1 517	48 212
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	-15 556	-1 055
Kursdifferens i likvida medel	-5 753	27 059
<b>Likvida medel vid årets slut</b>	<b>476 181</b>	<b>476 882</b>

Kassaflödesanalysen har upprättats i enlighet med den indirekta metoden, vilket innebär att rörelseresultat och resultat hänförligt till avvecklad verksamhet har justerats för transaktioner som inte medfört in- eller utbetalningar, t.ex. avskrivningar och kreditförluster.

Kassaflödesanalysen i tabellen ovan inkluderar avvecklad verksamhet i Finland, se not K14. I jämförelsessiffrorna ingår även tidigare avvecklad verksamhet i Danmark.

## KASSAFLÖDESANALYS | KONCERNEN

## Kassaflödesanalys Koncernen, forts

Förändring av skulder i finansieringsverksamheten mil	2023	2022
Ingående balans	42 404	32 257
Kassaflöde	284	8 845
Ej kassaflödespåverkande förändringar, valutakursförändringar	- 770	3 371
Ej kassaflödespåverkande förändringar, valutakursåterringar	1 153	- 2 378
Ej kassaflödespåverkande förändringar, upplupna räntor	46	309
Summa skulder i finansieringsverksamheten	43 117	42 404

Avyttning av verksamhet och dotterbolag mil	2022
Köpskilling	
Total köpskilling	51 782
Avgår likvida medel som ingår i överlåtsan	- 743
Fordran köpas	- 1 802
Erhållen likvid	49 238
Tillgångar och skulder som avyttrats	
Utlåning till övriga kreditinstitut	1 096
Utlåning till allmänheten	99 598
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	5 480
Andra tillgångar	608
Summa tillgångar	106 722
Skulder till kreditinstitut	374
In- och upplåning från allmänheten	52 043
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	5 480
Andra skulder	336
Summa skulder	58 233
Kassaflöde från löpande verksamhet	751
Köpskillingen erhålls i sin helhet i likvida medel	



# Noter Koncernen

## K1 Väsentliga redovisningsprinciper

### INNEHÅLL

1. Lag- och föreskriftsenlighet
2. Förändrade redovisningsprinciper
3. Förändringar i IFRS som ännu inte tillämpats
4. Finansiella instrument
5. Principer för värdering av finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde
6. Kreditförluster
7. Säkringsredovisning
8. Benchmarkreformen
9. Försäkringsverksamhet
10. Tillgångar som innehåller försäljning samt redovisning av avvecklad verksamhet
11. Eget kapital
12. Intäkter
13. Ersättningar till anställda
14. Uppskattningar och väsentliga bedömningar

### 1. LAG- OCH FÖRESKRIFTSENLIGHET

#### Grunder för redovisningen

Koncernredovisningen är upprättad i enlighet med de internationella redovisningsstandarder (IFRS) och tolkningar av dessa standarder som antagits av EU. Därutöver tillämpas de tillägg som följer av lagen 1995:1559 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag (ÅPKL) och av Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd FFFS 2008:25 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. I koncernredovisningen tillämpas även RFR 1 Kompletterande redovisningsregler för koncerner och uttalanden från Rådet för finansiell rapportering. Redovisningen presenteras i svenska kronor och alla värden är avrundade till miljoner kronor (mkr) om inget annat anges. Moderbolagets redovisningsprinciper framgår av not M1.

#### Angivande, fastställelse av årsredovisningen samt företagsinformation

Svenska Handelsbanken Aktiebolag års- och koncernredovisning avseende perioden 2023-01-01–2023-12-31 godkändes för utfärdande av styrelsen och verkställande direktören den 19 februari 2024 och blir föremål för fastställelse på årsstämman den 20 mars 2024.

Moderbolaget Svenska Handelsbanken AB (publ) har sitt säte i Stockholm med adress Kungsträdgårdsgatan 2, 106 70 Stockholm, Sverige. Handelsbanken är ett kreditinstitut som erbjuder finansiella tjänster och produkter på hemmamarknaderna Sverige, Storbritannien, Norge och Nederländerna. Verksamheten beskrivs ytterligare i Förvaltningsberättelsen.

### 2. FÖRÄNDRADE REDOVISNINGSPRINCIPER

**IFRS 17 Försäkringsavtal**  
Den 1 januari 2023 trädde IFRS 17 Försäkringsavtal, som ersätter IFRS 4 Försäkringsavtal, i kraft för tillämpning i EU. Standarden tillämpas från och med räkenskapsåret 2023 i Handelsbankens koncernredovisning med övergångsdag den 1 januari 2022. IFRS 17 medför en förändring av hur försäkringsavtal ska klassificeras, värderas och presenteras. Standarden medför även förändrade upplysningskrav.

Reglerna för klassificering i IFRS 17 har medfört att traditionell livförsäkring klassificeras som försäkringsavtal i sin helhet. I enlighet med separationsreglerna i IFRS 4 redovisades spar-försäkringsmomentet i dessa avtal enligt IFRS 9. De nya värderingsmodellerna som införts med anledning av IFRS 17 innebär nya principer, uppskattningar och bedömningar vilket medfört att posten försäkringskulder har ökat. IFRS 17 påverkar inte presentationen i balansräkningen, men presentationen av intäkter och kostnader hänförliga till försäkringsavtal har förändrats. Den kvantitativa effekten av övergången till IFRS 17 uppgick till cirka -3 mkr efter skatt vilken ökade balansposten Försäkringskulder och minskade koncernens balancerade vinstmedel inom eget kapital vid ingången av jämförelseåret 2022. Effekten är främst hänförlig till ändrad redovisningsprincip för spar-försäkringsmomentet i traditionell livförsäkring. Standarden har inte haft någon inverkan på Handelsbankens kapital-täckning eller stora exponeringar eftersom bankens försäkringsverksamhet inte ingår i konsoliderad situation. Handelsbanken har räknat om jämförelsetalen för 2022 och visar övergången till IFRS 17 i tabell, se not K52.

#### Ändringar av IAS 1 Utförande av finansiella rapporter (upplysningar om redovisningsprinciper)

Ändringar i IAS 1 har genomförts som innebär att tidigare krav att upplysa om betydande redovisningsprinciper har ersatts med ett krav att upplysa om väsentliga redovisningsprinciper. Förändringarna har godkänts av EU och gäller från och med räkenskapsåret 2023, med möjlighet till tillämpning i förtid. Handelsbanken tillämpar ändringarna från och med räkenskapsåret 2023. Syftet med ändringarna är att ett företag ska lämna väsentlig information om redovisningsprinciper. Information om redovisningsprinciper är väsentlig om den, när den beaktas tillsammans med annan information i ett företags finansiella rapporter, rimligen kan förväntas påverka beslut som de primära användarna av de finansiella rapporterna fattar på grundval av dessa rapporter. Även om en trans-

aktion eller annan händelse är väsentlig på grund av beloppet, kan information om redovisningsprinciper utelämnas om informationen i sig inte är väsentlig för förståelsen av företagets redovisning av just den specifika transaktionen eller händelsen. Ändringarna i IAS 1 anger vidare att information om redovisningsprinciper som är företagspecifika ger en mer användbar information till användarna av de finansiella rapporterna. Banken lämnar upplysningar om väsentliga redovisningsprinciper i Not K1.

#### Övriga förändringar i redovisningsregelverk

Övriga förändringar i redovisningsregelverken som började gälla den 1 januari 2023 har inte haft någon påverkan på koncernens och moderbolagets redovisning.

De redovisningsprinciper och beräkningsmetoder som tillämpats av koncernen under räkenskapsåret överensstämmer i övrigt med de principer som tillämpades i års- och hållbarhetsredovisningen för 2022.

### 3. FÖRÄNDRINGAR I IFRS SOM ÄNNU INTE TILLÄMPATS IAS 12

Reglerna för globala minimibeskattning (Pelare 2) är antagna för tillämpning av EU. Samtliga medlemsländer kommer att införa nationella regler som kräver att koncerner, både internationella och nationella, med en sammanlagd årlig omsättning på 750 miljoner euro eller högre beskattas enligt Pelare 2 reglerna. I Sverige där koncernen har sitt säte har lagförslag, "Tilläggsskatt för företag i stora koncerner", godkänts av Riksdagen och träder i kraft från och med räkenskapsåret 2024. Syftet med reglerna är att förhindra multinationella företag från att flytta vinster till lägsbeskattade länder. För banken innebär reglerna att samtliga länder i vilka banken bedriver verksamhet, omfattas av en global lägsta bolagsskattesats på 15%. Vidare har Handelsbanken från och med räkenskapsåret 2023 valt att tillämpa undantaget i IAS 12 från att redovisa uppskjuten skatt avseende tilläggsskatt. Handelsbankens bedömning är att reglerna inte kommer att få någon väsentlig inverkan på Handelsbankens finansiella rapporter, kapitaltäckning eller stora exponeringar.

#### Övriga kommande förändringar i redovisningsregelverk

Övriga kommande förändringar i redovisningsregelverken som är utfärdade för tillämpning bedöms inte få någon väsentlig inverkan på Handelsbankens finansiella rapporter, kapitaltäckning, stora exponeringar eller andra förhållanden enligt tillämpliga rörelseregler.

## NOTER | KONCERNEN

## KI Forts

## 4. FINANSIELLA INSTRUMENT

## (IFRS 9 FINANSIELLA INSTRUMENT, IAS 32 FINANSIELLA INSTRUMENT: KLASSIFICERING)

## Redovisning och bortbokning

Köp och försäljning av aktier samt penning- och kapitalmarknadsinstrument på avistamarknaden redovisas på affärsdagen. Motsvarande gäller för derivat. Övriga finansiella tillgångar och skulder redovisas normalt på likviddagen.

Finansiella tillgångar tas bort från balansräkningen när de avtalsenliga rättigheterna till de kassaflöden som härrör från tillgången upphör eller när samtliga risker och fördelar förknippade med tillgången överförs till någon annan. En finansiell skuld tas bort från balansräkningen när förpliktelsen fullgjorts, upphör eller annulleras.

## Värderingskategorier

Finansiella tillgångar delas in i någon av följande värderingskategorier:

1. upplupet anskaffningsvärde
2. verkligt värde via övrigt totalresultat
3. verkligt värde via resultaträkningen
  - a) obligatoriskt
  - b) verkligt värdeoptionen.

Utgångspunkten för att klassificera finansiella tillgångar i respektive värderingskategori är företagets affärsmodell för förvaltning av tillgångarna och tillgångens avtalsenliga villkor.

Finansiella skulder delas in i någon av följande värderingskategorier:

1. upplupet anskaffningsvärde
2. verkligt värde via resultaträkningen
  - a) obligatoriskt
  - b) verkligt värdeoptionen.

Finansiella skulder ska som huvudregel redovisas till upplupet anskaffningsvärde. Undantaget är finansiella skulder som obligatoriskt ska värderas till verkligt värde via resultaträkningen, exempelvis derivat, samt skulder som vid första redovisningstillfället öterkallsligen identifierats att värderas till verkligt värde (verkligt värdeoptionen).

Finansiella tillgångar respektive skulder som redovisas på samma rad i balansräkningen kan klassificeras i olika värderingskategorier, se not K41.

Vid första redovisningstillfället redovisas alla finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde. För finansiella instrument som värderas till verkligt värde via resultaträkningen förs transaktionskostnader direkt till resultaträkningen vid anskaffningstillfället. För övriga finansiella instrument räknas transaktionskostnader in i anskaffningsvärdet.

## Bedömning av affärsmodell för finansiella tillgångar

Bedömning av affärsmodellen för förvaltningen av finansiella tillgångar är avgörande för uppdelningen i värderingskategorier. För att fastställa

affärsmodell har Handelsbanken delat in de finansiella tillgångarna i portföljer utifrån hur de styrs, rapporteras och utvärderas av bankens ledning. När affärsmodell bestäms för respektive portfölj beaktas faktorer såsom angivna riktlinjer och mål med en portfölj och hur dessa genomförs i verksamheten, de risker som påverkar portföljens resultat och hur dessa risker hanteras samt frekvens, volym, orsak och tidpunkt för försäljningar.

## Bedömning av finansiella tillgångars avtalsenliga villkor

Bedömningen av om avtalsenliga kassaflöden enbart är betalningar av kapitalbelopp och ränta har betydelse för uppdelningen i värderingskategorier. Vid denna bedömning definieras kapitalbeloppet som den finansiella tillgångens verkliga värde vid första redovisningstillfället. Ränta definieras som ersättning för pengars tidvärde, kreditrisk, andra grundläggande utlåningsrisker (till exempel likviditetsrisk) och kostnader (till exempel administrativa kostnader) samt vinstmarginal. Om den finansiella tillgången har avtalsvillkor som kan ändra tidpunkten eller beloppet i de avtalsenliga kassaflödena, modifierar ersättningen för pengars tidvärde, medför hävstångseffekt eller extra kostnader vid förskottsbetalning och förlängning bedöms kassaflödena inte enbart bestå av kapitalbelopp och ränta.

## Upplupet anskaffningsvärde

En finansiell tillgång ska värderas till upplupet anskaffningsvärde om båda följande villkor är uppfyllda:

- Syftet med affärsmodellen är att erhålla avtalsenliga kassaflöden.
- De avtalsenliga kassaflödena är enbart betalningar av kapitalbelopp och ränta.

Finansiella tillgångar i värderingskategorin består av utlåning och innehav i räntebärande värdepapper. Dessa tillgångar är föremål för nedskrivningsprövning. Finansiella skulder i värderingskategorin består i huvudsak av skulder till kreditinstitut, in- och upplåning från allmänheten samt emitterade värdepapper.

Upplupet anskaffningsvärde utgörs av det diskonterade nuvärdet av alla framtida betalningar hänförliga till instrumentet där diskonteringsräntan utgörs av instrumentets effektivränta vid anskaffningstillfället. Räntor och kreditförluster redovisas i posterna Räntanetto respektive Kreditförluster. Ränteskiljnadsersättning för förtidslöst utlåning, realisationsresultat som genereras vid återköp av egna emitterade värdepapper samt valutakurseffekter redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

## Verkligt värde via övrigt totalresultat

En finansiell tillgång ska värderas till verkligt värde via övrigt totalresultat om båda följande villkor är uppfyllda:

- Syftet med affärsmodellen är både att erhålla avtalsenliga kassaflöden och att sälja tillgången.
- De avtalsenliga kassaflödena är enbart betalningar av kapitalbelopp och ränta.

I värderingskategorin redovisas räntebärande värdepapper i bankens likviditetsportfölj som uppfyller ovanstående villkor. Dessa tillgångar är föremål för nedskrivningsprövning. Ränta- och ränteförändringar redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Realiserade värdeförändringar redovisas i övrigt totalresultat och omklassificeras till resultaträkningen vid försäljning i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Vid första redovisningstillfället är det tillåtet att öterkallsligen klassificera eget kapitalinstrument som inte innehåller handelsäsyfte till verkligt värde via övrigt totalresultat. Denna värderingsprincip tillämpas för vissa aktieinnehav i företag som utför stödjande verksamhet för banken, exempelvis andelar i clearingorganisationer och infrastruktursamarbeten på bankens hemmamarknader. Efterföljande värdeförändringar, såväl realiserade som realiserade inklusive valutakursresultat, redovisas i övrigt totalresultat. Realiserade värdeförändringar omklassificeras inom eget kapital till balanserade vinstmedel, det vill säga inte till resultaträkningen. Endast utdelningsintäkter från dessa innehav redovisas i resultaträkningen.

## Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt

Om en finansiell tillgång inte uppfyller villkoren för värdering till upplupet anskaffningsvärde eller till verkligt värde via övrigt totalresultat, ska den värderas till verkligt värde via resultaträkningen. Finansiella tillgångar och skulder som innehåller för handel klassificeras alltid till verkligt värde via resultaträkningen, liksom finansiella tillgångar som förvaltas och utvärderas baserat på verkliga värden.

Denna värderingskategorin består i huvudsak av noterade aktier, fondandelar, räntebärande värdepapper samt derivat. Räntor, utdelningar, valutakurseffekter samt realiserade och realiserade värdeförändringar redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. För redovisning av derivat i säkringsredovisning, se punkt 7.

## Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen

Vid första redovisningstillfället finns en möjlighet att öterkallsligen identifiera en finansiell tillgång såsom värderad till verkligt värde via resultaträkningen, om detta eliminerar eller i betydande utsträckning minskar inkonsekvenser i värdering eller redovisning som annars skulle uppkomma vid värdering av tillgången.

Motsvarande möjlighet finns att vid första redovisningstillfället öterkallsligen identifiera

**K1 Forts**

en finansiell skuld såsom värderad till verkligt värde via resultaträkningen, om något av följande villkor är uppfyllda:

- Det eliminerar eller i betydande utsträckning minskar inkonsekvenser i värdering eller redovisning som annars skulle uppkomma vid värdering av skulden.
- En grupp av finansiella skulder, eller en grupp av både finansiella tillgångar och finansiella skulder, förvaltas och utvärderas baserat på verkligt värde i enlighet med en dokumenterad riskhanterings- eller investeringsstrategi. Intern information om dessa instrument tillhandahålls bankens ledning baserat på verkliga värden.

Denna värderingsprincip tillämpas för att undvika inkonsekvens vid värderingen av tillgångar och skulder som utgör motpositioner till varandra och förvaltas på portföljbasis, till exempel skulder till följd av fondförsäkringsavtal och vissa innehav i likviditetsportföljen som säkras med ekonomiska säkringar. Orealiserade och realiserade värdeförändringar redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Ränta redovisas i räntenettot.

**Omklassificeringar av finansiella instrument**  
Finansiella tillgångar omklassificeras i regel inte efter det första redovisningstillfället. Omklassificering är tillåten om banken i sällynta fall skulle byta affärsmodell för förvaltningen av en portfölj av finansiella tillgångar. Omklassificering av finansiella skulder är inte tillåtet efter det första redovisningstillfället.

**Finansiella garantier och lånelöften**

Utsälda finansiella garantier innebär ett åtagande att ersätta innehavaren av ett skuldinstrument (lån och räntebärande värdepapper) för förluster denne ådrar sig på grund av att en angiven gäldenär inte fullgör betalning vid förfall enligt avtalvillkoren, exempelvis en kreditgaranti. Det verkliga värdet på en utställd garanti motsvaras vid utfärdandet av den mottagna premien. Vid första redovisningstillfället redovisas den mottagna premien för garantin som en skuld i balansposten Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter. Därefter värderas garantin till det högre av den periodiserade premien och reserven för den förväntade förlusten. Premier för utställda finansiella garantier periodiseras i provisionsnettot över garantins löptid. Därutöver redovisas det totala garanterade beloppet hänförligt till utställda garantier som en ansvarsförbindelse utanför balansräkningen, se not K44.

Lånelöften redovisas som ett åtagande utanför balansräkningen fram till lånets likviddag, se not K44. Erhållna avgifter för lånelöften periodiseras i provisionsnettot över åtagandets löptid, såvida det inte är mycket sannolikt att löftet kommer att infrias då avgiften ingår i lånets effektivränta. Finansiella garantier och återkallbara lånelöften är föremål för nedskrivningsprövning.

**Sammansatta finansiella instrument**

Ett sammansatt finansiellt instrument består av en derivatkomponent, ett så kallat inbäddat derivat, och ett värdepappersinstrument som inte är ett derivat. Om värdepappersinstrumentet i ett sammansatt finansiellt instrument är en finansiell skuld ska ett inbäddat derivat skiljas från värdepappersinstrumentet och redovisas som ett derivat om samtliga nedanstående villkor är uppfyllda:

- Det inbäddade derivatets ekonomiska egenskaper och risker är inte nära förknippade med värdepappersinstrumentets ekonomiska egenskaper och risker.
- Ett separat instrument med samma villkor som det inbäddade derivatet skulle uppfylla definitionen på ett derivat.
- Det sammansatta finansiella instrumentet värderas inte till verkligt värde via resultaträkningen. Följaktligen avskiljs inte derivat inbäddade i finansiella skulder värderade till verkligt värde via resultaträkningen.

Exempelvis sämredovisas det inbäddade derivatet i emitterade aktieindexobligationer och andra strukturerade produkter.

Inbäddade derivat i finansiella tillgångar sämredovisas ej. Finansiella tillgångar med inbäddade derivat beaktas i sin helhet vid bedömningen av om avtalsenliga kassaflöden endast är betalningar av kapitalbelopp och ränta.

Värdet av konverteringsrätten i emitterade konvertibla skuldebrev sämredovisas som eget kapital. Värdet av konverteringsrätten fastställs vid emissionsstillfället som skillnaden mellan det verkliga värdet på det konvertibla skuldebrevet som helhet minskat med det verkliga värdet på skuldkomponenten. Konverteringsrättens redovisade värde justeras inte under skuldebrevets löptid. Skuldkomponenten värderas och redovisas till verkligt värde i balansräkningen vid emissionsstillfället. Under löptiden redovisas skuldkomponenten till upplupet anskaffningsvärde baserat på ursprunglig effektivränta.

**Återköpstransaktioner**

Med återköpsavtal, eller repotransaktioner, avses avtal där parterna samtidigt har kommit överens om försäljning och återköp av ett visst värdepapper till ett i förväg bestämt pris. Värdepapper som säljs i en repotransaktion (återköpsavtal) kvarstår i balansräkningen under transaktionens löptid eftersom koncernen under transaktionens löptid är exponerad emot värdepapprets värdeförändringsrisk. Det sålda värdepappret redovisas därutöver utanför balansräkningen som ställd säkerhet. Erhållen likvid redovisas beroende på motpart som skuld till kreditinstitut eller in- och uppläning från allmänheten. Värdepapper som köps i en repotransaktion (omvända återköpsavtal) redovisas på motsvarande sätt, det vill säga värdepappret redovisas inte i balansräkningen under transaktionens löptid. Den erlagda likviden redovisas beroende på motpart som övrig utlåning till centralbanker, utlåning till övriga kreditinstitut

eller utlåning till allmänheten. Mottagna pantar som sålts vidare under återköpsavtal redovisas som åtagande utanför balansräkningen.

**Värdepapperslån**

Värdepapper som lånats ut kvarstår i balansräkningen då koncernen fortsatt är exponerad mot värdepapprets värdeförändringsrisk och redovisas därutöver utanför balansräkningen som ställd säkerhet. Inlånade värdepapper tas inte upp i balansräkningen, såvida de inte säljs (så kallad blankning). Om de säljs redovisas ett värde motsvarande det avyttrade värdepapprets verkliga värde som skuld. Inlånade värdepapper som vidareutlånats redovisas som åtagande utanför balansräkningen.

**Derivatinstrument**

Samtliga derivat redovisas i balansräkningen och värderas till verkligt värde. Derivat med positiva verkliga värden redovisas på tillgångssidan i posten Derivatinstrument. Derivat med negativa verkliga värden redovisas på skuldsidan i posten Derivatinstrument. Realiserade och orealiserade vinster och förluster på derivat redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. För redovisning av derivat i säkringsredovisning, se punkt 7.

**Kvittning av finansiella tillgångar och skulder**

Finansiella tillgångar och skulder kvittas och redovisas netto i balansräkningen om banken har avtalsmässig rätt till kvittning, i den löpande verksamheten och i händelse av konkurs, och om avsikten är att reglera posterna med ett nettobelopp eller att samtidigt realisera tillgången och reglera skulden. Ytterligare upplysningar om kvittning av finansiella tillgångar och skulder lämnas i not K24.

**5. PRINCIPER FÖR VÄRDERING AV FINANSIELLA TILLGÅNGAR OCH SKULDER TILL VERKLIGT VÄRDE (IFRS 13 VÄRDERING TILL VERKLIGT VÄRDE)**

Verkligt värde definieras som priset till vilken en tillgång skulle kunna säljas eller en skuld överföras i en normal transaktion mellan oberoende marknadsaktörer.

För finansiella instrument som handlas på en aktiv marknad likställs verkligt värde med det aktuella marknadspriset. Som aktiv betraktas en sådan marknad där noterade priser med lätthet och regelbundenhet finns tillgängliga på en reglerad marknad, handelsplats, tillförlitlig nyhetstjänst eller motsvarande, och där prisuppgifterna lätt kan verifieras genom regelbundet förekommande transaktioner. Det aktuella marknadspriset motsvaras av den kurs mellan köp- och säljkursen som under omständigheterna ger mest korrekt bild av det verkliga värdet. För grupper av finansiella instrument som förvaltas på basis av bankens nettoexponering för marknadsrisk likställs det aktuella marknadspriset med det pris som skulle erhållas eller betalas vid en avyttring av nettopositionen.

## NOTER | KONCERNEN

## K1 Forts

När tillförlitliga uppgifter om marknadspris saknas för finansiella instrument, bestäms verkligt värde med hjälp av värderingsmodeller. De värderingsmodeller som används bygger på indata som i allt väsentligt kan verifieras med marknadsobservationer, exempelvis marknadsräntor och aktiekurser. Vid behov görs en justering för andra variabler som en marknadsaktör förväntas ta i beaktande vid prissättningen. De antaganden som används vid värdering baseras på marknadspraxis och kontrolleras löpande av riskkontrollfunktionen samt mot motparters värdering.

## Räntebärande värdepapper

Räntebärande värdepapper utgivna av stater och svenska bostadsobligationer värderas med hjälp av aktuella marknadspriser. Företagsobligationer värderas med värderingstekniker som baseras på marknadsräntor för motsvarande löptid med justering för kredit- och likviditetsrisk. Värderingen kontrolleras regelbundet för att säkerställa att den avspeglar gällande marknadspris. Kontrollerna utförs främst genom inhämtning av prisnoteringar från flera oberoende priställare och genom avstämmning mot nyligen genomförda transaktioner i samma eller likvärdiga instrument.

## Aktier och andelar

Aktier noterade på en aktiv marknad värderas till marknadspris. Vid värdering av onoterade aktier och andelar styrs valet av värderingsmodell av vad som bedöms lämpligt för det enskilda instrumentet. Innehav av onoterade aktier består i huvudsak av aktier i företag som utför stödjande verksamhet åt banken. Onoterade aktier är i allt väsentligt klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Sådana innehav värderas i regel till bankens andel av substansvärdet i bolaget. För onoterade aktier för vilka bolagsavtalet reglerar det pris till vilket aktierna kan avyttras, värderas innehaven till det i förväg bestämda avyttringspriset.

## Derivat

Derivat som handlas på en aktiv marknad värderas till marknadspris. Merparten av koncernens derivatkontrakt, däribland ränteswappar och olika typer av linjära valutaderivat, värderas med värderingsmodeller som bygger på marknadsräntor och andra marknadspriser. Värderingen av icke-linjära derivatkontrakt som inte handlas aktivt bygger även på en rimlig skattning av marknadsbaserade indata, exempelvis volatilitet.

Vid modellvärdering av derivat förekommer i vissa fall differenser mellan transaktionspris och det värde som räknats fram med hjälp av en värderingsmodell vid det första redovisningstillfället. Sådana skillnader orsakas av att den tillämpade värderingsmodellen inte fullt ut fångar upp alla komponenter som påverkar derivatets värde. Realiserade resultat på grund av positiva skillnader mellan transak-

tionspris och det värde som räknas fram med hjälp av en värderingsmodell (så kallade dag 1-resultat) utgörs av bankens vinstmarginal och ersättning för att täcka exempelvis kapital- och administrativa kostnader. Realiserade positiva dag 1-resultat förs inte till resultatet vid det första redovisningstillfället, utan periodiseras över derivatets löptid.

## Tillgångar och skulder där kunden står värdeförändringsrisken

Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken består i huvudsak av fondandelar i fondförsäkringsavtal. Sådana fondandelar värderas till fondens aktuella marknadsvärde (NAV). Tillgångarna motsvaras av skulder för vilka kunden står värdeförändringsrisken. Värderingen av dessa skulder speglar värderingen av tillgångarna. Med hänsyn till att försäkringstagarna och fondandelsägarna har förmånsrätt i tillgångsmassan, saknas skäl för att justera värderingen för kreditrisk. Tillgångar och skulder där kunden står värdeförändringsrisken har i allt väsentligt kategoriserats som värderade till verkligt värde via resultaträkningen.

## 6. KREDITFÖRLUSTER (IFRS 9 FINANSIELLA INSTRUMENT)

## Förväntade kreditförluster

Reglerna om nedskrivning i IFRS 9 omfattar finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde, finansiella tillgångar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat samt finansiella garantier och österkalleliga lånelöften, och baseras på en modell för redovisning av förväntade kreditförluster. Enligt denna ska reserven spegla ett sannolikhetsvägt belopp som bestäms genom att utvärdera en rad sannolika utfall med hänsyn tagen till all rimlig och verifierbar information som är tillgänglig på rapporteringsdagen utan orimlig kostnad eller ansträngning. I bedömningen beaktas historiska, nuvarande och framtidsblickande faktorer. De tillgångar vars nedskrivningsbehov ska prövas delas in i följande tre steg, beroende på graden av kreditförsämring:

- Steg 1 omfattar finansiella tillgångar utan betydande ökning av kreditrisk sedan första redovisningstillfället.
- Steg 2 omfattar finansiella tillgångar med betydande ökning av kreditrisk sedan första redovisningstillfället, men där det vid rapporteringstillfället saknas objektiva belegg för att fordran är kreditförsämrad.
- Steg 3 omfattar finansiella tillgångar för vilka objektiva omständigheter har identifierats för att fordran är kreditförsämrad.

För Steg 1 ska reserveringar som motsvarar förväntade förluster orsakade av fallissemang som förväntas inträffa inom tolv månader redovisas. I Steg 2 och Steg 3 ska reserveringar som motsvarar den förväntade förlust som förväntas inträffa vid fallissemang någon gång under tillgångens hela återstående löptid redovisas.

För avtal i Steg 1 och Steg 2 finns en koncerngemensam central process med modellbaserad beräkning. Processen inleds med att det för samtliga avtal bedöms om det skett en betydande ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället (avtalets ingående). För utförligare beskrivning av betydande ökning av kreditrisk, se not K2 avsnitt Kreditrisk. Reserverna i de olika nedskrivningsstegen beräknas på individuell basis. För avtal i Steg 3 sker manuell beräkning med undantag för en mindre portfölj av homogena fordringar som har modellberäknad reservering i Steg 3. Vid varje rapporteringstillfälle avgörs på avtalsnivå om ett avtal ska bli föremål för en modellbaserad beräkning eller en manuell beräkning.

Beräkningarna av förväntade kreditförluster påverkas i första hand av riskparametrarna sannolikhet för fallissemang (PD), exponering vid fallissemang (EAD) och förlustandel vid fallissemang (LGD). Förväntade kreditförluster bestäms genom att beräkna PD, EAD och LGD fram till avtalets förväntade slutfallodag. Dessa tre riskparametrar multipliceras och justeras med överlevnadssannolikheten alternativt sannolikheten för att kreditexponeringen inte har fallerat eller blivit återbetald i förtid. De beräknade förväntade kreditförlusterna diskonteras sedan tillbaka till rapporteringsdagen med den ursprungliga effektivräntan och summeras. Summan av kreditförluster för Steg 1 beräknas med sannolikheten för fallissemang under de kommande 12 månaderna. För Steg 2 och Steg 3 beräknas kreditförluster med sannolikheten för fallissemang under tillgångens återstående löptid.

## Modellbaserad beräkning

Beräkningen av de förväntade kreditförlusterna tar hänsyn till minst tre makroekonomiska scenarier (ett neutralt, ett positivt och ett negativt scenario) med relevanta makroekonomiska riskfaktorer såsom arbetslöshet, styr-/centralbanksräntor, BNP, inflation och fastighetspriser, uppdelade per land. De olika scenarierna används för att justera riskparametrarna. Varje makroekonomiskt scenario tilldelas en sannolikhet, och de förväntade kreditförlusterna erhålls som ett sannolikhetsvägt genomsnitt av de förväntade kreditförlusterna för varje scenario.

För utförligare information om modellerna för att beräkna förväntade kreditförluster för avtal i Steg 1 och Steg 2 och för förklaring av begrepp såsom PD, EAD och LGD, förväntad löptid, betydande ökning av kreditrisk och makroekonomisk information, se not K2 avsnitt Kreditrisk. För känslighetsanalys för förväntade kreditförluster, se not K10.

## Manuell beräkning

Tillgångar i Steg 3 prövas för nedskrivning på individuell basis och beräkningen är manuell. Denna prövning genomförs löpande och vid varje rapporteringstillfälle av affärsansvarigt bankkontor (kund- och kredit-

## K1 Forts

ansvarig enhet) och beslutas av lokal eller central kreditavdelning.

Nedskrivningsprövning utförs då det finns objektiva omständigheter som tyder på att motparten inte kommer att kunna fullfölja sina kontraktssliga åtaganden i enlighet med definitionen på fallissemang. Sådana objektiva omständigheter kan exempelvis vara försenad betalning, utebliven betalning eller indikation på osannolik betalning.

I nedskrivningsprövningen uppekas de framtida kassaflödena och säkerhetens värde (inklusive garantier). Hänsyn tas normalt till minst två möjliga framåtblickande scenarier för förväntade kassaflöden baserade på både motpartens återbetalningsförmåga och säkerheternas värde. Utfallet av dessa scenarier sannolikhetsvikts och diskonteras med fordrans ursprungliga effektivränta. De scenarier som används kan innehålla såväl makroekonomiska som avtalspecifika faktorer, utifrån vad som bedöms ha påverkan på den enskilda motpartens återbetalningsförmåga och säkerheternas värdeutveckling. Vid bedömningen tas hänsyn till den enskilda motpartens specifika egenskaper. Nedskrivning görs om det beräknade återvinningsvärdet understiger bokfört värde.

**Expertbaserad beräkning**

Expertbaserad beräkning görs för kreditförluster för att införa uppekastad effekt från faktorer som inte bedömts ha fångats av modellen (Steg 1 och Steg 2) eller som inte har tagits hänsyn till manuellt (Steg 3). De modellbaserade beräkningarna är konstruerade med ambitionen att göra en så exakt skattning som möjligt av de enskilda bidragen till reserveringsbehovet. Det är dock mycket svårt att med generella modeller fånga alla de särdrag som karakteriserar ett enskilt avtal. Därför görs en manuell analys av de avtal som ger de största bidragen till reserveringsbehovet. Den manuella analysen syftar till att, baserat på expertkunskap om de enskilda krediterna, bedöma om den modellbaserade eller manuella beräkningen ska ersättas med en expertbedömd beräkning. En expertbedömd beräkning kan medföra både högre och lägre reserveringsbehov än den ursprungliga beräkningen.

Expertbaserad beräkning kan även utföras på en mer aggregerad nivå för att justera de modellbaserade beräkningarna för en delportfölj eller motsvarande. Dessa justeringar fördelas proportionellt över de ingående avtalen. En expertbedömd beräkning kan medföra både högre och lägre reserveringsbehov än den ursprungliga beräkningen.

**Redovisning och presentation av kreditförluster**

- Finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde redovisas i balansräkningen till sitt nettobelopp, efter avdrag för förväntade kreditförluster.

- Poster utanför balansräkningen (finansiella garantier och oåterkallbara lånelöften) redovisas till sitt nominella belopp. Reserveringar för förväntade kreditförluster avseende dessa instrument redovisas som en avsättning i balansräkningen.
- Finansiella tillgångar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat är redovisade till verkligt värde i balansräkningen. Reserveringar för förväntade kreditförluster avseende dessa instrument redovisas i verkligt värdeservern i eget kapital och minskar således inte redovisat värde på instrumentet.
- För finansiella tillgångar värderade till upplupet anskaffningsvärde och för poster utanför balansräkningen redovisas periodens kreditförluster (förväntade och konstaterade) i resultaträkningen på raden Kreditförluster. Raden Kreditförluster utgörs av periodens reserveringar för förväntade kreditförluster med avdrag för återbetalning av tidigare utförda reserveringar, periodens bortskrivningar och periodens återvinningar.
- För finansiella tillgångar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat redovisas periodens kreditförluster (förväntade och konstaterade) i resultaträkningen på raden Nettoresultat av finansiella transaktioner.
- Bortskrivningar utgörs av konstaterade kreditförluster med avdrag för återbetalning av tidigare gjorda reserveringar för förväntade kreditförluster i Steg 3 och kan avse hela eller delar av en finansiell tillgång. Bortskrivning sker när det inte bedöms finnas någon realistisk möjlighet till återbetalning. Efter bortskrivningen kvarstår normalt kraven mot låntagare och eventuella borgensmän, vilka som regel drivs vidare genom efterbevakning. Efterbevakning vidtas inte i vissa situationer, exempelvis i de fall konkursförvaltare lämnat slutlig redovisning av utdelning i konkurs, när ett ackordsförslag antagits eller när en fordran eftergivits i sin helhet. Fordringar som efterges i samband med omstrukturering av finansiella tillgångar redovisas alltid som konstaterade kreditförluster.
- Betalningar som tillkommer banken för bortskrivna finansiella tillgångar intäcks redovisas som återvinningar.

Ytterligare information om kreditförluster lämnas i not K10.

**Fallissemang/Kreditförsämrad tillgång**

Bankens definition av fallissemang överensstämmer med kapitaltäckningsförelörens (CRP) definition, vilken innebär att motparten antingen är mer än 90 dagar sen med en betalning eller att det gjorts en bedömning att motparten inte kommer att kunna betala kontraktssligt. En sådan bedömning innebär att det ses som mer sannolikt att kredittagaren inte kommer att kunna betala än det motsatta. Bedömningen av detta görs utifrån all tillgänglig

information om kredittagarens betalningsförmåga. Hänsyn tas till obeståndssignaler som bristande likviditet, försenad och inställda betalningar, betalningsanmärkningar eller andra tecken på bristande betalningsförmåga. Andra signaler kan vara att kredittagaren försätts i konkurs eller att beslut tas om en betydande anståndsåtgärd som innebär att värdet på bankens fordran mot kredittagaren minskar.

Sannolikheten för fallissemang beräknas inför varje rapporteringstillfälle och ingår vid bedömningen av om det skett en betydande ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället och vid beräkningen av förväntad kreditförlust för finansiella tillgångar i Steg 1 och Steg 2.

Kreditförsämrad finansiell tillgång, vilket är exponering i Steg 3, definieras som exponering i fallissemang. Det medför att bedömningen för redovisningsnyttan är i linje med den som används i koncernens kreditriskhantering.

**Ränta**

Redovisning av räntetäkter hänförliga till poster i balansräkningen som ingår i Steg 1 och Steg 2 bygger på bruttoredovisning, vilket innebär att räntetäkter redovisas till sitt fulla belopp i räntanettot. Räntetäkter avseende motsvarande poster i Steg 3 redovisas netto, det vill säga efter beaktande av nedskrivningen. Ränteeffekter som uppstår till följd av diskonterings-effekter då perioden fram till förväntad inbetalning minskar, resulterar i en upplösning av tidigare reserverade belopp och redovisas som räntetäkt i enlighet med effektivräntemetoden.

**Värdering av egendom som övertagits för skyddande av fordran**

Vid första redovisningstillfället redovisas övertagen egendom till verkligt värde i balansräkningen. Övertagen egendom (inklusive övertagna leasingobjekt) som förväntas avyttras inom en snar framtid, tas vid efterföljande värdering upp till det lägsta av redovisat värde och verkligt värde med avdrag för kostnader för försäljning. Önterade aktieinnehav som övertas för skyddande av fordran redovisas normalt till verkligt värde via resultaträkningen.

**Modifierade finansiella tillgångar**

Ett lån anses vara modifierat när de villkor och bestämmelser som styr kassaflöden ändras jämfört med det ursprungliga avtalet till följd av åtgärder i form av anståndsåtgärder eller affärs-mässiga omförhandlingar. Anståndsåtgärder är villkorsändringar i samband med omstruktureringar eller andra finansiella lätttnadsåtgärder. Dessa villkorsändringar utförs för att säkerställa full återbetalning eller för att maximera återbetalningen av det utstående lånebeloppet för låntagare som har, eller står inför, finansiella svårigheter. Affärs-mässiga omförhandlingar är villkorsändringar som inte är relaterade till en låntagares finansiella svårigheter, till exempel ändringar i kassaflödet för ett lån på grund av

## NOTER | KONCERNEN

## XI. FÖRÅNDRINGAR

förändringar i marknadsförhållanden för amorteringar eller ränta.

Om kassaföden från en finansiell tillgång klassificerad till upplupet anskaffningsvärde har modifierats, men tillgångens kassaföden inte blir väsentligt annorlunda, resulterar normalt inte modifieringen i att den finansiella tillgången tas bort från balansräkningen. I det fallet omräknas redovisat bruttovärde utifrån den finansiella tillgångens förändrade kassaföden, och justeringsbeloppet redovisas i resultaträkningen.

Eftersom modifieringar utförs av olika anledningar finns inget ovillkorligt samband mellan modifieringar och bedömd kreditrisk. När en finansiell tillgång beviljats anståndsåtgärd och kvarstår i balansräkningen klassificeras den till Steg 2 eller Steg 3, baserat på utfallet av den bedömning som utförs i samband med anståndsåtgärden. Bedömningen omfattar kontroll av om det finns behov av reservering för kreditförlust eller annan omständighet som innebär klassificering till Steg 3.

Om en finansiell tillgång modifieras på ett sätt som medför väsentligt förändrade kassaföden tas den modifierade finansiella tillgången bort från balansräkningen och ersätts med ett nytt avtal. I dessa fall utgör datumet för modifieringen första redovisningstillfället för det nya avtalet och detta datum används vidare vid beräkning av förväntade kreditförluster samt vid bedömning av huruvida det föreligger en betydande ökning av kreditrisk sedan första redovisningstillfället.

För en beskrivning av redovisningen avseende modifieringar som genomförs till följd av benchmarkreformen, se avsnitt 8 Benchmarkreformen.

## 7. SÄKRINGSREDOVISNING (IAS 39 FINANSIELLA INSTRUMENT: REDOVISNING OCH VÄRDERING)

Handelsbanken har valt att fortsätta tillämpa säkringsredovisningsreglerna IAS 39, i enlighet med övergångsbestämmelserna i IFRS 9. Koncernen tillämpar olika metoder för säkringsredovisning beroende på syftet med säkringen. Som säkringsinstrument används derivat, i huvudsak ränte- och valutaränteswapper. Vid säkringar av valutakursrisker kopplade till nettoinvesteringar i utländska enheter används skulder i respektive utländsk enhets funktionella valuta som säkringsinstrument. Som en del av koncernens säkringsstrategier delas värdet på säkringsinstrument i vissa fall upp och ingår i fler än en säkringsrelation. Ett och samma säkringsinstrument kan därmed säkra olika risker. Sådan uppdelning görs endast om de säkrade riskerna tydligt kan identifieras, om effektiviteten kan mätas tillförlitligt och om den totala värdeförändringen på instrumentet ingår i någon säkringsrelation.

Säkringar av verkligt värde tillämpas i syfte att skydda koncernen mot icke önskvärda resultat-effekter på grund av exponeringar för förändringar i marknadspriser. Säkringar av verkligt värde tillämpas för enskilda tillgångar och skul-

der samt för portföljer av finansiella instrument. Säkrade risker i säkringsrelationer till verkligt värde består av ränterisk i ut- och upplåning till fast ränta. Säkringsinstrumenten i dessa säkringsrelationer består av ränteswappar. Vid säkring av verkligt värde värderas såväl säkringsinstrumentet som den säkrade risken till verkligt värde. Värdeförändringarna redovisas direkt i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. När portföljsäkring tillämpas redovisas värdet på den säkrade posten på en separat rad i balansräkningen i anslutning till Utlåning till allmänheten. Då säkringar av verkligt värde avslutas i förtid periodiseras den upparbetade värdeförändringen på den säkrade posten i Nettoresultat av finansiella transaktioner under återstående löptid. Avslutas säkringar av verkligt värde i förtid, och den säkrade posten inte längre kvarstår, återförs den upparbetade värdeförändringen direkt i Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Kassafödessäkring används för att hantera exponeringar för variationer i kassaföden hänförliga till förändringar i förtid ränta på ut- och upplåning. Den förväntade löptiden för sådan ut- och upplåning är i regel betydligt längre än räntebindningstiden som är kort. Kassafödessäkring används även för att säkra valutakursrisken i framtida kassaföden hänförliga till ut- och upplåning. Även valutakursrisker hänförliga till koncerninterna monetära poster kan omfattas av denna typ av säkring. I den mån de ger upphov till valutaexponeringar som inte elimineras vid upprättande av koncernredovisningen. Derivat som är säkringsinstrument i kassafödessäkringar värderas till verkligt värde. I den mån derivatets värdeförändring är effektiv, det vill säga motsvaras av framtida kassaföden hänförliga till den säkrade posten, redovisas den som en komponent i övrigt totalresultat och i säkringsreserven i eget kapital. Ineffektiva delar av derivatets värdeförändring redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Då kassafödessäkringar avslutas i förtid periodiseras den ackumulerade värdeförändringen, som tidigare redovisats i övrigt totalresultat, i Nettoresultat av finansiella transaktioner under den period de säkrade kassaföderna förväntas inträffa. Avslutas kassafödessäkringar i förtid, och de säkrade kassaföderna inte längre förväntas inträffa, omklassificeras den ackumulerade värdeförändringen i säkringsreserven till Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamheter tillämpas för att skydda koncernen mot valutakursdifferenser till följd av verksamhet i utlandet. Som säkringsinstrument används lån i utländsk valuta. Den säkrade posten i dessa säkringar utgörs av exponeringen i utländsk valuta hänförlig till det redovisade värdet avseende den första delen av nettotillgångarna i en utlandsverksamhet. Lån i utländsk valuta som säkrar nettoinvesteringar i utlandsverksamhet redovisas i koncernen till valutakursen på balansdagen. Den effektiva delen av valutakursdiffe-

renser på sådana lån redovisas som en komponent i övrigt totalresultat och i omräkningsreserven i eget kapital. Ineffektiva delar av säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamhet redovisas i resultaträkningen i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

För ytterligare information se not K23 Säkringsredovisning.

## 8. BENCHMARKREFORMEN (IAS 39 FINANSIELLA INSTRUMENT: REDOVISNING OCH VÄRDERING, IFRS 9 FINANSIELLA INSTRUMENT)

Det föreligger temporära undantag från att tillämpa vissa specifika krav avseende säkringsredovisning för samtliga säkringsrelationer som direkt påverkas av osäkerheten från benchmarkreformen. De temporära undantagen syftar till att säkringsrelationer, som annars hade varit effektiva, inte ska behöva brytas upp endast till följd av osäkerhet från benchmarkreformen. Det föreligger en direkt påverkan på en säkringsrelation, endast om denna ger upphov till osäkerhet om benchmarkräntan kvarstår fram till dess att beslut har fattats om vilken ränta som är den alternativa räntan samt om och när reformen kommer att genomföras, inklusive specificering av dess effekter på enskilda kontrakt.

När modifieringar av finansiella tillgångar och finansiella skulder genomförs, som en direkt följd av benchmarkreformen, redovisas modifieringen som en ändring i effektivvärdet. Någon modifieringsvinst eller -förlust redovisas således ej. För att undantaget ska gälla krävs att en ändring är nödvändig som en direkt följd av benchmarkreformen samt att den nya basen för att bestämma kassaföden är ekonomiskt likvärdig med den tidigare. Därutöver föreligger vissa undantag från krav för säkringsredovisning när befintliga referensräntor i säkringsrelationer ersätts med alternativa referensräntor, vilka syftar till att säkringsrelationer inte ska behöva avbrytas endast till följd av implementeringen av benchmarkreformen.

## 9. FÖRSÄKRINGSVERKSAMHET

### Klassificering

Handelsbankens försäkringsavtal kan innehålla riskförsäkringsmoment, sparförsäkringsmoment eller båda. Klassificering som försäkringsavtal eller investeringsavtal görs utifrån de enskilda försäkringsmomenten (sparförsäkringsmoment/riskförsäkringsmoment) i avtalen eftersom de har olika ekonomisk innebörd. Traditionella livförsäkringsavtal sparförsäkringsmoment, riskförsäkringar samt riskförsäkringsmoment som separerats ut ur sammansatta traditionella livförsäkringsavtal och fondförsäkringsavtal överför betydande försäkringsrisk och klassificeras, värderas och redovisas som försäkringsavtal. Sparförsäkrings-



## K1 Forts

momentet i fondförsäkringsavtal och depåförsäkringsavtal klassificeras som investeringsavtal och redovisas enligt IFRS 9.

Enligt IFRS 17 är utgångspunkten för tillämpningen av standarden det juridiska försäkringsavtalet om detta anses överföra betydande försäkringsrisk. Bankens bedömning är att en separation av spar- och riskförsäkringsmoment ger den mest korrekta redovisningen, då enbart den elstnämnda överför betydande försäkringsrisk. Om samtliga sammansatta fondförsäkringsavtal skulle ha redovisats enligt IFRS 17, så är det bankens bedömning att det skulle få en marginell effekt på bankens finansiella ställning eller resultat till följd av avtalens korta avtalsgränser. Avtalen avser långfristig sparande men har enligt den redovisningsmässiga bedömningen korta avtalsgränser (upp till ett år) då de löpande kan prjusteras.

**Försäkringsavtalens aggregeringsnivå**  
Handelsbanken har identifierat portföljer med försäkringsavtal med utgångspunkt från de försäkringsrisker de exponerar banken för. För traditionella livförsäkringsavtals sparförsäkringsmoment har samtliga avtal bedömts lönsamma. Vidare är avtalen tecknade långt tillbaka i tiden och produkten är stängd för nyteckning varför bara en portfölj och grupp har identifierats. För riskförsäkringar och riskförsäkringsmoment utgör respektive försäkringsprodukt en portfölj. Då samtliga avtal har bedömts lönsamma har bara en grupp per portfölj identifierats. Ytterligare uppdelning av dessa grupper har gjorts baserat på att avtal som tecknats med mer än ett års mellanrum inte ska ingå i samma grupp.

**Värdering av försäkringsavtal**

Handelsbanken tillämpar den generella modellen vid värderingen av skulden för återstående försäkringskydd för traditionella livförsäkringsavtals sparförsäkringsmoment. Skälet till att den generella modellen tillämpas är att dessa avtal har en avtalsgräns som är väsentligt längre än ett år samt att de höga förmånerna i avtalen leder till att de icke villkorade utbetalningar av tillägsbelopp, som är de som varierar med avkastningen på underliggande tillgångar, inte förväntas utgöra en betydande andel av de totala utbetalningarna. I den generella modellen värderas skulden för återstående försäkringskydd som summan av det förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden, en riskjustering och en avtalsenlig marginal. Handelsbanken har inte identifierat några förlustavtal.

För skulden för inträffade skador värderas skulden som summan av det förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden och en riskjustering. Skulder med en förväntad avvecklingstid som är kortare än tolv månader diskonteras dock inte. För utförligare beskrivning av förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden, riskjustering och avtalsenlig marginal, se not K34.

Handelsbanken tillämpar premiefördelningsmetoden vid värderingen av skulden för återstå-

ende försäkringskydd för riskförsäkringar och för riskförsäkringsmoment som separerats ut ur sammansatta traditionella livförsäkringsavtal och fondförsäkringsavtal samt för återförsäkringsavtal. Skälet till att premiefördelningsmetoden tillämpas är att dessa avtal har en avtalsgräns på maximalt ett år. Skulden för återstående försäkringskydd diskonteras inte utan värderas till erhållna, men ännu ej intjänade premier. Erhållna premier redovisas som intäkt linjärt över tid i takt med att försäkringskyddet tillhandahålls. Handelsbanken har inte identifierat några förlustavtal.

**Redovisning av försäkringsavtal och innehavda återförsäkringsavtal**

I balansräkningen redovisas skulden för återstående försäkringskydd samt skulden för inträffade skador i posten Försäkringskulder. Tillgångar och skulder avseende innehavda återförsäkringsavtal redovisas i posterna Övriga tillgångar respektive Övriga skulder. I resultaträkningen presenteras nettoresultatet från försäkringsavtal samlat på raden Försäkringsnetto. I Försäkringsnettot ingår posterna Försäkringsresultat och Avkastning på tillgångar som innehåller för försäkringstagarnas räkning. Raden Försäkringsresultat innehåller intäkter och kostnader hänförliga till försäkringsavtal, även rörelsekostnader. Raden Avkastning på tillgångar som innehåller för försäkringstagarnas räkning redovisas enligt IFRS 9, men ingår i försäkringsnettot eftersom den innehåller avkastning hänförlig till försäkringsavtal. I övrigt totalresultat redovisas effekterna av ändrad diskonteringsränta vid värderingen av sparförsäkringsmomentet i traditionell livförsäkring, vilken ackumuleras i posten Försäkringsavtal inom eget kapital. Vid övergången till IFRS 17 uppgick beloppet i övrigt totalresultat till noll.

**Redovisning och värdering av investeringsavtal**

Sparförsäkringsmomentet i fondförsäkringsavtal och depåförsäkringsavtal utgör investeringsavtal. Dessa avtal samt tillhörande placerings-tillgångar värderas till verkligt värde via resultaträkningen. I balansräkningen redovisas dessa poster som Tillgångar respektive Skulder där kunden står värdeförändringsrisken. I resultaträkningen redovisas premieavgifter, kapitalavgifter samt övriga administrativa avgifter från investeringsavtal i posten Provisionsintäkter. Även anskaffningskostnader redovisas direkt i resultaträkningen. Värdeförändringar på tillgångar och skulder redovisas i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

**Tillämpade metoder vid övergången till IFRS 17**

Handelsbankens tillämpade den fullständigt retroaktiva metoden på riskförsäkringar och riskförsäkringsmoment. För traditionell livförsäkrings sparförsäkringsmoment tillämpades verkligt värde-metoden. Då det saknades ett

noterat pris på en portfölj med traditionella livförsäkringsavtal fastställdes verkligt värde med hjälp av en värderingsteknik som i så stor uträkning som möjligt använde observerbara parametrar vid beräkningen av det verkliga värdet. För att bedöma det pris som marknadsaktörer skulle tillämpa användes ett genomsnitt av de garantiräntor Handelsbanken observerat att försäkringsföretag på marknaden erbjuder vid nyteckning av traditionell livförsäkring. Metoden fångade på detta sätt även marknadens antaganden om vinst- och riskmarginal eftersom dessa implicit beaktades i marknadens garantiräntor. Skillnaden mellan det verkliga värdet och summan av det förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden och riskjusteringen utgjorde en avtalsenlig marginal vid tidpunkten för övergången till IFRS 17.

**10. TILLGÅNGAR SOM INNEHAS FÖR FÖRSÄLJNING SAMT REDOVISNING AV AVECKLAD VERKSAMHET (IFRS 5)**

**Anläggningstillgångar som innehas för försäljning och avecklade verksamheter**  
Anläggningstillgångar eller en grupp av tillgångar, ibland tillsammans med därtill hänförliga skulder, (avyttringsgrupp) klassificeras som att de innehas för försäljning när det redovisade värdet i huvudsak kommer att återvinnas genom försäljning och när försäljning är mycket sannolik. Om klassificeringen sker som tillgång som innehas för försäljning tillämpas särskilda värderingsprinciper. Dessa innebär i huvudsak att, med undantag för bland annat finansiella tillgångar och skulder (se punkt 4), tillgångar som innehas för försäljning och avyttringsgrupper värderas till det lägsta av det redovisade värdet och verkligt värde med avdrag för försäljningskostnader. Därmed görs inte några avskrivningar på materiella eller immateriella tillgångar som innehas för försäljning. Eventuella nedskrivningar och efterföljande omvärderingar redovisas direkt i resultaträkningen. Envinst redovisas dock inte till den del som den överstiger tidigare redovisade ackumulerade nedskrivningar. Tillgångar och skulder som innehas för försäljning särredovisas i koncernens balansräkning fram till försäljningstidpunkten.

Som avecklad verksamhet redovisas självständig verksamhet av väsentlig karaktär som är klart avskiljbar från koncernens övriga verksamhet och som antingen har avyttrats eller klassificerats som att den innehas för försäljning med tillämpning av de principer som beskrivits ovan. Redovisning som avecklad verksamhet innebär att verksamhetens resultat särredovisas på egen rad i resultaträkningen skilt från övriga resultatposter. Resultatet från avecklad verksamhet består av resultatet efter skatt av avecklade verksamheter, det resultat efter skatt som uppstår vid värdering till verkligt värde med avdrag för försäljningskostnader av de tillgångar som innehas för försäljning/avyttringsgrupper som ingår i avecklade verksamheter.

## NOTER | KONCERNEN

## K1. Forts

samt realiserat resultat från avyttring av avvecklade verksamheter. För upplysningar om tillgångar respektive skulder som innehas för försäljning samt avvecklad verksamhet se not K14.

## 11. EGET KAPITAL

Eget kapital består av de komponenter som beskrivs i det följande.

## Överkursfond

Överkursfonden består dels av optionskomponenten av emitterade konvertibla skuldebrev och dels av det belopp som vid emission av aktier och vid konvertering av konvertibla skuldebrev överstiger de emitterade aktiernas kvotvärde.

## Förmånsbestämda pensionsplaner

I posten Förmånsbestämda pensionsplaner redovisas aktuariella vinster och förluster på pensionsförpliktelser samt avkastning på förvaltningsstillgångarna som överstiger eller understiger diskonteringsräntan.

## Säkringsreserv

I säkringsreserven redovisas orealiserade värdeförändringar på derivatinstrument som utgör säkringsinstrument i kassafödessäkringar till den del säkringen är effektiv, det vill säga motsvaras av framtida kassaföden hänförliga till den säkrade posten.

## Verkligt värdereserv

Orealiserade värdeförändringar på finansiella tillgångar klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat redovisas i verkligt värdereserven. Vidare består verkligt värdereserven av reserveringar för förväntade kreditförluster på skuldinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Realiserade värdeförändringar på dessa skuldinstrument omklassificeras från verkligt värdereserven till resultaträkningen. Realiserade värdeförändringar på eget kapitalinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat omklassificeras från verkligt värdereserven till balanserade vinstmedel.

## Försäkringsavtal

I posten Försäkringsavtal redovisas effekter av ändrad diskonteringsränta vid värderingen av sparförsäkringsmomentet i traditionell livförsäkring.

## Omräkningsreserv

Omräkningsreserven består av orealiserade valutakurseffekter som uppstår till följd av omräkning av utländska enheter till koncernens rapporteringsvaluta. Därutöver redovisas effektiva delar för säkringar av nettoinvesteringar i utlandsverksamhet i omräkningsreserven samt omräkningsdifferenser hänförliga till icke-monetära poster som klassificeras till verkligt värde via övrigt totalresultat.

## Balanserade vinstmedel inklusive årets resultat

Balanserade vinstmedel består av intjänat resultat från innevarande och tidigare räkenskapsår. Utdelning och återköp av egna aktier redovisas som avdrag från balanserade vinstmedel.

Realiserade resultat hänförliga till eget kapitalinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat omklassificeras från verkligt värdereserven till balanserade vinstmedel.

## Innehav utan bestämmande inflytande

Innehav utan bestämmande inflytande utgörs av den andel av koncernens nettotillgångar som inte direkt eller indirekt ägs av moderföretagets stamaktieägare. Innehav utan bestämmande inflytande redovisas som en separat andel av eget kapital.

## 12. INTÄKTER

## Räntenetto

Räntelänet och räntekostnader redovisas i räntenettet i resultaträkningen, med undantag för räntor hänförliga till finansiella instrument som obligatoriskt värderas till verkligt värde via resultaträkningen vilka redovisas i Nettoresultat av finansiella transaktioner där den samlade aktiviteten i handelslagret redovisas.

Räntelänet och räntekostnader för finansiella instrument som värderas till upplupet anskaffningsvärde beräknas och redovisas med tillämpning av effektivräntemetoden eller, om så anses lämpligt, med tillämpning av en metod som resulterar i ett belopp som utgör en rimlig uppskattning av vad en beräkning grundad på effektivräntemetoden skulle ge. Effektivräntan innefattar avgifter som anses vara en integrerad del av effektivräntan för ett finansiellt instrument (vanligen avgifter som kompenseras för risk). Effektivräntan motsvarar den ränta som används för att diskontera avtalsenliga framtida kassaföden till redovisat värde på den finansiella tillgången eller skulden.

I räntenettet redovisas även räntor från derivat som ingår i säkringsredovisning och räntor från derivat i ekonomiska säkringar, eftersom dessa säkrar poster vars ränteföden redovisas i räntenettet.

Utöver räntelänet och räntekostnader ingår avgift för statlig insättningsgaranti i räntenettet.

## Provisionsnetto

Provisionsintäkter redovisas vid den tidpunkt när prestationsåtagandet är uppfyllt, vilket är när kontrollen av tjänsten är överförd till kunden. Den totala intäkten fördelas för varje tjänst, och intäktsfördelningen beror på om tjänsterna är uppfyllda vid en viss specifik tidpunkt eller över tid. Provisionsintäkter i form av exempelvis förvaltningsavgifter inom kapitalförvaltningen redovisas normalt över tid i takt med att dessa tjänster utförs. Provisionsintäkter i form av exempelvis courtage, kortavgifter och betalningsprovisioner redovisas generellt när tjän-

ten utförts, det vill säga vid en viss specifik tidpunkt. När intäkten inkluderar en rörlig ersättning, till exempel rabatt, återbärning eller prestationsbaserade delar, redovisas intäkten först när det är högst troligt att ingen återbetalning av beloppet kommer att ske. Utlåningsavgifter som inte ingår i effektivräntan redovisas som provisionsintäkter. Provisionskostnader är transaktionsberoende och är direkt relaterade till transaktioner vars intäkter redovisats som Provisionsintäkter.

## Nettoresultat av finansiella transaktioner

I posten Nettoresultat av finansiella transaktioner redovisas den resultatpåverkan som uppstår vid värdering av finansiella tillgångar och skulder till verkligt värde via resultaträkningen och vid realisation av finansiella tillgångar och skulder (med undantag för eget kapitalinstrument klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat).

- Resultat från finansiella instrument till upplupet anskaffningsvärde består av realiserade vinster och förluster på finansiella tillgångar och skulder klassificerade till upplupet anskaffningsvärde, såsom till exempel ränteskillnadsersättning för fördelningsutlåning och realisationsresultat som genereras vid återköp av egna emitterade värdepapper.
- Resultat från finansiella instrument till verkligt värde via övrigt totalresultat består av realiserade vinster och förluster på räntebärande värdepapper klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Realiserade vinster och förluster omklassificeras från övrigt totalresultat till Nettoresultat av finansiella transaktioner i samband med avyttring/försäljning. Vidare består posten av kreditförluster (förväntade och konstaterade) på dessa tillgångar.
- Resultat från finansiella instrument till verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen, består av orealiserade och realiserade värdeförändringar på finansiella tillgångar och skulder som vid första redovisningstillfället identifierats som värderade till verkligt värde via resultaträkningen.
- Resultat från finansiella instrument till verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt, består av orealiserade och realiserade värdeförändringar samt utdelningsintäkter och räntor (med undantag för räntor som härrör från derivat som säkrar poster vars ränteföden redovisas i räntenettet) på finansiella tillgångar och skulder som innehas för handel eller som förvaltas och utvärderas på basis av verkliga värden.
- Säkring av verkligt värde består av orealiserade och realiserade värdeförändringar på säkringsinstrument respektive säkrad riskkomponent i finansiella tillgångar och skulder som är säkrade poster i säkringar till verkligt värde. Ineffektivitet i kassafödessäkringar består av de värdeförändringar på säkringsinstrumentet som inte motsvaras av framtida kassaföden hänförliga till den säkrade posten.



- Vinster och förluster som uppkommer till följd av omräkning av monetära poster i utländsk valuta (det vill säga annan valuta än den funktionella valutan), samt icke-monetära poster i utländsk valuta som värderas till verkligt värde, till gällande stängningskurs per balansdagen. Resultatet vid omräkning till balansdagens stängningskurs av finansiella tillgångar och skulder i utländsk valuta som värderas till upplupet anskaffningsvärde redovisas således i Nettoresultatet av finansiella transaktioner.
- Avskattning på tillgångar som inrehas för försäkringstagarnas räkning avgår från Nettoresultat av finansiella transaktioner eftersom den ingår i Försäkringsnettot.

### Utdelning

Utdelningar på aktier som klassificerats till verkligt värde via övrigt resultatutredas redovisas i resultaträkningen i posten Övriga utdelningsintäkter. Utdelningar på aktier som klassificerats till verkligt värde via resultaträkningen redovisas i posten Nettoresultatutredas av finansiella transaktioner. Eventuella utdelningar från intresseföretag och joint ventures minskar det redovisade värdet på andelar i intresseföretag och joint ventures.

13. ERSÄTTNINGAR TILL ANSTÄLLDA  
(IAS 19 ERSÄTTNINGAR TILL ANSTÄLLDA)

### Personalkostnader

Som personalkostnader redovisas löner, pensionskostnader och andra former av direkta personalkostnader inklusive sociala avgifter, särskild löneskatt på pensionskostnader och andra former av lönebikostnader. Eventuella ersättningar i samband med avslutad anställning skuldförs vid årets slut ingång och periodiseras över återstående tjänstgöringstid.

### Redovisning av pensioner

Erstättning till anställda efter anställningens upphörande utgörs i banken av pensionsförpliktelser som klassificeras som antingen premiebestämda planer eller förmånsbestämda planer. För de premiebestämda planerna betalar banken fastställda premier till en utomstående juridisk enhet och värdepappersförändringen fram till dess att medlen utbetalas faller på den anställde. För dessa planer har banken inga ytterligare förpliktelser efter att premier betalats. Premier för premiebestämda planer redovisas i resultaträkningen som personalkostnad i den takt de intjänas genom att de anställda utför tjänster åt banken.

Övriga pensionsförpliktelser klassificeras som förmånsbestämda planer. Vid förmånsbestämda pensionsförpliktelser utgår en pension baserad på lön och anställningstid, vilket innebär att boken bär alla väsentliga risker för fullgörandet av pensionsförpliktelser. För beräkningen av pensionsförpliktelser och kostnader hänförliga till dessa tillämpas Projected Unit Credit Method och nuvärdet av pensionsåtagandet redovisas som pensionsförpliktelse. För majoriteten av de

förmånsbestämda pensionsplanerna har koncernen avsatt förvaltningsstillgångar i pensionsstiftelser och pensionskassa eller motsvarande för att täcka förpliktelser. Som pensionsnetto i balansräkningen redovisas pensionsförpliktelserna minskade med förvaltningsstillgångarna verkliga värde. I resultaträkningen redovisas pensionskostnaden för förmånsbestämda planer som personalkostnad vilken utgörs av kostnad för under året intjänad pensionsrätt, ränkekostnad på pensionsförpliktelserna samt räntetäkt på förvaltningsstillgångarna. Beräkningen av pensioner intjänade under året utgår från en beräknad slutlöstid och är föremål för aktuella antaganden och avser årets andel av den beräknade slutliga totala pensionsutbetalningen. För beräkning av årets ränkekostnad och räntetäkt används samma räntesats, aktuell företagsobligationsränta (räntan vid årets början) för en löptid motsvarande återstående tid till utbetalning av pensionskulden. I övrigt totalresultat redovisas aktuella vinster och förluster på pensionsförpliktelserna som uppstår på grund av att verkligt utfall avviker från gjorda antaganden samt skillnaden mellan verklig avkastning och beräknad räntetäkt på förvaltningsstillgångarna.

Beräkningen av kostnader och åtaganden med anledning av koncernens förmånsbestämda planer är förenad med ett flertal bedömningar och antaganden som kan ha en betydande inverkan på redovisade belopp. En utförlig beskrivning av dessa antaganden och bedömningar lämnas i punkt 14 och i not K8.

#### 14. UPPSKATTNINGAR OCH VÄSENTLIGA BEDÖMNINGAR

Tillämpningen av koncernens redovisningsprinciper innebär vissa fall att bedömningar måste göras som får en väsentligt inverkan på redovisade belopp. Redovisade belopp påverkas dessutom i ett antal fall av uppskattningar och antaganden om framtiden. Sådana antaganden innebär alltid en risk för en justering av det redovisade värdet för tillgångar och skulder. De bedömningar och antaganden som görs speglar alltid företagsledningens bästa och mest rimliga uppfattning och är konstantt föremål för granskning och validering.

Nedan följer de bedömningar och antaganden som har haft en väsentlig påverkan på de finansiella rapporterna.

Uppskattningar och väsentliga bedömningar som berör följande områden lämnas i not:

- Finansiella Instrument värderade till verkligt värde, se not K42 Värdering av finansiella Instrument till verkligt värde.
- Nedskrivningsprövning av goodwill, se not K25 Immateriella tillgångar.
- Beräkning av försäkringskulder, se not K34 Försäkringskulder.

## Aktuariell beräkning av förmånsbestämda pensionsplaner

Beräkningen av koncernens kostnader och förpliktelser för förmånsbestämda pensioner bygger på ett flertal aktuariella, demografiska och finansiella antaganden som har betydande inverkan på redovisade belopp. En förteckning över de antaganden som använts vid beräkningen av årets avsättning finns i not K8. Beräkningen av pensionsförpliktelserna för anställda i Sverige bygger på DUS23 som är på marknaden vedertagna antaganden om livslängd baserade på statistik framtagen av Svensk Försäkring. Antagandena om framtida löneökningar och inflation bygger på den förväntade långsiktiga utvecklingen.

Diskonteringsräntan baseras på ett antal förstklassiga företagsobligationer med olika löptider. För företagsobligationer med löptider som överensstämmer med den uppskattade genomsnittliga löptiden för pensionsförpliktelsen vilken för närvarande uppgår till 20 år (räntebereädnings) fastställs diskonteringsräntan utifrån marknadsräntor. Då det inte finns tillräckligt många emitterter av förstklassiga företagsobligationer med en löptid som överensstämmer med pensionsförpliktelsens användar ålg banken även av förstklassiga företagsobligationer med kortare löptid som bas för att fastställa diskonteringsräntan. För dessa fastställs diskonteringsräntan med utgångspunkt från en räntekurva. Räntekurvan är byggd som en spread över den svenska swapkurvan. Spreaden, som är baserad på företagsobligationer exkluderat egna emissioner, appliceras på swapkurvan. På detta sätt modelleras en räntekurva fram utifrån vilken en 20-årig ränta kan härledas.

En känslighetsanalys av koncernens pensionsförpliktelser för varje betydande aktuariellt antagande, som visar hur förpliktelser skulle ha påverkats av rimligt möjliga förändringar i dessa antaganden, framgår av not K8.

## Kreditförluster

Vid beräkning av förväntade kreditförluster används i ett antal fall antaganden och bedömningar. Värderingen av förväntade kreditförluster är till sin natur förknippad med viss osäkerhet. Områden med hög grad av antaganden och bedömningar beskrivs nedan under respektive rubrik.

*Framåtblickande information i makroekonomiska scenarier*

Handelsbanken övervakar löpande den makroekonomiska utvecklingen med särskilt fokus på hemmamarknaderna. Denna bevakning sker bland annat för att ta fram de makroekonomiska scenarier som ligger till grund för den framtidsbilden som används i den modellbaserade beräkningen av förväntade kreditförluster. Förmågan hos bankens kunder att uppfylla sina kontraktseftliga betalningar varierar med den makroekonomiska utvecklingen. Det

## NOTER | KONCERNEN

## K1. Forts

Innebär att den framtida makroekonomiska utvecklingen har en påverkan på bankens syn på reserveringsbehov för förväntade förluster. Beräkningen av reserveringsbehovet för förväntade kreditförluster utgår från det neutrala scenariot enligt bankens enhet för makroanalys. Eftersom förlusterna kan påverkas mer av en framtida försämring av den ekonomiska utvecklingen än av en motsvarande förbättring, använder banken minst två alternativa scenarier för att fånga icke-linjära aspekter på de förväntade kreditförlusterna. Dessa alternativa scenarier motsvarar tänkbara, men väsentligt sämre respektive bättre, utvecklingar än det neutrala scenariot. Baserat på bankens förlusthistorik under det senaste decenniet kompletterat med erfarenhetsbedömningar har de mest väsentliga makroekonomiska riskfaktorer valts ut. Dessa makroekonomiska riskfaktorer ingår sedan som makroekonomiska riskfaktorer i bankens kvantitativa statistiska modeller för prognoser av migrationer, fallissemang, förlustandelar och exponering. De makroekonomiska riskfaktorer inkluderar arbetslöshet, styr-/centralbanksräntor, BNP, inflation och fastighetspriser. Bankens affärsmodell, att ge krediter till kunder med stark återbetalningsförmåga, gör att sambanden mellan den makroekonomiska utvecklingen och reserveringsbehovet inte alltid är framträdande. För utförligare beskrivning av makroekonomisk information, se not K2 avsnitt Kreditrisker, och för känslighetsanalys, se not K10.

**Betydande ökning av kreditrisk**

Banken gör en bedömning på avtalsnivå vid varje rapportperiods slut av om en betydande ökning av kreditrisken har skett sedan det första redovisningstillfället. För utförligare beskrivning av betydande ökning av kreditrisk, se not K2 avsnitt Kreditrisker.

**Modellbaserad beräkning**

De kvantitativa modeller som ligger till grund för beräkningen av förväntade kreditförluster för avtal i Steg 1 och Steg 2 utgår från flera antaganden och bedömningar. Ett viktigt antagande är att de relationer som kan mätas mellan makroekonomiska riskfaktorer och riskparametrar på historiska data är representativa för framtida händelser. De kvantitativa modeller som tillämpas baseras på cirka 10 års historik, men historiken varierar med produkt och region beroende på tillgång till historiska utfall. De kvantitativa modellerna är konstruerade med hjälp av ekonometriska modeller under antagande att observationerna är oberoende betingat av de valda riskfaktorer. Det innebär att riskparametrarna kan förutses utan snedvridande effekter. Vidare görs ett urval av de mest väsentliga makroekonomiska riskfaktorer baserat på de enskilda makroekonomiska riskfaktorernas förklaringsförmåga på de enskilda riskparametrarna. När makroekonomiska riskfaktorer väljs ut och modellen specificeras görs en avvägning mellan enkelhet, förklaringsförmåga och stabilitet.

**Manuell och expertbaserad beräkning**

Manuell beräkning används regelmässigt för avtal i Steg 3. Expertbaserad beräkning görs på modellutfall för avtal i Steg 1 och Steg 2, för att införliva uppskattad effekt från faktorer som inte bedömts ha fångats av modellen samt för manuellt bedömda i Steg 3. För utförligare beskrivning av manuell och expertbaserad beräkning, se punkt 6 rubrik Manuell beräkning och Expertbaserad beräkning.

## K2 Risk- och kapitalhantering

Handelsbankens låga risktolerans är en central del i bankens affärsidé. Den låga risktoleransen tillsammans med ett decentraliserat arbetssätt, stabla finanser och hållbart ansvarstagande är grunden i Handelsbankens långsiktiga kundrelationer.

Informationen i denna not inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäljning respektive Skulder som innehåller försäljning samt utgör avvecklad verksamhet, se not K14.

### MOTSTÅNDSKRAFTIG RISKHANTERING

Handelsbanken har en kapital- och likviditetsplanering som syftar till att säkerställa bankens fortlevnad under såväl normala tider som under stressade förhållanden. Det resulterar i en stark kapital- och likviditetssituation med kontinuerlig tillgång till de finansiella marknaderna via bankens kort- och långfristiga finansieringsprogram. Banken har också en stor likviditetsreserv av hög kvalitet, vilket ger en god motståndskraft mot eventuella störningar på de finansiella marknaderna. Group Treasurys likviditetsportfölj, som är en del av bankens likviditetsreserv, har en låg riskprofil och består i huvudsak av tillgodoavanden i centralbanker, statsobligationer och säkerställda obligationer. Därutöver finns ett mycket omfattande outnyttjat emissionsutrymme avseende säkerställda obligationer i Stadshypotek. Likviditetsreserver hålls i alla för banken väsentliga valutor. Den totala likviditetsreserven täcker bankens likviditetsbehov i ett stressat scenario i mer än tre år. En bibehållen verksamhet kan därmed upprätthållas under en betydande tid även i en extrem situation med stängda marknader för valutaväxling.

Bankens kapitalstatus är fortsatt stark. Under året har en god intjänning och låga kreditförluster bidragit till detta.

Handelsbankens låga risktolerans, goda kapitalisering och starka likviditetssituation innebär att banken står väl rustad. I sin riskhantering utför banken särskilda stresstester, inklusive påverkan från klimatförändringar, och följer noga olika indikatorer i sin uppföljning av marknadsläget för att tidigt kunna agera om likviditets- eller kapitalstatus skulle försämrats. Rådande makroekonomiska miljö som är en kombination av geopolitiska risker, inflation, högre räntor, en svalare bostadsmarknad och ett svagare företagsklimat finns inkluderat i stresstesterna och analyseras ur bankens perspektiv.

Det geopolitiska säkerhetsläget har ökat risken för olika typer av attacker mot kritisk infrastruktur i samhället. Bankens säkerhetsavdelning följer händelseutvecklingen och riskbedömer löpande olika scenarier.

### RISKTOLERANS

Handelsbanken har generellt en låg risktolerans som vilar på en övergripande strategi att undvika eller minimera risk och därigenom vara en stabil affärspartner till kunderna oavsett konjunktur eller marknadsituation. Den låga risktoleransen utgör grunden för det ramverk för riskhantering som tillämpas i banken. Ramverket består av de strategier, processer, rutiner, limiter, kontroller och rapporteringsrutiner som kommer till uttryck genom styrdokument på olika nivåer inom koncernen.

Bankens affärsmodell fokuserar på att ta och hantera kreditrisker i kontorsrörelsen där målet är att etablera långsiktiga relationer med kunder som har god återbetalningsförmåga och stark finansiell ställning. Kvalitetskravet får aldrig åsidosättas till förmån för högre kreditvolymer, högre pris eller marknadsandelar.

Handelsbankens kreditförlustnivå har under de senaste decennierna varit väsentligt lägre än genomsnittet hos övriga nordiska banker. Bankens utgångspunkt är att ingen kredit ska medföra en förlust. Detta förhållningssätt är helt styrande för kontorens kreditgivning och uppföljning av krediter. För att hålla bankens exponering mot marknads- och likviditetsrisker inom den låga risktoleransen ska sådana risker endast förekomma som ett naturligt led i kundaffärer, i samband med bankens finansiering och likviditetshandling och i dess roll som marknads-garant. Riskerna begränsas genom att räntebindningstider och kassaföden i olika valutor matchas, öppna positioner säkras och genom en betryggande likviditetsreserv av hög kvalitet.

En konsekvens av bankens låga tolerans för marknadsrisk är att en jämförelsevis låg andel av bankens resultat kommer från nettoresultat av finansiella transaktioner.

I linje med den låga risktoleransen strävar banken efter att så långt som möjligt förebygga operativa risker och regelefterlevnadsrisker.

Risktoleransen för hållbarhetsrisker är även denna låg och riskerna hanteras inom bankens

befintliga riskslag såsom kreditrisker, likviditetsrisker, marknadsrisker, operativa risker och regelefterlevnadsrisker. För mer information om hållbarhetsrisker, se avsnittet Hållbarhetsrisker under Hållbarhet i Handelsbanken i bankens hållbarhetsrapport samt avsnittet ESG Prudential disclosures i bankens Palare 3 rapport.

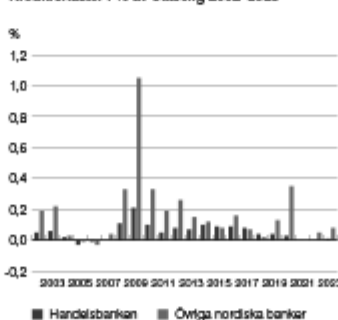
### RISKSTRATEGI

I bankens verksamhet uppkommer olika risker som identifieras, mäts, hanteras och rapporteras på ett systematiskt sätt inom koncernens alla delar. Handelsbankens restriktiva förhållningssätt till risk innebär att banken medvetet undviker att delta i affärer med hög risk även om den förväntade ersättningen för tillfället kan vara hög.

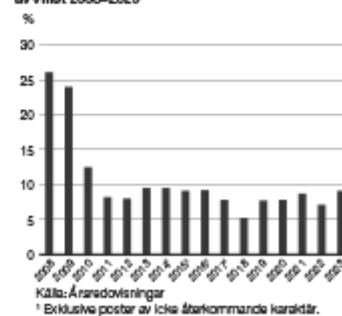
Riskstrategin bygger på en stark riskkultur som är uthållig över tid och som gäller på alla områden i koncernen. Riskkulturen genomförs hela bankens arbete och är väl förankrad hos alla medarbetare. Banken präglas av en tydlig ansvarsfördelning där varje del av affärsverksamheten bär det fulla ansvaret för sina affärer och för att riskerna hanteras. Ett resultat av detta är en hög riskmedvetenhet och försiktighet i affärsverksamheten. Den decentraliserade affärsmodellen är dock kombinerad med både en centraliserad kreditprocess och starka interna kontroller. Den låga risktoleransen avspeglas också i synen på ersättning. Huvudprincipen är fast ersättning eftersom detta bidrar till den långsiktighet som är en central del av Handelsbankens affärsmodell. Inte heller medarbetare som i sin yrkesutövning har en väsentlig inverkan på bankens riskprofil erbjuds prestationsbaserad rörlig ersättning.

Kreditgivningen har stark lokal förankring, där den nära kundrelationen och lokala kännedomarna verkar för låga kreditrisker. Därutöver ska koncernen vara vätkapitaliserad i förhållande till verksamhetens risker och hålla likvida tillgångar för att klara sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, även i en situation av finan-

Kreditförluster i % av utlåning 2002-2023



Nettoresultat av finansiella transaktioner som andel av vinst 2008-2023



Källa: Årsredovisningar

<sup>1</sup> Exklusive poster av icke återkommande karaktär.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Risker i Handelsbanken	Beskrivning
Kreditrisk	Kreditrisk definieras som risken att banken drabbas av ekonomisk förlust som följd av att bankens motparter inte kan fullfölja sina kontraktsliga förpliktelser. Kreditrisk inkluderar även motparters risk i samband med affärer för valuta-, ränta-, råvaru- och aktiemarknaderna, dvs risk att motparten inte kan fullfölja sitt åtagande.
Marknadsrisk	Marknadsriskerna härrör från pris- och volatilitetsförändringar på de finansiella marknaderna. Marknadsriskerna delas in i ränterisker, aktiekursrisker, valutakursrisker och råvaruprisrisker.
Likviditetsrisk	Likviditetsrisk är risken för att banken inte kan fullgöra sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, utan att drabbas av oacceptabla kostnader eller förluster.
Operativ risk	Operativ risk är risken för förluster till följd av icke ändamålsenliga eller misstänkade interna processer, mänskliga fel, felaktiga system eller externa händelser. Definitionen inkluderar legal risk samt IT-risker och informations säkerhetsrisker (IKT-risker).
Regulatoriskvarnadsrisk	Regulatoriskvarnadsrisk är risk förknippad med att banken inte följer externa och interna regelverk, accepterad marknadspraxis och relevanta standarder som är tillämpliga på bankens tillståndsgivda verksamhet, och de följder som detta i sin tur kan leda till i form av sanktioner, väsentlig finansiell förlust eller förlust av anseende för banken.
Ersättningsrisk	Ersättningsrisk utgörs av risken för förlust eller annan skada som uppkommer till följd av ersättningsystemet.
Försäkringsrisk	Försäkringsrisk är risken i en försäkrings utfall, som beror på den försäkrades livslängd eller hälsa.
Hållbarhetsrisk	Hållbarhetsrisk är risken för ekonomiska förluster eller skadat anseende på grund av faktorer relaterade till miljö och klimat, mänskliga rättigheter och arbetsvillkor, finansiell kriminalitet samt IT- och informations säkerhet. Hållbarhetsrisker är en integrerad del av bankens befintliga risklag och kan uppkomma både i den egna verksamheten och genom bankens affär som kreditgivning och investeringar.

se till stress där upplåning på de finansiella marknaderna inte är möjlig. Handelsbanken eftersträvar på så sätt en affärsmodell som är oberoende av förändringar i konjunkturen.

Banken har satt upp ambitiösa hållbarhetsmål, se även till Handelsbankens hållbarhetsmål i Hållbarhetsinformation. För att uppnå målen kan banken delvis behöva ändra produkter, positioner och prissättning. Dessa förändringar kan kortiktigt få potentiellt både positiva och negativa finansiella effekter på banken. På längre sikt anser dock banken att en hållbar verksamhet är en förutsättning för en lönsam affärsmodell.

Det restriktiva förhållningssättet till risk innebär att banken är en stabil och uthållig affärspartner till kunderna oavsett konjunktur och marknadssituation. Det bidrar både till god riskhantering och till att en hög servicenivå kan upprätthållas även när verksamheten och de marknader som banken verkar på utsätts för påfrestande. Samma principer för bankens inställning till risk gäller i alla länder där banken är verksam. För en närmare beskrivning av bankens hantering av olika riskslag, kapital och likviditet, se respektive enskilt avsnitt i denna not.

## RISKORGANISATION

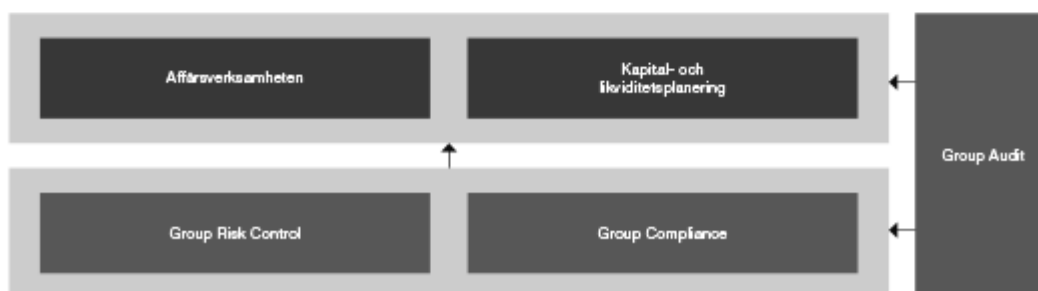
Handelsbanken tillämpar principen med tre försvarslinjer för riskhantering, uppföljning och kontroll av bankens risker. Affärsverksamheten och de enheter som stödjer affärsverksamheten utgör den första försvarslinjen och ansvarar för att hantera och begränsa riskerna i verksamheten i enlighet med externa och interna regler. Kontrollfunktionerna Group Risk Control och Group Compliance utgör den andra försvarslinjen och övervakar och kontrollerar koncernens risker, affärsverksamhetens arbete och hur gällande regler efterlevs. Tredje försvarslinjen utgörs av Group Audit som granskar bankens hela verksamhet inklusive riskhantering, kontrollfunktionernas arbete och bolagsstyrningen. För en mer detaljerad beskrivning av bankens tre försvarslinjer för riskhantering hänvisas till Handelsbankens Bolagsstyrningsrapport, sidorna 66–81.

Handelsbankens styrelse har det övergripande ansvaret för bankens riskhantering och fastställer interna regler för detta. Styrelsen fastställer policyer och vd fastställer riktlinjer, vilka beskriver hur olika risker ska hanteras och rapporteras. Styrelsen har inrättat en kreditkommitté (bestående av vd och Chief Credit Officer samt

ett antal styrelseledamöter) som beslutar i vissa kreditärenden samt en UK-kommitté (bestående av styrelsens ordförande, vd, CFO och ytterligare en styrelseledamot) för uppföljning av verksamheten i Storbritannien.

Styrelsen har även inrättat risk-, revisions- och ersättningsutskott som bland annat är beredande i frågor som ska beslutas av styrelsen. Riskutskottet fattar även beslut avseende exempelvis de betydande delarna av bankens riskklassificerings- och estimeringsprocesser kopplade till Internmetoden. Risk-, revisions- och ersättningsutskotten består endast av styrelseledamöter. Därtill har vd inrättat en Risk och Compliancekommitté för uppföljning av riskhantering inom olika områden samt fördjupade diskussioner kring bankens övergripande risksituation inför behandlingen av vissa frågor i riskutskottet och styrelsen. För en mer detaljerad beskrivning av kommittéerna och utskottens arbete hänvisas till Handelsbankens Bolagsstyrningsrapport på sidorna 66–81. Därutöver har banken ytterligare kommittéer såsom CRO:s riskforum och CFO:s Asset and Liability Committee (ALCO) med tillhörande underkommittéer för likviditet, kapital och värdering.

## Handelsbankens riskhantering och riskkontroll



## K2 Forts

**RAPPORTERING OCH UPPFÖLJNING AV RISK- OCH KAPITALSITUATIONEN**

Koncernens risker, förutom regel efterlevnadsriskerna, har under 2023 rapporterats av CRO minst kvartalsvis till vd, riskutskottet och styrelsen. Rapporterna har även föredragits i vd:s Risk- och Compliancekommitté. Koncernriskrapporterna innehåller CRO:s bedömning av koncernens väsentliga risker och en bedömning av om det finns väsentliga brister i verksamheten att rapportera och åtgärda. I förekommande fall innehåller rapporterna också förslag till åtgärder och uppföljning av tidigare rapporterade risker och brister. Koncernriskrapporterna omfattar även framåtblickande riskbedömningar och ska möjliggöra en bedömning av om Handelsbanken uppfyller den riskstrategi och den risktolerans som styrelsen fastställt. Koncernriskrapporterna utformas i enlighet med styrelsens Policy för riskkontroll. Utöver nämnda koncernriskrapporter lämnar Group Risk Control och Group Credits löpande och årevis rapporter avseende bankens kreditrisksituation (inklusive motparterrisker) och intern metod (IRK) till koncernledningen, vd:s Risk- och Compliancekommitté, riskutskottet och styrelsen samt till styrelserna i relevanta dotterbolag. Denna rapportering omfattar bland annat volymutveckling och krediter med förhöjd risk. Rapporteringen omfattar även utvärderingar av dels de interna riskklassificeringsprocesserna, dels bankens IRK-modeller och resultatet och validering av bankens IRK-modeller.

Riskforum, med CRO som ordförande har sammanträtt tio gånger under 2023. På riskforums möten görs en fördjupad uppföljning av koncernens aktuella risksituation, potentiella risker och åtgärder för kreditrisker, finansiella risker och operativa risker. Övriga riskslag kommenteras vid behov. Återhämtningsplanens indikatorer avrapporteras och eventuella åtgär-

der diskuteras vid behov. Vidare följs limitutnyttjandet för finansiella risker upp för hela koncernen.

Limitutnyttjandet för marknads- och likviditetsrisker sammanställs och kontrolleras dagligen av Group Risk Control. Limitöverträdelser rapporteras omgående till den som har beslutat om limiterna. Likviditetsrisken sammanställs av Group Risk Control och rapporteras dagligen till CFO och vd samt till styrelsen vid varje ordinarie styrelsemöte. Likviditetskommittén med Head of Group Treasury som ordförande sammanträder inför varje ordinarie styrelsemöte och i övrigt vid behov. Där föredras den aktuella likviditetssituationen, resultat av stresstester, scenarionanalyser och annan information som är relevant för bedömningen av koncernens likviditetssituation.

Bankens kapitalposition rapporteras veckovis till CFO och vd och minst kvartalsvis till styrelsen. I händelse av att något gränsvärde passeras eller om Head of Group Capital Management eller CFO av annan anledning bedömer det som lämpligt, ska förslag till lämpliga åtgärder presenteras för vd. Utifrån ett medel- och långsiktigt perspektiv sammanfattas kapitalpositionen kvartalsvis i kapitalkommittén. Group Capital Management gör en fullständig uppdatering av kapitalprognosen kvartalsvis eller vid signifikanta förändringar i banken.

Kapitalpositionen, utnyttjandet av marknadsrisklimit samt likviditetssituationen rapporteras till styrelsen åtminstone kvartalsvis.

Operativa risker och inträffade incidenter rapporteras löpande från kontor och avdelningar i hela koncernen till Group Risk Control som bevakar dem. Group Risk Control rapporterar i sin tur operativa risker och inträffade incidenter till vd, styrelsens riskutskott och till styrelsen. Ärligen utvärderas risker i ersättningsystemet och rapportering sker till styrelsens ersättnings- och riskutskott. Rapporteringen av operativa risker inkluderar information om

väsentliga händelser, större förluster, viktiga proaktiva åtgärder och en aggregerad riskbedömning på koncernnivå. Utöver detta följer Group Risk Control upp att beslutade åtgärder genomförs.

Regel efterlevnadsrisker har under 2023 rapporterats av Chief Compliance Officer minst kvartalsvis till vd, styrelsens riskutskott och styrelsen. Rapporteringen har inkluderat regel efterlevnadsrisker kopplade till finansiell kriminalitet, liksom dataskyddsrisker. Rapporterna har även föredragits i vd:s Risk- och Compliancekommitté.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

## STYRELSENS RISKDEKLARATION OCH RISKFÖRKLARING

Styrelsen har beslutat om följande riskdeklaration och riskförklaring.

**Riskdeklaration:**

Handelsbanken har tillfredsställande arrangemang för riskhantering vilka är ändamålsenliga i förhållande till bankens affärs mål, den risktolerans och riskstrategi som styrelsen beslutat om för verksamheten och bankens övergripande riskprofil.

**Risikförklaring:**

Handelsbankens affärs mål är att ha högre lönsamhet än genomsnittet för jämförbara konkurrenter på hemmamarknaderna. Målet ska främst nås genom nöjdare kunder och lägre kostnader än konkurrenterna. Handelsbanken är en bank med stark lokal förankring och ett decentraliserat arbetssätt.

Bankens generellt låga risktolerans innebär att den övergripande riskprofilen ska vara låg. Koncernen ska vara väl kapitaliserad i förhållande till riskerna, uppfylla de krav som myndigheter ställer och hålla likvida tillgångar för att klara sina betalningsförpliktelser, även i situationer av finansiell stress på kort och lång sikt. Risktoleransen och riskstrategin understödjer Handelsbankens strävan att ha en affärsmodell som är oberoende av förändringar i konjunkturykta.

Banken har och ska ha låga kreditrisker. Handelsbankens tolerans för kreditrisker återspeglas i en förväntan om att banken ska ha en god kapacitet för kreditgivning även i en allvarlig lågkonjunktur utan hjälp av statligt

stöd. Detta uppnås bland annat genom den starka lokala förankringen och de nära kundrelationerna. Krediternas kvalitet får aldrig åsidosättas för att nå högre volym eller högre marginal. Banken är selektiv i sitt kundurval med krav på att kredittagare har en god återbetalningsförmåga. Till följd av detta har kreditportföljen en tydlig koncentration till riskklasser där sannolikheten för förlust är låg. Det konsekventa tillvägagångssättet återspeglas i bankens över tid låga kreditförlustnivåer, vilka för år 2023 uppgick till 0,01 % (0,00) i relation till utlåningen till allmänheten.

För att säkerställa att banken är väl kapitaliserad i förhållande till riskerna och har en god likviditetssituation, fastställer styrelsen bankens risktolerans för kapitalisering och likviditet. När risktoleransen för kapitalisering beslutas, ställs kapitalmätt dels i relation till de lagstadgade kraven, dels i relation till Handelsbankens bedömda kapitalbehov utifrån bankens modell för ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC), som i ett samlat mått fångar koncernens risker. Risktoleransen för bankens likviditetsrisk beslutas, dels genom krav på att banken under stressade förhållanden ska ha tillräcklig likviditetsreserv i form av likvida och pantsättningsbara tillgångar samt likviditetsskapande åtgärder för att under fastställda tidsperioder kunna fortsätta sin rörelse, dels genom krav på det ackumulerade nettot mellan in- och utgående kassaflöden i olika tidsintervall.

Styrelsen har fastställt att kärmpärmärkapitalrelationen under normala förhållanden ska

uppgå till mellan 1 och 3 procentenheter utöver det av Finansinspektionen kommunicerade samlade kärmpärmärkapitalbehovet. Beträffande bruttosolditet ska relationstalet överstiga det av Finansinspektionen till banken kommunicerade samlade kapitalbehovet med minst 0,6 procentenheter.

Bankens bedömning av Finansinspektionens kärmpärmärkapitalkrav vid utgången av 2023 var 14,8% (14,5). Inklusiva Finansinspektionens vägledning inom ramen för Pelare 2 på 0,5%, och bankens bedömning av bruttosolditetskravet var 3,5% inklusive Finansinspektionens vägledning inom ramen för Pelare 2 på 0,5%. Styrelsen har även fastställt att kvoten mellan AFR (Available Financial Resources) och EC ska överstiga 120%.

Vid utgången av 2023 uppgick bankens kärmpärmärkapitalrelation till 18,8% (19,6) och kvoten mellan AFR och EC till 366% (413). Styrelsen har fastställt målet att banken ska ha ackumulerade positiva nettokassaflöden under minst ett år med beaktande av likviditetsreserven och under antagandet att delar av den lösa tidsbundna inlåningen från hushåll och företag försvinner under första månaden. Handelsbankens samlade likviditetsreserv inklusive likviditetsskapande åtgärder innebär att likviditetsbehovet täcks i mer än tre år under dessa stressade förhållanden.

Bankens riskprofil är i enlighet med den risktolerans och riskstrategi som fastställts av styrelsen.

## KREDITRISK

Kreditrisk definieras som risken att banken drabbas av ekonomisk förlust som följd av att bankens motparter inte kan fullfölja sina kontraktensliga förpliktelser.

## KREDITRISKSTRATEGI

Handelsbankens kreditprocess är centraliserad och gemensam för hela koncernen, men de enskilda affärsbesluten är decentraliserade. Kreditprocessen grundar sig i övertygelsen att en decentraliserad organisation med lokal förankring ger hög kvalitet i kreditbesluten. Banken är en relationsbank där kontoren håller löpande kontakt med kunden, vilket ger en djup kunskap om varje enskild kund och en kontinuerligt uppdaterad bild av kundens ekonomiska situation.

Handelsbanken är inte en massmarknadsbank utan är selektiv i kundurvalet, vilket innebär att kunderna ska ha en hög kreditkvalitet. Kvalitetskravet åsidosätts aldrig till förmån för högre kreditvolymer eller för att erhålla högre avkastning. Banken undviker även att delta i finansiering där det förekommer komplicerade kundkonstellationer, komplexa och svårförståeliga affärsupplägg eller höga ESG-risker.

När banken bedömer kreditrisken hos en viss kund bedöms i första hand kredittagarens återbetalningsförmåga. I bedömningen analyseras dels kundens finansiella ställning samt dels de risker som kunden är utsatt för och som kan komma att påverka stabiliteten i kundens finansiella ställning över tid. En del av riskanalysen består i att banken bedömer hur kunden påverkas av ESG-risker, inklusive klimatrisker, såväl fysiska som omställningsrisker. Ett av de första stegen i bedömningen av återbetalningsförmågan är att analysera vilken bransch kunden tillhör. Vi behöver förstå vilka utmaningar och risker som branschen står inför innan vi börjar att analysera vår enskilda kund. En svag återbetalningsförmåga kan aldrig kompenseras

med att banken erbjuder goda säkerheter. Säkerheter kan dock reducera bankens förlust väsentligt om kredittagaren inte kan fullfölja sina förpliktelser. Krediter ska därför normalt vara betryggande säkerställda.

Kontorets lokala förankring och nära relation med kunden innebär att kontoret snabbt kan identifiera och agera vid eventuella problem. Detta medför att banken i många fall kan agera snabbare än vad som hade varit möjligt vid en mer centraliserad hantering av problemkrediter. Kontoret har också det fulla ekonomiska ansvaret för kreditgivningen. Kontoret hanterar således de problem som uppstår när en kund brister i betalningsförmåga och kontoret bär eventuella kreditförluster. Vid behov får det lokala kontoret stöd från lokal kreditavdelning och från centrala avdelningar. Bankens arbetssätt leder till att alla som gör affärer förknippade med kreditrisk tillägnar sig ett väl etablerat synsätt för denna typ av risk. Detta synsätt utgör en viktig del av bankens kultur. De beskrivna arbets- och synsätten är viktiga anledningar till att banken över en lång tid redovisat mycket låga kreditförluster.

## K2 Forts

## KREDITORGANISATIONEN

I Handelsbankens decentraliserade organisation bär varje kundansvarigt kontor det fulla kreditansvaret. Kund- och kreditansvar ligger på kontorschefer eller de medarbetare som kontorschefer utser på det lokala kontoret.

I Handelsbankens decentraliserade organisation ingår också att underlaget för kreditbeslut alltid utarbetas av det kreditansvariga kontoret oavsett om det slutgiltiga beslutet fattas på kontoret, på läns- eller landsnivå, i styrelsens kreditkommitté eller av styrelsen. Underlaget för kreditbeslut innehåller bland annat allmän och ekonomisk information om kredittagaren, en bedömning av dennes återbetalningsförmåga, krediter och kreditvillkor samt värdering av säkerheter.

För landstyrelse, styrelsens kreditkommitté och styrelsen avser beslutet kreditlimitens totalbelopp och eventuellt utrymme för blankokrediter. För kredittagare vars sammanlagda krediter överstiger 5 mkr fattas kreditbeslutet i form av kreditlimit. Vid krediter till privatpersoner mot säkerhet i bostad inträder limitplikten för belopp över 12 mkr. Krediter till bostadsrättsföreningar mot säkerhet i bostadsfastighet blir limitpliktiga för belopp över 12 mkr.

Beviljade kreditlimit gäller i normalfallet ett år. Under vissa förutsättningar kan kreditlimit till bostadsrättsföreningar gälla maximalt tre år. Vid förlängning av kreditlimit är kravet på beslutsordning detsamma som för en ny kreditlimit.

Kontorschefer och de flesta medarbetare på kontor har personliga beslutandelimit som

gör det möjligt för dem att besluta om krediter till de kunder som de ansvärar för.

Vid beslut om större kreditlimit finns även beslutsinstanser på läns- och landsnivå samt central nivå. Varje högre beslutandenivå tillför ytterligare kreditkompetens. På varje beslutandenivå finns rätt att avstyra kreditlimit inom såväl den egna beslutandenivån som kreditlimit som annars skulle beslutats på högre beslutandenivåer. Samtliga kreditbeviljare i hela beslutsprocessen, oavsett nivå, måste vara eniga för att ett positivt kreditlimitbeslut ska komma till stånd. Finns minsta tveksamhet hos någon kreditbeviljare avslås kreditansökan. De största krediterna har beretts av Group Credits och beslutas av styrelsen eller den kreditkommitté som styrelsen inrättat. Utan tillstyrkan av kreditansvarig kontorschef kan dock ingen kreditansökan processas vidare i banken, förutom de kreditbeslut som fattas genom maskinella modeller. Sådana maskinella modeller ska godkännas av verkställande direktören.

Beslutsgången när det gäller krediter och kreditlimit illustreras av figur Kreditprocessen och beslutandenivåer i Handelsbanken nedan. I figuren visas även procentuell andel av antal kreditlimitbeslut och beslutade belopp fördelade på olika beslutandenivåer.

I Handelsbankens decentraliserade organisation, där en stor andel av antalet kredit- och kreditlimitbeslut fattas på de enskilda kontoren, är det viktigt att det finns en väl fungerande eftergranskningsprocess som säkerställer att besluten håller en hög kvalitet. Kontorschefer

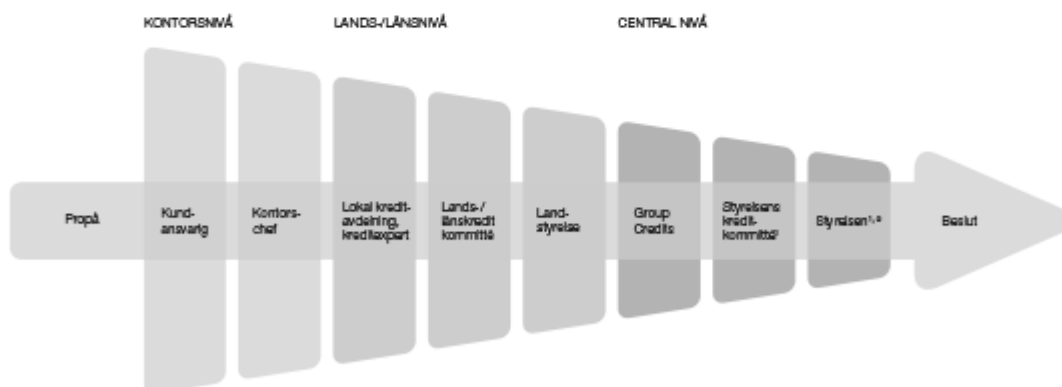
kvalitetsgranskar medarbetarnas beslut och lokala kreditavdelningen kvalitetsgranskar beslut fattade av kontorschefer.

Syftet med kvalitetsgranskningen är att säkerställa att bankens kreditpolicy och Interna Instruktioner efterlevs, att kreditkvaliteten upprätthålls och att kredit- och kreditlimitbeslut vittnar om gott kreditomdöme och sund affärs-mässighet. En motsvarande granskning av kvaliteten utförs även av kreditlimitbeslut som fattas av högre beslutandenivåer i banken. Kreditlimit som beviljas av läns- eller landskreditkommittéer och landstyrelser granskas av Group Credits, som även bereder och granskar kreditlimit som beslutas av styrelsen eller den kreditkommitté som styrelsen inrättat. Group Credits säkerställer också att kreditbedömningarna i hela koncernen sker på ett enhetligt sätt och att kreditgivningen utförs i enlighet med den kreditpolicy som styrelsen har fastställt.

## Ecster

Dotterbolaget Ecster AB arbetar med att erbjuda betalösningar till utvalda sällföretag över hela Sverige. Under 2023 fattades beslutet av banken att inleda en ordnad avveckling av Ecster. I arbetet med avveckling har samarbetet med samtliga sällföretag sagts upp under våren 2023 och därmed har inföddet av nya affärer och kreditansökningar minskat kraftigt och kommer vara helt borta per den 31 mars 2024. Finansieringstypens karaktär har krävt att snabba och korrekta kreditbesked kan levereras årets alla dagar, dygnet runt, vilket innebär att merparten av

Kreditprocessen och beslutandenivåer i Handelsbanken

Fördelning av fattade kreditlimitbeslut<sup>1</sup>

Andel av antal limit	74%	25%	1%
Andel av limitbelopp	14%	33%	53%

<sup>1</sup> För dotterbolaget Handelsbanken plc fattas besluten i Handelsbanken plc Board Credit Committee respektive Handelsbanken plc Board.

<sup>2</sup> Beslut andel om ärendet bedöms vara av särskilt eller allmänt intresse samt krediter till styrelseledamöter och vissa ledande befattningshavare.

<sup>3</sup> Exklusive stat- och banklimit som beslutas på central nivå.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Kreditexponeringar, geografisk fördelning 2023		Sverige	Stor- britannien	Norge	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
Postrar i balansräkningen								
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		67 825	113 645	4 776	10	128 696	161 159	476 181
Övrig utlåning till centralbanker	Nor K15	3 464	1 131	1 687	25 863			32 145
Utlåning till övriga kreditinstitut	Nor K16	17 467	766	208	3	335	519	19 297
Utlåning till allmänheten	Nor K17	1 639 614	230 671	313 265	144 563	97 110	8 923	2 434 217
Belåningsbara statskultförbindelser m m	Nor K18	199 128						199 128
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nor K19	50 087						50 087
Derivatinstrument	Nor K22	29 561					149	30 110
Summa		2 007 615	346 214	319 937	170 438	226 141	170 820	3 241 185
Postrar utanför balansräkningen								
Eventuella förbindelser	Nor K44	321 298	47 077	61 722	23 911	3 094	28 883	485 985
varav ansvarsförbindelser		28 601	6 439	3 807	3 907	100	15 266	58 120
varav åtaganden		292 697	40 638	57 915	20 004	2 995	13 616	427 865
Summa		321 298	47 077	61 722	23 911	3 094	28 883	485 985
Summa postrar i och utanför balansräkningen		2 328 914	393 291	381 659	194 349	229 235	199 703	3 727 180

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäljning, se not K14.

Kreditexponeringar, geografisk fördelning 2022		Sverige	Stor- britannien	Norge	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
Postrar i balansräkningen								
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		100 413	99 872	8 962	14	136 749	129 873	475 882
Övrig utlåning till centralbanker	Nor K15	3 348	1 256		28 015			32 630
Utlåning till övriga kreditinstitut	Nor K16	7 550	810	81	5	295	675	9 415
Utlåning till allmänheten	Nor K17	1 649 321	239 206	318 242	155 981	96 208	10 364	2 469 324
Belåningsbara statskultförbindelser m m	Nor K18	132 778						132 778
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nor K19	32 697					0	32 697
Derivatinstrument	Nor K22	36 112				50	99	36 261
Summa		1 962 219	341 148	327 285	184 016	233 302	141 011	3 188 977
Postrar utanför balansräkningen								
Eventuella förbindelser	Nor K44	338 750	48 511	66 178	34 619	2 694	29 337	520 089
varav ansvarsförbindelser		29 091	6 104	4 727	4 780	97	16 176	60 975
varav åtaganden		309 659	42 407	61 451	29 839	2 596	13 160	459 114
Summa		338 750	48 511	66 178	34 619	2 694	29 337	520 089
Summa postrar i och utanför balansräkningen		2 300 969	389 659	393 463	218 634	236 096	170 348	3 709 066

Med geografisk fördelning avses det land där exponeringarna är redovisade.

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprovning, geografisk fördelning 2023	Brutto			Reserver			Netto
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3	
Sverige	1 549 709	88 182	2 862	-143	-458	-538	1 639 614
Storbritannien	209 855	19 130	2 084	-162	-196	-40	239 671
Norge	300 653	12 348	527	-73	-96	-94	313 265
Finland	131 957	11 636	1 522	-44	-66	-442	144 563
Nederländerna	91 603	5 505	9	-3	-1	-3	97 110
Övriga länder	8 922	47	58	-1	0	-33	8 993
Summa	2 292 700	138 848	7 084	-428	-810	-1 150	2 434 217

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäljning, se not K14.

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprovning, geografisk fördelning 2022	Brutto			Reserver			Netto
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3	
Sverige	1 592 592	55 507	2 341	-212	-362	-545	1 649 321
Storbritannien	222 246	16 063	1 210	-117	-144	-50	239 208
Norge	306 286	11 715	587	-71	-125	-150	318 242
Finland	147 996	7 093	1 502	-62	-77	-471	155 981
Nederländerna	95 390	625	12	-11	-4	-4	96 208
Övriga länder	10 203	146	64	-2	-10	-37	10 364
Summa	2 374 713	91 349	5 716	-475	-722	-1 257	2 469 324



## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

besluten fattas av maskinella modeller. För de beslut som inte kan hanteras genom de maskinella modellerna görs manuella beslut där medarbetarna har personliga beslutsgränser. Vid beslut om större kreditlimiters fattas besluten i Ecsters kreditkommitté eller i styrelsen. Vid propägar om större engagemang och kunden är en befintlig Handelsbankenkund fattas beslut på det ansvariga kontoret eller i berörd instans som gäller i banken.

## KREDITPORTFÖLJEN

Bankens kreditportfölj presenteras i detta avsnitt med utgångspunkt från sammansatta

balansräkningsposter. I avsnittet Kapitalkrav för kreditrisker presenteras kreditportföljen med utgångspunkt från CAP.

Med utgångspunkt från koncernbalansräkningen kategoriseras krediter i utlåning till allmänhet respektive utlåning till kreditinstitut samt poster utanför balansräkningen fördelade på produkttyp. När begreppet exponering används avses summan av poster i och utanför balansräkningen. Utlåning till allmänheten är den dominerande posten. Se tabell Kredit-exponeringar Geografisk fördelning.

Handelsbanken eftersträvar att dess historiskt låga kreditförlustnivå i förhållande till andra

banker ska bestå och därmed bidra till Handelsbankens lönsamhetsmål samt till att bibehålla en god finansiell ställning. Handelsbanken granskar kontinuerligt kreditportföljens kvalitet i syfte att identifiera och begränsa nedskrivningsbehov. Banken strävar vid kreditgivning aldrig efter att uppnå bestämda volymer eller marknadsandelar inom olika branscher eller dylikt, utan banken ska vara selektiv i kundurvalet och kreditkunderna ska vara av hög kvalitet. Kvalitetskravet får aldrig åsidosättas för att nå hög kreditvolym. Det här framgår av bankens kreditpolicy som årligen fastställs av styrelsen.

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelad per sektor och bransch 2023 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3	
Privatpersoner	1 158 428	28 771	4 159	-143	-132	-589	1 190 494
varav hypotekslån	991 247	21 664	1 592	-38	-43	-44	1 014 378
varav övriga lån säkrat ställda i bostad	139 030	5 631	1 310	-44	-40	-93	145 794
varav övriga lån till privatpersoner	28 151	1 476	1 257	-61	-49	-452	30 322
Bostadsrättsföreningar	283 134	11 367	13	-4	-20	-9	294 481
varav hypotekslån	265 549	5 291	12	-7	-7	-8	270 842
Fastighetsförvaltning	648 688	81 834	1 084	-130	-240	-159	731 968
Tillverkningsindustri	19 210	4 150	72	-24	-105	-46	23 257
Handel	30 214	671	108	-13	-9	-62	30 909
Hotell- och restaurangverksamhet	4 333	1 903	101	-4	-9	-6	6 218
Person- och godstransport till sjöss	1 289	1	0	0	0	0	1 290
Övrig transport och kommunikation	11 985	178	18	-5	-2	-15	12 159
Byggnadverksamhet	14 238	4 429	281	-56	-264	-93	18 535
Elektricitet, gas och vatten	15 941	33	7	-2	0	-3	15 976
Jordbruk, jakt och skogsbruk	20 390	1 507	81	-7	-8	-3	21 960
Övrig serviceverksamhet	20 965	818	143	-11	-9	-85	21 821
Holding-, investment- och försäkringsbolag, fonder mm	23 154	878	12	-6	-5	-3	24 030
Stat och kommun	12 278	64	0	0	0	0	12 342
varav Åkegälden	6 748	0	0	0	0	0	6 748
Övrig företagsutlåning	28 453	344	85	-21	-7	-77	28 777
Summa	2 292 700	138 848	7 064	-428	-819	-1 180	2 434 217

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K14.

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelad per sektor och bransch 2022 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3	
Privatpersoner	1 163 864	42 542	3 078	-161	-133	-568	1 208 622
varav hypotekslån	983 183	33 965	1 162	-35	-32	-38	1 018 105
varav övriga lån säkrat ställda i bostad	144 073	6 931	912	-38	-44	-90	151 744
varav övriga lån till privatpersoner	36 608	1 746	1 004	-88	-57	-440	38 773
Bostadsrättsföreningar	287 299	1 933	38	-9	-2	-8	289 251
varav hypotekslån	262 117	955	11	-5	0	-6	263 072
Fastighetsförvaltning	705 567	27 035	1 434	-109	-105	-124	733 698
Tillverkningsindustri	34 186	2 907	49	-30	-116	-26	36 870
Handel	39 858	649	104	-13	-10	-56	40 532
Hotell- och restaurangverksamhet	4 296	1 978	19	-5	-30	-7	6 251
Person- och godstransport till sjöss	2 581	11	221	-2	-2	-77	2 792
Övrig transport och kommunikation	8 599	1 088	36	-17	-36	-33	9 637
Byggnadverksamhet	17 219	3 549	119	-65	-175	-72	20 575
Elektricitet, gas och vatten	15 331	968	4	-5	-2	-3	16 293
Jordbruk, jakt och skogsbruk	19 997	2 223	40	-25	-75	-14	22 146
Övrig serviceverksamhet	21 030	577	180	-14	-7	-139	21 627
Holding-, investment- och försäkringsbolag, fonder mm	32 820	5 748	34	-9	-14	-24	38 555
Stat och kommun	4 520	84	0	0	-1	0	4 603
varav Åkegälden	1 586	0	0	0	0	0	1 586
Övrig företagsutlåning	17 546	157	360	-11	-14	-106	17 932
Summa	2 374 713	91 349	5 718	-476	-722	-1 257	2 468 324

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Med anledning av de försämrade makroekonomiska förutsättningarna under året, som ökad inflation, minskad efterfrågan och inte minst ökade räntekostnader, har det under året gjorts djupare analyser av påverkan på kreditportföljen. Analyserna visar inte på någon signifikant omedelbar ökning av kreditrisken men dock generellt en ökad osäkerhet vilket återspeglas

i de modellbaserade reserveringarna i steg 1 och steg 2.

Banken har utifrån olika klimatscenarioer gjort analyser av fysiska klimatrisker i kreditportföljens fastighetsexponeringar i Sverige. Dessa har indikerat en mycket begränsad påverkan.

En initial bedömning har även gjorts av hur införande av energieffektiviseringskrav på fastig-

heter kan påverka fastighetsbolag i bankens kreditportfölj i Sverige. Den genomsnittliga belåningsgraden för fastighetsbolagens totala belåning beräknas över tid öka med några få procentenheter till en fortsatt betryggande nivå givet oförändrade fastighetsvärden.

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, geografisk fördelning per sektor och bransch 2023 mkr	Sverige	Storbritannien	Norge	Finland	Nederländerna	Övriga länder	Summa
Privatpersoner	928 455	67 678	119 527	39 633	29 800	5 401	1 190 494
varav hypotekslån	905 229		92 266	16 883			1 014 378
varav övriga lån säkerställda i bostad	3 548	64 882	25 603	17 145	29 555	5 067	145 794
varav övriga lån privatpersoner	19 678	2 796	1 658	5 605	245	340	30 322
Bostadsrättsföreningar	220 222		28 339	45 920			294 481
varav hypotekslån	211 610		27 672	31 580			270 862
Fastighetsförvaltning	330 257	144 438	139 703	50 114	66 462	994	731 968
Tillverkningsindustri	16 511	1 457	2 634	1 036	1	1 618	23 257
Handel	23 205	2 213	4 397	335	2	757	30 909
Hotell- och restaurangverksamhet	2 310	3 482	349	17	60		6 218
Person- och godstransport till sjöss	1 162	13	4	111			1 290
Övrig transport och kommunikation	9 497	428	1 215	557	461	1	12 159
Byggnadsverksamhet	7 226	1 812	9 054	431	7	5	18 535
Bekräftat, gas och vatten	9 946	303	3 619	1 997	111		15 976
Jordbruk, jakt och skogsbruk	20 049	1 511	240	156		4	21 960
Övrig serviceverksamhet	14 229	4 231	2 527	807	22	5	21 821
Holding-, investmant-, försäkringsbolag, fonder m.m.	19 857	2 946	505	623	96	2	24 030
Stat och kommun	10 238		222	1 882			12 342
varav Riksgälden	6 748						6 748
Övrig företagsutlåning	26 451	150	929	944	88	206	28 777
<b>Netto utlåning till allmänheten</b>	<b>1 639 614</b>	<b>230 671</b>	<b>313 285</b>	<b>144 863</b>	<b>97 110</b>	<b>8 993</b>	<b>2 434 217</b>
varav total reservering för förväntade kreditförluster (Steg 1–3)	-1 139	-320	-254	-552	-7	-35	-2 395
<b>Brutto utlåning till allmänheten</b>	<b>1 640 753</b>	<b>231 070</b>	<b>313 030</b>	<b>145 115</b>	<b>97 117</b>	<b>9 028</b>	<b>2 436 612</b>

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller för försäljning, se not K14.

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, geografisk fördelning per sektor och bransch 2022 mkr	Sverige	Storbritannien	Norge	Finland	Nederländerna	Övriga länder	Summa
Privatpersoner	937 527	72 598	119 177	44 116	28 567	6 637	1 208 622
varav hypotekslån	906 953		92 486	18 686			1 018 105
varav övriga lån säkerställda i bostad	4 265	68 733	24 711	18 885	28 234	6 236	151 744
varav övriga lån privatpersoner	25 619	3 865	1 980	6 565	343	401	38 773
Bostadsrättsföreningar	213 411		28 818	47 022			289 251
varav hypotekslån	204 791		27 855	30 426			263 072
Fastighetsförvaltning	323 824	147 982	142 876	51 322	66 665	1 029	733 698
Tillverkningsindustri	27 147	1 560	2 896	3 219	3	2 045	36 870
Handel	32 960	2 730	4 033	427	8	374	40 532
Hotell- och restaurangverksamhet	2 331	3 586	320	29	5		6 251
Person- och godstransport till sjöss	2 305	7	152	268			2 732
Övrig transport och kommunikation	6 035	439	1 941	672	549	1	9 637
Byggnadsverksamhet	8 346	1 955	9 588	650	31	5	20 575
Bekräftat, gas och vatten	9 407	310	2 945	3 520	111		16 293
Jordbruk, jakt och skogsbruk	20 303	1 394	274	158		17	22 146
Övrig serviceverksamhet	13 737	4 193	2 795	795	64	43	21 627
Holding-, investmant-, försäkringsbolag, fonder m.m.	34 799	2 350	605	644	153	4	38 555
Stat och kommun	1 249		205	3 010		49	4 603
varav Riksgälden	1 566						1 566
Övrig företagsutlåning	15 940	124	1 527	129	52	160	17 932
<b>Netto utlåning till allmänheten</b>	<b>1 640 321</b>	<b>230 208</b>	<b>318 242</b>	<b>155 981</b>	<b>96 208</b>	<b>10 364</b>	<b>2 460 324</b>
varav total reservering för förväntade kreditförluster (Steg 1–3)	-1 119	-311	-347	-509	-19	-49	-2 454
<b>Brutto utlåning till allmänheten</b>	<b>1 640 440</b>	<b>230 519</b>	<b>318 589</b>	<b>156 500</b>	<b>96 227</b>	<b>10 413</b>	<b>2 471 778</b>

## K2 Forts

## Säkerheter

I bankens kreditpolicy framgår att krediter normalt skavars betryggande säkerställda. En svag återbetalningsförmåga kan aldrig kompenseras med att banken erbjuda goda säkerheter. Säkerheter kan dock reducera bankens förlust väsentligt om kredittagaren inte kan fullfölja sina förpliktelser.

Banken begränsar kreditrisken genom att bland annat ta in säkerheter från kunderna. De främsta sätten att reducera kreditrisk i banken är pantsättning av fast egendom såsom bostadsfastigheter och övriga fastigheter, företagshypotek, garantier (inklusive borgen) och användning av nettningsavtal (se vidare Motpartsrisiker).

Grundprincipen vid fastighetsfinansiering är att krediter ska vara säkerställda med pant i fastigheter. För exponeringar med fastigheter som säkerhet beräknas en belåningsgrad, Loan

To Value (LTV), genom att dividera kreditexponeringen med säkerhetens marknadsvärde. Banken följer interna rekommendationer och externa regelverk som bland annat begränsar hur mycket som är möjligt att låna med fastighet som säkerhet. Säkerheternas värde kontrolleras årligen och baseras på ett uppskattat marknadsvärde. Om marknadsvärdet bedöms ha sjunkit och värdet på panten har försämrats sker kontroll oftare. Då det som regel blir aktuellt att ta säkerheter i anspråk först sedan kredittagaren drabbats av allvariga betalningssvårigheter inriktas värderingen av säkerheter på det värde säkerheterna förväntas ha vid en försäljning under ogynnsamma omständigheter i samband med en obeståndssituation.

Vid långfristiga kreditåtaganden utan säkerhet till företag avtalar banken ofta med kunden om särskilda kreditvillkor som ger rätt till om-

förhandling eller uppsägning vid ogynnsam utveckling.

Under speciella omständigheter kan banken köpa kreditderivat eller finansiella garantier som kreditriskskydd för fordringar. Detta förekommer dock inte inom bankens ordinarie kreditgivning.

En mindre del av utlåningen till kreditinstitut är omvända repor. En omvänd repa är en återköpstransaktion som innebär att banken repa in (köper) räntebärande värdepapper eller aktier med särskild överenskommelse att värdepappret ska säljas tillbaka till ett visst pris vid en viss tidpunkt. Omvända repor betraktas av banken som säkerställd utlåning.

Säkerheterna specificerade i tabellerna nedan är endast sådana som används i kapitalkravsberäkningen för kreditrisker.

Kreditkategorier, fördelade per säkerhet 2023									
milj		Bostadsfastigheter <sup>1</sup>	Övriga fastigheter	Stat, kommun och landsting <sup>2</sup>	Borgen <sup>3</sup>	Finansiella säkerheter	Objekt säkerheter	Övriga säkerheter	Summa
<b>Poster i balansräkningen</b>									
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker				476 181					476 181
Övrig utlåning till centralbanker	Nor K15			32 145					32 145
Utlåning till övriga kreditinstitut	Nor K16							19 297	19 297
Utlåning till allmänheten	Nor K17	1 802 548	381 314	83 954	12 275	13 072	18 300	7 181	2 434 217
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	Nor K18			197 348	543			1 237	199 128
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nor K18			3 838	239			46 010	50 087
Derivatinstrument	Nor K22			442		43		29 625	30 110
<b>Summa</b>		<b>1 802 548</b>	<b>381 314</b>	<b>708 008</b>	<b>13 057</b>	<b>13 115</b>	<b>18 300</b>	<b>7 181</b>	<b>3 241 166</b>
<b>Poster utanför balansräkningen</b>									
Brentuallförbindelser	Nor K44	71 689	57 200	27 281	3 325	12 720	376	7 504	485 985
varav ansvärsförbindelser		525	1 061	2 239	228	918		795	58 120
varav låntaganden		71 164	56 139	25 042	3 097	11 802	376	6 709	427 865
<b>Summa</b>		<b>71 689</b>	<b>57 200</b>	<b>27 281</b>	<b>3 325</b>	<b>12 720</b>	<b>376</b>	<b>7 504</b>	<b>485 985</b>
<b>Summa poster i och utanför balansräkningen</b>		<b>1 874 237</b>	<b>438 514</b>	<b>821 189</b>	<b>16 382</b>	<b>25 835</b>	<b>18 676</b>	<b>14 685</b>	<b>3 727 150</b>

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K14.

Kreditkategorier, fördelade per säkerhet 2022									
milj		Bostadsfastigheter <sup>1</sup>	Övriga fastigheter	Stat, kommun och landsting <sup>2</sup>	Borgen <sup>3</sup>	Finansiella säkerheter	Objekt säkerheter	Övriga säkerheter	Summa
<b>Poster i balansräkningen</b>									
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker				475 882					475 882
Övrig utlåning till centralbanker	Nor K15			32 620					32 620
Utlåning till övriga kreditinstitut	Nor K16							9 415	9 415
Utlåning till allmänheten	Nor K17	1 811 762	381 614	48 207	12 536	14 056	21 446	9 787	2 469 324
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	Nor K18			130 416				2 362	132 778
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nor K18			6 461	815			30 032	32 697
Derivatinstrument	Nor K22	189	354	3 361	223	86		32 048	36 261
<b>Summa</b>		<b>1 811 951</b>	<b>381 968</b>	<b>806 947</b>	<b>13 574</b>	<b>14 142</b>	<b>21 446</b>	<b>9 787</b>	<b>3 188 977</b>
<b>Poster utanför balansräkningen</b>									
Brentuallförbindelser	Nor K44	77 835	55 377	28 756	4 998	11 805	733	8 464	520 089
varav ansvärsförbindelser		743	1 223	2 148	1 357	935		866	60 975
varav låntaganden		77 092	54 154	26 608	3 641	10 870	733	7 598	459 114
<b>Summa</b>		<b>77 835</b>	<b>55 377</b>	<b>28 756</b>	<b>4 998</b>	<b>11 805</b>	<b>733</b>	<b>8 464</b>	<b>520 089</b>
<b>Summa poster i och utanför balansräkningen</b>		<b>1 889 786</b>	<b>437 345</b>	<b>825 703</b>	<b>18 572</b>	<b>25 947</b>	<b>22 179</b>	<b>18 251</b>	<b>3 709 066</b>

<sup>1</sup> Inklusive bostadsrätter.

<sup>2</sup> Avser direkta stats- och kommunexponeringar samt statsgarantier.

<sup>3</sup> Inkluderar ej statsgarantier.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nödskötningsprövning, fördelat per säkerhet 2023 mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Poster i balansräkningen</b>						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	476 162					
Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>	476 162					
Övrig utlåning till centralbanker	32 146					
Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>	32 146					
Utlåning till övriga kreditinstitut	10 289	11		-1	-1	
Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>						
Borgen <sup>2</sup>						
Blanko	10 289	11		-1	-1	
Utlåning till allmänheten	2 292 700	136 848	7 064	-426	-819	-1 100
Bostadsfastigheter <sup>3</sup>	1 711 455	87 744	4 001	-155	-313	-184
Övriga fastigheter	349 131	31 606	994	-109	-174	-134
Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>	78 564	5 040	365	-2	-13	0
Borgen <sup>2</sup>	8 979	3 330	2	-5	-31	0
Finansiella säkerheter	12 252	829	2	-6	-5	0
Objekt	17 165	1 158	64	-27	-43	-17
Övriga säkerheter	6 322	968	302	-15	-65	-231
Blanko	108 832	6 273	1 334	-107	-175	-584
Bekräftade statsskuldförbindelser m m						
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	12 709			-2		
<b>Summa</b>	<b>2 893 004</b>	<b>136 869</b>	<b>7 064</b>	<b>-429</b>	<b>-820</b>	<b>-1 100</b>
<b>Poster utanför balansräkningen</b>						
Eventuallånepliktbelopp	284 603	11 282	164	-94	-203	-42
varav ansvarsförbindelser	56 464	1 596	60	-11	-40	-22
Bostadsfastigheter <sup>3</sup>	439	78	8	0	-3	-4
Övriga fastigheter	998	62	1	0	-1	0
Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>	2 168	70	1	0	-1	0
Borgen <sup>2</sup>	147	80		0	-1	
Finansiella säkerheter	802	113	3	0	-1	0
Objekt						
Övriga säkerheter	699	88	7	0	-3	0
Blanko	51 211	1 105	40	-11	-30	-18
varav åtaganden	228 229	9 666	104	-83	-163	-20
Bostadsfastigheter <sup>3</sup>	69 911	1 207	46	-11	-6	-18
Övriga fastigheter	54 519	1 613	8	-7	-12	0
Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>	24 955	86		0	0	
Borgen <sup>2</sup>	2 296	800		-1	-6	
Finansiella säkerheter	11 612	186	3	0	-1	0
Objekt	353	21	2	0	-1	0
Övriga säkerheter	5 860	841	8	-8	-49	-1
Blanko	58 723	4 912	37	-56	-88	-1
<b>Summa</b>	<b>284 603</b>	<b>11 282</b>	<b>164</b>	<b>-94</b>	<b>-203</b>	<b>-42</b>
<b>Summa poster i och utanför balansräkningen</b>	<b>3 117 607</b>	<b>148 121</b>	<b>7 228</b>	<b>-523</b>	<b>-1 023</b>	<b>-1 142</b>

<sup>1</sup> Avser direkta stats- och kommunexponeringar samt statsgarantier.<sup>2</sup> Inkluderar ej statsgarantier.<sup>3</sup> Inklusive bostadsrätter.

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäljning, se not K14.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelat per säkerhet 2022 mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Poster i balansräkningen</b>						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	475 883			0		
Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>	475 883			0		
Övrig utlåning till centralbanker	Not K7.5			0		
Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>	32 620			0		
Utlåning till övriga kreditinstitut	Not K7.6	1		-2	-1	
Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>						
Borgen <sup>2</sup>						
Blanko	9 418	1		-2	-1	
Utlåning till allmänheten	Not K7.7					
Bostadsfastigheter <sup>3</sup>	2 374 713	91 349	5 716	-475	-722	-1 257
Övriga fastigheter	1 754 173	55 422	2 708	-153	-188	-200
Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>	360 572	20 728	769	-113	-208	-134
Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>	45 921	1 936	360	-4	-6	
Borgen <sup>2</sup>	12 311	243	1	-3	-16	
Finansiella säkerheter	13 804	258	1	-4	-3	
Objekt	19 719	1 836	45	-45	-94	-15
Övriga säkerheter	8 997	875	310	-22	-82	-231
Blanko	159 276	10 051	1 522	-131	-125	-677
Bekräftade statsskuldförbindelser m m	Not K7.8	200		0		
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Not K7.9	9 882		-2		
<b>Summa</b>	<b>2 902 686</b>	<b>91 350</b>	<b>5 716</b>	<b>-480</b>	<b>-723</b>	<b>-1 257</b>
<b>Poster utanför balansräkningen</b>						
Eventuella förpliktelser	Not K4.4					
Varav ansvarsförbindelser						
Bostadsfastigheter <sup>3</sup>	314 586	12 833	274	-103	-169	-82
Övriga fastigheter	58 273	1 935	67	-5	-11	-19
Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>	695	43	5	0	0	-1
Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>	970	252		0	-3	
Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>	2 096	47	5	0	0	0
Borgen <sup>2</sup>	1 030	326		0	-1	
Finansiella säkerheter	840	91	3	0	-1	0
Objekt						
Övriga säkerheter	711	139	17	-1	-2	-5
Blanko	52 631	1 037	37	-5	-4	-13
Varav åtaganden	255 673	10 598	207	-97	-158	-63
Bostadsfastigheter <sup>3</sup>	74 461	2 597	34	-21	-12	-20
Övriga fastigheter	53 086	1 054	4	-10	-18	0
Stat, kommun och landsting <sup>1</sup>	26 591	16		0	-1	
Borgen <sup>2</sup>	3 538	103		-1	-4	
Finansiella säkerheter	10 842	28		0	0	
Objekt	710	22		-2	-3	
Övriga säkerheter	6 719	853	16	-10	-48	-2
Blanko	79 666	5 905	153	-53	-72	-41
<b>Summa</b>	<b>314 586</b>	<b>12 833</b>	<b>274</b>	<b>-103</b>	<b>-169</b>	<b>-82</b>
<b>Summa poster i och utanför balansräkningen</b>	<b>3 217 272</b>	<b>103 883</b>	<b>5 990</b>	<b>-583</b>	<b>-892</b>	<b>-1 339</b>

<sup>1</sup> Avser drädda stats- och kommunexponeringar samt statsgarantier.<sup>2</sup> Inkluderar ej statsgarantier.<sup>3</sup> Inklusive bostadsrätter.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

## Kreditriskkoncentrationer

Handelsbankens kontor är starkt fokuserade på att etablera långsiktiga relationer med kunder som har hög kreditvärdighet. Om ett kontor identifierar en bra kund ska kontoret kunna göra affärer med kunden oavsett om banken som helhet har en stor exponering mot den bransch som kunden representerar. Som en konsekvens av det har banken relativt stora koncentrationer i enskilda sektorer. Banken följer dock kreditportföljens utveckling och kvalitet och beräknar koncentrationer mot olika typer av branscher och geografiska områden. Banken mäter och följer också exponeringar mot större enskilda motparter. Särskilda limiter tillämpas för att begränsa den maximala kreditexponeringen mot enskilda motparter som ett komplement till kreditriskbedömningen. Om en koncentration i kreditportföljen avseende sektor

eller motpart kan antas utgöra en förhöjd risk, följs denna koncentration upp. Koncentrationsrisker fångas upp i bankens beräkning av ekonomiskt kapital för kreditrisker och i de stress-tester som görs i den interna kapitalutvärderingen och som en del av uppföljningen av bankens risktolerans. Finansinspektionen beräknar också ett särskilt kapitalkravspåslag i Pelare 2 för koncentrationsrisker i kreditportföljen. Därigenom säkerställs att banken är väl kapitaliserad med hänsyn också till koncentrationsrisker. Om koncentrationsriskerna skulle bedömas vara för stora har banken både möjlighet och förmåga att vidta olika riskreducerande åtgärder.

Handelsbanken har, utöver bolån och utlåning till bostadsrättsföreningar, en betydande utlåning till fastighetsförvaltning om 732 mdkr (734). Med fastighetsförvaltning avses här alla företag som

riskklassificeras som fastighetsbolag. Det är vanligt förekommande att koncernverksamhet i andra branscher har dotterbolag som förvaltar de fastigheter som koncernen bedriver verksamhet i, och även sådana fastighetsbolag anses här tillhöra fastighetsförvaltning. Den underliggande kreditrisken i sådana fall är dock inte enbart fastighetsrelaterad eftersom motpartens återbetalningsförmåga bestäms av annan verksamhet än fastighetsförvaltningen. Därutöver riskklassificeras privatpersoner med större fastighetsinnehav som fastighetsbolag.

En mycket stor del av fastighetsutlåningen är säkerställd i fastigheter med låg belåningsgrad vilket minskar bankens risk för kreditförluster. En stor del av fastighetsutlåningen sker dessutom till statliga fastighetsbolag, kommunala bostadsbolag och annan bostadsrelaterad verksamhet där låntagarna genomgående har

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, Fastighetsförvaltning 2023 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3	
<b>Utlåning i Sverige</b>							
Statligt ägda fastighetsbolag	11 306			0			11 306
Kommunalt ägda fastighetsbolag	7 311	515		0	0		7 826
Bostadsfastighetsbolag	129 563	30 200	64	-7	-68	-13	159 739
varav hypotekslån	127 606	28 574	56	-6	-64	-7	150 159
Övrig fastighetsförvaltning	131 093	20 222	164	-11	-30	-52	151 386
varav hypotekslån	72 794	10 636	63	-3	-17	-21	83 652
<b>Summa</b>	<b>279 273</b>	<b>50 937</b>	<b>228</b>	<b>-18</b>	<b>-98</b>	<b>-65</b>	<b>330 257</b>
<b>Utlåning utanför Sverige</b>							
Storbritannien	129 672	13 876	1 132	-87	-129	-26	144 438
Norge	133 310	6 364	91	-22	-12	-28	139 703
Finland	44 389	5 249	522	-2	-9	-35	50 114
Nederländerna	61 056	5 408		-1	-1		66 462
Övriga länder	988		11	0		-5	994
<b>Summa</b>	<b>369 415</b>	<b>30 897</b>	<b>1 756</b>	<b>-112</b>	<b>-151</b>	<b>-94</b>	<b>401 711</b>
<b>Summa fastighetsförvaltning inom utlåning till allmänheten</b>	<b>648 688</b>	<b>81 834</b>	<b>1 984</b>	<b>-130</b>	<b>-249</b>	<b>-109</b>	<b>731 968</b>

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller fördråning, se not K14.

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, Fastighetsförvaltning 2022 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3	
<b>Utlåning i Sverige</b>							
Statligt ägda fastighetsbolag	11 198			0			11 198
Kommunalt ägda fastighetsbolag	8 212			0			8 212
Bostadsfastighetsbolag	148 992	3 851	22	-6	-5	-8	152 846
varav hypotekslån	137 576	3 687	18	-5	-5	-4	141 241
Övrig fastighetsförvaltning	145 098	6 376	171	-15	-15	-47	151 568
varav hypotekslån	77 194	1 656	32	-3	-4	0	78 875
<b>Summa</b>	<b>313 600</b>	<b>10 227</b>	<b>193</b>	<b>-21</b>	<b>-20</b>	<b>-55</b>	<b>323 824</b>
<b>Utlåning utanför Sverige</b>							
Storbritannien	138 506	8 972	647	-51	-60	-32	147 982
Norge	138 171	4 684	62	-22	-10	-9	142 876
Finland	48 458	2 383	521	-5	-12	-23	51 322
Nederländerna	65 913	765		-10	-3		66 665
Övriga länder	1 019	4	11	0	0	-5	1 029
<b>Summa</b>	<b>392 067</b>	<b>16 808</b>	<b>1 241</b>	<b>-88</b>	<b>-85</b>	<b>-69</b>	<b>409 874</b>
<b>Summa fastighetsförvaltning inom utlåning till allmänheten</b>	<b>706 667</b>	<b>27 035</b>	<b>1 434</b>	<b>-109</b>	<b>-105</b>	<b>-124</b>	<b>733 698</b>

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

starka och stabila kassaföden och därigenom mycket hög kreditvärdighet. En stor del av utlåningen till fastighetssektorn är således till bolag med mycket låg sannolikhet för finansiella svårigheter. Bankens exponering mot fastighetssektorn finns specificerad i tabeller nedan.

Andelen exponeringar hänförliga till fastighetsmotparter (fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar) som har en sämre rating än bankens riskklass 5 (normal risk) är låg, 93,8% (98,2) av total fastighetsutlåning i Sverige återfinns i risk-

klass 5 eller bättre. Motsvarande uppgift avseende fastighetsutlåningen i Norge uppgår till 97,9% (99,6), och i Finland 97,3% (97,8). Storbritanniens och Nederländernas kapitalkrav beräknas med schablonmetoden som har föreskrivna riskvikter, vilket innebär att riskklasserna inte är relevanta för kapitalkravsberäkningen. Av de motparter som återfinns i sämre riskklasser än normalt återfinns huvuddelen i riskklasserna 6-7 och endast små volymer i de högre riskklasserna 8-9. För information om Handels-

bankens riskklassificering, se not K2 avsnitt Beräkning av kapitalkrav för kreditrisker.

Handelsbankens utlåning till fastighetsbolag har under det senaste året minskat. I lokal valuta har portföljen i Sverige vuxit, medan portföljerna i Storbritannien, Norge, Finland och Nederländerna har minskat. Handelsbanken har samma strikta krav på återbetalningsförmåga, belåningsgrader och säkerhetskvalitet på samtliga marknader.

Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, typ av säkerhet och land (Brutto)	2023					2022				
	Utlåning	Stat och kommun <sup>1</sup>	Bostadsfastigheter	Kommersiella fastigheter och övriga säkerheter	Blanko	Utlåning	Stat och kommun <sup>1</sup>	Bostadsfastigheter	Kommersiella fastigheter och övriga säkerheter	Blanko
svenska	330 438	19 667	182 787	118 746	9 238	323 920	20 052	175 283	116 708	11 877
Storbritannien	144 680	6	80 478	63 178	1 018	148 125	9	84 065	63 567	484
Norge	130 765	24	10 345	111 245	9 151	142 917	25	26 365	107 793	8 734
Finland	50 160	30 360	7 598	11 683	519	51 362	30 041	7 225	13 830	266
Nederländerna	66 464		47 829	18 504	41	66 678		44 914	21 544	220
Övriga länder	999		431	557	11	1 034		562	459	13
Summa	732 606	50 057	338 488	324 003	19 978	734 036	50 127	338 414	323 901	21 604

<sup>1</sup> Bolag ägda av stat och kommun/fastighetsutlåning garanterad av stat och kommun.

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller för försäljning, se not K14.

Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och land 2023								
Riskklass		Sverige	Storbritannien	Norge	Finland	Nederländerna	Övriga länder	Summa
1		10 067		637	11 895			23 400
2		71 060		16 990	5 590			93 640
3		108 232		71 103	14 488			193 823
4		78 140		39 482	11 985			129 616
5		41 524		8 554	4 760			54 838
6		16 619		2 571	510			19 700
7		3 137		299	176			3 612
8		129		2	145			276
9		390		9	20			419
Fallissemang		228		91	522			841
Schablonmetoden <sup>1</sup>		3	144 680	27	69	66 464	999	212 242
Summa		330 438	144 680	130 785	50 160	66 464	999	732 606

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller för försäljning, se not K14.

Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och land 2022								
Riskklass		Sverige	Storbritannien	Norge	Finland	Nederländerna	Övriga länder	Summa
1		17 831		807	13 052			31 700
2		94 409		35 509	5 837			135 755
3		136 834		62 647	18 846			218 327
4		47 862		31 834	8 151			87 847
5		20 273		11 503	4 245			36 021
6		4 972		216	465			5 653
7		315		279	113			707
8		131			41			172
9		73		32	6			111
Fallissemang		194		62	521			777
Schablonmetoden <sup>1</sup>		1 026	148 125	28	75	66 678	1 034	216 566
Summa		323 920	148 125	142 917	51 362	66 678	1 034	734 036

<sup>1</sup> Schablonmetoden har föreskrivna riskvikter, riskklasserna är därför ej relevanta.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och säkerhet 2023 mio	Säkerhet				
	Utlåning	Bostadsfastigheter	Kommersiella fastigheter	Stat och kommun <sup>1</sup>	Övriga säkerheter
Riskklass					Blanko
1	23 499	6 349	4 253	11 704	369
2	93 640	43 522	29 089	18 782	140
3	193 823	68 451	107 606	8 984	464
4	129 616	49 143	67 137	7 120	811
5	54 838	27 943	21 952	2 577	662
6	19 700	11 414	7 424	376	13
7	3 612	2 230	1 257	54	8
8	276	87	68	118	
9	419	350	51		5
Fallissemang	841	228	240	336	3
Schablonmetoden <sup>1</sup>	212 242	128 751	81 861	6	461
Summa	732 006	338 468	321 067	50 057	2 936

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K14.

Utlåning till allmänheten, Fastighetsförvaltning, riskklass och säkerhet 2022 mio	Säkerhet				
	Utlåning	Bostadsfastigheter	Kommersiella fastigheter	Stat och kommun <sup>1</sup>	Övriga säkerheter
Riskklass					Blanko
1	31 700	8 322	4 811	16 608	1 094
2	135 755	62 315	51 154	15 876	658
3	218 327	89 223	109 973	9 855	560
4	87 847	39 326	40 008	5 334	268
5	36 021	8 908	22 977	1 628	705
6	5 653	284	4 855	378	18
7	707	244	408	7	35
8	172	70	101		
9	111	37	56		7
Fallissemang	777	145	247	342	13
Schablonmetoden <sup>1</sup>	216 966	129 540	85 129	9	824
Summa	734 036	338 414	319 719	50 127	4 182

<sup>1</sup> Schablonmetoden har föreskrivna riskvikter, riskklasserna är därför ej relevanta.

## BERÄKNING AV KAPITALKRAV FÖR KREDITRISKER

## Riskklassificeringssystem

Kapitalkravet för kreditrisk beräknas enligt schablonmetoden och Internmetoden i enlighet med förordning (EU) nr 575/2013 (CRR). Schablonmetoden innebär att riskvikterna vid beräkningen av kapitalkrav för kreditrisk är föreskrivna i regelverket. Internmetoden innebär att Institut vid beräkningen av kapitalkrav för kreditrisk skattar riskparametrar genom användning av egna IRK-modeller (IRK, Interna riskklassificeringssystem). Vid tillämpningen av Internmetoden finns två olika metoder: den grundläggande Internmetoden och den avancerade Internmetoden. I den grundläggande Internmetoden beräknas sannolikhet för fallissemang (PD) med bankens egna IRK-modeller medan förlustandel vid fallissemang (LGD) och konverteringsfaktor (KF) är givna av regelverket. KF används vid beräkning av exponeringsbelopp för åtaganden utanför balansräkningen. I den avancerade Internmetoden beräknas utöver sannolikhet för fallissemang (PD) även LGD och KF med bankens egna IRK-modeller. Handelsbankens Interna

riskklassificeringssystem (IRK), eller med andra ord Internmetoden, består av ett antal olika system, metoder, processer och rutiner som stödjer Handelsbankens klassificering och kvantifiering av kreditrisk.

Vid kreditbedömningen av kunder åsätts kunderna en rating. Den ratingen styr, tillsammans med andra riskklassificeringskriterier, hur exponeringar hänförs till Internmetodens indelning i riskklasser.

Ratingens två dimensioner är risken för finansiella påfrestande (A) och motpartens finansiella motståndskraft vid sådana påfrestande (B). Dessa graderas i en femgradig skala från mycket låg risk till mycket hög risk.

Ratingen omvandlas till en Intern riskklass vid tillämpning av Internmetoden (A+B-1) för företags- och Instituts exponeringar samt för exponeringar mot stater, centralbanker, statliga myndigheter och kommuner (statsexponeringar).

Ratingen för hushållsexponeringar sätts bara i en dimension, enligt en femgradig skala, och omvandlas inte direkt till en riskklass som för företagsexponeringar, utan de olika exponeringarna sorteras i ett antal mindre grupper,

beroende på vissa faktorer. Exempel på sådana faktorer är vilken typ av kredit det gäller, motpartens betalningsskötelse och om det finns en eller flera låntagare. För var och en av de mindre grupperna beräknas en genomsnittlig fallissemangsandel, och baserat på denna sorteras grupperna in i någon av de tio riskklasserna. Olika modeller används för exponeringar mot privatpersoner respektive mot små företag (som också räknas till kategorin hushållsexponeringar), men principen är densamma.

Internmetodens riskklasser är således olika skalor mellan 1 och 10.

En klar majoritet av bankens exponeringar ligger i riskklass 1-4, vilket betyder att den genomsnittliga risknivån i kreditportföljen är väsentligt lägre än den nivå som bedöms vara normal risk. Riskklass 5 motsvarar normal risk och riskklass 10 avser fallerade motparter.

## Exponeringsklasser

Antalet exponeringsklasser är avhängigt vilken metod som används vid beräkning av kreditrisk. Exponeringar som ska beräknas enligt schablon-



## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

metoden kan hänföras till 17 olika exponeringsklasser medan det för intämetoden finns sju exponeringsklasser.

Den övergripande indelningen i exponeringsklasser enligt intämetoden är stats-, instituts-, företags-, hushålls- och aktieexponeringar samt positioner i värdepappersfonder. Här till kommer så kallade motpartslösa exponeringar, det vill säga tillgångar där det inte krävs någon prestation från motparten, exempelvis materiella anläggningstillgångar.

Till statexponeringar hänförs exponeringar mot stater, centralbanker, statliga myndigheter och kommuner. Till institutsexponeringar hänförs exponeringar mot motparter som är definierade såsom banker och övriga kreditinstitut samt viss av värdepappersbolag.

Hushållsexponeringar innefattar dels exponeringar mot privatpersoner, dels exponeringar mot enskilda näringsidkare och företag där den totala exponeringen inom koncernen uppgår till högst 5 mkr (exklusive bostadskrediter). Hushållsexponeringar delas upp i två undergrupper: fastighetskrediter och övriga hushållsexponeringar.

Till företagsexponeringar hänförs exponeringar mot icke-finansiella företag bestående av juridiska personer som har en total exponering inom koncernen som överstiger 5 mkr eller där företagets omsättning överstiger 50 mkr samt enskilda näringsidkare med en total exponering inom koncernen som överstiger 5 mkr. Förutom vanliga icke-finansiella företag ingår i exponeringsklassen även försäkringsbolag, bostadsrättsföreningar samt exponering i form av så kallad specialfinansiering.

Till aktieexponeringar hänförs bankens innehav i aktier som inte utgör en del av handelslagret.

Vid indelningen i exponeringsklasser enligt schablonmetoden hänförs bankens volymer till någon av exponeringsklasserna multilaterala utvecklingsbanker, internationella organisationer, institut, företag, hushåll, exponering med säkerheter i fastigheter, fallande exponeringar, övriga poster samt aktier.

## Metoder för riskklassificeringen

För att kvantifiera bankens kreditrisker beräknas sannolikhet för fallissemang (PD), exponering vid fallissemang (EAD) och förlustandel vid fallissemang (LGD). Fallissemang inträffar när kredittagaren är mer än 90 dagar försenad med en väsentlig betalning eller när banken bedömer att det är osannolikt att kredittagaren kommer

Kreditföreskrifter per riskklass 2023 mkr		Poster i balansräkningen							Poster utanför balansräkningen	
Riskklass	Utlåning till allmänheten	Utlåning till övriga kreditinstitut	Kassa och tillgodo- havanden hos centralbanker	Övrig utlåning till centralbanker	Derivat instrument	Räntebärande värdepapper	Ansvars- förbindelser	Åtaganden	Summa	
1	541 178	97	362 536	31 014	5 988	193 697	5 333	54 492	1 194 335	
2	555 325	17 131			13 612	54 399	20 548	105 764	766 779	
3	548 122	1 803			5 160	1 119	20 053	110 167	686 424	
4	268 250	1			1 830		8 440	51 496	330 017	
5	80 479	3			257		1 612	21 136	103 487	
6	35 688	2			61		161	6 463	42 375	
7	36 405				120		690	5 928	43 143	
8	1 430						43	3 368	4 901	
9	8 656						13	2 422	11 091	
Fallissemang	3 398						28	127	3 553	
Schablonmetoden <sup>1</sup>	355 226	260	113 645	1 131	3 082		1 199	66 502	541 045	
Summa	2 434 217	19 297	476 181	32 145	30 110	249 216	68 120	427 885	3 727 100	

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K14.

Kreditförsörjningar per riskklass 2022 mkr						Poster utanför balansräkningen			
Riskklass	Utlåning till allmänheten	Utlåning till övriga kreditinstitut	Poster i balansräkningen			Ansvars- förbindelser	Åtaganden	Summa	
			Kassa och tillgodo- havanden hos centralbanker	Övrig utlåning till centralbanker	Derivat instrument				
1	550 626	127	378 321	29 020	11 812	133 759	5 010	52 509	1 161 184
2	621 664	4 470			14 179	26 544	23 625	134 449	824 932
3	582 787	3 852	34		6 252	1 616	20 677	131 146	746 364
4	226 188	4			1 397	42	7 861	41 005	276 497
5	71 383	7			186	50	1 680	22 947	96 253
6	17 271	1			30		304	4 327	21 933
7	24 420				9		158	5 291	29 878
8	758				1		43	2 856	3 658
9	7 117						13	2 083	9 213
Fallissemang	2 930						39	185	3 154
Schablonmetoden <sup>1</sup>	364 170	954	97 527	3 600	2 395	3 464	1 564	62 316	535 990
Summa	2 469 324	9 415	476 882	32 620	36 261	165 476	60 975	409 114	3 709 068

<sup>1</sup> Schablonmetoden har föreskrivna riskvikt, riskklasserna är därför ej relevanta.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

att fullfölja sina åtaganden mot banken. PD-värdet uttrycks som ett procenttal, där exempelvis ett PD-värde på 0,5% innebär att en kredittagare av 200 med samma PD-värde väntas falla inom ett år.

Företagsexponeringarna delas in i fyra motpartstyper och statexponeringar i två motpartstyper baserat på den affärsbedömningsmall som används för motparten. PD beräknas individuellt för varje riskklass och motpartstyp. För exponeringar som kapitalkäcks enligt den grundläggande intermetoden tillämpas föreskrivna värden för LGD. Vilket föreskrivet värde som får användas styrs av vilken säkerhet som finns för respektive exponering.

Även för hushållsexponeringar beräknas en genomsnittlig fallissemangsandel för var och en av riskklasserna. Olika modeller används för exponeringar mot privatpersoner respektive mot småföretag (som också räknas till kategorin hushållsexponeringar), men principen är densamma.

För hushållsexponeringar och för exponeringar mot företag som exempelvis medelstora företag,

fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar fastställs LGD från bankens egen förlusthistorik. För exponeringar mot stora företag som kapitalkäcks med den avancerade intermetoden fastställs LGD baserat på historiska förluster och externa observationer. För hushållsexponeringar med fastighetssäkerhet i Sverige och för fastighetsexponeringar mot medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar (företag) tillämpas olika LGD-värden beroende på säkerhetens belåningsgrad. För övriga exponeringar styrs LGD-värdet av faktorer som kan bero på förekomst av, och värde på, säkerhet, produkttyp eller liknande.

För varje exponeringsklass beräknas PD för var och en av de riskklasser som avser icke-fallerade motparter eller avtal. PD grundar sig på beräkningar av hur stor andelen fallissemang varit historiskt för olika typer av exponeringar. Den genomsnittliga fallissemangsandelen justeras därefter med olika marginaler, till exempel av försiktighetsskäl.

Vid fastställande av LGD beaktas att riskmättet ska återspegla förlustandelen under

ekonomiskt ogynnsamma förhållanden, vilket benämns Nedgångs-LGD. För företagsexponeringar inom intermetoden med egna skattningar av LGD och KF nedgångsjusteras LGD med beaktande av bankens observerade förluster under krisåren 1991–1998. I många fall baseras LGD på fastighetens belåningsgrad. Eftersom fastigheternas värde och därmed även belåningsgraden vanligtvis varierar med konjunkturen innebär detta att även kapitalkravet kommer att uppvisa ett visst konjunkturberoende. För övriga säkerheter avseende hushållsexponeringar nedgångsjusteras observerat LGD med en faktor som beror på PD och produkttyp.

När exponeringsbeloppet ska beräknas sker vissa justeringar av den bokförda exponeringen. Exempel på detta är revolverande krediter, där banken avtalar med kunden om att denne får låna upp till ett visst belopp i framtiden. Denna typ av åtaganden är en kreditrisk som också ska kapitalkäcks. Normalt betyder det att den beviljade krediten justeras med en viss konverteringsfaktor för den del av krediten som inte är utnytt-

Poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelat per riskklass 2023 mil	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Riskklass</b>						
1	885 295	1 982		-5	-3	
2	604 664	4 633		-19	-6	
3	546 591	8 169		-42	-14	
4	246 184	23 991		-78	-16	
5	61 640	32 578		-35	-151	
6	17 508	17 968		-23	-101	
7	24 235	12 481		-7	-184	
8	220	1 306		-1	-35	
9	303	8 428		-1	-73	
Fallissemang			4 240			-839
Schablonmetoden <sup>1</sup>	445 564	25 923	2 824	-218	-237	-311
<b>Summa</b>	<b>2 833 004</b>	<b>136 899</b>	<b>7 064</b>	<b>-429</b>	<b>-820</b>	<b>-1 160</b>

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning, se not K14.

Poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelat per riskklass 2022 mil	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Riskklass</b>						
1	908 545	9 099		-6	-4	
2	653 136	10 055		-27	-8	
3	581 934	9 743		-65	-19	
4	213 053	14 719		-103	-36	
5	60 120	12 758		-64	-196	
6	10 569	6 839		-18	-88	
7	18 482	6 060		-11	-102	
8	304	504		-1	-38	
9	2 711	4 474		-9	-59	
Fallissemang			3 991			-1 061
Schablonmetoden <sup>1</sup>	453 832	17 099	1 725	-176	-173	-195
<b>Summa</b>	<b>2 902 886</b>	<b>91 890</b>	<b>6 716</b>	<b>-480</b>	<b>-723</b>	<b>-1 257</b>

<sup>1</sup> Schablonmetoden har föreskrivna riskivider, riskklasserna är därför ej relevanta.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelat per riskklass 2023 mkr	Brutto			Reservar		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Riskklass</b>						
1	539 204	1 982		-5	-3	
2	550 714	4 633		-16	-6	
3	540 009	8 169		-42	-14	
4	244 353	23 991		-78	-16	
5	48 007	32 567		-35	-150	
6	17 844	17 968		-23	-101	
7	24 115	12 481		-7	-184	
8	220	1 306		-1	-35	
9	302	8 428		-1	-73	
Fallissemang			4 237			-839
Schablonmetoden <sup>1</sup>	327 842	25 323	2 827	-218	-237	-311
<b>Summa</b>	<b>2 202 700</b>	<b>136 848</b>	<b>7 064</b>	<b>-426</b>	<b>-819</b>	<b>-1 100</b>

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäkring, se not K14.

Utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelat per riskklass 2022 mkr	Brutto			Reservar		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Riskklass</b>						
1	541 537	9 099		-6	-4	
2	611 641	10 055		-24	-8	
3	573 128	9 743		-65	-19	
4	211 608	14 719		-103	-36	
5	58 884	12 757		-63	-195	
6	10 538	6 859		-18	-88	
7	18 473	6 060		-11	-102	
8	303	504		-1	-38	
9	2 711	4 474		-9	-59	
Fallissemang			3 991			-1 061
Schablonmetoden <sup>1</sup>	345 890	17 039	1 725	-175	-173	-196
<b>Summa</b>	<b>2 374 713</b>	<b>91 349</b>	<b>5 716</b>	<b>-478</b>	<b>-722</b>	<b>-1 257</b>

<sup>1</sup> Schablonmetoden har föreskrivna riskvårdar, riskklasserna är därför ej relevanta.

Poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelat per riskklass 2023 mkr	Brutto			Reservar		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Riskklass</b>						
1	31 681	76		0	0	
2	64 466	152		-10	0	
3	66 056	468		-16	-1	
4	31 261	989		-23	-2	
5	8 668	5 754		-8	-73	
6	6 015	528		-3	-17	
7	5 199	1 379		-3	-58	
8	3 034	295		-1	-16	
9	2 149	199		-2	-12	
Fallissemang			96			-41
Schablonmetoden <sup>1</sup>	66 164	1 422	68	-28	-24	-1
<b>Summa</b>	<b>294 893</b>	<b>11 282</b>	<b>164</b>	<b>-94</b>	<b>-203</b>	<b>-42</b>

Tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller försäkring, se not K14.

Poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning, fördelat per riskklass 2022 mkr	Brutto			Reservar		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Riskklass</b>						
1	32 621	878		0	0	
2	85 928	891		-5	-1	
3	82 742	987		-12	-1	
4	27 190	1 690		-29	-7	
5	12 760	2 533		-13	-51	
6	3 883	747		-3	-25	
7	3 821	1 627		-4	-33	
8	2 741	157		-2	-9	
9	1 950	145		-2	-8	
Fallissemang			223			-82
Schablonmetoden <sup>1</sup>	60 950	2 878	51	-33	-34	0
<b>Summa</b>	<b>314 886</b>	<b>12 633</b>	<b>274</b>	<b>-103</b>	<b>-169</b>	<b>-82</b>

<sup>1</sup> Schablonmetoden har föreskrivna riskvårdar, riskklasserna är därför ej relevanta.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Jad vid rapporteringstillfället. När det gäller vissa produktklasser för företagsexponeringar och för instituts exponeringar är konverteringsfaktorerna bestämda av regelverket, men för hushållsexponeringar och vissa produktklasser för stora företag, medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar använder banken egenberäknade konverteringsfaktorer. Vilken konverteringsfaktor som används styrs framför allt av vilken produkt som avses, men även utnyttjandegrad kan spela in.

Kapitalkravet för aktieexponeringar i Internmetoden beräknas enligt den förenklade riskviktsmetoden.

Riskparametrarna (PD, EAD, LGD) används förutom vid kapitalkravsberäkningen även för beräkning av kostnaden för kapital i varje enskild affär och vid beräkning av ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC).

Vad avser bankens IRK modeller, som använder historisk data för att generera skattningar av risk, saknar banken i nuläget tillräckligt med historisk data för att inkludera hållbarhetsrisker som riskdrivare. Hållbarhetsrisker beaktas dock vid åsättande av den interna rating som ligger till grund för PD-riskklass. Arbete pågår där ambitionen är att inkludera hållbarhetsrisker som riskdrivare i framtida IRK modeller när tillräcklig historisk data finns tillgängligt.

## Jämförelse med extern rating

Bankens riskklasser är inte direkt jämförbara med de externa kreditvärderingsföretagens. Kreditvärderingsföretagens rating svarar inte mot en direkt klassificering av motparternas sannolikhet för fallissemang på samma sätt som bankens riskklassificering gör. Vidare beaktar kreditvärderingsföretagen i varierande grad hur allvarliga förluster ett fallissemang kan leda till. Den tidshorisont för vilken kreditvärdigheten bedöms är inte alltid densamma för banken som för kreditvärderingsföretagen. Bankens riskklasser anger inte heller en enhetlig skala där en viss riskklass alltid motsvarar en viss fallissemangssannolikhet. Dessutom tillämpas olika PD-skalar för olika delar av kreditportföljen och PD-värdet förändras över tiden.

Sammantaget är det inte möjligt att entydigt och konsekvent översätta de interna riskklasserna till en extern rating.

## Kvalitetssäkring av kreditriskmodellen

Banken utför årligen en översyn av riskklassificeringssystemen. Översynen tar sikte dels på att den interna ratingen som ligger till grund för bankens riskklassificering tillämpas på ett konsekvent, korrekt och ändamålsenligt sätt (utvärdering), dels på att de modeller som används kvantifierar risk på ett tillfredsställande sätt (validering).

## BERÄKNING AV FÖRVÄNTADE KREDITFÖRLUSTER

Reglerna om nedskrivning i IFRS 9 omfattar finansiella tillgångar värderade till upplupet

anskaffningsvärde, finansiella tillgångar värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat samt finansiella garantier och österkalliga löften. I detta avsnitt redogörs huvudsakligen för de processer och metoder som tillämpas i Handelsbankens modellbaserade beräkningar av reserver för förväntade kreditförluster.

Bedömningar av förväntade kreditförluster utförs på avtalsnivå där avtalets och motpartens egenskaper styr klassificering och kvantifiering av reserveringsbehovet. Bedömningen baseras antingen på en modellberäkning eller en manuell beräkning där val av metod främst beror på om avtalet anses vara kreditförsämrat.

För redovisning och värdering av förväntade kreditförluster samt definitioner, se not K1 avsnitt 6 Kreditförluster.

## Modellbaserade beräkningar

## för avtal i Steg 1 och Steg 2

Handelsbankens koncerngemensamma centrala process för modellbaserade beräkningar av förväntade kreditförluster består av ett antal olika processer och metoder som stödjer kvantifiering av reserveringsbehovet i Steg 1 och Steg 2.

I de modellbaserade beräkningarna tas hänsyn till historisk, aktuell och framtidsbaserad data. Historisk data ligger till grund för modell och parameterkonstruktion, aktuell data är rapporteringstillfällets aktuella balanser (som omfattas av beräkningskraven) och framtidsbaserad data är de makroekonomiska scenarier som tillämpas för att beräkna framtida riskparametrar och exponeringar.

Modellerna baseras på samma historiska riskdata som i IRK-modellerna och således utgår redovisningen och kapitalkravsberäkningarna från samma grundläggande förlusthistorik. I likhet med hur riskklassificeringssystemet påverkar kapitaltäckningsberäkningarna så utgör den interna ratingen (från vilken riskklassificeringen härleds) en väsentlig del i modellerna för beräkning av förväntade kreditförluster. Beräkningarna påverkas i första hand av riskparametrarna sannolikhet för fallissemang (PD), exponering vid fallissemang (EAD) och förlustandel vid fallissemang (LGD). Den förväntade kreditförlusten i en framtida period erhålls genom att multiplicera nuvärdet av exponeringen vid fallissemang (EAD) med sannolikheten för fallissemang (PD) och med förlustandel vid fallissemang (LGD). Till skillnad från kapitaltäckningsregelverkets kreditförlustberäkning, som även den använder riskparametrarna PD, EAD och LGD, utgår kreditförlustskattningen i IFRS 9 från framtidsbaserade aktuella bedömningar. Då regelverken har olika syften skiljer sig beräkningsmodellerna åt både vad gäller riskparametersättning och konstruktion. För presentation av huvudsakliga skillnader mellan IFRS 9 och IRK, se tabell Skillnader mellan IFRS 9 och IRK.

## Makroekonomisk information

Beräkningarna avseende modellbaserad bedömning av betydande ökning av kreditrisk och förväntade kreditförluster utförs med modeller för de respektive riskparametrarna (PD, EAD och LGD). För att säkerställa att beräkningarna tar hänsyn till icke-linjära aspekter används för exponeringar utanför Storbritannien tre framtidsbaserade makroekonomiska scenarier (ett neutralt, ett negativt och ett positivt) i modellerna. För exponeringar i Storbritannien används fyra scenarier (ett neutralt, två negativa och ett positivt). Respektive scenario inkluderar väsentliga makroekonomiska riskfaktorer som arbetslöshet, BNP, fastighetspriser, styr-/centralbanksräntor och inflation, uppdelade per land. De väsentliga makroekonomiska riskfaktorerna har identifierats från bankens historik och relationen till riskparametrarna är skattade på samma historiska material. De olika scenarierna används för att justera de aktuella riskparametrarna. Varje makroekonomiskt scenario representerar en av banken beslutad sannolikhet. Dessa sannolikhetsfördelningar är i nuläget 70% (60) för det neutrala scenariot och 15% (20) för det positiva samt 15% (20) för det negativa scenariot. För exponeringar i Storbritannien är vikterna 60% (60) för det neutrala scenariot, 5% (5) för det positiva och 20% (20) för det negativa scenariot samt 15% (15) för det kraftigare negativa scenariot. Som förväntade kreditförluster redovisas ett sannolikhetsvägt genomsnitt av de förväntade kreditförlusterna för respektive scenario.

Alla makroscenarier tas fram av bankens enhet för ekonomisk analys som ansvarar för all ekonomisk analys som levereras av Handelsbanken, både för intern och extern bruk. Dessa makroekonomiska scenarier avser regionspecifika 30-åriga prognoser för Sverige, Norge, Finland, Storbritannien, Euro-området, USA och världen. En förändring i de makroekonomiska scenarierna, eller i de vikter som tillämpas, påverkar både bedömningen av betydande ökning av kreditrisk och uppehållet i den förväntade kreditförlusten. Scenarierna uppdateras kvartalsvis av bankens enhet för ekonomisk analys och presenteras för beslutsfattarna innan de tillämpas i beräkningarna av förväntade kreditförluster.

## Portföljsegmentering

I den modellbaserade bedömningen används statistiska modeller. Dessa är framtagna för olika segment i portföljen där respektive segment avser riskmässigt likartade exponeringar och riskparametrarna kan skattas baserat på en gemensam uppsättning riskfaktorer. För hushållsexponeringar är portföljsegmenteringen baserad på produkttyp och för övriga exponeringar är den baserad på motpartstyp. Segmenten har identifierats genom statistisk analys och expertbedömningar. För hushållsexponeringar finns följande nio portföljsegment; exponeringar med säkerhet i bostadsfastighet

## K2 Forts

för privatpersoner, revolverande krediter inklusive kreditkortsexponeringar för privatpersoner respektive små företag, övriga exponeringar för privatpersoner respektive små företag, kortkrediter avseende självfinansiering för privatpersoner respektive små företag, samt avbetalningslån avseende självfinansiering för privatpersoner respektive små företag. För övriga exponeringar finns följande sex segment; fastighetsbolag, bostadsrättsföreningar, övriga stora icke-finansiella företag, övriga icke-finansiella företag, stater samt finansiella företag och banker.

Inom respektive portföljsegment klassificeras avtalen ytterligare till så kallade tillståndsklasser baserat på riskfaktorer som Intern rating, betalningshistorik, landtillhörighet, säkerhetstyp och belåningsgrad. Tillståndsklasserna är framtagna baserat på statistisk analys av historiska utfall. För varje tillståndsklass används statistiska modeller för migration mellan tillstånden för att beräkna framtidsbaserade sannolikheter för riskparameterna PD, LGD och EAD. En viktig riskfaktor för tillståndsklasserna är motpartens interna rating som sätts vid kreditbeslutsfallet och uppdateras minst årligen eller om det finns tecken på att motpartens återbetalningsförmåga har ändrats. Klimatrelaterade och vissa andra miljörrelaterade risker bedöms i kreditprocessen och påverkar den interna ratingen på motpartsnivå. Det finns tillståndsklasser för icke-fallerade, fallerade och fördelslösa exponeringar. Exponeringar mot hushåll klassas i nio tillståndsklasser och övriga exponeringar i tolv tillståndsklasser.

**Betydande ökning av kreditrisk**

Betydande ökning av kreditrisk avspeglar risken för fallissemang och är ett mått som mäter avtalets relativa förändring av kreditrisk sedan första redovisningstillfället. För beräkning av betydande ökning av kreditrisk används inom Handelsbanken samma underliggande modeller som vid beräkning av förväntade kreditförluster och hänsyn tas till historisk, nuvarande och framtidsbaserad information. I bedömningen beaktas inte säkerheter. Vid varje rapporteringstillfälle inleds den koncerngemensamma centrala modellbaserade processen med att samtliga avtal bedöms med avseende på om det skett en betydande ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället (avtalets ingående). Denna bedömning avgör sedan huruvida avtalet får en förväntad kreditförlust beräknad på tolv månaders horisont (Steg 1) eller för avtalets hela återstående löptid (Steg 2). En viktig del som påverkar kreditförlustreservens storlek är således vilka faktorer och trösklar som definieras som utlösande för överföring av tillgångar från Steg 1 till Steg 2. Bankens definition av betydande ökning av kreditrisk som är avgörande för att förflytta avtalen till Steg 2 grundar sig på såväl kvalitativa som kvantitativa faktorer. Den kvantitativa indikator som i första hand används för att bedöma förändring i kreditrisken

är den relativa förändringen mellan Instrumentets första redovisningstillfälle och aktuell rapporteringstidpunkt i sannolikheten för fallissemang (PD) under avtalets återstående löptid. I de fall det har krävts orimlig kostnad och ansträngning för att kunna fastslå PD vid ett Instruments första redovisningstillfälle, har förändringar i motpartens eller avtalets interna rating eller riskklassificering sedan första redovisningstillfället använts för att bedöma betydande ökning av kreditrisken. För avtal som redovisas för första gången den 1 januari 2018 eller senare baseras prognoserna av fallissemangrisken på tre scenarier. För avtal som redovisats före den 1 januari 2018 tillämpas samma kriterier men baseras på ett scenario som utgår från bankens senast publicerade ekonomiska analys vid tidpunkten för det första redovisningstillfället.

Det huvudsakliga kriteriet för att ett avtal bedöms ha fått en betydande ökning av kreditrisk och förflyttas till Steg 2 enligt Handelsbankens definition är att den beräknade återstående fallissemangrisken (PD) vid rapporteringstillfället är större än 2,5 gånger motsvarande fallissemangrisk vid första redovisningstillfället. Gränsvärdet om 2,5 är baserat på statistisk analys av bankens historiska data och jämför ökningen i den återstående risken att motparten fallerar relativt motsvarande förväntade risk vid avtalets första redovisningstillfälle. Därutöver finns det andra kvalitativa faktorer som banken bedömt medför en betydande ökning av kreditrisk, till exempel att motparten har betalningar som är mer än 30 dagar försenade eller att motparten har erhållit eftergifter till följd av försämrad kreditvärdighet.

Om det föreligger en betydande ökning av kreditrisken sedan första redovisningstillfället redovisas en reserv motsvarande förväntade kreditförluster för hela tillgångens återstående löptid och det finansiella instrumentet flyttas till Steg 2. Modellen är symmetrisk, vilket innebär att om det finansiella instrumentets kreditrisk minskar och det därmed inte längre föreligger en betydande försämring i kreditrisk sedan första redovisningstillfället flyttas den finansiella tillgången tillbaka till Steg 1.

**Modeller för riskparametrar och förväntad löptid**

Riskparameterna PD, LGD och EAD beräknas för varje avtal och framtida tidpunkt, baserat på statistiska modeller. Dessa modeller bygger så långt som möjligt på de relationer mellan de väsentliga riskfaktorer och relevanta riskutfall som kan identifieras i bankens egen förlusthistorik. De flesta riskparametrar som kvantifieras baseras på cirka tio års intern data. I de fall banken saknar tillräckligt med information, till exempel på grund av få fallissemang, sker komplettering med hjälp av extern information. De historiska utfallen analyseras med avseende på samvariation med avtals-, motparts- och region-specifika riskfaktorer, som till exempel produkttyp, Intern rating, ålder som kund, säkerhetstyp,

belåningsgrad, arbetslöshet räntekvoter och BNP-tillväxt. De riskfaktorer som identifieras som väsentliga för en viss riskparameter inkluderas i modellen och det historiska sambandet kvantifieras.

**Sannolikhet för fallissemang (PD)**

PD motsvarar sannolikheten för att en kund eller ett avtal kommer att hamna i fallissemang vid en given tidpunkt under den tillgångens återstående löptid. PD för tolv månader motsvarar sannolikheten för fallissemang under de kommande tolv månaderna. PD för återstående löptid motsvarar sannolikheten för fallissemang under tillgångens återstående löptid (maximalt 30 år). Vid rapporteringstillfället prognosticeras framtida PD baserat på framtidsbaserade makroscenarier och aktuell avtals- och motpartsinformation. Den prognostiserade fallissemangrisken tar hänsyn till utvecklingen av scenarier och sannolikheten för migration mellan olika tillståndsklasser över tid. Modellerna beräknar årliga migrations- och fallissemangssannolikheter där migrationsmodellerna ger sannolikheten att avtalet befinner sig i en given tillståndsklass med en given fallissemangrisk framåt i tiden. Avtalets förväntade PD för ett givet år beräknas av sannolikhetsvägda PD över alla tänkbara tillståndsklasser och scenarier. Förväntad PD för återstående löptid baseras på de årliga förväntade fallissemangsprognoserna och sannolikheten för att avtalet förtidslöses. En försämring av en ekonomisk framtidsutsikt baserad på prognostiserade makroekonomiska riskfaktorer för varje scenario, eller en ökning i att sannolikheten för att det negativa scenariot ska inträffa, resulterar normalt sett i ett högre PD.

**Exponering vid fallissemang (EAD)**

EAD avser förväntad kreditexponering vid fallissemangstidpunkten. Vid rapporteringstillfället prognosticeras framtida exponeringar vid fallissemang baserat på nuvarande amorteringsplaner, sannolikhet för förtidslösning och förväntat utrymmande av exempelvis kreditutrymmen, finansiella garantier och lånelöften. EAD prognosticeras på årsbasis och utgör det belopp på vilket förluster och återvinningar sker vid framtida fallissemang.

**Förväntad löptid**

Ett Instruments förväntade löptid är relevant för både bedömningen av betydande ökning av kreditrisk, vilken tar hänsyn till förändringar i PD under förväntad återstående löptid, såväl som för värderingen av förväntade kreditförluster för tillgångens förväntade återstående löptid. Den förväntade löptiden beaktas i beräkningen av återstående PD genom att väga de prognostiserade årliga PD-värdena under avtalets kontraktuella löptid med sannolikheten att avtalet inte förtidslöses innan fallissemang inträffar.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

## Skillnader mellan IFRS 9 och IRK

Risikoparameter	IRK	IFRS 9
PD, Sannolikhet för fallissemang	Genomsnittlig risk för fallissemang inom tolv månader över en konjunkturscykel, inklusive statistiska säkerhetsmarginaler och regelverksgolv. Fallissemangsdefinitionen enligt Kapitaltäckningsfördordningen tillämpas på avtalsnivå för hushållsexponeringar och på motpartsnivå för övriga exponeringar.	Konjunkturbaserande (fortsiktig, "point in time") risk för fallissemang inom tolv månader. "Utvärds-PD" avser risken för fallissemang under avtalets förväntade återstående löptid. Fallissemangsdefinitionen enligt Kapitaltäckningsfördordningen tillämpas på avtalsnivå för hushållsexponeringar och på motpartsnivå för övriga exponeringar.
LGD, Förlustandel vid fallissemang	Måsvärdet av förväntad förlustandel på exponering vid fallissemang inom tolv månader på lång sikt och vid en konjunktumduggång, inklusive statistiska säkerhetsmarginaler och regelverksgolv. Kvantifiering av förlust för företagsexponeringar baseras på återvinningar inom tolv månader samt kvantiserade reaser (24 månader för hushållsexponeringar).	Konjunkturbaserande förväntad förlustandel på exponering vid fallissemang. LGD justeras baserat på framåtblickande makroekonomiska scenarier.
EAD, Exponering vid fallissemang	Måsvärdet av förväntad exponering vid fallissemang inom tolv månader på lång sikt och vid en konjunktumduggång, inklusive statistiska säkerhetsmarginaler och regelverksgolv.	Konjunkturbaserande förväntad exponering vid fallissemang inom tolv månader. EAD justeras efter avtalsvillkor och framåtblickande makroekonomiska scenarier och hypotetiseras för avtalskommandet tolv månaders period.
Löptid	Avtalskontraktuell löptid med beaktande av kundens option på förlängning.	Den förväntade löptiden. Avtalets kontraktuella löptid med beaktande av sannolikhet för förlängning.
Prognoshorisont	Tolv månader.	Upp till tolv månader för avtal i steg 1 respektive återstående löptid för avtal i steg 2-3.
Diskontering	Prognostiserade förluster diskonteras inte till rapporteringstidpunkten. Vid kvantifiering av återvinningsgrad diskonteras observerade återvinningar till fallissemangstidpunkten med den genomsnittliga kostnaden för eget kapital.	Prognostiserade förluster diskonteras till rapporteringstidpunkten med avtalets kontraktuella ränta vid rapporteringstidpunkten.

Sannolikheten för förtidslösning av avtalet baseras på en statistisk analys och på bankens interna historik cirka tio år bakåt och ingår som en komponent i modellen för EAD. I analysen har potentiella riskfaktorer i form av avtals-, motparts- och makroekonomiska riskfaktorer analyserats. De riskfaktorer som identifieras som väsentliga inkluderas i modellen.

För revolverande krediter utan förfallodag, till exempel kreditkort, tillämpas en 30-årig löptid från rapporteringstillfället. Även för bolån med räntesättningsperiod på högst tre månader tillämpas en 30-årig löptid från rapporteringstillfället. Utgående från detta appliceras sannolikhet för förtidslösning enligt ovan.

**Förlustandel vid fallissemang (LGD)**

LGD speglar den ekonomiska förlustandel som banken förväntar sig vid ett fallissemang. De viktigaste riskfaktorerna vid beräkning av LGD är säkerhetsvärdet, säkerhetstypen och motpartens egenskaper. Framåtblickande makroekonomiska riskfaktorer återspeglas i LGD-beräkningarna genom deras inverkan på säkerhetsvärdet och belåningsgraden. Kvantifieringen av förlusten delas in i en sannolikhet för att motparten tillfrisknar utan att orsaka banken några ekonomiska förluster, och en återvinningsgrad då motparten inte tillfrisknar. Återvinningsgraden påverkas av belåningsgraden på så sätt att högre belåningsgrader är associerade med lägre återvinningsgrader. Säkerhetsvärdet för fastigheter, och därmed belåningsgraden och återvinningsgraden, påverkas av prisutvecklingen på fastigheten så att ett förväntat framtida prisfall på fastigheter driver upp belåningsgraden och den förväntade förlustandelen vid fallissemang.

**Skillnader mellan IFRS 9 och IRK**

Handelsbankens IFRS 9-modeller bygger på samma historiska data och samma övergripande modellansats som bankens IRK-modeller där riskparametrarna PD, LGD och EAD modelleras. Då regelverken har olika syften skiljer sig beräkningsmodellerna åt både vad gäller riskparametersättning och konstruktion och i vissa fall används separata modeller för att uppfylla kraven enligt IFRS 9. De huvudsakliga skillnaderna mellan IFRS 9 och IRK presenteras i tabellen ovan.

**Validering av IFRS 9 modeller och modellbaserade beräkningar**

Validering av modellerna och av dess ingående riskparametrar utförs årligen för att säkerställa att de modellbaserade beräkningarna uppvisar god prognosförmåga och identifierar oväntade avvikelser mellan prognoser och senast tillgängliga utfall. Valideringen sker på flera aggregeringsnivåer och omfattar alla väsentliga riskparametrar samt den sammanvägda beräknade förväntade kreditförlusten på individuell och aggregerad nivå. Valideringen rapporteras till chefen för Group Credits, CFO och CFO.

Principerna för utvärdering och validering av modellerna är fastställda av Group Risk Control och valideringen utförs eller granskas av oberoende part från modellutvecklingen. Inga betydande avvikelser med signifikant effekt på bankens reserveringar har identifierats i valideringen.

**MANUELL BERÄKNING FÖR AVTAL I STEG 3**

Tillgångar i Steg 3 provas för nedskrivning på individuell nivå och beräkningen är manuell (med undantag för mindre portfölj av homogena

fordringar som har modellberäknad reservering i Steg 3). Denna prövning genomförs löpande och vid varje rapporteringstillfälle av affärsansvarigt bankkontor (kund- och kreditansvarig enhet) och beslutas av låns- eller landskreditkommitté eller Group Credits.

Nedskrivningsprövning utförs när det finns objektiva omständigheter som tyder på att motparten inte kommer att kunna fullfölja sina kontraktens enliga åtaganden i enlighet med definitionen på fallissemang. Sådana objektiva omständigheter kan exempelvis vara försenad eller utebliven betalning, eller identifierad indikation för osannolikhet för betalning.

I nedskrivningsprövningen uppskattas de framtida kassaflödena och säkerhetens värde (inklusive garantier). Hänsyn tas till normalt minst två möjliga framåtblickande scenarier med förväntade kassaflöden baserade både på motpartens återbetalningsförmåga och på säkerheternas värde. Utfallet av dessa scenarier sannolikhetsviktas och diskonteras med fordrans ursprungliga effektivränta. De scenarier som används kan innehålla såväl makroekonomiska som avtalspecifika faktorer, utifrån vad som bedöms ha påverkan på den individuella motpartens återbetalningsförmåga och säkerheternas värdeutveckling. Vid bedömningen tas hänsyn till den enskilda motpartens specifika egenskaper. Nedskrivning görs om det beräknade återvinningsvärdet understiger bokfört värde.

**GOVERNANCE OCH INTERN KONTROLL**

För att beräkna förväntade kreditförluster för avtal i Steg 1 och Steg 2 använder sig Handelsbanken av en koncerngemensam central process med internt utvecklade statistiska modeller

## K2 Forts

(modellbaserad beräkning). För avtal i Steg 3 sker manuell beräkning. Beskrivningen nedan avser i huvudsak de modellberäknade reserverna för förväntade kreditförluster. Denna process omgärdas av en samling interna kontroller, vilka beskrivs nedan. I processens steg sker också olika godkännanden/fastställanden, vilket skapar en struktur för governance, och även den beskrivs nedan.

## Kontroll av indata vid rapportering

Vid varje rapporteringstillfälle kontrolleras att den information som utgör grunden för beräkningarna av förväntade kreditförluster är korrekt och komplett. Detta sker genom maskinella avstämningar av inläst data från levererande källor. Vidare görs en rimlighetsbedömning där systembalanser jämförs med föregående rapporteringstillfälles balanser. De balanser som används stäms slutligen av mot huvudboksvolymer.

## Modeller

Innan en ny kvantitativ modell tas in i det övergripande modellsystemet genomgår den validering och godkänns för användning av chefen för Group Credits. Vid rapporteringstillfället kan endast detta modellsystem anropas i samband med beräkning, vilket gör att bara godkända modeller kan användas.

I de kvantitativa modeller som ligger till grund för beräkningen av förväntade kreditförluster ingår flera antaganden och bedömningar. Exempel på antaganden är att de relationer som kan mätas mellan makroekonomiska riskfaktorer och riskparametrar på historiska data är representativa för framtida händelser, samt att avtals förväntade löptid kan baseras på historiskt data om beteenden. Huruvida dessa historiska samband och deras representativitet i framtiden påverkas av klimatrelaterade risker bedöms i arbetet med modellerna. Till dags dato har inga sådana klimatrelaterade faktorer inkluderats specifikt i modellerna men frågeställningen bedöms fortfarande. Ett urval av de mest väsentliga makroekonomiska riskfaktorerna görs baserat på de enskilda makroekonomiska riskfaktorernas förklaringsförmåga på de enskilda riskparametrarna. När makroekonomiska riskfaktorerna väljs ut och modellen specificeras görs en avvägning mellan enkelhet, förklaringsförmåga och stabilitet. Samtliga antaganden och avvägningar är presenterade för och beslutade av chefen för Group Credits.

Eventuella expertbedömda förändringar på reserven avseende modellberäknade avtal i Steg 1 och Steg 2 tillstyrks av chefen för Group Credits innan de tillämpas.

## Makroekonomiska scenarier

De makroekonomiska scenarierna tas fram av bankens enhet för ekonomisk analys baserat på en instruktion från chefen för Group Credits. I denna instruktion framgår önskade makroeko-

nomiska riskfaktorer, geografiska områden som ska ingå samt antal scenarier och sannolikhetsfördelningen mellan dessa.

För varje rapportering presenteras aktuella makroekonomiska scenarier för chefen för Group Credits och CFO, vilka godkänner scenarierna för användning i rapporteringsprocessen. De godkända makrosenarierna läses sedan in automatiskt i rapporteringsförfödet.

## Reserveringsbeloppens storlek

De totala beräknade reserverna i Steg 1 och Steg 2 tillstyrks av chefen för Group Credits och chefen för Group Finance. Beräknade reserver i Steg 3 föreslås av affärsansvarigt bankkontor (kund- och kreditansvarig enhet) och beslutas av läns- eller landskreditkommitté eller central enhet beroende på reservens storlek. Av kreditreserver i Steg 3 som beslutas lokalt eftergranskas/kvalitetsgranskas ett urval av Group Credits. Därutöver utför Group Risk Control vid varje rapporteringstillfälle en oberoende granskning av ett urval av de kreditreserver i Steg 3 som beslutas centralt.

## Kontrollfunktionernas roll

Group Risk Control fastställer principer för validering och säkerställer att validering av modeller utförs. Vid varje rapporteringstillfälle genomförs en oberoende granskning av ett urval av de kreditreserver i Steg 3 som beslutas centralt. Group Risk Control beskrivs närmare på sidorna 69 och 73. Group Audit granskar beräkningen av förväntade kreditförluster som ett led i deras uppdrag att självständigt och oberoende granska den interna styrningen och kontrollen samt utvärdera tillförlitligheten i koncernens finansiella rapportering. Group Audit beskrivs närmare på sidorna 69 och 73-74.

## MOTPARTSRISKER

Motpartsrisiker uppkommer när banken har ingått derivatkontrakt eller kontrakt för lån av värdepapper med en motpart. Kapitaltäckningsreglerna behandlar således förutom derivat också repor och aktielån som motpartsrisiker.

Vid beräkningen av såväl kapitalkrav som ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC) beaktas motpartsexponeringarna utifrån de exponeringsbelopp som kapitaltäckningsreglerna ställer upp. Handelsbanken tillämpar schablonmetoden för motpartsrisk (SA-CCR) vid beräkning av exponeringsbelopp på derivatkontrakt för kapitaltäckningsändamål. Motpartsrisken är att betrakta som en kreditrisk, där exponeringens storlek styrs av marknadsvärdet på kontraktet. I det fall det finns ett positivt värde på kontraktet betyder ett fallsemang hos motparten en potentiell förlust för banken.

## Reducering av motpartsrisk

Motpartsrisk förekommer från affärsdag fram till leverans och innebär att banken kan drabbas av en avvecklingskostnad om motparten inte kan

fullfölja sitt åtagande. Denna risk finns i alla derivattransaktioner och i värdepappersaffärer där banken inte på förhand har säkrat betalning.

Storleken på motpartsexponeringarna begränsas genom kreditlimitering i den ordinarie kreditprocessen. Exponeringarnas storlek kan variera kraftigt med anledning av prisförändringar på den underliggande tillgången. För att beakta risken att exponeringen kan öka, görs vid kreditlimiteringen tillägg till värdet på den aktuella exponeringen. Exponeringarna beräknas och följs upp dagligen.

Motpartsrisken i derivat reduceras genom avtal om så kallad close-out netting, det vill säga kvittning av positiva och negativa värden i alla derivattransaktioner med en och samma motpart. Nettningsavtalen kompletteras med avtal om ställande av säkerheter för nettoexponeringen (Credit Support Annex, CSA), vilket ytterligare reducerar kreditrisken. I huvudsak används kontanter som säkerhet för dessa transaktioner, men även statspapper förekommer. Till följd av den höga andelen kontanter är koncentrationsriskerna i säkerhetsmassan begränsade.

Majoriteten av Handelsbankens avtal innehåller close-out netting och avtalen med de största exponeringarna, vilket är till finansiella institut, innehåller även CSA.

Även derivat som clearas via så kallade centrala motparter ger upphov till kapitalkrav. Centrala motparter är clearinghus som går in som motpart till både köpare och säljare i olika transaktioner och som därmed övertar ansvaret för att fullfölja parternas förpliktelser. Alla som använder en central motpart måste lämna säkerheter för alla transaktioner. I de flesta fall är riskvikten för centralt clearade derivat betydligt lägre än för andra typer av derivat.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Motpartsbekupplet på exponeringsklasser, exponeringsbelopp och riskvägda exponeringsbelopp, internmetoden	2023		2022	
	Exponeringsbelopp <sup>1</sup>	Riskvägt exponeringsbelopp	Exponeringsbelopp <sup>1</sup>	Riskvägt exponeringsbelopp
<i>mil</i>				
Exponeringsklasser internmetoden				
Instituts exponeringar	9 842	5 071	10 799	4 990
Förstags exponeringar	10 773	3 866	12 177	3 724
Stats exponeringar	5 117	137	5 607	139
Summa internmetoden	25 732	9 073	28 583	8 793

Motpartsbekupplet på exponeringsklasser, exponeringsvärdet och riskvägda exponeringsbelopp, schablonmetoden	2023		2022	
	Exponeringsbelopp <sup>1</sup>	Riskvägt exponeringsbelopp	Exponeringsbelopp <sup>1</sup>	Riskvägt exponeringsbelopp
<i>mil</i>				
Exponeringsklasser schablonmetoden				
Instituts exponeringar	3 035	67	2 342	90
varav Centrale motparter (CCP)	3 007	60	2 105	42
Övriga exponeringar	44	16	46	18
Summa schablonmetoden	3 078	83	2 388	107
Summa intern- och schablonmetoden	28 810	9 156	31 004	8 933

<sup>1</sup> Exponeringsvärdet består av derivat, repo och aktiela.

Exponeringar i derivatkontrakt			
<i>mil</i>		2023	2022
Positiv bruttomarknadsvärde för derivatkontrakt		82 331	117 373
Nettningssvinst		-53 253	-91 094
Aktuell kvittad exponering		29 078	26 279
Säkerheter <sup>1</sup>		-25 629	-23 021
Nettoredskapponering för derivat		3 449	3 258

<sup>1</sup> Inkluderar säkerheter som kvittats med marknadsvärden i balansräkningen.

Motpartsbekuplet i derivatkontrakt 2023				
<i>mil</i>	Aktuell kvittad exponering	Exponeringsbelopp	Riskvägt exponeringsbelopp	Kapitalkrav
Stats exponeringar	737	3 131	136	11
Instituts exponeringar	16 773	8 616	4 706	376
Förstags exponeringar	11 564	13 128	3 769	302
Övriga	4	21	12	1
Summa	29 078	24 897	8 623	690
varav verksamhet i handelslagrat	22 358	16 647	5 229	478

Motpartsbekuplet i derivatkontrakt 2022				
<i>mil</i>	Aktuell kvittad exponering	Exponeringsbelopp	Riskvägt exponeringsbelopp	Kapitalkrav
Stats exponeringar	1 599	3 596	139	11
Instituts exponeringar	20 537	9 990	4 723	378
Förstags exponeringar	4 134	13 311	3 538	283
Övriga	9	29	15	1
Summa	26 279	26 926	8 414	673
varav verksamhet i handelslagrat	20 284	19 789	5 712	457



## K2 Forts

## MARKNADSRISK

Marknadsriskerna härrör från pris- och volatilitetsförändringar på de finansiella marknaderna. Marknadsriskerna delas in i ränterisker, aktiekursrisker, valutakursrisker och råvaruprisrisker.

Det geopolitiska läget har bidragit till en fortsatt osäkerhet på marknaden. Det stigande ränteläget fick i början av året ett mindre antal amerikanska nischbanker att falla vilket ledde till en ökad volatilitet under en kortare period. Energipriser och inflation har dock sjunkit under året och bidragit till viss stabilisering. Bankens riskutryttningsnivå har hållits lågt under året i linje med risktoleransen och således har påverkan på verksamheten varit begränsad.

I Handelsbankens verksamhet uppstår marknadsrisker till följd av att bankens kunder efterfrågar tjänster som kräver att banken har en flexibel finansiering. Vidare kan banken finansiera sig på andra marknader än där den har sin utlåning i syfte att diversifiera finansieringskällorna. Finansieringen kan även ha en annan räntebindningstid än de tillgångar som de finansierar. Marknadsrisker kan därtill ha sitt ursprung i Group Treasurys likviditetsportfölj som med kort varsel kan omsättas till likviditet i samband med eventuella stömlingar på de marknader där banken bedriver sin verksamhet. Portföljen säkerställer koncernens betalningar i den dagliga clearingverksamheten och är en del av bankens likviditetsreserv.

Marknadsrisker uppstår också inom Capital Markets för att möta kundens efterfrågan på finansiella instrument med exponering mot ränte-, valuta-, aktie- eller råvarumarknaderna. För att möta denna efterfrågan kan det krävas att banken håller ett visst lager. Denna situation uppstår exempelvis när banken har åtagit sig att ställa priser i en så kallad market maker-funktion.

Affärsverksamhetens marknadsrisker uppstår och hanteras således huvudsakligen i Group Treasury och i Handelsbanken Capital Markets. Dessutom uppstår även marknadsrisker som en del av Handelsbanken Livs verksamhet. Marknadsriskerna i Handelsbanken Liv behandlas i ett särskilt avsnitt. De upplysningar som lämnas i detta avsnitt avser således riskerna exklusive Handelsbanken Liv.

## MARKNADSRISKSTRATEGI

Handelsbanken har en restriktiv syn på marknadsrisker. Marknadsrisker i bankens affärsverksamhet tas i allväsentlighet endast som ett led i att lösa kundens placerings- och riskhanteringsbehov. Marknadsrisker ska begränsas genom att matcha kassaflöden och räntebindningstider, säkra öppna positioner och vidta andra riskbegränsande åtgärder.

Marknadsriskerna i Handelsbanken är mot denna bakgrund mycket låga. En konsekvens av de låga marknadsriskerna är att en låg andel av bankens resultat kommer från nettoresultat av finansiella transaktioner.

## ORGANISATION

Handelsbankens styrelse har det övergripande ansvaret för bankens hantering av marknadsrisker och fastställer policydokument för detta. Dessa policyer konkretiseras i riktlinjer av vd och instruktioner från CFO. Inom dessa ramar bär varje del av affärsverksamheten ansvaret för sina affärer och för att samtliga risker hanteras.

Riskerna som uppstår i samband med finansiering och likviditetshantering är dock centraliserad till Group Treasury under CFO och Capital Markets hanterar större delen av riskerna i handelslagret. Kontrollfunktionerna övervakar att verksamheten bedrivs inom bankens risktolerans och rapporterar riskerna till styrelse och koncernledning.

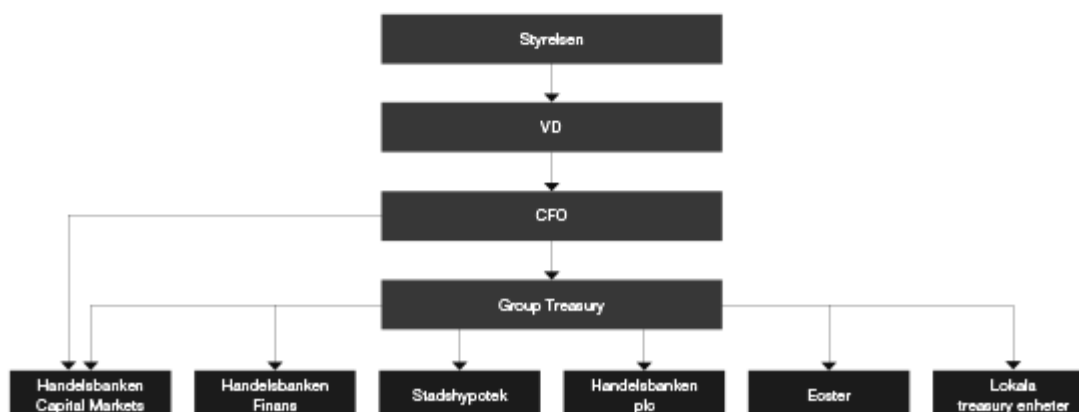
Bankens limitssystem begränsar hur stor exponeringen mot marknadsrisker får vara. Mätmetoder och limiter fastställs av styrelsen. CFO har det funktionella ansvaret för likviditet och finansiering; under CFO har Head of Group Treasury ansvaret för koncernens likviditet och finansiering. Ansvaret omfattar att hantera koncernens likviditets-, valutakurs- och ränterisker i bankverksamheten. Limiterna för ränte-, valuta- och likviditetsrisk fördelas av vd och CFO till Head of Group Treasury, som i sin tur fördelar dessa till de affärsdrivande enheterna. Limiter för aktiekursrisk och råvaruprisrisk fördelas av CFO till Capital Markets.

Vd och CFO beslutar även om kompletterande riskmått, intradagslimiter och närmare riktlinjer. De kompletterande limitmåten syftar till att minska bankens känslighet för volatilitetsförändringar på de finansiella marknaderna samt begränsa riskerna i specifika innehav och likviditetsrisken per valuta. Vidare begränsar de kompletterande limitmåten riskerna ur ett löptidsperspektiv. Marknadsriskerna och utnyttjande av limiter rapporteras löpande till CFO, vd och styrelsen.

## MARKNADSRISKER I HANDELSBANKEN

Marknadsriskerna mäts med flera olika metoder. De känslighetsmått som används visar vilka värdeförändringar som uppstår av fördefinierade förändringar i priser och volatiliteter. Vidare används även positionsrelaterade riskmått och sannolikhetsbaserade Value at Risk-modeller (VaR).

Beslutandenivåer för marknads- och likviditetsrisker



## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Value at Risk för handelslagret –  
Handelsbanken Capital Markets och  
Group Treasury<sup>1</sup>

mkr	Totalt		Aktier		Räntor		Valuta		Räntoror	
	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
Gänomsnitt	14	11	1	1	14	11	2	2	0	0
Maximum	22	23	5	6	23	23	7	7	0	2
Minimum	8	5	0	0	8	5	1	1	0	0
Årskifte	12	11	0	4	13	11	1	2	0	0

<sup>1</sup> Handelslagerklassificerade portföljer omfattas av särskilda instruktioner och riktlinjer.

## Vänta utfall i stressat av handelslagret – Handelsbanken Capital Markets och Group Treasury

mkr	2023	2022 <sup>1</sup>
Gänomsnitt	51	58
Maximum	139	189
Minimum	15	18
Årskifte	52	18

<sup>1</sup> Resultatet för 2022 skiljer sig från tidigare rapporterat resultat på grund av ett beräkningsfel. Av denna anledning har siffrorna för 2022 räknats om.

## VAR

För de handelslagerklassificerade portföljerna i Handelsbanken Capital Markets och Group Treasury beräknas Value at Risk (VaR). VaR är ett sannolikhetsbaserat mått och uttrycker i kronor de förluster som kan uppstå i riskpositioner på grund av rörelser i underliggande marknader över en specificerad innehavsperiod och en given konfidenznivå. VaR beräknas med historisk simulering och mäts för enskilda riskfaktorer, riskslag och på portföljnivå med 99% konfidenznivå och en innehavsperiod på en dag. Detta innebär att banken, i förväntan, kommer att göra en förlust som överstiger VaR-utfallet för en av 100 handelsdagar. Modellen medför att olika riskslag kan behandlas på ett enhetligt sätt, vilket möjliggör en jämförelse mellan riskslag och att dessa kan aggregeras till en total marknadsrisk. Den samlade risken i handelslagerklassificerade portföljer var vid årsskiftet 12 mkr (11). VaR redovisas löpande till CFO, vd och styrelsen. VaR-modellen använder historiskt observerade utfall och fångar därmed inte alla potentiella utfall, till exempel vid extrema, snabba marknadsrörelser. Beräkningarna kompletteras därför med stresstester där portföljerna testas mot scenarier som grundar sig på händelser på de finansiella marknaderna sedan 1994. Även resultaten av dessa stresstester redovisas löpande till CFO, vd och styrelsen.

## Ränterisk

Ränterisken uppstår främst inom Handelsbanken Capital Markets, Group Treasury och

i utlåningsverksamheten. Ränterisken mäts på flera sätt inom banken. Generell ränterisk mäts dagligen och limiteras som absolutsumman av de minst gynnsamma förändringarna i verkligt värde per valuta vid momentana parallellskift uppåt eller nedåt på en procentenhet för samtliga räntor. Vid årsskiftet uppgick bankens totala generella ränterisk till 1 069 mkr (526). Räntebindningstid för inlåning som saknar kontraktuell löptid fastställs med Intermetod. Utgångspunkten för sådan inlåning är den uppskattade räntebindningstiden, där längre räntebindningstid tillämpas för den del som på underlag av observationer kan anses vara såväl stabil som inte räntekänslig. Riskmättet omfattar såväl marknadsvärderade som icke marknadsvärderade räntebärande poster och är därför inte lämpligt för att bedöma resultat effekter på balans- och resultaträkningen. Kompletterande mått och limter fångar istället detta för respektive affärstyp.

Specifik ränterisk mäts och limiteras med känsligheten för förändringar i kreditsspreadar, det vill säga skillnaden mellan det aktuella innehavets ränta och räntan på en statsobligation med motsvarande löptid. Denna risk uppkommer inom Handelsbanken Capital Markets och i Group Treasurys likviditetsportfölj.

Risken mäts och limiteras utifrån olika rating-kategorier och beräknas som den minst gynnsamma marknadsvärdeförändringen vid en baspunkts förändring uppåt eller nedåt av samtliga kreditsspreadar. Detta görs för varje enskild motpart och utfallen absolutsummeras. Total specifik ränterisk uppgick vid årsskiftet till 6 mkr (5).

Hur riskerna utvecklas vid hypotetiska förändringar av olika räntekurvor, så som kurvvridding- och basrisk, mäts och följs upp löpande.

## Ränterisk i handelslagret

Handelslagret i Handelsbanken utgörs av Capital Markets och en handelslagerklassificerad portfölj hos Group Treasury. Vid årsskiftet uppgick den generella ränterisken i handelslagret till 46 mkr (51) och den specifika ränterisken till 2 mkr (1). Den icke-linjära ränterisken, exempelvis en del av risken i räntecoptioner, mäts och limiteras med fördefinierade stressscenarier som uttrycks i matriser. Det innebär att risken mäts som förändringar i underliggande marknadsräntor och volatiliteter. För handelslagret mäts risken även med VaR och andra riskmått som kompletteras med olika stressscenarier.

## Ränterisk i övrig verksamhet

Ränterisken uppstår som ett resultat av att utlåningen dels löper med annan räntebindningstid än finansieringen. Ränterisk hanteras till stor del genom ränteswappar. Ränterisk uppstår även i Group Treasurys likviditetsportfölj och hanteras genom obligationsterminer och ränteswappar. Generellt gäller att ränterisken i allt väsentligt tas i marknader som kännetecknas av god likviditet. Vid årsskiftet uppgick den generella ränterisken i övrig verksamhet till 1 061 mkr (570) och den specifika ränterisken till 4 mkr (5).

För att uppskatta effekten av ränteförändringar på resultaträkningen mäts även räntenettoeffekten. Räntenettoeffekten vid ränteförändringar mäts som förändringen av ränte-

Generell ränterisk i övrig verksamhet (förändring i verkligt värde vid vänta utfall av parallellskift av samtliga räntor med en procentenhet)		
mkr	2023	2022
SEK	392	3
DKK	9	20
EUR	285	3
NOK	12	74
USD	290	366
GBP	68	101
Övriga valutor	4	3
Summa	1 061	570

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Tabellen visar räntebindningstiden för ränterästerade tillgångar och skulder per 2023-12-31.

Räntebindningstider för tillgångar och skulder 2023						
mkr	Upp till 3 månader	3-6 mån	6-12 mån	1-5 år	Över 5 år	Summa
Kassa och tillgodehavanden i centralbanker	508 326					508 326
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	182 277	1 011	1 609	58 374	5 944	249 215
Utlåning till kreditinstitut	19 297					19 297
Utlåning till småföretagen	1 623 097	110 023	165 208	47 476	61 121	2 434 217
Övriga tillgångar	326 737					326 737
<b>Summa tillgångar</b>	<b>2 659 735</b>	<b>111 034</b>	<b>166 817</b>	<b>633 141</b>	<b>67 064</b>	<b>3 637 792</b>
Skulder till kreditinstitut	83 062	3 416	3 125	326	1 195	91 124
In- och upplåning från småföretagen	1 072 730	65 916	38 907	172 535	49	1 350 037
Emitterade värdepapper	439 292	182 444	224 314	615 376	105 173	1 566 599
Övriga skulder	530 033					530 033
<b>Summa skulder</b>	<b>2 125 118</b>	<b>251 676</b>	<b>266 346</b>	<b>788 237</b>	<b>106 418</b>	<b>3 637 792</b>
Poster utanför balansräkningen	-347 183	17 665	48 978	250 653	54 713	34 827

Tillgångar och skulder i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning respektive Skulder som innehas för försäljning, se not K14.

Räntebindningstider för tillgångar och skulder 2022						
mkr	Upp till 3 månader	3-6 mån	6-12 mån	1-5 år	Över 5 år	Summa
Kassa och tillgodehavanden i centralbanker	508 502					508 502
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	115 584	1 104	1 306	45 556	1 925	165 475
Utlåning till kreditinstitut	8 747	668				9 415
Utlåning till småföretagen	1 485 136	184 172	175 910	552 158	70 949	2 469 324
Övriga tillgångar	301 000					301 000
<b>Summa tillgångar</b>	<b>2 418 969</b>	<b>185 944</b>	<b>178 216</b>	<b>697 714</b>	<b>72 874</b>	<b>3 453 716</b>
Skulder till kreditinstitut	77 442	805	2 467	314	1 314	82 372
In- och upplåning från småföretagen	1 130 136	32 516	44 975	174 750	44	1 382 422
Emitterade värdepapper	581 174	120 555	105 575	573 537	136 364	1 517 206
Övriga skulder	471 716					471 716
<b>Summa skulder</b>	<b>2 260 469</b>	<b>183 876</b>	<b>183 047</b>	<b>748 601</b>	<b>137 722</b>	<b>3 453 716</b>
Poster utanför balansräkningen	-172 317	-1 601	-49 408	194 102	55 181	25 967

nettot över en tolv månaders period vid en generell ökning av marknadsräntorna med en procentenhet. Denna effekt speglar de skillnader som finns i räntebindningstider och volymersammansättning mellan tillgångar, skulder och därvidt utanför handelslagret med antagandet att balansräkningens storlek är konstant. I beräkningen fastställs räntebindningstid för inlåning som saknar kontraktuell löptid med internmetod. Detta görs på basis av historiska observationer och endast den del som är såväl stabil som inte räntekänslig justeras. Internmetoden har uppdaterats under året. Räntenettoeffekten uppgick vid årsskiftet till 3 117 mkr (1 634).

**Aktiekursrisk**

Bankens aktiekursrisk uppstår främst i Handelsbanken Capital Markets genom kundhandel och i bankens egna aktieinnehav.

Risken mäts som marknadsvärdet förändringen i bankens totala aktiepositioner vid momentan förändring i aktiepriser och volatiliteter med +/-10 respektive +/-25%. Vid årsskiftet uppgick det värsta utfallet av denna risk till 40 mkr (38). Den största exponeringen i aktier kommer från den brittiska marknaden.

**Aktiekursrisk i handelslagret**

Aktiekursrisken i Handelsbanken Capital Markets uppkommer vid kundgenererade affärer. Vidare är Handelsbanken Capital Markets market maker för strukturerade produkter, vilket ger upphov till aktiekursrisk, såväl linjär som icke-linjär. Den icke-linjära aktiekursrisken uppkommer via inslag av optioner som finns främst i de strukturerade produkterna.

Banken limiterar och mäter aktiekursrisken i Handelsbanken Capital Markets med matriser.

Fördelen med metoden är att den fångar upp aktiekursrisken inklusive den icke-linjära risken på ett ändamålsenligt sätt. Såväl VaR som andra riskmått och stressscenarier används som komplement i mätningen av aktiekursrisken. Vid årsskiftet uppgick VaR för aktiekursrisk i handelslagret till 0 mkr (4).

**Aktiekursrisk utanför handelslagret**

Koncernens aktieinnehav utanför handelslagret utgörs bland annat av Nivå 3-aktier som i huvudsak består av olika typer av bankgemensam verksamhet med anknytning till bankens affär. Innehaven är klassificerade som verkligt värde via övrigt totalresultat och värderas till verkligt värde i balansräkningen. Värdering sker som regel till bankens andel av subetansvärdet i bolaget, alternativt till det pris den senaste transaktionen genomfördes. Aktiekursrisken är liten.

Aktiekursrisk mkr	Förändring i volatilitet					
	2023			2022		
	-25%	0%	25%	-25%	0%	25%
Förändring i aktiepris						
10%	55	58	60	45	46	48
-10%	-40	-37	-35	-38	-37	-35

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Aktieexponeringar utanför handelslagret mkr	2023	2022
Innehav klassificerade som verkligt värde via övrigt totalresultat	601	544
varav Nr 1 och 2	445	392
varav Nr 3	156	152
Innehav klassificerade som verkligt värde via övrigt totalresultat	601	544
varav näringsbetingade	256	252
varav övrigt innehav	345	292
Verkligt värdeserv vid årets ingång	221	199
Realiserad marknadsvärdeförändring under året för kvarvarande samt nya innehav	52	54
Realiserat till följd av försäljningar och avvecklingar under perioden	0	-32
Verkligt värdeserv vid årets utgång	273	221
Inbärgat i supplementärt kapital	0	0

## Valutakursrisk

Då banken har utlåning i flera olika valutor, uppkommer en valutaexponering av strukturell natur då koncernens räkenskaper är uttryckta i svenska kronor. Denna strukturella risk hanteras genom en avvägning mellan att antingen reducera valutakursförändringars påverkan på kapitalrelationerna eller eget kapital. Styrelsen har fastställt den maximala påverkan på eget kapital som den strukturella valutapositionen får ge upphov till i säkringen av kärnprimärkapitalrelationen. De övriga valutakursförändringar som påverkar

bankens egna kapital framgår av tabellen Förändring i eget kapital Koncernen på sidan 86.

Bankens direkta valutakurs exponering uppstår till följd av kunddriven intradaghandel på de internationella valutamarknaderna. Handeln bedrivs inom Handelsbanken Capital Markets. För denna valutakursrisk har styrelsen, vd och CFO fastställt VaR-limiter.

En viss valutaexponering uppstår även i den vanliga bankverksamheten som ett led i hantering av kundflöden och inom finansieringsverksamheten i Group Treasury. För dessa risker har

styrelsen, vd och CFO fastställt positionslimiter.

Vid årsskiftet uppgick den aggregerade nettopositionen till 337 mkr (199), exklusive strukturella valutapositioner. Denna valutakursrisk är inte beroende av trendutvecklingen av en enskild valuta eller grupp av valutor, då positionerna är mycket korta och uppkommer i hanteringen av kunddrivna flöden. Den samlade valutakursrisken i handelslagret och övrig verksamhet var 10 mkr (3), mätt som en påverkan på banken vid en momentan förändring av den svenska kronan med 5%.

Valutakänslighet (Värde utifrån +/-5% förändring av SEK mot respektive valuta) mkr	2023	2022
EUR	15	1
NOK	2	5
USD	0	4
GBP	1	1
Övriga valutor	5	4

## Råvaruprisrisk

Handeln med råvaror bedrivs uteslutande inom Handelsbanken Capital Markets. Exponering i råvarurelaterade instrument uppkommer endast till följd av kunddriven handel på de internationella råvarumarknaderna. Råvaruprisrisk, såväl linjär som icke-linjär, mäts som absolutsumman av risken för alla råvaror där banken har exponering. Råvaruprisrisken var vid årsskiftet 0 mkr (1), mätt som den maximala förlusten vid priset förändringar upp till 20% i underliggande råvaror och volatilitetsförändringar upp till 35%. Vid årsskiftet uppgick VaR för råvaruprisrisk till 0 mkr (0).

## Övriga marknaderisker

Marknadsrisk uppkommer även inom bankens pensionssystem (pensionsrisk). Risken består av risken för värdeförändringar på pensions-tillgångarna som tryggar bankens pensions-åtaganden, samt av förändringar i diskonteringsräntor.

## Värdering till verkligt värde

Affärsverksamheten ansvarar för att värderingen av finansiella instrument är korrekt och riskkontrollen ansvarar för att värderingarna valideras. Valderingsansvaret innebär att tillse kontroll av marknadsdata som används till värderingen och se till att denna kontroll sker oberoende av risktagarna.

Källor för marknadsdata är oberoende från affärsverksamheten. I de fall där marknadsdata erhållits från affärsverksamheten sker dokumenterade kontroller av rimlighet och mot externa källor. Verifiering av marknadspriser och marknadsdata till modeller ska ske åtminstone varje månad men sker i all väsentlighet även dagligen. Värderingsmodeller valideras av riskkontrollfunktionen som är oberoende av den som utvecklade modellen. Värderingskommittén, vars syfte är att samordna värderingsfrågor i Handelsbankenkoncernen, fyller en viktig funktion för att säkerställa, och verka för, att värderingen är korrekt och följer gällande marknadspraxis.

Värderingen av finansiella instrument som värderas till verkligt värde sker enligt IFRS 13. Se not K42 för närmare information om de tillgångar och skulder som värderas till verkligt värde samt för ytterligare information om bankens värderingsprocess.

## Försiktig värdering

I enlighet med värderingsreglerna i kapitalkäkningsregelverket, gör Handelsbanken kvartalsvis en justering av kapitalbasen avseende osäkerheten i värderingen av positioner värderade till verkligt värde. Justeringen syftar till att bedöma vad kapitalbasen minst är värd för banken med 90% säkerhet vid en försäljning eller stängning av positionerna. Justeringen beräknas som skillnaden mellan en försiktig värdering och det redovisade värdet som är det mest sannolika värdet. Justeringen baseras på bedömningar om bland annat osäkerhet i marknadsdata, koncentrerade positioner och modellrisker.

## K2 Forts

## FINANSIERING OCH LIKVIDITETSRISK

Likviditetsrisk är risken för att banken inte kan fullgöra sina betalningsförpliktelser när dessa förfaller, utan att drabbas av oacceptabla kostnader eller förluster.

## FINANSIERINGSSTRATEGI

Handelsbanken har låg tolerans för likviditetsrisker, såväl totalt sett såsom i enskilda valutor. Ambitionen är att ha god tillgång till likviditet, låg resultatvariation och stor kapacitet att även i svåra tider kunna tillgodose kundernas finansieringsbehov. Det sker genom att upprätthålla god matchning av ingående och utgående kassaflöden över tid i alla för banken väsentliga valutor och genom att upprätthålla stora likviditetsreserver av god kvalitet. Banken minimerar på det sättet de ekonomiska riskerna i finansieringen och kan därmed upprätthålla stabil och långsiktig finansiering till de affärsdrivande enheterna.

Banken eftersträvar en balanserad användning av inlånings- och marknadsfinansiering. Vidare eftersträvas en bredd i finansieringsprogrammen och deras användning. Därigenom säkerställs att banken kan bedriva sin kärnverksamhet intakt under en lång period även om de finansiella marknaderna skulle ha omfattande störningar.

Resultatet av detta arbete är en väl matchad balansräkning där likvida tillgångar finansieras med stabil finansiering. De likvida tillgångarna utgörs av krediter till hushåll och företag. Dessa krediter utgör bankens kärnverksamhet. Den långsiktiga stabila finansieringen av dessa tillgångar utgörs av säkerställda obligationer emitterade av Stadshypotek, seniora obligationer emitterade av Handelsbanken, inlåning från hushåll och viss inlåning från företag, efterställda skulder och eget kapital.

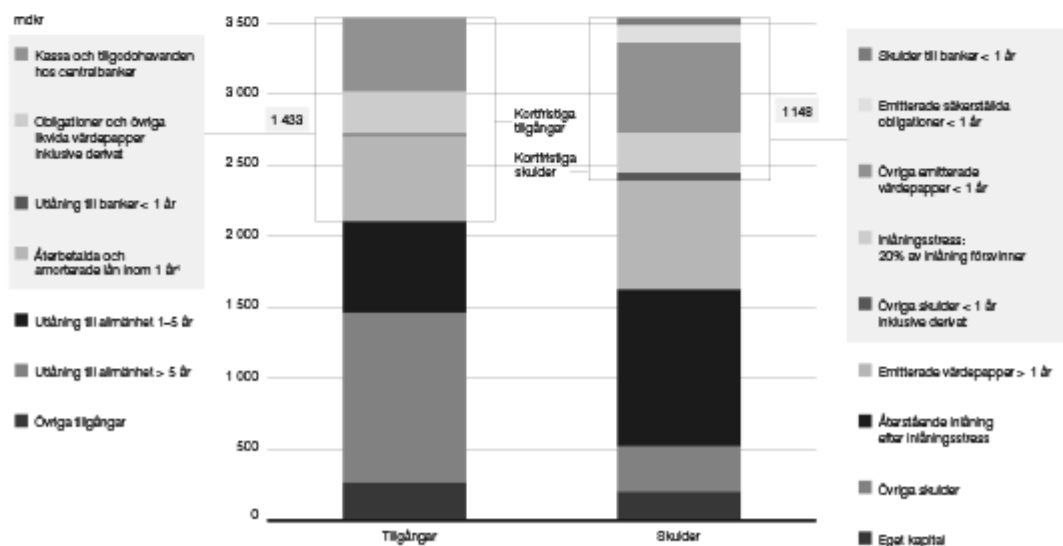
En balansräkning är en ögonblicksbild av tillgångar och skulder. För att säkerställa bankens åtaganden gentemot kunder och investerare är det viktigt med ett framtidsblickande perspektiv i finansierings- och likviditetsriskhanteringen. Balansräkningen är därför strukturerad så att den reala ekonomins aktörer i form av företag och hushåll och deras behov av krediter kan understödjas även under en långvarig stress på de finansiella marknaderna. De kortfristiga skulderna täcks med god marginal av de kortfristiga tillgångarna. I figur Balansräkningens sammansättning ur ett löptidsperspektiv beskrivs balansräkningen i ett stressat scenario där 20% av inlåningen antas försvinna inom ett år och all tillgång till ny marknadsfinansiering försvinner. Trots stressen beräknas korta tillgångar vid årets slut väsentligt överstiga korta skulder. Effekten av en långvarig kris skulle bli en krympt balansräkning med bibehållen kärnverksamhet där volymen korta tillgångar successivt används för att återbetala förfallande korta skulder. Skulle en kris bli än mer allvarig finns det likviditetsskapande åtgärder förberedda för att stödja verksamheten ytterligare.

Handelsbankens förtroende på marknaden är högt och marknaden bedömer att Handels-

bankens kreditrisk är låg. Detta illustreras bland annat av att kostnaden för att försäkra en kreditrisk på banken, den så kallade CDS-spreaden, är fortsatt en av de lägsta bland europeiska banker, och att Handelsbanken har låga finansieringskostnader jämfört med konkurrerande banker. Handelsbanken har en fortsatt hög rating hos de externa ratinginstituten och är en av de högst ratade bankerna globalt utifrån samtliga jämförbara banker. Utsiktterna för bankens rating är stabil från Standard and Poor's och Fitch medan ratingen från Moody's har negativa utsikter, på grund av bankens stora exponering mot fastighetssektorn och hypotekiska problem i ett stressat systemomfattande scenario.

Ett viktigt inslag i finansieringsstrategin är att ha en god spridning mellan olika typer av finansieringskällor i olika marknader, valutor och typer av upplåningsinstrument. På så vis reduceras betydelsen av enskilda marknader eller finansieringskällor. Banken har en geografiskt väldiversifierad långfristig utlandsfinansiering och har emitterat betydande volymer av obligationer i bland annat amerikanska dollar, euro, schweizer franc och australiska dollar. De viktigaste finansieringskällorna är inlåning från hushåll och företag samt säkerställda och seniora obligationer. Den korta finansieringen utgörs primärt av inlåning från finansiella företag och institutioner samt emissioner av bankcertifikat (CP) och inlåningsbevis (CD). Group Treasury förögar över ett antal olika finansieringsprogram för marknadsfinansiering. Under dessa program emitteras obligationer, inlåningsbevis och bankcertifikat såväl i bankens namn som för Stadshypotek och Handelsbanken plc. Finansieringsprogrammen säkerställer en väl diversifierad

Balansräkningens sammansättning ur ett löptidsperspektiv



\* Enligt amorteringsplaner, kontraktuella förfall och ytterligare återbetalningar av lån enligt prognos.

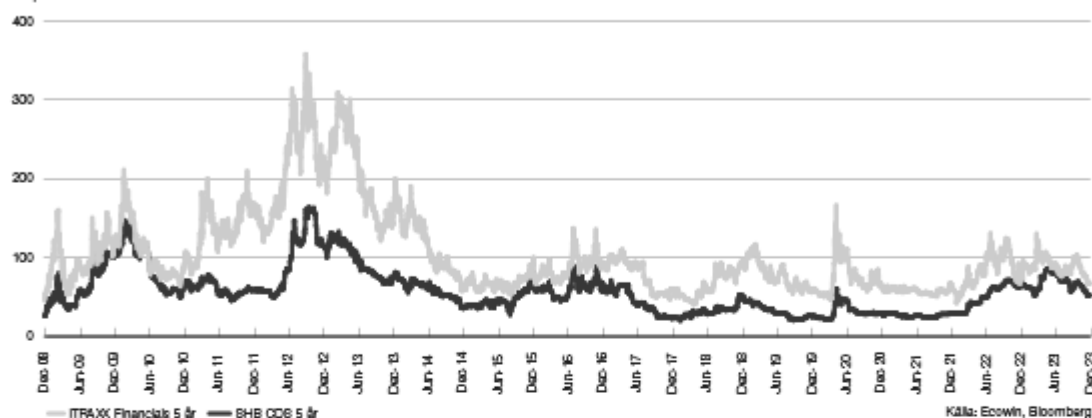
## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

## Handelsbankens 5-åriga CDS-spread jämfört med ITRAXX Financials

ITRAXX Financials är ett index över CDS-spreaderna för de 25 största obligatörsämittenterna inom bank- och försäkringsskeden i Europa och beskriver den genomsnittliga premien som investerare kräver för att acceptera kreditrisk på bolagen. Indexet utskades till 30 emitterar från och med början av 2023.

Baspunkter



tillgång till finansiering med avseende på olika valutor, antal investerare, skuldtyper och geografisk spridning.

## ORGANISATION

Handelsbanken har en decentraliserad affärsmodell där bankens likviditetsövervakning sker lokalt nära affärerna, men all finansiering och likviditetshandling i koncernen är centraliserad till Group Treasury. Finansierings- och likviditetshandlingen styrs av policyer fastställda av styrelsen som också beslutar om limit. Dessa policyer konkretiseras i riktlinjer av vd och instruktioner från CFO. Instruktionerna fastställer bland annat limit, finansierings sammansättning och riktvärden i samband med stömlingar på finansieringsmarknaderna. Vidare kanaliseras alla likviditetslimit ut i verksamheten via Group Treasury.

Group Treasury ansvarar också för bankens likviditetsreserv, inklusive de pantar som måste hållas i olika betalnings- och clearingssystem och övervakar likviditetsflödena under dagen för att säkerställa att banken har tillräckligt med säkerheter i betalningssystemen för att fullfölja bankens betalningsförpliktelser.

Storleken på pantar i clearingssystemen sätts utifrån den omfördelning som banken bedömer behövs för bankens åtaganden både vid normala och vid stressade förhållanden. Vid förändringar av dessa förhållanden justeras storleken av pantar

och likviditet, och vid krisituationer kan också pantar omfördelas och likviditetsreserven utnyttjas. Verksamheten säkerställer också marginalkrav från centrala och bilaterala motparter avseende derivatekonponeringar. Banken säkerställer likviditeten på bankens centralbanks- och nostrokonton för förväntade betalnings- och avvecklingsåtaganden genom aktiv likviditetsplanering och övervakning i samtliga valutor.

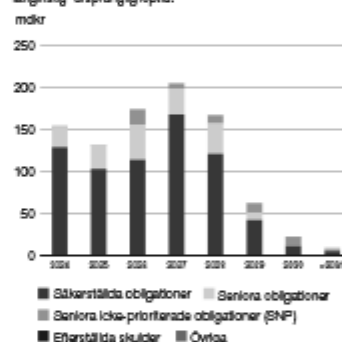
## MARKNADSFINANSIERING – SAMMANSÄTTNING

Den makroekonomiska miljön under 2023 har periodvis karaktäriserats av stor osäkerhet. Osäkerheten – en följd av inflation, stigande räntor, ett svagare företagsklimat och geopolitiska risker – har påverkat de finansiella marknaderna och lett till att volatiliteten i kreditsspreadar och generella räntor har varit hög. Handelsbanken har dock under hela året haft tillgång till marknaderna och därmed kunnat bibehålla en stark likviditetssituation under hela året. Den osäkerhet som präglade real ekonomin och de finansiella marknaderna under året ledde till ett beslut att stärka reserverna och marknadsfinansieringen blev därmed något större än planerat under 2023.

Handelsbanken har under året emitterat totalt 227 mdkr (192) i långfristig marknadsfinansiering fördelat över bankens viktigaste

## Långfristig marknadsfinansiering – förfallostruktur

Avser emitterade värdepapper per 2023-12-31 med en långfristig<sup>1</sup> ursprunglig löptid.



## Marknadsfinansiering säkerställda obligationer per valuta 2023

Avser fördelningen av valutor 2023-12-31 för emitterade säkerställda obligationer. Belopp i mdkr inom parantes.



## Kortfristig marknadsfinansiering per valuta 2023

Avser fördelningen av valutor 2023-12-31 för emitterade värdepapper med en kortfristig<sup>2</sup> ursprunglig löptid. Belopp i mdkr inom parantes.



<sup>2</sup> Kortfristig löptid motsvarar en löptid understigande ett år och en månad.

## Långfristig marknadsfinansiering per valuta 2023

Avser fördelningen av valutor 2023-12-31 för emitterade värdepapper med en långfristig<sup>3</sup> ursprunglig löptid. Belopp i mdkr inom parantes.



<sup>3</sup> Långfristig löptid motsvarar en löptid lika med eller överstigande ett år och en månad.

## Långfristig marknadsfinansiering per instrument 2023

Avser fördelning per instrument 2023-12-31 för emitterade värdepapper med en långfristig<sup>4</sup> ursprunglig löptid. Belopp i mdkr inom parantes.



<sup>4</sup> Långfristig löptid motsvarar en löptid lika med eller överstigande ett år och en månad.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

finansieringsvalutor. En viktig komponent i den långfristiga marknadsfinansieringen är emissioner av säkerställda obligationer. Valutafördelningen över den utestående stocken visas i figur Marknadsfinansiering säkerställda obligationer per valuta. Kortfristig upplåning sker företrädesvis genom emissioner av bankcertifikat och inlåningsbevis i Europa och USA. Denna upplåning kompletteras av tidsbestämd inlåning från stora företag, finansiella såväl som icke-finansiella. I anslutning till finansieringsverksamheten har banken fortsatt att möta investerare i samma omfattning som tidigare, uppdaterat upplåningsprogram och även i övrigt bibehållit förutsättningarna för en obligationsoptimering på relevanta globala upplåningsmarknader. Detta har möjliggjort att finansieringsverksamheten kunnat genomföras som normalt under året.

## PANTSATTA TILLGÅNGAR OCH SÄKERHETSPOOLER

Ytterligare ett viktigt led i Handelsbankens likviditetshantering är att hålla betydande volymer av outnyttjade säkerheter som kan användas vid störningar på finansmarknaderna. En förutsättning för att kunna ställa mer säkerheter är att banken förfogar över outnyttjade säkerheter i utgångsläget. Banken upprätthåller därför betydande volymer av icke-pantsatta tillgångar som skulle kunna användas som säkerhet vid emission av säkerställda obligationer och

likvida värdepapper med mycket hög kreditvärdighet.

Banken är restriktivt med att ingå avtal, till exempel CSA-avtal, som stipulerar att banken under vissa kriterier kan tvingas att ställa säkerheter till en motpart. Sådana avtal ingås generellt enbart med kreditinstitut. Ställda kontantsäkerheter enligt CSA-avtal för utestående derivat uppgick till 18 705 mkr (8 670). För mer information om bankens inlånade tillgångar, se Faktaboken som återfinns på handelsbanken.com/risv, tabell Ställda säkerheter. Utöver att säkerställa bankens likviditet bidrar det restriktiva arbetssättet till att begränsa i vilken utsträckning bankens seniora långlivare blir efterställda de långlivare som investerar i säkerställda obligationer, så kallad subordnering.

För att bedöma graden av subordnering mellan investerare av icke-säkerställd finansiering och säkerställd finansiering är det volymen och kreditkvaliteten på de icke-pantsatta tillgångarna som är relevant. Handelsbankens restriktiva syn på risktagande gör att de icke-pantsatta tillgångarna har en hög kvalitet. Eftersom Handelsbanken vill ha en balanserad användning av säkerställda och seniora obligationer finns en betydande volym hypotekslån som inte är pantsatta.

Tabell Tillgångar som ej är inlånade/pantsatta visar att volymen icke-pantsatta tillgångar för Handelsbanken utgör 261 % (272) av den utestående volymen icke-säkerställd upplåning.

Den helt dominerande delen av de pantsatta tillgångarna utgörs av Stadshypoteks cover pooler, vilka består av hypotekslån som ställs som säkerhet för utestående säkerställda obligationer. Dessutom har banken ett frivilligt så kallat OC (over-collateralisation), det vill säga extra tillgångar utöver de som behövs för att täcka de emitterade obligationerna och utöver de 2% som lagstiftningen kräver, på 8% som ingår i poolen. Dessa extra tillgångar finns i poolen i händelse av att värdet på hypotekslånen skulle sjunka till en sådan nivå att ytterligare tillgångar behövs för att matcha volymen utestående obligationer.

Vid en bedömning av risken för att ytterligare tillgångar blir nödvändiga att skjuta till, är belåningsgraden på hypotekslånen i cover poolen central. Ju lägre belåningsgrad, desto mindre risk för att ytterligare hypotekslån krävs i poolen vid prisfall på fastighetsmarknaden. Handelsbankens genomsnittliga volymviktade belåningsgrad, LTV-max, uppgick i den svenska poolen till 54,0% (51,0) och i den norska poolen till 58,4% (55,8). Detta visar att banken klarar betydande prisfall på underliggande fastighetstillgångar innan ytterligare hypotekslån måste tillföras poolerna. De tillgångar som banken valt att hålla utanför cover poolerna återfinns i tabell Tillgångar som ej är inlånade/pantsatta och kan användas för emissioner av säkerställda obligationer om så skulle vara nödvändigt.

Tillgångar som ej är inlånade/pantsatta	2023		2022	
	IPT (NEA) <sup>1</sup>		IPT (NEA) <sup>1</sup>	
mkr	Akumulerad andel av icke-säkerställd upplåning, % <sup>2</sup>		Akumulerad andel av icke-säkerställd upplåning, %	
Kontanter samt behållning hos centralbanken	505	65	505	66
Likvida obligationer i likviditetsportföljen <sup>3</sup>	298	83	171	75
Utlåning till hushåll inkl derivat	486	634	624	
varav hypotekslån	325	118	362	116
varav utlåning med säkerhet i fastighet	2	118	3	116
varav övrig hushållsutlåning	139	133	152	133
Utlåning till företag inkl derivat	1 188	1 200		
varav hypotekslån	455	182	433	181
varav utlåning till bostadsrättsföreningar och hypotekslån	83	191	84	190
varav utlåning till fastighetsbolag och hypotekslån				
- riskklass 1-3	250	219	311	225
- riskklass 4-5	192	239	152	241
- varav riskklass > 5	16	241	8	242
varav övrig företagsutlåning				
- riskklass 1-3	100	252	136	257
- riskklass 4-5	61	259	70	265
- riskklass > 5	11	260	6	266
Utlåning till kreditinstitut inkl derivat	5	4	4	
- riskklass 1-3	4	260	4	266
- riskklass > 3	1	260	0	266
Övrig utlåning	5	261	65	272
Övriga tillgångar	0	261	0	272
Summa	2 407	261	2 450	272
Pantsatta tillgångar utan underliggande skuld <sup>4</sup>	70		75	
Pantsatta tillgångar med underliggande skuld	1 062		920	
Summa tillgångar, koncernen	3 538		3 454	

<sup>1</sup> IPT: icke-inlånade/pantsatta tillgångar. NEA: Non encumbered assets.

<sup>2</sup> Emittent kort och lång icke-säkerställd upplåning samt skulder till kreditinstitut.

<sup>3</sup> Avser i centralbank pantsättningsbart värde.

<sup>4</sup> Överpantsättning i Cover pool (OC) och medel avsatta för Operational Continuity in Resolution krav i UK (från 2021).

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Cover pool-data	Sverige		Norge	
	2023	2022	2023	2022
miel				
Stadshypotek summa utlåning, allmänheten	1 394 877	1 376 478	125 975	127 264
Tillgängliga tillgångar för cover pool	1 281 717	1 264 436	117 137	121 596
Anspråkstagna tillgångar i cover pool	692 069	651 915	73 414	76 747
Fyllnads säkerheter, spårat konto	300	100	120	0
Max-belåningsgrad %, vägt genomsnitt enligt ABCB:s definition <sup>1</sup>	54,02	51,08	58,43	55,85
Belåningsgrad, fördelning				
0-10%	22,6	24,2	21,5	22,6
10-20%	19,9	20,9	19,4	20,3
20-30%	17,2	17,7	16,9	17,5
30-40%	14,4	14,4	14,3	14,5
40-50%	11,2	10,6	11,6	11,3
50-60%	7,9	6,9	8,7	7,8
60-70%	5,1	4,1	5,7	4,6
70-75%	1,7	1,3	1,9	1,4
Lånestorlek, vägt genomsnitt, kronor	820 600	780 900	2 822 572	2 883 595
Lånelivslängd, vägt genomsnitt, antal månader <sup>2</sup>	76,0	73,0	29,0	28,0
Räntebindningstider, fördelning				
Förång ränta, %	51,2	44,4	95,0	95,8
Bunden ränta, %	48,8	55,6	5,0	4,2

<sup>1</sup> Association of Swedish Covered Bond Issuers.<sup>2</sup> Beräknat från lånets beviljanddatum.

## LIKVIDITETSRISK

Banken hanterar en stor mängd in- och utgående kassaflöden i sin verksamhet. För att begränsa risken i likviditetshanteringen har banken ett robust risktoleransramverk med både limiter och kvalitativt uttryckta mål för likviditetsrisk. Group Risk Control ansvarar för riskmätningen och rapporterar riskutnyttjandet dagligen till CFO och vid samt löpande till styrelsen.

Likviditetsplaneringen bygger på en analys av kassaflöden för respektive valuta. Generellt gäller att exponeringen tillåts vara större i valutor med hög likviditet än i valutor där likviditeten är låg. Finansieringsstrategin bygger på att likvida tillgångar finansieras stabilt och långsiktigt och att en positiv likviditetsposition (kassaflöden tillsammans med likvida tillgångar) ska upprätthållas även under stressade förhållanden.

Styrningen av bankens likviditetssituation baseras därför på stresstestervilka utförs på såväl aggregerad nivå som enskilt i de för banken väsentliga valutorna. Stresstesterna säkerställer att banken har tillräcklig likviditet i både det korta och långa perspektivet givet olika stressade scenarier och likviditetsskapande åtgärder. Stresstesterna utförs med såväl marknadsvid som idiosynkratisk stress på en regelbunden basis samt ad hoc. De kompletteras även med scenarionalyser som tar kraftiga bostadsprisfall i beaktande. I stresstesterna antas att banken inte har tillgång till marknadsfinansiering samtidigt som delar av inlåningen från hushåll och företag successivt försvinner under den första månaden. Vidare antas att banken fortsätter att bedriva sin kärnverksamhet genom att utlåningen till hushåll och företag förlängs vid förfall och att kunderna delvis nyttjar utställda löften och kreditfaciliteter.

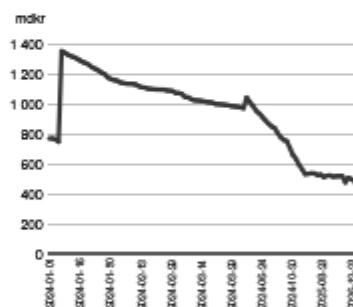
Stresstesterna utgår från att likviditetsreservens kassatillgångar används och att värdepapper omedelbart kan ge likviditet genom belåning, i första hand via marknaden och som sista utväg i centralbanker.

Därutöver kan banken skapa likviditet genom att nyttja emissionsutrymme av säkerställda obligationer samt aktivera övriga likviditetsskapande åtgärder för att successivt ge likviditet till banken. Volymen och kvaliteten på utnyttjade säkerheter ska vara sådan att de vid en krisituation kan ge banken den likviditet som är nödvändig. Under dessa förutsättningar är banken likvid i mer än tre år. Banken har således en stor motståndskraft mot omfattande och långvarig stress.

I tabellerna Förfalloanalys för finansiella tillgångar och skulder redovisas icke diskonterade kassaflöden för de kontrakterade betalningsåtaganden inklusive ränteflöden som ska erläggas senast inom de angivna tidsintervallen. I tabellen redovisas innehav i obligationer och andra räntebärande värdepapper i det tidsintervall i vilket de kan omsättas till likviditet vid en eventuell belåning eller försäljning. Vidare redovisas tillgångar, skulder och ränteflöden som förfaller i de tidsintervall som motsvarar kontraktens förfalldatum. Finansiella garantier, lånelöften och utnyttjade räkningskrediter redovisas i sin helhet i tidsintervallet upp till 30 dagar. Totalt utestående belopp för dessa åtaganden representerar inte nödvändigtvis framtida finansieringsbehov. För derivatinstrument redovisas kassaflöden netto för ränteswapper och brutto för instrument för vilka bruttokassaflöden erläggs respektive erhålls, som exempelvis valutaswapper.

Likviditetstäckningskvoten LCR (Liquidity Coverage Ratio) är genom Europeiska kommis-

Stresstest av likviditeten inklusive likviditetsskapande åtgärder – ackumulerad likviditetsposition





## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

sloniens delegerade förordning ett bindande krav för banker inom EU. Måttet uttrycker kvoten mellan bankens likviditetsbuffert och nettokassaflöden i ett mycket stressat scenario under en 30-dagarsperiod. Kravet gäller på aggregerad nivå och kvoten ska uppgå till minst 100%. Finansinspektionen ställer även krav på LCR i enskilda valutor inom ramen för översyn och utvärderingsprocessen i Pelare 2. Vid årsskiftet uppgick koncernens aggregerade LCR till 210% (163), vilket visar att banken har stor motståndskraft mot kortfristiga störningar på finansieringsmarknaden.

Minimikravet för den strukturella likviditetsmättet Net Stable Funding Ratio (NSFR), relationen mellan tillgänglig stabil finansiering och behovet av stabil finansiering, innebär att banken ska ha tillräcklig stabil finansiering för att täcka sina finansieringsbehov över en längre tids-

period, under både normala och stressade förhållanden. Minimikravet gäller på aggregerad nivå och kvoten ska uppgå till minst 100%. Vid utgången av 2023 uppgick NSFR till 120% (114) på koncernnivå.

## PRISSÄTTNING AV LIKVIDITETSRISK

En viktig del av likviditetsriskhanteringen är att inlåning och utlåning internt prissätts med hänsyn till de likviditetsrisker de ger upphov till. När banken tillhandahåller ett lån med lång löptid skapas ett behov av att införskaffa ytterligare långfristig finansiering, vilket normalt är dyrare än kortfristig finansiering. Detta är till följd av att investeraren som köper bankens långfristiga obligationer normalt kräver en högre kompensations för löptiden. Detta beaktas i bankens interna prissättning vilket sker genom det pris som interna enheter i banken får betala för den finansiering de

erhåller från Group Treasury. Den interna prissättningen är viktig för att skapa rätt incitament och undvika att ett osunt risktagande uppstår. Bankens har under lång tid arbetat med löptidsbaserade internt räntor som säkerställer att priset på kontraktsnivå tar höjd för den finansieringskostnad och likviditetsrisk avtalet gett upphov till.

Liquidity coverage ratio (LCR) – delkomponenter mkr	2023	2022
Högkvalitativa likviditetstillgångar	788 887	673 706
Kassaflöden	424 831	400 448
Inlåning från allmänheten och småföretag	55 996	65 380
Osäkrad kapitalmarknadsfinansiering	255 923	293 008
Säkrad kapitalmarknadsfinansiering	4 266	7 351
Övriga kassaflöden	108 646	124 709
Kassainflöden	83 449	77 802
Inflöden från fullt presterande exponeringar	40 108	27 209
Övriga kassainflöden	23 341	50 293
Liquidity coverage ratio (LCR), %	210	163

Delkomponenterna definieras i enlighet med Kommissionens delegerade förordning (EU) 2015/61.

Net stable funding ratio (NSFR) – delkomponenter mkr	2023	2022
Tillgänglig stabil finansiering	2 101 803	2 036 882
Kapitalposter och kapitalinstrument	208 436	214 134
Inlåning från allmänheten	709 447	724 112
Kapitalmarknadsfinansiering	1 179 688	1 092 732
Övriga skulder	3 931	5 954
Behov av stabil finansiering	1 788 068	1 793 937
Summa av högkvalitativa likvida tillgångar	6 053	4 918
Tillgångar som är inlämnade för en återstående löptid på ett år eller mer i en säkerhetsmassa	487 444	483 554
Icke nödlidande lån och värdepapper	1 178 603	1 232 720
Övriga tillgångar	63 915	48 935
Poster utanför balansräkningen	22 040	23 811
Net stable funding ratio (NSFR), %	120	114

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

För inlåningsvolymerna avser kolumn "Ospecifierad löptid" inlåning som är betalbar på anfordran. Tabellen innehåller ränterisken vilket innebär att balansraderna inte är avstämningsbara mot koncernens balansräkning. Löptidstabeller utan ränterisken inkludera löptidstabeller i valuta återlämnas i Faktaboken på handelsbanken.com/inv.

Förtecknande för finansiella tillgångar och skulder 2023	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Ospecifierad löptid	Summa
Kassa och tillgodo-havanden i centralbanker	508 710							508 710
Betalningsbara statsskuldförbindelser <sup>a</sup>	192 274							192 274
Obligationer och andra räntebärande värdepapper <sup>a</sup>	50 435							50 435
Utlåning till kreditinstitut	17 401	521	788	1 304	3 129	2 936		25 448
varav omvändarepor	9 623							9 623
Utlåning till allmänheten	92 630	327 172	258 418	279 380	465 330	1 227 112		2 650 042
varav omvändarepor	17 404							17 404
Övrigt	17 847						308 890	326 737
varav aktier och andelar	12 218							12 218
varav fordringar på fondkivider	5 629							5 629
<b>Summa tillgångar</b>	<b>886 207</b>	<b>327 693</b>	<b>259 207</b>	<b>280 683</b>	<b>468 458</b>	<b>1 229 417</b>	<b>308 890</b>	<b>3 760 646</b>
Skulder till kreditinstitut	39 546	35 766	1 783	703	381	1 001	13 115	92 295
varav repor								
varav inlåning från centralbanker	11 741	20 288						32 029
In- och upplåning från allmänheten	72 616	188 060	33 509	4 994	1 623	157	1 049 740	1 350 659
varav repor								
Emitterade värdepapper <sup>a</sup>	73 317	437 143	271 904	145 936	569 336	94 931		1 592 568
varav säkerställda obligationer	336	54 465	76 996	1 04 626	390 687	55 744		682 756
varav bankcertifikat (CD:s) med ursprunglig löptid								
undersliggande ett år	28 975	1 27 206	46 508					202 694
varav företagscertifikat (CP:s) med ursprunglig löptid								
undersliggande ett år	47 841	225 686	1 36 389					409 916
varav bankcertifikat (CD:s) och företagscertifikat (CP:s)								
med ursprunglig löptid över ett år	99	19 034	14 117					33 240
varav Senior Non-primed-obligationer		557	414	970	37 871	25 674		65 486
varav seniora obligationer och övriga värdepapper med								
ursprunglig löptid över ett år	1 00	27 489	2 886	35 008	121 494	11 500		198 487
Efterställda skulder		14 022	565	1 353	20 192	14 967		50 409
Övrigt	7 750	220	377	654	1 383	638	519 013	530 035
varav korta positioner	2 366							2 366
varav fondkividskivider	5 210							5 210
<b>Summa skulder</b>	<b>103 229</b>	<b>675 212</b>	<b>308 139</b>	<b>153 640</b>	<b>592 016</b>	<b>111 093</b>	<b>1 581 867</b>	<b>3 616 096</b>
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånebrev	427 865							
<b>Darvat 2023</b>	<b>Upp till 30 dagar</b>	<b>31 dagar- 6 månader</b>	<b>6-12 månader</b>	<b>1-2 år</b>	<b>2-5 år</b>	<b>Över 5 år</b>	<b>Summa</b>	
Summa darvat inflöde	130 088	462 290	124 514	93 751	265 217	89 804		1 166 564
Summa darvat utflöde	131 698	468 845	127 404	92 031	252 501	81 931		1 154 610
<b>Netto</b>	<b>-910</b>	<b>-6 555</b>	<b>-2 890</b>	<b>1 720</b>	<b>12 716</b>	<b>7 873</b>		<b>11 954</b>

Tillgångar och skulder i tabellen ovan inkluderar avföringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificeras till Tillgångar som innehas för försäljning respektive Skulder som innehas för försäljning, se not K14.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Förtälcatsen för finansiella tillgångar och skulder 2022 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Opspecifierad löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	508 723							508 723
Belåningsbara statsskuldforbindelser <sup>1</sup>	132 989							132 989
Obligationer och andra räntebärande värdepapper <sup>2</sup>	32 846							32 846
Utlåning till kreditinstitut varav omvända repor	6 346	180	328	584	1 872	2 382		11 691
Utlåning till allmänheten varav omvända repor	65 944	301 136	242 443	280 925	510 950	1 245 526		2 646 914
Ovrigt varav aktier och andelar	12 292						277 283	12 292
varav fordringar på fondkivider	23 717							301 000
	12 895							12 895
	10 902							10 902
<b>Summa tillgångar</b>	<b>770 864</b>	<b>301 306</b>	<b>242 771</b>	<b>281 510</b>	<b>512 822</b>	<b>1 247 908</b>	<b>277 283</b>	<b>3 634 163</b>
Skulder till kreditinstitut varav repor	38 283	27 232	3 622	1 010	477	1 551	10 809	82 983
varav inlåning från centralbanker	14 212	20 009	2 652	1 14			3	36 989
In- och upplåning från allmänheten varav repor	27 400	75 911	36 517	10 017	2 085	5 849	1 224 903	1 382 682
	4							4
Emitterade värdepapper <sup>3</sup> varav säkerställda obligationer	92 544	510 171	185 168	187 428	423 003	127 585		1 525 899
varav bankcertifikat (CBs) med ursprunglig löptid understigande ett år	7 394	76 552	11 011	157 739	323 167	75 500		651 884
varav företagscertifikat (CPs) med ursprunglig löptid understigande ett år	35 095	195 836	58 078					289 009
varav bankcertifikat (CBs) och företagscertifikat (CPs) med ursprunglig löptid överstigande ett år	49 419	207 869	73 242					330 530
varav seniora obligationer och övriga värdepapper med ursprunglig löptid över ett år	9	6 549	8 973	553				16 084
varav Senior Non-preferred obligationer		283	140	423	25 585	25 027		51 458
varav seniora obligationer och övriga värdepapper med ursprunglig löptid över ett år	1 05	23 082	33 724	28 713	74 251	27 058		186 933
Efterställda skulder		9 614	145	14 496	13 511	11 476		40 240
Ovrigt varav korta positioner	5 047	375	378	716	1 456	653	463 099	471 724
varav fondkividskulder	1 947							1 947
	3 087							3 087
<b>Summa skulder</b>	<b>163 273</b>	<b>623 302</b>	<b>226 830</b>	<b>213 666</b>	<b>440 533</b>	<b>147 114</b>	<b>1 668 810</b>	<b>3 512 529</b>
Poster utanför balansenkningen Finansiella garantier och ej utnyttjade lånelöften	459 114							
<b>Derivat 2022</b>	<b>Upp till</b>	<b>31 dagar-</b>	<b>6 månader</b>	<b>6-12</b>	<b>1-2 år</b>	<b>2-5 år</b>	<b>Över 5 år</b>	<b>Summa</b>
mkr	30 dagar			månader				
Summa derivat inflöde	182 101	590 120	150 293	121 954	213 073	117 024		1 374 565
Summa derivat utflöde	180 101	589 221	149 097	120 987	211 934	111 955		1 363 295
Netto	2 000	899	1 196	967	1 139	6 069		11 270

<sup>1</sup> Av beöppat (exklusive räntor) har 169 372 mkr (106 107) en återstående löptid som understiger ett år.

<sup>2</sup> Av beöppat (exklusive räntor) har 3 334 mkr (2 511) en återstående löptid som understiger ett år.

<sup>3</sup> Av beöppat (exklusive räntor) har 758 321 mkr (767 033) en återstående löptid som understiger ett år.

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

## LIKVIDITETSRESERVEN

För att säkerställa att banken har tillräckligt med likviditet för att stödja kärverksamheten även under stressade finansiella förhållanden håller banken betydande likviditetsreserver i alla för banken relevanta valutor. Likviditetsreserven som är oberoende av finansierings- och valuta-växlingsmarknaderna kan vid var tid ge likviditet till banken.

Likviditetsreserven består av flera olika delar.

Kassa, tillgodohavanden och övrig utlåning till centralbanker är delar som omedelbart kan ge likviditet till banken. Vidare består reserven av likvida värdepapper som statsobligationer, säkerställda obligationer och andra värdepapper av mycket god kreditkvalitet som är likvida och belåningsbara i centralbanker. Även dessa kan ge banken likviditet omedelbart.

Resterande delar av likviditetsreserven består av outnyttjat emissionsutrymme av säkerställda obligationer och övriga likviditetsskapande åtgärder.

Tillgodohavanden i centralbanker samt värdepappersinnehav i likviditetsreserven – marknadsvärde 2023 mkr	SEK	EUR	USD	Övrigt	Summa
<b>Tillgångar nivå 1</b>	282 713	162 484	165 828	181 126	782 190
Kassa samt centralbanksreserver	66 978	157 868	160 806	119 288	504 940
Värdepapper emitterade eller garanterade av stater, centralbanker, multilaterala utvecklingsbanker och internationella organisationer	181 594	4 556	5 022	1 758	192 930
Värdepapper emitterade av kommuner och enheter inom den offentliga sektorn	209				209
Säkerställda obligationer med extremt hög kvalitet	33 932	60		30 079	64 071
<b>Tillgångar nivå 2</b>	207	280	802	120	1 109
<b>Tillgångar nivå 2A</b>	207	227	502	120	1 050
Värdepapper emitterade eller garanterade av stater, centralbanker, kommuner och enheter inom den offentliga sektorn				36	36
Säkerställda obligationer med hög kvalitet	207	221	502	84	1 014
Förstagavärdepapper (högsta rating AA-)					
<b>Tillgångar nivå 2B</b>		60			60
Värdepapper med bakomliggande tillgångar					
Säkerställda obligationer med hög kvalitet					
Förstagavärdepapper (rating A+ till BBB-)		60			60
Aktier (större aktiendelar)					
<b>Summa likvida tillgångar</b>	<b>282 920</b>	<b>162 764</b>	<b>166 630</b>	<b>181 246</b>	<b>783 259</b>

Tillgodohavanden i centralbanker samt värdepappersinnehav i likviditetsreserven – marknadsvärde 2022 mkr	SEK	EUR	USD	Övrigt	Summa
<b>Tillgångar nivå 1</b>	237 836	175 180	138 386	123 897	675 298
Kassa samt centralbanksreserver	99 540	168 032	129 603	108 164	505 339
Värdepapper emitterade eller garanterade av stater, centralbanker, multilaterala utvecklingsbanker och internationella organisationer	117 817	7 019	8 752	1 903	135 491
Värdepapper emitterade av kommuner och enheter inom den offentliga sektorn	447				447
Säkerställda obligationer med extremt hög kvalitet	20 032	99		13 831	33 962
<b>Tillgångar nivå 2</b>	230	307	812	90	1 139
<b>Tillgångar nivå 2A</b>	230	275	512	90	1 047
Värdepapper emitterade eller garanterade av stater, centralbanker, kommuner och enheter inom den offentliga sektorn				36	36
Säkerställda obligationer med hög kvalitet	230	215	512	54	1 011
Förstagavärdepapper (högsta rating AA-)					
<b>Tillgångar nivå 2B</b>		97			97
Värdepapper med bakomliggande tillgångar					
Säkerställda obligationer med hög kvalitet					
Förstagavärdepapper (rating A+ till BBB-)		97			97
Aktier (större aktiendelar)					
<b>Summa likvida tillgångar</b>	<b>238 066</b>	<b>175 457</b>	<b>139 667</b>	<b>123 987</b>	<b>676 377</b>

## K2 Forts

## OPERATIV RISK

Operativ risk är risken för förluster till följd av icke ändamålsenliga eller misslyckade interna processer, mänskliga fel, felaktiga system eller externa händelser. Definitionen inkluderar legal risk samt IT-risker och informationssäkerhetsrisker (IKT-risker).

Styrelsen fastställer Handelsbankenkonscernens risktolerans för operativa risker. Handelsbanken har låg tolerans för operativa risker, samtidigt som operativ risk oundvikligen förekommer i all verksamhet. Handelsbanken ska så långt som möjligt sträva efter att förebygga dessa risker. De operativa förlusterna ska vara låga. En operativ risk som skulle leda till allvarliga konsekvenser för banken, bankens kunder eller det finansiella systemet i händelse av incident, måste sänkas till en lägre risknivå. Riskbegränsande åtgärder ska vidtas så att risken blir acceptabel. Förluster till följd av en operativ riskhändelse kan täckas av försäkringar eller andra lösningar. Riskbedömningar utförs genom att bedöma konsekvens och sannolikhet att händelser inträffar på en skala graderad från 1 till 5. Den bedömda konsekvensen tillsammans med den bedömda sannolikheten att händelsen inträffar avgör vilka risksänkande åtgärder som krävs. Risken är utanför bankens risktolerans om det saknas åtgärdsplan eller om riskkontrollen bedömer att åtgärderna tar för lång tid eller inte förtöper enligt fastlagd tidplan.

Handelsbankens operativa förluster, som omfattar förväntade och erkända operativa förluster, som överstiger 25 000 kronor samt eventuella återvinningar, uppgick under 2023 till 115 mkr (58). Det är inte ovanligt att beloppet avseende operativ förlust justeras över tiden till följd av återvinningar, eller att ytterligare förluster tillkommer som hänförs till en tidigare rapport-

erad incident. Detta kan påverka jämförelsetalen för tidigare rapporterade förluster.

## ORGANISATION

Ansvar för att identifiera, bedöma och hantera operativa risker är en integrerad del i chefsansvaret på alla nivåer i Handelsbankenkonscernen. Bankens decentraliserade arbetsätt och kostnadsmedvetenhet främjar en god hantering av operativa risker, vilket leder till en vaksamhet mot potentiella förlustrisker i dagliga rutiner och händelser.

Operativa risker hanteras i affärsverksamheten och hanteringen kontrolleras av riskkontrollen. Till chefernas hjälp med hanteringen av operativa risker finns särskilt utsedda lokala koordinatörer för operativ risk (lokala OpRisk-koordinatörer). Deras ansvar är att säkerställa att befintliga metoder och rutiner för hantering av operativa risker används i affärsverksamheten, att hantera uppföljning av rapporterade incidenter och att stödja affärsverksamheten och följa upp beslutade åtgärder beträffande operativa risker.

Group Risk Control har det övergripande ansvaret för de metoder och rutiner som används för att hantera operativa risker. Ansvaret inkluderar även att regelbundet utvärdera metoder och rutiner samt verksamhetens tillämpning av dessa. Group Risk Control säkerställer att affärsverksamheten identifierar, bedömer, rapporterar och hanterar operativa risker samt att de följer upp att beslutade åtgärder genomförs. Group Risk Control ansvarar också för att tillse att risker utvärderas innan beslut fattas om nya eller väsentligt förändrade produkter, tjänster, marknader, processer och IT-system samt vid större förändringar i konscernens verksamhet och organisation. Group Risk Control ansvarar vidare för att på konscernnivå identifiera, mäta, analysera och rapportera alla väsentliga operativa risker och deras utveckling till ledning och styrelse. Riskrapporteringen till ledning och styrelse innehåller även information om väsentliga incidenter och riskbegränsande åtgärder.

## METODER FÖR ATT IDENTIFIERA, BEDÖMA OCH HANTERA OPERATIVA RISKER

Affärsverksamheten äger och ansvarar för att hantera risker förknippade med den dagliga

operativa verksamheten i enheten genom att samla in relevant riskfakta i dem. Banken övervakar utvecklingen av operativ risk utifrån bland annat följande kategorier av operativ risk:

- brister i handläggning och processer
- avbrott/störning i verksamhet/system
- kunder, produkter och affärspraxis
- extern brottslighet
- skada på materiella tillgångar
- anställningsförhållanden och arbetsmiljö
- interna bedrägerier.

De koncerngemensamma metoderna för att identifiera, bedöma och hantera operativa risker är incidentrapportering, riskindikatorer och självutvärdering av operativa risker.

## Incidentrapportering

Rapportering av incidenter med förlust överstigande 25 000 kronor är obligatoriskt. Andra incidenter som visar på operativa risker ska också rapporteras och riskfakta ska samlas in.

## Riskindikatorer

Riskindikatorer tillämpas för att varna om ökad operativ risk. Om ett gränsvärde för en riskindikator överskrids ska en riskanalys genomföras som underlag för bedömning av eventuella riskhanterande åtgärder. För vissa riskindikatorer fastställs gränsvärde av vd.

## Självutvärderingsrutin OPRA Riskanalys

OPRA Riskanalys är en metod och självutvärderingsrutin för att bedöma, dokumentera och rapportera operativa risker som utförs regelbundet på alla enheter. OPRA Riskanalys kan även vara händelsedrivna och utförs vid allvarliga incidenter, överskridande av gränsvärde eller vid allvarlig extern händelse.

## ORX

Banken är medlem i ORX (Operational Riskdata eXchange Association). ORX främsta syfte är att deltagande banker utbyter anonymiserade data om incidenter som inneburit operativa förluster. ORX har också en viktig funktion att standardisera och kvalitetssäkra data om operativa risker. Det sker betydande forskningsarbete om metoder inom ämnet operativ risk, och ORX utgör ett viktigt forum för erfarenhetsutbyte.

## Tre föreslagna linjer



## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

## IT-VERKSAMHET I

## HANDELSBANKENKONCERNEN

Tillgänglighet och säkerhet i bankens IT-tjänster är en förutsättning för bankens verksamhet. Den tekniska utvecklingen och digitaliseringen av banktjänster innebär att området ökar i betydelse. Vid fastställer riktlinjer avseende övergripande mål och strategi för IT-verksamhet i Handelsbankenkoncernen. Operativa risker inom detta område hanteras enligt samma rutiner som i övriga delar av banken, med tillägg av särskilda rutiner för att hantera specifika typer av risker inom området, till exempel:

- övervakning av IT-system i produktion
- hantering av IT-incidenter
- hantering av nya eller förändrade IT-system
- hantering av cyberrisker
- genomförande av säkerhetstester
- genomförande av riskanalyser av IT-system
- granskning av uppdragsavtal och övriga leverantörsavtal med avseende på IT och säkerhet
- kontinuitetshantering av IT-system.

## SÄKERHET OCH DATASKYDD

Säkerhetsarbetet i Handelsbanken syftar bland annat till att skydda anställdas och kunders liv, hälsa och integritet samt skydda kundernas och bankens tillgångar och koncernens goda namn och rykte. Känslig information om kunder och kundrelationer hanteras löpande i en banks verksamhet. Handelsbankens arbete med Informationssäkerhet och dataskydd har som övergripande mål att skydda informationen utifrån tillgänglighet, riktighet, konfidentialitet och spårbarhet. Information och affärssystem ska finnas tillgängliga utifrån verksamhetens affärskrav. Vid fastställer riktlinjer för säkerhet och dataskydd i Handelsbanken. Samtliga medarbetare i banken har ansvar att följa regler för skydd av information och varje chef ansvarar för att regler avseende säkerhet och dataskydd efterlevs inom sitt ansvarsområde. Banken har ett systematiskt dataskydds- och säkerhetsarbete som svarar upp mot krav samt eventuella hot och risker och i detta finns rutiner för att hantera förändringar i IT och den fysiska miljön som kan ha en negativ påverkan. Om det skulle uppstå brister i hanteringen, eller om informationen felaktigt skulle läckas, kan det leda till allvariga konsekvenser, som försämrat förtroende för banken eller ekonomiska förluster. Inom ramen för det systematiska arbetet pågår ett strukturerat arbete med att öka medvetenheten hos våra medarbetare och kunder om hot och risker inom säkerhet, till exempel genom föreläsningar, utbildningar och informationsinsatser. Säkerhet och dataskydd omfattar administrativa förfaranden som regler och instruktioner, tekniska säkerhetsförfaranden, fysiskt skydd samt skydd av säkerhetskänslig verksamhet och säkerhetsskyddsklassificerade uppgifter.

Arbetet med säkerhet och dataskydd ska bedrivas utifrån ett ledningssystem för informationssäkerhet i enlighet med internationella stan-

darder som exempelvis ISO 27001. Handelsbankens arbete med informationssäkerhet är certifierat enligt ISO 27001.

Bankens ledningssystem för informationssäkerhet bygger på ISO 27001 tillsammans med Standard of Good Practice utarbetad av Information Security Forum (ISF), som är en organisation där flera av världens största företag ingår som medlemmar, som kontrollbibliotek. Arbetet med dataskydd, informations- och IT-säkerhet bedrivs systematiskt och banken arbetar med detta utifrån ett processperspektiv, där analysen har en central roll. Riskanalyserna genomförs enligt olika metodiker från ISF:s Information Risk Analysis Methodology (IRAM2), samt Privacy Impact Analysis (PIA).

Handelsbankenkoncernens fysiska säkerhet innefattar brandskydd, process och rutin avseende hot mot och skydd av anställda, resesäkerhet, skalskydd, bankens försäkringskydd avseende ansvars- och egendomsförsäkring samt omvärldsbevakning och instruktioner.

Instruktioner inom koncernen för att hantera risker relaterade till området fysisk säkerhet innefattar bland annat krav på att säkerhetsgenomgång genomförs minst årligen och följs upp via den årliga arbetsmiljöundersökningen.

## FINANSIELL KRIMINALITET

Banken arbetar kontinuerligt för att minimera risken för att bankens kunder, produkter eller tjänster utnyttjas som ett led i finansiell kriminalitet. Finansiell kriminalitet innefattar penningtvätt, finansiering av terrorism, skattebrott, korruption, bedrägerier och brott mot internationella sanktioner. Arbetet styrs från en central avdelning som leds av bankens särskilt utsedda befattningshavare med koncernövergripande ansvar för arbetet med att motverka finansiell kriminalitet. Utgångspunkter för detta arbete mot finansiell kriminalitet är bland annat bankens låga risktolerans samt de externa regelverk som reglerar finansiell kriminalitet i de länder där banken är verksam. Banken har även en särskild central complianceavdelning för finansiell kriminalitet, även den med koncernövergripande ansvar, som övervakar och är rådgivande i bankens arbete att motverka finansiell kriminalitet. Avdelningen leds av bankens centralt funktionsansvariga. För ytterligare information om bankens arbete att motverka finansiell kriminalitet hänvisas till Handelsbankens Bolagsstyrningsrapport på sidorna 66–81.

## FÖRÄNDRINGSHANTERING

Hantering av förändringar innefattar nya eller väsentligt förändrade produkter, tjänster, marknader, processer och IT-system samt större förändringar i koncernens verksamhet och organisation. I bankens instruktioner och godkännandeprocess för förändringshantering beskrivs de aktiviteter och aktörer som ingår i processen, samt hur och när kontrollfunktionerna ska involveras. Processen omfattar även krav på att riskanalys ska genomföras och exempelvis besöka områden så som finansiell

kriminalitet, hållbarhet, informationssäkerhet och datakvalitet. Beslut relaterat till förändringen ska även dokumenteras.

## VÄSENTLIGA PROCESSER

Med väsentliga processer avses de processer som är väsentliga för att stödja bankens kritiska verksamhet. De genomgår årligen och vid väsentliga förändringar en översyn av aktualitet, uppdateras vid behov samt riskanalyseras.

Identifieringen av de väsentliga processerna är grundläggande för omfattningen av bankens kontinuitetsplanering, det vill säga vilka delar av verksamheten som ska prioriteras vid störningar och av brott.

## KONTINUITETSPLANERING OCH KRISHANTERING

Syftet med bankens kontinuitetsplanering och krishantering är att tillse att banken har en god beredskap för fortsatt verksamhet även i en oförutsägbart situation. Det innebär att förberedande åtgärder behövs vidtas för attindra verkningarna av en allvarlig störning i affärsverksamheten så att den kan fungera på en godtagbar nivå under den tid en störning pågår. Av vds riktlinjer för kontinuitetsplanering och krishantering samt av kompletterande instruktioner fram-

Fördelning av antal förluster över 25 tkr, 2019–2023



■ Fel i hantering och processer	53%
■ Avbrott/störning i verksamhet/system	6%
■ Kunder, produkter och affärspraxis	3%
■ Extern brottslighet	37%
■ Skada på materiella tillgångar	0%
■ Anställningsförhållanden och arbetsmiljö	1%
■ Interna bedrägerier	0%

Fördelning av förlustbelopp över 25 tkr, 2019–2023



■ Fel i hantering och processer	48%
■ Avbrott/störning i verksamhet/system	6%
■ Kunder, produkter och affärspraxis	20%
■ Extern brottslighet	22%
■ Skada på materiella tillgångar	0%
■ Anställningsförhållanden och arbetsmiljö	4%
■ Interna bedrägerier	0%

## K2 Forts

går att det varje år ska utföras konsekvensanalyser för att slå fast vilka verksamheter och IT-system som är så kritiska att de behöver upprätta kontinuitetsplaner.

I kontinuitetsplanerna ingår att både planera för hur verksamheten ska upprätthållas medan störningen pågår och hur verksamheten ska kunna återgå till normala rutiner. När det gäller väsentliga processer ska planerna innehålla den längst tillåtna tiden för avbrott. Det finns en central krisstab för hela koncernen. Därutöver har vd utpekat de enheter som ska ha en krisstab. Arbetet i krisstabber ska bedrivas enligt särskilda krishandböcker.

Kontinuitetsplaner och krishandböcker ska revideras minst årligen. Planerna ska testas minst varje år och övningar hålls av de enheter som har skyldighet att utse krisstabber. Arbetet utvärderas årligen och rapporteras till styrelsen, som även får information om bankens strategi för kontinuitetshanteringen.

Handelsbanken deltar även i FSPOS (Finansiella sektorns privat-offentliga samverkan) frivilliga arbete för att stärka sektorns förmåga att hantera störningar och avbrott. Banken beslutade 2023 om att medverka som en av två privata aktörer i Finansiella stabilitetsrådets årliga krisövning istället för årets FSPOS-övning.

## LEVERANTÖRSAVTAL

Banken har en särskild process för hantering av leverantörsavtal, inklusive uppdragsavtal, inom koncernen. Utgångspunkten är att banken ska tillämpa ett riskbaserat arbetssätt, med beaktande av bankens låga risktolerans, i såväl bedömning inför beslut om leverantörsavtal som i administrationen av dem. Vd har utfärdat riktlinjer som anger förutsättningar och krav för bland annat uppdragsavtal avseende verksamhet av väsentlig betydelse. Riktlinjerna gäller i hela Handelsbankenkoncernen och omfattar även dotterbolagen i koncernen.

## ANSEENDERISK, UPPFÖRANDERISK OCH UTBILDNING

Anseenderisk är risken för förluster till följd av att förtroendet för banken skadas. Detta kan ske exempelvis på grund av bristande etik, olämpligt agerande, bristfällig information eller ogenomtänkt utveckling av nya eller ändrade produkter. Handelsbanken hanterar och minimerar anseenderisken i sin verksamhet genom aktiv omvärldsbevakning med därtill relevanta åtgärder vid behov, samt genom att bedriva verksamheten enligt hög etisk standard. Under 2023 har tre utbildningar varit obligatoriska för samtliga medarbetare i koncernen: Finansiell kriminalitet, Dataskyddsförordningen (GDPR) och Säkerhetsutbildning – Cybersäkerhet.

Handelsbankens låga risktolerans avspeglas även i synen på ersättning till anställda. Banken anser att fast ersättning bidrar till en sund verksamhet och fast ersättning tillämpas därför som huvudregel.

## REGELEFTERLEVNAISRISK

Regelefterlevnadsrisker är risker förknippade med bristande regelefterlevnad.

Med regelefterlevnad (även benämnt compliance) avses iakttagande och efterlevnad av externa och interna regelverk, accepterad marknadspraxis och relevanta standarder som tillsammans är tillämpliga på bankens tillståndspliktiga verksamhet. Regelefterlevnadsrisk är risk förknippad med att banken inte följer angivna regelverk och de följder som detta i sin tur kan leda till i form av sanktioner, väsentlig finansiell förlust eller förlust av anseende för banken. Handelsbanken har låg tolerans för regelefterlevnadsrisker och ska så långt möjligt förebygga sådana risker och prioritera det arbete som behöver utföras för att skyndsamt åtgärda identifierade risker. En regelefterlevnadsrisk är utanför risktoleransen om funktionen för regelefterlevnad bedömer att risken är hög eller kritisk och det saknas en adekvat åtgärdsplan, eller om det skerväsentliga avvikelser från åtgärdsplanen.

## ORGANISATION

Ansvaret för regelefterlevnad i verksamheten är en integrerad del i chefsansvaret på alla nivåer i koncernen och vilar på respektive enhet och avdelning. Även funktionsansvariga och produktansvariga har ett särskilt ansvar att se till att arbetet inom respektive ansvarsområde bedrivs i enlighet med interna och externa regler inom hela koncernen, inklusive ett ansvar att följa upp efterlevnaden av de koncernövergripande instruktioner som de utfärdar inom sina områden. Bland enheterna med funktionsansvar ansvarar Group Legal för att det finns juriststöd i verksamheten och för erforderliga juridiska bedömningar, inklusive slutgiltiga regelverkstolkningar, åt andra enheter samt för att samordna arbetet kring juriststöd och juridiska bedömningar på central och lokal nivå. I Handelsbankenkoncernen ska chefer och medarbetare ha en god kännedom om och förståelse för de krav som externa och interna regler ställer och de complancerisker som är förknippade med bristande regelefterlevnad, inklusive söka stöd från Group Legal eller lokal juristenhet för erforderliga juridiska bedömningar.

Funktionen för regelefterlevnad är den kontrollfunktion som ansvarar för att identifiera, övervaka, kontrollera och rapportera regelefterlevnadsrisker såvitt avser bankens tillståndspliktiga verksamhet. Funktionen är organiserad i dels Group Compliance, dels

lokala enheter i vissa dotterbolag. I Group Compliance ingår dessutom särskilt utpekade roller såsom centralt funktionsansvarig (CFA) enligt tillämpliga regler om penningtvätt och finansiering av terrorism (CFA) och dataskyddsombudet (DPO) enligt tillämpliga regler om dataskydd och hantering av personuppgifter.

## RISKBASERAT ARBETE

Regelefterlevnadsfunktionens arbete bedrivs riskbaserat. Det sker i praktiken genom att funktionen årligen gör en övergripande riskbedömning av bankens verksamhet och regelefterlevnad och därefter fokuserar sina aktiviteter främst inom de områden som har högst risk för bristande regelefterlevnad. Brister bedöms och rapporteras enligt en fyrgadig bedömningskala som låg, medelhög, hög eller kritisk regelefterlevnadsrisk och även i förhållande till om de bedöms som lokala risker eller risker med väsentlig påverkan på koncernen som helhet. Chief Compliance Officer (CCO) rapporterar kvartalsvis den aktuella risksituationen i koncernen till den verkställande direktören, riskutskottet och styrelsen. Här ingår också CFA:s och DPO:s rapportering.

## RISK I ERSÄTTNINGSSYSTEMET

Ersättningsrisk utgörs av risken för förlust eller annan skada som uppkommer till följd av ersättningssystemet.

## ERSÄTTNINGSSYSTEMET

Ersättningar i Handelsbanken fastställs individuellt för varje medarbetare vid tillträde i ny befattning och i lokala lönesamtal. Ersättningen ska, med beaktande av för Handelsbanken bindande kollektiva avtal eller motsvarande lokala standardiserade avtal eller överenskommelser, baseras på bankens modell för lönesättning och de där angivna lönegrundande faktorerna: arbetsets art och svårighetsgrad, kompetens, prestationsförmåga och uppnådda arbetsresultat, ledarskap, marknaden samt uppgiften som bärare av bankens kultur. Denna ordning har tillämpats under många år och innebär att chefer på alla nivåer regelbundet deltar i löneprocesser och tar ansvar för bankens lönepolitik och den egna enhetens personalkostnadsutveckling.

För att säkerställa att Handelsbanken har ett väl utformat ersättningssystem hanteras risker i ersättningssystemet som ett separat riskslag för vilket hanteringen följer samma ansvarsfördelning som för andra typer av risker. Handelsbanken har låg tolerans för ersättningsrisker och eftersträvar aktivt att hålla dessa risker på en låg nivå. Prestationsbaserad rörlig ersättning

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

Prestationsbaserad rörlig ersättning	2023	2022
Avsättning prestationsbaserade rörliga ersättningar <sup>1</sup> , mkr	49	52
Löner och avoden, mkr	10 168	9 800
Antal personer som har möjlighet att tjäna in prestationsbaserad rörlig ersättning <sup>2</sup>	132	124
Medeltal anställda	12 216	12 030
Avsättning prestationsbaserad rörlig ersättning som andel av totala löner och avoden, %	0,5	0,5
Avsättning prestationsbaserad rörlig ersättning som andel av kärnprimärkapitalet, %	0,03	0,03
Antal personer som har möjlighet att tjäna in prestationsbaserad rörlig ersättning som andel av medeltal anställda, %	1,1	1,0

<sup>1</sup> Beloppen redovisas exklusive socialavgifter. Beloppen fastställs efter publicering av årsredovisningen.

<sup>2</sup> Antal personer som tilldelas prestationsbaserad rörlig ersättning fastställs efter publicering av årsredovisningen.

Av de 124 personer som hade möjlighet att tjäna in prestationsbaserad rörlig ersättning 2022, fick 111 personer tilldelning.

tillämpas med stor föreläggelse och erbjuder inte till medarbetare som i sin yrkesutövning har en väsentlig inverkan på bankens riskprofil.

Under 2023 har avsättning för prestationsbaserad rörlig ersättning gjorts med 49 mkr (52).

## ORGANISATION OCH ANSVAR

Principerna för bankens ersättningsystem fastställs i ersättningspolicy som beslutas av styrelsen. Mer detaljerade riktlinjer och tillämpningsföreskrifter beslutas av verkställande direktören. Group Compliance granskar att dessa styrdokument överensstämmer med regelverk på området. Ansvaret för att identifiera och hantera ersättningsrisker vilar på varje ansvarig chef i verksamheten. Group Risk Control tillser att ersättningsystemet och dess tillämpning årligen utvärderas ur ett riskperspektiv. Utvärderingen ska också innehålla en analys av ersättningsystemets påverkan på bankens risk-, kapital- och likviditetssituation.

## RISKER I ERSÄTTNINGSSYSTEMET

Bedömningen är att Handelsbankens ersättningspolicy och ersättningsystem genererar låga risker, harmoniserar med bankens låga risktolerans samt stöder bankens långsiktiga intressen. Ersättningsystemets påverkan på bankens finansiella risk-, kapital- och likviditetssituation är låg. Totalt avsatt belopp för prestationsbaserad rörlig ersättning under ett år till anställda i Handelsbankenkoncernen får inte överstiga 0,4% av Handelsbankenkoncernens kärnprimärkapital. Underlaget för beräkning av prestationsbaserad rörlig ersättning riskjusteras utifrån bedömning av nuvarande och framtida risker. Det finns regler för uppskjutande av utbetalning av rörlig ersättning och för att helt eller delvis nedsätta tilldelad uppskjuten rörlig ersättning.

För mer detaljerad information och statistik om bankens ersättningsystem, se bolagsstyrningsrapport och not K8 i årsredovisningen.

## RISK I FÖRSÄKRINGSRÖRELSEN

Risken i försäkringsrörelsen består främst av marknadsrisker och försäkringsrisker.

Handelsbanken bedriver livförsäkringsverksamhet i dotterbolaget Handelsbanken Liv. Handelsbanken Livs avtal består av fond- och depåförsäkringsavtal, riskförsäkringar i form av främst sjukförsäkring, premiebetalningsförsäkring och dödsfallsförsäkring samt traditionella livförsäkringsavtal.

Handelsbanken Liv har låg risktolerans och följer bankens principer för hantering av risk. Risker i försäkringsrörelsen består huvudsakligen av marknadsrisker och försäkringsrisker. För en beskrivning av bankens riskhantering, riskorganisation samt rapportering och uppföljning av risk, se inledning av denna not samt respektive enskilt riskavsnitt i denna not.

Handelsbanken Livs riskpolicy beskriver de risker bolaget är exponerat för, definierar styrelsens tolerans för dessa risker samt principer och regler för hur riskhantering ska ske. Principer för att identifiera, värdera, åtgärda och rapportera risker regleras också i policy. Handelsbanken Livs placeringspolicy begränsar exponeringen mot finansiella risker och ger övergripande anvisningar om tillgångarnas förvaltning givet åtagandena till försäkringstagarna och lagstadgade krav. Vidare ger den anvisningar om hur styrning och kontroll av placeringarna ska utföras samt hur den totala risknivån i tillgångarna ska hanteras. Tillgångarna ska placeras på ett aktsamt sätt så att risker kan identifieras, mätas, analyseras och rapporteras.

Försäkringsrörelsens risker rapporteras till Handelsbanken Livs styrelse och vd, bankens styrelse och vd, Group Risk Control samt till CRO:s Riskforum.

## MARKNADSRISK

Marknadsrisk avser den samlade risken att förändringar i riskfaktorer inom finansiella marknader, till exempel förändringar i räntor, aktiepriser och valutakurser, resulterar i värdet förändringar på bolagets placeringstillgångar och/eller dess åtaganden. Marknadsrisk uppstår främst i traditionell livförsäkring samt indirekt från fond- och depåförsäkringsavtal där försäkringstagarna står värdet förändringsrisken men där bankens provisionsintäkter påverkas av värdet på de förvaldade tillgångarna.

För en beskrivning av väsentliga marknadsrisker som uppstår i traditionell livförsäkring och riskförsäkring som redovisas enligt IFRS 17, se not K34.

## KREDITRISK

Kreditrisk uppstår främst i traditionell livförsäkring. För beskrivning av kreditrisker som uppstår i traditionell livförsäkring som redovisas enligt IFRS 17, se not K34.

## LIKVIDITETSRISK

Likviditetsrisk uppstår främst i traditionell livförsäkring. För beskrivning av likviditetsrisker som uppstår i traditionell livförsäkring som redovisas enligt IFRS 17, se not K34.

## FÖRSÄKRINGSRISK

Med försäkringsrisk avses risk, annan än finansiell risk, som överförs från den försäkrade till Handelsbanken Liv. Försäkringsrisker uppstår främst i traditionell livförsäkring och riskförsäkringar. För en beskrivning av väsentliga försäkringsrisker som uppstår i traditionell livförsäkring och riskförsäkring som redovisas enligt IFRS 17, se not K34.

## Externa kapitalkrav

Handelsbanken Liv tillämpar Solvens 2-regelverket, som är ett riskbaserat regelverk, för fastställande av kapitalbas och kapitalkrav i syfte att säkerställa att försäkringsbolaget har tillräckligt kapital för fullföljande av sina åtaganden mot dess försäkringstagare även under oförutsedda negativa händelser. Handelsbanken Liv tillämpar den av regelverket föreskrivna standardformeln för hela dess försäkringsbestånd. Kvoten mellan kapitalbas och kapitalkrav ska vid var gällande tid med god marginal överskrida 1. Per den 31 december 2023 uppgick solvenskapitalkravet till 11 558 mkr (10 756) och kapitalbasen till 26 174 mkr (24 901), vilket resulterade i en solvenskvot om 2,26 (2,32). Per den 31 december 2023 uppgick minimikapitalkravet till 2 890 mkr (2 689). Minst en gång per år gör Handelsbanken Liv en egen risk- och solvensbedömning (ORSA) för att prognostisera det framtida kapitalbehovet utifrån givna scenarion och stresstester.



## K2 Forts

## EKONOMISKT KAPITAL

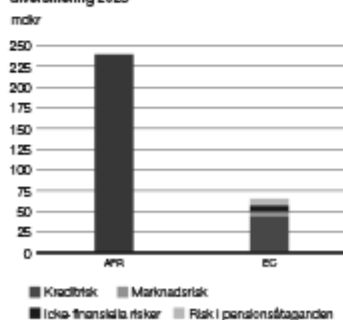
Handelsbankens modell för beräkning av ekonomiskt kapital fångar i ett mått koncernens samlade risker och anger det kapital som med en mycket hög sannolikhet ska täcka oväntade förluster eller värdeminskningar.

Group Risk Control har ansvaret för att bedriva en heltäckande bevakning av koncernens olika risker. Ett instrument i den bevakningen är bankens modell för ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC). EC-modellen utgör även del i bankens bedömning av internt kapitalbehov som rapporteras kvartalsvis till styrelsen. Denna bedömning syftar till att säkerställa att koncernen vid varje tidpunkt har tillräckligt med kapital i förhållande till koncernens samtliga risker. Koncernperspektivet innebär att det ekonomiska kapitalet även innefattar risker i försäkringsrörelsen och risker i bankens pensionsåtaganden.

Beräkningen av EC görs med ett års tidshorisont och en konfidensnivå som speglar en acceptabel risknivå och önskad rating. Styrelsen har beslutat att beräkningen av ekonomiskt kapital ska göras på 99,97% konfidensnivå, vilket fångar en för banken extremt ogynnsam händelse. EC utgör skillnaden mellan utfallet under ett genomsnittligt år – med positivt resultat och godvärdeutveckling av bankens tillgångar – och utfallet vid 99,97% konfidensnivå.

I sammanräkningen av EC beaktas diversifieringseffekter mellan de olika riskslagen. Kapitalbehovet för samtliga risker är således lägre än summan av det ekonomiska kapitalet för varje individuell risk för sig, eftersom riskerna delvis är oberoende av varandra.

Sammanställning av AFR och EC inklusive diversifiering 2023



Det kapital och de andra finansiella resurser som utgör en buffert som kan absorbera negativa utfall benämns tillgängliga finansiella resurser (Available Financial Resources, AFR). AFR är Handelsbankens eget kapital med tillägg av andra finansiella värden i och utanför balansräkningen som är tillgängliga för att täcka förluster med ett års tidshorisont.

Koncernen arbetar med ett aktieägarperspektiv på risk- och kapital situationen. Genom modellen för ekonomiskt kapital erhålls en samlad bild av koncernen som ger förutsättningar för att optimera risk- och kapital situationen utifrån aktieägarens perspektiv. Utfallet från beräkningarna spelar en viktig roll i den interna styrningen av banken och när nya affärer eller strukturförändringar övervägs.

Kreditrisken är beräknad med hjälp av en simulering av utfall avseende fallissemang för koncernens samtliga motparter och exponeringar.

Marknadsriskerna består av risken i handelslagerklassificerade tillgångar, ränterisk i övrig verksamhet, marknadsrisker i försäkringsrörelsen och av risken i aktieinnehav i övrig verksamhet.

Risken i pensionsåtagandena består i huvudsak av risken för att de tillgångar som finns inom ramen för trygghandet av bankens förmånsbestämda pensioner ska minska samt att värdet på dessa åtaganden är räntekänsligt. Huvuddelen av pensionsutfästelserna finns i Sverige och tryggas där i en pensionsstiftelse och i en tjänstepensionsförening.

De övriga riskerna består av operativ risk, affärsrisk, fastighetsrisk och försäkringsrisk. Affärsrisken är relaterad till oväntade resultatförändringar inom respektive affärsområde. Dessa kan exempelvis uppstå på grund av att efterfrågan eller konkurrensen förändras på ett oväntat sätt, med minskade volymer och pressade marginaler som följd. Fastighetsrisken fångar risken att de fastigheter som banken äger faller i värde.

EC uppgick vid årsskiftet till 65,5 mdkr (54,6), där kreditriskerna står för huvuddelen av den totala risken. Den av styrelsen fastställda målsättningen är att kvoten mellan AFR och EC ska överstiga 120%. Kvoten var vid årsskiftet 366% (413), vilket visar att banken är väl kapitaliserad i förhållande till sina totala risker. Finansinspektionen har inom ramen för sin samlade kapitalbedömning av banken kommit till samma slutsats.

Den redovisade risk- och kapital situationen är en ögonblicksbild, även om det i riskberäkningarna ingår försiktighetsmarginaler för variationer i konjunkturen. För en slutlig bedömning av koncernens kapitalbehov måste också hänsyn tas till den stress- och scenarionanalys som genomförs inom ramen för bankens kapitalplanering.

## KAPITALPLANERING

Handelsbankens kapitalplanering syftar till att säkerställa att koncernen vid varje tidpunkt har rätt mängd tillgängliga finansiella resurser.

Kapitalbehovet är en funktion av koncernens risker, förväntade utveckling, regelverk och måttal. Handelsbankens modell för ekonomiskt kapital (Economic Capital, EC) samt stress-tester. Bankens kapitalbehov rapporteras veckovis till CFO och CEO och minst kvartalsvis till styrelsen.

Som en del av den proaktiva kapitalplaneringen finns en beredskaps- och handlingsplan med konkreta åtgärder som kan vidtas om banken behöver förbättra sin kapitalposition. Syftet med beredskaps- och handlingsplaneringen är att säkerställa att det finns ett varnings-system som upptäcker potentiella hot i ett tidigt skede och att koncernen är förberedd att skyndsamt kunna genomföra åtgärder, om så måste ske.

Minst årligen upprättas en långsiktig kapitalplan som syftar till att ge en övergripande bild av koncernens nuvarande kapital situation, en prognos över den förväntade kapitalutvecklingen och utfallet i olika scenarier. Dessa scenarier är utformade så att de väsentligt avviker från den förväntade utvecklingen och harmoniserar således med koncernens låga risktolerans. Kapitalplanen innehåller också förslag på hur kapital situationen ska kunna behållas på en tillfredsställande nivå i ett starkt negativt omvärldsscenario, utifrån både ett reglerings- och ett aktieägarperspektiv.

Kapitalplaneringen är uppdelad i ett kort-siktigt och ett medellångt till långsiktigt prognosarbete. Den del av kapitalplaneringen som utgörs av kortskaliga prognoser på upp till två år är främst inriktad på att bedöma rådande resultatutveckling och utveckling av kapitalkravet. Prognosarbetet är nödvändigt för att löpande kunna anpassa kapitalbasens storlek och sammansättning.

Kapitalplanering görs genom en löpande analys av volym-, risk- och resultatutveckling samt genom bevakning av händelser som kan påverka kapitalbehov och kapitalmängd. Det kortskaliga prognosarbetet omfattar alla delkomponenter som utgör koncernens kapitalbas, och kapitalbehovet inkluderar, förutom regleringsmässiga minimikrav och buffertar, även kapitalkravet enligt regelverkets Pelare 2 samt bruttosoldittetskravet och minimikravet

## NOTER | KONCERNEN

## K2 Forts

på kapitalbas och kvalificerade skulder (MREL). I detta arbete ingår också att i ett kortskiktigt perspektiv utföra olika känslighetsanalyser av den förväntade utvecklingen av kapitalkravet och kapitalbasen för att vid behov vara beredd att påverka kapitalbasens storlek och sammansättning genom till exempel marknadsoperationer.

Resultatet av den kortskiktiga analysen utgör grunden för de eventuella kapitaloperationer som genomförs, och resultatet rapporteras veckovis till CFO och CEO och vid behov till styrelsen. Analysen utgår från ett förskiktigt grundscenario med beslutspunkter i närld om hur den befintliga intjäningsförmågan klarar av att bära olika volymförändringar och andra effekter som väntas påverka kapitalsituationen. Den veckovisa rapporteringen innehåller även känslighetsanalyser utifrån olika marknadsfaktorer som kan komma att påverka grundprognosen.

Den del av kapitalplaneringen som utgörs av medellånga till långskiktiga prognoser syftar till att säkerställa dels att de lagstadgade kapitalkraven uppfylls, dels att koncernens tillgängliga finansiella resurser (Available Financial Resources, AFFR) vid varje tidpunkt med marginal täcker alla risker beräknade enligt modellen för EC.

Även den långskiktiga prognosen innehåller en bedömning av utvecklingen av bankens samlade kapitalbehov över perioden: minimikraven, de kombinerade buffertkraven, Pelen 2-kravet, bruttosolldtetskravet samt MREL-kravet. Syftet är att prognostisera den förväntade utvecklingen och bedöma huruvida bankens motståndskraft är tillfredställande i olika scenarier. Planeringsperioden är minst fem år och beaktar utvecklingen i hela koncernen.

Basen för den långskiktiga kapitalprognosen är ett grundscenario som ges av den förväntade utvecklingen under de kommande fem åren beträffande resultat, volymtillväxt, finansiella antaganden, som exempelvis kreditförluster, samt utveckling på aktie-, fastighets- och räntemarknaden. Grundscenariot ställs sedan mot utfallen i ett antal konjunktur- och kris scenarier. Stressscenarierna har fastställts efter analys av de historiska sambanden mellan olika makroekonomiska variablers påverkan på de finansiella marknaderna och har valts utifrån de scenarier som kan förväntas påverka Handelsbanken mest negativt. Pådande makroekonomiska miljö som är ett resultat av en kombination av geopolitiska risker, inflation, stigande räntor och ett svagare företagsklimat är inkluderat och analyseras ur bankens perspektiv.

Kärnprimärkapitalrelationen uppgick vid utgången av 2023 till 18,8% (19,6). Kvoten mellan AFFR och EC uppgick till 368% (413) vid samma tidpunkt. Således överstiger AFFR det bedömda interna kapitalbehovet (EC) med mycket god marginal.

Bankens starka position framhävs ytterligare av resultatet av de olika framåtblickande stressscenarier som utförs, vilket visar på att Handelsbankens långskiktiga kapitalisering är mycket stabil ur ett ekonomiskt och legalt perspektiv.

Kapitalplaneringen följer även den regleringsmässiga utvecklingen och bedömer effekten och behoven till följd av nya tillkommande krav.

#### KONCERNENS MÅLTAL FÖR REGLERINGSMÄSSIGT KAPITAL

Målen för bankens kapitalisering fastställs löpande av styrelsen. En hörnsten i den interna kapitalbehovsbedömningen av den regleringsmässiga kapitalsituationen är stress- och scenarionalyser av bankens situation både i det långa och i det korta perspektivet. De scenarier som används grundas i första hand på bankens interna risktolerans samt på krav som kommer direkt av regelverket eller andra myndighetskrav. Utöver den interna bedömningen av kapitalbehovet har Finansinspektionen kommunicerat att svenska bankers måltal, oaktat bankernas interna beräkningar, inte får understiga det av Finansinspektionen framräknade samlade bedömda kapitalbehovet. Banken har beaktat detta vid fastställandet av måltalen för den regleringsmässiga kapitaliseringen.

Styrelsen har beslutat att kärnprimärkapitalrelationen, som är det mest relevanta måttet för styrningen av banken enligt nuvarande regler, under normala förhållanden ska uppgå till mellan 1 och 3 procentenheter över det av Finansinspektionen kommunicerade samlade kärnprimärkapitalkravet. Övriga kapitaldelar (primärkapitalrelation och total kapitalrelation) ska minst uppgå till 1 procentenhet högre värde än det samlade kapitalbehovet som Finansinspektionen har kommunicerat för dessa delar. Bruttosolldtetsgraden ska uppgå till minst 0,6 procentenheter över Finansinspektionens kapitalkrav. Vidare ska banken uppfylla samtliga övriga kapitalkrav från myndigheter. I tillägg har styrelsen beslutat att "utdelningsnivån ska inte leda till att kapitalrelationerna underskrider en nivå om en procentenhet över Finansinspektionens kommunicerade krav".

Banken bedömer att Finansinspektionens kärnprimärkapitalkrav vid utgången av det fjärde kvartalet uppgick till 14,8%.

## NOTER | KONCERNEN

## K3 Räntenetto

mkr	2023	2022
<b>Ränteläntäcknad</b>		
Utlåning till kreditinstitut och centralbanker	29 262	8 873
Utlåning till allmänheten	91 518	48 567
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.	8 110	1 289
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	2 076	876
Derivatinstrument	32 227	7 452
Övriga ränteläntäcknad	853	1 164
<b>Summa</b>	<b>164 046</b>	<b>68 221</b>
Avgår ränteläntäcknad redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	-4 242	-814
<b>Summa ränteläntäcknad</b>	<b>159 805</b>	<b>67 407</b>
varav ränteläntäcknad enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i säkringsredovisning	133 602	59 702
<b>Räntekostnader</b>		
Skulder till kreditinstitut och centralbanker	-3 768	-1 567
In- och upplåning från allmänheten	-35 195	-8 032
Emitterade värdepapper	-45 983	-16 505
Derivatinstrument	-28 562	-3 454
Efterställda skulder	-1 615	-1 368
Avgift inställningsgaranti	-246	-332
Övriga räntekostnader	-513	-375
<b>Summa</b>	<b>-115 881</b>	<b>-31 723</b>
Avgår räntekostnader redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	9 654	930
<b>Summa räntekostnader</b>	<b>-112 227</b>	<b>-30 793</b>
varav räntekostnader enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i säkringsredovisning	-100 238	-28 272
<b>Räntenetto</b>	<b>47 578</b>	<b>36 614</b>

På raderna Derivatinstrument ingår räntenetto som är hänförligt till tillgångar och skulder som säkras. Dessa kan ha både positiv och negativ inverkan på ränteläntäcknad och räntekostnader.

## K4 Provisionsnetto

mkr	2023	2022
Courtage och övriga värdepappersprovisioner	420	455
Fonder	5 534	5 469
Depå och övrig kapitalförvaltning	907	911
Rådgivning	236	196
Försäkringar	673	672
Betalningar	2 811	2 680
Ut- och inlåning	1 156	1 146
Garantier	196	202
Övrigt	536	546
<b>Summa provisionsläntäcknad</b>	<b>12 569</b>	<b>12 277</b>
Värdepapper	-243	-218
Betalningar	-1 053	-969
Övrigt	-124	-108
<b>Summa provisionskostnader</b>	<b>-1 421</b>	<b>-1 295</b>
<b>Provisionsnetto</b>	<b>11 130</b>	<b>10 981</b>

## NOTER | KONCERNEN

## K4 Forts

Provisionsintäkter per segment 2023								
milj	Sverige	Stor- britannien	Norge	Neder- länderna	Capital Markets	Övrigt	Justeringar och eliminerings	Totalt
Courtago och övriga värdepappersprovisioner	154	5	11	11	250	8	-19	420
Fonder	4 747	336	231	92	7	187	-65	5 534
Depå och övrig kapitalförvaltning	725	42	110	95	31	1	-8	907
Rådgivning	0	50	1		186		-1	236
Försäkringar	670	0	3			2	-2	673
Betalningar	2 209	326	270	1	15	-10	0	2 811
Ut- och inlåning	719	143	114	9	42	130	-1	1 156
Garantier	100	13	40	1	41	0	-1	195
Övrigt	521	4	4	1	294	0	-287	536
Summa provisionsintäkter	9 845	919	784	209	866	318	-382	12 599

Provisionsintäkter per segment 2022								
milj	Sverige	Stor- britannien	Norge	Neder- länderna	Capital Markets	Övrigt	Justeringar och eliminerings	Totalt
Courtago och övriga värdepappersprovisioner	179	3	17	10	242	16	-12	455
Fonder	4 715	338	244	61	10	191	-90	5 469
Depå och övrig kapitalförvaltning	654	31	115	79	41	1	-11	911
Rådgivning	0	48	1		194	-38	-8	195
Försäkringar	662	0	10			1	-1	672
Betalningar	2 089	310	275	1	14	-10	0	2 689
Ut- och inlåning	764	123	96	10	34	119	-1	1 146
Garantier	102	15	46	1	40	1	-3	202
Övrigt	525	6	5	1	323	5	-319	546
Summa provisionsintäkter	9 891	874	808	163	898	287	-444	12 277

Provisionsintäkter avser intäkter från avtal med kunder. Intäkter från Courtago och övriga värdepappersprovisioner, Rådgivning, Betalningar samt Ut- och inlåning redovisas huvudsakligen när tjänsterna utförs, det vill säga vid en viss tidpunkt. Intäkter från Fonder, Depå och övrig kapitalförvaltning, Försäkringar och Garantier redovisas huvudsakligen i takt med att dessa tjänster utförs, det vill säga linjärt över tid.

Förvärvat kapital		
milj	2023	2022
Fonder, exkl PPM och fondförsäkring	668	602
PPM	79	67
Fondförsäkring	204	178
avgår exakta fonder	-2	-2
Summa fonder	949	845
Strukturerade produkter	3	2
Depåförsäkring	52	45
avgår bankens fonder och strukturerade produkter	-27	-24
Traditionell försäkring	6	6
avgår bankens fonder och strukturerade produkter	-6	-6
Discretionärt och institutionellt kapital, exkl försäkring	344	317
avgår bankens fonder och strukturerade produkter	-298	-270
Summa förvärvat kapital, exkl värdepapper i depå	1 023	915
Värdepapper i depå, exkl fonder	712	614
Värdepapper i depå, exkl fonder, avseende Handelsbankens närstående stiftelser m.m.	38	37

## NOTER | KONCERNEN

## K5 Nettoresultat av finansiella transaktioner

mkr	2023	2022
Upplupet anskaffningsvärde	668	65
varav lån	95	35
varav räntebärande värdepapper	0	
varav omfördade värdepapper	573	30
Verkligt värde via övrigt totalresultat	-1	-1
varav räntebärande värdepapper – förväntade kreditförluster	0	-1
varav räntebärande värdepapper – omklassificerat från övrigt totalresultat	-1	
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	670	-4 710
varav räntebärande värdepapper	670	-4 710
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt inköpsvalutakurs effekter	1 494	5 975
varav tillgångar som innehås för försäkringslagarnas räkning	336	-291
Säkringsredovisning	166	-80
varav nettoresultat: skattingar av verkligt värde	82	-20
varav ineffektivitet i kassafördelskringar	83	-51
Summa	2 007	1 240
Avgår avskrivning på tillgångar som innehås för försäkringslagarnas räkning	-336	291
Nettoresultat av finansiella transaktioner	2 661	1 540

Den ackumulerade värdeförändring som beror på förändringar av kreditrisk från det första redovisningsintervallet för finansiella tillgångar som klassificerats till verkligt värde över resultaträkningen, verkligt värdeoptionen, uppgår till 113 mkr (-158).

## K6 Försäkringsnetto

mkr	2023	2022
Försäkringsintäkter	1 160	1 208
Kostnader för försäkrings tjänster <sup>1</sup>	-958	-929
Resultat från försäkrings tjänster	211	279
Resultat från innehavda överförsäkringsavtal	-10	-18
Finansiella intäkter och kostnader från försäkringsavtal	-44	19
Försäkringsresultat	157	280
Avskrivning på tillgångar som innehås för försäkringslagarnas räkning	336	-291
Försäkringsnetto	493	-11

<sup>1</sup> Anskaffningskostnader redovisas direkt i resultaträkningen och uppgår till -13 mkr (-9).

## K7 Övriga intäkter

mkr	2023	2022
Hyrinntäkter	14	19
Andra rörelseintäkter <sup>1</sup>	311	1 227
Summa	325	1 246

<sup>1</sup> Under andra kvartalet 2023 intäktsfördes återbetalning av moms hänförlig till förståelsen av konfliktsamverksamheten, vilket påverkade andra rörelseintäkter med 141 mkr. Svenska Handelsbanken AB avyttrade dotterbolag ägandes fastigheter under första kvartalet 2022, vilket påverkade andra rörelseintäkter med 1 059 mkr.

## K8 Personalkostnader

mkr	2023	2022
Löner och avskan	-9 532	-8 527
Socialavgifter	-2 343	-2 240
Pensionskostnader <sup>1</sup>	-1 112	-1 698
Avskrivning till resultatunderskott	-83	-196
Andra personalkostnader	-572	-379
Summa	-13 642	-13 040

<sup>1</sup> Komponenterna i redovisade pensionskostnader framgår av tabellen Pensionskostnader.

## NOTER | KONCERNEN

## K6 Forts

Löner och arvoden mkr	2023	2022
Ledande befattningshavare <sup>1</sup>	-158	-152
Övriga	-9 374	-8 375
Summa	-9 532	-8 527

<sup>1</sup> Ledande befattningshavare i moderbolaget samt vd:ar, visor:dar och styrelser i dotterbolag (i genomsnitt 55 personer).

Personalkostnader hänförliga till utvecklad verksamhet i Finland framgår av not K14.

Könsfördelning	2023		2022	
%	Män	Kvinnor	Män	Kvinnor
Ledande befattningshavare exkl styrelser	62	38	66	34
varav i moderbolaget	53	47	60	40
varav i dotterbolag	68	32	70	30
Styrelser	59	41	60	40
varav i moderbolaget	46	54	46	54
varav i dotterbolag	62	38	62	38

Medelantal anställda	2023			2022		
	Totalt	Män	Kvinnor	Totalt	Män	Kvinnor
Sverige	7 285	3 530	3 755	6 911	3 350	3 561
Storbritannien	2 923	1 632	1 291	2 658	1 490	1 168
Norge	888	460	428	819	424	395
Nederländerna	415	265	150	382	243	139
USA	53	30	23	53	31	22
Luxemburg	51	27	24	50	24	26
Singapore				1	1	
Tyskland				2	1	1
Polen	16	4	12	15	4	11
Övriga länder	52	23	29	63	27	36
Summa	11 683	5 671	6 012	10 954	5 665	5 289

Medelantal anställda hänförliga till utvecklad verksamhet i Finland framgår av not K14.

Ersättningar <sup>1</sup> över en miljon EUR	2023	2022
Antal personer		
Lönslag 1,0–1,5 m euro	1	1
Lönslag 1,5–2,0 m euro	1	1
Summa	2	2

<sup>1</sup> Inklusiva intjänad pension och andra löneförmåner.

Ersättningar <sup>1</sup> till risktagare <sup>2</sup> , segment	2023		2022	
mkr	Ersättning	Antal personer	Ersättning	Antal personer
Handelsbanken Sverige	440	295	443	305
Handelsbanken Storbritannien	391	192	283	179
Handelsbanken Norge	111	55	128	56
Handelsbanken Nederländerna	87	46	74	46
Handelsbanken Capital Markets	104	24	124	30
Utvecklad verksamhet <sup>3</sup>	101	37	250	105
Övrigt	306	119	384	139
Summa	1 540	788	1 688	861

<sup>1</sup> Intjänade ersättningar inklusive pension och andra löneförmåner har kostnadsförts i sin helhet.

<sup>2</sup> Anställda vars arbetsuppgifter i tjänsten väsentligt kan påverka bankens riskprofil enligt kommissionens delegerade förordning (EU) 2023/2021. Risktagare eller annan särskilt reglerad personal med rörlig ersättning kan finnas i dotterbolag vars ersättningspolicy följer av annan EU-förordning eller annan av Finansinspektionen publicerad föreskrift.

<sup>3</sup> Utvecklad verksamhet i Finland.

## NOTER | KONCERNEN

## K8 Forts

Ersättningar <sup>1</sup> till risktagare <sup>2</sup>	2023		2022	
	Verkställande ledning <sup>3</sup>	Övriga risktagare	Verkställande ledning <sup>3</sup>	Övriga risktagare
Inflånade fasta ersättningar, mkr	122	1 393	118	1 484
Inflånade prestationsbaserade rörliga ersättningar, mkr	0	25	0	84
Inflånade övriga rörliga ersättningar, mkr				
Summa	122	1 418	118	1 568
Antal personer som enbart fått fast ersättning	1	23		20
Antal personer som har möjlighet att få både fast och prestationsbaserad ersättning				
Antal personer med både fast och rörlig ersättning	15	729	16	825
Summa antal personer	16	752	16	845

Garanterade kostnadsfördelade ersättningar i samband med nyanställning, mkr

Uttäta garanterade rörliga ersättningar i samband med nyanställning, mkr

<sup>1</sup> Inflånade ersättningar inklusive pension och andra löneförmåner har kostnadsförts i sin helhet. Prestationsbaserade rörliga ersättningar tilldelas på individuell nivå under räkenskapsåret efter inflåningen och betalas ut eller skjuts upp i enlighet med bankens policy för rörliga ersättningar. Under 2023 har inga anställda, identifierade som risktagare på grund av sina arbetsuppgifter, tjänat i prestationsbaserad rörlig ersättning. Utöver ovan har för 2023 en anställd identifierats som risktagare på grund av sin ersättningsnivå, med en ersättning uppgående till 4,5 mkr. Eventuell tilldelning av prestationsbaserad rörlig ersättning avseende inflånandeår 2023 kommer ske under våren 2024. För 2022 har två anställda identifierats som risktagare på grund av sin ersättningsnivå, varav en har tilldelats prestationsbaserad rörlig ersättning om totalt 1 mkr varav 0,5 mkr har utbetalats 2023. All prestationsbaserad rörlig ersättning betalas ut kontant eller i finansiella instrument. Beloppen redovisas exklusive socialavgifter. Förfoganderätt till överuppskjutna ersättningar övergår till den anställda vid utbetalningstillfälle. Övrig rörlig ersättning avser utbetalning av resultatandelsystemet Oktogonen och uttälsta avgångsvederlag. Utbetalning av resultatandelsystemet Oktogonen uppgår till 21 mkr (8). Beloppet är exklusive socialavgifter. Totalt uttälsta avgångsvederlag under året uppgår till 4 mkr (76) varav det enskilt högsta uppgår till 1,4 mkr (7,2). Under året har avgångsvederlag till 6 (12) risktagare betalats ut med 11 mkr (17). Garanterad rörlig ersättning förekommer inte.

<sup>2</sup> Anställda vars arbetsuppgifter i tjänsten väsentligt kan påverka bankens riskprofil enligt kommissionens delegerade förordning (EU) 2023/2021. Risktagare eller annan särskilt reglerad personal med rörlig ersättning kan finnas i dotterbolag vars ersättningspolicy följer av annan EU-förordning eller annan av Finansinspektionen publicerad föreskrift.

<sup>3</sup> Enligt Finansinspektionens föreskrifter FFFS 2011:1.

## ERSÄTTNINGAR TILL ANSTÄLLDA

Information om ersättningsprinciper till samtliga anställda i Handelsbankenkoncernen beskrivs närmare i bolagsstyrningsrapporten på sidan 74.

Enligt Finansinspektionens föreskrift FFFS 2011:1 och enligt kommissionens delegerade förordning (EU) 575/2013 samt (EU) 923/2021 ska banker identifiera anställda vars arbetsupp-

gifter har en väsentlig inverkan på bankens riskprofil. Handelsbanken har identifierat 769 (861) medarbetare med sådana arbetsuppgifter och benämner dem risktagare. I tabellerna ovan redogörs för Handelsbankenkoncernens ersättningar till dessa risktagare enligt upplysningskrav i ovan nämnda regelverk. Under 2023 har Handelsbankenkoncernen inga anställda, vars arbetsuppgifter har en väsentlig inverkan på

bankens riskprofil, som har tjänat in prestationsbaserad rörlig ersättning.

Handelsbanken har för räkenskapsåret 2023 gjort en avsättning till resultatandelsystemet Oktogonen om 83 mkr (212).

Resultatandelsystemet Oktogonen  
Resultatandelsystemet Oktogonen omfattar samtliga anställda i Handelsbankenkoncernen.

## Ersättning till verkställande direktör, vice verkställande direktörer och koncernledning samt chefer för kontrollfunktioner

mkr	Fast ersättning				Rörlig ersättning		Pensionskostnader Förmåns- och premiebestämda planer		Fast och rörlig ersättning inklusive pensionskostnader		Andel fast ersättning/total ersättning	
	Grundlön		Förmåner									
	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022	2023	2022
<b>Verkställande direktör</b>												
Carina Åkesson <sup>1</sup>	14,5	14,0	0,6	0,6	0,0	0,0	5,1	4,9	20,2	19,5	100%	100%
<b>Vice verkställande direktör</b>												
Carl Cederschiöld <sup>2</sup>	7,8	7,3	0,2	0,2	0,0	0,0	2,0	2,1	10,0	9,6	100%	100%
Per Backman <sup>3</sup>	7,5	6,3	0,3	0,3	0,0	0,0	2,3	3,6	10,1	10,2	100%	100%
<b>Övrig koncernledning samt kontrollfunktioner<sup>4</sup></b>	61,4	53,9	4,9	4,0	0,3	0,1	14,1	12,5	80,7	70,5	100%	100%
Genomsnittligt antal personer; vd, vd, koncernledning och kontrollfunktioner	15	15										
Antal personer per december; vd, vd, koncernledning och kontrollfunktioner	15	15										

Pensionskostnaden avser pensionsinflåning i förmånsbestämda pensionsplaner i enlighet med W819 alternativt betald premie för premiebestämda pensionsplaner. Inflånad förmånsbestämd pension är oantastbar och tryggs i bankens pensionsaffärs eller försäkras i bankens pensionskassa. Vid avgång ur tjänst före pensionsålder erhålls följande på inflånad förmåns- och/eller premiebestämd pension. Utbetalning av rörlig ersättning i form av resultatandelsystemet Oktogonen har gjorts 2023. Före lokal skatt och socialavgifter uppgick beloppet till 34 194 kronor (10 965) per anställd.

<sup>1</sup> Premiebestämd pension om 35% av lönen från och med tillräcket som vd. Pensionsålder är 62 år. Tidigare inflånad förmånsbestämd pension är lagd i följande.

<sup>2</sup> Förmånsbestämd pension enligt kollektivavtal i kombination med en premiebestämd pension som uppgår till 30% av lönen över 30 inkomstbasbelopp. Pensionsålder är 65 år och den förmånsbestämda ålderspensionen är fullt inflånad vid pensionsåldern.

<sup>3</sup> Premiebestämd pension om 35% av lönen från och med 18 oktober 2023, därefter 30%. Tidigare inflånad förmånsbestämd pension är fullt inflånad och lagd i följande.

<sup>4</sup> Övriga ledande befattningshavare, anställda i banken, erhåller en förmånsbestämd eller en premiebestämd pension enligt kollektivavtal i kombination med en premiebestämd pension som uppgår till som mest 35% av lönen överstigande lönsat i kollektivavtal, med undantag för en ledande befattningshavare vars pension som mest är 35% av hela lönen samt en ledande befattningshavare som saknar pensionsinflåning. Pensionsålder är 65 år för en ledande befattningshavare har pensionsålder 67 år och den förmånsbestämda ålderspensionen är fullt inflånad vid pensionsåldern. Belopp för grundlön och pension anges före eventuell löneavdrag. Bland övrig koncernledning och kontrollfunktioner har en anställd utövat 1,6 mkr från lönen till pension.

## NOTER | KONCERNEN

## K6 Forts

Avsättningen klassificeras som rörlig ersättning och baseras på att lönsamhetsmål kopplade till Handelsbankens företagsmål är uppfylla och styrelsens samlade bedömning avseende bankens utveckling. Utbetalning sker i huvudsak kontant till medarbetaren alternativt till ett pensionssparande, sparplan eller som en kombination.

## Aktierelaterade ersättningar

Samtliga anställda i Handelsbanken plc omfattas av ett program för aktierelaterad ersättning Share Incentive Plan (SIP), vilken följer lagstiftningen i Storbritannien. Ersättningen regleras med aktier i moderbolaget Handelsbanken AB. En SIP förordrar att en brittisk stiftelse används för att hantera programmet för den aktierelaterade ersättningen för företagets räkning. En stiftelse har därför etablerats och stiftelsen administreras av en förvaltare. Stiftelsen förvärvar och allokerar aktier till de anställda samt innehar de tilldelade aktierna för de anställdas räkning. De anställda måste behålla sina tilldelade aktier i stiftelsen i minst fem år, annars kan det uppstå skattemässiga konsekvenser för de anställda. Utdelning som erhålls under perioden som aktierna kvarstår i stiftelsen tillfaller de anställda.

Förutsättningarna för avsättning till SIP och intjänandevillkoren är desamma som för avsättning till resultatandelsystemet Oktogonen. Intjänandeperioden är således föregående räkenskapsår. Se även till Ersättningsprinciper i Handelsbanken. Styrelsen i Handelsbanken plc fattar beslut om den slutliga avsättningen till incitamentsprogrammet SIP.

Under verksamhetsåret 2023 har aktierelaterade ersättningar om 78,6 mkr (25,0) kostnadsförts avseende intjänandeåret 2022, vilka redovisats som en ökning av det egna kapitalet. Bankens kostnad för den aktierelaterade ersättningen kan därefter inte förändras. Ersättningsarna har reglerats genom att stiftelsen förvärvat 891 271 aktier (282 108) i Handelsbanken AB på marknaden till ett genomsnittligt marknadspris om 91,8 kr per aktie (88,8), vilka tilldelats de anställda. I koncernen utgör förvärv av aktier i Handelsbanken AB återköp av egna aktier, vilka har minskat det egna kapitalet. Se Förändring i eget kapital.

## ERSÄTTNINGAR TILL LEDANDE BEFATTNINGSHAVARE

Ledande befattningshavare i Handelsbanken är ledamöter i styrelsen, verkställande direktören, vice verkställande direktörer, cheferna för Group Risk Control och Group Compliance samt övriga medlemmar i koncernledningen, se även bolagsstyrmingsrapporten sidorna 78–81. Ersättningar till ledande befattningshavare i moderbolaget följer av årsstämmen 2022 fastställda ersättningsriktlinjer, se även sidan 75.

Upplysningar om ersättningar, pensionsförpliktelser samt om krediter till och inlåning från ledande befattningshavare i Handelsbanken lämnas på dessa sidor. Det gäller även för dotterbolagens verkställande direktörer, vice verk-

ställande direktörer och styrelseledamöter.

Ersättning till ledande befattningshavare i Handelsbankenkonzernen utgår endast i form av fast lön och avsättning till pension samt sedvanliga förmåner som till exempel tjänstebil. Som en del av ersättningen kan banken även tillhandahålla en tjänstebostad efter särskilt styrelsebeslut. De ledande befattningshavarna omfattas, på samma villkor som alla anställda i banken, av resultatandelsystemet Oktogonen. Prestationsbaserad rörlig ersättning förekommer inte. Ledande befattningshavare som är anställd i banken har rätt att växla lön till pension på samma villkor som gäller för alla medarbetare.

Styrelseledamöter som inte är anställda i banken eller i bankens dotterbolag har endast erhållit arvode enligt årsstämmans beslut.

Styrelseledamöter som är anställda i banken eller bankens dotterbolag erhåller ersättning och pensionsförmåner med anledning av sin anställning. Inga ytterligare ersättningar eller pensionsförmåner utgår på grund av styrelseuppdraget. Information om arvode till styrelseledamöter i moderbolaget finns på sidorna 78–81 i bolagsstyrmingsrapporten.

Den pensionskostnad som banken anger i nedanstående ersättningsuppgifter för ledande befattningshavare utgörs av service cost enligt IAS 19 avseende förmånsbestämda pensioner, avtalad premie för premiebestämda pensioner och eventuell pensionspremie som växlats från lön.

Arvoden från externa styrelseuppdrag för bankens räkning har levererats in till banken.

## Ersättningar till ledande befattningshavare i dotterbolag

Arvode till styrelseledamöter i dotterbolag, 20 personer (19), vilka inte är anställda i banken eller dess dotterbolag uppgår till 17,9 mkr (11,1).

Verkställande direktörer<sup>1</sup> och vice verkställande direktörer i dotterbolag, 15 personer (17), har år 2023 erhållit fasta löner efter växling till pension om 48,3 mkr (57,9). Övriga löneförmåner utgör 6,2 mkr (3,9) och pensionskostnaden uppgick till 6,0 mkr (6,2). Före växling till pension uppgick pensionskostnaden till 4,6 mkr (4,9), vilket motsvarar 9,2% (8,3) av lönen. Rörlig ersättning i form av resultatandelsystemet Oktogonen uppgick till 0,4 mkr (0,1).

Ersättning utges inte till verkställande direktörer och vice verkställande direktörer i dotterbolag vilka har en annan huvudsaklig arbetsuppgift i Handelsbanken.

## PENSIONSFRÖPLIKTELSE TILL LEDANDE BEFATTNINGSHAVARE

Pensionsförpliktelser<sup>2</sup> för verkställande direktören, Carina Åkerström, intjänad före tillträdet som verkställande direktör och nu lagd i så kallat fribrev uppgick till 84,5 mkr (76,5) per den

31 december 2023. Pensionsförpliktelser för vice verkställande direktören, Per Beckman, uppgick till 105,7 mkr (89,0) per den 31 december 2023, för vice verkställande direktören Carl Cederschiöld uppgick pensionsförpliktelser till 10,0 mkr (7,5) per den 31 december 2023 och för övriga ledande befattningshavare i moderbolaget, tolv personer (13), till 121,2 mkr (107,4).

Pensionsförpliktelserna i Handelsbankenkonzernen för samtliga nuvarande och tidigare ledande befattningshavare uppgick till 2 649 mkr (2 485) per den 31 december 2023 varav pensionsförpliktelserna för samtliga nuvarande och tidigare ledande befattningshavare i moderbolaget uppgick till 2 458 mkr (2 332) per den 31 december 2023. Antal personer som omfattas av dessa förpliktelser är i koncernen 87 (91), varav 65 är pensionärer (68). Motsvarande antal för moderbolaget är 71 (76), varav 56 är pensionärer (61).

## KREDITER TILL OCH INLÅNING FRÅN LEDANDE BEFATTNINGSHAVARE

Krediter till ledande befattningshavare i moderbolaget uppgick per den 31 december 2023 till 16,3 mkr (16,8) i moderbolaget och till 123,5 mkr (136,5) i dotterbolagen. Inlåning till moderbolaget från dessa personer uppgick till 474,2 mkr (864,7). Bankens räntetäckter från dessa personer för krediter i moderbolaget uppgick för 2023 till 0,1 mkr (0,0) och i dotterbolagen till 3,3 mkr (1,8). Erlagd ränta till dessa personer för inlåning i moderbolaget uppgick till 18,9 mkr (3,7).

Krediter till ledande befattningshavare i dotterbolagen uppgick per den 31 december 2023 i Handelsbankenkonzernen till 112,7 mkr (149,4).

Vilkor för krediter och inlåning för ledande befattningshavare som är anställda i Handelsbankenkonzernen är i enlighet med samma principer som för alla andra medarbetare i koncernen. Alla krediter beviljas efter kreditprövning.

<sup>1</sup> Verkställande direktören i Handelsbanken plc ingår även i koncernledningen.

<sup>2</sup> Pensionsförpliktelser avser belopp som banken enligt IAS 19 reserverar för utbetalning av framtida förmånsbestämda pensioner. Storlek på förpliktelser beror på finansställa och demografiska antaganden vilka kan ändras mellan åren.



## NOTER | KONCERNEN

## K8 Forts

## PENSIONER

Pensionsförpliktelser, netto mkr	2023	2022
Pensionsförpliktelser	31 097	26 419
Förvaltningsstillgångarnas verkliga värde	42 706	39 294
Pensionsnetto	11 609	12 876

Utöver pensionsförpliktelserna och förvaltningsstillgångarna i tabellen ovan finns inom Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse av sättningar som gjorts under åren 1989–2004 till en särskild kompletterande pension (SKP). I den ingår förvaltningsstillgångar vars marknadsvärde uppgår till 7 355 mkr (7 847). SKP:n medför en utfästelse för banken uppgående till samma belopp som förvaltningsstillgångarna.

En del av denna utfästelse, 5 651 mkr (5 871), är villkorad.

Pensionskostnader mkr	2023	2022
Pensioner intjänade under året	-326	-708
Pensioner intjänade under tidigare år	1	
Ränta på pensionsförpliktelserna	-1 111	-721
Ränta på förvaltningsstillgångar	1 678	913
Socialavgifter, förmånsbestämda planer <sup>1</sup>		-152
Pensionskostnader, förmånsbestämda planer	170	-688
Pensionskostnader, premiebestämda planer <sup>2</sup>	-957	-747
Socialavgifter, premiebestämda planer <sup>3</sup>	-325	-283
Summa pensionskostnader	-1 112	-1 686

<sup>1</sup> Till följd av att banken avstod från att ta gottgörelse 2022 kostnadsfördes särskild lönskatt på förmånsbestämda pensionsplaner med 152 mkr, se vidare not M40.

<sup>2</sup> Pensionskostnader hänförliga till avvecklad verksamhet i Finland framgår av not K14.

Pensionsförpliktelser mkr	2023	2022
Ingående balans	26 419	34 841
Pensioner intjänade under året	433	776
Pensioner intjänade under tidigare år	-1	
Ränta på pensionsförpliktelserna	1 111	721
Betalda förmåner	-1 248	-1 051
Aktuariella vinster (-)/förluster (+)	4 355	-8 950
Valutaeffekt	28	82
Utgående balans <sup>1</sup>	31 097	26 419

<sup>1</sup> I utgående balans per den 31 december 2023 har 2024 års värdesättning om 6,48% (10,84) medräknats för den svenska pensionsförpliktsdelen. Effekten av att inkludera beslutad värdesättning har ökat pensionskulden med 938 mkr (2 335) per den 31 december 2023.

Förvaltningsstillgångar mkr	2023	2022
Ingående balans	39 294	43 607
Ränta på förvaltningsstillgångar	1 678	913
Tillskjutna medel från arbetsgivaren	924	974
Ersättning till arbetsgivaren	-786	-57
Utbetalda medel direkt till anställd	-399	-343
Aktuariella vinster (-)/förluster (+)	2 129	-5 901
Valutaeffekt	-44	101
Utgående balans	42 706	39 294

Avkastning på förvaltningsstillgångar mkr	2023	2022
Ränta på förvaltningsstillgångar	1 678	913
Aktuariella vinster (-)/förluster (+)	2 129	-5 901
Verklig avkastning	3 807	-4 988

Fördelning av förvaltningsstillgångar mkr	2023	2022
Noterade aktier och fondandelar <sup>1</sup>	32 860	28 690
Icke-noterade aktier och andelar	2 179	2 163
Noterade räntebärande värdepapper	6 991	6 518
Övriga förvaltningsstillgångar	766	1 923
Summa	42 706	39 294

<sup>1</sup> Fondandelarna uppgår till 24 568 mkr (21 649) varav räntefonder 18 797 mkr (17 093).

I förvaltningsstillgångarna ingår varken aktier eller obligationer utgivna av Svenska Handelsbanken AB (publ) på balansdagen för åren. I övriga förvaltningsstillgångar ingår per den 31 december 2023 både likvida medel och en skuld avseende ännu ej utbetald gottgörelse medan per den 31 december 2022 endast likvida medel.

## NOTER | KONCERNEN

## K6 Forts

Aktuariella vinster (-)/förluster (+), pensionsförpliktelser mkr	2023	2022
Ändringar i demografiska antaganden	6	-459
Ändringar i finansiella antaganden	2 842	-11 006
Erfarenhetsbaserade justeringar	1 507	2 515
Summa	4 355	-8 950

Framtida kasstäckan mkr	Uttal 2023	Prognos 2024
Betalda förmåner	-1 248	-1 229
Tillskjutna medel från arbetsgivaren	924	1 133

Förmånsbestämd pension intjänas huvudsakligen av anställda i Sverige. Av den totala pensionsförpliktsen avser 29 053 mkr (24 488) den svenska planen och 1 986 mkr (1 854) den för nyinförda stängda planen i Storbritannien. Därutöver finns förmånsbestämda planer av mindre omfattning i var i Norge. Dessa är med hänsyn till sin storlek oväsentliga och redovisas därför inte för närmare. Av de totala förvaltningsåtgångarna avser 40 721 mkr (37 339) den svenska planen och 2 075 mkr (1 955) den stängda planen i Storbritannien.

I Sverige utgår ålderspension från och med 65 års ålder enligt pensionsavtal mellan BAO och Finansförbundet/SAOO-förbundet med 10% av årslönen, upp till 7,5 inkomstbasbelopp. På lönsedel i inkomstbasbeloppintervall 7,5–20 utgår ålderspension med 65% och i inkomstbasbeloppintervall 20–30 med 32,5% av årslönen. På lönsedel överstigande 30 inkomstbasbelopp utgår ingen ålderspension.

Från och med den 1 mars 2020, tjänar alla nyanställda och anställda då yngre än 25 år in pension i en premiebestämd pensionsplan. Anställda före den 1 mars 2020 påverkas inte utan är fortsatt medlemmar i den förmånsbestämda pensionsplanen.

Pensionsplanerna är externt föderade, där förvaltningsåtgångarna inhyses av pensionskassa, stiftelser eller liknande juridiska personer. Dessa verksamheter regleras av nationella bestämmelser och praxis, vilka även reglerar förhållandet mellan koncernen och förvaltare (eller motsvarande) av förvaltningsåtgångar, samt sätter rammar för hur förvaltningsåtgångar får placeras. I Sverige är det främst trygghetslagen och lagen om tjänstepensionsföretag som är tillämplig. I Storbritannien tillämpas nationell lagstiftning avseende pension och skatt.

Väsentliga antaganden	Sverige		Storbritannien	
	2023	2022	2023	2022
Diskonteringsränta, %	3,5	4,2	4,5	4,9
Förväntad lönaökning, %	3,5	3,5		
Pensionsuppräktning, %	2,0	2,0	3,0	3,0
Inkomstbasbelopp, %	3,0	3,0		
Inflation, %	2,0	2,0	3,0	3,2
Personalsmättning, %	5,0	5,0		
Förväntad återstående livslängd vid pension, år	22,8	23,1	24,0	24,0
Genomsnittlig duration (Macaulay), år	14,8	14,1	14,0	15,0

Antaganden om framtida lönaökningar, inflation med flera bygger på den förväntade långsiktiga utvecklingen. Bankens svenska pensionsåtagande har en duration på cirka 15 år och antagandena har beslutats med detta i åtanke. Antagandena är satta för att på lång sikt återspegla de ekonomiska utvecklingarna samt för att vara samsambandade och konstanta.

Känslighetsanalys	Påverkan på pensionsförpliktsen, mkr				
	Ändring i antagande	Ökad pensionsförpliktsen		Minskad pensionsförpliktsen	
		2023	2022	2023	2022
Diskonteringsränta, %	0,5	2 480	2 021	-2 202	-1 801
Förväntad lönaökning, %	1,0	954	433	-791	-1 080
Pensionsuppräktning, %	0,5	1 552	1 273	-1 444	-1 187
Förväntad återstående livslängd vid pension, år	1,0	985	799	-988	-800

Känslighetsanalysen ovan baseras på att ett antagande förändras och övriga antaganden är konstanta. I praktiken är det osannolikt att dessa inifrån och förändringar i vissa antaganden kan vara korrelerade. Vid beräkningen av känsligheten i pensionsförpliktsen för förändringar i väsentliga antaganden, har samma metod använts för att beräkna pensionsförpliktsen som den som använts för den redovisade pensionsförpliktsen. Metoden beskrivs närmare i bankens redovisningsprinciper (se not K1, avsnitt 13). Jämfört med årsredovisningen 2022 har det inte skett några förändringar i de metoder som använts vid upprättandet av känslighetsanalysen.

Genom sina förmånsbestämda pensionsplaner är banken exponerad för ett antal risker. De viktigaste riskerna beskrivs nedan:

**Tillgångsvolatilitet:** Pensionsförpliktsen beräknas med hjälp av en diskonteringsränta som baseras på företagsobligationer. Om förvaltningsåtgångar genererar sämre avkastning än diskonteringsräntan är risken för att underskott uppstår till följd av att förvaltningsåtgångarna har ett övervärde. I förvaltningsåtgångarna ingår aktier och aktiefonder, vilket förväntas ge högre avkastning än företagsobligationer på lång sikt, samtidigt som det ger högre volatilitet och risk på kort sikt. Med anledning av pensionsförpliktsens långsiktiga karaktär anser banken att en betydande andel aktier är lämplig för att hantera planerna effektivt.

**Förändringar i obligationsräntan:** Om företagsobligationsräntorna sjunker så kommer pensionsförpliktsen att öka. Detta kommer dock delvis att kompenseras genom att värdet av de obligations som ingår i förvaltningsåtgångarna kommer att öka.

**Inflationerisken:** Pensionsförpliktsen är kopplade till inflationen. Högre inflation kommer att leda till att pensionsförpliktsen ökar. Värderingen av förvaltningsåtgångarna påverkas inte direkt av inflationen i någon väsentlig utsträckning. Om inflationen ökar så kommer det sannolikt att leda till ett ökat underskott i pensionsplanerna.

**Förväntad livslängd:** Syftet med pensionsplanerna är att generera en pension som sträcker sig över den anställdas livstid. Detta innebär att om den förväntade livslängden ökar så kommer pensionsförpliktsen att öka.

**Matchning av tillgångar och skulden:** Placering av tillgångar utgår från utfästelsornas sammansättning och förväntade utveckling. Den övergripande målsättningen är att placeringsåtgångarnas avkastning på medellång och lång sikt minst ska motsvara pensionsförpliktsens utveckling. En andel av tillgångarna har investerats i aktier, men investeringar har även gjorts i räntebärande instrument och i livida medel. En betydande andel aktier anses lämplig för att hantera planerna effektivt.

**Fondering:** Låga fonderingskrav skiljer sig åt mellan planer, men där sådana krav är baserade på kollektivtval eller internt fastställt policy så är fonderingskravet normalt att pensionsförpliktsen värderas till lokala krav ska täckas fullt ut. Fonderingsnivån övervakas löpande. Banken anser att den nuvarande avgiftsnivån är lämplig.

## NOTER | KONCERNEN

## K9 Övriga kostnader

mkr	2023	2022
Fastigheter och lokaler	-686	-599
IT-relaterade kostnader	-3 379	-2 963
Kommunikation	-284	-255
Resor och marknadsföring	-299	-236
Köpta tjänster	-2 355	-1 836
Materialanskaffning	-188	-170
Andra kostnader	-605	-467
Summa	-7 706	-6 628

Enskilt till revisorer och revisionsbolag <sup>1</sup>	PricewaterhouseCoopers AB		Deloitte AB		Ernst & Young AB	
mkr	2023	2022	2023	2022	2023	2022
Revisionsuppdraget	-39	-35	-8			-7
Revisionsverksamhet utöver revisionsuppdraget	-6	-6	-2			-1
Skattekonsult						
Övriga tjänster		0				

<sup>1</sup> Beloppen i tabellen är exklusive moms.

## K10 Kreditförluster

mkr	2023	2022
<b>Förväntade kreditförluster på poster i balansräkningen</b>		
Årets reservering Stag 3	-328	-182
Stag 3 reservering tidigare år som återförts	209	223
Summa förväntade kreditförluster i Stag 3	-119	41
Årets nettoreservering Stag 2	-112	-99
Årets nettoreservering Stag 1	39	-109
Summa förväntade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2	-72	-207
Summa förväntade kreditförluster på poster i balansräkningen	-192	-168
<b>Förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen</b>		
Årets nettoreservering Stag 3	8	11
Årets nettoreservering Stag 2	-39	-31
Årets nettoreservering Stag 1	8	-4
Summa förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen	-23	-26
<b>Bortskrivningar</b>		
Årets konstaterade kreditförluster <sup>1</sup>	-260	-738
Utnyttjad andel av tidigare reserverat i Stag 3	185	636
Summa bortskrivningar	-75	-102
<b>Åsavvinnings</b>		
Kreditförluster, netto	-141	-47
varav utövning till administrations	-120	-26

<sup>1</sup> Av årets konstaterade kreditförluster omfattas 99 mkr (216) av efterbevakning.

## NOTER | KONCERNEN

## KIO Forts

mkr	2023	2022
1) Förväntade kreditförluster i Stag 3 i och utanför balansräkningen	-111	82
Förändring i modellbaserad reservering för Stag 1 och Stag 2		
Uppdatering av makroekonomiska scenarier och riskfaktorer	206	-104
Flytt av exponeringar i utsatta branscher från Stag 1 till Stag 2 <sup>1</sup>	2	10
Förändring i fallisamangsrisk i löpande portfölj (netto ratingförändringar)	-483	-1
Effekt av exponeringsförändring (behållna, nya och avslutade exponeringar)	40	40
Övrigt i Stag 1 och Stag 2	112	-69
Avgår avvecklad verksamhet	-7	4
Modellbaserade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2	-121	-120
Expertbaserad reservering		
Expertbaserad reservering	-617	-646
Avgår till avvecklad verksamhet	13	25
Expertbaserad reservering i kvarvarande verksamhet	-604	-621
Expertbaserade kreditförluster Stag 1 och Stag 2 (förändring i reservering jämfört med föregående år)	17	-122
2) Förväntade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2 i och utanför balansräkningen	-104	-242
3) Bortskrivningar	-78	-102
4) Återvinningar	140	245
Kreditförluster, netto (1+2+3+4)	-141	-47

<sup>1</sup> Expertbaserad bedömning av signifikant ökning av kreditrisk.

Reserveringsbehovet har ökat under 2023. Detta förklaras främst av negativ ratingmigration i kundstocken. Detta motverkas bland annat av effekten av förändringen i uppdaterade värden på de framtidsblickande makroekonomiska riskfaktorerna, där prognosen för kommande inflation och räntor är mer fördelaktiga jämfört med prognosen föregående årsskifte. Utöver detta har ett antal faktorer sammantaget dämpat ökningen av reserveringsbehovet under året.

Banken har under året tillämpat en expertbaserad reservering baserad på ökade kredit-

risker kopplade till osäkerheter som ej bedöms fullt ut fångas av bankens riskmodeller. Dessa osäkerhetsfaktorer är främst kopplade till makroekonomiska förutsättningar och potentiell betydande förändring i efterfrågebilden. Med anledning av utmaningarna att vid utgången av året uppskatta hur ovan nämnda osäkerhetsfaktorer påverkar kreditrisken på individ- eller företagsnivå har banken applicerat en expertbaserad stress på branscher med risk för extra känslighet. Denna stress har gjorts i tillägg till de modellbaserade beräkningarna

och har resulterat i ett tillkommande reserveringsbehov om 604 mkr (621) i kvarvarande verksamhet och 617 mkr (646) inklusive avvecklad verksamhet.

Processen för nedskrivningsprövning för avtal i Stag 3 har inte ändrats utan följer sedvanlig rutin med individuell bedömning.

## NOTER | KONCERNEN

## K10 Forts

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning 2023 mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3 <sup>1</sup>	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Poster i balansräkningen</b>						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	476 162					
Övrig utlåning till centralbanker	32 145					
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.						
Utlåning till övriga kreditinstitut	19 289	11		-1	-1	
Utlåning till allmänheten	2 292 700	136 848	7 064	-426	-819	-1 150
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	12 709			-2		
<b>Summa</b>	<b>2 833 004</b>	<b>136 859</b>	<b>7 064</b>	<b>-430</b>	<b>-820</b>	<b>-1 150</b>
<b>Poster utanför balansräkningen</b>						
Eventualförpliktelser	284 693	11 262	164	-94	-203	-42
varav ansvarförbindelser	56 464	7 596	60	-11	-40	-22
varav åtaganden	228 229	9 666	104	-83	-163	-20
<b>Summa</b>	<b>284 693</b>	<b>11 262</b>	<b>164</b>	<b>-94</b>	<b>-203</b>	<b>-42</b>

Informationen i denna not inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning samt utgör avvecklad verksamhet, se not K14.

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning 2022 mkr	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3 <sup>1</sup>	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Poster i balansräkningen</b>						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	475 953			0		
Övrig utlåning till centralbanker	32 620			0		
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	200			0		
Utlåning till övriga kreditinstitut	9 418	1		-2	-1	
Utlåning till allmänheten	2 374 713	91 349	5 716	-475	-722	-1 257
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	9 882			-2		
<b>Summa</b>	<b>2 902 886</b>	<b>91 350</b>	<b>5 716</b>	<b>-480</b>	<b>-723</b>	<b>-1 257</b>
<b>Poster utanför balansräkningen</b>						
Eventualförpliktelser	314 586	12 533	274	-103	-169	-82
varav ansvarförbindelser	58 973	7 935	67	-6	-11	-19
varav åtaganden	255 613	10 598	207	-97	-158	-63
<b>Summa</b>	<b>314 586</b>	<b>12 533</b>	<b>274</b>	<b>-103</b>	<b>-169</b>	<b>-82</b>

<sup>1</sup> Bruttovolymer i Stag 3 där ingen reservering gjorts på grund av säkerheter uppgår till 4 781 mkr (3 270).

Nyckeltal kreditförluster, % Utlåning till allmänheten	2023	2022
Kreditförlustnivå öck	0,01	0,00
Total reserveringsgrad	0,10	0,10
Reserveringsgrad Stag 1	0,02	0,02
Reserveringsgrad Stag 2	0,60	0,79
Reserveringsgrad Stag 3	16,28	21,99
Andel utlåning i Stag 3	0,24	0,18

## NOTER | KONCERNEN

## KIO Forts

## FÖRÄNDRINGSANALYSER

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning mkr	2023				2022			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-480	-723	-1 257	-2 459	-900	-693	-2 093	-3 185
Bortbokningar	37	89	211	337	71	165	301	536
Bortskrivningar	0	1	213	214	0	1	671	672
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-219	140	-96	-175	-238	201	-21	-47
Förändringar i modellriskparametrar	-32	-16		-48				
Valutaeffekt m m	2	2	1	5	-11	-8	-24	-43
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-34	-33	-8	-75	-53	-52	-9	-114
Förflyttning till Steg 1	-40	56	1	17	-38	44	8	14
Förflyttning till Steg 2	169	-503	6	-328	70	-470	16	-384
Förflyttning till Steg 3	167	166	-221	111	108	89	-106	92
Reserv vid årets utgång	-430	-820	-1 100	-2 400	-480	-723	-1 267	-2 469

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning mkr	2023				2022			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-475	-722	-1 257	-2 454	-905	-690	-2 093	-3 178
Bortbokningar	96	89	211	337	70	165	301	535
Bortskrivningar	0	1	213	214	0	1	671	672
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-219	140	-96	-176	-237	199	-21	-49
Förändringar i modellriskparametrar	-32	-16		-48				
Valutaeffekt m m	2	2	1	5	-11	-8	-24	-43
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-34	-33	-8	-75	-52	-52	-9	-113
Förflyttning till Steg 1	-40	56	1	17	-38	44	8	14
Förflyttning till Steg 2	169	-502	6	-326	70	-470	16	-384
Förflyttning till Steg 3	167	166	-221	111	108	89	-106	92
Reserv vid årets utgång	-426	-819	-1 100	-2 345	-476	-722	-1 267	-2 464

Reserver för förväntade kreditförluster i tabellerna ovan inkluderar avtrycksgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning.

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning mkr	2023				2022			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-103	-169	-82	-353	-109	-144	-91	-344
Bortbokningar	17	28		44	30	24		54
Bortskrivningar					0	0	1	1
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	8	19	39	65	-11	43	9	41
Förändringar i modellriskparametrar	-6	-6		-13				
Valutaeffekt m m	1	1		2	3	22		24
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-13	-7		-20	-21	-16		-37
Förflyttning till Steg 1	-8	9		2	-5	8		3
Förflyttning till Steg 2	8	-82		-74	8	-107		-99
Förflyttning till Steg 3	3	4		7	3	2		4
Reserv vid årets utgång	-94	-203	-42	-340	-108	-160	-82	-350

Förändringsanalysen visar nettoeffekten på reserven i angivet steg per förklaringspost under perioden. Effekten av bortbokningar och bortskrivningar beräknas på ingående balans. Effekten av omvärdering till följd av förändringar i modellriskparametrar samt valutaeffekt m m beräknas innan eventuell förflyttning av nettobaloppet mellan steg. Nyutgivna eller förvärvade tillgångar och förflyttade belopp mellan stegen redovisas efter att effekten av övriga förklaringsposter beaktats. Förflyttningsraderna anger effekten på reserven i angivet steg.

## NOTER | KONCERNEN

## K10 Forts

Förändring av bruttovolymer, poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning mkr	2023				2022			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Volymer vid årsb. ingång	2 902 686	91 350	5 716	2 999 751	2 817 860	64 400	7 421	2 889 681
Bortbokningar	-502 323	-11 577	-1 035	-514 935	-301 842	-16 004	-1 592	-319 437
Bortskrivningar	-15	-4	-275	-294	-12	-5	-764	-781
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-6 008	-8 429	-558	-14 995	123 331	-26 219	-943	96 167
Valutaeffekt m.m.	-13 018	-453	4	-13 467	92 095	1 410	70	93 575
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	513 644	7 138	84	520 866	232 540	7 905	101	240 546
Förflyttning till Stag 1	80 202	-80 136	-66		43 672	-43 579	-94	
Förflyttning till Stag 2	-140 432	140 793	-361		-104 054	104 466	-412	
Förflyttning till Stag 3	-1 731	-1 823	3 554		-904	-1 025	1 929	
Volymer vid årsb. utgång	2 833 004	136 800	7 064	2 976 827	2 902 686	91 350	6 716	2 999 751

Förändring av bruttovolymer, utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning mkr	2023				2022			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Volymer vid årsb. ingång	2 374 713	91 349	5 716	2 471 778	2 345 126	64 390	7 421	2 417 007
Bortbokningar	-149 007	-11 317	-1 035	-161 359	-254 118	-15 887	-1 592	-271 598
Bortskrivningar	-15	-4	-275	-294	-12	-5	-764	-781
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-12 871	-9 463	-558	-22 892	93 471	-26 036	-943	66 492
Valutaeffekt m.m.	-14 823	-394	4	-15 213	28 750	1 383	70	30 243
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	157 370	7 138	84	164 592	222 409	7 905	101	230 415
Förflyttning till Stag 1	79 336	-79 270	-66		43 672	-43 579	-94	
Förflyttning till Stag 2	-140 272	140 632	-361		-103 791	104 203	-412	
Förflyttning till Stag 3	-1 731	-1 823	3 554		-904	-1 025	1 929	
Volymer vid årsb. utgång	2 292 700	136 848	7 064	2 436 612	2 374 713	91 349	6 716	2 471 778

Poster i balansräkningen i tabellerna ovan inkluderar avlyttningsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till tillgångar som innehåller för försäljning.

Förändring av bruttovolymer, poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning mkr	2023				2022			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Volymer vid årsb. ingång	314 586	12 533	274	327 393	405 024	9 477	336	415 837
Bortbokningar	-48 128	-3 188	-138	-51 453	-93 239	-4 000	-59	-97 298
Bortskrivningar					-1	0	0	-1
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-24 479	2 095	-45	-22 428	-16 580	-2 390	-41	-19 011
Valutaeffekt m.m.	-3 010	-59	-1	-3 070	-31 411	-5 328	6	-36 733
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	43 406	2 270	2	45 678	63 343	1 249	8	64 600
Förflyttning till Stag 1	10 321	-10 319	-2		6 108	-6 092	-12	
Förflyttning till Stag 2	-7 962	7 971	-9		-19 619	19 631	-11	
Förflyttning till Stag 3	-41	-42	83		-33	-15	48	
Volymer vid årsb. utgång	284 603	11 262	164	296 029	314 586	12 533	274	327 393

Förändringsanalysen avseende bruttovolymer visar, i likhet med analysen av reserv, effekten av valda förklaringsposter på volymerna i angivet stag. Posterna för förflyttning mellan stagen och "Nyutgivna eller förvärvade tillgångar" anger beloppen i angivet stag vid periodens utgång. Övriga poster anger effekten i det stag som var gällande vid periodens ingång.

## NOTER | KONCERNEN

## KIO Forts

## KÄNSLIGHETSANALYSER

## Makroekonomisk prognos i ECL-beräkningarna och känslighetsanalys

Beräkningen av förväntade kreditförluster tillämpar framställande information i form av makrosценарier. Den förväntade kreditförlusten är ett sannolikhetsvägt genomsnitt av de beräknade prognoserna över tre scenarier. Prognosen i det neutrala scenariet vägs med 70% (60), medan en uppgång i ekonomin vägs med 15% (20) och en nedgång i ekonomin med 15% (20). För exponeringar i Storbritannien har även ett fjärde, kraftigare negativt scenario applicerats från och med 2022. Sannolikhetsviktningen för kraftigt negativt/negativt/neutralt/positivt scenario för Storbritannien är 15%/20%/60%/5% (15/20/60/5). Dessa har legat till grund för beräkningar av förväntade kreditförluster i Stig 1 och Stig 2 per den 31 december 2023.

Makroekonomiska riskfaktorer	Negativt scenario			Neutralt scenario			Positivt scenario		
	2024	2025	2026	2024	2025	2026	2024	2025	2026
<b>BNP-tillväxt</b>									
Sverige	-3,73	0,90	2,95	-0,13	2,30	2,30	2,87	3,30	2,00
Storbritannien	-2,20	0,44	2,95	0,80	1,84	2,30	3,80	2,84	2,00
Storbritannien, kraftigt negativt scenario	-4,20	-2,16	3,30						
Norge	-3,53	0,06	2,35	0,07	1,46	1,70	3,07	2,46	1,40
Finland	-3,41	0,40	2,28	0,19	1,80	1,63	3,19	2,80	1,33
Euro-området	-3,12	0,11	1,95	0,48	1,51	1,30	3,48	2,51	1,00
USA	-2,40	0,44	2,65	1,20	1,84	2,00	4,20	2,84	1,70
<b>Arbetskraft</b>									
Sverige	10,10	10,41	10,10	8,40	8,31	7,90	7,70	7,31	7,20
Storbritannien	6,40	6,70	6,40	5,00	5,00	4,50	4,30	4,00	3,80
Storbritannien, kraftigt negativt scenario	8,00	9,50	9,00						
Norge	4,05	4,58	4,70	2,35	2,48	2,50	1,65	1,47	1,80
Finland	9,30	9,20	8,70	7,60	7,10	6,50	6,90	6,10	5,80
Euro-området	8,58	8,83	8,90	6,88	6,73	6,70	6,18	5,73	6,00
USA	5,96	6,57	6,50	4,26	4,47	4,30	3,56	3,47	3,60
<b>Styrräntan</b>									
Sverige	5,25	4,25	3,25	3,75	2,75	2,25	3,00	1,75	1,25
Storbritannien	6,25	4,50	3,50	4,75	3,00	2,50	4,00	2,00	1,50
Storbritannien, kraftigt negativt scenario	1,00	0,25	0,25						
Norge	5,50	4,75	3,25	4,00	3,25	2,25	3,25	2,25	1,25
Finland	4,75	4,00	2,75	3,25	2,50	1,75	2,50	1,50	0,75
Euro-området	4,75	4,00	2,75	3,25	2,50	1,75	2,50	1,50	0,75
USA	5,88	4,63	3,63	4,38	3,13	2,63	3,63	2,13	1,63
<b>Fastighetsprisutveckling, kommersiella fastigheter</b>									
Sverige	-5,91	1,84	2,83	3,51	8,10	3,57	5,99	13,00	5,56
Storbritannien	-8,35	-4,01	3,56	-0,15	1,63	2,01	3,43	7,49	4,23
Storbritannien, kraftigt negativt scenario	-16,20	-10,78	2,88						
Norge	-4,81	-4,47	-0,35	2,50	2,10	1,40	5,24	6,16	2,31
Finland	-7,41	-0,16	3,56	1,46	5,88	6,18	3,35	9,03	7,00
Euro-området	-7,69	-3,44	1,80	0,83	4,44	4,85	3,61	8,49	6,05
<b>Fastighetsprisutveckling, bostadsfastigheter</b>									
Sverige	-5,04	-0,32	2,69	1,10	2,57	2,61	6,46	5,00	3,29
Storbritannien	-7,77	-7,27	-2,44	-5,97	-0,89	3,27	-3,03	4,90	8,22
Storbritannien, kraftigt negativt scenario	-13,44	-6,44	-0,03						
Norge	-0,58	-1,34	4,19	0,94	2,77	3,10	2,54	3,48	2,75
Finland	2,96	5,29	2,78	0,50	3,83	2,96	-0,37	3,75	3,17
Euro-området	2,35	2,00	2,11	2,00	2,00	2,00	1,70	2,03	2,07

## Känslighetsanalys makrosценарier

Tabellen nedan visar procentuell ökning respektive minskning av reserven för förväntade kreditförluster i Stig 1 och Stig 2 per den 31 december 2023 om det negativa respektive positiva scenariot tilldelats sannolikheter om 100%. Effekten av att sätta sannolikheten av det kraftigt negativa scenariot för Storbritannien till 100% är inte inkluderad i totalen.

%	2023		2022	
	Procentuell ökning av reserv vid negativt scenario	Procentuell minskning av reserv vid positivt scenario	Procentuell ökning av reserv vid negativt scenario	Procentuell minskning av reserv vid positivt scenario
Sverige	27,45	-15,70	10,95	-7,72
Storbritannien	21,13	-29,56	7,49	-7,19
Storbritannien, kraftigt negativt scenario	29,99		25,30	
Norge	33,68	-18,20	7,54	-6,10
Finland	8,52	-5,06	-0,13	0,20
Nederländerna	36,85	-22,53	3,52	-2,56
USA	57,50	-36,86	27,06	-20,37
Övriga länder	23,51	-12,04	3,64	-2,07
<b>Totalt</b>	<b>23,98</b>	<b>-18,81</b>	<b>7,43</b>	<b>-5,80</b>



## NOTER | KONCERNEN

## K10 Forts

## Känslighetsanalys betydande ökning av kreditrisk

Tabellen nedan visar hur reserven för förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 per den 31 december påverkas om det gränsvärde som tillämpas för kvoten mellan återstående kreditrisk baserat vid rapportering och första redovisningsstillfället var satt till 0,5 enheter lägre respektive högre än det tillämpade gränsvärdet 2,5. En minskning av gränsvärdet med 0,5 enheter skulle öka antalet lån som överförs från Steg 1 till Steg 2 och också öka reserven för förväntade kreditförluster. En ökning av gränsvärdet med 0,5 enheter skulle ha motsatt effekt. Banken använder både kvantitativa och kvalitativa indikatorer för att bedöma betydande ökning av kreditrisk. För utförligare information, se not K2 av antill Kreditrisk.

Förändring av den totala reserven för Steg 1 och Steg 2, %			
Tröskelvärde		2023	2022
2		3,50	3,78
2,5		0,00	0,00
3		-1,93	-2,16

## KREDITEXPONERINGAR SOM ÄR FÖREMÅL FÖR NEDSKRIVNINGSPRÖVNING PER PD-INTERVALL

Poster i balansräkningen fördelat på pd-Intervaller	2023			2022		
	Bruttovolymer, mkr			Bruttovolymer, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde <sup>1</sup>						
0,00 till <0,15	2 427 046	33 598		2 565 832	33 734	
0,15 till <0,25	60 030	6 941		83 251	7 159	
0,25 till <0,50	262 839	20 189		186 429	10 793	
0,50 till <0,75	26 082	13 431		26 834	5 512	
0,75 till <2,50	47 566	20 675		32 219	16 582	
2,50 till <10,00	8 842	35 625		7 234	13 902	
10,00 till <100	599	6 421		887	3 667	
100 (hallsamman)			7 064			5 716
Summa	2 833 004	138 859	7 064	2 902 686	81 350	6 716

Utlåning till allmänheten fördelat på pd-Intervaller	2023			2022		
	Bruttovolymer, mkr			Bruttovolymer, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde <sup>1</sup>						
0,00 till <0,15	1 964 166	33 595		2 099 130	33 734	
0,15 till <0,25	48 581	6 940		68 108	7 159	
0,25 till <0,50	212 711	20 167		152 519	10 793	
0,50 till <0,75	21 108	13 430		21 953	5 512	
0,75 till <2,50	38 494	20 673		26 358	16 582	
2,50 till <10,00	7 156	35 622		5 918	13 902	
10,00 till <100	485	6 420		725	3 667	
100 (hallsamman)			7 064			5 716
Summa	2 292 700	138 848	7 064	2 374 713	81 349	6 716

Poster utanför balansräkningen fördelat på pd-Intervaller	2023			2022		
	Bruttovolymer, mkr			Bruttovolymer, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde <sup>1</sup>						
0,00 till <0,15	209 059	1 674		262 559	4 799	
0,15 till <0,25	15 570	166		22 592	1 082	
0,25 till <0,50	40 923	1 157		15 241	633	
0,50 till <0,75	7 365	3 623		5 396	716	
0,75 till <2,50	10 234	2 186		7 529	3 451	
2,50 till <10,00	1 437	1 933		1 119	1 657	
10,00 till <100	105	522		160	195	
100 (hallsamman)			164			274
Summa	284 693	11 282	164	314 586	12 633	274

<sup>1</sup> Avser tolv månaders pd-värde vid rapporteringsstillfället.

Tillgångar övertagna för skyddande av fordran			
mkr		2023	2022
Lös egendom		2	0
Aktier och andelar			0
Redovisat värde		2	0

Lös egendom består i allt väsentligt av skaffade leasingobjekt. Värderingsprinciper för tillgångar och skulder som övertagits för skyddande av fordran beskrivs i not K1.

## NOTER | KONCERNEN

## K11 Vinster/förluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar

mk	2023	2022
Inventarier	20	24
Summa	20	24

## K12 Riskskatt och resolutionsavgift

mk	2023	2022
Riskskatt	-1 644	-1 316
Resolutionsavgift	-980	-905
Summa	-2 624	-2 311

## K13 Resultat per aktie

	2023	2022
Årets resultat tillhörande aktieägarna i Svenska Handelsbanken AB, mk	29 107	21 676
Genomsnittligt antal under året konverterade aktier, miljoner		
Genomsnittligt innehav av egna aktier i handelslagar, miljoner		
Genomsnittligt antal utestående aktier, miljoner	1 980,0	1 980,0
Genomsnittlig utspädningseffekt antal aktier, miljoner		
Genomsnittligt antal utestående aktier efter utspädning, miljoner	1 980,0	1 980,0
Resultat per aktie, total verksamhet, kr	14,70	10,95
efter utspädning	14,70	10,95
Resultat per aktie, kvarvarande verksamhet, kr	14,09	10,81
efter utspädning	14,09	10,81
Resultat per aktie, utvecklade verksamhet, kr	0,61	0,14
efter utspädning	0,61	0,14

Resultat per aktie efter utspädning beräknas genom att ta hänsyn till effekterna av en konvertering av utestående konvertibla skuldebrev. Det innebär att genomsnittligt antal aktier justeras med potentiella stamaktier och att årets resultat justeras med årets räntekostnad på utestående konvertibla skuldebrev efter skatt.

K14 Tillgångar och skulder som innehas för försäljning samt avvecklad verksamhet

Tillgångar och skulder i bankens verksamhet i Finland utgör tillgångar och skulder som innehas för försäljning i enlighet med IFRS 5, vilka är hänförliga till två olika avyttringsgrupper. Under andra kvartalet 2023 undertecknades avtal om att sälja de delar i den finska verksamheten som omfattar privatkunder inklusive kapitalförvalt-

ning- och placeringstjänsterna, små och medelstora företag samt livförsäkringsrörelsen. Denna affär beräknas vara slutförd under det andra halvåret 2024.  
Följande enheter i Finland ingår i avyttringsgrupperna och i den avvecklade verksamheten:

- Handelsbanken AB (publ) filial i Finland
- Handelsbanken Asuntoluottopankki Stadshypotek AB (publ) filial i Finland
- Handelsbanken Liv Försäkrings AB i Finland
- Handelsbanken Liv Försäkrings AB filial i Finland.

Tillgångar och skulder som innehas för försäljning 2023		Finland
mkr		
<b>Tillgångar</b>		
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		10
Övrig utlåning till centralbanker		25 863
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.		
Utlåning till övriga kreditinstitut		3
Utlåning till allmänheten		142 409
varav hushåll		39 567
varav företag		102 847
Obligationer och andra räntebärande värdepapper		
Aktier och andelar		2
Tillgångar där kunden står värdetförändringsrisken		9 586
Immateriella tillgångar		123
Fastigheter och inventarer		467
Övrigt		128
<b>Summa</b>		<b>178 000</b>
<b>Skulder</b>		
Skulder till kreditinstitut		980
In- och upplåning från allmänheten		51 556
varav hushåll		17 434
varav företag		34 122
Försäkringsskulder		3
Skulder där kunden står värdetförändringsrisken		9 586
Avaltäckningar		195
Övrigt		1 401
<b>Summa</b>		<b>63 721</b>

Tillgångar och skulder som innehas för försäljning 2022		Finland	Andra tillgångar som innehas för försäljning	Totalt
mkr				
<b>Tillgångar</b>				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		14		14
Övrig utlåning till centralbanker		28 015		28 015
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.				
Utlåning till övriga kreditinstitut		5		5
Utlåning till allmänheten		153 506	310	153 816
varav hushåll		43 922		43 922
varav företag		109 584	310	109 894
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Aktier och andelar		3		3
Tillgångar där kunden står värdetförändringsrisken		9 145		9 145
Immateriella tillgångar		123		123
Fastigheter och inventarer		407		407
Övrigt		388		388
<b>Summa</b>		<b>191 808</b>	<b>310</b>	<b>191 916</b>
<b>Skulder</b>				
Skulder till kreditinstitut		679		679
In- och upplåning från allmänheten		57 361		57 361
varav hushåll		20 297		20 297
varav företag		37 064		37 064
Försäkringsskulder		3		3
Skulder där kunden står värdetförändringsrisken		9 145		9 145
Avaltäckningar		210		210
Övrigt		1 540		1 540
<b>Summa</b>		<b>68 938</b>		<b>68 938</b>

I omräkningsreserven ingår ett belopp uppgående till ackumulerat 1 022 mkr (1 064) hänförligt till omvärning av tillgångar och skulder som innehas till försäljning i Finland, se Förändring i eget kapital Koncernen.

Process för avyttring av Finland pågår. Finland har tidigare utgjort eget rörelsesegment.

Värdering av respektive avyttringsgrupp till det lägsta av verkligt värde, efter avdrag för försäljningskostnader, och redovisat värde har ej förändrat någon nedskrivning.

## NOTER | KONCERNEN

## K14. Forts

## Intäkter, kostnader och resultat avvecklad verksamhet

	2023	2022
<b>Denmark och Finland</b>		
<i>mer</i>		
Räntanetto	2 368	3 434
Provisionanetto	406	1 096
Nettoreultat av finansiella transaktioner	29	-12
Försäkringsanetto	17	13
Övriga intäkter	9	68
<b>Summa intäkter</b>	<b>2 829</b>	<b>4 600</b>
Personalkostnader	-341	-1 681
Övriga kostnader	-464	-1 543
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	0	-2
<b>Summa kostnader</b>	<b>-1 308</b>	<b>-3 226</b>
Kreditförluster, netto	41	29
Vinst-/förluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	-1	2
Riskskatt och resolutionsavgift	-97	-160
<b>Årets resultat hänförligt till Danmark och Finland före skatt</b>	<b>1 487</b>	<b>1 248</b>
Skatter	-200	-617
<b>Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet inkl tillkommande kostnader efter skatt</b>	<b>1 287</b>	<b>629</b>
Övriga kostnader hänförliga till avvecklad verksamhet <sup>1</sup>	-73	-27
Skatter	15	6
<b>Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet inkl tillkommande kostnader efter skatt</b>	<b>1 209</b>	<b>608</b>
<b>Realisationsresultat vid försäljning av avyttringsgrupper som utgör avvecklad verksamhet</b>		
Realisationsresultat före skatt		235
Skatter <sup>2</sup>		-561
Realisationsresultat efter skatt		-326
<b>Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt</b>	<b>1 209</b>	<b>280</b>
Väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka är eliminerade och inte ingår i ovanstående resultatposter <sup>3</sup> :		
Intäkter	100	-287
Kostnader	-101	-202
<b>Denmark</b>		
<i>mer</i>		<b>2022</b>
Räntanetto		1 712
Provisionanetto		701
Nettoreultat av finansiella transaktioner		-49
Försäkringsanetto		1
Övriga intäkter		49
<b>Summa intäkter</b>		<b>2 413</b>
Personalkostnader		-1 035
Övriga kostnader		-768
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar		
<b>Summa kostnader</b>		<b>-1 803</b>
Kreditförluster, netto		38
Vinst-/förluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar		2
Riskskatt och resolutionsavgift		-58
<b>Årets resultat hänförligt till Danmark före skatt</b>		<b>608</b>
Skatter		-57
<b>Årets resultat hänförligt till Danmark efter skatt</b>		<b>551</b>
<b>Realisationsresultat vid försäljning av avyttringsgrupper som utgör avvecklad verksamhet före skatt</b>		
Realisationsresultat före skatt		235
Skatter <sup>2</sup>		-561
Realisationsresultat efter skatt		-326
<b>Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt</b>		<b>210</b>
Väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka är eliminerade och inte ingår i ovanstående resultatposter <sup>3</sup> :		
Intäkter		-176
Kostnader		-89

<sup>1</sup> Det tillkommer vissa kostnader i Sverige till följd av att den avvecklade verksamheten ska avyttras, vilka hänförs till avvecklad verksamhet. Exempelvis konsult- och juristkostnader.<sup>2</sup> Skattekostnaden avseende 2022 påverkas negativt av en ej avdragsgill upplösning av goodwill, vilken redovisas i realisationsresultatet.<sup>3</sup> Endast externa intäkter och kostnader ingår i resultatet från såväl kvarvarande som avvecklad verksamhet. Den avvecklade verksamheten har väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka således är eliminerade i redovisningen. Exempelvis är all finansiering och likviditetshantering centraliserad till den centrala enheten Group Treasury i Sverige. Utlåning till alman-heten i Danmark och Finland är således finansierad genom intern upplåning från Group Treasury. Räntekostnader hänförliga till intern upplåning är eliminerade i redovisningen och ingår därmed inte i räkenskottet ovan. Från och med 1 januari 2023 tillämpar banken en ny metod för eliminering av interna transaktioner hänförliga till räntebenet mellan avvecklad verksamhet i Finland och Group Treasury och presenterar därmed interna ränta-intäkter och interna räntekostnader i kvarvarande respektive avvecklad verksamhet. Jämför sifferformerna för ej omräknade.

## NOTER | KONCERNEN

## K14 Forts

Finland	2023	2022
mkr		
Räntesnetto	2 368	1 722
Provisionsnetto	406	396
Nettorisultat av finansiella transaktioner	29	37
Försäkringsnetto	17	12
Övriga intäkter	9	19
Summa intäkter	2 829	2 186
Personalkostnader		
Övriga kostnader	-841	-647
Av- och nadskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-464	-775
Summa kostnader	-1 306	-1 423
Kreditförluster, netto	41	-10
Vinsterförluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	-1	0
Risikost och resolutionsavgift	-97	-102
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet före skatt	1 467	662
Skatter	-200	-560
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt	1 267	91
Väsentliga inbärande transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka är eliminerade och inte ingår i ovanstående resultatposter <sup>1</sup> :		
Intäkter	100	-111
Kostnader	-101	-113

## Provisionsintäkter per produkt

Provisionsintäkter per produkt <sup>2</sup>	2023	2022
mkr	Finland	Denmark Finland
Courtag och övriga värdepappersprovisioner	9	41 8
Fonder	7	147 8
Depå och övrig kapitalförvaltning	41	148 44
Rådgivning		22
Försäkringar	77	22 74
Betalningar	213	205 203
Ut- och inlåning	85	55 79
Garantier	19	65 20
Övrigt	11	64 13
Summa provisionsintäkter	463	768 448

## Personalkostnader avvecklad verksamhet

Denmark och Finland <sup>2</sup>	2023	2022
mkr		
Löner och avseende <sup>3</sup>		-636 -1 273
Socialavgifter		-22 -132
Pensionskostnader		-104 -135
Avskrivning till resultatunderskott		-16
Andra personalkostnader		-79 -125
Summa		-841 -1 681

Medelantal anställda<sup>2</sup>

	2023	2022
	Totalt Män Kvinnor	Totalt Män Kvinnor
Denmark		546 277 269
Finland	533 249 284	530 242 288
Summa	633 249 284	1 076 519 557

<sup>1</sup> Endast externa intäkter och kostnader ingår i resultatet från såväl kvarvarande som avvecklad verksamhet. Den avvecklade verksamheten har väsentliga inbärande transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka således är eliminerade i redovisningen. Exempelvis är all finansiering och likviditetshantering centraliserad till den centrala enheten Group Treasury i Sverige. Utlåning till eliminerad i Finland är således finansierad genom intern upplåning från Group Treasury. Räntekostnader hänförliga till intern upplåning är eliminerade i redovisningen och ingår därmed inte i räntesatset ovan. Från och med 1 januari 2023 tillämpar banken en ny metod för eliminering av interna transaktioner hänförliga till räntesatset mellan avvecklad verksamhet i Finland och Group Treasury och presenterar därmed interna räntaintäkter och interna räntekostnader i kvarvarande respektive avvecklad verksamhet. Jämförelsesiffrorna är så omräknade.

<sup>2</sup> Årets siffror avser endast Finland då verksamheten i Danmark såldes under fjärde kvartalet 2022.

<sup>3</sup> Varav 5,5 mkr (5,0) till ledande befattningshavare (verkställande direktör och styrelse i dotterbolag).

## Kassaflödesanalys avvecklad verksamhet

Finland	2023	2022
mkr		
Kassaflöde från löpande verksamhet	4 611	-123 159
Kassaflöde från investeringsverksamhet	-8	-11
Kassaflöde från finansieringsverksamhet		
Årets kassaflöde från avvecklad verksamhet	4 604	-123 171

## NOTER | KONCERNEN

## K15 Övrig utlåning till centralbanker

mil	2023	2022
Övrig utlåning till centralbanker i svenska kronor		
Övrig utlåning till centralbanker i utländsk valuta	6 282	4 604
Summa	6 282	4 604
Reservering för förväntade kreditförluster		
Summa övrig utlåning till centralbanker	6 282	4 604

Medelvolymer		
mil	2023	2022
Övrig utlåning till centralbanker i svenska kronor		
Övrig utlåning till centralbanker i utländsk valuta	6 196	5 579
Summa	6 196	5 579

## K16 Utlåning till övriga kreditinstitut

mil	2023	2022
Utlåning i svenska kronor		
Banker	263	379
Övriga kreditinstitut	-1	103
Summa	261	482
Utlåning i utländsk valuta		
Banker	16 910	6 002
Övriga kreditinstitut	2 126	2 929
Summa	19 036	8 931
Reservering för förväntade kreditförluster	-2	-2
Summa utlåning till övriga kreditinstitut	19 204	9 411
varav omvändarepor	9 623	

Medelvolymer		
mil	2023	2022
Utlåning till övriga kreditinstitut i svenska kronor	1 212	2 317
Utlåning till övriga kreditinstitut i utländsk valuta	42 394	36 637
Summa	43 607	38 954
varav omvändarepor	16 812	14 433

## K17 Utlåning till allmänheten

mil	2023	2022
Utlåning i svenska kronor		
Hushåll	974 473	984 397
Företag	590 233	601 605
Riksgälden	6 748	1 566
Summa	1 580 454	1 587 568
Utlåning i utländsk valuta		
Hushåll	250 008	257 706
Företag	463 345	472 559
Summa	713 353	730 265
Reservering för förväntade kreditförluster	-2 000	-2 015
Summa utlåning till allmänheten	2 291 808	2 315 818
varav omvändarepor	17 404	12 917

Medelvolymer, exkl Riksgälden		
mil	2023	2022
Utlåning till allmänheten i svenska kronor	1 597 310	1 555 159
Utlåning till allmänheten i utländsk valuta	738 482	708 177
Summa	2 335 792	2 263 336
varav omvändarepor	23 110	21 300

NOTER | KONCERNEN

## K18 Räntebärande värdepapper

mkr	2023			2022		
	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.	199 128	199 128	197 474	132 778	132 778	133 726
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	50 087	50 087	36 442	32 697	32 697	30 898
Summa	249 215	249 215	233 916	165 475	165 475	164 624

Räntebärande värdepapper fördelade på emittent						
mkr	2023			2022		
	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde
Stat	199 128	199 128	197 474	132 778	132 778	133 726
Kreditinstitut	9 733	9 733	7 856	8 864	8 864	7 655
Bostadsinstitut	34 378	34 378	24 446	17 464	17 464	18 041
Övrigt	5 975	5 975	4 141	6 369	6 369	5 202
Summa	249 215	249 215	233 916	165 475	165 474	164 624

Räntebärande värdepapper som är föremål för nedskrivningsprövning			
mkr	2023	2022	
Verkligt värde via övrigt totalresultat			
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.			200
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	12 709		9 882
Summa	12 709		10 082
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad i verkligt värdesreserven i eget kapital	-2		-2

Modolvolymer			
mkr	2023	2022	
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.	258 785	137 114	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	55 713	45 820	
Summa	314 497	182 934	

## K19 Aktier och andelar

mkr	2023	2022
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	11 615	12 359
Verkligt värde via övrigt totalresultat	601	544
Summa aktier och andelar	12 216	12 813

Innehav klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat		
mkr	2023	2022
Visa Inc	330	274
VIPS A/S	60	57
Övriga innehav	211	213
Summa	601	544

Handelsbanken klassificerar ovanstående aktieinnehav till verkligt värde via övrigt totalresultat då dessa inte innehas i handelsälyfte. Utdelningarna på dessa aktier uppgår till 3 mkr (17) och redovisas i resultaträkningen som övriga utdelningsintäkter. Under året har Banken avyttrat innehav i en bostadsaktieförening om totalt 0 mkr (32). Skälet till avyttringen var kontorsnedläggning.

För information om realiserat och realiserat resultat för eget kapital instrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat se Förändring av eget kapital Koncernen.

## NOTER | KONCERNEN

## K20 Andelar i intresseföretag och joint ventures

Handelsbanken har inga enskilda väsentliga innehav i intresseföretag eller joint ventures. Det finns vissa företag som anses strategiska för bankverksamheten i koncernen då de utför stödjande verksamheter, såsom exempelvis betalningstjänster. Samtliga innehav är onoterade.

Andelar i intresseföretag och joint ventures	2023	2022
mkr		
Redovisat värde vid årets början	561	478
Andel av årets resultat	89	-13
Skatt	-37	-13
Aktieägarutskott	53	123
Utdelning	-8	-14
Redovisat värde vid årets slut	667	561

Resultat från intresseföretag och joint ventures	2023	2022
mkr		
Årets resultat	51	-13
Övrigt totalresultat		
Årets totalresultat	61	-13

Intresseföretag	Organisationsnummer	Säte	Antal aktier	Röstandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2023	2022
Bankomat AB	556817-9716	Stockholm	150	20,00	96	95
BGC Holding AB	556607-0933	Stockholm	25 542	25,54	428	327
Dyson Group plc	00163096	Sheffield	74 333 672	24,01	8	17
Finansiel ID-teknik BID AB	556630-4928	Stockholm	12 735	28,30	25	21
Getawish AB	556913-7362	Stockholm	10 000	20,00	23	21
UBE Intressen AB	559161-9464	Stockholm	2 448	24,48	0	0
Summa					661	481

Joint ventures	Organisationsnummer	Säte	Antal aktier	Röstandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2023	2022
P27 Nordic Payments Platform AB	559198-0610	Stockholm	10 000	16,67	71	55
Invidem AB	559210-0779	Stockholm	10 000	16,67		23
Tibson AB	559384-3542	Stockholm	4 000	14,29	5	3
Summa					78	80

## K21 Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken

	2023	2022
mkr		
Fondförsäkringstillgångar	230 905	201 119
Aktier	13 067	10 766
Övriga tillgångar	921	1 081
Summa	244 893	212 966



## NOTER | KONCERNEN

## K22 Derivatinstrument

mkr	Nominellt belopp/löptid			Nominellt belopp		Positiva marknadsvärden		Negativa marknadsvärden	
	upp till 1 år	mer än 1 år upp till 5 år	mer än 5 år	2023	2022	2023	2022	2023	2022
<b>Derivat för handel</b>									
Ränterelaterade kontrakt									
Optioner	3 278	25 721	6 187	35 186	24 799	262	403	393	351
FRAs/terminer	377 929	20 062		397 991	681 455	255	928	237	1 181
Swappar	440 212	1 038 358	245 746	1 724 316	2 210 708	35 286	62 139	34 844	61 594
Valutaränterelaterade kontrakt									
Optioner	24 061	1 615	17	25 693	35 136	158	292	237	249
Terminar	56 603	5 712	55	62 370	94 033	1 196	1 418	1 146	1 112
Swappar	487 289	41 221	797	529 307	701 630	8 006	9 146	17 177	12 780
Aktierelaterade kontrakt									
Optioner	4 470	380	32	4 882	2 053	194	182	114	95
Terminar	215			215	184	5	6	2	5
Swappar	4 754	1 208		5 962	8 262	101	185	306	663
Rävaränterelaterade kontrakt									
Optioner			17	17	25	6	2	23	27
Terminar	180			180	367	6	32	18	52
Kreditrelaterade kontrakt									
Swappar	463	2 606		3 069	3 908	193	68	82	90
<b>Summa</b>	<b>1 309 454</b>	<b>1 138 883</b>	<b>282 881</b>	<b>2 789 188</b>	<b>3 762 560</b>	<b>45 688</b>	<b>74 801</b>	<b>64 570</b>	<b>78 199</b>
<b>Derivat för marknadsvärdesåtkomster</b>									
Ränterelaterade kontrakt									
Optioner	41			41	364	1	7		
Swappar	120 789	450 446	124 396	695 631	576 034	17 227	16 888	16 007	27 349
Valutaränterelaterade kontrakt									
Swappar		983		983	1 636	25	77		
<b>Summa</b>	<b>120 830</b>	<b>451 429</b>	<b>124 396</b>	<b>696 655</b>	<b>578 034</b>	<b>17 253</b>	<b>16 972</b>	<b>16 007</b>	<b>27 349</b>
<b>Derivat för kassaflödesåtkomster</b>									
Ränterelaterade kontrakt									
Swappar	66 828	70 621	9 758	147 207	248 157	3 029	4 499	2 228	4 865
Valutaränterelaterade kontrakt									
Swappar	99 027	176 613	45 950	321 590	314 842	16 381	21 101	6 649	1 185
<b>Summa</b>	<b>165 855</b>	<b>247 234</b>	<b>55 708</b>	<b>468 797</b>	<b>562 999</b>	<b>19 410</b>	<b>25 600</b>	<b>8 877</b>	<b>6 050</b>
<b>Summa derivatinstrument</b>	<b>1 686 139</b>	<b>1 836 548</b>	<b>432 985</b>	<b>3 954 640</b>	<b>4 903 593</b>	<b>82 331</b>	<b>117 373</b>	<b>79 483</b>	<b>111 598</b>
Varav börshandlade derivat				704 000	201 815	148	260	419	274
Varav OTC-derivat clearade via CCP				2 661 973	3 315 242	52 627	82 375	45 845	83 957
Varav OTC-derivat ej clearade via CCP				1 222 267	1 386 536	29 556	34 738	33 199	27 367
Kvittade belopp totalt				-2 310 691	-2 826 362	-52 221	-81 112	-45 225	-82 558
<b>Nettobelopp</b>				<b>1 643 949</b>	<b>2 077 231</b>	<b>30 110</b>	<b>36 261</b>	<b>34 258</b>	<b>29 040</b>
<b>Valutafördelning av marknadsvärden</b>									
SEK						39 951	-231 111	371 486	74 796
USD						-25 673	187 752	-350 125	-244 777
EUR						163 098	282 564	-13 839	211 143
Övriga						-95 045	-121 832	71 941	70 436
<b>Summa</b>						<b>82 331</b>	<b>117 373</b>	<b>79 483</b>	<b>111 598</b>

I noten presenteras derivatkontrakt brutto. Kvittade belopp består av det kvittade marknadsvärde och tillhörande nominella belopp på kontrakt för vilka det finns en laglig rätt och avsikt att reglera avtalade kassaflöden netto (därför bland clearade kontrakt). Dessa kontrakt netto redovisas i balansräkningen per motpart och valuta.

Positiva skillnader mellan det värde som räknats fram med en värderingsmodell vid det första redovisningstillfället och transaktionspriset (dag 1-resultat) periodiseras över derivatets löptid. Vid årsavslut uppgick sådana ännu ej resultatförda dag 1-resultat till 472 mkr (447).

## NOTER | KONCERNEN

## K23 Säkringsredovisning

Koncernens övergripande mål för riskhantering och säkringsredovisning är att säkra risken för variationer i framtida kassaflöden respektive verkligavärden hänförliga till ut- och upplåning med avseende på förändringar i räntor och valutakurser. För att uppnå detta använder koncernen derivat. Säkringsredovisning tillämpas för att koncernens riskhanteringsstrategi ska avspeglas i de finansiella rapporterna. För information om koncernens hantering av marknadsrisker, se not K2. Nedan beskrivs koncernens säkringsstrategier samt de olika typer av säkringsredovisning som tillämpas uppdelat per riskkategori. För en beskrivning av redovisningsprinciperna för säkringsredovisning, se not K1.

## KASSAFLÖDESSÄKRING

**Ränterisk i ut- och upplåning till rörlig ränta**  
Syftet med denna säkringsstrategi är att minska osäkerheten i framtida in- och utbetalningar av räntor till följd av förändringar i rörliga räntor, och istället erhålla respektive betala en fast ränta som är känd vid ingången av säkringen. Den säkrade posten utgörs av mycket sannolika framtida in- och utbetalningar avseende ränterörlig utlåning till allmänheten respektive emitterade värdepapper med rörlig ränta. Den säkrade risken definieras som en rörlig referensränta i respektive valuta, vilken utgör en observerbar komponent i räntan. Säkringsinstrumenten utgörs av ränteswapper, i vilka fast ränta erhålls och rörlig ränta betalas respektive fast ränta betalas och rörlig ränta erhålls.

## Valutakursrisk i upplåning

Säkringsstrategin syftar till att minska osäkerheten i framtida räntebetalningar till följd av förändringar i valutakurser och istället betala en ränta i den funktionella valutan, som är känd vid tidpunkten för ingången av säkringen. Den säkrade posten utgörs av mycket sannolika framtida räntebetalningar och återbetalningar av nominella belopp hänförliga till emitterade värdepapper i en annan valuta än den funktionella valutan. Den säkrade risken utgörs av risken för förändringar i dessa framtida betalningar till följd av förändringar i valutakurser mellan upplåningsvalutan och den funktionella valutan. Säkringsinstrumenten utgörs av valutarelaterade derivat.

## Valutakursrisk i internlån till eller från utlandsverksamhet

Intentionen med denna säkringsstrategi är att minska risken för volatilitet hänförlig till valutakursrörelser avseende ett internlån, till eller från en utlandsverksamhet. Den säkrade posten utgörs av det nominella beloppet avseende ett internlån mellan koncernens finansavdelning och en utländsk verksamhet, utgivet i den funktionella valutan för den utländska verksamheten. Den säkrade risken utgörs av risken för förändringar i kassaflöden hänförliga till räntebetalningar samt återbetalningar av nominellt belopp, till följd av skillnader i valutakurser mellan internlånets valuta och moderbolagets funktionella valuta, svenska kronor. Säkringsinstrumenten utgörs av valutarelaterade derivat.

## Effektivitetsmätning

Effektiviteten testas vid ingången av säkringsrelationen samt köpande kvartalsvis. Säkringsarnas effektivitet testas såväl prospektivt som retrospektivt. Prospektivt genom att skifta ränte- och diskonteringskurvor. Retrospektivt, i de fall villkoren avseende den säkrade risken och säkringsinstrumentet inte överensstämmer fullständigt, genom regressionsanalys. Med fullständigt menas att kassaflöden och diskonteringsfaktorer i varje tid är identiska. Vid mätning av effektivitet representeras den säkrade risken av ett så kallat hypotetiskt derivat (PEH), vilket ska matcha de kritiska villkoren i den säkrade posten. Det verkliga värdet avseende det hypotetiska derivatet (PEH) är noll vid ingången av säkringsrelationen. Vid effektivitetsmätning jämförs förändringen i verkligt värde avseende det hypotetiska derivatet (PEH) med derivatets förändring i verkligt värde.

## Kriterier vid effektivitetsmätning

För att kvalificera för säkringsredovisning ska kvoten mellan förändringen i verkligt värde avseende den säkrade risken i den säkrade posten, vilken representeras av det hypotetiska derivatet (PEH), och derivatet vara inom intervallet 80–125%. I de fall detta kontrolleras genom regressionsanalys ska följande kriterier vara uppfyllda för att bestämma ett effektivt säkringsförhållande:

- Linjens lutning ska vara inom intervallet  $0,8 < b < 1,25$  och
- R<sup>2</sup> ska vara  $> 0,96$ .

Säkringsinstrument i kassaflödessäkring	2023			2022		
	Upp till 1 år	1–5 år	Över 5 år	Upp till 1 år	1–5 år	Över 5 år
<b>Ränterisk:</b>						
Ränteswapper betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta						
Nominellt belopp	13 568	17 253	8 645	32 599	27 759	11 499
Gemensnittlig fast ränta %	0,98	0,64	0,57	0,49	0,47	0,76
Ränteswapper betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	53 260	53 968	1 113	78 405	84 438	13 458
Gemensnittlig fast ränta %	1,89	1,73	1,54	1,53	1,52	2,12
<b>Valutarisk:</b>						
Valutarelaterade derivat EUR/SEK						
Nominellt belopp	16 075	42 777	12 048	12 801	40 323	12 052
Gemensnittlig valutakurs EUR/SEK	0,0971	0,0926	0,0928	0,1054	0,0964	0,0928
Valutarelaterade derivat EUR/NOK						
Nominellt belopp	5 146	57 144	29 127	21 271	33 098	45 105
Gemensnittlig valutakurs EUR/NOK	0,1049	0,0962	0,0834	0,1045	0,1021	0,0975
Valutarelaterade derivat GBP/SEK						
Nominellt belopp				7 569		
Gemensnittlig valutakurs GBP/SEK				0,0907		
Valutarelaterade derivat USD/GBP						
Nominellt belopp		989		7 560		1 000
Gemensnittlig valutakurs USD/GBP		1,3157		1,2930		1,3157
Valutarelaterade derivat USD/NOK						
Nominellt belopp	2 066	40 077		14 163	26 897	
Gemensnittlig valutakurs USD/NOK	0,0509	0,0958		0,1083	0,1114	
Valutarelaterade derivat USD/SEK						
Nominellt belopp	75 356	14 514	4 775	60 393	8 421	4 872
Gemensnittlig valutakurs USD/SEK	0,0890	0,0782	0,1105	0,1000	0,1068	0,1105
Valutarelaterade derivat AUD/USD						
Nominellt belopp				6 602		
Gemensnittlig valutakurs AUD/USD				1,3770		
Valutarelaterade derivat AUD/EUR						
Nominellt belopp		13 016				
Gemensnittlig valutakurs AUD/EUR		1,5415				
Valutarelaterade derivat övriga valutor						
Nominellt belopp	384	8 096			12 524	
<b>Summa</b>	<b>168 865</b>	<b>247 234</b>	<b>66 708</b>	<b>241 553</b>	<b>233 460</b>	<b>87 986</b>

## NOTER | KONCERNEN

## K23 Forts

## Ineffektivitet

Ineffektiviteten beräknas genom att jämföra förändringen i verkligt värde avseende den säkrade risken i den säkrade posten, vilken representeras av det hypotetiska derivatet (PEH), med derivatets förändring i verkligt värde.

Ineffektivitet föreligger om derivatets förändring i verkligt värde överstiger värdeförändringen för det hypotetiska derivatet (PEH) i absoluta belopp.

De huvudsakliga förklaringarna till ineffektivitet i dessa säkringsrelationer är skillnader i marknadsräntor och valutakurser mellan tid-

punkten för ingången av säkringsrelationen och affärstidpunkten för derivatet. Ineffektiviteten förklaras också av förändringar i verkligt värde hänförligt till vissa räntekomponenter i derivatet som inte ingår i den säkrade risken.

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i kassaflödesräkning 2023	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Värdeförändring avseende säkringsinstrumenten som redovisas i övrigt totalresultat	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen	Omklassificerat från säkringsreserven till resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder				
<b>Ränterisk</b>							
Ränteswapper betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	39 466	2 600	1	-1 928	-2 014	86	
Ränteswapper betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	107 741	429	2 227	3 499	3 499		226
<b>Valutarisik</b> <sup>1</sup>							
Valutarelaterade derivat EUR/SEK	70 900	3 011	310	-158	-157	-1	
Valutarelaterade derivat EUR/NOK	91 417	8 286	608	-370	-372	2	
Valutarelaterade derivat GBP/SEK				2	2		
Valutarelaterade derivat USD/GBP	289	30		7	7		
Valutarelaterade derivat USD/NOK	42 143	3 133	1 048	-22	-19	-3	
Valutarelaterade derivat USD/SEK	94 645	1 322	3 951	-103	-103	0	
Valutarelaterade derivat AUD/USD				7	7		-1
Valutarelaterade derivat övriga valutor	21 406	599	732	15	16	-1	27
<b>Summa</b>	<b>468 797</b>	<b>19 410</b>	<b>8 877</b>	<b>949</b>	<b>866</b>	<b>83</b>	<b>292</b>

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i kassaflödesräkning 2022	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Värdeförändring avseende säkringsinstrumenten som redovisas i övrigt totalresultat	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen	Omklassificerat från säkringsreserven till resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder				
<b>Ränterisk</b>							
Ränteswapper betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	71 857	4 428	11	4 921	4 975	-54	
Ränteswapper betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	176 300	71	4 854	-8 646	-8 643	-3	154
<b>Valutarisik</b> <sup>1</sup>							
Valutarelaterade derivat EUR/SEK	65 266	5 161		307	307		
Valutarelaterade derivat EUR/DKK				-3	-3		
Valutarelaterade derivat EUR/GBP				20	20		
Valutarelaterade derivat EUR/NOK	99 475	5 744	246	347	347	0	
Valutarelaterade derivat GBP/SEK	7 669	1 027		18	18		
Valutarelaterade derivat USD/DKK				70	70	0	
Valutarelaterade derivat USD/GBP	8 560	633		19	19		
Valutarelaterade derivat USD/NOK	41 060	3 432		16	12	4	
Valutarelaterade derivat USD/SEK	73 686	4 728	281	366	364	2	
Valutarelaterade derivat AUD/USD	6 602		442	-56	-56		2
Valutarelaterade derivat övriga valutor	12 524	376	216	90	90	0	4
<b>Summa</b>	<b>562 099</b>	<b>26 600</b>	<b>6 099</b>	<b>-2 531</b>	<b>-2 480</b>	<b>-61</b>	<b>160</b>

<sup>1</sup> Vid analys utfördes ett säkringsredovisningsavstämning baserat på omvandlingen till moderbolagets funktionella valuta, svenska kronor, genom att nominella derivatvalben imputeras i säkringsrelationerna.

De imputerade derivatvalben är inte inkluderade i de nominella belopp i tabellerna ovan.

Redovisat värde avseende säkringsinstrument ingår i posten Derivatinstrument i balansräkningen.

Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Omklassificerat till resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner och avser kassaflödesräkning som är avvalutad i förtilid.

Säkrade poster i kassaflödesräkning	2023			2022		
	Förändring i värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Säkringsreserv	Belopp som kvarstår i säkringsreserven från säkringsförhållanden där säkringsredovisning inte längre tillämpas	Förändring i värde som avväntas för att beräkna ineffektivitet	Säkringsreserv	Belopp som kvarstår i säkringsreserven från säkringsförhållanden där säkringsredovisning inte längre tillämpas
<b>Ränterisk</b>						
Emittierade värdepapper till rörlig ränta	2 014	2 351		-4 975	4 370	
Utlåning till allmänheten till rörlig ränta	-3 499	-2 043	771	8 643	-5 323	1 000
<b>Valutarisik</b>						
Emittierade värdepapper EUR samt internlån GBP och NOK	529	-432		-671	-31	
Emittierade värdepapper USD samt internlån EUR, GBP och NOK	115	317	68	-464	465	89
Emittierade värdepapper samt internlån övriga valutor	-25	35		-53	142	3
<b>Summa</b>	<b>-866</b>	<b>228</b>	<b>837</b>	<b>2 480</b>	<b>-387</b>	<b>1 092</b>

## NOTER | KONCERNEN

## K23 Forts

## SÄKRING AV VERKLIGT VÄRDE

**Ränterisk i ut- och upplåning till fast ränta**  
Syftet med denna säkringsstrategi är att minska risken för förändringar i verkligt värde avseende ut- och upplåning till fast ränta, till följd av förändringar i marknadsräntor. Den säkrade risken definieras som referensräntan i respektive valuta, vilken utgör en observerbar komponent i räntan. De säkrade posterna utgörs av utlåning till allmänheten till fast ränta och emitterade värdepapper till fast ränta. Säkringsinstrumenten utgörs av ränteswappar, i vilka fast ränta betalas och rörlig ränta erhålls respektive ränteswappar i vilka fast ränta erhålls och rörlig ränta betalas.

## Effektivitetsmätning

Säkringarnas effektivitet mäts genom att jämföra förändringen i verkligt värde avseende den säkrade risken i ut- och upplåning med ränteswapparnas värdeförändring. Effektivitetsmätningen utförs såväl prospektivt som retrospektivt. Prospektivt genom att skifta ränte- och diskonteringskurvor och retrospektivt tillämpas regressionsanalys. Effektiviteten testas vid

Ingången av säkringsrelationen samt löpande kvartalsvis. De kriterier som ska vara uppfyllda för att kvalificera för säkringsredovisning är desamma som beskrivs ovan i avsnittet om kassaflödessäkring.

## Ineffektivitet

Ineffektivitet beräknas genom att jämföra förändringen i verkligt värde för ränteswappen med verkligt värde för den säkrade risken i ut- respektive upplåning från ingången av säkringen till periodens utgång.

Den huvudsakliga förklaringen till ineffektivitet i dessa säkringsrelationer är förändringar i verkligt värde med avseende på den rörliga räntan i ränteswappen, vilken ej motsvaras av användarförändring avseende den säkrade risken i ut- eller upplåningen.

## PORTFÖJSÄKRING AV VERKLIGT VÄRDE MED AVSEENDE PÅ RÄNTERISK

**Ränterisk i utlåningsportföljer till fast ränta**  
Säkringsstrategin syftar till att minska risken för förändringar i verkligt värde avseende utlåningsportföljer till fast ränta, till följd av förändringar i

marknadsräntor. Den säkrade risken definieras som förändringar i verkligt värde avseende en del av en utlåningsportfölj till fast ränta, med avseende på förändringar i en referensränta i respektive valuta. Den säkrade posten utgörs av ett belopp i valuta som är bestämt utifrån en utlåningsportfölj till fast ränta. Utlåningsportföljen delas in i ränteomsättningsperioder. Det säkrade beloppet fastställs baserat på den ränterisk som banken önskar säkra i de utvalda ränteomsättningsperioderna. Säkringsinstrumenten utgörs av ränteswappar, i vilka rörlig ränta erhålls och fast ränta betalas. Ett eller flera säkringsinstrument definieras i respektive ränteomsättningsperiod.

För en beskrivning av effektivitetsmätning och ineffektivitet hänvisas till avsnittet om Säkring av verkligt värde ovan.

Säkringsinstrument i säkring av verkligt värde	2023			2022		
	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år
<b>Ränterisk:</b>						
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominalt belopp	56 277	374 508	93 942	23 501	225 252	93 086
Gomsnittlig fast ränta %	2,00	2,53	2,47	1,34	1,82	1,37
Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominalt belopp		983			633	1 003
Gomsnittlig fast ränta %		3,60			3,26	3,60
<b>Summa</b>	<b>56 277</b>	<b>375 491</b>	<b>93 942</b>	<b>24 134</b>	<b>225 252</b>	<b>94 089</b>

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i säkring av verkligt värde 2023	Nominalt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som används för att beräkna ineffektivitet	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder		
<b>Ränterisk:</b>					
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	524 812	7 127	15 971	17 711	155
Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	983	25		54	7
<b>Summa</b>	<b>525 795</b>	<b>7 152</b>	<b>15 971</b>	<b>17 765</b>	<b>162</b>
<b>Portföljsäkring av verkligt värde</b>					
<b>Ränterisk:</b>					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	170 819	10 100	36	-7 064	-80
Ränteswappar (cap)	41	1		-5	0
<b>Summa</b>	<b>170 860</b>	<b>10 101</b>	<b>36</b>	<b>-7 069</b>	<b>-80</b>

## NOTER | KONCERNEN

## K23 Forts

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i säkring av verkligt värde 2022					
mkr	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder		
<b>Ränterisk</b>					
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	341 830	79	27 337	-26 463	-80
Valutaswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	1 636	77		-171	-4
<b>Summa</b>	<b>343 476</b>	<b>106</b>	<b>27 337</b>	<b>-26 634</b>	<b>-84</b>
<b>Portföljsäkring av verkligt värde</b>					
<b>Ränterisk</b>					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	234 195	16 809	12	14 762	55
Räntecoroner (cap)	364	7		9	
<b>Summa</b>	<b>234 659</b>	<b>16 816</b>	<b>12</b>	<b>14 771</b>	<b>66</b>

Redovisat värde avseende säkringsinstrument ingår i posten Derivatinstrument i balansräkningen.

Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

Säkrade poster i säkring av verkligt värde 2023					
mkr	Redovisat värde säkrad post		Ackumulerad justering till verkligt värde som ingår i det redovisade värdet för den säkrade posten		Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet
	Tillgångar	Skulder	Tillgångar	Skulder	
<b>Ränterisk</b>					
Emitterade värdepapper och efterställda skulder till fast ränta		508 810		-11 412	-17 603
<b>Summa</b>		<b>508 810</b>		<b>-11 412</b>	<b>-17 603</b>
<b>Portföljsäkring av verkligt värde<sup>1</sup></b>					
<b>Ränterisk</b>					
Utlåning till allmänheten till fast ränta	-9 657		-9 657		6 954
Ränteslask i utlåning till rörlig ränta	-1		-1		5
<b>Summa</b>	<b>-9 658</b>		<b>-9 658</b>		<b>6 959</b>

<sup>1</sup> Den underliggande utlåningsportföljens nominella volym uppgick per 2023-12-31 till 170 867 mkr (234 547).

Det finns inget upplupet belopp för justeringar av säkring av verkligt värde som kvarstår i balansräkningen för säkrade poster som inte längre justeras för förändringar i verkligt värdevarken i år eller föregående år.

Säkrade poster i säkring av verkligt värde 2022					
mkr	Redovisat värde säkrad post		Ackumulerad justering till verkligt värde som ingår i det redovisade värdet för den säkrade posten		Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet
	Tillgångar	Skulder	Tillgångar	Skulder	
<b>Ränterisk</b>					
Emitterade värdepapper och efterställda skulder till fast ränta		314 575		-29 127	26 550
<b>Summa</b>		<b>314 575</b>		<b>-29 127</b>	<b>26 650</b>
<b>Portföljsäkring av verkligt värde<sup>1</sup></b>					
<b>Ränterisk</b>					
Utlåning till allmänheten till fast ränta	-16 610		-16 610		-14 707
Ränteslask i utlåning till rörlig ränta	-6		-6		-9
<b>Summa</b>	<b>-16 616</b>		<b>-16 616</b>		<b>-14 716</b>

## NOTER | KONCERNEN

## K24 Kvittning av finansiella instrument

2023	Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper		Totalt
mkr	Derivat		
<b>Finansiella tillgångar som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal</b>			
Bruttobelopp	82 331	32 141	114 472
Kvittade belopp	-52 221	-4 628	-56 849
Redovisat värde i balansräkningen	30 110	27 513	57 623
<b>Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen</b>			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-7 781		-7 781
Mottagna finansiella säkerheter	-18 880	-27 513	-46 393
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-26 661	-27 513	-54 174
<b>Nettobelopp</b>	<b>3 449</b>		<b>3 449</b>
<b>Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal</b>			
Bruttobelopp	79 463	4 631	84 094
Kvittade belopp	-45 225	-4 628	-49 853
Redovisat värde i balansräkningen	34 238	3	34 241
<b>Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen</b>			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-7 781		-7 781
Ställda finansiella säkerheter	-17 305	-3	-17 308
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-25 086	-3	-25 089
<b>Nettobelopp</b>	<b>9 152</b>		<b>9 152</b>

2022	Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper		Totalt
mkr	Derivat		
<b>Finansiella tillgångar som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal</b>			
Bruttobelopp	117 373	21 903	139 276
Kvittade belopp	-51 112	-8 320	-59 432
Redovisat värde i balansräkningen	36 261	13 583	49 844
<b>Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen</b>			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-11 031		-11 031
Mottagna finansiella säkerheter	-21 972	-13 568	-35 540
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-33 003	-13 568	-46 571
<b>Nettobelopp</b>	<b>3 258</b>	<b>16</b>	<b>3 273</b>
<b>Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal</b>			
Bruttobelopp	111 598	8 325	119 923
Kvittade belopp	-82 558	-8 320	-90 878
Redovisat värde i balansräkningen	29 040	6	29 046
<b>Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen</b>			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-11 031		-11 031
Ställda finansiella säkerheter	-5 897	-5	-5 902
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-16 928	-5	-16 933
<b>Nettobelopp</b>	<b>12 112</b>		<b>12 112</b>

Derivatinstrument kvittas i balansräkningen när det återspeglar bankens förväntade kassaflöden vid regleringen av två eller flera avtal. Återköpsavtal och omvända återköpsavtal mot centrala clearingmotparter kvittas i balansräkningen när det återspeglar bankens förväntade kassaflöden vid regleringen av två eller flera avtal. Det inträffar när banken har både en avtalsmässigt rätt och avsett att reglera avtalade kassaflöden netto. I det kvittade beloppet för derivattillgångar ingår kvittade kontantsäkerheter om

11 268 mkr (11 346) vilka härrör från balansräkningsposten In- och upplåning från allmänheten. I det kvittade beloppet för derivataskulder ingår kvittade kontantsäkerheter om 4 272 mkr (12 791) vilka härrör från balansräkningsposten Utlåning till allmänheten.

Den kvarvarande motparterisken i derivat reduceras genom avtal om nettningsavtal vid betalningsinställelse, det vill säga nettningsavtal om positivt och negativt värden i alla derivattransaktioner med en och samma motpart i en konkurs situa-

tion. Banken har som policy att teckna nettningsavtal med alla bankmotparter. Nettningsavtalen kompletteras med avtal om ställande av säkerheter för nettoexponeringen. I huvudsak används kontanter som säkerhet, men även statspapper förekommer. Säkerheter för återköpsavtal samt In- och utlåning av värdepapper utgår i regel i form av kontanter eller andra värdepapper.

## K25 Immateriella tillgångar

2023 mkr	Goodwill	Varumärken och andra rättigheter	Kund- kontrakt	Internt utvecklad programvara	Övrigt	Totalt 2023
Anskaffningsvärde vid ingången av året	4 397	3	714	6 000	164	11 278
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar				958	3	961
Avyttringar och utgångar				-496		-496
Valutaeffekt	-41		4	-9		-46
Anskaffningsvärde vid utgången av året	4 366	3	718	6 463	168	11 667
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	0	0	-271	-2 507	-99	-2 877
Avyttringar och utgångar				496		496
Årets avskrivningar			-37	-681	-33	-751
Årets nedskrivningar				-1		-1
Valutaeffekt			-1	2		1
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	0	0	-309	-2 601	-131	-3 132
Redovisat värde	4 366	3	409	3 762	37	8 667

Under året har utvecklingskostnader uppgående till 3 238 mkr (2 723) kostnadsförts.

2022 mkr	Goodwill	Varumärken och andra rättigheter	Kund- kontrakt	Internt utvecklad programvara	Övrigt	Totalt 2022
Anskaffningsvärde vid ingången av året	4 375	196	671	5 605	164	11 011
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar				703		703
Avyttringar och utgångar	-18	-206		-325		-549
Valutaeffekt	40	13	43	17		113
Anskaffningsvärde vid utgången av året	4 397	3	714	6 000	164	11 278
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-18	-193	-223	-2 209	-66	-2 709
Avyttringar och utgångar	18	206		325		549
Årets avskrivningar			-34	-594	-33	-661
Årets nedskrivningar				-21		-21
Valutaeffekt		-13	-14	-8		-35
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	0	0	-271	-2 607	-99	-2 877
Redovisat värde	4 397	3	442	3 403	65	8 402

mkr	Goodwill		Immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod	
	2023	2022	2023	2022
Handelsbanken Sverige	3 331	3 331		
Handelsbanken Storbritannien	183	180		
Handelsbanken Norge	655	699		
Handelsbanken Nederländerna	177	177		
Handelsbanken Capital Markets	10	10	3	3
Summa	4 366	4 397	3	3

### Nedskrivningsprövning av goodwill och immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod

Goodwill och andra immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod redovisas till anskaffningsvärdet med avdrag för eventuella nedskrivningar. Nedskrivningsprövning sker årligen i samband med bokslutet eller när det finns en indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Nedskrivningsprövning görs genom en beräkning av tillgångens återvinningsvärde, det vill säga det högsta av nyttjandevärdet och det verkliga värdet med avdrag för försäljningskostnader. Så länge återvinningsvärdet överstiger redovisat värde är nedskrivning inte befogad. Nedskrivningar redovisas direkt i resultaträkningen.

Med hänsyn till att det inte är möjligt att särskilja de kassaflöden som härrör från goodwill från kassaflöden som härrör från andra tillgångar, sker nedskrivningsprövningen på nivån kassagenererande enhet. En kassagenererande

enhet är den minsta grupp tillgångar som ger upphov till inbetalningar som är beroende av inbetalningar från andra tillgångar eller tillgångsgrupper. Goodwill följs upp på rörelsesegment-nivå. Tidigare gjorda nedskrivningar av goodwill återförs inte.

Redovisad koncerngoodwill härrör till övervägande del från traditionell bankverksamhet på Handelsbankens hemmamarknader. Goodwill och immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod prövas för nedskrivning årligen i samband med årsbokslutet. Vid nedskrivningsprövningen beräknas nyttjandevärdet för de enheter till vilka goodwill fördelats ut genom diskontering av estimerade framtida kassaflöden samt slutvärde. I tabellen har goodwill fördelats ut på rörelsesegment.

Estimerade framtida kassaflöden bygger de första fem åren på prognoser för riskvägda volymer, intäkter, kostnader samt kreditförluster. Prognoserna baseras främst på en intern

bedömning av den framtida intäkt- och kostnadsutvecklingen, konjunkturläge, förväntad ränteutveckling samt förväntade effekter av kommande regelverk. Efter den första femårsperioden görs en prognos baserad på ett antagande om långsiktig tillväxttakt. Antagandet om kassaflödestillväxt baseras på historisk real BNP-utveckling samt Riksbankens långsiktiga inflationsmål. Årets nedskrivningsprövning bygger på ett antagande om en långsiktig tillväxttakt på 2% (2). Den totala prognosperioden är 20 år vilket motiveras av att banken har för avsikt att bedriva verksamhet på hemmamarknaderna långsiktigt. Som slutvärde används det prognostiserade substansvärdet för den prövade enheten. Estimerade kassaflöden har diskonterats med en ränta som baseras på riskfri ränta samt riskjustering motsvarande marknadens genomsnittliga avkastningskrav. Diskonteringsräntan uppgick vid årets nedskrivningsprövning till 8,2% (7,6) efter

## NOTER | KONCERNEN

## K25 Forts

skatt. Motsvarande ränta före skatt uppgick till 11,9% (10,5). Samma diskonteringsränta har använts för samtliga rörelsesegment.

Vid årets nedskrivningsprövning bedömdes skillnaden mellan återvinningvärde och bokfört värde på goodwill vara betryggande. Det beräknade nyttjandevärdet på goodwill är känsligt för ett antal olika variabler som har betydelse för förväntade kassaflöden samt diskonteringsräntan. De variabler som har störst betydelse för beräkningen är antaganden om ränte- och konjunkturutveckling, framtida marginaler och kostnadseffektivitet. Ingen rimlig möjlig föränd-

ring av viktiga antaganden skulle påverka det redovisade värdet på goodwill.

## Immateriella tillgångar med bestämbar nyttjandeperiod

Immateriella tillgångar för vilka det går att fastställa en bedömd nyttjandeperiod är föremål för avskrivning. Avskrivningen sker linjärt över nyttjandeperioden. För närvarande innebär det att kundrelationer skrivs av på 20 år och att internt utvecklad programvara vanligen skrivs av på fem år. I vissa infrastrukturprojekt bedöms nyttjandeperioden vara längre än fem år. För sådana

investeringar är avskrivningstiden upp till 15 år. Varumärken som är föremål för avskrivning skrivs av på fem år. Avskrivningstiden prövas individuellt, dels vid nyanskaffning, dels fort-löpande vid indikation på att nyttjandeperioden kan ha ändrats. Immateriella tillgångar med bestämbar nyttjandeperiod prövas för nedskrivning när det finns indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Nedskrivningsprövning görs enligt samma principer som för immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod, det vill säga genom en beräkning av tillgångens återvinningvärde.

## K26 Fastigheter och inventarier

Fastigheter och inventarier mil	2023	2022
Fastigheter	3 960	4 154
Inventarier	815	760
Egendom överlragen för skyddande av fordran	2	
Summa	4 777	4 914

Fastigheter mil	2023	2022
Anskaffningsvärde vid ingången av året	1 753	1 775
Ny- och ombyggnation	91	145
Avyttringar och utrangeringar		-203
Valutaeffekt	0	36
Anskaffningsvärde vid utgången av året	1 844	1 783
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-551	-518
Årets avskrivningar enligt plan	-37	-32
Avyttringar och utrangeringar		2
Valutaeffekt	0	-3
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-588	-561
Redovisat värde	1 256	1 202
Redovisat värde nyttjanderätter	2 704	2 962
Summa redovisat värde	3 960	4 164

Inventarier mil	2023	2022
Anskaffningsvärde vid ingången av året	1 996	1 954
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	425	366
Avyttringar och utrangeringar	-326	-401
Valutaeffekt	3	77
Anskaffningsvärde vid utgången av året	2 098	1 996
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-1 300	-1 287
Årets avskrivningar enligt plan	-324	-311
Avyttringar och utrangeringar	315	355
Valutaeffekt	-4	-57
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-1 313	-1 300
Redovisat värde	785	696
Redovisat värde nyttjanderätter	30	64
Summa redovisat värde	815	760

Koncernens materiella anläggningstillgångar består av fastigheter (förälsattigheter) och inventarier samt nyttjanderätter. Dessavärderas till anskaffningsvärde med avdrag för ackumulerade av- och nedskrivningar. Avskrivningarna sker utifrån tillgångarnas bedömda nyttjandeperioder och en linjär avskrivningsplan tillämpas. De bedömda nyttjandeperioderna prövas årligen. Någon väsentlig förändring av nyttjandeperioderna har inte skett under 2023. Inventariernas nyttjandeperiod bedöms vara mellan 2–10 år. För fastigheter tillämpas separata avskrivningsplaner för olika delkomponenter. För större bostads- nyttjandeperioder bedöms vara 100 år och resterande delkomponenter bedöms ha nyttjandeperioder mellan 10 och 35 år. Nyttjandeperioden för nyttjanderätterna som främst består av hyrda lokaler bedöms vara densamma som leasingavtals löptid. Information om kortsiktiga leasingavtal redovisas i not K45 Leasing. Nedskrivningsprövning av materiella anläggningstillgångar sker när det finns indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Någon indikation på nedskrivningsbehov per balansdagen finns inte för materiella anläggningstillgångar.



## NOTER | KONCERNEN

## K27 Övriga tillgångar

mkd	2023	2022
Fondlikvidfordringar	5 610	10 825
Ansvarförsäkringsfölgångar	27	19
Övrigt	4 640	3 877
Summa	10 278	14 721

## K28 Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter

mkd	2023	2022
Upplupna intäkter	1 218	1 187
Förutbetalda kostnader	1 114	792
Summa	2 331	1 979

## K29 Skulder till kreditinstitut

mkd	2023	2022
Skulder i svenska kronor		
Banker	7 222	9 080
Övriga kreditinstitut	8 444	8 681
Summa	15 666	17 761
Skulder i utländsk valuta		
Banker	73 389	63 777
Övriga kreditinstitut	1 088	155
Summa	74 477	63 932
Summa skulder till kreditinstitut	90 143	81 693
varav repor	0	

Medskrymmer		
mkd	2023	2022
Skulder till kreditinstitut i svenska kronor	22 050	24 643
Skulder till kreditinstitut i utländsk valuta	143 309	145 739
Summa	165 359	170 382
varav repor	177	125

## NOTER | KONCERNEN

## K30 In- och upplåning från allmänheten

Inlåning från allmänheten mkr	2023	2022
Inlåning i svenska kronor		
Hushåll	361 462	430 128
Företag	275 307	336 594
Riksgälden	1	1
Summa	636 769	766 723
Inlåning i utländsk valuta		
Hushåll	100 321	117 317
Företag	279 549	294 915
Summa	379 871	412 232
Summa inlåning från allmänheten	1 016 640	1 178 955
Upplåning från allmänheten mkr	2023	2022
Upplåning i svenska kronor	176 875	81 292
Upplåning i utländsk valuta	104 966	58 679
Summa upplåning från allmänheten	281 841	139 970
Summa in- och upplåning från allmänheten	1 298 480	1 318 925
varav repor	2	5
varav inom försäkringsrörelsen	115	117
Medelvolymer mkr	2023	2022
Inlåning från allmänheten		
Inlåning från allmänheten i svenska kronor	676 110	804 420
Inlåning från allmänheten i utländsk valuta	411 677	446 694
Summa	1 087 787	1 251 114
Upplåning från allmänheten		
Upplåning i svenska kronor	175 907	70 508
Upplåning i svenska kronor, försäkringsrörelsen	116	118
Upplåning i utländsk valuta	222 857	210 655
Summa	398 880	281 281
varav repor	8 278	16 371

## K31 Skulder där kunden står värdeförändringsrisken

mkr	2023	2022
Fondförsäkringskulder	192 952	167 240
Depåförsäkringskulder	51 989	45 123
Övriga fondkulder	159	603
Summa	245 100	212 966

NOTER | KONCERNEN

## K32 Emitterade värdepapper

mkr	2023		2022	
	Redovisat värde	Nominalt belopp	Redovisat värde	Nominalt belopp
<b>Certifikat</b>				
Certifikat i svenska kronor	1 099	1 055	908	861
varav verkligt värde obligationsakt	1 099	1 055	908	861
Certifikat i utländsk valuta	606 147	418 067	623 429	624 435
varav upplupet enskattingsvärde	605 740	417 676	622 702	623 745
varav ingått i säkring av verkligt värde	15 500	15 745	6 507	6 681
varav verkligt värde obligationsakt	407	391	727	690
<b>Summa</b>	<b>607 246</b>	<b>419 122</b>	<b>624 336</b>	<b>625 296</b>
<b>Obligationsskuld</b>				
Obligationsskuld i svenska kronor	568 496	572 069	510 343	518 021
varav upplupet enskattingsvärde	568 496	572 069	510 343	518 021
varav ingått i säkring av verkligt värde	216 156	218 968	95 126	102 300
Obligationsskuld i utländsk valuta	347 739	353 432	340 122	353 420
varav upplupet enskattingsvärde	347 739	353 432	340 122	353 420
varav ingått i säkring av verkligt värde	243 202	253 894	190 268	210 421
<b>Summa</b>	<b>916 235</b>	<b>925 501</b>	<b>850 465</b>	<b>871 441</b>
<b>Summa emitterade värdepapper</b>	<b>1 523 481</b>	<b>1 344 623</b>	<b>1 474 801</b>	<b>1 496 737</b>

mkr	2023	2022
Emitterade värdepapper vid årets ingång	1 474 801	1 353 768
Emitterade	1 251 086	1 064 019
Återköpta	-72 561	-57 759
Förändring	-1 124 075	-926 079
Valutaeffekter m.m.	-5 771	40 852
Emitterade värdepapper vid årets utgång	<b>1 523 481</b>	<b>1 474 801</b>

Modulolymer	2023	2022
mkr		
Emitterade värdepapper i svenska kronor	528 045	514 455
Emitterade värdepapper i utländsk valuta	1 013 598	960 189
<b>Summa</b>	<b>1 541 643</b>	<b>1 484 645</b>

## K33 Korta positioner

mkr	2023	2022
Korta positioner värderade till verkligt värde		
Aktier	520	362
Räntebärande värdepapper	1 844	1 577
<b>Summa</b>	<b>2 364</b>	<b>1 939</b>

Modulolymer	2023	2022
mkr		
Korta positioner i svenska kronor	15 301	16 865
Korta positioner i utländsk valuta	209	142
<b>Summa</b>	<b>15 510</b>	<b>17 007</b>

## NOTER | KONCERNEN

## K34 Försäkringsskulder

Försäkringsskulder 2023	Skuld för återstående försäkrings-skydd (GMM)	Skuld för inträffade skador (GMM)	Skuld för återstående försäkrings-skydd (PAA)	Skuld för inträffade skador – Nuvärde av framtida kassa-flöde (PAA)	Skuld för inträffade skador Riskjustering (PAA)	Totalt
<i>mil</i>						
Ingående balans	8 260	0	9	250	8	8 546
Försäkringsintäkter – verkligt värde metod	-588					-588
varav förväntade kostnader för försäkringstjänster	-530					-530
varav avskrivning av aktuariell marginal	-30					-30
varav avskrivning av riskjustering	-20					-20
Försäkringsintäkter – full retroaktiv metod	1		-581			-580
Kostnader för försäkringstjänster		528		418	1	947
Resultat från försäkringstjänster	-688	628	-581	418	1	-221
Finansiella intäkter och kostnader via resultaträkningen	37			6	0	43
Finansiella intäkter och kostnader via övrigt totalresultat	306					306
Kassaflöden – inbetalda premier	15		580			595
Kassaflöden – utbetalningar		-528		-423		-951
Valutaeffekt				-1		-1
Utgående balans	8 129	0	8	250	9	8 407

Försäkringsskulder 2022	Skuld för återstående försäkrings-skydd (GMM)	Skuld för inträffade skador (GMM)	Skuld för återstående försäkrings-skydd (PAA)	Skuld för inträffade skador – Nuvärde av framtida kassa-flöde (PAA)	Skuld för inträffade skador Riskjustering (PAA)	Totalt
<i>mil</i>						
Ingående balans	9 657	0	10	311	11	9 989
Försäkringsintäkter – verkligt värde metod	-612					-612
varav förväntade kostnader för försäkringstjänster	-545					-545
varav avskrivning av aktuariell marginal	-40					-40
varav avskrivning av riskjustering	-26					-26
Försäkringsintäkter – full retroaktiv metod			-506			-506
Kostnader för försäkringstjänster		545		372	-1	916
Resultat från försäkringstjänster	-612	645	-506	372	-1	-202
Finansiella intäkter och kostnader via resultaträkningen	-1			-17	-1	-20
Finansiella intäkter och kostnader via övrigt totalresultat	-793					-793
Kassaflöden – inbetalda premier	17		505			612
Kassaflöden – utbetalningar		-545		-408		-953
Valutaeffekt				1		1
Utgående balans	8 260	0	9	250	8	8 546

Försäkringsskulder GMM – per komponent 2023	Nuvärde av framtida kassaflöde	Riskjustering	Aktuariell marginal	Totalt
<i>mil</i>				
Ingående balans	7 192	385	603	8 260
Förändringar relaterade till framtida tjänster	43	-27	-16	0
Förändringar relaterade till tjänster i nuvarande period	-1	-20	-39	-60
Förändringar relaterade till tidigare tjänster				
Resultat från försäkringstjänster	42	-47	-55	-60
Finansiella intäkter och kostnader via resultaträkningen och övrigt totalresultat	417	13	3	433
Kassaflöden	-513			-513
Utgående balans	7 192	351	641	8 129

Försäkringsskulder GMM – per komponent 2022	Nuvärde av framtida kassaflöde	Riskjustering	Aktuariell marginal	Totalt
<i>mil</i>				
Ingående balans	8 623	423	612	9 657
Förändringar relaterade till framtida tjänster	-116	-6	121	0
Förändringar relaterade till tjänster i nuvarande period	0	-26	-40	-67
Förändringar relaterade till tidigare tjänster				
Resultat från försäkringstjänster	-116	-32	81	-67
Finansiella intäkter och kostnader via resultaträkningen och övrigt totalresultat	-757	-7	0	-794
Kassaflöden	-528			-528
Utgående balans	7 192	351	641	8 260

## NOTER | KONCERNEN

## K34 Forts

Avkastningskurvor som används för diskontering		Inlåst avkastningskurva, %		Aktuell avkastningskurva, %	
Löptid		2023	2022	2023	2022
1 år		0,75	0,42	3,02	3,47
2 år		0,82	0,58	2,78	3,41
5 år		0,88	0,70	2,25	3,16
10 år		1,37	1,13	2,24	3,00
20 år		2,43	2,27	2,76	3,17

Dödlighetstabell		Återstående livslängd i år, från 65 års ålder	
Kohort		Kvinnor	Man
1940		23,9	22,2
1950		24,6	21,8
1960		25,3	23,3
1970		25,8	24,0
1980		26,2	24,4

Avtalsenlig marginal		Andel av avtalsenlig marginal som förväntas återstå, %	
Tidpunkt		2023	2022
2022			100
2023		100	94
2025		98	83
2030		63	59
2040		27	26
2050		9	9

Bankens försäkringsrörelse bedrivs av Handelsbanken Liv. Balansposten försäkringsskulder består av försäkringsavtal som överför betydande försäkringsrisk från försäkringstagarna till Handelsbanken Liv och utgörs av traditionella livförsäkringsavtal samt riskförsäkringar i form av främst sjukförsäkring, premiebefrielseförsäkring och dödsfallförsäkring tecknade av mindre företag och privatpersoner i Sverige. Några riskkoncentrationer utöver att de flesta försäkringar är tecknade i Sverige har inte identifierats. Försäkringsverksamheten i Danmark avyttrades under 2022 och försäkringsverksamheten i Norge avyttrades 2023. Under 2023 undertecknades avtal om att sälja försäkringsverksamheten i Finland. Försäkringsskulder hänförliga till Finland ingår inte ovan utan har i balansräkningen omklassificerats till Skulder som innehåller försäkring, se not K14.

Försäkringsskulden utgörs av summan av skulden för återstående försäkringsskydd och skulden för inträffade skador. För riskförsäkringar och riskförsäkringsmoment som redovisas enligt Premiefördelningsmetoden (PAA) värderas skulden för återstående försäkringsskydd till erhållna, men ännu ej intjänade premier. För traditionella livförsäkringsavtals sparförsäkringsmoment som redovisas enligt den generella modellen (GMM) innehåller skulden för återstående försäkringsskydd kassaflöden för åtaganden som avser framtida tjänster samt den del av den avtalsenliga marginalen som ännu inte intäktförts. Skulden

för inträffade skador innehåller kassaflöden för åtaganden som avser tidigare tjänster. Kassaflöden för åtaganden utgörs av det förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden samt en riskjustering. Det övergripande syftet med nedanstående avsnitt är att beskriva skuldens beståndsdelar; det förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden, riskjustering och avtalsenlig marginal. För mer information om klassificering och värdering av försäkringsavtal, se not K1 avsnitt 9.

#### Förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden

Det förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden hänförliga till ingångna försäkringsavtal beräknas med hänsyn tagen till olika utfalls sannolikhet och diskontering. Framtida kassaflöden innefattar premier, skadeersättningar samt skadeanspråk- och administrationskostnader hänförliga till fullföljande av försäkringsavtal. Beräkningen görs genom att kassaflöden projiceras med hjälp av relevanta antaganden och information om respektive försäkringsavtal.

#### Antaganden vid beräkning av det förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden

Vid beräkning av det förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden används antaganden vilket medför att beräkningen är förknippad med osäkerhet. För skulden för återstående försäkringsskydd och för skulden för inträffade skador tillämpas samma antaganden där det är rele-

vant. Tillämpade antaganden är baserade på intern historik, branschstatistik och marknadsläget. Handelsbanken Liv analyserar löpande hur känslig försäkringsskulden är för förändring i olika antaganden och hur den faktiska utvecklingen skiljer sig från den antagna. Framtagandet av antaganden följer en beslutad process där Handelsbanken Livs aktuarieavdelning (första försvarslinjen) ansvarar för att köpande eller vid behov se över och ta fram förslag på ändring av antaganden. Aktuariefunktionen (andra försvarslinjen) granskar och yttrar sig om förslaget. Beslut om ändring av antaganden fattas därefter av Handelsbanken Livs vd. Beslut om ändrade antaganden rapporteras till bankens värderingskommitté. De två mest väsentliga antagandena är framtida dödlighet och den avkastningskurva som används för att diskontera framtida kassaflöden. Ytterligare väsentliga antaganden är bland annat antaganden om framtida administrationskostnader och antaganden om annulation som till exempel flytt och återköp.

#### Antagande om dödlighet

Antaganden om framtida dödlighet är baserade på branschstatistik och intern historik. Antagandet anges som ettåriga dödsfalls sannolikheter per ålder och årskohort och är därmed för omfattande för att kunna presenteras i en tabell. I tabellvisas istället dödlighetsantagandet i form av förväntad återstående livslängd från 65 års ålder.

## NOTER | KONCERNEN

## K34 Forts

## Antagande om avkastningskurva

Den aktuella avkastningskurvan som används för att diskontera framtida kassaflöden är baserad på observerbara marknadspriser för ränteswapper upp till tio år justerade för kreditrisk. Avkastningskurvan för löptider längre än tio år fastställs genom konvergens med den så kallade Smith-Willsonmetodiken mot en långsiktig terminränta. Aktuell långsiktig terminränta uppskattats till 3,45% (3,45). Konvergenstiden har uppskattats till tio år (10). De finansiella marknadsscenarierna är marknadskonsistenta, baseras på antagande om arbitragefrihet och är förenliga med de relevanta riskfria räntesatser som används för diskontering. Den aktuella avkastningskurvan och den inlästa avkastningskurvan (dvs den avkastningskurva som fastställdes vid övergångstillfället) som har använts vid diskontering av försäkringsskuden listas i tabell.

## Riskjustering

Riskjustering motsvarar den kompensation banken kräver för att ta på sig osäkerheten i framtida kassaflöden till följd av ingångna försäkringsavtal avseende icke-finansiell risk. För att

säkerställa god solvens i Handelsbanken Liv har denna kompensation fastställts som den riskmarginal som Handelsbanken Liv förskrivs att hålla i enlighet med Solvens 2-regelverket. Riskjusteringen beräknas således med en kapitalkostnadsmetod där framtida kapitalkostnader projiceras med en kapitalkostnadsränta på 6% (6) och sedan diskonteras kapitalkostnaderna till ett nuvärde. Riskjusteringen uppgick 2023 till 361 mkr (393). Utifrån ett antagande om att det förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden följer en normalfördelning motsvarar detta en konfidenznivå på ett års slkt motsvarande cirka 99,90% (99,95), värderad med aktuell avkastningskurva. I resultaträkningen redovisas riskjusteringen uppdelat på resultat från försäkringstjänster respektive finansiella intäkter och kostnader.

## Avtalsenlig marginal

Med avtalsenlig marginal avses den ej intjänade vinst som banken kommer att redovisa när försäkringsskydd tillhandahålls i framtiden. Vid övergången till IFRS 17 uppstod en avtalsenlig marginal för sparförsäkringsmoment i traditionella livförsäkringsavtal vilken utgjordes av skill-

naden mellan det verkliga värdet och summan av det förväntade nuvärdet av framtida kassaflöden och riskjusteringen. Traditionella livförsäkringsavtal mynvecknas inte och därmed uppstår inte någon ytterligare avtalsenlig marginal till följd av nya avtal efter övergången till IFRS 17. Handelsbanken har bedömt att både de avkastningsrelaterade tjänsterna och tjänsterna kopplade till tillhandahållande av försäkringsskydd utförs linjärt över tid. Försäkringsskyddsanheter har därför valts på ett sådant sätt att upplösningen av den avtalsenliga marginalen ska efterlikna en linjär upplösning. I tabell visas förväntad upplösningstakt av den avtalsenliga marginalen.

## Väsentliga förändringar och händelser

## under året

Förändringar i den aktuella avkastningskurvan under året har medfört att den totala försäkringsskuden har ökat med 312 mkr. Utöver det har den årliga översynen av antaganden medfört förändrade antaganden för administrationskostnader, flytt och återköpvilket medfört en immateriell effekt på värdet av försäkringsskuden.

Känslighetsanalys 2023 mkr		Påverkan på försäkringsskuden		Påverkan på övrigt totalresultat		Total påverkan på egent kapital		Påverkan på försäkringsskuden		Påverkan på tillgångar som innehas för försäkrings- tagarnas räkning	
Riskvariabler	Scenario	Ökat antagande	Minskat antagande	Ökat antagande	Minskat antagande	Ökat antagande	Minskat antagande	Ökat antagande	Minskat antagande	Ökat antagande	Minskat antagande
Dödlighetsrisk <sup>1</sup>	+/- 10% förändring i förväntad dödlighet	7	-8	-1	-1	6	-9	-6	9		
Avvecklingsrisk	+/- 10% förändring i avvecklingstakt	10	-12			10	-12	-10	12		
Annulationsrisk	+/- 1 procentenhets förändring i annulationsakt	3	-3	-5	6	-3	2	3	-2		
Administrations- kostnadsrisk	+/- 10% förändring i kostnad för administration	-2	2	1	-1	-1	1	1	-1		
Generell ränterisk	+/- 1 procentenhets parallellskift av relevanta räntor	-103	101	521	-687	419	-585	-530	697	-112	112
Specifik ränterisk (spreadrisk)	+/- 1% förändring av värdet på innehav med spreadrisk	35	-35	-3	3	32	-32	3	-3	35	-35
Aktiekursrisk	+/- 10% förändring av värdet på aktier	82	-83	-2	2	81	-81	3	-3	84	-84
Valutakursrisk	+/- 10% förändring av andra valutor mot SEK	48	-48	-2	2	46	-46	3	-3	49	-49

<sup>1</sup> I känslighetsanalysen ovan ingår hela försäkringsskuden förutom skuden för återstående försäkringsskydd för försäkringsavtal värderad med PAA metoden eftersom denna är värderad till erhållna, men ännu ej intjänade premier. En förändrad riskvariabel skulle därmed inte få någon omedelbar påverkan på denna skud annåt än att premien framåt hade höjts istället för att den bedömts vara ofrånkomlig.

Riskena och känsligheten i beståndet med traditionell livförsäkring och riskförsäkring har kvantifierats i ovanstående tabell som den effektmåligt möjliga förändringar av väsentliga riskvariabler skulle få på försäkringsskuden, övrigt totalresultat, eget kapital, försäkringsskuden och tillgångar som innehas för försäkringstagarnas räkning. Känslighetsanalysen har baserats på att en riskvariabel förändras och övriga riskvariabler är konstanta. I praktiken är det osannolikt att endast en riskvariabel förändras eftersom förändringar i vissa riskvariabler kan vara korrelerade. Vid beräkningen av känsligheten för förändringar i väsentliga riskvariabler, har samma metod använts som för den redovisade försäkringsskuden. Känslighetsanalysen har upprepat med samma metod både åren.

## NOTER | KONCERNEN

## K34 Forts

Känslighetsanalys 2022		Påverkan på försäkringsresultat		Påverkan på övrigt totalresultat		Total påverkan på eget kapital		Påverkan på försäkringssekulden		Påverkan på tillgångar som innehåes för försäkringsstagarnas räkning	
mkr		Ökat antagande	Minskat antagande	Ökat antagande	Minskat antagande	Ökat antagande	Minskat antagande	Ökat antagande	Minskat antagande	Ökat antagande	Minskat antagande
Riskvariabler	Scenario										
Dödlighetsrisk <sup>1</sup>	+/-10% förändring i förväntad dödlighet	7	-8	-7	4	0	-4	0	4		
Avvecklingsrisk	+/-10% förändring i avvecklingskostnad	9	-10			9	-10	-9	10		
Annulationsrisk	+/-1 procentenhets förändring i annulationskostnad	3	-4	-18	19	-15	15	15	-15		
Administrationskostnadsrisk	+/-10% förändring i kostnad för administration	-2	2	4	-4	2	-2	-2	2		
Generell ränterisk	+/-1 procentenhets parallellskift av relevanta räntor	-119	118	-491	-702	372	-584	-499	711	-127	127
Specifik ränterisk (spreadrisk)	+/-1% förändring av värdet på innehav med spreadrisk	41	-41	-6	4	35	-37	6	-4	41	-41
Aktiekursrisk	+/-10% förändring av värde på aktier	24	-24	-1	1	23	-23	2	-1	25	-25
Valutakursrisk	+/-10% förändring av andra valutor mot SEK	31	-31	-3	2	28	-29	3	-3	31	-31

## Tillgångar i traditionell livförsäkring som innehåes för försäkringsstagarnas räkning

mkr	2023	2022
Aktiefonder <sup>1</sup>	532	137
Räntefonder <sup>1</sup>	5 326	5 378
Private Equity <sup>1</sup>	18	21
Likvida medel	36	192
Summa	6 912	6 728

<sup>1</sup> Redovisas som Aktier och andelar, se not K19.

Duration	Räntefonder		Traditionell livförsäkring Nuvärde av framtida kassaflöden	
	2023	2022	2023	2022
mkr				
0-1 år	2 754	2 403	555	525
1-5 år	2 171	2 502	1 929	1 878
5-10 år	281	383	1 805	1 763
>10 år	120	90	2 840	3 025
Summa	6 326	6 378	7 129	7 192

## NOTER | KONCERNEN

## K34 Forts

**Risker i försäkringsavtal**

Genom försäkringsavtal är banken främst exponerad för marknadsrisk, kreditrisk, likviditetsrisk och försäkringsrisk. De mest väsentliga riskerna beskrivs nedan.

**Marknadsrisk**

Marknadsrisk avser den samlade risken att förändringar i riskfaktorer inom finansiella marknader, till exempel förändringar i räntor, aktiekurser och valutakurser, resulterar i värdeförändringar på placeringstillgångar och/eller åtaganden.

**Ränterisk**

Generell ränterisk uppstår i traditionell livförsäkring till följd av skillnad i duration mellan placeringstillgångarna och försäkringsskuden. Durationen på skuden är lång, varför räntekänsligheten vid en förändring av diskonteringsräntan är betydande. Durationen på placeringstillgångarna är kort, varför räntekänsligheten vid en förändring av marknadsräntan är begränsad. Handelsbanken Liv har valt kort duration på placeringstillgångarna till följd av traditionell livförsäkrings utformning.

Specifik ränterisk (spreadrisk) uppstår inom traditionell livförvaltning i innehav i räntefonder vid förändring av kreditspreadar, det vill säga skillnaden mellan det aktuella innehavets ränta och räntan på en statsobligation med motsvarande löptid.

Placeringsstillgångarna redovisas och värderas till verkligt värde via resultatet, obligatoriskt se not K5 och not K6. För att undvika volatilitet i resultaträkningen för traditionell livförsäkring redovisas effekter av ändrad diskonteringsränta i Övrigt totalresultat, vilka består av skillnaden mellan skuden diskonterad med inlåst avkastningskurva och skuden diskonterad med aktuell avkastningskurva.

**Aktiekursrisk**

Aktiekursrisk uppstår inom traditionell livförvaltning till följd av placeringar i främst aktiefonder. Traditionella livförsäkringsavtal ger en möjlighet för försäkringstagaren att erhålla ytterligare förmån, utöver garanterad, om den faktiska avkastningen överstiger nivån på den garanterade. Detta medför att Handelsbanken främst är exponerad för nersidan av aktiekursrisken. Vid årsskiftet var exponeringen mot aktiekursrisk i beståndet med traditionell livförvaltning 550 mkr (158).

**Valutakursrisk**

Valutakursrisk uppstår inom traditionell livförvaltning främst till följd av placeringar i fonder med underliggande tillgångar i främst euro och amerikanska dollar. Exponeringen begränsas vid behov genom valutaderivat. Vid årsskiftet var nettoexponeringen i euro 301 mkr (52) och amerikanska dollar 173 mkr (52).

**Kreditrisk**

Kreditrisk uppstår inom traditionell livförvaltning i innehav i räntefonder. Risken är begränsad eftersom underliggande innehav i fonderna får ha som lägst kreditbetyg BBB- (Investment grade) eller motsvarande.

**Likviditetsrisk**

Likviditetsrisker uppstår främst till följd av att traditionell livförsäkring ger försäkringstagaren en möjlighet att flytta sitt försäkringskapital till en annan försäkringsgivare. Risken hanteras genom en daglig uppföljning av kommande utbetalningar samt begränsas genom att placeringsstillgångarna i stor utsträckning placeras i värdepappersfonder med mycket god likviditet.

**Försäkringsrisk**

Med försäkringsrisk avses risk, annan än finansiell risk, som överförs från den försäkrade till Handelsbanken Liv. De mest väsentliga försäkringsriskerna beskrivs nedan.

**Dödsfallrisk**

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av förändrad dödlighet. Dödsfallrisk uppstår främst i dödsfallsförsäkringar. Ökad dödlighet leder till att värdet av försäkringsåtagandena ökar.

**Livsfallrisk**

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av förändrad dödlighet. Livsfallrisk uppstår i traditionella livförsäkringsavtal där försäkringstagaren erhåller en garanterad förmån som kan vara livsvarig. Minskad dödlighet leder till att värdet av försäkringsåtagandena ökar.

**Avvecklingsrisk**

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av förändrad takt för tillfrisknande. Avvecklingsrisk uppstår främst i sjukförsäkringar. Minskad avveckling leder till att värdet av försäkringsåtagandena ökar.

**Annulationsrisk**

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av förändringar i flytt- och återköpsfrekvens. Annulationsrisk uppstår främst i traditionella livförsäkringsavtal, där hela beståndet har flytträtt.

**Administrationskostnadsrisk**

Risken för förlust eller negativ förändring av försäkringsåtagandena till följd av förändrade kostnader för administration av försäkringsavtal. Administrationskostnadsrisk uppstår främst i traditionella livförsäkringsavtal. Ökade administrationskostnader leder till att värdet av försäkringsåtagandena ökar.

**Hantering och begränsning av risker**

Handelsbanken Liv har låg risktolerans och följer bankens principer för hantering av risk. Riskerna hanteras primärt genom att Handelsbanken Liv håller tillräckligt med kapital för att kunna fullfölja åtagandena mot försäkringstagarna även under oförutsedda negativa händelser. För ytterligare information se not K2 avsnitt Risker i försäkringsrörelsen.

Handelsbanken Livs placeringspolicy begränsar exponeringen mot finansiella risker och ger övergripande anvisningar om tillgångarnas förvaltning givet åtagandena till försäkringstagarna och lagstadgade krav. Vidare ger den anvisningar om hur styrning och kontroll av placeringarna ska utföras samt hur den totala risknivån i tillgångarna ska hanteras. Tillgångarna ska placeras på ett aktsamt sätt så att risker kan identifieras, mätas, analyseras och rapporteras.

Handelsbanken begränsar sin exponering mot försäkringsrisker på flera sätt. Medicinsk riskbedömning utifrån den försäkrades hälsotillstånd görs i vissa fall innan dödsfalls- och sjukförsäkringar beviljas. Premiesättningen grundar sig på antaganden om hur stora kostnaderna för inträffade försäkringshändelser förväntas bli, med tillbörliga försiktighetsmarginaler, och ses över löpande för att säkerställa dess tillräcklighet för att täcka förväntade kostnader. För att undvika volatilitet i resultaträkningen återförsäkras de största dödsfallsförsäkringarna och sjukförsäkringarna enligt fastställda limit för självbehåll, se not K27 för återförsäkringstillgångar och not K37 för återförsäkringsskulder.



NOTER | KONCERNEN

## K35 Skatter

Redovisade skattekostnader i resultaträkningen mkr	2023	2022
Aktuell skatt	-8 452	-5 754
Uppskjuten skatt	118	-50
Skatt hänförlig till tidigare år	-83	375
Summa skattekostnader kvarvarande verksamhet	-8 417	-6 429
Summa skattekostnader avvecklad verksamhet	-185	-1 173

Skillnad mellan koncernens skattekostnad och skattekostnad enligt svensk gällande skattesats mkr	2023	2022
Resultat före skatt	36 322	26 619
Skatt på resultat före skatt med svensk skattesats	-7 482	-5 484
Bekörd skatt i koncernen	-8 417	-5 429
Skillnad	-935	86
Skillnaden förklaras av skatteeffekt av seende följande poster:		
Ej skattepliktiga intäkter/ej avdragsgilla kostnader	-16	-89
Ej avdragsgill kostnad på efterställda skulder	-583	-282
Annan skattessats i försäkringsbransken	297	118
Ej skattepliktiga resvinster och utdelningar	9	230
Annan skattessats i utlandet	-565	-282
Skatt tidigare år	-83	375
Övrigt	6	-15
Summa	-935	86

Uppskjutna skattefordringar 2023	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Valkurs-effekt	Kvittning	Utgående balans
mkr						
Säkringsinstrument	926		-450			546
Fastigheter och inventarier	19	-19				0
Pensioner	370	-40				330
Övrigt	204	189		8		401
Kvittning					-936	-936
Summa	1 580	130	-400	8	-936	368

Uppskjutna skattekulder 2023	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Valkurs-effekt	Kvittning	Utgående balans
mkr						
Utlåning till allmänheten <sup>1</sup>	2 207	-329				1 878
Säkringsinstrument	764		-316			448
Immateriella tillgångar	78	-13				65
Fastigheter och inventarier	95	-4				91
Pensioner	2 466	231	-449	-36		2 212
Övrigt	4	207				211
Kvittning					-936	-936
Summa	5 614	92	-765	-36	-936	3 969

<sup>1</sup> Varav leasing 1 845 mkr (2 207).

## NOTER | KONCERNEN

## K35 Forts

Uppskjutna skattefordringar 2022					
mkr	Ingående balans	Redovisat över resultat-räkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Valutaeffekt	Utgående balans
Säkeringsinstrument			906		906
Fastigheter och inventarier	18	1			19
Pensioner	295	75			370
Övrigt	532	-328			204
Summa	845	-252	906	0	1 500

Uppskjutna skattekulder 2022					
mkr	Ingående balans	Redovisat över resultat-räkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Valutaeffekt	Utgående balans
Utlåning till stämnehåbar <sup>1</sup>	2 750	-552			2 207
Säkeringsinstrument	360		305		764
Immateriella tillgångar	74	4			78
Fastigheter och inventarier	93			2	95
Pensioner	1 754	90	622		2 466
Övrigt	227	-16	-193	-14	4
Summa	6 278	-474	824	-12	6 614

<sup>1</sup> Varav leasing 2 207 mkr (2 750).

## Upplysning Polare 2

En initial bedömning av Polare 2-reglernas effekt på banken har genomförts och kommer löpande utvärderas. Vår bedömning är att vi kan och vår intention är att vi skall tillämpa de temporära lätt-näringsreglerna i regelverket. Handelsbanken tillämpar även undantaget i IAS 12, vilket innebär att koncernen varken redovisar eller lämnar upplysningar om uppskjutna skattefordringar och -skulder relaterade till inkomstskatter till följd av Polare 2.

Alla länder där Handelsbanken bedriver verksamhet, med undantag för USA, har antagit EU-direktiv till Polare 2 och nationell lagstiftning har eller kommer implementeras. Handelsbanken är inte verksam i lågbeskattade länder och samtliga länder där verksamhet bedrivs har en skattesats som överstiger 20%. Enligt antagna lagstiftning och förslag på kommande lagstiftning skall eventuell tilläggsskatt betalas i respektive land, förutom i USA där betalning bör ske från moderbolaget i Sverige. Handelsbankens bedömning är att reglerna inte kommer att få någon väsentlig inverkan på Handelsbankens finansiella rapporter.

## Ej redovisade uppskjutna skattefordringar och underskott

Uppskjutna skattefordran på underskottsavdrag och andra framtida avdragsgilla temporära skillnader redovisas enbart om det är sannolikt att den kan nyttjas inom en överskådlig framtid. Ej redovisade uppskjutna skattefordringar finns lokalt i Stadshypotek AB och uppgår till 113 mkr (90).

## K36 Avsättningar

Avsättningar 2023				
mkr	Avsättningar för förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen <sup>1</sup>	Omstrukturierungs-reserv <sup>2</sup>	Övriga avsättningar <sup>3</sup>	Summa
Avsättningar vid årets ingång	280	87	226	601
Avsatt under året			121	121
Anspråkstagat		-44	-8	-52
Återfört			-80	-80
Nettoförändring av förväntade kreditförluster	20			20
Avsättningar vid årets utgång	299	43	208	601

Avsättningar 2022				
mkr	Avsättningar för förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen <sup>1</sup>	Omstrukturierungs-reserv <sup>2</sup>	Övriga avsättningar <sup>3</sup>	Summa
Avsättningar vid årets ingång	280	617	150	1 028
Avsatt under året			129	129
Anspråkstagat		-531	0	-520
Återfört			-62	-62
Nettoförändring av förväntade kreditförluster	20			20
Avsättningar vid årets utgång	280	87	226	601

<sup>1</sup> För ytterligare information, se not K10 och K44.

<sup>2</sup> Avsättningen för omstrukturierungs-kostnader avser kostnader relaterade till bankens omställning. Merparten av avsättningsbeloppet är registrat under åren 2021-2023. Resterade förväntas vara registrat vid utgången av 2024.

<sup>3</sup> Under Övriga avsättningar redovisas de belopp som avsatts för reglering av de anspråk som riksdals mot banken.

## NOTER | KONCERNEN

## K37 Övriga skulder

mkr	2023	2022
Fondlikvidskulder	5 192	3 010
Leasingskuld	2 857	3 018
Återfördringskulder	126	107
Övrigt	6 708	4 319
<b>Summa</b>	<b>14 882</b>	<b>10 454</b>

## K38 Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter

mkr	2023	2022
Upplupna kostnader	1 902	2 446
Förutbetalda intäkter	1 087	1 120
<b>Summa</b>	<b>2 990</b>	<b>3 566</b>

## K39 Efterställda skulder

mkr	2023	2022
Efterställda skulder i svenska kronor		
Efterställda skulder i utländsk valuta	43 117	42 404
<b>Summa</b>	<b>43 117</b>	<b>42 404</b>

## Förändring av efterställda skulder

mkr	2023	2022
Efterställda skulder vid årets ingång	42 404	32 257
Emitterade	8 753	11 445
Återköpta		
Förfallna	-8 326	-2 994
Valutaeffekter m.m.	286	1 696
<b>Efterställda skulder vid årets utgång</b>	<b>43 117</b>	<b>42 404</b>

Specification, efterställda skulder								
Emissionsår	Förfall	Ursprunglig förfallodag	Första möjliga datum för inlösen	Valuta	Ursprungligt nominellt belopp i respektive valuta	Konvertibelt/ Ej konvertibelt	Räntesats, %	Utestående belopp
2018	Tidsbunden <sup>1</sup>	2023-03-05	2024-03-05	EUR	750	Ej konvertibelt	1,625	8 456
2019	Evtig <sup>2,3</sup>		2024-03-01	USD	500	Konvertibelt <sup>4</sup>	6,250	5 258
2020	Evtig <sup>2,3</sup>		2027-03-01	USD	500	Konvertibelt <sup>4</sup>	4,375	4 648
2020	Evtig <sup>2,3</sup>		2031-03-01	USD	500	Konvertibelt <sup>4</sup>	4,750	4 213
2022	Tidsbunden <sup>1</sup>	2033-05-01	2028-05-01	EUR	500	Ej konvertibelt	3,250	5 510
2022	Tidsbunden <sup>1</sup>	2032-08-23	2027-08-23	GBP	500	Ej konvertibelt	4,625	6 258
2023	Tidsbunden <sup>1</sup>	2034-08-16	2029-08-16	EUR	750	Ej konvertibelt	5,000	8 766
<b>Summa efterställda skulder</b>								<b>43 117</b>

<sup>1</sup> Efterställt samtliga seniora skulder.<sup>2</sup> Efterställt samtliga instrument utom aktier, närmast högre är tidsbundna efterställda skulder.<sup>3</sup> Inlösenbart vid varje påföljande räntemåttfningsdag efter första inlösendatum.<sup>4</sup> Skulderna konverteras till statenaktier i Svenska Handelsbanken AB om Svenska Handelsbanken AB:s kärnprimärkapitalrelation understiger 5,125% eller om den konsoliderade situationens kärnprimärkapitalrelation understiger 8,0%.

Modervolymer		
mkr	2023	2022
Efterställda skulder i svenska kronor		945
Efterställda skulder i utländsk valuta	42 200	37 131
<b>Summa</b>	<b>42 200</b>	<b>38 076</b>

## NOTER | KONCERNEN

## K40 Specifikation av förändringar i eget kapital

Förändring av sättningsreserv mkr	2023	2022
Sättningsreserv vid årets ingång	-307	1 789
<b>Kassafördosättning</b>		
Effektiv del av förändringen i verkligt värde		
Ränterisk	1 486	-3 668
Valutarisk	-619	1 189
Orealiserade värdeförändringar		
Omklassificerat till resultaträkningen <sup>1</sup>	-252	-160
Skatt	-127	544
Sättningsreserv vid årets utgång	181	-307

Förändring av verkligt värdereserv mkr	2023	2022
Verkligt värdereserv vid årets ingång	126	108
Orealiserade värdeförändringar – eget kapitalinstrument	51	22
Realiserade värdeförändringar – eget kapitalinstrument	0	91
Orealiserade värdeförändringar – skuldinstrument	19	-54
Förändring av reserv för förväntade kreditförluster – skuldinstrument	0	0
Omklassificerat till balanserade vinstmådel – eget kapitalinstrument <sup>2</sup>	0	-91
Omklassificerat till resultaträkningen – skuldinstrument <sup>3</sup>	0	
Verkligt värdereserv vid årets utgång	197	126

Förändring av omräkningsreserv mkr	2023	2022
Omräkningsreserv vid årets ingång	4 332	2 585
Förändring av omräkningsdifferens hänförlig till filialer	-855	1 166
Förändring av omräkningsdifferens hänförlig till dotterbolag	297	1 697
Omklassificerat till resultaträkningen <sup>4</sup>	9	-501
Omklassificerat till balanserade vinstmådel <sup>5</sup>	-284	-615
Omräkningsreserv vid årets utgång	3 502	4 332

<sup>1</sup> Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post 52 mkr (33).

<sup>2</sup> Skatt som omklassificerats till balanserade vinstmådel hänförlig till denna post 0 mkr (-).

<sup>3</sup> Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post 0 mkr (-).

<sup>4</sup> Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post -2 mkr (18).

<sup>5</sup> Skatt som omklassificerats till balanserade vinstmådel hänförlig till denna post 19 mkr (38).

## K41 Klassificering av finansiella tillgångar och skulder

2023	Verkligt värde via resultaträkningen					
	Obligatoriskt	Verkligt värde- optionen	Derivat identifierat som säkringsinstrument	Verkligt värde via övrigt totalresultat	Upplupet anskaffnings- värde	Summa redovisat värde
<b>mikr</b>						
<b>Tillgångar</b>						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker					476 181	476 181
Övrig utlåning till centralbanker					32 145	32 145
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	3 534	195 594				199 128
Utlåning till övriga kreditinstitut					19 298	19 298
Utlåning till allmänheten					2 434 217	2 434 217
Värdepappersförsäkring på räntebärande post i portföljsäkring					-9 657	-9 657
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	13 550	23 827		12 709		50 087
Aktier och andelar	11 617			601		12 218
Tillgångar där kunden står värdepappersförändringsrisken	254 401				78	254 479
Derivatinstrument	13 618		16 402			30 110
Övriga tillgångar	27				10 309	10 309
<b>Summa</b>	<b>298 747</b>	<b>219 421</b>	<b>16 402</b>	<b>13 310</b>	<b>2 982 844</b>	<b>3 608 514</b>
Aktier och andelar i intressföretag och joint ventures						657
Icke finansiella tillgångar						28 620
<b>Summa tillgångar</b>						<b>3 637 792</b>
<b>Skulder</b>						
Skulder till kreditinstitut					91 124	91 124
In- och upplåning från allmänheten					1 350 036	1 350 036
Skulder där kunden står värdepappersförändringsrisken		254 609			78	254 687
Emitterade värdepapper	1 506				1 521 975	1 523 481
Derivatinstrument	27 399		6 840			34 238
Korta positioner	2 364					2 364
Övriga skulder	27				15 712	15 739
Efterstälda skulder					43 117	43 227
<b>Summa</b>	<b>31 296</b>	<b>254 609</b>	<b>6 840</b>		<b>3 022 042</b>	<b>3 314 787</b>
Icke finansiella skulder						17 919
<b>Summa skulder</b>						<b>3 332 706</b>

Tillgångar och skulder i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehas för försäljning respektive Skulder som innehas för försäljning, se not K14.

2022	Verkligt värde via resultaträkningen					
	Obligatoriskt	Verkligt värde- optionen	Derivat identifierat som säkringsinstrument	Verkligt värde via övrigt totalresultat	Upplupet anskaffnings- värde	Summa redovisat värde
<b>mikr</b>						
<b>Tillgångar</b>						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker					475 882	475 882
Övrig utlåning till centralbanker					32 620	32 620
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	1 465	131 113		200		132 778
Utlåning till övriga kreditinstitut					9 415	9 410
Utlåning till allmänheten					2 469 324	2 469 324
Värdepappersförsäkring på räntebärande post i portföljsäkring					-16 616	-16 616
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	5 328	17 487		9 882		32 697
Aktier och andelar	12 272			544		12 815
Tillgångar där kunden står värdepappersförändringsrisken	222 038				73	222 111
Derivatinstrument	14 912		21 349			36 261
Övriga tillgångar	14				14 797	14 811
<b>Summa</b>	<b>298 028</b>	<b>148 600</b>	<b>21 349</b>	<b>10 626</b>	<b>2 985 404</b>	<b>3 422 007</b>
Aktier och andelar i intressföretag och joint ventures						561
Icke finansiella tillgångar						31 058
<b>Summa tillgångar</b>						<b>3 453 716</b>
<b>Skulder</b>						
Skulder till kreditinstitut					82 372	82 395
In- och upplåning från allmänheten					1 376 286	1 376 504
Skulder där kunden står värdepappersförändringsrisken		222 038			73	222 111
Emitterade värdepapper	1 635				1 473 167	1 474 801
Derivatinstrument	16 648		12 302			29 040
Korta positioner	1 939					1 939
Övriga skulder	11				11 227	11 238
Efterstälda skulder					42 404	42 430
<b>Summa</b>	<b>20 239</b>	<b>222 038</b>	<b>12 302</b>		<b>2 985 529</b>	<b>3 196 682</b>
Icke finansiella skulder						19 502
<b>Summa skulder</b>						<b>3 216 184</b>

## NOTER | KONCERNEN

## K42 Värdering av finansiella instrument till verkligt värde

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2023 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
<b>Tillgångar</b>				
Balansräkna, statskultförbindelser m.m.				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	3 498	36		3 534
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	195 594			195 594
Verkligt värde via Övrigt totalsresultat				
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	13 245	305		13 550
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	23 827			23 827
Verkligt värde via Övrigt totalsresultat	11 158	1 551		12 709
Aktier och andelar				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	11 096	509	18	11 617
Verkligt värde via Övrigt totalsresultat	310	135	156	601
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	251 504	2 820	77	254 401
Derivatinstrument	92	30 016	2	30 110
<b>Summa</b>	<b>510 325</b>	<b>35 368</b>	<b>263</b>	<b>545 944</b>
<b>Skulder</b>				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken				
Emitterade värdepapper	251 712	2 820	77	254 609
Derivatinstrument		1 506		1 506
Korta positioner	47	34 189	2	34 238
<b>Summa</b>	<b>251 764</b>	<b>38 515</b>	<b>79</b>	<b>290 358</b>

Finansiella instrument i tabellen ovan inkluderar avförsämringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller för försämrings respektive Skulder som innehåller för försämrings, se not K14.

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2022 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
<b>Tillgångar</b>				
Balansräkna, statskultförbindelser m.m.				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	1 465			1 465
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	131 113			131 113
Verkligt värde via Övrigt totalsresultat	200			200
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	5 328			5 328
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	17 487			17 487
Verkligt värde via Övrigt totalsresultat	9 124	758		9 882
Aktier och andelar				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	11 866	384	21	12 271
Verkligt värde via Övrigt totalsresultat	274	117	152	543
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	220 766	747	525	222 038
Derivatinstrument	49	36 173	39	36 261
<b>Summa</b>	<b>307 673</b>	<b>38 179</b>	<b>737</b>	<b>436 589</b>
<b>Skulder</b>				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken				
Emitterade värdepapper	220 766	747	525	222 038
Derivatinstrument		1 635		1 635
Korta positioner	54	28 947	39	29 040
<b>Summa</b>	<b>220 814</b>	<b>31 331</b>	<b>593</b>	<b>252 738</b>

## K42 Forts

## Värderingshierarkin

Finansiella instrument värderade till verkligt värde har i tabellerna kategoriserats med avseende på hur de värderats och graden av transparens kring marknadsdata som använts vid värderingen. Kategoriseringen framgår som nivå 1–3 i tabellerna. Finansiella instrument som värderas till ett direkt och likvärt marknadspris kategoriseras som nivå 1. Dessa finansiella instrument består främst av statspapper och andra räntebärande värdepapper som handlas aktivt, noterade aktier samt korta positioner i motsvarande tillgångar. I nivå 1 ingår även merparten av de fondandelar och andra tillgångar som är kopplade till fondförsäkringskontrakt och liknande avtal samt motsvarande skulder. Finansiella instrument som värderas med värderingsmodeller som i allt väsentligt bygger på marknadsdata kategoriseras som nivå 2. I nivå 2 ingår främst räntebärande värdepapper samt ränte- och valutarelaterade derivat. Finansiella instrument vars värdering i väsentlig utsträckning påverkas av indata som inte går att verifiera med externa marknadsuppgifter kategoriseras som nivå 3. I nivå 3 ingår onoterade aktier, vissa innehav i riskkapitalfonder samt vissa derivat.

Som grund för indelningen ligger den värderingsmetod som använts på balansdagen. Om kategorin för ett specifikt instrument har förändrats i jämförelse med föregående balansdag (2022-12-31) har instrumentet flyttats mellan nivåerna i tabellen. Under året har 1,6 mdkr avseende innehav i obligationer och andra räntebärande värdepapper flyttats från nivå 1 till nivå 2 och 0,5 mdkr har överförs från nivå 2 till nivå 1. Under året har 1,8 mdkr avseende innehav i fondandelar som utgör tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken överförs från nivå 1 till nivå 2. Därmed har även 1,8 mdkr avseende skulder där kunden står värdeförändringsrisken flyttats från nivå 1 till nivå 2. Överföring mellan nivåerna har genomförts till följd av en förnyad bedömning av marknadsaktiviteten. Årets förändringar av innehav i nivå 3 redovisas i en separat tabell, se nedan.

Innehav i nivå 3 består främst av onoterade aktier. Koncernens innehav av onoterade aktier består till övervägande del av andelar i företag som utför stödjande verksamhet för banken. Det kan exempelvis röra sig om andelar i clearingorganisationer och infrastruktursamarbeten på Handelsbankens hemmamarknader. Sådana innehav värderas i regel till

bankens andel av substansvärdet i bolaget, alternativt till det pris till vilket den senaste transaktionen genomfördes. Onoterade aktier är i allt väsentligt klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat. Värdeförändringar på dessa innehav redovisas därmed i övrigt totalresultat.

Vissa innehav i riskkapitalfonder kategoriseras som nivå 3. De värderas med värderingsmodeller som huvudsakligen bygger på relativvärdering av jämförbara noterade företag i samma bransch. Det resultatmått som jämförelsen bygger på justeras för faktorer som stör jämförelsen mellan investeringen och jämförelsebolaget. Därefter beräknas värdet på basis av vinstmultiplar, exempelvis P/E-tal och EV/EBITA. Merparten av dessa innehav utgör placeringstillgångar i koncernens försäkringsförelse.

Vidare kategoriseras derivatkomponenten i vissa av bankens emitterade strukturerade obligationer och dess tillhörande säkrande derivat i nivå 3. För dessa derivat har interna antaganden väsentlig påverkan för beräkningen av det verkliga värdet. Säkrande derivat i nivå 3 är handlade under CSA-avtal, där marknadsvärdena stäms av och säkerställs på daglig basis med bankens motparter.

## Förändring av innehav i finansiella instrument i nivå 3 2023

mkr	Aktier och andelar	Derivat-tillgångar	Derivat-skulder	Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	Skulder där kunden står värdeförändringsrisken
Redovisat värde vid årets ingång	173	30	-30	625	-625
Nyanskaffningar	-	-	-	-	-
Återköp/avyttrat	-1	-	-	-	-
Förfallat	-	-	-	-	-
Orealiserad värdeförändring i resultaträkningen	2	0	0	-448	448
Orealiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	-	-	-	-	-
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	-37	37	-	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-	-	-	-	-
Redovisat värde vid årets utgång	174	2	-2	77	-77

Finansiella instrument i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller för försäljning respektive Skulder som innehåller för försäljning, se not K14.

En förändring i icke observerbara indata bedöms ej föranleda betydande högre eller lägre värderingar av innehaven i nivå 3 varför någon känslighetsanalys ej lämnas.

## Förändring av innehav i finansiella instrument i nivå 3 2022

mkr	Aktier och andelar	Derivat-tillgångar	Derivat-skulder	Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	Skulder där kunden står värdeförändringsrisken
Redovisat värde vid årets ingång	830	43	-43	484	-484
Nyanskaffningar	-	34	-39	-	-
Återköp/avyttrat	-472	-43	41	-	-
Förfallat	-	-	-	-	-
Orealiserad värdeförändring i resultaträkningen	6	-32	39	41	-41
Orealiserad värdeförändring i övrigt totalresultat	-	-	-	-	-
Förflyttning från nivå 1 eller 2	-	29	-29	-	-
Förflyttning till nivå 1 eller 2	-	8	-8	-	-
Redovisat värde vid årets utgång	173	30	-30	625	-625

## NOTER | KONCERNEN

## K42 Forts

Årets realiserade värdeförändringar på finansiella instrument i nivå 3 som redovisas i resultaträkningen uppgår till 1 mkr (2).

**Skilnader mellan transaktionspris och det värde som räknas fram med hjälp av en värderingsmodell**

Som framgår av redovisningsprinciperna i not K1 periodiseras väsentliga positiva skilnader mellan det värde som räknats fram vid det första redovisningstillfället och transaktionspriset (så kallat dag 1-resultat) vid modellvärdering av derivat. Realiserade resultat på grund av positiva skilnader mellan transaktionspris och det värde som räknas fram med hjälp av en värderingsmodell (så kallade dag 1-resultat) utgörs av bankens vinstmarginal och ersättning för att täcka exempelvis kapital- och administrativa kostnader. Principen innebär att en periodiseringseffekt om 113 mkr (158) redovisats i nettoresultat av finansiella transaktioner under året. Vid

utgången av året uppgick sammanlagda ännu ej resultatförda dag 1-resultat till 472 mkr (447).

**Principer för upplysningar om verkligt värde på finansiella instrument som redovisas till upplupet anskaffningsvärde**

Upplysningar om verkligt värde på finansiella instrument som redovisas till upplupet anskaffningsvärde lämnas i not K41 och i tabellen nedan. Dessa instrument består i allt väsentligt av utlåning samt in- och upplåning. För betalningsmedel samt kortfristiga fordringar och skulder har det redovisade värdet bedömts vara en godtagbar estimering av det verkliga värdet. Fordringar och skulder med förfallodag alternativt tidpunkt för nästkommande ränteomsättning som infaller inom 30 dagar, har definierats som kortfristiga.

Värderingen av utlåning till fast ränta baseras på aktuell marknadsränta med justering för antagande om marknadsmässig kredit- och likvidi-

tetsriskpremie. Premien har antagits vara lika med genomsnittlig marginal för nyutlåning vid mättdpunkten. Räntebärande värdepapper har värderats till aktuellt marknadspris i den mån ett sådant funnits tillgängligt. Uplåning samt räntebärande värdepapper för vilka marknadsprisinformation inte funnits har värderats med en värderingsmodell som bygger på marknadsdata i form av priser eller räntor för liknande instrument.

I tabellen har den värdering som ligger till grund för uppgifterna om verkligt värde på finansiella instrument som redovisas till upplupet anskaffningsvärde kategoriserats i den värderingshierarki som beskrivits ovan. Betalningsmedel samt inlåning har likstänkts med kontanter och kategoriserats som nivå 1. I nivå 1 redovisas även räntebärande värdepapper (tillgångar och skulder) för vilka det finns ett aktuellt marknadspris. Utlåning för vilken antagandet om kredit- och likviditetspremie väsentligt påverkat upplysningen om verkligt värde har kategoriserats som nivå 3. Övriga instrument är kategoriserade som nivå 2.

Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde 2023 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
<b>Tillgångar</b>				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	476 181			476 181
Övrig utlåning till centralbanker	32 145			32 145
Utlåning till övriga kreditinstitut	5 876	13 038	358	19 272
Utlåning till allmänheten	41 120	828	2 373 537	2 415 485
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	78			78
<b>Summa</b>	<b>555 400</b>	<b>13 866</b>	<b>2 373 895</b>	<b>2 943 161</b>
<b>Skulder</b>				
Skulder till kreditinstitut	31 858	59 430		91 287
In- och upplåning från allmänheten	1 341 888	7 449		1 349 338
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	78			78
Emitterade värdepapper	857 720	638 107		1 495 827
Efterstälda skulder		43 227		43 227
<b>Summa</b>	<b>2 231 544</b>	<b>748 213</b>		<b>2 979 757</b>

Finansiella instrument i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till Tillgångar som innehåller förskräddning respektive Skulder som innehåller förskräddning, se not K14.

Verkligt värde på finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde 2022 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
<b>Tillgångar</b>				
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	475 882			475 882
Övrig utlåning till centralbanker	32 620			32 620
Utlåning till övriga kreditinstitut	4 924	4 083	403	9 410
Utlåning till allmänheten	22 409	9 604	2 320 693	2 422 795
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	73			73
<b>Summa</b>	<b>535 898</b>	<b>13 687</b>	<b>2 321 096</b>	<b>2 840 790</b>
<b>Skulder</b>				
Skulder till kreditinstitut	22 503	59 802		82 305
In- och upplåning från allmänheten	1 355 950	25 650		1 381 640
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	73			73
Emitterade värdepapper	869 926	560 365		1 430 291
Efterstälda skulder		42 430		42 430
<b>Summa</b>	<b>2 248 582</b>	<b>688 247</b>		<b>2 936 829</b>



## K43 Ställda och mottagna säkerheter samt överförda finansiella tillgångar

För egna skulder ställda säkerheter			
mkr		2023	2022
Kontanter		27 456	14 754
Statspapper och obligationer		5 691	3 767
Utlåning till allmänheten		765 513	728 662
Aktier		5 869	5 752
Tillgångar där kunden står värdet förändringsrisken		256 168	224 009
Övrigt		1 820	2 434
Summa		1 062 518	979 378
varav pantar som inte kan återkallas av banken		18	22

Övriga ställda säkerheter			
mkr		2023	2022
Kontanter		1 370	1 432
Statspapper och obligationer		63 619	10 692
Aktier		4 411	3 726
Summa		69 399	15 850
varav pantar som inte kan återkallas av banken		52 061	2 196

Med Övriga ställda säkerheter avses säkerheter som ställts för förpliktelser som ej redovisas i balansräkningen.

Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen		2023		2022	
mkr		Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld	Redovisat värde	Redovisat värde motsvarande skuld
Aktier, värdepappersutlåning		4 237	112 <sup>1</sup>	4 039	20 <sup>1</sup>
Statspapper och obligationer, repor		4 464	2	3 350	2
Statspapper och obligationer, övrigt				43	
Tillgångar där kunden står värdet förändringsrisken		159	159	603	603
Summa		8 860	273	8 035	813

<sup>1</sup> Mottagen kontantsäkerhet.

### Ställda säkerheter

Ställda säkerheter är redovisade som tillgångar i balansräkningen. Ställda säkerheter i form av räntebärande värdepapper består i huvudsak av värdepapper som ställts som säkerhet i centralbanker och andra kreditinstitut, för betalningssystem, värdepappershandel och clearing samt värdepapper som sålts under bindande återköpsavtal (repor). Ställda säkerheter i form av aktier består av utlånade aktier och aktier i försäkringsrörelsen.

Utlåning till allmänheten som ställts som säkerhet utgörs till största delen av den registrerade säkerhetsmassan till förmån för innehavare av säkerställda obligationer emitterade av Stadshypotek. Säkerhetsmassan består av hypotekslån som lämnats mot pant i huvudsakligen småhus, fritidshus, flerbostadshus och bostadsrätter med belåningsgrad inom 75% av marknadsvärdet. I händelse av bolagets obestånd har innehavarna av de säkerställda obligationerna förmånsrätt enligt lagen om säkerställda obligationer och förmånsrättslagen i de pantföreskrivna tillgångarna. Om tillgångarna i säkerhetsmassan vid tiden för ett konkursbeslut uppfyller de villkor som uppställts i lagen, ska de hållas åtskilda från konkursboets övriga tillgångar och skulder. Innehavarna av obligatio-

ner erhåller då fortsatt kontraktssenliga betalningar enligt obligationsvillkoren fram till förfall.

Tillgångar där kunden står värdet förändringsrisken består i huvudsak av fondandelar under fondförsäkringsavtal i Handelsbanken Liv i vilka försäkringstagarna har förmånsrätt.

### Mottagna säkerheter

Mottagna säkerheter redovisas inte i balansräkningen. Vid omvända återköpsavtal och aktielån mottas värdepapper som kan säljas eller pantsättas vidare till tredje part. Det verkliga värdet av mottagna värdepapper under omvända återköpsavtal och avtal om aktielån uppgick till 43 196 mkr (35 395) vid räkenskapsårets slut, varav säkerheter till ett värde av 12 528 mkr (16 970) sålts eller pantsatts vidare. Information om mottagna pantar för utlåning och andra mottagna säkerheter framgår av not K2.

### Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen

Överförda finansiella tillgångar är redovisade som tillgångar i balansräkningen, men för dessa har rätten till framtida kassaflöden direkt eller indirekt överförts till en extern motpart. Merparten av de överförda finansiella tillgångar som redovisas i balansräkningen består av räntebärande värdepapper som sålts under bindande

återköpsavtal samt utlånade aktier. I normalfallet regleras villkoren för bindande återköp och aktielån i ramavtal som ingåtts mellan banken och respektive motpart.

Bindande återköpsavtal innebär försäljning av ett värdepapper med förbindelse om återköp till ett fastställt pris vid en förutbestämd framtida tidpunkt. Säljaren av värdepappret är därmed fortsatt exponerad för risken för värdet förändringar under avtalets löptid. Sållda värdepapper under återköpsavtal kvarstår till marknadsvärde i balansräkningen under avtalets löptid. Mottagen köpeskillning redovisas som skuld till motparten. Enligt standardvillkoren i återköpsavtal övergår äganderätten till det sålda värdepappret helt från säljare till köpare, vilket innebär att köparen har rätt att vidareförsälja, återpantsätta eller på annat sätt förfoga över de köpta värdepappren.

Enligt standardavtalen för aktielån kvarstår exponeringen för värdet förändring i den utlånade aktien hos långvararen. Utlånade aktier kvarstår därmed i balansräkningen under lånets löptid. Säkerheter för utlånade aktier utgår i regel i form av kontanter eller andra värdepapper. Mottagen kontantsäkerhet redovisas som skuld i balansräkningen. På samma sätt som för återköpsavtal innebär det standardavtal som används för aktielån att låntagaren under lånets löptid

## NOTER | KONCERNEN

## K43 Forts

har rätt att vidare sälja, återpanta eller på annat sätt förfoga över de lånade aktierna.

Som övriga överförda finansiella tillgångar redovisas statspapper, obligationer och aktier som ställts som säkerhet för värdepappershandel, clearing med mera och där förfoganderätten

över värdepappret övergått till mottagaren.

Som överförda finansiella tillgångar redovisas även vissa tillgångar där kunden står värdepåförändringsrisken. Dessa tillgångar består av portföljer av finansiella instrument till vilka banken har formell äganderätt, men där de risker som är

förknippade med tillgångarna liksom rätten till framtida kassaflöden överförs till en tredje part. Värderingen av dessa tillgångar speglar värderingen av den motsvarande skuldposten.

## K44 Eventualförpliktelser

mil	2023	2022
<b>Ansvarsförbindelser</b>		
Garantiförbindelser, kredit	8 184	6 709
Garantiförbindelser, övriga	47 557	52 062
Obligatoriska remburs	203	313
Övrigt	2 177	1 901
<b>Summa</b>	<b>58 120</b>	<b>60 985</b>
varav föremål för nedskrivningsprövning	58 120	60 985
<b>Åtaganden</b>		
Kreditlinjen	317 926	336 974
Outnyttjad del av beviljade rättningskrediter	96 359	108 456
Övrigt	13 580	13 684
<b>Summa</b>	<b>427 865</b>	<b>459 114</b>
varav föremål för nedskrivningsprövning	237 909	266 478
<b>Summa eventalförpliktelser</b>	<b>485 985</b>	<b>519 899</b>
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad som avsättning, se not K36.	340	353

## Ansvarsförbindelser

Ansvarsförbindelserna består i huvudsak av olika typer av garantiförbindelser. Kreditgarantier ges till kunder för att garantera åtaganden i andra kredit- och pensionsinstitut. Övriga garantier utgörs främst av kommersiella garantier såsom anbudsgarantier, garantier avseende förskottsbetalningar, garantier under ansvarsiden och exportrelaterade garantier. Ansvarsförbindelser omfattar också outnyttjade obligatoriska importremburs och beviljade exportremburs. Dessa transaktioner ingår i bankens tjänster och är till stöd för bankens kunder. I tabellen anges garantier i nominella belopp.

## Tvister

Bolag inom koncernen är föremål för krav i ett antal tvistemål som drivs i allmän domstol. Bedömningen är att tvistemålen i all väsentligt kommer att utfalla till bankens fördel. Tvistebeloppen bedöms inte kunna få en väsentlig inverkan på koncernens ställning eller resultat.

## K45 Leasing

## Handelsbanken som leasegivare

Finansiella leasingavtal mil	2023	2022
Finansiella intäkter från nettoinvesteringen	593	900
Variabla leasingavgifter	519	213
<b>Fördelning av odiskonterade leasingfordringar på förfallotidpunkter samt nettoinvestering mil</b>	<b>2023</b>	<b>2022</b>
Upp till 1 år	2 725	2 212
1 år till 2 år	3 490	4 138
2 år till 3 år	2 805	3 107
3 år till 4 år	1 861	1 262
4 år till 5 år	2 076	1 572
Över 5 år	3 303	4 444
<b>Summa odiskonterade leasingfordringar</b>	<b>16 260</b>	<b>16 730</b>
Ej intjänade finansiella intäkter	-1 292	-900
<b>Nettoinvestering</b>	<b>14 968</b>	<b>15 830</b>

Samtliga avtal där koncernen är leasegivare har definierats som finansiella leasingavtal. Sådana leasingavtal redovisas som utlåning i balansräkningen, initialt till ett belopp som motsvarar nettoinvesteringen. Fördelningen mellan åren beror på minskade leasingvolymar till följd av avveckling av leasingportfölj, vilket motvägas av höjd marknadsränta. Leasingobjekten består huvudsakligen av fordon och maskiner. Samtliga leasingavtal har garanterade restvärden. Vid utgången av året fanns i koncernens leasingengagemang som varit och ett enskilt hade ett redovisat värde överstigande 1 mkr.

## NOTER | KONCERNEN

## K45 Forts

## Handelsbanken som leasatagare

Poster i resultaträkningen mkr	2023	2022
Räntekostnader leasingsskulder	-57	-53
Summa <sup>1</sup>	-67	-53
<b>Av- och nedskrivning nyttjanderätter</b>		
Fastigheter	-628	-624
Inventarier	-14	-22
Summa <sup>2</sup>	-642	-646
Kostnader för korttidsleasing	-38	-33
Kostnader för leasingavtal i vilka den underliggande tillgången är av lågt värde	-41	-17
Varaktiga leasingavgifter som inte ingår i beräkningen av leasingsskulder	-167	-125
Summa <sup>3</sup>	-246	-175
<b>Totala kostnader för leasingavtal</b>	<b>-955</b>	<b>-874</b>
<b>Poster i balansräkningen mkr</b>	<b>2023</b>	<b>2022</b>
<b>Nyttjanderätter<sup>4</sup></b>		
Fastigheter	2 704	2 952
Inventarier	30	64
Summa	2 734	3 016
Tillkommande nyttjanderätter <sup>4</sup>	350	323
Leasingsskulder <sup>5</sup>	2 857	3 018
Totala kassaflöden för leasingavtal	-980	-854

<sup>1</sup> Ingår i resultatsposten Räntekostnader.<sup>2</sup> Ingår i resultatsposten Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar, varav 39 mkr (11) avser nedskrivning.<sup>3</sup> Ingår i resultatsposten Övriga kostnader.<sup>4</sup> Nyttjanderätter ingår i balansposten Fastigheter och inventarier.<sup>5</sup> Under året nya leasingkontrakt som ingår i nyttjanderätter.<sup>6</sup> Leasingsskulder ingår i balansposten Övriga skulder.

Återstående löptider avseende leasingsskulder mkr	2023	2022
Upp till 6 månader	369	364
6 månader till 1 år	353	355
1 år till 2 år	610	672
2 år till 5 år	1 265	1 342
Över 5 år	500	512
Summa	3 097	3 245

Bankens leasingavtal utgörs huvudsakligen av hyreskontrakt avseende lokaler. Därutöver omfattar leasingavtalen främst multifunktions skrivare, persondatorer och diverse övriga kontorsinventarier.

Huvuddelen av hyreskontrakten avseende lokaler har en avtalstid mellan tre till tio år. Vissa av bankens hyreskontrakt för lokaler innehåller en möjlighet till förlängning av avtalstiden, vilken innebär att hyreskontraktet förlängs för en angiven period om kontraktet inte sägs upp vid en specifik tidpunkt. Det förekommer även hyreskontrakt avseende lokaler som innehåller en möjlighet för banken att säga upp hyreskontraktet i förtid. Vid fastställande av leasingperiodens längd för hyreskontrakt inkluderas möjligheter att förlänga ett leasingkontrakt, eller avsluta ett leasingkontrakt i förtid, endast vid mycket hög grad av sannolikhet att dessa kommer att utnyttjas.

Banken har ingått leasingavtal som är kortare än tolv månader och leasingavtal i vilka den underliggande tillgången är av lågt värde, vilka kostnadsförs i enlighet med undantaget i IFRS 16 Leasingavtal, och därmed inte ingår i leasingsskulder och nyttjanderätter.

## NOTER | KONCERNEN

## K46 Segmentinformation

Segmentinformation 2023	Justeringar och eliminerings						
mil	Sverige	Storbritannien	Norge	Nederländerna	Capital Markets	Övrigt	Totalt
Räntanetto	30 420	11 010	4 624	1 241	384	-801	47 578
Provisionanetto	8 420	845	659	198	740	276	11 139
Nettorisultat av finansiella transaktioner	1 180	253	79	17	1 044	88	2 661
Försäkringsanetto	494		0				493
Andelar i intresseföretag och joint ventures resultat						51	51
Övriga intäkter	197	13	5	1	7	105	328
Summa intäkter	40 711	12 121	5 368	2 157	2 175	-280	62 249
Personalkostnader	-4 157	-3 149	-1 103	-537	-1 200	-3 900	-13 542
Övriga kostnader	-1 525	-907	-493	-136	-409	-4 325	-7 796
Internt köpta och sålda tjänster	-5 535	-1 414	-708	-277	-247	8 180	
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-427	-310	-97	-59	-144	-582	-1 743
Summa kostnader	-11 644	-6 780	-2 401	-1 009	-2 000	-727	-23 182
Resultat före kreditförluster, riskskatt och resolutionsavgift	29 067	6 340	2 965	1 148	175	-1 007	39 067
Kreditförluster, netto	-142	-51	37	13	11	-8	-141
Vinstskat/förluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	14	-1	6		0	0	20
Riskskatt och resolutionsavgift	-1 919		-393	-113	-43	-157	-2 624
Rörelseresultat	27 020	6 289	2 615	1 048	144	-1 172	36 322
Resultatutdelning	405	52	47	0	-527	23	
Rörelseresultat efter resultatutdelning	27 425	6 340	2 662	1 048	-383	-1 149	36 322
Interna intäkter <sup>1</sup>	5 867	2 909	-8 567	-98	1 891	-2 092	
KPI-ind, %	28,3	47,5	44,4	46,8	121,4		37,2
Kreditförbrukning, %	0,01	0,03	-0,01	-0,01	-0,09		0,01
Utlåning till allmänheten	1 600 861	230 692	313 267	97 110	21 504	29 517	2 291 808
In- och upplåning från allmänheten	856 258	260 595	90 206	35 245	39 887	17 583	1 298 480
Allokerat kapital	123 951	25 846	23 292	5 175	2 539	6 903	205 085
Räntabilitet på allokerat kapital, %	18,2	21,3	9,5	16,9	-12,3		15,3
Medelantal anställda	4 099	2 707	828	388	605	3 056	11 683

<sup>1</sup> Interna intäkter som ingår i Summa intäkter består av intäkter från transaktioner med andra rörelsesegment och Övrigt. Eftersom ränteannektat och räntekostnader redovisas netto som en intäkt innebär det att interna intäkter bland annat innehåller nettot av intern finansieringskostnad mellan segmenten och Övrigt.

Kolumnen Övrigt i tabellen ovan inkluderar Utlåning till allmänheten, In- och upplåning från allmänheten samt Allokerat kapital hänförligt till avyttringsgrupparna i Finland.

Rörelsesegmenten redovisas i enlighet med IFRS 8 Rörelsesegment, vilket innebär att segmentinformationen presenteras på motsvarande sätt som tillämpas internt i styrnings syfte. Handelsbankens verksamhet presenteras uppdelat på segmenten Sverige, Storbritannien, Norge, Nederländerna samt Capital Markets. Kontorsrörelsen i Handelsbanken tillhandahåller ett fokuserat erbjudande inom finansiering, betalning, finansiella rådgivningstjänster samt sparande och pension. I landsegmenten ingår förutom kontorsrörelsen även kapitalförvaltnings- och försäkringsverksamheten. Varje land följs upp som en fristående resultat enhet och styrs av en landchef. I Sverige och Storbritannien är kontorsrörelsen under landchefen organiserad i län respektive distrikt. Segmentet Capital Markets är bankens investmentbank, vilket bland annat inbegriper värdepappershandel och investeringsrådgivning. I verksam-

heten ingår även bankens internationella verksamhet utanför hemmarknaderna.

Segmentens resultat visas före och efter intern resultatutdelning. Den interna resultatutdelningen innebär att kundansvarig enhet tilldelas allt resultat som härrör från dess kunders transaktioner med banken, oavsett inom vilket segment transaktionen är genomförd. Dessutom redovisas intäkter och kostnader för internt utförda tjänster netto på raden Internt köpta och sålda tjänster. Transaktioner mellan segmenten redovisas huvudsakligen enligt självkostnadsprincipen. I kolumnerna Övrigt samt Justeringar och eliminerings visas poster som inte hör till något specifikt segment eller eliminerar på koncernnivå. I kolumnen Övrigt ingår till övervägande del finansförvaltning och centrala stabsavdelningar samt transaktioner hänförliga till reserveringen för resultatandelssystemet Oktogonen. I kolumnen Justeringar och

elimineringar redovisas bland annat justeringar för personalkostnader. I justeringar för personalkostnader ingår skillnaden mellan koncernens pensionskostnader beräknade enligt IAS 19 Ersättningar till anställda och lokalt beräknade pensionskostnader.

Interna intäkter består främst av interna räntor och provisioner. I segmentens resultaträkningar ingår dessutom interna poster i form av ersättningar för interna tjänster. Intern debitering sker huvudsakligen enligt självkostnadsprincipen. I kontorsrörelsen består tillgångarna till största delen av utlåning till allmänheten och skulderna av inlåning från allmänheten samt intern upplåning. Tillgångarna i kolumnen Övrigt består till övervägande del av intermutlåning till de olika segmenten, medan skulderna framförallt består av extern upplåning. Det allokerade kapitalet för segmenten överensstämmer med kapitalfördelningen enligt den interna styrmodellen.

## NOTER | KONCERNEN

## K46 Forts

Segmentinformation 2022								
mkr	Sverige	Stor-britannien	Norge	Neder-länderna	Capital Markets	Övrigt	Justeringar och eliminerings	Totalt
Ränter netto	23 082	7 590	4 264	1 354	301	32		36 614
Provisionsnetto	8 356	807	688	147	771	213		10 981
Nettorisult av finansiella transaktioner	508	248	90	21	1 131	-457		1 540
Försäkringsnetto	-41		30					-11
Andelar i intresseföretags och joint ventures resultat						-13		-13
Övriga intäkter	103	14	25	1	9	1 111		1 253
Summa intäkter	32 008	8 649	5 007	1 523	2 212	885		50 375
Personalkostnader	-3 978	-2 693	-1 028	-442	-1 143	-3 778	22	-13 040
Övriga kostnader	-1 497	-789	-255	-94	-326	-3 525		-6 526
Intant köpta och sålda tjänster	-4 630	-1 076	-667	-241	-344	6 959		
Av- och nadslevningar av materiella och immateriella tillgångar	-417	-313	-92	-54	-147	-601	-23	-1 646
Summa kostnader	-10 822	-4 872	-2 082	-832	-1 909	-944	-1	-21 212
Resultat före kreditförluster, röskatt och resolutionsavgift	21 486	3 778	3 016	691	283	-60	-1	29 163
Kreditförluster, netto	135	-55	-152	0	-13	38		-47
Vinstenförklarvid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	10	10	6		0	-2		24
Röskatt och resolutionsavgift	-1 659		-359	-81	-33	-180		-2 311
Röreliseresultat	19 072	3 733	2 610	610	206	-208	-1	28 829
Resultatdelning	374	49	69	0	-531	39		
Röreliseresultat efter resultatdelning	20 346	3 781	2 679	610	-324	-169	-1	28 829
Interna intäkter <sup>1</sup>	1 727	52	-3 838	-453	615	1 897		
KK-fal, %	32,5	56,0	40,3	54,6	116,5			42,1
Kreditförlustnivå, %	-0,01	0,01	0,04	0,00	0,06			0,00
Utlåning till allmänheten	1 621 692	239 207	318 243	96 208	18 341	23 254	-1 136	2 315 818
In- och upplåning från allmänheten	876 230	257 534	101 184	31 317	35 809	18 630	-1 778	1 318 925
Allokerat kapital	106 101	20 436	20 074	3 582	2 072	14 414	27 345	194 024
Räntabilitet på allokerat kapital, %	15,9	15,1	10,5	14,7	-11,5			12,6
Medelantal anställda	3 907	2 481	763	357	585	2 861		10 954

<sup>1</sup> Interna intäkter som ingår i Summa intäkter består av intäkter från transaktioner med andra rörelsesegment och Övrigt. Eftersom ränteläntäkter och räntekostnader redovisas netto som en intäkt/innabär det att Interna intäkter bland annat innehåller nettot av intern finansieringskostnad mellan segmenten och Övrigt.

Kolumnen Övrigt i tabellen ovan inkluderar Utlåning till allmänheten, In- och upplåning från allmänheten samt Allokerat kapital hänförligt till avyttringsgrupperna i Finland.

Intäkter per produktområde		
mkr	2023	2022
In- och utlåning privat	21 554	17 378
In- och utlåning företag	27 956	20 168
Betalningar netto	1 758	1 711
Kapitalförvaltning fonder	6 531	6 380
Pension och Försäkring	830	952
Investmentbankstjänster	1 907	6 430
Övrigt	1 714	-2 644
Summa	62 349	50 375

## NOTER | KONCERNEN

## K47 Geografisk information

Geografisk information 2023				Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt	Tillgångar	Anläggnings- tillgångar
mil	Intäkter	Rörelseresultat	Skatt			
Sverige	39 928	24 034	-5 256		3 127 776	6 226
Storbritannien	13 260	7 577	-2 085		414 494	1 561
Norge	5 360	2 808	-685		362 139	910
Nederländerna	2 368	1 321	-341		230 677	256
USA	673	540	-80		374 811	85
Luxemburg	320	179	-38		14 990	10
Frankrike	2	-5	2			
Polen	-75	-172			315	1
Danmark	9	-4	78		857	
Finland				1 209	181 766	409
Goodwill och övriga koncernövervärden					4 477	4 477
Elimineringar	405	-47	-12		-1 174 452	-590
Summa	62 249	36 322	-8 417	1 209	3 637 792	13 344

Geografisk information 2022				Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt	Tillgångar	Anläggnings- tillgångar
mil	Intäkter	Rörelseresultat	Skatt			
Sverige	32 227	17 521	-3 500		3 025 964	6 286
Storbritannien	9 126	4 318	-1 164		412 066	1 525
Norge	4 872	2 550	-643		353 325	646
Nederländerna	1 483	604	-170		234 747	220
USA	518	363	-9		422 255	102
Luxemburg	226	103	-25		18 129	20
Kina	0	1				
Tyskland	0	26				
Frankrike	13	-9	0		2	
Polen	-20	-73	0		386	3
Danmark				189	2 711	0
Finland				91	126 804	499
Goodwill och övriga koncernövervärden					4 545	4 545
Elimineringar	1 930	1 395	60		-1 216 217	-590
Summa	60 376	26 829	-5 431	280	3 483 718	13 316

Intäkter, rörelseresultat, årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt samt tillgångar som presenteras i den geografiska informationen består av interna och externa intäkter, kostnader och tillgångar i respektive land. Den geografiska fördelningen av intäkter och kostnader är baserad på det land där transaktionen är genomförd och är inte jämförbar med redovisningen av segmentinformation. Med skatt avses aktuell och uppskjuten skatt. Ytterligare geografisk information lämnas i not M17 avseende koncernföretag och deras söte samt i not K8 avseende medelsamt anställda per land.

NOTER | KONCERNEN

## K48 Tillgångar och skulder i valuta

2023 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
<b>Tillgångar</b>								
Kassa och tillgodohavande hos centralbanker	67 895	128 820	4 776	0	113 645	160 935	109	476 181
Övrig utlåning till centralbanker		29 326	1 687		1 131			32 145
Utlåning till övriga kreditinstitut	259	5 772	9 671	1	873	2 299	422	19 297
Utlåning till allmänheten	1 579 316	287 783	319 815	1 464	234 892	9 330	1 617	2 434 217
varav förslag	598 485	155 869	201 140	1 443	167 456	9 171	573	1 164 137
varav hushåll	974 083	101 914	118 675	21	67 436	159	1 044	1 263 332
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	181 752	7 561	36	1		9 778		199 128
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	36 868	486	12 223			509		50 087
Övriga ej valutafördelade poster	326 737							326 737
<b>Summa tillgångar</b>	<b>2 192 827</b>	<b>459 740</b>	<b>348 209</b>	<b>1 465</b>	<b>390 541</b>	<b>182 862</b>	<b>2 148</b>	<b>3 637 792</b>
<b>Skulder</b>								
Skulder till kreditinstitut	15 666	50 097	18 093	64	346	6 835	22	91 124
In- och upplåning från allmänheten	814 008	140 586	110 296	1 171	257 177	24 238	2 561	1 350 037
varav förslag	335 161	110 747	75 877	1 034	190 553	20 797	1 767	735 931
varav hushåll	478 848	29 839	34 424	138	66 624	3 441	799	614 106
Emitterade värdepapper	589 595	407 148	27 016		37 930	469 581	22 211	1 523 481
Efterställda skulder	0	22 740			6 258	14 120		43 117
Övriga ej valutafördelade poster, inkl. eget kapital	530 033							530 033
<b>Summa skulder och eget kapital</b>	<b>1 929 302</b>	<b>620 570</b>	<b>166 404</b>	<b>1 236</b>	<b>301 711</b>	<b>604 774</b>	<b>24 794</b>	<b>3 637 792</b>
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		160 527	-192 764	-223	-48 850	321 918	22 716	
Nettoposition i valuta		-294	41	7	-20	-4	70	-200

Bankens syn på valutarsäkrande framgår av not K2.

Tillgångar och skulder i tabellen ovan inkluderar avyttringsgrupperna i Finland som i balansräkningen omklassificerats till tillgångar som innehas för försäljning respektive skulder som innehas för försäljning, se not K14.

2022 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
<b>Tillgångar</b>								
Kassa och tillgodohavande hos centralbanker	100 413	136 928	8 962	0	99 872	129 674	34	475 882
Övrig utlåning till centralbanker		31 364			1 256			32 620
Utlåning till övriga kreditinstitut	480	3 709	2	1	903	3 894	424	9 415
Utlåning till allmänheten	1 586 449	292 228	324 563	9 901	242 246	11 704	2 233	2 469 324
varav förslag	602 504	183 963	206 027	9 884	169 380	11 517	847	1 184 121
varav hushåll	983 946	108 265	118 537	17	72 867	1 87	1 385	1 285 204
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	117 546	5 483	36	1		9 712		132 778
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	22 353	1 472	8 362			519		32 697
Övriga ej valutafördelade poster	301 002							301 002
<b>Summa tillgångar</b>	<b>2 128 244</b>	<b>471 184</b>	<b>341 916</b>	<b>9 902</b>	<b>344 277</b>	<b>186 808</b>	<b>2 691</b>	<b>3 453 718</b>
<b>Skulder</b>								
Skulder till kreditinstitut	17 760	50 548	29	1 906	115	11 920	23	82 372
In- och upplåning från allmänheten	848 467	136 375	91 473	1 201	252 592	43 167	3 011	1 376 286
varav förslag	366 562	103 155	58 072	1 110	179 920	39 354	2 184	750 356
varav hushåll	481 906	33 220	33 401	91	72 672	3 814	828	625 930
Emitterade värdepapper	511 251	342 123	25 828		39 407	536 118	20 076	1 474 801
Efterställda skulder	0	22 266			5 930	14 208		42 404
Övriga ej valutafördelade poster, inkl. eget kapital	477 854							477 854
<b>Summa skulder och eget kapital</b>	<b>1 886 391</b>	<b>651 311</b>	<b>117 330</b>	<b>3 107</b>	<b>298 044</b>	<b>606 483</b>	<b>23 110</b>	<b>3 453 718</b>
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		80 111	-224 481	-6 818	-46 235	449 932	20 487	
Nettoposition i valuta		-16	105	-24	-2	-78	68	53

## NOTER | KONCERNEN

## K49 Innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag

mkr	Innehav i fonder	
	2023	2022
<b>Tillgångar<sup>1</sup></b>		
Aktier och andelar	5 928	5 572
Tillgångar där kunden står värdepåföringsrisken	240 092	200 633
<b>Summa innehav i strukturerade företag som inte konsolideras</b>	<b>246 020</b>	<b>215 205</b>

<sup>1</sup> Varav 9 586 mkr (9 145) ingår i avyttringsgruppen i Finland som har omklassificerats till Tillgångar som innehåller förståelse, se not K14.

Ett strukturerat företag är ett företag som har utformats så att röster eller liknande rättigheter inte är den dominerande faktorn vid avgörandet av vem som har det bestämmande inflyandet i företaget, exempelvis när röststämman endast avser administrativa uppgifter och relevanta aktiviteter regleras genom avtal. Handelsbankens innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag är begränsade och utgörs av fondandelar. Fondandelar ägs främst genom fondförståelseavtal hos Handelsbanken Ly samt liknande avtal i andra länder. Fondandelar som ägs genom fondförståelseavtal utgör inte grund för konsolidering och utgör därmed icke-konsoliderade strukturerade företag. Handelsbanken äger vidare fondandelar i egenkap av marknadsmaker. I den mån dessa innehav inte konsolideras utgör de andelar i icke-konsoliderade strukturerade företag. Den maximala exponeringen för förlust för alla innehav i icke-konsoliderade strukturerade företag är det redovisade värdet på innehaven. De totala tillgångarna för dessa företag anses inte som material information för att förstå de relaterade riskerna och därför har de inte presenterats.

## K50 Upplysningar om närstående

Fordringar på och skulder till närstående	Intrassföretag och joint ventures		Övriga närstående	
	2023	2022	2023	2022
<b>Utlåning till allmänheten</b>	<b>334</b>	<b>1 289</b>		
Övriga tillgångar	30	28	13	16
<b>Summa</b>	<b>364</b>	<b>1 317</b>	<b>13</b>	<b>16</b>
<b>In- och upplåning från allmänheten</b>	<b>311</b>	<b>127</b>	<b>1 159</b>	<b>1 528</b>
<b>Summa</b>	<b>311</b>	<b>127</b>	<b>1 160</b>	<b>1 528</b>

Närstående- intäkter och kostnader	Intrassföretag och joint ventures		Övriga närstående	
	2023	2022	2023	2022
<b>Räntaintäkter</b>	<b>22</b>	<b>8</b>		
Räntekostnader	-3		-140	-6
Provisionaintäkter	1			
Provisionkostnader	-223	-229		
Övriga intäkter			18	19
Övriga kostnader	-177	-102	-182	-178
<b>Summa</b>	<b>-380</b>	<b>-323</b>	<b>-313</b>	<b>-165</b>

Siffrorna ovan omfattar total verksamhet.

Specifikation över intrassföretag och joint ventures samt information om aktieägarens tillgång till intrassföretag finns i not K20. Intrassföretagens och joint ventures verksamhet består i att utföra olika typer av tjänster som har anknytning till bankens verksamhet. I gruppen Övriga närstående ingår följande företag: Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse, Svenska Handelsbankens Personalförsäkring och Pensionskassan S-HB Tjänstepensionsförsäkring (Pensionskassan). Företagen ansluter Svenska Handelsbanken AB för sedvanliga bank- och redovisningstjänster.

Moderbolagets svenska dotterbolag har betalat pensionspremier avseende förmlänsbestämda pensioner till Pensionskassan uppgående till 81 mkr (85). Pensionskassans utfästelser till anställda i dotterbolag garanteras av moderbolaget, det vill säga om Pensionskassan inte skulle kunna betala sina åtaganden så är moderbolaget skyldigt att ta över och betala åtagandet. Pensionskassans förpliktelser uppgår till 7 000 mkr (6 156). Svenska Handelsbanken AB har begärt ersättning av Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse uppgående till 720 mkr (-) avseende pensionskostnader samt av Svenska Handelsbankens Personalförsäkring uppgående till 44 mkr (47) för personaltjänstgöringsåtgärder.

Information om krediter till ledande befattningshavare samt om ledande befattningshavares villkor och ersättningar i övrigt framgår av not K8.

## K51 Händelser efter balansdagen

Inga väsentliga händelser har inträffat efter balansdagen.



## K52 Övergång till IFRS 17

I tabellerna nedan visas omräkning av jämförelsetalen för 2022 med anledning av övergången till IFRS 17 samt den initiala effekten på eget kapital den 1 januari 2022.

Resultaträkning koncernen mkr	Publicerat helår 2022	Justering IFRS 17	Omräknat helår 2022
Räntesnetto <sup>1</sup>	36 610	4	36 614
Provisionsnetto <sup>2</sup>	11 103	-122	10 981
Nettorisultat av finansiella transaktioner <sup>3</sup>	1 111	429	1 540
Risikoresultat försäkring <sup>4</sup>	176	-176	0
Försäkringsresultat <sup>4</sup>		280	280
Avkastning på tillgångar som innehas för försäkringstagarnas räkning <sup>4</sup>		-291	-291
Försäkringsnetto <sup>4</sup>		-11	-11
Övrigt	1 250		1 250
Summa intäkter	60 240	126	60 376
Personalkostnader <sup>5</sup>	-13 103	63	-13 040
Övriga kostnader <sup>5</sup>	-6 543	17	-6 526
Av- och nadskrivningar för materiella och immateriella tillgångar <sup>6</sup>	-1 650	4	-1 646
Summa kostnader	-21 296	84	-21 212
Resultat före kreditförluster, rörelsekost och resolutionsovgift	28 053	210	28 163
Övrigt	-2 334	0	-2 334
Rörelseresultat	28 619	210	28 829
Skatter	-5 429	-2	-5 431
Årets resultat från kvarvarande verksamhet	21 190	208	21 398
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet, efter skatt	280	0	280
Årets resultat	21 470	208	21 678
varav tillhör			
Aktieägare i Svenska Handelsbanken AB	21 468	208	21 676
Innehav utan bestämmande inflytande	1		1
Nyckeltal			
Räntabilitet på eget kapital, total verksamhet	12,5		12,8
KPI-tal, kvarvarande verksamhet	42,4		42,1
Resultat per aktie, total verksamhet, kr	10,84		10,95
Resultat per aktie, kvarvarande verksamhet, kr	10,70		10,81
Resultat per aktie, avvecklad verksamhet, kr	0,14		0,14

<sup>1</sup> Omklassificering av intäkter och kostnader hänförliga till försäkringsavtal till raden Försäkringsresultat eftersom sparförsäkringsmomentet i traditionell livförsäkring har bytt redovisningsprincip från IFRS 9 till IFRS 17.

<sup>2</sup> Raden Risikoresultat försäkring har utgått och samtliga intäkter och kostnader hänförliga till försäkringsavtal redovisas på raden Försäkringsresultat.

<sup>3</sup> Raden Försäkringsresultat innehåller samtliga intäkter och kostnader hänförliga till försäkringsavtal, även rörelsekostnader.

<sup>4</sup> Raden Avkastning på tillgångar som innehas för försäkringstagarnas räkning redovisas enligt IFRS 9, men ingår i försäkringsnettot eftersom avkastningen är hänförlig till försäkringsavtal.

<sup>5</sup> I Försäkringsnettot ingår posterna Försäkringsresultat och Avkastning på tillgångar som innehas för försäkringstagarnas räkning.

<sup>6</sup> Omklassificering av rörelsekostnader hänförliga till försäkringsavtal till raden Försäkringsresultat.

Totalresultat koncernen mkr	Publicerat helår 2022	Justering IFRS 17	Omräknat helår 2022
Årets resultat	21 470	208	21 678
Övrigt totalresultat			
Försäkringsavtal		792	792
Övrigt	2 046	0	2 046
Summa övrigt totalresultat	2 046	792	2 838
Årets totalresultat	23 516	1 000	24 516
varav tillhör			
Aktieägare i Svenska Handelsbanken AB	23 515	1 000	24 515
Innehav utan bestämmande inflytande	1	0	1

## NOTER | KONCERNEN

## K52 Forts

Balansräkning koncernen mkr	Publicerat 31 dec 2021	Justering IFRS 17	Omräknet 1 jan 2022	Publicerat 31 dec 2022	Justering IFRS 17	Omräknet 31 dec 2022
Uppskjutna skattefordringar <sup>1</sup>	845	3	848	1589	1	1 590
Övriga tillgångar <sup>2</sup>	5 785	1	5 786	14 720	1	14 721
Övrigt	3 340 134		3 340 134	3 437 407		3 437 407
Summa tillgångar	3 346 764	4	3 346 768	3 483 716	2	3 483 718
In- och upplåning från allmänheten <sup>3</sup>	1 286 637	-6 400	1 280 147	1 325 061	-6 136	1 318 925
Försäkringskulder <sup>4</sup>	532	9 457	9 989	405	8 141	8 546
Övriga skulder <sup>5</sup>	11 304	44	11 348	10 451	3	10 454
Övrigt	1 866 560		1 866 560	1 921 768		1 921 768
Summa skulder	3 165 033	3 011	3 168 044	3 257 686	2 008	3 259 693
Försäkringsavtal					793	793
Balanserad vinst <sup>6</sup>	134 507	-3 007	131 500	144 841	-3 007	141 834
Årets resultat	19 527		19 527	21 468	208	21 676
Övrigt	27 697		27 697	29 721		29 721
Summa eget kapital	181 731	-3 007	178 724	196 030	-2 008	194 024
Summa skulder och eget kapital	3 346 764	4	3 346 768	3 483 716	2	3 483 718

<sup>1</sup> Skatteeffekt vid övergång till IFRS 17.

<sup>2</sup> Omvärdering av posten återförsäkringstillgångar eftersom en riskjustering har tillkommit vid värdering av återförsäkrans andel av skulden för inträffade skador.

<sup>3</sup> Omklassificering till posten Försäkringskulder eftersom sparförsäkringsmomentet i traditionell livförsäkring har bytt redovisningsprincip från IFRS 9 till IFRS 17.

<sup>4</sup> Omklassificering från posten In- och upplåning från allmänheten samt omvärdering av sparförsäkringsmomentet i traditionell livförsäkring till följd av byte av redovisningsprincip. Försäkringskuldena uppgår efter omklassificering till 9 989 mkr varav 9 657 mkr är hänförligt till avtal som tillämpade verkligt värde metoden vid övergången och använder den generella modellen. Vidare är 332 mkr hänförligt till avtal som tillämpade den fullständigt retroaktiva metoden vid övergången och använder premiefördelingsmetoden.

<sup>5</sup> Omklassificering av placerade inbetalningar från posten Försäkringskulder till övriga skulder eftersom dessa inte skulle komma att redovisas enligt IFRS 17.

<sup>6</sup> Den kvantitativa effekten av övergången till IFRS 17 minskade balanserad vinstmedel och ökade posten Försäkringskulder med 3 007 mkr varav 2 996 mkr är hänförligt till sparförsäkringsmomentet i traditionell livförsäkring. Vidare är 11 mkr hänförligt till att en riskjustering tillkom vid värdering av skulden för inträffade skador.

## K53 Kapitaltäckning

### KAPITALPOLICY

Banken har som mål att upprätthålla en betydande kapitalnivå som svarar mot de risker som koncernens verksamhet innebär och som överstiger de minimikrav som lagen föreskriver. En god kapitalnivå behövs för att kunna hantera situationer med finansiell påfrestning, men även andra händelser såsom förvärv och kraftig volymtillväxt.

### KAPITALKRAVSREGLER

Enligt kapitaltäckningsreglerna, förordning (EU) nr 575/2013 (CRR) och direktiv 2013/36/EU (CRD IV), ska banken ha kärnprimärkapital, primärkapital och en total kapitalbas som minst motsvarar kraven i förhållande till det totala riskvägda exponeringsbeloppet för kreditrisker, marknadsrisker och operativa risker. Utöver att hålla kapital enligt minimikravet ska banken hålla kärnprimärkapital för att uppfylla det kombinerade buffertkravet som i Sveriges utgörs av summan av en kapitalkonserveringsbuffert, en cyklicitetsbuffert, en systemriskbuffert samt en buffert för övriga systemviktiga institut. Banken har även ett minimikapitalkrav i pelare 2. Pelare 2-kravet är ett individuellt krav beslutat av Finansinspektionen och ska täcka risker som inte fullt ut fångas av regelverkets minimi- och kombinerade buffertkrav. Till dessa krav tillkommer även anvisning i pelare 2 beslutat av Finansinspektionen, vilket är myndighetens syn på vilken lägsta buffert banken åläggs hålla i tillägg till det beslutade kapitalbehovet. Banken ska dessutom göra en intern kapitalutvärdering. Handelsbankens kapitalpolicy anger riktlinjerna för den interna kapitalutvärderingen. Banken omfattas även av ett kapitalkrav på nivån finansiellt konglomerat enligt lagen (2006:531) om särskild tillsyn över finansiella konglomerat, se vidare Kapitaltäckning för det finansiella konglomeratet nedan. Sedan 1 februari 2016 gäller även att resolutionsmyndigheten, som i Sverige är Riksgäldskontoret, ska fastställa ett minimikrav på nedskrivningsbara skulder (MREL) för banken, se nedan Minimikravet för nedskrivningsbara skulder. Banken har under 2023, med god marginal, uppfyllt samtliga av de lagstadgade minimi- och buffertnivåerna. Detaljerad information om bankens kapitalbas och kapitalkrav finns i not K2, Risk- och kapitalhantering, samt i Handelsbankens publikation Risk and Capital – Information according to Pillar 3, se handelsbanken.com/risv. I denna publikation återfinns även fullständig information kring villkoren avseende Handelsbankens samtliga kapitalbas- och kvalificerade skuldinstrument.

### BESKRIVNING AV KONSOLIDERAD SITUATION

Den regleringsmässiga konsolideringen (konsoliderad situation) består av moderbolaget samt dotter- och intresseföretag som också ingår i koncernens redovisning, se tabell EU L13. Översikt över skillnader mellan olika konsolideringar (enhet per enhet). De bolag som ingår i koncernredovisningen men som inte ingår i den konsoliderade situationen framgår också av tabell EU L13. Preciser som i koncernredovisningen konsolideras intresseföretag enligt kapitalandelsmetoden i den regleringsmässigt konsoliderade situationen. Samtliga dotterbolag som omfattas av regelverket ingår i konsoliderad situation. Handelsbanken har inga dotterbolag där den faktiska kapitalbasen underskrider föreskriven kapitalbas.

### BESKRIVNING AV KAPITALBASEN FÖR KONSOLIDERAD SITUATION

Kapitalbasen består av primärt respektive supplementärt kapital. Det primära kapitalet delas in i kärnprimärkapital samt övrigt primärkapital. Kärnprimärkapitalet utgörs i huvudsak av aktiekapital, upparbetade vinstmedel samt övriga reserver i de bolag som ingår i konsolideringen. Övrigt primärkapital utgörs av utgivna primärkapitaltillskott. Det supplementära kapitalet består huvudsakligen av förlagelån. Från kapitalbasen görs därefter vissa avdrag. Avdragen görs huvudsakligen från kärnprimärkapitalet. För bankens riskhantering är det viktigt att såväl koncernen som den regleringsmässiga konsolideringen riskmässigt kan ses som en enhet. För att risker ska kunna hanteras effektivt i koncernen kan kapital behöva omfördelas mellan de olika företagen i koncernen. Banken har generellt sett möjlighet att omfördela kapital mellan koncernens bolag, inom ramen för de begränsningar som följer av lagstiftning, till exempel kapitaltäckningskrav och bolagsrättsliga begränsningar. Banken ser i övrigt inga materiella eller rättsliga hinder för en snabb överföring av medel ur kapitalbasen eller återbetalning av skulder mellan moderbolaget och dess dotterföretag.

#### Primärkapital

Primärkapitalet utgörs av kärnprimärkapital respektive övrigt primärkapital.

#### Kärnprimärkapital

Kärnprimärkapitalet utgörs till största delen av aktiekapital, upparbetade vinstmedel samt övriga reserver i de bolag som ingår i den regleringsmässiga konsolideringen. I och med att koncernens försäkringsbolag inte ingår i

konsolideringen, se tabell EU L13, ingår inte upparbetade vinstmedel i dessa bolag i kärnprimärkapitalet. De poster som ska exkluderas från kärnprimärkapitalet är främst goodwill och andra immateriella tillgångar samt kapitaltillskott till försäkringsbolag i koncernen eller vissa uppskjutna skattefordringar som överstiger 10% av kärnprimärkapitalet. Summan av kapitaltillskott och uppskjutna skattefordringar får heller inte överstiga 15% av kärnprimärkapitalet. Eftersom varken kapitaltillskotten till försäkringsbolagen i koncernen eller de uppskjutna skattefordringarna överstiger tröskelvärdet, belastas dessa inte kärnprimärkapitalet. Neutralitetsjustering görs för påverkan som kassafördessäkringar har haft på eget kapital. Dessutom ska en prisjustering beräknas och vid behov görs för försiktig värdering av instrument som värderas till verkligt värde. Institut som har tillstånd att använda interna riskklassificeringsmodeller ska göra ett avdrag för skillnaden mellan förväntad kreditförlust enligt internmetoden och gjorda reserveringar för sannolika kreditförluster i det fall de förväntade kreditförlusterna överstiger gjorda reserveringar. Avdrag ska även göras för nettovärdet av redovisade övervärden för pensionstillgångar. Avdraget får emellertid minskas med ett belopp som motsvarar bankens rätt till ersättning för pensionskostnader från Handelsbankens Pensionsstiftelse. Vidare görs ett avdrag för tillstånd att inneha egna aktier i ägenskap av marknadsgarant. Avdraget ska motsvara det högsta marknadsvärdet tillståndet omfattar. Slutligen görs ett avdrag för investeringar i värdepappersfonder samt en justering för effekten av förändringar i egen kreditrisk i derivat.

#### Övrigt primärkapital

Övrigt primärkapital utgörs av instrument som uppfyller kraven för primärkapitaltillskott. Bland annat ska tillskotten ha evig löptid och kunna förtidsinlösas tidigast efter fem år och först efter att tillstånd utfärdats av tillsynsmyndigheten. Det nominella värdet ska kunna skrivas ned eller konverteras till aktier för att skapa kärnprimärkapital vid en förutbestämd nivå på kärnprimärkapitalet, och räntebetalningarna ska oavkortat kunna ställas in.

Bankens samtliga primärkapitaltillskott uppgår till 15,0 mdkr. 10,0 mdkr av dessa emitterades under 2020 och 5,0 mdkr emitterades under 2019, samtliga uppfyller kraven enligt CRR. I det fall utdelningsbara medel saknas måste kupongutbetalningar ställas in för primärkapitaltillskott.

## NOTER | KONCERNEN

## K53 Forts

**Supplementärkapital**

Det supplementära kapitalet utgörs av förlagslån med en löptid om minst fem år. Avdrag görs för förlagslånetillskott till försäkringsbolagen inom koncernen.

**KAPITALKRAV****Kreditrisk**

Kapitalkravet för kreditrisk beräknas enligt schablonmetoden och intermetoden enligt CRR. För intermetoden finns två olika metoder: intermetoden med egen skattning av PD men utan egna skattningar av LGD och KF (den grundläggande intermetoden) och intermetoden med egna skattningar av PD, LGD och KF (den avancerade intermetoden).

Handelsbanken tillämpar den grundläggande intermetoden för exponeringar mot institut, samt för vissa produkt- och säkerhetstyper avseende företagsexponeringar samt vissa exponeringar i dotterbolagen Stadshypotek AB och Handelsbanken Finans AB.

Den avancerade intermetoden tillämpas för merparten av exponeringarna mot stora företag, medelstora företag, fastighetsbolag och bostadsrättsföreningar samt i Stadshypotek AB och Handelsbanken Finans AB. Detsamma gäller för hushållsexponeringar i Sverige, Norge och Finland samt i dotterbolagen Stadshypotek och Handelsbanken Finans. Kapitalkravet för aktieexponeringar i intermetoden beräknas enligt förenklad riskviktsmetod.

Kreditrisken för samtliga exponeringar i Handelsbankens dotterbolag Handelsbanken plc beräknas på solo- och konsoliderad nivå i enlighet med schablonmetoden.

Intermetoden omfattade vid årsskiftet 75% (74) av det totala riskvägda exponeringsbeloppet för kreditrisk. För resterande kreditriskexponeringar beräknas kapitalkravet enligt schablonmetoden.

Den genomsnittliga riskvikten för exponeringar godkända för intermetoden ökade under året och uppgick till 11,9% (9,7). Den genomsnittliga riskvikten inklusive riskviktsgolven enligt Pelare 1 för bolån i Sverige och Norge samt för företagsexponeringar med pant i fastigheter i Norge blir 19,1% (17,7).

Kreditkvaliteten är god. Av Handelsbankens företagsexponeringar var 96,9% (99,1) kunder med en bedömd återbetalningsförmåga som var normal, eller bättre än normal, det vill säga hade en riskklassificering mellan 1 och 5 i bankens tjugradiga skala för riskklassificering.

**Marknadsrisker**

Kapitalkravet för marknadsrisker beräknas för bankens konsoliderade situation. Kapitalkravet för ränterisker och aktiekursrisker beräknas dock endast för positioner i handelslaget. Vid beräkning av kapitalkravet för marknadsrisker tillämpas schablonmetoden.

**Operativ risk**

Handelsbanken använder schablonmetoden för att beräkna kapitalkravet för operativa risker. Kapitalkravet enligt schablonmetoden beräknas genom att en i regelverket bestämd faktor multipliceras med den genomsnittliga rörelseintäkten under de tre senaste verksamhetsåren. Olika faktorer tillämpas för olika affärssegment.

Det totala kapitalkravet för operativa risker för konsoliderad situation uppgick vid utgången av 2023 till 6 017 mkr (5 732).

**KAPITALTÄCKNING FÖR DET FINANSIELLA KONGLOMERATET**

Institut och försäkringsföretag som ingår i ett finansiellt konglomerat ska ha en kapitalbas som är tillräckligt stor med hänsyn till kapitalkravet för det finansiella konglomeratet. Kapitalbasen och kapitalkravet för det finansiella konglomeratet har beräknats i enlighet med avräknings- och totalmetoden (metod 2, bilaga 1, direktiv 2002/87/EG). Det finansiella konglomeratets sammanlagda kapitalbas överstiger det finansiella konglomeratets kapitalkrav.

**MINIMIKRAVET PÅ KAPITALBAS OCH KVALIFICERADE SKULDER (MREL)**

Krishanteringsdirektivet (EU) nr 2014/59 (BRRD) infördes i Sverige genom lagen (2015:1016) om resolution. Regelverket innehåller sätt att hantera banker i kris och möjliggör för myndigheter att, inom dessa ramar, ta kontroll över, omstruktureras och sälja av hela eller delar av en bank. Detta utan att likvidera eller försätta banken i konkurs. Som tillägg till ovan åtgärder i kris, innebär regelverket en möjlighet att skriva ned vissa skuldinstrument för att återkapitalisera en krisutsatt bank.

Som en del av detta regelverk infördes ett minimikrav på kapitalbas och kvalificerade skulder (MREL) från och med den 1 januari 2018. Kravet beslutas i bankens resolutionsplan som upprättas av Riksgälden i samarbete med Finansinspektionen. Kravet består av ett förlustabsorberingsbelopp och ett återkapitaliseringsbelopp.

Under 2021 anpassades regelverket till nya EU-direktiv (bankpaketet). MREL ska uttryckas som en riskvägd kvot samt en bruttosolditetskvot. Det kombinerade buffertkravet ska uppfyllas med kärnprimärkapital (utöver det kärnprimärkapital som används till MREL) och ett obligatoriskt efterställningskrav införs. För att uppfylla kravet på efterställning har en ny typ av skuldinstrument införts i svensk lagstiftning från december 2018. Dessa efterställs nuvarande seniora skuldinstrument, men rankas högre än kapitalbasinstrument vid ett resolutionsförfarande. Handelsbanken har emitterat denna typ av efterställda skuldinstrument sedan 2019. De nya kraven ska vara uppfyllda senast den 1 januari 2024, men övergångsregler tillämpades från 1 januari 2022.

För 2024, uppgår Handelsbankens totala MREL krav avseende riskvägt belopp till 27,1% och avseende bruttosolditet till 6,0% på konsoliderad nivå. På motsvarande sätt uppgår efterställningskravet till 20,0% respektive 6,0%. Handelsbanken uppfyller samtliga MREL krav.

## NOTER | KONCERNEN

## K53 Forts

## EULB – Översikt över skillnader mellan olika konsolideringar (enhet per enhet)

Tabellen visar konsolideringsgrund för företag som omfattas av den konsoliderade situationen vid årets slut.

EU U3 – Översikt över skillnader mellan olika konsolideringar (enhet per enhet) 2023

	Organisationsnummer	Ägarandel %	Metod för konsolidering enligt redovisningsregler	Metod för konsolidering enligt tillägsregler					Beskrivning av enheten
				Fullständig konsolidering	Proportionell konsolidering	Kapitalandelsmetoden	Varken konsoliderad eller avdragen	Avdragen	
Svenska Handelsbanken AB (publ)	602007-7882	Ej tillämpligt	Moderbolag	N/A					Kreditinstitut
Handelsbanken Finans AB (publ)	556053-0641	100	Fullständig konsolidering	X					Kreditinstitut
Stadshypotek AB (publ)	556459-6715	100	Fullständig konsolidering	X					Kreditinstitut
Svenska Intäcknings Garanti AB Stigab (inaktiv)	556432-7285	100	Fullständig konsolidering	X					Icke-finansiella företag
Handelsbanken Fonder AB	556418-8851	100	Fullständig konsolidering	X					Övriga finansiella företag
AB Handel och Industri	556013-5336	100	Fullständig konsolidering	X					Icke-finansiella företag
Ecster AB (publ)	556993-2311	100	Fullständig konsolidering	X					Kreditinstitut
Handelsbanken plc	11305395	100	Fullständig konsolidering	X					Kreditinstitut
Handelsbanken Wealth and Asset Management Limited	04132340	100	Fullständig konsolidering	X					Övriga finansiella företag
Handelsbanken Nominees Limited (inaktiv)	2299677	100	Fullständig konsolidering	X					Icke-finansiella företag
Handelsbanken Second Nominees Limited (inaktiv)	3193458	100	Fullständig konsolidering	X					Icke-finansiella företag
Handelsbanken ACO Limited	4332528	100	Fullständig konsolidering	X					Icke-finansiella företag
Svenska Property Nominees Limited (inaktiv)	2308524	100	Fullständig konsolidering	X					Icke-finansiella företag
Optimix Vermögensbeheer N.V.	33194359	100	Fullständig konsolidering	X					Övriga finansiella företag
Add Value Fund Management B.V.	12195768	80	Fullständig konsolidering	X					Övriga finansiella företag
Optimix Beheer en Belegging B.V. (inaktiv)	33185584	100	Fullständig konsolidering	X					Icke-finansiella företag
Handelsbanken Markets Securities, Inc.	11-3257438	100	Fullständig konsolidering	X					Övriga finansiella företag
Handelsbanken Rahotus Oy	0112308-8	100	Fullständig konsolidering	X					Övriga finansiella företag
Handelsbanken Fastigheter AB	556873-0021	100	Fullständig konsolidering	X					Icke-finansiella företag
Rådslutpass 4 AS	910508428	100	Fullständig konsolidering	X					Icke-finansiella företag
Handelsbanken Ventures AB	556993-9357	100	Fullständig konsolidering	X					Icke-finansiella företag
Blitrustar AB	556993-9084	100	Fullständig konsolidering	X					Icke-finansiella företag
Gröna stugan i Stockholm AB	559311-4712	100	Fullständig konsolidering	X					Icke-finansiella företag
Röda Stugan 1 i Stockholm AB (inaktiv)	559314-1400	100	Fullständig konsolidering	X					Icke-finansiella företag
Vita Stugan 2 i Stockholm AB (inaktiv)	559314-1418	100	Fullständig konsolidering	X					Icke-finansiella företag
Vita Stugan 3 i Stockholm AB (inaktiv)	559314-1426	100	Fullständig konsolidering	X					Icke-finansiella företag
Vita Stugan 4 i Stockholm AB (inaktiv)	559314-1434	100	Fullständig konsolidering	X					Icke-finansiella företag
Bankomat AB	556817-9716	20	Kapitalandelsmetoden			X			Icke-finansiella företag
B3C Holding AB	556607-0693	25,54	Kapitalandelsmetoden			X			Icke-finansiella företag
Torlg AB	556564-5404	100	Kapitalandelsmetoden			X			Icke-finansiella företag
Finansial ID-teknik BID AB	556630-4928	26,3	Kapitalandelsmetoden			X			Icke-finansiella företag
USE Intressenter AB	559161-9464	24,48	Kapitalandelsmetoden			X			Icke-finansiella företag
Getwist AB	556913-7382	20	Kapitalandelsmetoden			X			Icke-finansiella företag
P27 Nordic Payments Platform AB	559198-9610	16,7	Kapitalandelsmetoden			X			Icke-finansiella företag

## NOTER | KONCERNEN

## K53 Forts

EU L13 – Översikt över skillnader mellan olika konsolideringar (enhet per enhet) 2023

	Organisationsnummer	Ägarandel %	Metod för konsolidering enligt redovisningsregler	Metod för konsolidering enligt tillägsregler					Beskrivning av enheten
				Fullständig konsolidering	Proportional konsolidering	Kapitalandelsmetoden	Varken konsoliderad eller avdragen	Avdragen	
Invidam AB	559210-0779	16,7	Kapitalandelsmetoden			X			Icke-finansiella företag
Tiborn AB	559384-3542	14,3	Kapitalandelsmetoden			X			Icke-finansiella företag
Handelsbanken Liv Försäkring AB (encom avd Handelsbanken Fastigheter AB)	516401-8284	100	Fullständig konsolidering					X	Försäkrings-enhet
Svenska Re S.A.	RCS Lux B-32053	100	Fullständig konsolidering					X	Försäkrings-enhet
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	516401-6767	100	Fullständig konsolidering					X	Försäkrings-enhet
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	2478149-7	100	Fullständig konsolidering					X	Försäkrings-enhet
Svenska RKA International Insurance Services AB (inaktiv)	556324-2964	100	Fullständig konsolidering					X	Försäkrings-enhet
Dyson Group plc	00163036	27	Kapitalandelsmetoden					X	Icke-finansiella företag
Dyson Industries Ltd	1187031	100						X	Icke-finansiella företag
Bespert Ltd	177682	100						X	Icke-finansiella företag
Pickford Holland & Company Ltd	128414	100						X	Icke-finansiella företag
Millennium Materials Inc	-	100						X	Icke-finansiella företag
EFN Ekonomikansalen AB	556930-1608	100						X	Icke-finansiella företag

Notera: Dessa bolag är utanför konsoliderad situation: Handelsbanken Liv Försäkrings AB, SHB Liv Försäkringsaktiebolag, Svenska RKA International Insurance Services AB, Handelsbanken Skadeförsäkrings AB, EFN Ekonomikansalen AB, Svenska Re S.A., Dyson Group plc, Dyson Industries Ltd, Bespert Ltd, Pickford Holland & Company Ltd och Millennium Materials Inc.

EU L12 – Huvudsakliga källor till skillnader mellan exponeringsbelopp enligt tillägskrav och bokförda värden i finansiella rapporter  
Tabellen visar skillnaden mellan bokförda värden enligt konsolideringen enligt tillägskrav och exponeringsbelopp som beaktas för tillägsändamål.

mkr	Summa	Poster som är föremål för			
		Kreditrisikramen	Värdepappersböringsramen	Motparts-kreditrisikramen	Marknads-riskramen
1 Belopp för tillgångars bokförda värde enligt konsolideringen enligt tillägskrav (enligt mall L11)	3 267 404	3 183 310	90 592	334	23 268
2 Belopp för skuldars bokförda värde enligt konsolideringen enligt tillägskrav (enligt mall L11)	11 179				11 179
3 Totalt nettobelopp enligt konsolideringen enligt tillägskrav	3 256 315	3 183 310	90 592	334	12 079
4 Belopp utanför balansräkningen	468 832	468 832			
5 Skillnader i värderingar					
6 Skillnader på grund av olika värderingsregler, utöver de som redan är inbegripna på rad 2	12 199		-7 781		19980
7 Skillnader på grund av beaktande av avstättningar	1 922	1 922			
8 Skillnader på grund av användning av kreditrisikreducerande metoder	-30 518	15 875	-46 393		
9 Skillnader på grund av kreditkonverteringsfaktorer	-286 614	-286 614			
10 Skillnader på grund av värdepappersärling med risk/avertöring					
11 Andra skillnader	-7 604		-7 604		
12 Exponeringsbelopp som beaktas för tillägsändamål	3 414 832	3 383 325	28 814	334	32 099

## NOTER | KONCERNEN

## K53 Forts

EU INS2 – Information från finansiella konglomerat om kapitalbas och kapitaltäckningskvot mkr		2023	2022
1	Det finansiella konglomeratets extra kapitalbaskrav (belopp)	11 559	10 759
2	Det finansiella konglomeratets kapitaltäckningskvot (%)	128,7	130,0
EUKM1 – Mall för nyckeltal			
Nykeltal 2023		2023	2022
Tillgänglig kapitalbas (belopp)			
1	Kärnprimärkapital	157 576	158 551
2	Primärkapital	172 603	174 134
3	Totalt kapital	200 081	193 186
Riskvägda exponeringsbelopp			
4	Totalt riskvägda exponeringsbelopp	836 730	810 144
Kapitalrelationer (som en procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)			
5	Kärnprimärkapitalrelation (%)	18,8	19,6
6	Primärkapitalrelation (%)	20,6	21,5
7	Total kapitalrelation (%)	23,9	23,8
Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera andra risker än risken för alltför låg bruttosoliditet (som en procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)			
EU 7a	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera andra risker än risken för alltför låg bruttosoliditet (%)	2,0	2,1
EU 7b	varav: skuldföras av kärnprimärkapital (i procentenheter)	1,3	1,3
EU 7c	varav: skuldföras av primärkapital (i procentenheter)	1,5	1,6
EU 7d	Totala kapitalbaskrav för överyns- och utvärderingsprocessen (%)	10,0	10,1
Kombinerat buffertkrav och samlat kapitalkrav (som en procentandel av det riskvägda exponeringsbeloppet)			
8	Kapitalkonservationsbuffert (%)	2,5	2,5
EU 8a	Konservationsbuffert på grund av makrotillägningsrisker eller systemriskar identifierade på medlemsstatnivå (%)		
9	Institutspecifikt kontracyklisk kapitalbuffert (%)	1,9	1,0
EU 9a	Systemriskbuffert (%)	3,2	3,2
10	Buffert för globalt systemvidigt institut (%)		
EU 10a	Buffert för andra systemvidiga institut (%)	1,0	1,0
11	Kombinerat buffertkrav (%)	8,6	7,7
EU 11a	Samlade kapitalkrav (%)	18,6	17,8
12	Tillgängligt kärnprimärkapital efter uppfyllande av de totala kapitalbaskraven för överyns- och utvärderingsprocessen (%)	13,1	13,7
Bruttosoliditetsgrad			
13	Totalt exponeringsmått	3 360 498	3 341 332
14	Bruttosoliditetsgrad (%)	5,1	5,2
Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera risken för alltför låg bruttosoliditet (som en procentandel av det totala exponeringsmåtten)			
EU 14a	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera risken för alltför låg bruttosoliditet (%)		
EU 14b	varav: skuldföras av kärnprimärkapital (i procentenheter)		
EU 14c	Totala krav avseende bruttosoliditetsgrad för överyns- och utvärderingsprocessen (%)	3,0	3,0
EU 14d	Krav på bruttosoliditetsbuffert (%)		
EU 14e	Samlat bruttosoliditetskrav (%)	3,0	3,0
Likviditetstäckningskvot			
15	Totala höglivaltitativa likvida tillgångar (iktatvärde – genomsnitt)	895 982	885 096
EU 16a	Likviditetsutlöden – totalt viktat	617 122	645 218
EU 16b	Likviditetsutlöden – totalt viktat	88 942	83 191
16	Totala netto likviditetsutlöden (justerat värde)	528 250	562 026
17	Likviditetstäckningskvot (%)	172	159
Stabil nettofinansieringskvot			
18	Total tillgänglig stabil finansiering	2 101 503	2 036 932
19	Totalt behov av stabil finansiering	1 758 065	1 793 937
20	Stabil nettofinansieringskvot (%)	120	114

## NOTER | KONCERNEN

## K53. Forts

## EU OV1 – Översikt över totala riskvägda exponeringsbelopp

Tabellen visar riskvägda exponeringsbelopp (REA) för kreditrisk, motpartsrisk, marknaderisk och operativ risk per utgången av 2023 och föregående år. Kreditrisk är beräknad enligt schablonmetoden, den grundläggande internmetoden och den avancerade internmetoden. Marknaderisk och operativ risk är beräknade enligt schablonmetoden.

## EU OV1 – Översikt över totala riskvägda exponeringsbelopp

nr		Totala riskvägda exponeringsbelopp		Totala kapitalkrav
		2023	2022	2023
1	Kreditrisk (exkl motpartskreditrisk)	726 276	602 008	68 102
2	varav schablonmetoden	183 540	182 775	14 684
3	varav den grundläggande internmetoden (F-RB)	53 702	51 700	4 295
4	varav klassificeringsmetoden			
EU 4a	varav skiljer enligt den arkiverade metoden	2 240	2 108	179
5	varav den avancerade internmetoden (A-RB)	278 625	221 409	22 290
5a	varav riskvägda	208 160	234 020	16 653
6	Motpartskreditrisk	11 827	11 883	946
7	varav schablonmetoden	8 507	8 255	681
8	varav metoden med interna modeller			
EU 8a	varav exponeringar mot en central motpart	268	174	21
EU 8b	varav kreditvärderingsjustering	2 463	2 802	197
9	varav andra motpartskreditrisker	580	602	47
10	Ej tillämpligt			
11	Ej tillämpligt			
12	Ej tillämpligt			
13	Ej tillämpligt			
14	Ej tillämpligt			
15	Anvecklingsrisk			
16	Värdepappersiseringsexponeringar utanför handelslagret (efter tillämpning av taket)			
17	varav intern kreditvärderingsmetod för värdepappersisering			
18	varav extern kreditvärderingsmetod för värdepappersisering (högst på internbedömningsmetoden)			
19	varav schablonmetoden för värdepappersisering			
EU 19a	varav 250% avdrag			
20	Positionerisk, valutakursrisk och råvarurisk (marknaderisk)	23 471	34 654	1 878
21	varav schablonmetoden	23 471	34 654	1 878
22	varav metoden för interna modeller			
23	Operativ risk	75 216	71 651	6 017
EU 23a	varav basmetoden			
EU 23b	varav schablonmetoden	75 216	71 651	6 017
EU 23c	varav intern mättningsmetoden			
24	Belopp under tryckskålar för avdrag (föremål för riskvikning på 250%)			
25	Ej tillämpligt			
26	Ej tillämpligt			
27	Ej tillämpligt			
28	Ej tillämpligt			
29	Summa	896 790	810 144	86 943

Tabellen visar kapitalkrav för marknaderisker enligt schablonmetoden per utgången av 2023.

Marknaderisk som behandlas enligt schablonmetoden		Kapitalkrav	
nr		2023	2022
Direkta produkter			
	Ränterisk (allmän och specifik)	243	176
	Aktiekursrisk (allmän och specifik)	3	1
	Valutakursrisk	1 615	2 576
	Råvarurisk	0	0
Optioner			
	Förenklad metod		
	Delta-plus-metod		
	Scenariometod	16	19
Värdepappersering (specifik risk)			
Summa kapitalkrav för marknaderisk		1 878	2 772



## NOTER | KONCERNEN

## K53 Forts

## Krav på kapitalbas och kvalificerade skulder (MREL)

MREL kravet uttrycks som en andel av kapitalbas och kvalificerade skulder i förhållande till riskexponeringsbeloppet respektive bruttosoldat (SFS 2015:1016). Bankens krav bestäms en gång per år av Riksgälden och slutligt krav har fastsatts inläggt under en övergångsperiod från 1 januari 2022 till 1 januari 2024.

Krav på kapitalbas och kvalificerade skulder (MREL) %	2023	2022
Riskvägt MREL krav	23,8	19,9
Tillgänglig kapitalbas och kvalificerade skulder	39,6	36,5
Icke-riskvägt MREL krav	5,5	5,0
Tillgänglig kapitalbas och kvalificerade skulder	11,9	10,7
Krav på kapitalbas och kvalificerade skulder (MREL) %	2023	2022
Riskvägt efterställningskrav	16,8	13,5
Tillgänglig kapitalbas och efterställda kvalificerade skulder	22,0	21,9
Icke-riskvägt efterställningskrav	5,5	5,0
Tillgänglig kapitalbas och efterställda kvalificerade skulder	7,6	7,2

RESULTATRÄKNING | MODERBOLAGET

# Resultaträkning Moderbolaget

mkr		2023	2022
Räntelänsintäkter	Nat M3	121 993	41 488
Leasingintäkter	Nat M3	1 739	1 826
Räntekostnader	Nat M3	-97 786	-25 084
Erhållna utdelningar	Nat M4	15 957	16 953
Provisionsintäkter	Nat M5	5 965	6 515
Provisionskostnader	Nat M5	-1 382	-1 348
Nettoreultat av finansiella transaktioner	Nat M6	1 745	820
Övriga rörelseintäkter	Nat M7	4 230	4 841
<b>Summa rörelseintäkter</b>		<b>62 482</b>	<b>48 011</b>
Allmänna administrationskostnader			
Personalkostnader	Nat M8	-11 456	-11 990
Övriga administrationskostnader	Nat M9	-7 453	-7 415
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar	Nat M21, M22	-2 334	-2 459
<b>Summa kostnader före kreditförluster</b>		<b>-21 243</b>	<b>-21 864</b>
<b>Resultat före kreditförluster, riskskatt och resolutionsavgift</b>		<b>31 208</b>	<b>24 148</b>
Kreditförluster, netto	Nat M10	58	-41
Nedskrivning av finansiella anläggningstillgångar		-1 524	-2 305
Riskskatt och resolutionsavgift	Nat M11	-1 633	-1 331
<b>Rörelseresultat</b>		<b>28 110</b>	<b>20 471</b>
Bokslutsdispositioner	Nat M12		-160
<b>Resultat före skatter</b>		<b>28 110</b>	<b>20 311</b>
Skatter	Nat M29	-5 747	-4 856
<b>Årets resultat</b>		<b>22 363</b>	<b>15 455</b>

## TOTALRESULTAT | MODERBOLAGET

## Totalresultat Moderbolaget

mkr	2023	2022
Årets resultat	22 363	15 455
Övrigt totalresultat		
Poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen		
Eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	63	41
Skatt på poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	-11	-19
varav eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-11	-19
Summa poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	52	22
Poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen		
Kassafördelsåtkomster	-1 571	3 411
Skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	25	-61
Årets omräkningsdifferens	-1 289	1 326
varav sköning av nett obligationer i utländsk valuta	5	-83
Skatt på poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	522	-1 251
varav kassafördelsåtkomster	324	-703
varav skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-5	6
varav sköning av nett obligationer i utländsk valuta	-1	17
varav skatt på omräkningsdifferens	204	-572
Summa poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	-2 313	3 426
Summa övrigt totalresultat	-2 262	3 447
Årets totalresultat	20 100	18 902
Årets omklassificeringar till resultaträkningen framgår av Förändring i eget kapital		

BALANSRÄKNING | MODERBOLAGET

# Balansräkning Moderbolaget

mär		2023	2022
<b>TILLGÅNGAR</b>			
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		362 536	376 010
Balansräkningsbara statskultförbindelser m.m.	Not M1 5	120 128	132 778
Utlåning till kreditinstitut	Not M1 3	1 007 992	1 025 664
Utlåning till allmänheten	Not M1 4	600 997	637 721
Värdeförändring på räntesäkrad post i portföljsäkring		-9 657	-16 611
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Not M1 5	50 791	33 339
Aktier och andelar	Not M1 6	6 170	7 112
Aktier och andelar i koncern- och intressatföretag samt joint ventures	Not M1 7	68 966	70 483
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken		1 948	2 387
Derivatinstrument	Not M1 8	39 019	52 360
Immateriella tillgångar	Not M21	3 211	3 144
Fastigheter, inventarer och leasingobjekt	Not M22	6 673	6 530
Aktuella skattefordringar			30
Uppskjutna skattefordringar	Not M29	374	617
Övriga tillgångar	Not M23	20 789	30 166
Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter	Not M24	1 386	1 159
Summa tillgångar	Not M36	2 360 344	2 362 889
<b>SKULDER OCH EGET KAPITAL</b>			
Skulder till kreditinstitut	Not M25	176 143	169 617
In- och upplåning från allmänheten	Not M26	1 109 471	1 137 272
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken		1 948	2 387
Emitterade värdepapper m.m.	Not M27	806 167	806 013
Derivatinstrument	Not M1 8	46 269	36 985
Korta positioner	Not M28	2 364	1 939
Aktuella skuldeskulder		831	0
Uppskjutna skuldeskulder	Not M29	336	1 193
Avsättningar	Not M30	624	646
Övriga skulder	Not M31	11 374	6 779
Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter	Not M32	2 399	2 901
Efterställda skulder	Not M33	43 117	42 404
Summa skulder	Not M35	2 201 046	2 208 136
Obeskattade reserver	Not M34	867	867
Aktiekapital		3 069	3 069
Överkursfond		8 758	8 758
Andra fonder	Not M35	9 063	11 196
Balansenad vinst		115 178	115 409
Årets resultat		22 363	15 455
Summa eget kapital		188 431	183 887
Summa skulder och eget kapital		2 360 344	2 362 889

## FÖRÄNDRING I EGET KAPITAL | MODERBOLAGET

# Förändring i eget kapital

## Moderbolaget

mkr	Bundet eget kapital			Fritt eget kapital					Totalt
	Aktiekapital	Reservfond	Fond för internt utvecklad programvara	Överkursfond	Säkringsreserv <sup>1</sup>	Verkligt värde-reserv <sup>1</sup>	Omräkningsreserv <sup>1</sup>	Balanserade vinstermedel inkl årets resultat	
Ingående eget kapital 2023	3 060	2 682	3 010	8 758	3 631	128	1 847	130 864	163 887
Årets resultat								22 363	22 363
Övrigt totalresultat					-1 247	71	-1 086		-2 262
varav omklassificering inom eget kapital								-284	-284
Årets totalresultat					-1 247	71	-1 086	22 363	20 100
Omklassificerat till balanserat resultat								284	284
Utdelning								-15 840	-15 840
Fond för internt utvecklad programvara			129					-129	
Utgående eget kapital 2023	3 060	2 682	3 140	8 758	2 284	197	761	137 541	168 431

mkr	Bundet eget kapital			Fritt eget kapital					Totalt
	Aktiekapital	Reservfond	Fond för internt utvecklad programvara	Överkursfond	Säkringsreserv <sup>1</sup>	Verkligt värde-reserv <sup>1</sup>	Omräkningsreserv <sup>1</sup>	Balanserade vinstermedel inkl årets resultat	
Ingående eget kapital 2022	3 060	2 682	2 913	8 758	823	158	1 075	124 742	144 220
Årets resultat								15 455	15 455
Övrigt totalresultat					2 708	-33	771		3 447
varav omklassificering inom eget kapital						-31		-573	-564
Årets totalresultat					2 708	-33	771	15 455	18 002
Omklassificerat till balanserat resultat								664	664
Utdelning								-9 900	-9 900
Fond för internt utvecklad programvara			98					-98	
Utgående eget kapital 2022	3 060	2 682	3 010	8 758	3 631	128	1 847	130 864	163 887

<sup>1</sup> Ingår i fond för verkligt värde.

KASSAFLÖDESANALYS | MODERBOLAGET

# Kassaflödesanalys Moderbolaget

mil	2023	2022
<b>LÖPANDE VERKSAMHET</b>		
Rörelseresultat	28 110	20 471
varav inbetalda räntor	117 862	37 724
varav utbetalda räntor	-94 660	-22 155
varav inbetalda utdelningar	15 957	16 263
Justering från rörelseresultat till investeringsverksamhet	-335	-124
varav till Likvidation av dotterbolag	-335	
varav till Avyttring av verksamhet och dotterbolag		-542
varav till Försäljning av aktier och andelar		478
Justering för ojä kassaflödespåverkande poster i rörelseresultatet		
Kreditförluster	-4	165
Omräknade värdeförändringar	-588	-2 233
Av- och nedskrivningar	3 856	4 764
Koncernbidrag och andra	-11 340	-16 279
Betalda inkomstskatter	-5 188	-4 842
Förändring i den löpande verksamhetens tillgångar och skulder		
Utlåning till kreditinstitut	17 672	-39 759
Utlåning till allmänheten	29 748	-55 332
Räntebärande värdepapper och aktier	-80 961	-28 218
Skulder till kreditinstitut	6 526	16 500
In- och upplåning från allmänheten	-27 800	16 142
Emitterade värdepapper	154	126 205
Derivatinstrument, nettopositioner	22 834	-5 495
Korta positioner	209	-2 010
Fondlikvidfördelningar och fondlikvidskulder	7 077	-7 680
Övrigt	5 413	-18 906
Kassaflöde från löpande verksamhet	-4 616	3 370
<b>INVESTERINGSVERKSAMHET</b>		
Avyttring av verksamhet och dotterbolag		-3 891
Likvidation av dotterbolag	336	
Förvärf av och tillskott till intresseföretag och joint ventures	-53	-266
Försäljning av aktier och andelar		183
Förvärf av materiella anläggningstillgångar	-5 219	-4 875
Avyttring av materiella anläggningstillgångar	3 263	3 517
Förvärf av immateriella anläggningstillgångar	-682	-575
Kassaflöde från investeringsverksamhet	-2 386	-5 907
<b>FINANSIERINGSVERKSAMHET</b>		
Amortering efterställda skulder	-8 351	-3 000
Emission efterställda skulder	8 635	11 845
Utbetalda utdelning	-15 840	-9 900
Utdelningar från koncernföretag	16 240	16 685
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	602	16 630
<b>Årets kassaflöde</b>	<b>-6 278</b>	<b>13 093</b>
Likvida medel vid årets början	376 010	338 768
Kassaflöde från löpande verksamhet	-4 616	3 370
Kassaflöde från investeringsverksamhet	-2 355	-5 907
Kassaflöde från finansieringsverksamhet	602	16 630
Kursdifferens i likvida medel	-7 156	24 140
Likvida medel vid årets slut	362 536	376 010

Kassaflödesanalysen har upprättats i enlighet med den indirekta metoden, vilket innebär att rörelseresultatet har justerats för transaktioner som inte medfört in- eller utbetalningar, till exempel avskrivningar och kreditförluster.

## KASSAFLÖDESANALYS | MODERBOLAGET

## Kassaflödesanalys Moderbolaget, forts

Förändring av skulder i finansieringsverksamheten mkr	2023	2022
Ingående balans	42 404	32 257
Kassaflöde	284	8 845
Ej kassaflödespåverkande förändringar, valutakursförändringar	-770	3 371
Ej kassaflödespåverkande förändringar, valutakursåtkringar	1 153	-2 378
Ej kassaflödespåverkande förändringar, upplupna räntor	46	309
Summa skulder i finansieringsverksamheten	43 117	42 404
<b>Avyttning av verksamhet och dotterbolag</b>		
mkr		2022
Köpskilling		
Total köpskilling		-1 633
Avgår likvida medel som ingår i överlåtsen		-743
Fordran köpare		-1 516
Likvid		-3 891
Tillgångar och skulder som avyttrats		
Utlåning till övriga kreditinstitut		923
Utlåning till allmänheten		46 953
Tillgångar där kunden står värdetförändringsrisken		5 480
Andra tillgångar		370
Summa tillgångar		63 706
Skulder till kreditinstitut		374
In- och upplåning från allmänheten		52 043
Skulder där kunden står värdetförändringsrisken		5 480
Andra skulder		331
Summa skulder		68 228
Kassaflöde från löpande verksamhet		642
Köpskillingen erhålls i sin helhet i likvida medel.		

5-ÅRSÖVERSIKT | MODERBOLAGET

## 5-årsöversikt Moderbolaget

Resultaträkning mkr	2023	2022	2021	2020	2019
Ränteanetto	25 946	18 230	13 502	13 456	13 039
Erlätna utdelningar	15 957	16 953	17 611	15 937	17 338
Provisionsnetto	4 573	5 167	5 230	5 692	6 011
Nettoreultat av finansiella transaktioner	1 745	820	1 808	1 869	618
Övriga rörelseintäkter	4 230	4 841	3 576	2 790	2 638
Summa rörelseintäkter	62 482	46 011	41 727	39 744	39 644
Allmänna administrationskostnader					
Personalkostnader	-11 456	-11 990	-10 242	-11 689	-10 148
Övriga administrationskostnader	-7 453	-7 415	-6 002	-5 684	-5 808
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar	-2 334	-2 459	-2 803	-2 672	-2 156
Summa kostnader före kreditförluster	-21 243	-21 864	-19 047	-20 045	-18 112
Resultat före kreditförluster, riskskatt och resolutionsavgift	31 239	24 148	22 680	19 699	21 532
Kreditförluster, netto	58	-41	-55	-477	-1 059
Nedskrivning av finansiella anläggningstillgångar	-1 524	-2 305	-1 180	-79	-148
Riskskatt och resolutionsavgift	-1 633	-1 331	-366	-385	
Rörelseresultat	28 110	20 471	21 070	18 768	20 325
Bokslutsdispositioner		-160	227	743	-380
Resultat före skatt	28 110	20 311	21 306	19 501	19 945
Skatter	-5 747	-4 856	-4 618	-4 275	-4 297
Årets resultat	22 363	15 455	16 688	15 226	15 648
Utdelning för året	25 740 <sup>1</sup>	15 840	9 900	16 666	
<sup>1</sup> Enligt styrelsens förslag.					
Totalresultat mkr	2023	2022	2021	2020	2019
Årets resultat	22 363	15 455	16 688	15 226	15 648
Övrigt totalresultat					
Poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen					
Eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	63	41	62	-583	372
Skatt på poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	-11	-19	-3	11	-21
varav eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-11	-19	-3	11	-21
Summa poster som inte kommer att omklassificeras till resultaträkningen	52	22	59	-572	351
Poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen					
Kassaföreskrifter	-1 571	3 411	246	-1 677	1 751
Skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	25	-61	6	7	7
Årets omräkningsdifferens	-1 289	1 326	1 034	-2 184	-259
varav säkring av nettotillgångar i utlandsväksamhet	5	-83	-63	-256	-826
Skatt på poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	522	-1 251	-39	420	-200
varav kassaföreskrifter	324	-703	-57	365	-375
varav skuldinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat	-5	6	-7	-7	-2
varav säkring av nettotillgångar i utlandsväksamhet	-7	77	13	56	177
varav omräkningsdifferens	204	-572			
Summa poster som kan komma att omklassificeras till resultaträkningen	-2 313	3 426	1 247	-3 434	1 299
Summa övrigt totalresultat	-2 262	3 447	1 306	-4 006	1 650
Årets totalresultat	20 100	18 902	17 994	11 220	17 298



## 5-ÅRSÖVERSIKT | MODERBOLAGET

## 5-årsöversikt Moderbolaget, forts

Balansräkning mkr	2023	2022	2021	2020	2019
<b>Tillgångar</b>					
Utlåning till allmänheten	521 340	621 110	609 948	566 158	620 175
Utlåning till kreditinstitut	1 007 992	1 025 664	986 897	953 650	890 557
Räntebärande värdepapper	249 919	166 117	134 861	145 648	156 466
Övriga tillgångar	511 092	549 998	406 428	459 407	412 307
<b>Summa tillgångar</b>	<b>2 390 344</b>	<b>2 362 889</b>	<b>2 230 134</b>	<b>2 124 863</b>	<b>2 079 505</b>
<b>Skulder och eget kapital</b>					
In- och upplåning från allmänheten	1 109 471	1 137 272	1 173 172	1 021 130	918 146
Skulder till kreditinstitut	176 143	169 617	153 490	193 054	208 697
Emitterade värdepapper	806 167	806 013	679 808	657 520	724 640
Efterställda skulder	43 117	42 404	32 257	41 082	35 546
Övriga skulder	66 147	52 829	46 481	68 305	59 863
Obeskallade reserver	867	867	706	933	1 678
Eget kapital	158 431	153 887	144 220	142 839	130 935
<b>Summa skulder och eget kapital</b>	<b>2 390 344</b>	<b>2 362 889</b>	<b>2 230 134</b>	<b>2 124 863</b>	<b>2 079 505</b>
<b>Nyckeltal, %</b>	<b>2023</b>	<b>2022</b>	<b>2021</b>	<b>2020</b>	<b>2019</b>
Kärnprimärkapitalrelation, enligt CRR	29,8	29,4	30,2	31,7	20,2
Primärkapitalrelation, enligt CRR	33,4	32,9	33,4	34,6	23,0
Totalkapitalrelation, enligt CRR	39,9	37,2	37,4	38,8	26,2
Räntabilitet på totalt kapital	0,90	0,63	0,72	0,65	0,74

För definitioner av alternativa nyckeltal hänvisas till sidan 307 och för beräkning av dessa nyckeltal hänvisas till Faktaboken som finns tillgänglig på handelsbanken.com/rov.

# Noter Moderbolaget

## M1 Väsentliga redovisningsprinciper

### Lag- och föreskriftsenlighet

Moderbolagets årsredovisning är upprättad i enlighet med lagen 1995:1559 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag (ÅRL) och Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd FFFS 2008:25 om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. Moderbolaget tillämpar också RFR 2 Redovisning för juridiska personer och uttalanden från Rådet för finansiell rapportering. I enlighet med Finansinspektionens allmänna råd tillämpar moderbolaget så kallad lagbegränsad IFRS. Det innebär att de internationella redovisningsstandarder och tolkningar av dessa standarder som har antagits av EU har tillämpats i den utsträckning som det är möjligt inom ramen för nationella lagar och föreskrifter samt sambandet mellan redovisning och beskattning.

### Sambandet mellan moderbolagets och koncernens redovisningsprinciper

Moderbolagets redovisningsprinciper överensstämmer i stora delar med koncernens. I det följande redogörs endast för de områden där moderbolagets principer skiljer sig från koncernens. I allt övrigt hänvisas till redovisningsprinciperna för koncernen i not K1.

### Presentation

Moderbolaget tillämpar de uppställningsformer för resultat- och balansräkning som följer av ÅRL och Finansinspektionens föreskrifter. Det innebär främst följande skillnader i förhållande till den uppställning som tillämpas av koncernen:

- Fordringar på centralbanker som är direkt disponibla på anmodan redovisas i moderbolagets balansräkning som utlåning till kreditinstitut. I koncernens balansräkning redovisas de i posten Övrig utlåning till centralbanker.
- Broker- och börskostnader redovisas i moderbolaget som Provisionskostnader.
- Erhållna utdelningar redovisas på särskild rad i moderbolagets resultaträkning.
- Resultat vid avyttring av materiella och immateriella anläggningstillgångar redovisas i moderbolaget som övrig intäkt eller kostnad.
- Obeskattade reserver redovisas i moderbolaget i en egen balanspost. I koncernen delas de upp i egen kapitalandel respektive skatteskuld.

### Tillgångar som innehas för försäljning och avvecklad verksamhet

Anläggningstillgångar med begränsad nyttjandeperiod skrivs av över nyttjandeperioden i enlighet med Årsredovisningslagen under tiden dessa är klassificerade som att de innehas för försäljning. Någon särredovisning av nettoresultat efter

skatt från avvecklad verksamhet sker inte i moderbolagets resultaträkning. I balansräkningen görs inte heller någon särskild uppdelning av tillgångar respektive skulder som innehas för försäljning. För upplysningar om tillgångar respektive skulder som innehas för försäljning samt avvecklad verksamhet se not M46.

### Aktier och andelar i dotter- och intresse-

#### företag samt joint ventures

Aktier och andelar i dotterföretag och intresseföretag samt joint ventures värderas till anskaffningsvärde. Varje balansdag provas alla innehav för att bedöma om de behöver skrivas ner. I de fall värdet har minskat sker nedskrivning till koncernmässigt värde. Eventuella nedskrivningskostnader klassificeras i resultaträkningen som Nedskrivning av finansiella tillgångar. Utdelningar på aktier i dotter- och intresseföretag samt joint ventures redovisas som intäkt i resultaträkningen i posten Erhållna utdelningar.

### Säkringsredovisning

Verkligt värde säkring tillämpas med avseende på valutakursrisken hänförlig till aktier i utländska dotterföretag. Den säkrade posten utgörs av den första delen av det nominella beloppet avseende investeringen i aktier i respektive utländskt dotterföretag. Säkringsinstrumenten utgörs av upplåning i moderbolaget som finansierar investeringen. Vinsten eller förlusten på säkringsinstrumentet redovisas i resultaträkningen tillsammans med förändringen av valutakursrisken på den delen av investeringen i dotterföretaget som utgör säkrad post.

### Finansiella garantier

Finansiella garantier i form av borgensförbindelser till förmån för dotter- och intresseföretag samt joint ventures redovisas i moderbolaget som en avsättning i balansräkningen. I den utsträckning moderbolaget har ett befintligt åtagande och betalning sannolikt krävs för att reglera åtagandet.

### Utdelningar

I posten Erhållna utdelningar redovisas alla erhållna utdelningar i moderbolaget, inklusive utdelningar från dotterföretag, intresseföretag och joint ventures, samt erhållna koncernbidrag. Anteciperad utdelning redovisas endast om moderbolaget har beslutanderätt över utdelningens storlek och beslutet har fattats innan publiceringen av de finansiella rapporterna.

### Redovisning av pensioner

Moderbolaget tillämpar inte bestämmelserna i IAS 19 om redovisning av förmånsbestämda pensionsplaner. Istället sker beräkning av kalkyl-

mässig pensionskostnad i moderbolaget enligt Tryggandelagens bestämmelser och Finansinspektionens föreskrifter. Det innebär framförallt skillnader i fråga om hur diskonteringsräntan fastställs och att beräkningen av framtida förpliktelse inte tar hänsyn till antaganden om framtida löneökningar. Redovisad nettokostnad för pensioner beräknas som summan av utbetalda pensioner, pensionspremier samt avsättning till pensionsstiftelse, med avräkning för eventuell gottgörelse från pensionsstiftelse. Årets nettokostnad för pensioner redovisas som Personalkostnad i moderbolagets resultaträkning.

Överskjutande belopp till följd av att förvaltningstillgångarnas värde överstiger beräknade pensionsförpliktelser redovisas inte som en tillgång i moderbolagets balansräkning. Under-skott redovisas som en skuld.

### Skatter

I moderbolaget redovisas obeskattade reserver som en egen post i balansräkningen. Obeskattade reserver består av en komponent som utgör uppskjuten skatteskuld och en komponent som utgör eget kapital.

## M2 Risk- och kapitalhantering

Handelsbankkoncernens riskhantering beskrivs i not K2. Specifika upplysningar över moderbolagets risker presenteras nedan.

Kreditriskponeringar, geografisk fördelning 2023 mkr		Sverige	Norge	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
<b>Poster i balansräkningen</b>							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		67 895	4 775	10	128 606	161 159	362 536
Utlåning till kreditinstitut	Nor M13	916 892	3 899	86 818	24	422	1 007 992
Utlåning till allmänheten	Nor M14	224 971	187 290	82 633	97 110	8 993	600 997
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	Nor M15	199 128					199 128
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nor M16	50 791					50 791
Derivatinstrument	Nor M18	38 870				149	39 019
<b>Summa</b>		<b>1 498 404</b>	<b>106 068</b>	<b>184 460</b>	<b>225 830</b>	<b>170 724</b>	<b>2 280 463</b>
<b>Poster utanför balansräkningen</b>							
Eventuallöpplikaler	Nor M39	600 656	65 325	25 629	3 004	28 883	723 588
varav ansvarsförbindelser		38 592	7 412	7 406	100	15 266	68 775
varav åtaganden		562 065	57 913	18 223	2 905	13 616	654 813
<b>Summa</b>		<b>600 656</b>	<b>65 325</b>	<b>25 629</b>	<b>3 004</b>	<b>28 883</b>	<b>723 588</b>
<b>Summa poster i och utanför balansräkningen</b>		<b>2 099 060</b>	<b>261 282</b>	<b>210 089</b>	<b>228 834</b>	<b>199 608</b>	<b>2 988 861</b>

Kreditriskponeringar, geografisk fördelning 2022 mkr		Sverige	Norge	Finland	Neder- länderna	Övriga länder	Summa
<b>Poster i balansräkningen</b>							
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker		100 413	8 562	14	136 749	129 873	376 010
Utlåning till kreditinstitut	Nor M13	932 268	126	92 558	129	582	1 025 664
Utlåning till allmänheten	Nor M14	248 738	190 979	91 433	96 208	10 364	637 721
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	Nor M15	132 778					132 778
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nor M16	33 339					33 339
Derivatinstrument	Nor M18	52 210			50	99	52 360
<b>Summa</b>		<b>1 469 748</b>	<b>200 067</b>	<b>184 005</b>	<b>233 136</b>	<b>140 918</b>	<b>2 227 872</b>
<b>Poster utanför balansräkningen</b>							
Eventuallöpplikaler	Nor M39	605 828	67 648	36 048	2 604	29 337	741 555
varav ansvarsförbindelser		41 319	6 197	8 243	97	16 176	72 032
varav åtaganden		564 509	61 451	27 805	2 506	13 160	669 523
<b>Summa</b>		<b>605 828</b>	<b>67 648</b>	<b>36 048</b>	<b>2 604</b>	<b>29 337</b>	<b>741 555</b>
<b>Summa poster i och utanför balansräkningen</b>		<b>2 105 576</b>	<b>267 715</b>	<b>220 053</b>	<b>235 740</b>	<b>170 255</b>	<b>2 969 427</b>

Vid geografisk fördelning avses del land där exponeringarna är redovisade.

Utlåning till allmänheten Fördelat per sektor och bransch 2023 mkr	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
Privatpersoner	94 920	3 819	1 129	-11	-26	-301	99 530
Bostadstillförsörjningar	17 585	6 076	2	-3	-19	-1	23 640
Fastighetsförvaltning	292 358	26 959	727	-33	-38	-104	319 909
Tillverkningsindustri	15 773	3 568	65	-17	-83	-50	19 256
Handel	26 721	558	77	-10	-7	-62	27 277
Hotell- och restaurangverksamhet	1 647	340	13	-2	-3	-5	1 990
Person- och godstransport till sjöss	1 264	1	0	0	0	0	1 265
Övrig transport och kommunikation	5 435	132	17	-4	-2	-15	5 563
Byggnadverksamhet	12 966	3 508	232	-47	-203	-94	16 362
Elektricitet, gas och vatten	12 191	20	3	-2	0	-3	12 209
Jordbruk, jakt och skogsbruk	3 148	278	7	-2	-3	-3	3 425
Övrig serviceverksamhet	13 338	280	112	-6	-4	-84	13 636
Holding-, invest- och försäkringsbolag, fonder m.m.	18 232	747	10	-5	-3	-3	18 978
Stat och kommun	9 219	46		0	0		9 265
Övrig företagsutlåning	28 436	236	82	-1	-1	-61	28 691
<b>Summa</b>	<b>883 293</b>	<b>48 808</b>	<b>2 478</b>	<b>-143</b>	<b>-302</b>	<b>-786</b>	<b>900 907</b>

## NOTER | MODERBOLAGET

## M2 Forts

Utlåning till allmänheten Fördelat per sektor och bransch 2022	Brutto			Reserver			Netto
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Stag 1	Stag 2	Stag 3	
<i>mkr</i>							
Privatpersoner	101 993	3 448	805	-15	-24	-305	105 902
Bostadsrättsföreningar	25 182	978	27	-4	-2	-2	26 179
Fastighetsförvaltning	317 575	12 466	735	-65	-35	-88	330 588
Tillverkningsindustri	32 141	1 843	44	-25	-110	-32	33 861
Handel	35 824	496	70	-9	-8	-52	36 321
Hotell- och restaurangverksamhet	1 508	437	14	-1	-6	-7	1 945
Person- och godstransport till sjöss	1 916	6	221	-1	-2	-77	2 063
Övrig transport och kommunikation	6 143	965	34	-13	-31	-32	7 066
Byggnadsverksamhet	13 941	2 899	110	-52	-142	-71	16 685
Elektricitet, gas och vatten	11 300	954	4	-4	-2	-3	12 249
Jordbruk, jakt och skogsbruk	3 617	309	31	-5	-22	-14	3 916
Övrig serviceverksamhet	13 407	193	152	-7	-3	-138	13 604
Holding-, investmant- och försäkringsbolag, fonder m m	23 374	5 642	32	-5	-12	-24	29 007
Stat och kommun	89	47		0	-1		135
Övrig företagsutlåning	17 923	33	334	-1	0	-89	18 200
Summa	606 983	30 716	2 613	-207	-400	-934	637 721

Kreditexponeringar, fördelat per säkerhet 2023		Bostads-fästigheter <sup>1</sup>	Övriga fastigheter	Stat, kommun och landsting <sup>2</sup>	Borgen <sup>3</sup>	Finansiella säkerheter	Objekt	Övriga säkerheter	Blanko <sup>4</sup>	Summa
<i>mkr</i>										
<b>Poster i balansräkningen</b>										
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker			362 536							362 536
Utlåning till kreditinstitut	Nr M1 3		146 036						861 896	1 007 992
Utlåning till allmänheten	Nr M1 4	174 762	218 542	68 222	9 705	12 470	4 564	7 034	105 697	600 997
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	Nr M1 5			197 348	543				1 237	199 128
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nr M1 5			4 542	239				46 010	50 791
Derivatinstrument	Nr M1 8			442		43			38 534	39 019
Summa		174 762	218 542	770 186	10 487	12 513	4 564	7 034	1 093 374	2 260 483
<b>Poster utanför balansräkningen</b>										
Eventualförpliktelse	Nr M39	68 295	47 250	30 009	5 659	12 705	1 529	7 510	550 541	723 588
varav ansvärsförbindelser		4 345	1 187	6 208	2 563	941	1 445	302	51 194	68 775
varav ålaganden		63 950	46 063	23 801	3 096	11 764	84	6 708	439 347	654 813
Summa		68 295	47 250	30 009	5 659	12 706	1 629	7 610	600 641	723 588
Summa poster i och utanför balansräkningen		243 057	265 792	800 285	16 146	25 218	6 093	14 644	1 693 915	2 984 061

Kreditexponeringar, fördelat per säkerhet 2022		Bostads-fästigheter <sup>1</sup>	Övriga fastigheter	Stat, kommun och landsting <sup>2</sup>	Borgen <sup>3</sup>	Finansiella säkerheter	Objekt	Övriga säkerheter	Blanko <sup>4</sup>	Summa
<i>mkr</i>										
<b>Poster i balansräkningen</b>										
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker			376 010							376 010
Utlåning till kreditinstitut	Nr M1 3		149 027						876 637	1 025 664
Utlåning till allmänheten	Nr M1 4	187 050	224 532	29 435	10 062	10 853	5 070	9 637	161 082	637 721
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	Nr M1 5			131 736					1 052	132 778
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	Nr M1 5			2 492	815				30 032	33 339
Derivatinstrument	Nr M1 8	189	354	3 361	223	86			48 147	52 360
Summa		187 239	224 886	692 061	11 100	10 939	5 070	9 637	1 116 960	2 267 872
<b>Poster utanför balansräkningen</b>										
Eventualförpliktelse	Nr M39	70 569	45 723	32 483	7 432	11 774	745	8 466	564 363	741 555
varav ansvärsförbindelser		2 431	1 340	7 098	3 793	965	511	871	55 022	72 032
varav ålaganden		68 138	44 383	25 385	3 639	10 808	234	7 595	509 341	669 523
Summa		70 569	45 723	32 483	7 432	11 774	745	8 466	564 363	741 555
Summa poster i och utanför balansräkningen		257 808	270 609	724 544	18 532	22 713	5 815	18 103	1 681 313	2 999 427

<sup>1</sup> Inklusive bostadsrätter.<sup>2</sup> Avser direkta stats- och kommunexponeringar samt statsgarantier.<sup>3</sup> Inkluderar ej statsgarantier.<sup>4</sup> I denna kolumn ingår moderbolagets interna utlåning och ålaganden till koncernens dotterbolag. För poster i balansräkningen uppgår den interna utlåning till 969 085 mkr (1 003 588) och för poster utanför balansräkningen uppgår den till 272 960 mkr (262 397).

## NOTER | MODERBOLAGET

## M2 Forts

## MARKNADSRISK

Marknaderlekter mkr	2023	2022
Ränterisk	1 015	563
Valutakursrisk <sup>1</sup>	4	3
Akciekursrisk	40	38
Råvaruprisrisk	0	1

<sup>1</sup> Värsta utfall av +/-5% förändring av SEK.

## LIKVIDITETSRISK

Förtälsanalys för finansiella tillgångar och skulder 2023 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Ospecifico- rad löptid	Summa
Kassa och tillgodehavanden i centralbanker	393 647							393 647
Belåningsbara statskuld förbindelser <sup>1</sup>	199 274							199 274
Obligationer och andra räntebärande värdepapper <sup>2</sup>	51 139							51 139
Utlåning till kreditinstitut	133 126	146 061	109 699	180 809	289 090	200 645		1 059 430
varav omvända repor	12 814							12 814
Utlåning till allmänheten	84 139	120 676	101 812	86 585	130 577	135 980		659 749
varav omvända repor	17 404							17 404
Övrigt	11 687						127 213	138 900
varav sidor och andelar	6 170							6 170
varav fordringar på fondinvestider	5 517							5 517
<b>Summa tillgångar</b>	<b>873 011</b>	<b>286 737</b>	<b>211 511</b>	<b>267 304</b>	<b>419 668</b>	<b>336 605</b>	<b>127 213</b>	<b>2 802 138</b>
Skulder till kreditinstitut	61 503	61 039	15 566	18 034	1 100	845	23 169	181 256
varav repor								
varav insättning i en centralbank	11 741	20 268					0	32 009
In- och upplåning från allmänheten	49 223	154 131	34 483	5 224	1 813	49	872 513	1 117 435
varav repor								
Emitterade värdepapper <sup>3</sup>	67 987	355 316	188 573	34 198	150 702	35 020		831 856
varav säkerställda obligationer								
varav bankcertifikat (CB:s) med ursprunglig löptid								
underliggande ett år	22 677	97 987	43 918					164 582
varav företagscertifikat (CP:s) med ursprunglig löptid								
underliggande ett år	45 106	212 756	128 562					386 423
varav bankcertifikat (CB:s) och företagscertifikat (CP:s)								
med ursprunglig löptid överstigande ett år	99	17 960	12 857					30 916
varav Senior Non-primärd-obligationer		557	414	970	35 826	24 236		62 003
varav seniors obligationer och övriga värdepapper								
med ursprunglig löptid över ett år	105	26 056	2 823	33 228	114 876	10 855		187 942
Eftersälda skulder		14 022	565	1 353	20 192	14 367		50 499
Övrigt	7 456						217 991	225 447
varav korta positioner	2 366							2 366
varav fondinvestider	5 090							5 090
<b>Summa skulder</b>	<b>198 169</b>	<b>584 507</b>	<b>239 187</b>	<b>58 809</b>	<b>173 808</b>	<b>50 382</b>	<b>1 113 673</b>	<b>2 408 804</b>
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade åtnötnen	654 813							

Derivat 2023 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Summa
Summa derivat inlöste	131 607	475 360	130 129	113 350	325 912	115 717	1 301 075
Summa derivat utförde	132 193	478 909	142 440	111 676	317 825	109 313	1 292 356
Netto	-586	-3 549	-3 311	1 674	8 087	6 404	8 719

## NOTER | MODERBOLAGET

## M2 Forts

Förtälsanalys för finansiella tillgångar och skulder 2022 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Ospecificerad löptid	Summa
Kassa och tillgodohavanden i centralbanker	407 437							407 437
Betalningsbara statskuld förbindelser <sup>1</sup>	132 989							132 989
Obligationer och andra räntebärande värdepapper <sup>2</sup>	33 488							33 488
Utlåning till kreditinstitut	110 619	158 846	157 454	173 341	419 899	46 914		1 057 072
varav omvända repor	4 296							4 296
Utlåning till allmänheten	55 791	112 085	108 033	106 540	158 604	138 354		679 416
varav omvända repor	12 292							12 292
Övrigt	17 669						130 708	157 377
varav aktier och andelar	7 112							7 112
varav fordringar på fondkivider	10 557							10 557
Summa tillgångar	757 993	270 931	285 487	279 891	578 502	185 288	130 708	2 477 780
Skulder till kreditinstitut	63 655	49 032	17 685	15 278	7 752	991	19 324	173 716
varav repor								
varav inlåning från centralbanker	14 212	20 009	2 652	1 14			3	36 989
In- och upplåning från allmänheten	16 845	51 228	36 512	10 017	2 085	45	1 020 535	1 137 267
varav repor	4							4
Emitterade värdepapper <sup>3</sup>	77 185	401 948	170 177	29 058	97 628	50 907		826 904
varav säkerställda obligationer								
varav bankcertifikat (CD:s) med ursprunglig löptid understigande ett år	28 791	169 614	56 754					255 159
varav företagscertifikat (CP:s) med ursprunglig löptid understigande ett år	48 282	203 070	71 539					322 890
varav bankcertifikat (CD:s) och företagscertifikat (CP:s) med ursprunglig löptid överstigande ett år	9	64 05	8 765	541				15 719
varav Senior Non-primärad-obligationer		283	140	423	25 014	24 465		50 325
varav seniors obligationer och övriga värdepapper med ursprunglig löptid över ett år	103	22 576	32 980	28 095	72 614	26 442		1 82 810
Efterställda skulder		9 614	145	14 496	13 511	11 476		40 240
Övrigt	4 999						202 593	207 592
varav korta positioner	1 947							1 947
varav fondkividskulder	3 052							3 052
Summa skulder	162 684	511 821	224 519	68 840	120 976	63 418	1 242 462	2 304 718
Poster utanför balansräkningen								
Finansiella garantier och ej utnyttjade lånelådan	669 523							

Derivat 2022 mkr	Upp till 30 dagar	31 dagar- 6 månader	6-12 månader	1-2 år	2-5 år	Över 5 år	Summa
Summa derivat inlösta	189 477	606 809	156 028	144 812	264 991	158 131	1 520 248
Summa derivat utflösta	188 395	605 555	152 820	140 760	259 985	151 640	1 499 164
Netto	1 082	1 254	3 208	4 052	5 006	6 492	21 084

<sup>1</sup> Av beloppet (exklusive räntor) har 169 372 mkr (106 107) en återstående löptid som understiger ett år.

<sup>2</sup> Av beloppet (exklusive räntor) har 3 334 mkr (2 511) en återstående löptid som understiger ett år.

<sup>3</sup> Av beloppet (exklusive räntor) har 600 589 mkr (597 617) en återstående löptid som understiger ett år.

För inlåningens volym avser kolumn "Ospecificerad löptid" inlåning som är belädd på anfordran.

Tabellen innehåller räntelådan vilket innebär att balansraderna inte är avstämningsbara mot moderbolagets balansräkning.

## NOTER | MODERBOLAGET

## M3 Räntenetto

mkr	2023	2022
<b>Räntelänsintäkter</b>		
Utlåning till kreditinstitut och centralbanker	53 689	15 781
Utlåning till allmänheten	29 289	16 033
Belåningsbara statskuldförbindelser m.m.	8 110	1 289
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	2 076	876
Derivatinstrument	32 227	7 452
Övriga räntelänsintäkter	843	871
<b>Summa</b>	<b>126 236</b>	<b>42 302</b>
Avgår räntelänsintäkter redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	-4 242	-814
<b>Summa räntelänsintäkter</b>	<b>121 993</b>	<b>41 488</b>
varav räntelänsintäkter enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i säkringaradvisering	96 383	34 022
<b>Leasingintäkter</b>	<b>1 739</b>	<b>1 828</b>
<b>Räntekostnader</b>		
Skulder till kreditinstitut och centralbanker	-7 233	-1 546
In- och upplåning från allmänheten	-34 262	-8 040
Emissioner av värdepapper	-34 978	-11 212
Derivatinstrument	-22 409	-2 949
Etablerade skulder	-1 618	-1 369
Avgift insättningsgaranti	-256	-364
Övriga räntekostnader	-683	-534
<b>Summa</b>	<b>-101 440</b>	<b>-26 014</b>
Avgår räntekostnader redovisade i nettoresultat av finansiella transaktioner	3 654	930
<b>Summa räntekostnader</b>	<b>-97 786</b>	<b>-25 084</b>
varav räntekostnader enligt effektivräntemetoden samt räntor på derivat i säkringaradvisering	-85 787	-22 531
<b>Räntenetto</b>	<b>26 048</b>	<b>18 230</b>
Avskrivningar enligt plan för finansiella leasingavtal <sup>1</sup>	-1 471	-1 631
Samlat räntenetto inklusive avskrivningar enligt plan för finansiella leasingavtal	24 475	16 599

<sup>1</sup> Redovisas i posten Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella anläggningstillgångar.

På raderna Derivatinstrument ingår räntenetto som är hänförligt till tillgångar och skulder som säkras. Dessa kan ha både positiv och negativ inverkan på räntelänsintäkter och räntekostnader.

## M4 Erhållna utdelningar

mkr	2023	2022
Utdelningar på aktier och andelar	41	46
Utdelningar från intressatföretag	8	14
Utdelningar från koncernföretag <sup>1</sup>	4 568	614
Erhållna koncernbidrag	11 340	16 279
<b>Summa</b>	<b>16 057</b>	<b>16 953</b>

<sup>1</sup> Varav 1 142 mkr (51,4) avser utdelning på kärnprimärkapitalin som Stadshypotek har klassificerat som eget kapitalinstrument.

## NOTER | MODERBOLAGET

## M5 Provisionsnetto

mr	2023	2022
Courtag och övriga värdepappersprovisioner	421	408
Fonder	109	239
Depå och övrig kapitalförvaltning	905	906
Rädgivning	180	172
Betalningar	2 686	2 764
Ut- och inlåning	846	900
Garantier	202	272
Övrigt	606	674
Summa provisionsintäkter	5 966	6 816
Värdepapper	- 227	- 240
Betalningar	- 1 042	- 1 001
Övrigt	- 113	- 107
Summa provisionskostnader	- 1 382	- 1 348
Provisionsnetto	4 583	5 467

Provisionsintäkter avser intäkter från avtal med kunder. Intäkter från Courtag och övriga värdepappersprovisioner, Rädgivning, Betalningar samt Ut- och inlåning redovisas huvudsakligen när tjänsterna utförs, det vill säga vid en viss tidpunkt. Intäkter från Fonder, Depå och övrig kapitalförvaltning, Försäkringar och Garantier redovisas huvudsakligen i takt med att dessa tjänster utförs, det vill säga linjärt över tid.

## M6 Nettoresultat av finansiella transaktioner

mr	2023	2022
Upplupet omsättningsvärde	-66	-78
varav lån	-66	-78
varav räntebärande värdepapper	0	0
Verkligt värde via övrigt totalresultat	-1	0
varav räntebärande värdepapper - förvärtade kreditförluster	0	0
varav räntebärande värdepapper - omvärdejusterat från övrigt totalresultat	-1	0
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	670	-4 710
varav räntebärande värdepapper	670	-4 710
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatorisk inköpsalternativ	1 065	5 615
Säkerhetsredovisning	77	-7
varav nettoresultat säkringar av verkligt värde	-7	42
varav nettoresultat i kassaförmedlingar	84	-49
Summa	1 746	820

## M7 Övriga rörelseintäkter

mr	2023	2022
Hyrerintäkter	7	11
Andra rörelseintäkter <sup>1</sup>	4 223	4 630
Summa	4 230	4 641

<sup>1</sup> Under fjärde kvartalet 2023 tillvaldes Handelsbanken fondbolagsförvaltning AB, vilket påverkar andra rörelseintäkter med 335 mkr under 2023. Vidare har återbetalning av moms hänförlig till försäljningen av kortförsämringsverksamheten påverkat andra rörelseintäkter med 141 mkr under 2023. Under fjärde kvartalet 2022 avyttrade Svenska Handelsbanken AB den danska verksamheten, vilket påverkade andra rörelseintäkter med 1 513 mkr. I posten ingår även ersättning för tjänster som moderbolaget sålt till dotterbolag respektive år.

## M8 Personalkostnader

mr	2023	2022
Löner och arvoden	-7 115	-7 145
Socialavgifter	-1 914	-1 941
Pensionskostnader <sup>1</sup>	-1 824	-2 370
Avsättning till resultatbärande system	-83	-124
Andra personalkostnader	-520	-409
Summa	-11 456	-11 989

<sup>1</sup> Uppgift om pensionskostnaderna visas i not M40.

Löner och arvoden	2023	2022
mr		
Ledande befattningshavare <sup>1</sup> , 24 personer (24)	-109	-97
Övriga	-7 006	-7 048
Summa	-7 115	-7 145

<sup>1</sup> Ledande befattningshavare inklusive styrelse.



## NOTER | MODERBOLAGET

## M8 Förtis

Könstfördelning %	2023		2022	
	Män	Kvinnor	Män	Kvinnor
Styrelse	46	54	46	54
Ledande befattningshavare exkl styrelse	53	47	60	40

Medelantal anställda	2023			2022		
	Totalt	Män	Kvinnor	Totalt	Män	Kvinnor
Sverige	6 899	3 330	3 569	6 507	3 135	3 372
Norge	888	460	428	812	422	390
Danmark				542	273	269
Finland	525	246	279	521	238	283
Nederländerna	380	237	143	346	214	132
USA	50	29	21	48	28	20
Kina				1	1	
Luxemburg	51	27	24	50	24	26
Tyskland				2	1	1
Polen	16	4	12	15	4	11
Övriga länder	4	1	3	5	1	4
Summa	8 813	4 334	4 479	8 849	4 341	4 508

Information om principer avseende ersättningar till ledande befattningshavare i moderbolaget finns i not K8.

## M9 Övriga administrationskostnader

mkr	2023	2022
Fastigheter och lokaler	-1 311	-1 252
IT-relaterade kostnader	-3 383	-3 280
Kommunikation	-215	-200
Resor och marknadsföring	-209	-170
Köpta tjänster	-1 776	-1 513
Materialanskaffning	-157	-154
Andra kostnader	-402	-846
Summa	-7 453	-7 415
Varav kostnader avseende operationell leasing		
Leasingavgift	-472	-496
Variabelavgift	-164	-179
Summa	-636	-615

Operational leasing är främst hänförlig till verksamhetens normala avtal avseende kontorslokaler och kontorsutrustning.

Hyrskostnader avseende lokaler har normalt en variabel avgift knuten till inflation och fastighetsskatt.

Avtalsade, ej uppgifbara, framtida operationella leasingavgifter fördelade på förfallotidpunkter mkr	2023	2022
Inom 1 år	-805	-659
Mellan 1 och 5 år	-2 221	-2 224
Senare än 5 år	-2 645	-2 507
Summa	-5 670	-5 400

Ersättning till revisorer och revisionsbolag <sup>1</sup>	PricewaterhouseCoopers AB		Deloitte AB		Ernst & Young AB	
mkr	2023	2022	2023	2022	2023	2022
Revisionsuppdraget	-10	-10	-7			-7
Revisionsverksamhet utöver revisionsuppdraget	-2	-2	-2			-1
Skattberedgning						
Övriga tjänster		0				

<sup>1</sup> Beloppen i tabellen är exklusive moms.

## NOTER | MODERBOLAGET

## M10 Kreditförluster

mk	2023	2022
Förväntade kreditförluster på poster i balansräkningen		
Årsta reservering Stag 3	-278	-174
Stag 3 reservering tidigare år som återförts	237	225
Summa förväntade kreditförluster i Stag 3	-41	51
Årsta nettoreservering Stag 2	23	-96
Årsta nettoreservering Stag 1	63	-85
Summa förväntade kreditförluster i Stag 1 och Stag 2	86	-121
Summa förväntade kreditförluster på poster i balansräkningen	45	-70
Förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen		
Årsta nettoreservering Stag 3	39	13
Årsta nettoreservering Stag 2	-47	-27
Årsta nettoreservering Stag 1	-4	-9
Summa förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen	-13	-22
Bortskrivningar		
Årsta konstaterade kreditförluster <sup>1</sup>	-184	-666
Utrytt andel av tidigare reserverat i Stag 3	155	592
Summa bortskrivningar	-29	-74
Återvinningar	55	125
Kreditförluster, netto	68	-41
varav utövning till alminshalen	71	-21

<sup>1</sup> Av årets konstaterade kreditförluster omfattas 44 mk (158) av efterbevakning.

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning 2023 mk	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3 <sup>1</sup>	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Poster i balansräkningen</b>						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	362 516					
Belåningsbara statskultförbindelser m m		11				
Utlåning till kreditinstitut	1 008 104			-1	-1	
Utlåning till alminshalen	553 233	46 608	2 476	-143	-392	-786
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	12 709			-2		
Summa	1 936 562	46 619	2 476	-146	-393	-786
<b>Poster utanför balansräkningen</b>						
Eventuallörbindelser	547 062	10 415	122	-69	-181	-42
varav ansvarförbindelser	66 910	1 794	71	-11	-41	-22
varav återgången	480 152	8 621	51	-58	-140	-20
Summa	547 062	10 415	122	-69	-181	-42

Poster i och utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning 2022 mk	Brutto			Reserver		
	Stag 1	Stag 2	Stag 3 <sup>1</sup>	Stag 1	Stag 2	Stag 3
<b>Poster i balansräkningen</b>						
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	375 981			0		
Belåningsbara statskultförbindelser m m	200			0		
Utlåning till kreditinstitut	1 025 814	1		-1	-1	
Utlåning till alminshalen	605 933	30 716	2 613	-207	-400	-934
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	9 882			-2		
Summa	2 017 811	30 717	2 613	-211	-401	-934
<b>Poster utanför balansräkningen</b>						
Eventuallörbindelser	561 940	10 002	245	-66	-136	-82
varav ansvarförbindelser	69 973	1 382	77	-7	-12	-19
varav återgången	491 967	8 620	168	-59	-124	-63
Summa	561 940	10 002	245	-66	-136	-82

<sup>1</sup> Bruttovolyt i Stag 3 där ingen reservering gjorts på grund av säkerheter uppgår till 1 142 mk (1 084).

## NOTER | MODERBOLAGET

## MIO Forts

Nyckeltal kreditförluster, % Utlåning till allmänheten	2023	2022
Kreditförlustrisvådd	-0,01	0,00
Total reserveringsgrad	0,22	0,24
Reserveringsgrad Stag 1	0,03	0,03
Reserveringsgrad Stag 2	0,84	1,30
Reserveringsgrad Stag 3	31,74	35,75
Andel utlåning i Stag 3	0,28	0,26

## FÖRÄNDRINGSANALYSER

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning mkr	2023				2022			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-211	-401	-934	-1 546	-172	-434	-1 665	-2 271
Bortbokningar	14	60	190	264	37	129	204	370
Bortskrivningar	0	0	155	155	0	0	590	590
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	7	92	-86	13	-84	163	-7	72
Förändringar i modell/riskparametrar	11	16		27				
Valutaeffekt m.m	5	5	2	12	-4	-4	-15	-22
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-14	-14	0	-29	-19	-39	-2	-60
Förflyttning till Stag 1	-18	14		-4	-13	18	0	5
Förflyttning till Stag 2	42	-205	5	-158	29	-269	9	-231
Förflyttning till Stag 3	18	40	-117	-59	15	35	-49	1
Reserv vid årets utgång	-148	-303	-798	-1 321	-211	-401	-934	-1 546

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning mkr	2023				2022			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-207	-400	-934	-1 542	-169	-431	-1 665	-2 265
Bortbokningar	14	60	190	264	37	129	204	370
Bortskrivningar	0	0	155	155	0	0	590	590
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	6	91	-86	12	-84	161	-7	71
Förändringar i modell/riskparametrar	11	16		27				
Valutaeffekt m.m	5	5	2	12	-4	-4	-15	-22
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-14	-14	0	-29	-19	-39	-2	-60
Förflyttning till Stag 1	-18	14		-4	-13	18	0	5
Förflyttning till Stag 2	42	-204	5	-157	29	-269	9	-231
Förflyttning till Stag 3	18	40	-117	-59	15	35	-49	1
Reserv vid årets utgång	-143	-302	-798	-1 321	-207	-400	-934	-1 542

Förändring av reserv för förväntade kreditförluster, poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning mkr	2023				2022			
	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa	Stag 1	Stag 2	Stag 3	Summa
Reserv vid årets ingång	-66	-136	-82	-283	-67	-118	-92	-277
Bortbokningar	9	23		32	22	21		42
Bortskrivningar					0	0	1	1
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	1	8	39	48	-15	36	8	29
Förändringar i modell/riskparametrar	-5	-7		-12				
Valutaeffekt m.m	1	1		3	4	22		26
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	-10	-5		-16	-14	-15		-29
Förflyttning till Stag 1	-6	6		0	-2	4		2
Förflyttning till Stag 2	6	-73		-67	6	-87		-81
Förflyttning till Stag 3	1	2		3	1	1		2
Reserv vid årets utgång	-69	-181	-42	-292	-68	-136	-82	-283

Förändringsanalysen visar nettoeffekten på reserven i angivet stag per förklaringspost under perioden. Effekten av bortbokningar och bortskrivningar beräknas på ingående balans. Effekten av omvärdering till följd av förändringar i modell/riskparametrar samt valutaeffekt med mera beräknas innan eventuell förflyttning av nettobaloppet mellan stag. Nyutgivna eller förvärvade tillgångar och förflyttade balopp mellan stagen redovisas efter att effekten av övriga förklaringsposter beaktats. Förflyttningarna anger effekten på reserven i angivet stag.

## NOTER | MODERBOLAGET

## M10 Forts

Förändring av bruttovolymer, poster i balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning m.m.	2023				2022			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volymer vid årets ingång	2 017 811	30 717	2 613	2 051 142	1 914 031	30 400	4 407	1 948 838
Bortbokningar	-408 159	-4 927	-352	-413 437	-150 176	-10 748	-923	-161 847
Bortskrivningar	-2	-1	-190	-193	-3	-2	-658	-663
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-25 648	-6 079	-263	-31 990	105 633	2 725	-610	107 749
Valutaeffekt m.m.	-11 605	-679	-6	-12 290	75 468	873	28	76 369
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	389 363	3 027	27	392 416	78 677	1 999	21	80 696
Förflyttning till Steg 1	18 644	-18 636	-8		20 962	-20 953	-10	
Förflyttning till Steg 2	-43 588	43 693	-105		-26 631	26 733	-102	
Förflyttning till Steg 3	-254	-497	751		-150	-311	461	
Volymer vid årets utgång	1 936 562	46 810	2 476	1 985 850	2 017 811	30 717	2 613	2 051 142

Förändring av bruttovolymer, utlåning till allmänheten som är föremål för nedskrivningsprövning m.m.	2023				2022			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volymer vid årets ingång	605 993	30 716	2 613	639 263	579 330	30 390	4 407	614 117
Bortbokningar	-55 518	-4 667	-352	-60 536	-105 161	-10 632	-923	-116 717
Bortskrivningar	-2	-1	-190	-193	-3	-2	-658	-663
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	6 997	-7 112	-263	-438	52 939	2 908	-610	55 229
Valutaeffekt m.m.	-11 350	-620	-6	-11 977	15 067	846	28	15 941
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	33 136	3 027	27	36 190	69 336	1 999	21	71 356
Förflyttning till Steg 1	17 780	-17 773	-8		20 962	-20 953	-10	
Förflyttning till Steg 2	-43 429	43 534	-105		-26 368	26 470	-102	
Förflyttning till Steg 3	-254	-497	751		-150	-311	461	
Volymer vid årets utgång	603 293	46 808	2 476	652 318	605 993	30 716	2 613	639 263

Förändring av bruttovolymer, poster utanför balansräkningen som är föremål för nedskrivningsprövning m.m.	2023				2022			
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Summa
Volymer vid årets ingång	561 940	10 002	245	572 187	573 613	7 399	297	581 309
Bortbokningar	-37 475	-2 684	-129	-40 289	-87 513	-3 908	-50	-91 472
Bortskrivningar	0	0	-1	-1	0	0	-3	-3
Omvärdering till följd av förändring i kreditrisk	-17 252	3 524	-31	-13 759	63 232	-2 077	-35	61 120
Valutaeffekt m.m.	-3 253	-88	-1	-3 342	-32 435	-5 394	4	-37 825
Nyutgivna eller förvärvade tillgångar	40 638	2 163	1	42 802	57 850	1 208	0	59 058
Förflyttning till Steg 1	9 892	-9 891	0		4 623	-4 622	-1	
Förflyttning till Steg 2	-7 397	7 404	-7		-17 406	17 409	-3	
Förflyttning till Steg 3	-30	-16	46		-24	-12	36	
Volymer vid årets utgång	547 062	10 415	122	557 599	561 940	10 002	245	572 187

Förändringsanalysen avseende bruttovolymer visar, i linje med analysen av reserv, effekten av valda förklaringsposter på volymerna i angivet steg. Posterna för förflyttning mellan stegen och "Nyutgivna eller förvärvade tillgångar" anger beloppen i angivet steg vid periodens utgång. Övriga poster anger effekten i det steg som var gällande vid periodens ingång.

## NOTER | MODERBOLAGET

## MIO Forts

## KÄNSLIGHETSANALYSER

## Makroekonomisk prognos i ECL-bertäkningarna och känslighetsanalys

Bertäkningen av förväntade kreditförluster tillämpar framåtblickande information i form av makroszenarier. Den förväntade kreditförlusten är ett sannolikhetsvägt genomsnitt av de beräknade prognoserna över tre scenarier. Prognosen i det neutrala scenariet vägs med 70% (60), medan en uppgång i ekonomin vägs med 15% (30) och en nedgång i ekonomin med 15% (30). Dessa har legat till grund för bertäkningar av förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 per den 31 december 2023.

Makroekonomiska riskfaktorer	Negativt scenario			Neutralt scenario			Positivt scenario		
	2024	2025	2026	2024	2025	2026	2024	2025	2026
<b>BNP-tillväxt</b>									
Sverige	-3,73	0,90	2,95	-0,13	2,30	2,30	2,87	3,30	2,00
Norge	-3,53	0,06	2,35	0,07	1,46	1,70	3,07	2,46	1,40
Finland	-3,41	0,40	2,28	0,19	1,80	1,63	3,19	2,80	1,33
Euro-området	-3,12	0,11	1,95	0,48	1,51	1,30	3,48	2,51	1,00
USA	-2,40	0,44	2,65	1,20	1,84	2,00	4,20	2,84	1,70
<b>Arbetslöshet</b>									
Sverige	10,10	10,41	10,10	8,40	8,31	7,90	7,70	7,31	7,20
Norge	4,05	4,58	4,70	2,35	2,48	2,50	1,65	1,47	1,80
Finland	9,30	9,20	8,70	7,60	7,10	6,50	6,90	6,10	5,80
Euro-området	8,58	8,83	8,90	6,88	6,73	6,70	6,18	5,73	6,00
USA	5,95	6,57	6,50	4,25	4,47	4,30	3,56	3,47	3,60
<b>Styrmäta</b>									
Sverige	5,25	4,25	3,25	3,75	2,75	2,25	3,00	1,75	1,25
Norge	5,50	4,75	3,25	4,00	3,25	2,25	3,25	2,25	1,25
Finland	4,75	4,00	2,75	3,25	2,50	1,75	2,50	1,50	0,75
Euro-området	4,75	4,00	2,75	3,25	2,50	1,75	2,50	1,50	0,75
USA	5,88	4,63	3,63	4,38	3,13	2,63	3,63	2,13	1,63
<b>Fästighetsprisutveckling, kommersiella fastigheter</b>									
Sverige	-5,91	1,84	2,83	3,51	8,10	3,57	5,99	13,00	5,56
Norge	-4,81	-4,47	-0,35	2,50	2,10	1,40	5,24	6,16	2,31
Finland	-7,41	-0,16	3,56	1,46	5,86	6,18	3,85	9,03	7,00
Euro-området	-7,69	-3,44	1,80	0,83	4,44	4,85	3,61	8,40	6,05
<b>Fästighetsprisutveckling, bostadsfastigheter</b>									
Sverige	-5,04	-0,32	2,69	1,10	2,57	2,61	6,46	5,00	3,29
Norge	-0,58	-1,34	4,19	0,94	2,77	3,10	2,54	3,48	2,75
Finland	2,96	5,29	2,78	0,50	3,83	2,96	-0,37	3,75	3,17
Euro-området	2,35	2,00	2,11	2,00	2,00	2,00	1,70	2,08	2,07

## Känslighetsanalys makroszenarier

Tabellen nedan visar procentuell ökning respektive minskning av reserven för förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 per den 31 december 2023 om det negativa respektive positiva scenariet tilldelats sannolikheter om 100%.

	2023		2022	
	Procentuell ökning av reserv vid negativt scenario	Procentuell minskning av reserv vid positivt scenario	Procentuell ökning av reserv vid negativt scenario	Procentuell minskning av reserv vid positivt scenario
%				
Sverige	32,00	-18,85	14,21	-11,25
Norge	34,77	-18,92	7,81	-6,29
Finland	17,11	-9,88	5,64	-4,01
Nordatlantiska	36,85	-22,53	3,52	-2,56
USA	57,50	-36,86	27,06	-20,37
Övriga länder	23,51	-12,04	3,64	-2,07
<b>Totalt</b>	<b>30,81</b>	<b>-17,78</b>	<b>10,74</b>	<b>-8,44</b>

## Känslighetsanalys betydande ökning av kreditrisk

Tabellen nedan visar hur reserven för förväntade kreditförluster i Steg 1 och Steg 2 per den 31 december påverkas om det gränsvärde som tillämpas för kvoten mellan återstående kreditrisk beräknad vid rapportering och första redovisningsstillfället var satt till 0,5 enheter lägre respektive högre än det tillämpade gränsvärdet 2,5. En minskning av gränsvärdet med 0,5 enheter skulle öka antalet lån som överstiger från Steg 1 till Steg 2 och också öka reserven för förväntade kreditförluster. En ökning av gränsvärdet med 0,5 enheter skulle ha motsatt effekt. Banken använder både kvantitativa och kvalitativa indikatorer för att bedöma betydande ökning av kreditrisk.

## Förändring av den totala reserven för Steg 1 och Steg 2, %

Gränsvärde	2023	2022
2	1,85	2,52
2,5	0,00	0,00
3	-1,66	-2,15

## NOTER | MODERBOLAGET

## M10 Forts

## KREDITEXPONERINGAR SOM ÄR FÖREMÅL FÖR NEDSKRIVNINGSPRÖVNING PER PD-INTERVALL

Postrar i balansräkningen fördelade på pd-intervaller	2023			2022		
	Bruttovolym, mkr			Bruttovolym, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde <sup>1</sup>						
0,00111<-0,15	1 744 372	11 553		1 657 207	9 600	
0,15111<-0,25	48 221	3 315		44 316	1 648	
0,25111<-0,50	74 720	7 488		71 013	3 986	
0,50111<-0,75	25 901	6 757		14 541	1 403	
0,75111<-2,50	39 105	4 142		28 171	9 304	
2,50111<-10,00	3 928	10 047		2 020	2 898	
10,00111<-100	314	3 316		543	1 877	
100 (tillsammans)			2 476			2 613
Summa	1 936 562	46 619	2 476	2 017 811	30 717	2 613

Utlåning till allmänheten fördelade på pd-intervaller	2023			2022		
	Bruttovolym, mkr			Bruttovolym, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde <sup>1</sup>						
0,00111<-0,15	498 329	11 550		504 333	9 876	
0,15111<-0,25	13 776	3 315		28 036	1 602	
0,25111<-0,50	21 346	7 486		44 925	3 220	
0,50111<-0,75	7 399	6 756		9 200	1 444	
0,75111<-2,50	11 172	4 141		17 817	9 571	
2,50111<-10,00	1 122	10 045		1 278	2 981	
10,00111<-100	90	3 316		344	1 931	
100 (tillsammans)			2 476			2 613
Summa	553 233	46 608	2 476	605 933	30 716	2 613

Postrar utanför balansräkningen fördelade på pd-intervaller	2023			2022		
	Bruttovolym, mkr			Bruttovolym, mkr		
	Steg 1	Steg 2	Steg 3	Steg 1	Steg 2	Steg 3
pd-värde <sup>1</sup>						
0,00111<-0,15	411 184	1 686		479 840	4 777	
0,15111<-0,25	29 689	152		37 314	748	
0,25111<-0,50	77 603	1 025		25 062	403	
0,50111<-0,75	10 839	3 526		9 158	579	
0,75111<-2,50	15 960	1 625		9 649	1 618	
2,50111<-10,00	1 726	1 852		797	1 618	
10,00111<-100	60	500		121	169	
100 (tillsammans)			122			245
Summa	547 062	10 415	122	561 940	10 002	245

<sup>1</sup> Anser tolv månaders pd-värde vid rapporteringstillfället.

Tillgångar övertagna för skyddande av fordran mkr	2023	2022
Lös egendom	2	0
Aktier och andelar		0
Redovisat värde	2	0

## M11 Riskskatt och resolutionsavgift

mkr	2023	2022
Riskskatt	-1 257	-996
Resolutionsavgift	-375	-335
Summa	-1 633	-1 331

## NOTER | MODERBOLAGET

## M12 Bokslutsdispositioner

mkr	2023	2022
Förändring av överavskrivning inventarier och leasingobjekt		-180
Förändring av överavskrivning inretningsgoodwill		20
Summa		-160

Ingen förändring avseende bokslutsdispositioner har skett under året.

## M13 Utlåning till kreditinstitut

mkr	2023	2022
Utlåning i svenska kronor		
Banker	238	257
Övriga kreditinstitut <sup>1</sup>	740 628	763 263
Summa	740 866	763 520
Utlåning i utländsk valuta		
Banker	46 719	35 174
Övriga kreditinstitut	220 409	225 972
Summa	267 128	262 146
Reservering för förväntade kreditförluster	-2	-2
Summa utlåning till kreditinstitut	1 007 992	1 025 664
varav omvända repor	12 815	4 916
varav offertställda	77 146	53 737

<sup>1</sup> Varav 22 079 mkr (17 550) avser köpprimärkapitallån som Stadsrytpotek har klassificerat som eget kapitalinstrument.

## M14 Utlåning till allmänheten

mkr	2023	2022
Utlåning i svenska kronor		
Hushåll	19 870	24 999
Företag	143 285	164 623
Riksgälden	6 748	1 566
Summa	169 903	191 188
Utlåning i utländsk valuta		
Hushåll	110 270	113 576
Företag	322 144	334 499
Summa	432 414	448 075
Reservering för förväntade kreditförluster	-1 321	-1 542
Summa utlåning till allmänheten	600 997	637 721
varav omvända repor	17 404	12 917
varav offertställda	1 142	1 136
Medelvolymer, exkl Riksgälden		
mkr	2023	2022
Utlåning till allmänheten i svenska kronor	126 609	202 802
Utlåning till allmänheten i utländsk valuta	453 155	468 651
Summa	646 764	671 453
varav omvända repor	29 110	21 300

## NOTER | MODERBOLAGET

## M15 Räntebärande värdepapper

	2023			2022		
	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	199 128	199 128	197 474	132 778	132 778	133 725
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	50 791	50 791	37 151	33 339	33 339	31 611
Summa	249 919	249 919	234 625	166 117	166 117	165 337

Räntebärande värdepapper fördelade på emittent	2023			2022		
	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde	Redovisat värde	Verkligt värde	Nominellt värde
Stat	199 128	199 128	197 474	132 778	132 778	133 725
Kreditinstitut	9 733	9 733	7 856	8 864	8 864	7 655
Bostadsinstitut	35 083	35 083	25 155	18 106	18 106	18 754
Övrigt	5 975	5 975	4 141	6 369	6 369	5 202
Summa	249 919	249 919	234 625	166 117	166 117	165 337

Räntebärande värdepapper som är föremål för nedskrivningsprövning	2023		2022
	Verkligt värde via övrigt totalresultat		
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m			200
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	12 709		9 882
Summa	12 709		10 082
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad i verkligt värdesreserven i eget kapital		-2	-2

Medelvolymer	2023		2022
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	258 785		137 114
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	55 713		45 823
Summa	314 498		182 937

## M16 Aktier och andelar

mkr	2023	2022
Verkligt värde via resultaträkningen, obligationsskuld	5 669	6 668
Verkligt värde via övrigt totalresultat	501	444
Summa aktier och andelar	6 170	7 112

Innehav klassificerade till verkligt värde via övrigt totalresultat	2023		2022
Visa Inc	330		274
VIPPSA/S	60		57
Övriga innehav	111		113
Summa	501		444

Handelsbanken klassificerar ovanstående aktieinnehav till verkligt värde via övrigt totalresultat då dessa inte innehas i handelssyfte. Utdelningarna på dessa aktier uppgår till 3 mkr (17) och redovisas i resultaträkningen som Övriga utdelningsintäkter. Under året har Banken avyttrat innehav i en bostadsrättsförening om totalt 0 mkr (32). Skälet till avyttringen var kontorsnadläggning. För information om realiserat och realiserat resultat för eget kapitalinstrument värderade till verkligt värde via övrigt totalresultat se Förändring av eget kapital Moderbolag.



## M17 Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag samt joint ventures

Aktier och andelar i koncern- och intresseföretag samt joint ventures mkr	2023	2022
Koncernföretag, icke-noterade	68 674	69 998
Intresseföretag, icke-noterade	215	215
Joint ventures, icke-noterade	97	270
Summa	68 986	70 483

Koncernföretag	Organisations-nummer	Säte	Antal aktier	Ägarandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2023	2022
Handelsbanken Finans AB <sup>1</sup>	556053-0841	Stockholm	1 550 000	100	6 942	8 212
Stadshypotek AB <sup>1</sup>	556459-6715	Stockholm	162 000	100	26 870	26 870
Handelsbanken Fondbolagsförvaltning AB <sup>2</sup>	556070-0683	Stockholm	10 000	100		1
Handelsbanken Fonder AB	556418-8851	Stockholm	15 000	100	2	2
Handelsbanken Liv Försäkrings AB	516401-8284	Stockholm	100 000	100	6 189	6 189
SHB Liv Försäkringsaktiebolag	2478149-7	Helsingfors		100		
Handelsbanken Fastigheter AB	556873-0021	Stockholm		100		
Eoster AB	556993-2311	Stockholm	50 000	100	1 750	1 750
Handelsbanken plc <sup>2</sup>	11305395	London	5 050 401	100	24 520	24 543
Handelsbanken Wealth & Asset Management Limited	04132340	London	1 319 206	100		
Optimix Vermogensbeheer N.V.	33194359	Amsterdam	10 209	100	712	713
Add Value Fund Management BV	19196768	Amsterdam		80		
Övriga dotterbolag						
EPN Ekonomikanalen AB	556930-1608	Stockholm	100	100	0	0
AB Handel och Industri	556013-5336	Stockholm	100 000	100	12	12
Handelsbanken Markets Securities, Inc.	11-3257438	New York	1 000	100	39	41
Handelsbanken Rahotus Oy	0112308-8	Helsingfors	37 026 871	100	1 561	1 562
Handelsbanken Skadeförsäkrings AB	516401-6767	Stockholm	1 500	100	31	31
Rådstupass 4 AB	910508423	Bergen	40 000	100	0	0
Svenska Ria S.A.	RCS Lux B-32053	Luxemburg	20 000	100	35	35
Handelsbanken Ventures AB	556993-9357	Stockholm	50	100	11	38
Summa					68 674	69 998

<sup>1</sup> Kreditinstitut.<sup>2</sup> Bolaget har flyttats under 2023.

Förteckningen över koncernföretag omfattar direktägda dotterbolag samt stora dotterbolag till dessa.

Intresseföretag	Organisations-nummer	Säte	Antal aktier	Ägarandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2023	2022
Bankomat AB	556817-9716	Stockholm	150	20,00	67	67
BGC Holding AB	556607-0933	Stockholm	25 542	25,54	81	81
Dyson Group plc	00163036	Sheffield	74 733 672	27,00	22	22
Finansial ID-teknik BID AB	556630-4928	Stockholm	12 735	28,30	24	24
Getawish AB	556913-7382	Stockholm	10 000	20,00	21	21
USE Intressanter AB	559161-9464	Stockholm	2 448	24,48	0	0
Summa					215	215

Joint venture	Organisations-nummer	Säte	Antal aktier	Röstandel, %	Redovisat värde, mkr	
					2023	2022
P27 Nordic Payment Platform AB	559198-9610	Stockholm	10 000	16,67	92	160
Invidem AB	559210-0779	Stockholm	10 000	16,67		107
Tibom AB	559384-9542	Stockholm	4 000	14,29	5	3
Summa					97	270

NOTER | MODERBOLAGET

## M18 Derivatinstrument

M18	Nominellt belopp/löptid			Nominellt belopp		Positiva marknadsvärden		Negativa marknadsvärden	
	upp till 1 år	mer än 1 år upp till 5 år	mer än 5 år	2023	2022	2023	2022	2023	2022
<b>Derivat för handel</b>									
Räntesladerade kontrakt									
Optioner	3 350	25 721	6 187	35 267	25 526	263	410	394	358
FRAs/terminer	377 929	20 062		397 991	681 455	255	928	237	1 180
Swappar	516 830	1 554 660	349 873	2 421 363	2 767 333	49 415	78 155	48 983	77 612
Valutasladerade kontrakt									
Optioner	24 061	1 615	17	25 693	35 136	158	292	237	249
Terminer	56 603	5 712	55	62 370	94 033	1 196	1 418	1 146	1 112
Swappar	513 352	154 597	48 119	716 068	909 677	14 827	17 163	23 997	20 796
Aktiesladerade kontrakt									
Optioner	4 470	380	32	4 882	2 053	194	182	114	95
Terminer	215			215	184	5	6	2	5
Swappar	4 754	1 208		5 962	8 262	101	185	306	663
Råvarusladerade kontrakt									
Optioner			17	17	25	5	2	22	27
Terminer	180			180	367	6	32	18	52
Kreditsladerade kontrakt									
Swappar	463	2 606		3 069	3 908	193	68	82	90
<b>Summa</b>	<b>1 802 216</b>	<b>1 768 861</b>	<b>404 300</b>	<b>3 673 078</b>	<b>4 827 980</b>	<b>68 618</b>	<b>98 841</b>	<b>75 638</b>	<b>102 230</b>
<b>Derivat för marknadsvärdesåterföringar</b>									
Räntesladerade kontrakt									
Swappar	108 976	232 715	72 811	414 502	423 661	11 911	16 884	9 393	15 664
Valutasladerade kontrakt									
Swappar		963		963	1 636	25	77		
<b>Summa</b>	<b>108 976</b>	<b>233 678</b>	<b>72 811</b>	<b>415 465</b>	<b>425 297</b>	<b>11 937</b>	<b>16 961</b>	<b>9 393</b>	<b>15 664</b>
<b>Derivat för kassaflödesåterföringar</b>									
Räntesladerade kontrakt									
Swappar	40 333	30 835	8 645	79 813	122 218	2 961	4 353	78	689
Valutasladerade kontrakt									
Swappar	85 996	119 925	22 289	228 210	210 818	9 734	13 317	6 486	951
<b>Summa</b>	<b>126 329</b>	<b>150 760</b>	<b>30 934</b>	<b>308 023</b>	<b>333 036</b>	<b>12 695</b>	<b>17 670</b>	<b>6 564</b>	<b>1 640</b>
<b>Summa derivatinstrument</b>	<b>1 737 521</b>	<b>2 151 019</b>	<b>508 045</b>	<b>4 396 564</b>	<b>5 286 292</b>	<b>91 240</b>	<b>133 472</b>	<b>91 404</b>	<b>119 543</b>
varav börshandlade derivat				70 400	201 816	148	260	419	274
varav OTC-derivat clearing via CCP				2 172 236	2 774 527	52 627	82 375	45 845	83 967
varav OTC-derivat ej clearing via CCP				2 153 948	2 309 949	38 465	50 837	45 230	35 312
Kvittade belopp				-2 310 691	-2 826 962	-52 221	-81 112	-45 225	-82 558
<b>Nettobelopp</b>				<b>2 085 893</b>	<b>2 459 330</b>	<b>39 019</b>	<b>52 360</b>	<b>46 280</b>	<b>36 985</b>
<b>Valutafördelning av marknadsvärden</b>									
SEK						54 626	-224 388	333 073	12 539
USD						-25 673	187 752	-350 125	-244 777
EUR						157 332	280 424	73 140	300 494
Övriga						-95 045	-110 316	35 406	51 287
<b>Summa</b>						<b>91 240</b>	<b>133 472</b>	<b>91 404</b>	<b>119 543</b>

I noten presenteras derivatkontrakt brutto. Kvittade belopp består av det kvittade marknadsvärdet och tillhörande nominella belopp på kontrakt för vilka det finns en lagad rätt och av sådant reglerat avtalade kassaflöden netto (jämför blandat clearing kontrakt). Dessa kontrakt netto redovisas i balansräkningen per motpart och valuta.

Positiva skillnader mellan det värde som räknats fram med en värderingsmodell vid det första redovisningsstillfället och transaktionspriset (dag 1-resultat) periodiseras över derivats löptid. Vid årsavslut uppgick sådana önnu ej resultatförda dag 1-resultat till 472 mkr (447).

## M19 Säkringsredovisning

Säkringsinstrument i kassaflödesräkning	2023			2022		
	Upp till 1 år	1–5 år	Över 5 år	Upp till 1 år	1–5 år	Över 5 år
<b>Ränterisk</b>						
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta						
Nominellt belopp	13 568	16 503	8 645	15 599	27 009	11 499
Genomsnittlig fast ränta %	0,38	0,60	0,67	0,81	0,44	0,76
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	26 765	14 332		36 885	30 182	1 044
Genomsnittlig fast ränta %	2,61	3,61		2,00	2,65	3,38
<b>Valutakursrisk</b>						
Valutarelaterade derivat EUR/NOK						
Nominellt belopp		35 857	17 514	21 271	17 074	21 847
Genomsnittlig valutakurs EUR/NOK		0,0654	0,0728	0,1045	0,1008	0,0989
Valutarelaterade derivat USD/GBP						
Nominellt belopp		989		7 560		1 000
Genomsnittlig valutakurs USD/GBP		1,3157		1,2930		1,3157
Valutarelaterade derivat USD/NOK						
Nominellt belopp		2 066	40 077	14 163	36 897	
Genomsnittlig valutakurs USD/NOK		0,0509	0,0658	0,1083	0,1114	
Valutarelaterade derivat USD/SEK						
Nominellt belopp		75 356	14 513	60 393	8 421	4 872
Genomsnittlig valutakurs USD/SEK		0,0880	0,0782	0,1000	0,1068	0,1105
Valutarelaterade derivat AUD/USD						
Nominellt belopp				6 602		
Genomsnittlig valutakurs AUD/USD				1,3770		
Valutarelaterade derivat AUD/EUR						
Nominellt belopp		13 016				
Genomsnittlig valutakurs AUD/EUR		1,5415				
Valutarelaterade derivat övriga valutor						
Nominellt belopp		8 574	15 473		20 718	
<b>Summa</b>	<b>128 329</b>	<b>180 780</b>	<b>30 934</b>	<b>162 473</b>	<b>130 301</b>	<b>40 262</b>

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i kassaflödesräkning 2023	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som förväntas för att beräkna ineffektivitet	Värdeförändring avseende säkringsinstrumenten som redovisas i övrigt totalresultat	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen	Omklassificerat från säkringsreserven till resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder				
<b>Ränterisk</b>							
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	38 716	2 580	1	-1 831	-1 917	86	
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	41 067	381	77	751	751		80
<b>Valutakursrisk<sup>1</sup></b>							
Valutarelaterade derivat EUR/NOK	53 371	4 335	445	-124	-196	2	
Valutarelaterade derivat EUR/SEK	15 566	305	310	-12	-12	0	
Valutarelaterade derivat USD/GBP	989	30		8	8		
Valutarelaterade derivat USD/NOK	42 143	3 133	1 048	-22	-20	-2	
Valutarelaterade derivat USD/SEK	94 645	1 322	3 951	-103	-103	0	
Valutarelaterade derivat AUD/USD				7	7		-1
Valutarelaterade derivat övriga valutor	21 406	599	732	15	17	-2	27
<b>Summa</b>	<b>308 023</b>	<b>12 685</b>	<b>6 863</b>	<b>-1 381</b>	<b>-1 465</b>	<b>84</b>	<b>106</b>

Säkringsinstrument samt ineffektivitet i kassaflödesräkning 2022	Nominellt belopp säkringsinstrument	Redovisat värde säkringsinstrument		Förändring i verkligt värde som förväntas för att beräkna ineffektivitet	Värdeförändring avseende säkringsinstrumenten som redovisas i övrigt totalresultat	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen	Omklassificerat från säkringsreserven till resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder				
<b>Ränterisk</b>							
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	54 107	4 282	11	4 758	4 812	-54	
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	68 111	71	678	-2 122	-2 122	0	38
<b>Valutakursrisk<sup>1</sup></b>							
Valutarelaterade derivat EUR/DKK				-3	-3	0	
Valutarelaterade derivat EUR/GBP				20	20		
Valutarelaterade derivat EUR/NOK	60 192	3 846	12	199	200	-1	
Valutarelaterade derivat EUR/SEK	8 194	303		55	55		
Valutarelaterade derivat USD/DKK				70	70	0	
Valutarelaterade derivat USD/GBP	8 560	633		19	19		
Valutarelaterade derivat USD/NOK	41 060	3 432		16	12	4	
Valutarelaterade derivat USD/SEK	73 686	4 728	281	360	358	2	
Valutarelaterade derivat AUD/USD	6 602		442	-56	-56		2
Valutarelaterade derivat övriga valutor	12 524	375	216	90	90	0	4
<b>Summa</b>	<b>333 086</b>	<b>17 670</b>	<b>1 640</b>	<b>3 406</b>	<b>3 465</b>	<b>-49</b>	<b>44</b>

<sup>1</sup> Vid analys utförd att säkringsredovisningspolicy beaktas omvandlingen till moderbolagets funktionsvaluta, svenska kronor, genom att nominella derivatbelopp imputeras i säkringsrelationerna. De imputerade derivatbeloppen är inte inkluderade i de nominella volymerna i tabellerna ovan.

Redovisat värde avseende säkringsinstrument ingår i posten Derivatinstrument i balansräkningen. Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner. Omklassificering till resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner och av ser kassaflödesräkning som avskatats i förkl.

## NOTER | MODERBOLAGET

## M19 Forts

Säkrade poster i kassafödersäkring	2023			2022		
	Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Säkrings- reserv	Belopp som kvarstår i säkringsreserven från säkringsförhållanden där säkrings- redovisning inte långre tillämpas	Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Säkrings- reserv	Belopp som kvarstår i säkringsreserven från säkringsförhållanden där säkrings- redovisning inte långre tillämpas
<b>mkr</b>						
<b>Ränterisk:</b>						
Emitterade värdepapper till rörlig ränta	1 917	2 333		-4 812	4 255	
Utlåning till allmänheten till rörlig ränta	-751	298	366	2 122	-378	446
<b>Valutakursrisk:</b>						
Emitterade värdepapper EUR samt internlån GBP och NOK	208	-107		-272	98	
Emitterade värdepapper USD samt internlån EUR, GBP och NOK	115	317	68	-459	455	89
Emitterade värdepapper AUD	-7	-2	-2	56	-10	-3
Emitterade värdepapper och internlån övriga valutor	-17	37		-90	27	6
<b>Summa</b>	<b>1 465</b>	<b>2 878</b>	<b>432</b>	<b>-3 486</b>	<b>4 447</b>	<b>538</b>

Säkringinstrument i säkring av verkligt värde	2023			2022		
	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år	Upp till 1 år	1-5 år	Över 5 år
<b>mkr</b>						
<b>Ränterisk:</b>						
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta						
Nominellt belopp	44 464	156 862	42 357	23 501	116 649	49 316
Gänomsnittlig fast ränta %	2,21	2,84	2,61	1,34	2,00	1,76
<b>Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta</b>						
Nominellt belopp		983		633		1 003
Gänomsnittlig fast ränta %		3,69		3,26		3,69
<b>Summa</b>	<b>44 464</b>	<b>157 845</b>	<b>42 357</b>	<b>24 134</b>	<b>116 649</b>	<b>50 319</b>

Säkringinstrument samt ineffektivitet i säkring av verkligt värde 2023	Nominellt belopp säkringinstrument	Redovisat värde säkringinstrument		Förändring i verkligt värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder		
<b>mkr</b>					
<b>Ränterisk:</b>					
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	243 683	1 811	9 357	7 932	66
Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	983	25		54	7
<b>Summa</b>	<b>244 666</b>	<b>1 836</b>	<b>9 357</b>	<b>7 986</b>	<b>73</b>
<b>Portföljsäkring av verkligt värde</b>					
<b>Ränterisk:</b>					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	170 819	10 100	36	-7 034	-80
<b>Summa</b>	<b>170 819</b>	<b>10 100</b>	<b>36</b>	<b>-7 034</b>	<b>-80</b>

Säkringinstrument samt ineffektivitet i säkring av verkligt värde 2022	Nominellt belopp säkringinstrument	Redovisat värde säkringinstrument		Förändring i verkligt värde som använts för att beräkna ineffektivitet	Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen
		Tillgångar	Skulder		
<b>mkr</b>					
<b>Ränterisk:</b>					
Ränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	189 466	75	15 652	-14 969	-9
Valutaränteswappar betalar rörlig ränta och erhåller fast ränta	1 636	77		-171	-4
<b>Summa</b>	<b>191 102</b>	<b>152</b>	<b>15 652</b>	<b>-15 140</b>	<b>-13</b>
<b>Portföljsäkring av verkligt värde</b>					
<b>Ränterisk:</b>					
Ränteswappar betalar fast ränta och erhåller rörlig ränta	234 196	16 809	12	14 762	55
<b>Summa</b>	<b>234 196</b>	<b>16 809</b>	<b>12</b>	<b>14 762</b>	<b>85</b>

Redovisat värde avseende säkringinstrument ingår i posten Derivatinstrument i balansräkningen. Ineffektivitet som redovisas i resultaträkningen ingår i posten Nettoresultat av finansiella transaktioner.

## NOTER | MODERBOLAGET

## M19 Forts

Säkrade poster i stödning av verkligt värde 2023	Redovisat värde säkrad post		Ackumulerad justering till verkligt värde som ingår i det redovisade värdet för den säkrade posten		Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet
	Tillgångar	Skulder	Tillgångar	Skulder	
<b>mkr</b>					
<b>Ränterisk</b>					
Emitterade värdepapper och efterställda skulder till fast ränta		233 072		-8 786	-7 913
<b>Summa</b>		233 072		-8 786	-7 913
<b>Portföljstödning av verkligt värde<sup>1</sup></b>					
<b>Ränterisk</b>					
Utlåning till allmänheten till fast ränta	-9 657		-9 657		6 954
<b>Summa</b>	-9 657		-9 657		6 954

<sup>1</sup> Den underliggande utlåningsportföljens nominella volym uppgick per 2023-12-31 till 170 819 mkr (234 195 mkr).

Det finns inget upplupet belopp för justeringar av stödning av verkligt värde som kvarstår i balansräkningen för säkrade poster som inte längre justeras för förändringar i verkligt värdevarken i år eller föregående år.

Säkrade poster i stödning av verkligt värde 2022	Redovisat värde säkrad post		Ackumulerad justering till verkligt värde som ingår i det redovisade värdet för den säkrade posten		Förändring i värde som använts för att beräkna ineffektivitet
	Tillgångar	Skulder	Tillgångar	Skulder	
<b>mkr</b>					
<b>Ränterisk</b>					
Emitterade värdepapper och efterställda skulder till fast ränta		175 113		-16 609	15 127
<b>Summa</b>		175 113		-16 609	15 127
<b>Portföljstödning av verkligt värde<sup>1</sup></b>					
<b>Ränterisk</b>					
Utlåning till allmänheten till fast ränta	-16 611		-16 611		-14 707
<b>Summa</b>	-16 611		-16 611		-14 707

## M20 Kvittning av finansiella instrument

2023	Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper		
mkr	Derivat		Totalt
<b>Finansiella anläggningstillgångar som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal</b>			
Bruttobelopp	91 240	35 332	126 572
Kvittade belopp	-52 221	-4 628	-56 849
Redovisat värde i balansräkningen	39 019	30 704	69 723
<b>Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen</b>			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-7 781		-7 781
Mottagna finansiella säkerheter	-18 880	-30 704	-49 584
<b>Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen</b>	-26 661	-30 704	-57 365
<b>Nettobelopp</b>	12 358	0	12 358
<b>Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal</b>			
Bruttobelopp	91 494	4 631	96 125
Kvittade belopp	-45 225	-4 628	-49 853
Redovisat värde i balansräkningen	46 269	3	46 272
<b>Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen</b>			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-7 781		-7 781
Ställda finansiella säkerheter	-17 305	-3	-17 308
<b>Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen</b>	-25 086	-3	-25 089
<b>Nettobelopp</b>	21 183	0	21 183

## NOTER | MODERBOLAGET

## M20 FORTS

2022 mkr	Derivat	Återköpsavtal samt utlåning av värdepapper	Totalt
<b>Finansiella anläggningstillgångar som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal</b>			
Bruttobelopp	133 472	26 819	160 291
Kvittade belopp	-81 112	-8 320	-89 432
Redovisat värde i balansräkningen	52 360	18 499	70 859
<b>Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen</b>			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-11 031		-11 031
Mottagna finansiella säkerheter	-21 972	-18 484	-40 456
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-33 003	-18 484	-51 487
Nettobelopp	19 357	16	19 372
<b>Finansiella skulder som är föremål för kvittning, nettningsavtal eller liknande avtal</b>			
Bruttobelopp	119 543	8 325	127 868
Kvittade belopp	-82 558	-8 320	-90 878
Redovisat värde i balansräkningen	36 985	6	36 990
<b>Relaterade belopp som inte kvittas i balansräkningen</b>			
Finansiella instrument, nettningsavtal	-11 031		-11 031
Ställda finansiella säkerheter	-5 897	-5	-5 902
Summa av belopp som inte har kvittats i balansräkningen	-16 928	-5	-16 933
Nettobelopp	20 057	0	20 057

Derivatinstrument kvittas i balansräkningen när det återspeglar bankens förväntade kassaflöden vid regleringen av två eller flera derivat. Det inträffar när banken både har en avlämnad rätt och avsedd att reglera avställda kassaflöden netto. Den kvarvarande motpartens risk i derivat reduceras genom avtal om nettningsavtal vid betalningsinställning, det vill säga nettningsavtal om positiva och negativa värden i alla derivattransaktioner med en och samma motpart i en konkursituation. Banken har som policy att teckna nettningsavtal med alla bankmotparter. Nettningsavtalen kompletteras med avtal om ställande av säkerheter för nettoexponeringen. I huvudsak används kontanter som säkerhet, men även statspapper förekommer. Säkerheter för återköpsavtal samt in- och utlåning av värdepapper utgår i regel i form av kontanter eller andra värdepapper.

I det kvittade beloppet för derivattillgångar ingår kvittade kontantsäkerheter om 11 268 mkr (11 346) vilka härrör från balansräkningsposten in- och upplåning från allmänheten. I det kvittade beloppet för derivatsskulder ingår kvittade kontantsäkerheter om 4 272 mkr (12 791) vilka härrör från balansräkningsposten Utlåning till allmänheten.

## M21 Immateriella tillgångar

2023 mkr	Inkräms- goodwill	Internt utvecklad programvara	Övrigt	Totalt 2023
Anskaffningsvärde vid ingången av året	531	5 361	164	6 056
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar		684		684
Avyttringar och utrangeringar	-531	-554		-554
Valutaeffekt		-12		-12
Anskaffningsvärde vid utgången av året	0	5 478	164	6 174
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-531	-2 283	-99	-2 913
Avyttringar och utrangeringar	531	554		554
Årets avskrivningar enligt plan		-575	-33	-608
Årets nedskrivningar				0
Valutaeffekt		3		3
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	0	-2 300	-131	-2 964
Redovisat värde	0	3 178	33	3 211

Under året har utvecklingskostnader uppgående till 2 883 mkr (2 401) kostnadsförts.

2022 mkr	Inkräms- goodwill	Internt utvecklad programvara	Övrigt	Totalt 2022
Anskaffningsvärde vid ingången av året	2 390	4 975	164	7 529
Anskaffningsvärde på tillkommande immateriella tillgångar		572		572
Avyttringar och utrangeringar	-1 875	-218		-2 093
Valutaeffekt	16	32		48
Anskaffningsvärde vid utgången av året	531	5 361	164	6 056
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-2 369	-1 965	-66	-4 400
Avyttringar och utrangeringar	1 875	218		2 093
Årets avskrivningar enligt plan	-21	-507	-33	-561
Årets nedskrivningar		-6		-6
Valutaeffekt	-16	-23		-39
Ackumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-531	-2 283	-99	-2 913
Redovisat värde	0	3 078	66	3 144

I moderbolaget görs avskrivningar på inkremsgoodwill och andra immateriella tillgångar med obestämbar nyttjandeperiod i enlighet med bestämmelserna i ÅPKL. De kundrelationer som förvären gett upphov till, och därmed nyttjandeperioden för inkremsgoodwill, är erfaringsmässigt mycket långa. Avskrivningsperioden är satt till 20 år.

## M22 Fastigheter, inventarier och leasingobjekt

Fastigheter, inventarier och leasingobjekt mkr	2023	2022
Fastigheter	26	25
Inventarier	544	477
Leasingobjekt	6 101	6 028
Egendom övertagen för skyddande av fordran	2	
<b>Summa</b>	<b>6 673</b>	<b>6 530</b>

Fastigheter mkr	2023	2022
Anskaffningsvärde vid ingången av året	54	54
Ny- och ombyggnation	3	0
Anskaffningsvärde vid utgången av året	57	54
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-29	-27
Årets avskrivningar enligt plan	-2	-2
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-31	-29
Redovisat värde	26	25

Inventarier mkr	2023	2022
Anskaffningsvärde vid ingången av året	1 338	1 326
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	332	306
Avyttringar och utrangeringar	-277	-320
Valutaeffekt	-10	26
Anskaffningsvärde vid utgången av året	1 383	1 338
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-861	-872
Årets avskrivningar enligt plan	-253	-260
Avyttringar och utrangeringar	270	288
Valutaeffekt	5	-17
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-839	-861
Redovisat värde	544	477

Leasingobjekt mkr	2023	2022
Anskaffningsvärde vid ingången av året	10 548	11 365
Anskaffningsvärde på tillkommande under året	2 660	2 291
Avyttringar och utrangeringar	-2 986	-3 208
Valutaeffekt mm	-176	100
Anskaffningsvärde vid utgången av året	10 056	10 548
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid ingången av året	-4 520	-4 803
Årets avskrivningar enligt plan	-1 471	-1 647
Årets nedskrivningar	24	-18
Avyttringar och utrangeringar	1 940	1 900
Valutaeffekt	73	-42
Akkumulerade av- och nedskrivningar vid utgången av året	-3 954	-4 620
Redovisat värde	6 101	6 028

Fördelning av framtida leasingavgifter på förfallotidpunkter mkr	Inom 1 år	Mellan 1 och 5 år	Senare än 5 år	Summa
2023				
Fördelning av framtida leasingavgifter	1 626	4 158	409	6 293
2022				
Fördelning av framtida leasingavgifter	1 447	4 217	467	6 131

Leasingobjekten består huvudsakligen av fordon och maskiner. Leasingobjekten skrivs av under leasingavtalets löptid enligt annuitetsmetoden. Summan av räkenskapsårets inlämnade leasingavgifter uppgår till 268 mkr (194) varav den variabla delen av leasingtiderna uppgår 268 mkr (179).

Moderbolagets materiella anläggningstillgångar består av fastigheter (jordskapsfastigheter), inventarier och leasingobjekt. Dessa värderas till anskaffningsvärde med avdrag för ackumulerade av- och nedskrivningar. Avskrivningarna sker utifrån tillgångarnas bedömda nyttjandeperioder. För fastigheter och inventarier tillämpas en linjär avskrivningsplan. Någon väsentlig förändring av nyttjandeperioderna har inte skett under 2023. De bedömda nyttjandeperioderna varierar mellan 10 och 35 år. För fastigheter tillämpas separata avskrivningsplaner för olika delkomponenter. För stomme bedöms nyttjandeperioden vara 100 år och resterande delkomponenter bedöms ha nyttjandeperioder mellan 10 och 35 år. Moderbolaget redovisar finansiella leasingavtal som operationella leasingavtal. Leasingobjekten som huvudsakligen består av fordon och maskiner skrivs av under leasingavtalets löptid enligt annuitetsmetoden. Nedskrivningsprövning av materiella anläggningstillgångar sker när det finns indikation på att tillgången kan ha minskat i värde. Någon indikation för nedskrivningsbehov per balansdagen fanns inte för materiella anläggningstillgångar.

## NOTER | MODERBOLAGET

## M23 Övriga tillgångar

nr	2023	2022
Fordringsfordringar	5 517	10 557
Övrigt	15 272	19 609
Summa	20 789	30 166

## M24 Förutbetalda kostnader och upplupna intäkter

nr	2023	2022
Upplupna intäkter	538	444
Förutbetalda kostnader	840	715
Summa	1 386	1 159

## M25 Skulder till kreditinstitut

nr	2023	2022
Skulder i svenska kronor		
Banker	7 222	9 079
Övriga kreditinstitut	19 320	20 932
Summa	26 542	30 011
Skulder i utländsk valuta		
Banker	73 142	63 861
Övriga kreditinstitut	76 459	75 745
Summa	149 601	139 606
Summa skulder till kreditinstitut	176 143	169 617
varav repor	0	

nr	2023	2022
Skulder till kreditinstitut i svenska kronor	27 383	28 958
Skulder till kreditinstitut i utländsk valuta	233 188	222 412
Summa	260 571	251 370
varav repor	177	125

## M26 In- och upplåning från allmänheten

nr	2023	2022
Inlåning i svenska kronor		
Hushåll	361 646	430 291
Företag	291 500	351 821
Riksgälden	1	1
Summa	653 146	782 113
Inlåning i utländsk valuta		
Hushåll	60 310	67 525
Företag	155 698	165 356
Summa	216 007	232 881
Summa inlåning från allmänheten	869 353	1 014 994

nr	2023	2022
Upplåning i svenska kronor	176 759	81 175
Upplåning i utländsk valuta	63 360	41 103
Summa upplåning från allmänheten	240 119	122 278
Summa in- och upplåning från allmänheten	1 109 471	1 137 272
varav repor	2	5



## NOTER | MODERBOLAGET

## M26 Forts

Modervolymer		
mkr	2023	2022
Inlåning från allmänheten		
Inlåning från allmänheten i svenska kronor	621 097	824 746
Inlåning från allmänheten i utländsk valuta	235 155	308 478
Summa	926 252	1 133 224
Upplåning från allmänheten		
Upplåning från allmänheten i svenska kronor	175 907	70 508
Upplåning från allmänheten i utländsk valuta	121 818	206 408
Summa	367 725	276 916
Vararepor	8 278	16 971

## M27 Emitterade värdepapper

	2023		2022	
mkr	Redovisat värde	Nominellt belopp	Redovisat värde	Nominellt belopp
Certifikat				
Certifikat i svenska kronor	1 020	1 055	908	861
Varav verkligt värde obligatoriskt	1 020	1 055	908	861
Certifikat i utländsk valuta	578 821	301 189	595 898	597 088
Varav upplupet anskaffningsvärde	578 414	300 739	526 171	596 399
Varav ingår i säkring av verkligt värde	15 500	15 745	6 507	6 681
Varav verkligt värde obligatoriskt	407	391	727	690
Summa	679 920	302 244	606 806	607 950
Obligationsskuld				
Obligationsskuld i svenska kronor	2 668	2 622	2 693	2 593
Varav upplupet anskaffningsvärde	2 668	2 622	2 693	2 593
Obligationsskuld i utländsk valuta	223 578	229 835	206 513	220 158
Varav upplupet anskaffningsvärde	223 578	229 835	206 513	220 158
Varav ingår i säkring av verkligt värde	185 172	191 582	145 359	159 198
Summa	226 247	232 457	209 207	222 751
Summa emitterade värdepapper	906 167	534 701	806 013	820 701

mkr	2023	2022
Emitterade värdepapper vid årets ingång	806 013	679 908
Emitterade	1 004 310	819 660
Återköpta	-2 103	-1 587
Förfallna	-985 938	-732 827
Valutaspekulationer m.m.	-16 115	40 959
Emitterade värdepapper vid årets utgång	806 167	806 013

Modervolymer		
mkr	2023	2022
Emitterade värdepapper i svenska kronor	-3 378	-3 640
Emitterade värdepapper i utländsk valuta	860 275	787 344
Summa	851 897	784 304

## M28 Korta positioner

mkr	2023	2022
Korta positioner värderade till verkligt värde		
Aktier	520	362
Räntebärande värdepapper	1 844	1 577
Summa	2 364	1 939

Modervolymer		
mkr	2023	2022
Korta positioner i svenska kronor	15 301	16 865
Korta positioner i utländsk valuta	209	142
Summa	15 510	17 007

NOTER | MODERBOLAGET

M29 Skatter

Redovisade skattekostnader i resultaträkningen	2023	2022
mkr		
Aktuell skatt	-6 004	-4 594
Uppskjuten skatt	270	-307
Skatt hänförlig till tidigare år	-13	45
Summa	-5 747	-4 866

Redovisade skattekostnader i resultaträkningen	2023	2022
mkr		
Resultat före skatt	28 110	20 311
Skatt på resultat före skatt med svensk skattesats	-5 791	-4 184
Bokförd skatt	-5 747	-4 866
Skilnad	44	-672
Skilnaden förklaras av skatteeffekt av sådana följande poster		
Ej skattpåslagna intäkter/av dragregilla kostnader	2	-39
Ej avdragsgill ränta på efterställda skulder	-583	-282
Ej skattpåslagna resor/utgifter och utdelningar	941	130
Nedskrivning av aktier i dotterbolag	-314	-475
Övrigt	-2	-6
Summa	44	-672

Uppskjutna skattefordringar 2023	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Kvittning	Utgående balans
mkr					
Pensioner	304	-13			291
Övrigt	313	109			422
Kvittning				-339	-339
Summa	617	96		-339	374

Uppskjutna skattekulder 2023	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Kvittning	Utgående balans
mkr					
Fastigheter och inventarier	11	-2			9
Säkerhetsinstrument	915		-322		593
Övrigt	267	-204	10		73
Kvittning				-339	-339
Summa	1 193	-206	-312	-339	336

Uppskjutna skattefordringar 2022	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Utgående balans
mkr				
Pensioner	275	29		304
Övrigt	363	-80		313
Summa	638	-51		617

Uppskjutna skattekulder 2022	Ingående balans	Redovisat över resultaträkningen	Redovisat i övrigt totalresultat	Utgående balans
mkr				
Fastigheter och inventarier	11			11
Säkerhetsinstrument	230		685	915
Övrigt	195	256	-184	267
Summa	436	256	501	1 193

En initial bedömning av P-lagens effekt på banken har genomförts och kommer löpande utvärderas. Vår bedömning är att vi kan och vår intention är att vi skall tillämpa de temporära lättnadsreglerna i regelverket. Handelsbanken tillämpar även undantaget IAS 12, vilket innebär att koncernen varken redovisar eller lämnar uppgifter om uppskjutna skattefordringar och -skulder relaterade till inkomstskatter till följd av P-lagen 2.

Alla länder, där Handelsbanken bedriver verksamhet, med undantag för USA, har antagit EU-direktivet till P-lagen 2 och nationell lagstiftning har eller kommer implementeras. Handelsbanken är inte verksam i lägbeskattade länder och samtliga länder där verksamhet bedrivs har en skattesats som överstiger 20%. Enligt antagen lagstiftning och förslag på kommande lagstiftning skall eventuell tilläggsskatt betalas i respektive land, förutom i USA där betalning bör ske från moderbolaget i Sverige. Handelsbankens bedömning är att reglerna inte kommer att få någon väsentlig inverkan på Handelsbankens finansiella rapporter.

Ej redovisade uppskjutna skattefordringar och underskott  
Uppskjuten skattefordran på underskottssvdrag och andra framtida avdragregilla temporära skillnader redovisas enbart om det är sannolikt att de kan nyttjas inom en överskådlig framtid.

## M30 Avsättningar

Avsättningar 2023	Avsättning för förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen <sup>1</sup>	Omstrukturerings-reserv <sup>2</sup>	Övriga avsättningar <sup>3</sup>	Summa
mkr				
Avsättningar vid årets ingång	283	108	204	648
Avsatt under året			191	191
Inspråktaget		-136	-57	-193
Återfört			-28	-28
Nettoförändring av förväntade kreditförluster	9			9
Avsättningar vid årets utgång	292	22	310	624

Avsättningar 2022	Avsättning för förväntade kreditförluster på poster utanför balansräkningen <sup>1</sup>	Omstrukturerings-reserv <sup>2</sup>	Övriga avsättningar <sup>3</sup>	Summa
mkr				
Avsättningar vid årets ingång	277	641	93	1 011
Avsatt under året			434	434
Inspråktaget		-482	-313	-796
Återfört			-9	-9
Nettoförändring av förväntade kreditförluster	6			6
Avsättningar vid årets utgång	283	158	204	646

<sup>1</sup> För ytterligare information, se not M10 och M30.

<sup>2</sup> Avsättningen för omstruktureringskostnader avser kostnader relaterade till bankens omställning. Merparten av avsättningsbeloppet är registrat under åren 2021–2023.

<sup>3</sup> Reserverna förväntas vara registrat vid utgången av 2024.

<sup>4</sup> Under Övriga avsättningar redovisas de belopp som avsatts för reglering av de anspråk som riksdals mot banken.

## M31 Övriga skulder

mkr	2023	2022
Fondinvestskulder	5 090	3 052
Övrigt	6 285	3 727
Summa	11 374	6 779

## M32 Upplupna kostnader och förutbetalda intäkter

mkr	2023	2022
Upplupna kostnader	1 444	1 798
Förutbetalda intäkter	955	1 103
Summa	2 399	2 901

## M33 Efterställda skulder

mkr	2023	2022
Efterställda skulder i svenska kronor		
Efterställda skulder i utländsk valuta	43 117	42 404
Summa	43 117	42 404

Specifikation, efterställda skulder							
Emissionsår	Förfall	Ursprunglig förfallodag	Första möjliga datum för inlösen	Valuta	Ursprungligt nominellt belopp i respektive valuta	Konvertibelt/ Ej konvertibelt	Räntesats, % Utstående belopp
2018	Tidsbunden <sup>1</sup>	2029-03-05	2024-03-05	EUR	750	Ej konvertibelt	1,625
2019	Ejgt <sup>2,3</sup>		2024-03-01	USD	500	Konvertibelt <sup>4</sup>	6,250
2020	Ejgt <sup>2,3</sup>		2027-03-01	USD	500	Konvertibelt <sup>4</sup>	4,375
2020	Ejgt <sup>2,3</sup>		2031-03-01	USD	500	Konvertibelt <sup>4</sup>	4,750
2022	Tidsbunden <sup>1</sup>	2035-05-01	2028-05-01	EUR	500	Ej konvertibelt	3,250
2022	Tidsbunden <sup>1</sup>	2032-08-23	2027-08-23	GBP	500	Ej konvertibelt	4,625
2023	Tidsbunden <sup>1</sup>	2034-08-16	2029-08-16	EUR	750	Ej konvertibelt	5,000
Summa							43 117

<sup>1</sup> Efterställt samtliga seniora skulder.

<sup>2</sup> Efterställt samtliga instrument utom aktier, närmast högre är tidsbundna efterställda skulder.

<sup>3</sup> Inlösenort vid varje påföljande räntesättningsdag eller första inlösendatum.

<sup>4</sup> Skulderna konverteras till stamaktier i Svenska Handelsbanken AB om Svenska Handelsbanken AB:s kärnprimärkapitalrelation understiger 5,125% eller om den konsoliderade situationens kärnprimärkapitalrelation understiger 8,0%.

## NOTER | MODERBOLAGET

## M33 Forts

Förändring av efterställda skulder mkr	2023	2022
Efterställda skulder vid årets ingång	42 404	32 257
Emitterade	8 753	11 445
Återköpta		
Förtälna	-8 326	-2 994
Valutaeffekter m.m.	286	1 695
Efterställda skulder vid årets utgång	43 117	42 404
Modervolymer		
mkr	2023	2022
Efterställda skulder i svenska kronor		945
Efterställda skulder i utländsk valuta	42 200	37 131
Summa	42 200	38 076

## M34 Obeskattade reserver

mkr	2023	2022
Akkumulerade överavskrivningar inventarier och leasingobjekt	867	867
Summa	867	867

## M35 Specifikation av förändringar i eget kapital

Förändring av säkringsreserv mkr	2023	2022
Säkringsreserv vid årets ingång	3 531	823
Kassaförsäkring		
Effektiv del av förändringen i verkligt värde		
Ränterisk	-1 165	2 690
Valutarisk	-299	765
Omklassificerat till resultaträkningen <sup>1</sup>	-106	-44
Skatt	324	-703
Säkringsreserv vid årets utgång	2 284	3 531
Förändring av verkligt värdereserv		
mkr	2023	2022
Verkligt värdereserv vid årets ingång	126	158
Orealiserade värdeförändringar – eget kapitalinstrument	51	22
Realiserade värdeförändringar – eget kapitalinstrument	0	91
Orealiserade värdeförändringar – skuldinstrument	19	-54
Förändring av reserv för förväntade kreditförluster – skuldinstrument	0	0
Omklassificerat till balanserade vinster – eget kapitalinstrument <sup>2</sup>	0	-91
Omklassificerat till resultaträkningen – skuldinstrument <sup>3</sup>	0	
Verkligt värdereserv vid årets utgång	197	126
Förändring av omräkningsreserv		
mkr	2023	2022
Omräkningsreserv vid årets ingång	1 847	1 075
Förändring av omräkningsdifferens	-811	1 395
Omklassificerat till resultaträkningen <sup>4</sup>	9	-51
Omklassificerat till balanserade vinster <sup>5</sup>	-284	-573
Omräkningsreserv vid årets utgång	761	1 847

<sup>1</sup> Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post 22 mkr (9).<sup>2</sup> Skatt som omklassificerats till balanserade vinster hänförlig till denna post 0 mkr (-).<sup>3</sup> Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post 0 mkr (-).<sup>4</sup> Skatt som omklassificerats till resultaträkningen hänförlig till denna post -2 mkr (-1).<sup>5</sup> Skatt som omklassificerats till balanserade vinster hänförlig till denna post 19 mkr (38).

## M36 Klassificering av finansiella tillgångar och skulder

2023	Verkligt värde via resultaträkningen						
			Derivat identifierat som säkrings- instrument	Verkligt värde via övrigt totalresultat	Upplupet anskaffningsvärde	Summa redovisat värde	Verkligt värde
mkr	Obligatoriskt	Verkligt värdeoptionen					
<b>Tillgångar</b>							
Kassa och tillgodehavanden hos centralbanker					362 536	362 536	362 536
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	3 534	195 594				199 128	199 128
Utlåning till kreditinstitut	22 079				985 913	1 007 992	1 007 967
Utlåning till allmänheten					600 997	600 997	600 969
Värdepappersförändring på räntebärande post i portföljsäkring					-9 657	-9 657	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	14 255	23 827		12 709		50 791	50 791
Aktier och andelar	5 669			501		6 170	6 170
Tillgångar där kunden står värdepappersförändringsrisken	1 871				78	1 948	1 948
Derivatinstrument	29 183		9 836			39 019	39 019
Övriga tillgångar	27				20 762	20 769	20 769
Summa	76 618	219 421	9 836	13 210	1 960 639	2 279 713	2 288 717
Aktier och andelar i koncern- och intressföretag samt joint ventures						68 986	
Icke finansiella tillgångar						11 645	
Summa tillgångar						2 360 344	
<b>Skulder</b>							
Skulder till kreditinstitut					176 143	176 143	176 307
In- och upplåning från allmänheten					1 109 471	1 109 471	1 109 002
Skulder där kunden står värdepappersförändringsrisken		1 871			78	1 948	1 948
Emitterade värdepapper	1 505				804 661	806 167	805 602
Derivatinstrument	39 781		6 489		46 269	46 269	46 269
Korta positioner	2 364					2 364	2 364
Övriga skulder	27				11 347	11 374	11 374
Efterstälda skulder					43 117	43 117	43 227
Summa	43 678	1 871	6 489		2 144 817	2 196 893	2 197 183
Icke finansiella skulder						4 193	
Summa skulder						2 201 046	

2022	Verkligt värde via resultaträkningen						
mkr	Obligatoriskt	Verkligt värdeoptionen	Derivat identifierat som säkringsinstrument	Verkligt värde via övrigt totalresultat	Upplupet anskaffningsvärde	Summa redovisat värde	Verkligt värde
<b>Tillgångar</b>							
Kassa och tillgodehavanden hos centralbanker					376 010	376 010	376 010
Belåningsbara statskultförbindelser m.m.	1 465	131 113		200		132 778	132 778
Utlåning till kreditinstitut	17 551				1 008 113	1 025 664	1 025 668
Utlåning till allmänheten					637 721	637 721	632 048
Värdepappersförändring på räntebärande post i portföljsäkring					-16 611	-16 611	
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	5 970	17 487		9 882		33 339	33 339
Aktier och andelar	6 668			444		7 112	7 112
Tillgångar där kunden står värdepappersförändringsrisken	2 314				73	2 387	2 387
Derivatinstrument	38 809		13 551			52 360	52 360
Övriga tillgångar	14				30 152	30 166	30 166
<b>Summa</b>	<b>72 701</b>	<b>148 600</b>	<b>13 551</b>	<b>10 526</b>	<b>2 036 488</b>	<b>2 289 026</b>	<b>2 291 898</b>
Aktier och andelar i koncern- och intressföretag samt joint ventures						70 483	
Icke finansiella tillgångar						11 480	
<b>Summa tillgångar</b>						<b>2 362 889</b>	
<b>Skulder</b>							
Skulder till kreditinstitut					169 617	169 617	169 640
In- och upplåning från allmänheten					1 137 272	1 137 272	1 136 746
Skulder där kunden står värdepappersförändringsrisken		2 314			73	2 387	2 387
Emitterade värdepapper	1 635				804 378	806 013	805 412
Derivatinstrument	32 427		4 558			36 985	36 985
Korta positioner	1 939					1 939	1 939
Övriga skulder	11				6 768	6 779	6 779
Efterstälda skulder					42 404	42 404	42 430
<b>Summa</b>	<b>36 012</b>	<b>2 314</b>	<b>4 558</b>		<b>2 160 512</b>	<b>2 208 306</b>	<b>2 202 318</b>
Icke finansiella skulder						4 740	
<b>Summa skulder</b>						<b>2 208 138</b>	

NOTER | MODERBOLAGET

## M37 Värdering av finansiella instrument till verkligt värde

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2023 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
<b>Tillgångar</b>				
Belåningsbara statsskuldförbindelser m.m.				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	3 498	36		3 534
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	195 594			195 594
Verkligt värde via övrigt totalsresultat				
Utlåning till kreditinstitut		22 079		22 079
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	13 950	305		14 255
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	23 827			23 827
Verkligt värde via övrigt totalsresultat	11 158	1 551		12 709
Aktier och andelar				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	5 166	508		5 669
Verkligt värde via övrigt totalsresultat	210	135	156	501
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	1 794		77	1 871
Derivatinstrument	92	38 925	2	39 019
<b>Summa</b>	<b>285 289</b>	<b>63 834</b>	<b>238</b>	<b>319 098</b>
<b>Skulder</b>				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	1 794		77	1 871
Emitterade värdepapper		1 506		1 506
Derivatinstrument	47	45 221	2	46 269
Korta positioner	2 364			2 364
<b>Summa</b>	<b>4 205</b>	<b>47 727</b>	<b>79</b>	<b>52 010</b>

Finansiella instrument värderade till verkligt värde 2022 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
<b>Tillgångar</b>				
Belåningsbara statsskuldförbindelser m.m.				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	1 465			1 465
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	131 113			131 113
Verkligt värde via övrigt totalsresultat	200			200
Utlåning till kreditinstitut		17 551		17 551
Obligationer och andra räntebärande värdepapper				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	5 971			5 971
Verkligt värde via resultaträkningen, verkligt värdeoptionen	17 487			17 487
Verkligt värde via övrigt totalsresultat	9 124	758		9 882
Aktier och andelar				
Verkligt värde via resultaträkningen, obligatoriskt	6 284	384		6 668
Verkligt värde via övrigt totalsresultat	174	117	152	443
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	1 788		525	2 313
Derivatinstrument	49	52 271	39	52 360
<b>Summa</b>	<b>173 686</b>	<b>71 081</b>	<b>716</b>	<b>245 483</b>
<b>Skulder</b>				
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	1 788		525	2 313
Emitterade värdepapper		1 635		1 635
Derivatinstrument	54	36 892	39	36 985
Korta positioner	1 858	81		1 939
<b>Summa</b>	<b>3 700</b>	<b>38 608</b>	<b>564</b>	<b>42 872</b>

Redogörelse för tillämpade principer återfinns i not K42.

Förändring av innehav i finansiella instrument i nivå 3 2023 mkr	Aktier och andelar	Derivat- tillgångar	Derivat- skulder	Tillgångar där kunden står värdeförändrings- risken	Skulder där kunden står värdeförändrings- risken
Redovisat värde vid årets ingång	152	39	-39	526	-525
Nyanskaffningar					
Återköp/avyttrat					
Förtälet					
Orealiserad värdeförändring i resultaträkningen	4	0	0	-448	448
Orealiserad värdeförändring i övrigt totalsresultat					
Förflyttning från nivå 1 eller 2					
Förflyttning till nivå 1 eller 2		-37	37		
Redovisat värde vid årets utgång	156	2	-2	77	-77

En förändring i icke observerbara indata bedöms ej föranleda betydande högre eller lägre värdering av innehaven i nivå 3 varför någon känslighetsanalys ej lämnas.

## NOTER | MODERBOLAGET

## M37 Forts

## Förändring av innehav i finansiella instrument i nivå 3 2022

mkr	Aktier och andelar	Derivat- tillgångar	Derivat- skulder	Tillgångar där kunden står värdeförändrings- riktan	Skulder där kunden står värdeförändrings- riktan
Redovisat värde vid årets ingång	808	43	-43	484	-484
Nyanskaffningar		34	-39		
Årsköp/salv/åter	-470	-43	41		
Förfallat					
Realiserad värdeförändring i resultaträkningen	14	-32	39	41	-41
Realiserad värdeförändring i övrigt resultat					
Förflyttning från nivå 1 eller 2		29	-29		
Förflyttning till nivå 1 eller 2		8	-8		
Redovisat värde vid årets utgång	182	39	-39	625	-625

Värkligt värde på finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde 2023 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
<b>Tillgångar</b>				
Kassa och tillgodoavanden hos centralbanker	362 536			362 536
Utlåning till kreditinstitut	36 854	948 676	358	985 888
Utlåning till allmänheten	42 262	828	557 279	600 369
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	78			78
<b>Summa</b>	<b>441 730</b>	<b>949 504</b>	<b>557 637</b>	<b>1 948 871</b>
<b>Skulder</b>				
Skulder till kreditinstitut	31 857	144 449		176 307
In- och upplåning från allmänheten	1 101 553	7 449		1 109 002
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	78			78
Emitterade värdepapper	194 404	610 782		805 186
Efterbetalda skulder		43 227		43 227
<b>Summa</b>	<b>1 327 892</b>	<b>806 907</b>		<b>2 133 800</b>

Värkligt värde på finansiella instrument redovisade till upplupet anskaffningsvärde 2022 mkr	Nivå 1	Nivå 2	Nivå 3	Totalt
<b>Tillgångar</b>				
Kassa och tillgodoavanden hos centralbanker	376 010			376 010
Utlåning till kreditinstitut	36 180	971 524	403	1 008 107
Utlåning till allmänheten	23 635	9 604	598 808	632 048
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	73			73
<b>Summa</b>	<b>435 898</b>	<b>981 128</b>	<b>599 211</b>	<b>2 016 238</b>
<b>Skulder</b>				
Skulder till kreditinstitut	22 592	147 047		169 640
In- och upplåning från allmänheten	1 111 036	25 650		1 136 746
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	73			73
Emitterade värdepapper	270 942	532 835		803 777
Efterbetalda skulder		42 430		42 430
<b>Summa</b>	<b>1 404 703</b>	<b>747 962</b>		<b>2 152 668</b>

M38 Ställda och mottagna säkerheter samt överförda finansiella tillgångar

Förägnaskulder ställda säkerheter		
mkr	2023	2022
Kontanter	20 707	9 112
Statspapper och obligationer	5 691	3 767
Aktier	143	315
Övrigt	737	804
Summa	27 278	13 998
varav pantar som förtäkten återkallas av banken	18	22

Övriga ställda säkerheter		
mkr	2023	2022
Kontanter	239	176
Statspapper och obligationer	63 619	10 692
Aktier	4 411	3 726
Övrigt	399	383
Summa	68 667	14 977
varav pantar som förtäkten återkallas av banken	52 056	2 191

Med Övriga ställda säkerheter avses säkerheter som ställts för förpliktelser som ej redovisas i balansräkningen.

Mottagna säkerheter

Som en del av ingångna omvända återköpsavtal och värdepapperslån har koncernen accepterat säkerheter som kan säljas eller pantsättas vidare till tredje part. Det verkliga värdet av sådana accepterade säkerheter uppgick till 46 389 mkr (35 395) vid räkenskapsårets slut, varav säkerheter till ett värde av 15 721 mkr (16 970) var sålda eller pantsatta till tredje part.

Överförda finansiella tillgångar redovisade i balansräkningen	2023		2022	
	Redovisat värde	Redovisat värde motvarande skuld	Redovisat värde	Redovisat värde motvarande skuld
mkr				
Aktier, värdepappersutlåning	4 237	112 <sup>1</sup>	4 039	206 <sup>1</sup>
Statspapper och obligationer, repor	4 464	2	3 350	2
Statspapper och obligationer, övrigt			43	
Tillgångar där kunden står värdetförändringsrisken	159	159	603	603
Summa	8 860	273	8 036	813

<sup>1</sup> Mottagen kontantsäkerhet.

M39 Eventualförpliktelser

mkr	2023	2022
<b>Anevarsförbindelser</b>		
Garantiförbindelser, krediter	15 688	15 177
Garantiförbindelser, övriga	52 885	56 544
Oåterkallliga rembursar	203	312
Summa	68 776	72 032
varav föremål för nedskrivningsprövning	68 775	72 032
<b>Åtaganden</b>		
Kreditförlän	284 120	301 812
Outryttad del av beviljade räkningkrediter	96 781	105 414
Övrigt <sup>1</sup>	273 912	262 296
Summa	654 813	669 522
varav föremål för nedskrivningsprövning	438 824	500 155
Summa eventualförpliktelser	723 588	741 555
Reservering för förväntade kreditförluster redovisad som avsättning, se not M30.	292	283

<sup>1</sup> I raden Övrigt ingår interna likviditetsgarantier till dotterbolag på 260 581 mkr (249 197).

Anevarsförbindelser

Anevarsförbindelserna består i huvudsak av olika typer av garantiförbindelser. Kreditgarantier ges till kunder för att garantera åtaganden i andra kredit- och pensionsinstitut. Övriga garantier utgörs främst av kommersiella garantier såsom anbudsgarantier, garantier avseende frakttarabeteringar, garantier under ansvaretiden och exportrelaterade garantier. Anevarsförbindelser omfattar också outryttade oåterkallliga importrembursar och bekräftade exportrembursar. Dessa transaktioner ingår i bankens tjänster och är till stöd för bankens kunder. I tabellen anges garantiernas nominella belopp.

Tvister

Handelsbanken är föremål för krav i ett antal tvistemål som drivs i allmän domstol. Bedömningen är att tvistemålen i all väsentligt kommer att utfalla till bankens fördel. Tvistebeloppen bedöms inte kunna få en väsentlig inverkan på bankens ställning eller resultat.



## M40 Pensionsförpliktelser

mkr	2023	2022
Förvaltningsstillgångarnas verkliga värde	33 580	31 667
Pensionsförpliktelser	29 377	31 616
Pensionsnetto <sup>1</sup>	4 203	81

Förvaltningsstillgångarna i netto av Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse och liknande juridiska personer avseende utländska utfästelser. Pensionsförpliktelser har beräknats enligt Finansinspektionens föreskrifter, vilket innebär att skuld i Sverige är beräknad enligt trygghetsslagen, och motsvarande utländska pensionsförpliktelser har beräknats utifrån lokal reglering.

Av det verkliga värdet på förvaltningsstillgångarna i Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse avser 7 355 mkr (7 847) avsättningsfria som gjorts under åren 1989–2004 till en särskild kompletterande pension (SKP). I förpliktelserna ingår utfästelse avseende SKP med samma belopp som förvaltningsstillgångarnas verkliga värde.

En del av denna utfästelse, 5 650 mkr (5 872), är villkorad.

<sup>1</sup> Vid negativt Pensionsnetto redovisas inte underskott som en skuld i balansräkningen eftersom överskottet i Pensionskassan SHB Tjänstepensionsförening kan nyttjas för att täcka moderbolagets pensionsförpliktelser, samt att delar av utfästelsen är villkorad. I Pensionskassan SHB Tjänstepensionsförening uppgår pensionsförpliktelserna till 7 000 mkr (6 136) och marknadsvärdet av tillgångarna till 16 323 mkr (15 221). Överskottet i Pensionskassan SHB Tjänstepensionsförening uppgår således till 9 324 mkr (9 085).

Pensionskostnader mkr	2023	2022
Utbetalda pensioner	-1 600	-1 328
Pensionspremier	-667	-561
Socialavgifter	-276	-387
Ersättning från pensionsstiftelse	720	
Avsättning till pensionsstiftelse		-94
Summa pensionskostnader <sup>1</sup>	-1 823	-2 370

<sup>1</sup> Pensionskostnaderna av högre 2022 främst på grund av att banken avstod från att ta gottgörelse i syfte att öka konsolideringsgraden av Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse.

Nästa års förväntade utbetalda pensioner avseende förmånsbestämda pensionsplaner uppgår till 1 133 mkr. Kostnaderna för pensionspremier innehåller premier för BTPK (premiärbestämd pension) med 147 mkr (90).

Förvaltningsstillgångar mkr	2023	2022
Ingående balans	31 667	35 174
Åvskatning	2 633	-3 601
Avsättning till pensionsstiftelse		94
Ersättning från pensionsstiftelse	-720	
Utgående balans	33 580	31 667
Procentuell åvskatning på förvaltningsstillgångar	8%	-10%

Pensionsförpliktelser mkr	2023	2022
Ingående balans	31 616	35 142
Teknisk avgift	792	1 013
Ränta	367	111
Värdesäkring <sup>1</sup>	2 361	639
Förflida pensionering	230	259
Utbetalda pensioner	-1 633	-1 438
Ändrade antaganden <sup>2</sup>	-4 671	-4 006
Värdeförändring villkorad förpliktelse	622	-27
Effekt av planändring		
Annan förändring av kapitalvärdet	-307	-85
Utgående balans	29 377	31 616

<sup>1</sup> Värdesäkring av pensioner, såväl för intjänade förtjänster som pensioner under utbetalning, har ökat eftersom indexeringen höjts från 2,51 % till 10,84 % under 2023.

<sup>2</sup> Ökningen avser främst höjd diskonteringsränta.

Fördelning av förvaltningsstillgångar mkr	2023	2022
Aktier och fondandelar <sup>1</sup>	31 919	29 016
Räntebärande värdepapper	1 499	1 515
Övriga förvaltningsstillgångar <sup>2</sup>	162	1 136
Summa	33 580	31 667

<sup>1</sup> Fondandelarna är till största del placerade i räntefonder och uppgår till 20 270 mkr (19 388).

<sup>2</sup> I övriga förvaltningsstillgångar ingår per den 31 december 2023 både likvida medel och en skuld avseende ännu ej utbetalad gottgörelse. Per den 31 december 2022 ingår likvida medel.

I Sverige gäller från och med den 1 mars 2020 att alla nyanställda och anställda då yngre än 25 år tjänar in pension i en premiärbestämd pensionsplan.

Anställda före den 1 mars 2020 påverkas inte utan omfattas fortsatt av den förmånsbestämda pensionsplanen som följer pensionsavtalet mellan BAO och Finansförbundet/BAO-förbunden.

Ålderspension från och med 65 års ålder utgår med 10% av årslönen upp till 7,5 inkomstbasbelopp. På löneåldersintervall 7,5–20 inkomstbasbelopp utgår ålderspension med 65% och i intervall 20–30 inkomstbasbelopp med 32,5% av årslönen. På löneåldersintervall överstigande 30 inkomstbasbelopp utgår ingen ålderspension.

Avseende den svenska pensionsförpliktsen beräknas värdet av pensionsförpliktelserna per balansdagen enligt Trygghetsslagens försäkringsstatistiska grunder. De mest väsentliga beräkningsantagandena är dödligheten och diskonteringsräntan. Diskonteringsräntan är 1,8% (0,6) efter avdrag för skatt och omkostnader.

Utländska pensionsförpliktelser är beräknade enligt lokala redovisningsregler.

NOTER | MODERBOLAGET

## M41 Tillgångar och skulder i valuta

2023 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
<b>Tillgångar</b>								
Kassa och tillgodohavande hos centralbanker	67 895	128 820	4 775	0	0	160 935	109	362 536
Utlåning till kreditinstitut	740 864	98 670	77 867	1	87 385	2 859	346	1 007 992
Utlåning till allmänheten	169 249	222 221	192 392	1 464	5 383	8 753	1 535	600 997
varav förstag	142 718	139 758	166 117	1 443	5 331	8 594	503	464 463
varav hushåll	19 783	82 463	26 275	21	52	159	1 082	129 785
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	181 752	7 561	36	1		9 778		190 128
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	37 572	486	12 223			509		50 791
Övriga ej valutafördelade poster	138 900							138 900
<b>Summa tillgångar</b>	<b>1 336 232</b>	<b>467 788</b>	<b>287 294</b>	<b>1 466</b>	<b>92 768</b>	<b>182 836</b>	<b>1 991</b>	<b>2 360 344</b>
<b>Skulder</b>								
Skulder till kreditinstitut	26 542	54 242	25 438	474	58 238	11 103	106	176 143
In- och upplåning från allmänheten	829 905	140 722	110 182	1 121	5 153	20 062	2 327	1 109 471
varav förstag	351 212	112 056	75 816	1 029	4 535	17 668	1 649	563 964
varav hushåll	478 693	28 666	34 366	92	618	2 394	679	545 508
Emitterade värdepapper	3 767	310 003	0		10 604	459 581	22 211	806 167
Efterställda skulder	0	22 740			6 258	14 120		43 117
Övriga ej valutafördelade poster, inkl eget kapital	225 445							225 445
<b>Summa skulder och eget kapital</b>	<b>1 085 659</b>	<b>527 707</b>	<b>135 619</b>	<b>1 595</b>	<b>80 263</b>	<b>504 886</b>	<b>24 845</b>	<b>2 360 344</b>
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		69 794	-151 632	136	-12 536	322 019	22 720	
Nettoposition i valuta		-155	43	7	-21	-11	65	-72

Bankens syn på valutarkislagande framgår av not K2.

2022 mkr	SEK	EUR	NOK	DKK	GBP	USD	Övriga valutor	Totalt
<b>Tillgångar</b>								
Kassa och tillgodohavande hos centralbanker	100 413	136 928	8 562	0	0	129 674	34	376 011
Utlåning till kreditinstitut	763 519	102 367	64 532	1	90 662	4 220	362	1 025 663
Utlåning till allmänheten	190 462	224 337	195 710	9 901	3 956	11 150	2 205	637 721
varav förstag	165 606	137 634	170 696	9 884	3 916	10 963	833	499 572
varav hushåll	24 856	86 653	25 024	17	40	187	1 372	138 149
Belåningsbara statsskuldförbindelser m m	117 546	5 483	36	1		9 712		132 778
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	22 996	1 472	8 352			519		33 339
Övriga ej valutafördelade poster	157 377							157 377
<b>Summa tillgångar</b>	<b>1 362 313</b>	<b>470 687</b>	<b>277 592</b>	<b>9 902</b>	<b>94 619</b>	<b>185 276</b>	<b>2 600</b>	<b>2 362 899</b>
<b>Skulder</b>								
Skulder till kreditinstitut	30 011	55 820	4 800	2 401	60 938	15 553	93	169 616
In- och upplåning från allmänheten	863 287	135 710	91 507	1 150	3 274	39 485	2 859	1 137 272
varav förstag	381 556	104 049	58 151	1 103	2 403	36 537	2 061	586 861
varav hushåll	481 731	31 680	33 355	47	871	2 948	708	551 410
Emitterade värdepapper	3 601	242 352	216		3 650	536 118	20 076	806 013
Efterställda skulder		22 266			5 930	14 208		42 404
Övriga ej valutafördelade poster, inkl eget kapital	207 584							207 584
<b>Summa skulder och eget kapital</b>	<b>1 104 484</b>	<b>456 147</b>	<b>96 823</b>	<b>3 552</b>	<b>73 793</b>	<b>605 364</b>	<b>23 027</b>	<b>2 362 899</b>
Valutafördelade övriga tillgångar och skulder (netto)		-14 448	-180 563	-6 374	-20 813	449 902	20 493	
Nettoposition i valuta		-8	107	-24	13	-26	66	58

## M42 Upplysningar om närstående

Fordringar på och skulder till närstående	Dotterbolag		Intresseföretag och joint ventures		Övriga närstående	
	2023	2022	2023	2022	2023	2022
<b>Utlåning till kreditinstitut</b>	959 034	986 353				
Utlåning till allmänheten	1 142	1 136	334	1 289		
Derivat	8 909	16 098				
Övriga tillgångar	13 361	16 352	30	28	13	16
<b>Summa</b>	<b>982 446</b>	<b>1 019 939</b>	<b>364</b>	<b>1 317</b>	<b>13</b>	<b>16</b>
<b>Skulder till kreditinstitut</b>	85 791	88 299				
In- och upplåning från allmänheten	20 145	18 637	311	127	1 159	1 528
Derivat	12 060	7 941				
Övriga skulder	83	116				
<b>Summa</b>	<b>118 079</b>	<b>114 993</b>	<b>311</b>	<b>127</b>	<b>1 159</b>	<b>1 528</b>
Beslutad förpliktelse	272 990	252 397			7 000	6 136
Derivat, nominellavården	438 479	293 957				

Närstående – intäkter och kostnader	Dotterbolag		Intresseföretag och joint ventures		Övriga närstående	
	2023	2022	2023	2022	2023	2022
Räntesintäkter	28 525	8 596	22	8		
Räntekostnader	-5 129	-1 488	-3		-149	-6
Provisionsintäkter			1			
Provisionskostnader			-223	-230		
Nettoreultat av finansiella poster värderade till verkligt värde				0		
Övriga intäkter	3 566	3 059			18	19
Övriga kostnader	-452	-421	-177	-102		
<b>Summa</b>	<b>28 510</b>	<b>9 748</b>	<b>-380</b>	<b>-314</b>	<b>-131</b>	<b>13</b>

Specifikation över dotterbolagen, intresseföretagen och joint ventures finns i not M17. Intresseföretagens och joint ventures verksamhet består av att utföra olika typer av tjänster i anknytning till de finansiella marknaderna. I gruppen övriga närstående ingår följande företag: Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse, Svenska Handelsbankens Personalförsäkring och Pensionskassan SHB Tjänstepensionsförsäkring (Pensionskassan). Företagen ansluter Svenska Handelsbanken AB för sedvanliga bank- och redovisningstjänster. Upplysningar om aktieägarförhållanden till koncern- och intresseföretag lämnas i not M17.

Pensionskassans utbetalningar till anställda i dotterbolag garanteras av moderbolaget, det vill säga om Pensionskassan inte skulle kunna betala sina åtaganden så är moderbolaget skyldigt att ta över och betala åtagandet. Pensionskassans förpliktelser uppgår till 17 000 mkr (6 136). Svenska Handelsbanken AB har begärt ersättning av Svenska Handelsbankens Pensionsstiftelse uppgående till 720 mkr (-) avseende pensionskostnader samt av Svenska Handelsbankens Personalförsäkring uppgående till 44 mkr (47) för personalförsäkrings åtgärder.

Information om krediter till ledande befattningshavare samt om ledande befattningshavares villkor och ersättningar i övrigt framgår av not K8.

## M43 Förslag till vinstdisposition

Styrelsen förslår en utdelning om 13,00 kronor varav 6,50 kronor i ordinarie utdelning (6,00 kronor för 2022 varav 5,50 kronor i ordinarie utdelning). Styrelsens förslag till vinstdisposition finns på sidan 202.

## M44 Aktieinformation

31 december 2023						
Aktieslag	Antal		% av kapital		% av röster	
Series A	1 944 777	165	98,22	99,82	3 014 404	606
Series B	35 251	329	1,78	0,18	54 630	560
	<b>1 980 028</b>	<b>494</b>	<b>100,00</b>	<b>100,00</b>	<b>3 069 044</b>	<b>1 166</b>

## M45 Händelser efter balansdagen

Inga väsentliga händelser har inträffat efter balansdagen.

M46 Upplysningar om tillgångar och skulder som innehås för försäljning

Tillgångar och skulder i bankens verksamhet i Handelsbanken AB (publ) tillfall i Finland utgör tillgångar och skulder som innehås för försäljning i enlighet med IFRS 5, vilka är hänförliga till två avyttringsgrupper. Under andra kvartalet 2023 undertecknades avtal om att sälja

de delar i den finska verksamheten som inom moderbolaget omfattar privatkunder inklusive kapitalförvaltning- och placerings tjänsterna samt små och medelstora företag. I avtal om försäljning ingår även livförsäkringsrörelsen som är del av dotterbolag. Denna affär

beräknas vara slutförd under det andra halvåret 2024.  
Verksamheten i Finland utgör avvecklad verksamhet. Handelsbankens verksamhet i Danmark avyttrades under fjärde kvartalet 2022.

Tillgångar och skulder som innehås för försäljning 2023	
mkd	Finland
<strong>Tillgångar</strong>	
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	10
Övrig utlåning till centralbanker	25 863
Balanseringsbara statskultförbindelser m.m.	
Utlåning till övriga kreditinstitut	3
Utlåning till allmänheten	82 633
varav hushåll	22 325
varav företag	60 307
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	
Aktier och andelar	
Aktier och andelar i koncern- och intressärföretag samt joint ventures	
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	
Immateriella tillgångar	66
Fastigheter och inventarer	18
Övrigt	135
Summa	108 727
<strong>Skulder</strong>	
Skulder till kreditinstitut	980
In- och upplåning från allmänheten	51 556
varav hushåll	17 434
varav företag	34 122
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	
Avsättningar	187
Övrigt	968
Summa	53 692

Tillgångar och skulder som innehås för försäljning 2022	
mkd	Finland
<strong>Tillgångar</strong>	
Kassa och tillgodohavanden hos centralbanker	14
Övrig utlåning till centralbanker	28 015
Balanseringsbara statskultförbindelser m.m.	
Utlåning till övriga kreditinstitut	5
Utlåning till allmänheten	91 433
varav hushåll	24 845
varav företag	66 587
Obligationer och andra räntebärande värdepapper	
Aktier och andelar	
Aktier och andelar i koncern- och intressärföretag samt joint ventures	
Tillgångar där kunden står värdeförändringsrisken	
Immateriella tillgångar	92
Fastigheter och inventarer	18
Övrigt	365
Summa	119 942
<strong>Skulder</strong>	
Skulder till kreditinstitut	679
In- och upplåning från allmänheten	57 361
varav hushåll	20 297
varav företag	37 064
Skulder där kunden står värdeförändringsrisken	
Avsättningar	202
Övrigt	1 054
Summa	59 296

I omräkningarreserven ingår ett belopp uppgående till ackumulerat 832 mkr (860) hänförligt till omräkning av tillgångar och skulder som innehås till försäljning i Finland, se Förändring i eget kapital Moderbolag.  
Värdering av respektive avyttringsgrupp till det lägsta av verkligt värde, efter avdrag för försäljningskostnader, och redovisat värde har ej förändrats någon nedskrivning.

## NOTER | MODERBOLAGET

## M46 Forts

## Avvecklad verksamhet

## Intäkter, kostnader och resultat avvecklad verksamhet

Danmark och Finland mkr	2023	2022
Räntesnetto	3 504	2 203
Provisionsnetto	324	989
Nettoreultat av finansiella transaktioner	29	-9
Försäkringsnetto		
Övriga intäkter	9	64
Summa intäkter	3 866	3 248
Personalkostnader	-830	-1 645
Övriga kostnader	-510	-1 612
Av- och nadschvningar av materiella och immateriella tillgångar	-35	-66
Summa kostnader	-1 375	-3 323
Kreditförluster, netto	44	47
Vinsten/förlusten vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	-1	
Riskskatt och resolutionsavgift	-70	-104
Rörelseresultat	2 464	-132
Bokslutsdispositioner		20
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet före skatt	2 464	-112
Skatter	-81	-289
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt	2 384	-401
Övriga kostnader hänförliga till avvecklad verksamhet <sup>1</sup>	-73	-27
Skatter	15	6
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt innan realisationsresultat	2 326	-422
Realisationsresultat vid försäljning av avyttringsgrupper som utgör avvecklad verksamhet före skatt		1 613
Skatter		-319
Realisationsresultat vid försäljning av avyttringsgrupper som utgör avvecklad verksamhet efter skatt		1 194
Summa årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt	2 326	772
Väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka är eliminerade och inte ingår i ovanstående resultatposter <sup>2</sup> :		
Intäkter	0	-313
Kostnader	-115	-197

<sup>1</sup> Det tillkommer vissa kostnader i Sverige till följd av att den avvecklade verksamheten ska avyttras, vilka hänförs till avvecklad verksamhet. Exempelvis konsult- och juristkostnader.

<sup>2</sup> Endast externa intäkter och kostnader ingår i resultatet från såväl kvarvarande som avvecklad verksamhet. Den avvecklade verksamheten har väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka således är eliminerade i redovisningen. Exempelvis är all finansiering och likviditetshandling centraliserad till den centrala enheten Group Treasury i Sverige. Utläning till alminsheten i Danmark och Finland är således finansierad genom intern upplåning från Group Treasury. Räntekostnader hänförliga till intern upplåning är eliminerade i redovisningen och ingår därmed inte i räkenskabet ovan. Från och med 1 januari 2023 tillämpar banken en ny metod för eliminering av interna transaktioner hänförliga till ränteslott mellan avvecklad verksamhet i Finland och Group Treasury och presenterar därmed interna räntaintäkter och interna räntekostnader i kvarvarande respektive avvecklad verksamhet. Jämförslässiffrorna är ej omräknade.

## NOTER | MODERBOLAGET

## M45 Forts

Denmark mkr	2022
Räntanetto	1 137
Provisionanetto	674
Nettoreultat av finansiella transaktioner	-45
Försäkringsanetto	
Övriga intäkter	45
Summa intäkter	1 811
Personalkostnader	-1 017
Övriga kostnader	-795
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-30
Summa kostnader	-1 842
Kreditförluster, netto	52
Vinst-/förluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	
Rätskatt och resolutionsavgift	-33
Rörelseresultat	-12
Bokslutsdispositioner	20
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet före skatt	8
Skatter	41
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt	49
Realisationsresultat vid försäljning av avyttringsgrupper som utgör avvecklad verksamhet före skatt	1 513
Skatter	-319
Realisationsresultat vid försäljning av avyttringsgrupper som utgör avvecklad verksamhet efter skatt	1 194
Summa årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt	1 243
Väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka är eliminerade och inte ingår i ovanstående resultatposter <sup>1</sup> :	
Intäkter	-107
Kostnader	-72

Finland mkr	2023	2022
Räntanetto	3 504	1 066
Provisionanetto	324	315
Nettoreultat av finansiella transaktioner	29	36
Försäkringsanetto		
Övriga intäkter	9	19
Summa intäkter	3 866	1 437
Personalkostnader	-630	-628
Övriga kostnader	-510	-817
Av- och nedskrivningar av materiella och immateriella tillgångar	-35	-36
Summa kostnader	-1 175	-1 481
Kreditförluster, netto	44	-5
Vinst-/förluster vid avyttring av materiella och immateriella tillgångar	-1	
Rätskatt och resolutionsavgift	-70	-71
Rörelseresultat	2 464	-120
Bokslutsdispositioner		
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet före skatt	2 464	-120
Skatter	-81	-330
Årets resultat hänförligt till avvecklad verksamhet efter skatt	2 384	-450
Väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka är eliminerade och inte ingår i ovanstående resultatposter <sup>1</sup> :		
Intäkter	0	-205
Kostnader	-115	-125

<sup>1</sup> Endast externa intäkter och kostnader ingår i resultatet från såväl kvarvarande som avvecklad verksamhet. Den avvecklade verksamheten har väsentliga interna transaktioner med kvarvarande verksamhet, vilka således är eliminerade i redovisningen. Exempelvis är all finansiering och likviditetshankering centraliserad till den centrala enheten Group Treasury i Sverige. Utlåning till allmänheten i Danmark och Finland är således finansierad genom intern upplåning från Group Treasury. Räntekostnader hänförliga till intern upplåning är eliminerade i redovisningen och ingår därmed inte i räntanetto ovan. Från och med 1 januari 2023 tillämpar banken en ny metod för eliminering av interna transaktioner hänförliga till räntanetto mellan avvecklad verksamhet i Finland och Group Treasury och presenterar därmed interna räntaintäkter och interna räntekostnader i kvarvarande respektive avvecklad verksamhet. Jämför nästa sida för närmare information.

## Kassaflödesanalys avvecklad verksamhet

Finland mkr	2023	2022
Kassaflöde från löpande verksamhet	3	-124 478
Kassaflöde från investeringsverksamhet	-8	-11
Kassaflöde från finansieringsverksamhet		
Årets kassaflöde från avvecklad verksamhet	-4	-124 490

## M47 Kapitaltäckning

EU KM1 – Mått för nyckeltal Nyckeltal		2023	2022
Tillgänglig kapitalbas (belopp)			
1	Kärnprimärkapital	125 618	130 069
2	Primärkapital	140 644	145 652
3	Totalt kapital	168 123	164 704
Relevägda exponeringsbelopp			
4	Totalt relevägt exponeringsbelopp	421 681	442 406
Kapitalrelationer (som en procentandel av det relevägda exponeringsbeloppet)			
5	Kärnprimärkapitalrelation (%)	29,8	29,4
6	Primärkapitalrelation (%)	33,4	32,9
7	Total kapitalrelation (%)	39,9	37,2
Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera andra risker än risken för alltför låg bruttosoliditet (som en procentandel av det relevägda exponeringsbeloppet)			
EU 7a	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera andra risker än risken för alltför låg bruttosoliditet (%)	1,2	1,7
EU 7b	varav ska utgöras av kärnprimärkapital (%)	0,7	1,0
EU 7c	varav ska utgöras av primärkapital (%)	0,9	1,3
EU 7d	Totala kapitalbaskrav för överyns- och utvärderingsprocessen (%)	9,2	9,7
Kombinerat buffertkrav och samlat kapitalkrav (som en procentandel av det relevägda exponeringsbeloppet)			
8	Kapitalkonserveringsbuffert (%)	2,5	2,5
EU 8a	Konserveringsbuffert på grund av makrotillsynsrisker eller systemriskar identifierade på medlemsstatsnivå (%)		
9	Institutspecifik kontraktyllrisk kapitalbuffert (%)	1,9	1,0
EU 9a	Systemriskbuffert (%)		
10	Buffert för globalt systemiskt riskinstitut (%)		
EU 10a	Buffert för andra systemiskt riskinstitut (%)		
11	Kombinerat buffertkrav (%)	4,4	3,5
EU 11a	Samlat kapitalkrav (%)	13,6	13,2
12	Tillgängligt kärnprimärkapital efter uppfyllande av de totala kapitalbaskraven för överyns- och utvärderingsprocessen (%)	24,6	23,9
Bruttosoliditetsgrad			
13	Totalt exponeringsmått	1 609 855	1 575 111
14	Bruttosoliditetsgrad (%)	8,7	9,2
Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera risken för alltför låg bruttosoliditet (som en procentandel av det totala exponeringsmålet)			
EU 14a	Ytterligare kapitalbaskrav för att hantera risken för alltför låg bruttosoliditet (%)		
EU 14b	varav ska utgöras av kärnprimärkapital (%)		
EU 14c	Totala krav avseende bruttosoliditetsgrad för överyns- och utvärderingsprocessen (%)	3,0	3,0
EU 14d	Krav på bruttosoliditetsbuffert (%)		
EU 14e	Samlat bruttosoliditetskrav (%)		
Likviditetstillräkkningskvot			
15	Totala högläppliga likvida tillgångar (vidat värde – genomsnitt)	790 916	785 155
EU 16a	Likviditetstillräkkningskvoten – totalt vidat	595 524	628 587
EU 16b	Likviditetstillräkkningskvoten – totalt vidat	174 788	156 413
16	Totala netto likviditetstillräkkningskvoten (justerat värde)	420 736	472 174
17	Likviditetstillräkkningskvoten (%)	192	170
Stabil nettofinansieringskvot			
18	Total tillgänglig stabil finansiering	1 320 129	1 306 873
19	Totalt behov av stabil finansiering	1 211 510	1 236 689
20	Stabil nettofinansieringskvot (%)	109	106

## NOTER | MODERBOLAGET

## M47 Forts

## EU OV1 – Översikt över totala riskvägda exponeringsbelopp

Tabellen visar riskvägda exponeringsbelopp (REA) för kreditrisk, motpartsrisk, marknadsrisk och operativ risk per utgången av 2023 och föregående år. Kreditrisk är beräknad enligt schablonmetoden, den grundläggande internmetoden och den avancerade internmetoden. Marknadsrisk och operativ risk är beräknade enligt schablonmetoden.

EU OV1 – Översikt över totala riskvägda exponeringsbelopp		Totala riskvägda exponeringsbelopp	Totala riskvägda exponeringsbelopp	Totala kapitalkrav
mkr		2023	2022	2023
1	Kreditrisk (exkl. motparts-kreditrisk)	350 282	368 667	28 743
2	varav: schablonmetoden	148 672	147 320	11 824
3	varav: den grundläggande internmetoden (F-RB)	47 163	46 651	3 773
4	varav: klassificeringsmetoden			
EU 4a	varav: efter anpassning enligt den enkla riskvägda metoden	2 182	1 968	175
5	varav: den avancerade internmetoden (A-RB)	130 864	132 286	11 180
5a	varav: riskvägda	21 401	30 353	1 712
6	Motparts-kreditrisk	11 827	11 810	946
7	varav: schablonmetoden	8 507	8 241	681
8	varav: metoden med interna modeller			
EU 8a	varav: exponeringar mot en central motpart	268	174	21
EU 8b	varav: kreditvärderingsjustering	2 463	2 802	197
9	varav: andra motparts-kreditrisk	589	602	47
10	Ej tillämpligt			
11	Ej tillämpligt			
12	Ej tillämpligt			
13	Ej tillämpligt			
14	Ej tillämpligt			
15	Avvecklingsrisk			
16	Värdepappersförings exponeringar utanför handelslagret (efter tillämpning av tolket)			
17	varav: intern kreditvärderingsmetod för värdepappersföring			
18	varav: extern kreditvärderingsmetod för värdepappersföring (inbegripet internbedömningsmetoden)			
19	varav: schablonmetoden för värdepappersföring			
EU 19a	varav: 1 250% avdrag			
20	Positioner, valutakursrisk och råvarurisk (marknadsrisk)	11 003	34 928	880
21	varav: schablonmetoden	11 003	34 928	880
22	varav: metoden för interna modeller			
23	Operativ risk	30 860	37 062	3 166
EU 23a	varav: basmetoden			
EU 23b	varav: schablonmetoden	30 860	37 062	3 166
EU 23c	varav: internbedömningsmetoden			
24	Belopp under brösklarna för avdrag (föremål för riskvägning på 250 %)			
25	Ej tillämpligt			
26	Ej tillämpligt			
27	Ej tillämpligt			
28	Ej tillämpligt			
29	Summa	421 681	442 406	39 734

Tabellen visar kapitalkrav för marknadsrisk enligt schablonmetoden per utgången av 2023.

Marknadsrisk som behandlas enligt schablonmetoden		Kapitalkrav	
mkr		2023	2022
Direkta produkter			
Ränterisk (allmän och specifik)		243	176
Aktiekursrisk (allmän och specifik)		3	1
Valutakursrisk		618	2 506
Råvarurisk		0	0
Optioner			
Förankrad metod			
Delta-plus-metod			
Scenario-metod		16	19
Värdepappersföring (specifik risk)			
Summa kapitalkrav för marknadsrisk		880	2 704



STYRELSENS OCH VD:S UNDERSKRIFTER

# Styrelsens och vd:s underskrifter

Härmed försäkras att koncernredovisningen har upprättats i enlighet med International Financial Reporting Standards (IFRS), så som de antagits av EU, att moderbolagets årsredovisning har upprättats i enlighet med Lag om Årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag (ÅRL), Finansinspektionens föreskrifter och allmänna råd (FFFS 2008:25) samt RFR 2 Redovisning för juridiska personer, att års- och koncernredovisningen ger en rättvisande bild av koncernens och moderbolagets ställning och resultat samt att förvaltningsberättelsen ger en rättvisande översikt över utvecklingen av moderbolagets och koncernens verksamhet, ställning och resultat samt beskriver väsentliga risker och osäkerhetsfaktorer som moderbolaget och de övriga företag som ingår i koncernen står inför.

STOCKHOLM DEN 19 FEBRUARI 2024

Pär Boman  
styrelsens ordförande

Fredrik Lundberg  
vice ordförande

Jon Fredrik Baksaas  
styrelseledamot

Hélène Barnekow  
styrelseledamot

Stina Bergfors  
styrelseledamot

Hans Blörck  
styrelseledamot

Kerstin Hassius  
styrelseledamot

Anna Hjalmborg  
styrelseledamot

Lena Renström  
styrelseledamot

Ulf Riese  
styrelseledamot

Arja Taaveniku  
styrelseledamot

Michael Green  
varkställande direktör

## 2【主な資産・負債及び収支の内容】

上記「第6 - 1 - (1) 連結財務書類」及び「第6 - 1 - (2) 個別財務書類」の注記を参照のこと。

## 3【その他】

### (1)訴訟及び規制手続

該当事項なし。

### (2)後発事象

該当事項なし。

#### 4【IFRS、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法並びに日本の会計原則及び会計慣行の主要な相違】

当行グループの連結財務書類は欧州委員会により承認されている国際財務報告基準(以下「IFRS」という。)及び国際財務報告委員会解釈指針委員会による基準の解釈指針に準拠して作成されている。さらに、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法(1995年第1559号)及びSFSAが発行した規定及び一般指針であるFFFS2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告にも従っている。連結財務書類には企業グループの報告を規定するRFR第1号補足会計規則、並びにスウェーデン財務報告審議会による意見書も適用されている。

親会社の財務書類は、スウェーデンの信用機関及び証券会社に係る年次報告法(1995年第1559号)、SFSAが発行した規定及び一般指針であるFFFS2008年第25号、信用機関及び証券会社における年次報告、スウェーデン財務報告審議会の勧告RFR第2号「事業体に関する会計処理」及びスウェーデン財務報告審議会による意見書に準拠して作成されている。SFSAの推奨に準拠して、親会社は法定IFRSを採用している。これはEUが採用する国際財務報告基準及びこれらの基準の解釈が、国内法及び指令並びに会計と税との間の関連性の枠組みの範囲内で可能な限り採用されていることを意味する。

以下の記述は、当行グループが適用する会計基準のうち重要と考えられるものと日本の会計原則の差異を概説したものである。当行グループは、連結財務書類並びに親会社の個別財務書類及び関連注記に関して、日本の会計原則との間の比較表を作成しておらず、その差異を定量化していない。したがって、以下の記述が日本の会計原則との差異を網羅している保証はない。

##### (1) 連結

###### IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、親会社に直接又は間接的に支配されている企業(子会社)はすべて連結される。親会社は企業への投資から生じるリターンの変動性にさらされているか、又はそのリターンに対する権利を有しており、かつ、その企業に対するパワーによりそのリターンに影響を及ぼすことができる場合に、その企業を直接支配しているとみなされるため連結する。

親会社は、類似の状況における同様の取引及び他の事象に関し、統一された会計方針を用いて、連結財務諸表を作成しなければならない。

###### 日本の会計原則

日本の会計原則でも、親会社は支配しているすべての会社を連結することが求められている。一定の特別目的会社については、一定の要件を満たす場合に子会社に該当しないものと推定され、連結することが求められない。

親会社及び子会社が連結財務書類を作成するために採用する会計原則は、原則として統一されなければならない。「連結財務書類作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」によれば、在外子会社の所在地国の会計原則に準拠して作成された財務書類は原則として親会社の会計方針(日本の会計原則)に修正する必要があるが、在外子会社の財務書類がIFRS又は米国会計基準に準拠して作成されている場合は、のれんの償却、退職給付会計における数理計算上の差異の会計処理、研究開発費の会計処理、投資不動産の時価評価及び固定資産の再評価の会計処理、資本性金融商品の公正価値の事後的な変動をその他の包括利益に表示する選択をしている場合の組替調整等の一定の項目の修正を除き、これを連結決算手続上利用できることと規定されている。

## (2) 企業結合及びのれん

### IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、企業結合は取得法で会計処理されている。のれんは当初取得原価で計上され、その後は減損損失累計額を控除後の取得原価で計上される。のれんについては年一回、及び減損の兆候がある場合にはいつでも減損テストが実施される。

IAS第38号によると、のれん及び耐用年数を確定できない無形固定資産は連結財務書類において償却されない。親会社において、耐用年数を確定出来ないその他の無形固定資産の取得は年次報告法の規定に準拠して償却される。通常、買収により取得したのれんは20年で償却される。

### 日本の会計原則

日本の会計原則では、企業結合は原則としてパッチェス法により会計処理される。また、のれんは20年以内の期間にわたり定額法その他の合理的方法により規則的に償却され、減損の兆候が認められた場合に減損テストの対象となる。

## (3) 非金融資産の減損

### IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRSでは、確定可能な耐用年数を有する無形資産は、資産に減損の兆候がある場合に減損について検証が行われる。不動産及び器具備品の減損テストは、資産価値の減少の兆候がある場合に実施される。そのような兆候が存在する場合、当該資産の回収可能価額が見積られ、必要な場合に減損損失が損益に認識される。減損損失は、IAS第36号の要件を満たす場合には損益に戻入ることができるが、戻入れ後に増加する資産額は、減損処理前の価格を超えてはならない。

### 日本の会計原則

日本の会計原則では、減損の兆候が認められ、かつ割引前の見積り将来キャッシュ・フロー総額(20年以内の合理的な期間に基づく)が帳簿価額を下回ると見積られる場合において、回収可能価額と帳簿価額の差額につき減損損失を計上する。減損損失の戻入は認められない。

## (4) 退職後給付

### IFRS

確定給付型制度において年金債務は数理的手法に基づき測定されるが、ここでは予測単位積増方式を用いて、給付が割り引かれている。制度資産は、公正価値で測定されている。当該制度資産が年金債務を超える場合は資産(超過額)として、不足する場合は負債(不足額)として、それぞれ貸借対照表に計上されている。制度資産からの期待収益は、正味確定給付債務(資産)の算定に使用される割引率を適用することで計算される。数理計算上の損益は、リサイクリングされず、その発生年度においてその他包括利益に計上される。

### 信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

親会社は確定給付制度の会計に関するIAS第19号の規定を適用していない。その代わり、年金費用は年金債務保護法の規定及びSFSAの規定に準拠して親会社の年金数理計算を基に計算される。これは主に割引率の設定方法、親会社の年金債務の計算における将来債務の計算に将来の昇給が考慮されないこと、年金数理差損益は発生時に全額が認識されること(改訂IAS第19号と類似しているが、旧IAS第19号とは異なる。)に関して差異があることを意味する。認識された正味年金費用は、支払給付金及び年金拠出金から年金基金支給額を控除したものとされる。当期の正味年金費用は、親会社の損益計算書において人件費として報告される。

制度資産の価値が見積もり年金債務を超過したことによる超過額は親会社の財務書類において資産として認識されない。不足額は負債として認識される。

#### 日本の会計原則

日本の会計原則でも、確定給付型年金制度は、退職給付債務から年金資産の額を控除した額が貸借対照表に計上される。数理計算上の差異は、各期の発生額について平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を毎期費用処理(その他包括利益からリサイクリング)することとされており、また、発生時に費用処理する方法も認められている。

利息費用は退職給付債務に割引率を乗じて算定され、制度資産からの期待収益は、期首の年金資産の額に長期期待運用収益率を乗じて計算される。

#### (5) 非継続事業及び売却目的で保有する非流動資産

##### IFRS

売却目的に分類された非流動資産又は処分予定の資産及び負債は、貸借対照表(財政状態計算書)上、他の資産及び負債と区分して表示しなければならない。これらの資産及び負債を相殺して単一の金額として表示してはならない。また、売却目的保有として分類した非流動資産(又は処分予定の資産)に関連してその他包括利益で認識された収益又は費用の累計額を区分して表示しなければならない。(IFRS第5号)

##### 日本の会計原則

資産又は負債を売却目的保有あるいは処分予定の資産及び負債へ分類する基準、並びに非継続事業の区分表示に関する基準はない。

#### (6) 保険契約

##### IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

IFRS第17号「保険契約」は、以下のものに適用しなければならない。

- (a) 当該企業が発行する保険契約(再保険契約を含む)
- (b) 当該企業が保有する再保険契約
- (c) 当該企業が発行する裁量権付有配当投資契約(企業が保険契約も発行する場合)

IFRS第17号における「保険契約」とは、「一方の当事者(発行者)が、他方の当事者(保険契約者)から、特定の不確実な将来事象(保険事故)が保険契約者に不利益を与えた場合に保険契約者に補償を行うことを同意することにより、重大な保険リスクを引き受ける契約」と定義されている。

##### 日本の会計原則

日本においては、IFRS第17号のような「保険契約」の定義はないが、保険業者が「保険契約」として当社の許認可を受けた契約は「保険契約」とされている。

#### (7) 保険契約における測定

##### IFRS

IFRS第17号では、一般測定モデル、保険料配分アプローチ及び変動手数料アプローチの3つの測定アプローチに基づいた単一の評価原則を導入している。なお、当行グループは、以下(a)又は(b)を適用している。

- (a) 一般測定モデル

IFRS第17号では、保険契約の評価に関する一般的なアプローチを定めており、当初認識時に、保険契約グループを下記の合計額で測定しなければならない。

( ) 履行キャッシュ・フロー（以下で構成される）

・将来キャッシュ・フローの見積り

・貨幣の時間価値及び将来キャッシュ・フローに係る金融リスク（当該金融リスクが将来キャッシュ・フローの見積りに反映されていない範囲で）を反映するための調整

・非金融リスクに係るリスク調整

( ) 契約上のサービス・マージン

(b) 保険料配分アプローチ

グループの契約開始時において、下記のいずれかの場合に該当する場合に、かつ、その場合にのみ、保険契約グループの測定を単純化することができる。

( ) そうした単純化による当該グループの残存カバーに係る負債の測定が、一般アプローチにおける要求事項を適用した場合の測定と重要性がある差異がないと企業が合理的に予想している場合、又は

( ) 当該グループの中の各契約のカバー期間が1年以内である場合

(c) 変動手数料アプローチ

一般測定モデルに一定の調整を加えたアプローチであり、直接連動有配当保険契約に関して適用される。

#### 日本の会計原則

日本の会計原則では、このようなアプローチでの概念を扱った基準はなく、保険契約は保険業法に基づき、保険料及び責任準備金の算出方法書に記載された方法に従って計算し、積み立てられている。

(8) グループ利益分配

#### 信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

スウェーデンにおいては、連結税務申告は認められていない。

子会社から受領したグループ利益分配は、すべて親会社の損益計算書において受取配当金として報告される。このグループ利益分配は、親会社の貸借対照表において子会社持分の価値の増加として報告される。

#### 日本の会計原則

日本の会計原則では、税金費用の最適化目的で行うグループ利益分配についての基準はない。

(9) 金融商品

#### 金融商品の分類及び測定

##### IFRS

(金融資産)

IFRS9では、金融資産の管理に関する企業の事業モデル及び、金融資産の契約条件により、元本及び元本残高に対する利息の支払のみであるキャッシュ・フローが所定の日に生じるという特性（以下「SPPI

要件」という。)に基づき、原則として下記(a)～(c)のいずれかの事後測定が行われる金融資産に分類される。(IFRS第9号「金融商品」)

(a) 償却原価測定

契約上のキャッシュ・フローを回収するために金融資産を保有することを目的とする事業モデルの中で保有し、かつSPPI要件を満たす金融資産

(b) その他の包括利益(以下「OCI」という。)を通じて公正価値測定(以下「FVOCI」という。)

契約上のキャッシュ・フローの回収と売却の両方を目的とする事業モデルの中で保有し、かつSPPI要件を満たす金融資産

(c) 純損益を通じて公正価値で測定(以下「FVPL」という。)

上記以外の金融資産

上記の原則的分類に対し、下記の二つの例外が認められている。

・公正価値オプション

会計上のミスマッチを除去又は大幅に低減することとなる場合には、当初認識時に金融資産をFVPL測定するという取り消しできない指定が可能

・OCIオプション

資本性金融商品に対する投資について、当初認識時に公正価値の事後の変動をOCIに表示するという取り消しできない選択を行うことが可能。ただし、投資の売却時において、累積されたOCIを当期の損益に計上すること(以下「リサイクリング」という。)は認められない。

(金融負債)

純損益を通じて公正価値で測定する金融負債、一定の金融保証契約、公正価値オプションの指定を行った金融負債等の例外を除き、償却原価により事後測定する金融負債に分類される。

## 日本の会計原則

日本の会計原則では、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に従い、金融資産および金融負債は以下のように測定される。

- ・ 売買目的有価証券は、時価で測定し、時価の変動は損益認識される。
- ・ 個別財務書類においては、子会社株式および関連会社株式は、取得原価で計上される。
- ・ 満期保有目的の債券は取得原価または償却原価で測定される。
- ・ 売買目的有価証券、満期保有目的の債券、子会社株式および関連会社株式以外の有価証券(「その他有価証券(IAS第39号における売却可能有価証券に類似)」)は、時価で測定し、時価の変動額は、純資産に計上され、売却、減損あるいは回収時に損益計算書へ計上される。
- ・ 市場価格のない株式等は取得原価をもって計上する。
- ・ 貸付金および債権は取得原価または償却原価で測定される。
- ・ 金融負債は債務額で測定される。ただし社債については償却原価法で評価される。
- ・ IFRSで認められる公正価値オプションに関する会計基準はない。

## 金融資産の減損

### IFRS

IFRS9では、償却原価測定及びFVOCI 測定の金融資産、リース債権、IFRS 第15号「顧客との契約から生じる収益」の範囲に含まれる取引から生じた契約資産、ローン・コミットメント、金融保証契約に係る予想信用損失に対して損失評価引当金を認識する（IFRS第9号「金融資産」）。各報告日において、金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大している場合には、当該金融商品に係る損失評価引当金を全期間の予想信用損失の金額で、金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大していない場合には、当該金融商品に係る損失評価引当金を12か月の予想信用損失の金額で測定する。

金融商品に係る信用リスクが当初認識以降に著しく増大しているかどうかを判定するにあたっては、予想信用損失の金額の変動ではなく、当該金融商品の予想存続期間にわたる債務不履行発生リスクの変動を用いて行う。

予想信用損失を測定する際に考慮すべき最長の期間は、企業が信用リスクに晒される最長の契約期間（延長オプションの行使による期間を含む。）を使う。

金融商品の予想信用損失は、下記を反映する方法で見積もる。

- ・一定範囲の生じ得る結果を評価することにより算定される偏りのない確率加重金額
- ・貨幣の時間価値
- ・過去の事象、現在の状況及び将来の経済状況の予測についての、報告日において過大なコストや労力を掛けずに利用可能な合理的で裏付け可能な情報

### 日本の会計原則

日本では企業会計基準第10号に従い、債権の貸倒見積高は、債務者の財政状態及び経営成績等に応じて、「一般債権」、「貸倒懸念債権」、「破産更生債権等」に区分し、それぞれに応じて定められた方法により算定する。

売買目的以外の有価証券のうち時価があるものについて、時価が著しく下落した場合に、回復する見込みがあると認められる場合を除き、減損損失が認識され、当該資産の帳簿価額は時価まで減額される。減損損失の額は当期純利益に認識される。

その他有価証券について減損損失の認識を行う場合、純資産に認識された累積未実現損失は、純資産から除かれ、当期純利益に認識される。減損損失の戻入は認められない。

## ヘッジ

### IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

一定の条件が満たされた場合は、下記の種類のヘッジ関係に係るヘッジ会計が認められている。

- ・ 公正価値ヘッジ(すなわち、特定のリスクに起因し、損益に影響を与える可能性がある、認識済みの資産又は負債の公正価値の変動に対するエクスポージャーのヘッジ) - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益は損益計算書に計上されている。また、ヘッジされたリスクに起因するヘッジ対象の損益はヘッジ対象の帳簿価額により調整され、これもまた損益計算書に計上されている。
- ・ キャッシュフロー・ヘッジ(すなわち、認識済み資産又は負債に係る特定のリスク又は発生の可能性の高い予定取引に起因し、損益に影響を与える可能性がある、キャッシュ・フローの変動可能性に



対するエクスポージャーのヘッジ) - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益のうち有効なヘッジと判断される部分はその他包括利益に計上され、非有効部分は損益計算書に計上される。

- ・ 在外営業活動体に対する純投資のヘッジ - ヘッジ会計上、ヘッジ手段の損益のうち有効なヘッジと判断される部分はその他包括利益に計上され、非有効部分は損益に計上されている。

IFRSでは、類似の資産、負債、発生可能性の非常に高い予定取引又は在外営業活動体に対する純投資のポートフォリオをヘッジ対象とすることができる。このため、IAS第39号は類似した項目のみを1つのポートフォリオにグループ化することを認めている。次の両方に該当する場合、項目は類似していると考えられる。a)ヘッジされるリスクを共有していること、b)ヘッジされるリスクに起因する個々の項目の公正価値の変動は、ヘッジされるリスクに起因するポートフォリオの公正価値の全体の変動におおむね比例すると見込まれること。

#### 日本の会計原則

日本の会計原則では、デリバティブ金融商品について、会計基準により定められたヘッジ会計の要件を満たす場合には、原則として、「繰延ヘッジ会計」(ヘッジ手段の損益を貸借対照表の「純資産の部」に計上し、ヘッジ対象が損益計上されるのと同じの会計期間に損益に計上する。)が適用されるが、その他有価証券については、「時価ヘッジ会計」(ヘッジ手段の損益を発生時に計上するとともに、同一の会計期間にヘッジ対象の損益も計上する。)を適用できる。

日本の会計原則では、リスク要因(金利リスク、為替リスク等)が共通しており、かつ、リスクに対する反応が同一グループ内の個々の資産又は負債との間でほぼ様である場合に、ポートフォリオに対するヘッジ指定ができる。

#### 金融資産の認識の中止

##### IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法

金融資産からのキャッシュ・フローに対する契約上の権利が消滅し、又は金融資産が譲渡され、かつ、その譲渡が認識の中止の要件を満たす場合、金融資産の認識は中止される。

譲渡においては、報告企業は、資産のキャッシュ・フローを受取る契約上の権利を移転すること、又は資産のキャッシュ・フローの権利を留保するが、そのキャッシュ・フローを第三者に支払う契約上の義務を引受けることのいずれかを要求される。譲渡に際して、会社は、譲渡した資産の所有に係るリスクと経済価値がどの程度留保されているかを評価する。実質的にすべてのリスクと経済価値が留保されている場合は、その資産は引続き貸借対照表(財政状態計算書)で認識される。実質的にすべてのリスクと経済価値が移転された場合は、当該資産の認識は中止される。

実質的にすべてのリスクと経済価値が留保も移転もされない場合は、会社はその資産の支配を引続き留保しているかどうかについて評価をする。支配を留保していない場合は、当該資産の認識は中止される。一方、会社が支配を留保している場合、継続関与の程度に応じて、引続きその資産を認識する。

#### 日本の会計原則

日本の会計原則では、「金融商品に係る会計基準」により、金融資産は金融資産の契約上の権利を行使したとき、権利を喪失したとき、又は権利に対する支配が他に移転したときに認識が中止される。金融資産の契約上の権利に対する支配が他に移転するのは、(a)譲渡された金融資産に対する譲渡人の契約上の権利が譲渡人及びその債権者から法的に隔離され、(b)譲受人が譲渡された金融資産の契約上の権利を直接又は間接に享受でき、(c)譲渡人が譲渡した金融資産を当該金融資産の満期前に買戻す又は償還する権利及び義務を有していない場合である。

## (10) リース

*IFRS並びに信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法*

IFRSでは、IFRS第16号「リース」に従い、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分せず、単一の借手会計処理モデルを適用する。すべてのリース契約（短期リース契約及び原資産が少額であるリース契約を除く）につき、借手の貸借対照表に資産（使用权資産）および負債が認識される。また当該資産の減価償却費ならびにリース債務に係る支払利息は損益計算書に認識される。

*日本の会計原則*

企業会計基準第13号に従い、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分する。借手のファイナンス・リース取引は、通常の売買取引に係る方法に準じて、リース物件とこれに係る債務をリース資産及びリース債務として貸借対照表に計上する。ただし、リース契約1件当たりのリース料総額が300万円以下のリース取引や、リース期間が1年以内のリース取引などは、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行うことができる。

オペレーティング・リース取引とは、ファイナンス・リース取引以外のリース取引をいう。オペレーティング・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行う。

## 第7【外国為替相場の推移】

### 1【最近5年間の事業年度別為替相場の推移】

(1スウェーデン・クローネ当たり、単位：円)

事業年度	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
決算月日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日
最高	12.22	12.63	13.39	13.69	14.31
最低	10.78	10.58	12.34	11.55	12.34
平均	11.53	11.63	12.81	12.99	13.25
期末	11.75	12.63	12.74	12.68	14.23

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」

(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past\_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

### 2【最近6月間の月別最高・最低為替相場】

(1スウェーデン・クローネ当たり、単位：円)

月別	2023年12月	2024年1月	2024年2月	2024年3月	2024年4月	2024年5月
最高	14.28	14.24	14.65	14.56	14.39	14.86
最低	13.81	13.95	14.03	14.15	14.05	14.24
平均	14.05	14.14	14.34	14.40	14.22	14.52

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」

(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past\_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

### 3【最近日の為替相場】

1スウェーデン・クローネ = 15.15円 (2024年6月21日)

出典：株式会社三菱UFJ銀行「1990年以降の為替相場」

(http://www.murc-kawasesouba.jp/fx/past\_3month.php)において公表されている対顧客電信売買相場の仲値

## 第8【本邦における提出会社の株式事務等の概要】

該当事項なし。

## 第9【提出会社の参考情報】

### 1【提出会社の親会社等の情報】

該当事項なし。

## 2 【その他の参考情報】

2023年1月1日以降、本書の提出日までの間に、提出された書類及び提出日は以下のとおりである。

(1) 臨時報告書及びその添付書類

2023年5月31日 金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第1項及び第2項第9号の4の規定に基づき、関東財務局長に提出

(2) 有価証券報告書及びその添付書類

2023年6月27日 関東財務局長に提出

(3) 半期報告書及びその添付書類

2023年9月28日 関東財務局長に提出

(4) 臨時報告書及びその添付書類

2023年11月2日 金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号の規定に基づき、関東財務局長に提出

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

### 第1【保証会社情報】

該当事項なし。

### 第2【保証会社以外の会社の情報】

該当事項なし。

### 第3【指数等の情報】

該当事項なし。

(翻訳)

## 監査報告書

スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクト (企業識別番号502007-7862号)

定時株主総会御中

### 年次財務諸表及び連結財務諸表に関する報告

#### 監査意見

私たちは、36-65ページ（訳注：原文のページ番号である。以下同様。）のサステナビリティ・レポート及び66-81ページのコーポレート・ガバナンス報告書を除く、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの2023年度の年次財務諸表及び連結財務諸表の監査を行った。当社の年次財務諸表は本書の6-251ページに含まれている。

私たちの意見では、年次財務諸表は信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に準拠して作成されており、また、親会社の2023年12月31日現在の財政状態並びに同日に終了した事業年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況は、同法に準拠し、すべての重要な点において適正に表示されているものと認める。連結財務諸表は、信用機関及び証券会社に係る年次報告法に準拠して作成されており、また、当行グループの2023年12月31日現在の財政状態並びに同日に終了した事業年度の財務成績及びキャッシュ・フローの状況は、同法及びEUが採択した国際財務報告基準（以下、「IFRS」という。）に準拠し、すべての重要な点において適正に表示されているものと認める。

私たちの意見は、66-81ページのコーポレート・ガバナンス報告書及び36-65ページのサステナビリティ・レポートは対象としていない。法定経営報告書は年次財務諸表及び連結財務諸表の他の部分と整合している。

したがって、私たちは、定時株主総会に対し親会社及び当行グループの損益計算書及び貸借対照表の採択を勧告する。

年次財務諸表及び連結財務諸表に関する本報告書の中の私たちの意見は、監査規則（537/2014）第11条に準拠して親会社の監査委員会に提出されている追加の報告書の内容と整合している。

#### 監査意見の基礎

私たちは、国際監査基準（以下、「ISA」という。）及びスウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して監査を行った。本基準における私たちの責任は「監査人の責任」項目で詳述されている。私たちは、スウェーデンの会計士に係る職業倫理に準拠して親会社及び当行グループから独立しており、これらの規定で定められている私たちの倫理的責任を果たした。これには、私たちの知る限りにおいて、監査先企業又は該当する場合、その親会社若しくはEUの中で支配下にある企業に対し、監査規則（537/2014）第5条1項に規定されている禁止業務は行われていないことが含まれている。

私たちは、私たちの意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査上の主要な検討事項

監査上の主要な検討事項とは、私たちの職業的専門家としての判断において、当年度の年次財務諸表及び連結財務諸表で最も重要な事項である。これらの事項は、年次財務諸表及び連結財務諸表全体に対する監査及び監査意見の形成において対応したものであるが、私たちはこれらの事項に対し個別に意見を表明しない。各事項に対し、監査上どのように対応したかについて記載されている。

私たちは、これらの事項に関するものを含め、私たちの報告書の中の財務諸表の監査対象部分に対し、監査人の責任のセクションにおいて記載されている責任を果たした。従って、私たちの監査には財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に対応するために策定された手続の実施が含まれている。私たちの監査手続の結果は、後述する事項に対応するために実施した手続を含め、添付の財務諸表に対する監査意見の基礎を提供している。

### 予想信用損失引当金

本項目に関する詳細情報及び説明は、年次財務諸表及び連結財務諸表に示されている。信用リスクエクスポージャー及び信用リスク管理は102ページの注記G2で説明されている。当行グループが計上した予想信用損失については注記G10に記載されている。親会社に関する情報は注記P2及びP10に記載されている。関連する当行グループの会計方針は、92ページの注記G1のセクション6及び97ページの注記G1のセクション14で説明されている。注記P1には、信用供与及び予想信用損失引当金に関する親会社の会計原則が当行グループの会計原則と一致していることが記載されている。

#### 監査上の主要な検討事項

2023年12月31日現在の一般顧客への貸出金は2,291,808百万スウェーデン・クローネ（親会社は600,997百万スウェーデン・クローネ）であり、これは資産合計の65%（親会社は25%）である。オフバランスシート・コミットメントを含めた全体的な信用リスクエクスポージャーの金額は3,727,150百万スウェーデン・クローネ（親会社は3,709,066百万スウェーデン・クローネ）であった。

一般顧客への貸出金に対する予想信用損失引当金の金額は2,395百万スウェーデン・クローネ（親会社は2,454百万スウェーデン・クローネ）であり、そのうちの1,245百万スウェーデン・クローネ（親会社は1,197百万スウェーデン・クローネ）はモデルベースの算定に基づいており（ステージ1及び2）、1,150百万スウェーデン・クローネ（親会社は1,257百万スウェーデン・クローネ）はマニュアルの算定（ステージ3）によるものであった。モデルでは会計処理されない要因を勘案するために、当行はステージ1及び2に関するモデルベースの算定結果に対し調整を加えている。

予想信用損失引当金は、一定範囲の生じ得る結果を評価することにより算定され、また過去の事象、現在の状況及び将来の経済状況に基づいた偏りのない確率加重された金額を反映する方法で測定される。引当を行うに当たり、当行には、信用リスクの著しい増大を特定するための要件に関する見積りと仮定を行うこと及び予想信用損失を算定する方法を構築することが求められている。算定の複雑さに加え、当行には計上金額に重要な影響を及ぼす見積りと仮定が求められることから、予想信用損失引当金は監査上の主要な検討事項であると考えられる。

#### 監査における本項目への対応

私たちは、倒産確率、デフォルト時損失率、デフォルト時エクスポージャー、予想信用損失に加え、信用リスクの著しい増大に関する当行の評価がIFRS第9号に従っているかどうかを評価した。

私たちは、与信判断、与信レビュー、格付区分を含む与信プロセスのほか、デフォルトとみなされる与信の識別及び判定におけるキーコントロールのデザインについて理解しテストを実施した。私たちはまた、モデルデータのインプット及びこれらのシステムの承認の取扱いを含むIT全般統制のテストを実施した。

さらに私たちは、試査により当行の当初の信用格付と最新の信用格付を検討した。私たちは、モデルにおいて使用される対応システムで処理されているデータが網羅的かつ正確であるかどうかをテストした。

私たちは、仮定とパラメーターを含むモデルの検証と評価を行ったほか、モデルの機能を確認した。また実施されたモデル検証結果を検討し評価し、使用されたマクロ経済データの妥当性を検討した。私たちはエキスパートベースによる引当を含め、当行が行ったマニュアルベースの修正の妥当性を検討した。私たちは、内部のモデル専門家の支援を受けて監査手続を実施した。

私たちはまた、予想信用損失に関する財務報告における開示が適切であるかについて検討した。

## 市場価格が入手できない金融商品の評価

本項目に関する詳細情報及び説明は、年次財務諸表及び連結財務諸表に示されている。公正価値で測定される金融商品について、当行グループについては注記G42、親会社については注記P37で説明されている。関連する当行グループの会計原則は、91ページの注記G1のセクション5で説明されている。注記P1には、公正価値で測定される金融商品に関する親会社の会計原則が当行グループの会計原則と一致していることが記載されている。

### 監査上の主要な検討事項

当行は市場価格が入手不能な金融商品を有しており、この場合、公正価値は市場データに基づく評価モデルを利用して決定されている。これらの金融商品はIFRSの公正価値評価ヒエラルキーのレベル2に区分される。またスヴェンスカ・ハンデルスバンケンは、評価モデルを使用して公正価値測定が決定され、その評価が外部の市場データによる裏付け不能なインプットデータに影響される金融商品を一部保有している。これらの金融商品はIFRSの公正価値評価ヒエラルキーのレベル3に区分されている。

当行グループは35,366百万スウェーデン・クローネ（親会社は63,534百万スウェーデン・クローネ）のレベル2の金融資産及び38,515百万スウェーデン・クローネ（親会社は47,727百万スウェーデン・クローネ）のレベル2の金融負債を保有している。レベル3の金融資産及び負債の金額は、それぞれ253百万スウェーデン・クローネ（親会社は235百万スウェーデン・クローネ）及び79百万スウェーデン・クローネ（親会社は79百万スウェーデン・クローネ）である。

レベル2の金融商品の多くが、金利スワップ及びさまざまな種類の線形通貨デリバティブや利付金融商品をはじめとしたデリバティブである。これらの金融商品は、市場金利及びその他の市場価格に基づく評価モデルを使用して評価される。レベル3の金融商品は、主にジョイント・ベンチャーの非上場株式及び保険事業における投資、並びに観察不能なデータを用いて評価される特定のデリバティブで構成される。算定の複雑さに加え、計上金額に重要な影響を及ぼす当行の評価が必要とされることから、市場価格が入手できない金融商品の評価は監査上の主要な検討事項であると考えられる。

### 監査における本項目への対応

私たちは、公正価値ヒエラルキーの分類も含め、市場価格が入手できない金融商品に対する当行の評価方法がIFRS第13号に準拠しているかどうかを評価した。

私たちは、当行のモデルベースの計算で使用された手法と仮定の評価と承認、データ品質管理及び内部評価モデルの変更管理を含めた、評価プロセスにおけるキーコントロールをテストした。私たちはまた、これらのシステムの権限管理を含むIT全般統制をテストした。

さらに私たちは、市場価格が入手できない金融商品の評価に用いられた手法と仮定を検証した。私たちは、評価モデルを評価ガイダンスや標準的な業界慣行と比較した。私たちは、用いられた仮定を価格情報源と比較し著しい乖離について調査したほか、サンプルベースでの検証や独自の評価により計算の正確性を確認した。私たちは、内部の評価専門家の支援を受けて監査手続を実施した。私たちはまた、金融商品の公正価値に関する財務諸表の開示が適切であるかどうか評価した。

## 年次財務諸表及び連結財務諸表以外のその他の情報

この報告書には、年次財務諸表及び連結財務諸表以外のその他の情報（原文の1-5ページ、36-65ページ及び257-309ページに記載されている。）も含まれている。2023年度に係る報酬報告書も同様にその他の情報に該当する。取締役会及び最高経営責任者はその他の情報について責任を負っている。

年次財務諸表及び連結財務諸表に対する私たちの意見は、その他の情報を対象としていない。また、私たちは当該その他の情報に関していかなる形式の保証の結論も表明しない。

年次財務諸表及び連結財務諸表監査に関連する私たちの責任は、上記で特定された情報を通読しその情報と年次財務諸表及び連結財務諸表との間に重要な不整合があるか否かを検討することである。この手続により、私たちは監査の過程で得た知識から、この情報に重要な虚偽表示があると考えられるか否かについても評価した。

当該情報に関する私たちの手続に基づいて、当該その他の情報に重要な虚偽表示があると結論づけられた場合、私たちはその事実の報告が求められる。この件について私たちからの報告事項はない。

## 取締役会及び最高経営責任者の責任



取締役会及び最高経営責任者は、信用機関及び証券会社に係る年次報告法に準拠して適正に表示された年次財務諸表の作成、及びEUに採択されたIFRSに準拠して適正かつ正確に表示された連結財務諸表を作成する責任がある。取締役会及び最高経営責任者はまた、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない年次財務諸表及び連結財務諸表の作成に必要と考える内部統制に対する責任がある。

年次財務諸表及び連結財務諸表の作成において、取締役会及び最高経営責任者は、当社及び当行グループが継続企業として存続する能力を評価する責任がある。該当する場合には、継続企業に関する事項を開示し、継続企業を前提とした会計を適用する。ただし、継続企業を前提とした会計は、取締役会及び最高経営責任者が当社の清算、事業を終了する意思がある場合、または現実的にそれ以外の代替手段がない場合には適用されない。監査委員会は、取締役会の責任及び全般的な業務に影響を及ぼさず、特に当社の財務報告プロセスを監視する。

#### 監査人の責任

私たちの目的は、全体としての年次財務諸表及び連結財務諸表に、不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかに関する合理的な保証を得て、私たちの意見を含めた監査報告書を発行することにある。合理的な保証は高い水準の保証であるが、国際監査基準（以下、「ISA」という。）及びスウェーデンにおける一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠した監査が、存在するすべての重要な虚偽表示を常に発見することを確認するものではない。虚偽表示は、不正又は誤謬から発生する可能性があり、個別に又は集約して、年次財務諸表及び連結財務諸表利用者の経済的意思決定に影響することが合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。ISAに準拠した監査の過程を通じて、私たちは職業的専門家としての判断を行使し、職業的専門家としての懐疑心を保持する他、以下を実施した。

- ・不正又は誤謬による年次財務諸表及び連結財務諸表の重要な虚偽表示リスクの識別及び評価、これらリスクに対応した監査手続の立案及び実施、並びに私たちの監査意見の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手した。不正には、共謀、文書の偽造、取引等の記録からの意図的な除外、虚偽の陳述、又は内部統制の無効化を伴うため、不正による重要な虚偽表示リスクを発見できないリスクは、誤謬による重要な虚偽表示を発見できないリスクよりも高くなる。
- ・状況に応じた適切な監査手続を立案するために、私たちの監査に関連する当社の内部統制を理解する。ただし、これは、当社の内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。
- ・適用されている会計方針の適切性、並びに取締役会及び最高経営責任者によって行われた会計上の見積り及び関連する開示の妥当性を評価した。
- ・取締役会及び最高経営責任者が、継続企業を前提とした会計に基づく年次財務諸表及び連結財務諸表を作成することの適切性について結論を得た。私たちは、入手した監査証拠に基づいて当社及び当社グループの事業継続能力に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関する重要な不確実性が認められるかどうかについて結論に達した。重要な不確実性が認められる場合、私たちは、監査報告書において年次財務諸表及び連結財務諸表関連の開示に注意喚起することが求められる。また、その開示が不適切である場合は、年次財務諸表及び連結財務諸表に対して除外事項付意見を表明する。私たちの結論は監査報告書の日付までに入手した以下の監査証拠に基づいている。しかしながら、将来の事象又は状況により当社及び当社グループは継続企業として存続できなくなる場合がある。
- ・年次財務諸表及び連結財務諸表全体の表示、構成及び内容について評価した。ここには年次財務諸表及び連結財務諸表が基礎となる取引及び事象を適正に表示しているか否かの評価が含まれる。
- ・連結財務諸表に対する意見表明のための、当行グループ内の企業活動及び事業活動の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手した。私たちはグループ監査を指示、監督及び実施する責任がある。私たちは監査意見について単独で責任を負う。

私たちは、その他の事項とともに、監査の範囲及び時期に関する監査計画について取締役会に報告しなければならない。私たちはまた、私たちが識別した内部統制の重要な不備を含む重要な監査上の発見事項について報告しなければならない。

また私たちは、取締役会に対して私たちが独立性に関する倫理規定に準拠している旨の宣誓書を提供しなければならないほか、取締役会に対して、私たちの独立性に影響することが合理的と考えられる関係及びその他の事項のすべてを報告し、また、該当する場合には関連するセーフガードを通知しなければならない。

私たちは、取締役会に報告された事項の中で、最も重要と評価された重要な虚偽表示リスクを含む、年次財務諸表及び連結財務諸表監査において最も重要と考える事項を決定した。したがって、これが監査上の主要な

検討事項となる。私たちは、これらの事項について法規制により公表が禁止されている、あるいは、極端にまれな状況であるが、監査報告書に記載することにより生じる不利益が公共の利益を上回ることが合理的に予想され、当該事項を監査報告書に記載すべきでないとなし、私たちが決定した場合を除き、これらの事項を監査報告書において説明している。

## 他の法令上の要件及び規制上の要件に関する報告

### 会社の業務及び会社の利益処分案の監査に関する監査人の監査

#### 監査意見

私たちは、年次財務諸表及び連結財務諸表の監査に加えて、2023年度のスウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの取締役会及び最高経営責任者の業務及び当社の利益処分案も監査した。

私たちは、定時株主総会に対して、法定経営報告書に記載されている提案に従った利益処分、及び当事業年度について取締役会のメンバー及び最高経営責任者の責任解除を勧告する。

#### 監査意見の基礎

私たちはスウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して監査を実施した。本基準における私たちの責任は、「監査人の責任」項目に詳述されている。私たちは、スウェーデンの会計士に係る職業倫理に準拠して親会社及び当行グループから独立しており、これらの規定で定められている私たちの倫理的責任を果たした。私たちは、私たちの意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 取締役会及び最高経営責任者の責任

取締役会は、当社の利益処分案について責任がある。この責任には、配当案において、親会社及び当行グループの資本に対する当社及び当行グループの事業区分、規模及びリスク、連結要件、流動性及び全般的な財政の規模に対する要件を考慮して、配当が正当なものであるか否かの評価が含まれている。

取締役会は当社の組織及び業務経営について責任がある。この責任には、特に当社及び当行グループの財政状態の継続評価に加え、当社の経理、資産管理及び財政状況が適切な方法で管理されるよう組織を整備することが含まれる。

最高経営責任者は、「取締役会ガイドライン及びインストラクション」に従って継続的に業務運営を行うほか、法令に準拠して当社の会計処理を行い、確実に資産の管理を行うために必要な措置を講じなければならない。

### 監査人の責任

業務監査に関する私たちの目的、責任解除に関する私たちの意見は、取締役会のメンバー又は最高経営責任者の誰かが、重要な点において、以下のいずれかに該当するか否かについて合理的な保証を得るために監査証拠を入手することである。

- ・当社に不利益をもたらす得る行為若しくは不作為を行った又は
- ・何らかの方法により、会社法、銀行及び金融業法、信用機関及び証券会社に係る年次報告法又は定款に違反する行為を行った

当社の利益処分案の監査及び監査意見に関する私たちの目的は、利益処分案が会社法に準拠しているか否かについて合理的な保証を得るために評価することにある。

合理的な保証は高い水準の保証であるが、スウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠した監査が、当社に不利益をもたらす得る行為若しくは不作為があること、及び利益処分案が会社法に準拠していないことを常に発見することを確約するものではない。

スウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠した監査の過程を通じて、私たちは職業的専門家としての判断を行使し、職業的懐疑心を保持する。業務及び当社の利益処分案の調査は主に財務諸表の監査に基づいている。追加の監査手続は、リスク及び重要性を主眼に、職業的専門家としての判断に基づいて実施された。これは、事業への影響が高く、逸脱及び違反が会社の状況にとって重大となる行為、領域、及

び関連性の検査に私たちが注力したことを意味する。私たちは、行使された意思決定、営業判断に用いられた裏付け、実施された行動及び責任解除に関する私たちの意見に影響する他の状況について検証しテストを実施した。取締役会による当社の利益処分案に対する意見の基礎として、私たちは、本処分案が会社法に準拠していたかどうかを評価するために取締役会の陳述書及び選択された裏付け証拠を検証した。

## ESEFレポートに対する監査人の検証

### 意見

私たちは、年次財務諸表及び連結財務諸表の監査に加えて、スウェーデン証券市場法(2007:528)第16章セクション4(a)に従い、取締役会及び最高経営責任者により、2023年度のスウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの年次財務諸表及び連結財務諸表が、欧州単一電子報告(Esefレポート)を可能にするフォーマットで作成されていることを検証した。

私たちの検証及び意見は法定要件にのみ関連している。私たちの意見では、Esefレポートは、すべての重要な点において、単一電子報告が可能なフォーマットで作成されている。

### 意見の基礎

私たちは、FARの勧告RevR18「ESEFレポートの検証」に準拠して検証を行った。本勧告に基づく私たちの責任は、監査人の責任のセクションに詳述されている。私たちは、スウェーデンの会計士の職業倫理に従い、スウェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトから独立しているほか、これらの要件に従って私たちの倫理的責任を果たしている。

私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な証拠を入手したと判断している。

## 取締役会及び最高経営責任者の責任

取締役会及び最高経営責任者は、スウェーデン証券市場法(2007:528)第16章セクション4(a)に準拠したESEFレポートの作成、及び、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のないESEFレポートを作成するため取締役会及び最高経営責任者が必要であると考える内部統制に対する責任がある。

## 監査人の責任

私たちの責任は、実施した手続に基づいて、ESEFレポートがすべての重要な点においてスウェーデン証券市場法(2007:528)第16章セクション4(a)の要求事項を満たすフォーマットで作成されているかどうかに関する合理的な保証を得ることである。

RevR18は、ESEFレポートがこれらの要求事項を満たすフォーマットで作成されていることを合理的に保証するための手続を計画し実施することを要求している。

合理的な保証は高い水準の保証であるが、RevR18及びスウェーデンにおける一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して実施された業務が、存在しているすべての重要な虚偽表示を常に発見することを確約するものではない。虚偽表示は、不正又は誤謬から発生する可能性があり、個別に又は集約して、ESEFレポートに基づいて行われる利用者の経済的意思決定に影響することが合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

私たちは、職業倫理上の要求事項、専門的職業基準並びに法令及び規制上の要求事項の遵守に関する方針・手続書を含む品質管理システムを設計し導入し維持するよう求めている、品質管理に関する国際基準第1号を適用している。

本検証には、様々な手続を通じて、年次財務諸表及び連結財務諸表の単一電子報告が可能なフォーマットでESEFレポートが作成されていることの証拠を入手することが含まれる。選択される手続は、報告書における不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクに係る評価を含む、監査人による判断に依拠している。このリスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、私たちは、内部統制のうち取締役会及び最高経営責任者によるESEFレポートの作成に関連する要素を検討する。ただし、これは、当該内部統制の有効性に対する意見を表明するためではない。また、本検証には、取締役会及び最高経営責任者が設定した仮定の適切性及び合理性に関する評価も含まれる。

この手続には主に、Esefレポートが有効なXHTMLフォーマットで作成されているかどうかの検証及び、Esefレポートと監査済年次財務諸表及び連結財務諸表との調整作業が含まれる。

またこの手続には、Esefレポートの中の連結損益計算書、連結財政状態計算書、連結持分変動計算書及び連結キャッシュ・フロー計算書並びに開示が、Esefの規制に従いXBRLでタグ付けされているかどうかの評価も含まれる。

### コーポレート・ガバナンス報告書に関する監査人の検討

取締役会は、66-68ページのコーポレート・ガバナンス報告書を信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に従って作成することに責任を負っている。コーポレート・ガバナンスに関する私たちの検討は、FARの監査基準RevU16「コーポレート・ガバナンスに関する監査人の検討に従って実施されている。つまり、コーポレート・ガバナンス報告書に対する私たちの検討は、ISA及びスウェーデンで一般に認められた監査基準に従って実施される監査とは異なり、その範囲も大幅に限定されている。私たちは、この検討が私たちの意見を表明するための十分な根拠を提供していると考えている。コーポレート・ガバナンス報告書が作成されている。信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法第6章第6節第2項2-6号及び同法第7章第31節第2項に基づく開示は、年次財務諸表及び連結財務諸表の他の部分と整合しており、信用機関及び証券会社に係るスウェーデン年次報告法に準拠している。

### 法定サステナビリティ・レポートに関する監査人の意見

取締役会は、36-65ページの法定サステナビリティ・レポートについて責任があり、同レポートは年次報告法に準拠して作成されている。

私たちは、FARの監査基準RevR12「法定サステナビリティ・レポートに関する監査人の意見」に準拠して検証を実施した。これは、法定サステナビリティ・レポートに関する私たちの検証が、国際監査基準及びスウェーデンにおいて一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して実施される監査とは異なり、範囲が遥かに狭いことを意味する。私たちは、この検証で私たちの意見表明に十分な基礎を入手したと判断している。

法定サステナビリティ・レポートが作成されている。

ストックホルム、Torsgatan 21, 11397 に所在するプライス・ウォーターハウス・コーパース・エイ・ビーは、2023年3月22日に開催された年次株主総会において、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの監査人に指名され、2017年3月29日より同社の監査人を務めている。

ストックホルム、Rehnsgratan 11, 11357 に所在するデロイト・エイ・ビーは、2023年3月22日に開催された定時株主総会において、スヴェンスカ・ハンデルスバンケン・エイ・ビー・プブリクトの監査人に指名され、2023年3月22日より同社の監査人を務めている。

ストックホルム、2024年2月22日

プライス・ウォーターハウス・コーパース・  
エイ・ビー  
ヨハン・リップ  
公認会計士

デロイト・エイ・ビー  
マリン・ルーニング  
公認会計士

[次へ](#)

# Revisionsberättelse

Till bolagsstämman i Svenska Handelsbanken AB (publ), org.nr 502007-7862

## Rapport om årsredovisningen och koncernredovisningen

### Uttalanden

Vi har utfört en revision av årsredovisningen och koncernredovisningen för Svenska Handelsbanken AB (publ) för år 2023 med undantag för håll- barhetsrapporten på sidorna 36 - 65 och bolagsstyrningsrapporten på sidorna 66 - 81. Bolagets årsredovisning och koncernredovisning ingår på sidorna 6 - 251 i detta dokument.

Enligt vår uppfattning har årsredovisningen upprättats i enlighet med lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag och ger en i alla väsentliga avseenden rättvisande bild av moderbolagets finan- siella ställning per den 31 december 2023 och av dess finansiella resultat och kassaflöde för året enligt lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. Koncernredovisningen har upprättats i enlighet med lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag och ger en i alla väsentliga avseenden rättvisande bild av koncernens finansiella ställning per den 31 december 2023 och av dess finansiella resultat och kassaflöde för året enligt International Financial Reporting Standards (IFRS), såsom de antagits av EU, och lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag. Våra uttalanden omfattar inte bolagsstyrnings- rapporten på sidorna 66 - 81 och hållbarhetsrapporten på sidorna 36 - 65.

Förvaltningsberättelsen är förenlig med årsredovisningens och koncern- redovisningens övriga delar. Vi tillstyrker därför att bolagsstämman fastställer resultaträkningen och balansräkningen för moderbolaget och koncernen.

Våra uttalanden i denna rapport om årsredovisningen och koncern- redovisningen är förenliga med innehållet i den kompletterande rapport som har överlämnats till moderbolagets revisionsutskott i enlighet med Revisorsförordningens (537/2014) artikel 11.

### Grund för uttalanden

Vi har utfört revisionen enligt International Standards on Auditing (ISA) och god revisionssed i Sverige. Vårt ansvar enligt dessa standarder beskrivs närmare i avsnittet Revisorns ansvar. Vi är oberoende i förhållande till moderbolaget och koncernen enligt god revisorssed i Sverige och har i övrigt fullgjort vårt yrkesetiska ansvar enligt dessa krav. Detta innefattar att, baserat på vår bästa kunskap och övertygelse, inga förbudna tjänster som avses i revisorsförordningens (537/2014) artikel 5.1 har tillhanda- hållits det granskade bolaget eller, i förekommande fall, dess moder- företag eller dess kontrollerade företag inom EU.

Vi anser att de revisionsbevis vi har inhämtat är tillräckliga och ända- målsenliga som grund för våra uttalanden.

## SÄRSKILT BETYDELSEFULLA OMRÅDEN

Särskilt betydelsefulla områden för revisionen är de områden som enligt vår professionella bedömning var de mest betydelsefulla för revisionen av årsredo- visningen och koncernredovisningen för den aktuella perioden. Dessa områden behandlas inom ramen för revisionen av, och i vårt ställningstagande till, årsredovisningen och koncernredovisningen som helhet, men vi gör inga separata uttalanden om dessa områden. Beskrivningen nedan av hur revi- sionen genomfördes inom dessa områden ska läsas i detta sammanhang.

### Reservering för förväntade kreditförluster

Detaljerade upplysningar och beskrivning av området lämnas i årsredovisningen och koncernredovisningen. Kreditriskexponeringar och dess hantering beskrivs i not K2 från sid 102. Koncernens redovisade förväntade kreditförluster specificeras i not K10. Upplysningar avseende moderbolaget finns i not M2 och M10. För området relevanta redovisningsprinciper för koncernen beskrivs i not K1, avsnitt 6 på sid 92 samt i not K1, avsnitt 14 på sid 97. Av not M1 framgår att moderbolagets redovisningsprinciper avseende kreditgivning och reserveringar för förväntade kreditförluster överensstämmer med koncernens redovisningsprinciper.

### Särskilt betydelsefullt område

Per den 31 december 2023 uppgår utlåning till allmänheten till 2 291 808 mkr (600 997) i koncernen (moderbolaget) vilket motsvarar 65% (25%) av totala tillgångar. Den totala kreditriskexponeringen, inklusive åtaganden utanför balansräkningen, uppgår till 3 727 150 mkr (3 709 066).

Reservering för förväntade kreditförluster för utlåning till allmänheten uppgår till 2 395 mkr (2 454) varav 1 245 mkr (1 197) baseras på modell- och expertbaserade beräkningar (Steg 1 och 2) och 1 150 mkr (1 257) på manuella beräkningar (Steg 3). Banken utför expertbaserade justeringar för modellberäknade reserver i Steg 1 och 2 för att beakta effekter från faktorer som inte bedöms fångas upp av modellen.

Förlustreserven ska värderas på ett sätt som återspeglar ett objektivt och sannolikhetsvägt belopp som bestäms genom att utvärdera ett inter- vall av möjliga utfall och baseras på tidigare händelser, nuvarande förhål- landen och prognoser för framtida ekonomiska förutsättningar. Reserv- eringen kräver att Banken gör bedömningar och antaganden av exempelvis kriterier för att identifiera en väsentlig ökning i kreditrisk och metoder för att beräkna förväntade kreditförluster. Givet komplexiteten vid beräkningen och att det kräver att Banken gör bedömningar och antaganden med väsentlig påverkan på redovisade belopp har värdering av reserven för förväntade kreditförluster ansetts vara ett särskilt betydelsefullt område.

### Hur vår revision beaktade det särskilt betydelsefulla området

Vi har utvärderat huruvida Bankens bedömning av sannolikhet för fallisse- mang, förlust vid fallissemang, exponering vid fallissemang och förväntad kreditförlust samt väsentlig ökning av kreditrisk är i enlighet med IFRS 9.

Vi har erhållit förståelse för och testat utformningen av nyckelkontroller i kreditprocessen inklusive kreditbeslut, kreditgranskning, ratingklassifi- cering samt identifiering och fastställande av krediter som bedöms vara i fallissemang. Vi har även testat kontroller avseende inläsning av modell- data och generella IT-kontroller inklusive behörighetshantering.

Vidare har vi granskat bankens initiala och aktuella kreditrating för ett stickprov av krediter. Vi har testat att data från underliggande system som används i modellen är fullständig och korrekt. Vi har granskat och bedömt modellen som används inklusive antagande och parameter samt kontrollerat modellens funktionalitet. Vi har även granskat och bedömt utfall av de modellvalideringar som har utförts och bedömt rimligheten i den makro- ekonomiska data som används. Vi har bedömt rimligheten i de manuella justeringar, inklusive expertbaserade justeringar, som utförts av Banken.

I vår revision har vi använt våra interna modellspecialister för att bistå oss i de granskningsåtgärder vi utfört.

Vi har även granskat att lämnade upplysningar i de finansiella rapporterna angående reservering för förväntade kreditförluster är ändamålsenliga.

<p>Värdering av finansiella instrument där marknadspriser saknas</p> <p>Detaljerade upplysningar och beskrivning av området lämnas i årsredovisningen och koncernredovisningen. Finansiella instrument värderade till verk- ligt värde beskrivs i not K42 för koncernen och M37 för moderbolaget. För området relevanta redovisningsprinciper för koncernen beskrivs i not K1, avsnitt 5 på sid 91. Av not M1 framgår att moderbolagets redovisningsprinciper avseende finansiella instrument värderade till verkligt värde överens- stämmer med koncernens redovisningsprinciper.</p>	
<i>Särskilt betydelsefullt område</i>	<i>Hur vår revision beaktade det särskilt betydelsefulla området</i>
<p>Banken har finansiella instrument där aktuella marknadspriser saknas var- för verkligt värde bestäms utifrån värderingsmodeller som bygger på marknadsdata. Dessa finansiella instrument kategoriseras i nivå 2 enligt IFRS värderingshierarki. Svenska Handelsbanken har även i viss omfatt- ning finansiella instrument vars värdering till verkligt värde bestäms utifrån värderingsmodeller där värdet påverkas av indata som inte går att verifiera med externa marknadsuppgifter. Dessa finansiella instrument kategori- seras i nivå 3 enligt IFRS värderingshierarki.</p> <p>Koncernen (moderbolaget) har finansiella tillgångar och finansiella skulder i nivå 2 om 35 366 mkr (63 534) respektive 38 515 mkr (47 727). Finansiella tillgångar och skulder i nivå 3 uppgår till 253 mkr (235) respek- tive 79 mkr (79).</p> <p>Finansiella instrument i nivå 2 utgörs främst av derivatkontrakt, däri- bland ränteswappar och olika typer av linjära valutaderivat, fondandelar, samt räntebärande instrument. Dessa instrument värderas med värde- ringsmodeller som bygger på marknadsräntor och andra marknadspriser. Finansiella instrument i nivå 3 utgörs främst av onoterade aktier i gemen- samägda bolag, placeringstillgångar i försäkringsrörelsen samt vissa deri- vatkontrakt som värderas med icke-observerbara data. Givet komplexi- teten vid beräkningar och att det kräver att Banken gör bedömningar med väsentlig påverkan på redovisade belopp har värdering av finansiella instrument där marknadspriser saknas bedömts vara ett särskilt betydelse- fullt område.</p>	<p>Vi har utvärderat huruvida Bankens metod för värdering av finansiella instrument där marknadspriser saknas inklusive klassificering i värderings- hierarki är i enlighet med IFRS 13.</p> <p>Vi har testat nyckelkontroller i värderingsprocessen, innefattande bankens fastställande och godkännande av antaganden och metoder som använts i modellbaserade beräkningar, kontroller av datakvalitet samt förändrings- hantering avseende interna värderingsmodeller. Vi har även testat generella IT-kontroller inklusive behörighetshantering.</p> <p>Vidare har vi bedömt de metoder och antaganden som används vid värdering av finansiella instrument där marknadsvärden saknas. Vi har jämfört värderingsmodellerna mot värderingsriktlinjer och branschpraxis. Vi har jämfört använda antaganden med lämpliga referensvärden och pris- källor och undersökt betydande avvikelser. Vi har kontrollerat rimligheten i beräkningarna genom att stickprovsvis utföra egna oberoende värde- ringar. I revisionen har vi använt våra interna värderingsspecialister för att bistå oss i utvalda granskningsåtgärder.</p> <p>Vi har även granskat att lämnade upplysningar i de finansiella rapport- erna angående värdering av finansiella instrument till verkligt värde är ändamålsenliga.</p>
<p>Annan information än årsredovisningen och koncernredovisningen Detta dokument innehåller även annan information än årsredovisningen och koncernredovisningen och återfinns på sidorna 1 - 5, 36 - 65 och 257 - 309 . Även ersättningsrapporten för räkenskapsåret 2023 utgör annan information. Det är styrelsen och verkställande direktören som har ansvaret för denna andra information.</p> <p>Vårt uttalande avseende årsredovisningen och koncernredovisningen omfattar inte denna information och vi gör inget uttalande med bestyrkande avseende denna andra information.</p> <p>I samband med vår revision av årsredovisningen och koncernredovis- ningen är det vårt ansvar att läsa den information som identifieras ovan och överväga om informationen i väsentlig utsträckning är oförenlig med års- redovisningen och koncernredovisningen. Vid denna genomgång beaktar vi även den kunskap vi i övrigt inhämtat under revisionen samt bedömer om informationen i övrigt verkar innehålla väsentliga felaktigheter.</p> <p>Om vi, baserat på det arbete som har utförts avseende denna informa- tion, drar slutsatsen att den andra informationen innehåller en väsentlig felaktighet, är vi skyldiga att rapportera detta. Vi har inget att rapportera i det avseendet.</p>	<p>Styrelsens och verkställande direktörens ansvar</p> <p>Det är styrelsen och verkställande direktören som har ansvaret för att års- redovisningen och koncernredovisningen upprättas och att de ger en rätt- visande bild enligt lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepap- persbolag och, vad gäller koncernredovisningen, enligt IFRS så som de antagits av EU. Styrelsen och verkställande direktören ansvarar även för den interna kontroll som de bedömer är nödvändig för att upprätta en års- redovisning och koncernredovisning som inte innehåller några väsentliga felaktigheter, vare sig dessa beror på oegentligheter eller misstag.</p> <p>Vid upprättandet av årsredovisningen och koncernredovisningen ansvarar styrelsen och verkställande direktören för bedömningen av bolag- ets och koncernens förmåga att fortsätta verksamheten. De upplyser, när så är tillämpligt, om förhållanden som kan påverka förmågan att fortsätta verksamheten och att använda antagandet om fortsatt drift. Antagandet om fortsatt drift tillämpas dock inte om styrelsen och verkställande direk- tören avser att likvidera bolaget, upphöra med verksamheten eller inte har något realistiskt alternativ till att göra något av detta.</p> <p>Styrelsens revisionsutskott ska, utan att det påverkar styrelsens ansvar och uppgifter i övrigt, bland annat övervaka bolagets finansiella rapportering.</p>

## Rapport om årsredovisningen och koncernredovisningen, forts

### Revisorns ansvar

Våra mål är att uppnå en rimlig grad av säkerhet om huruvida årsredovisningen och koncernredovisningen som helhet inte innehåller några väsentliga felaktigheter, vare sig dessa beror på oegentligheter eller misstag, och att lämna en revisionsberättelse som innehåller våra uttalanden. Rimlig säkerhet är en hög grad av säkerhet, men är ingen garanti för att en revision som utförs enligt ISA och god revisionssed i Sverige alltid kommer att upptäcka en väsentlig felaktighet om en sådan finns. Felaktigheter kan uppstå på grund av oegentligheter eller misstag och anses vara väsentliga om de enskilt eller tillsammans rimligen kan förväntas påverka de ekonomiska beslut som användare fattar med grund i årsredovisningen och koncernredovisningen.

Som del av en revision enligt ISA använder vi professionellt omdöme och har en professionellt skeptisk inställning under hela revisionen. Dessutom:

- identifierar och bedömer vi riskerna för väsentliga felaktigheter i årsredovisningen och koncernredovisningen, vare sig dessa beror på oegentligheter eller misstag, utformar och utför granskningsåtgärder bland annat utifrån dessa risker och inhämtar revisionsbevis som är tillräckliga och ändamålsenliga för att utgöra en grund för våra uttalanden. Risken för att inte upptäcka en väsentlig felaktighet till följd av oegentligheter är högre än för en väsentlig felaktighet som beror på misstag, eftersom oegentligheter kan innefatta agerande i maskopi, förfalskning, avsiktliga utelämnanden, felaktig information eller åsidosättande av intern kontroll.
- skaffar vi oss en förståelse av den del av bolagets interna kontroll som har betydelse för vår revision för att utforma granskningsåtgärder som är lämpliga med hänsyn till omständigheterna, men inte för att uttala oss om effektiviteten i den interna kontrollen.
- utvärderar vi lämpligheten i de redovisningsprinciper som används och rimligheten i styrelsens och verkställande direktörens uppskattningar i redovisningen och tillhörande upplysningar.
- drar vi en slutsats om lämpligheten i att styrelsen och verkställande direktören använder antagandet om fortsatt drift vid upprättandet av årsredovisningen och koncernredovisningen. Vi drar också en slutsats, med grund i de inhämtade revisionsbevisen, om huruvida det finns någon väsentlig osäkerhetsfaktor som avser sådana händelser eller

förhållanden som kan leda till betydande tvivel om bolagets och koncernens förmåga att fortsätta verksamheten. Om vi drar slutsatsen att det finns en väsentlig osäkerhetsfaktor, måste vi i revisionsberättelsen fästa uppmärksamheten på upplysningarna i årsredovisningen och koncernredovisningen om den väsentliga osäkerhetsfaktorn eller, om sådana upplysningar är otillräckliga, modifiera uttalandet om årsredovisningen och koncernredovisningen. Våra slutsatser baseras på de revisionsbevis som inhämtas fram till datumet för revisionsberättelsen. Dock kan framtida händelser eller förhållanden göra att ett bolag och en koncern inte längre kan fortsätta verksamheten.

- utvärderar vi den övergripande presentationen, strukturen och innehållet i årsredovisningen och koncernredovisningen, däribland upplysningarna, och om årsredovisningen och koncernredovisningen återger de underliggande transaktionerna och händelserna på ett sätt som ger en rättvisande bild.
- inhämtar vi tillräckliga och ändamålsenliga revisionsbevis avseende den finansiella informationen för enheterna eller affärsaktiviteterna inom koncernen för att göra ett uttalande avseende koncernredovisningen.

Vi ansvarar för styrning, övervakning och utförande av koncernrevisionen. Vi är ensamt ansvariga för våra uttalanden.

Vi måste informera styrelsen om bland annat revisionens planerade omfattning och inriktning samt tidpunkten för den. Vi måste också informera om betydelsefulla iakttagelser under revisionen, däribland de eventuella betydande brister i den interna kontrollen som vi identifierat.

Vi måste också förse styrelsen med ett uttalande om att vi har följt relevanta yrkesetiska krav avseende oberoende, och ta upp alla relationer och andra förhållanden som rimligen kan påverka vårt oberoende, samt i tillämpliga fall åtgärder som har vidtagits för att eliminera hoten eller motåtgärder som har vidtagits.

Av de områden som kommuniceras med styrelsen fastställer vi vilka av dessa områden som varit de mest betydelsefulla för revisionen av årsredovisningen och koncernredovisningen, inklusive de viktigaste bedömda riskerna för väsentliga felaktigheter, och som därför utgör de för revisionen särskilt betydelsefulla områdena. Vi beskriver dessa områden i revisionsberättelsen såvida inte lagar eller andra författningar förhindrar upplysning om frågan.

## Rapport om andra krav enligt lagar och andra författningar

### Uttalanden

Utöver vår revision av årsredovisningen och koncernredovisningen har vi även utfört en revision av styrelsens och verkställande direktörens förvaltnings- ning för Svenska Handelsbanken AB (publ) för år 2023 samt av förslaget till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust.

Vi tillstyrker att bolagsstämman disponerar vinsten enligt förslaget i för- valtningsberättelsen och beviljar styrelsens ledamöter och verkställande direktören ansvarsfrihet för räkenskapsåret.

#### Grund för uttalanden

Vi har utfört revisionen enligt god revisionssed i Sverige. Vårt ansvar enligt denna beskrivs närmare i avsnittet Revisorns ansvar. Vi är oberoende i för- hållande till moderbolaget och koncernen enligt god revisorssed i Sverige och har i övrigt fullgjort vårt yrkesetiska ansvar enligt dessa krav.

Vi anser att de revisionsbevis vi har inhämtat är tillräckliga och ändamåls- enliga som grund för våra uttalanden.

#### Styrelsens och verkställande direktörens ansvar

Det är styrelsen som har ansvaret för förslaget till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust. Vid förslag till utdelning innefattar detta bland annat en bedömning av om utdelningen är försvarlig med hänsyn till de krav som bolagets och koncernens verksamhetsart, omfattning och risker ställer på storleken av moderbolagets och koncernens egna kapital, kon- solideringsbehov, likviditet och ställning i övrigt.

Styrelsen ansvarar för bolagets organisation och förvaltningen av bolag- ets angelägenheter. Detta innefattar bland annat att fortlöpande bedöma bolagets och koncernens ekonomiska situation, och att tillse att bolagets organisation är utformad så att bokföringen, medelsförvaltningen och bolagets ekonomiska angelägenheter i övrigt kontrolleras på ett betryg- gande sätt. Verkställande direktören ska sköta den löpande förvaltningen enligt styrelsens riktlinjer och anvisningar och bland annat vidta de åtgär- der som är nödvändiga för att bolagets bokföring ska fullgöras i överens- stämmelse med lag och för att medelsförvaltningen ska skötas på ett betryggande sätt.

#### Revisorns ansvar

Vårt mål beträffande revisionen av förvaltningen, och därmed vårt uttalande om ansvarsfrihet, är att inhämta revisionsbevis för att med en rimlig grad av säkerhet kunna bedöma om någon styrelseledamot eller verkställande direktören i något väsentligt avseende

- företagit någon åtgärd eller gjort sig skyldig till någon försummelse som kan föranleda ersättningsskyldighet mot bolaget, eller
- på något annat sätt handlat i strid med aktiebolagslagen, lagen om bank- och finansieringsrörelse, lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag eller bolagsordningen.

Vårt mål beträffande revisionen av förslaget till dispositioner av bolagets vinst eller förlust, och därmed vårt uttalande om detta, är att med rimlig grad av säkerhet bedöma om förslaget är förenligt med aktiebolagslagen.

Rimlig säkerhet är en hög grad av säkerhet, men ingen garanti för att en revision som utförs enligt god revisionssed i Sverige alltid kommer att upptäcka åtgärder eller försummelser som kan föranleda ersättnings- skyldighet mot bolaget, eller att ett förslag till dispositioner av bolagets vinst eller förlust inte är förenligt med aktiebolagslagen.

Som en del av en revision enligt god revisionssed i Sverige använder vi professionellt omdöme och har en professionellt skeptisk inställning under hela revisionen. Granskningen av förvaltningen och förslaget till disposi- tioner av bolagets vinst eller förlust grundar sig främst på revisionen av

räkenskaperna. Vilka tillkommande granskningsåtgärder som utförs baseras på vår professionella bedömning med utgångspunkt i risk och väsentlighet. Det innebär att vi fokuserar granskningen på sådana åtgär- der, områden och förhållanden som är väsentliga för verksamheten och där avsteg och överträdelser skulle ha särskild betydelse för bolagets situation. Vi går igenom och prövar fattade beslut, beslutsunderlag, vid- tagna åtgärder och andra förhållanden som är relevanta för vårt uttalande om ansvarsfrihet. Som underlag för vårt uttalande om styrelsens förslag till dispositioner beträffande bolagets vinst eller förlust har vi granskat styrelsens motiverade yttrande samt ett urval av underlagen för detta för att kunna bedöma om förslaget är förenligt med aktiebolagslagen.

#### Revisorns granskning av Esef-rapporten

##### Uttalanden

Utöver vår revision av årsredovisningen och koncernredovisningen har vi även utfört en granskning av att styrelsen och verkställande direktören har upprättat årsredovisningen och koncernredovisningen i ett format som möjliggör enhetlig elektronisk rapportering (Esef-rapporten) enligt 16 kap. 4 a § lagen (2007:528) om värdepappersmarknaden för Svenska Handelsbanken AB (publ) för år 2023.

Vår granskning och vårt uttalande avser endast det lagstadgade kravet.

Enligt vår uppfattning har Esef-rapporten upprättats i ett format som i allt väsentligt möjliggör enhetlig elektronisk rapportering.

##### Grund för uttalanden

Vi har utfört granskningen enligt FARs rekommendation RevR 18 Revisorns granskning av Esef-rapporten. Vårt ansvar enligt denna rekommendation beskrivs närmare i avsnittet Revisorns ansvar. Vi är oberoende i förhållande till Svenska Handelsbanken AB (publ) enligt god revisorssed i Sverige och har i övrigt fullgjort vårt yrkesetiska ansvar enligt dessa krav.

Vi anser att de bevis vi har inhämtat är tillräckliga och ändamålsenliga som grund för vårt uttalande.

#### Styrelsens och verkställande direktörens ansvar

Det är styrelsen och verkställande direktören som har ansvaret för att

Esef-rapporten har upprättats i enlighet med 16 kap. 4 a § lagen (2007:528) om värdepappersmarknaden, och för att det finns en sådan intern kontroll som styrelsen och verkställande direktören bedömer nödvändig för att upprätta Esef-rapporten utan väsentliga felaktigheter, vare sig dessa beror på oegentligheter eller misstag.

#### Revisorns ansvar

Vår uppgift är att uttala oss med rimlig säkerhet om Esef-rapporten i allt väsentligt är upprättad i ett format som uppfyller kraven i 16 kap. 4 a § lagen (2007:528) om värdepappersmarknaden, på grundval av vår granskning.

RevR 18 kräver att vi planerar och genomför våra granskningsåtgärder för att uppnå rimlig säkerhet att Esef-rapporten är upprättad i ett format som uppfyller dessa krav.

Rimlig säkerhet är en hög grad av säkerhet, men är ingen garanti för att en granskning som utförs enligt RevR 18 och god revisionssed i Sverige alltid kommer att upptäcka en väsentlig felaktighet om en sådan finns. Fel- aktigheter kan uppstå på grund av oegentligheter eller misstag och anses vara väsentliga om de enskilt eller tillsammans rimligen kan förväntas påverka de ekonomiska beslut som användare fattar med grund i Esef-rapporten.

Revisionsföretagen tillämpar International Standard on Quality Manage- ment 1, som kräver att företagen utformar, implementerar och hanterar ett



## Rapport om andra krav enligt lagar och andra författningar, forts

system för kvalitetsstyrning inklusive riktlinjer eller rutiner avseende efterlevnad av yrkesetiska krav, standarder för yrkesutövningen och tillämpliga krav i lagar och andra författningar.

Granskningen innefattar att genom olika åtgärder inhämta bevis om Esef-rapporten har upprättats i ett format som möjliggör enhetlig elektro-nisk rapportering av årsredovisningen och koncernredovisning. Revisorn väljer vilka åtgärder som ska utföras, bland annat genom att bedöma riskerna för väsentliga felaktigheter i rapporteringen vare sig dessa beror på oegentligheter eller misstag. Vid denna riskbedömning beaktar revisorn de delar av den interna kontrollen som är relevanta för hur styrelsen och verkställande direktören tar fram underlaget i syfte att utforma granskningsåtgärder som är ändamålsenliga med hänsyn till omständigheterna, men inte i syfte att göra ett uttalande om effektiviteten i den interna kontrollen. Granskningen omfattar också en utvärdering av ändamålsenligheten och rimligheten i styrelsens och verkställande direktörens antaganden.

Granskningsåtgärderna omfattar huvudsakligen validering av att Esef-rapporten upprättats i ett giltigt XHTML-format och en avstämning av att Esef-rapporten överensstämmer med den granskade årsredovisningen och koncernredovisningen.

Vidare omfattar granskningen även en bedömning av huruvida koncernens resultat-, balans- och eget kapitalräkningar, kassaflödesanalys samt noter i Esef-rapporten har märkts med iXBRL i enlighet med vad som följer av Esef-förordningen.

*Revisorns granskning av bolagsstyrningsrapporten*

Det är styrelsen som har ansvaret för bolagsstyrningsrapporten på sidorna 66 - 81 och för att den är upprättad i enlighet med årsredovisningslagen.

Vår granskning har skett enligt FARs rekommendation RevR 16. Revisorns granskning av bolagsstyrningsrapporten. Detta innebär att

vår granskning av bolagsstyrningsrapporten har en annan inriktning och en väsentligt mindre omfattning jämfört med den inriktning och omfattning som en revision enligt International Standards on Auditing och god revisionssed i Sverige har. Vi anser att denna granskning ger oss tillräcklig grund för våra uttalanden.

En bolagsstyrningsrapport har upprättats. Upplysningar i enlighet med 6 kap. 6 § andra stycket punkterna 2 - 6 årsredovisningslagen samt 7 kap. 31 § andra stycket samma lag är förenliga med årsredovisningens och koncernredovisningens övriga delar samt är i överensstämmelse med lagen om årsredovisning i kreditinstitut och värdepappersbolag.

*Revisorns yttrande avseende den lagstadgade hållbarhetsrapporten*

Det är styrelsen som har ansvaret för hållbarhetsrapporten på sidorna 36 - 65 och för att den är upprättad i enlighet med årsredovisningslagen.

Vår granskning har skett enligt FARs rekommendation RevR 12. Revisorns yttrande om den lagstadgade hållbarhetsrapporten. Detta innebär att vår granskning av hållbarhetsrapporten har en annan inriktning och en väsentligt mindre omfattning jämfört med den inriktning och omfattning som en revision enligt International Standards on Auditing och god revisionssed i Sverige har. Vi anser att denna granskning ger oss tillräcklig grund för vårt uttalande.

En hållbarhetsrapport har upprättats.

PricewaterhouseCoopers AB, Torsgatan 21, 113 97 Stockholm, utsågs till Svenska Handelsbanken AB (publ)s revisor av bolagsstämman den 22 mars 2023 och har varit bolagets revisor sedan 29 mars 2017.

Deloitte AB, Rehnsgatan 11, 113 57 Stockholm, utsågs till Svenska Handelsbanken AB (publ)s revisor av bolagsstämman den 22 mars 2023 och har varit bolagets revisor sedan 22 mars 2023.

Stockholm den 22 februari 2024

PricewaterhouseCoopers AB

Deloitte AB

Johan Rippe

Malin Lünig

Auktoriserad revisor

Auktoriserad revisor

( ) 上記は、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものです。その原本は本有価証券報告書提出会社が別途保管しております。